2-1　別売部品一覧表
■別売部品一覧表（室外ユニット）…… 2-1-1
■別売部品一覧表（室内ユニット）…… 2-1-2
2-2　冷媒配管関連部品／分岐管セット
■分岐管セット …… 2-2-1
2-3　室外ユニット関連部品／風向ガイド
■風向ガイド …… 2-3-1
■防護ネット …… 2-3-12
■防風板 …… 2-3-24
■ドレンソケット …… 2-3-32
2-4　室内ユニット関連部品／ 4 方向天井カセット形
■別売品組み合わせ表 …… 2-4-1
■標準パネル、エコナビパネル、オイルガードパネル …… 2-4-2
■昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル …… 2-4-22
■ワイドパネル …… 2-4-55
■パネルスペーサー …… 2-4-62
■高性能フィルター、超ロングライフフィルター、フィルターチャンバー …… 2-4-69
■オイルミストフィルター …… 2-4-88
■ロングライフフィルター …… 2-4-91
■重量法 60% フィルター …… 2-4-94
■外気取入キット（1 口チャンバー用、2 口チャンバー用） …… 2-4-101
■外気取入れ用丸合フランジ（φ 100） …… 2-4-114
■吹出口丸合フランジ（φ 150） …… 2-4-121
■スケルトン天井用側面カバー（塗装色／白） …… 2-4-131
■高湿度対応キット …… 2-4-138
■しゃ風材 …… 2-4-142
■自然気化式加湿器 …… 2-4-146
2-5　室内ユニット関連部品／ 2 方向天井カセット形
■別売品組み合わせ表 …… 2-5-1
■標準パネル、エコナビパネル …… 2-5-2
■昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル …… 2-5-20
■天井材組込パネル …… 2-5-41
■ワイドパネル …… 2-5-46
■高性能フィルター、超ロングライフフィルター、フィルターチャンバー …… 2-5-51
■ロングライフフィルター …… 2-5-68
■自然気化式加湿器 …… 2-5-73
■交換用加湿エレメント …… 2-5-94
■丸合フランジ（φ 100、φ 125） …… 2-5-97
■丸合フランジ（φ 150） …… 2-5-106
■しゃ風材 …… 2-5-114
■断熱材キット …… 2-5-118
2-6　室内ユニット関連部品／高天井用 1 方向カセット形
■別売品組み合わせ表 …… 2-6-1
■天井パネル …… 2-6-2
■吹出口グリル（下がり天井仕様用） …… 2-6-7
■昇降グリルメカキット、昇降グリル固定金具 …… 2-6-15
■自然気化式加湿器 …… 2-6-22
■外気取入れ・本体用ダクトフランジ（φ 100） …… 2-6-35
■丸合フランジの取り付けかた …… 2-6-36
■ＤＣファンタップ変更手順 …… 2-6-37
2-7　室内ユニット関連部品／ 1 方向天井カセット形
■リモコン対応表 …… 2-7-1
■天井パネル …… 2-7-2
■アンモニア脱臭フィルター、光再生脱臭フィルター …… 2-7-7
■グリル取付フィルター用金具 …… 2-7-10
■Ｌ字ドレン配管キット …… 2-7-12
■外気取入れ・本体用ダクトフランジ（φ 100） …… 2-7-14
■丸合フランジの取り付けかた …… 2-7-15

2-8 室内ユニット関連部品／天井ビルトインカセット形、ビルトインオールダクト形
■別売品組み合わせ表 2-8-1
■システム展開例、オプション部品の適応室内ユニット 2-8-3
■ダクト設計における留意点 2-8-5
■吹出口グリル 2-8-11
■分岐チャンバー 2-8-16
■接続チャンバー 2-8-18
■キャンバスダクト 2-8-21
■吸込グリル 2-8-28
■小パネル 2-8-31
■大パネル 2-8-38
■スライドチャンバー 2-8-51
■吸込・吹出角ダクト合フランジ、外気取入用丸合フランジ 2-8-56
■オールダクト用メンテパネル 2-8-59
■高性能フィルター、ロングライフフィルター 2-8-62
■フィルターチャンバー 2-8-80
■フレキシブルダクト 2-8-107
■ダクトスリーブ 2-8-109
■自然気化式加湿器 2-8-110
■吹出丸ダクト合フランジ 2-8-133
■ VZ システムチャンバー 2-8-137
2-9 室内ユニット関連部品／天井埋込形
■高性能フィルター、ロングライフフィルター、フィルターチャンバー 2-9-1
■気化式加湿器 2-9-6
■ドレンアップキット 2-9-12
2-10 室内ユニット関連部品／天井吊形
■別売品組み合わせ表 2-10-1
■高性能フィルター 2-10-2
■超ロングライフフィルター 2-10-4
■フィルターチャンバー 2-10-8
■オイルミストフィルター 2-10-16
■ドレンアップキット 2-10-21
■丸合フランジ<外気取り入れ用>（φ 100） 2-10-39
2-11 室内ユニット関連部品／壁掛形
■別売品組み合わせ表 2-11-1
2-12 室内ユニット関連部品／床置形
■別売品組み合わせ表 2-12-1
■木台 2-12-1
2-13 室内ユニット関連部品／天吊形厨房用エアコン、高温吸込み対応天吊形厨房用エアコン
■スポットダクト、交換用フィルター 2-13-1
2-14 室内ユニット関連部品／床置形（プレナム形・ダクト形）
■パン形加湿器 2-14-1
■自然気化式加湿器 2-14-8
■プレフィルター 2-14-19
■高性能フィルター、ロングライフフィルター、フィルターチャンバー 2-14-22
■吸込口ダクトフランジ 2-14-33
■前面閉塞用パネル 2-14-34

■別売部品一覧表（室外ユニット）

XEPHY Eco（高効率タイプ）沖縄向け

室外ユニット品番（CU-P）		別売品品番			
		風向ガイド	防護ネット	防風板	ドレンソケット
40H7ZB	40H7SZB	CZ-56AGT5 (2-3-1)	CZ-56GE5 (2-3-12)	CZ-56DG5 (2-3-24)	CZ-56DS7 (2-3-32)
45H7ZB	45H7SZB				
50H7ZB	50H7SZB				
56H7ZB	56H7SZB				
63H7ZB	63H7SZB				
80H7ZB	80H7SZB				
112H7ZB		CZ-80AGT7 (2-3-5)	CZ-80GE7 (2-3-16)	CZ-80DG7 (2-3-26)	STK-DS25T (2-3-35)
140H7ZB					
160H7ZB					
224H7ZB		AD-CZFGXH4F1 ×2 (2-3-8)	CZ-280GE4 (2-3-19)	AD-CZBBXH4F1 ×2 (2-3-29)	
280H7ZB					

■別売部品一覧表（室内ユニット）
４方向天井カセット形

㊎ 受注生産品

品名				適用室内ユニット	品番	ページ
天井パネル	標準パネル		ホワイト	全機種	CZ-160KPU7B	2-4-2
			ブラック ㊎	全機種	CZ-160KPU7B-K	
			グレー ㊎	全機種	CZ-160KPU7B-H	
			ブラウン ㊎	全機種	CZ-160KPU7B-T	
	エコナビパネル		ホワイト	全機種	CZ-160KPEU7B	
			ブラック ㊎	全機種	CZ-160KPEU7B-K	
	オイルガードパネル		ホワイト	全機種	CZ-160KBU7	2-4-3
	ワイドパネル			全機種	CZ-160KWU5	2-4-55
	パネルスペーサー			全機種	CZ-160SPU5	2-4-62
昇降グリル ※1	昇降グリル付天井パネル（3.9m降下）	標準	ホワイト	全機種	CZ-160KSU7B	2-4-22
			ブラック ㊎	全機種	CZ-160KSU7B-K	
		エコナビ	ホワイト	全機種	CZ-160KSEU7B	
			ブラック ㊎	全機種	CZ-160KSEU7B-K	
	昇降グリル付オイルガードパネル		ホワイト ㊎	全機種	CZ-160KSBU7	2-4-23
加湿器	自然気化式加湿器 ※2			P40～P80	CZ-07ASU7	2-4-146
				P112～P160	CZ-14ASU7	
	自然気化式加湿器（高加湿タイプ）※2		㊎	P40～P80	CZ-16ASHU7	2-4-148
			㊎	P112～P160	CZ-20ASHU7	
吹出・吸込	外気取入丸合フランジ　（φ100）		本体用 ※3	全機種	CZ-DA100	2-4-114
	外気取入れキット（1口用）		チャンバー用 ※3	全機種	CZ-160GSCU7	2-4-101
	外気取入れキット（2口用）		チャンバー用 ※3	全機種	CZ-160GSCDU7	
	吹出口丸合フランジ　（φ150）			全機種	CZ-DA150A	2-4-121
	しゃ風材			全機種	CZ-160CFU7	2-4-142
チャンバー取付フィルター	超ロングライフフィルター			全機種	CZ-160LFU5	2-4-70
	高性能フィルター SEK		比色法　65%	全機種	CZ-160MFU5	2-4-69
			比色法　90% ㊎	全機種	CZ-160HFU5	
	フィルターチャンバー ※3		超ロングライフフィルター、高性能フィルター取付時に必要	全機種	CZ-160FDU7	2-4-71
グリル取付フィルター	オイルミストフィルター ※4		10 枚入り、交換のめやす 150 時間（室内機保護用）	全機種	CZ-160FBU5	2-4-88
	ロングライフフィルター			全機種	CZ-160SLFU7B	2-4-91
	重量法60%フィルター			全機種	CZ-160FGU7	2-4-94
その他	スケルトン天井用側面カバー ※5			全機種	CZ-160SKU7	2-4-131
	高湿度対応キット ※6			全機種	CZ-160INSU7	2-4-138
リモコン	多機能ワイヤードリモコン			全機種	CZ-10RT5	3-3-1
	ワイヤードリモコン			全機種	CZ-10RT3	3-3-44
	多言語対応ワイヤードリモコン			全機種	CZ-10RTF4	3-3-108
	簡単リモコン			全機種	CZ-02RE4	3-3-113
	昇降操作専用リモコン			全機種	CZ-10RWU3G	3-3-120
	ワイヤレスリモコン　送信部（受信部は同梱されてません）			全機種	CZ-10RWP2	3-3-102
	ワイヤレスリモコン受信部	組込みタイプ	ホワイト	全機種	CZ-10RWRU7	3-3-78
			ブラック ㊎	全機種	CZ-10RWRU7-K	
			グレー ㊎	全機種	CZ-10RWRU7-H	
			ブラウン ㊎	全機種	CZ-10RWRU7-T	
		別置きタイプ	㊎	全機種	CZ-10RWRC1A	3-3-97
エコナビセンサー	エコナビセンサー		壁設置形	全機種	CZ-CSEN1	3-6-1
S-LINKアダプター	室外ユニット用			全機種	CZ-CAPSL1	3-5-1
	室内ユニット内蔵用			全機種	CZ-CAPSLC	3-5-2
分岐管 ※7	同時ツインP80～P160形：1個、同時ダブルツインP160形：3個必要です				CZ-160BK1	2-2-1
	同時ツインP224・P280形：1個必要です				CZ-300BK2	2-2-6
	同時トリプル用				APR-RTP280A	2-2-11

※1 ワイヤード／ワイヤレスどちらのリモコンでも操作可能（要設定）。
※2 室内ユニット、運転条件によって、加湿量は低下します。暖房停止が発生する場合は、別途加湿器をご使用ください。
※3 新鮮外気取入れ時、フィルターチャンバー（外気チャンバー兼用）を使用する場合は外気取入れキット（チャンバー用）をご使用ください。本体に直接取り入れる場合は外気取入丸合フランジ（本体用）をご使用ください。なお、外気導入量には制限がありますので、技術資料等でご確認ください。
※4 オイルミストフィルターは本体内部への油煙侵入防止用であり、食用油を用いる厨房、加工油を用いる工場での使用を可能にするものではありません。
※5 カラーパネルとの組合せはご注意ください。
※6 本体断熱用・・・側面(4種)、天面(3種)、吊り金具用(1種)。パネルコーナー用(9種)高温多湿の場所への設置時に露付を軽減。
天井内が高温・高湿（３０℃またはＲＨ８０%を超えると思われる）で長時間運転を行う場合は別売品の高湿度対応キットを取り付けてください。断熱を強化しないと室内ユニットまたは室内ユニット近傍の天井材が結露する事があります。
※7 同時ダブルツインP224・280形は　CZ-300BK2　:1個＋CZ-160BK1　:2個必要です。

2方向天井カセット形

㊎ 受注生産品

品名			適用室内ユニット	品番	ページ
天井パネル	標準パネル　中温用の場合は特注対応となります。		P50～P80形	CZ-80KPL7	2-5-3
			P112～P160形	CZ-160KPL7	
	エコナビパネル　中温用の場合は特注対応となります。		P50～P80形	CZ-80KPEL7	2-5-2
			P112～P160形	CZ-160KPEL7	
	天井材組込パネル　中温用の場合は特注対応となります。 ㊎		P50～P80形	CZ-80KTL6	2-5-41
			P112～P160形	CZ-160KTL6	
	ワイドパネル※1		P50～P80形	CZ-80KWL6	2-5-46
昇降グリル※2	昇降グリル付標準パネル　中温用の場合は特注対応となります。 ㊎		P50～P80形	CZ-80KSL6	2-5-21
			P112～P160形	CZ-160KSL6	
	昇降グリル付エコナビパネル　中温用の場合は特注対応となります。 ㊎		P50～P80形	CZ-80KSEL6	2-5-20
			P112～P160形	CZ-160KSEL6	
加湿器	自然気化式加湿器※3		P50～P80形	CZ-07ASL6	2-5-73
		㊎	P112～P160形	CZ-14ASL6	
	交換用加湿エレメント		P50～P80形	CZ-07AL6	2-5-94
		㊎	P112～P160形	CZ-14AL6	
吹出	しゃ風材※7 ㊎		P50～P80形	CZ-80CFL6	2-5-114
			P112～P160形	CZ-160CFL6	
	丸合フランジ	φ 150	全機種	CZ-DA150A	2-5-106
	フレキシブルダクト（φ 150）	1 m	全機種	CZ-F1510	2-8-73
		2 m	全機種	CZ-F1520	
	吹出口グリル	φ 150	全機種	GRL-S15B	2-8-11
外気取入	丸合フランジ※4	φ 100	P50～P80形	CZ-DA100	2-5-97
		φ 125	P112～P160形	CZ-DA125	
チャンバー取付フィルター	超ロングライフフィルター ㊎		P50～P80形	CZ-80LFL6	2-5-52
			P112～P160形	CZ-160LFL6	
	高性能フィルター SEK	比色法 65%	P50～P80形	CZ-80MFL6	2-5-51
			P112～P160形	CZ-160MFL6	
		比色法 90% ㊎	P50～P80形	CZ-80HFL6	
			P112～P160形	CZ-160HFL6	
	フィルターチャンバー		P50～P80形	CZ-80FDL6	2-5-53
			P112～P160形	CZ-160FDL6	
	ロングライフフィルター		P50～P80形	CZ-80SLFL7	2-5-68
			P112～P160形	CZ-160SLFL7	
その他	断熱材キット※5		全機種	CZ-80INSL6	2-5-118
リモコン	多機能ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RT5	3-3-1
	ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RT3	3-3-44
	多言語対応ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RTF4	3-3-108
	ワイヤレスリモコン送信部（受信部は同梱されていません）		全機種	CZ-10RWP2	3-3-102
	ワイヤレスリモコン受信部	組込みタイプ ㊎	全機種	CZ-10RWRL2	3-3-83
		別置タイプ ㊎	全機種	CZ-10RWRC1A	3-3-97
	簡単リモコン		全機種	CZ-02RE4	3-3-113
	昇降操作専用リモコン		全機種	CZ-10RWU3G	3-3-120
エコナビセンサー	エコナビセンサー		全機種	CZ-CSEN1	3-6-1
S-LINKアダプター	室外ユニット用		全機種	CZ-CAPSL1	3-5-1
	室内ユニット用		全機種	CZ-CAPSL2	3-5-2
分岐管※6	同時ツイン P112～P160 形：1個必要です		全機種	CZ-160BK1	2-2-1
	同時ツイン P224・P280 形：1個必要です		全機種	CZ-300BK2	2-2-6
	同時トリプル用		全機種	APR-RTP280A	2-2-11

※1 天井開口寸法が下記の範囲内か確認してください。（短手×長手：640～670×1,130～1,350）
※2 ワイヤード／ワイヤレスどちらのリモコンでも操作可能（要設定）。
※3 気化式加湿器は、タイマーによる間欠給水の節水タイプです。室内ユニットによって加湿量が異なります。
※4 外気導入量には制限がありますので、技術資料等にてご確認ください。
※5 本体断熱用・・・高温多湿の場所への設置時に露付きを軽減。
※6 同時ダブルツインP224・P280形は CZ-300BK2 ：1個＋ CZ-160BK1 ：2個必要です。
※7 丸合フランジ(吹出用)・フレキシブルダクト等と併せて使用してください。

高天井用１方向カセット形

㊎受注生産品

品　名			適用室内機	品番	ページ
パネル	天井パネル		全機種	**CZ-03KPD4**	2-6-2
グリル	吹出口グリル		全機種	**DKT-CSL80B**	2-6-7
昇降グリル※1	昇降グリルメカキット（昇降グリル固定金具が必要です。） ㊎		全機種	**CZ-06KSKD3**	2-6-15
	昇降グリル固定金具		全機種	**GRL-SL80BU**	2-6-15
加湿	自然気化式加湿器 ㊎		全機種	**CZ-09ASD1**	2-6-22
吹出・吸込	外気取入・本体用ダクトフランジ	（φ100）※2	全機種	**DKT-MF10AN**	2-6-35
リモコン	多機能ワイヤードリモコン		全機種	**CZ-10RT5**	3-3-1
	ワイヤードリモコン		全機種	**CZ-10RT3**	3-3-44
	多言語対応ワイヤードリモコン		全機種	**CZ-10RTF4**	3-3-108
	ワイヤレスリモコン送信部（受信部は同梱されてません）		全機種	**CZ-10RWP2**	3-3-102
	ワイヤレスリモコン受信部	組込みタイプ	全機種	**CZ-10RWRD1A**	3-3-88
		別置きタイプ ㊎	全機種	**CZ-10RWRC1A**	3-3-97
	簡単リモコン		全機種	**CZ-02RE4**	3-3-113
	昇降操作専用リモコン		全機種	**CZ-10RWU3G**	3-3-120
エコナビセンサー	エコナビセンサー	壁設置形	全機種	**CZ-CSEN1**	3-6-1
S-LINK アダプター	室外機用		全機種	**CZ-CAPSL1**	3-5-1
	室内機用		全機種	**CZ-CAPSL2**	3-5-2
分岐管 ※3	同時ツインP112～P160形：1個必要です			**CZ-160BK1**	2-2-1
	同時ツインP224・P280形：1個必要です			**CZ-300BK2**	2-2-6
	同時トリプル用			**APR-RTP280A**	2-2-11

※1 昇降操作はワイヤード／ワイヤレスリモコンのいずれでも可能（要設定）。　※2 外気導入量には制限がありますので、4章 「4-5 外気導入について」をご確認ください。
※3 同時ダブルツインP224・P280形はCZ-300BK2：1個＋CZ-160BK1：2個必要です。

１方向天井カセット形

㊎受注生産品

品　名			適用室内機	品　番	ページ
パネル	天井パネル	ホワイト	全機種	**CZ-01KPD4**	2-7-2
		ブラウン ㊎	全機種	**CZ-01KPD4-T**	
ドレン	L字ドレン配管キット		全機種	**DP-LDSA40B**	2-7-12
吹出・吸込	外気取入れ・本体用 ダクトフランジ（φ100）※1		全機種	**DKT-MF10AN**	2-7-14
グリル取付け フィルター	アンモニア脱臭フィルター（比色法65%）※2 ㊎		全機種	**AFT-DSA40B-AM**	2-7-7
	光再生脱臭フィルター ※2 ㊎		全機種	**CZ-02FDDM3**	2-7-8
	グリル取付フィルター用金具 ㊎		全機種	**STK-DFSA40B**	2-7-10
リモコン	多機能ワイヤードリモコン		全機種	**CZ-10RTC5**	3-3-1
	ワイヤードリモコン		全機種	**CZ-10RT3**	3-3-44
	多言語対応ワイヤードリモコン		全機種	**CZ-10RTF4**	3-3-108
	ワイヤレスリモコン送信部（受信部は同梱されてません）		全機種	**CZ-10RWP2**	3-3-102
	ワイヤレスリモコン受信部	組込みタイプ	全機種	**CZ-10RWRD1A**	3-3-88
		別置きタイプ ㊎	全機種	**CZ-10RWRC1A**	3-3-97
	簡単リモコン		全機種	**CZ-02RE4**	3-3-113
エコナビセンサー	エコナビセンサー	壁設置形	全機種	**CZ-CSEN1**	3-6-1
S-LINK アダプター	室外機用		全機種	**CZ-CAPSL1**	3-5-1
	室内機用		全機種	**CZ-CAPSL2**	3-5-2
分岐管	同時ツインP80形：1個、同時ダブルツインP160形：3個必要です			**CZ-P160BK1**	2-2-1

※1 外気導入量には制限がありますので、4章 「4-5 外気導入について」をご確認ください。
※2 フィルターの取付けにはグリル取付フィルター用金具が必要です。DCファンタップを設定変更します。光再生フィルターはNOを（1）に、
アンモニア脱臭フィルターはNOを（3）に合わせてください。
ご注意：カードキー対応キットをサービス部品として準備。（部品コード：CV6231920520）キット内容はリレー、配線セット、説明書です。
カードキー対応キットを組込んだ製品も対応可能です。詳細は別途お問合せください。

天井ビルトインカセット形

受 受注生産品

品　名				適用室内機	品　番	ページ
パネル	1 ビルトイン小パネル（吸込グリル・フィルター付）※1			P50・P56形	CZ-02HPF4	2-8-30
				P63～P80形	CZ-03HPF4	
				P112～P160形	CZ-06HPF4	
	2 ビルトイン大パネル※2 受 ビルトイン大パネルとキャンバスダクトは併用できません。			P50・P56形	CZ-56KPF1	2-8-37
				P63～P80形	CZ-90KPF1	
				P112～P160形	CZ-160KPF1	
加湿	自然気化式加湿器※3 受			P50・P56形	CZ-07ASF2	2-8-81
				P63～P80形	CZ-10ASF2	
				P112～P160形	CZ-20ASF2	
吹出・吸込	スライドチャンバー			P50・P56形	CMB-SLBD56B	2-8-50
				P63～P80形	CMB-SLBD90B	
				P112～P160形	CMB-SLBD160B	
	キャンバスダクト ビルトイン大パネルとキャンバスダクトは併用できません。			P50・P56形	DKT-CBD50T	2-8-20
				P63～P80形	DKT-CBD80T	
				P112～P160形	DKT-CBD140T	
	フレキシブルダクト（丸）	φ150	1m	全機種	CZ-F1510	2-8-78
			2m	全機種	CZ-F1520	
			5m	全機種	CZ-F1550	
		φ200	1m	全機種	CZ-F2010	
			2m	全機種	CZ-F2020	
			5m	全機種	CZ-F2050	
	スリーブ	φ150		全機種	CZ-SP15	2-8-80
		φ200		全機種	CZ-SP20	
	吹出口グリル※4	φ150		全機種	GRL-S15B	2-8-11
		φ200		全機種	GRL-S20B	
	外気取入用丸合フランジ※5	φ150		全機種	DKT-MF15A1	2-8-55
	分岐チャンバー（接続径φ200をφ150に2分岐）			全機種	CMB-B20B	2-8-16
	吹出角ダクト合フランジ			P50・P56形	CZ-56SDGF1	2-8-55
				P63～P80形	CZ-90SDGF1	
				P112～P160形	CZ-160SDGF1	
チャンバー取付フィルター	ロングライフフィルター 受 納期については別途お問合せください			P50・P56形	AFT-LBD50T	2-8-62
				P63～P80形	AFT-LBD80T	
				P112～P160形	AFT-LBD140T	
	高性能フィルター SEK 納期については別途お問合せください	比色法65%		P50・P56形	AFT-MBD50T	2-8-62
				P63～P80形	AFT-MBD80T	
				P112～P160形	AFT-MBD140T	
		比色法90% 受		P50・P56形	AFT-HBD50T	
				P63～P80形	AFT-HBD80T	
				P112～P160形	AFT-HBD140T	
	フィルターチャンバー			P50・P56形	CZ-56FBCF1	2-8-62
				P63～P80形	CZ-90FBCF1	
				P112～P160形	CZ-160FBCF1	
その他	銀イオン系抗菌剤			全機種	CZ-160AGCF1	—
リモコン	多機能ワイヤードリモコン			全機種	CZ-10RT5	3-3-1
	ワイヤードリモコン			全機種	CZ-10RT3	3-3-44
	多言語対応ワイヤードリモコン			全機種	CZ-10RTF4	3-3-108
	ワイヤレスリモコン送信部（受信部は同梱されてません）			全機種	CZ-10RWP2	3-3-102
	ワイヤレスリモコン受信部	別置きタイプ 受		全機種	CZ-10RWRC1A	3-3-97
	簡単リモコン			全機種	CZ-02RE4	3-3-113
エコナビセンサー	エコナビセンサー	壁設置形		全機種	CZ-CSEN1	3-6-1
S-LINKアダプター	室外機用			全機種	CZ-CAPSL1	3-5-1
	室内機用			全機種	CZ-CAPSL2	3-5-2
分岐管 ※6	同時ツインP112～P160形：1個必要です				CZ-160BK1	2-2-1
	同時ツインP224・P280形：1個必要です				CZ-300BK2	2-2-6
	同時トリプル用				APR-RTP280A	2-2-11

※1 取付け時の微調整用としてキャンバスダクト、もしくはスライドチャンバーをご利用ください。
※2 フィルターチャンバーなしで直付け可能です。
※3 直付け可能ですが、自然気化式加湿器を取付けた場合、取付け側天井面に450×450の専用の点検口が必要です。
※4 油の飛沫や油煙の立ちこめる場所（例：調理場や機場など）への据付けは避けてください。
※5 外気導入量には制限がありますので、4章「4-5 外気導入について」をご確認ください。
※6 同時ダブルツインP224・P280形はCZ-300BK2：1個＋CZ-160BK1：2個必要です。

ビルトインオールダクト形

受 受注生産品

品　名				適用室内機	品　番	ページ
パネル	オールダクト用メンテパネル（天井材組込可能） 受			P50･P56形	PNR-MBD45RF	2-8-59
				P63～P80形	PNR-MBD71RF	
				P112～P160形	PNR-MBD125RF	
加湿	自然気化式加湿器※1 受			P50･P56形	CZ-07ASF2	2-8-81
				P63～P80形	CZ-10ASF2	
				P112～P160形	CZ-20ASF2	
吹出・吸込	フレキシブルダクト（丸）	φ150	1m	全機種	CZ-F1510	2-8-78
			2m	全機種	CZ-F1520	
			5m	全機種	CZ-F1550	
		φ200	1m	全機種	CZ-F2010	
			2m	全機種	CZ-F2020	
			5m	全機種	CZ-F2050	
	スリーブ	φ150		全機種	CZ-SP15	2-8-80
		φ200		全機種	CZ-SP20	
	吹出口グリル ※2	φ150		全機種	GRL-S15B	2-8-11
		φ200		全機種	GRL-S20B	
	VZシステムチャンバー			140形	CZ-140VBCFE7	2-8-108
チャンバー取付フィルター	外気取入用丸合フランジ ※3	φ150		全機種	DKT-MF15A1	2-8-50
	分岐チャンバー(接続径φ200をφ150に2分岐)			全機種	CMB-B20B	2-8-16
	吹出丸ダクト合フランジ			P50･P56形	CZ-56DAF2A	2-8-104
				P63～P80形	CZ-90DAF2A	
				P112～P160形	CZ-160DAF2A	
	吸込角ダクト合フランジ ※4			P50･P56形	DKT-RFBD50T	2-8-55
				P63～P80形	DKT-RFBD80T	
				P112～P160形	DKT-RFBD140T	
	接続チャンバー			P50･P56形	CZ-56SPF1	2-8-18
				P63～P80形	CZ-90SPF1	
				P112～P160形	CZ-160SPF1	
	キャンバスダクト※4 受			P50･P56形	DKT-CBU50T	2-8-20
				P63～P80形	DKT-CBU80T	
				P112～P160形	DKT-CBU140T	
	吸込グリル　フィルター付 納期については別途お問合せください			P50･P56形	GRL-RBU50TN	2-8-27
				P63～P80形	GRL-RBU80TN	
				P112～P160形	GRL-RBU140TN	
	ロングライフフィルター 受 納期については別途お問合せください			P50･P56形	AFT-LBD50T	2-8-63
				P63～P80形	AFT-LBD80T	
				P112～P160形	AFT-LBD140T	
	高性能フィルター SEK 納期については別途お問合せください	比色法65%		P50･P56形	AFT-MBD50T	2-8-63
				P63～P80形	AFT-MBD80T	
				P112～P160形	AFT-MBD140T	
		比色法90% 受		P50･P56形	AFT-HBD50T	
				P63～P80形	AFT-HBD80T	
				P112～P160形	AFT-HBD140T	
	フィルターチャンバー ※4 高性能フィルター、ロングライフフィルター組込可能。併用する場合は2個使用。			P50･P56形	CMB-FBU50T	2-8-63
				P63～P80形	CMB-FBU80T	
				P112～P160形	CMB-FBU140T	
その他	銀イオン系抗菌剤			全機種	CZ-160AGCF1	—
リモコン	多機能ワイヤードリモコン			全機種	CZ-10RT5	3-3-1
	ワイヤードリモコン			全機種	CZ-10RT3	3-3-44
	多言語対応ワイヤードリモコン			全機種	CZ-10RTF4	3-3-108
	ワイヤレスリモコン送信部（受信部は同梱されてません）			全機種	CZ-10RWP2	3-3-102
	ワイヤレスリモコン受信部	別置きタイプ 受		全機種	CZ-10RWRC1A	3-3-97
	簡単リモコン			全機種	CZ-02RE4	3-3-113
エコナビセンサー	エコナビセンサー	壁設置形		全機種	CZ-CSEN1	3-6-1
S-LINK アダプター	室外機用			全機種	CZ-CAPSL1	3-5-1
	室内機 内蔵用			全機種	CZ-CAPSLC	3-5-2
分岐管 ※5	同時ツインP112～P160形：1個必要です				CZ-160BK1	2-2-1
	同時ツインP224・P280形：1個必要です				CZ-300BK2	2-2-6
	同時トリプル用				APR-RTP280A	2-2-11

※1 自然気化式加湿器を取付けた場合、取付け側天井面に450 × 450の専用の点検口が必要です。
※2 油の飛沫や油煙の立ちこめる場所（例：調理場や機械工場など）への据付けは避けてください。
※3 外気導入量には制限がありますので、4章 「4-5 外気導入について」を ご確認ください。
※4 接続チャンバーが必要です。
※5 同時ダブルツインP224・P280形はCZ-300BK2：1個＋CZ-P160BK1：2個必要です。

天井埋込形

㊜受注生産品

品名			適用室内機	品番	ページ
加湿	気化式加湿器（チャンバー付属） ㊜		全機種	RH-UN45U	2-9-6
ドレン	ドレンアップキット		全機種	DP-U280B	2-9-12
フィルター	ロングライフフィルター ㊜		全機種	AFT-LU280U	2-9-1
	高性能フィルター	比色法65% ㊜	全機種	AFT-MU280U	
		比色法90% ㊜	全機種	AFT-HU280U	
	フィルターチャンバー		全機種	CMB-FU280U	2-9-5
リモコン	多機能ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RT5	3-3-1
	ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RT3	3-3-44
	多言語対応ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RTF4	3-3-108
	ワイヤレスリモコン送信部（受信部は同梱されてません）		全機種	CZ-10RWP2	3-3-102
	ワイヤレスリモコン受信部	別置きタイプ ㊜	全機種	CZ-10RWRC1A	3-3-97
	簡単リモコン		全機種	CZ-02RE4	3-3-113
S-LINK アダプター	室外機用		全機種	CZ-CAPSL1	3-5-1
	室内機用		全機種	CZ-CAPSL2	3-5-2

天井吊形

㊜受注生産品　㊖特注対応品

品　名			適用室内機	品　番	ページ
ドレン	本体内蔵ドレンアップキット ※1		P40～P63形	CZ-63DMTA	2-10-21
			P71～P160形	CZ-160DMTA	
外気取入	丸合フランジ ※4	（φ100）	全機種	CZ-DA100	2-10-39
チャンバー取付フィルター	超ロングライフフィルター ㊜		P40～P56形	CZ-56LFT	2-10-4
			P63～P80形	CZ-80LFT	
			P112～P160形	CZ-160LFT	
	高性能フィルター SEK	比色法65% ㊜	P40～P56形	CZ-56MFT	2-10-2
			P63～P80形	CZ-80MFT	
			P112～P160形	CZ-160MFT	
	フィルターチャンバー ㊜		P40～P56形	CZ-56FBCT	2-10-8
			P63～P80形	CZ-80FBCT	
			P112～P160形	CZ-160FBCT	
グリル取付フィルター	オイルミストフィルター ㊜		P40～P56形	CZ-56FBT	2-10-16
			P63～P80形	CZ-80FBT	
			P112～P160形	CZ-160FBT	
カバー	背面カバー※2 ㊖		全機種	特注にて対応	ー
リモコン	多機能ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RT5	3-3-1
	ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RT3	3-3-44
	多言語対応ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RTF4	3-3-108
	ワイヤレスリモコン送信部（受信部は同梱されてません）		全機種	CZ-10RWP2	3-3-102
	ワイヤレスリモコン受信部	組込みタイプ	全機種	CZ-10RWRT1A	3-3-93
		別置きタイプ ㊜	全機種	CZ-10RWRC1A	3-3-97
	簡単リモコン		全機種	CZ-02RE4	3-3-113
	リモコン用コード（5m、10m、20m） ㊖		全機種	特注にて対応	ー
エコナビセンサー	エコナビセンサー	壁設置形	全機種	CZ-CSEN1	3-6-1
S-LINK アダプター	室外機用		全機種	CZ-CAPSL1	3-5-1
	室内機用		全機種	CZ-CAPSL2	3-5-2
分岐管 ※3	同時ツインP80～P160形：1個、同時ダブルツインP160形：3個必要です			CZ-160BK1	2-2-1
	同時ツインP224・P280形：1個必要です			CZ-300BK2	2-2-6
	同時トリプル用			APR-RTP280A	2-2-11

※1 本体内蔵ドレンアップキットにはL字配管が付属しています。
※2 丸合フランジ(外気取入用)と併用する場合は、背面カバーのダクトフランジ部をカットしてご使用ください。
※3 同時ダブルツインP224・P280形はCZ-300BK2：1個＋CZ-160BK1：2個必要です。
※4 外気導入量には制限がありますので、4章 「4-5 外気導入について」をご確認ください。

壁掛形

品　名		適用室内機	品　番	ページ
リモコン	多機能ワイヤードリモコン	全機種	CZ-10RT5	3-3-1
	ワイヤードリモコン	全機種	CZ-10RT3	3-3-44
	多言語対応ワイヤードリモコン	全機種	CZ-10RTF4	3-3-108
	ワイヤレスリモコン送信部	全機種	CZ-10RWP2	3-3-102
	簡単リモコン	全機種	CZ-02RE4	3-3-113
S-LINK アダプター	室外機用	全機種	CZ-CAPSL1	3-5-1
	室内機 内蔵用	全機種	CZ-CAPSLK	3-5-1
分岐管 ※1	同時ツインP80～P160形：1個、同時ダブルツインP160形：3個必要です		CZ-160BK1	2-2-1
	同時ツインP224・P280形：1個必要です		CZ-300BK2	2-2-6
	同時トリプル用		APR-RTP280A	2-2-11

※1 同時ダブルツインP224・P280形はCZ-300BK2：1個＋CZ-160BK1：2個必要です。

床置形

品名			適用室内機	品番	ページ
床置部材	木台		全機種	AD-NMN2333※2	2-12-1
リモコン	多機能ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RT5	3-3-1
	ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RT3	3-3-44
	多言語対応ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RTF4	3-3-108
	ワイヤレスリモコン送信部（受信部は同梱されていません）		全機種	CZ-10RWP2	3-3-102
	ワイヤレスリモコン受信部	別置タイプ	全機種	CZ-10RWRC1A	3-3-97
	簡単リモコン		全機種	CZ-02RE4	3-3-113
エコナビセンサー	エコナビセンサー		全機種	CZ-CSEN1	3-6-1
S-LINKアダプター	室外機用		全機種	CZ-CAPSL1	3-5-1
	室内機用		全機種	CZ-CAPSL2	3-5-2
分岐管※1	同時ツインP112～P160形：1個必要です			CZ-160BK1	2-2-1
	同時ツインP224・P280形：1個必要です			CZ-300BK2	2-2-6
	同時トリプル用			APR-RTP280A	2-2-11

※1　同時ダブルツインP224・P280形はCZ-300BK2：1個＋CZ-160BK1：2個必要です。
※2 AD品番はパナソニック リビング㈱ホームエンジニアリング社システム部材開発センター取扱い商品です。詳しくは、電話06-6908-5913へお問い合せください。

天吊形厨房用エアコン・高温吸込み対応

㊎受注生産品

品　名			適用室内機	品　番	ページ
フィルター	交換用フィルター（オイルミスト用50枚入）	厨房用	P80形	SPW-KF71	2-13-1
			P112・P140形	SPW-KF125	
		高温吸込み対応	P112形	SPW-KF71	—
			P140・P160形	SPW-KF125	
スポットダクト ＊			全機種	DKT-TKH1005	2-13-1
リモコン	多機能ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RT5	3-3-1
	ワイヤードリモコン		全機種	CZ-10RT3	3-3-44
	多言語対応ワイヤーリモコン		全機種	CZ-10RTF4	3-3-108
	ワイヤレスリモコン送信部（受信部は同梱されてません）		全機種	CZ-10RWP2	3-3-102
	ワイヤレスリモコン受信部	別置きタイプ ㊎	全機種	CZ-10RWRC1A	3-3-97
	簡単リモコン		全機種	CZ-02RE4	3-3-113
S-LINKアダプター	室外機用		全機種	CZ-CAPSL1	3-5-1
分岐管	同時ツインP160形：1個必要です			CZ-160BK1	2-2-1
	同時ツインP224・P280形：1個必要です			CZ-300BK2	2-2-6
	同時トリプル用			APR-RTP280A	2-2-11

＊スポットダクトは片側（左右どちらか）だけにも、左右両側にも取付けられます。 ● 室内機用S-LINKアダプターは、天吊形厨房用エアコン室内機には取り付けられません。

床置形（プレナム形/ダクト形）

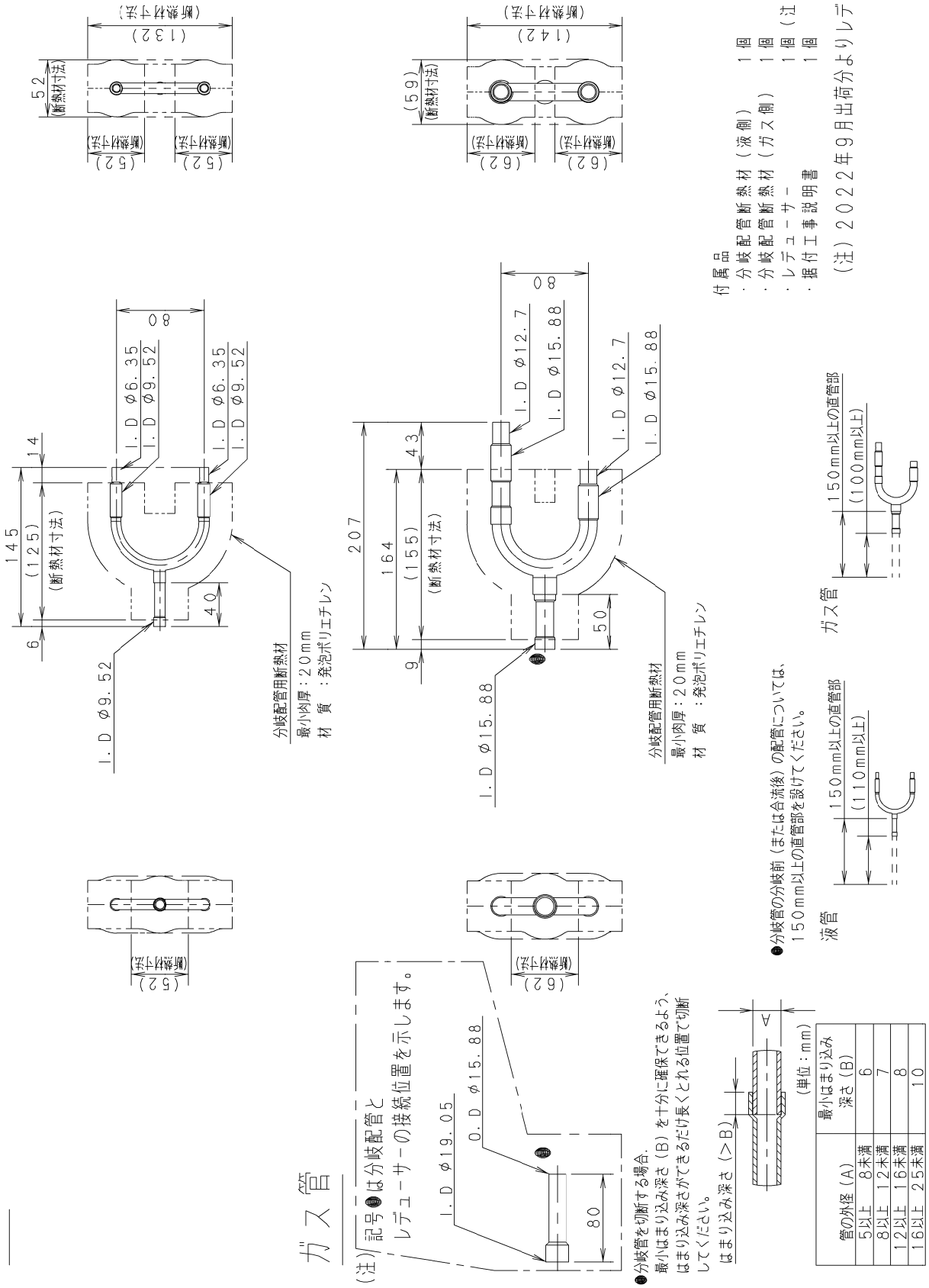
㊎受注生産品　㊊特注対応品

	プレナム形	ダクト形	品　名			適用室内機	品　番	ページ
パネル	—	○	前面閉塞用パネル 高性能・ロングライフフィルターと併用		㊊	P224形 P280形	特注にて対応	2-14-34
加湿	○	○	パン形加湿器	3.9kg/h	㊊	P224形		2-14-1
				5.2kg/h	㊊	P280形		
			自然気化式加湿器	3.0kg/h・4.5kg/h	㊊	P224形		2-14-8
				4.5kg/h・9.0kg/h	㊊	P280形		
吹出・吸込	—	○	吸込口ダクトフランジ 高性能・ロングライフフィルターと併用		㊊	P224形 P280形		2-14-33
フィルター	—	○	プレフィルター 内蔵形	重量法76%	㊊	P224形 P280形		2-14-19
			プレフィルター 内蔵形	重量法82%	㊊	P224形 P280形		
チャンバー取付フィルター	—	○	高性能フィルター	比色法65%	㊎	P224形	AFT-ME224E	2-14-22
						P280形	AFT-ME280E	
				比色法90%	㊎	P224形	AFT-HE224E	
						P280形	AFT-HE280E	
			ロングライフフィルター		㊎	P224形	AFT-LE224E	
						P280形	AFT-LE280E	
			フィルターチャンバー※1 （高性能フィルター・ロングライフフィルター用）		㊎	P224形	CMB-FE224E	
						P280形	CMB-FE280E	
S-LINK アダプター	○	○	室外機用			全機種	CZ-CAPSL1	3-5-1
			室内機用			全機種	CZ-CAPSL2	3-5-2

※1 フィルターチャンバーを取付ける場合は、配管は横接続となります。
（注）ダクト形は、数日間運転を行ってからファンベルトの張り具合を見てください。また、1ヶ月に1回を目安にファンベルトの張り具合を見てください。ファンベルトは適正な張り具合が必要です。
※操作部カバーはサービスパーツ設定となります。（サービスパーツ扱い）部品コード：CV6231295680）

■ 分岐管〈CZ-160BK1〉

● 外形寸法図



据付工事説明書

分岐配管セット

冷媒R410A・R32対応品

品番 CZ-160BK1

- 据付工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」「据付工事説明書　電気工事編」「据付工事説明書　試運転編」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に据え付けてください。
  特に「安全上のご注意」は、据え付け前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
- 「据付工事説明書」「据付工事説明書　電気工事編」「据付工事説明書　試運転編」は、この「据付工事説明書」とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

⃠ ■ 製品の改造は絶対にしない
修理はお買い上げの販売店にご相談ください　（故障や感電、火災の原因）

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

⚠ 注意

⃠ ■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 接続部から漏れた冷媒には直接さわらない
（凍傷の原因）

■ 切断後の端面にはバリ取りをするまで素手でさわらない（けがの原因）

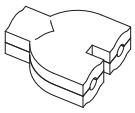
❗ ■ 冷媒配管の断熱は、室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」に従って確実に断熱する
（ただしく断熱されていないと、水漏れややけどの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

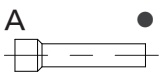
部品一覧（部品がそろっていることを確認してください。）　（単位：mm）

ガス管　記号 ● は分岐配管部とレデューサーの接続位置を示します　液管

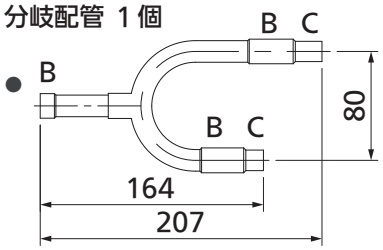
断熱材 1個



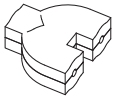
レデューサー 1個



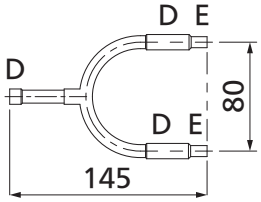
分岐配管 1個



断熱材 1個



分岐配管 1個



各部接続寸法（配管の内径を示す）

位置	A部	B部	C部	D部	E部
寸法	∅19.05	∅15.88	∅12.7	∅9.52	∅6.35

ACXF60-41406
PA1120-60723

ご注意　分岐方式等について

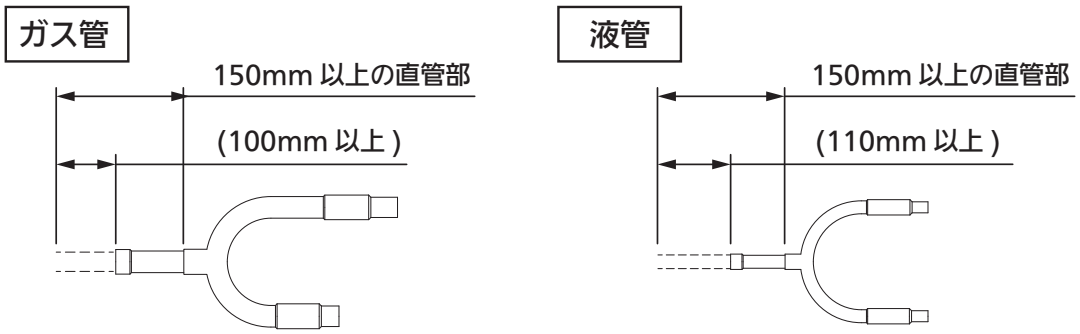
オフィス・店舗用（同時運転マルチ）の場合の分岐方式等について

- 配管の立ち上げ、立ち下げは、主配管部で行ってください。
- 分岐配管は水平に分岐するように取り付けてください。(下図参照)
  室内ユニットに膨張弁がなく分岐管による自然分配のため、傾けないでください。
- 分岐後の室内ユニット接続位置は、最大分岐配管長 15m 以内、最大分岐配管長差 10m 以内
  室内ユニット間最大高低差 0.5m 以内に設置してください。
- オフィス・店舗用(同時運転マルチ)の場合は、垂直使用はできません。

分岐配管の設置方法	ガス管	液管
水平	分岐配管  水平	分岐配管  水平

■ 据付要領

● 分岐管の分岐前（または合流後）の配管については、150mm以上（レデューサー長含む）の直管部を設けてください。

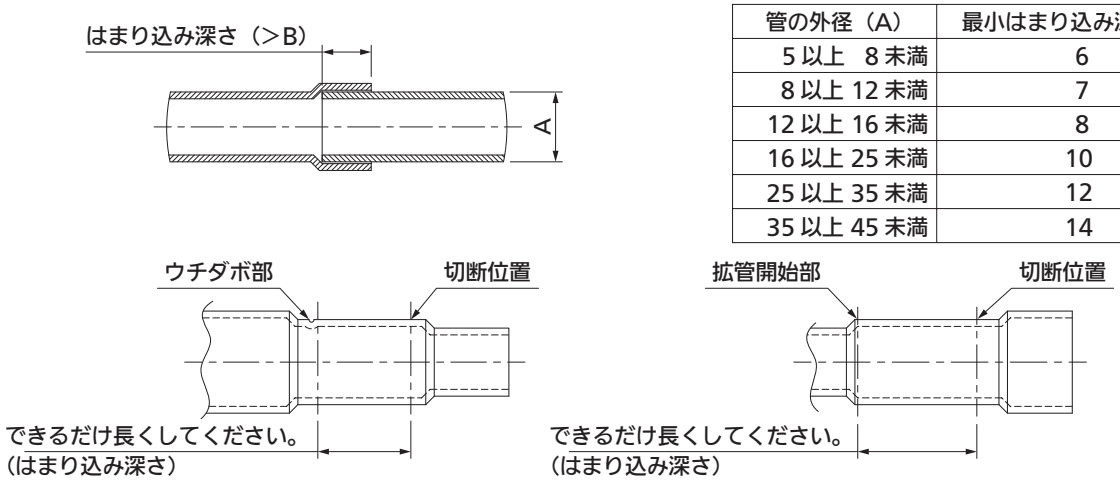


● 室内ユニットのトータル容量より選定された現地配管サイズに合わせたサイズ位置でパイプカッターにて切断してください。
サイズ選定は室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」を参照してください。
（先端サイズと同一の場合は切断する必要はありません。）

● 最小はまり込み深さ（B）を十分に確保できるよう、はまり込み深さができるだけ長くとれる位置で切断してください。

（単位：mm）

管の外径（A）	最小はまり込み深さ（B）
5 以上　8 未満	6
8 以上 12 未満	7
12 以上 16 未満	8
16 以上 25 未満	10
25 以上 35 未満	12
35 以上 45 未満	14



注1）配管が変形するような無理な切断はしないでください。（接続配管が挿入できなくなります。）
注2）切断箇所によっては小型のパイプカッターが必要になります。

ご注意
パイプカッターによって誤った箇所に傷をつけた分岐配管は使用しないでください。

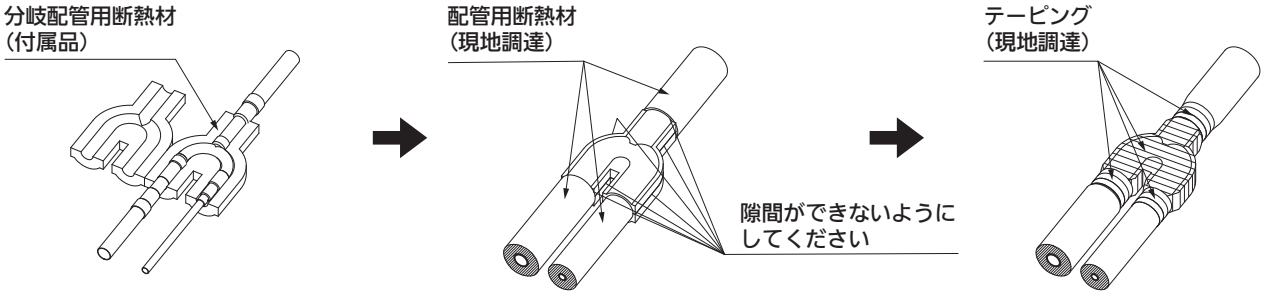
● パイプ切断後は必ずバリ取りを行い、正しい端面に仕上げてください。
● 分岐配管の内部にゴミ、異物などが無い事を確認してください。
● 分岐配管は水平または、垂直に取り付けてください。
● 本製品に同梱されているレデューサーを使用する場合は現地でろう付けしてください。

配管ろう付時の窒素置換のお願い

● 室外ユニットと室内ユニットの冷媒配管ろう付時に窒素置換をしなかった場合、酸化スケールが発生し、それらが電動弁、ストレーナ等を詰まらせ作動不良に至ります。
配管ろう付時には、必ず配管内の空気を窒素ガスに置き換え、酸化スケールによるトラブルの発生を未然に防止するようお願いします。

■配管の断熱

● 分岐配管に付属の断熱材を取り付け、現地施工配管にも断熱材（現地調達）を取り付けてください。
　このとき、分岐配管用断熱材と配管用断熱材は突き合わせて接合部に隙間ができないようにしてください。
● 断熱材の隙間から空気が入らないようにテーピング（現地調達）してください。



注）分岐配管の断熱は、付属の断熱材を使用してください。
　（それ以外を使用する場合には、耐熱温度１２０℃以上のもので必ず断熱してください。）

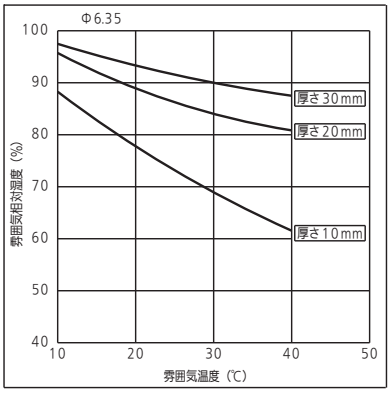
● 断熱材の選定目安
高温多湿の環境下では、断熱材表面が結露しやすく、水漏れ、露たれの原因になることがあります。
断熱材の選定は、下図を目安として選定してください。
雰囲気温度・相対湿度が、断熱厚さの線より上に位置する場合、断熱材表面に結露することがあります。
その場合は、さらに断熱効果のあるものを選定してください。

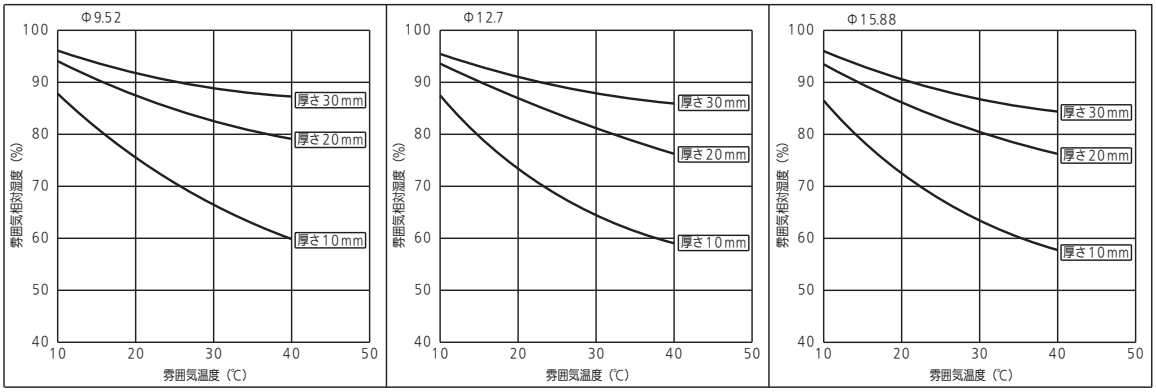
※ ただし、断熱材種類や設置場所の環境条件等によって状況が異なりますので、選定の際の目安として使用してください。

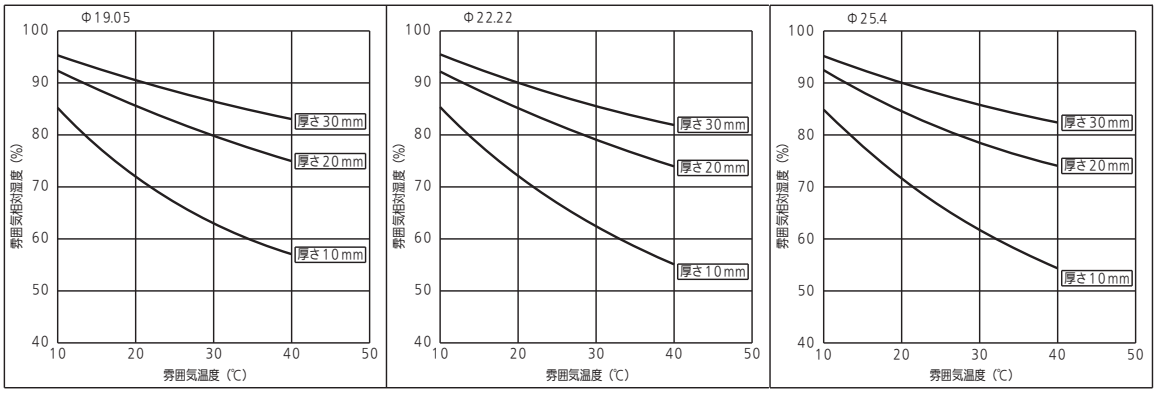
配管断熱選定の目安

計算条件

断熱材種類	：	ポリエチレンフォーム保温材
断熱材の熱伝導率	：	JIS A 9501 に準ずる
厚さの算出に使用した計算式	：	JIS A 9501 に準ずる
冷媒温度	：	2℃

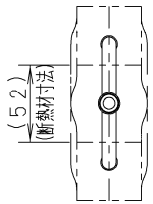


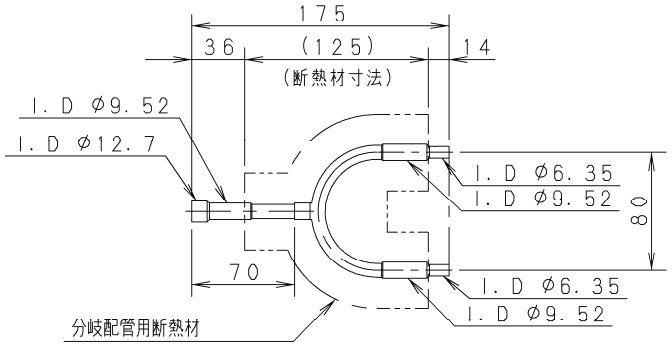




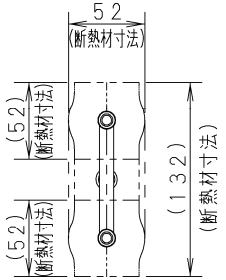
■分岐管〈CZ-300BK2〉
●外形寸法図

液管



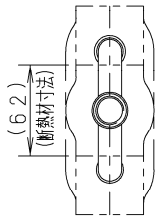


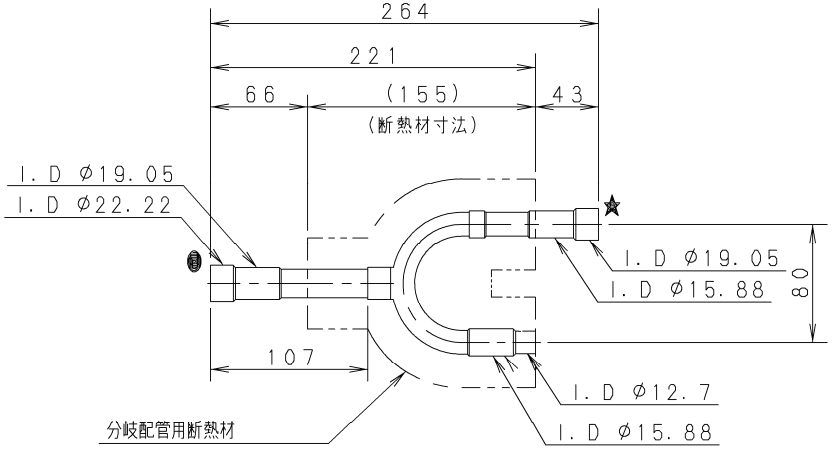
最小肉厚：20mm
材　質　：発泡ポリエチレン



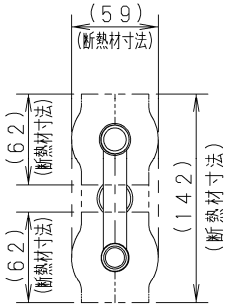
ガス管

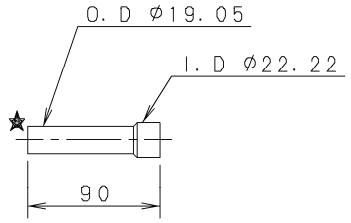
記号★●は分岐配管各部と
各レデューサーの接続位置を示します。

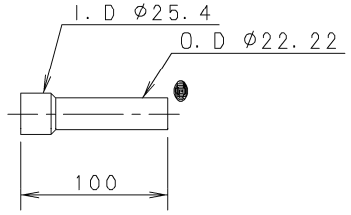




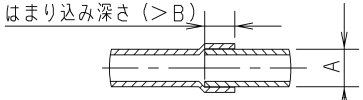
最小肉厚：20mm
材　質　：発泡ポリエチレン







●分岐管を切断する場合.
最小はまり込み深さ（B）を十分に確保できるよう、はまり込み深さができるだけ長くとれる位置で切断してください。

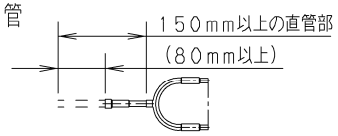


（単位：mm）

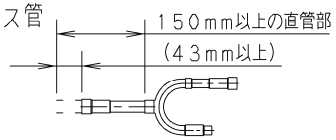
管の外径（A）	最小はまり込み深さ（B）
5以上　8未満	6
8以上　12未満	7
12以上　16未満	8
16以上　25未満	10

●分岐管の分岐前（または合流後）の配管については、150mm以上の直管部を設けてください。

液管



ガス管



付属品

・分岐配管用断熱材（液側）	1個
・分岐配管用断熱材（ガス側）	1個
・レデューサー（ガス側）	2個
・据付工事説明書	1個

据付工事説明書

分岐配管セット

冷媒R410A・R32対応品

品番 CZ-300BK2

- 据付工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」「据付工事説明書　電気工事編」「据付工事説明書　試運転編」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に据え付けてください。
  特に「安全上のご注意」は、据え付け前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
- 「据付工事説明書」「据付工事説明書　電気工事編」「据付工事説明書　試運転編」は、この「据付工事説明書」とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。	❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 製品の改造は絶対にしない
修理はお買い上げの販売店にご相談ください　（故障や感電、火災の原因）

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

⚠ 注意

■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 切断後の端面にはバリ取りをするまで素手でさわらない（けがの原因）

■ 冷媒配管の断熱は、室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」に従って確実に断熱する
（ただしく断熱されていないと、水漏れややけどの原因）

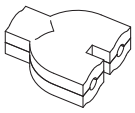
■ 接続部から漏れた冷媒には直接さわらない
（凍傷の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

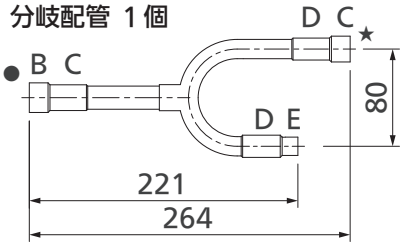
部品一覧（部品がそろっていることを確認してください。）　（単位：mm）

ガス管　記号 ● ★は分岐配管部とレデューサーの接続位置を示します　液管

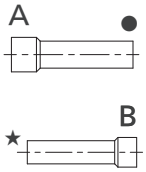
断熱材 1個



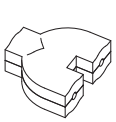
分岐配管 1個



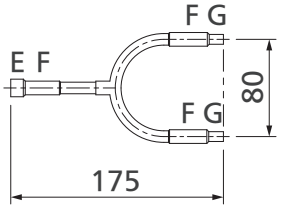
レデューサー 2個



断熱材 1個



分岐配管 1個



各部接続寸法（配管の内径を示す）

位置	A 部	B 部	C 部	D 部	E 部	F 部	G 部
寸法	∅25.4	∅22.22	∅19.05	∅15.88	∅12.7	∅9.52	∅6.35

ACXF60-48432
PA0622 - 30723

ご注意　分岐方式等について

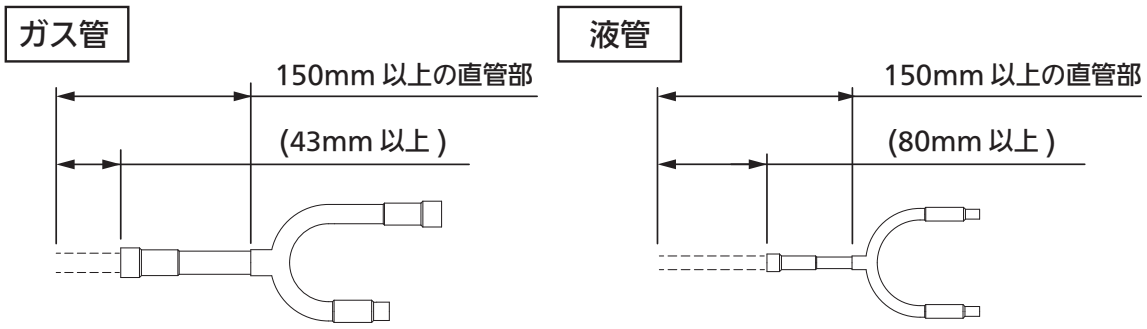
オフィス・店舗用（同時運転マルチ）の場合の分岐方式等について

- 配管の立ち上げ、立ち下げは、主配管部で行ってください。
- 分岐配管は水平に分岐するように取り付けてください。(下図参照)
  室内ユニットに膨張弁がなく分岐管による自然分配のため、傾けないでください。
- 分岐後の室内ユニット接続位置は、最大分岐配管長 15m 以内、最大分岐配管長差 10m 以内、
  室内ユニット間最大高低差 0.5m 以内に設置してください。
- オフィス・店舗用(同時運転マルチ)の場合は、垂直使用はできません。

分岐配管の設置方法	ガス管	液管
水平	分岐配管  水平	分岐配管  水平

■ 据付要領

● 分岐管の分岐前（または合流後）の配管については、150mm以上（レデューサー長含む）の直管部を設けてください。

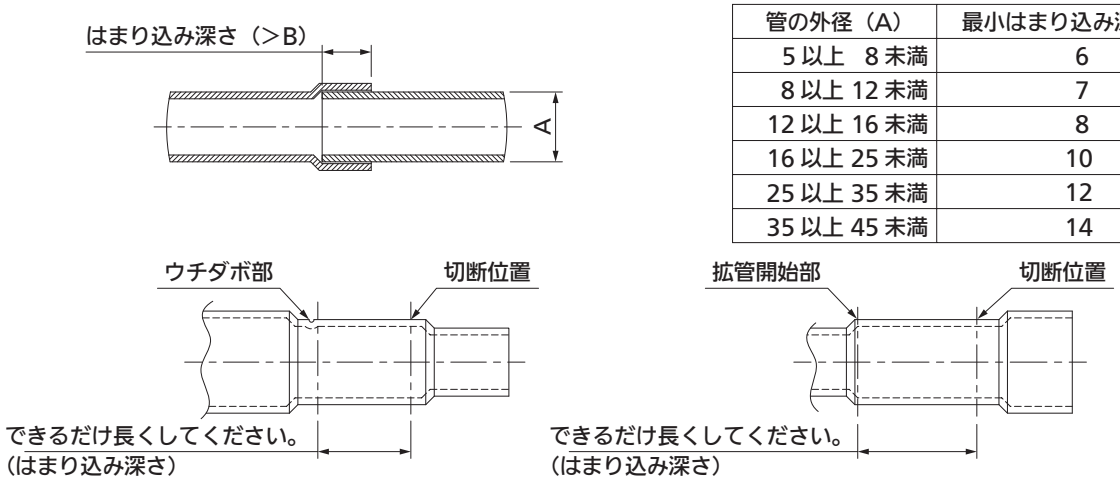


● 室内ユニットのトータル容量より選定された現地配管サイズに合わせたサイズ位置でパイプカッターにて切断してください。
サイズ選定は室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」を参照してください。
（先端サイズと同一の場合は切断する必要はありません。）

● 最小はまり込み深さ（B）を十分に確保できるよう、はまり込み深さができるだけ長くとれる位置で切断してください。

（単位：mm）

管の外径（A）	最小はまり込み深さ（B）
5 以上　8 未満	6
8 以上 12 未満	7
12 以上 16 未満	8
16 以上 25 未満	10
25 以上 35 未満	12
35 以上 45 未満	14



注1）配管が変形するような無理な切断はしないでください。（接続配管が挿入できなくなります。）
注2）切断箇所によっては小型のパイプカッターが必要になります。

ご注意
パイプカッターによって誤った箇所に傷をつけた分岐配管は使用しないでください。

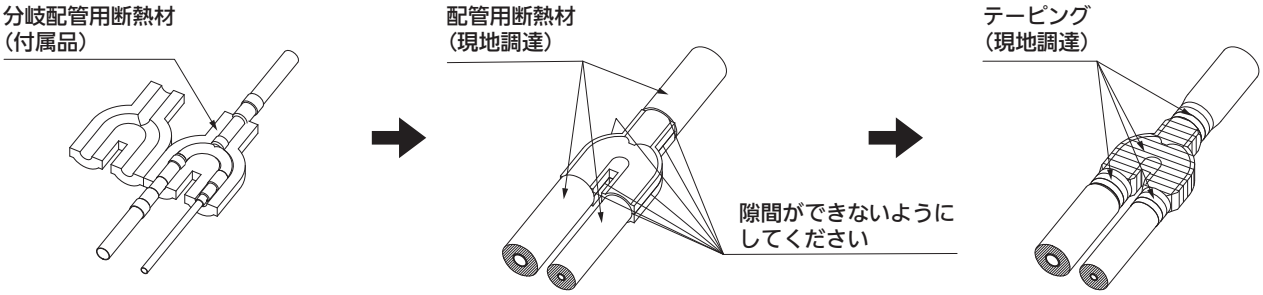
● パイプ切断後は必ずバリ取りを行い、正しい端面に仕上げてください。
● 分岐配管の内部にゴミ、異物などが無い事を確認してください。
● 分岐配管は水平または、垂直に取り付けてください。

配管ろう付時の窒素置換のお願い

● 室外ユニットと室内ユニットの冷媒配管ろう付時に窒素置換をしなかった場合、酸化スケールが発生し、それらが電動弁、ストレーナ等を詰まらせ作動不良に至ります。
配管ろう付時には、必ず配管内の空気を窒素ガスに置き換え、酸化スケールによるトラブルの発生を未然に防止するようお願いします。

■配管の断熱

● 分岐配管に付属の断熱材を取り付け、現地施工配管にも断熱材（現地調達）を取り付けてください。
　このとき、分岐配管用断熱材と配管用断熱材は突き合わせて接合部に隙間ができないようにしてください。
● 断熱材の隙間から空気が入らないようにテーピング（現地調達）してください。



注）分岐配管の断熱は、付属の断熱材を使用してください。
　（それ以外を使用する場合には、耐熱温度１２０℃以上のもので必ず断熱してください。）

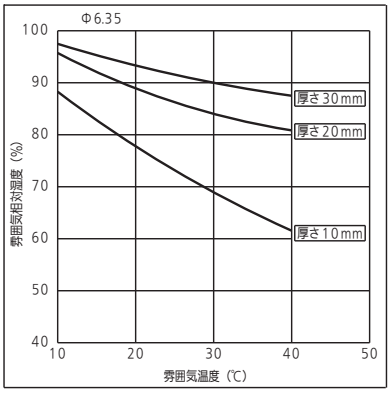
● 断熱材の選定目安
高温多湿の環境下では、断熱材表面が結露しやすく、水漏れ、露たれの原因になることがあります。
断熱材の選定は、下図を目安として選定してください。
雰囲気温度・相対湿度が、断熱厚さの線より上に位置する場合、断熱材表面に結露することがあります。
その場合は、さらに断熱効果のあるものを選定してください。

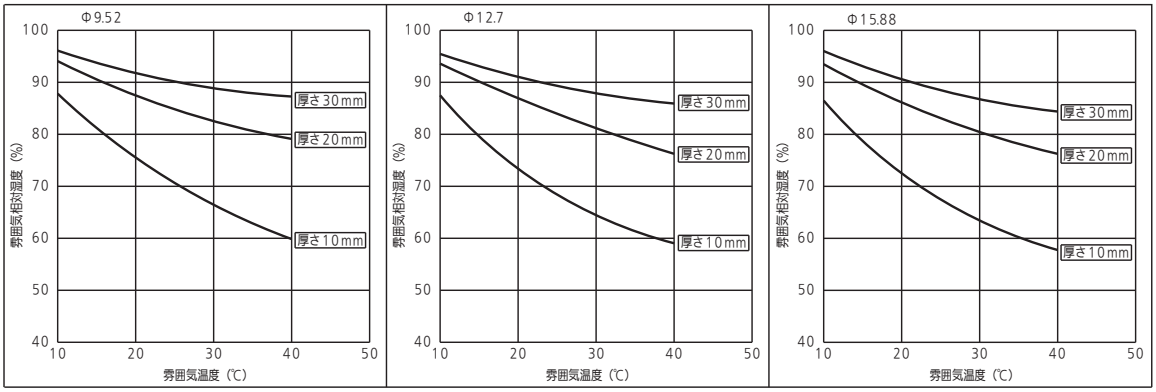
※ ただし、断熱材種類や設置場所の環境条件等によって状況が
　異なりますので、選定の際の目安として使用してください。

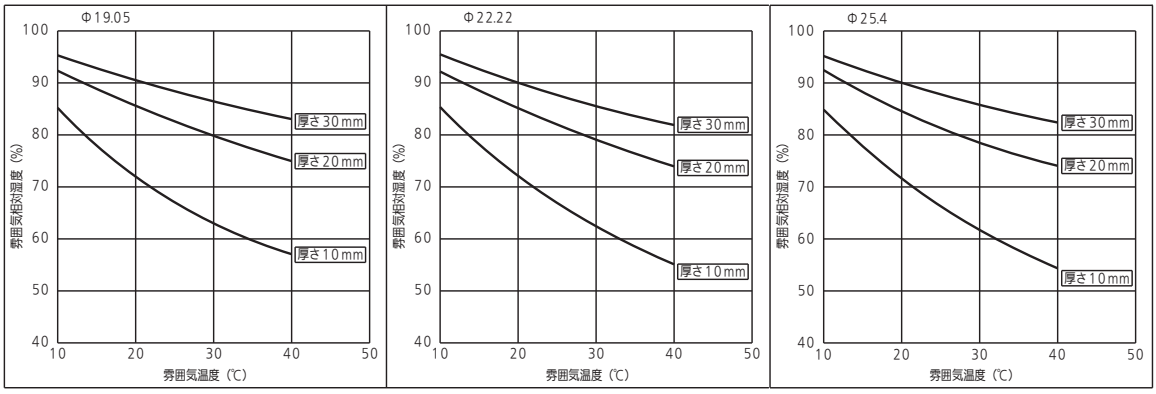
配管断熱選定の目安

計算条件

断熱材種類	：	ポリエチレンフォーム保温材
断熱材の熱伝導率	：	JIS A 9501 に準ずる
厚さの算出に使用した計算式	：	JIS A 9501 に準ずる
冷媒温度	：	2℃

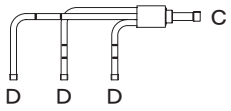




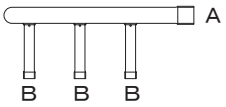


■ 分岐管〈APR-RTP280A〉

構成部品



1個
（液分岐管）



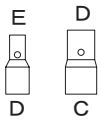
1個
（ガス分岐管）


1個
（液分岐管用断熱材）

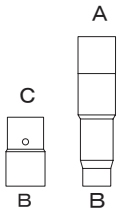

1個
（ガス分岐管用断熱材）

○ 各部接続寸法（配管の内径を示す）　（mm）

位　置	A　部	B　部	C　部	D　部	E　部
寸　法	φ25.4	φ15.88	φ12.7	φ9.52	φ6.35



3個　1個
（液管側異径継手）

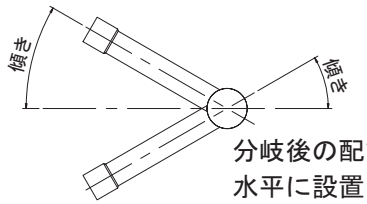


3個　1個
（ガス管側異径継手）

分岐管据付要領

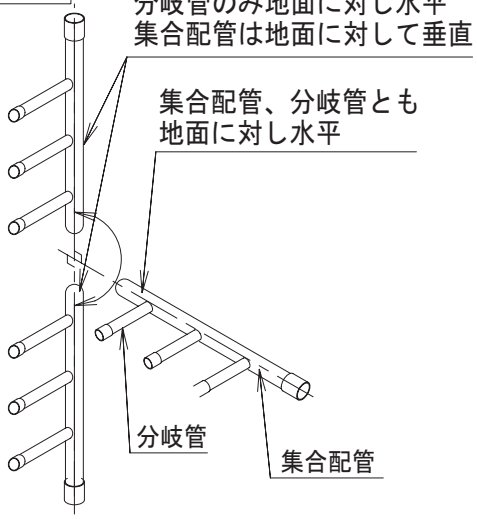
分岐後の配管が水平になるように設置してください。

＜分岐管の取り付け姿勢＞

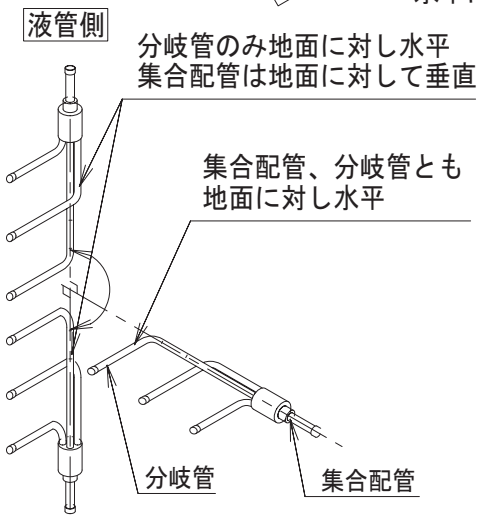


分岐後の配管は必ず
水平に設置してください。

ガス管側

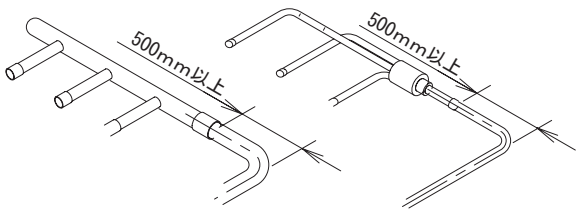


液管側



＜分岐管主配管側ストレート部分の長さ規制＞

分岐管の主配管側は、500mm以上の直管部
を設けてください。（ガス管、液管側とも）



配管断熱

配管断熱は必ずガス管側、液管側の両方とも実施してください。
天井内の雰囲気によっては、断熱材に露がつく場合があります。
天井内が高温多湿になることが予想される場合には、付属の
断熱材にさらにグラスウール（16～20kg／m^3、厚さ10mm以上）
を追加して十分な断熱を行ってください。

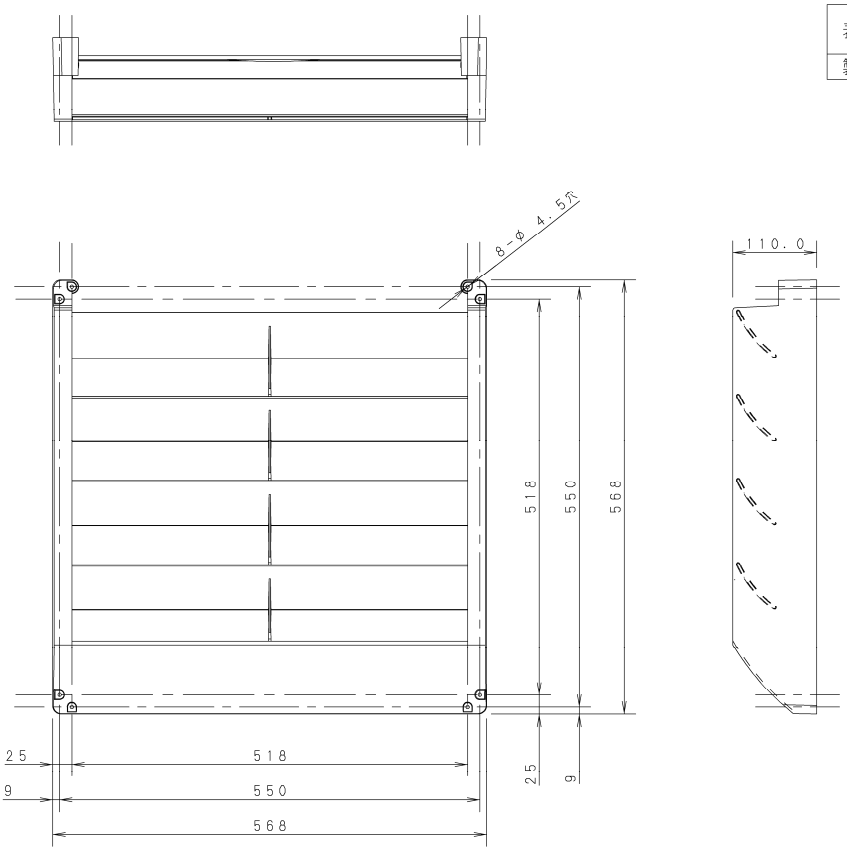
配管ろう付け時の窒素置換のお願い

室外機と室内機の冷媒配管ろう付け時に窒素置換をしなかった場合、酸化スケールが発生し、それらが
電動弁・ストレーナ等を詰まらせ作動不良に至ります。
従って、配管ろう付け時には必ず配管内の空気を窒素ガスに置き換え、酸化スケール
によるトラブルの発生を未然に防止するようお願いします。

■風向ガイド〈CZ-56AGT5〉　適用機種… CU-P40 ～ P80H7ZB / P40 ～ P80H7SZB

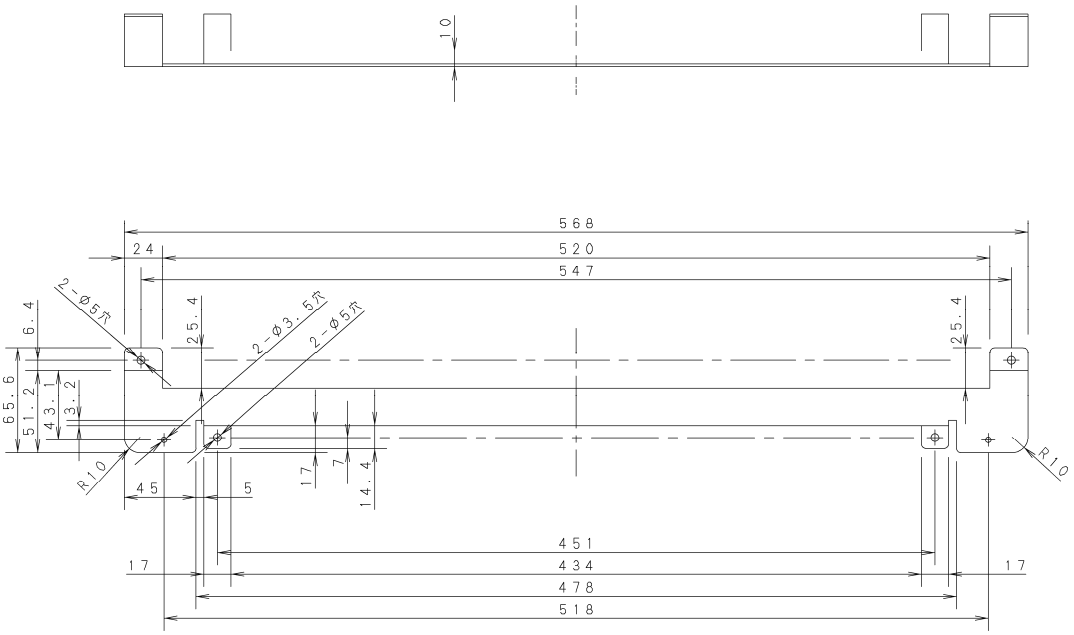
●外形寸法図（風向ガイド）

表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2．6Y　7．6/1．1
製品質量	1．3kg

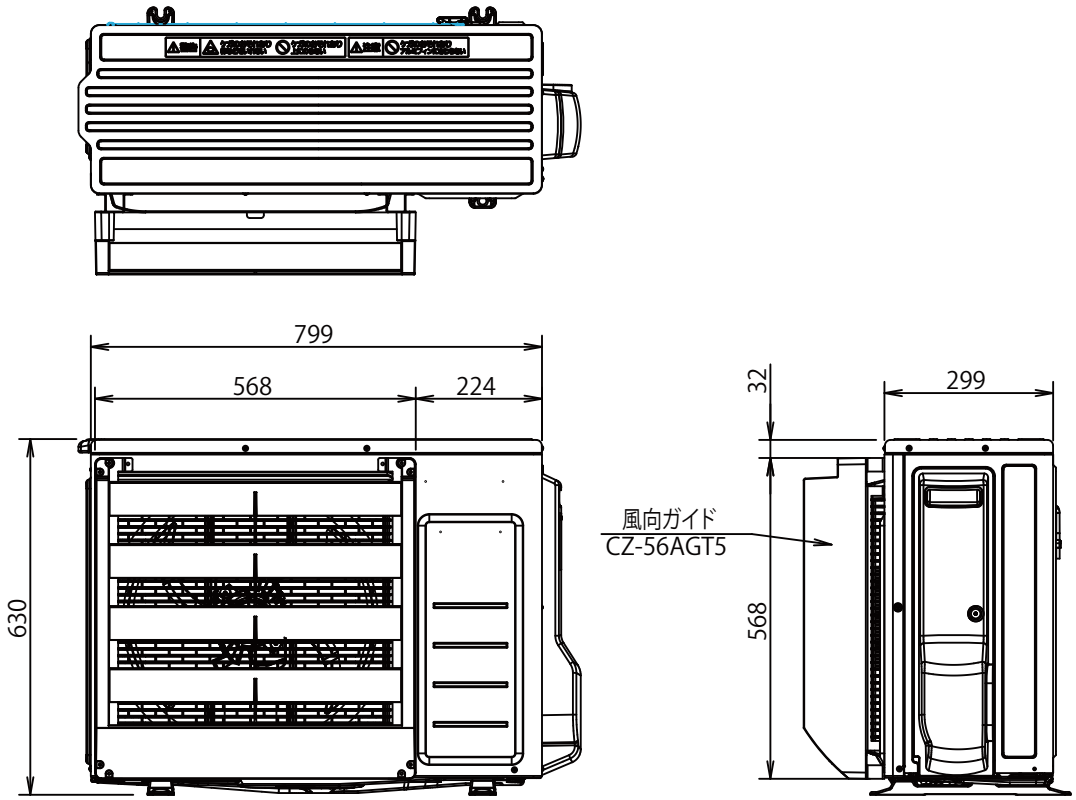


●外形寸法図（ガイド）

表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2．6Y　7．6/1．1
製品質量	0．3kg×2



● 部品取付図



〈CZ-56AGT5〉

風向ガイド
CZ-56AGT5
取付説明書

Panasonic

安全上のご注意

・取り付け前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

・取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
・施工完了後、本説明書をお客様で保管していただくよう依頼してください。

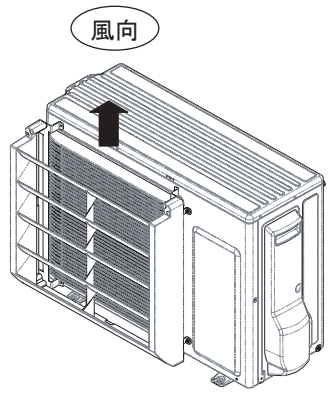
⚠ 警告	取り付けは販売店または専門業者に依頼のこと。 ご自分で取り付け工事をされると、作業不備などでけがの原因になります。
⚠ 注意	・取り付け工事は、この取付説明書にしたがって確実に行うこと。 取り付け不備等により、冷媒ガス漏れ、けがの原因になります。 ・付属品以外のネジを使用しないでください。室外ユニット内部を破損するおそれがあります。

取り付け上のご注意

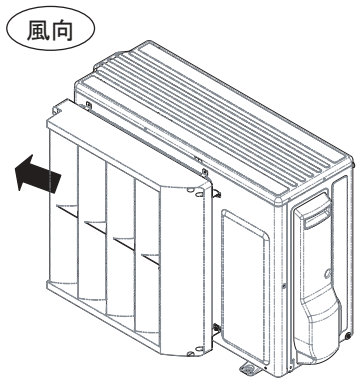
・ネジ全てを確実に締付けてください。ネジが緩んでいると振動により脱落や振動音の原因になります。
・ドリルで穴あけの際、ドリルの刃の長さを１６mm以下に調整してください。ドリルの刃が長すぎる場合、ユニット内部の熱交換器と配線を破損するおそれがあります。
・強風や季節風が吹き込むようなところでの取り付けはさけてください。機器の運転に悪影響をきたします。
・積雪地域での取り付けはさけてください。雪が吹出口に溜まり、故障の原因になります。
・油類(機械油)、塩分(海岸地方)、硫化ガスなどの多いところでの取り付けはさけてください。発錆腐食のおそれがあります。
・吹出方向を下向きに取り付けないでください。空気抵抗が増大して室外ユニットが停止するおそれがあります。

1. 風向ガイドの吹出方向（上・左・右）

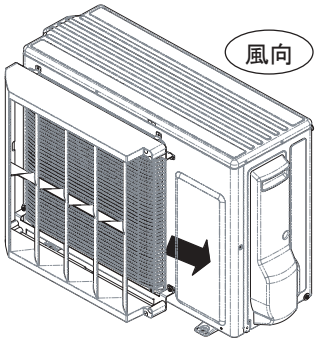
・風向ガイドは、吹出方向を上、左、右の３方向に変えられます。



上吹出しの場合



横吹出し（左側）の場合



横吹出し（右側）の場合

85465759635000

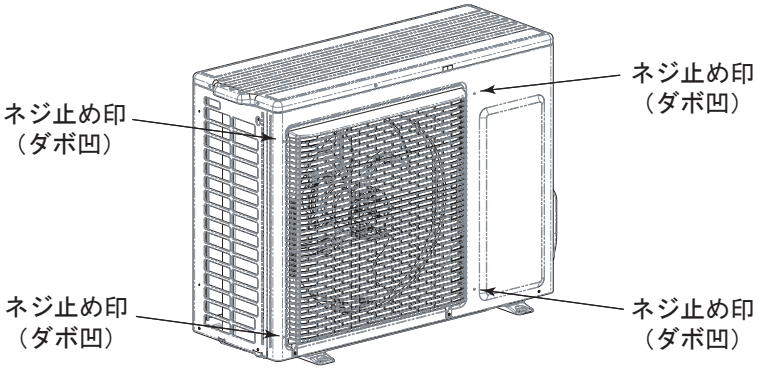
2. 付属部品

（取り付け前に次の部品が揃っていることを確認してください。）

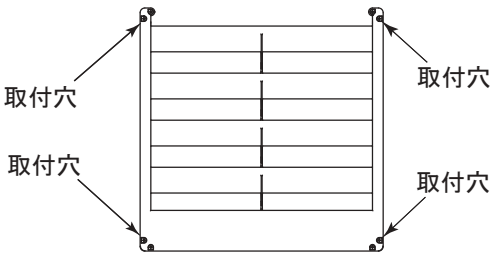
No.	名称	個数	No.	名称	個数
①	ガイド	2	④	丸ネジ	4
②	風向ガイド	1	⑤	取付説明書	1
③	六角ネジ	4			

3. 風向ガイドの取り付けかた

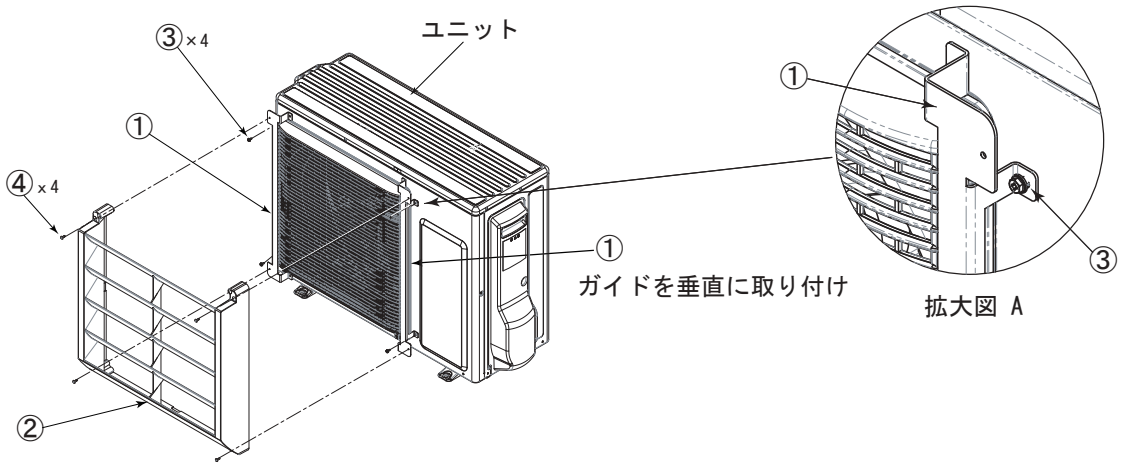
1）ガイド① 2 個を付属の六角ネジ(先端トガリ）③ 4 本により室外ユニットに取り付けます。（拡大図 A 参照）
　先に六角ネジ(先端トガリ）③のみで一度、仮締めを行い下穴を開けておくと、ガイドの締め付け作業が容易になります。
　または、取り付け穴をドリルであける場合はΦ３mmの下穴をあけてください。ドリルの刃の長さは１６mm以下に調整してください。
2）風向ガイド②を付属の丸ネジ④ 4 本によりガイド①に取り付けます。



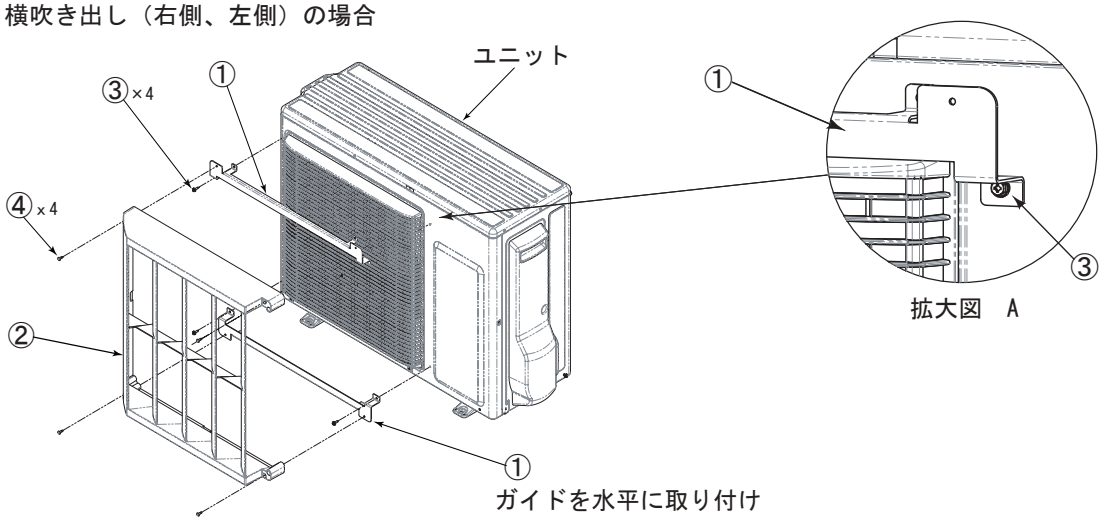
風向ガイドの取付穴位置



■ 上吹出しの場合

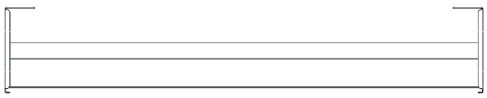


■ 横吹き出し（右側、左側）の場合



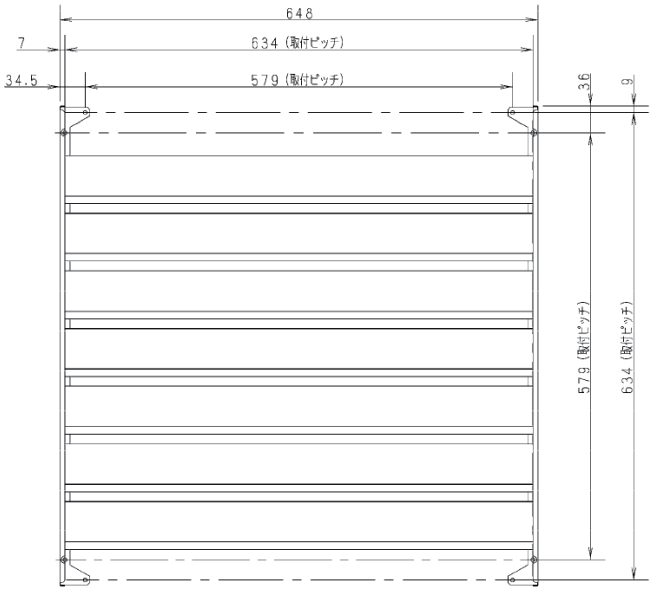
■風向ガイド〈CZ-80AGT7〉　適用機種… CU-P112 ～ P160H7ZB

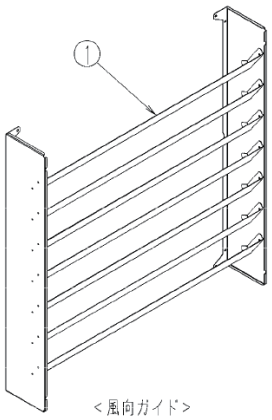
●外形寸法図（風向ガイド）



	同梱部品	個数	質量（kg）	板厚
①	風向ガイド	1	4．0	0．8

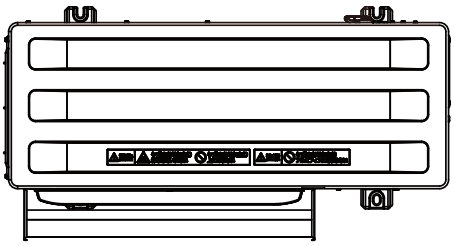
表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2．6Y　7．6/1．1

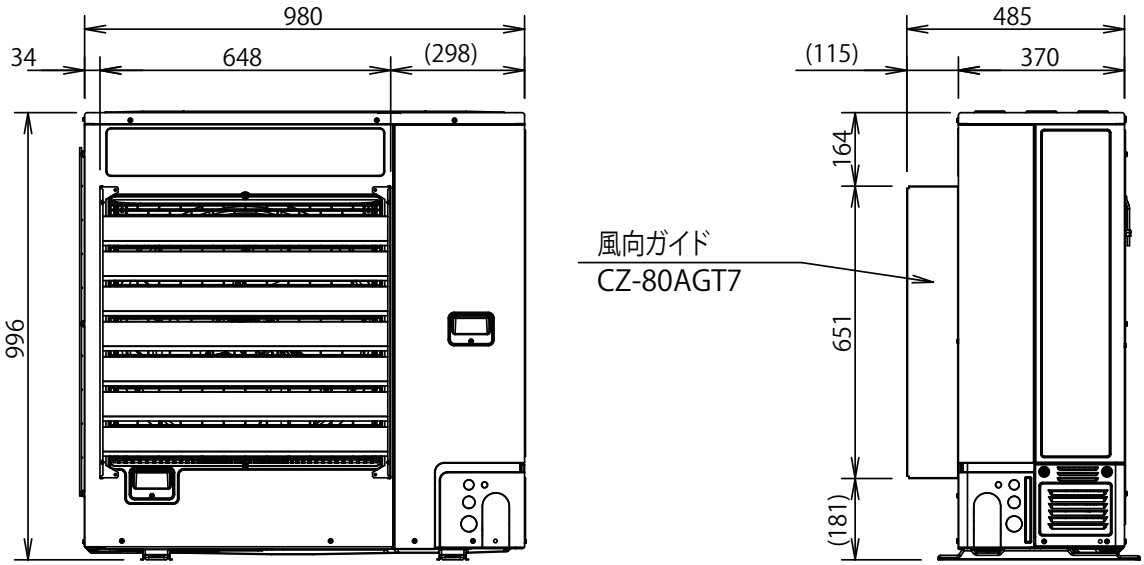




＜風向ガイド＞
組立　分解図

●部品取付図





〈CZ-80AGT7〉

Panasonic

据付工事説明書

風向ガイド

品番 CZ-80AGT7

●据付工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に据え付けてください。
　特に「安全上のご注意」は、据え付け前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
●室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」は、この「据付工事説明書」とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

⃠
- ■ 室外ユニットは、ベランダの手すり近くに設置しない
  （お子様が上に登り、手すりを越えるなどして落下のおそれ）
- ■ 室外ユニットの上に乗ったり物をのせたりしない
  （転落、落下など事故の原因）
- ■ 製品の改造は絶対にしない
  （修理はお買い上げの販売店にご相談ください。故障や感電、火災の原因）

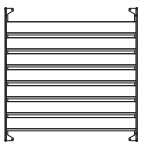
❗
- ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
  （ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- ■ 付属品は当社指定の部品を使用する
  （指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）
- ■ 台風などの強風・地震などに備え所定の工事を行う
  （転倒などによる、けがの原因）
- ■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
  据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられるところに確実に行う
  （ユニットの落下による、けがの原因）

⚠注意

⃠
- ■ 室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない
  （けがの原因）
- ■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）
- ■ 接続部から漏れた冷媒には直接さわらない
  （凍傷の原因）
- ■ 据え付けは、一人では行わない
  （けがの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

付属品（付属品を参照し、部品がそろっていることを確認してください。）
※ファンが2個のユニットに取り付ける場合、本品が2組必要となります。



×1個
風向ガイド



×4個
① M4×12
十字穴付六角ネジ

ACXF60-46761
PA0222-10723

■取付方法

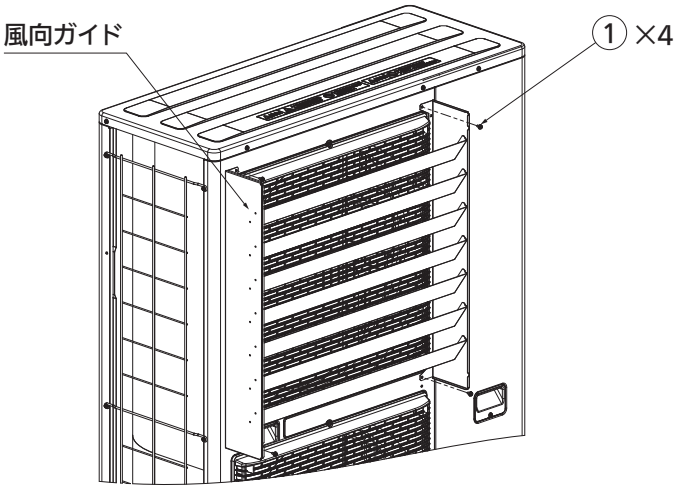
必ず付属品のネジを使用してください。 紛失した場合、下記部品コードより手配ください。

①M4ネジ：CV6231327862

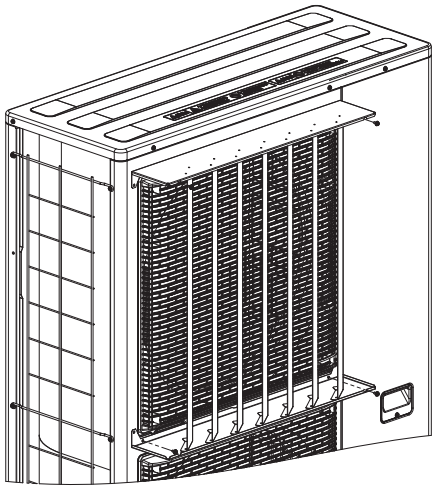
図示のネジ番号は付属品のネジ番号を表しています。

1.上側の風向ガイドの取り付け

上側の風向ガイドをユニットに①M4ネジで取り付けます。(4か所)



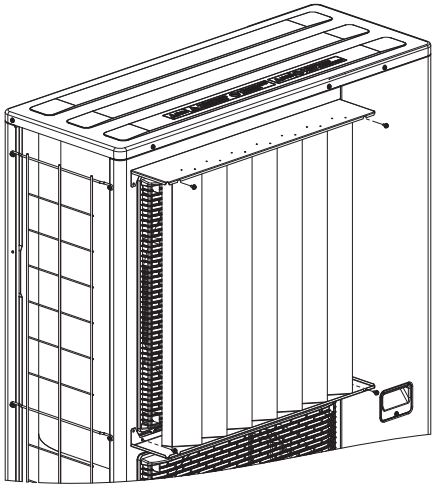
上吹き出しの場合



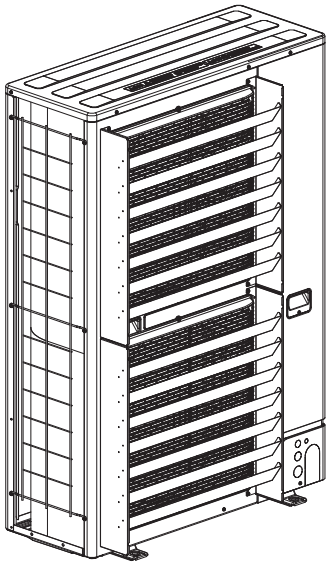
横吹き出し(左側)の場合

2.下側の風向ガイドの取り付け

同様に1の手順で下側の風向ガイドを取り付けます。

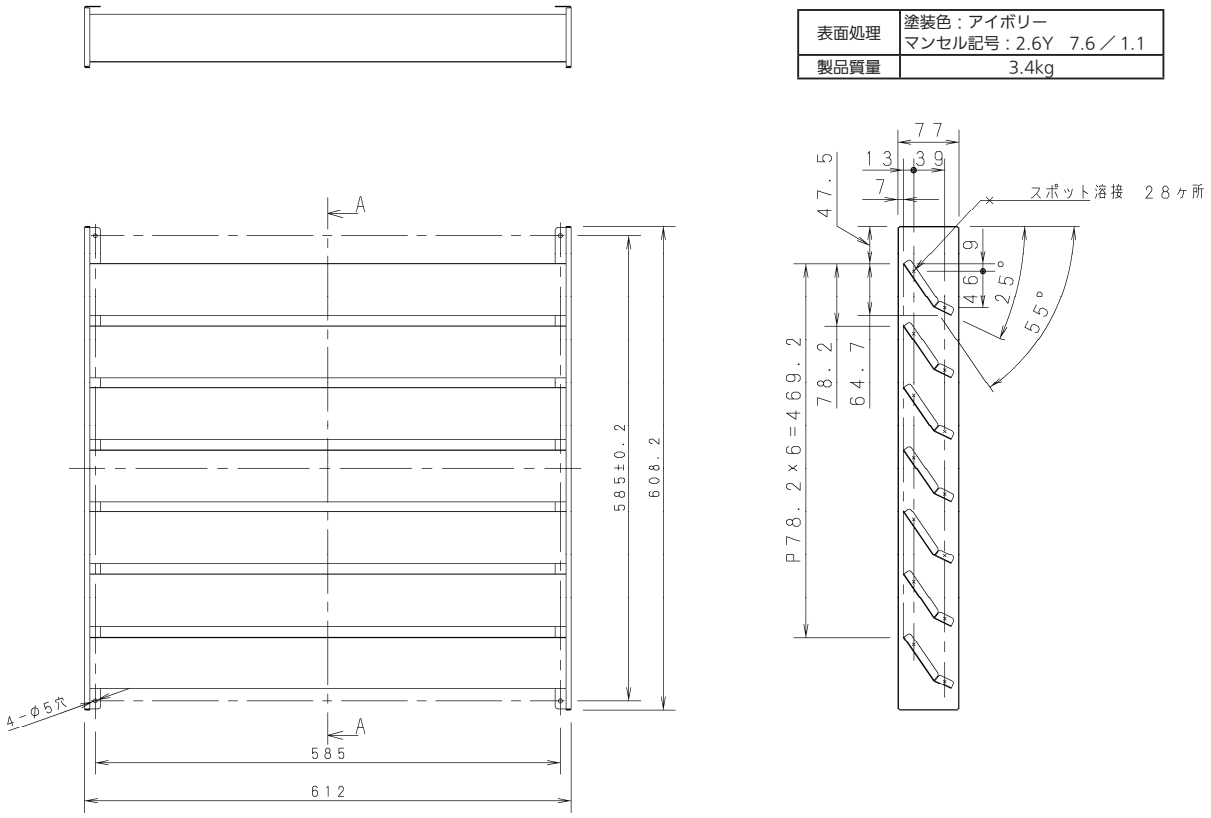


横吹き出し(右側)の場合

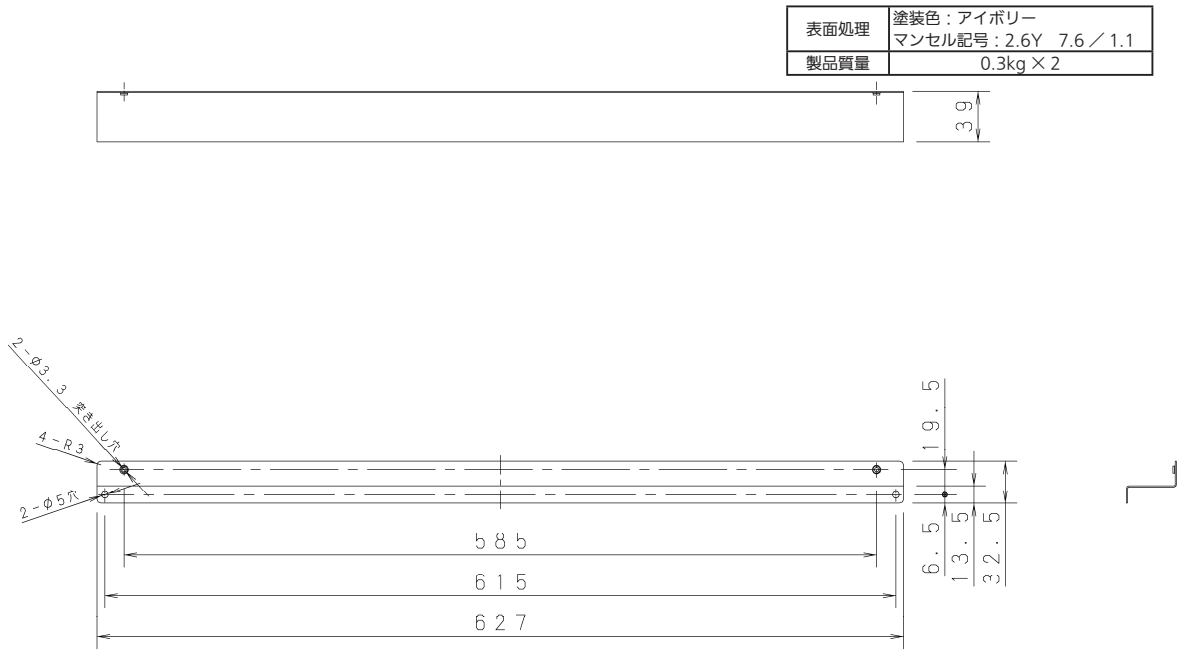


■風向ガイド〈AD-CZFGXH4F1〉　適用機種… CU-P224，P280H7ZB

●外形寸法図（風向ガイド）

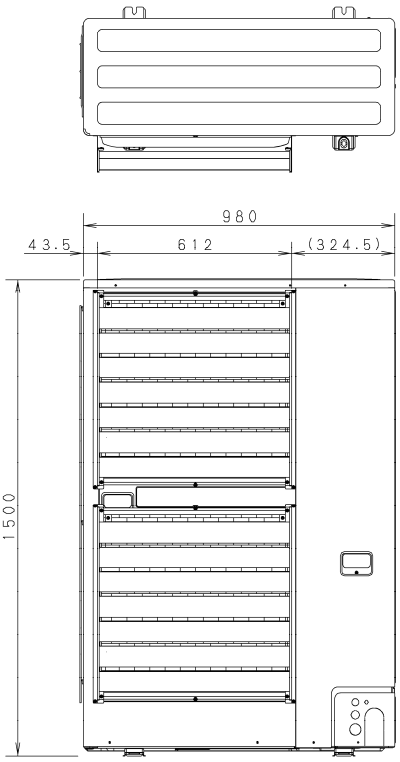


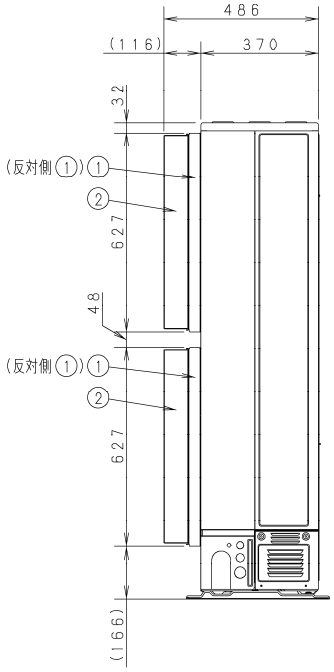
●外形寸法図（ガイド）



●部品取付図

①	ガイド	(AD-CZFGXH4F1)
②	風向ガイド組立	(AD-CZFGXH4F1)





〈AD-CZFGXH4F1〉

風向ガイド
AD-CZFGXH4F1
取付説明書

パナソニック ホームエンジニアリング株式会社
システム部材開発センター
〒540-6216 大阪市中央区城見 2-1-61
TEL.06-6942-6202 FAX.06-6966-5745

安全上のご注意

・取り付け前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

・取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
・施工完了後、本説明書をお客様で保管していただくよう依頼してください。

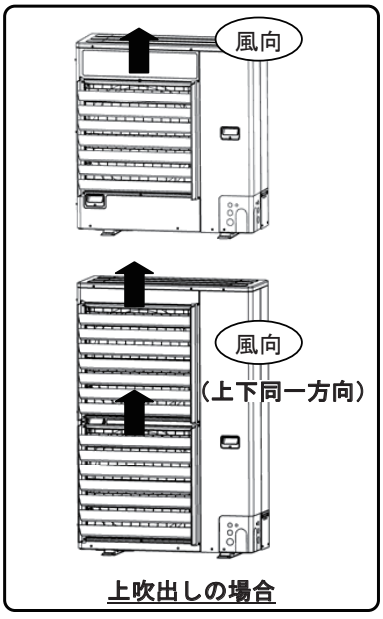
⚠ 警告	取り付けは販売店または専門業者に依頼のこと。 ご自分で取り付け工事をされると、作業不備などでけがの原因になります。
⚠ 注意	・取り付け工事は、この取付説明書にしたがって確実に行うこと。 取り付け不備等により、冷媒ガス漏れ、けがの原因になります。 ・付属品以外のネジを使用しないでください。室外ユニット内部を破損するおそれがあります。

取り付け上のご注意

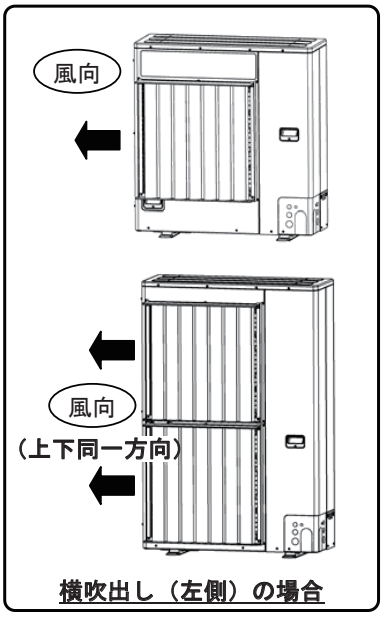
・ネジの締付けトルクは 1.5～2.5N・m（15～25kgf・cm）にて締付けてください。
ネジが緩んでいると振動により脱落や振動音の原因になります。
・強風や季節風が吹き込むようなところでの取り付けはさけてください。機器の運転に悪影響をきたします。
・積雪地域での取り付けはさけてください。雪が吹出口に溜まり、故障の原因になります。
・油類(機械油)、塩分(海岸地方)、硫化ガスなどの多いところでの取り付けはさけてください。
発錆腐食のおそれがあります。
・吹出方向を下向きに取り付けないでください。空気抵抗が増大して室外ユニットが停止するおそれがあります。

1. 風向ガイドの吹出方向（上・左・右）

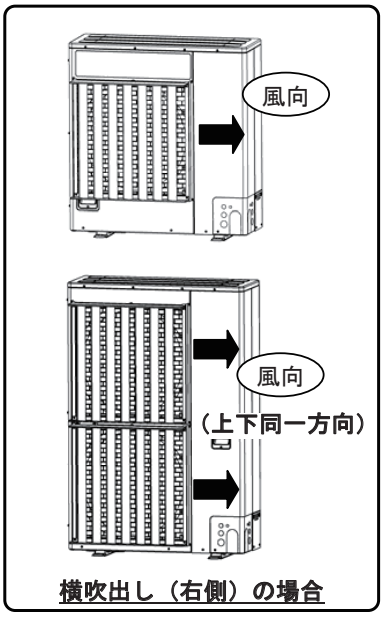
・風向ガイドは、吹出方向を上、左、右の３方向に変えられます。
※ファンが 2 個の室外ユニットに取り付ける場合、必ず上下の風向ガイドの風向は同一方向になるようにしてください。



上吹出しの場合



横吹出し（左側）の場合



横吹出し（右側）の場合

2. 付属部品

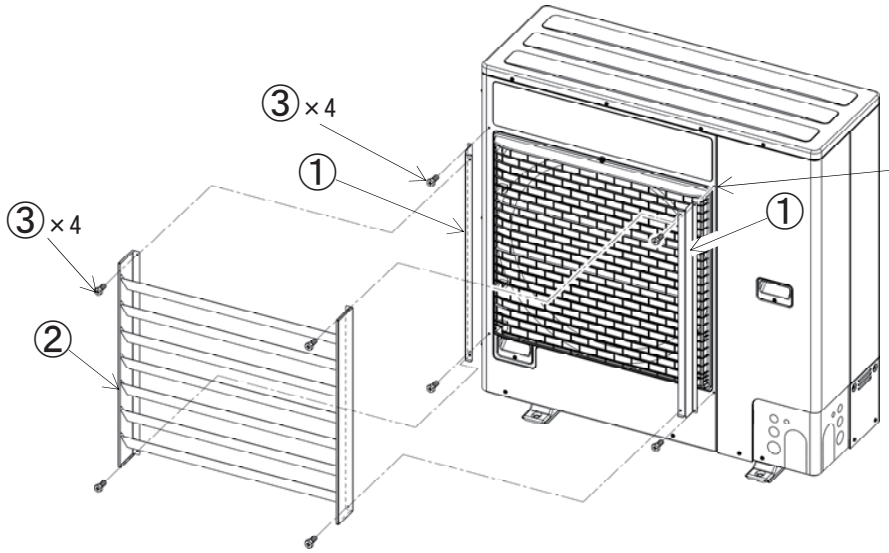
（取り付け前に次の部品が揃っていることを確認してください。）

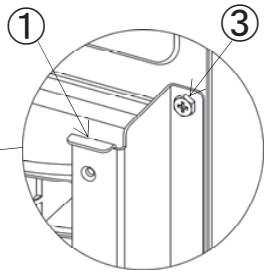
No.	名称	個数	No.	名称	個数
①	ガイド	2	③	六角ネジ	8
②	風向ガイド	1			

※ファンが 2 個の室外ユニットに取り付ける場合、本品が 2 組必要ですのでご注意ください。

3. 風向ガイドの取り付けかた（ファンが 1 個の室外ユニットの場合）

1）ガイド① 2 個を付属の六角ネジ③ 4 本により室外ユニットに取り付けます。（ガイド取り付け拡大図 A 参照）
2）風向ガイド②を付属の六角ネジ③ 4 本によりガイド①に取り付けます。

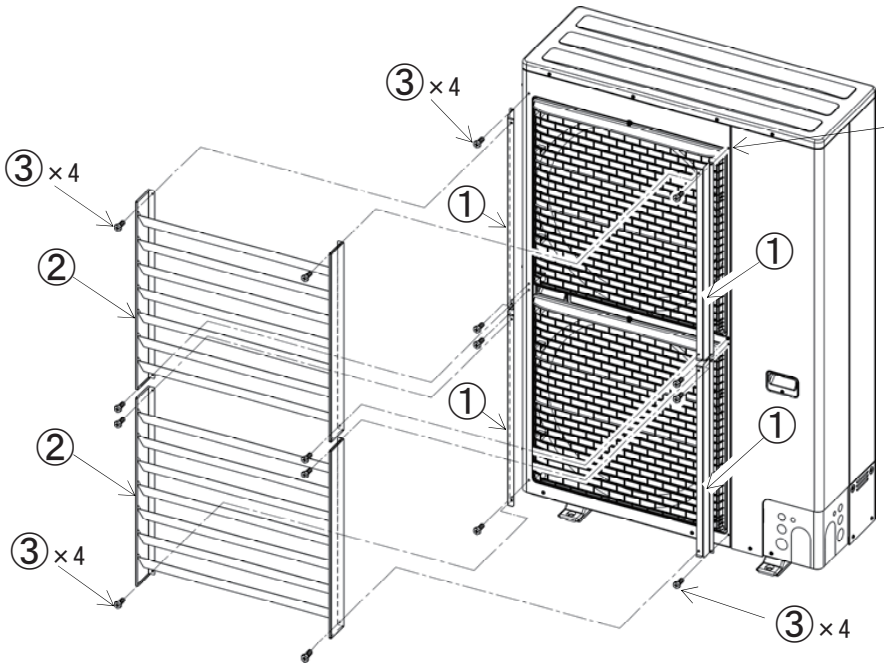


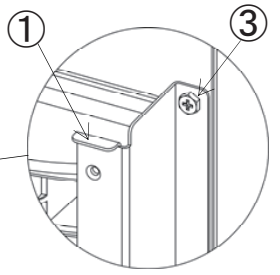


ガイド取り付け拡大図 A

4. 風向ガイドの取り付けかた（ファンが 2 個の室外ユニットの場合）

1）ガイド① 2 個を付属の六角ネジ③ 4 本により室外ユニットに取り付けます。（上下 2 箇所）（ガイド取り付け拡大図 B 参照）
2）風向ガイド②を付属の六角ネジ③ 4 本によりガイド①に取り付けます。（上下 2 箇所）



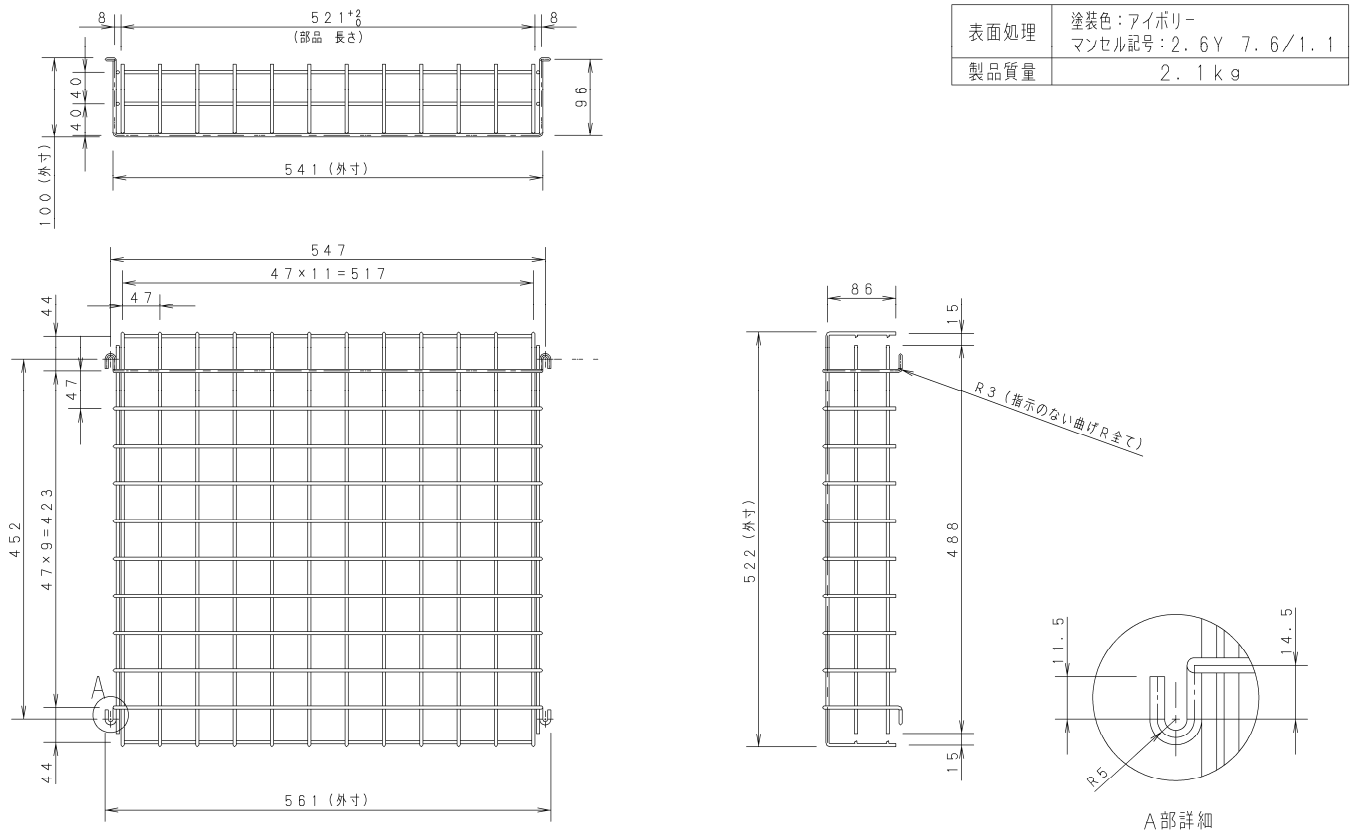


ガイド取り付け拡大図 B

■防護ネット〈CZ-56GE5〉　適用機種… CU-P40 ～ P80H7ZB / P40 ～ P80H7SZB

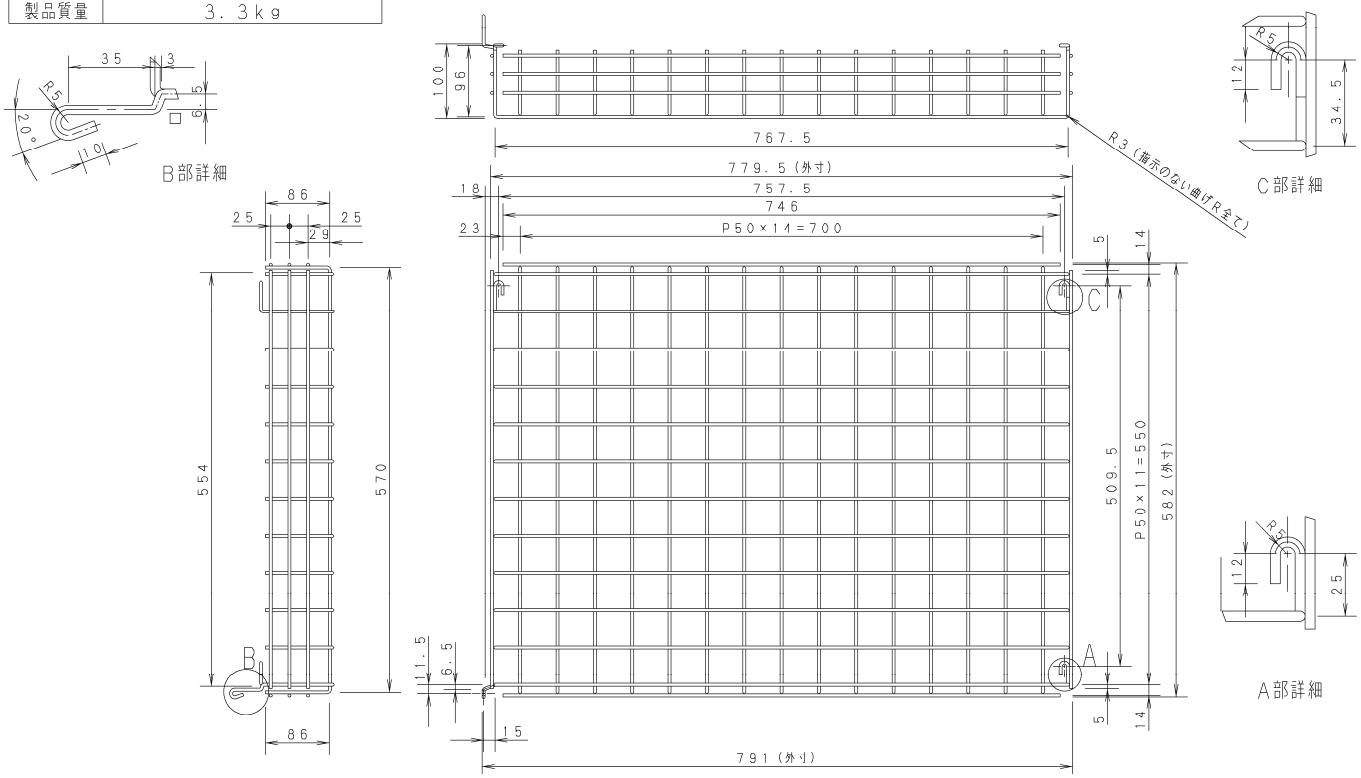
●外形寸法図（正面）

表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2．6Y　7．6／1．1
製品質量	2．1ｋｇ



●外形寸法図（背面）

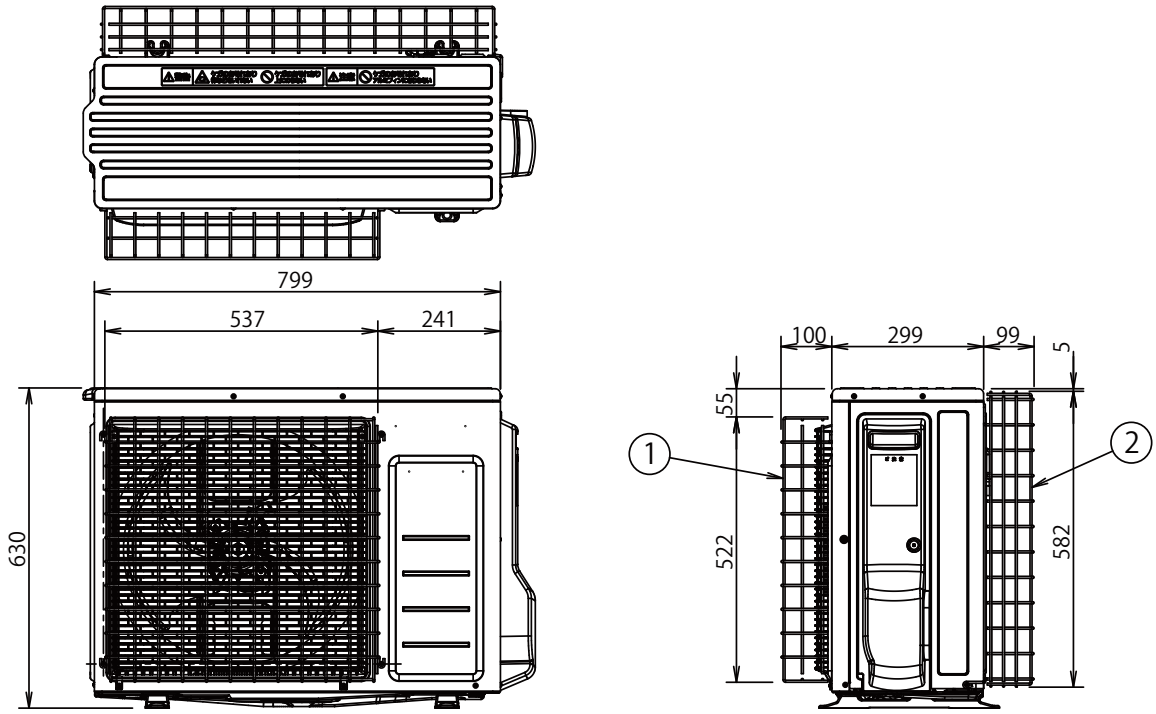
表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2．6Y　7．6／1．1
製品質量	3．3ｋｇ



〈CZ-56GE5〉

● 部品取付図

① 防護ネット正面
② 防護ネット背面



〈CZ-56GE5〉

防護ネット
CZ-56GE5
取付説明書

Panasonic

安全上のご注意

・取り付け前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

・取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
・施工完了後、本説明書をお客様で保管していただくよう依頼してください。

⚠ 警告	取り付けは販売店または専門業者に依頼のこと。 ご自分で取り付け工事をされると、作業不備などでけがの原因になります。
⚠ 注意	・取り付け工事は、この取付説明書にしたがって確実に行うこと。 取り付け不備等により、冷媒ガス漏れ、けがの原因になります。 ・付属品以外のネジを使用しないでください。室外ユニット内部を破損するおそれがあります。

取り付け上のご注意

・ネジ全てを確実に締付けてください。ネジが緩んでいると振動により脱落や振動音の原因になります。
・ドリルで穴あけの際、ドリルの刃の長さを１６mm以下に調整してください。ドリルの刃が長すぎる場合、ユニット内部の熱交換器と配線を破損するおそれがあります。
・油類(機械油)、塩分(海岸地方)、硫化ガスなどの多いところでの取り付けはさけてください。発錆腐食のおそれがあります。

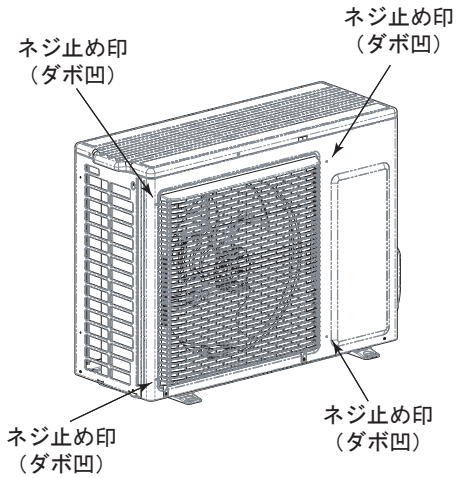
1. 付属部品

（取り付け前に次の部品が揃っていることを確認してください。）

No.	名称	個数	No.	名称	個数
①	前面用防護ネット	1	④	ワッシャー	8
②	背面用防護ネット	1	⑤	取付説明書	1
③	六角ネジ	8			

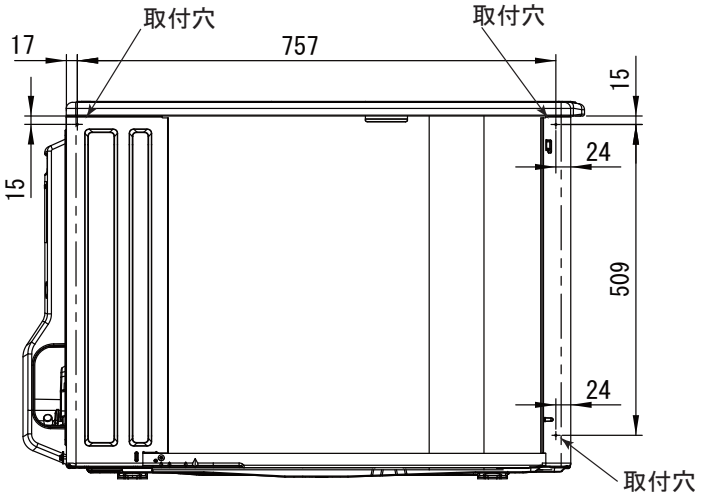
2. 取付穴位置

・前面用取付穴（4か所）



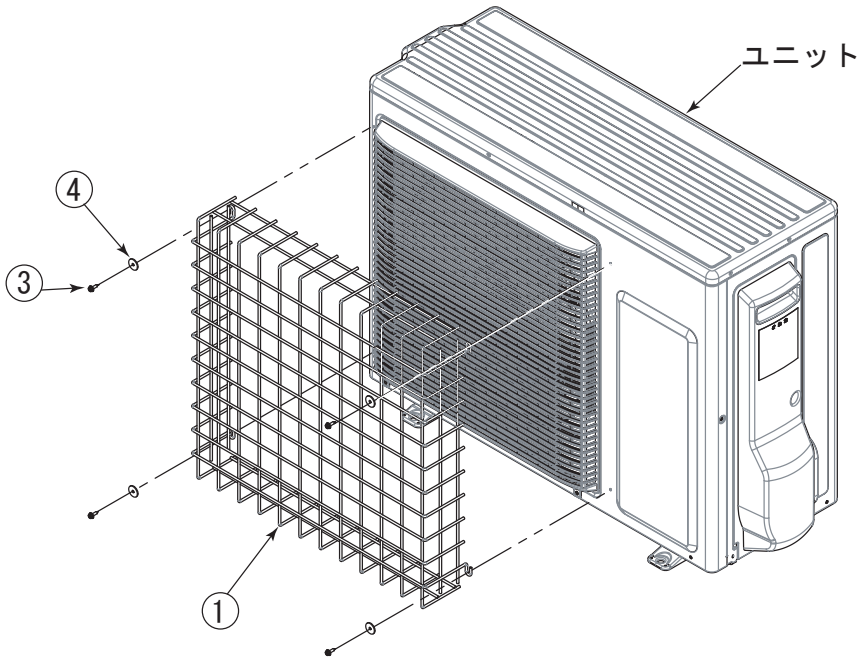
・背面用取付穴（3か所）

穴位置をユニットにケガキ(3か所）を付けてください。
ケガキに合わせて、ポンチなどでネジ止め印（ダボ凹）を付けてください。



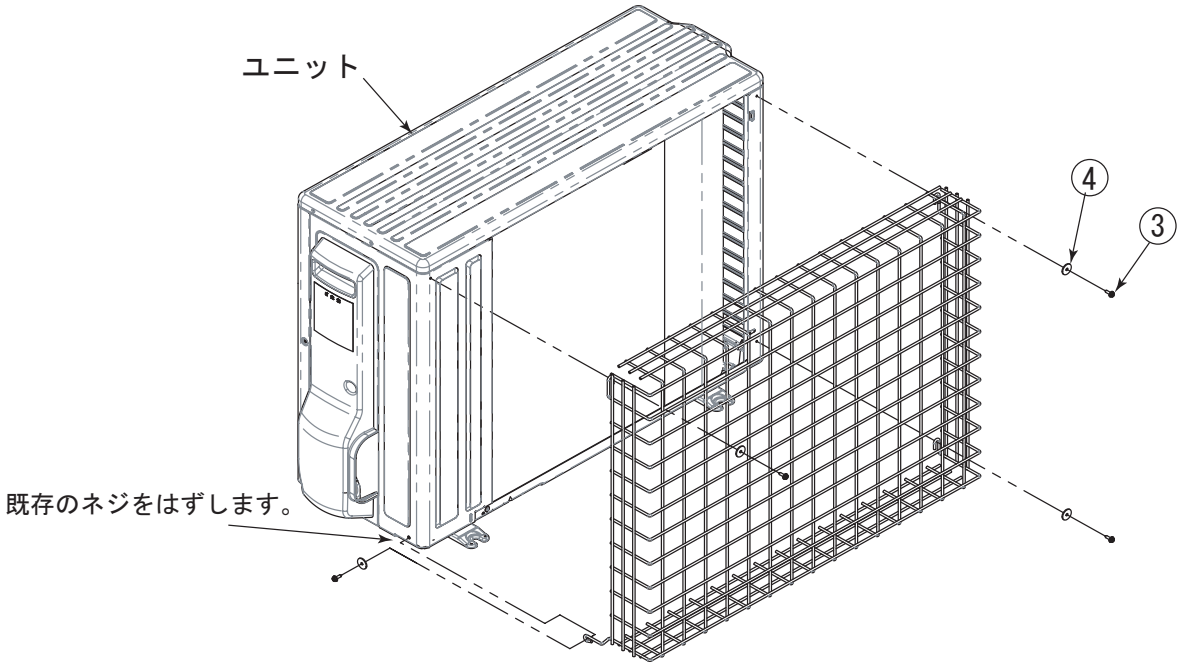
3. 前面用防護ネットの取り付けかた

1）前面用防護ネット① を付属の六角ネジ(先端トガリ）③４本とワッシャー④ 4個によりユニットに
取り付けます。
先に六角ネジ(先端トガリ）③のみで一度、仮締めを行い下穴をあけておくと、防護ネットの締め付け作業が容易になります。
または、取り付け穴をドリルであける場合はΦ３mmの下穴をあけてください。ドリルの刃の長さは１６mm以下に調整してください。



4 背面用防護ネットの取り付けかた

1）ユニット側面奥側のネジ１本をはずします。はずしたネジは使用しません。
2）背面用防護ネット② を付属の六角ネジ(先端トガリ）③４本とワッシャー④ 4個によりユニットに
取り付けます。
先に六角ネジ(先端トガリ）③のみで一度、仮締めを行い下穴をあけておくと、防護ネットの締め付け作業が容易になります。
または、取り付け穴をドリルであける場合はΦ３mmの下穴をあけてください。ドリルの刃の長さは１６mm以下に調整してください。



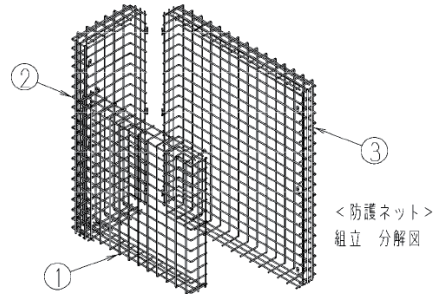
85465759638000

■防護ネット〈CZ-80GE7〉 適用機種… CU-P112 ～ P160H7ZB

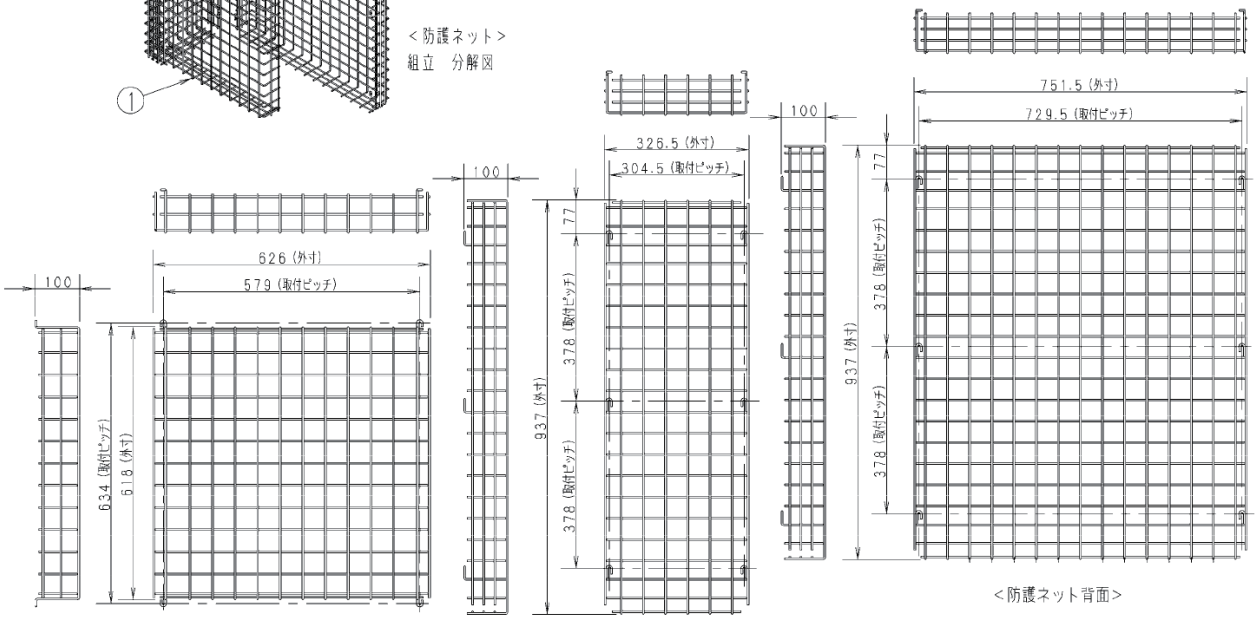
●外形寸法図

	同梱部品	個数	質量（kg）	線径
①	防護ネット正面	1	10.0	4.0
②	防護ネット側面	1		4.0
③	防護ネット背面	1		4.0

表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2.6Y 7.6/1.1



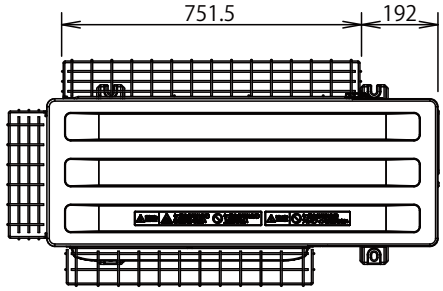
＜防護ネット＞
組立　分解図

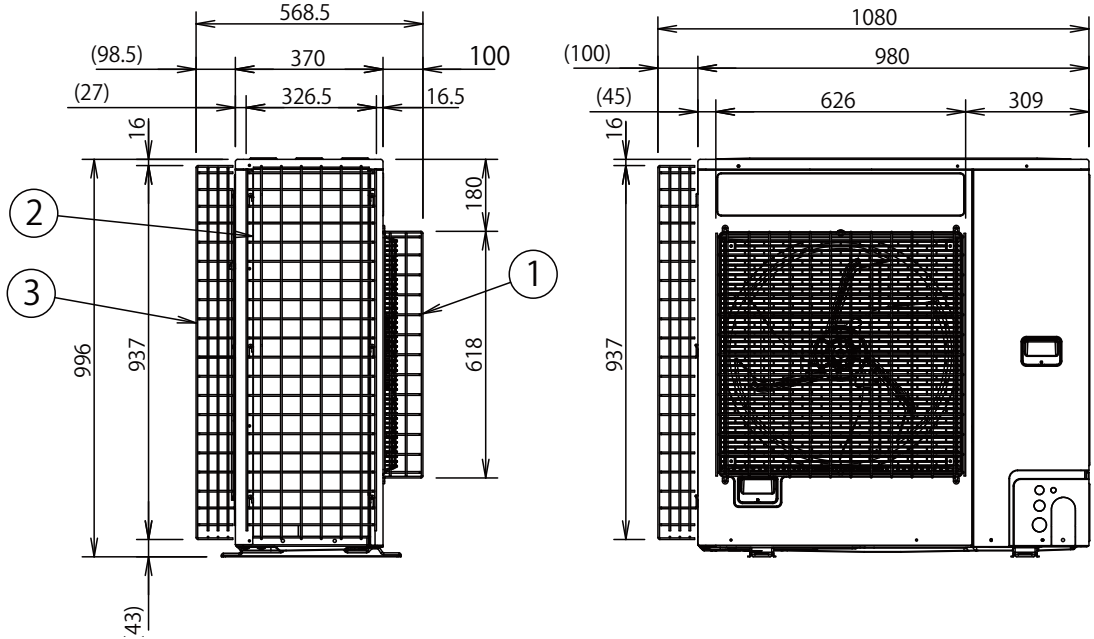


＜防護ネット正面＞　　＜防護ネット側面＞　　＜防護ネット背面＞

●部品取付図

①防護ネット正面
②防護ネット側面
③防護ネット背面





〈CZ-80GE7〉

Panasonic

据付工事説明書

防護ネット

品番 CZ-80GE7

● 据付工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に据え付けてください。
　特に「安全上のご注意」は、据え付け前に必ずお読みください。
● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
●室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」は、この「据付工事説明書」とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

⃠
- ■ 室外ユニットは、ベランダの手すり近くに設置しない
  （お子様が上に登り、手すりを越えるなどして落下のおそれ）
- ■ 室外ユニットの上に乗ったり物をのせたりしない
  （転落、落下など事故の原因）
- ■ 製品の改造は絶対にしない
  （修理はお買い上げの販売店にご相談ください。故障や感電、火災の原因）

❗
- ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
  （ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- ■ 付属品は当社指定の部品を使用する
  （指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）
- ■ 台風などの強風・地震などに備え所定の工事を行う
  （転倒などによる、けがの原因）
- ■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
  据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられるところに確実に行う
  （ユニットの落下による、けがの原因）

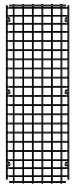
⚠注意

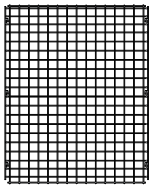
⃠
- ■ 室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない
  （けがの原因）
- ■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）
- ■ 接続部から漏れた冷媒には直接さわらない
  （凍傷の原因）
- ■ 据え付けは、一人では行わない
  （けがの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

付属品（付属品を参照し、部品がそろっていることを確認してください。）


×1個
防護ネット（正面）


×1個
防護ネット（側面）


×1個
防護ネット（背面）


×7個
① M4×16
十字穴付六角ネジ


×7個
② ワッシャー

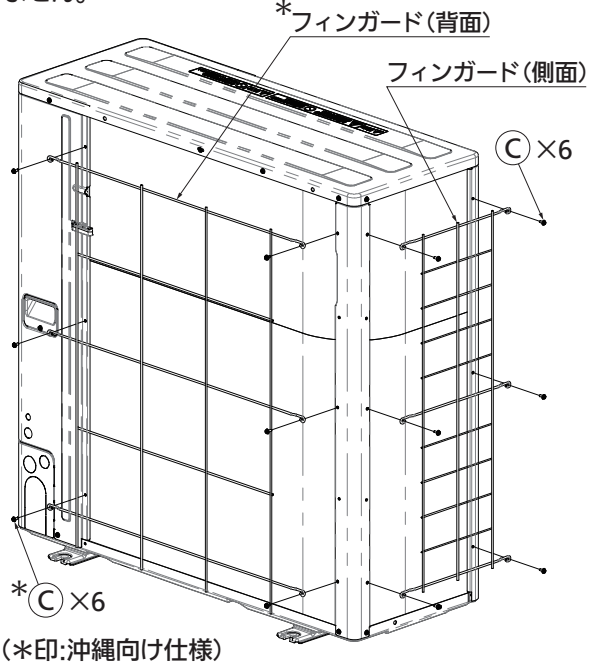
ACXF60-46782
PA0222-20723

■取付方法

必ず付属品のネジを使用してください。 紛失した場合、下記部品コードより手配ください。
①M4ネジ：CV6380132188、 ②ワッシャー：ACPH57-0054
図示のネジ番号は付属品のネジ番号を表しています。
（①M4ネジは②ワッシャーを取り付けてから使用してください）
（Ⓒは、ユニットに取り付けているネジをはずして再使用してください）

1.フィンガード取りはずし

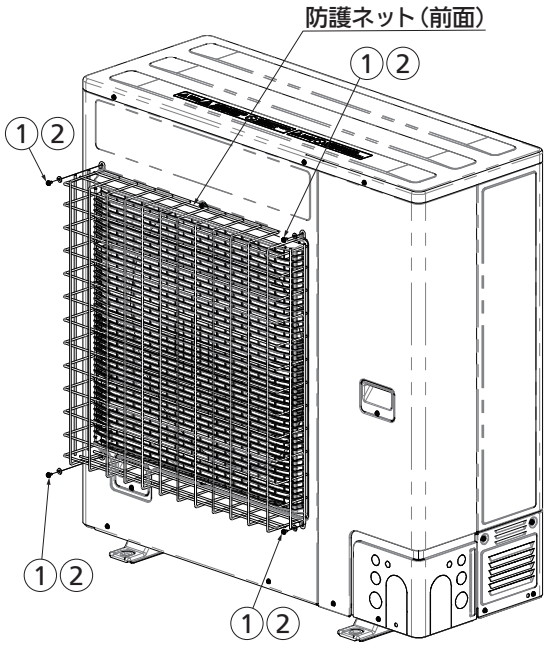
Ⓒ部のネジ（各6か所）をはずし、フィンガードを取りはずします。
取りはずしたフィンガードは防護ネット取り付け時には使用しません。



（＊印:沖縄向け仕様）

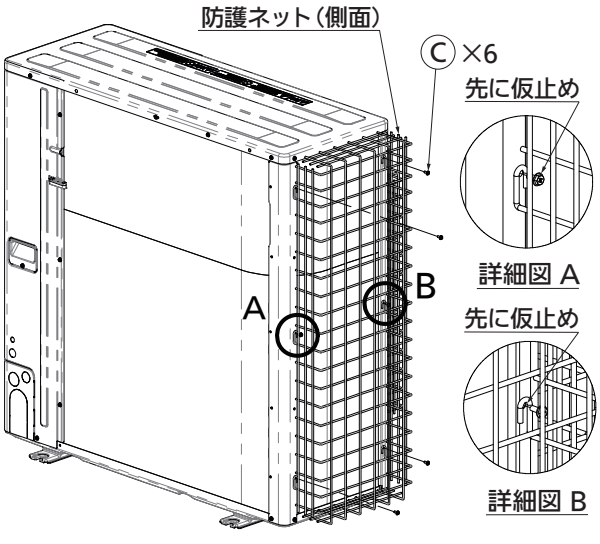
2.防護ネット（正面）の取り付け

防護ネット（前面）をユニットに①M4ネジで取り付けます。（4か所）



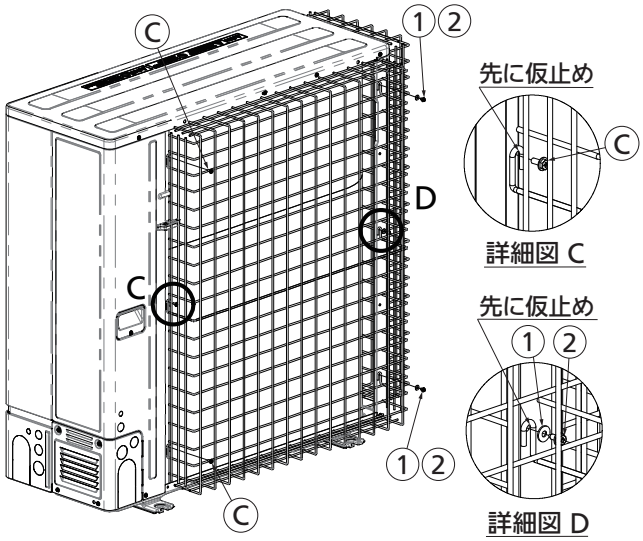
3.防護ネット（側面）の取り付け

防護ネット（側面）をユニットにⒸ部のネジで取り付けます。（6か所）
図で示した位置のネジ（2か所）を仮止めしてから、残りのネジを固定してください。



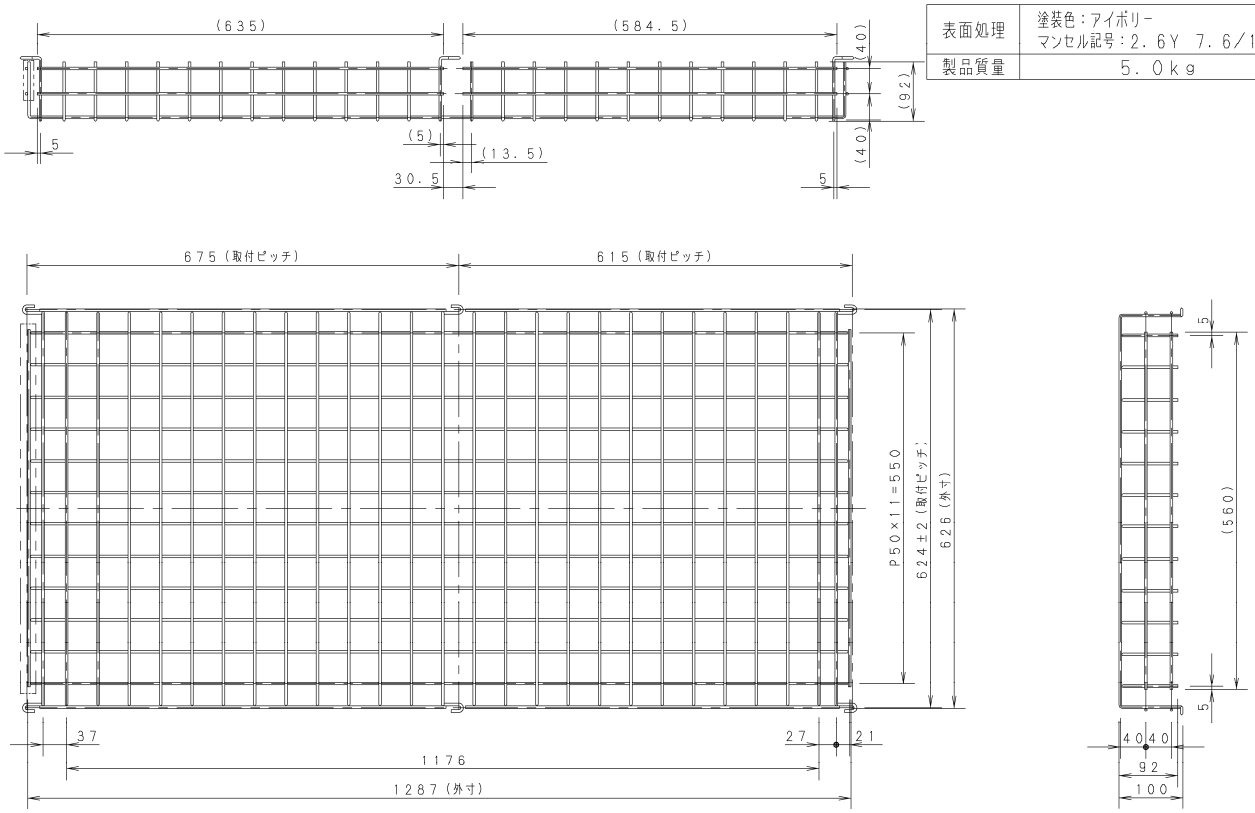
4.防護ネット（背面）の取り付け

Ⓒ部のネジ(3か所)をはずし、防護ネット（背面）をユニットにⒸ部のネジと①M4ネジで取り付けます。（6か所）
フィンガード（背面）がある機種についてはフィンガードを取りはずした際のネジのうち3本をⒸ部のネジとして使用してください。
図で示した位置のネジ（2か所）を仮止めしてから、残りのネジを固定してください。



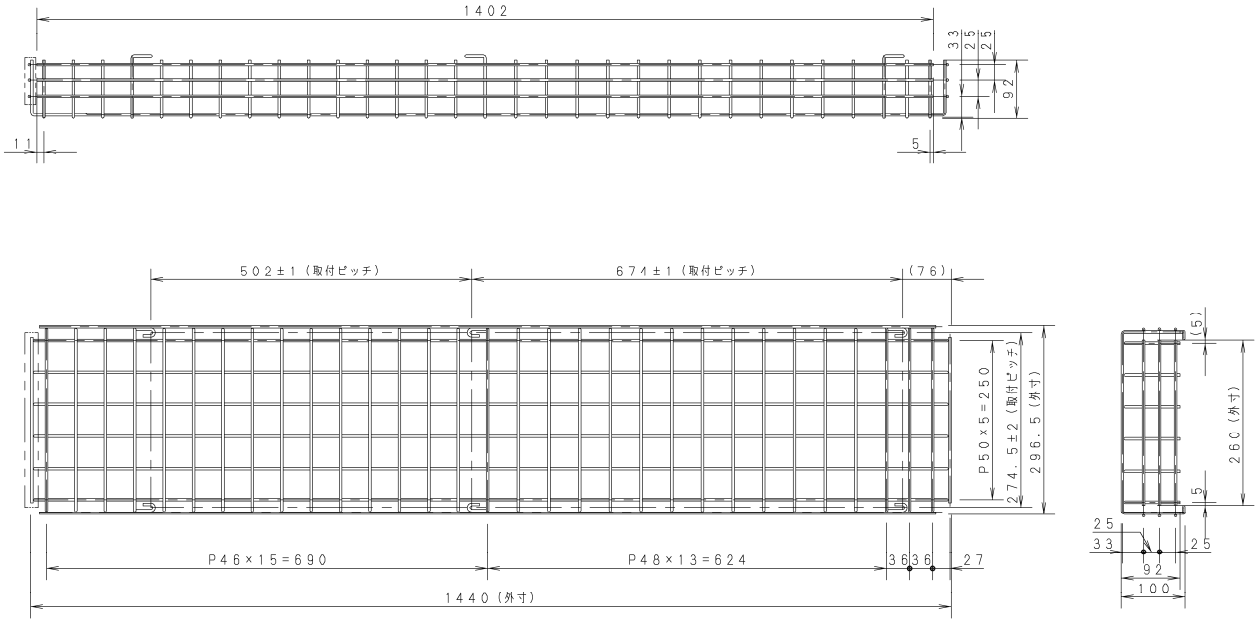
■防護ネット〈CZ-280GE4〉　適用機種… CU-P224，P280H7ZB

●外形寸法図（正面）



表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2．6Y　7．6／1．1
製品質量	5．0kg

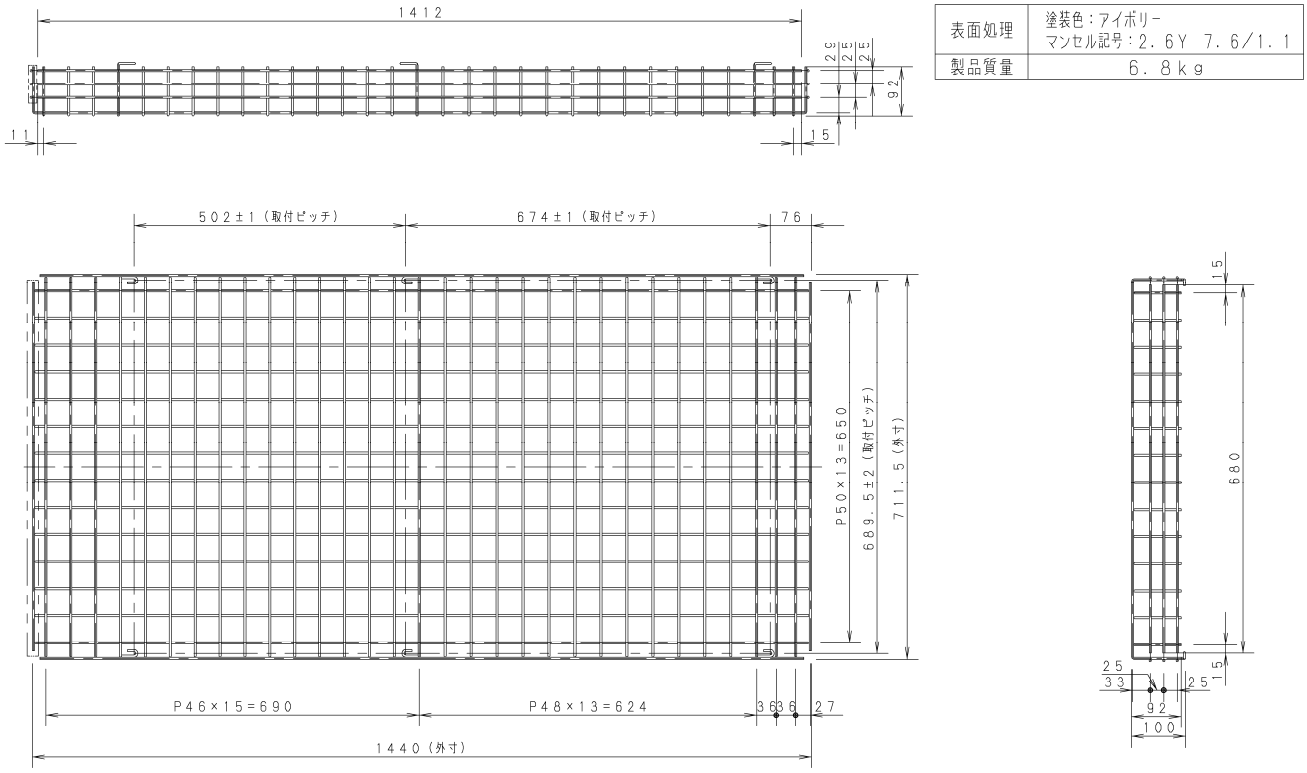
●外形寸法図（側面）



表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2．6Y　7．6／1．1
製品質量	3．7kg

〈CZ-280GE4〉

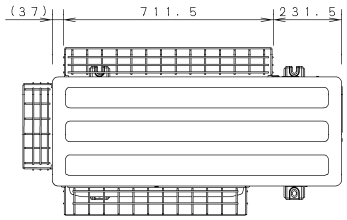
●外形寸法図（背面）

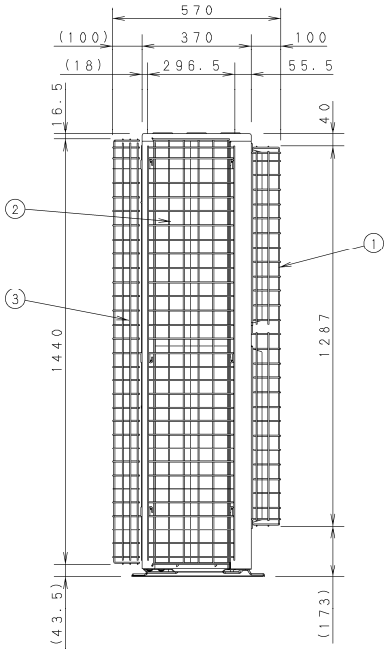


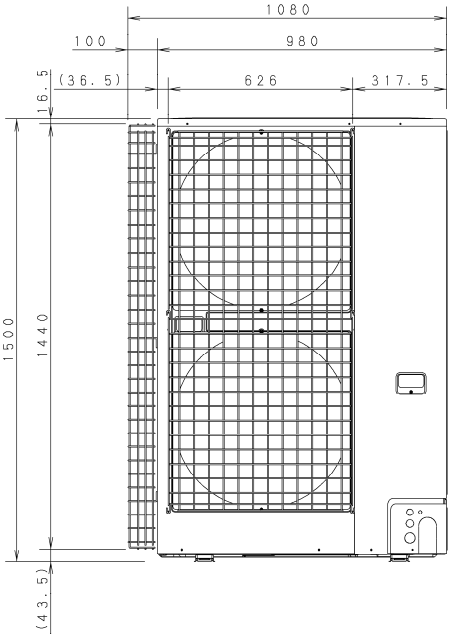
表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2.6Y 7.6/1.1
製品質量	6.8kg

●部品取付図

①	防護ネット正面
②	防護ネット側面
③	防護ネット後面







〈CZ-280GE4〉

防護ネット
CZ-280GE4
取付説明書

Panasonic

安全上のご注意

・取り付け前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

・取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
・施工完了後、本説明書をお客様で保管していただくよう依頼してください。

⚠ 警告	取り付けは販売店または専門業者に依頼のこと。 ご自分で取り付け工事をされると、作業不備などでけがの原因になります。
⚠ 注意	・取り付け工事は、この取付説明書にしたがって確実に行うこと。 取り付け不備等により、冷媒ガス漏れ、けがの原因になります。 ・付属品以外のネジを使用しないでください。室外ユニット内部を破損するおそれがあります。 ・取りはずし作業の時は、熱交換器のフィンなどで手や体を切らないように 十分注意しながら行ってください。

取り付け上のご注意

・ネジの締付けトルクは 1.5～2.5N・m（15～25kgf・cm）にて締付けてください。
ネジが緩んでいると振動により脱落や振動音の原因になります。
・油類(機械油)、塩分(海岸地方)、硫化ガスなどの多いところでの取り付けは避けてください。
発錆腐食のおそれがあります。

1. 付属部品

※防護ネットは【正面用】(1/3)(①、④～⑥)、【側面用】(2/3)(②)、【背面用】(3/3)(③)の 3 個口で梱包されています。

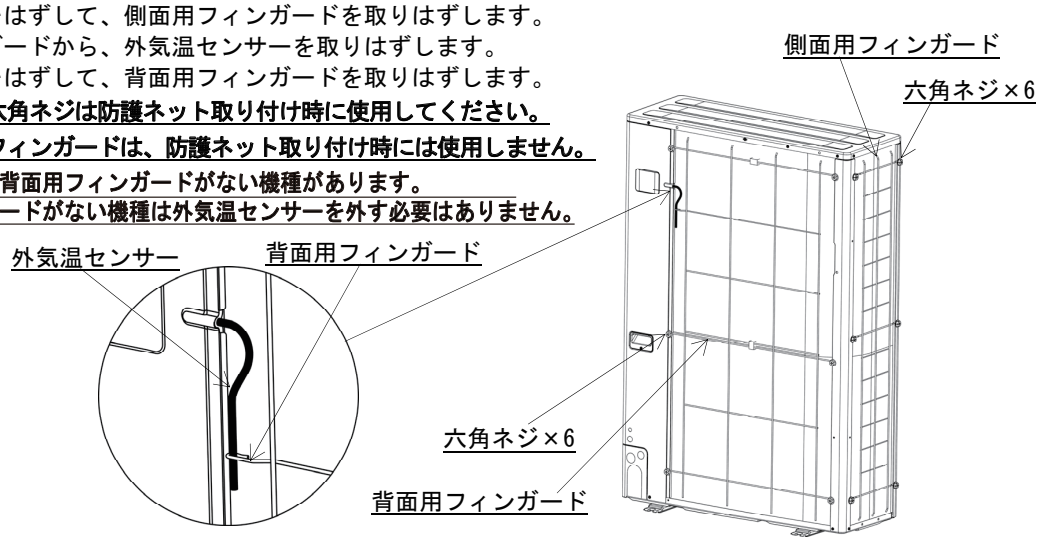
・取り付け前に次の部品が揃っていることを確認してください。

No.	名称	個数	No.	名称	個数
①	正面用防護ネット	1	④	六角ネジ	9
②	側面用防護ネット	1	⑤	ワッシャー	9
③	背面用防護ネット	1	⑥	バンド	2

2. フィンガードのはずしかた

1）六角ネジ 6 本をはずして、側面用フィンガードを取りはずします。
2）背面用フィンガードから、外気温センサーを取りはずします。
3）六角ネジ 6 本をはずして、背面用フィンガードを取りはずします。

※1. 取りはずした六角ネジは防護ネット取り付け時に使用してください。
※2. 取りはずしたフィンガードは、防護ネット取り付け時には使用しません。
※3. 機種によっては背面用フィンガードがない機種があります。
背面用フィンガードがない機種は外気温センサーを外す必要はありません。

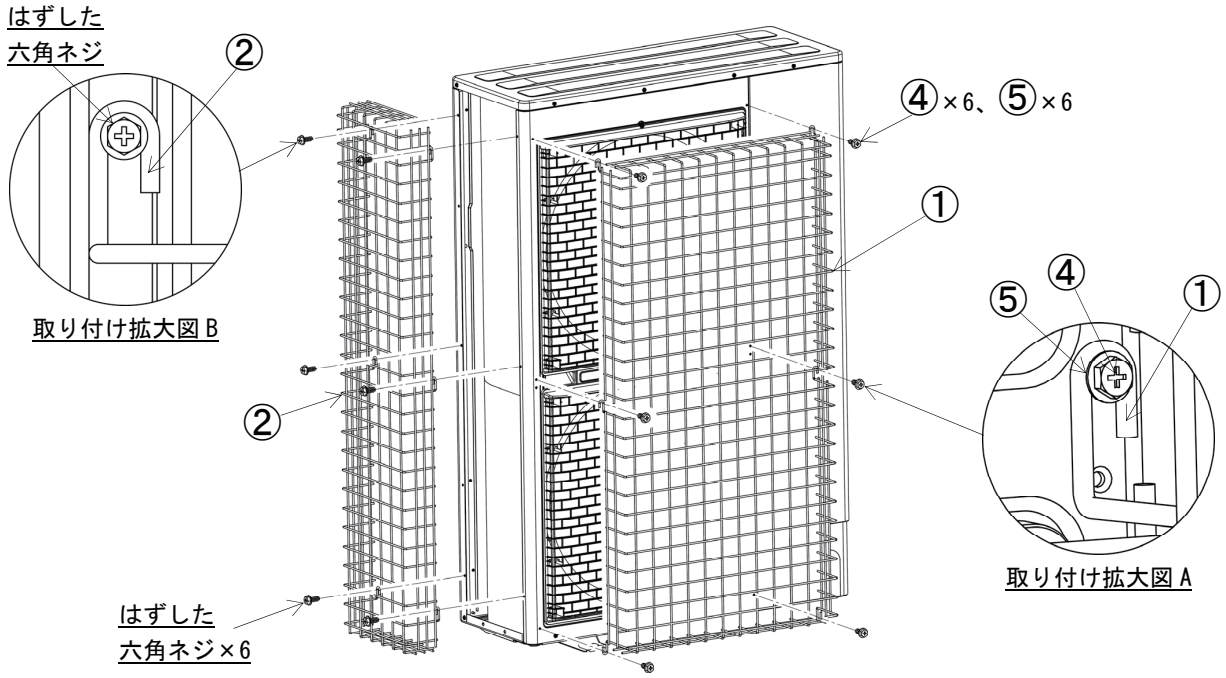


85465759637000 1/3

3. 正面用防護ネット①・側面用防護ネット②の取り付けかた

1）正面用防護ネット①を付属の六角ネジ④ 6 本＋ワッシャー⑤ 6 個により室外ユニットに取り付けます。（取り付け拡大図 A 参照）

2）側面用防護ネット②をはずした六角ネジ 6 本により室外ユニットに取り付けます。（取り付け拡大図 B 参照）



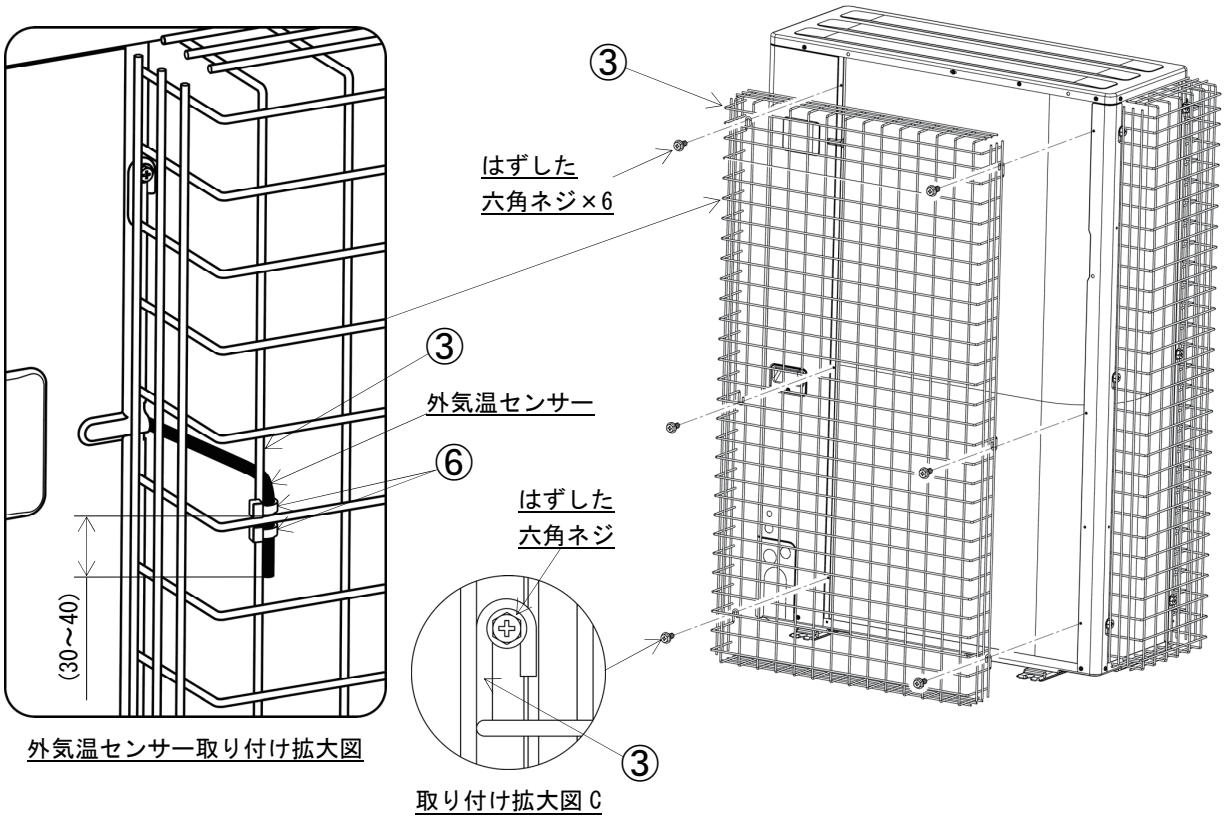
取り付け拡大図 B

取り付け拡大図 A

4. 背面用防護ネット③の取り付けかた （A）背面用フィンガードがある機種

1）背面用防護ネット③をはずした六角ネジ 6 本により室外ユニットに取り付けます。（取り付け拡大図 C 参照）

2）外気温センサーをバンド⑥ 2 本により背面用防護ネット③に取り付けます。（外気温センサー取り付け拡大図参照）



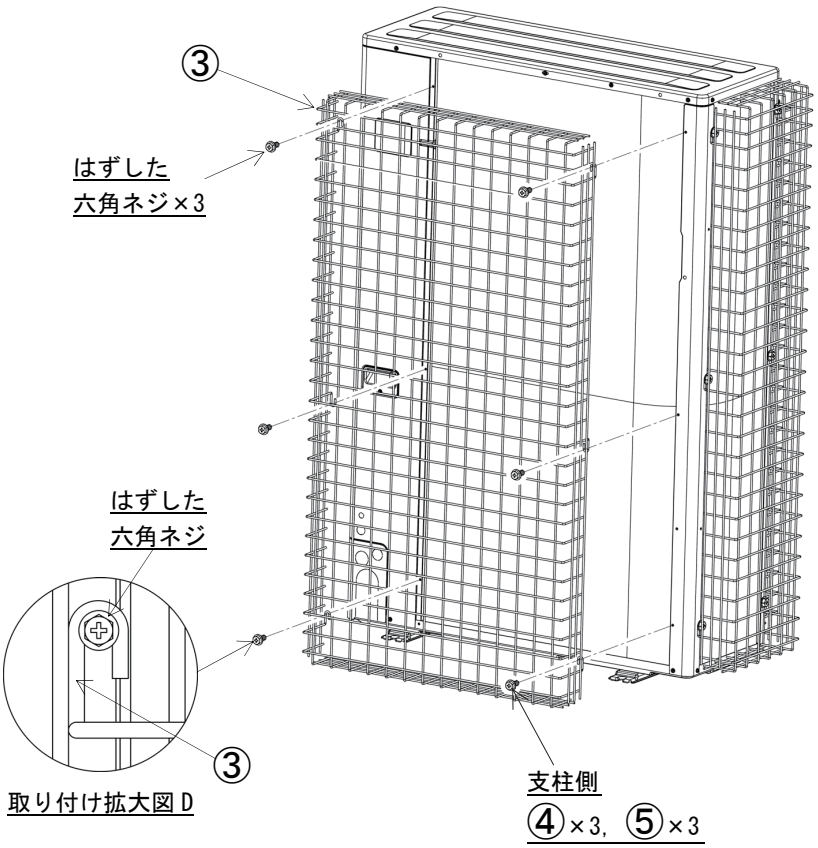
外気温センサー取り付け拡大図

取り付け拡大図 C

85465759637000 2/3

4. 背面用防護ネット③の取り付けかた （B）背面用フィンガードがない機種

1）外箱側板を取り付けている六角ネジ3本と付属の六角ネジ④ 3本+ワッシャー⑤ 3個によりユニットに取り付けます。（取り付け拡大図D 参照）
2）外気温センサーは外さず、そのままで結構です。

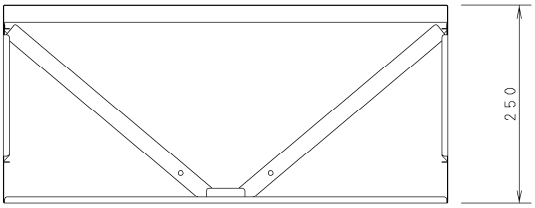


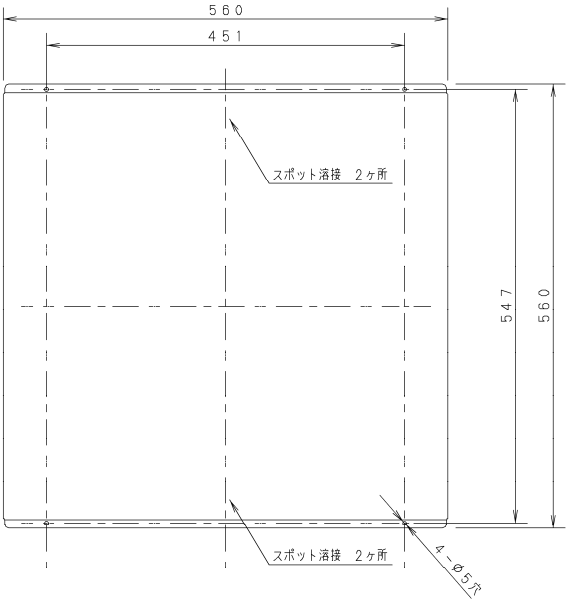
85465759637000 3/3

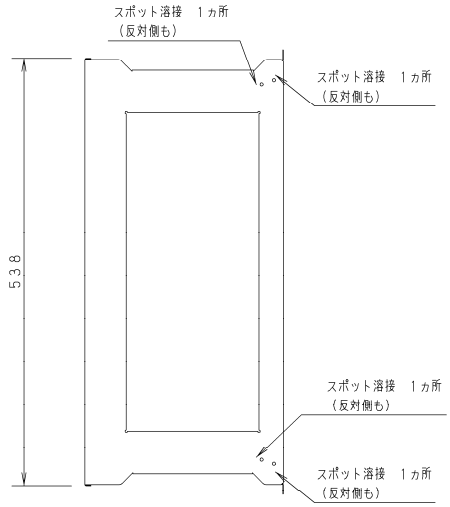
■防風板〈CZ-56DG5〉　適用機種… CU-P40 ～ P80H7ZB / P40 ～ P80H7SZB

●外形寸法図

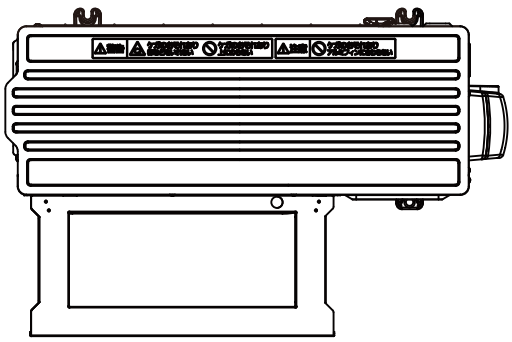
表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2．6Y　7．6/1．1
製品質量	3．2kg

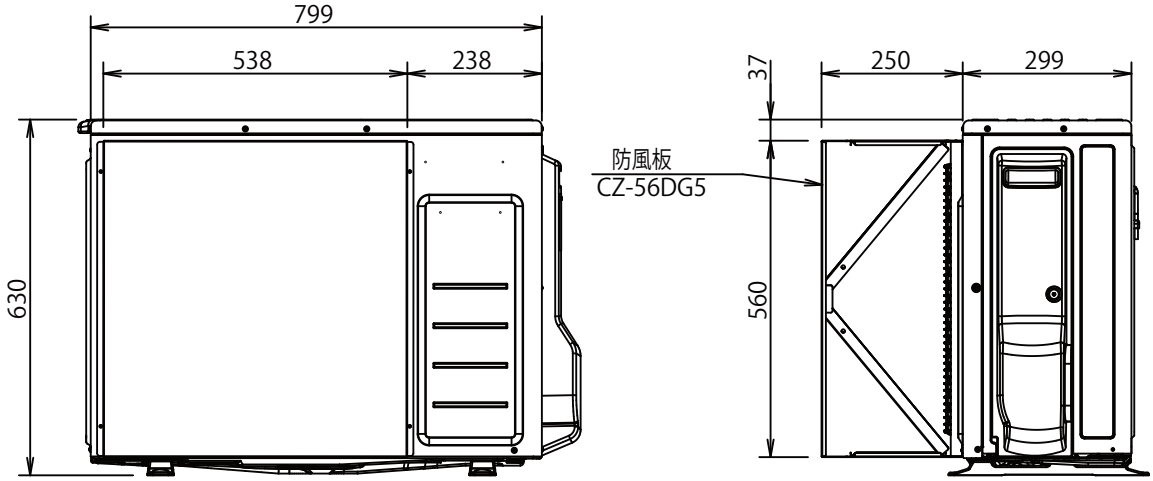






●部品取付図





〈CZ-56DG5〉

防風板
CZ-56DG5
取付説明書

Panasonic

安全上のご注意

・取り付け前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

・取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
・施工完了後、本説明書をお客様で保管していただくよう依頼してください。

⚠ 警告	取り付けは販売店または専門業者に依頼のこと。 ご自分で取り付け工事をされると、作業不備などでけがの原因になります。
⚠ 注意	・取り付け工事は、この取付説明書にしたがって確実に行うこと。 取り付け不備等により、冷媒ガス漏れ、けがの原因になります。 ・付属品以外のネジを使用しないでください。室外ユニット内部を破損するおそれがあります。

取り付け上のご注意

・ネジ全てを確実に締付けてください。ネジが緩んでいると振動により脱落や振動音の原因になります。
・ドリルで穴あけの際、ドリルの刃の長さを１６mm以下に調整してください。ドリルの刃が長すぎる場合、ユニット内部の熱交換器と配線を破損するおそれがあります。
・油類(機械油)、塩分(海岸地方)、硫化ガスなどの多いところでの取り付けはさけてください。発錆腐食のおそれがあります。

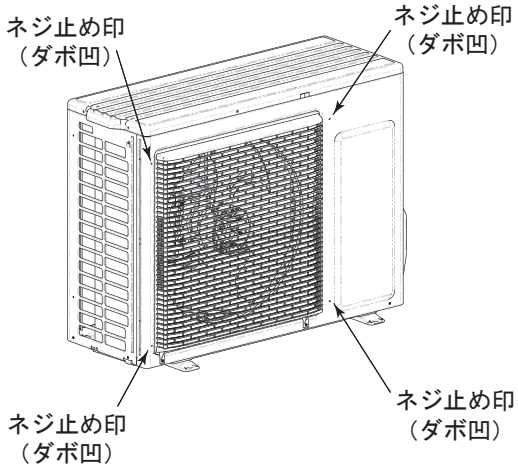
1. 付属部品

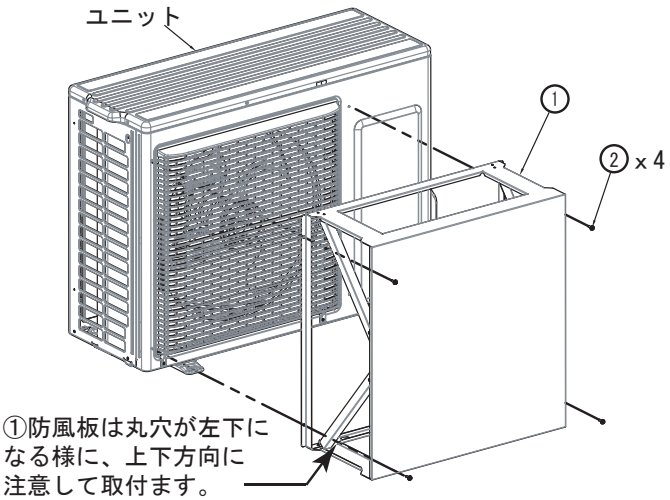
(取り付け前に次の部品が揃っていることを確認してください。)

No.	名称	個数	No.	名称	個数
①	防風板	1	③	取付説明書	1
②	六角ネジ	4			

2. 防風板の取り付けかた

・防風板①を付属の六角ネジ(先端トガリ) ②4本により室外ユニットに取り付けます。
先に六角ネジ(先端トガリ) ②のみで一度、仮締めを行い下穴を開けておくと、防風板の締め付け作業が容易になります。
または、取り付け穴をドリルであける場合はΦ３mmの下穴をあけてください。ドリルの刃の長さは１６mm以下に調整してください。





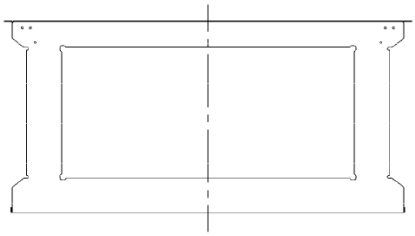
85465759636000

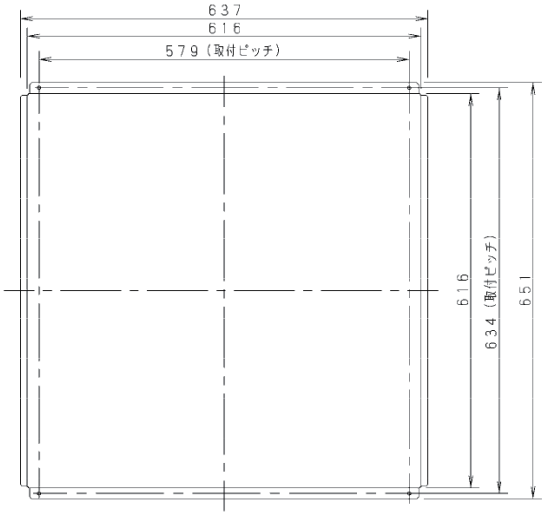
■防風板〈CZ-80DG7〉　適用機種… CU-P112 ～ P160H7ZB

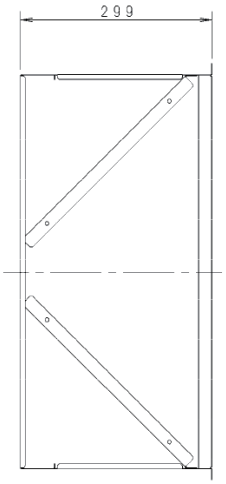
●外形寸法図

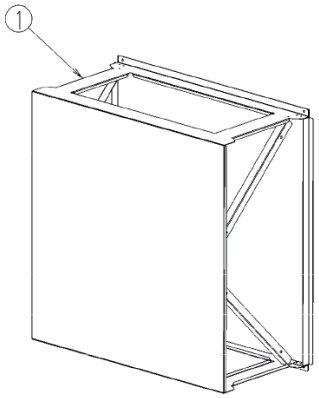
	同梱部品	個数	質量（kg）	板厚
①	防風板	1	4．5	0．8

表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2．6Y 7．6/1．1



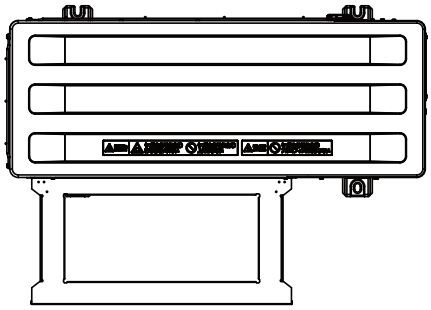


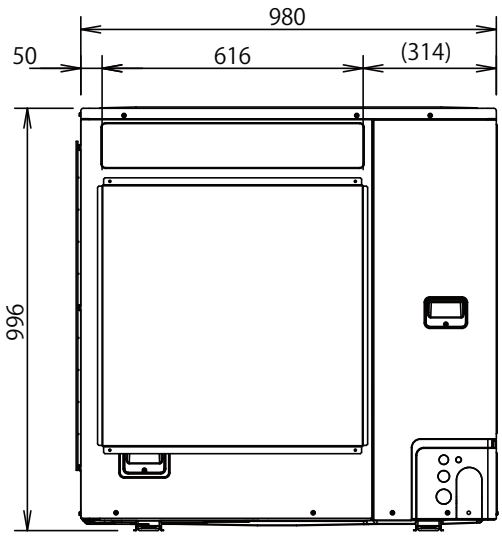


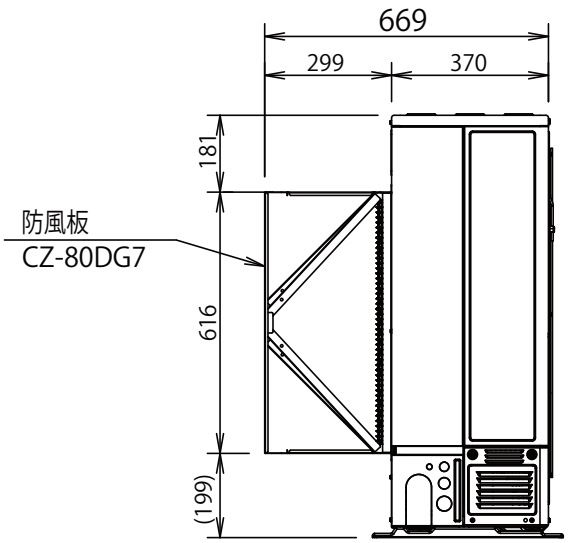


＜防風板＞
組立　分解図

●部品取付図（CU-P112 ～ P160H7Z）







〈CZ-80DG7〉

Panasonic

据付工事説明書

防風板

品番 CZ-80DG7

●据付工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に据え付けてください。
　特に「安全上のご注意」は、据え付け前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
●室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」は、この「据付工事説明書」とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

■ 室外ユニットは、ベランダの手すり近くに設置しない
（お子様が上に登り、手すりを越えるなどして落下のおそれ）
■ 室外ユニットの上に乗ったり物をのせたりしない
（転落、落下など事故の原因）
■ 製品の改造は絶対にしない
（修理はお買い上げの販売店にご相談ください。故障や感電、火災の原因）

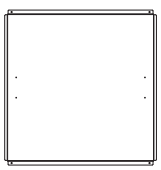
■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）
■ 台風などの強風・地震などに備え所定の工事を行う
（転倒などによる、けがの原因）
■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
■ 据え付けは、重量に十分耐えられるところに確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

⚠注意

■ 室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない
（けがの原因）
■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）
■ 接続部から漏れた冷媒には直接さわらない
（凍傷の原因）
■ 据え付けは、一人では行わない
（けがの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

付属品（付属品を参照し、部品がそろっていることを確認してください。）
※ファンが2個のユニットに取り付ける場合、本品が2組必要となります。



×1個
防風板

×4個
① M4×12
十字穴付六角ネジ

ACXF60-46771
PA0222-10723

■取付方法

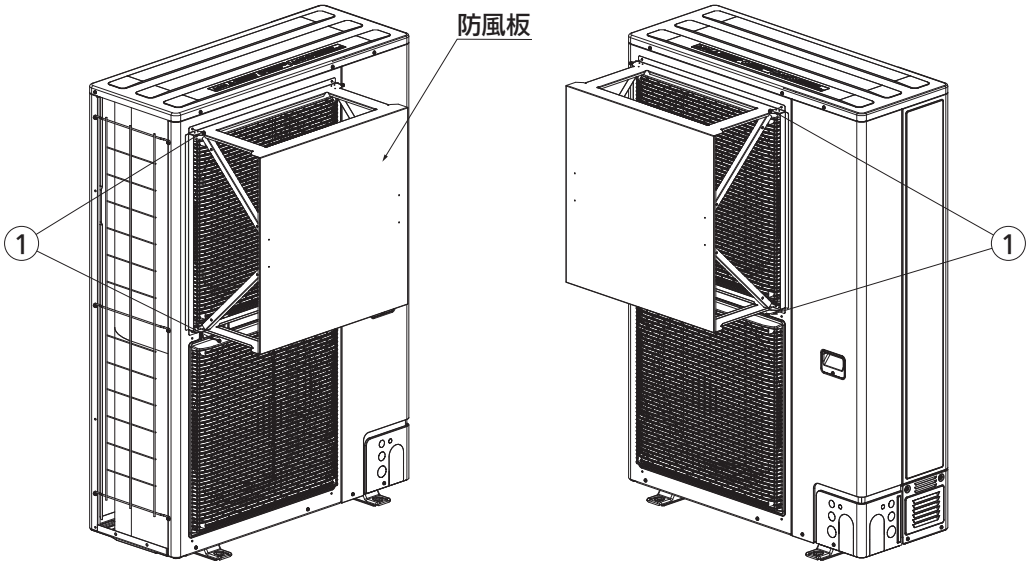
必ず付属品のネジを使用してください。 紛失した場合、下記部品コードより手配ください。

①M4ネジ：CV6231327862

図示のネジ番号は付属品のネジ番号を表しています。

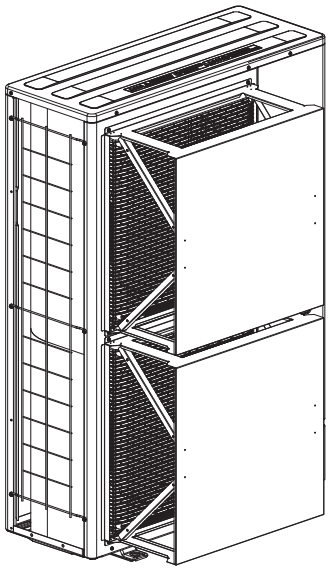
1.上側の防風板の取り付け

上側の防風板をユニットに①M4ネジで取り付けます。(4か所)



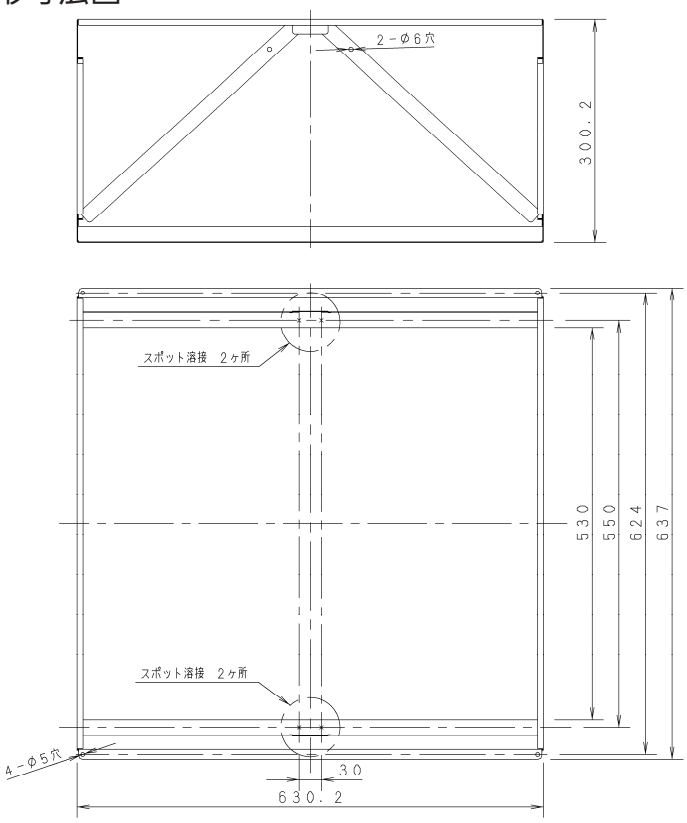
2.下側の防風板の取り付け

同様に1の手順で下側の風向ガイドを取り付けます。

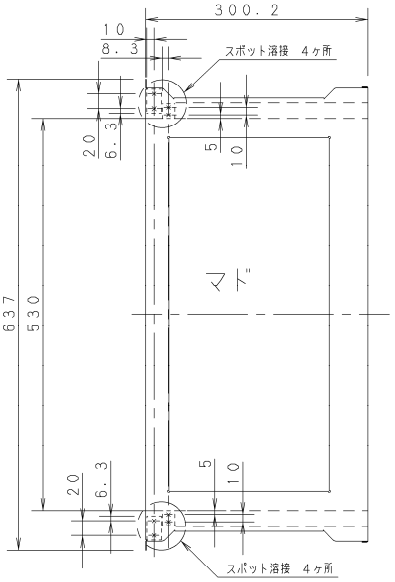


■防風板〈AD-CZBBXH4F1〉　適用機種… CU-P224，P280H7ZB

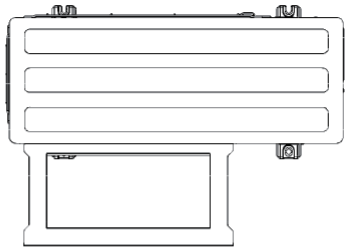
●外形寸法図

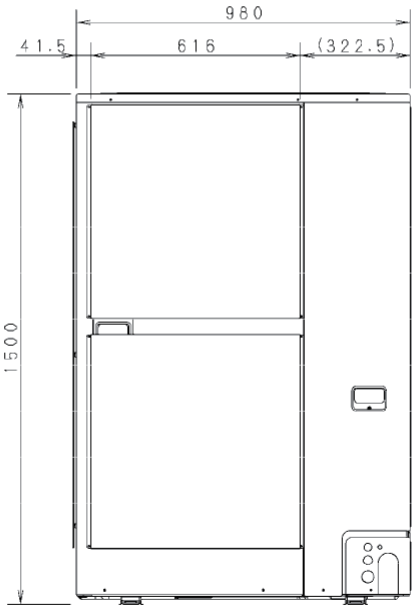


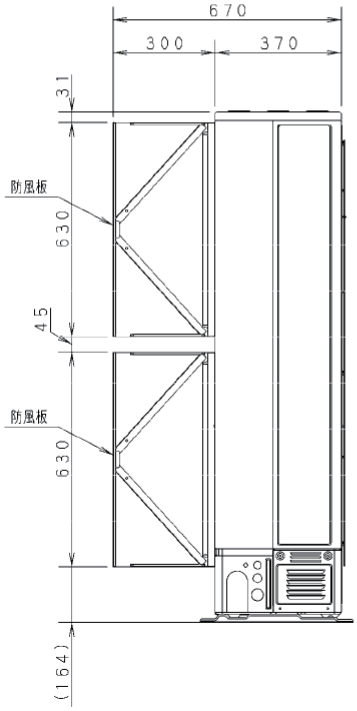
表面処理	塗装色：アイボリー マンセル記号：2.6Y　7.6／1.1
製品質量	4.5kg



●部品取付図







〈AD-CZBBXH4F1〉

防風板
AD-CZBBXH4F1
取付説明書

パナソニック ホームエンジニアリング株式会社
システム部材開発センター
〒540-6216 大阪市中央区城見 2-1-61
TEL.06-6942-6202 FAX.06-6966-5745

安全上のご注意

・取り付け前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

・取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
・施工完了後、本説明書をお客様で保管していただくよう依頼してください。

⚠ 警告	取り付けは販売店または専門業者に依頼のこと。 ご自分で取り付け工事をされると、作業不備などでけがの原因になります。
⚠ 注意	・取り付け工事は、この取付説明書にしたがって確実に行うこと。 取り付け不備等により、冷媒ガス漏れ、けがの原因になります。 ・付属品以外のネジを使用しないでください。室外ユニット内部を破損するおそれがあります。

取り付け上のご注意

・ネジの締付けトルクは 1.5～2.5N・m（15～25kgf・cm）にて締付けてください。
ネジが緩んでいると振動により脱落や振動音の原因になります。
・油類(機械油)、塩分(海岸地方)、硫化ガスなどの多いところでの取り付けはさけてください。
発錆腐食のおそれがあります。

1. 付属部品

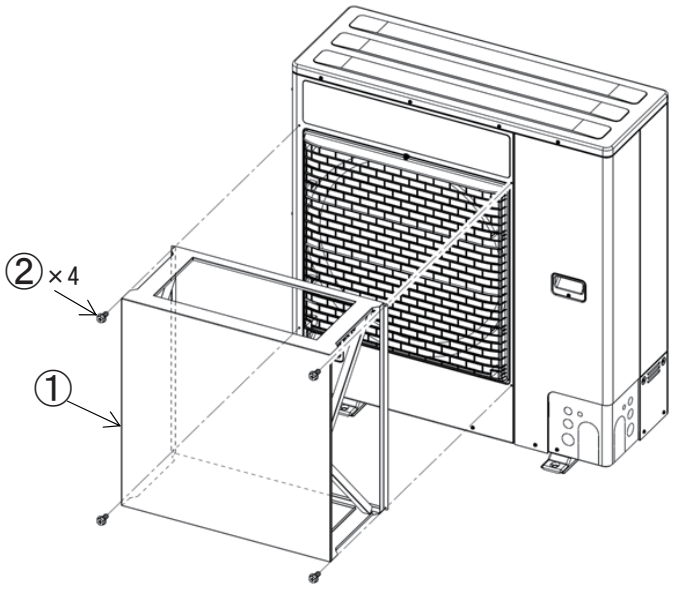
（取り付け前に次の部品が揃っていることを確認してください。）

No.	名称	個数	No.	名称	個数
①	防風板	1	②	六角ネジ	4

※ファンが 2 個の室外ユニットに取り付ける場合、本品が 2 組必要ですのでご注意ください。

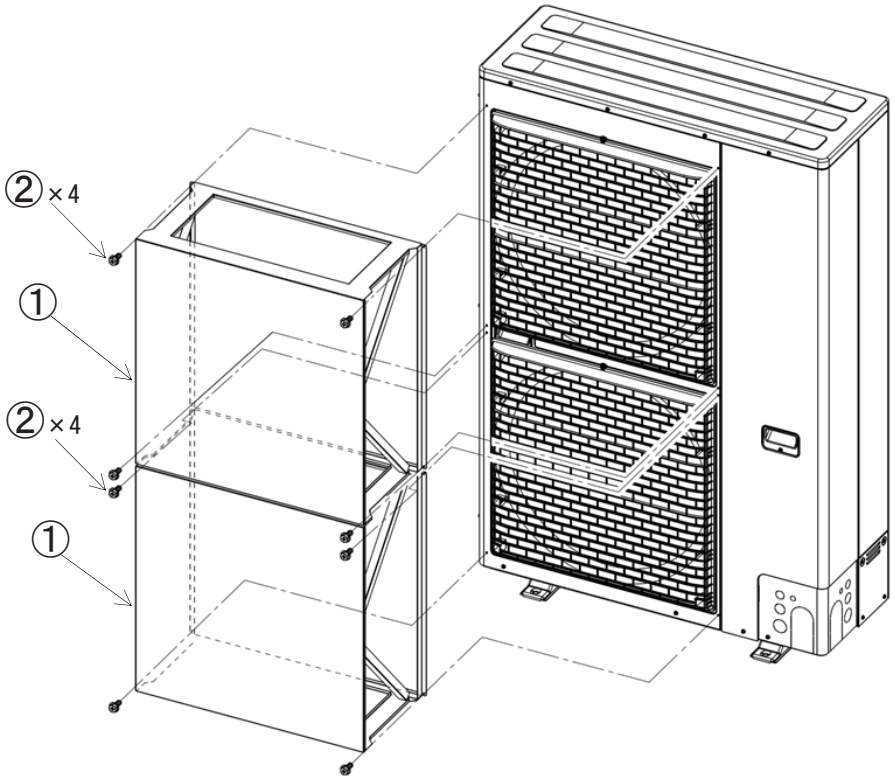
2. 防風板の取り付けかた（ファンが 1 個の室外ユニットの場合）

・防風板①を付属の六角ネジ② 4 本により室外ユニットに取り付けます。



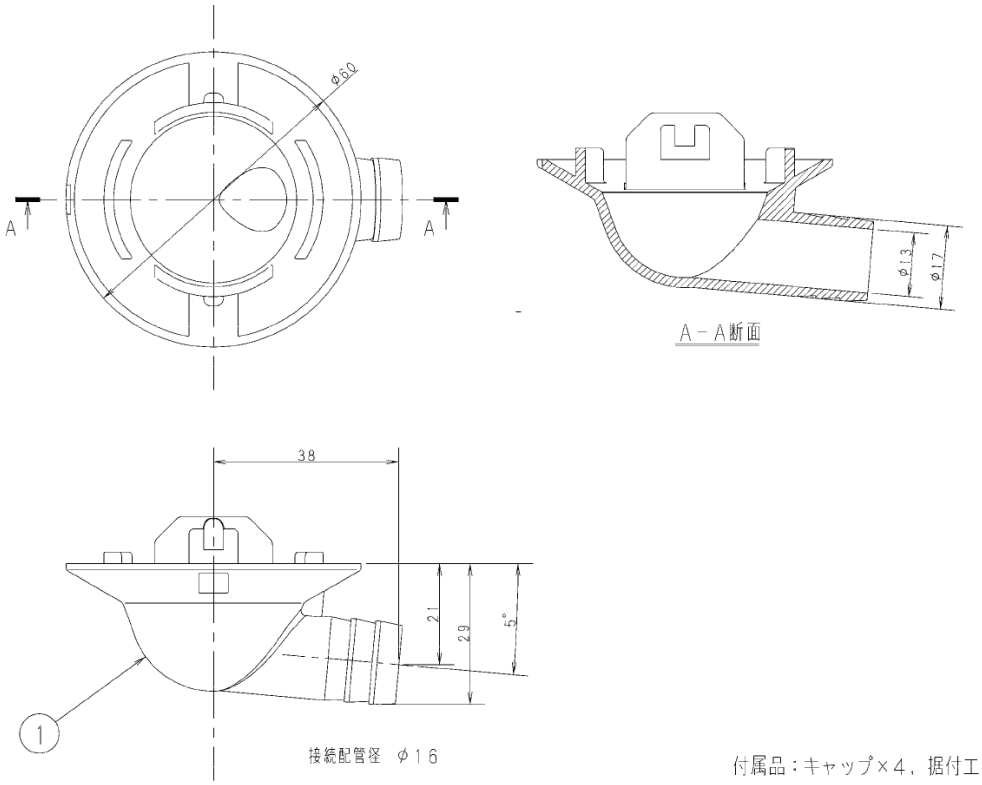
3. 防風板の取り付けかた（ファンが 2 個の室外ユニットの場合）

・防風板① 1 個を付属の六角ネジ② 4 本により室外ユニットに取り付けます。（上下 2 箇所）



■ドレンソケット〈CZ-56DS7〉適用機種… CU-P40 ～ P80H7ZB / P40 ～ P80H7SZB

●外形寸法図



付属品：キャップ×4，据付工事説明書

〈CZ-56DS7〉

Panasonic®

据付工事説明書（取付編）
ドレンソケット

品番 CZ-56DS7

- 据付工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に据え付けてください。
  特に「安全上のご注意」は、据え付け前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
- 室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」は、この「据付工事説明書」とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 室外ユニットは、ベランダの手すり近くに設置しない
（お子様が上に登り、手すりを越えるなどして落下のおそれ）

■ 室外ユニットの上に乗ったり物をのせたりしない
（転落、落下など事故の原因）

■ 製品の改造は絶対にしない
（修理はお買い上げの販売店にご相談ください。故障や感電、火災の原因）

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

■ 台風などの強風・地震などに備え所定の工事を行う
（転倒などによる、けがの原因）

■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられるところに確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

⚠ 注意

■ 室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない
（けがの原因）

■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 接続部から漏れた冷媒には直接さわらない
（凍傷の原因）

■ 据え付けは、一人では行わない
（けがの原因）

■ ドレン配管は、この据付工事説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう断熱する
（配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因）

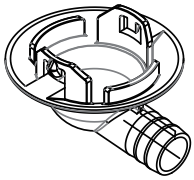
■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

ユニット底板にはドレン排水用の穴が 5 か所あります。この目的は排水を容易にするためです。ドレンソケットは設置場所によりドレンホースで排水する場合に、余分な穴をふさぎ、1 か所より集中排水するための部品です。

ユニット底板には部品取り付け穴，配管取り出し用ノックアウト穴等が設けられており、それらの穴より結露水が滴下する場合があります。結露水の滴下を完全に防止するためには、集中排水ドレンパン(現地調達)をご使用ください。

寒冷地ではドレン水が凍結しますので、ドレンソケットは取り付けないでください。

付属品　(付属品を参照し、部品がそろっていることを確認してください。)



ドレンソケット φ40穴



ゴム栓 (4個)

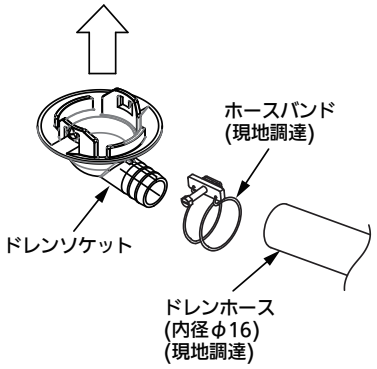
お願い

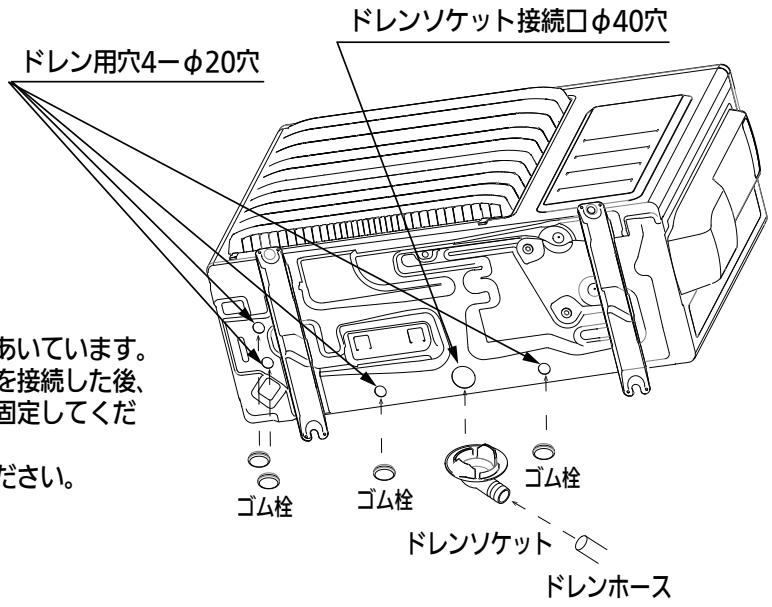
ドレンソケットとゴム栓は、基礎へのせる前にユニット底板に取り付けてください。また、ドレンソケットはユニット下部から突き出ますので基礎の高さは150mm以上にしてください。

ゴム栓とドレンソケットを取り付けた後、水を流して漏れ確認を行ってください。

取り付けかた

ユニット底板のドレンソケット接続口に差し込む



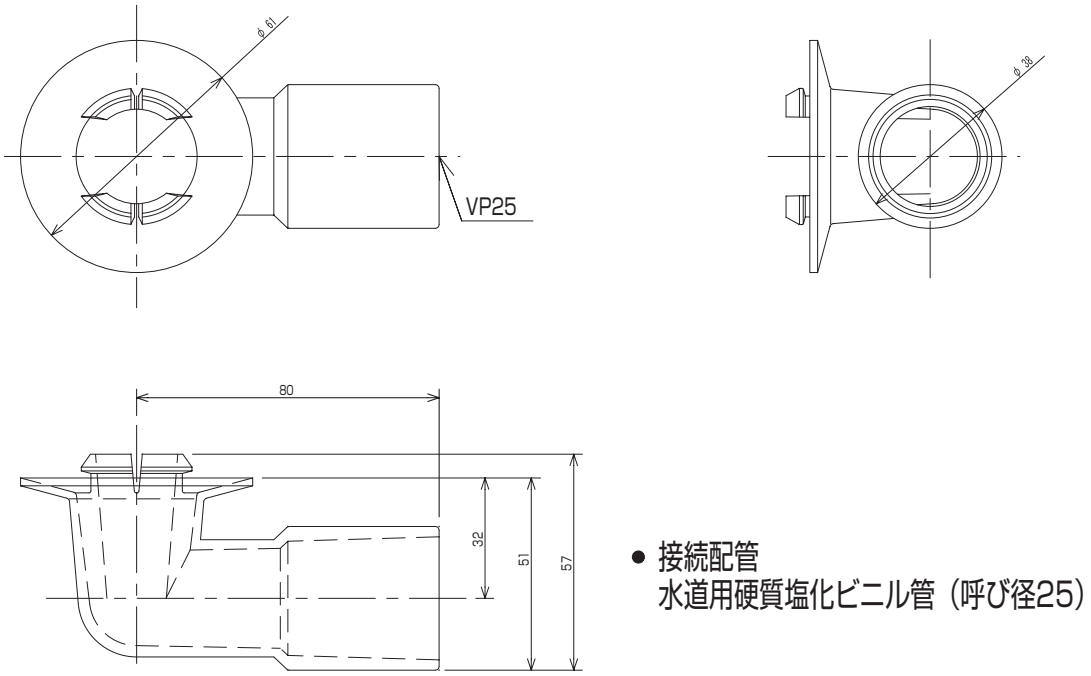


ユニット底板には 5 か所のドレン用穴があいています。
ドレンソケット接続口にドレンソケットを接続した後、ドレンホースを差し込みホースバンドで固定してください。
その他 4 か所の穴はゴム栓で封止してください。

ACXF60-46921
PA0122-10723

■ドレンソケット〈STK-DS25T〉　適用機種… CU-P112～P280H7ZB

●外形寸法図



● 接続配管
水道用硬質塩化ビニル管（呼び径25）

●取付説明

Panasonic®

据付工事説明書（取付編）
ドレンソケット

品番 STK-DS25T

●据付工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に据え付けてください。
特に「安全上のご注意」は、据え付け前に必ずお読みください。
●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
●室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」は、この「据付工事説明書」とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

⃠
■ 室外ユニットは、ベランダの手すり近くに設置しない
（お子様が上に登り、手すりを越えるなどして落下のおそれ）
■ 室外ユニットの上に乗ったり物をのせたりしない
（転落、落下など事故の原因）
■ 製品の改造は絶対にしない
（修理はお買い上げの販売店にご相談ください。故障や感電、火災の原因）

❗
■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）
■ 台風などの強風・地震などに備え所定の工事を行う
（転倒などによる、けがの原因）
■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
■ 据え付けは、重量に十分耐えられるところに確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

⚠注意

⃠
■室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない
（けがの原因）
■可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）
■接続部から漏れた冷媒には直接さわらない
（凍傷の原因）
■据え付けは、一人では行わない
（けがの原因）

❗
■ ドレン配管は、この据付工事説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう断熱する
（配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因）

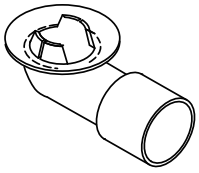
■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

ユニット底板にはドレン排水用の穴が４か所あります。この目的は排水を容易にするためです。ドレンソケットは設置場所によりドレンホースで排水する場合に、余分な穴をふさぎ、１か所より集中排水するための部品です。

ユニット底板には部品取り付け穴, 配管取り出し用ノックアウト穴等が設けられており、それらの穴より結露水が滴下する場合があります。結露水の滴下を完全に防止するためには、集中排水ドレンパン(現地調達)をご使用ください。

寒冷地ではドレン水が凍結しますので、ドレンソケットは取り付けないでください。

付属品　(付属品を参照し、部品がそろっていることを確認してください。)



ドレンソケット
φ32



ゴム栓 (3個)

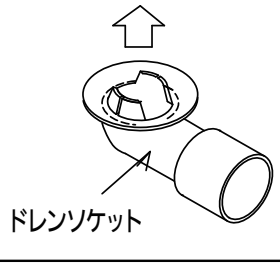
お願い

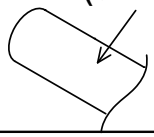
ドレンソケットとゴム栓は、基礎へのせる前にユニット底板に取り付けてください。
また、ドレンソケットはユニット下部から突き出ますので基礎の高さは150mm以上にしてください。

ゴム栓とドレンソケットを取り付けた後、水を流して漏れ確認を行ってください。

取り付けかた

ユニット底板のドレンソケット接続口に差し込む

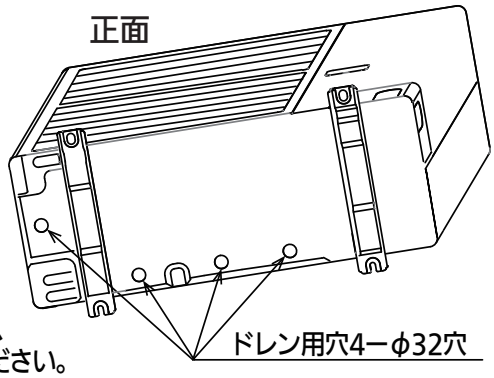




ユニット底板には４か所のドレン用穴があいています。
ドレンソケットを接続した後、塩ビ管を挿入し水道用硬質塩化ビニール管用接着剤で固定してください。
ドレンソケットの位置は下図を参照し、他の穴は付属のゴム栓で封止してください。

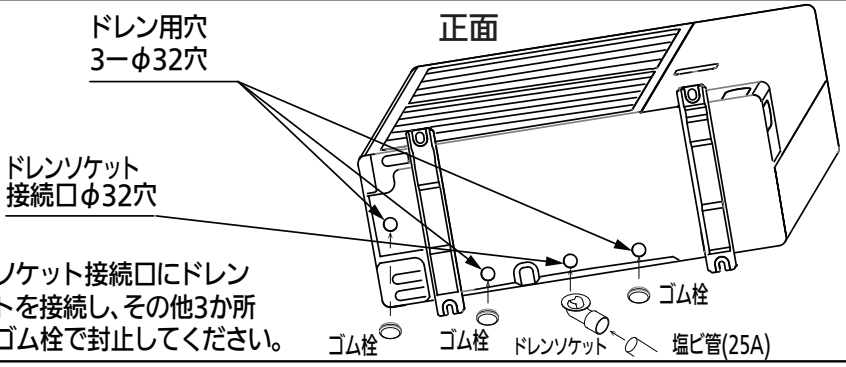
CU-P224･P280G7(B)(J)
CU-P224･P280H7(B)(J)
CU-P224･P280H7Z(B)
CU-P63～P160G6B(E)(J)
CU-P63･P80G6SB(E)(J)
CU-P112～P160H6B(E)(J)
CU-P112～P160C6B
CU-P112～P160H6ZB
CU-P112～P160GR6(E)(J)
CU-P224･P280G6B(E)(J)
CU-P224･P280H6B(E)(J)

CU-P224･P280H6ZB
CU-P224･P280ULR5(J)
CU-P112～P160UL4 (E)(J) の場合



ドレンソケットを任意の１か所に接続し、
その他3か所の穴はゴム栓で封止してください。

CU-P80～P160G7(B)(J)
CU-P80G7S(B)(J)
CU-P112～P160H7(B)(J)
CU-P112～P160H7Z(B)　の場合



ドレンソケット接続口にドレンソケットを接続し、その他3か所の穴はゴム栓で封止してください。

Printed in Japan
ACXF75-05484　　85464159355004

■ 4 方向天井カセット形　別売品組合せ使用可能一覧表

（◎：組合せ推奨部品、○組合せ可能部品、制限付き可能、×：組合せできない部品）

部品名	標準パネル	エコナビパネル	オイルガードパネル ※1	ワイドパネル ※7	パネルスペーサー ※7	昇降グリル付 標準パネル	昇降グリル付 エコナビパネル	昇降グリル付 オイルガードパネル	自然気化式加湿器	自然気化式加湿器（高加湿タイプ）	外気取入丸合フランジ（φ100本体用）	外気取入キット（1口用） ※2 ※13	外気取入キット（2口用） ※2 ※13	吹出口丸合フランジ（φ150） ※3	しゃ風材 ※4 ※9	超ロングライフフィルター ※2・※5	高性能フィルター（比色法65％） ※2	高性能フィルター（比色法90％） ※2	フィルターチャンバー	オイルミストフィルター	ロングライフフィルター ※5 ※6	重量法60％フィルター	スケルトン天井用側面カバー ※7	断熱材キット	昇降操作専用リモコン	S-LINK アダプター
標準パネル		×	×	○ ※7	○ ※7	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△ ※11	○	○	○ ※7	○	×	○
エコナビパネル	×		×	○ ※7	○ ※7	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○ ※10	○	○	○	○	△ ※11	○	○	○ ※7	○	×	○
オイルガードパネル ※1	×	×		○ ※7	○ ※7	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○ ※7	○	×	○
ワイドパネル ※7	○ ※7	○ ※7	○ ※7		×	○ ※7	○ ※7	○ ※7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
パネルスペーサー ※7	○ ※7	○ ※7	○ ※7	×		○ ※7	○ ※7	○ ※7	△ ※8	△ ※8	△ ※8	×	×	△ ※8	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
昇降グリル付 標準パネル	×	×	×	○ ※7	○ ※7		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△ ※11	○	○	○ ※7	○	○	○
昇降グリル付 エコナビパネル	×	×	×	○ ※7	○ ※7	×		×	○	○	○	○	○	○	○ ※10	○	○	○	○	△ ※11	○	○	○ ※7	○	○	○
昇降グリル付 オイルガードパネル	×	×	×	○ ※7	○ ※7	×	×		○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○ ※7	○	○	○
自然気化式加湿器	○	○	○	○	△ ※8	○	○	○		×	○	△ ※12	△ ※12	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
自然気化式加湿器（高加湿タイプ）	○	○	○	○	△ ※8	○	○	○	×		○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○
外気取入丸合フランジ（φ100本体用）	○	○	○	○	△ ※8	○	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
外気取入キット（1口用） ※2・※13	○	○	○	○	×	○	○	○	△ ※12	×	×		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
外気取入キット（2口用） ※2・※13	○	○	○	○	×	○	○	○	△ ※12	×	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
吹出口丸合フランジ（φ150） ※3	○	○	○	○	△ ※8	○	○	○	×	×	○	○	○		○ ※3	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○
しゃ風材 ※4・※9	○	○ ※10	○	○	○	○	○ ※10	○	×	×	○	○	○	○ ※3		○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
超ロングライフフィルター ※2・※5	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○		×	×	○ ※2	×	× ※5	× ※5	×	○	○	○
高性能フィルター（比色法65％） ※2	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×		×	○ ※2	×	○	×	×	○	○	○
高性能フィルター（比色法90％） ※2	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×		○ ※2	×	○	×	×	○	○	○
フィルターチャンバー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ ※2	○ ※2	○	○	○ ※2	○ ※2	○ ※2		○	○	○	×	○	○	○
オイルミストフィルター	△ ※11	△ ※11	○	○	○	△ ※11	△ ※11	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○		△ ※11	×	○	○	○	○
ロングライフフィルター ※5・※6	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	× ※5	○	○	○	△ ※11		×	○	○	○	○
重量法60％フィルター	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×		○	○	○	○
スケルトン天井用側面カバー ※7	○ ※7	○ ※7	○ ※7	×	×	○ ※7	○ ※7	○ ※7	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○		×	○	○
断熱材キット	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○
昇降操作専用リモコン	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
S-LINK アダプター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※1 ワイヤレスリモコン受信部と併用する際の耐油仕様については別途ご相談ください。※2 高性能フィルター、超ロングライフフィルター、外気取入れキット（チャンバー用）を取り付ける場合、フィルターチャンバー（外気チャンバー兼用）が別途必要となります。※3 吹出口丸合フランジ（φ150）を接続する際は、しゃ風材が別途必要となります。※4 3方向吹き出し、2方向吹き出しの場合には、しゃ風材に付属のパッキンを使用してください。※5 超ロングライフフィルターを取り付ける場合、ロングライフフィルターを取り外して使用します。超ロングライフフィルターを昇降グリルで上げ下げすることはできません。※6 ロングライフフィルターは、オイルガードパネル、昇降グリル付　オイルガードパネルを除く各種パネルに標準装着されているフィルターと同じものです。※7 ワイドパネル、パネルスペーサー、スケルトン天井用側面カバーは白色です。カラーパネルと接続する際はご注意ください。※8 施工前に外形寸法図をご確認の上、必ず併設の可否をご確認ください。特にパネルスペーサーと接続する場合は、取付け位置が 50 mm下がりますので、十分にご確認いただくようお願いします。※9 ナノイー X のある部分に取り付けた場合、ナノイー X は機能しません。リモコンで OFF 設定をお願いします。※10 取り付けは可能です。しかし、サーキュレート機能の効果が低下します。※11 オイルミストフィルターを取り付ける環境下の場合、オイルガードパネル、昇降グリル付オイルガードパネルをお勧めします。※12 外気取入れキット取付け面への加湿器の取付けはできません。※13 高温・高湿（30˚または RH80% を超えると思われる）場所に据え付ける場合は外気取入れキット外郭への追加断熱処理が必要となります。

リモコン対応表

リモコン対応表	ワイヤードリモコン				ワイヤレスリモコン受信部※14		リモコン（別売品）の設置可能台数
	多機能ワイヤードリモコン	ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	簡単リモコン	ワイヤレスリモコン組込み受信部タイプ	ワイヤレスリモコン別置受信部タイプ	
エコナビパネルを使用する場合	◎	△	○	△	○	○	2台
エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合	◎	×	△ ※15	×	△ ※15	△ ※15	1台
エコナビパネル エコナビセンサー（壁設置形）を使用しない場合	◎	◎	◎	◎	○	○	2台
昇降グリル付天井パネルを使用する場合	◎	◎	△ ※16	△ ※16	○	○	2台
ナノイー Xを使用する場合	◎	△ ※17	△ ※17	△ ※17	○	○	2台

<エコナビパネルを使用する場合>リモコンは多機能ワイヤードリモコンを基本として「親リモコン」に設定してください。○印のリモコンはエコナビ機能の ON/OFF が可能です。△印のリモコンはエコナビ操作は出来ませんが、「子リモコン」として使用可能です。<エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合>リモコンは多機能ワイヤードリモコンを基本として使用ください。<多機能ワイヤードリモコンを使用する場合>多機能ワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。<多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合>その他のワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。※14 ワイヤレスリモコンは、受信部（組込み受信部タイプもしくは別置受信部タイプ）と送信部が必要です。※15 多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合、△印のリモコンはエコナビ機能の ON/OFF が可能です。※16 昇降操作専用リモコン、多機能ワイヤードリモコン、またはワイヤレスリモコンと併用してください。併用しない場合は、「昇降グリル」が動作しません。※17 多機能ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンと併用してください。併用しない場合は、ナノイー X が制御できません。

■ エコナビパネル

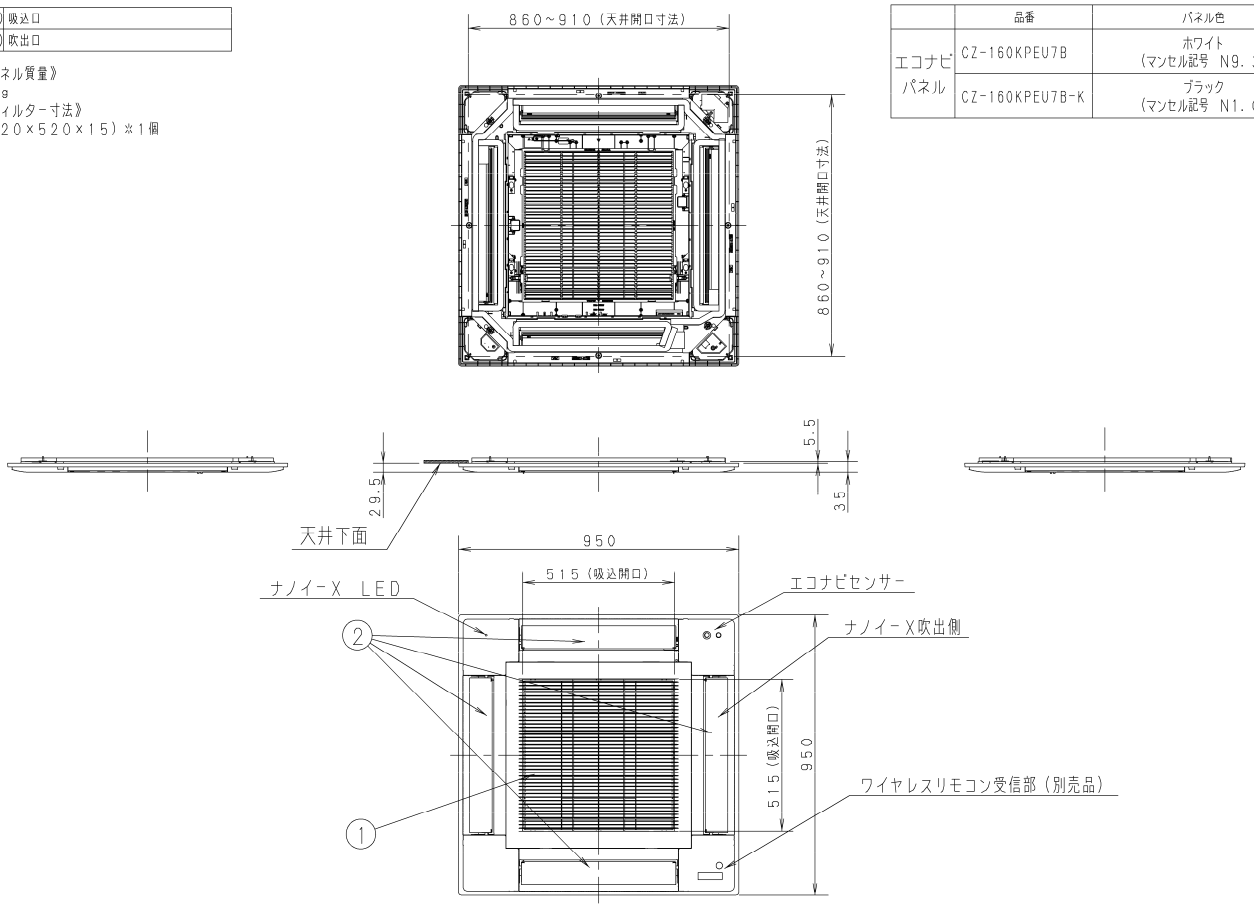
● 外形寸法図

・ CZ-160KPEU7B〔適用機種：40 ～ 160 形〕

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
5kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

	品番	パネル色
エコナビパネル	CZ-160KPEU7B	ホワイト（マンセル記号 N9. 3）
	CZ-160KPEU7B-K	ブラック（マンセル記号 N1. 0）



■ 標準パネル

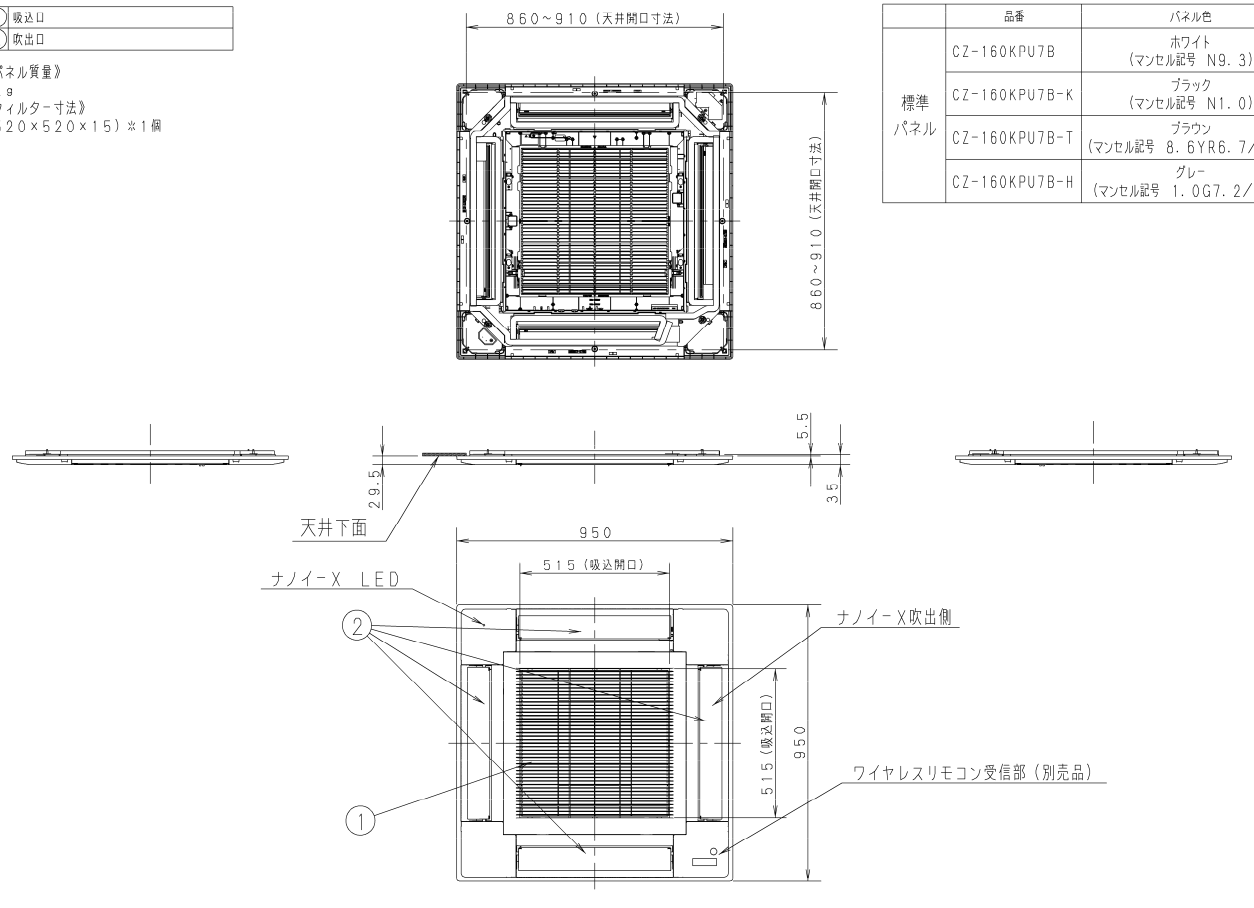
● 外形寸法図

・ CZ-160KPU7B〔適用機種：40 ～ 160 形〕

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
5kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

	品番	パネル色
標準パネル	CZ-160KPU7B	ホワイト（マンセル記号 N9. 3）
	CZ-160KPU7B-K	ブラック（マンセル記号 N1. 0）
	CZ-160KPU7B-T	ブラウン（マンセル記号 8. 6YR6. 7/3. 4）
	CZ-160KPU7B-H	グレー（マンセル記号 1. 0G7. 2/0. 1）



■ オイルガードパネル

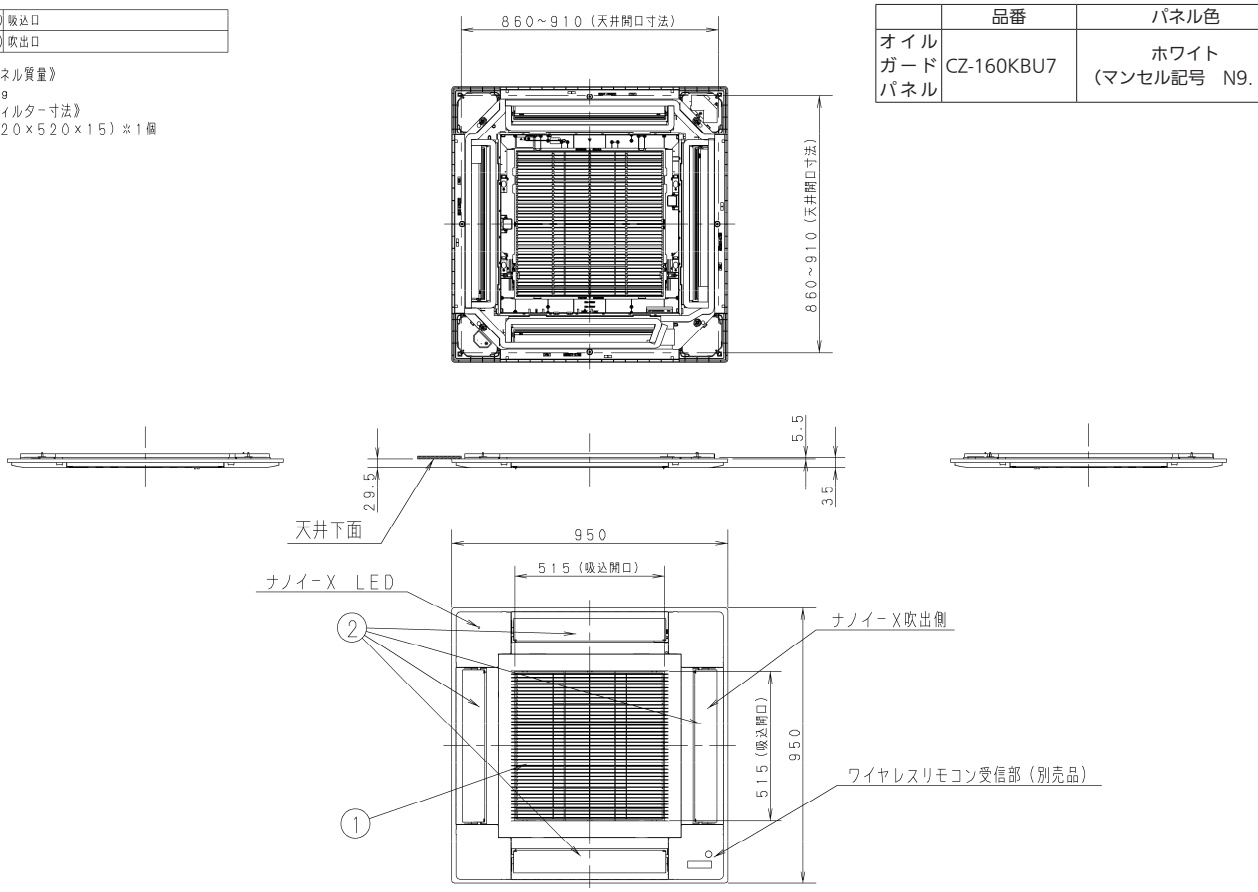
● 外形寸法図

・ CZ-160KBU7 〔適用機種：40 ～ 160 形〕

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
5kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

	品番	パネル色
オイルガードパネル	CZ-160KBU7	ホワイト（マンセル記号　N9. 3）



● 標準パネル、エコナビパネル、オイルガードパネル仕様

	標準パネル	エコナビパネル	オイルガードパネル
品　　番	CZ-160KPU7B	CZ-160KPEU7B	CZ-160KBU7
外形寸法　W×D×H(mm)	950×950×47(29.5)	950×950×47(29.5)	950×950×47(29.5)
製品質量(kg)	5.0	5.0	5.0
色(マンセル記号)	ホワイト(N9.3) -H：グレー(1.0G 7.2/0.1) -T：ブラウン(8.6YR 6.7/3.4) -K：ブラック(N1.0)	ホワイト(N9.3) -K：ブラック(N1.0)	ホワイト(N9.3)
適用形式	40～160形		

※外形寸法の(　)内数値は、天井面からでているパネルの高さの寸法です。

据付工事説明書(詳細版)をダウンロードできます。
QRコードから代表機種（CZ-160KPU7B）のページにアクセスします。
https://www2.panasonic.biz/scvb/a2A/top.G01
「品番・品名・キーワード」欄に「CZ-160KPU7B」と入力し据付工事説明書をダウンロードしてください。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

据付工事説明書　標準パネル／エコナビパネル／オイルガードパネル

品番	標準パネル	CZ-160KPU7B　CZ-160KPU7B-K　CZ-160KPU7B-H　CZ-160KPU7B-T
	エコナビパネル	CZ-160KPEU7B　CZ-160KPEU7B-K
	オイルガードパネル	CZ-160KBU7

適用室内ユニット　４方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている据付工事説明書と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。

❗　実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  （感電・火災などの原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの据付工事説明書に従って行う**（感電・火災などの原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準　●内線規程
  - ●据付工事説明書

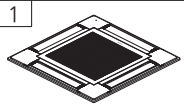
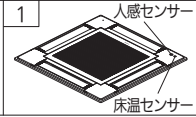
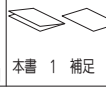
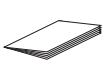
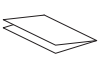
  （感電・火災の原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する**
  据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

  （発熱・火災などの原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
  （感電の原因）

⚠ 注意

⃠
- **■可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

本体			付属品			エコナビパネルのみ	
品名	標準パネル／オイルガードパネル	エコナビパネル	座付ネジ	ネ　ジ	据付工事説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	1	1	4	4	2	1	1
形状			M5X26（座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています） 	4X12 			試運転編 

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

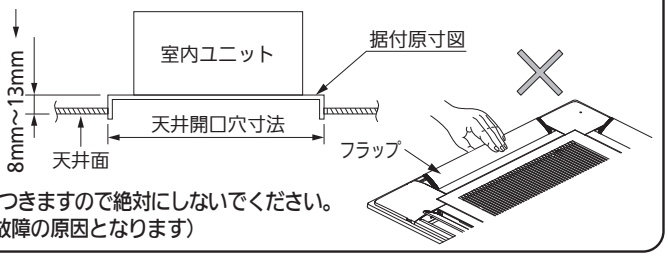
Printed in Japan
ACXF60-54970
BE1123-0

1. 取り付け前の準備

（1）室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860mm×860mm～910mm×910mm
②室内ユニットの梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。
天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの動作不良等の原因となります。

必ず8mm～13mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。

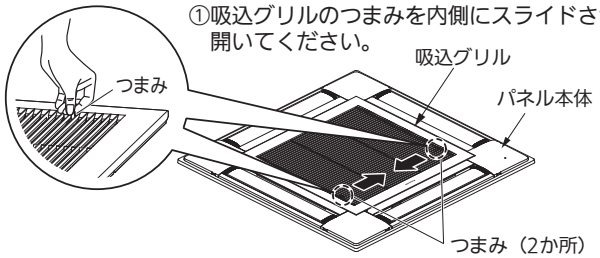


●パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
●フラップをさわったり、力を加えたりしないでください。（フラップの故障の原因となります）

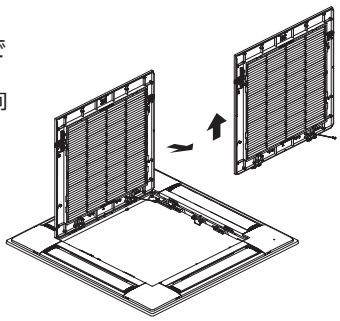
2. 取り付けかた

（1）吸込グリルの取りはずし

①吸込グリルのつまみを内側にスライドさせ、開いてください。

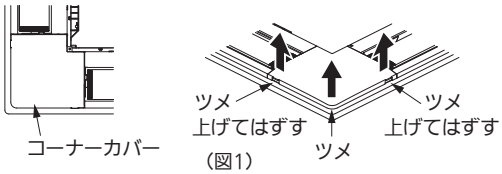


②吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネル本体から矢印の方向にはずしてください。



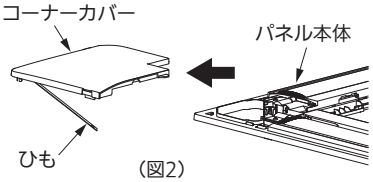
（2）コーナーカバーの取りはずし

①コーナーカバーのツメを矢印の方向へ押し上げてはずしてください。（図1）



（図1）

②コーナーカバーを矢印の方向へスライドしはずしてください。（図2）



（図2）

（3）パネル本体の取り付け

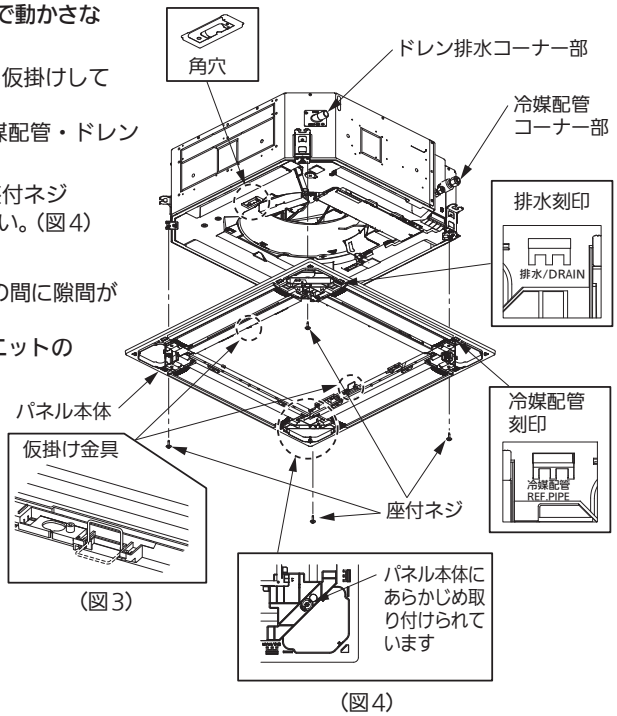
フラップの角度変更は電源を入れなければできません。（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります）

①パネル本体内面の仮掛け金具を起こし、室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図3）
パネル本体コーナー部の**冷媒配管・排水**の刻印を室内ユニットの冷媒配管・ドレン排水コーナー部に合わせてください。

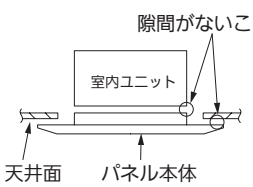
②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合わせパネル本体の座付ネジ（M5×26）4か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図4）

③パネル本体が天井に密着したことを確認してください。

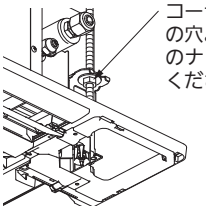
この時、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。（図5）
天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。（図6）
はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。



（図3）　（図4）



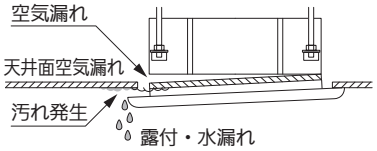
（図5）



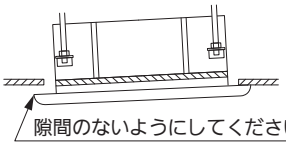
（図6）

ご　注　意

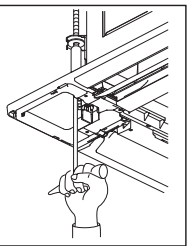
- 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



- 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



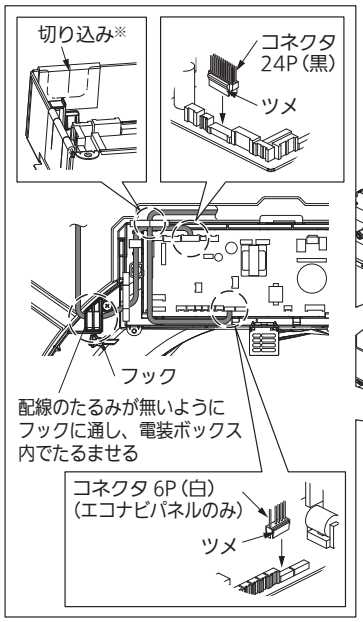
(4) パネル本体の配線方法

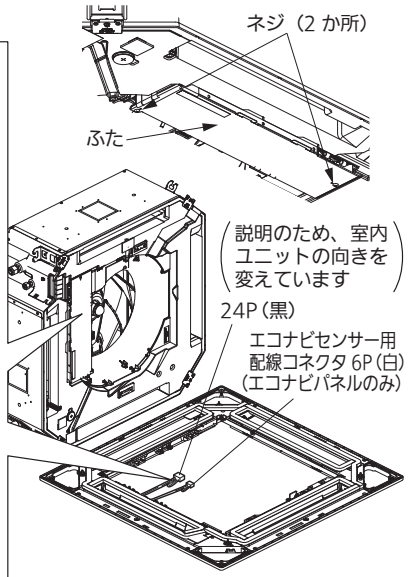
①電装ボックスのふたを取りはずしてください。(ネジ2か所)

②パネル本体から出ている配線コネクタ（標準パネルとオイルガードパネルは 24P（黒）のみ、エコナビパネルは 24P（黒）と 6P（白）の両方）を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、図のように 24P（黒）はフックに通して電装ボックス内へ引き込んでください。6P（白）はフックを通さず電装ボックス内へ引き込んでください。
コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。
（確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに “P09” が表示されます。
また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります）

※ **6P（白）コネクタの配線を接続する際には、配線経路の EPT を電装 BOX の縁までハサミで切って配線してください。**

③電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。
配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。
配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。



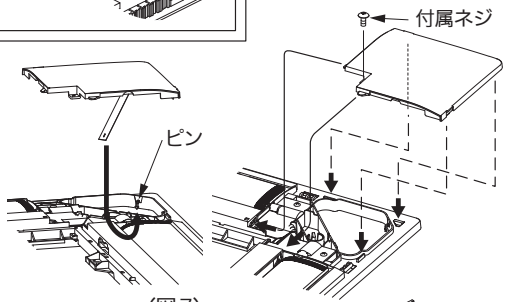


(5) コーナーカバー・吸込グリルの取り付け

A.コーナーカバーの取り付け

①コーナーカバーのひもを図7のようにパネル本体のピンに引っかけてください。（ナノイーX LEDおよびエコナビセンサーが付いているコーナーカバーには、ひもは付いていません）

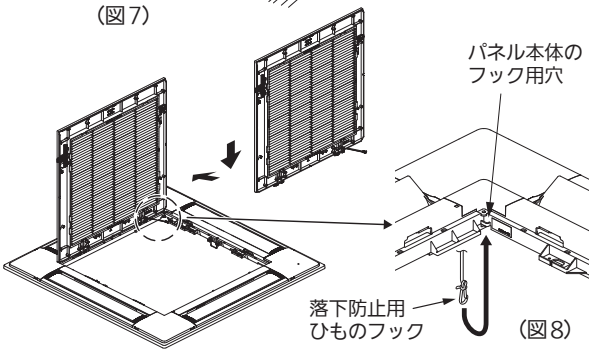
②コーナーカバーをパネル本体に、付属のネジで取り付けてください。



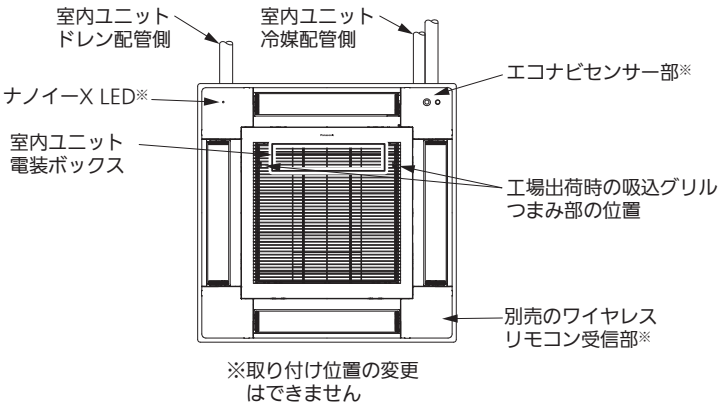
（図7）

B.吸込グリルの取り付け

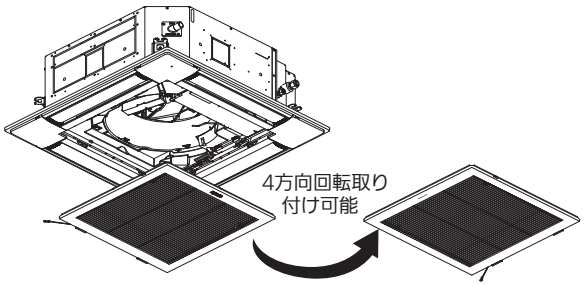
- 取付方法は**吸込グリルの取りはずし**と逆の手順で取り付けてください。（2 ページ　2.（1））
- **吸込グリルを取り付ける際、配線をはさまないよう注意してください。**
- **必ず吸込グリル落下防止用ひもをパネル本体に図8のように取り付けてください。落下防止用ひもを取り付けない場合、吸込グリルが落下するおそれがあります。**
- 吸込グリルは4辺いずれの向きでも取り付けが可能です。（図9）



（図8）



※取り付け位置の変更はできません



（図9）

3. その他

A.据え付け後の確認

●室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
　＊隙間があると水漏れや露付の原因となります。
●配線接続が確実にされていることを確認してください。
　＊接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.ワイヤレスリモコン対応の場合

●取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

C.DCファンモータータップの選択（4方向天井カセット形）

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。＊ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	リモコンの設定データ項目コード5D	使用用途／別売品名称　※1
(出荷設定)	0000	標準
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法65%）
		重量法60%フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時） 高性能フィルター（比色法90%）
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。
※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。
※3. しゃ風材とそれ以外の左表中の設定変更が必要な別売品を併用する場合、

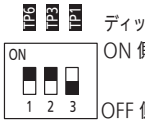
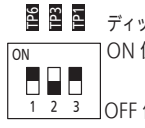
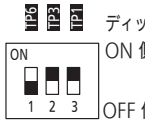
3方向吹出時	設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時	設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時	設定No.（6）または設定データ0006

を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

高性能フィルター（比色法90%）の場合は、高天井対応はできません。
その他の別売品取り付け時の高天井対応については
設備設計資料等をご確認ください。

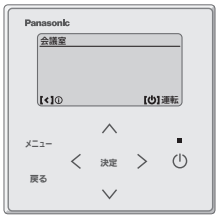
(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

〈手順〉必ず電源（配線用しゃ断器（電源））を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。
　□：つまみ側

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)		(3)		(6)	

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT5 シリーズ）

ご使用の用途、別売品に応じた「リモコンの設定データ項目コード5D」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ∧ / ∨ ボタンで「詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
　［詳細設定画面］が表示されます。
③ ∧ / ∨ ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
　＜ / ＞ ボタンで項目コードを選択してください。
　∧ / ∨ ボタンで項目コードを「0005D」に変更してください。
　＜ / ＞ ボタンで設定データを選択してください。
　∧ / ∨ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。
④ ＜ / ＞ ボタンでユニットNo.を選択後、戻る ボタンを押してください。
　［詳細設定終了画面］が表示されます。「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



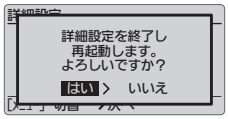
①メンテナンス機能画面



②詳細設定画面



③詳細設定終了画面



D.エコナビパネルを同時運転マルチ、グループ制御で使用する場合

エコナビパネルを取り付けた室内ユニットを親機に設定してください。
それ以外を親機に設定する場合の設定方法については、室内ユニットの据付工事説明書に従ってください。

据付工事説明書（詳細版）をダウンロードできます。
QRコードから代表機種（CZ-160KPEU7B）のページにアクセスします。
https://www2.panasonic.biz/scvb/a2A/top.G01
「品番・品名・キーワード」欄に「CZ-160KPEU7B」と入力し据付工事説明書をダウンロードしてください。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

据付工事説明書　試運転編

エコナビパネル／昇降グリル付エコナビパネル

品番　CZ-160KPEU7B, CZ-160KPEU7B-K / CZ-160KSEU7B, CZ-160KSEU7B-K

適用室内ユニット　４方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

●据付工事完了後、この据付工事説明書 試運転編をよくお読みのうえ、試運転を行い異常がないことを確認してください。
特に「安全上のご注意」は、試運転前に必ずお読みください。

●室内ユニットなどに付属の据付工事説明書も合わせてご覧ください。

●この据付工事説明書 試運転編は取扱説明書、据付工事説明書とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合はお客様から据付工事説明書 試運転編を工事担当の方へお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗

■ **据付工事は、据付工事説明書に従って行う**
（感電・火災などの原因）

■ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付工事説明書

（感電・火災の原因）

■ **据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
（感電・火災などの原因）

■ **配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

（発熱・火災などの原因）

■ **工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
（感電の原因）

■ **据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。**

使用上のお願い

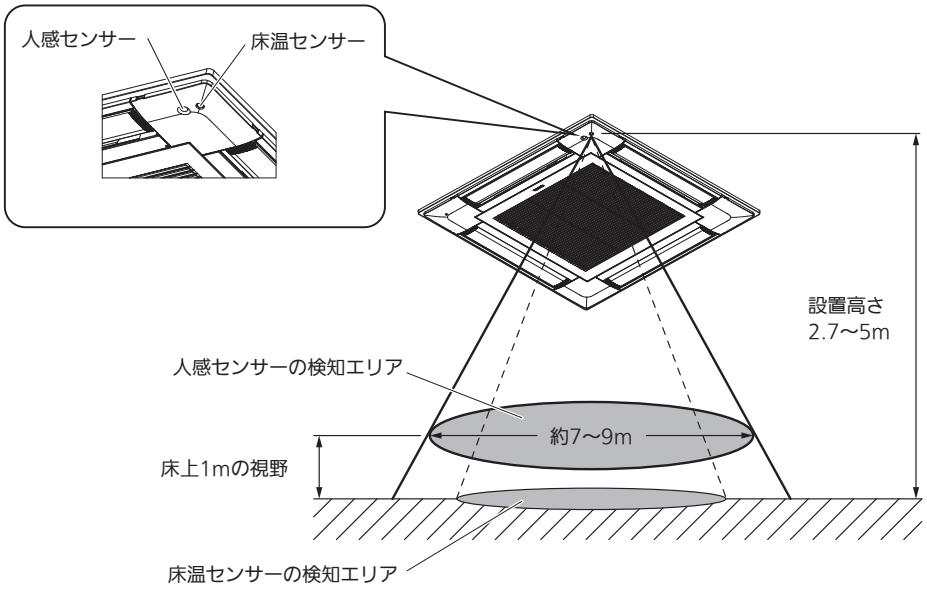
- 次のような場所に設置しないでください。
故障や誤作動の原因となる場合があります。
  - ・湿気、油分、振動が多い場所
  - ・直射日光があたる場所や熱源の近く
  - ・結露する場所
  - ・ノイズが発生する場所（誤動作の原因）
- エコナビパネルは、屋内専用です。
- センサーの表面に傷を付けない
（センサーが正しく検知しなくなる原因）
- センサーを強く押さない（破損の原因）
- 熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
- ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や変形の原因）
  - ・汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
- エコナビパネルと併用不可の別売品を同時設置しない
（動作不良の原因）
併用可/ 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
- センサーからガラス越しの人の動きは、検知できません。
- センサーでの不在判定には起動後、２～５分かかります。

Printed in Japan
ACXF60-55000
BE1123-0

設置上のご注意

検知エリアの目安

●人感センサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。
　人を検知できる位置にエコナビパネルを取り付けるようにしてください。
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
●床温センサーは、人感センサーエリアの内側を検知しています。



＜人感センサー検知エリア目安＞
・室内ユニット設置高さ 2.7mの場合　：直径 約 7m
・室内ユニット設置高さ 4mの場合　：直径 約 8m
・室内ユニット設置高さ 5mの場合　：直径 約 9m

●取り付け時に、センサー部を強く押さないでください。また、センサー部の表面に傷を付けないでください。
　センサーが破損し、正しく検知できなくなる場合があります。
●次のような場所には設置しないでください。故障や誤作動の原因となる場合があります。
　・湿気、油分、振動が多い場所
　・直射日光があたる場所や熱源の近く
　・結露する場所
　・ノイズが発生する場所（誤動作の原因）

設定する （CZ-10RT5シリーズの場合）

エコナビシステム設定

エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
<手順>ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

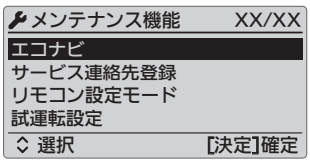
① 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。



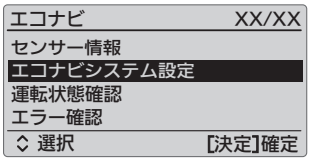
②「エコナビ」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで「エコナビ」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



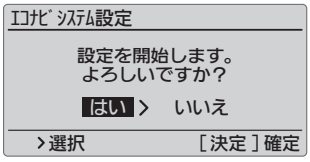
③「エコナビシステム設定」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



④ 設定を開始する

＜ / ＞ ボタンで「はい」を選択し、
決定 ボタンを押してください。
（リモコンに「設定中」と表示します。）



⑤「設定中」の表示が消え、システムが自動的に再起動します

⑥ エコナビが設定されたか確認する

右図のように ECONAVI が表示されます。
＊ 運転中の画面になっていない場合は、
⏻ ボタンを押して、運転状態にしてください。
＊ 運転モードが送風の場合は ECONAVI は表示されません。
「送風」以外の運転モードにしてください。
＊ エコナビがオフの場合は ECONAVI が表示されません。
エコナビをオンに設定してください。



お知らせ

●手順 2 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説　　明
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「エコナビ」を選択してください。約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、室内ユニットの据付工事説明書　試運転編を参照し、自動アドレスを行った後「エコナビ」を選択してください。

●手順 3 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説　　明
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。 そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。 室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

試運転する（CZ-10RT5シリーズの場合）

準備：室内ユニットの据付工事説明書を参照し、事前に電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を入れてください。
　　電源投入後の約 90 秒間は、人感センサーは初期設定中のため、人の検知を行いません。
＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

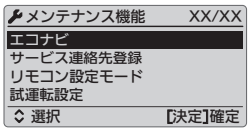


① 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ › ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

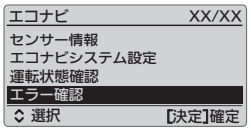
②「エコナビ」を選ぶ

˄ / ˅ ボタンで選択、‹ / › ボタンでページが切り替わります。
「エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



③「エラー確認」を選ぶ

˄ / ˅ ボタンで「エラー確認」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



④ センサーの状態が「正常」であることを確認する

˄ / ˅ ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。
すべての室内ユニットのセンサーの状態が表示されます。



- **「正常」**：エコナビパネルのセンサーは正常に動作しています。
- **「準備中」**：エコナビパネルのセンサーは初期設定中です。
  90 秒以内に「正常」と表示されることを確認してください。
- **「未対応」**：エコナビ機能に対応していない室内ユニットです。

試運転は以上です。エコナビパネルを接続しているが「正常」「準備中」以外の表示の場合は、手順 5 を確認してください。
＊「1-1」、「1-2」は室内ユニット No. を示します。エコナビパネルが接続されていない室内ユニットは、「接続なし」が表示されます。
＊「センサー 1」とは、別売品のエコナビセンサー（CZ-CSEN1 等）を指します。接続されていない場合は、「センサー 1」に「接続なし」が表示されます。

⑤ センサーの状態が「正常」「準備中」以外の場合

エコナビパネルを接続しているにもかかわらずセンサーの状態が「異常」「接続なし」になる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。
対象の室内ユニットを特定し、センサーを確認してください。

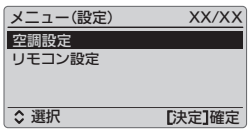
- **「異常」**：センサーが故障している可能性があります。
- **「接続なし」**：室内ユニットとセンサー間の配線が接続されていない可能性があります。

＊ 室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。

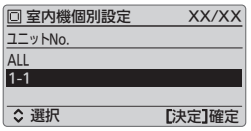
確認方法：

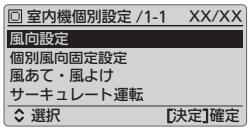
① メンテナンス機能を終了する
　メニュー ボタンを押して、メンテナンス機能画面を表示し、戻る ボタンを押す。

② 風向操作をする
　対象の「室内ユニット No.」を選んで、風向設定を行ってください。
　設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機種になります。
　1. メニュー を押しメニュー設定画面に切り替える。
　2. ˄ / ˅ ボタンで「空調設定」選択し、決定 ボタンを押してください。
　3. ˄ / ˅ ボタンで「室内機個別設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
　4. ˄ / ˅ ボタンで対象の「室内ユニット No.」を選んで室内機を選ぶ。
　　「ALL」を選んだときは設定できません。
　5. ˄ / ˅ ボタンで「風向設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
　6. ˄ / ˅ ボタンで風向を選んで、決定 ボタンを押してください。











室内ユニットが特定できましたら、電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を切り、センサー配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を入れ、再度①～④を操作し「エラー確認」にて状態を確認してください。
再度、「異常」「接続なし」が表示された場合、エコナビパネルの交換が必要です。

外部機器連動機能 （CZ-10RT5の場合）

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

●人感センサー出力に連動（警報とは連動しません）
人の在→不在の変化を検知時：外部機器の運転をオフします。
「**不在検知時間設定**」(P.6）により運転オフのタイミングを遅延させることが可能です。
人の不在→在の変化を検知時：外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動（エアコン連動）
室内ユニットが運転時：外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時：外部機器の運転をオフします。

●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ：外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時：外部機器の運転をオフします。

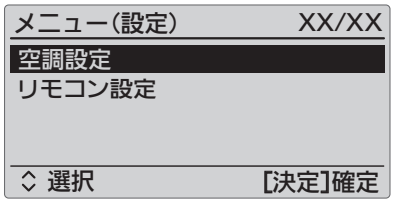
① メニュー画面を表示する

メニュー ボタンを押しメニュー設定画面に切り替える。



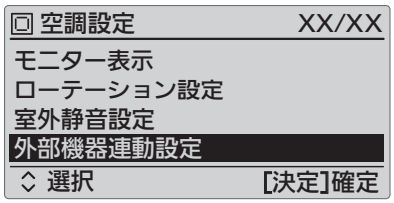
②「空調設定」を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで「空調設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



③「外部機器連動設定」を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで「外部機器連動設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



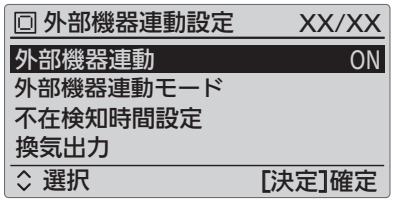
④ パスワードを入力する

∧ / ∨ ボタンで数字を選択し、› ボタンで
次の桁に移行します。（繰り返す）
入力が完了したら 決定 ボタンを押してください。
＊ パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が
表示されたら 決定 ボタンを押し、画面に従い、
設定してください。



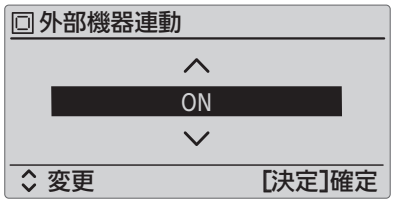
⑤「外部機器連動」を選択する

∧ / ∨ ボタンで「外部機器連動」を選択し、
決定 ボタンを押してください。

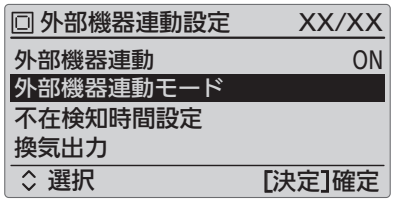


外部機器連動機能（つづき）

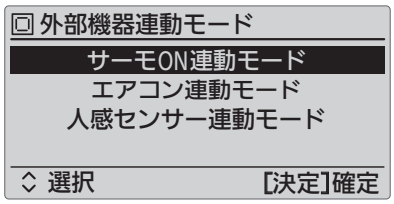
⑥ 外部機器連動で「ON」を選ぶ
∧ / ∨ ボタンで「ON」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



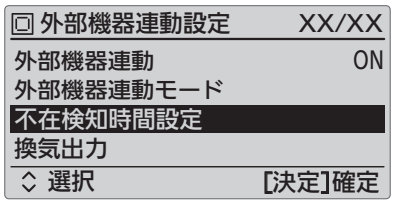
⑦「外部機器連動モード」を選ぶ
∧ / ∨ ボタンで「外部機器連動モード」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



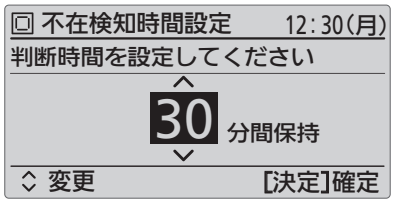
⑧「外部機器連動モード」のモードを選ぶ
∧ / ∨ ボタンでモードを選択し、
決定 ボタンを押してください。
●人感センサー連動モード：
人感センサーの在・不在出力に連動します。
続いて「不在検知時間設定」手順⑨〜⑩を行ってください。
●エアコン連動モード：
エアコンの運転/停止出力に連動します。
●サーモON連動モード：
エアコンサーモON/OFF出力に連動します。



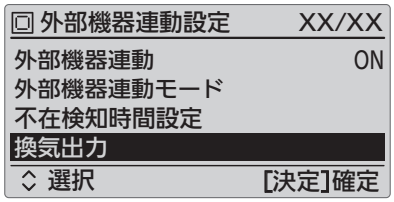
⑨「人感センサー連動モード」を選んだとき「不在検知時間設定」を選ぶ
∧ / ∨ ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



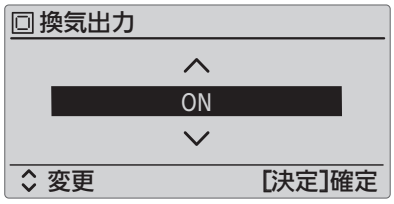
⑩ 運転オフする時間を設定する
∧ / ∨ ボタンで設定時間を選択し、設定後、
決定 ボタンを押してください。
●0分〜60分（1分単位）



⑪「換気出力」を選ぶ
∧ / ∨ ボタンで「換気出力」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



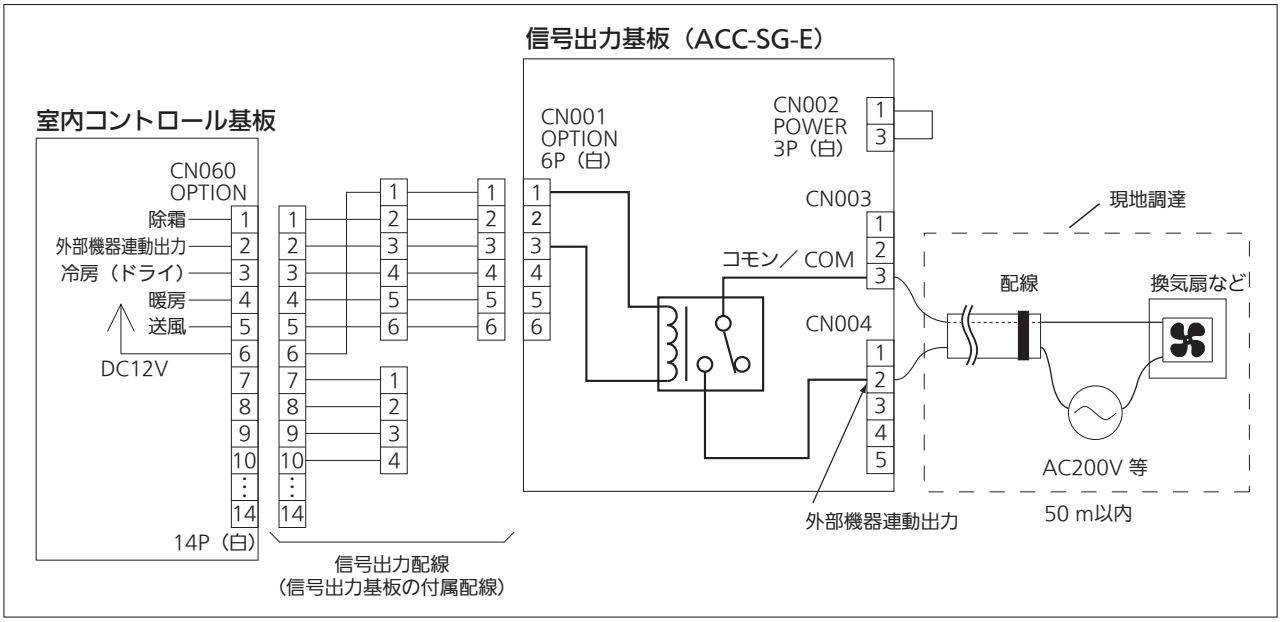
⑫「ON」を選ぶ
∧ / ∨ ボタンで「ON」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



外部機器連動機能（つづき）

■配線例

信号出力基板（ACC-SG-E、別売品）を使用した連動システム例



お知らせ

●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、 空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。

●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

仕様

品番	CZ-160KPEU7B, CZ-160KPEU7B-K	CZ-160KSEU7B, CZ-160KSEU7B-K
外形寸法	（幅）950mm×（奥行き）950mm×（高さ）29.5mm	
質量	5kg	6.5kg
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）	
電源	DC5V（室内ユニットより供給）	

据付工事説明書　補足

CZ-10RT3 で設定する場合

昇降グリルを操作するための設定方法

ワイヤードリモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行なってください。この設定をしないと フィルター ボタンを押しても“この操作は出来ません”または“ ⃠ ” が表示されます。

※ ワイヤレスリモコンでの設定はできません。

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に４秒間以上押します。

※ 昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。

② 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「３０」を指定します。

③ タイマー時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを「０００１」から「０００１」に変更します。

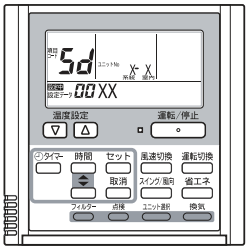
④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）

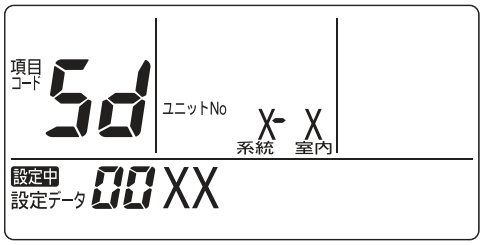
⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

⑥ フィルター ボタンを４秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降”
または“ ”と表示されることを確認してください。
再度 フィルター ボタンを４秒間以上押すと通常の停止状態に戻ります。



DCファンモータータップ選択の設定方法





※ ワイヤレスリモコンでの設定はできません。

〈手順〉停止中に行ってください。

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に４秒間以上押します。

② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③ 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。

④ タイマー時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。設定データは同梱の据付工事説明書をご確認ください。

⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）

⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

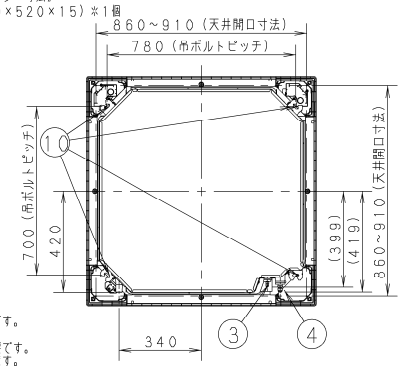
ACXF60-45920
PA0716-0

● エコナビパネル取付図

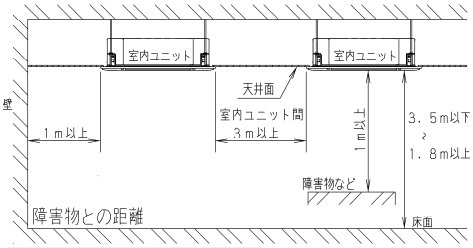
・ CZ-160KPEU7B 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

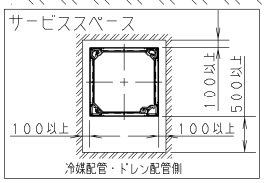
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

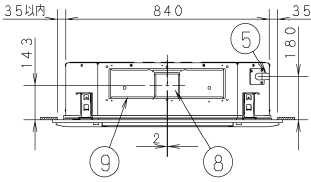


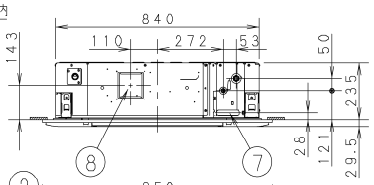
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

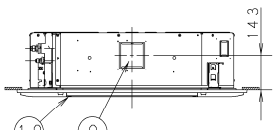


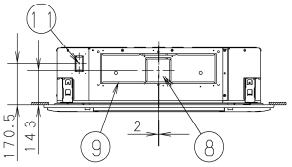


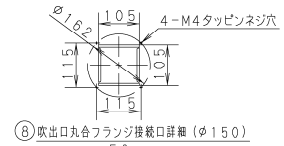
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



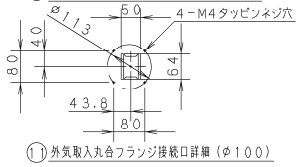




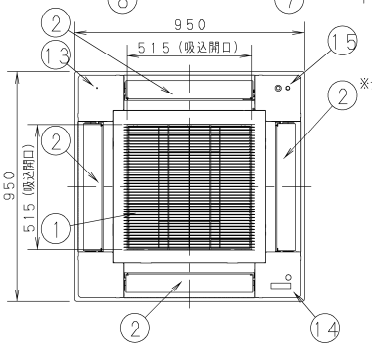


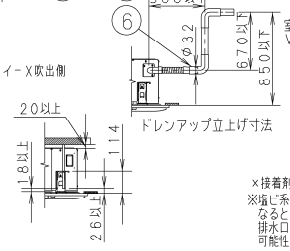


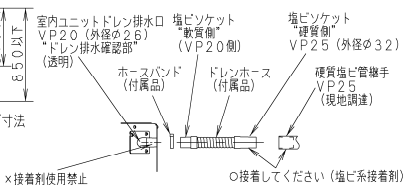
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）



⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）





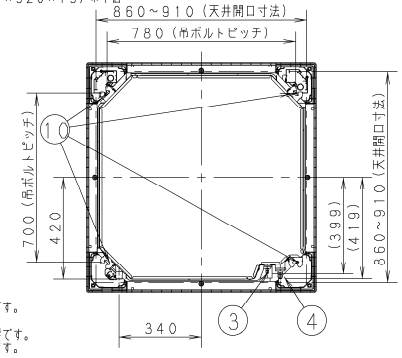


※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

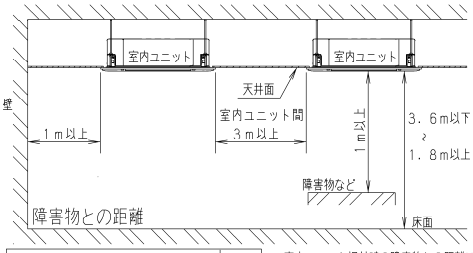
・ CZ-160KPEU7B 〔適用機種：63,71,80H 形〕

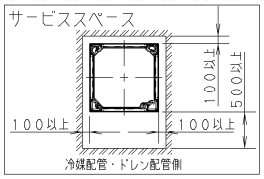
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

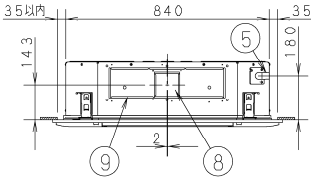


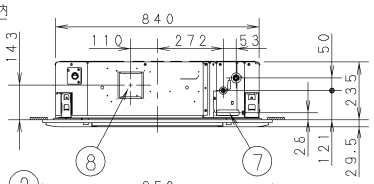
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

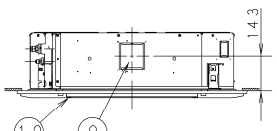


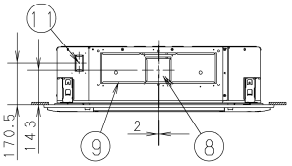


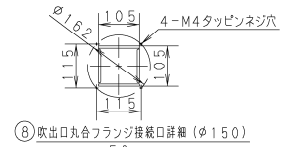
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



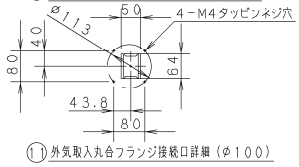




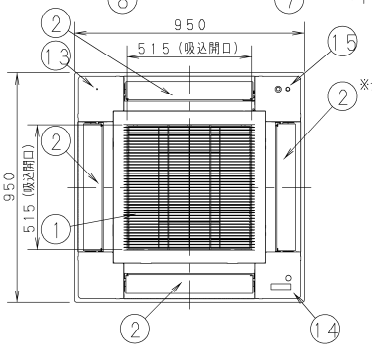


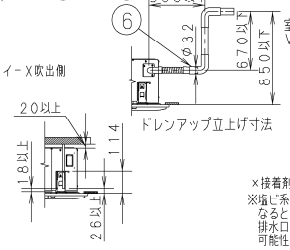


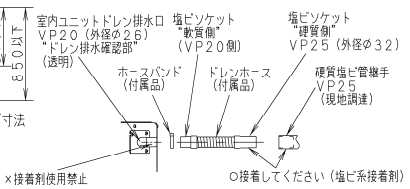
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）



⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）







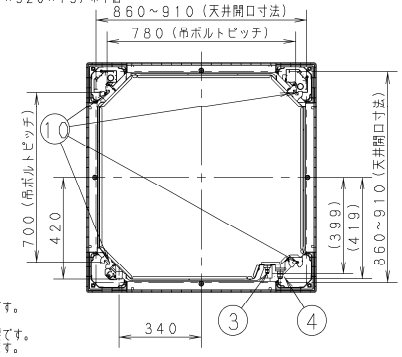
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

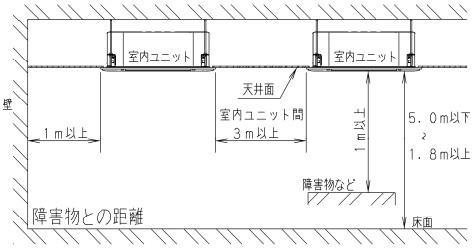
● エコナビパネル取付図

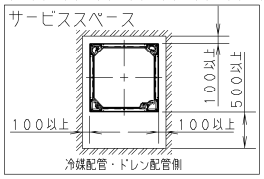
・ CZ-160KPEU7B〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※1個

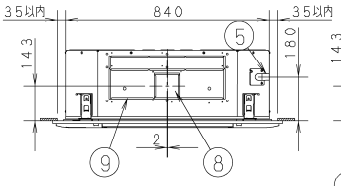


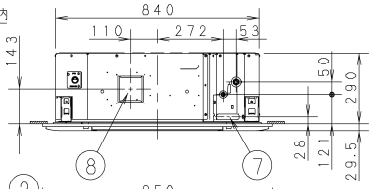


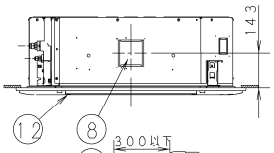


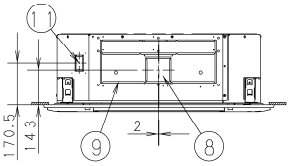
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

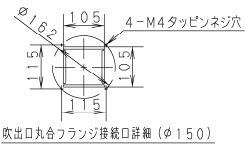
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しや風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



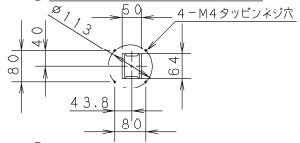




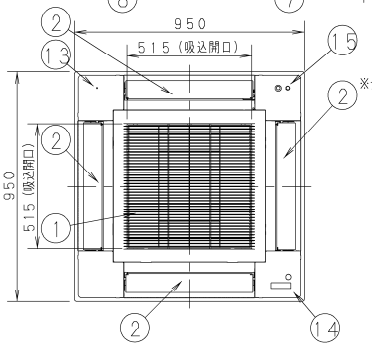


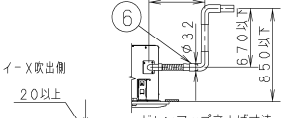


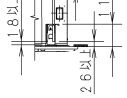
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）



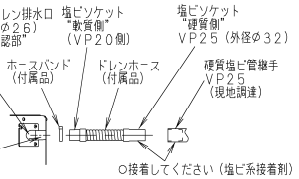
⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）







※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

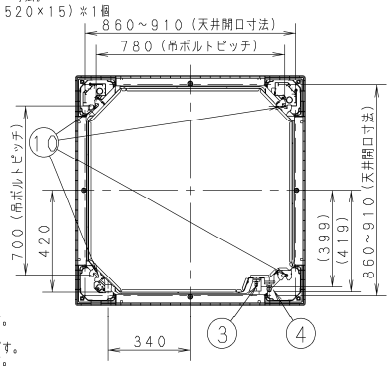
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエメ等で拭き取ってください。

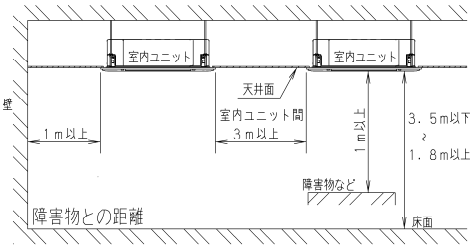
● 標準パネル取付図

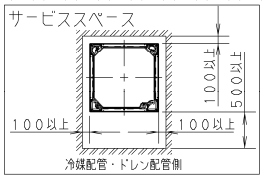
・ CZ-160KPU7B 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
13	ナノイー X　LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

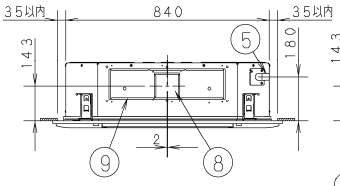


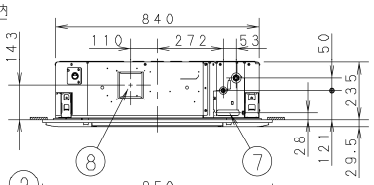


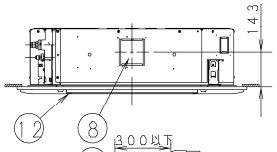


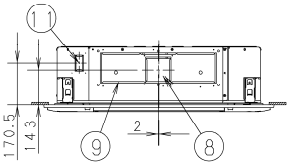
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

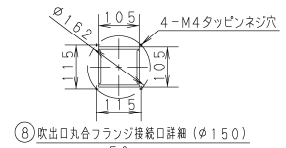
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

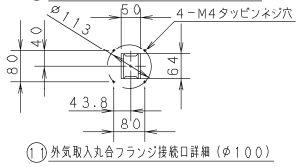


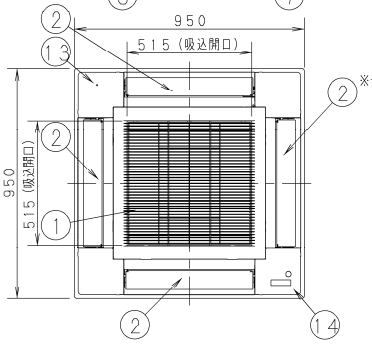


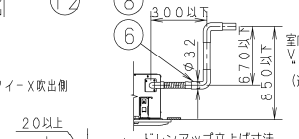


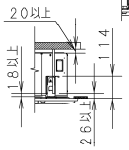


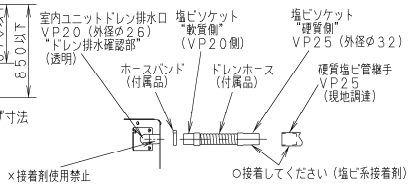












×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

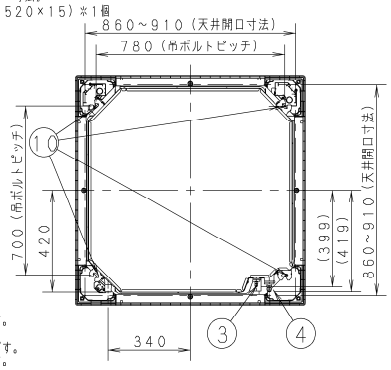
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

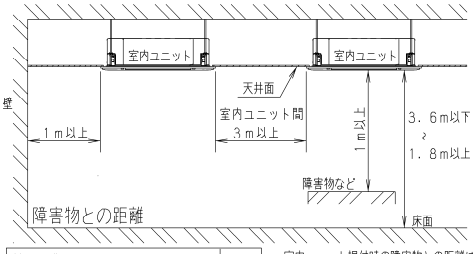
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26ｍｍ以上（本体下面からは18ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

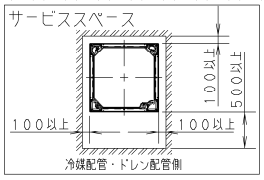
・ CZ-160KPU7B 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
13	ナノイー X　LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

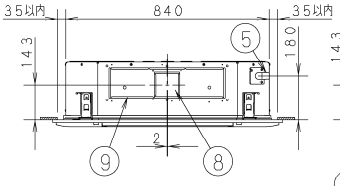


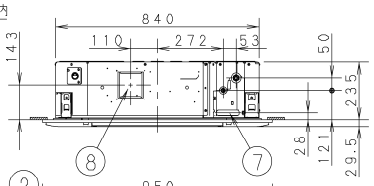


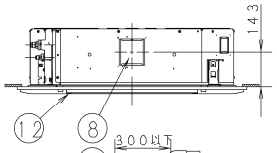


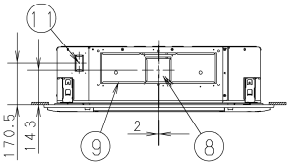
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

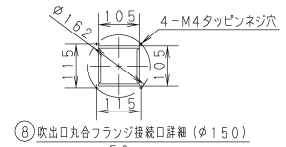
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

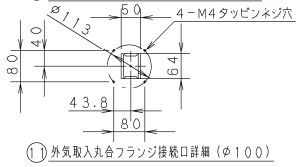


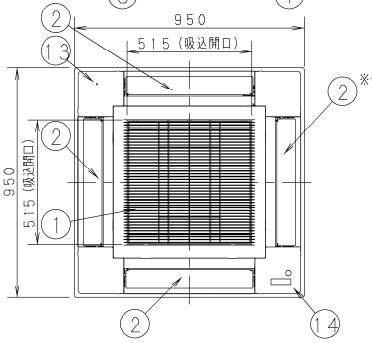


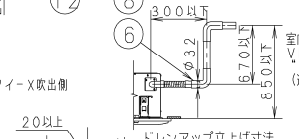


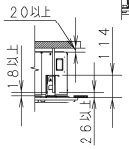


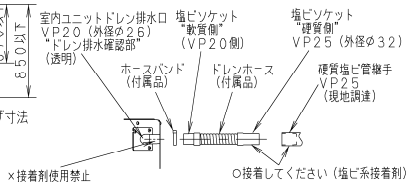












×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

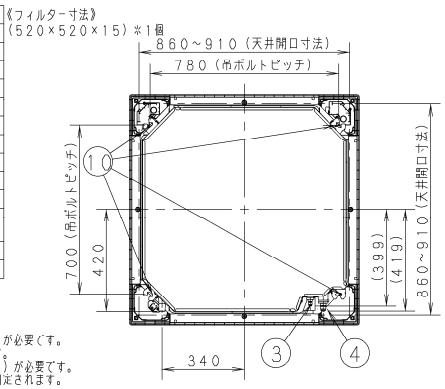
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

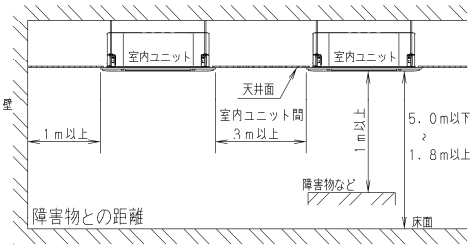
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26ｍｍ以上（本体下面からは18ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

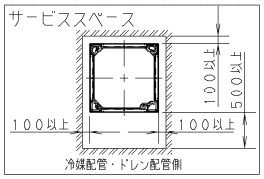
● 標準パネル取付図

・ CZ-160KPU7B〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＵ７Ｂ（－Ｈ，－Ｔ，－Ｋ）
13	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

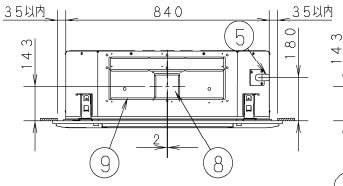


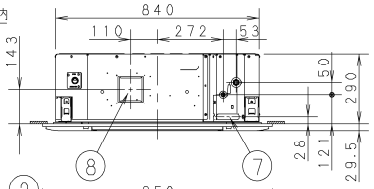


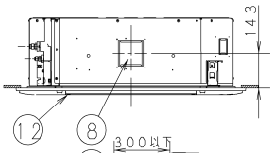


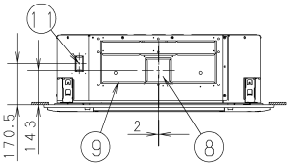
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

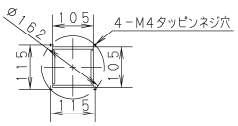
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しや風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



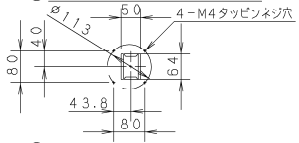




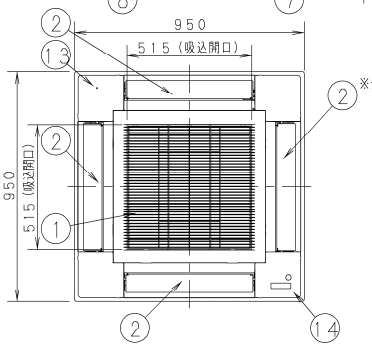


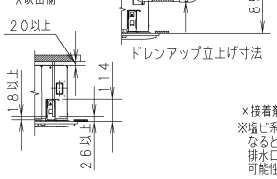


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）

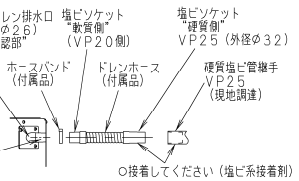


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

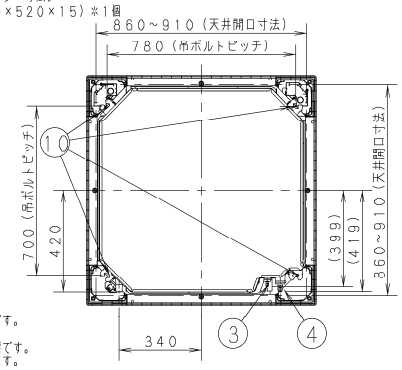
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はシンナー等で拭き取ってください。

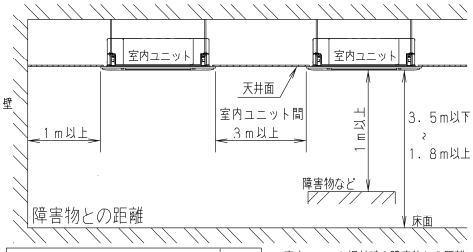
● オイルガードパネル取付図

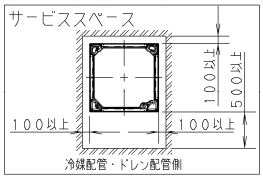
・ CZ-160KBU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	オイルガードパネル（別売品） CZ-160KBU7
13	ナノイー X LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

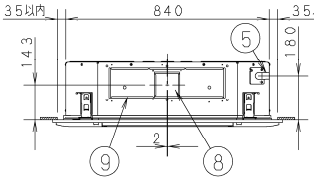


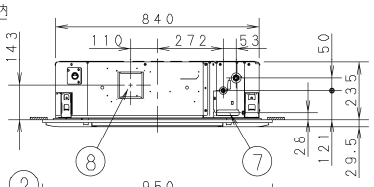


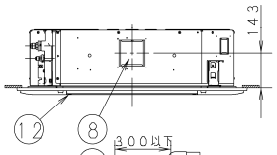


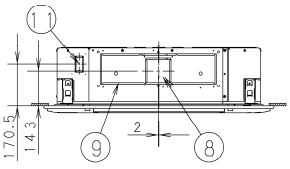
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

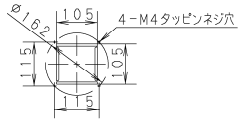
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



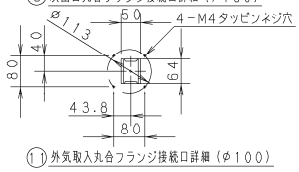




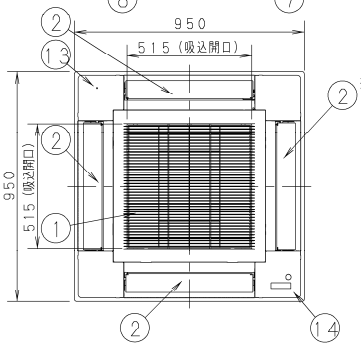


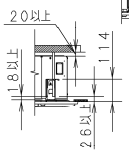


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）

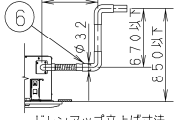


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



ドレンアップ立上げ寸法

室内ユニットドレン排水口
VP20（外径φ26）
"ドレン排水確認部"
（透明）

塩ビソケット
"軟質側"
（VP20側）

塩ビソケット
"硬質側"
VP25（外径φ32）

ホースバンド
（付属品）

ドレンホース
（付属品）

硬質塩ビ管継手
VP25
（現地調達）

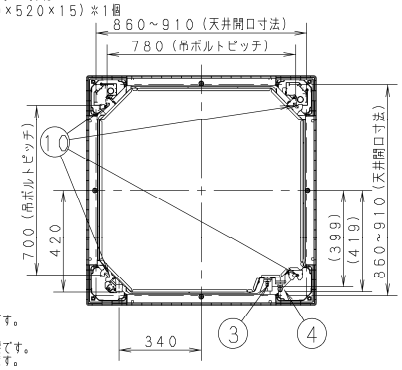
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

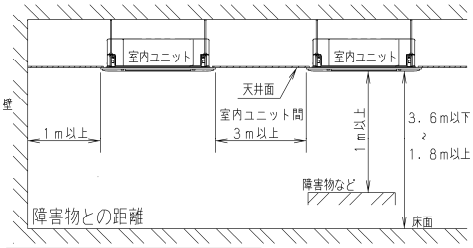
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

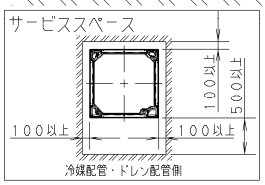
・ CZ-160KBU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	オイルガードパネル（別売品） CZ-160KBU7
13	ナノイー X LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

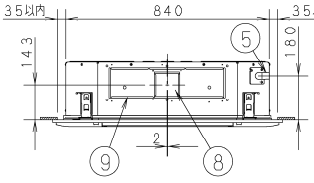


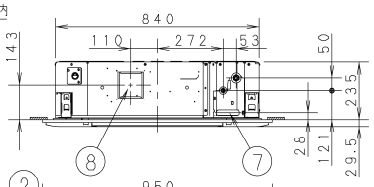


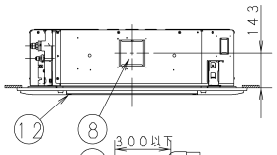


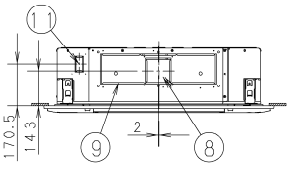
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

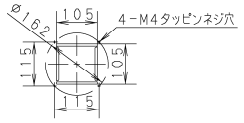
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



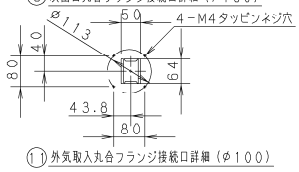




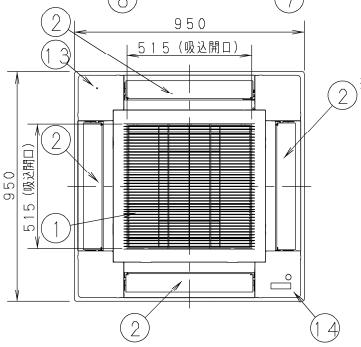


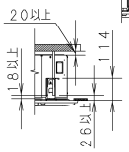


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）

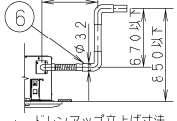


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



ドレンアップ立上げ寸法

室内ユニットドレン排水口
VP20（外径φ26）
"ドレン排水確認部"
（透明）

塩ビソケット
"軟質側"
（VP20側）

塩ビソケット
"硬質側"
VP25（外径φ32）

ホースバンド
（付属品）

ドレンホース
（付属品）

硬質塩ビ管継手
VP25
（現地調達）

×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

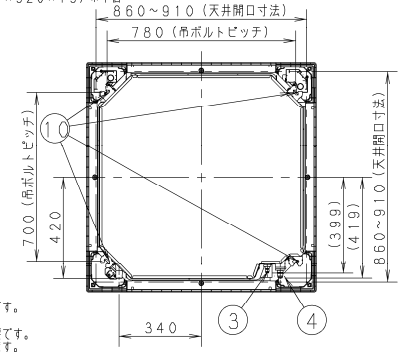
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

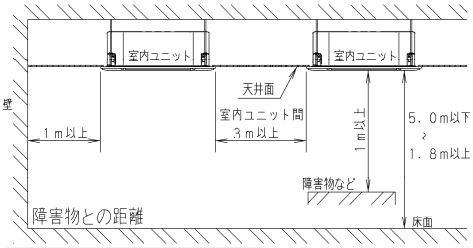
● オイルガードパネル取付図

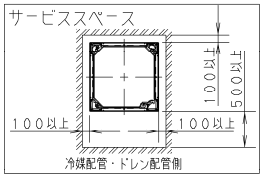
・ CZ-160KBU7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	オイルガードパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＢＵ７
13	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※1個

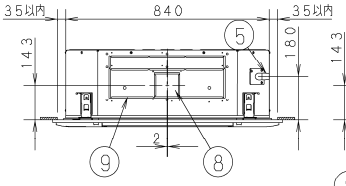


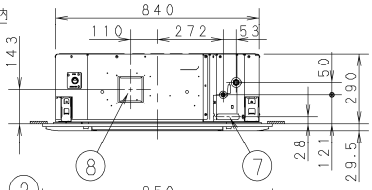


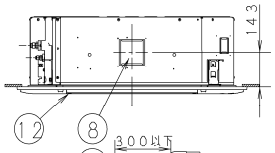


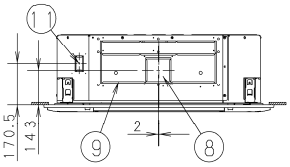
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、露吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

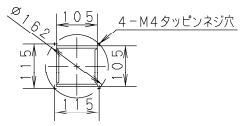
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



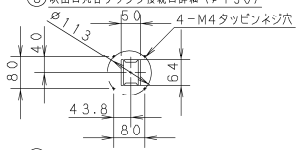




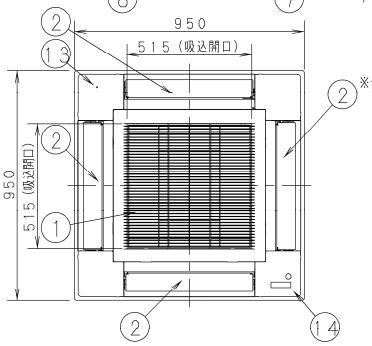




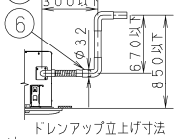
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）



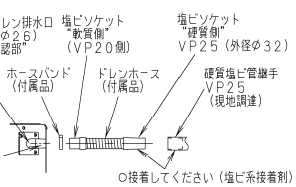
⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



ドレンアップ立上げ寸法



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

■ 昇降グリル付エコナビパネル

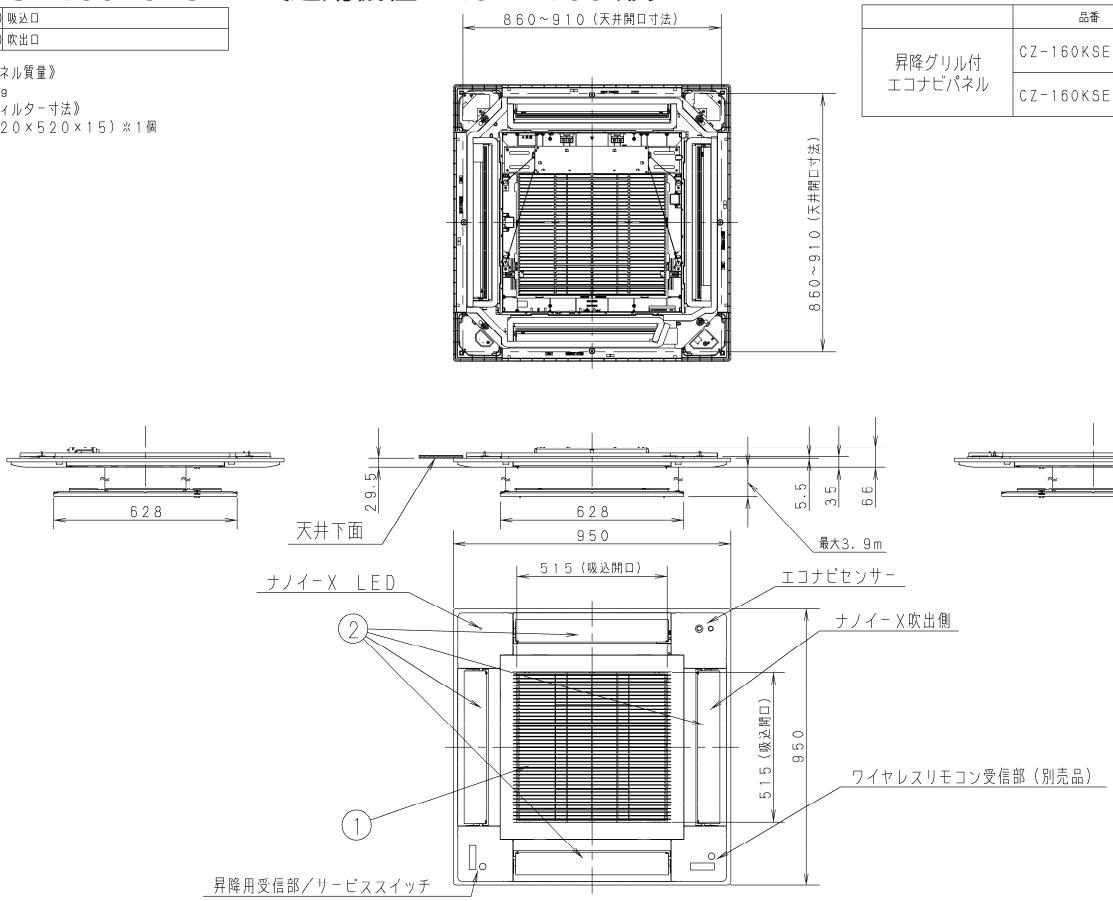
● 外形寸法図

・ CZ-160KSEU7B〔適用機種：40 ～ 160 形〕

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
7kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

	品番	パネル色
昇降グリル付エコナビパネル	CZ-160KSEU7B	ホワイト（マンセル記号 N9.3）
	CZ-160KSEU7B-K	ブラック（マンセル記号 N1.0）



■ 昇降グリル付標準パネル

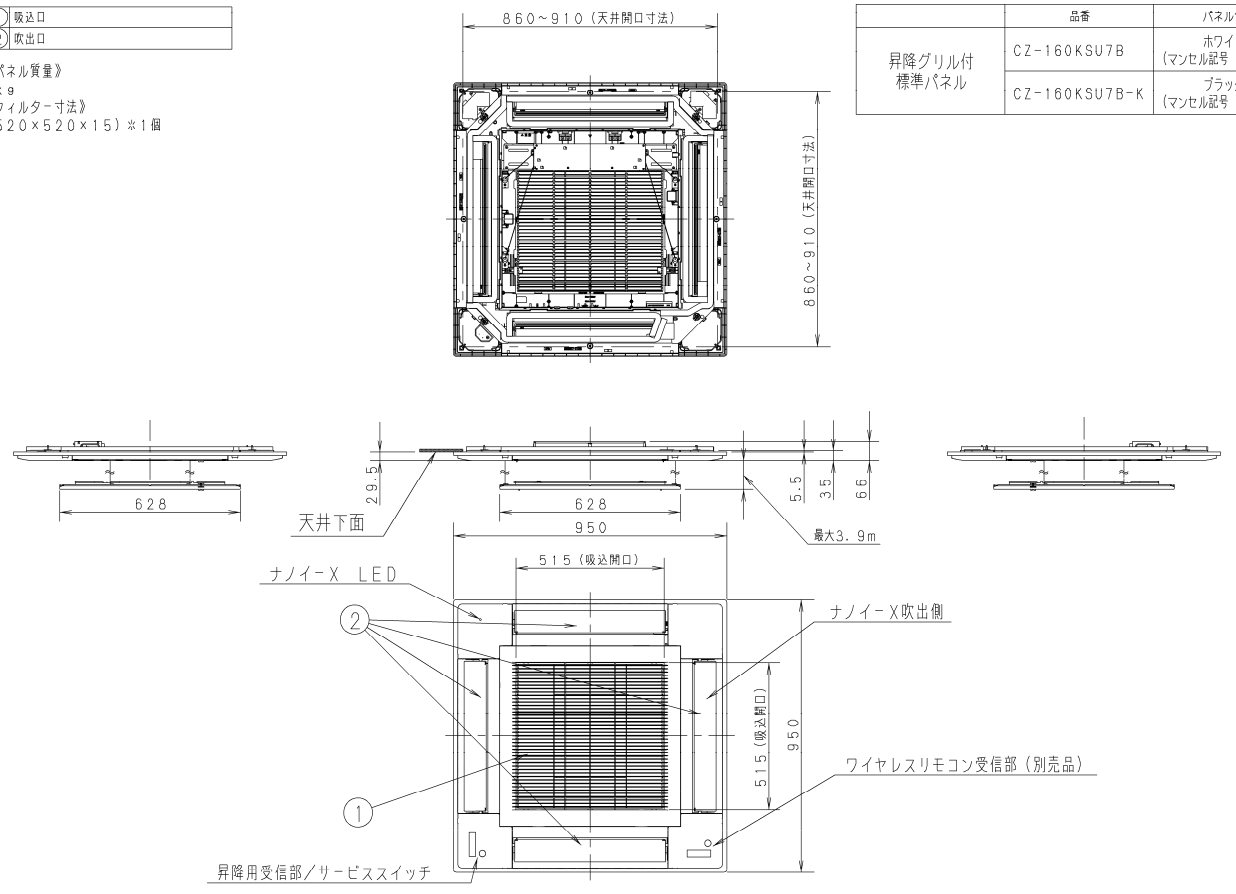
● 外形寸法図

・ CZ-160KSU7B〔適用機種：40 ～ 160 形〕

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
7kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

	品番	パネル色
昇降グリル付標準パネル	CZ-160KSU7B	ホワイト（マンセル記号 N9.3）
	CZ-160KSU7B-K	ブラック（マンセル記号 N1.0）



■昇降グリル付きオイルガードパネル

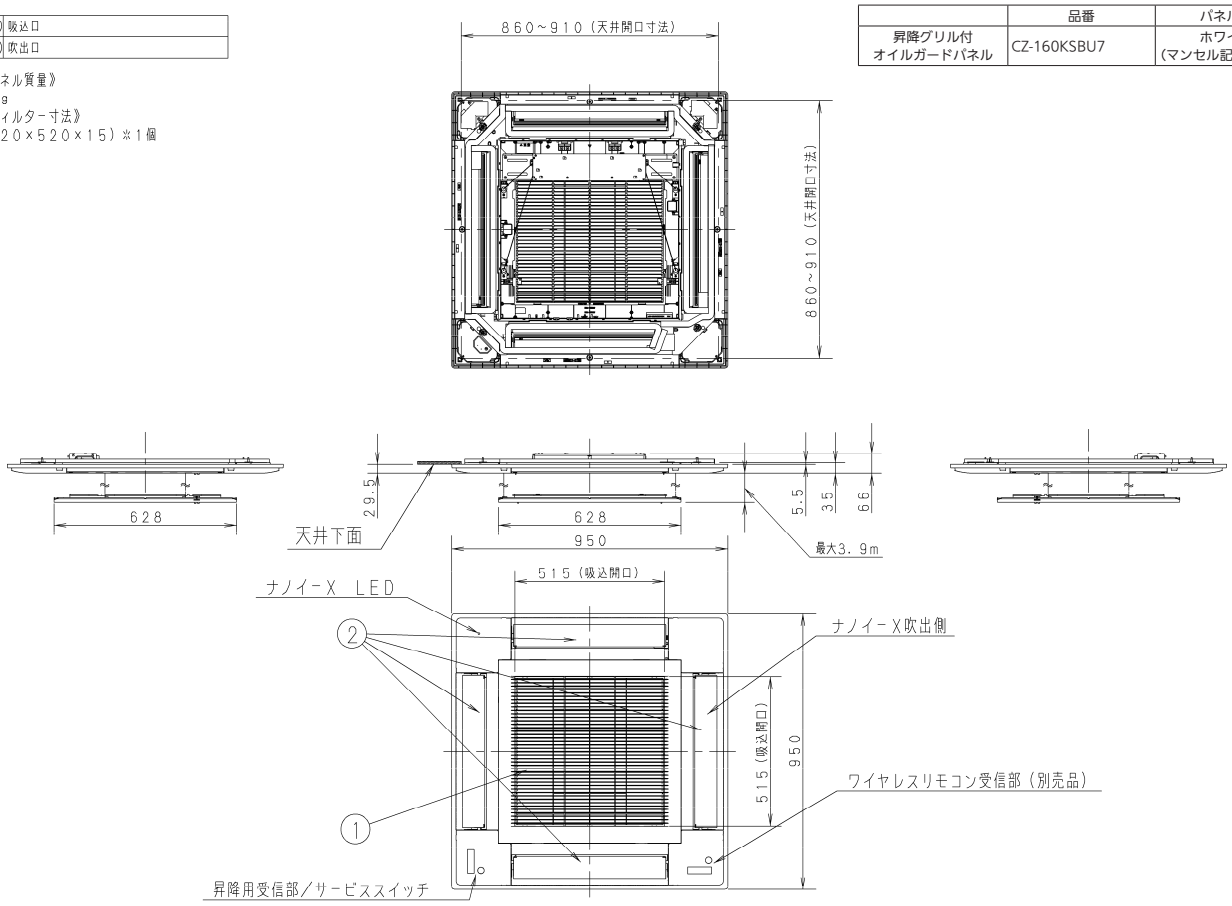
● 外形寸法図

・ CZ-160KSBU7〔適用機種：40 ～ 160 形〕

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
7kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

	品番	パネル色
昇降グリル付 オイルガードパネル	CZ-160KSBU7	ホワイト （マンセル記号 N9. 3）



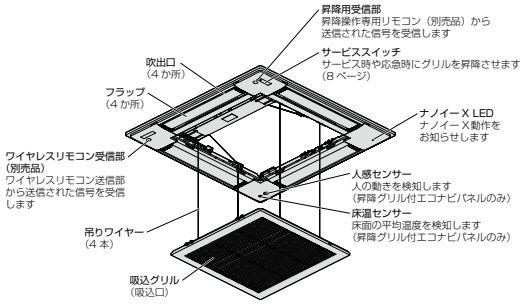
● 昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル仕様

	昇降グリル付標準パネル	昇降グリル付エコナビパネル	昇降グリル付オイルガードパネル
品　　番	CZ-160KSU7B	CZ-160KSEU7B	CZ-160KSBU7
外形寸法　W×D×H(mm)	950×950×66(29.5)	950×950×66(29.5)	950×950×66(29.5)
製品質量(kg)	7.0	7.0	7.0
色(マンセル記号)	ホワイト(N9.3) -K：ブラック(N1.0)	ホワイト(N9.3) -K：ブラック(N1.0)	ホワイト(N9.3)
適用形式	40～160形		

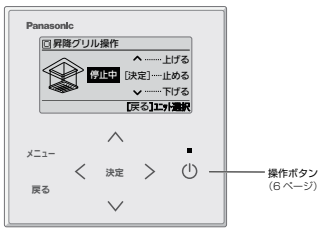
※外形寸法の(　　)内数値は、天井面からでているパネルの高さの寸法です。

各部の名前

■昇降グリル付標準パネル
■昇降グリル付エコナビパネル



■多機能ワイヤードリモコン（別売品）
（CZ-10RT5 シリーズ）



お知らせ
●エコナビについてはエコナビパネルの取扱説明書をお読みください。

操作のしかた

■多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5 シリーズ）

●電源投入時、初めて操作した場合は ∨ を押しても上昇動作をします。

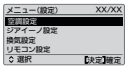


1 メニュー を押す（メニュー（操作・設定）画面表示）
空調機のみが接続されている場合は手順②へ（手順①の画面は表示されません。）
「設定」を選ぶ
＜ ＞ → 決定 を押す



■１つ前の画面に戻るとき
戻る を押す
■トップ画面に戻るとき
メニュー を押す

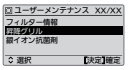
2 「空調設定」を選ぶ
∧ ∨ → 決定 を押す



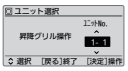
3 「ユーザーメンテナンス」を選ぶ
∧ ∨ → 決定 を押す



4 「昇降グリル」を選ぶ
∧ ∨ → 決定 を押す



5 操作する室内ユニットを選ぶ
∧ ∨ → 決定 を押す

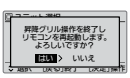


6 昇降グリルを上下させる
∧ ∨ → 決定 を押す
● 上げるとき：∧
● 下げるとき：∨
● 止めるとき：決定



操作が終わったら 戻る を２回押す

7 リモコンを再起動する
＜ → 決定 を押す
● 下記の画面が表示されるので、「はい」を選び、再起動します。
● 再起動後、操作ができるまで 1 分程度かかります。

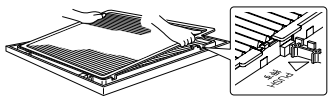


お手入れのしかた

エアフィルターの取りはずしかた

昇降グリルの ▷、◁ マークが示しているエアフィルターの側面を押しながら手前に引いてはずす。

●取りつけは、取りはずしと逆の手順で行ってください。



日常のお手入れ

■エアフィルターは、ほこりを掃除機で吸い取るか水洗いする
・日陰で乾燥させてから、元どおりに取り付ける。



お願い
●40℃以上のお湯を使わないでください。
（変形や変色の原因）
●揮発性のものなどは使わないでください。
アルコール消毒液、ベンジンやシンナー、磨き粉などでふいたり、市販の液状殺虫剤、消毒スプレーなどをかけない。（変形や変色の原因）
●次のようなもので乾かさないでください。
ドライヤー、ストーブ、直射日光
（変形や変色の原因）
●エアフィルターのお手入れ後は、フィルターサインのリセットを行ってください。
（室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。）

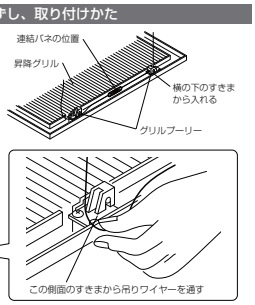
お知らせ
お手入れなどでエアフィルターを破損したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■昇降グリル付天井パネルが汚れた場合は乾いた柔らかい布で拭いてください。
・汚れがひどい場合は、布に水またはぬるま湯を含ませ、よく絞ってから拭いてください。その後、乾いた柔らかい布で拭いてください。

吊ワイヤーの取りはずし、取り付けかた

吊りワイヤーのはずしかた
エアフィルターをはずし、昇降グリルを落下させないように確実に持ってから、グリルプーリー側面のすきまから吊りワイヤーを引き抜いてください。

吊りワイヤーの取り付けかた
エアフィルターを取り付けてください。
連結パネがグリルプーリーとグリルプーリーの間にくるように吊りワイヤーをグリルプーリーの側面から通してグリルプーリーに引っかけてください。吊りワイヤーがグリルプーリーへ正しくかかっているか確認してください。



●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル

故障かな？

お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

	症状	原因・対応
昇降グリル付天井パネル	昇降グリルがパネル本体に収まっても音がする	●吊りワイヤーのたるみを防止するため、数秒間モーターがはたらいている音です。
	昇降グリルがパネル本体に収まった後、2 回昇降をくり返す	●きちんと昇降グリルがパネル本体に収まるための動作です。
	運転中と停止中に「ビシビシ」という音がする	●部品が温度変化により伸縮するためです。
	昇降グリルがパネル本体にうまく収まらない	●エアフィルターが昇降グリルからはずれていませんか？ →昇降グリルを下降させて確認してください。 ●つまみ先端部が昇降グリルの外枠より外に出ていませんか？ →つまみをスライドさせて、つまみ先端部が昇降グリルの外枠より出ないようにしてください。(9 ページ)
	昇降グリルが降下、上昇しない	●昇降操作専用リモコン／ワイヤレスリモコン送信部の電池が消耗していませんか？ ●吊りワイヤーがたるんで停止した場合は昇降できません。吊りワイヤーを張った状態にして操作してください。

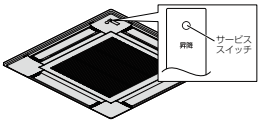
●以上のことをご確認いただき、なお異常のあるときは運転を停止してから配線用しゃ断器（ブレーカー）を切り、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。

リモコンで昇降操作ができないとき

リモコンで昇降グリルが下降、上昇できないときは、パネル表面にあるサービススイッチで下降、上昇ができます。また、グリル内側にある応急用部品を使用して、手動でのグリル開閉に変えることができます。

サービススイッチでのグリル昇降のしかた

下図のように昇降グリルが収まった状態でサービススイッチを押すと昇降グリルは下がります。

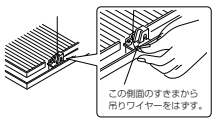


サービススイッチは押すごとに上昇、停止、下降をくり返します。
昇降グリルがパネル本体にきちんと収まると、収納動作を 2 回くり返した後、モーターが停止します。

リモコンでのグリル昇降から、手動でのグリル開閉に変えるとき

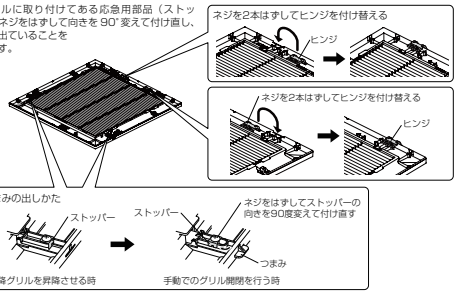
必ず運転を停止して配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってください。

①吊りワイヤーから、昇降グリルを取りはずします。
吊りワイヤーは、エアコン運転の防げにならないところに、束ねてテープ等で止めてください。

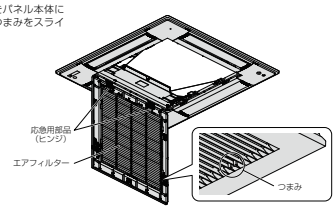


②昇降グリルに取り付けてある応急用部品（ヒンジ）は、ネジをはずして収納部から付け替えます。

③昇降グリルに取り付けてある応急用部品（ストッパー）は、ネジをはずして向きを 90˚ 変えて付け直し、つまみが出ていることを確認します。



④昇降グリルの応急用部品（ヒンジ）をパネル本体に引っ掛けてから昇降グリルを閉じ、つまみをスライドさせて取り付けます。



据付工事説明書（詳細版）をダウンロードできます。
QRコードから代表機種（CZ-160KSU7B）のページにアクセスします。
https://www2.panasonic.biz/scvb/a2A/top.G01
「品番・品名・キーワード」欄に「CZ-160KSU7B」と入力し据付工事説明書をダウンロードしてください。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

据付工事説明書　昇降グリル付標準パネル／昇降グリル付エコナビパネル

品番	昇降グリル付標準パネル	CZ-160KSU7B	CZ-160KSU7B-K
	昇降グリル付エコナビパネル	CZ-160KSEU7B	CZ-160KSEU7B-K

適用室内ユニット　４方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている据付工事説明書と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

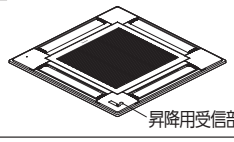
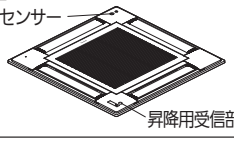
❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  （感電・火災などの原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの据付工事説明書に従って行う**
  （感電・火災などの原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する**
  据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  （発熱・火災などの原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
  （感電の原因）

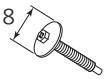
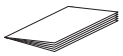
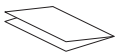
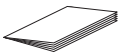
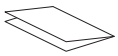
⚠ 注意

⃠
- **■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

Printed in Japan
ACXF60-54980
BE1123-0

本体（昇降グリル付）		
品名	標準パネル／オイルガードパネル	エコナビパネル
個数	1	1
形状		

付属品					エコナビパネルのみ	
品名	座付ネジ	ネ　ジ	取扱説明書	据付工事説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	4	4	1	1	1	1
形状	M5X26　（座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています） 	4X12 コーナーカバー用 				試運転編 

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

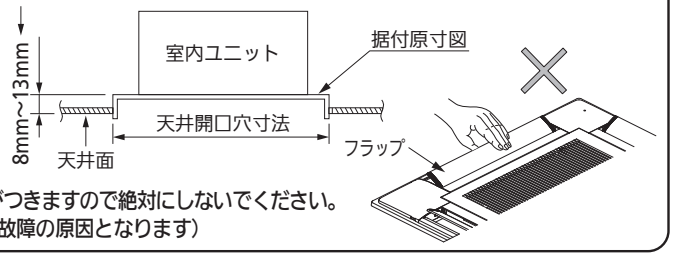
1. 取り付け前の準備

（1）室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860mm×860mm～910mm×910mm

②本体ユニットの梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。
天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

必ず8mm～13mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。



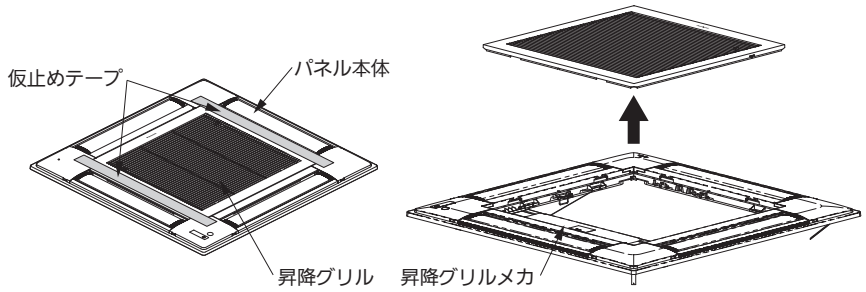
- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップをさわったり、力を加えたりしないでください。（フラップの故障の原因となります）

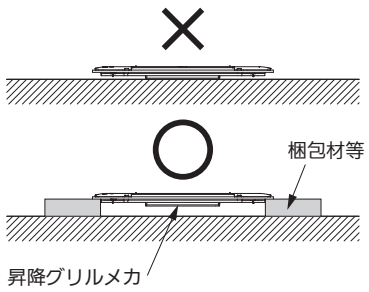
2. 取り付けかた

（1）昇降グリルの取りはずし

①仮止めテープをはがし、昇降グリルを上方向に持ち上げ、パネル本体からはずしてください。

昇降グリルメカに負荷がかからないよう、梱包材等でパネルを支えてください。

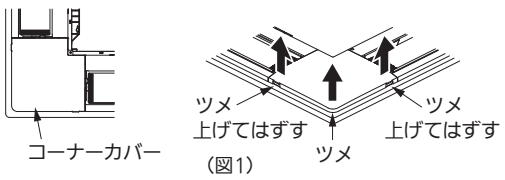


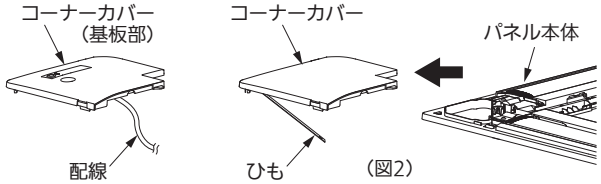


（2）コーナーカバーの取りはずし

①コーナーカバーのツメを矢印の方向へ押し上げてはずしてください。（図1）

②コーナーカバーを矢印の方向へスライドしはずしてください。（図2）





(3) パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります）

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図3）

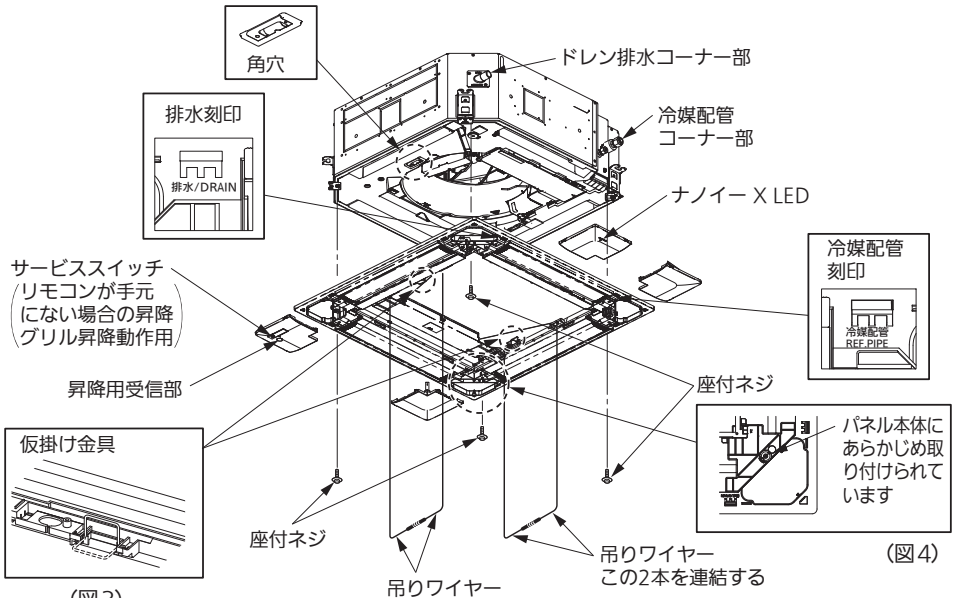
- パネル本体コーナー部の**冷媒配管・排水**の刻印を室内ユニットの冷媒配管・ドレン排水コーナー部に合わせてください。

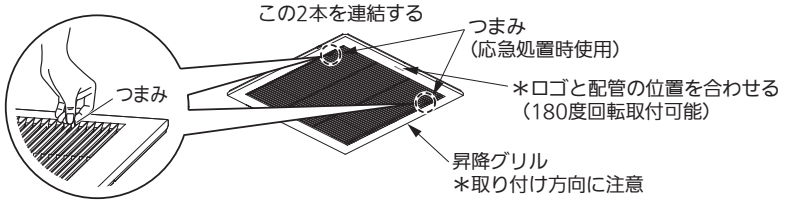
②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合わせてください。

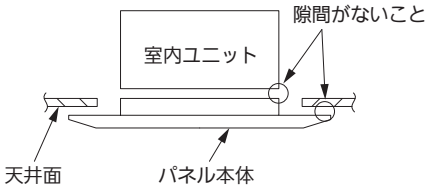
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の4か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図4）

④パネル本体が天井に密着したことを確認してください。

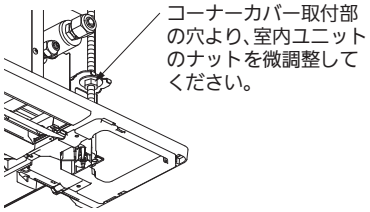
- このとき、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。（図5）
- **天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。（図6）**
- はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。







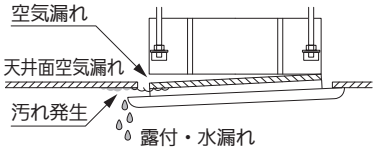
(図5)



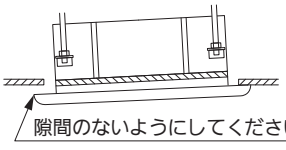
(図6)

ご 注 意

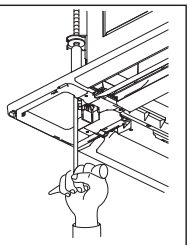
- 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



- 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



（4）パネル本体の配線方法

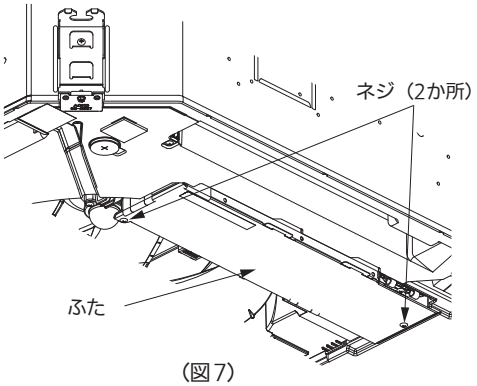
A.フラップモーター、エコナビパネルの配線

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。（ネジ 2 か所）（図 7）

②パネル本体から出ている配線コネクタ（標準パネルとオイルガードパネルは 24P（黒）のみ、エコナビパネルは 24P（黒）と 6P（白）の両方）を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、図のように 24P（黒）はフックに通して電装ボックス内へ引き込んでください。
6P（白）と 7P（白）はフックを通さず電装ボックス内へ引き込んでください。（図 8）

- **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。**
  （確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。
  また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります）

※**6P（白）コネクタの配線を接続する際には、配線経路の EPT を電装 BOX の縁までハサミで切って配線してください。**



（図 7）

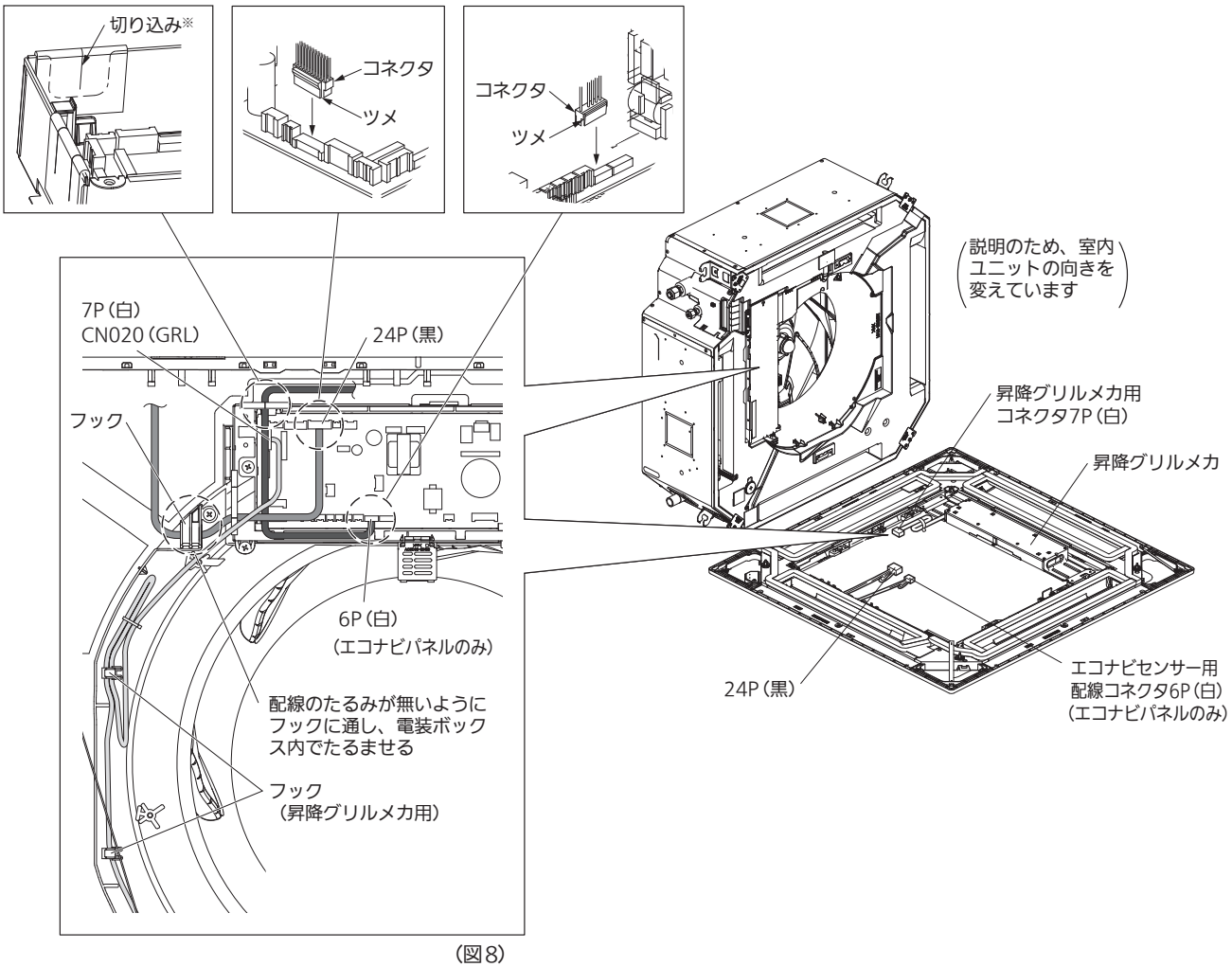
B.昇降グリルメカの配線

①昇降グリルメカから出ている配線コネクタ7P（白）を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線をしてください。（図8）

- **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。**
  （確実に接続されてないと、昇降グリルが動作しません）

②電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。（図7）

- **配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。**
- **配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。**



（図8）

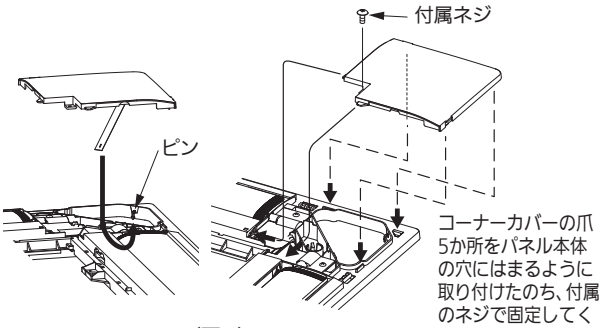
(5) コーナーカバー・昇降グリルの取り付け

A.コーナーカバーの取り付け

①コーナーカバーのひもを図 9 のようにパネル本体のピンに引っかけてください。(エコナビセンサー、昇降用受信部、ナノイー X LED が付いているコーナーカバーには、ひもは付いていません)

②コーナーカバーをパネル本体に、付属のネジで取り付けてください。

- **エコナビセンサー、昇降用受信部、ナノイー X LED が付いているコーナーカバーを取り付けるときは、配線がパネル本体との間にはさまれていないことを確認してください。**



(図9)

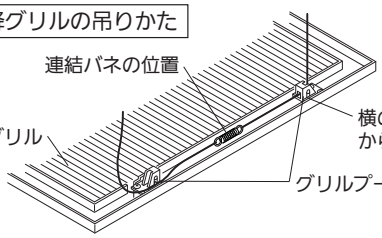
B.昇降グリルの取り付け

①図のようにプーリーへ吊りワイヤーを確実に通してください。(図10、11)

②通電の有無で次の対応を行ってください。

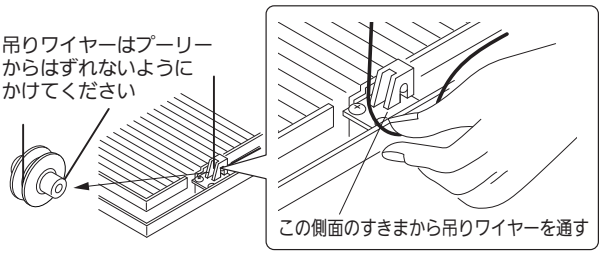
- **取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください。**
  - **・昇降グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか**
  - **・吊りワイヤーがプーリーからはずれたりはさまったりしていませんか**

昇降グリルの吊りかた



(図10)

プーリーへのワイヤーの通しかた



(図11)

エアコンに電源が通電されている場合

①昇降グリルのつまみ（2か所）（図12）が昇降グリルよりはみだしていないことを確認してください。

②リモコンで昇降グリルを上昇させてください。

エアコンに電源が通電されていない場合

応急処置のしかた

電源が通電されていなくてリモコンで昇降グリルを上昇できない場合は応急用部品を使用し仮固定してください。

①昇降グリルに取り付けてある応急用部品（ヒンジ）は、ネジをはずして収納部から図の位置に付け替えます。（図13）

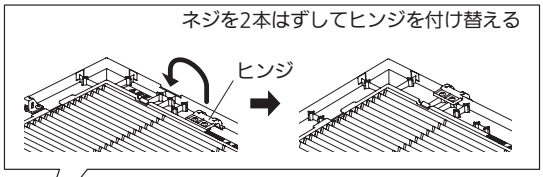
②昇降グリルに取り付けてある応急用部品（ストッパー）は、ネジをはずして図のように向きを変えて付け直します。（図12）

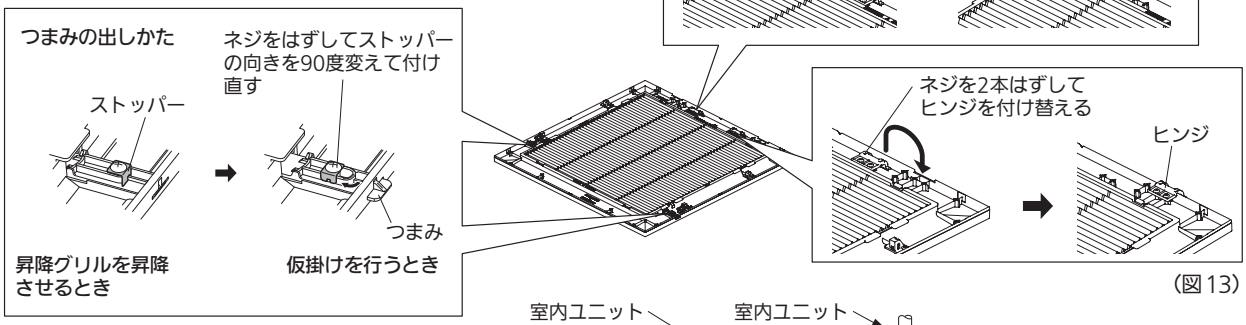
③昇降グリルの応急用部品（ヒンジ）をパネル本体に引っ掛けて、つまみをスライドさせて取り付けます。

④昇降動作をするときは必ずつまみを収納し、応急用部品（ヒンジ）を収納部に取り付けてください。

応急用部品の取り付けかた

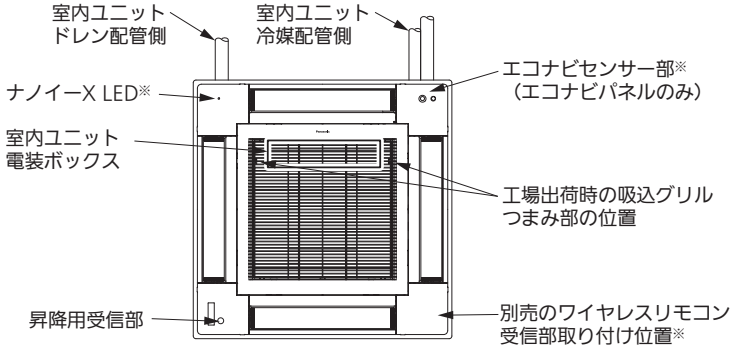
停止時昇降グリルの昇降動作が出来ないときに、降ろした昇降グリルをパネル本体に取り付ける場合





(図12)

(図13)



※コーナーカバーの取り付け位置の変更はできません

3. その他

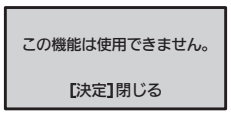
A.据え付け後の確認

●室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
　＊隙間があると水漏れや露付の原因となります。
●配線接続が確実にされていることを確認してください。
　＊接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンに P09 の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.昇降グリルを操作するための設定方法

（別売品：CZ-10RT5シリーズ）

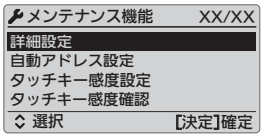
■ 多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。
この設定をしないと、昇降グリル操作時に
“この機能は使用できません。”が表示されます。





多機能ワイヤードリモコン

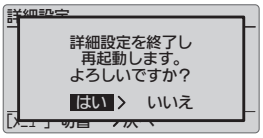
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に４秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ∧／∨ ボタンで「詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
　詳細設定画面が表示されます。
③ ∧／∨ ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
　＜／＞ ボタンで項目コードを選択してください。
　∧／∨ ボタンで項目コード「00030」に変更してください。
　＜／＞ ボタンで設定データを選択してください。
　∧／∨ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、 決定 ボタンを押してください。
④ ＜／＞ ボタンでユニットNo.を選択後、 戻る ボタンを押してください。
　「詳細設定終了画面」が表示されます。
　「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



［メンテナンス機能画面］



［詳細設定画面］



［詳細設定終了画面］

（別売品：CZ-10RT3）

ワイヤードリモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行なってください。この設定をしないと フィルター ボタンを押しても“この操作は出来ません”または“ ⃠ ”が表示されます。

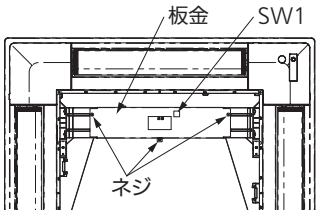
〈手順〉停止中に行ってください。
① 点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
＊ 昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。
　最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。
② 温度設定▽／△ボタンで項目コード「３０」を指定します。
③ タイマー時間▼／▲ボタンで設定データを「００００」から「０００１」に変更します。
④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。
⑥ フィルター ボタンを４秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降”
　または“ ▦ ”と表示されることを確認してください。
　再度 フィルター ボタンを４秒間以上押すと通常の停止状態に戻ります。



C.昇降グリル下降距離の設定

- 下記方法で昇降グリルの下降距離の設定が可能です。
- 図のネジ（3本）をはずし、板金をはずしてください。
- 昇降グリルメカのふたを開け、基板上のSW1で設定してください。
- 出荷時は2.0mの設定になっています。

昇降高さの設定



昇降グリル下降距離設定（SW1）
（出荷設定＝2.0m）



□：つまみ側

0 (OFF)　1 (ON)

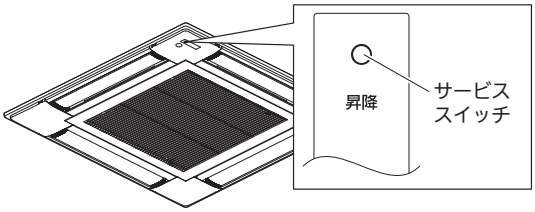
[m]	1	2	3	4
1.2	0	0	0	未使用（常時0）
1.6	1	0	0	
2.0	0	1	0	
2.4	1	1	0	
2.8	0	0	1	
3.1	1	0	1	
3.5	0	1	1	
3.9	1	1	1	

据え付け後の動作確認

- 設定終了後に、動作確認を行ってください。
- 電源投入時、はじめて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
- 昇降グリルがパネル本体にきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。

サービス時

- リモコン（ワイヤード・昇降リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。



D.ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

E.DCファンモータータップの選択（4方向天井カセット形）

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。＊ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	リモコンの設定データ項目コード5D	使用用途／別売品名称　※1
（出荷設定）	0000	標準
		ロングライフフィルター
（1）	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法65%）
		重量法60%フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
（3）	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法90%）
（6）	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の左表中の設定変更が必要な別売品を併用する場合、

3方向吹出時	設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時	設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時	設定No.（6）または設定データ0006

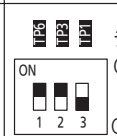
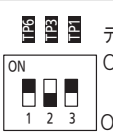
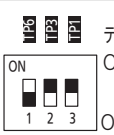
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

高性能フィルター（比色法90%）の場合は、高天井対応はできません。
その他の別売品取り付け時の高天井対応については
設備設計資料等をご確認ください。

（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。
□:つまみ側

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
（1）		（3）		（6）	

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合
(別売品：CZ-10RT5 シリーズ)

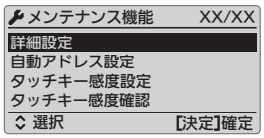


多機能ワイヤードリモコン

ご使用の用途、別売品に応じた「リモコンの設定データ項目コード5D」を表1（7ページ）で確認してください。

＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください

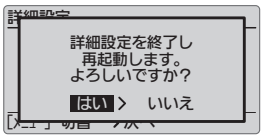
① 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に４秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ∧ / ∨ ボタンで「詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
詳細設定画面が表示されます。
③ ∧ / ∨ ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
＜ / ＞ ボタンで項目コードを選択してください。
∧ / ∨ ボタンで項目コード「0005D」に変更してください。
＜ / ＞ ボタンで設定データを選択してください。
∧ / ∨ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
④ ＜ / ＞ ボタンでユニットNo.を選択後、 戻る ボタンを押してください。
「詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



①メンテナンス機能画面

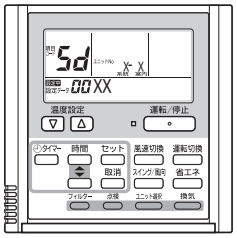


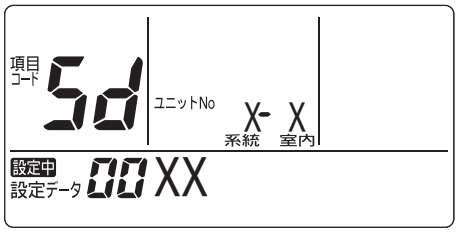
②詳細設定画面



③詳細設定終了画面

(別売品：CZ-10RT3)





〈手順〉停止中に行ってください。

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に４秒間以上押します。
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ タイマー時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。設定データは同梱の据付工事説明書をご確認ください。
⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

据付工事説明書（詳細版）をダウンロードできます。
QRコードから代表機種（CZ-160KPEU7B）のページにアクセスします。
https://www2.panasonic.biz/scvb/a2A/top.G01
「品番・品名・キーワード」欄に「CZ-160KPEU7B」と入力し据付工事説明書をダウンロードしてください。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

据付工事説明書　試運転編

エコナビパネル／昇降グリル付エコナビパネル

品番　CZ-160KPEU7B, CZ-160KPEU7B-K / CZ-160KSEU7B, CZ-160KSEU7B-K

適用室内ユニット　４方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

●据付工事完了後、この据付工事説明書 試運転編をよくお読みのうえ、試運転を行い異常がないことを確認してください。
特に「安全上のご注意」は、試運転前に必ずお読みください。

●室内ユニットなどに付属の据付工事説明書も合わせてご覧ください。

●この据付工事説明書 試運転編は取扱説明書、据付工事説明書とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合はお客様から据付工事説明書 試運転編を工事担当の方へお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
- **■ 据付工事は、据付工事説明書に従って行う**
（感電・火災などの原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
（感電・火災の原因）
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
（感電・火災などの原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
（発熱・火災などの原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
（感電の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

使用上のお願い

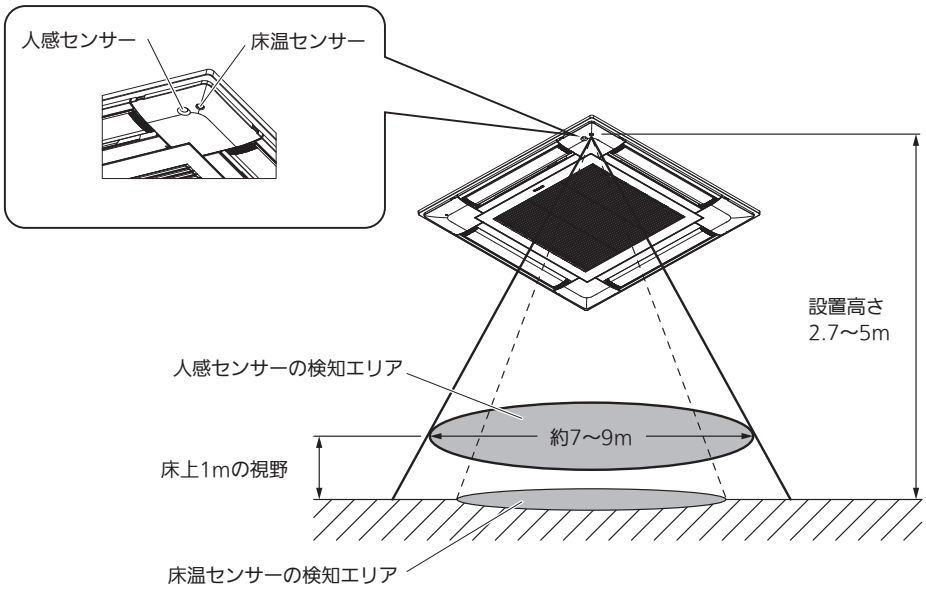
- ●次のような場所に設置しないでください。
故障や誤作動の原因となる場合があります。
  - ・湿気、油分、振動が多い場所
  - ・直射日光があたる場所や熱源の近く
  - ・結露する場所
  - ・ノイズが発生する場所（誤動作の原因）
- ●エコナビパネルは、屋内専用です。
- ●センサーの表面に傷を付けない
（センサーが正しく検知しなくなる原因）
- ●センサーを強く押さない（破損の原因）
- ●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
- ●ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や変形の原因）
  - ・汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
- ●エコナビパネルと併用不可の別売品を同時設置しない
（動作不良の原因）
併用可/ 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
- ●センサーからガラス越しの人の動きは、検知できません。
- ●センサーでの不在判定には起動後、２～５分かかります。

Printed in Japan
ACXF60-55000
BE1123-0

設置上のご注意

検知エリアの目安

●人感センサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。
　人を検知できる位置にエコナビパネルを取り付けるようにしてください。
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
●床温センサーは、人感センサーエリアの内側を検知しています。



＜人感センサー検知エリア目安＞
・室内ユニット設置高さ 2.7mの場合　：直径 約 7m
・室内ユニット設置高さ 4mの場合　：直径 約 8m
・室内ユニット設置高さ 5mの場合　：直径 約 9m

●取り付け時に、センサー部を強く押さないでください。また、センサー部の表面に傷を付けないでください。
　センサーが破損し、正しく検知できなくなる場合があります。
●次のような場所には設置しないでください。故障や誤作動の原因となる場合があります。
　・湿気、油分、振動が多い場所
　・直射日光があたる場所や熱源の近く
　・結露する場所
　・ノイズが発生する場所（誤動作の原因）

設定する（CZ-10RT5シリーズの場合）

エコナビシステム設定

エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
<手順>ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

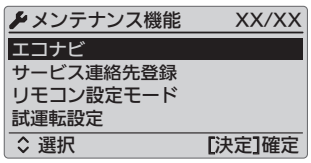
① 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。



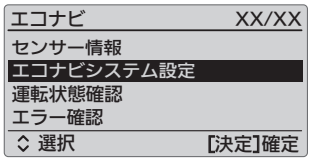
②「エコナビ」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで「エコナビ」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



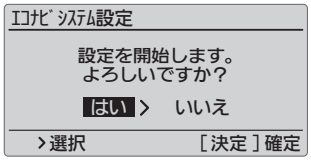
③「エコナビシステム設定」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



④ 設定を開始する

‹ / › ボタンで「はい」を選択し、
決定 ボタンを押してください。
（リモコンに「設定中」と表示します。）



⑤「設定中」の表示が消え、システムが自動的に再起動します

⑥ エコナビが設定されたか確認する

右図のように ECONAVI が表示されます。
＊ 運転中の画面になっていない場合は、
⏻ ボタンを押して、運転状態にしてください。
＊ 運転モードが送風の場合は ECONAVI は表示されません。
「送風」以外の運転モードにしてください。
＊ エコナビがオフの場合は ECONAVI が表示されません。
エコナビをオンに設定してください。



お知らせ

●手順 2 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説　　明
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「エコナビ」を選択してください。約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、室内ユニットの据付工事説明書　試運転編を参照し、自動アドレスを行った後「エコナビ」を選択してください。

●手順 3 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説　　明
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

試運転する（CZ-10RT5シリーズの場合）

準備：室内ユニットの据付工事説明書を参照し、事前に電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を入れてください。
　　電源投入後の約 90 秒間は、人感センサーは初期設定中のため、人の検知を行いません。
＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

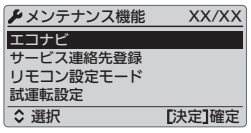


① 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

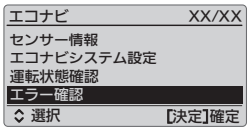
②「エコナビ」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで選択、＜ / ＞ ボタンでページが切り替わります。
「エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



③「エラー確認」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで「エラー確認」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



④ センサーの状態が「正常」であることを確認する

＜ / ＞ ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。
すべての室内ユニットのセンサーの状態が表示されます。



- **「正常」**：エコナビパネルのセンサーは正常に動作しています。
- **「準備中」**：エコナビパネルのセンサーは初期設定中です。
  90 秒以内に「正常」と表示されることを確認してください。
- **「未対応」**：エコナビ機能に対応していない室内ユニットです。

試運転は以上です。エコナビパネルを接続しているが「正常」「準備中」以外の表示の場合は、手順 5 を確認してください。
＊「1-1」、「1-2」は室内ユニット No. を示します。エコナビパネルが接続されていない室内ユニットは、「接続なし」が表示されます。
＊「センサー 1」とは、別売品のエコナビセンサー（CZ-CSEN1 等）を指します。接続されていない場合は、「センサー 1」に「接続なし」が表示されます。

⑤ センサーの状態が「正常」「準備中」以外の場合

エコナビパネルを接続しているにもかかわらずセンサーの状態が「異常」「接続なし」になる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。
対象の室内ユニットを特定し、センサーを確認してください。

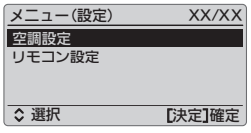
- **「異常」**：センサーが故障している可能性があります。
- **「接続なし」**：室内ユニットとセンサー間の配線が接続されていない可能性があります。

＊ 室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。

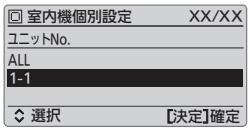
確認方法：

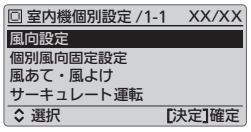
① メンテナンス機能を終了する
　メニュー ボタンを押して、メンテナンス機能画面を表示し、戻る ボタンを押す。

② 風向操作をする
　対象の「室内ユニット No.」を選んで、風向設定を行ってください。
　設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機種になります。
　1. メニュー を押しメニュー設定画面に切り替える。
　2. ＜ / ＞ ボタンで「空調設定」選択し、決定 ボタンを押してください。
　3. ＜ / ＞ ボタンで「室内機個別設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
　4. ＜ / ＞ ボタンで対象の「室内ユニット No.」を選んで室内機を選ぶ。
　　「ALL」を選んだときは設定できません。
　5. ＜ / ＞ ボタンで「風向設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
　6. ＜ / ＞ ボタンで風向を選んで、決定 ボタンを押してください。











室内ユニットが特定できましたら、電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を切り、センサー配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を入れ、再度①～④を操作し「エラー確認」にて状態を確認してください。
再度、「異常」「接続なし」が表示された場合、エコナビパネルの交換が必要です。

外部機器連動機能 （CZ-10RT5の場合）

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

●人感センサー出力に連動（警報とは連動しません）
人の在→不在の変化を検知時：外部機器の運転をオフします。
「**不在検知時間設定**」(P.6）により運転オフのタイミングを遅延させることが可能です。
人の不在→在の変化を検知時：外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動（エアコン連動）
室内ユニットが運転時：外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時：外部機器の運転をオフします。

●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ：外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時：外部機器の運転をオフします。

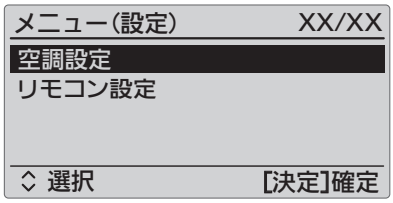
① メニュー画面を表示する

メニュー ボタンを押しメニュー設定画面に切り替える。



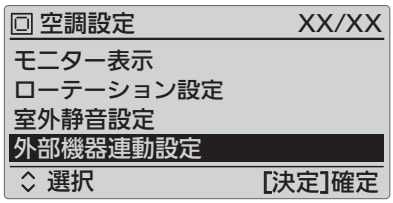
②「空調設定」を選ぶ

∧ /∨ ボタンで「空調設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



③「外部機器連動設定」を選ぶ

∧ /∨ ボタンで「外部機器連動設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



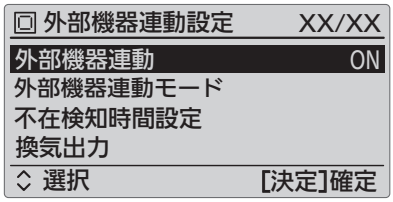
④ パスワードを入力する

∧ /∨ ボタンで数字を選択し、› ボタンで
次の桁に移行します。（繰り返す）
入力が完了したら 決定 ボタンを押してください。
＊ パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が
表示されたら 決定 ボタンを押し、画面に従い、
設定してください。



⑤「外部機器連動」を選択する

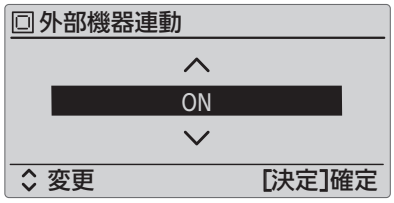
∧ /∨ ボタンで「外部機器連動」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



外部機器連動機能（つづき）

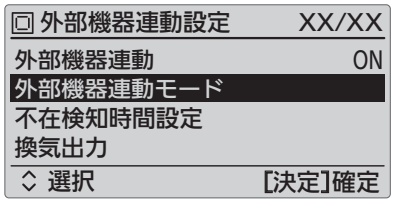
⑥ 外部機器連動で「ON」を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで「ON」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



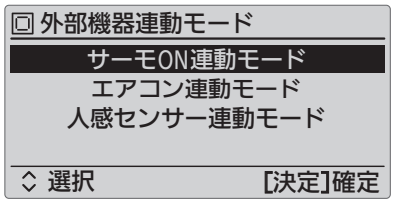
⑦「外部機器連動モード」を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで「外部機器連動モード」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



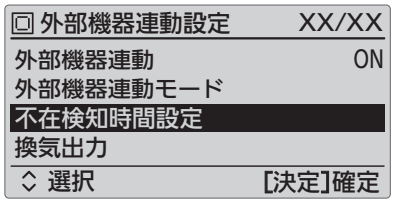
⑧「外部機器連動モード」のモードを選ぶ

∧ / ∨ ボタンでモードを選択し、
決定 ボタンを押してください。
●人感センサー連動モード：
人感センサーの在・不在出力に連動します。
続いて「不在検知時間設定」手順⑨～⑩を行ってください。
●エアコン連動モード：
エアコンの運転/停止出力に連動します。
●サーモON連動モード：
エアコンサーモON/OFF出力に連動します。



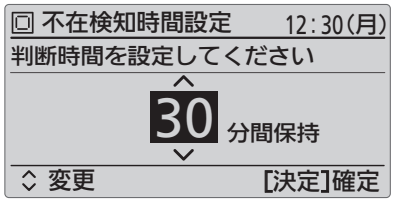
⑨「人感センサー連動モード」を選んだとき「不在検知時間設定」を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



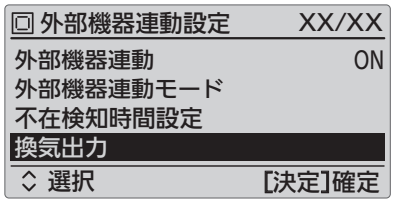
⑩ 運転オフする時間を設定する

∧ / ∨ ボタンで設定時間を選択し、設定後、
決定 ボタンを押してください。
●0分～60分（1分単位）



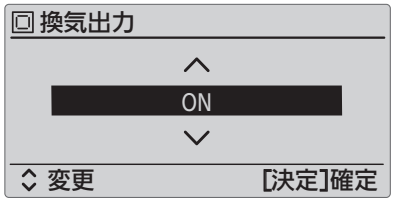
⑪「換気出力」を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで「換気出力」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



⑫「ON」を選ぶ

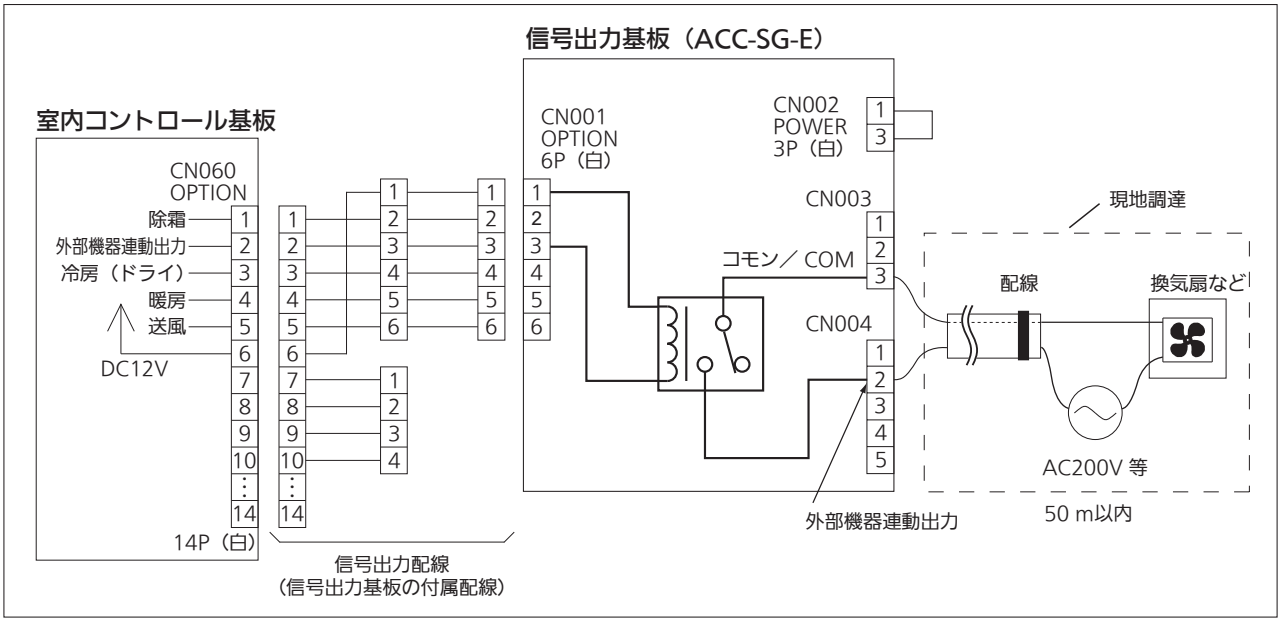
∧ / ∨ ボタンで「ON」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



外部機器連動機能（つづき）

■配線例

信号出力基板（ACC-SG-E、別売品）を使用した連動システム例



お知らせ

●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、 空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。

●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

仕様

品番	CZ-160KPEU7B, CZ-160KPEU7B-K	CZ-160KSEU7B, CZ-160KSEU7B-K
外形寸法	（幅）950mm×（奥行き）950mm×（高さ）29.5mm	
質量	5kg	6.5kg
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）	
電源	DC5V（室内ユニットより供給）	

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル

据付工事説明書　昇降グリル付標準パネル／昇降グリル付エコナビパネル／昇降グリル付オイルガードパネル

品番	昇降グリル付標準パネル	CZ-160KSU7	CZ-160KSU7-K
	昇降グリル付エコナビパネル	CZ-160KSEU7	CZ-160KSEU7-K
	昇降グリル付オイルガードパネル	CZ-160KSBU7	

適用室内ユニット　４方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する**
  据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  （発熱・火災等の原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
  （感電の原因）

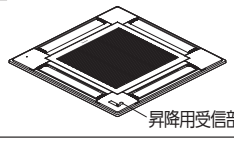
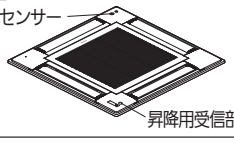
⚠ 注意

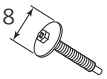
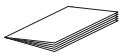
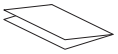
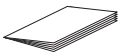
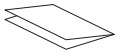
⃠
- **■可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

ACXF60-44962
BE1121-20723

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル

本体（昇降グリル付）		
品名	標準パネル／オイルガードパネル	エコナビパネル
個数	1	1
形状		

付属品					エコナビパネルのみ	
品名	座付ネジ	ネ　ジ	取扱説明書	据付工事説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	4 M5X26 （座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています）	4 4X12	1	1	1	1 試運転編
形状						

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

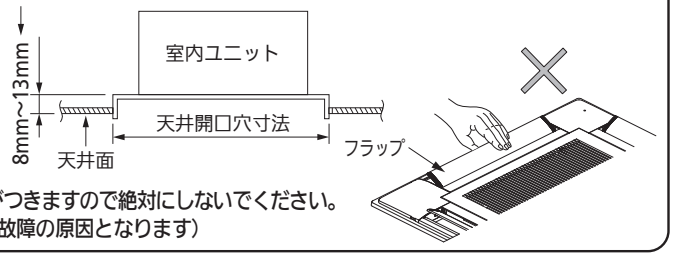
1. 取り付け前の準備

（1）室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860mm×860mm～910mm×910mm

②梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

必ず8mm～13mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。



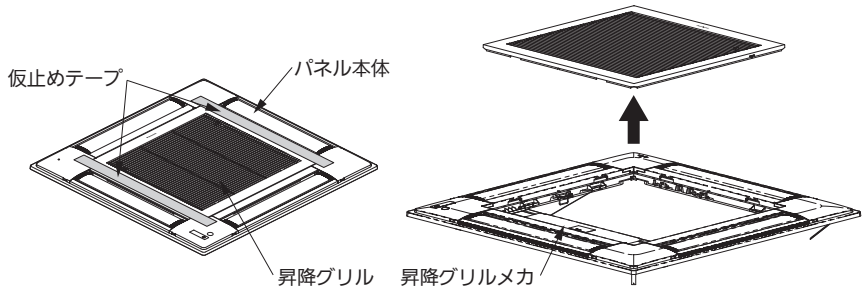
●パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
●フラップをさわったり、力を加えたりしないでください。（フラップの故障の原因となります）

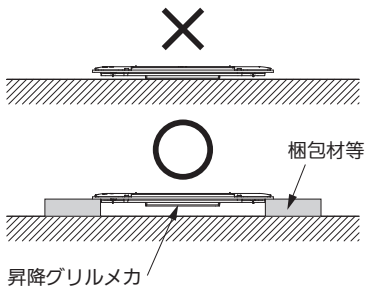
2. 取り付けかた

（1）昇降グリルの取りはずし

①仮止めテープをはがし、昇降グリルを上方向に持ち上げ、パネル本体からはずしてください。

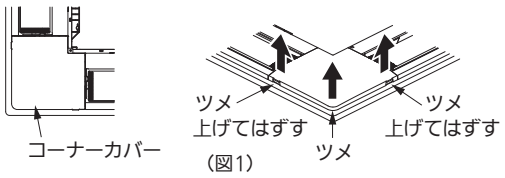
昇降グリルメカに負荷がかからないよう、梱包材等でパネルを支えてください。





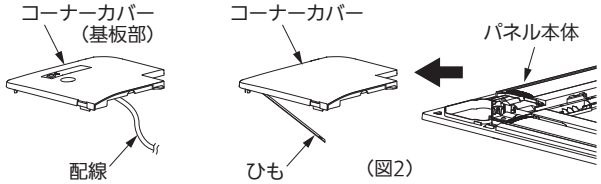
（2）コーナーカバーの取りはずし

①コーナーカバーのツメを矢印の方向へ押し上げてはずしてください。（図1）



（図1）

②コーナーカバーを矢印の方向へスライドしはずしてください。（図2）



（図2）

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル

(3) パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。）

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図3）

●パネル本体コーナー部の**冷媒配管・排水**の刻印を室内ユニットの冷媒配管・ドレン排水コーナー部に合わせてください。

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合わせてください。

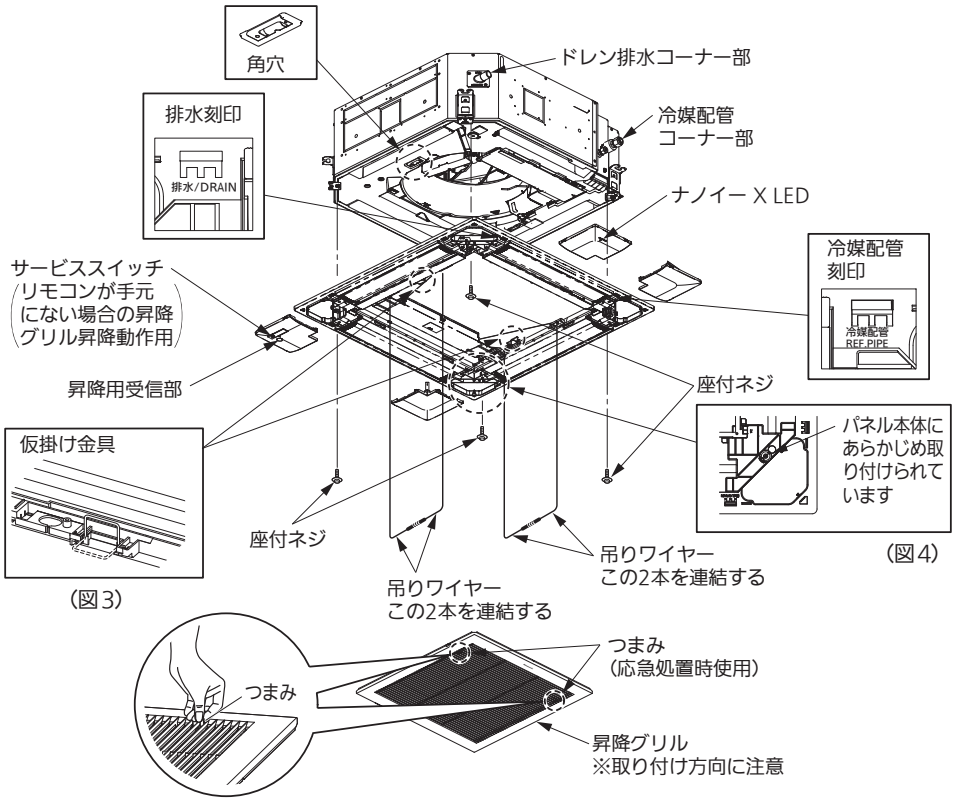
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の4か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図4）

④パネル本体が天井に密着したことを確認してください。

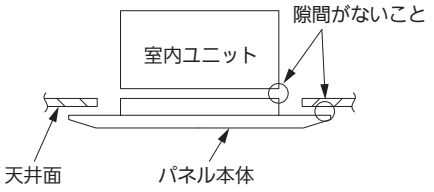
●この時、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。（図5）

●天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。（図6）

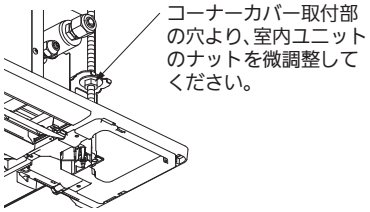
●はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。



（図3）　（図4）



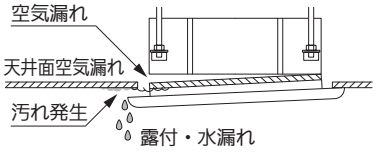
（図5）



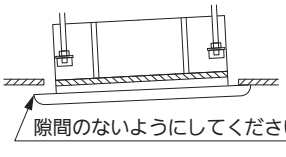
（図6）

ご 注 意

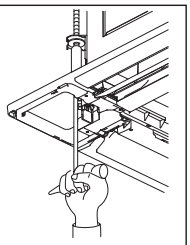
●座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



●座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル

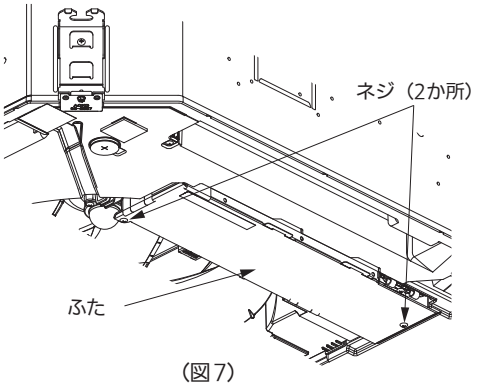
（4）パネル本体の配線方法

A.フラップモーター、エコナビパネルの配線

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。（ネジ2か所）（図7）

②パネル本体から出ている配線コネクタ（標準パネルとオイルガードパネルは24P（黒）のみ、エコナビパネルは24P（黒）と6P（白）の両方）を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、24P（黒）の配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線をしてください。（図8）

● **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。**
（確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。
また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります。）



（図7）

B.昇降グリルメカの配線

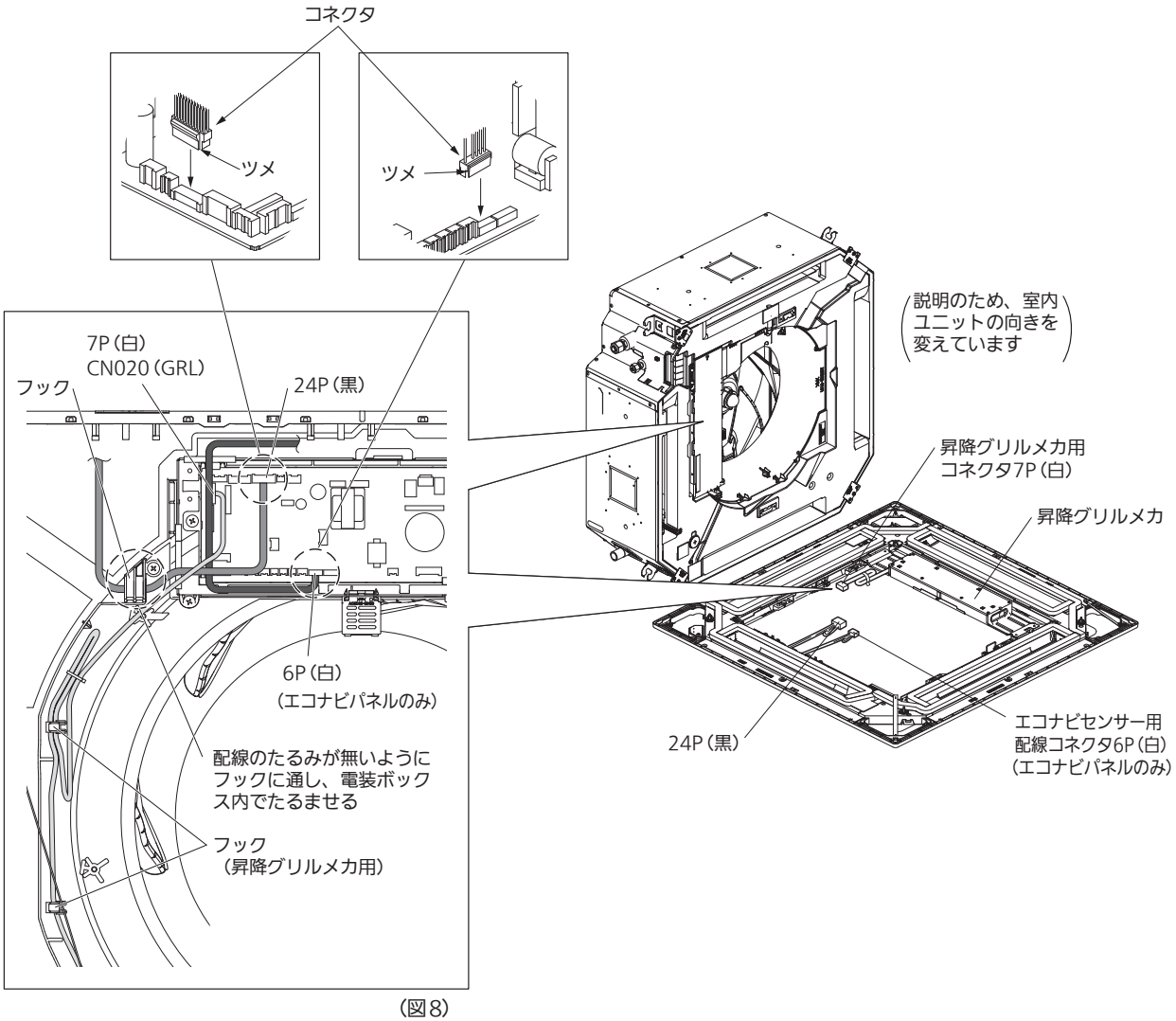
①昇降グリルメカから出ている配線コネクタ7P（白）を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線をしてください。（図8）

● **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。**
（確実に接続されてないと、昇降グリルが動作しません。）

②電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。（図7）

● **配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。**

● **配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。**



（図8）

裏面につづく

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル

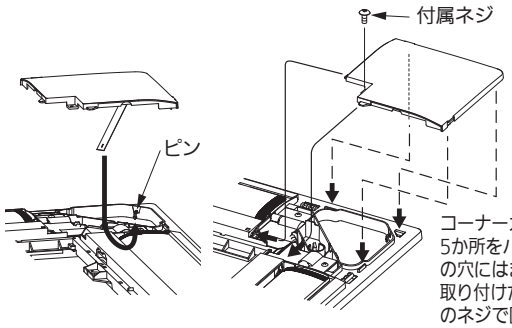
(5) コーナーカバー・昇降グリルの取り付け

A.コーナーカバーの取り付け

①コーナーカバーのひもを図9のようにパネル本体のピンに引っかけてください。（エコナビセンサー、昇降用受信部、ナノイー X LEDが付いているコーナーカバーには、ひもは付いていません。）

②コーナーカバーをパネル本体に、付属のネジで取り付けてください。

● **エコナビセンサー、昇降用受信部、ナノイー X LEDが付いているコーナーカバーを取り付ける時は、配線がパネル本体との間にはさまれていないことを確認してください。**



(図9)

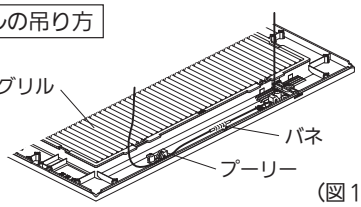
B.昇降グリルの取り付け

①図のようにプーリーへ吊りワイヤーを確実に通してください。（図10、11）

②通電の有無で次の対応を行ってください。

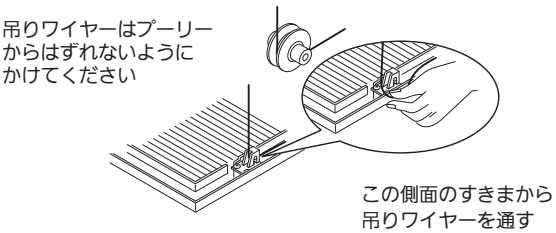
● **取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください。**
・昇降グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか
・吊りワイヤーがプーリーからはずれたりはさまったりしていませんか

昇降グリルの吊り方



(図10)

プーリーへのワイヤーの通し方



(図11)

エアコンに電源が通電されている場合

①昇降グリルのつまみ（2か所）（図12）が昇降グリルよりはみだしていないことを確認してください。

②リモコンで昇降グリルを上昇させてください。

エアコンに電源が通電されていない場合

応急処置のしかた

電源が通電されていなくてリモコンで昇降グリルを上昇できない場合は応急用部品を使用し仮固定してください。

①昇降グリルに取り付けてある応急用部品（ヒンジ）は、ネジをはずして収納部から図の位置に付け替えます。（図13）

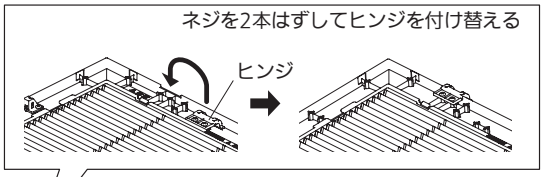
②昇降グリルに取り付けてある応急用部品（ストッパー）は、ネジをはずして図のように向きを変えて付け直します。（図12）

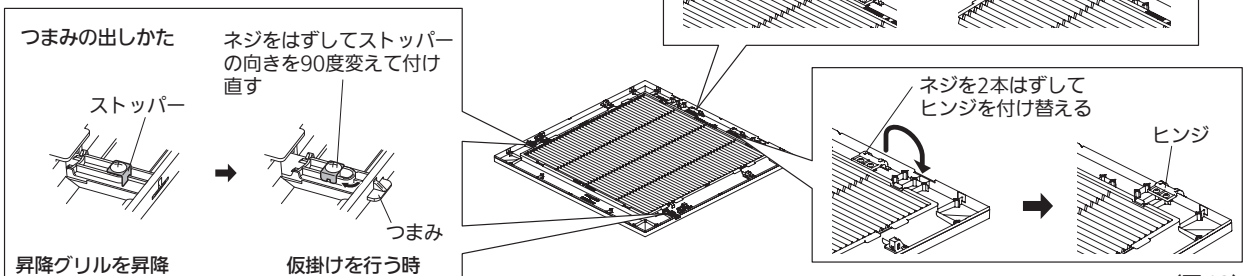
③昇降グリルの応急用部品（ヒンジ）をパネル本体に引っ掛けて、つまみをスライドさせて取り付けます。

④昇降動作をするときは必ずつまみを収納し、応急用部品（ヒンジ）を収納部に取り付けてください。

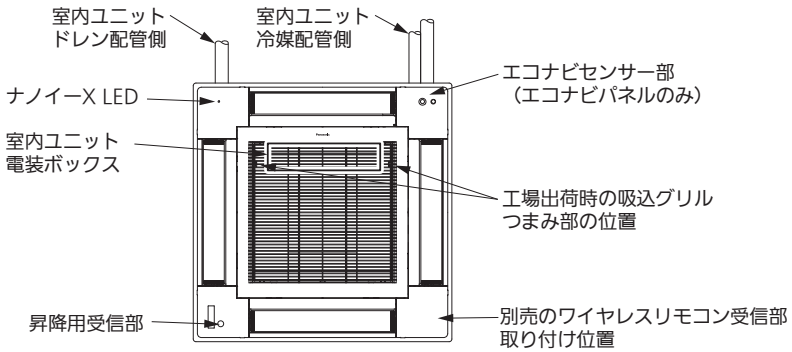
応急用部品の取り付け方

停止時昇降グリルの昇降動作が出来ないときに、降ろした昇降グリルをパネル本体に取り付ける場合





(図12)　(図13)



※コーナーカバーの取り付け位置の変更はできません

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル

3. その他

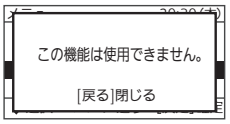
A.据え付け後の確認

●室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
●配線接続が確実にされていることを確認してください。
※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.昇降グリルを操作するための設定方法

（別売品：CZ-10RT4C）

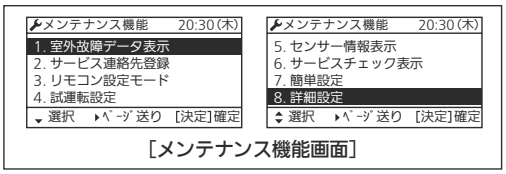
■ 多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。
この設定をしないと、昇降グリル操作時に
“この機能は使用できません。”が表示されます。





多機能ワイヤードリモコン

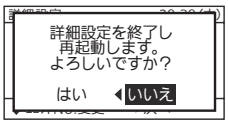
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
③ ▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「30」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、 決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNo.を選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



［メンテナンス機能画面］



［詳細設定画面］



［詳細設定終了画面］

（別売品：CZ-10RT3）

ワイヤードリモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行なってください。この設定をしないと フィルター ボタンを押しても“この操作は出来ません”または“ ⃠ ”が表示されます。

〈手順〉停止中に行ってください。
① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に４秒間以上押します。
※ 昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。
最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。
② 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「３０」を指定します。
③ タイマー時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを「００００」から「０００１」に変更します。
④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。
⑥ フィルター ボタンを４秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降”
または“ ▦ ”と表示されることを確認してください。
再度 フィルター ボタンを４秒間以上押すと通常の停止状態に戻ります。

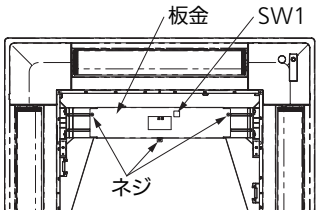


●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル

C.昇降グリル下降距離の設定

- 下記方法で昇降グリルの下降距離の設定が可能です。
- 図のネジ（3本）をはずし、板金をはずしてください。
- 昇降グリルメカのふたを開け、基板上のSW1で設定してください。
- 出荷時は2.0mの設定になっています。

昇降高さの設定



昇降グリル下降距離設定（SW1）
（出荷設定＝2.0m）



■：つまみ側

0　1
(OFF) (ON)

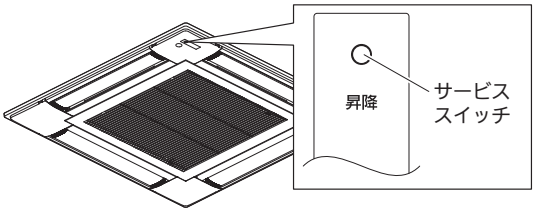
[m]	1	2	3	4
1.2	0	0	0	未使用（常時0）
1.6	1	0	0	
2.0	0	1	0	
2.4	1	1	0	
2.8	0	0	1	
3.1	1	0	1	
3.5	0	1	1	
3.9	1	1	1	

据え付け後の動作確認

- 設定終了後に、動作確認を行ってください。
- 電源投入時、はじめて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
- 昇降グリルがパネル本体にきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。

サービス時

- リモコン（ワイヤード・昇降リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。



D.ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

E.DCファンモータータップの選択（4方向天井カセット形）

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5Dの設定データ	使用用途／別売品名称　※1
	0000	標準（出荷設定）
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法65%）
		重量法60%フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法90%）
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の左表中の設定変更が必要な別売品を併用する場合、

3方向吹出時	設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時	設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時	設定No.（6）または設定データ0006

を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

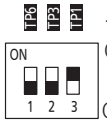
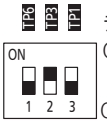
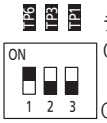
高性能フィルター（比色法90%）の場合は、高天井対応はできません。
その他の別売品取り付け時の高天井対応については
設備設計資料等をご確認ください。

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順>必ず電源（漏電しゃ断器）を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図16)
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

■：つまみ側

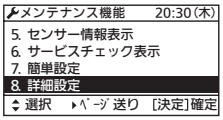
設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)		(3)		(6)	

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合
(別売品：CZ-10RT4C)



①メンテナンス機能画面



②詳細設定画面

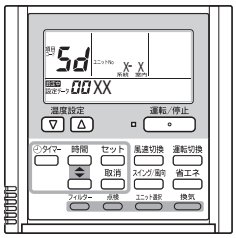


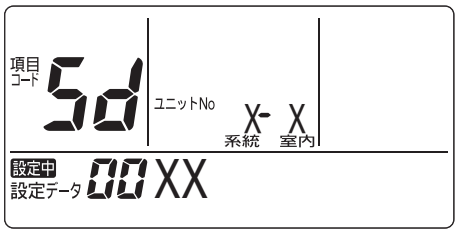
ユニットNo.　項目コード　設定データ

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
③ ▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNo.を選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

(別売品：CZ-10RT3)





〈手順〉停止中に行ってください。

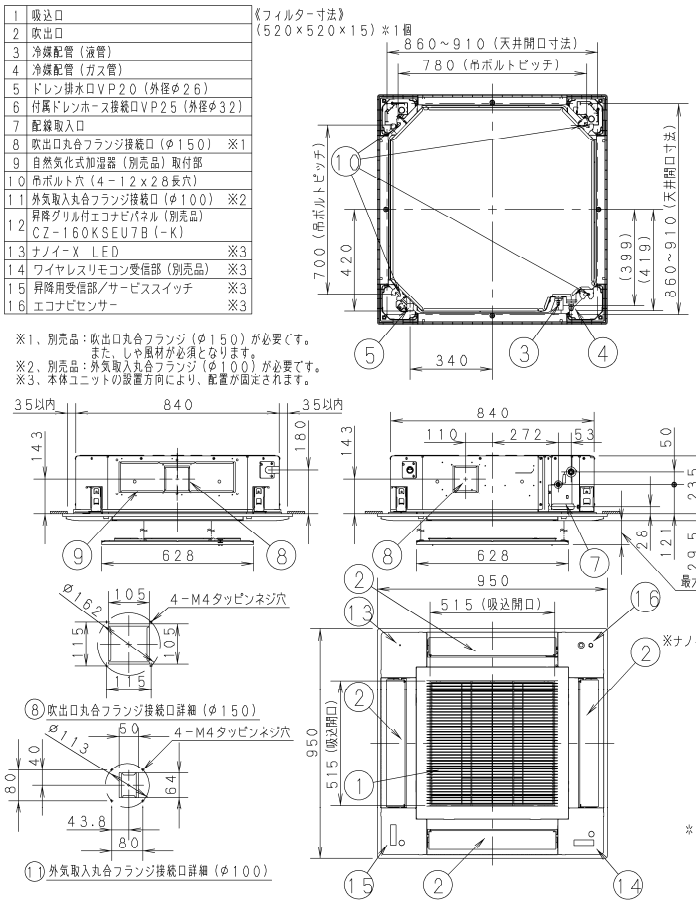
① 点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
② ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▽／△ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ タイマー時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データは同梱の据付工事説明書をご確認ください。
⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
⑥ 点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。

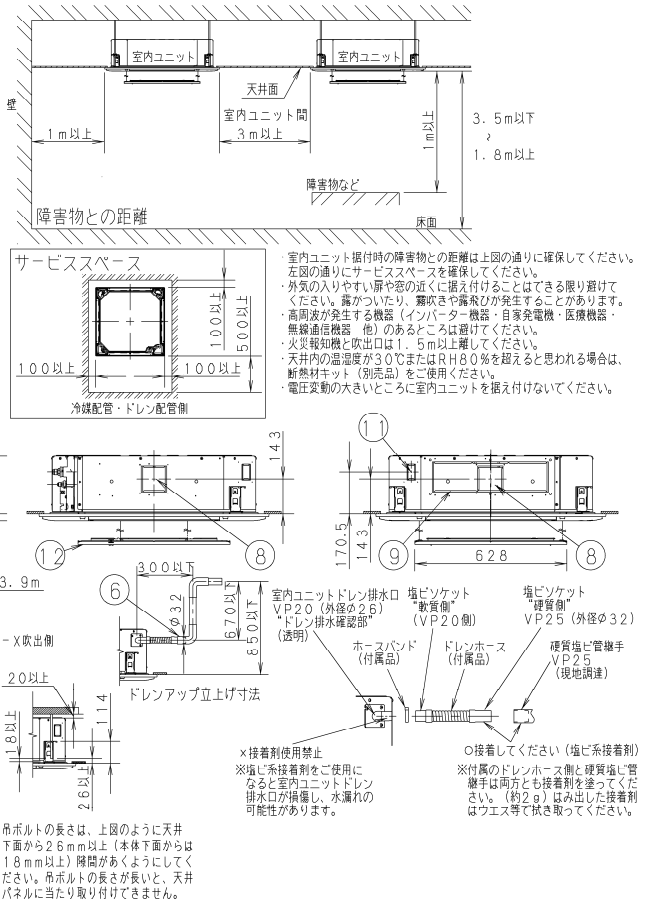
● 昇降グリル付エコナビパネル取付図

・ CZ-160KSEU7B 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	昇降グリル付エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＳＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3
16	エコナビセンサー　※3

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



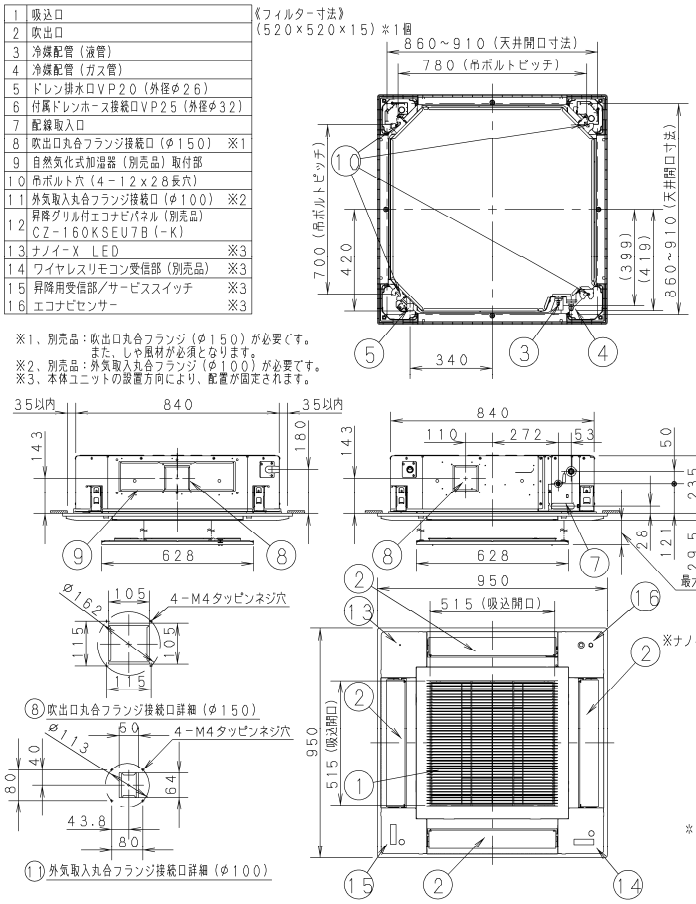


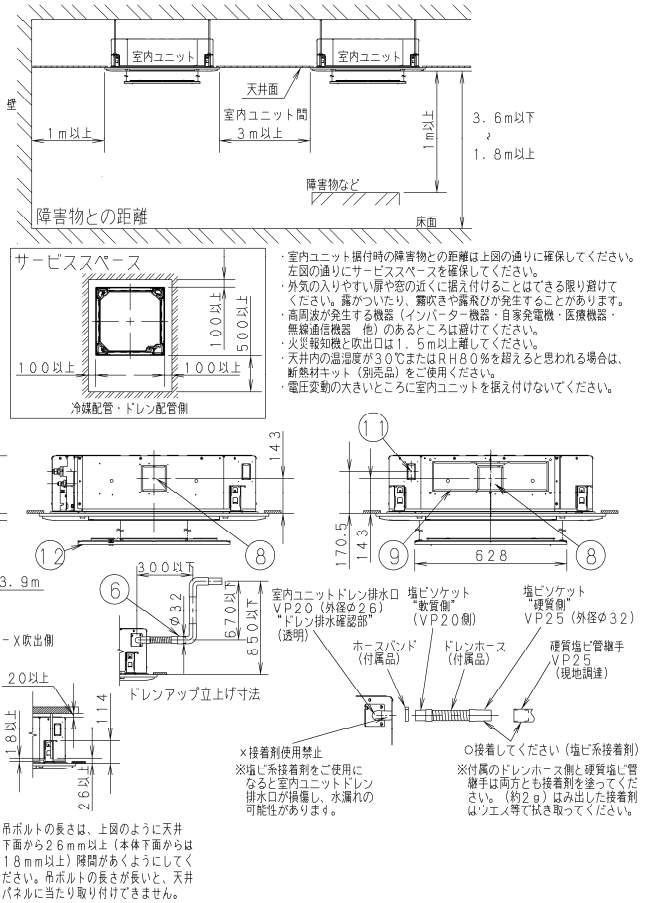
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは
　１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。

・ CZ-160KSEU7B 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	昇降グリル付エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＳＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3
16	エコナビセンサー　※3

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。





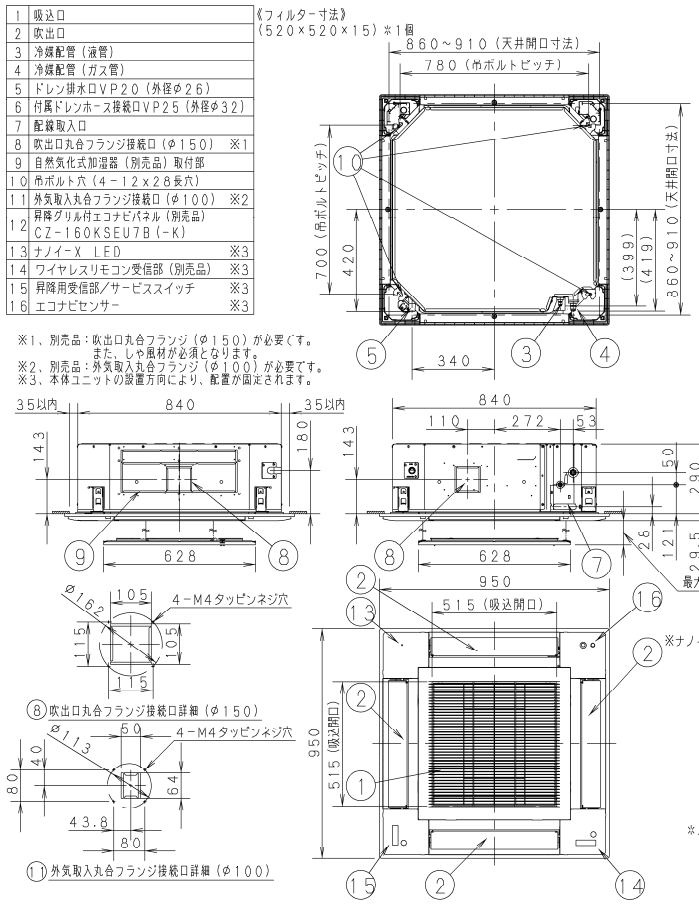
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは
　１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。

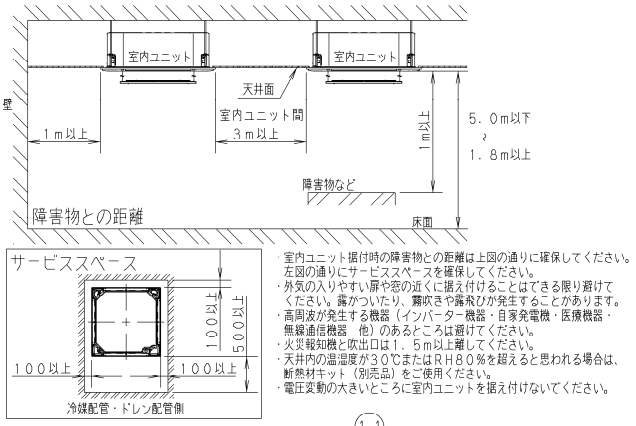
● 昇降グリル付エコナビパネル取付図

・ CZ-160KSEU7B〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	昇降グリル付エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＳＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3
16	エコナビセンサー　※3

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しや風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。





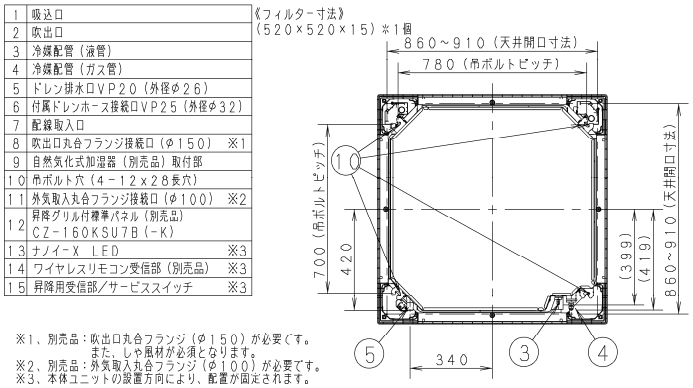
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。霧がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

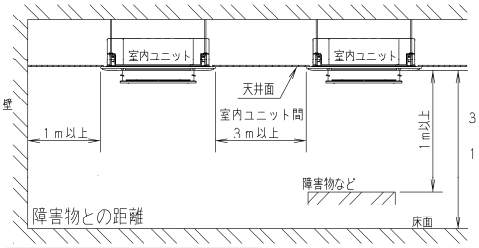
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

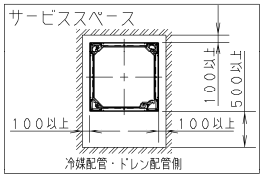
● 昇降グリル付標準パネル取付図

・ CZ-160KSU7B 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸台フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸台フランジ接続口（φ１００）　※2
12	昇降グリル付標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＳＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3

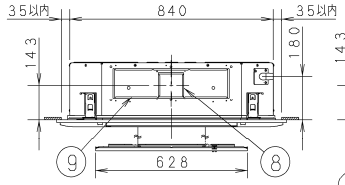


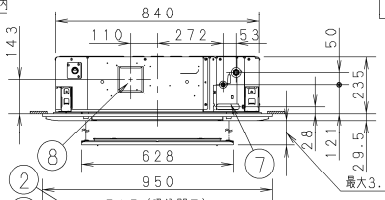


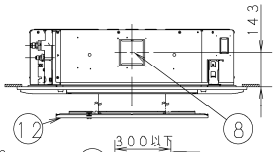


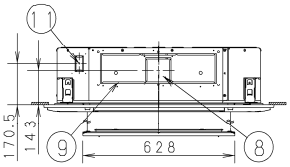
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

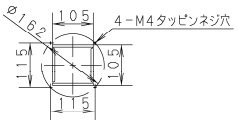
※1、別売品：吹出口丸台フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸台フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



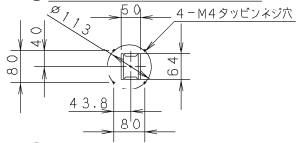




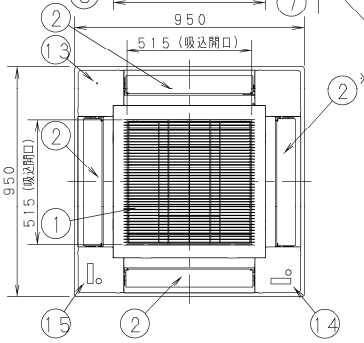


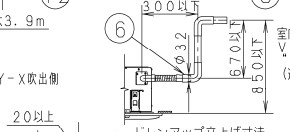


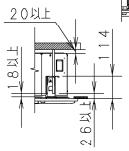
⑧吹出口丸台フランジ接続口詳細（φ１５０）

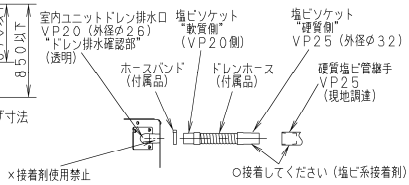


⑪外気取入丸台フランジ接続口詳細（φ１００）









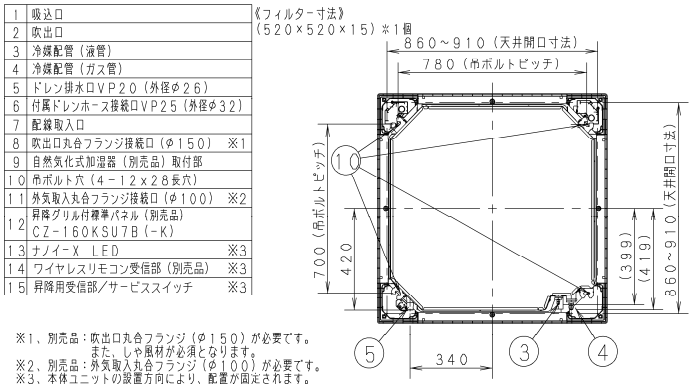
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

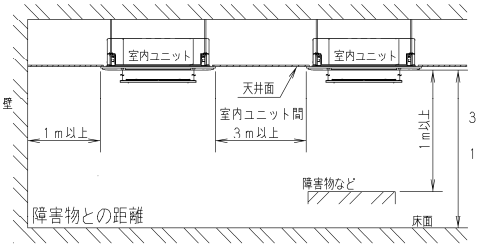
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はツエ人等で拭き取ってください。

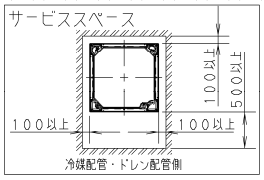
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

・ CZ-160KSU7B 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸台フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸台フランジ接続口（φ１００）　※2
12	昇降グリル付標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＳＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3

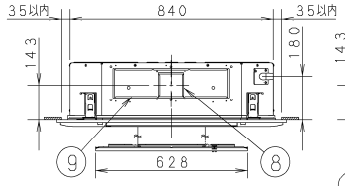


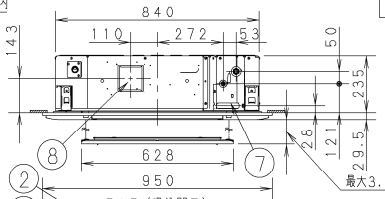


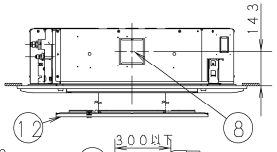


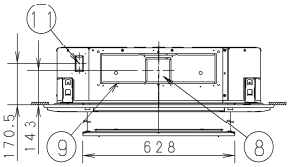
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

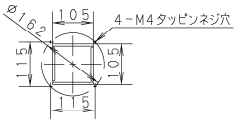
※1、別売品：吹出口丸台フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸台フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



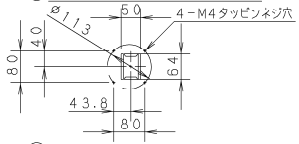




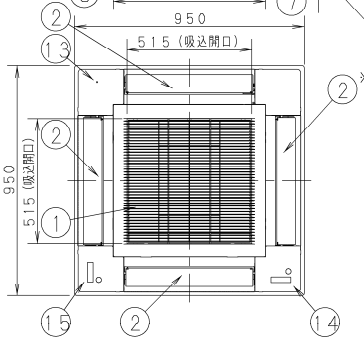


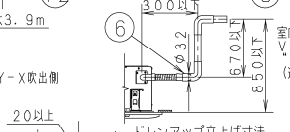


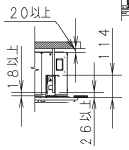
⑧吹出口丸台フランジ接続口詳細（φ１５０）

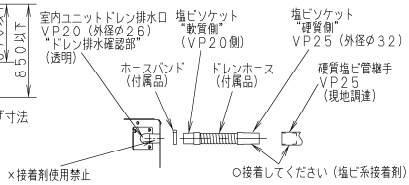


⑪外気取入丸台フランジ接続口詳細（φ１００）









×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はツエ人等で拭き取ってください。

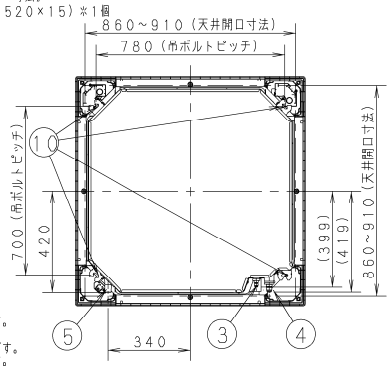
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

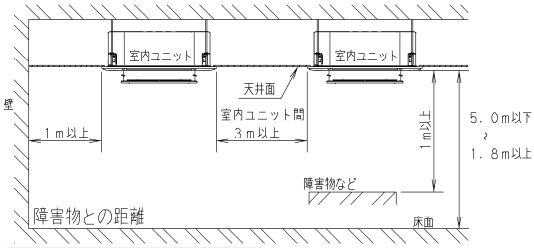
● 昇降グリル付標準パネル取付図

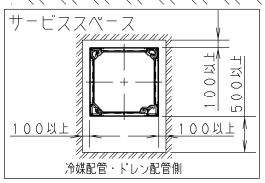
・ CZ-160KSU7B〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	昇降グリル付標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＳＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

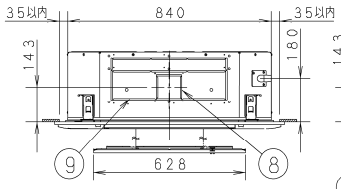


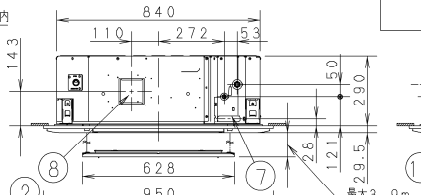


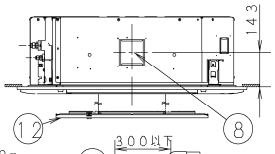


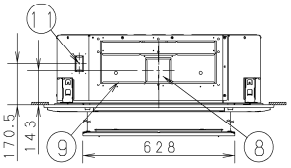
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

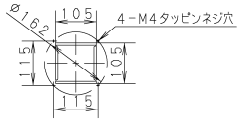
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

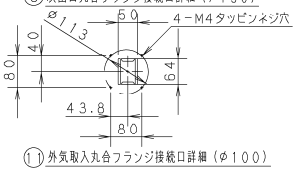


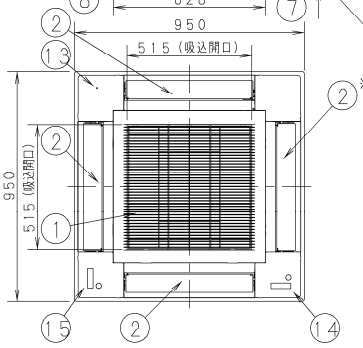


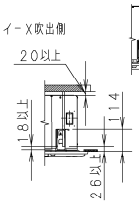




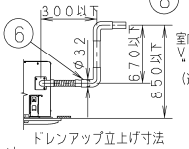


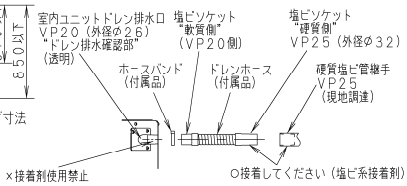






※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは
　１８ｍｍ以上）降間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

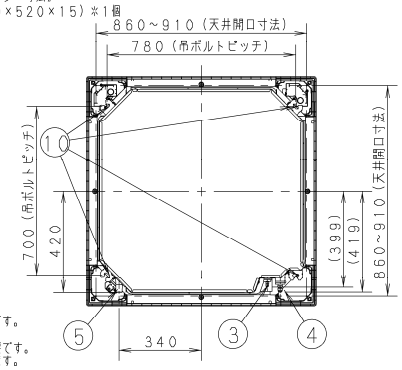
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
　はウエス等で拭き取ってください。

● 昇降グリル付オイルガードパネル取付図

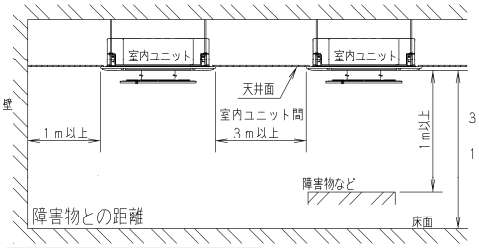
・ CZ-160KSBU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

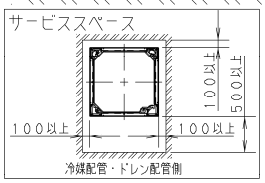
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	昇降グリル付オイルガードパネル（別売品） CZ-160KSBU7
13	ナノイー X LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

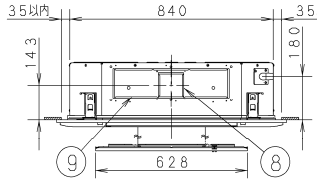


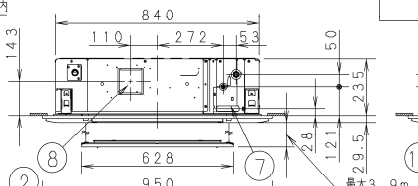
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

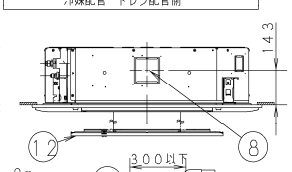


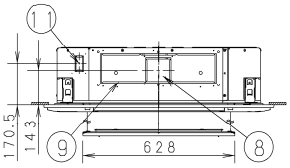


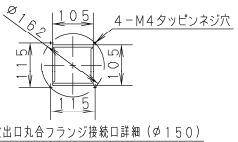
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



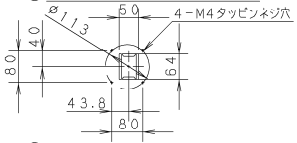




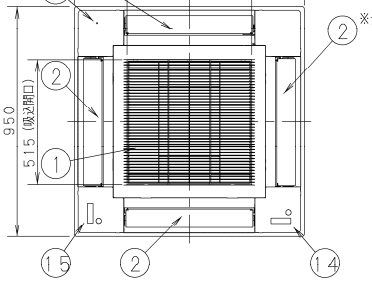


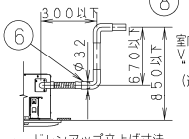


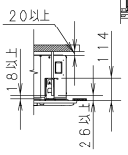
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）

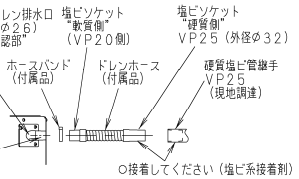


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）









×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

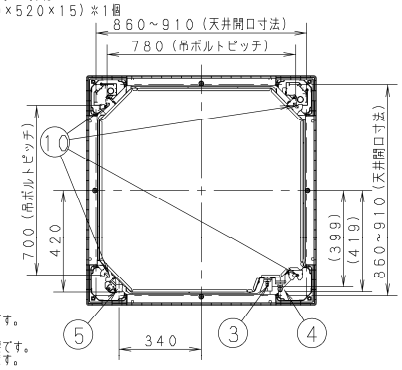
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

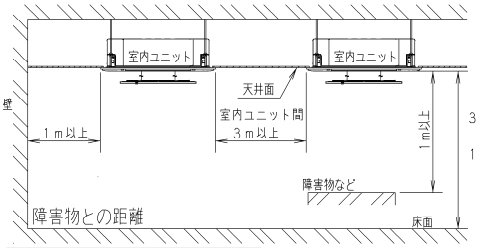
・ CZ-160KSBU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕

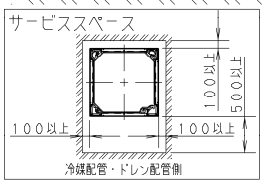
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	昇降グリル付オイルガードパネル（別売品） CZ-160KSBU7
13	ナノイー X LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

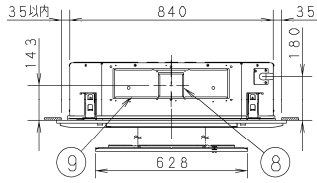


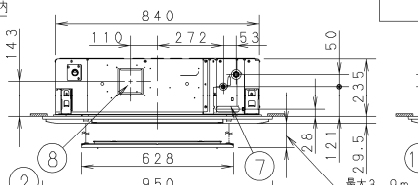
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

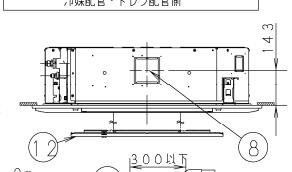


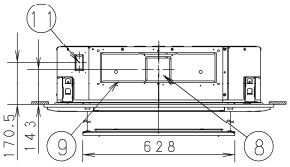


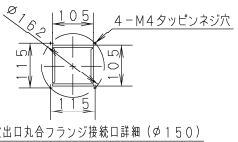
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



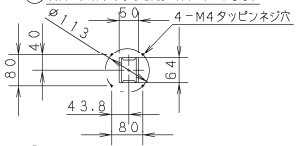




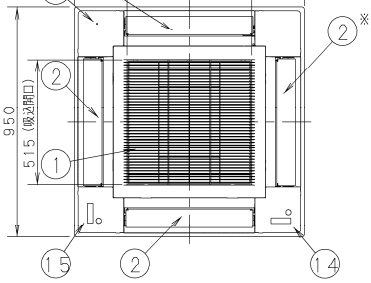


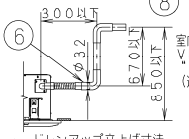


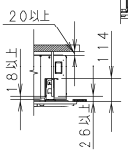
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）

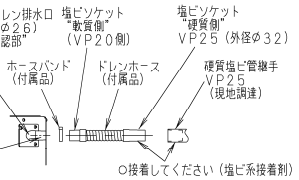


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）









×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

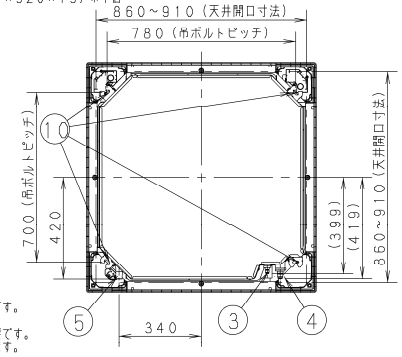
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

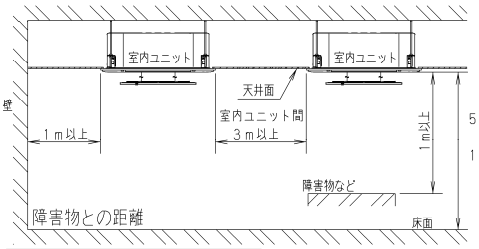
● 昇降グリル付オイルガードパネル取付図
・ CZ-160KSBU7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

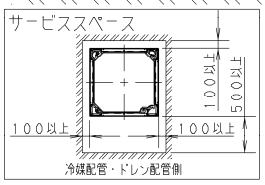
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	昇降グリル付オイルガードパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＳＢＵ７
13	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

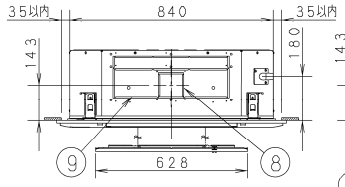


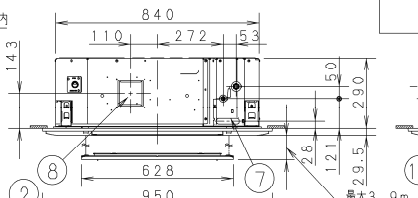
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しや風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

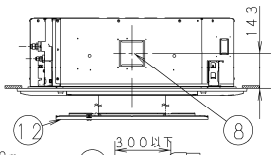


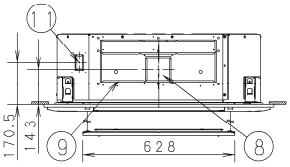


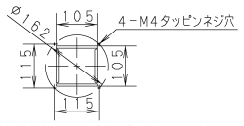
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



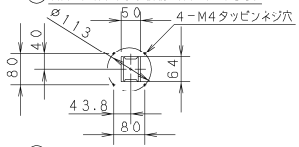




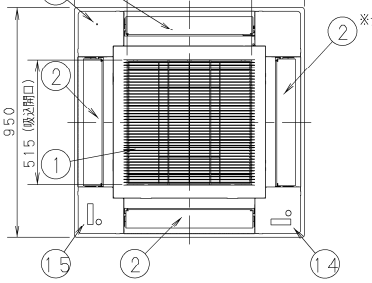


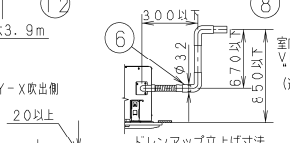


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）

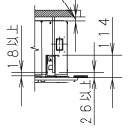


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）

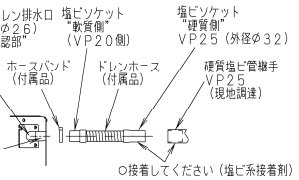




ドレンアップ立上げ寸法



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは
　１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

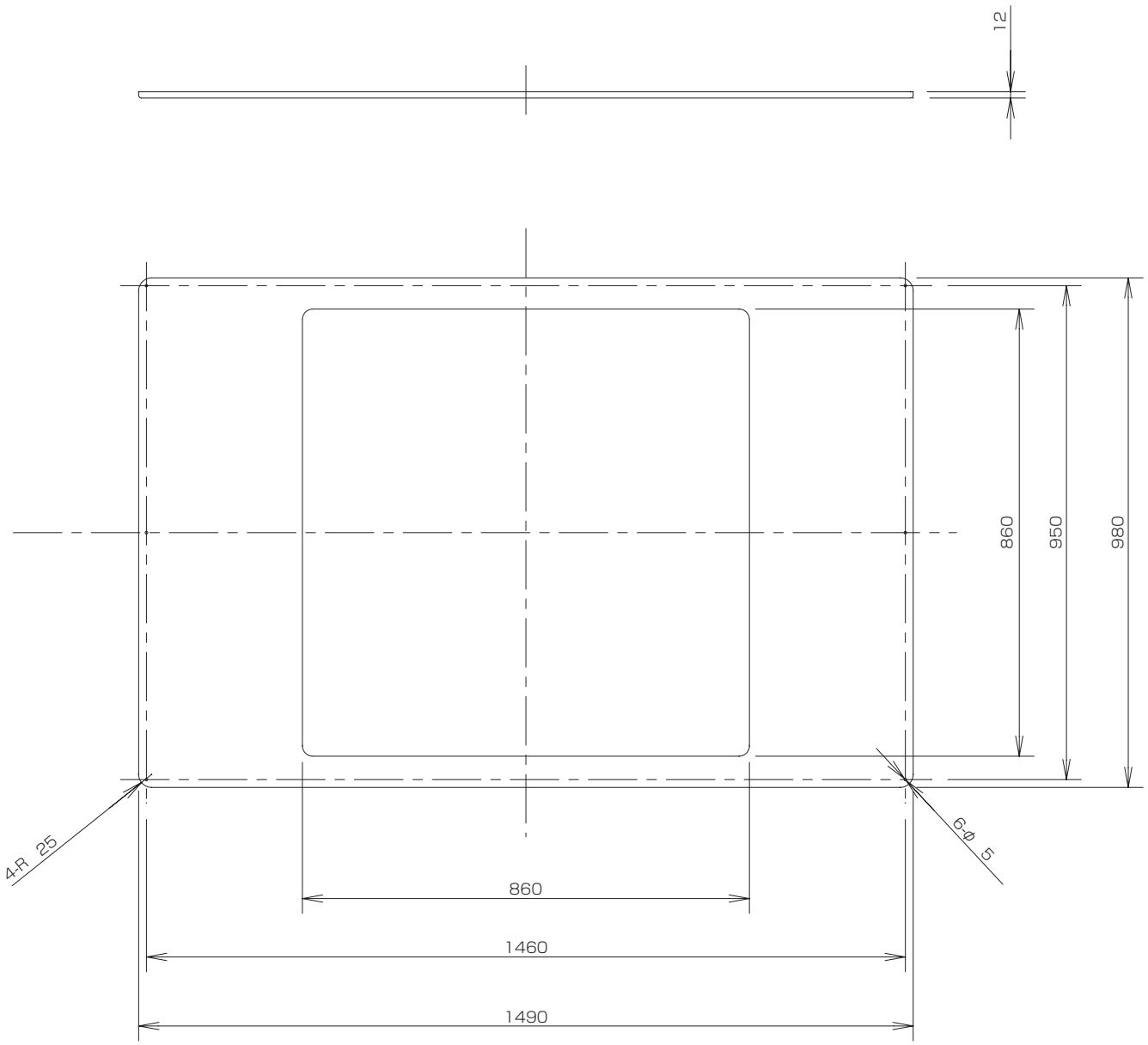
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
　はシンナー等で拭き取ってください。

■ ワイドパネル（CZ-160KWU5）

● 仕様

品番			CZ-160KWU5
外形寸法		mm	W:1490*D:980*H:12
開口寸法		mm	W:860*D:860
天井開口寸法	短手	mm	860～920
	長手	mm	860～1430
製品質量		kg	4
色（マンセル記号）			ホワイト（N9.3）
適応機種			40～160形

● 外形寸法図



●ワイドパネル

据付工事説明書

ワイドパネル

品番　CZ-160KWU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ **■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

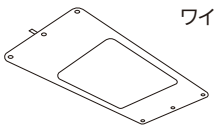
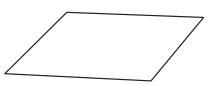
⃠ **■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
- ワイドパネルは、室内ユニットの冷媒配管・ドレン配管終了後、天井パネルを取り付ける際に、同時に取り付けてください。※先に天井パネルを取り付けてしまうと、ワイドパネルを取り付けできなくなります。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名　称	個数	名　称	個数	名　称	個数
ワイドパネル 	1	取付ネジ 4×45 白色塗装付き  近似色 19年版 日本塗料工業会 KN-93	6	据付工事説明書 	1

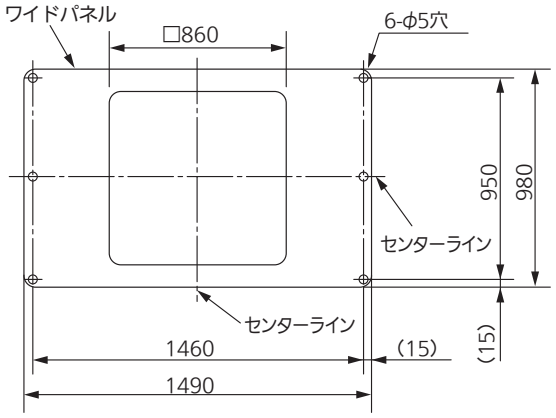
ACXF60-21744
85464369935000
BE0716 - 40723

●ワイドパネル

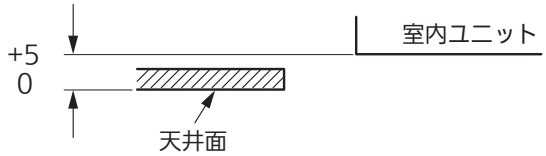
2. 取り付け前の準備

● 天井開口寸法が下記の範囲内か確認してください。
　短手×長手：860～920×860～1,430

● ワイドパネルは、下図の位置でネジ止めします。
　取付ネジが締められない天井材（石膏ボード等）の場合は、木材または天井材固定用Mバー等（現地調達、ダブルバー推奨）を天井材裏面に取り付けてください。

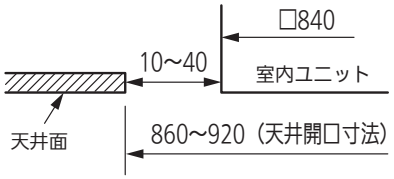


● 天井面の水平を確認してください。
※天井面が水平でない場合、ワイドパネルと天井面に多少の隙間が開く場合があります。
　室内ユニットと天井面は、0～5mmの範囲に高さ設定してください。この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。（図は、寸法を見やすくするために、室内ユニットの位置を高く表示しています。）



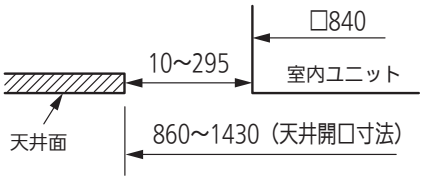
天井開口寸法　短手

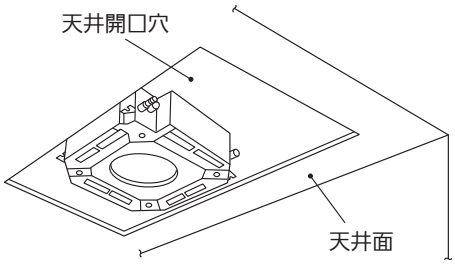
短手方向で天井と室内ユニットの隙間が10～40で左右同一寸法になるように調整してください。



天井開口寸法　長手

長手方向で天井と室内ユニットの隙間が10～295で左右同一寸法になるように調整してください。

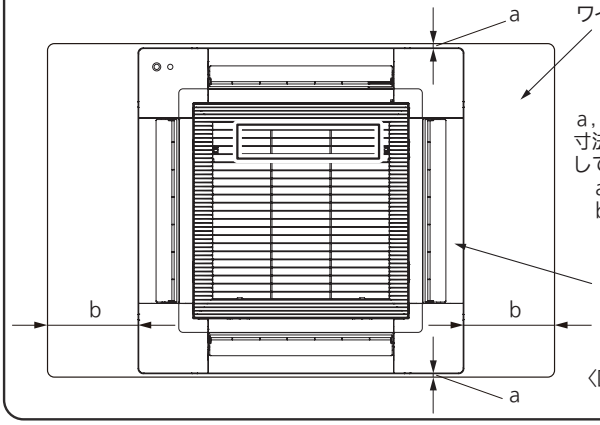




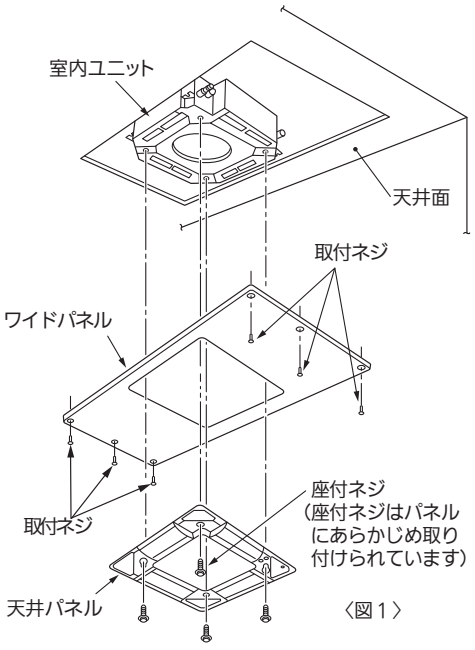
3. 取り付けかた

● 天井パネルの上にワイドパネルを載せて、天井パネルを室内ユニットに取り付けます。〈図１〉
　※天井パネルの取り付けかたは、天井パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。
　※天井パネルとワイドパネルの位置合わせは〈図２〉を参照してください。

● ワイドパネルを取付ネジ６本で天井面へ固定します。
　※取付ネジはワイドパネルが変形しない程度に締め込んでください。
　　変形した場合は、取付ネジを少し緩めてください。



〈図２〉



〈図１〉

●ワイドパネル

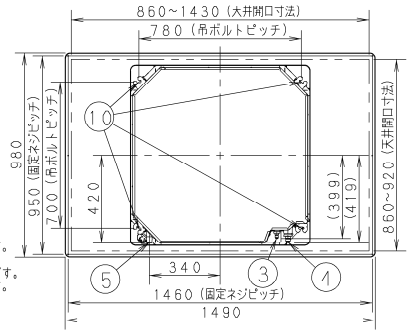
●ワイドパネル取付図（エコナビパネル使用）

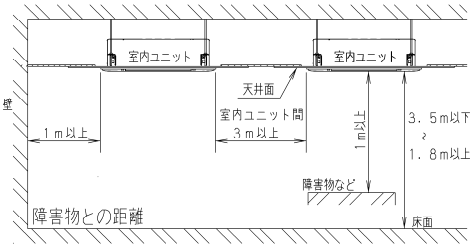
・CZ-160KWU5 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

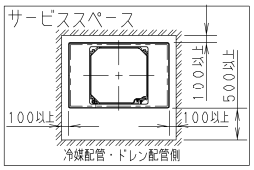
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	ワイドパネル（リニューアル対応） 別売品：CZ-160KWU5
13	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED ※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3
16	エコナビセンサー ※3

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必要となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

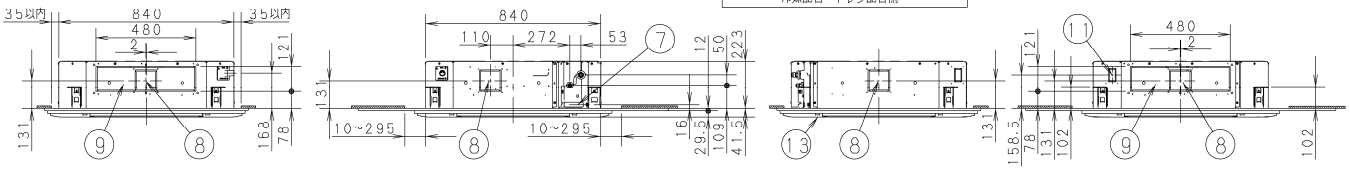
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

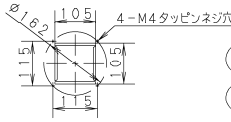


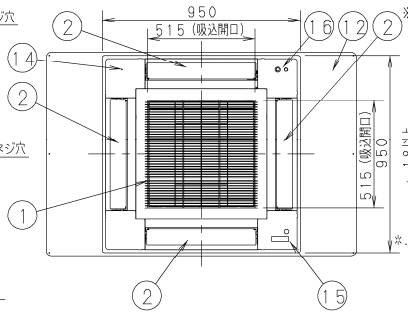


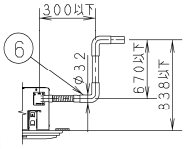


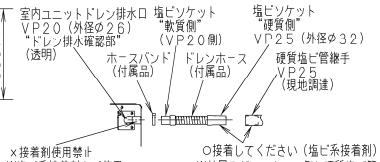
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。









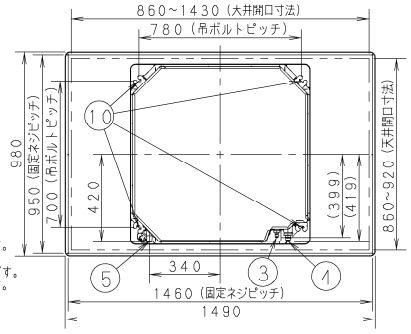


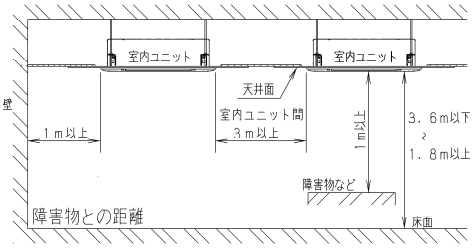
・CZ-160KWU5 〔適用機種：63,71,80H 形〕

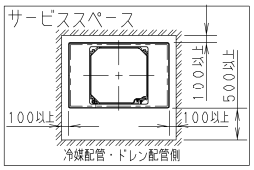
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	ワイドパネル（リニューアル対応） 別売品：CZ-160KWU5
13	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED ※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3
16	エコナビセンサー ※3

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必要となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

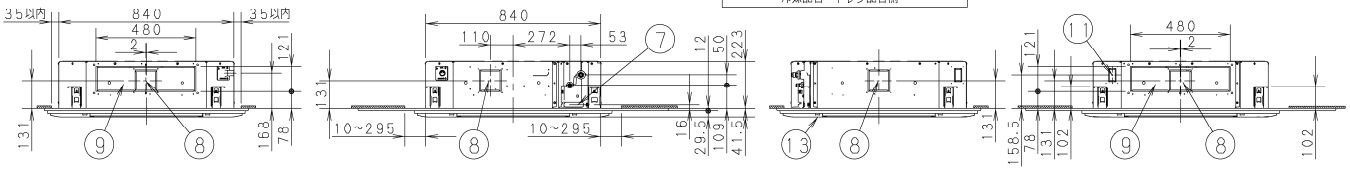
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

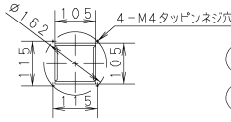


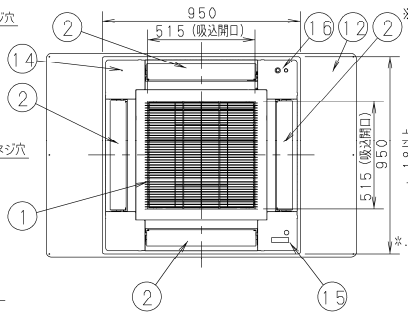


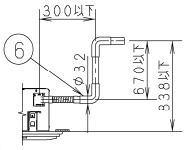


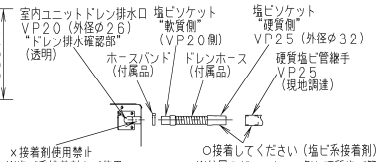
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。











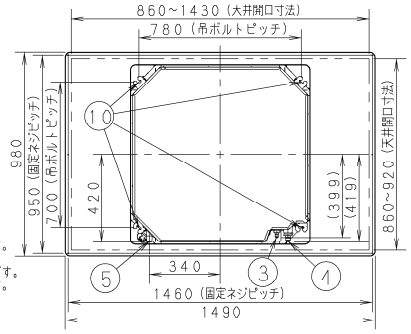
● ワイドパネル取付図（エコナビパネル使用）

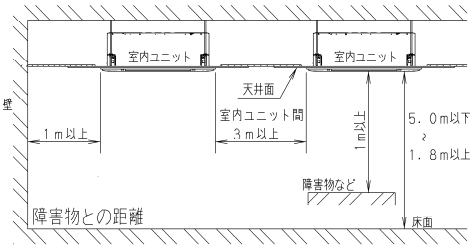
・ CZ-160KWU5〔適用機種：112 ～ 160 形〕

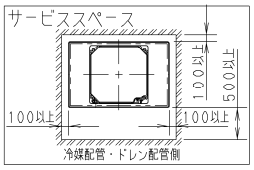
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	ワイドパネル（リニューアル対応） 別売品：ＣＺ－１６０ＫＷＵ５
13	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
14	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
16	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

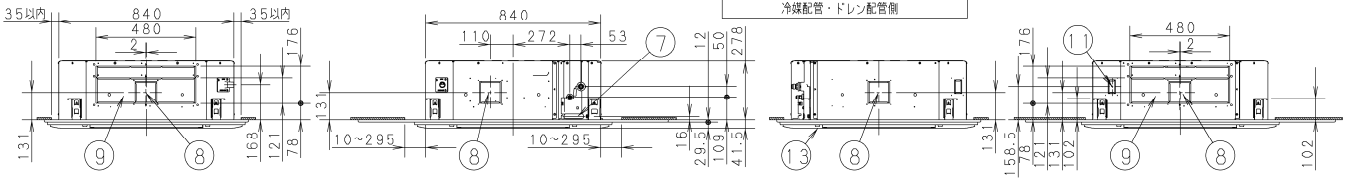
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

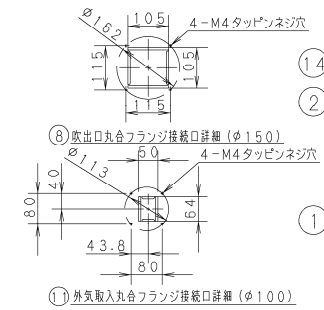


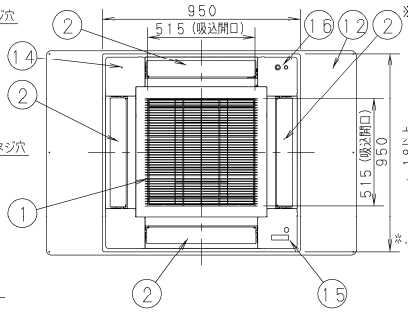


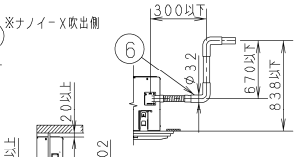


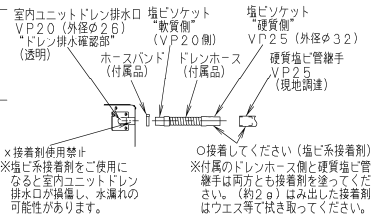
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。











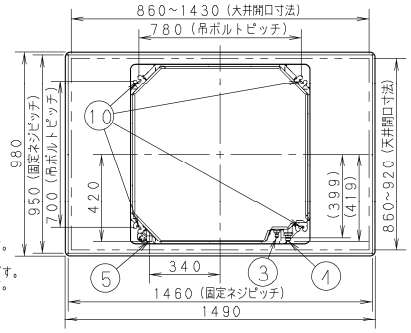
● ワイドパネル取付図（標準パネル使用）

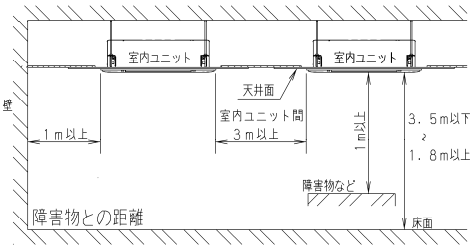
・ CZ-160KWU5 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

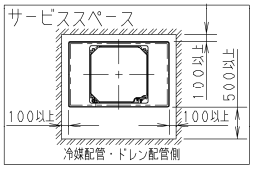
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	ワイドパネル（リニューアル対応） 別売品：CZ－160KWU5
13	標準パネル（別売品） CZ－160KPU7B（－H，－T，－K）
14	ナノイ－X LED ※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

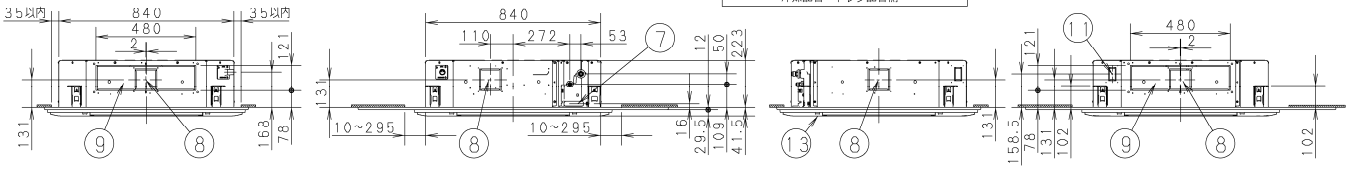
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

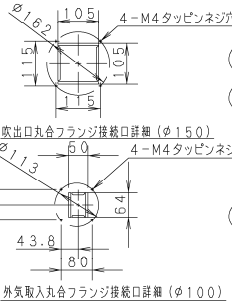


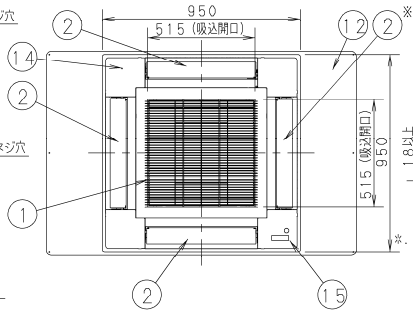


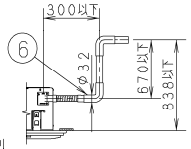


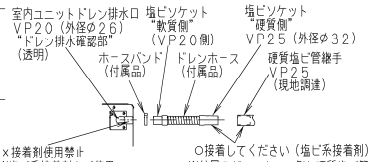
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。









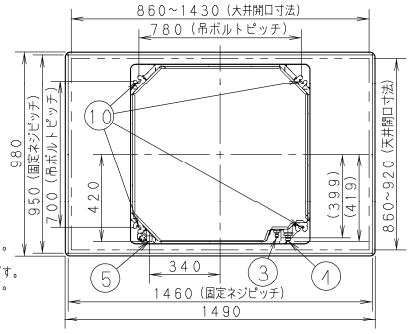


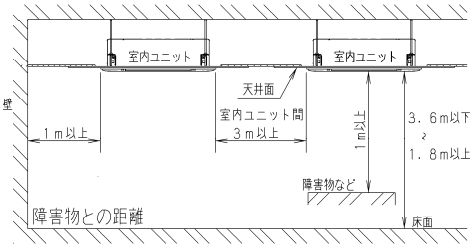
・ CZ-160KWU5 〔適用機種：63,71,80H 形〕

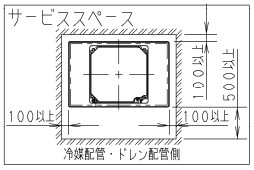
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	ワイドパネル（リニューアル対応） 別売品：CZ－160KWU5
13	標準パネル（別売品） CZ－160KPU7B（－H，－T，－K）
14	ナノイ－X LED ※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

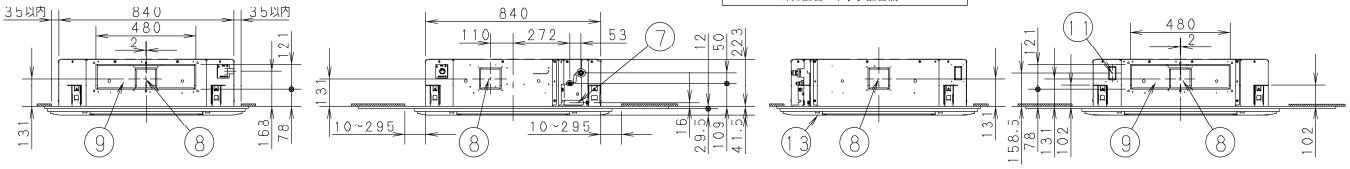
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

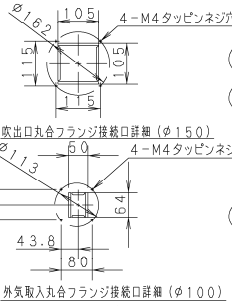


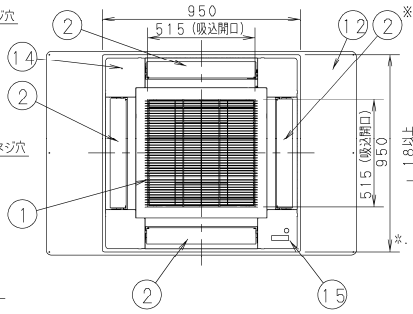


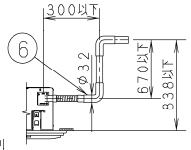


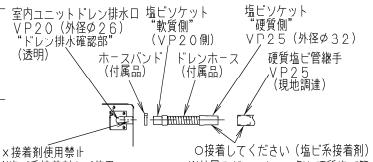
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。











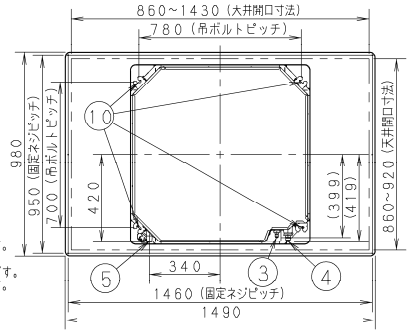
● ワイドパネル取付図（標準パネル使用）

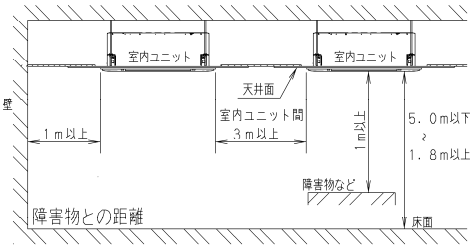
・ CZ-160KWU5〔適用機種：112 ～ 160 形〕

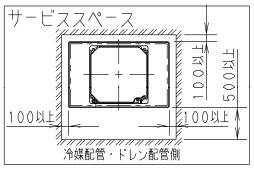
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	ワイドパネル（リニューアル対応） 別売品：CZ-160KWU5
13	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーX LED ※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

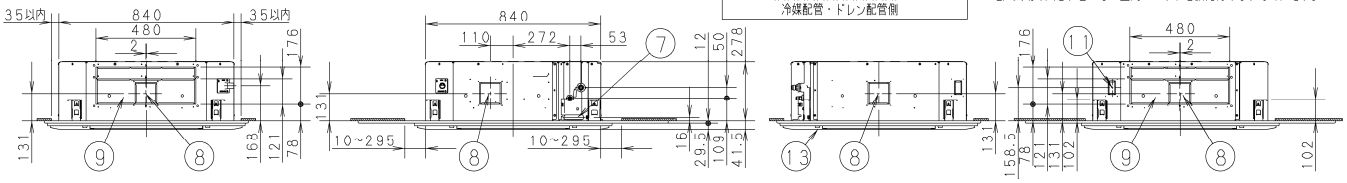
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、Uや風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

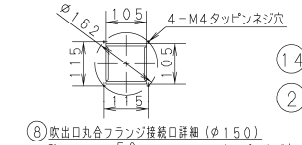


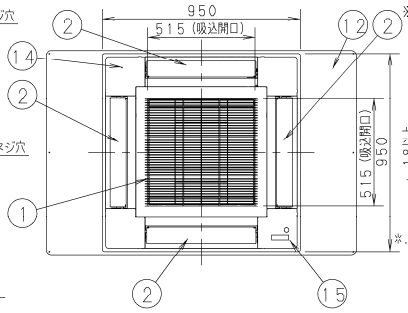


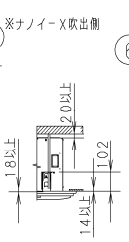


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

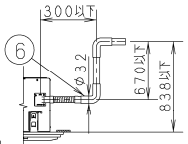


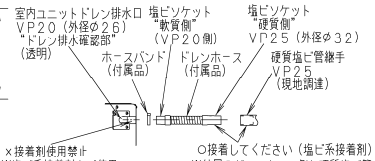






※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から１４ｍｍ以上（本体下面からは
　１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。

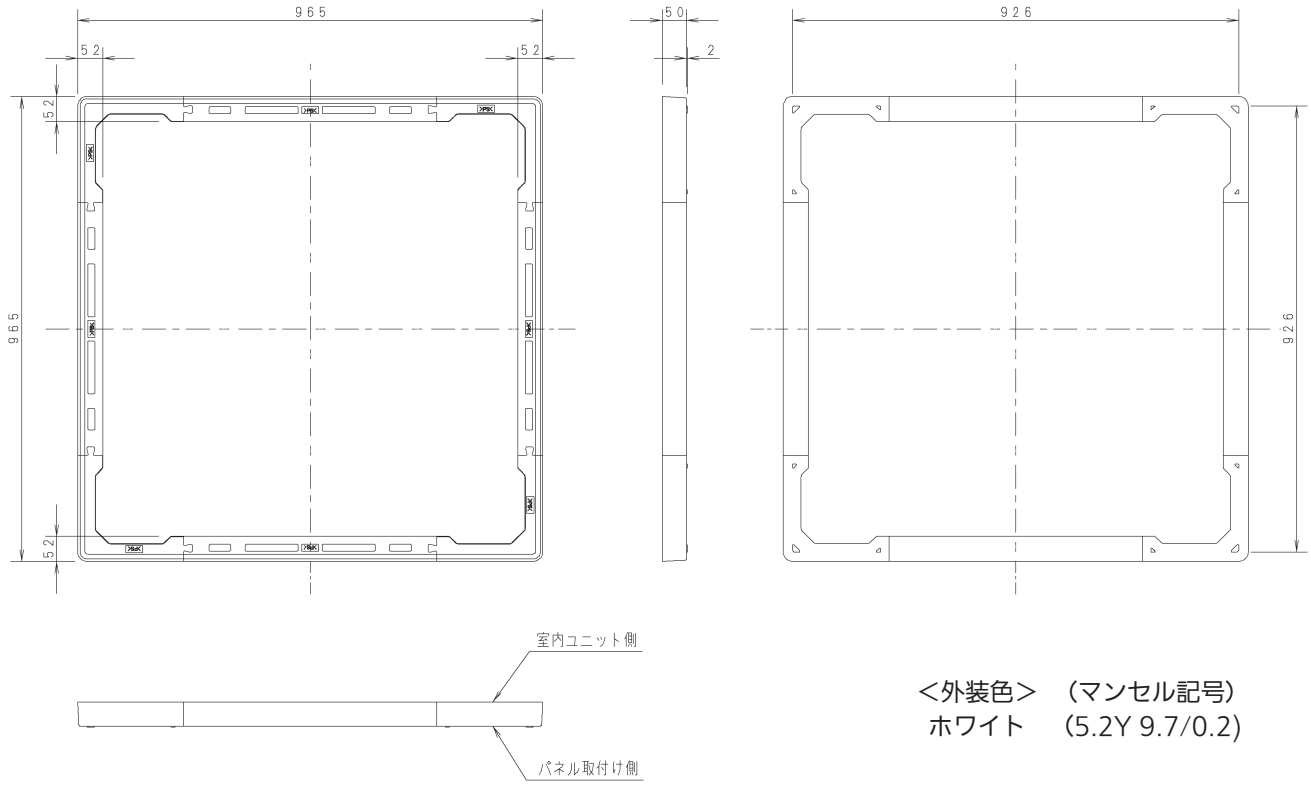




×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約2ｇ）はみ出した接着剤
　はウエス等で拭き取ってください。

■ パネルスペーサー〈CZ-160SPU5〉
● 外形寸法図



＜外装色＞　（マンセル記号）
ホワイト　（5.2Y 9.7/0.2）

●パネルスペーサー

据付工事説明書

パネルスペーサー

品番　CZ-160SPU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

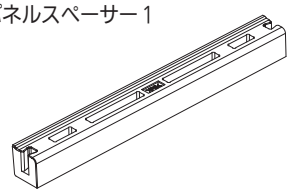
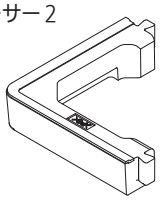
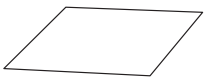
■ 使用上のご注意
- 天井パネルを室内ユニットに取り付ける前に、パネルスペーサーを取り付けてください。
  ※先に天井パネルを室内ユニットに取り付けてしまうと、パネルスペーサーを取り付けできなくなります。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-21754
85464369936000
BE0716 - 40723

●パネルスペーサー

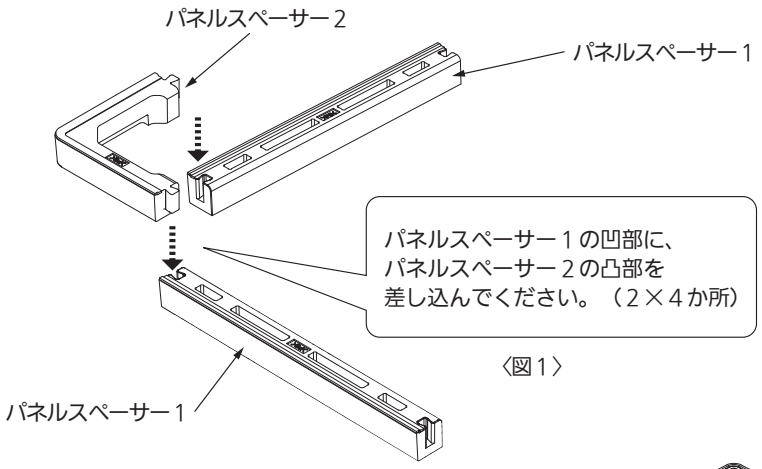
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

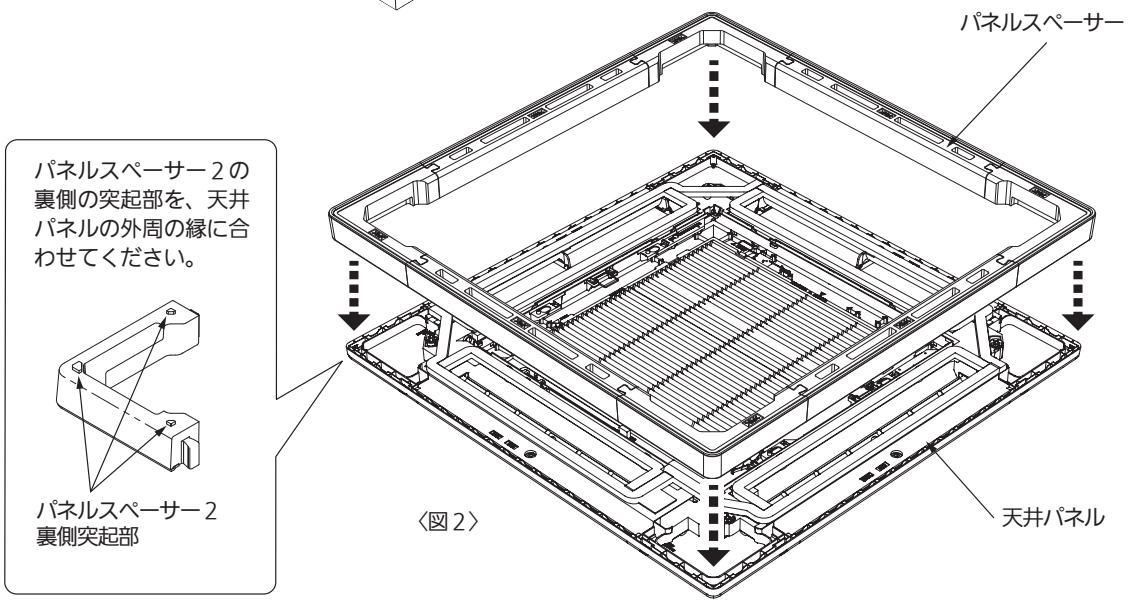
名　称	個数	名　称	個数	名　称	個数
パネルスペーサー１ 	4	パネルスペーサー２ 	4	据付工事説明書 	1

2. 取り付けかた

1. パネルスペーサー１と２を、〈図１〉のように組み立てます。
2. 組み立てたパネルスペーサーを、天井パネルの外周に取り付けます。〈図２〉
   ※取り付ける際は、パネルスペーサー２の裏側の突起部を天井パネル外周の縁に合わせてください。
   ※取り付け時、天井パネル全周でパネルスペーサーが天井パネルより約５mm外側に出ていることを確認してください。
3. パネルスペーサー取り付け後、天井パネルを室内ユニットに取り付けてください。



〈図１〉



〈図２〉

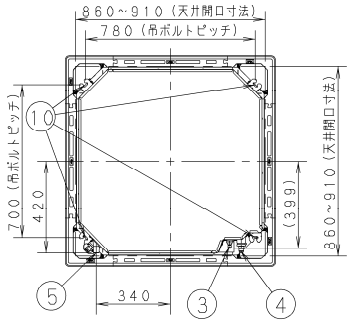
● パネルスペーサー取付図（エコナビパネル使用）

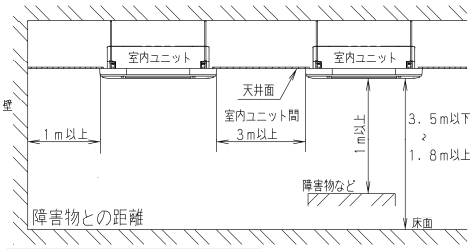
・ CZ-160SPU5 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

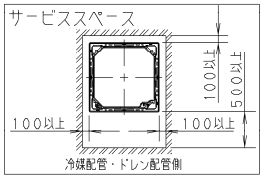
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED ※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3
16	エコナビセンサー ※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

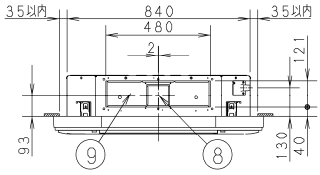
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

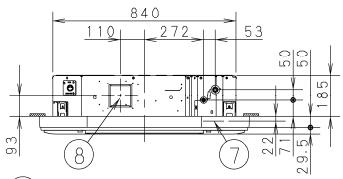


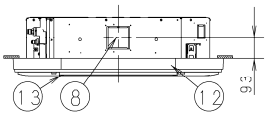


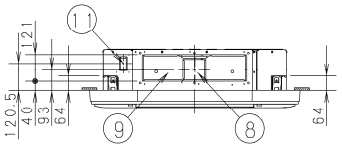


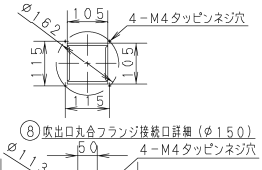
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

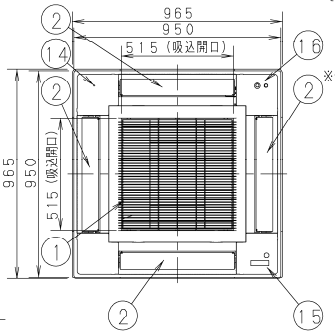


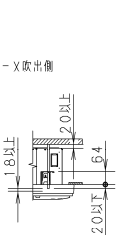




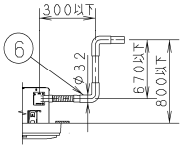


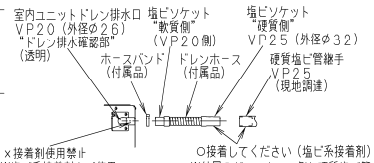






※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２０mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

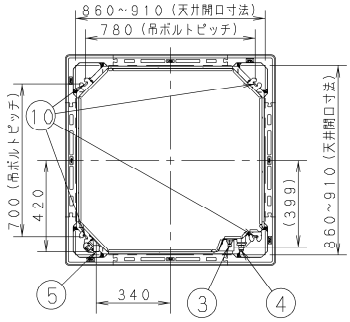
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

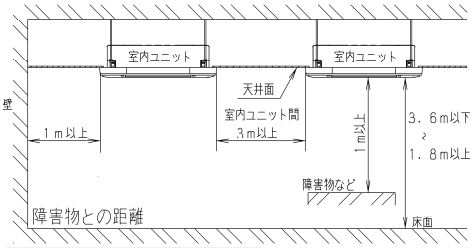
・ CZ-160SPU5 〔適用機種：63,71,80H 形〕

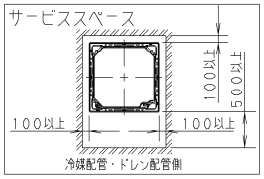
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED ※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3
16	エコナビセンサー ※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

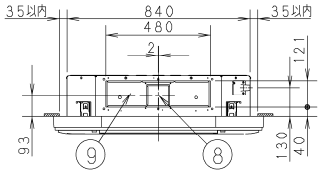
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

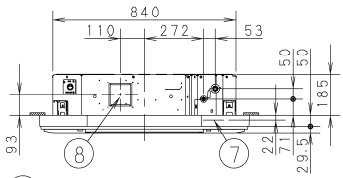


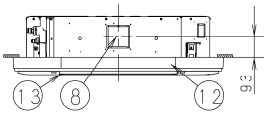


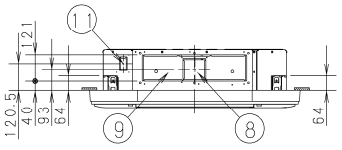


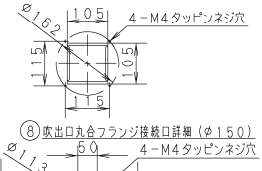
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

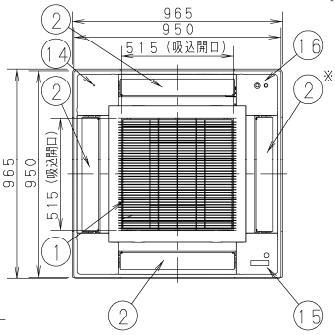


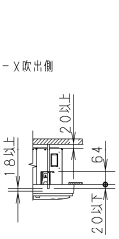




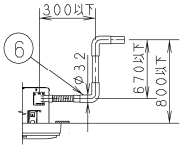


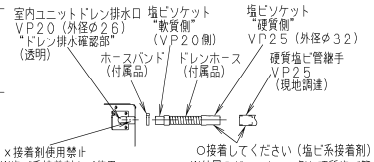






※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２０mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

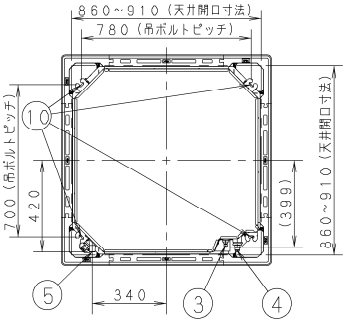
● パネルスペーサー取付図（エコナビパネル使用）

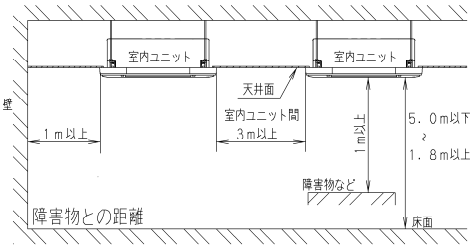
・ CZ-160SPU5〔適用機種：112 ～ 160 形〕

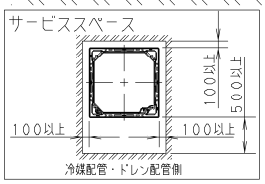
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイー X　LED　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
16	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

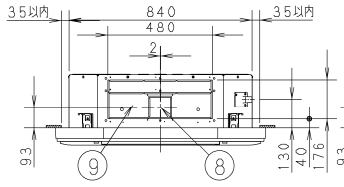
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

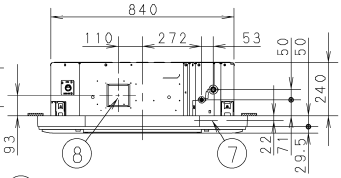


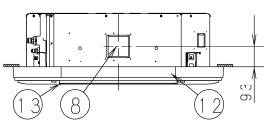


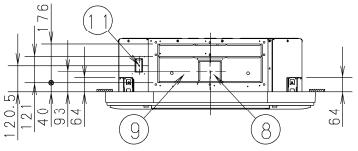


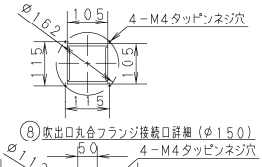
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



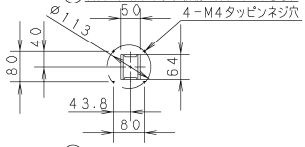




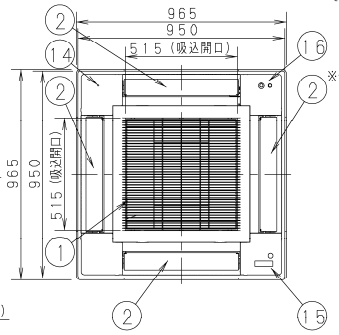


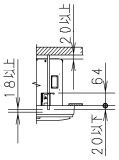


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）

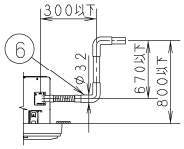


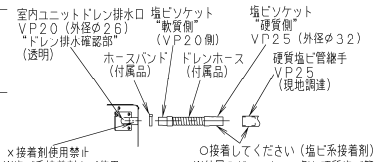
⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から２０ｍｍ以上（本体下面からは
　１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
　はウエス等で拭き取ってください。

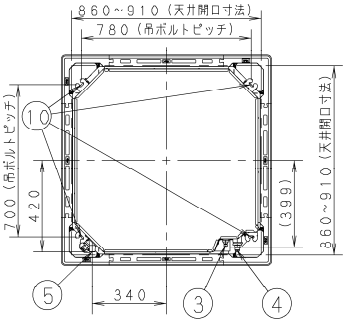
● パネルスペーサー取付図（標準パネル使用）

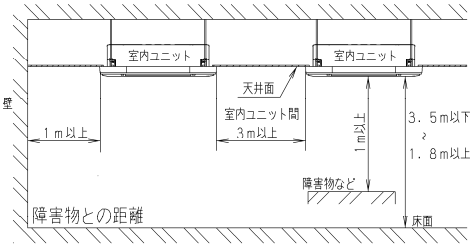
・ CZ-160SPU5 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

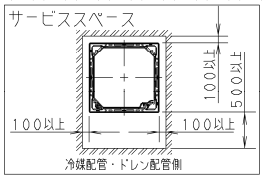
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーX LED　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

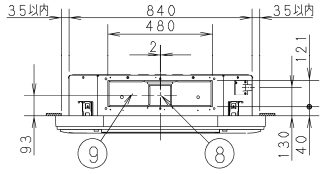
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

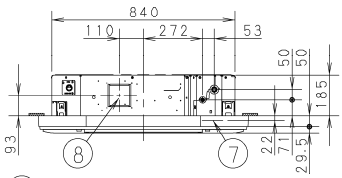


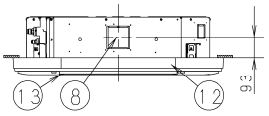


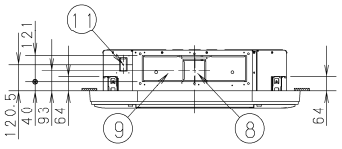


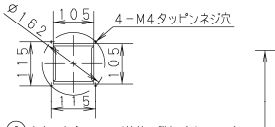
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



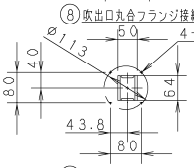




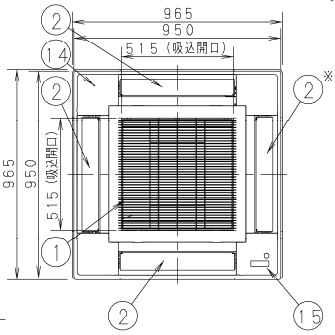


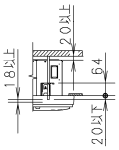


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）

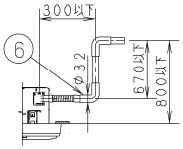


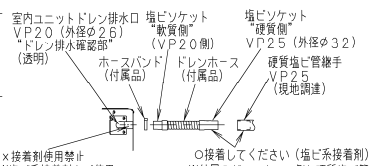
⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２０mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

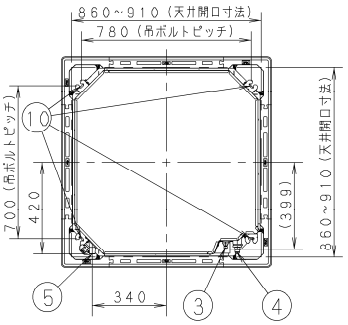
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

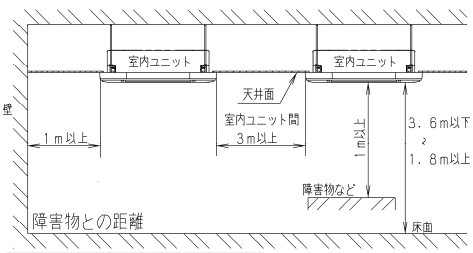
・ CZ-160SPU5 〔適用機種：63,71,80H 形〕

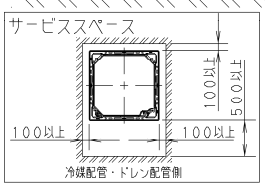
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーX LED　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

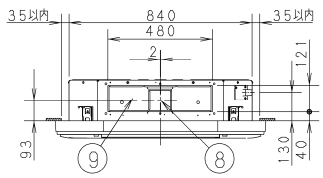
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

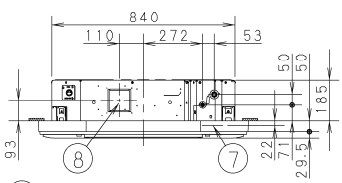


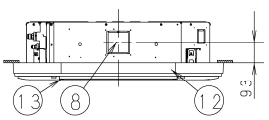


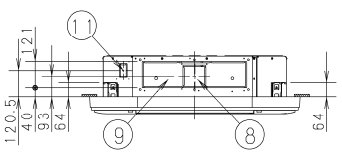


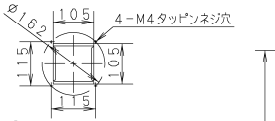
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



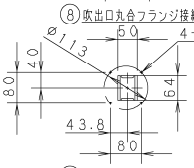




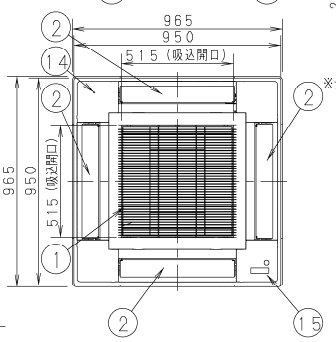


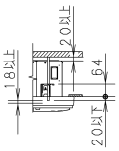


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）

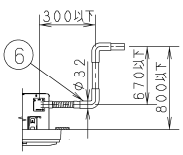


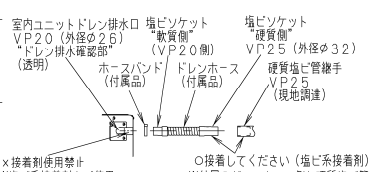
⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２０mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

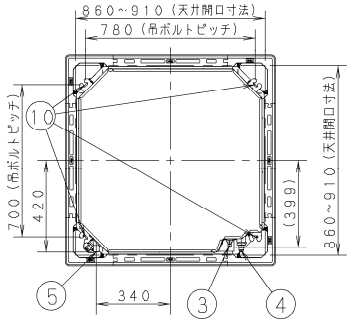
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

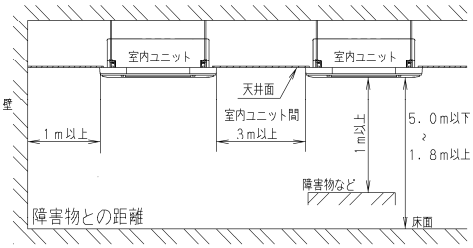
● パネルスペーサー取付図（標準パネル使用）

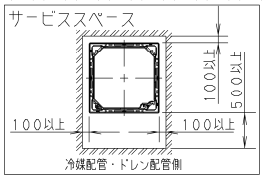
・ CZ-160SPU5〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーＸ　LED　　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

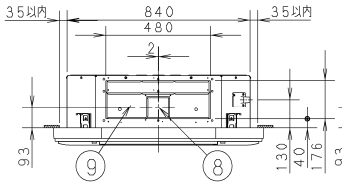


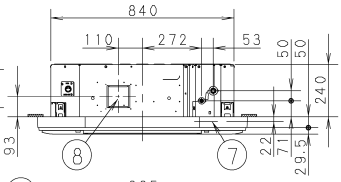


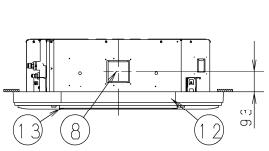


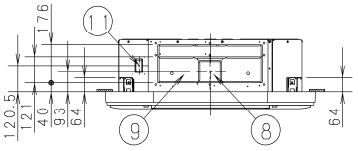
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

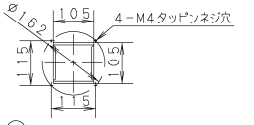
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

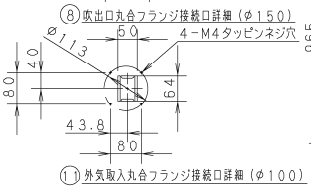


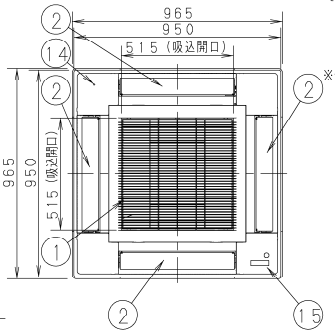


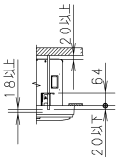




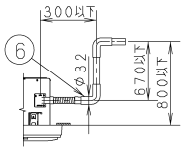


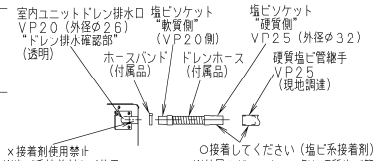






※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から２０ｍｍ以上（本体下面からは
１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
なると室内ユニットドレン
排水口が損傷し、水漏れの
可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
はウエス等で拭き取ってください。

■ 高性能フィルター（CZ-160HFU5, 160MFU5）

● 仕様（比色法90%）

名　称			高性能フィルター(比色法90%)						
品　番			CZ-160HFU5						
適用室内ユニット			40,45形	50,56形	63形	71,80H形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	15.3	16.5	18.4	19.6	31.2	32.2	32.2
最終風量		m^3/min	12.4	12.4	12.4	12.4	18.4	18.9	18.9
初期圧損		Pa	14.8	16.7	18.4	20.5	34.3	36.7	36.7
最終圧損		Pa	22.4	27.9	34.9	40.6	79.2	85.1	85.1
フィルター寿命		時間	1,750	1,700	1,700	1,700	1,500	1,500	1,500
平均効率			比色法　90%(JIS 11種)						
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルター分割数			1枚組						
質量		kg	1.8						
フィルター外形寸法	幅	mm	594						
	奥行	mm	560						
	厚み	mm	35						
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-160FDU7						
	質量	kg	2.0						
	厚み	mm	100						

● 仕様（比色法65%）

名　称			高性能フィルター(比色法65%)						
品　番			CZ-160MFU5						
適用室内ユニット			40,45形	50,56形	63形	71,80H形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	16.1	17.0	17.5	20.2	32.6	33.2	33.2
最終風量		m^3/min	13.3	14.1	14.5	17.0	16.8	17.0	17.0
初期圧損		Pa	10.6	11.6	11.6	14.4	27.8	27.9	27.9
最終圧損		Pa	18.5	20.0	20.5	24.7	83.1	85.6	85.6
フィルター寿命		時間	2,500	2,500	2,400	2,400	2,200	2,200	2,200
平均効率			比色法　65%(JIS 11種)						
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルター分割数			1枚組						
質量		kg	1.8						
フィルター外形寸法	幅	mm	594						
	奥行	mm	560						
	厚み	mm	35						
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-160FDU7						
	質量	kg	2.0						
	厚み	mm	100						

注記

(1)高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
　（据付工事説明書参照）

(2)高性能フィルター組み込みの場合は、ダクト接続や２方向・３方向吹き出しはできません。

(3)フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（JIS 11種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

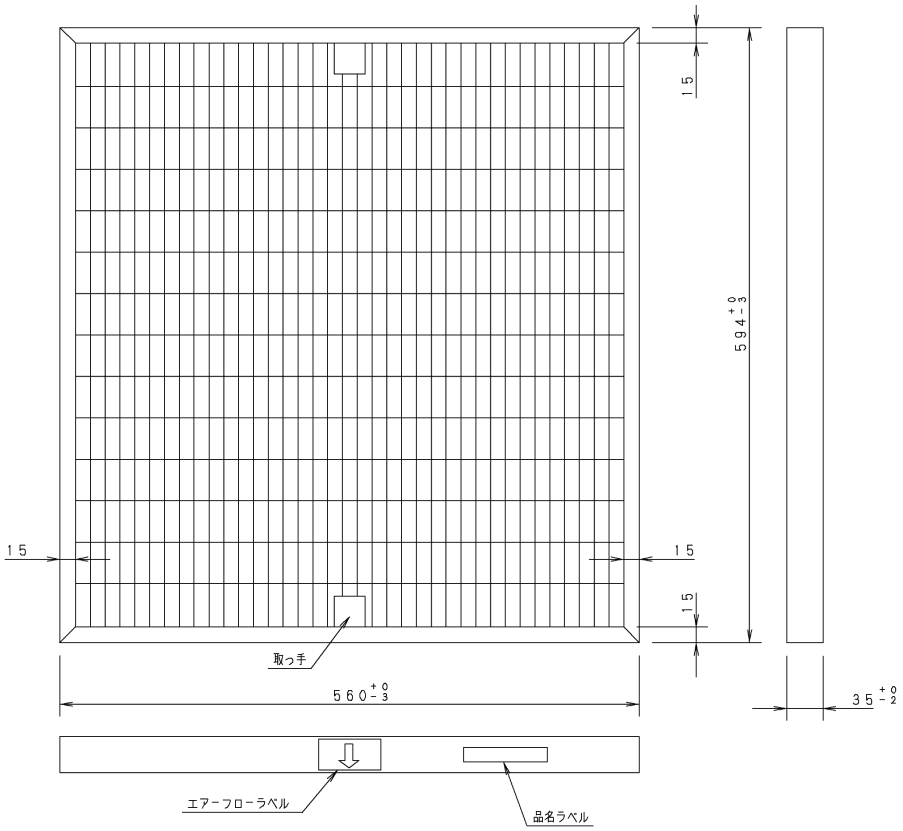
(4)高性能フィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。

(5)天井パネルのエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。

(6)風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

(7)この仕様はU7B形の値です。

● 外形寸法図（CZ-160HFU5, 160MFU5）

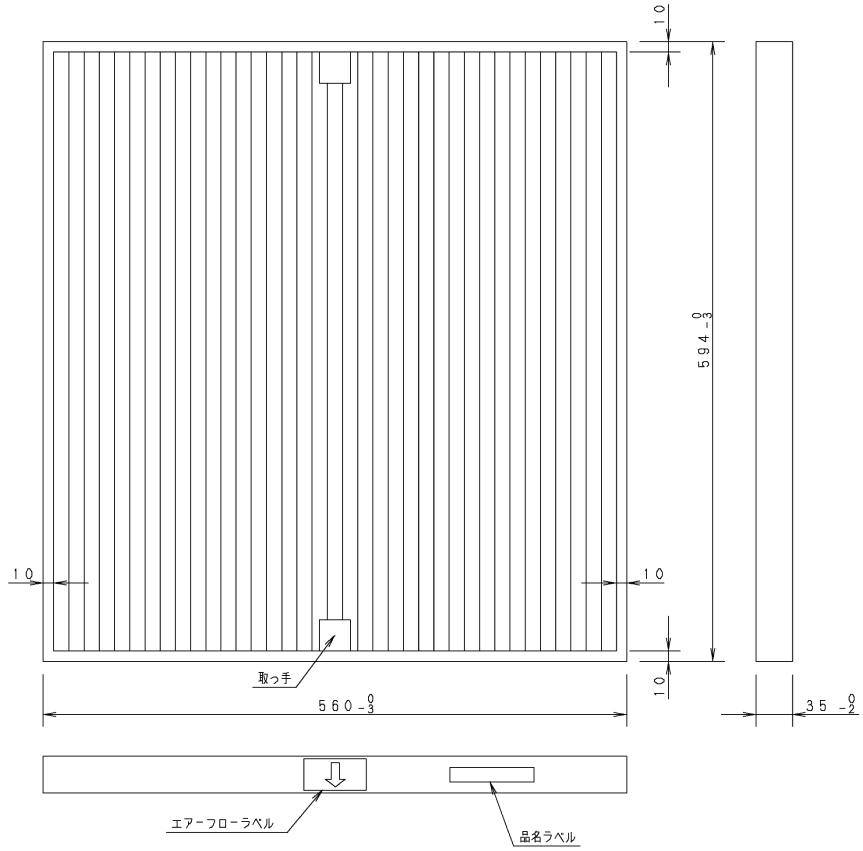


■ 超ロングライフフィルター（CZ-160LFU5）
● 仕様（重量法 40%）

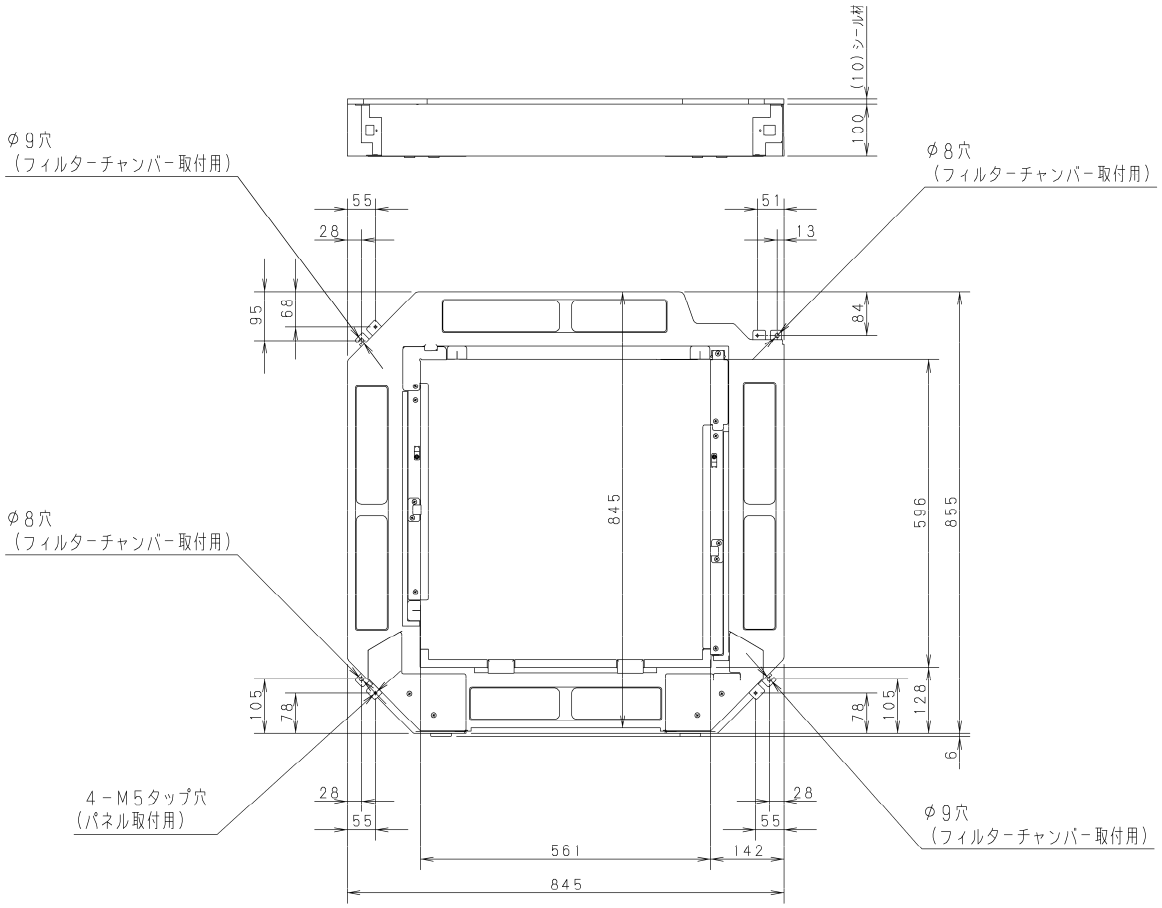
名　称			超ロングライフフィルター(重量法40%)						
品　番			CZ-160LFU5						
適用室内ユニット			40, 45形	50, 56形	63形	71, 80H形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	17.3	18.2	18.6	21.4	34.4	34.8	34.8
最終風量		m^3/min	13.3	14.1	14.5	17.0	16.8	17.0	17.0
初期圧損		Pa	6.9	7.4	8.1	9.7	19.3	20.4	20.4
最終圧損		Pa	18.5	19.9	20.5	24.7	83.1	85.6	85.6
フィルター寿命		時間	6,200	6,800	6,300	6,500	5,200	5,200	5,100
平均効率			重量法　40%(JIS 11種)						
使用濾材			PPハニカム（防カビ仕様）						
フィルター分割数			1枚組						
質量		kg	1.9						
フィルター外形寸法	幅	mm	594						
	奥行	mm	560						
	厚み	mm	35						
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-160FDU7						
	質量	kg	2.0						
	厚み	mm	100						

注記
(1)超ロングライフフィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
　（据付工事説明書参照）
(2)フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（JIS 11種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3)超ロングライフフィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(4)天井パネルのエアーフィルターは、取り外してご使用ください。
(5)風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。
(6)この仕様はU7B形の値です。

● 外形寸法図（CZ-160LFU5）

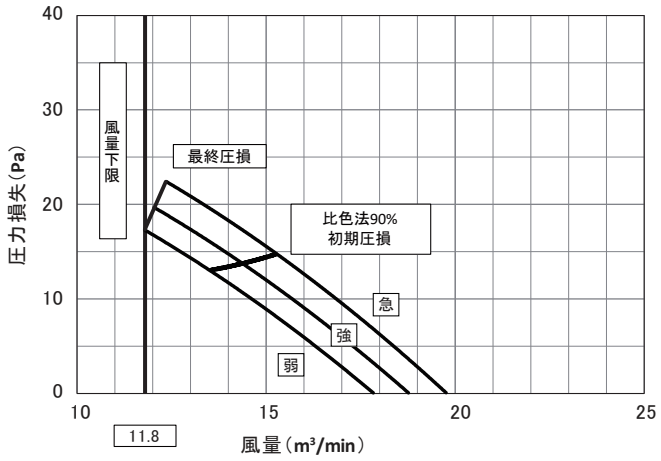


■ フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）
● 外形寸法図

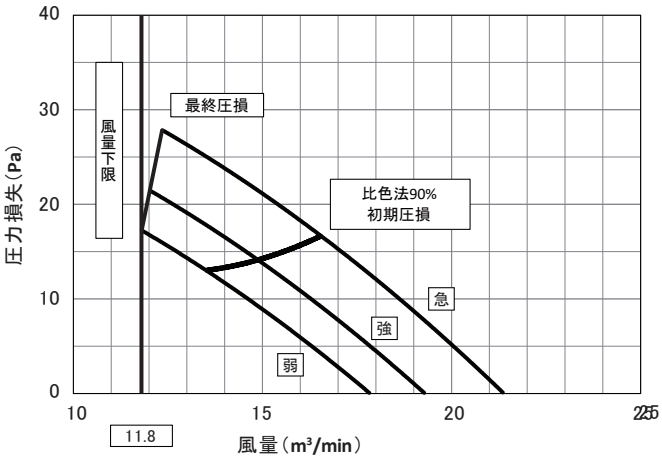


● 風量ー圧力損失特性（CZ-160HFU5）

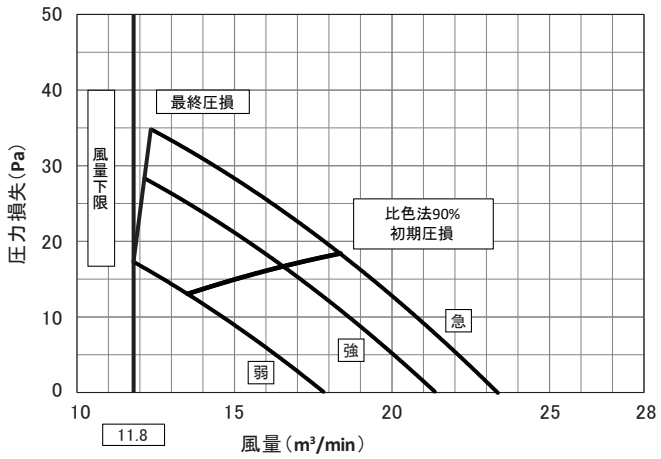
40・45形



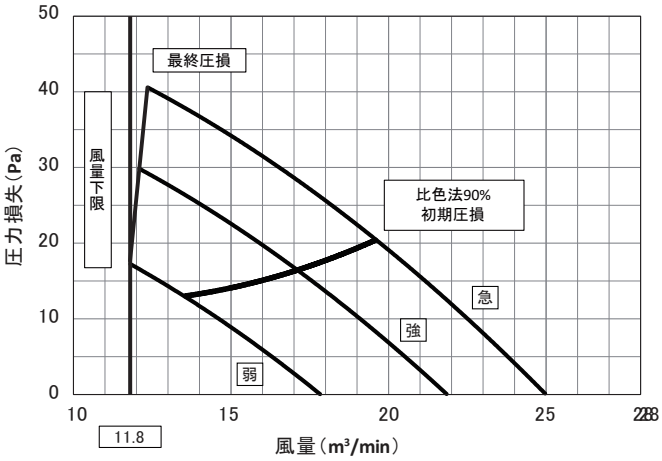
50・56形



63形

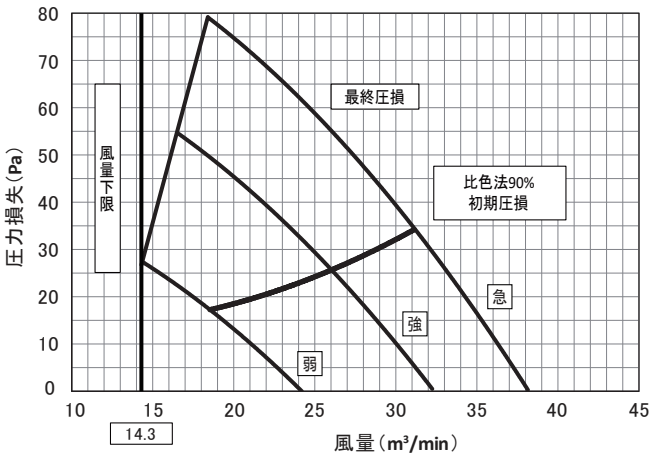


71・80H形

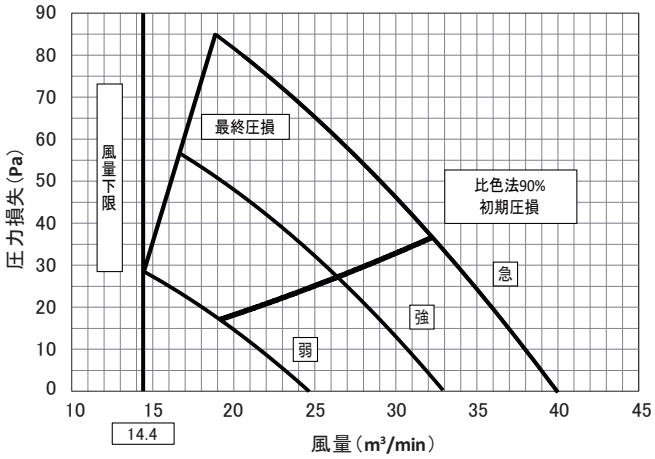


● 風量ー圧力損失特性（CZ-160HFU5）

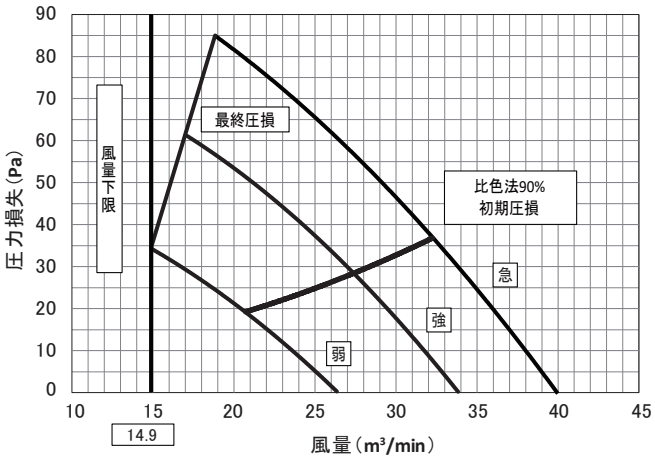
112形



140形

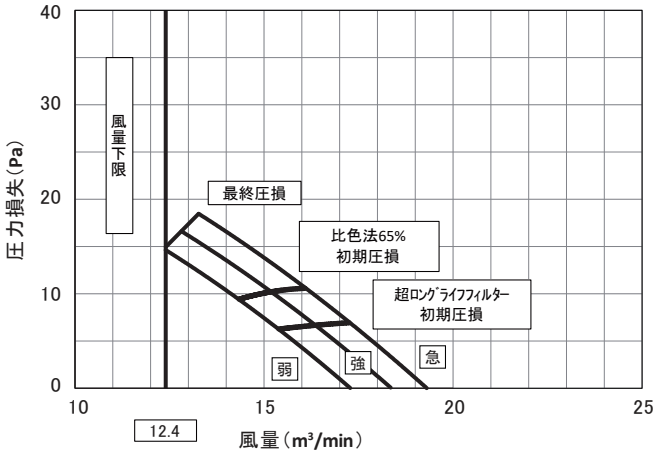


160形

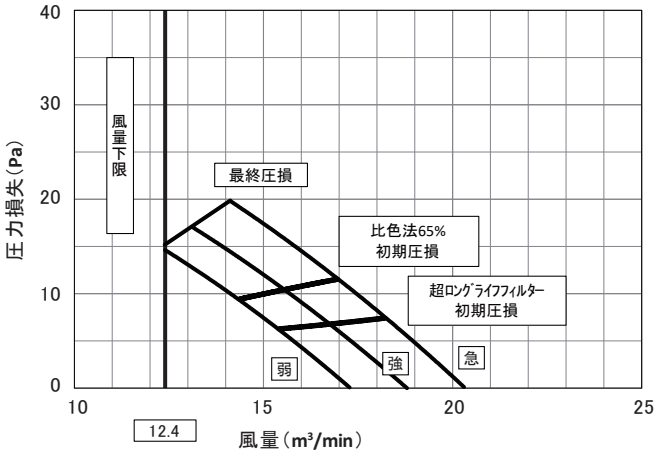


● 風量ー圧力損失特性（CZ-160MFU5, 160LFU5）

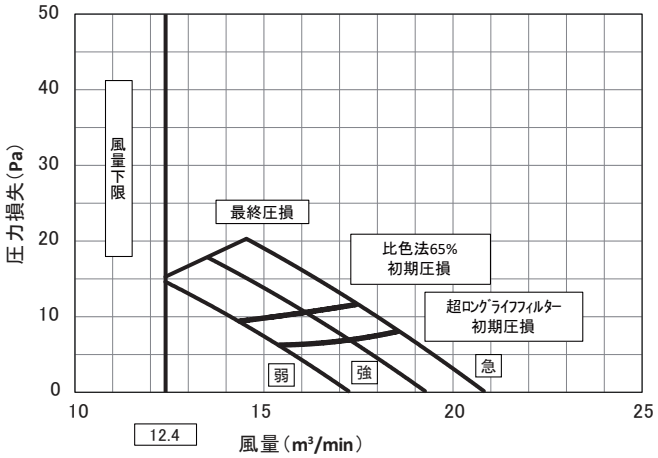
40・45形



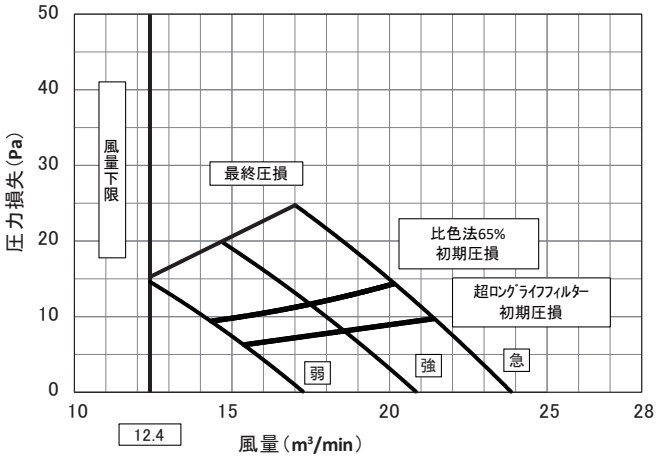
50・56形



63形

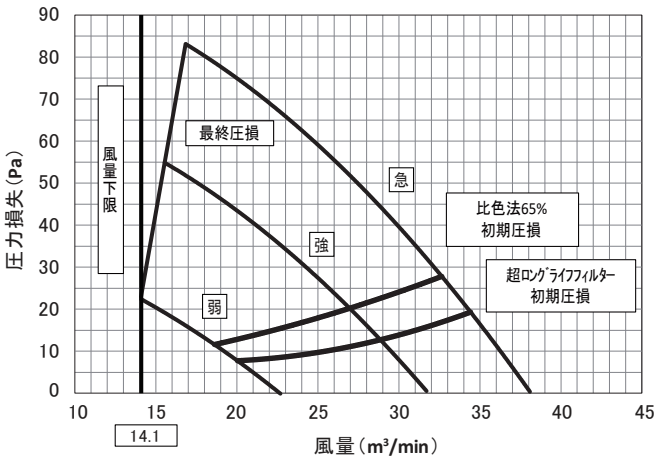


71・80H形

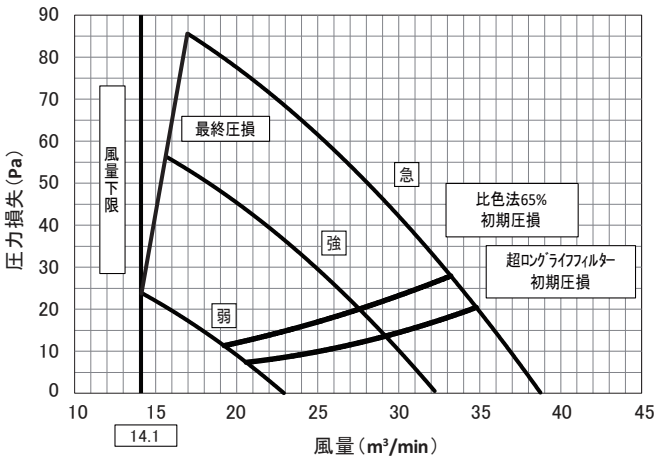


● 風量ー圧力損失特性（CZ-160MFU5, 160LFU5）

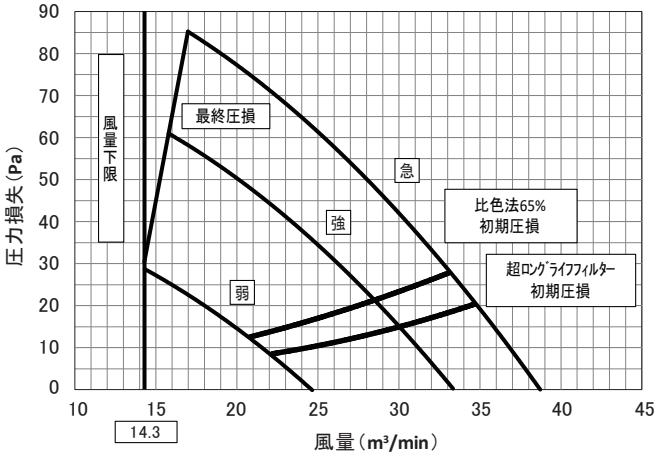
112形



140形



160形



●フィルターチャンバー

据付工事説明書

フィルターチャンバー

品番　CZ-160FDU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットおよび天井パネルに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

⃠
- **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
  （発熱、火災の原因）
- **配線は途中接続しない**
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

❗
- **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
  （ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**
  （故障や発熱、火災の原因）
- **配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける**
  （感電、火災の原因）
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （ユニットの落下による、ケガの原因）
- **電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する**
  （施工の不備や電気回路容量に不備があると、感電や火災等の原因）
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  （指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠ 注意

⃠
- **周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
- フィルターチャンバーは28～160形まで共通で使用できます。
- フィルターチャンバーは、室内ユニットを据え付ける前に室内ユニットに取り付けてください。
- 据え付け時、フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取扱いには十分注意してください。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-49562
BE1122-20823

●フィルターチャンバー

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

●下記部品が梱包内部に付属されていますので、確認してください。

名　　称	個数	名　　称	個数	名　　称	個数
取付ネジ（5×40）  （フィルターチャンバー固定用）	4	ワッシャー  （フィルターチャンバー固定用）	4	据付工事説明書 	1

2. 取り付けかた

取り付け前に吹出口（４か所）に挿入してある緩衝材（ダンボール）を取り出してください。

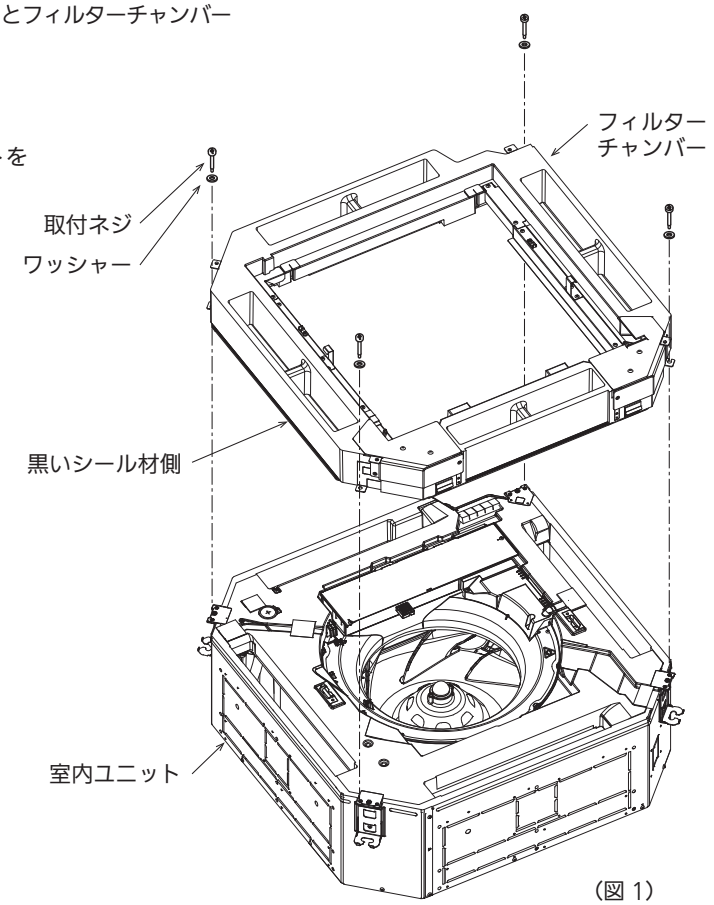
①フィルターチャンバーの取り付け　（図1）

・フィルターチャンバーの黒いシール材側と室内ユニットを合わせてください。
（取り付けの方向性がありますので、室内ユニットとフィルターチャンバーの形状を合わせてください。）

・付属の取付ネジ（４本）で固定します。

②室内ユニットの据え付け

・フィルターチャンバーを取り付けた室内ユニットを天井に据え付けます。
（据え付けは、室内ユニットに同梱されている据付工事説明書に従って行ってください。）



（図 1）

③天井パネルの取り付け（P3.図2）

・室内ユニット（フィルターチャンバー付き）に天井パネルを取り付けます。
（取り付けかたは、天井パネルまたは、昇降グリル付天井パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。）

④天井パネル配線の接続（P3.図2）

・フィルターチャンバーの板金カバーをはずし、電装ボックスのふたを取りはずします。

・天井パネルの配線コネクタ 24P（黒）および、エコナビパネルの配線コネクタ 6P（白）は、束ねてある結束バンドをカットしてからフィルターチャンバーの配線通し穴に差し込んで、電装ボックス内のコネクタと接続してください。

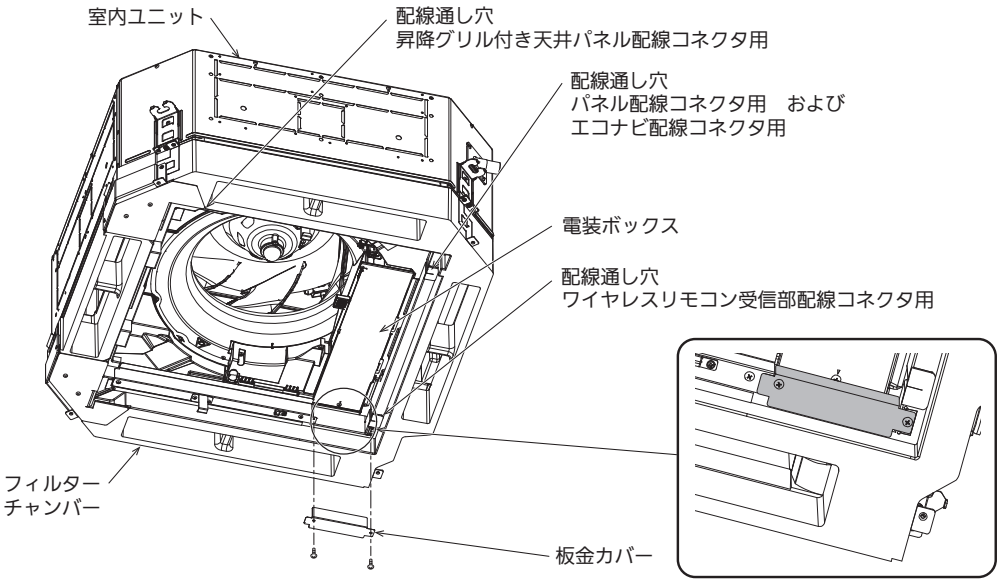
・昇降グリル付天井パネルの場合は、配線コネクタ 24P（黒）の他に昇降グリル付き天井パネル配線コネクタ 7P（白）がありますので、束ねてある結束バンドをカットしてからフィルターチャンバーの配線通し穴に差し込んで、電装ボックス内の基板に接続してください。

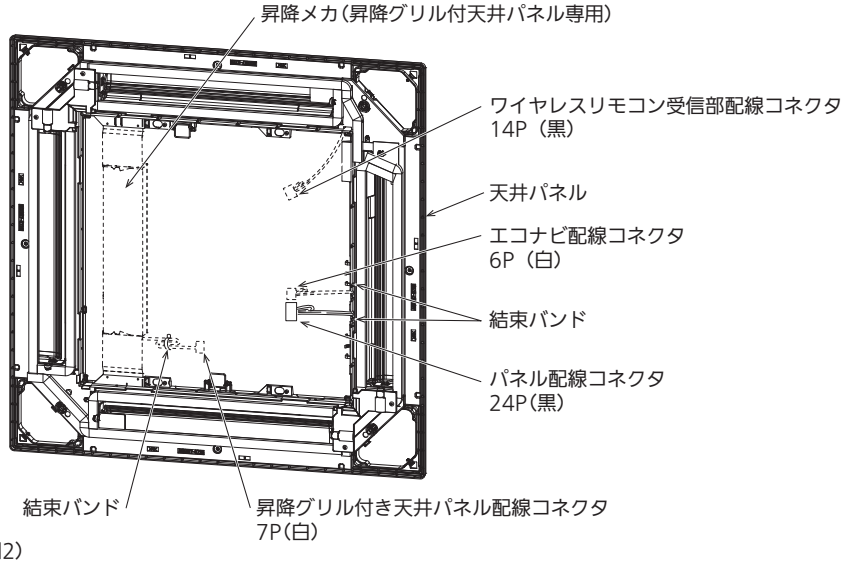
・ワイヤレスリモコン受信部をご使用の場合は、ワイヤレスリモコン受信部の説明書を参照のうえ、受信部をパネルに取り付けてから、受信部の配線をフィルターチャンバーの配線通し穴に差し込み、電装ボックス内のコネクタと接続してください。

・電装ボックスのふたとフィルターチャンバーの板金カバーを元に戻してください。

●フィルターチャンバー

2. 取り付けかた（つづき）

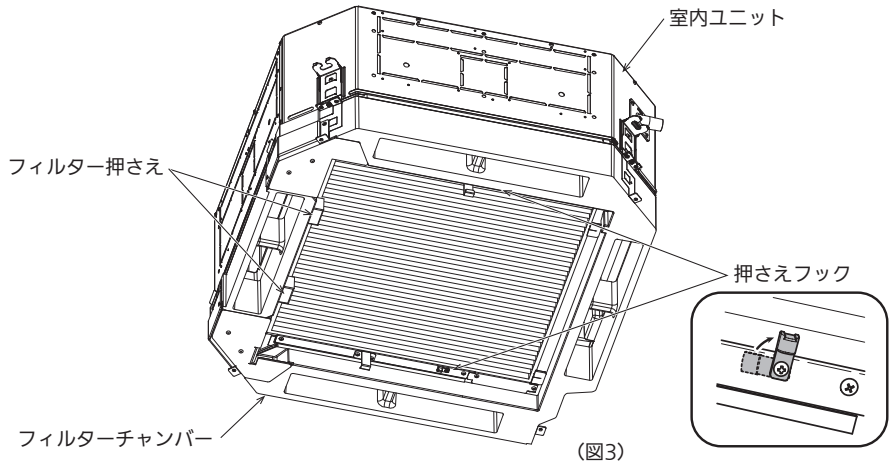




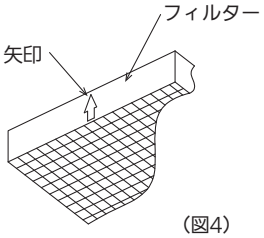
（図2）

⑤高性能フィルター・超ロングライフフィルターの取り付け（図3）

- フィルターをフィルター押さえ（フィルターチャンバー）に差し込みます。
  （取り付けの方向性があります。フィルター側面の矢印を下図（図4）の方向にして差し込んでください。）
- フィルターチャンバーの押さえフック（2か所）を回転させて固定します。
  （取り付けかたは、高性能フィルターまたは、超ロングライフフィルターに同梱されている据付工事説明書を参照してください。）



（図3）



（図4）

●フィルターチャンバー

3. DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法【2】ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード 5D/5dの設定データ	使用用途／別売品名称　※1
(出荷設定)	0000	標準
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定１（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法 65%）
		重量法 60% フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3 方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定２（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 90%）
(6)	0006	しゃ風材（2 方向吹出時）　※3

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の左表内の設定変更が必要な別売品を併用する場合、
3方向吹出時　　設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　　設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

高性能フィルター（比色法 90%）の場合は、高天井対応はできません。
その他の別売品取り付け時の高天井対応については設備設計資料等をご確認ください。

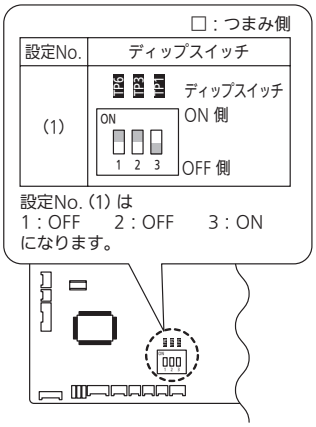
【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず（電源配線用しゃ断器（ブレーカー））を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図５)
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

□つまみ側

設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ
(1)	SW5 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(3)	SW5 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(6)	SW5 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側



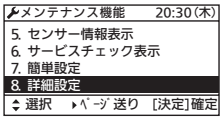
（図５）室内コントロール基板

【2】-1 ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4C）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉**ユニットが運転を停止した状態で行ってください。**

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

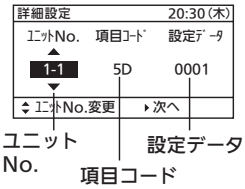


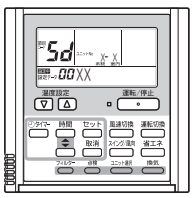


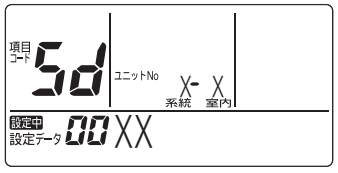
【2】-2 ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5ｄの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉**ユニットが運転を停止した状態で行ってください。**

①点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。







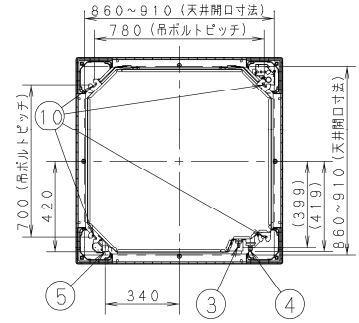
● フィルターチャンバー, 高性能フィルター取付図（エコナビパネル使用）

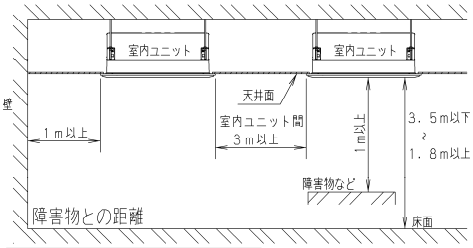
・ CZ-160FDU7, CZ-160HFU5, CZ-160MFU5〔適用機種：40 ～ 56 形〕

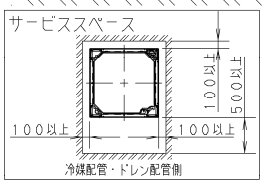
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（比色法65%） CZ-160HFU5（比色法90%）
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイーX LED　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
17	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

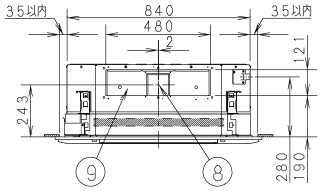
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

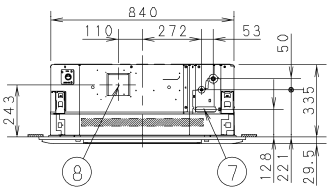


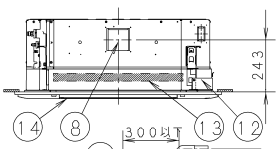


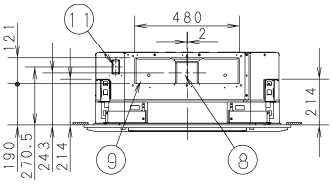


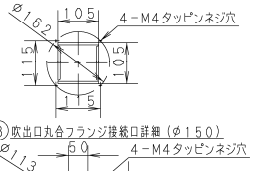
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

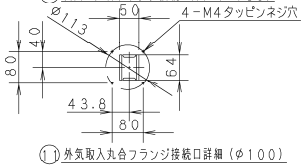


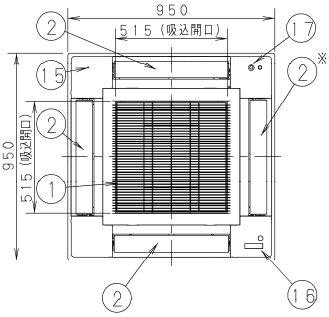






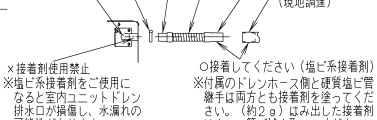








※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から１２６mm以上（本体下面から
　は１８mm以上）隙間があくようにして
　ください。吊ボルトの長さが長いと、
　天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

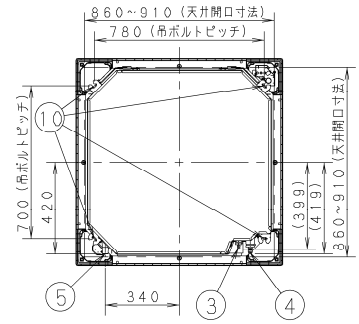
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約2ｇ）はみ出した接着剤
　はウエス等で拭き取ってください。

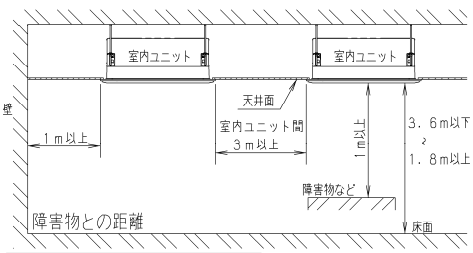
・ CZ-160FDU7, CZ-160HFU5, CZ-160MFU5〔適用機種：63,71,80H 形〕

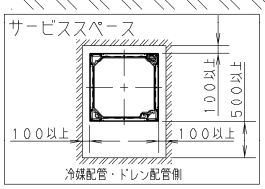
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（比色法65%） CZ-160HFU5（比色法90%）
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイーX LED　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
17	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

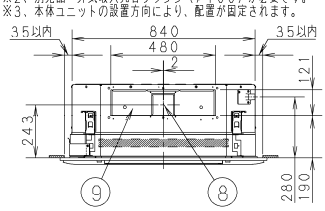
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

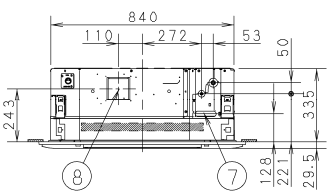


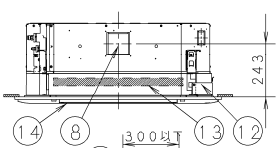


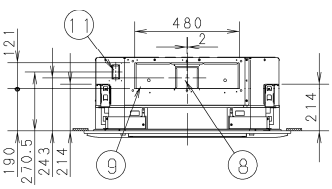


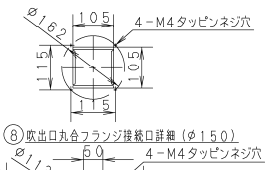
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

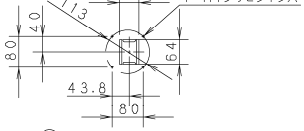


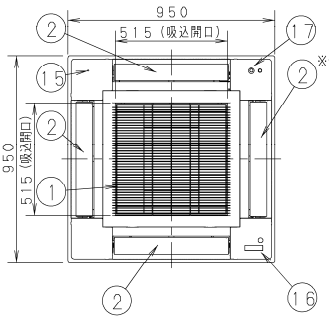






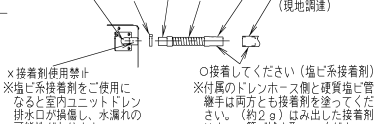








※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から１２６mm以上（本体下面から
　は１８mm以上）隙間があくようにして
　ください。吊ボルトの長さが長いと、
　天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

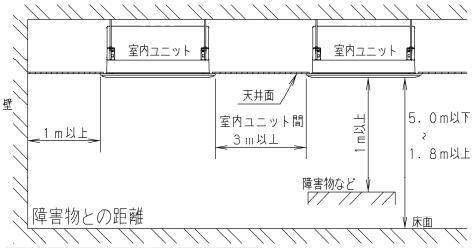
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約2ｇ）はみ出した接着剤
　はウエス等で拭き取ってください。

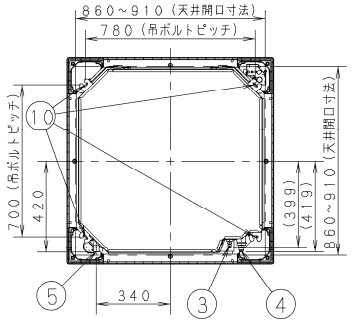
● フィルターチャンバー , 高性能フィルター取付図（エコナビパネル使用）

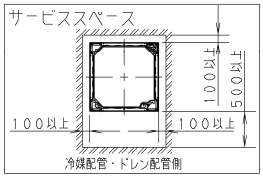
・ CZ-160FDU7, CZ-160HFU5, CZ-160MFU5〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（比色法65%） CZ-160HFU5（比色法90%）
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
17	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

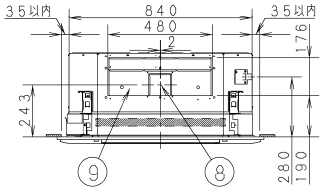


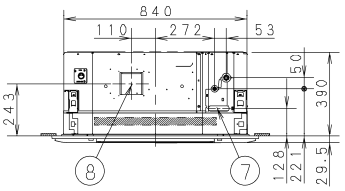


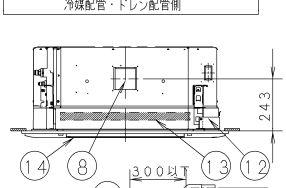


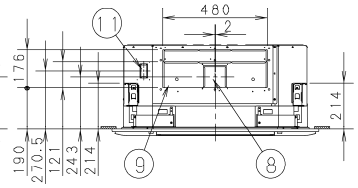
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

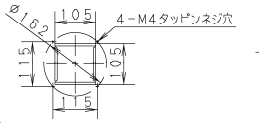
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



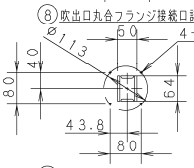




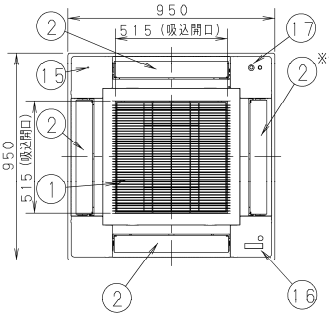


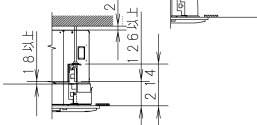


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）

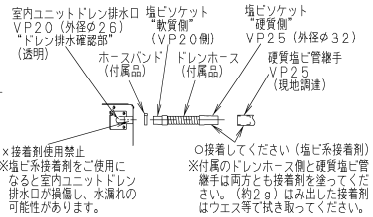


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から１２６mm以上（本体下面から
は１８mm以上）隙間があくようにして
ください。吊ボルトの長さが長いと、
天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
なると室内ユニットドレン
排水口が損傷し、水漏れの
可能性があります。

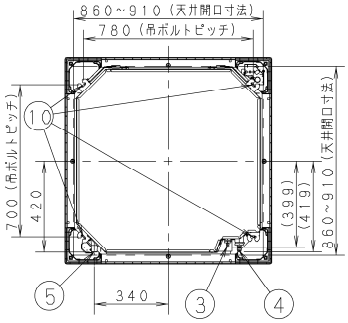
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
はウエス等で拭き取ってください。

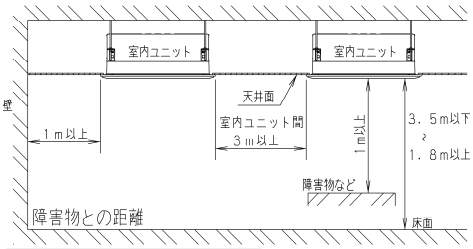
● フィルターチャンバー, 高性能フィルター取付図（標準パネル使用）

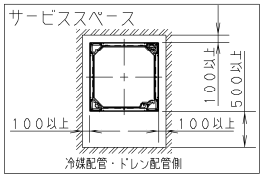
・ CZ-160FDU7, CZ-160HFU5, CZ-160MFU5 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（比色法65%） CZ-160HFU5（比色法90%）
14	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
15	ナノイーX IED　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

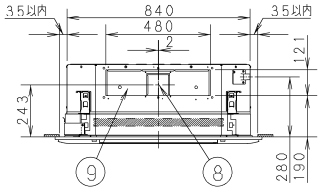


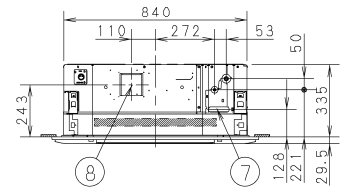


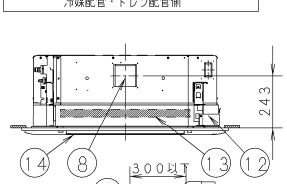


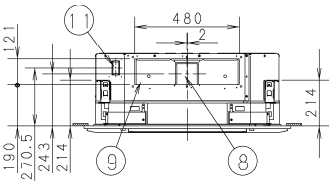
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

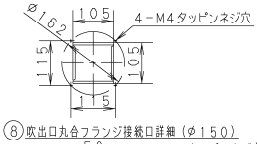
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



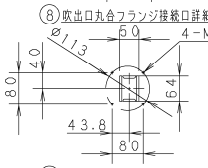




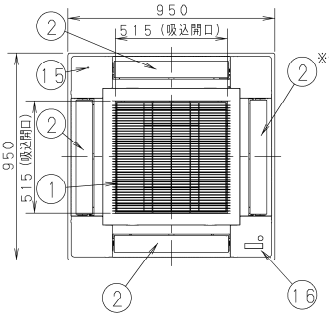


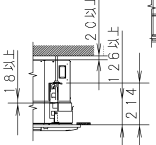


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）

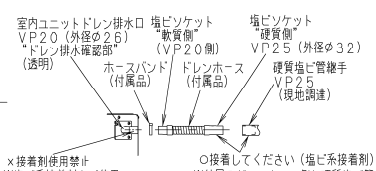


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から126mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



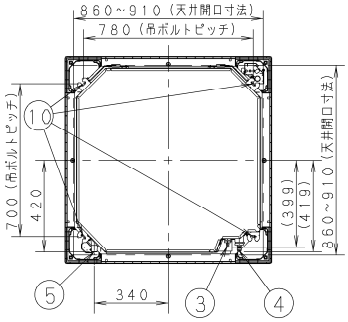
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

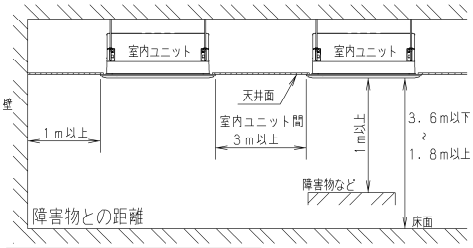
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

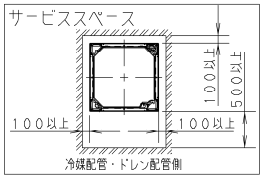
・ CZ-160FDU7, CZ-160HFU5, CZ-160MFU5 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（比色法65%） CZ-160HFU5（比色法90%）
14	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
15	ナノイーX IED　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

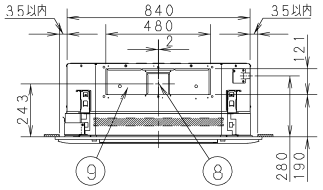


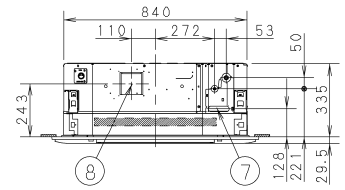


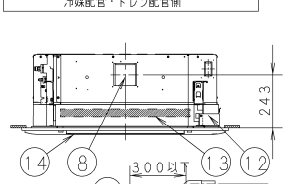


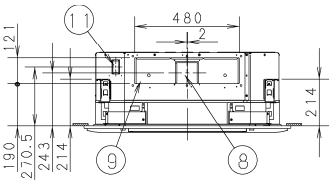
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

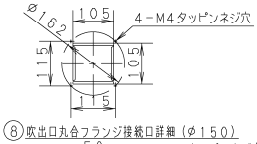
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



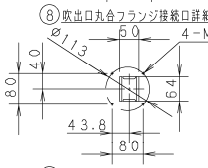




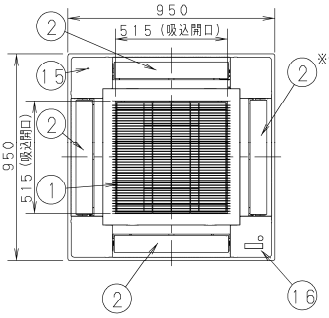


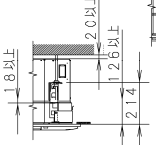


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）

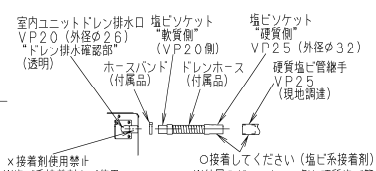


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から126mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

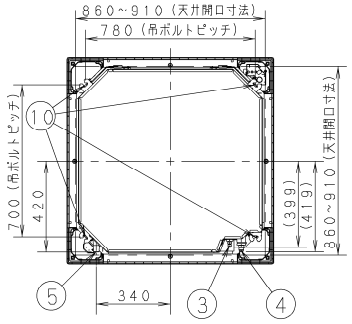
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

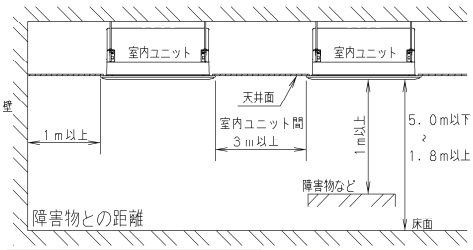
● フィルターチャンバー , 高性能フィルター取付図（標準パネル使用）

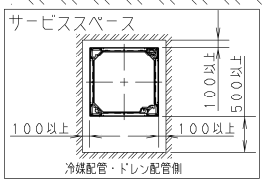
・ CZ-160FDU7, CZ-160HFU5, CZ-160MFU5〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（比色法65%） CZ-160HFU5（比色法90%）
14	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
15	ナノイーＸ（ＩＥＤ）　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

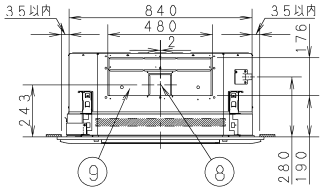


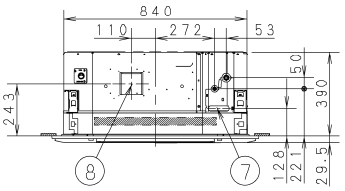


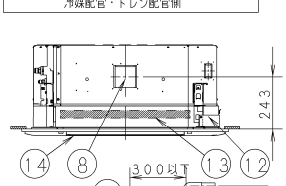


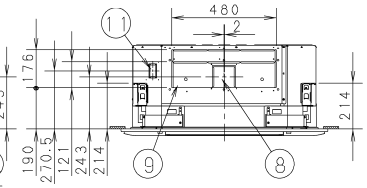
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

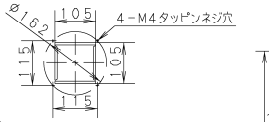
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



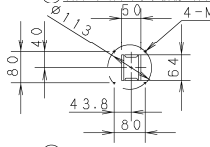




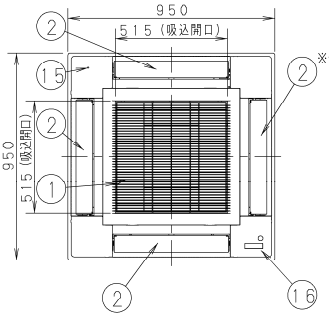


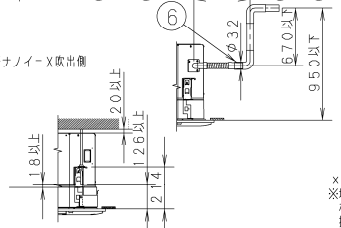


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）

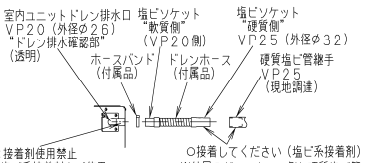


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から１２６ｍｍ以上（本体下面から
は１８ｍｍ以上）隙間があくようにして
ください。吊ボルトの長さが長いと、
天井パネルに当たり取り付けできません。



x接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
なると室内ユニットドレン
排水口が損傷し、水漏れの
可能性があります。

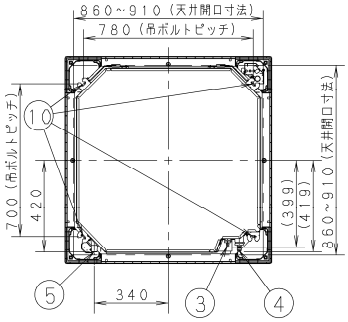
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
はウエス等で拭き取ってください。

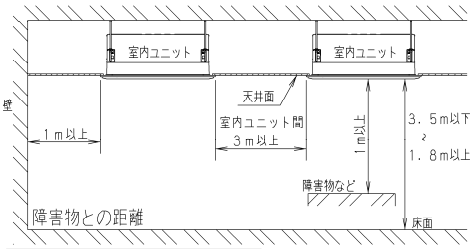
● フィルターチャンバー, 超ロングライフフィルター取付図（エコナビパネル使用）

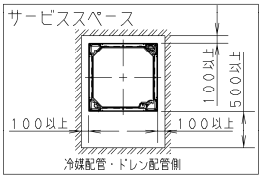
・ CZ-160FDU7, CZ-160LFU5 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	超ロングライフフィルター（別売品） CZ-160LFU5
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイー X LED　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
17	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

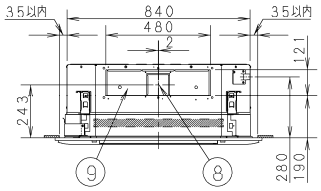


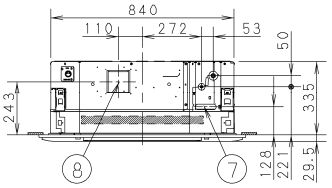


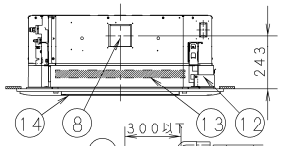


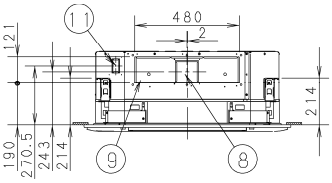
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

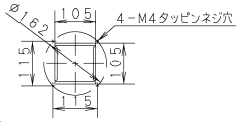
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



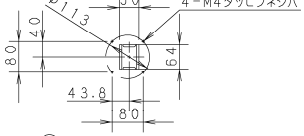




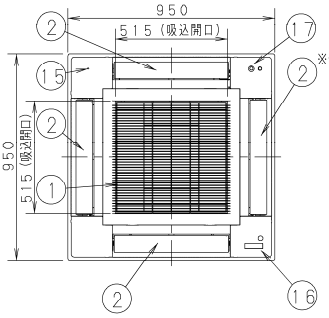




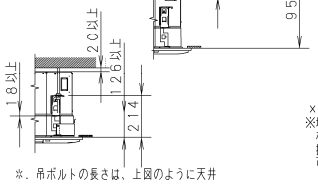
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）



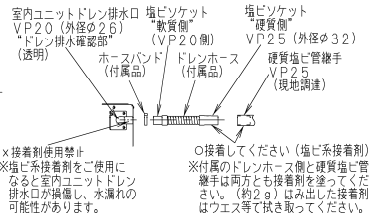
⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）



※ナノイー X吹出側



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から126mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



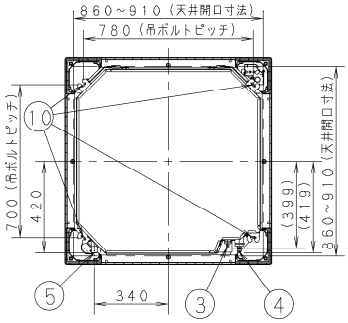
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

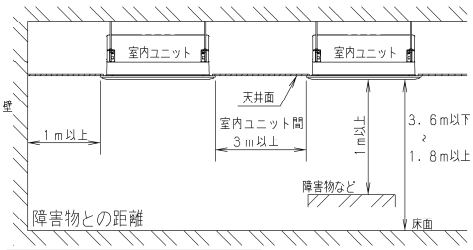
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

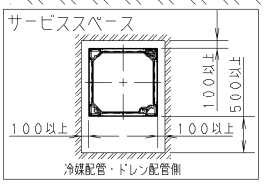
・ CZ-160FDU7, CZ-160LFU5 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	超ロングライフフィルター（別売品） CZ-160LFU5
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイー X LED　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
17	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

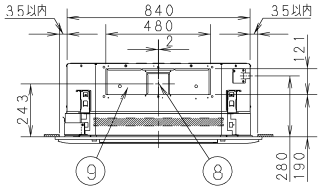


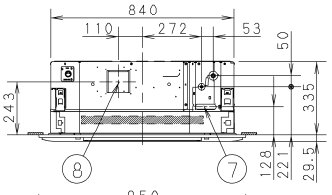


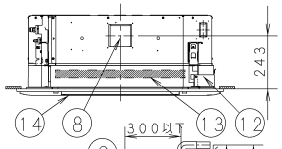


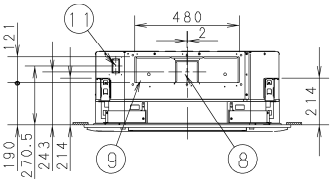
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

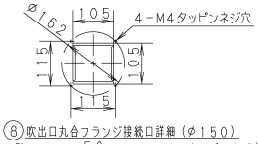
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



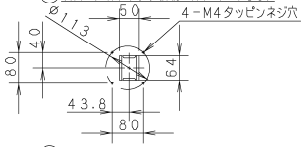




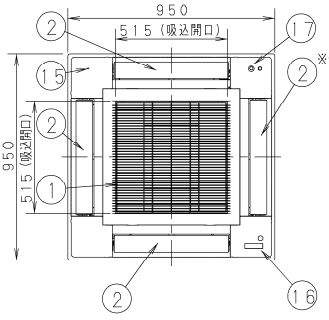




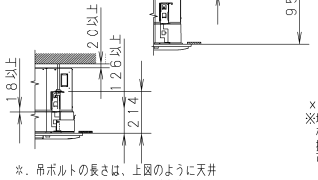
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）



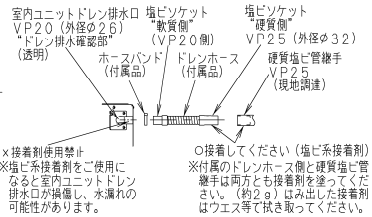
⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）



※ナノイー X吹出側



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から126mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



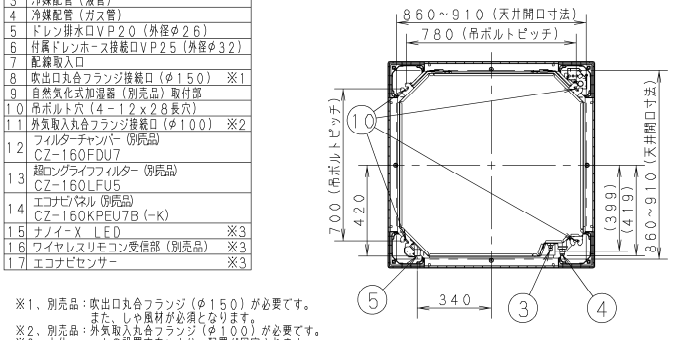
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

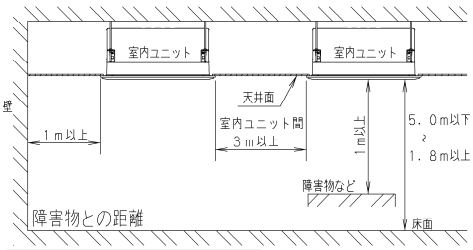
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

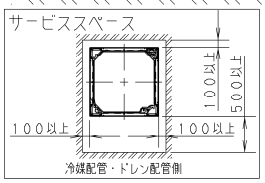
● フィルターチャンバー , 超ロングライフフィルター取付図（エコナビパネル使用）
・ CZ-160FDU7, CZ-160LFU5〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	超ロングライフフィルター（別売品） CZ-160LFU5
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
17	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

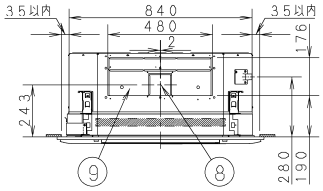


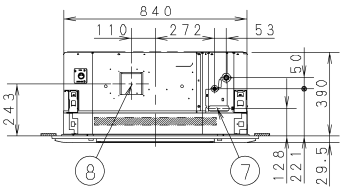


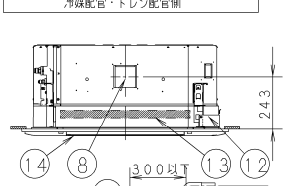


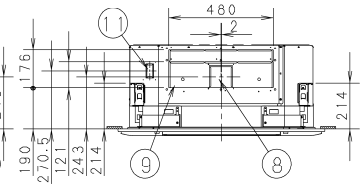
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

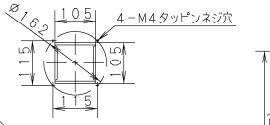
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



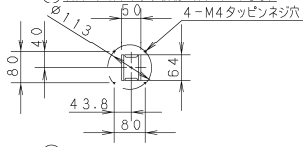




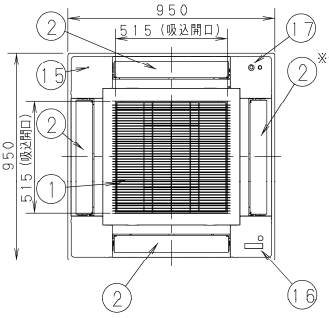




⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）

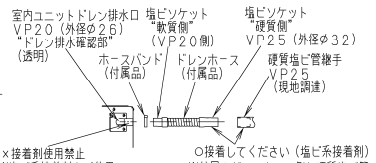


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から１２６ｍｍ以上（本体下面から
は１８ｍｍ以上）隙間があくようにして
ください。吊ボルトの長さが長いと、
天井パネルに当たり取り付けできません。



x接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
なると室内ユニットドレン
排水口が損傷し、水漏れの
可能性があります。

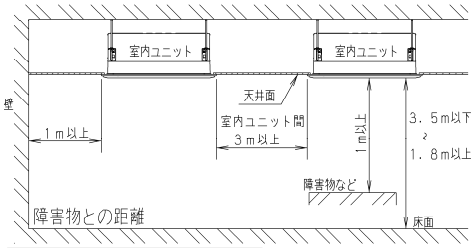
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
はウエス等で拭き取ってください。

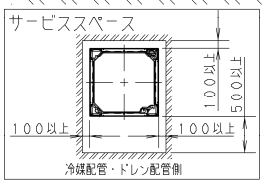
● フィルターチャンバー, 超ロングライフフィルター取付図（標準パネル使用）

・ CZ-160FDU7, CZ-160LFU5 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	超ロングライフフィルター（別売品） CZ-160LFU5
14	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
15	ナノイー X LED　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

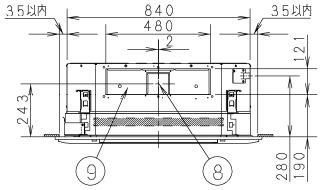
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

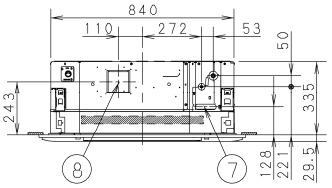


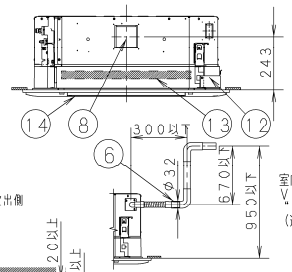


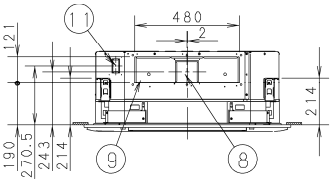
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

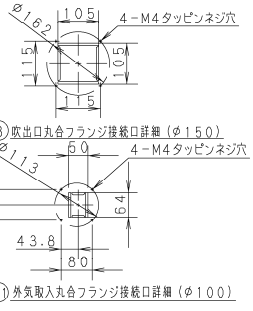
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

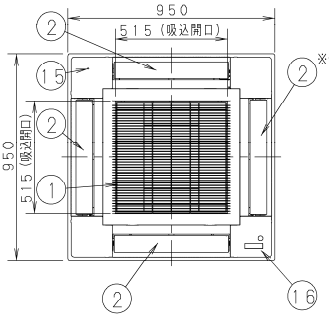


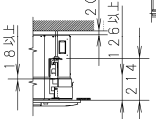




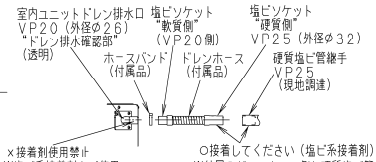








※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から126mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



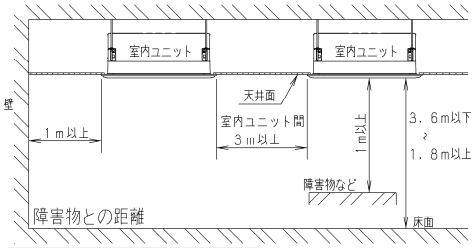
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

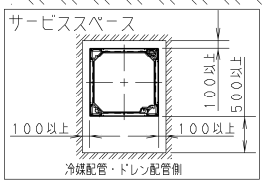
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

・ CZ-160FDU7, CZ-160LFU5 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	超ロングライフフィルター（別売品） CZ-160LFU5
14	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
15	ナノイー X LED　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

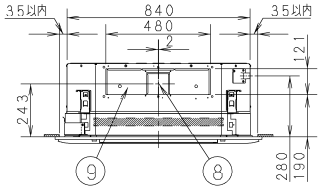
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

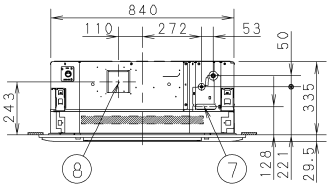


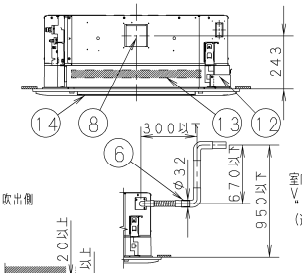


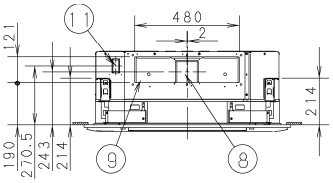
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

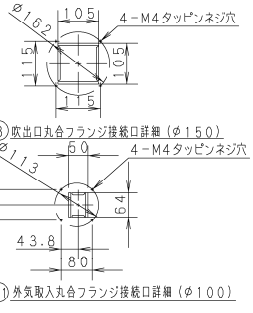
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

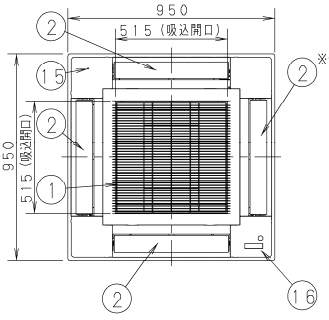


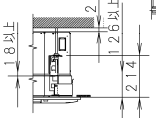




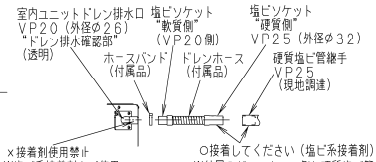








※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から126mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

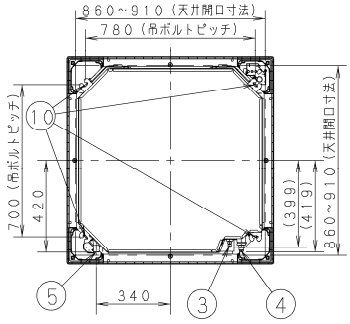
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

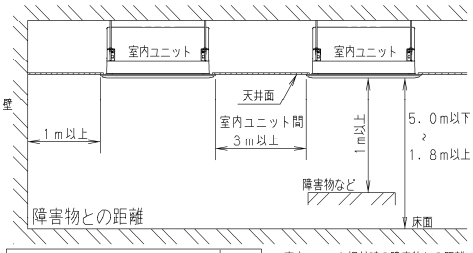
● フィルターチャンバー , 超ロングライフフィルター取付図（標準パネル使用）

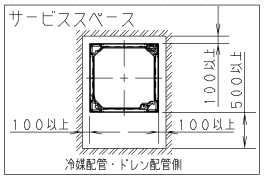
・ CZ-160FDU7, CZ-160LFU5〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
13	超ロングライフフィルター（別売品）CZ-160LFU5
14	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
15	ナノイーＸ　LED　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

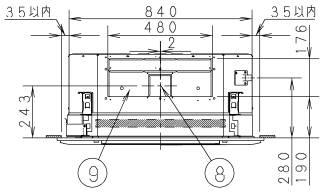


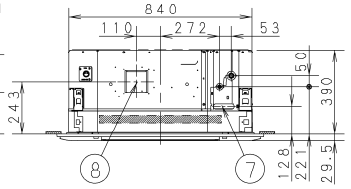


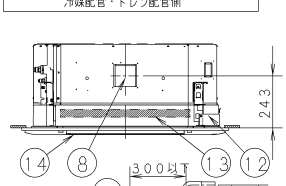


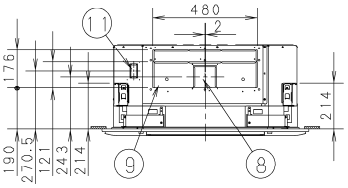
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

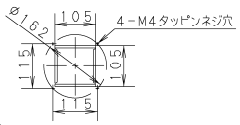
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



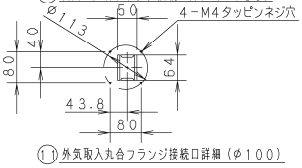




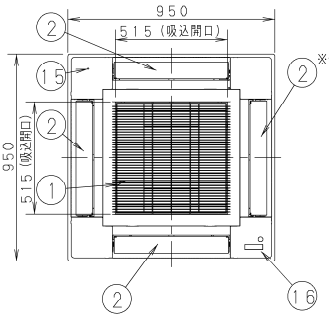


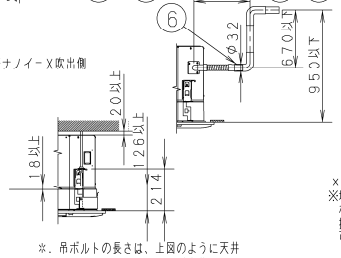


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）

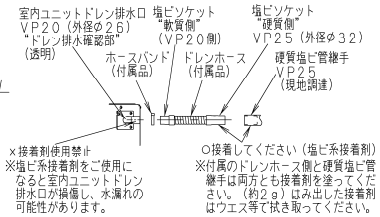


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）





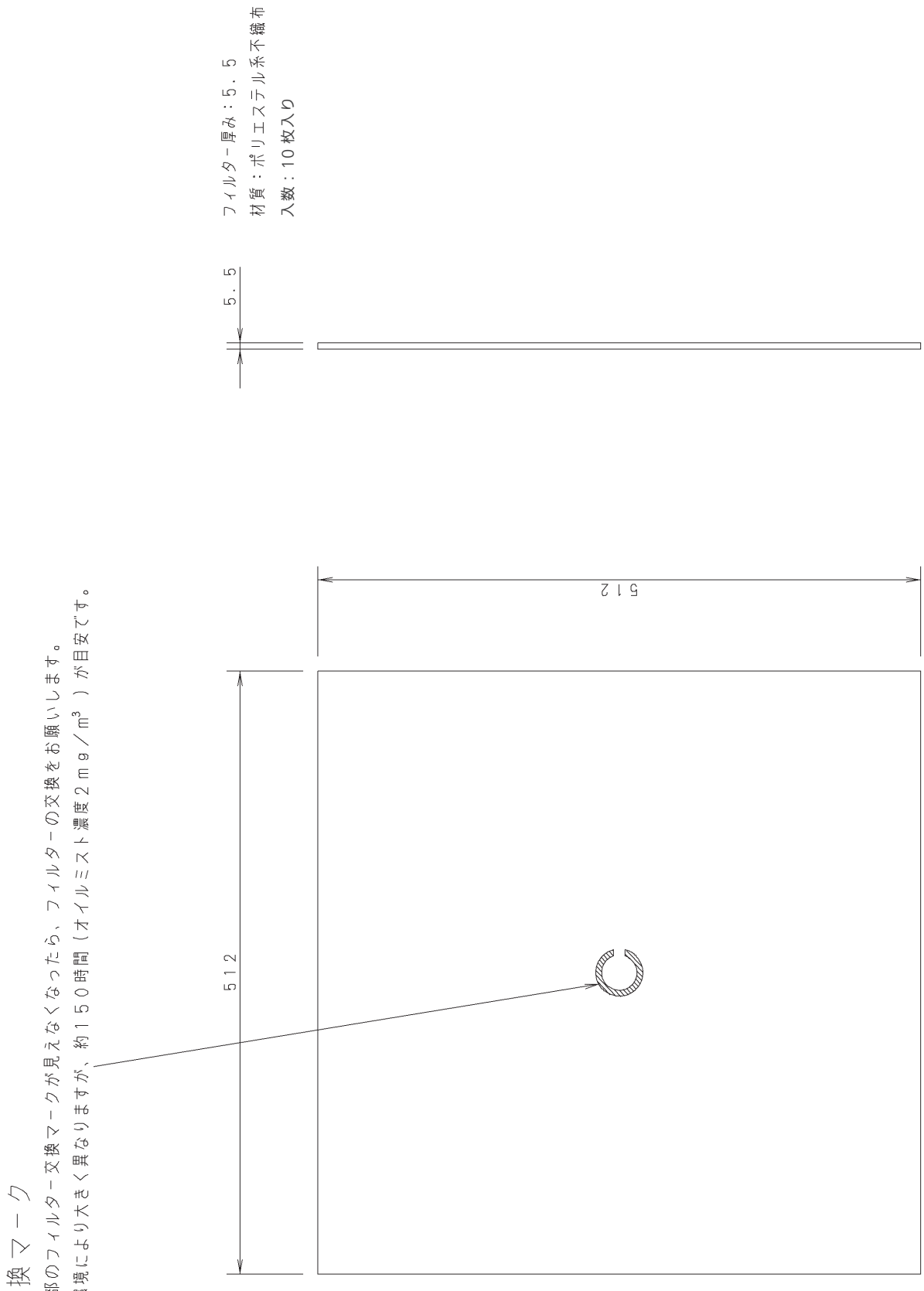
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤併用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

■ オイルミストフィルター（CZ-160FBU5）
● 外形寸法図



据付工事説明書

オイルミストフィルター

品番　CZ-160FBU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ フィルターが入っているポリ袋を幼児の手が届くところに置かない
（頭からかぶるなどしたとき口や鼻をふさぎ、窒息の原因）

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 吸込グリルはパネル本体に確実に取り付ける
（取り付けが不完全な場合、吸込グリルの落下によるケガの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- ご使用になるまで開封しないでください。
  開封後は、袋の口を閉じて、ほこりが入らないように保管してください。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-21823
85464369944000
PA0716 - 30823

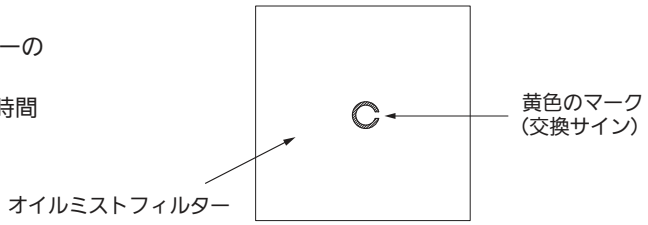
1. 仕様

入　　数	10枚入り
フィルター交換の目安	150時間（オイルミスト濃度：2.0mg／m³）

※ オイルミストフィルターは室内ユニットの保護を目的とするもので、店内に発生する油煙を捕集するものではありません。

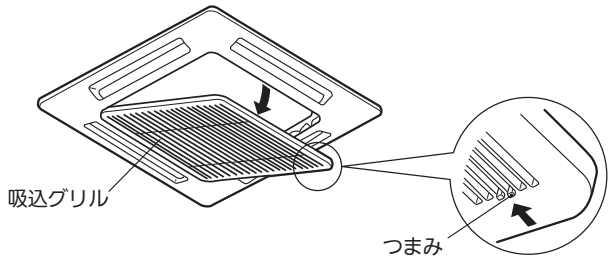
2. 交換サインについて

オイルミストフィルターの中央部に黄色のマークがあります。
（汚れではありません）
このマークが目立たなくなりましたら、オイルミストフィルターの交換をお願いします。
交換時期は使用環境により大きく異なりますが、およそ150時間（オイルミスト濃度：2.0mg／m³）が目安です。

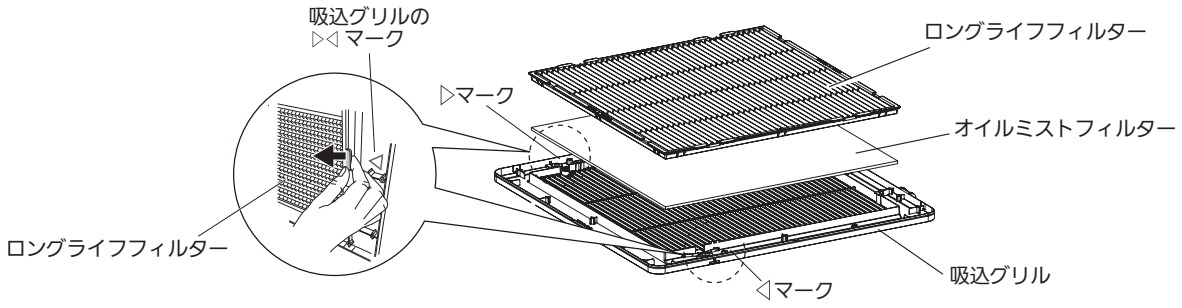


3. 交換のしかた

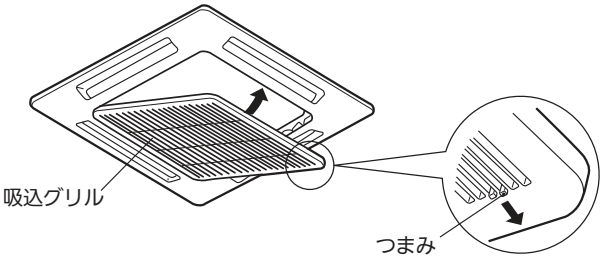
① 吸込グリルのつまみを内側にスライドさせ、吸込グリルを持って静かに開きます。



② 吸込グリルに印字されている◁ マーク部のロングライフフィルター側面を押して手前に引くと、フィルターがはずれます。吸込グリルの上にオイルミストフィルターを置き、ロングライフフィルターを取り付けます。



③ 吸込グリルを閉じ、つまみを外側にスライドさせて、確実に固定してください。



別売の昇降グリル付天井パネルが取り付けてある場合の吸込グリルの昇降操作（下降・停止・上昇）については、昇降グリル付天井パネルに同梱されている取扱説明書を参照してください。

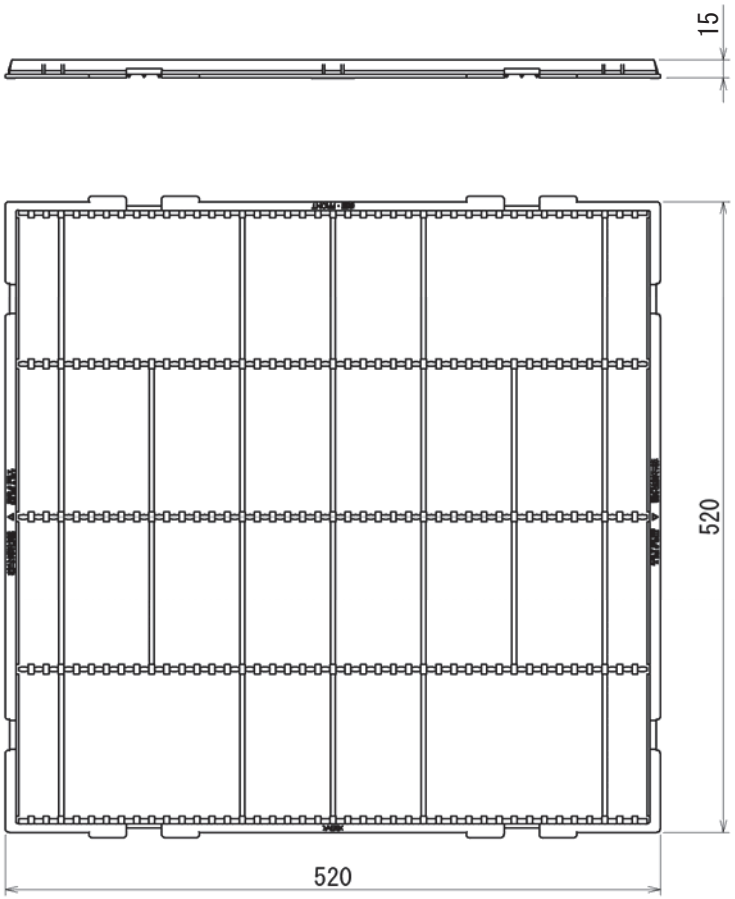
■ ロングライフフィルター（CZ-160SLFU7B）

● 仕様

名称		ロングライフフィルター						
適用パネル※1		CZ-160KP(E)U7B						
適用室内ユニット		CS-P**U7B、CS-P80U7HB						
		40,45形	50,56形	63形	71,80H形	112形	140形	160形
初期風量※2	m^3/min	16	18	19.5	23	36	37	38
フィルター寿命※3	時間	2,500						
平均効率		重量法　20%（JIS 15種）						
使用濾材		PPハニカム（防カビ仕様）						

注記
※1　ロングライフフィルターは天井パネルに標準装備されています。
※2　初期風量は急風時の数値となります。
※3　フィルター寿命はフィルター清掃が必要なめやすの時間となります。
　　フィルター清掃のめやすはリモコンへのフィルターサインでお知らせします。

● 外形寸法図



フィルター外形寸法			
	幅	mm	520
	奥行	mm	520
	厚み	mm	15

据付工事説明書

ロングライフフィルター

品番　CZ-160SLFU7B

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている据付工事説明書と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電や火災の原因）

⚠注意

■ **漏れた冷媒が滞留するおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、酸欠事故や火災などの原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

Printed in Japan
ACXF60-54990
BE1223-0

1. 仕様

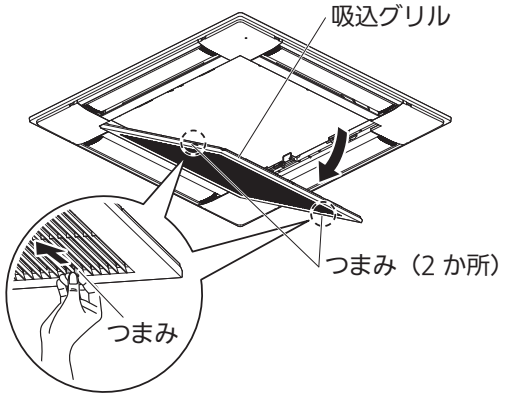
品　名（型　番）	ろ　　材	平均捕集効率 重量法（JIS 15種）
ロングライフフィルター （　CZ-160SLFU7B　）	PP ハニカム（抗ウイルス仕様）	２０%

2. 交換のしかた

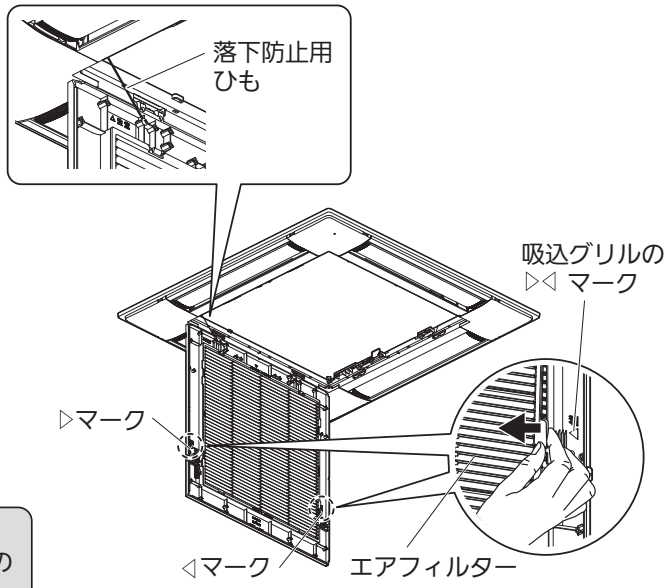
標準パネル／エコナビパネル

●取りはずしかた

① 吸込グリルのつまみを内側にスライドさせ、開く。



② 吸込グリルの▷、◁マークが示しているエアフィルターの側面を押しながら手前に引いてはずす。



●取りつけかた

取りはずしと逆の手順で取りつけてください。

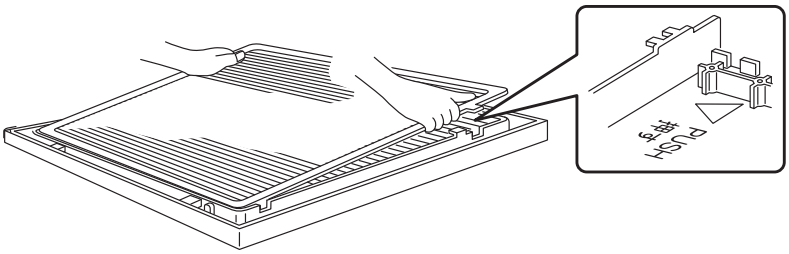
お願い
●お手入れ時には、吸込グリル（吸込パネル）の落下防止用ひもを取りはずさないでください。

昇降グリル付き標準パネル／昇降グリル付きエコナビパネル

●取りはずしかた

昇降グリルを下ろしエアフィルターを下図のように、取りはずします。

昇降グリルの▷、◁マークが示しているエアフィルターの側面を押しながら手前に引いてはずす。



●取りつけかた

取りはずしと逆の手順で取りつけてから、昇降グリルを上げます。

3. お手入れのしかた

・室内ユニットの取扱説明書をご覧いただき、リモコンにフィルターサインが表示されたときを目安にお手入れをしてください。
（ほこりや油汚れの多い環境では、表示に関係なく、こまめにお手入れをしてください。）
・お手入れは、ほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いしてください。
水洗い後は、直射日光を避けて、よく乾燥させてください。
・破損や破れが生じたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 重量法60%フィルター（CZ-160FGU7）

● 仕様

名称		重量法60%フィルター(別売部品)						
品番		CZ-160FGU7						
適用パネル		CZ-160KP(E)U7B						
適用室内ユニット		CS-P**U7B、CS-P80U7HB						
		40,45形	50,56形	63形	71,80H形	112形	140形	160形
初期風量 ※1	m^3/min	16.9	17.8	18.3	21.0	33.9	34.4	34.4
フィルター寿命※2	時間	1,600						
平均効率		重量法　60%（JIS 15種）						
使用濾材		PPハニカム（防カビ仕様）						

注記

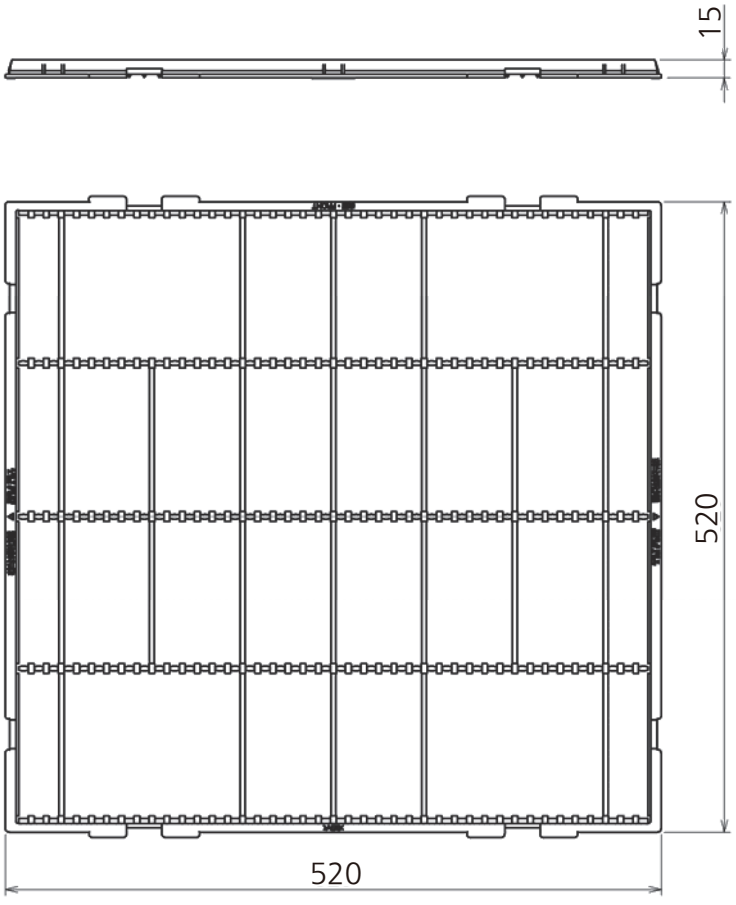
重量法60%フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。これを防止するため、重量法60%フィルター付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。（据付工事説明書参照）

※1 初期風量は急風時（ファンタップ変更後）の数値となります。

※2 フィルター寿命はフィルター清掃が必要なめやすの時間となります。
フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

※3 重量法60%フィルター組み込みの場合は、ダクト接続や２方向・３方向吹き出しはできません。
天井高さは高天井設定１までの対応が可能です。
※フィルターが目詰まりすると到達距離が短くなる傾向になります。

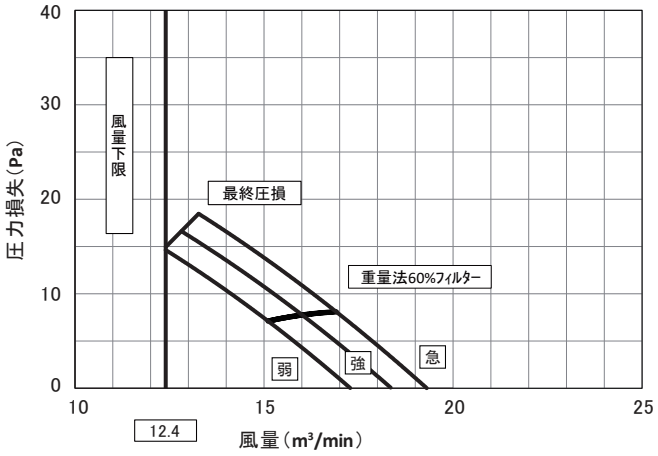
● 外形寸法図



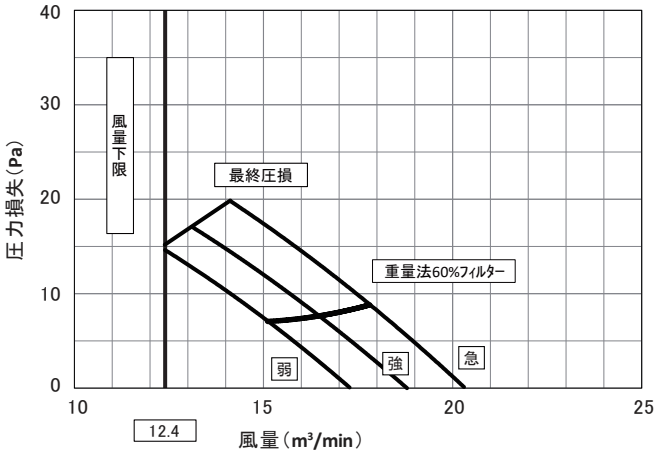
フィルター外形寸法	幅	mm	520
	奥行	mm	520
	厚み	mm	15

● 風量－圧力損失特性（CZ-160FGU7）

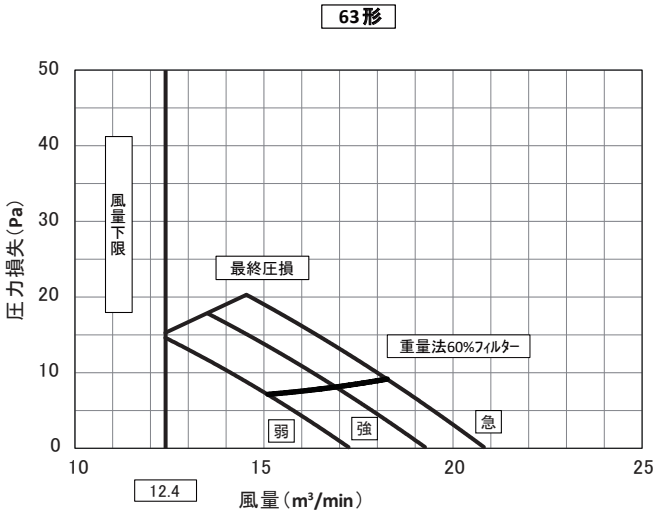
40・45形



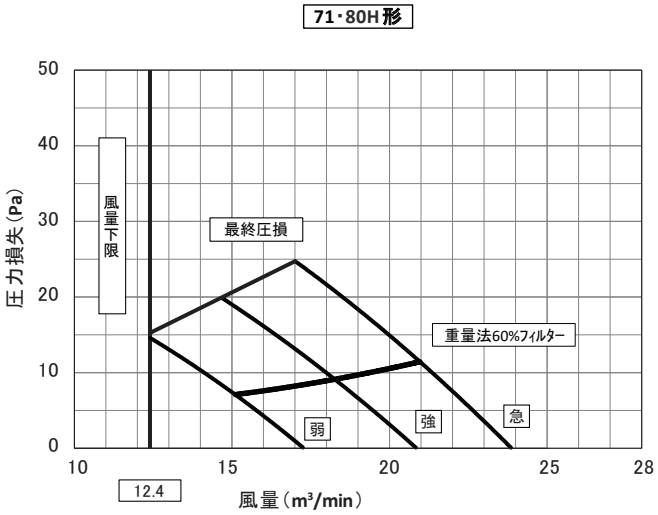
50・56形



63形

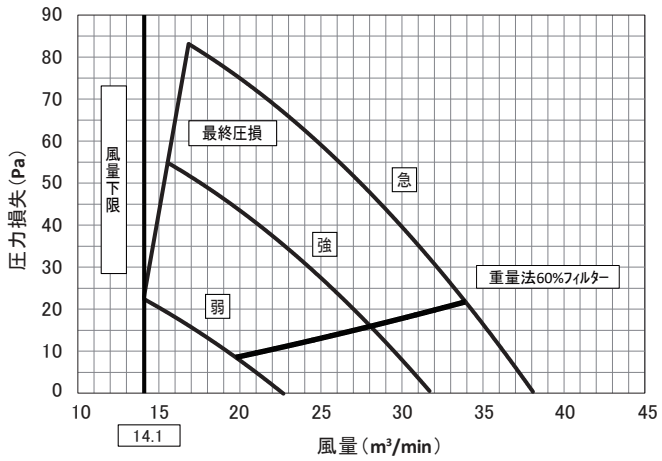


71・80H形

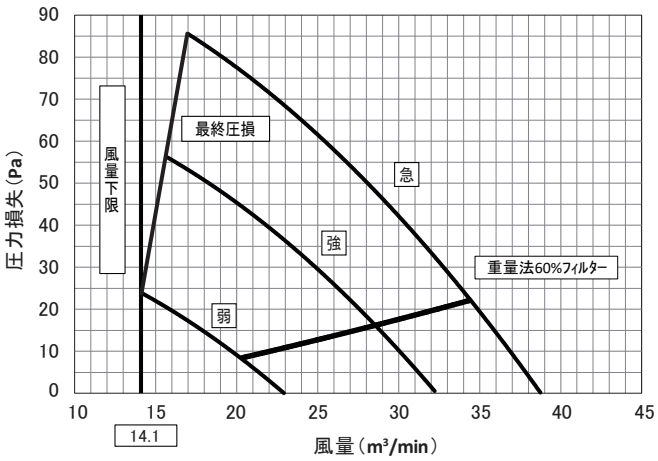


● 風量－圧力損失特性（CZ-160FGU7）

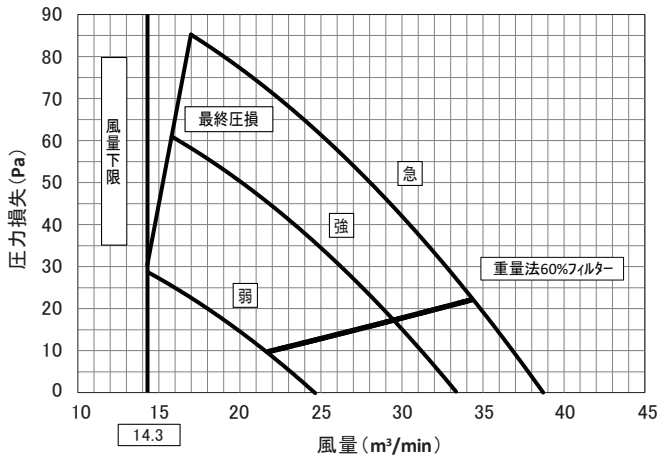
112形



140形



160形



据付工事説明書

重量法60%フィルター

品番　CZ-160FGU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗ ■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

⃠ ■ **周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-51360
BE1122-0

1. 仕様

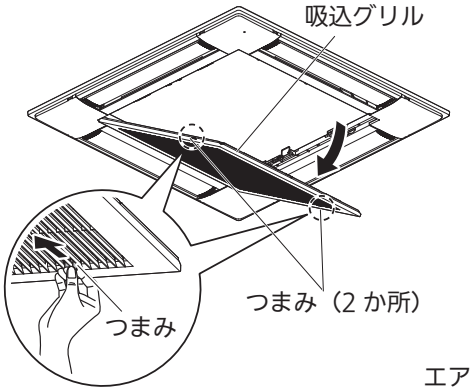
品　名（品　番）	ろ　　材	平均捕集効率 重量法（JIS 15種）
重量法 60% フィルター （　CZ-160FGU7　）	PP ハニカム（防カビ仕様）	６０%

2. 交換のしかた

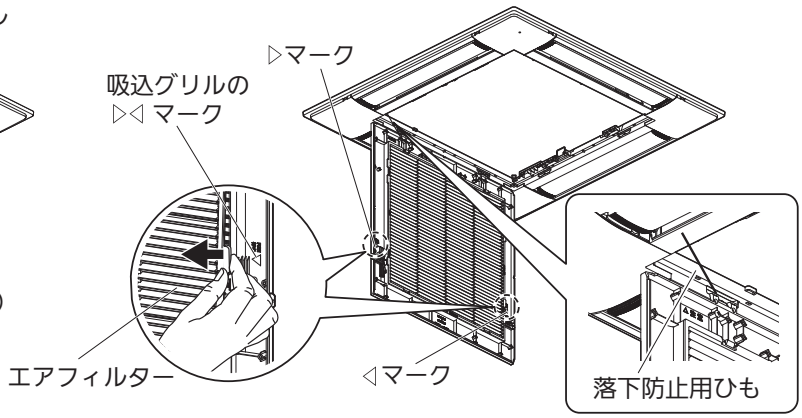
標準パネル／エコナビパネル

●取りはずしかた

① 吸込グリルのつまみを内側にスライドさせ、開く。



② 吸込グリルの▷、◁マークが示しているエアフィルターの側面を押しながら手前に引いてはずす。



●取りつけかた

取りはずしと逆の手順で取りつけてください。

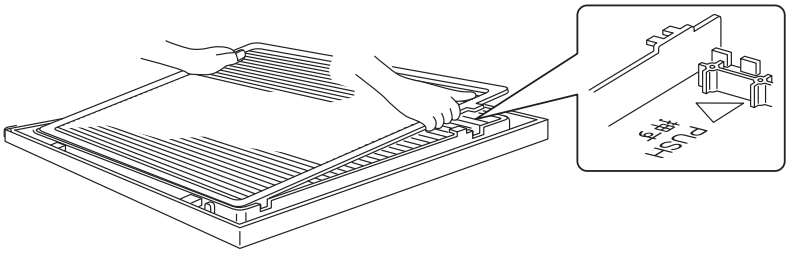
お願い
●お手入れ時には、吸込グリル（吸込パネル）の落下防止用ひもを取りはずさないでください。

昇降グリル付き標準パネル／昇降グリル付きエコナビパネル

●取りはずしかた

昇降グリルを下ろしエアフィルターを右図のように、取りはずします。

昇降グリルの▷、◁マークが示しているエアフィルターの側面を押しながら手前に引いてはずす。



●取りつけかた

取りはずしと逆の手順で取りつけてから、昇降グリルを上げます。

3. お手入れのしかた

・室内ユニットの取扱説明書をご覧いただき、リモコンにフィルターサインが表示されたときを目安にお手入れをしてください。
（ほこりや油汚れの多い環境では、表示に関係なく、こまめにお手入れをしてください。）
・お手入れは、ほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いしてください。
水洗い後は、直射日光を避けて、よく乾燥させてください。
・破損や破れが生じたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

4. DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表 1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、
【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法
【2】ワイヤードリモコンで設定する方法
があります。どちらかの方法で設定してください。
※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表 1　DC ファンモータータップ設定表

設定 No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称　※1
	0000	標準（出荷設定）
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法 65%）
		重量法 60% フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3 方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定 2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 90%）
(6)	0006	しゃ風材（2 方向吹出時）　※3

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の左表内の設定変更が必要な別売品を併用する場合、
　3方向吹出時　　設定No.（3）または設定データ0003
　吹出ダクト接続時　設定No.（3）または設定データ0003
　2方向吹出時　　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

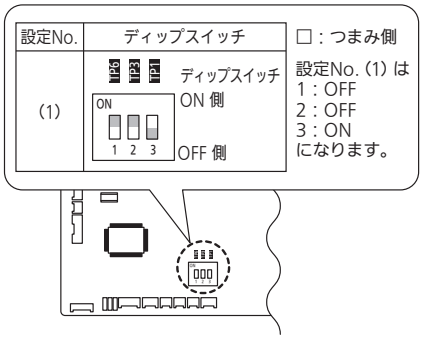
【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず（電源配線用しゃ断器（ブレーカー））を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 1 で確認してください。

②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 1）

③表 1 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。



（図 1）室内コントロール基板

□つまみ側

設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ
(1)	ディップスイッチ ON 側 OFF 側	(3)	ディップスイッチ ON 側 OFF 側	(6)	ディップスイッチ ON 側 OFF 側

4. DCファンモータータップの選択（つづき）

【2】-1　ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4C）

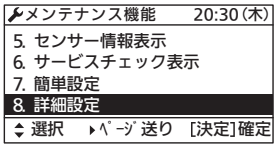
ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード 5D の設定データ」を表 1 で確認してください。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。



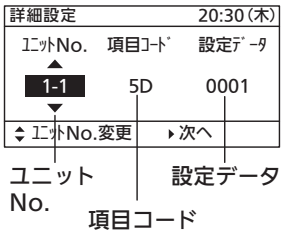
① 戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▲ / ▼ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
「8. 詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNo を選択してください。



③ ◀ / ▶ ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
◀ / ▶ ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表 1 で確認した値に変更し、
決定 ボタンを押してください。

④ ◀ / ▶ ボタンでユニットNo を選択後、戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



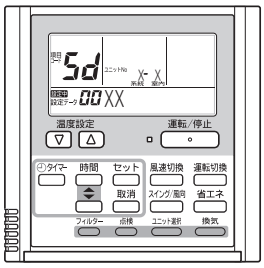
【2】-2　ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード 5ｄの設定データ」を表 1 で確認してください。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

①点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。

②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。



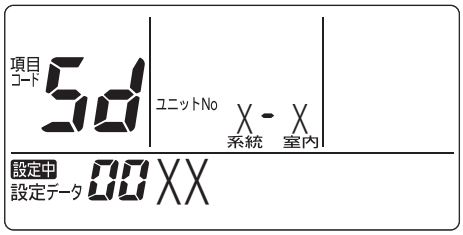
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。

④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表１のようになっています。

⑤セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）

⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

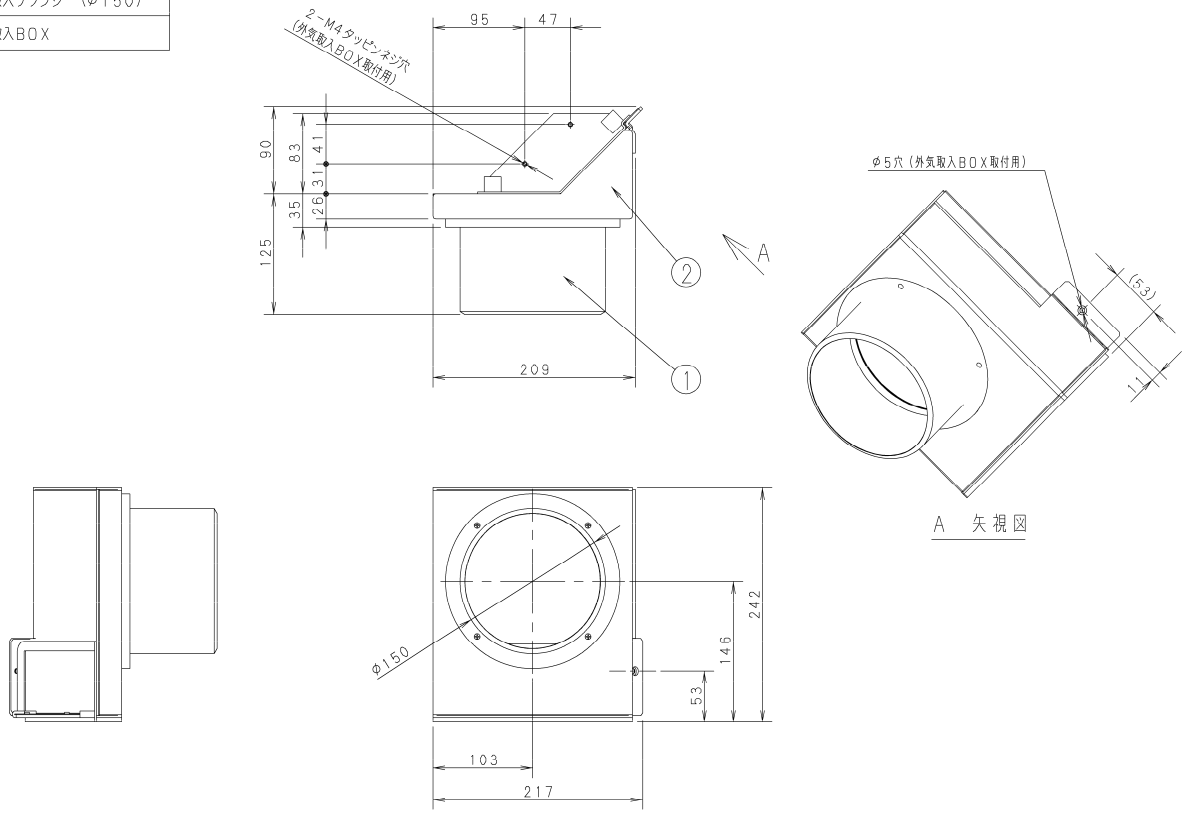
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。



■ 外気取入キット（１口用）（チャンバー用）〈CZ-160GSCU7〉

● 外形寸法図

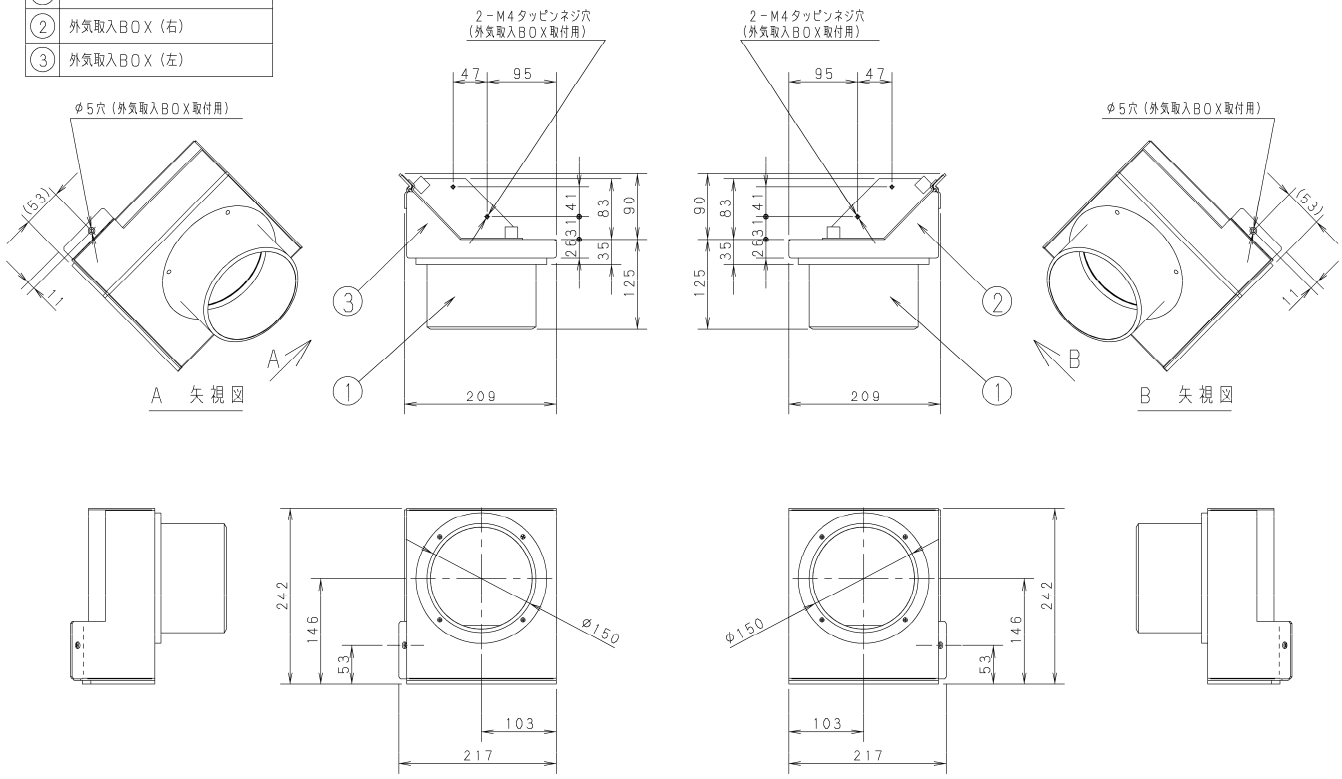
①	外気取入フランジ（φ１５０）
②	外気取入ＢＯＸ



■ 外気取入キット（２口用）（チャンバー用）〈CZ-160GSCDU7〉

● 外形寸法図

①	外気取入フランジ（φ１５０）
②	外気取入ＢＯＸ（右）
③	外気取入ＢＯＸ（左）



据付工事説明書

外気取入れキット（1口用）
外気取入れキット（2口用）

品番　CZ-160GSCU7
　　CZ-160GSCDU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●外気取入れキットの取り付けには、フィルターチャンバー（別売品）が必要です。
●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、フィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

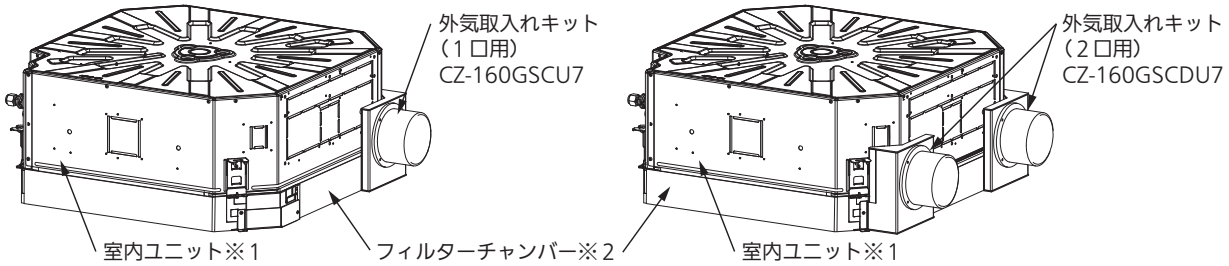
❗ ■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書等と一緒に保管してください。
・取込風量の上限値については、設備設計資料をご確認ください。



※1. 室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。
※2. 外気取入れキットの取り付けには、フィルターチャンバー（別売品）が必要です。
フィルターチャンバーの室内ユニットへの取り付けと、天井パネルの取り付けはフィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

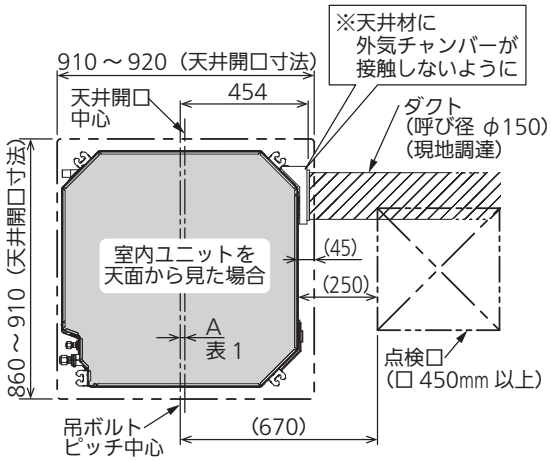
名称		外気チャンバー(右)	外気チャンバー(左)	取付ネジ(4×10)	据付工事説明書
形状		フランジ部 φ150 	フランジ部 φ150 		
外気取入れキット(1 口用)	個数	1	−	3	1
外気取入れキット(2 口用)		1	1	6	1

2. 据付場所と点検口の設置

据付場所は図を参照してください。

- 外気チャンバー側面の天井開口寸法は、910 ～ 920mm とし、図に従って室内ユニットを設置してください。天井開口中心と吊ボルトピッチ中心の位置（寸法A）については、表1を参照してください。
- 点検口（口 450 mm 以上）を設置してください。サービス・メンテナンス等の作業時に必要になります。作業スペースを確保するために、点検口を塞がないようにフレキシブルダクトやダクトを設置してください。
- 外気取入れキット（2 口用）で使用するフレキシブルダクトは、2本同一の長さのものをご使用ください。(呼び径φ150、推奨長さ 1,000mm) 別売品のフレキシブルダクト（CZ-F1510）をご使用できます。(呼び径φ150、長さ 1,000mm)
- 外気取入れキット（2 口用）で使用する分岐管は、別売品の分岐 Y 管 (FY-YHH661）をご使用できます。
  また、ご使用する場合は「(2)−1　別売品の分岐管（分岐 Y 管 FY-YHH661）を使用する場合」に従って設置することで、点検口の作業スペースを確保することができます。
- フレキシブルダクト、分岐管、ダクトは、外気チャンバーに荷重がかからないように吊ボルト、吊バンド等（現地調達）で吊り固定を行ってください。(「5. フレキシブルダクト、ダクトの接続」参照)
  荷重がかかると破損、結露の原因となります。

（1）外気取入れキット（1 口用）の場合



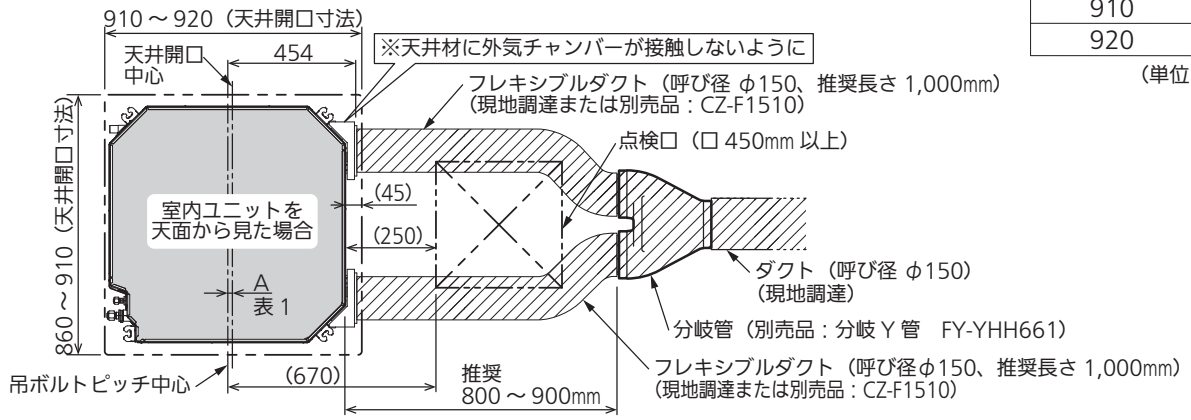
（2）外気取入れキット（2 口用）の場合

表 1

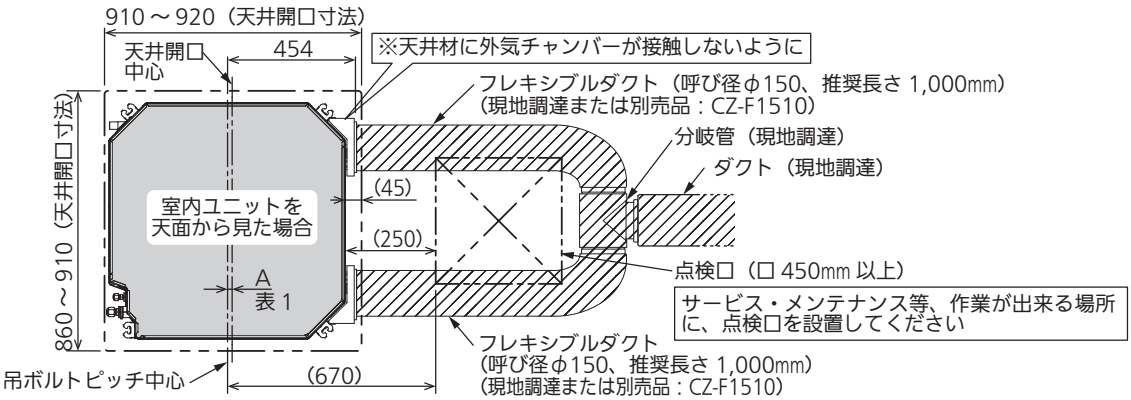
天井開口寸法	A
910	10
920	5

(単位：mm)

（2）−1　別売品の分岐管（分岐 Y 管 FY-YHH661）を使用する場合



（2）−2　現地調達の分岐管を使用する場合



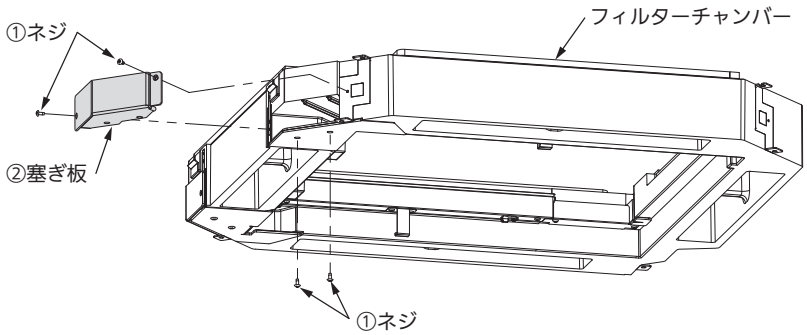
3. フィルターチャンバー塞ぎ板の取りはずし

① 塞ぎ板を固定しているネジ４本をはずします。
② 塞ぎ板をはずします。
③ フィルターチャンバーを室内ユニットへ取り付けます。

※フィルターチャンバーの室内ユニットへの取り付けはフィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。

＊ 取りはずし時のご注意 ＊

・図１は外気取入れキット（１口用）の場合です。
　外気取入れキット（２口用）は、２か所を同様にはずしてください。
・フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取りはずし時は十分注意してください。



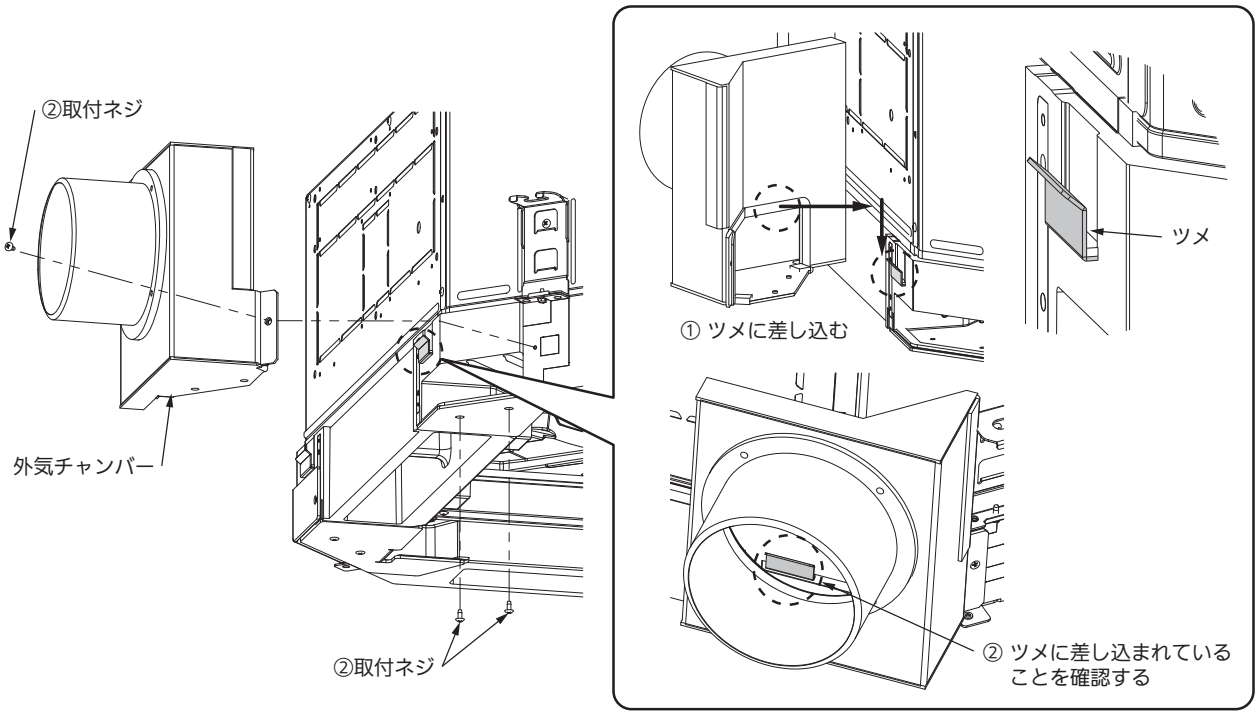
（図１）

4. 外気チャンバーの取り付け

①外気チャンバーをフィルターチャンバーのツメに差し込みながらはめ込みます。
②外気チャンバーがツメに差し込まれていることを目視で確認し、付属の取付ネジ３本で固定します。

＊ 取り付け時のご注意 ＊

・図２は外気取入れキット（１口用）の場合です。外気取入れキット（２口用）の場合は２か所を同様に取り付けてください。
・外気チャンバーの取り付けは、室内ユニットおよびフィルターチャンバーの据え付け後に行ってください。
・フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取り付け時は十分注意してください。



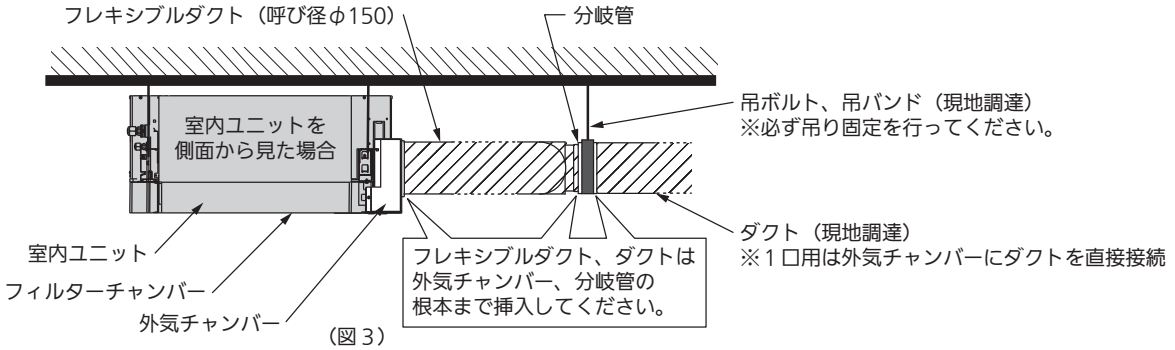
（図２）

5. フレキシブルダクト、ダクトの接続

外気チャンバー、フレキシブルダクト（現地調達または別売品：CZ-F1510）、分岐管（現地調達または別売品：分岐Ｙ管 FY-YHH661）、ダクト（現地調達）を接続してください。（図 3）
・フレキシブルダクト、分岐管、ダクトは結露防止のため断熱仕様のものを使用、または断熱処理を必ず行ってください。
・フレキシブルダクト、分岐管、ダクトの接続部は板バンド（現地調達 ※3）、粘着テープ（現地調達 ※3）等で空気が漏れないようにしてください。
・フレキシブルダクト、分岐管、ダクトの接続部は結露防止のため断熱処理 ※3 を必ず行ってください。
・外気チャンバーに荷重がかからないように吊ボルト、吊バンド（現地調達）等で吊り固定を行ってください。※4
荷重がかかると破損・結露の原因となります。

※3.別売品のフレキシブルダクト（CZ-F1510）には、フレキシブルダクト（CZ-F1510）接続用の板バンド、粘着テープ、断熱材が付属されております。取り付けについては CZ-F1510 に同梱されている「取付説明書」を参考にして取り付けてください。
※4.別売品の分岐Ｙ管（FY-YHH661）の吊り固定については、FY-YHH661 に同梱されている「工事説明書」を参考にして取り付けてください。

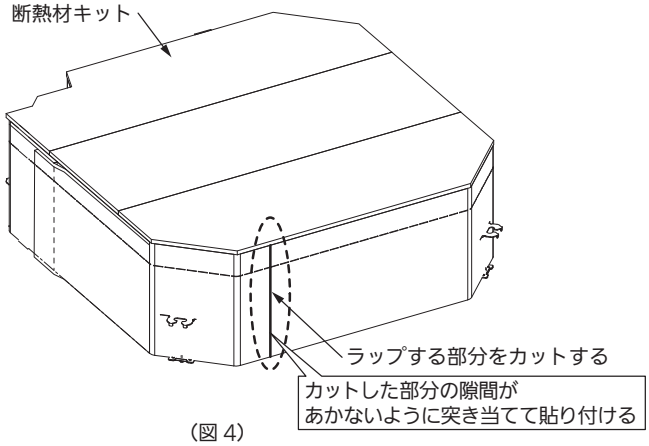
＊ご注意＊
・不燃性のダクトを使用しなければいけない場合があります。（建築基準法および地域消防条令等 参照）
・ダクトが耐火構造等の防火区画を貫通する場合は、ダンパを設けるか、防火上支障がない構造にしてください。
（建築基準法および建設省告示 参照）
・金属製のダクトを使用して木造の壁を貫通する場合は、ダクトと壁とは電気的に絶縁してください。（電気設備技術基準 参照）



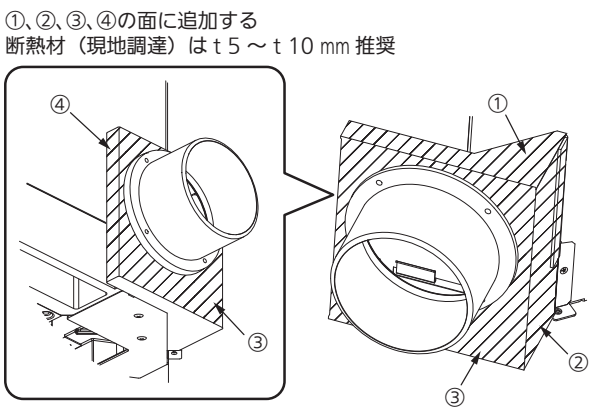
（図 3）

6. 高温・高湿度の環境で使用する場合

＊ご注意＊
天井内の温湿度が、30℃ または RH80% を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
（断熱しないと結露することがあります）
・断熱材キットの外気チャンバーを取り付ける面は、断熱材キットの側面が重ならないようにラップする部分をカットし、隙間があかないように付き当てて貼り付けてください。（図 4）
・外気チャンバーの図 5 ①、②、③、④の面に追加で断熱処理（推奨 t 5 ～ t 10 ㎜）を行ってください。
２口用の場合は２口とも同様に図 5 の作業を行ってください。
・必要に応じてフレキシブルダクト（現地調達）、分岐管（現地調達）、ダクト（現地調達）も追加で断熱を行ってください。



（図 4）



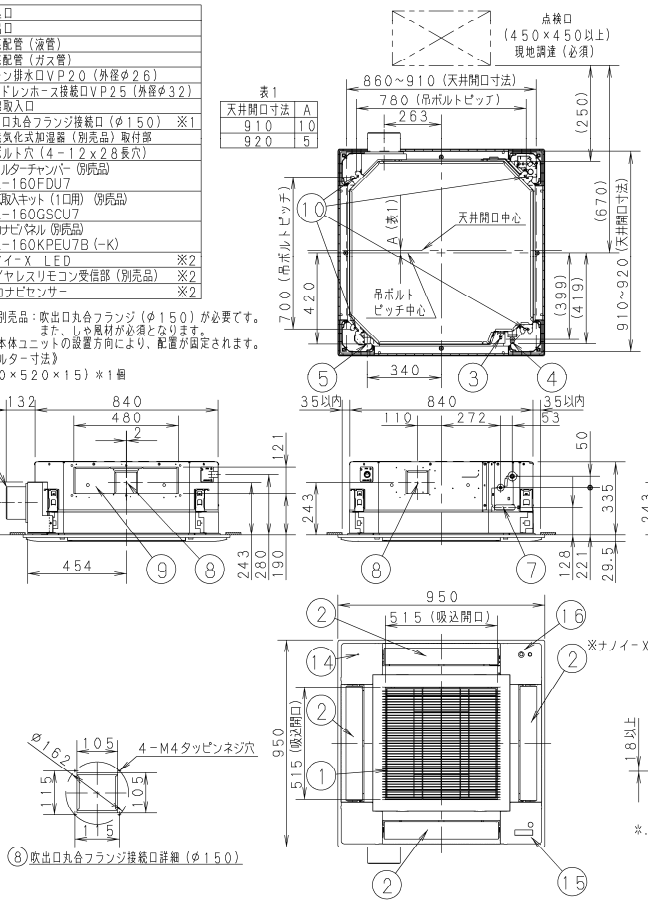
（図 5）

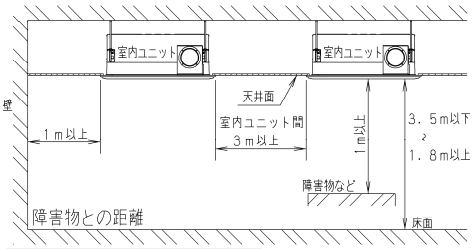
● 外気取入キット（１口用）（チャンバー用）取付図（エコナビパネル使用）

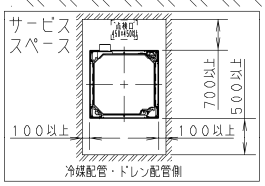
・ CZ-160GSCU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（1口用）（別売品）CZ-160GSCU7
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
16	エコナビセンサー　※2

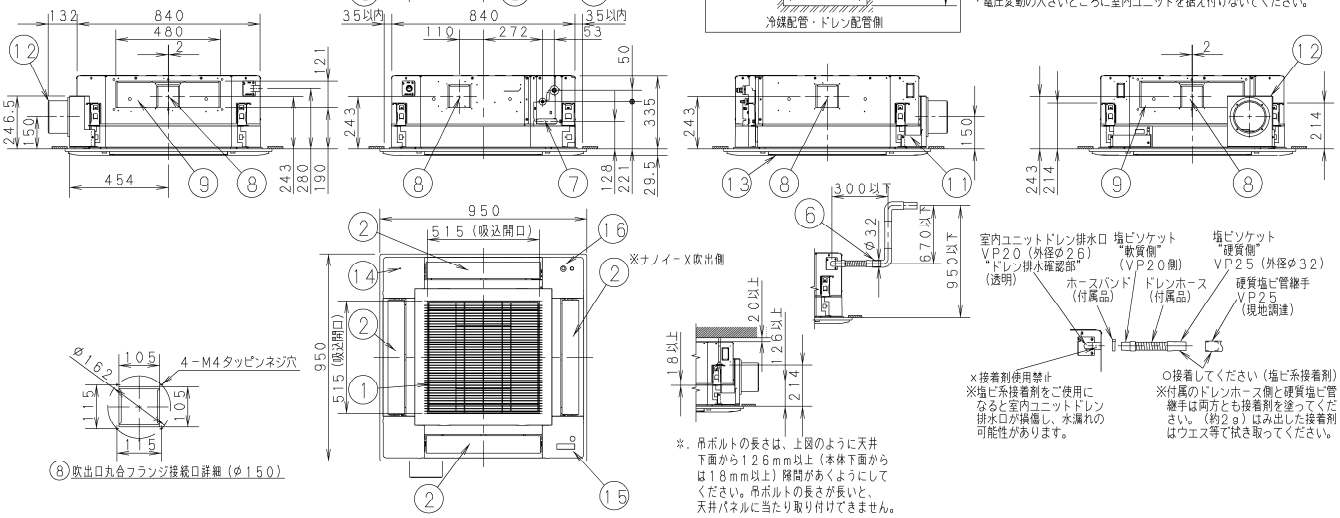
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）＊1個







・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

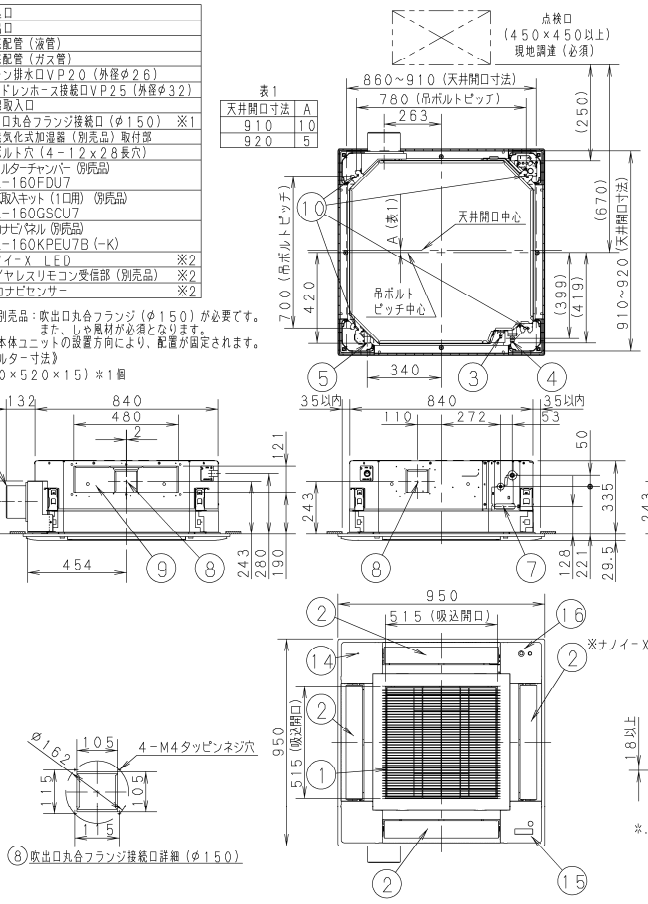


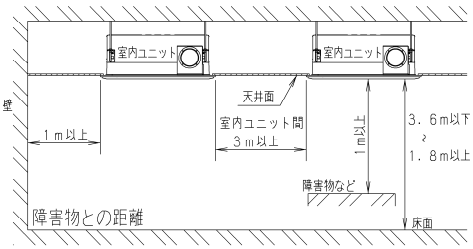
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から１２６mm以上（本体下面から
　は１８mm以上）隙間があくようにして
　ください。吊ボルトの長さが長いと、
　天井パネルに当たり取り付けできません。

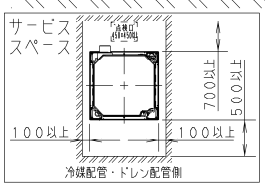
・ CZ-160GSCU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（1口用）（別売品）CZ-160GSCU7
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
16	エコナビセンサー　※2

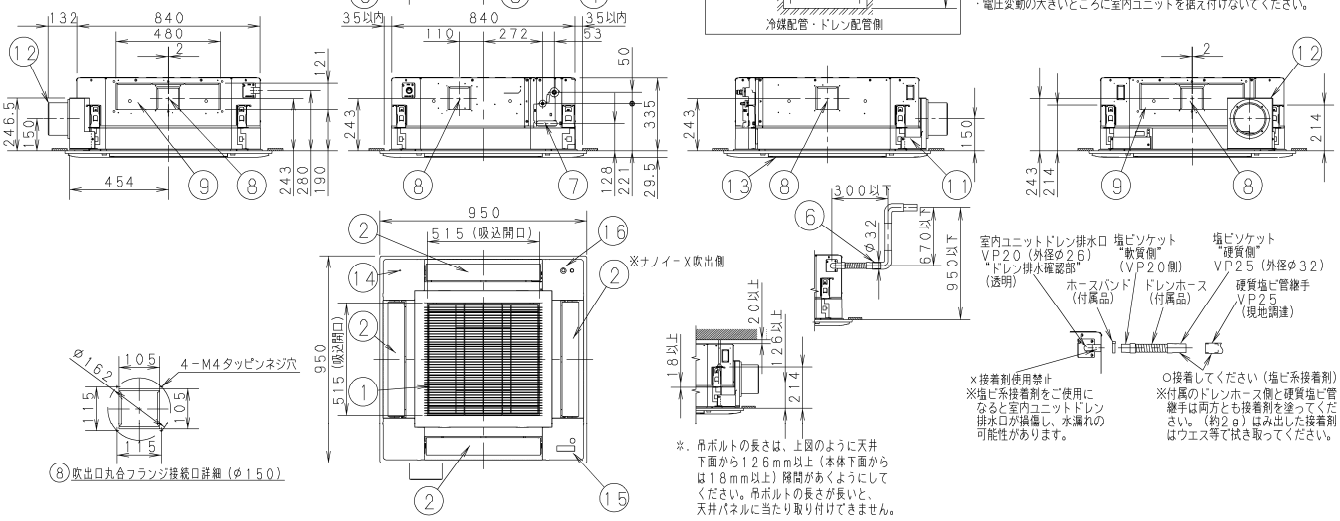
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）＊1個







・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



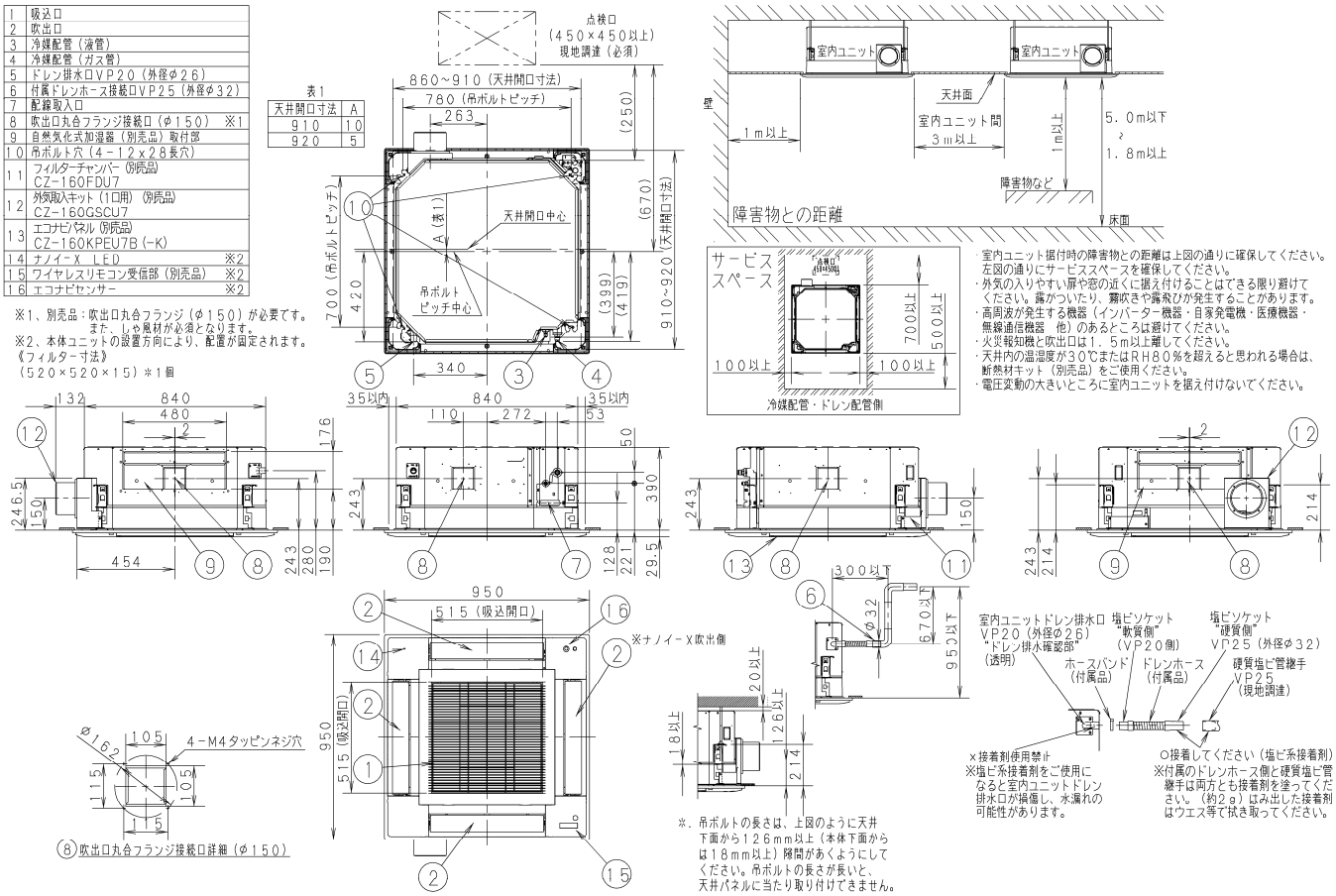
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から１２６mm以上（本体下面から
　は１８mm以上）隙間があくようにして
　ください。吊ボルトの長さが長いと、
　天井パネルに当たり取り付けできません。

● 外気取入キット（１口用）（チャンバー用）取付図（エコナビパネル使用）

・ CZ-160GSCU7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＤＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（1口用）（別売品）CZ-160GSCU7
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
16	エコナビセンサー　※2

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）＊１個



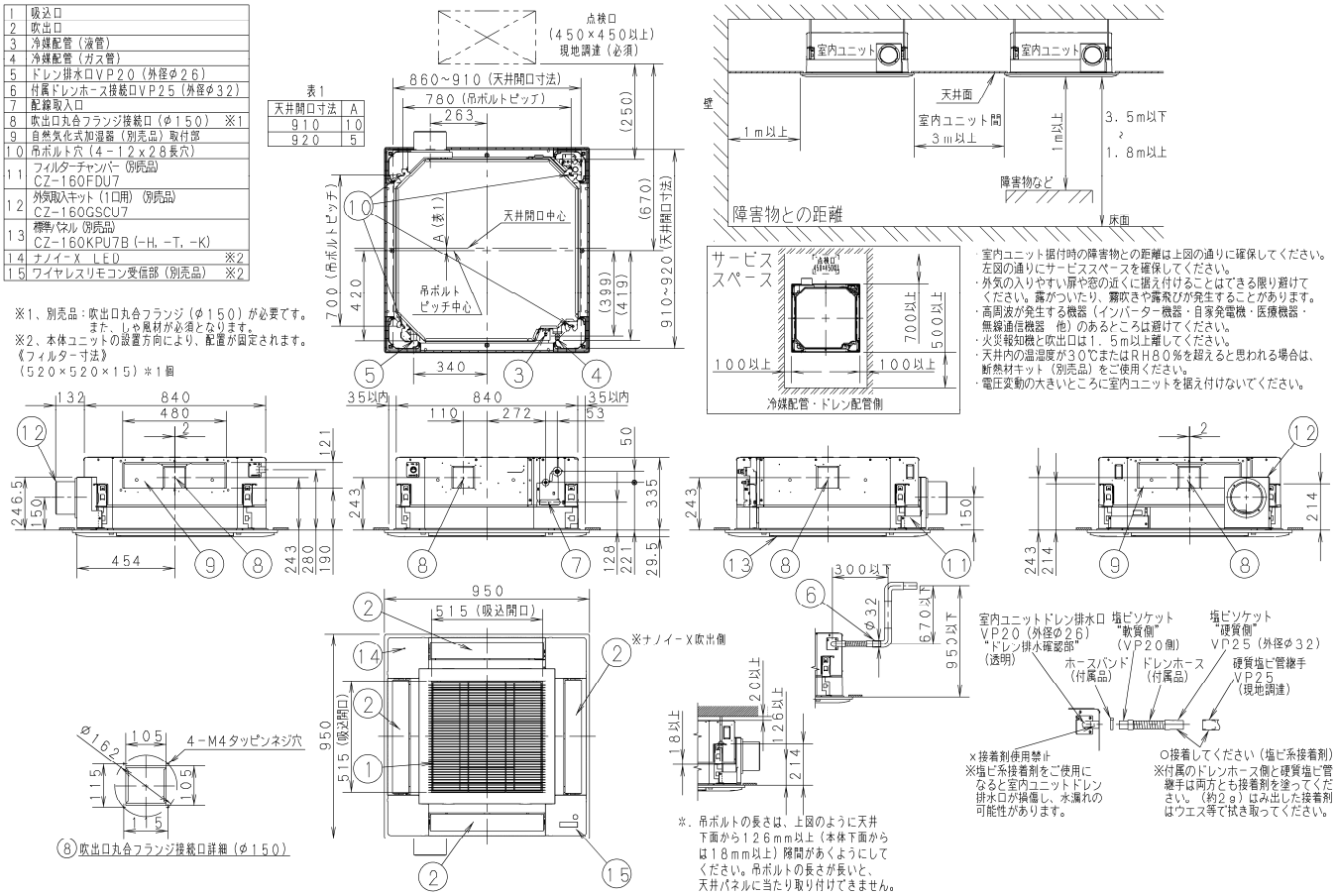
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６mm以上（本体下面から１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

● 外気取入キット（１口用）（チャンバー用）取付図（標準パネル使用）

・ CZ-160GSCU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
12	外気取入キット（1口用）（別売品） CZ-160GSCU7
13	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーX　LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

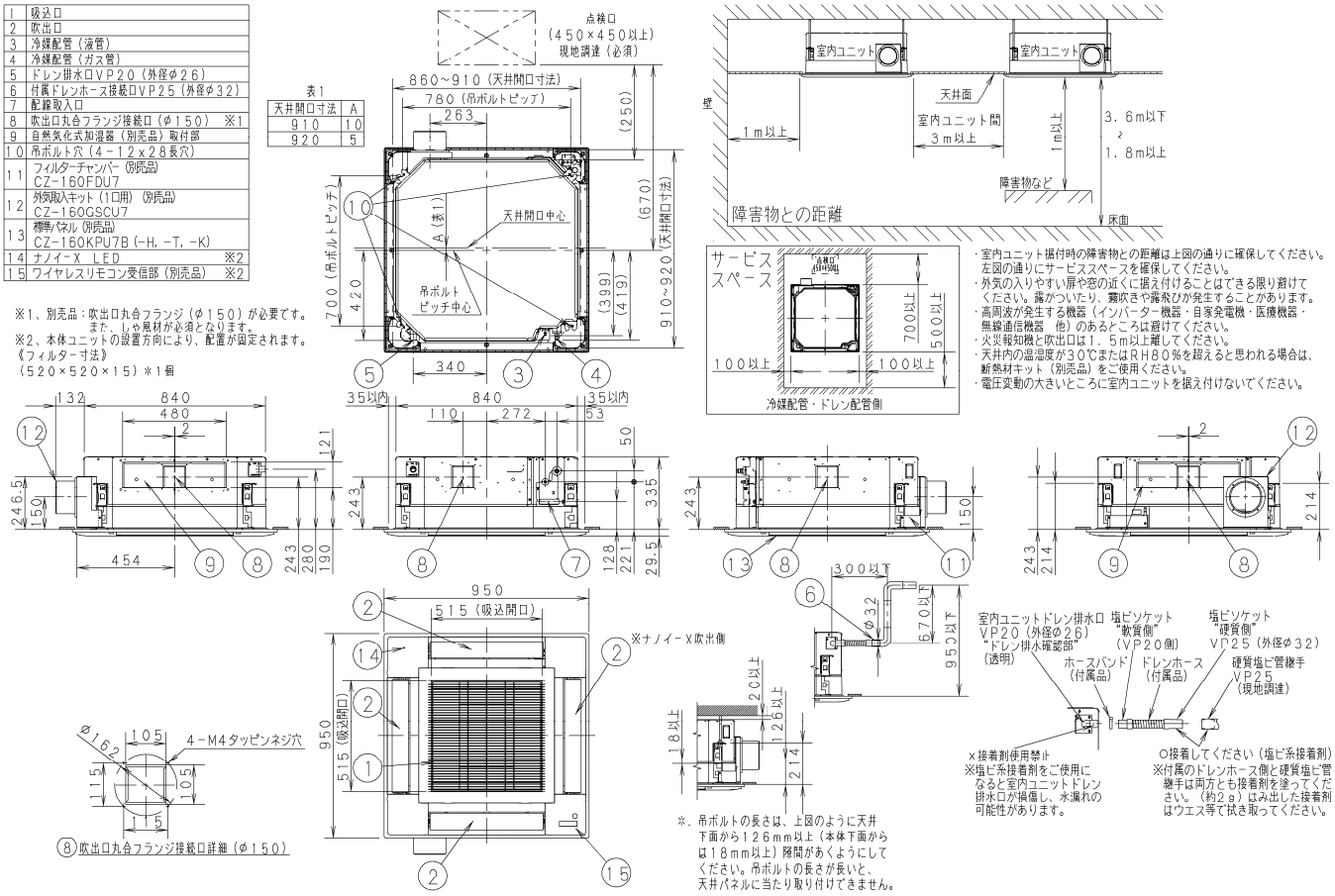


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

・ CZ-160GSCU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
12	外気取入キット（1口用）（別売品） CZ-160GSCU7
13	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーX　LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2



・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

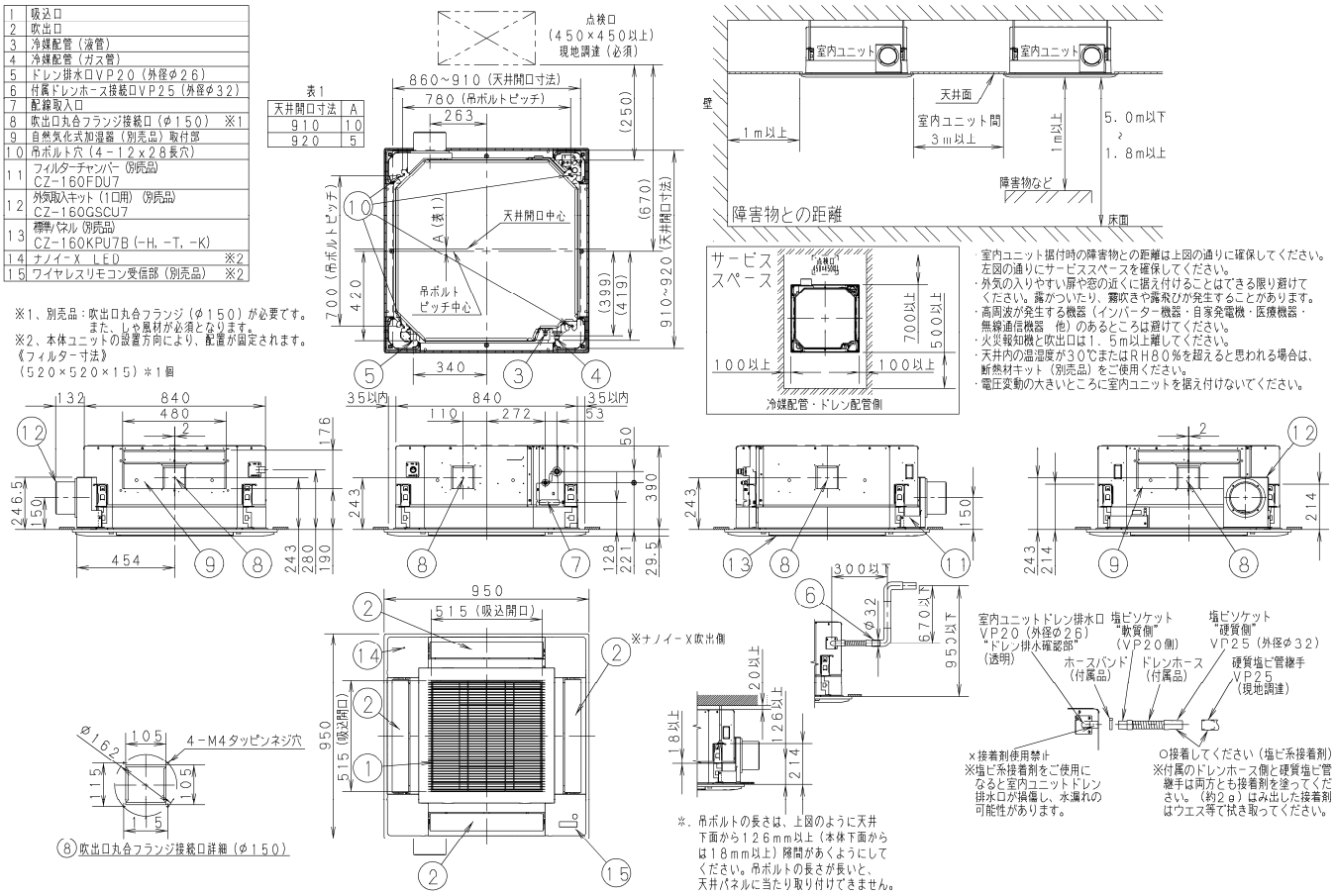
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

● 外気取入キット（１口用）（チャンバー用）取付図（標準パネル使用）

・ CZ-160GSCU7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
12	外気取入キット（1口用）（別売品） CZ-160GSCU7
13	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーＸ　ＬＥＤ　　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）＊１個

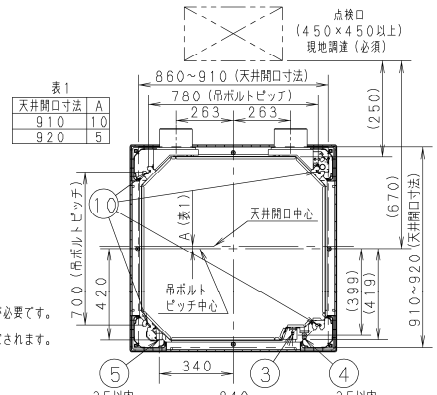


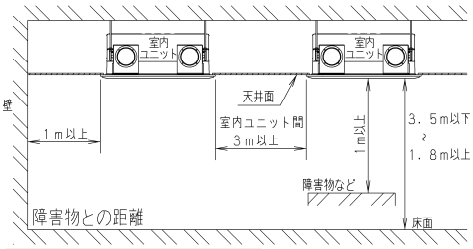
● 外気取入キット（２口用）（チャンバー用）取付図（エコナビパネル使用）

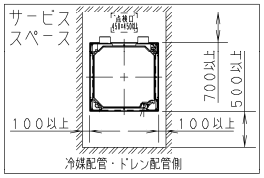
・ CZ-160GSCDU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（2口用）（別売品）CZ-160GSCDU7
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
16	エコナビセンサー　※2

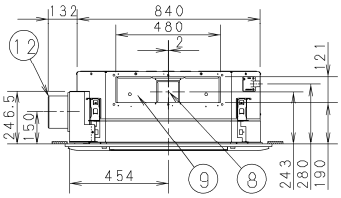
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）＊1個

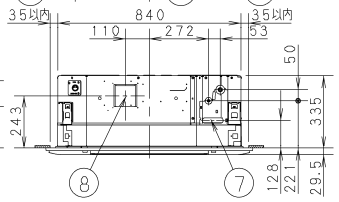


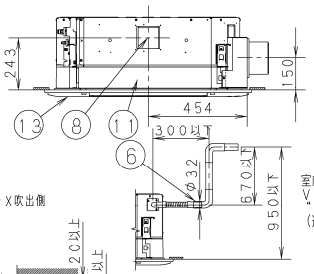


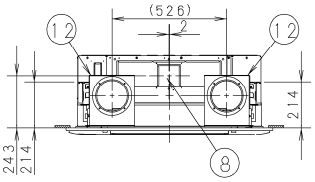


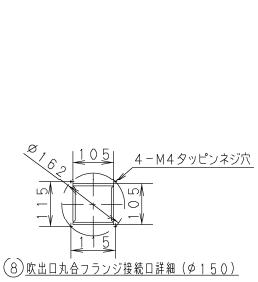
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



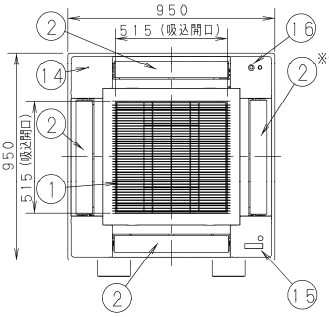


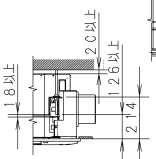




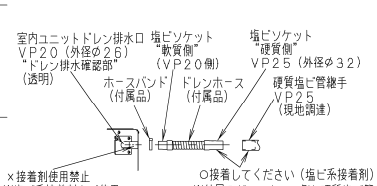


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



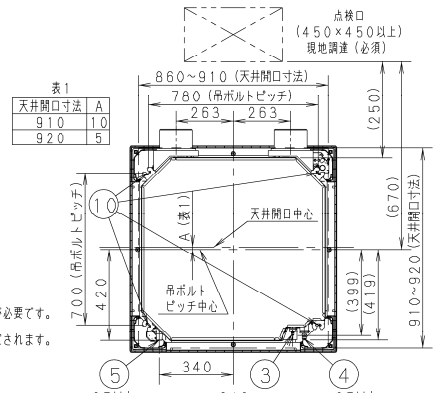
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

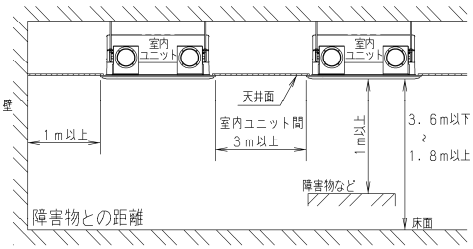
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

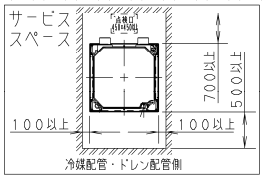
・ CZ-160GSCDU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（2口用）（別売品）CZ-160GSCDU7
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
16	エコナビセンサー　※2

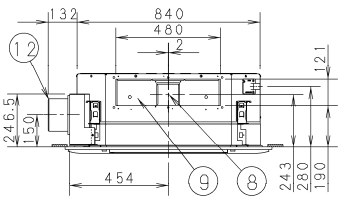
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）＊1個

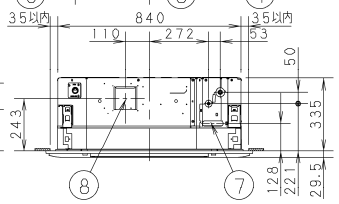


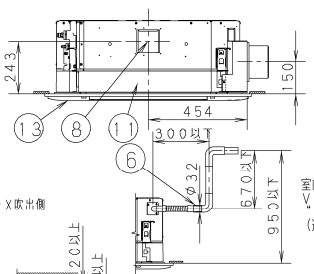


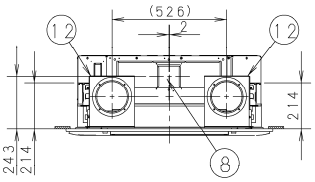


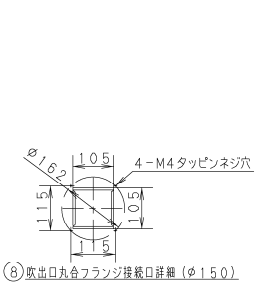
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



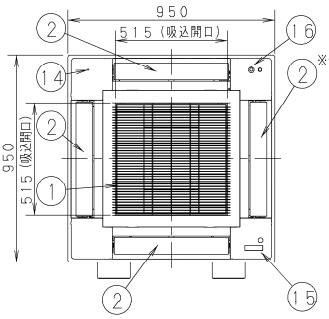


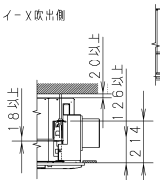




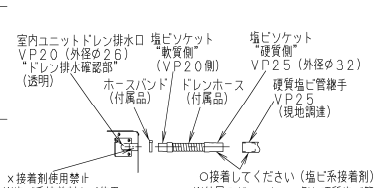


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

● 外気取入キット（２口用）（チャンバー用）取付図（エコナビパネル使用）

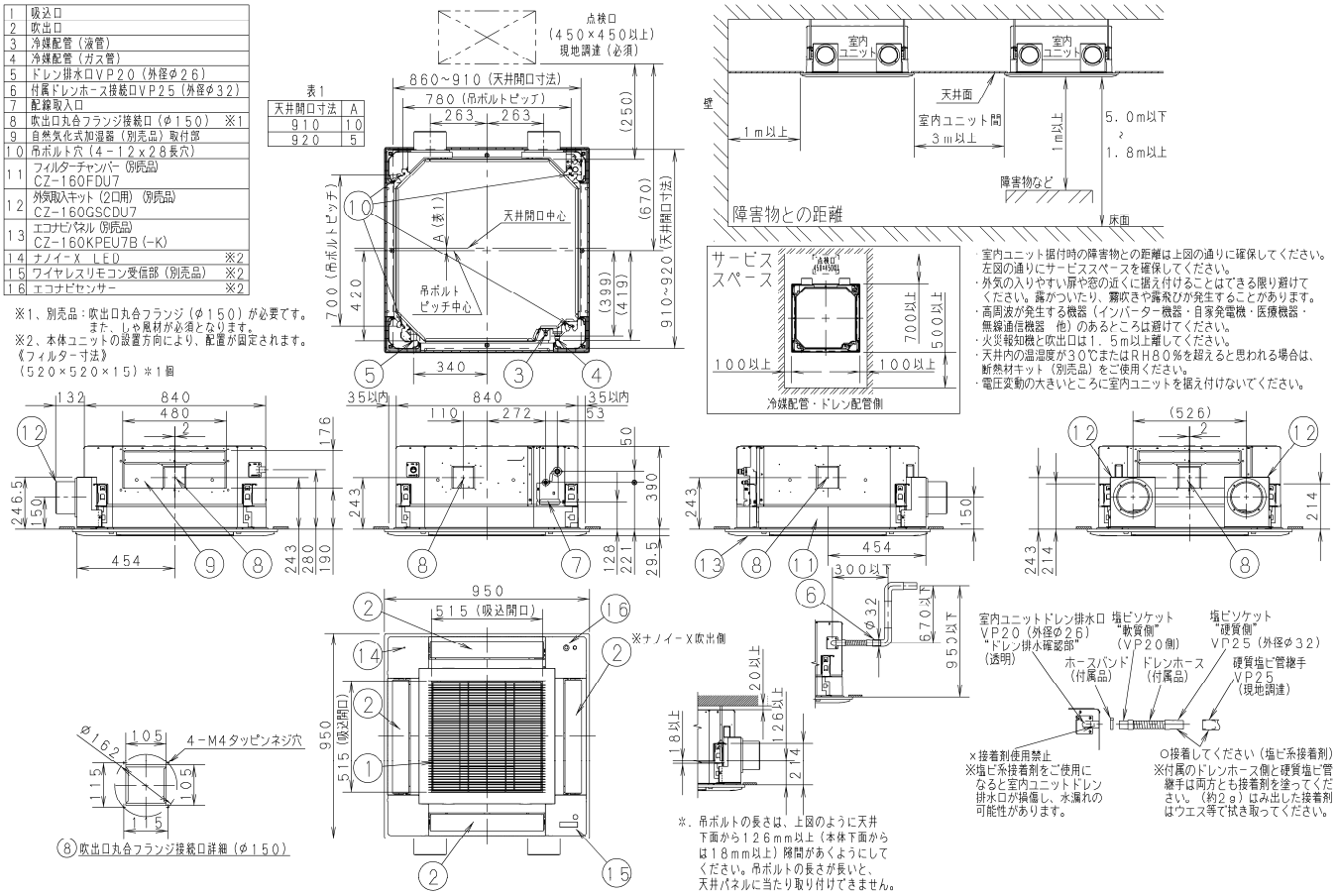
・ CZ-160GSCDU7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
12	外気取入キット（2口用）（別売品） CZ-160GSCDU7
13	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーＸ　LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
16	エコナビセンサー　※2

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）＊１個

表1

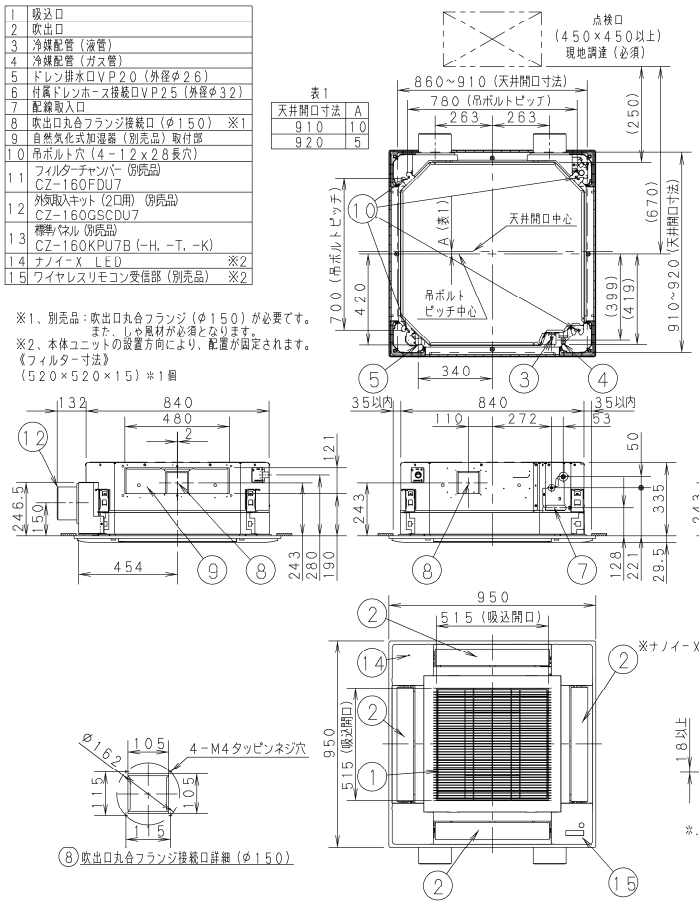
天井開口寸法	A
910	10
920	5

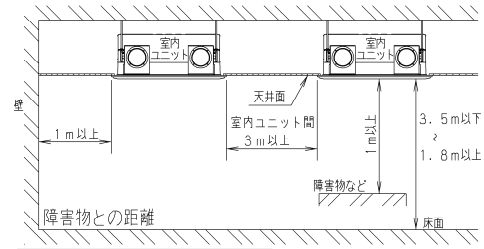


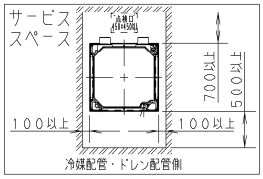
● 外気取入キット（２口用）（チャンバー用）取付図（標準パネル使用）

・ CZ-160GSCDU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
12	外気取入キット（2口用）（別売品） CZ-160GSCDU7
13	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーＸ　ＬＥＤ　　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

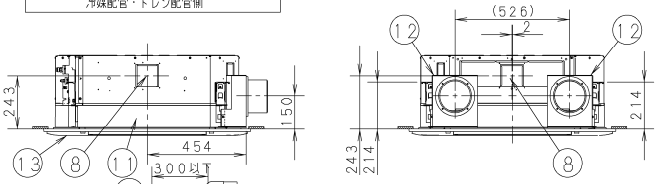


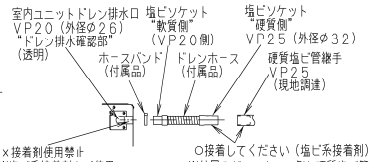




・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）＊１個





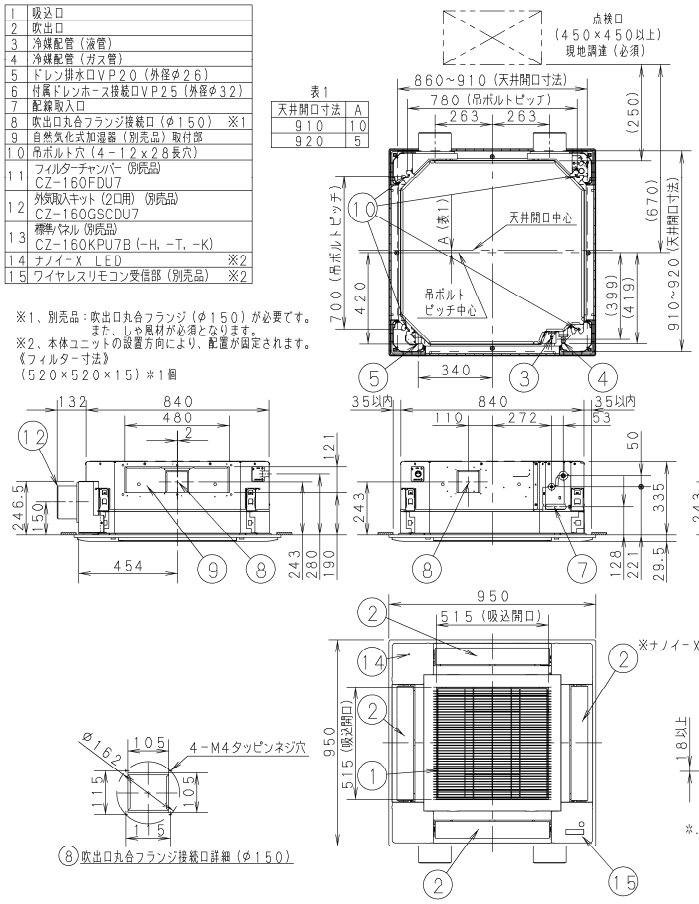
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

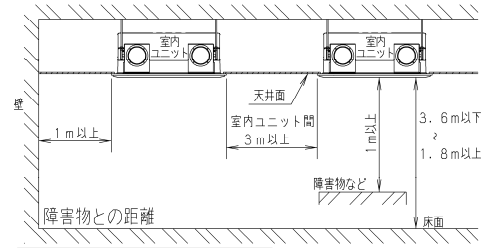
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

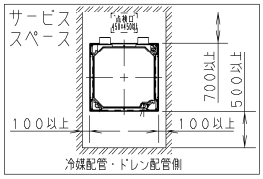
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

・ CZ-160GSCDU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
12	外気取入キット（2口用）（別売品） CZ-160GSCDU7
13	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーＸ　ＬＥＤ　　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

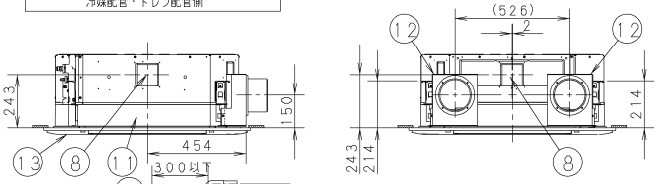


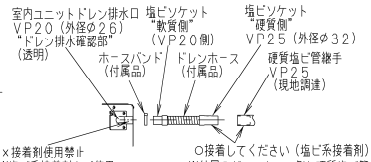




・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）＊１個





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

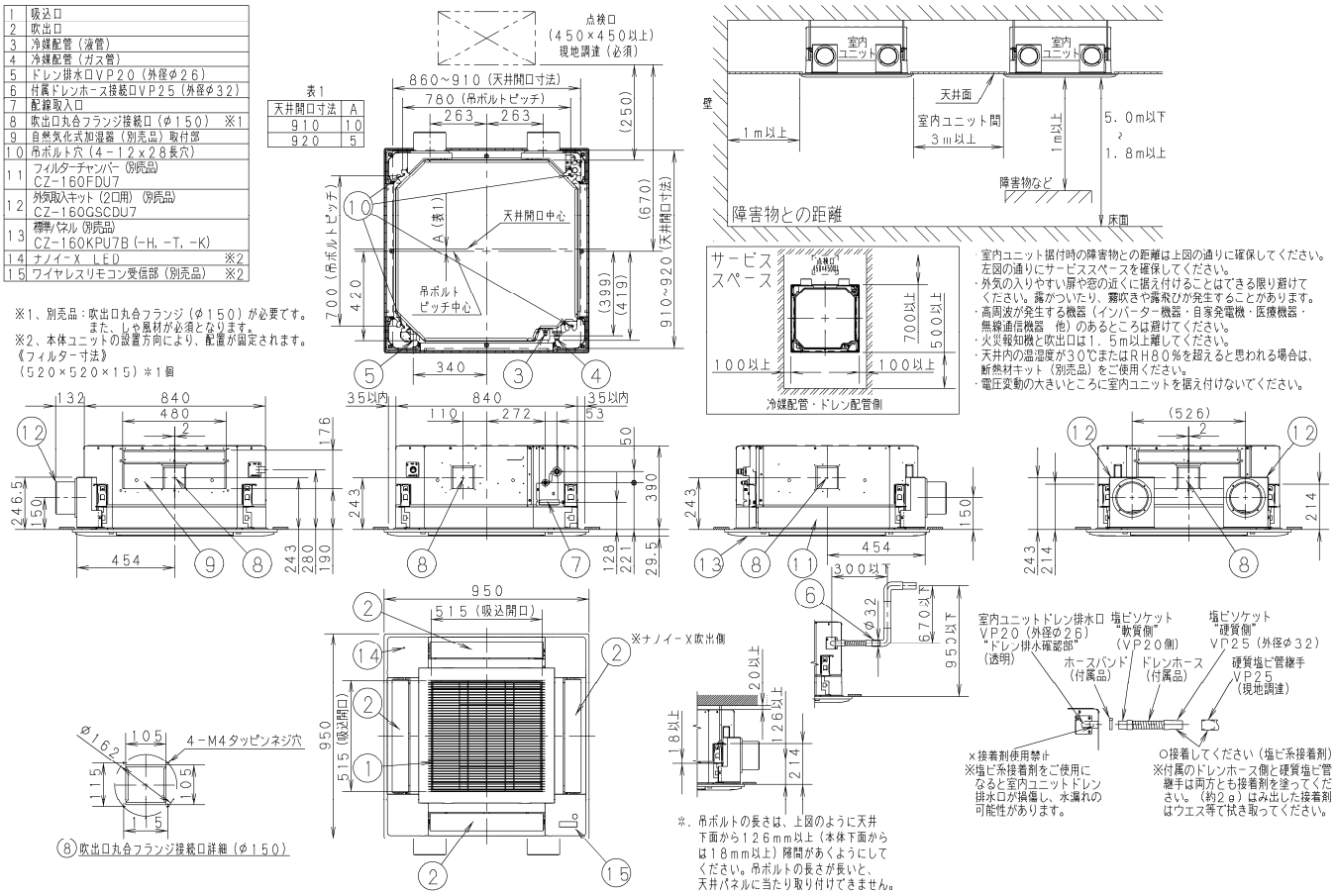
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

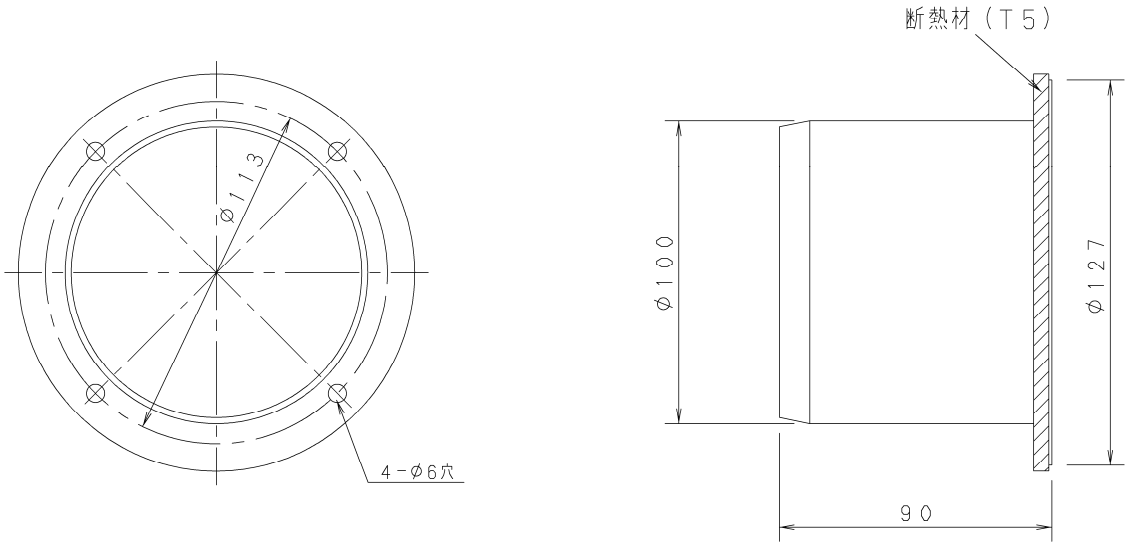
● 外気取入キット（２口用）（チャンバー用）取付図（標準パネル使用）
・ CZ-160GSCDU7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
12	外気取入キット（2口用）（別売品） CZ-160GSCDU7
13	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーＸ　ＬＥＤ　　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）＊１個



■ 外気取入れ用丸合フランジ（φ 100）〈CZ-DA100〉
● 外形寸法図



● 外気取入れ用丸合フランジ（φ 100）

据付工事説明書

丸合フランジ（φ100）

品番　CZ-DA100

適用室内ユニット　４方向天井カセット形（Uシリーズ）２方向天井カセット形（Lシリーズ）
１方向天井カセットスリム形（DSシリーズ）天井吊形（Tシリーズ）＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

⃠
■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31574
PA0518 - 40823

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名　　称	個数	名　　称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ（φ100） 	1	取付ネジ（M4×12） 	4		1

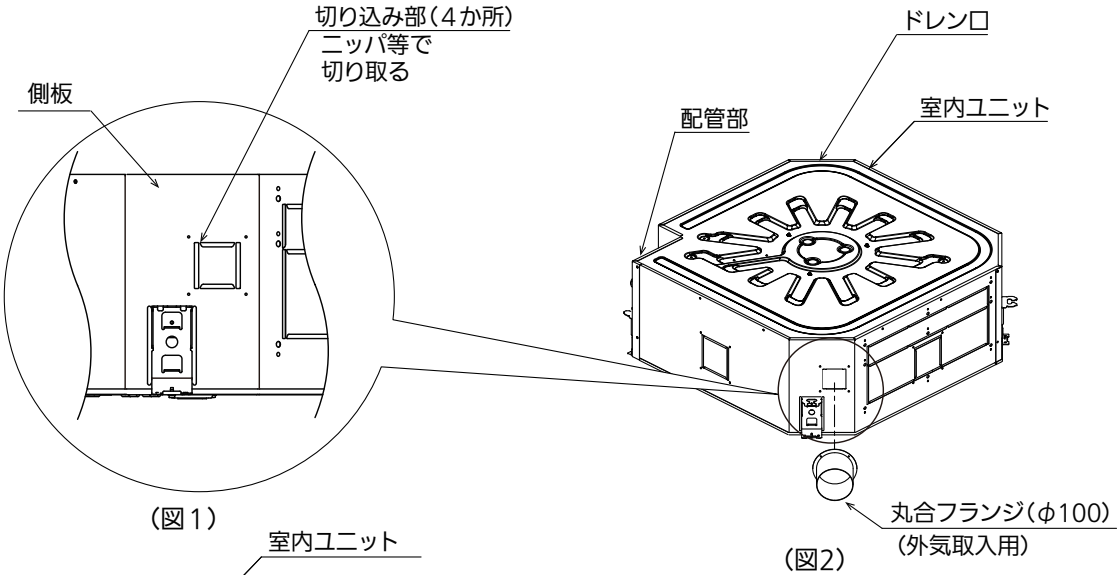
2. 取り付けかた

●４方向天井カセット形の場合

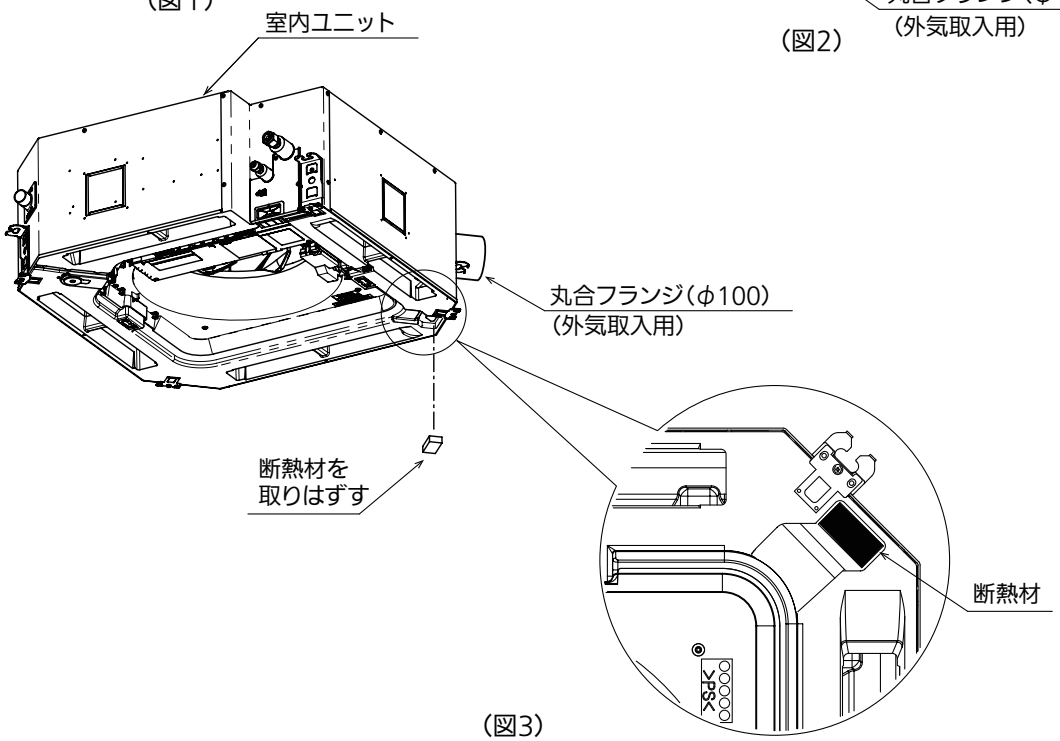
（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。（図１）

（2）丸合フランジを付属の取付ネジ４本で取り付けてください。（図２）

（3）断熱材を取りはずしてください。（図3）



（図1）　（図2）



（図3）

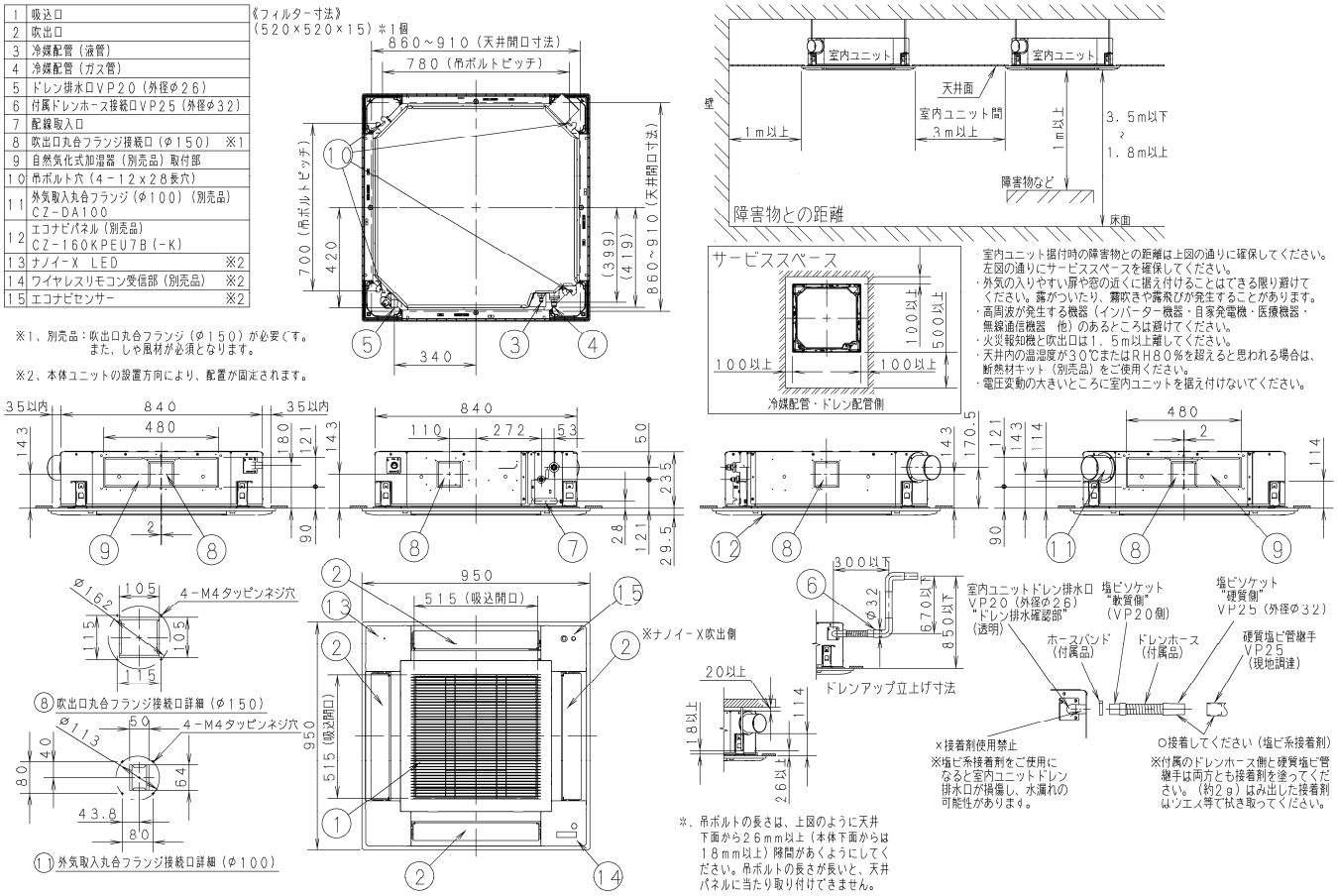
● 外気取入用丸合フランジ（φ 100）取付図（エコナビパネル使用）

・ CZ-DA100 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ（φ100）（別売品）CZ-DA100
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B(-K)
13	ナノイーX LED　※2
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
15	エコナビセンサー　※2

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。

※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

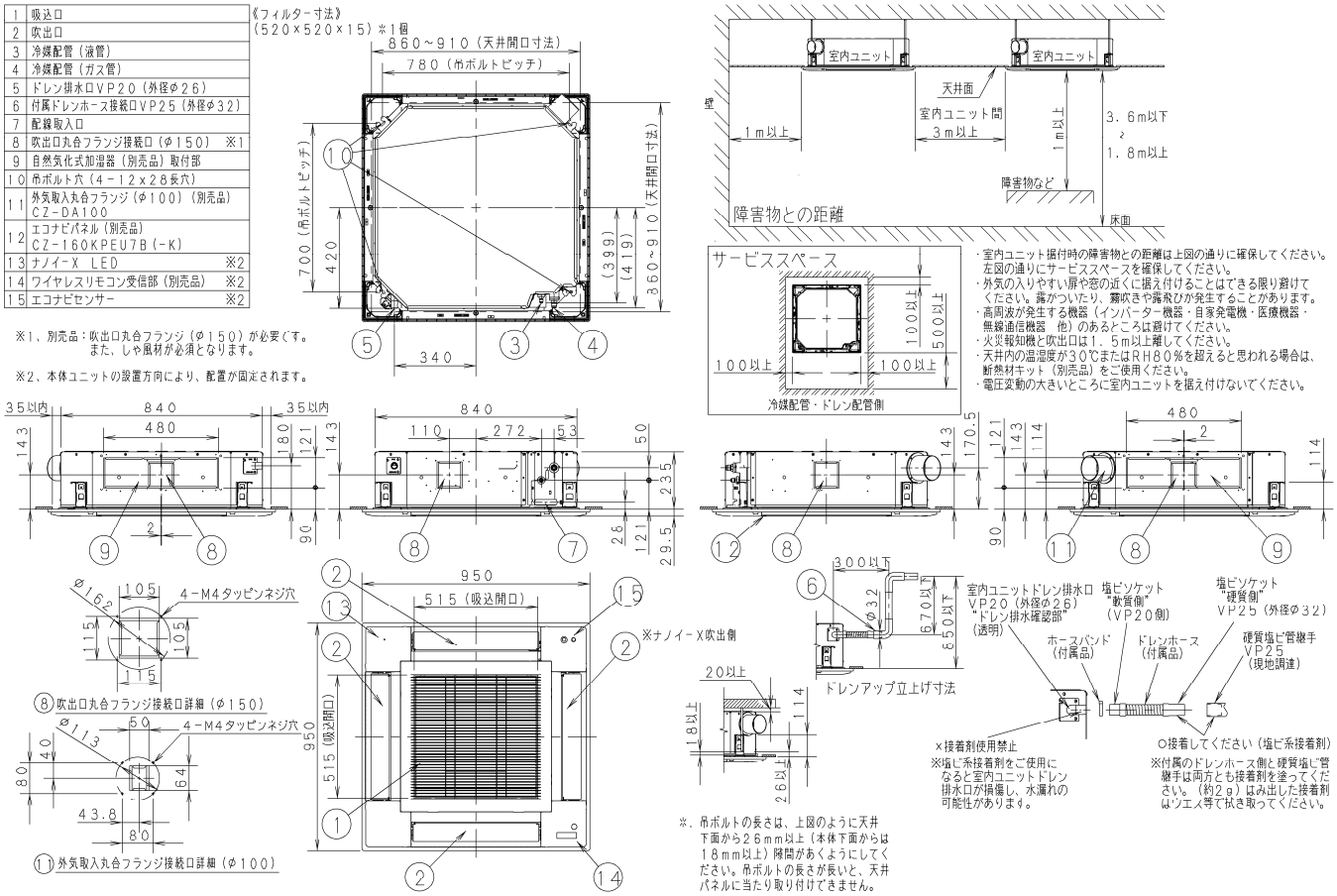
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26ｍｍ以上（本体下面からは18ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

・ CZ-DA100 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ（φ100）（別売品）CZ-DA100
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B(-K)
13	ナノイーX LED　※2
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
15	エコナビセンサー　※2

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。

※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

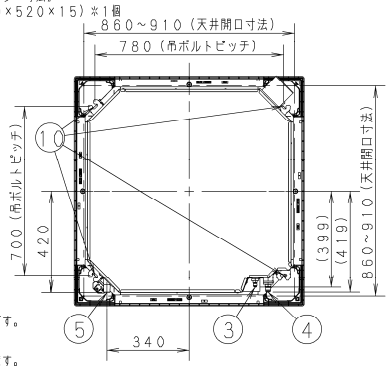
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26ｍｍ以上（本体下面からは18ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

● 外気取入用丸合フランジ（φ 100）取付図（エコナビパネル使用）

・ CZ-DA100〔適用機種：112 ～ 160 形〕

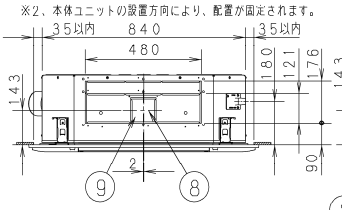
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ（φ１００）（別売品） ＣＺ－ＤＡ１００
12	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※2
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
15	エコナビセンサー　※2

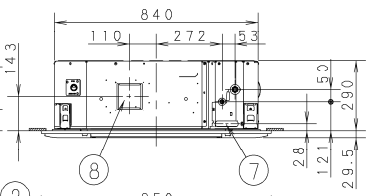
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

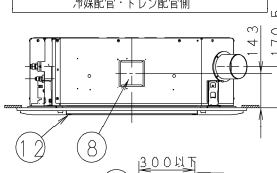


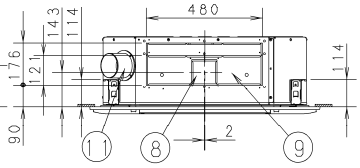
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。

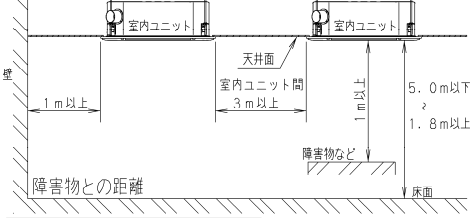
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

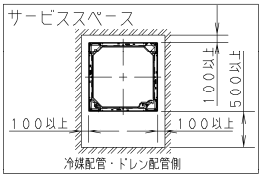




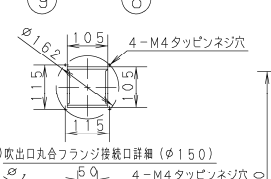




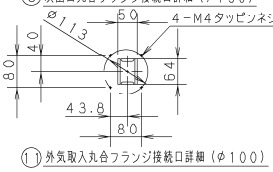




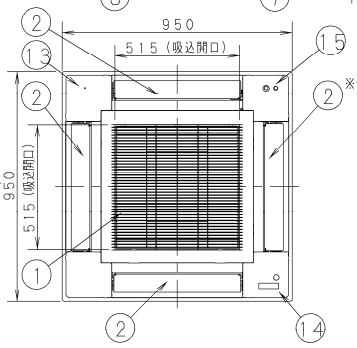
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

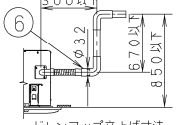


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）

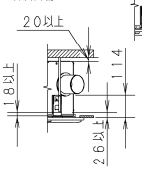


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）

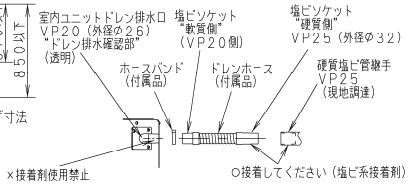




ドレンアップ立上げ寸法



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



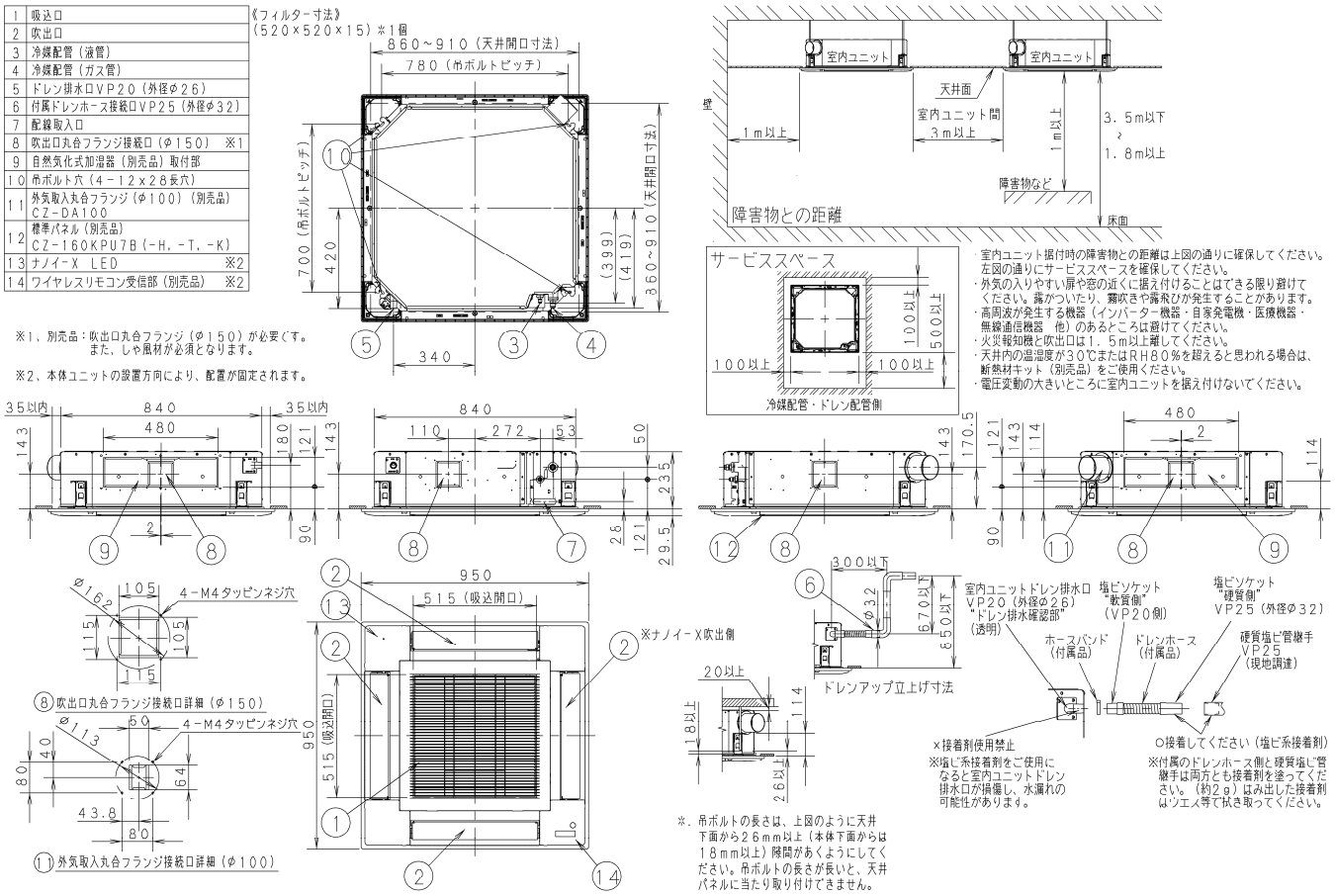
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はシンエイ等で拭き取ってください。

● 外気取入用丸合フランジ（φ 100）取付図（標準パネル使用）

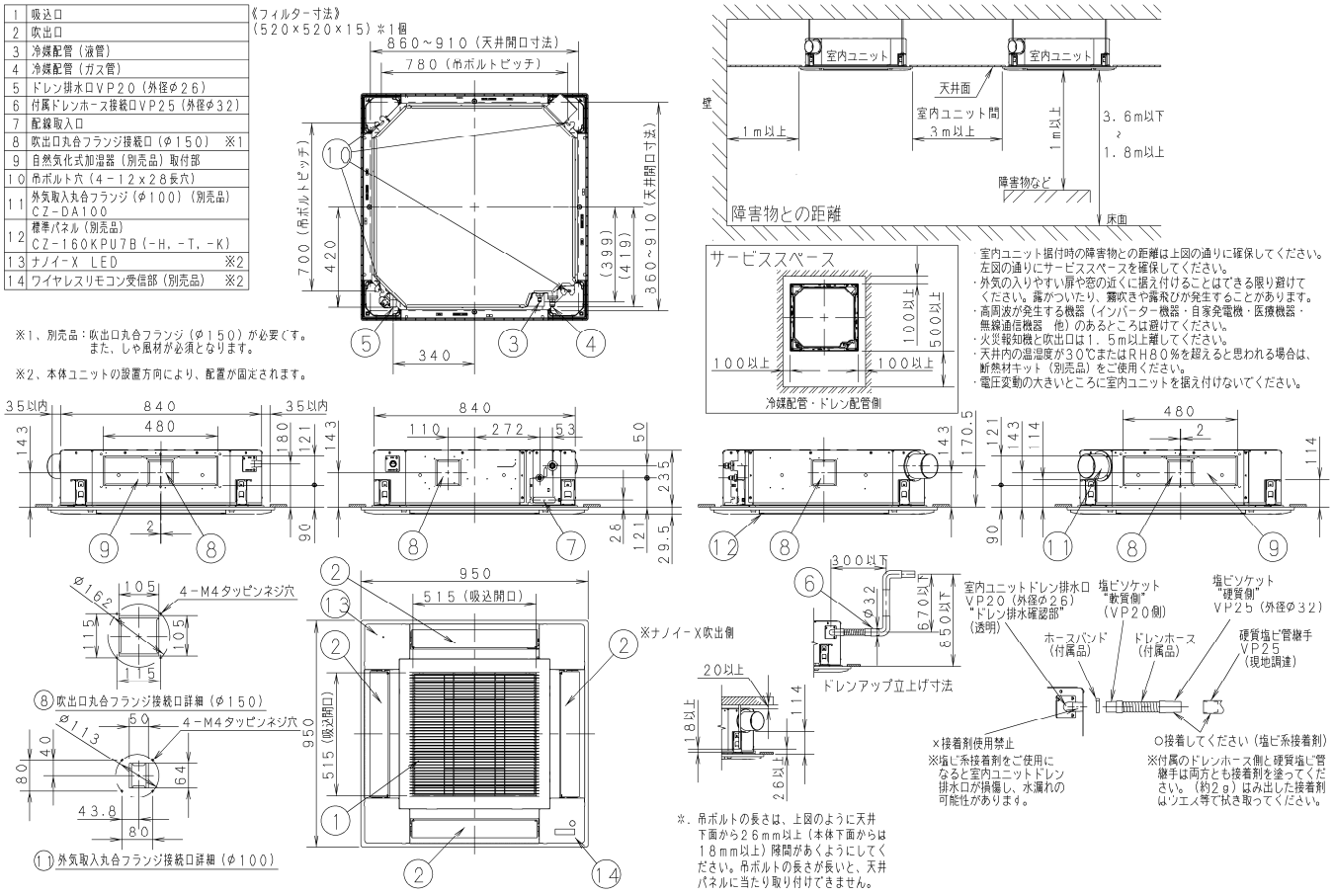
・ CZ-DA100 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ（φ１００）（別売品）CZ-DA100
12	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
13	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※2
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2



・ CZ-DA100〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ（φ１００）（別売品）CZ-DA100
12	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
13	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※2
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

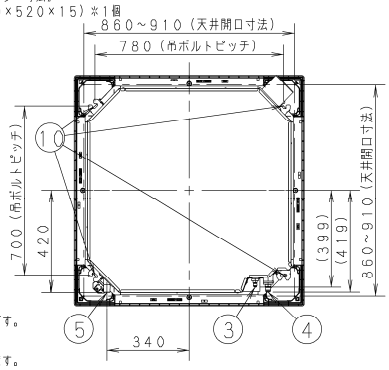


● 外気取入用丸合フランジ（φ 100）取付図（標準パネル使用）

・ CZ-DA100〔適用機種：112 ～ 160 形〕

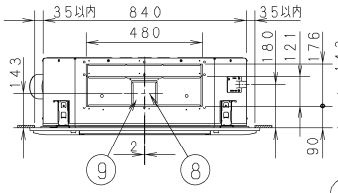
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ（φ100）（別売品）CZ-DA100
12	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B(-H, -T, -K)
13	ナノイー X　LED　※2
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

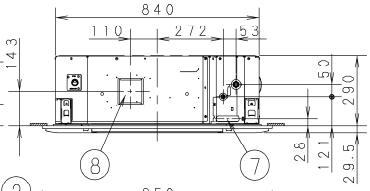
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

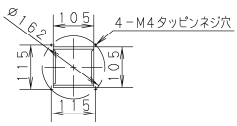


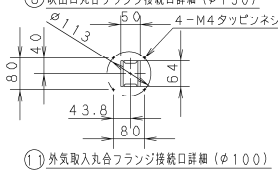
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しや風材が必須となります。

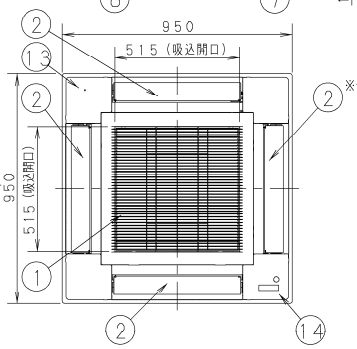
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



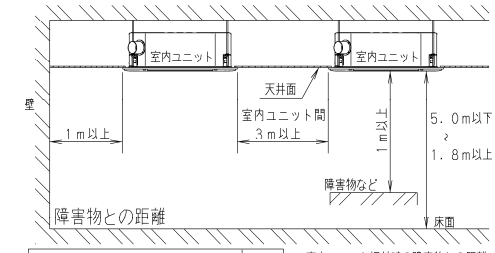


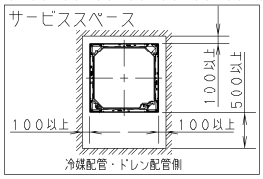




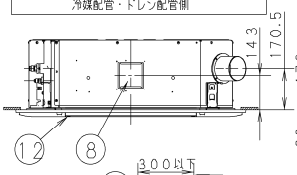


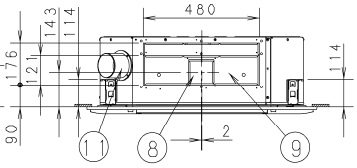
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

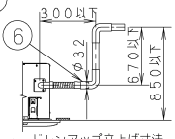


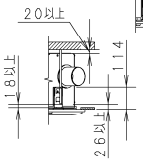


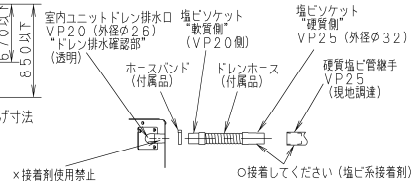
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。







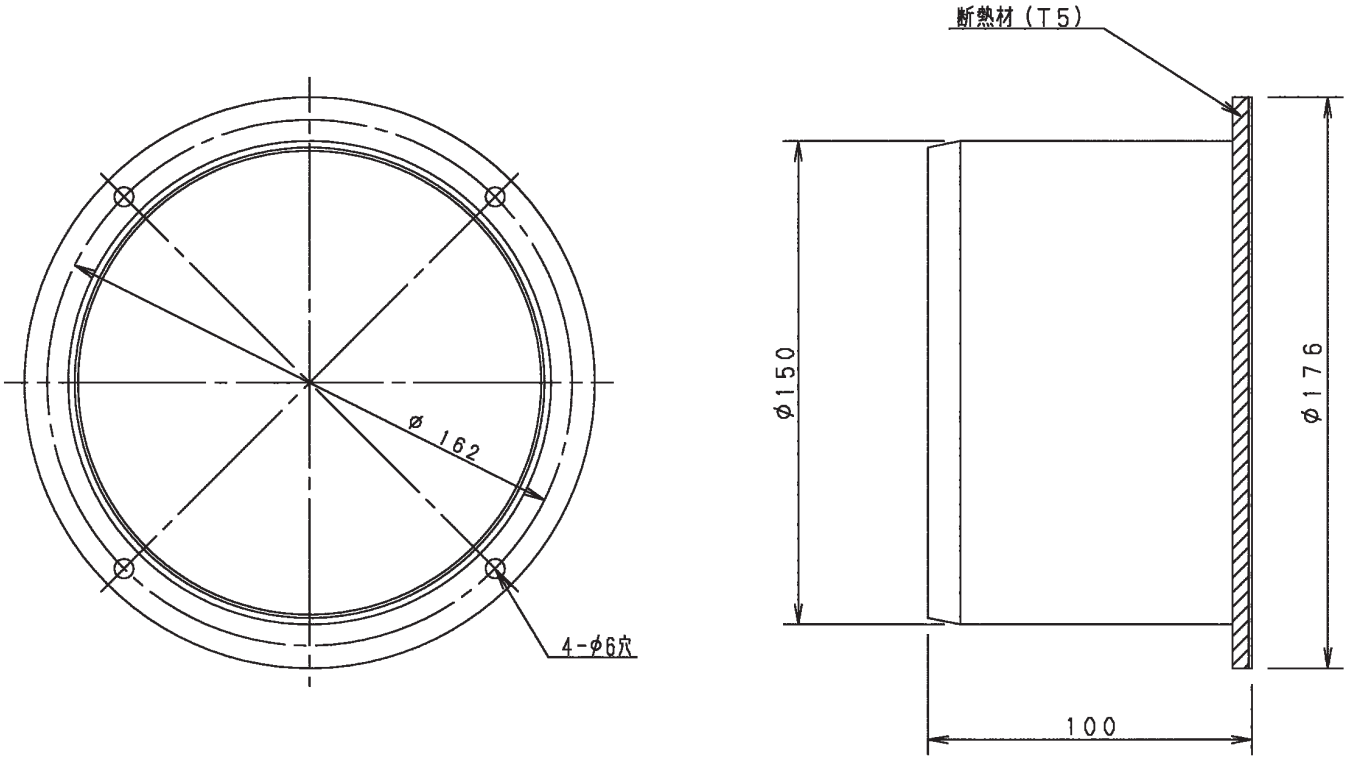




×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

■ 吹出口丸合フランジ（φ 150）<CZ-DA150A>
● 外形寸法図



据付工事説明書

丸合フランジ（φ150）

品番　CZ-DA150A

適用室内ユニット　４方向天井カセット形（Uシリーズ）２方向天井カセット形（L シリーズ）クリーン PAC / クリーンエアコン（CK・CD シリーズ）＊　（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
- ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）
- ■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

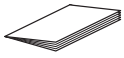
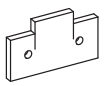
⃠
- ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
- ・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- ・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	丸合フランジ	取付ネジ	据付工事説明書	シール用断熱材 A	シール用断熱材 B
個数	1	4	1	2	2
形状	 φ150	 M4×12	 本説明書 お客さまに必ず渡してください		

ACXF60-31564
BE0518 - 40823

●丸合フランジ（φ 150）

2. 取り付けかた

●取り付け前の準備

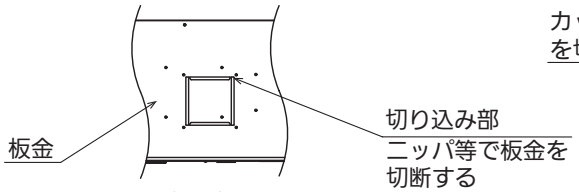
丸合フランジの使用には、別売品のフレキシブルダクト（丸）が必要ですので用意してください。
取り付け可能なフレキシブルダクト長については、別途、設備設計資料をご確認ください。
フレキシブルダクトの取り付けかたについては、フレキシブルダクトに同梱されている取付説明書を参照してください。

丸合フランジ	フレキシブルダクト（丸）
CZ-DA150A	CZ-F1510　φ150　1m CZ-F1520　φ150　2m

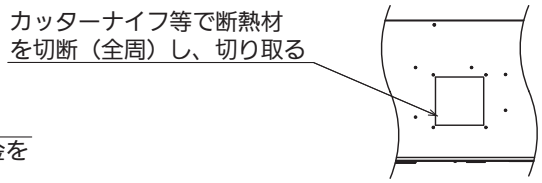
使いかたにより、別売品のしゃ風材が必要になりますので組み合わせをご確認の上、用意してください。
※使いかたは、各しゃ風材に同梱されている据付工事説明書を参照してください。

●取り付けかた（共通）

（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切り取ってください。(図1)
（2）室内ユニット断熱材（スチロールまたはポリエチレン）をカッターナイフ等で切断し、切り取ってください。（図2）
注意　断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
断熱材を切断するとき、カッターナイフ等の刃は30㎜以上差し込まないよう注意してください。
(内部のドレンパンおよび熱交換器を傷つけると、水漏れの原因になります。)



（図1）

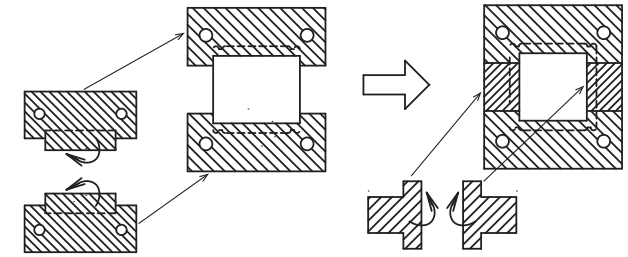


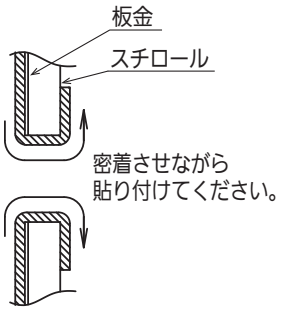
（図2）

（3）断熱材がスチロールの機種については必ず下記の 断熱材貼り付け手順 に従い、シール用断熱材A・Bを貼り付けてください。ただし、クリーンPAC / クリーンエアコンの場合は本手順は不要です。
スチロールと板金の間に隙間があると結露等の問題が発生します。（図3）

断熱材貼り付け手順

付属のシール用断熱材Aをネジ穴に合わせて貼り付けた後、
シール用断熱材Bを貼り付けてください。

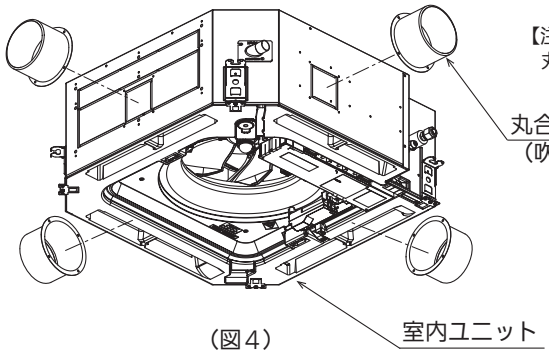




（図3）

●取り付けかた（４方向天井カセット形の場合）

丸合フランジの使用には、別売品のしゃ風材が必要になります。
室内ユニット断熱材はスチロールです。上記の 断熱材貼り付け手順 に従い、シール用断熱材A・Bを貼り付けてください。
丸合フランジを付属の取付ネジ４本で取り付けてください。（図4）

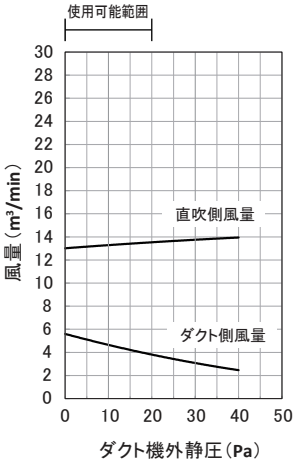


（図4）

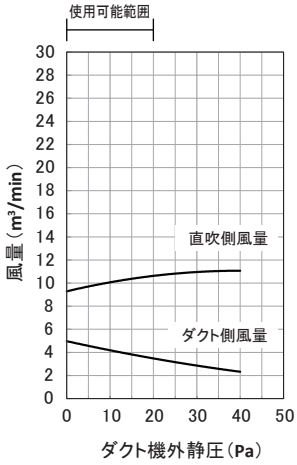
● 送風機特性線図＜ CZ-DA150A ＞

40, 45形

3方向吹出し

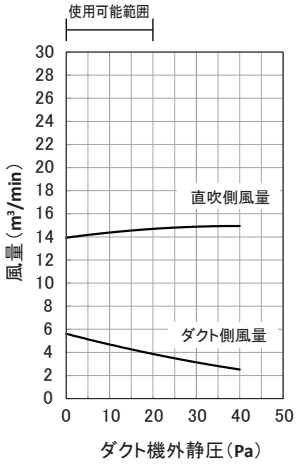


2方向吹出し

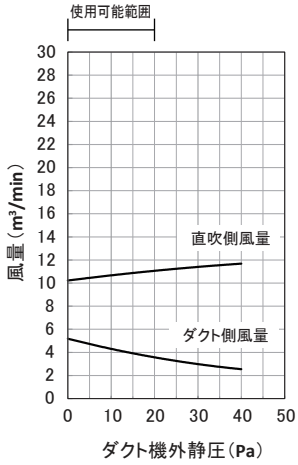


50, 56形

3方向吹出し

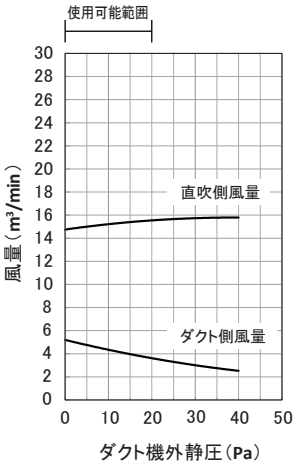


2方向吹出し

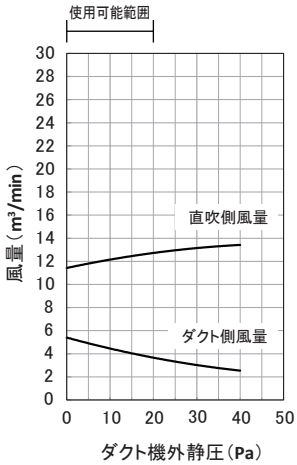


63形

3方向吹出し

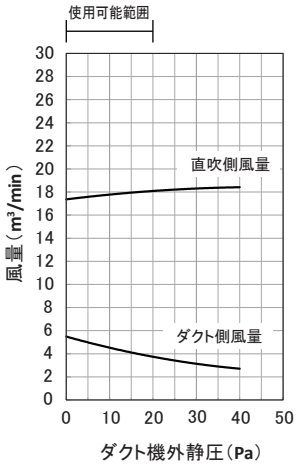


2方向吹出し

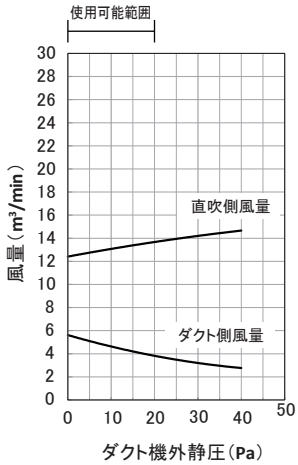


71, 80H形

3方向吹出し



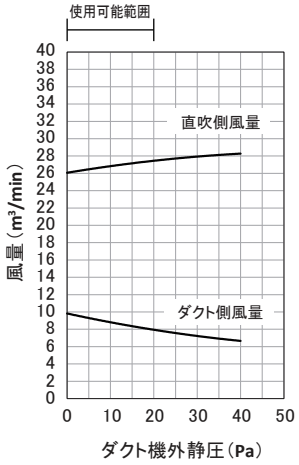
2方向吹出し



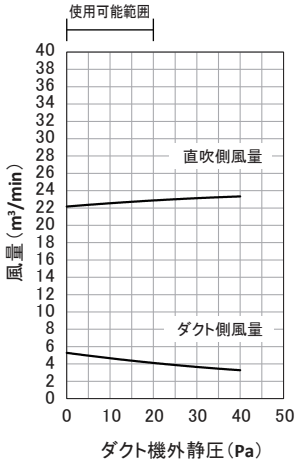
● 送風機特性線図＜ CZ-DA150A ＞

112形

3方向吹出し

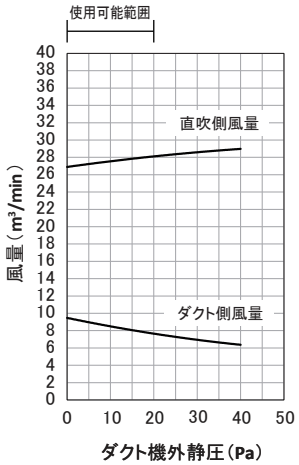


2方向吹出し

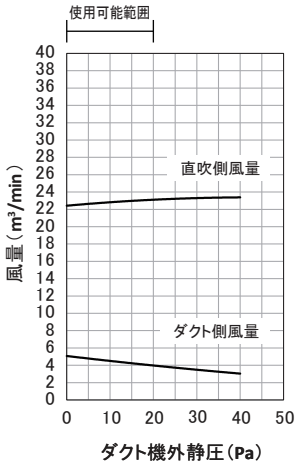


140, 160形

3方向吹出し



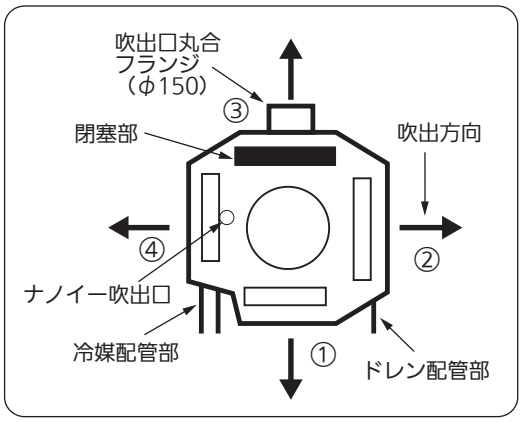
2方向吹出し



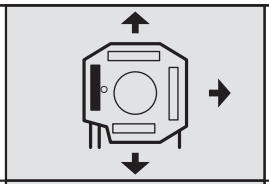
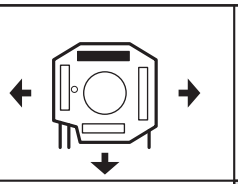
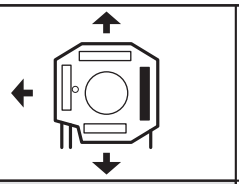
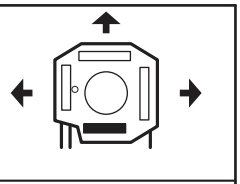
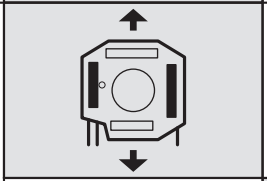
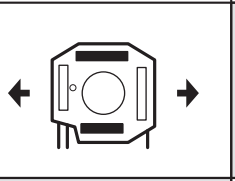
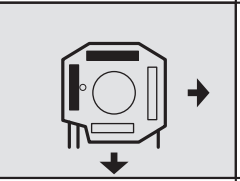
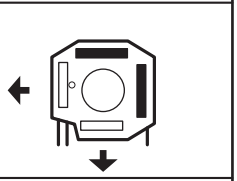
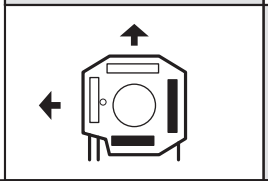
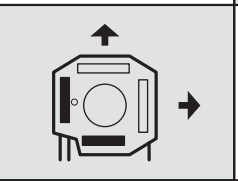
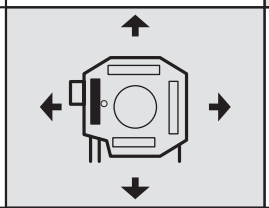
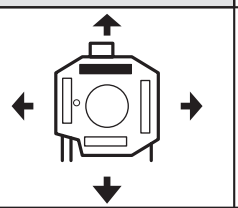
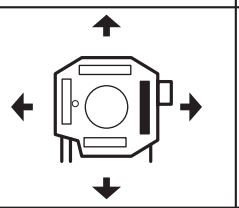
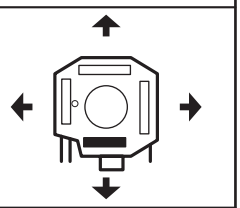
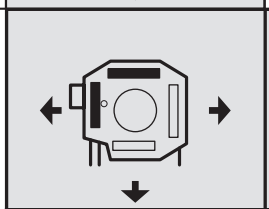
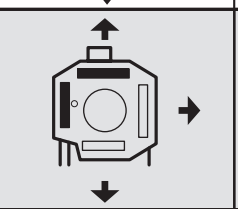
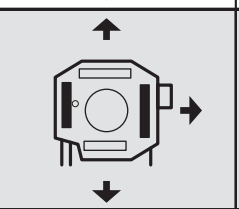
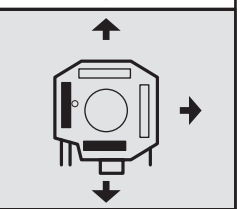
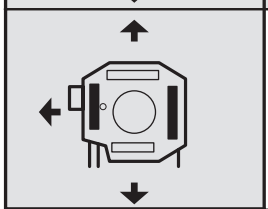
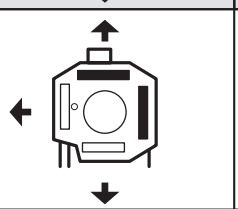
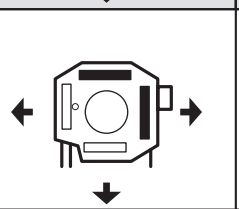
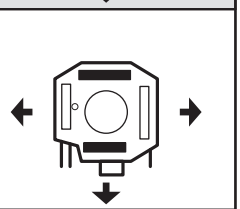
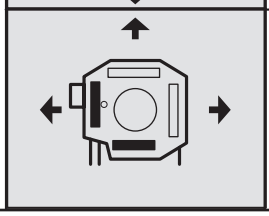
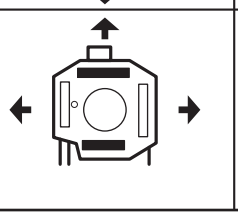
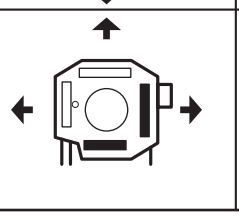
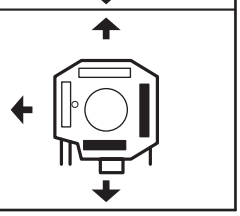
● 吹出口閉塞パターン(室ないユニット下部より見た状態)

・ 3方向吹出し，2方向吹出し時、および吹出口丸合フランジ(φ150)接続時は、下記の吹出口閉塞パターンに従って吹出口閉塞を行ってください。
また、下表を参照の上、配管部の位置をご検討ください。
(イラストの見かたは右図参照)
吹出口丸合フランジ（φ150）の取り付けは結露防止のため、冷風漏れ、断熱不足のないようにしてください。

〈ご注意〉
④の吹出口を閉塞すると、「ナノイー X」の効果はなくなります。
(下表網掛けの吹出口閉塞パターン)
必ずナノイー設定をオフにしてください。設定についてはワイヤードリモコンの取扱説明書をご覧ください。
(ナノイーを操作する時は、多機能リモコン（CZ-10RT4C）もしくはワイヤレスリモコン（CZ-10RWP2）が必要です。)



・ 下表の吹出口閉塞パターン以外は絶対に行わないでください。

3方向吹出し 1か所を閉塞可能です。				
2方向吹出し 2か所を閉塞可能です。				
				
吹出口丸合フランジ （φ150）接続 3方向吹出し 1か所を閉塞しダクトに 接続可能です。				
吹出口丸合フランジ （φ150）接続 2方向吹出し 2か所を閉塞しダクトに 接続可能です。 注）ダクト接続はどちらか1か所のみ可能です。				
				
				

●DCファンタップ設定変更

「4.ＤＣファンモータータップの選択」に従って、ワイヤードリモコン　または室内コントロール基板（ディップスイッチ）の設定を行ってください。

● 吹出口丸合フランジ（φ 150）取付図（エコナビパネル使用）

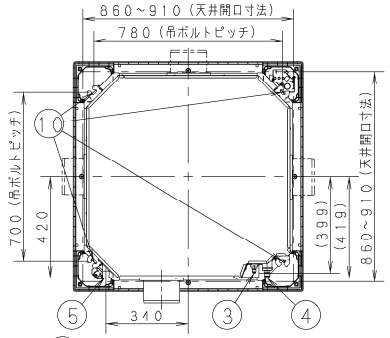
・ CZ-DA150A 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

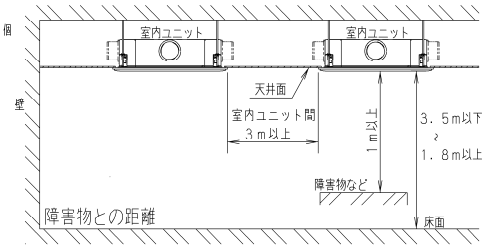
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ（φ150）（別売品）※1 CZ-DA150A
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	エコノじパネル（別売品） CZ-160KPEU7B(-K)
13	ナノイーX LED ※3
14	しゃ風材（別売品）CZ-160CFU7
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3
16	エコナビセンサー ※3

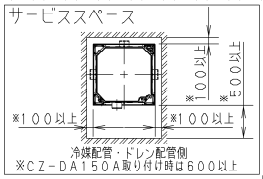
※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開差パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。

※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。《フィルター寸法》
また、しゃ風材が必須となります。　（520×520×15）※1個

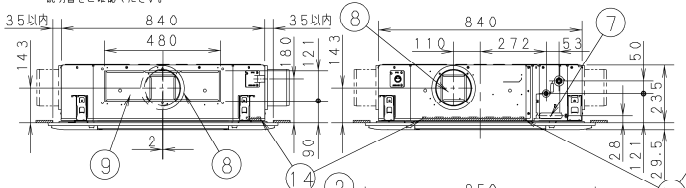
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

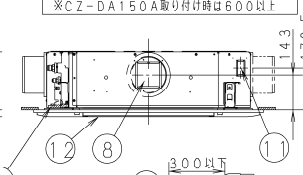


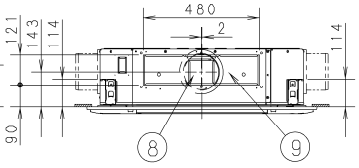


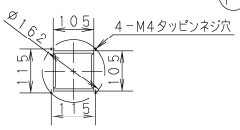


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛ひが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

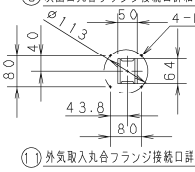




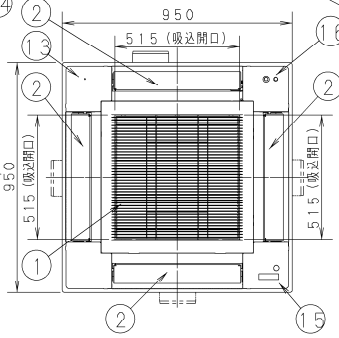


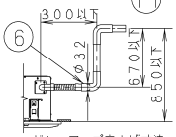


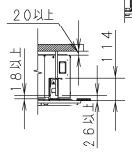
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）

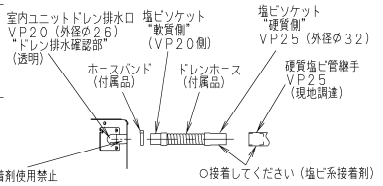


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）









×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

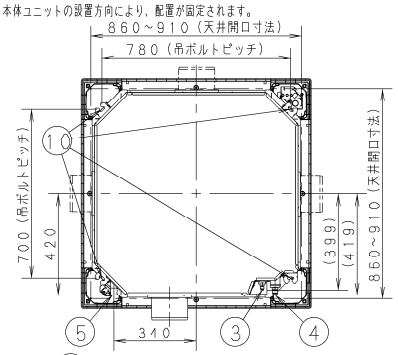
・ CZ-DA150A 〔適用機種：63,71,80H 形〕

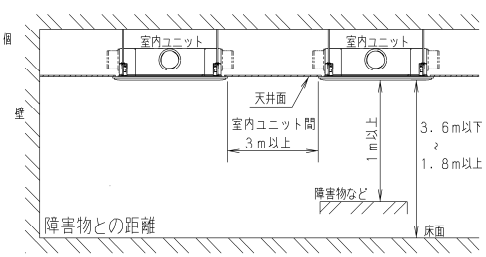
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ（φ150）（別売品）※1 CZ-DA150A
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	エコノじパネル（別売品） CZ-160KPEU7B(-K)
13	ナノイーX LED ※3
14	しゃ風材（別売品）CZ-160CFU7
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3
16	エコナビセンサー ※3

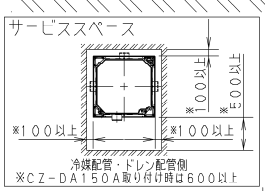
※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開差パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。

※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。《フィルター寸法》
また、しゃ風材が必須となります。　（520×520×15）※1個

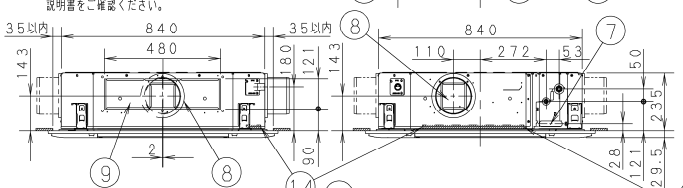
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

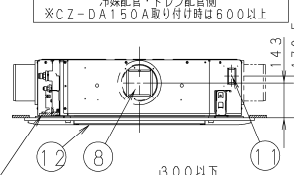


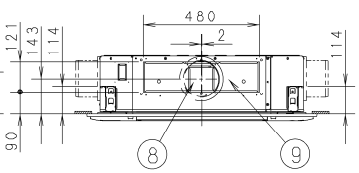


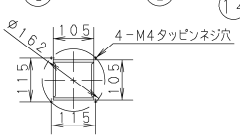


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛ひが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

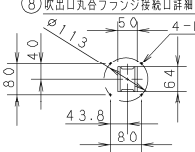




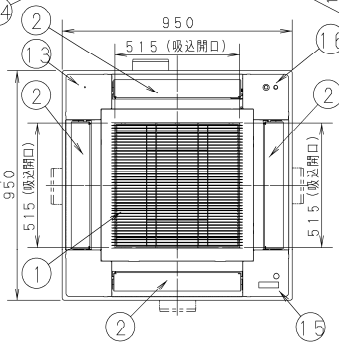


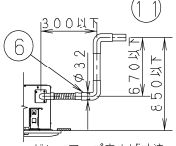


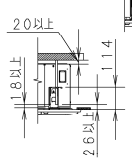
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）

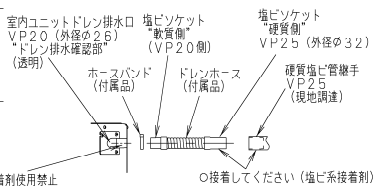


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）









×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

● 吹出口丸合フランジ（φ 150）取付図（エコナビパネル使用）

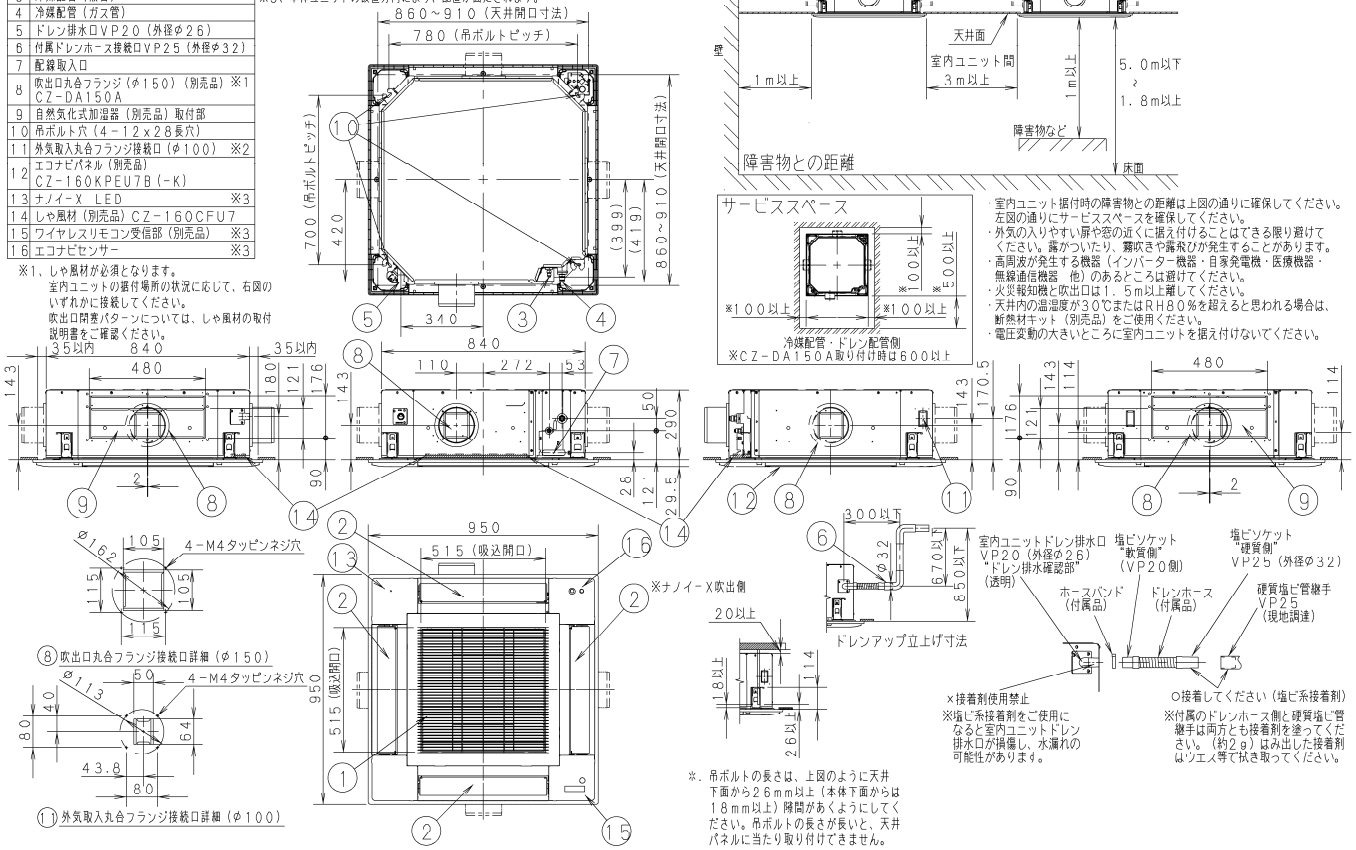
・ CZ-DA150A〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ（φ１５０）（別売品）※1 CZ-DA150A
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００） ※2
12	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B(-K)
13	ナノイーＸ　ＬＥＤ ※3
14	しゃ風材（別売品）ＣＺ－１６０ＣＦＵ７
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3
16	エコナビセンサー ※3

※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開差パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。

※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。《フィルター寸法》（５２０×５２０×１５）※１個
また、しゃ風材が必須となります。

※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。霧がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

● 吹出口丸合フランジ（φ 150）取付図（標準パネル使用）

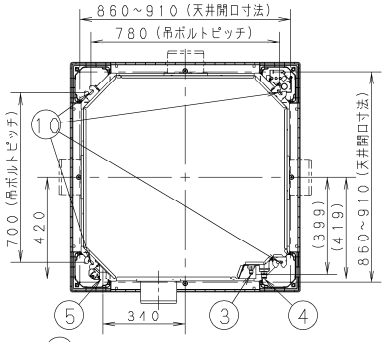
・ CZ-DA150A 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

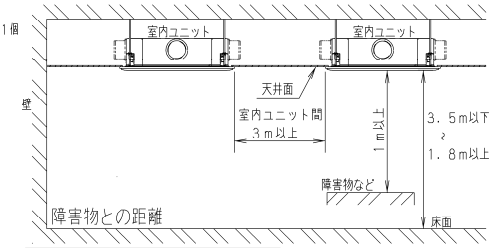
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ（φ150）（別売品）※1 CZ-DA150A
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
13	ナノイー X LED ※3
14	しゃ風材（別売品）CZ-160CFU7
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3

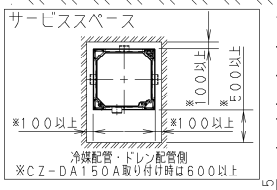
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。《フィルター寸法》
また、しゃ風材が必須となります。（520×520×15）※1個

※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

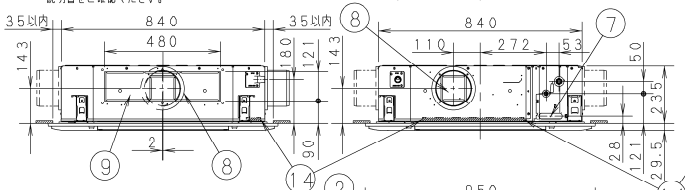
※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開口パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。

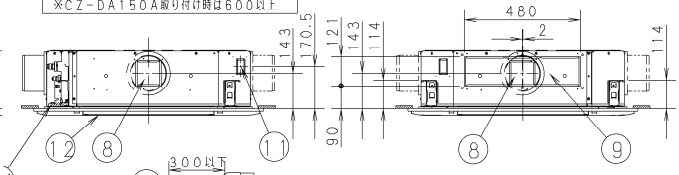


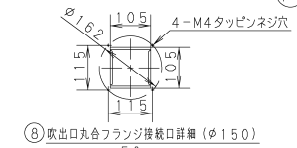




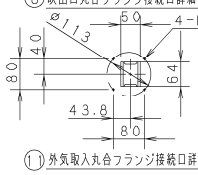
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器 他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



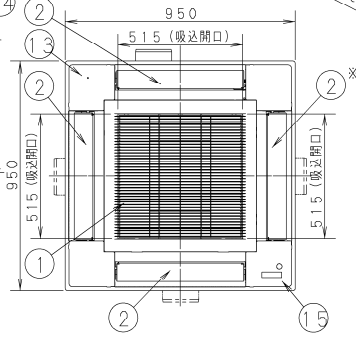




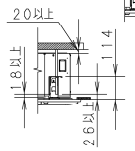
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）



⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）







×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエメ等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26ｍｍ以上（本体下面からは18ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

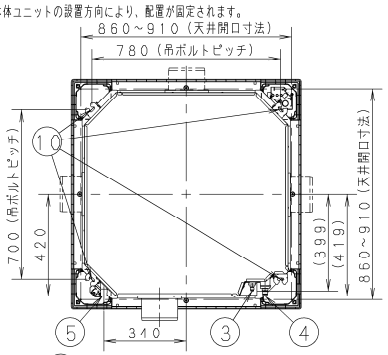
・ CZ-DA150A〔適用機種：63,71,80H 形〕

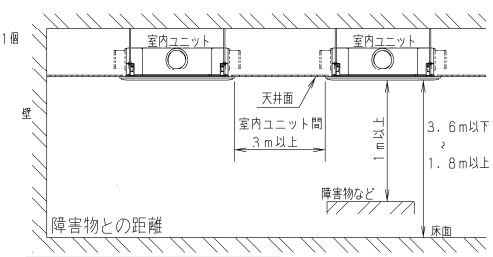
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ（φ150）（別売品）※1 CZ-DA150A
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
13	ナノイー X LED ※3
14	しゃ風材（別売品）CZ-160CFU7
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3

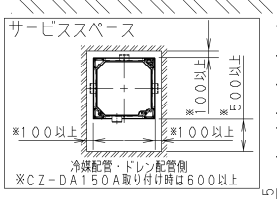
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。《フィルター寸法》
また、しゃ風材が必須となります。（520×520×15）※1個

※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

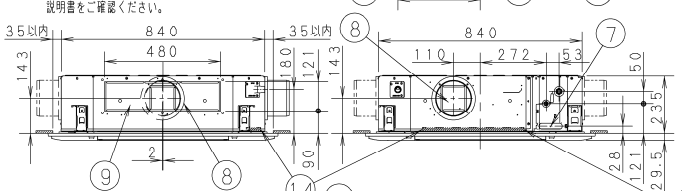
※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開口パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。

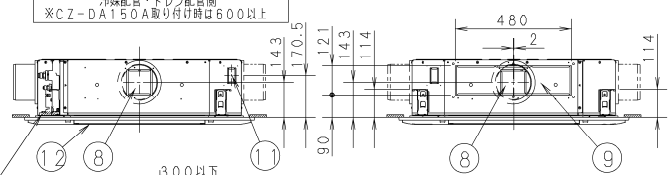


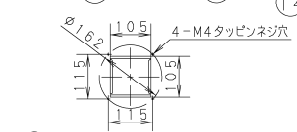




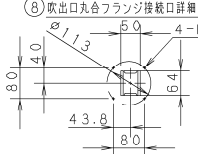
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器 他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



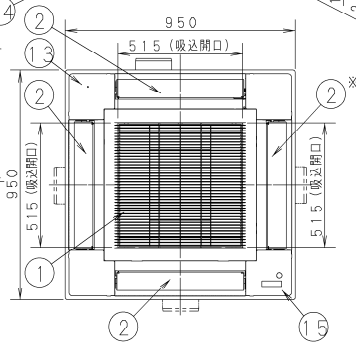


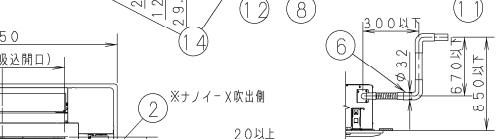


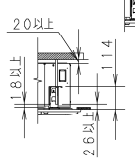
⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ150）



⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）







×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエメ等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26ｍｍ以上（本体下面からは18ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

● 吹出口丸合フランジ（φ 150）取付図（標準パネル使用）

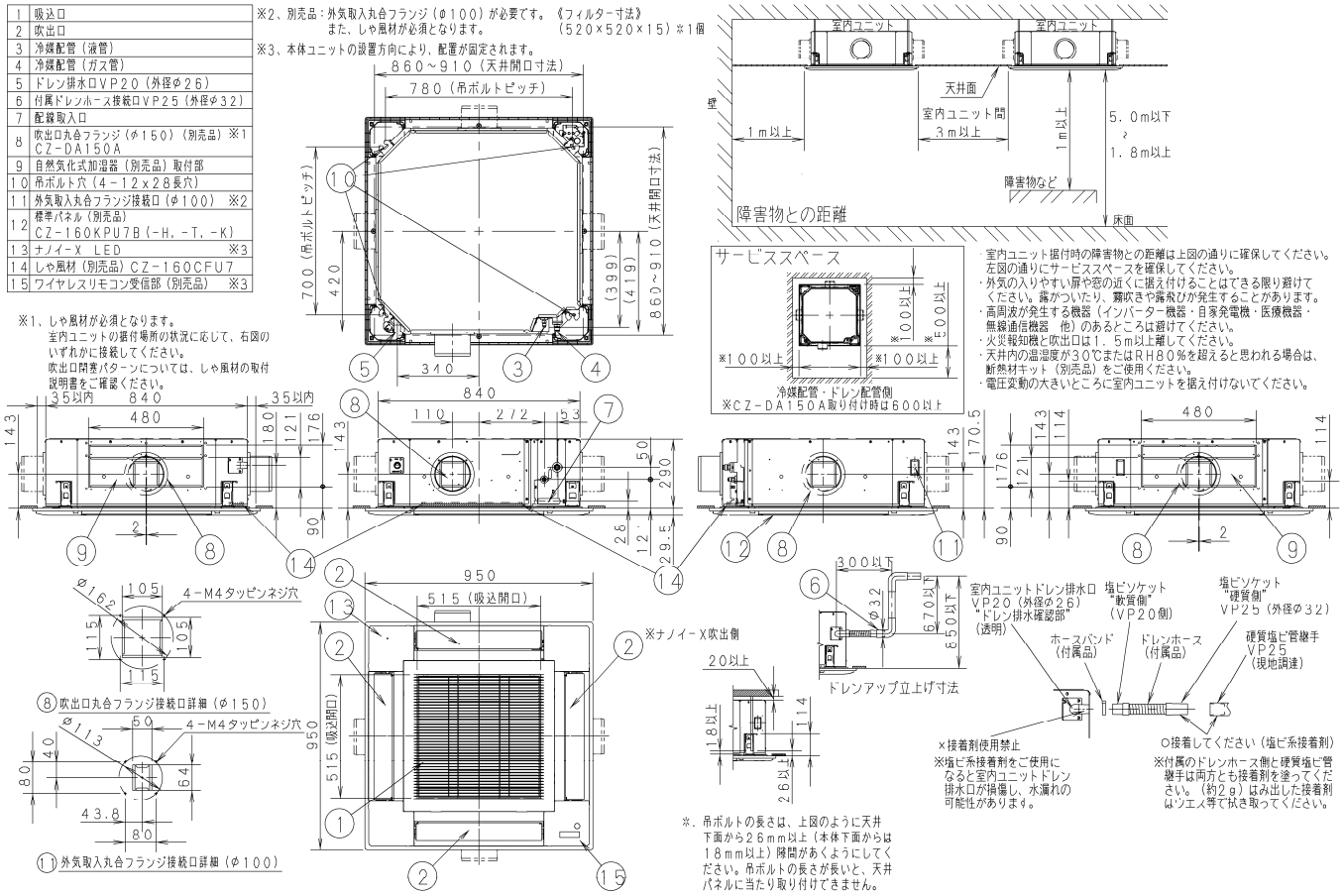
・ CZ-DA150A〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ（φ１５０）（別売品）※1 CZ-DA150A
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００） ※2
12	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
13	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※3
14	しゃ風材（別売品）ＣＺ－１６０ＣＦＵ７
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

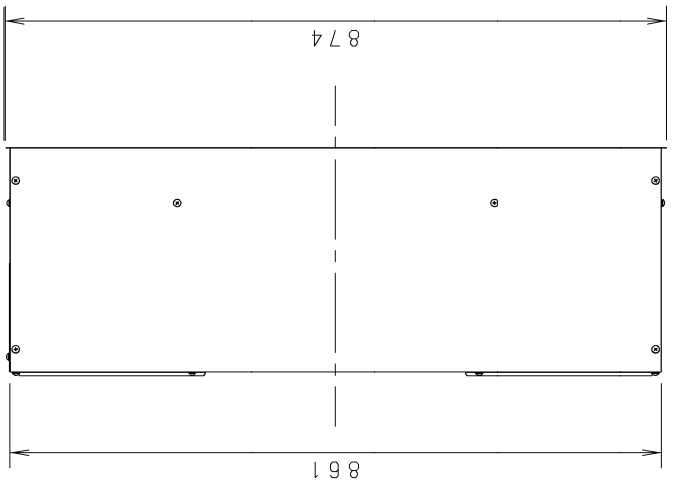
※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開孔パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。

※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。《フィルター寸法》
また、しゃ風材が必須となります。　（５２０×５２０×１５）※1個

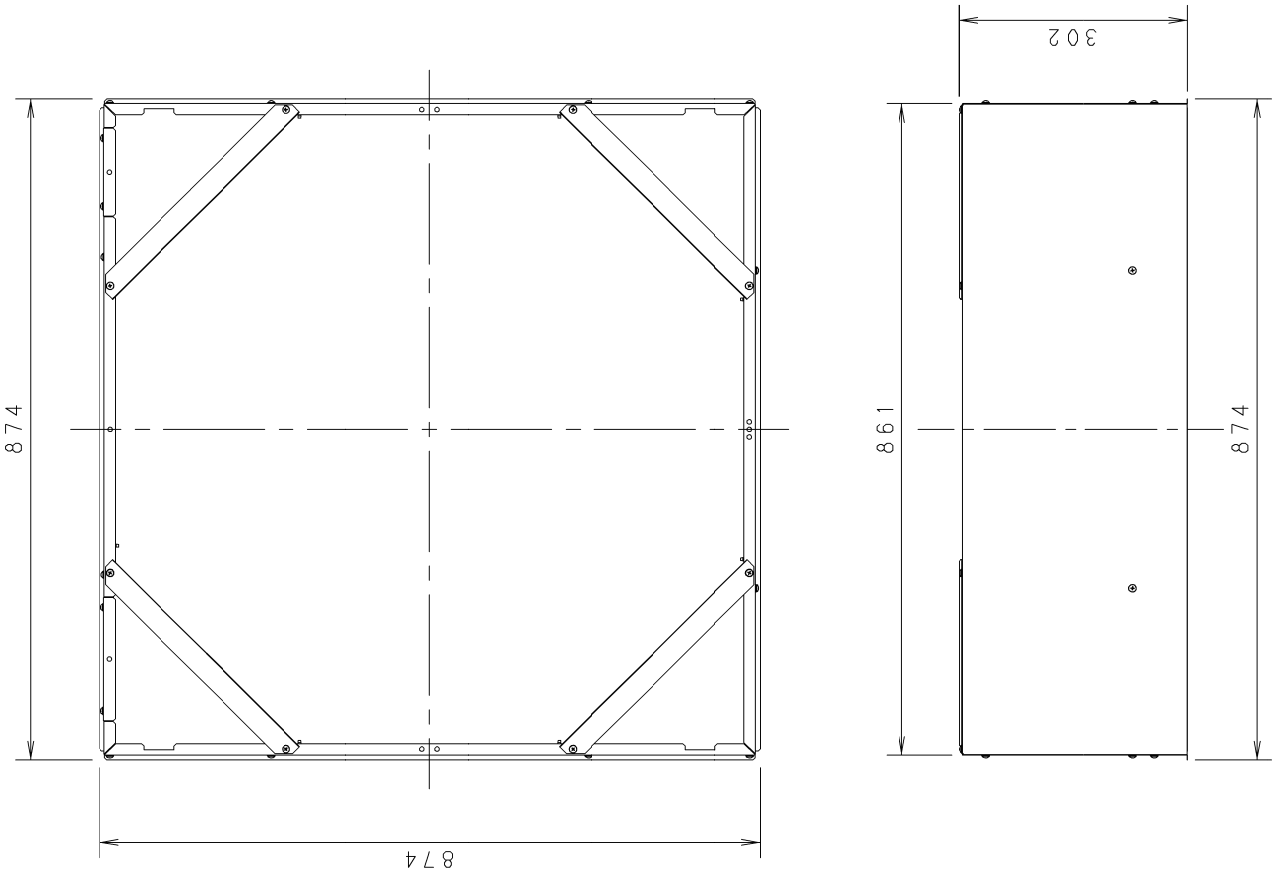
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



■ スケルトン天井用側面カバー (塗装色 / 白) 〈CZ-160SKU7〉
● 外形寸法図



<外装色>　(マンセル記号)
ホワイト　(N9．3)



据付工事説明書

スケルトン天井用側面カバー

品番　CZ-160SKU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。	❗⏚　実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- スケルトン天井用側面カバーは２８～１６０形まで共通で使用できます。
- スケルトン天井用側面カバーは、室内ユニットの冷媒配管・ドレン配管終了後に、室内ユニットに取り付けてください。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-46131
BE1221-10823

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

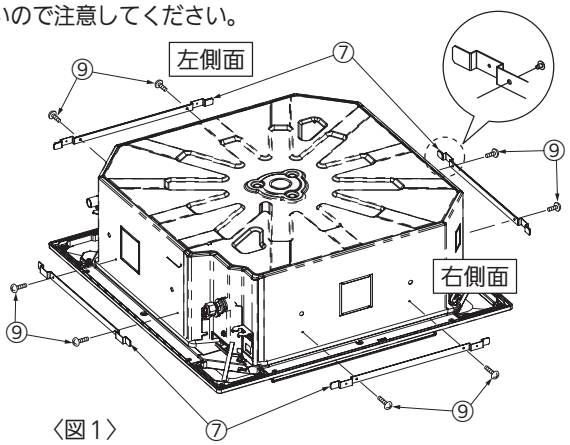
部品番号	名　　称	個数	部品番号	名　　称	個数	部品番号	名　　称	個数
①	化粧パネル１(配管側)	1	④	配管部カバー	1	⑧	化粧ネジ(２本予備)	30
②	化粧パネル２(左右側面)	2	⑤	ドレン部カバー	1	⑨	取付ネジ(２本予備)	10
③	化粧パネル３ (配管側反対面)	1	⑥	補強金具	4	⑩	据付工事説明書	1
			⑦	固定金具	4			

2. 取り付けかた

＊取り付け時のご注意＊

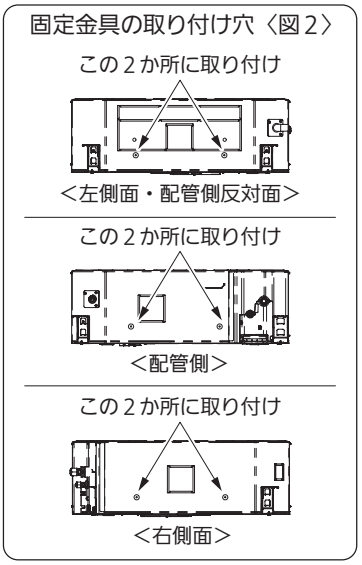
- ⑦固定金具は、曲げ形状の内側の穴を使用して取り付けてください。〈図１－拡大図参照〉
- 化粧パネル天面（A部）に部品番号と等しい数の穴（1～3個）が開いているので、穴の数で部品を見分けてください。〈図３－A部拡大図参照〉
- 化粧パネルは、①→③→②(右側面)→②(左側面）の順番で取り付けてください。
- 取り付け面と取り付け順序を間違えると、化粧パネルが取り付けられないので注意してください。

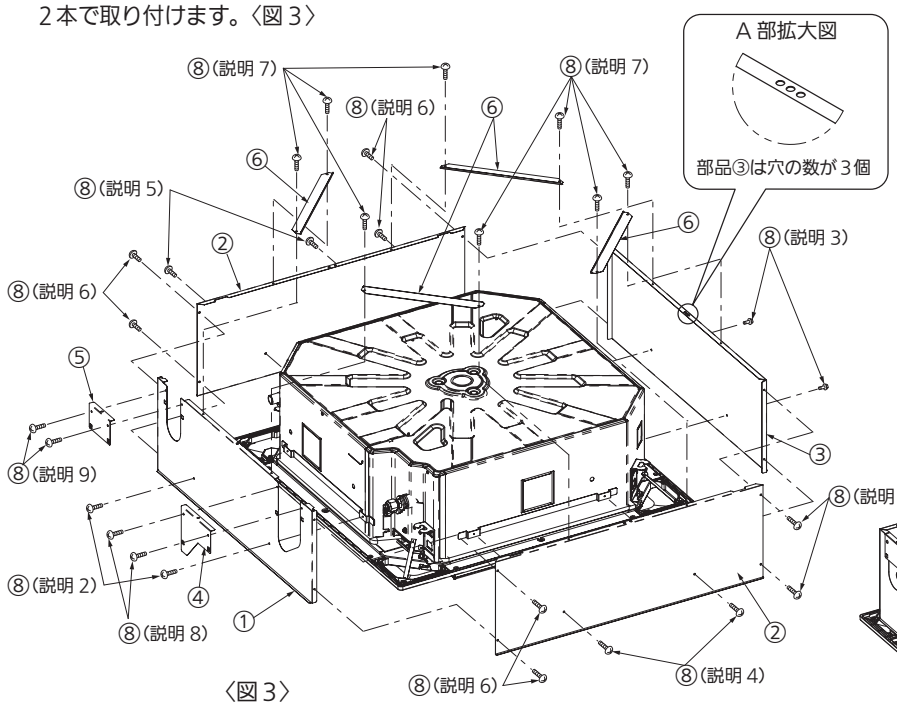
1. ⑦固定金具４個を、それぞれ⑨取付ネジ２本で、側面４か所に取り付けます。〈図１〉〈図２〉
2. ①化粧パネル１を、⑧化粧ネジ２本で、⑦固定金具の２か所の穴に取り付けます。〈図３〉
3. ①化粧パネル１の反対面に、③化粧パネル３を、⑧化粧ネジ２本で⑦固定金具の２か所の穴に取り付けます。〈図３〉
4. ①化粧パネル１の右側面に、②化粧パネル２を、⑧化粧ネジ２本で⑦固定金具の２か所の穴に取り付けます。〈図３〉
5. ①化粧パネル１の左側面に、②化粧パネル２を、⑧化粧ネジ２本で⑦固定金具の２か所の穴に取り付けます。〈図３〉
6. ②化粧パネル２の両端をそれぞれ、⑧化粧ネジ２本ずつで、①化粧パネル１と③化粧パネルの２か所の穴に取り付けます。〈図３〉
7. ⑥補強金具を、それぞれ⑧化粧ネジ２本で４か所に取り付けます。〈図３〉
8. ④配管部カバーの爪を①化粧パネル１の角穴にはめ込み、⑧化粧ネジ２本で取り付けます。〈図３〉
9. ⑤ドレン部カバーの爪を①化粧パネル１の角穴にはめ込み、⑧化粧ネジ２本で取り付けます。〈図３〉



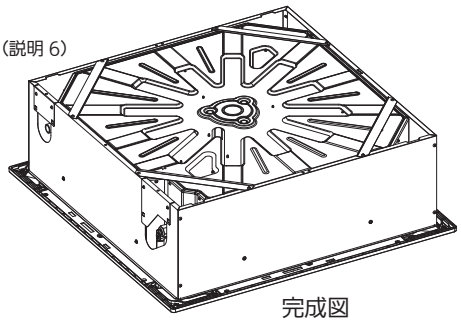
〈図１〉

固定金具の取り付け穴〈図２〉





〈図３〉

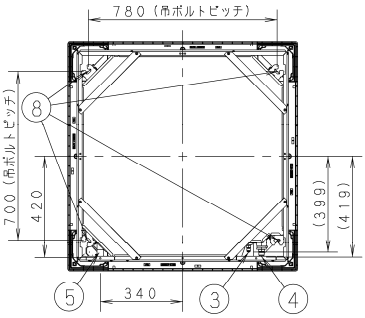

完成図

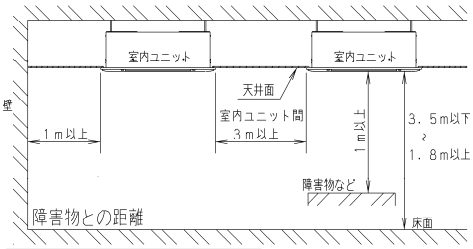
● スケルトン天井用側面カバー(塗装色/ 白)取付図（エコナビパネル使用）

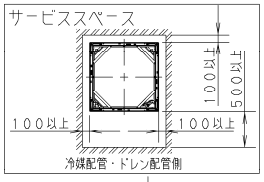
・ CZ-160SKU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口	
2	吹出口	
3	冷媒配管（液管）	
4	冷媒配管（ガス管）	
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）	
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）	
7	配線取入口	
8	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）	
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品） ＣＺ－１６０ＳＫＵ７	
10	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）	
11	ナノイーＸ　ＬＥＤ	※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）	※1
13	エコナビセンサー	※1

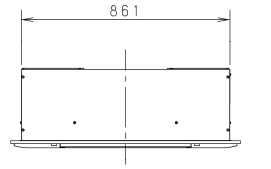
※1、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

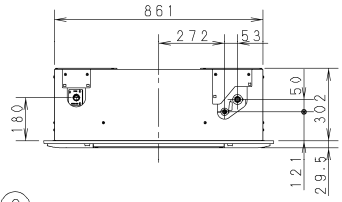


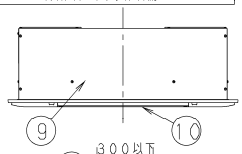


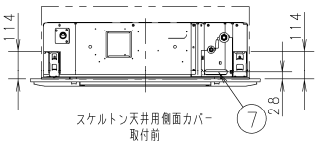


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

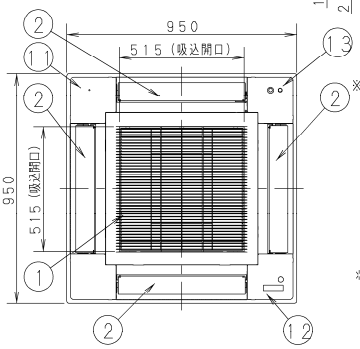


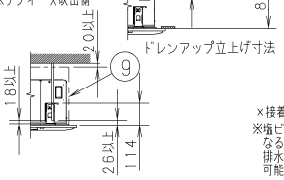




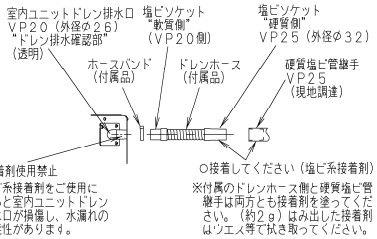


※本体高さ寸法は２３５ｍｍ、カバー取り付け寸法は３０２ｍｍになります。





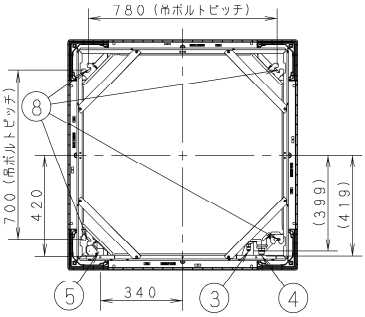
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

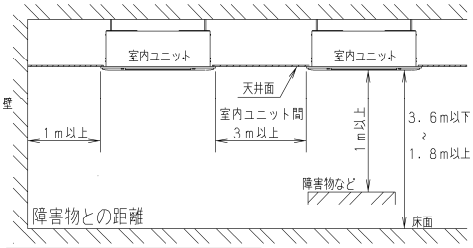


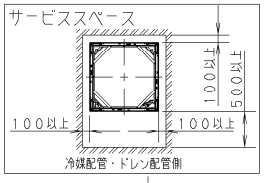
・ CZ-160SKU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口	
2	吹出口	
3	冷媒配管（液管）	
4	冷媒配管（ガス管）	
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）	
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）	
7	配線取入口	
8	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）	
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品） ＣＺ－１６０ＳＫＵ７	
10	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）	
11	ナノイーＸ　ＬＥＤ	※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）	※1
13	エコナビセンサー	※1

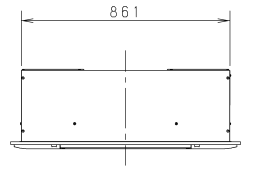
※1、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

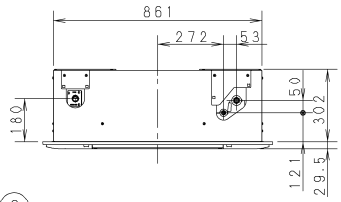


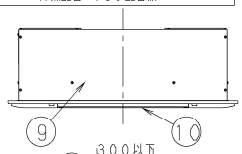


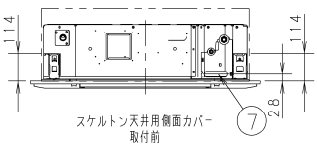


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

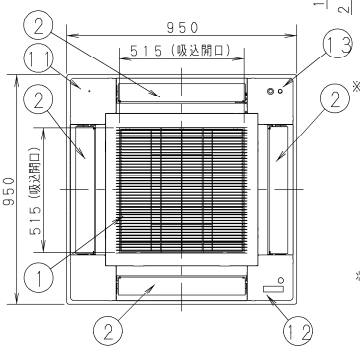


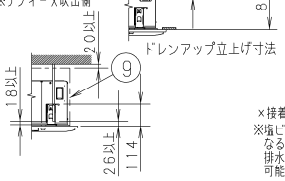




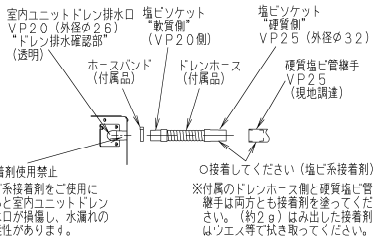


※本体高さ寸法は２３５ｍｍ、カバー取り付け寸法は３０２ｍｍになります。





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

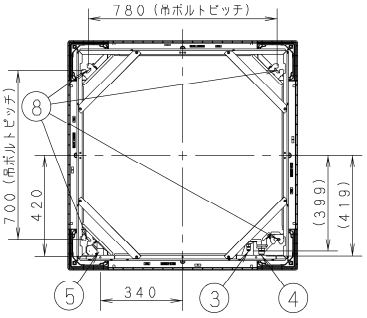


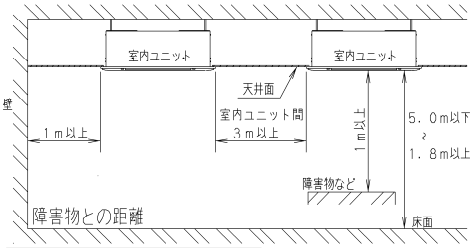
● スケルトン天井用側面カバー（塗装色 / 白）取付図（エコナビパネル使用）

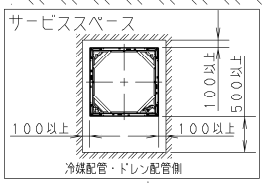
・ CZ-160SKU7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品） ＣＺ－１６０ＳＫＵ７
10	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
11	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※1
13	エコナビセンサー　※1

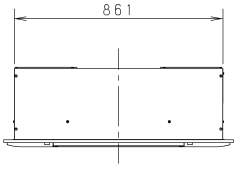
※1、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

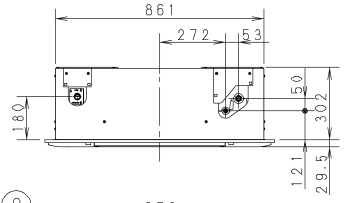


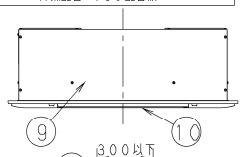


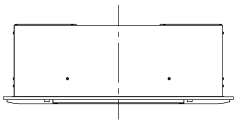


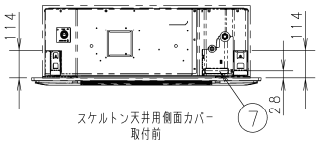
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。





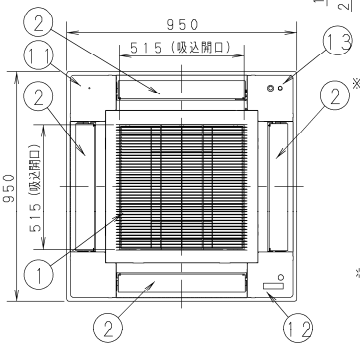


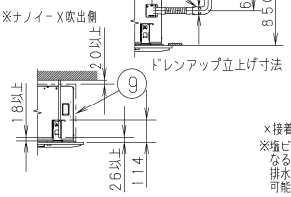




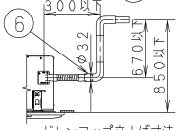
スケルトン天井用側面カバー
取付前

※本体高さ寸法は２９０ｍｍ、カバー取り付け寸法は３０２ｍｍになります。

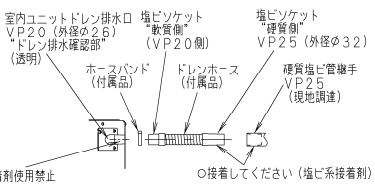




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



ドレンアップ立上げ寸法



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

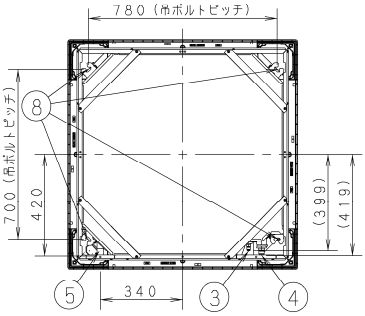
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

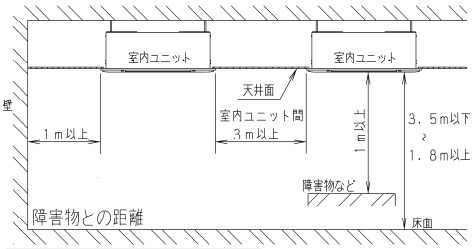
● スケルトン天井用側面カバー(塗装色/ 白)取付図（標準パネル使用）

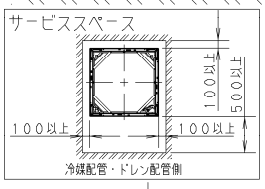
・ CZ-160SKU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品） ＣＺ－１６０ＳＫＵ７
10	標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＵ７Ｂ（－Ｈ，－Ｔ，－Ｋ）
11	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※1

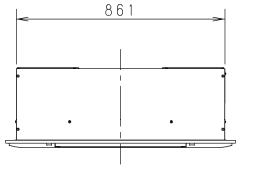
※1、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

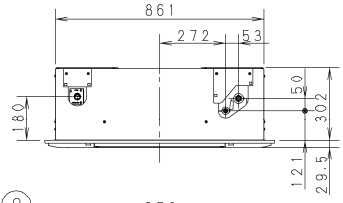


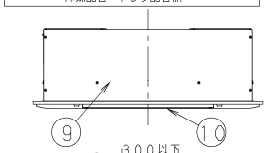


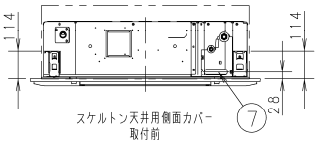


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



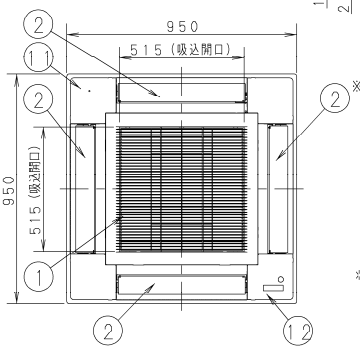


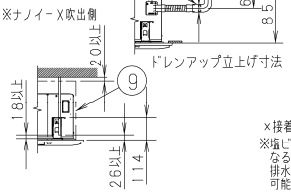




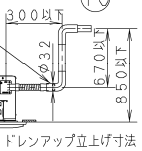
スケルトン天井用側面カバー
取付前

※本体高さ寸法は２３５ｍｍ、カバー取り付け寸法は３０２ｍｍになります。

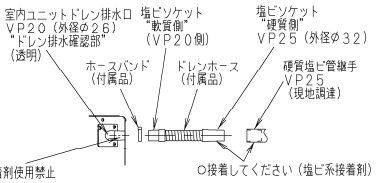




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



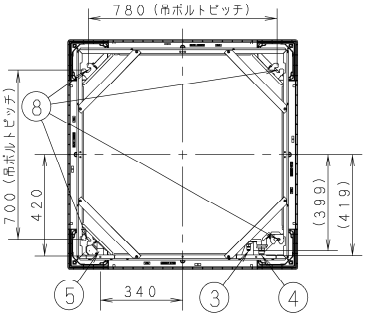
ドレンアップ立上げ寸法

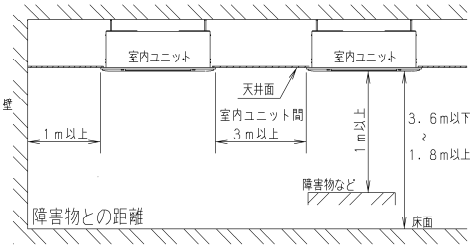


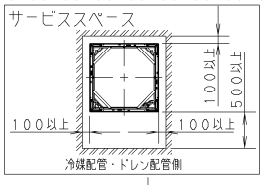
・ CZ-160SKU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品） ＣＺ－１６０ＳＫＵ７
10	標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＵ７Ｂ（－Ｈ，－Ｔ，－Ｋ）
11	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※1

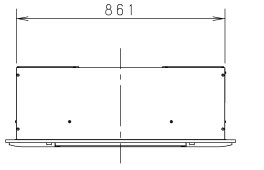
※1、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

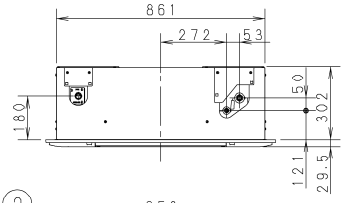


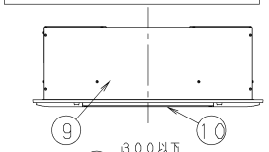


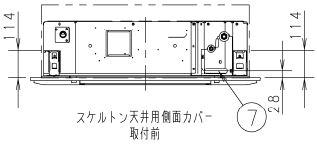


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



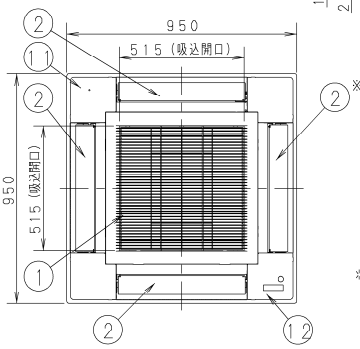


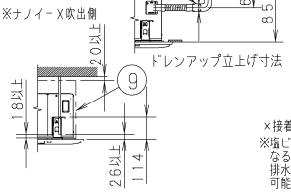




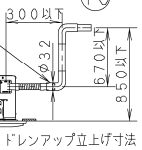
スケルトン天井用側面カバー
取付前

※本体高さ寸法は２３５ｍｍ、カバー取り付け寸法は３０２ｍｍになります。

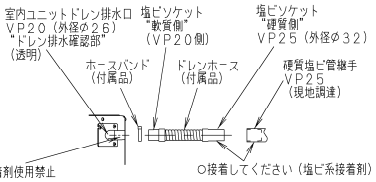




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



ドレンアップ立上げ寸法

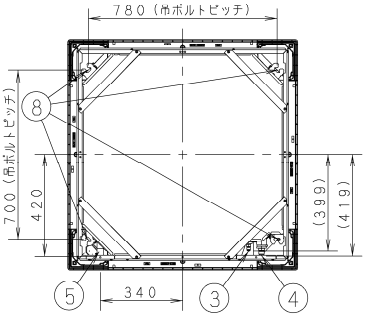


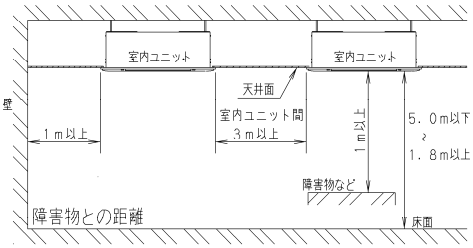
● スケルトン天井用側面カバー（塗装色 / 白）取付図（標準パネル使用）

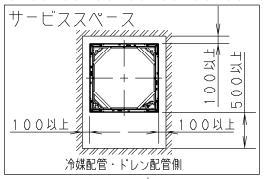
・ CZ-160SKU7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品） ＣＺ－１６０ＳＫＵ７
10	標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＵ７Ｂ（－Ｈ，－Ｔ，－Ｋ）
11	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※1

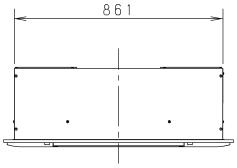
※1、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

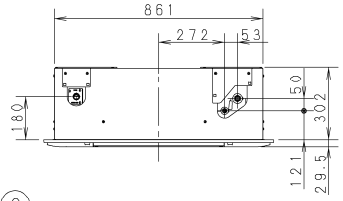


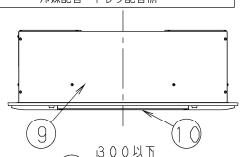


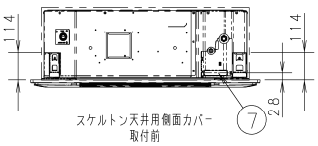


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

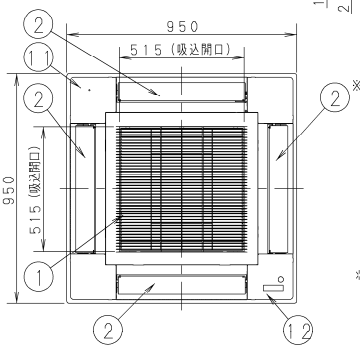


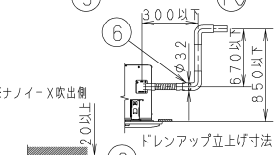


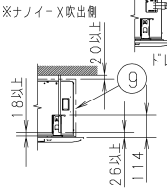




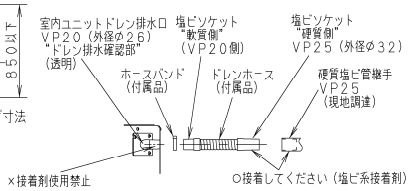
※本体高さ寸法は２９０ｍｍ、カバー取り付け寸法は３０２ｍｍになります。







※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエメ等で拭き取ってください。

■ 高湿度対応キット（CZ-160INSU7）

据付工事説明書

高湿度対応キット

品番　CZ-160INSU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ※
（※対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- 高湿度対応キットは２８～１６０形まで共通で使用できます。
- 高湿度対応キットは室内ユニット据え付け前に取り付けてください。
- 高湿度対応キットを使用する場合、別売品の組合せ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

■ 付属品
- 天井パネル取付用　一式
- 室内ユニット取付用　一式
- 据付工事説明書　１部

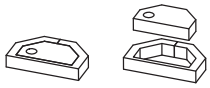
ACXF60-46152
BE0222-20224

この高湿度対応キットには、天井パネル取付用と室内ユニット取付用が同梱されています。

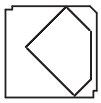
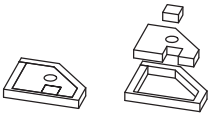
天井パネル取付用

●部品内容（コーナーカバー）　※⑤⑧は、標準コーナーカバーにも使用できます

	共通	
	①	②
形状		 幅 6 mm 長さ 34 mm
個数	4	8

	ナノイー X LED部	
	③	④
形状		 梱包時　分割時
個数	1	1

〈各受信部〉

	エコナビ用受信部		
	⑤ ※	⑥	⑦
形状		 梱包時　分割時	 幅 20 mm 長さ 280 mm
個数	1	1	1

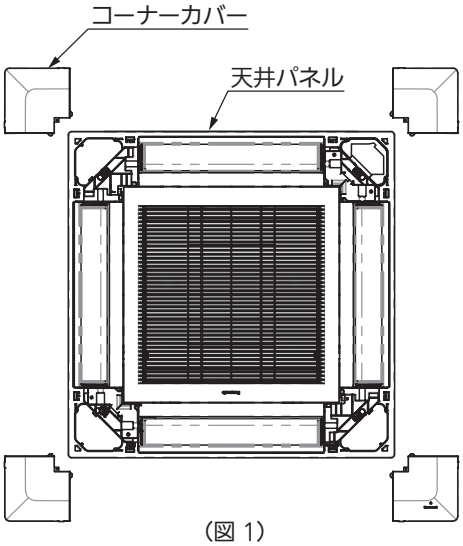
	ワイヤレスリモコン・昇降グリル用受信部		
	⑧ ※	⑨	⑩
形状			 幅 20 mm 長さ 285 mm
個数	2	2	2

●部品内容（天井パネル）

	共通	
	⑪	⑫
形状		 幅 25 mm 長さ 660 mm
個数	4	4

●取付要領

1. 四隅のコーナーカバーを取りはずします。（図１）
2. ３ページ目の図２～５にしたがって、各コーナーカバーに断熱材を取り付けます。
   ＊各受信部がある場合、各受信部のコーナーカバーから取り付けます。
   ＊各受信部に取り付ける場合は、断熱材を分割して取り付けます。
3. ３ページ目の図６にしたがって、天井パネルに断熱材を取り付けます。
4. 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
   （天井パネルの取り付けかたは、天井パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。）
5. コーナーカバーを取り付けます。落下のおそれがありますので、必ず天井パネルに付属のネジで固定してください。

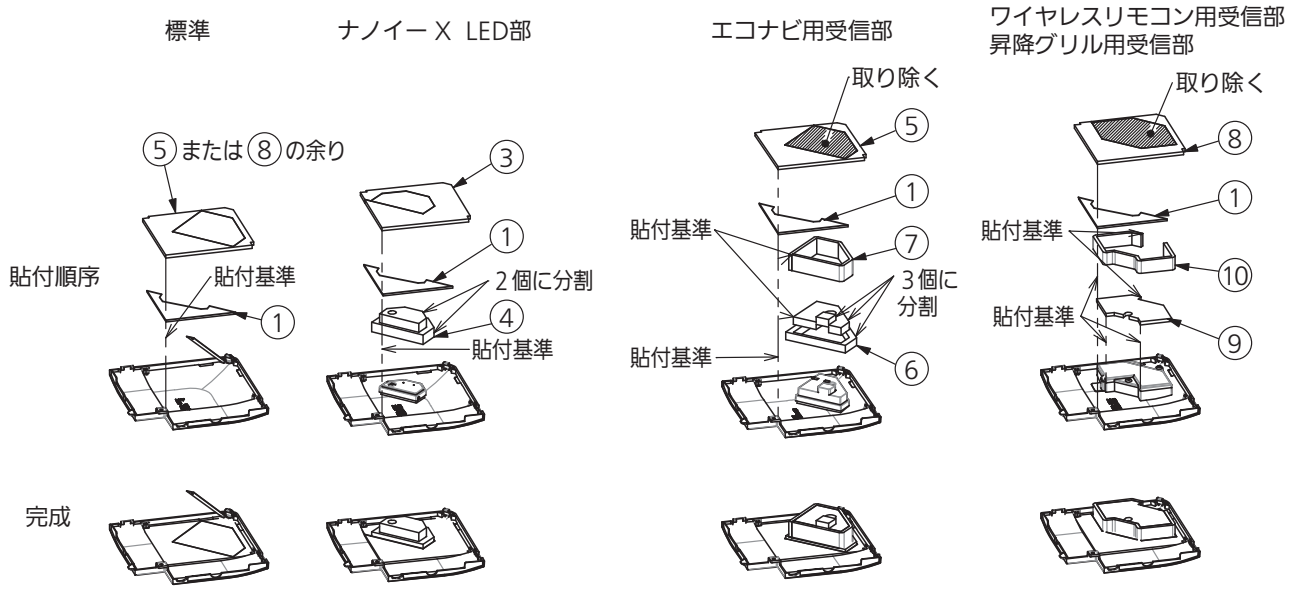


（図 1）
パネル表面

天井パネル取付用（つづき）

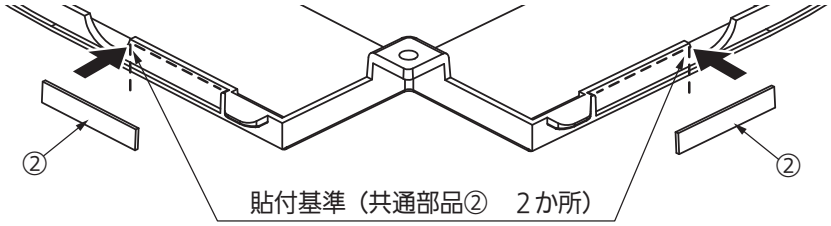
●コーナーカバーへの取り付け方　＊共通部品①は既存の断熱材と隙間ができないように取り付ける

〈標準パネル〉　〈各受信部〉

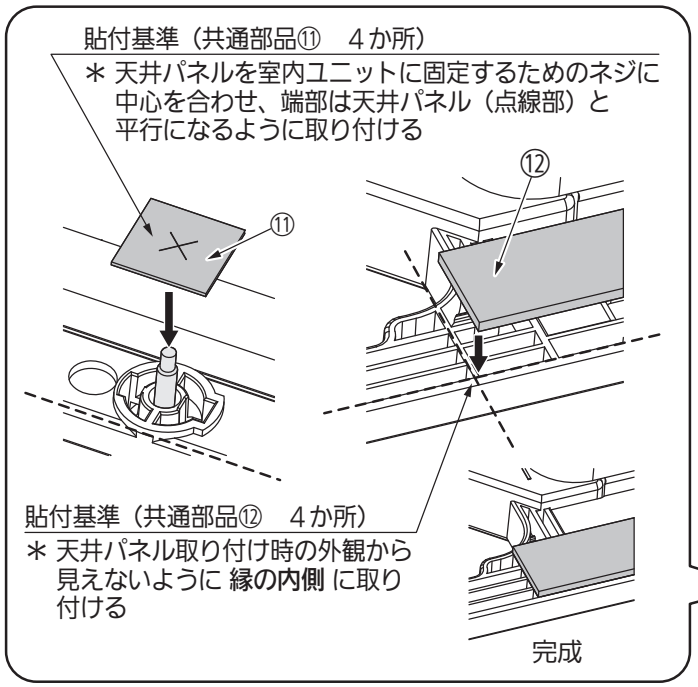


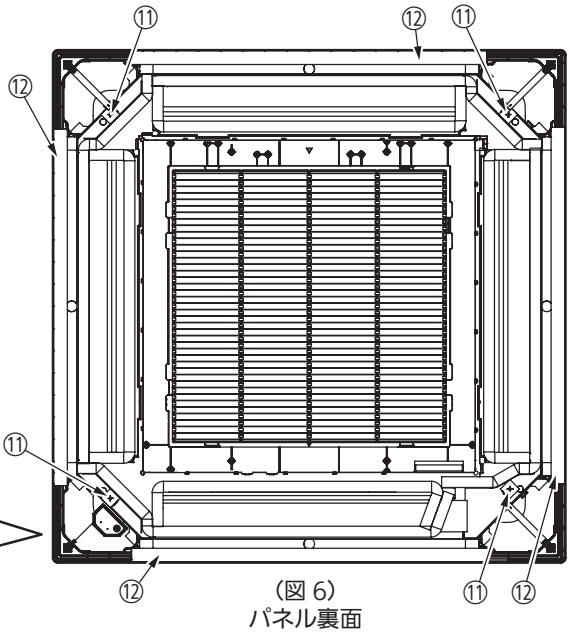
（図 2）　（図 3）　（図 4）　（図 5）

＊取り付け忘れ注意
各コーナーカバー共通



●天井パネルへの取り付け方





（図 6）
パネル裏面

室内ユニット取付用

●部品内容

名称	側板断熱材			
形状	非配管側 ① ミシン目 スリット	ドレン口側 ② ミシン目 スリット 角穴	配管側 ③ ミシン目 スリット	④
個数	2	1	1	1
名称	天井断熱材			吊金具断熱材
形状	非配管側 ⑤	中央 ⑥	配管側 ⑦	⑧
個数	1	1	1	4

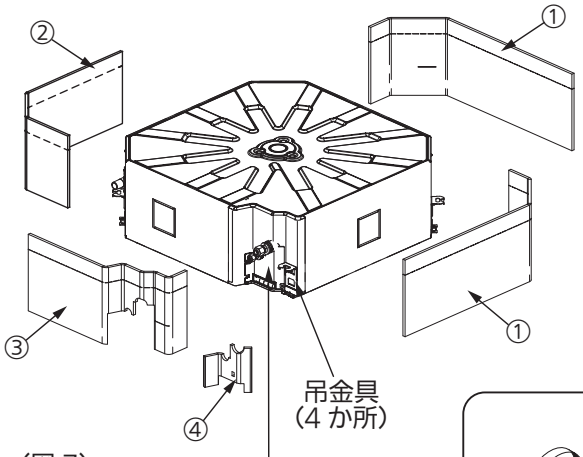
●貼付要領

＊　室内ユニットの高さは 2 種類あります（大筐体＝290㎜、小筐体＝235㎜）
小筐体に取り付ける場合は、① ～ ③ 部品のミシン目をカットしてから、貼り付けてください。

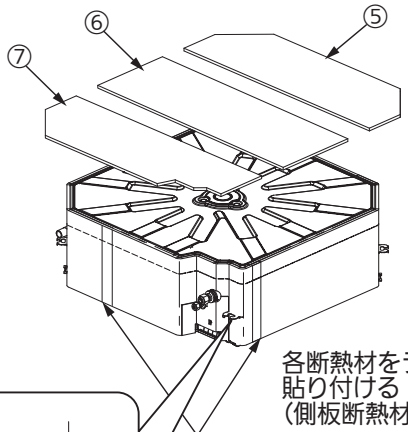
1．側板断熱材①～③のスリットを吊金具に合わせて室内ユニット側板に貼り付けてください。（図 7）
側板断熱材④を配管カバーに合わせて貼り付けてください。（図 7）
2．各断熱材をラップさせて貼り付けてください。（図 8）
3．天井断熱材⑤～⑦を隙間がないよう貼り付けてください。（図 8）

以下は、室内ユニット本体を据え付けた後に実施してください。

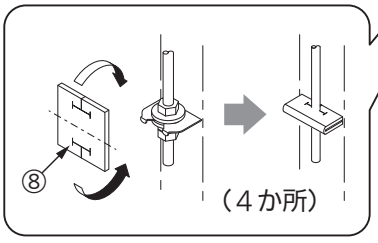
4．吊金具断熱材⑧を図の方向で吊金具をはさむように貼り付けてください。（図 8）
＊吊金具断熱材⑧は、室内ユニット本体を据え付けるまで保管してください。



（図 7）



（図 8）



＊ パネルスペーサー CZ-160SPU5（別売品）と組み合わせてご使用される場合は、側面の断熱材が重ならないようラップする部分を現物に合わせてカットし、隙間があかないよう貼付けてください。

■ しゃ風材（CZ-160CFU7）

据付工事説明書

しゃ風材

品番　CZ-160CFU7

適用室内ユニット　４方向天井カセット形　U シリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- しゃ風材をご使用になる場合、吹出口閉塞パターンによっては、ナノイー機能が使用できませんのでご注意ください。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-46142
BE1121-20723

1. 付属品

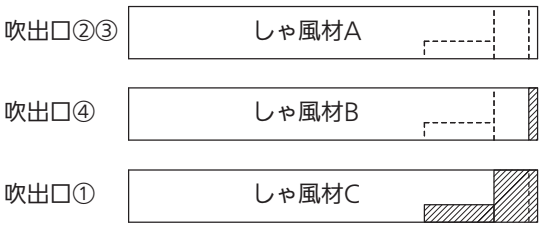
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

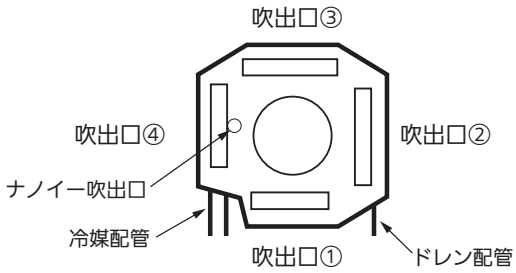
名　　称	個数	名　　称	個数	名　　称	個数	名　　称	個数
しゃ風材（470×60×T15）	2	パッキン A（600×90×T2）	2	パッキン B（50×30×T5）	1	据付工事説明書	1

2. 取り付けかた

（1）取り付け位置の確認〈図 1〉
しゃ風材を、取り付ける吹出口の位置に合わせて、ミシン目にそって折り曲げて、斜線部を切り取ってください。
吹出口②③に取り付ける場合は、そのまま使用してください。

〈図 1〉

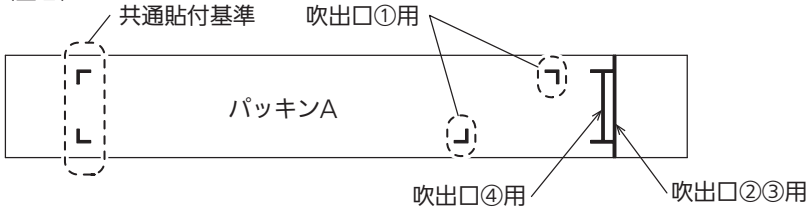




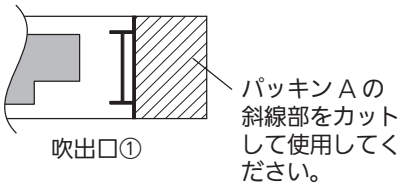
〈吹出口の配置〉

（2）準備したしゃ風材を、貼付基準に合わせて、パッキンAに貼り付けてください。

〈図 2〉

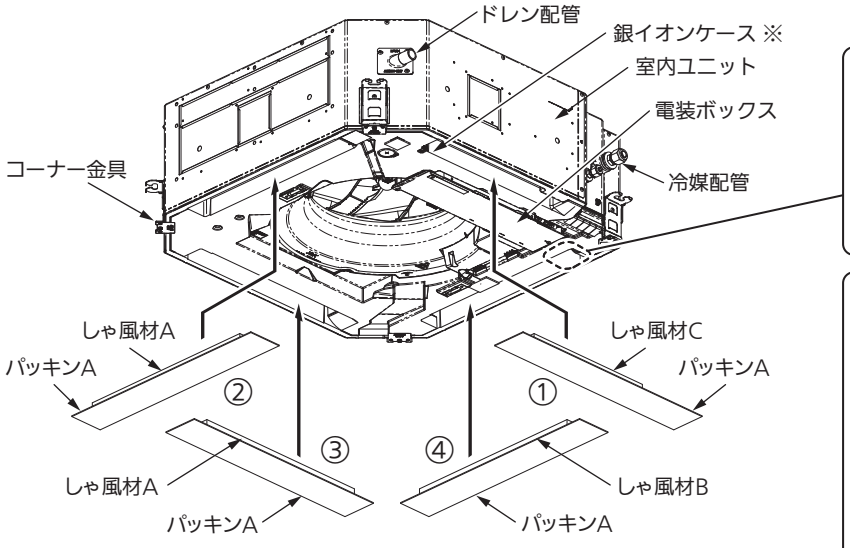


吹出口①はパッキンを貼り付けたあと、下図の通りカットしてご使用ください。

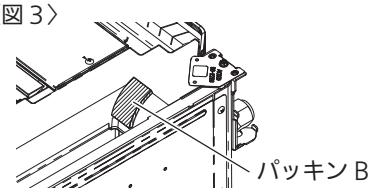


（3）吹出口④を閉塞する場合、<図3>の位置に、パッキンBを貼り付けて下さい。

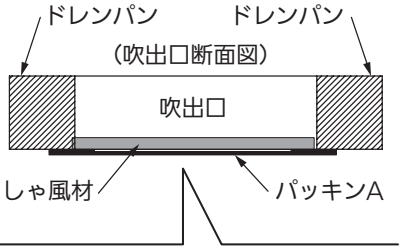
（4）最後に、しゃ風材の形状が合っていることを確認し、<図４>のようにパッキンAの付いたしゃ風材を、隙間がないように吹出口にはめ込んでください。パッキンAがはみ出した部分は、そのままにしてください。

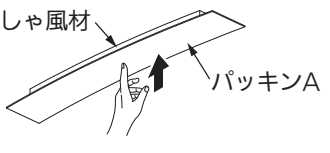


〈図 3〉



〈図 4〉



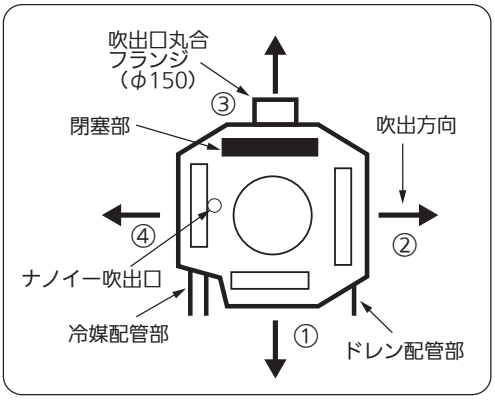


※しゃ風材の取りはずし
銀イオンケースの交換などで、しゃ風材を取りはずす際はパッキンが破損しないように注意してはずしてください。
吹出口中央部付近を軽く指で押すとパッキンが浮き上がるので、そこをつまんでゆっくり引き抜いてください。

3. 吹出口閉塞パターン　室内ユニット下部より見た状態

● ３方向吹出し，２方向吹出し時、および吹出口丸合フランジ(φ150)接続時は､下記の吹出口閉塞パターンに従って吹出口閉塞を行ってください。
また、下表を参照の上、配管部の位置をご検討ください。
(イラストの見かたは右図参照)
吹出口丸合フランジ（φ150）の取り付けは結露防止のため、冷風漏れ、断熱不足のないようにしてください。

〈ご注意〉
④の吹出口を閉塞すると、「ナノイー X」の効果はなくなります。
(下表網掛けの吹出口閉塞パターン)
必ずナノイー設定をオフにしてください。設定についてはワイヤードリモコンの取扱説明書をご覧ください。
(ナノイーを操作する時は、多機能リモコン（CZ-10RT4C）もしくはワイヤレスリモコン（CZ-10RWP2）が必要です。)



● 下表の吹出口閉塞パターン以外は絶対に行わないでください。

3方向吹出し 1か所を閉塞可能です。	■			
2方向吹出し 2か所を閉塞可能です。	■		■	
		■		
吹出口丸合フランジ （φ150）接続 3方向吹出し 1か所を閉塞しダクトに 接続可能です。	■			
吹出口丸合フランジ （φ150）接続 2方向吹出し 2か所を閉塞しダクトに 接続可能です。 注）ダクト接続はどちらか1か所のみ可能です。	■	■	■	■
	■			
	■			

■DCファンタップ設定変更

「4.DCファンモータータップの選択」に従って、ワイヤードリモコンまたは室内コントロール基板（ディップスイッチ）の設定を行ってください。

4. DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法【2】ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5D/5dの設定データ	使用用途／別売品名称　※1
	0000	標準（出荷設定）
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法65%）
		重量法60%フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法90%）
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の左表内の設定変更が必要な別売品を併用する場合、
3方向吹出時　　設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　　設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

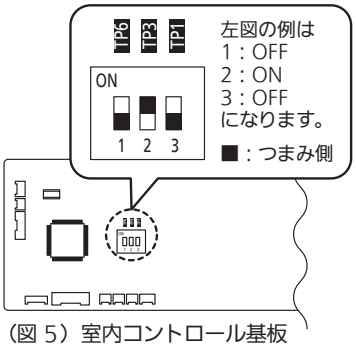
高性能フィルター（比色法90%）の場合は、高天井対応はできません。
その他の別売品取り付け時の高天井対応については
設備設計資料等をご確認ください。

【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず電源（漏電しゃ断器）を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。（図５）
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	TP3 TP2 TP1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(3)	TP3 TP2 TP1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(6)	TP3 TP2 TP1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側



（図５）室内コントロール基板

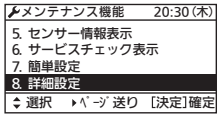
【2】-1 ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4C）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。

〈手順〉**ユニットが運転を停止した状態で行ってください。**

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。





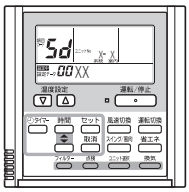


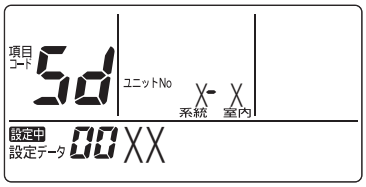
【2】-2 ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5dの設定データ」を表1で確認してください。

〈手順〉**ユニットが運転を停止した状態で行ってください。**

①点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「５d」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。





■ 自然気化式加湿器〈CZ-07ASU7, 14ASU7〉

● 仕様

○ XEPHY Eco（高効率タイプ）接続時

品　番			CZ-07ASU7								CZ-14ASU7		
加湿性能※1		kg/h	0.710								1.37		
有効加湿量（最大）※1		ｼﾝｸﾞﾙ	40	45	50	56	63	71	80H	80	112	140	160
		kg/h	0.458	0.465	0.558	0.566	0.670	0.744	0.755	-	1.21	1.38	1.50
加湿方式			自然蒸発式										
給水量		L/h	2.75±30%										
加湿材			ポリエステル繊維（抗菌・防カビ仕様）										
給水制御方式			タイマー制御による断続給水										
			ON22秒、OFF38秒										
電源電圧			AC200V（50/60Hz）										
定格消費電力		W	3.5±15%										
質量(水無し)		kg	2.5								2.8		
使用範囲	給水圧力	MPa	0.049（0.5kgf/cm²）～0.49（5kgf/cm²）										
	給水圧力（ポンプ使用時）	MPa	0.049（0.5kgf/cm²）～0.29（3kgf/cm²）										
	減圧弁		加湿器本体に内蔵										
	仕様周囲温湿度		5～40℃、90%RH以下										
	使用水		上水道水またはこれと同等以上のもの										
	取付角度		全方向共±2° 以内のこと										
保護装置			タイマー基板内に保護ヒューズ内蔵										
外形寸法	H	mm	157								212		
	W	mm	163								163		
	L	mm	516.5								516.5		

注意）

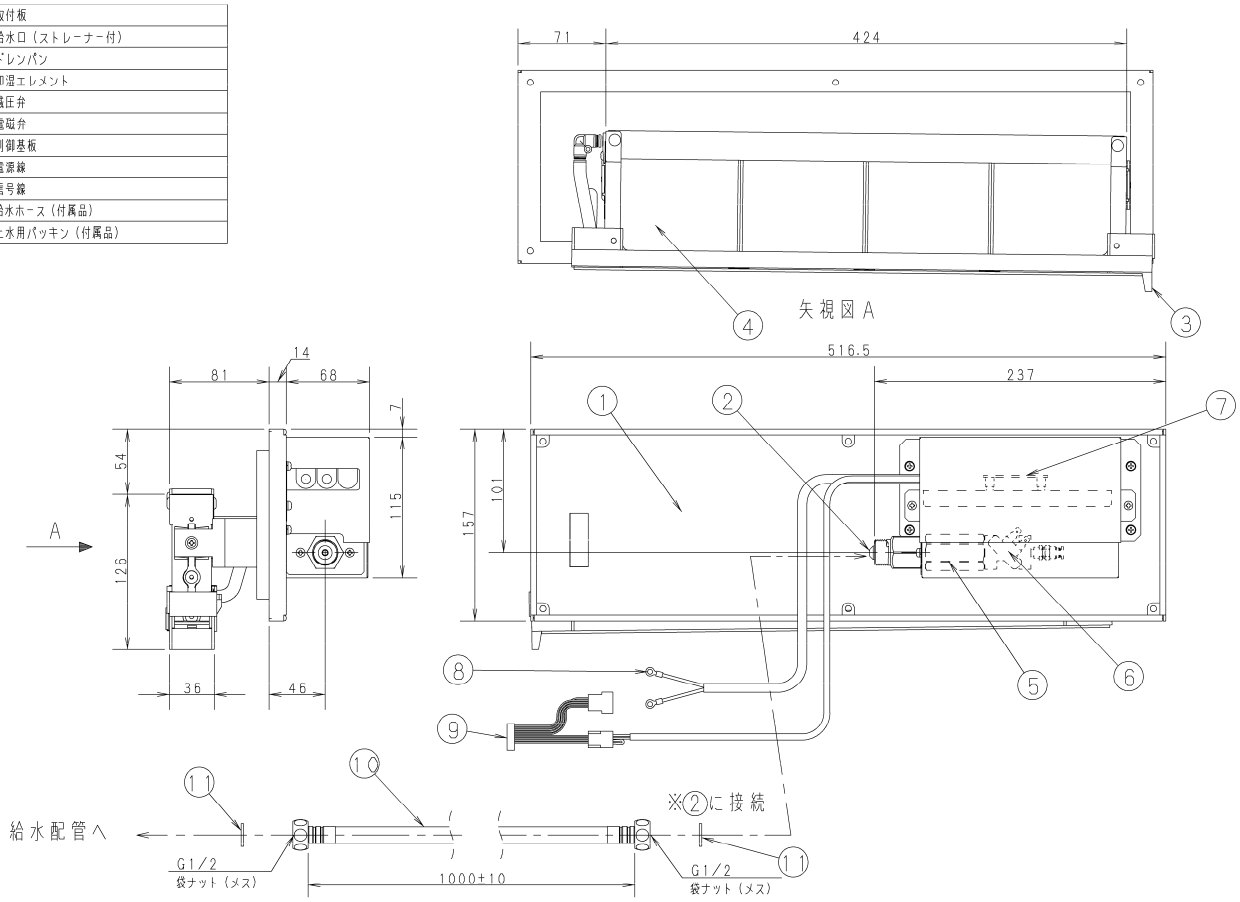
- 加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
  公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。
- CZ-07ASU7 加湿性能は、加湿器入口空気温度４５℃、１５％ＲＨ、通過風速１.0m／ｓの値を示します。
- CZ-14ASU7 加湿性能は、加湿器入口空気温度４５℃、１５％ＲＨ、通過風速１.0m／ｓの値を示します。

- 有効加湿量は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、（XEPHY Ecoシリーズ室外ユニット）に接続し、下記の条件で運転した場合の加湿量です。
  温度条件 室温20℃DB、　外気温7℃DB・6℃WB
  運転条件 定格風量、フラップ位置F5、最大能力運転時、
  設置条件 配管長　～63形:5m、71形～：7.5m、71形はツイン接続、それ以外はシングル接続時
  風量設定やフラップ角度、ユニット運転状態により加湿量が低くなる場合もあります。

※1　　加湿能力±20%

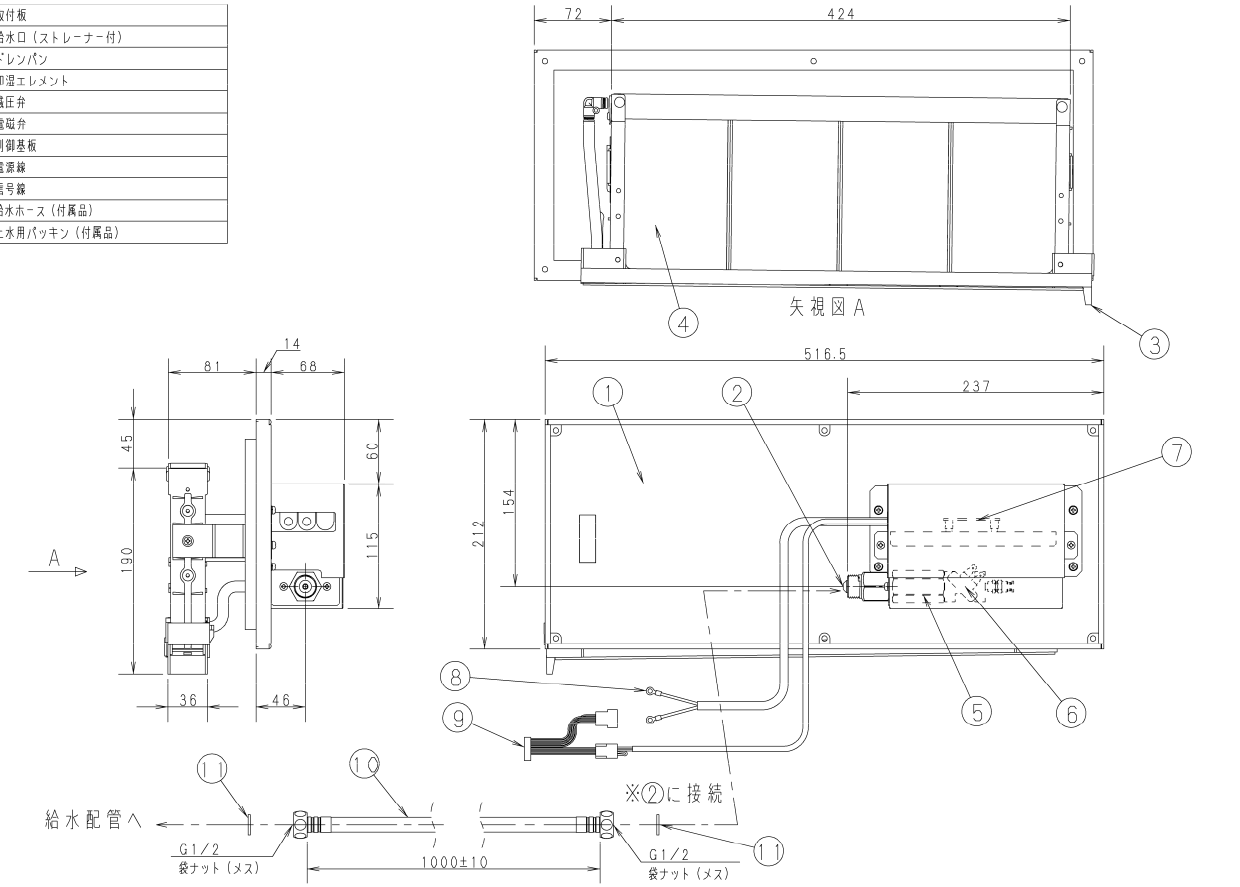
● 外形寸法図< CZ-07ASU7 >

①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	止水用パッキン（付属品）



< CZ-14ASU7 >

①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	止水用パッキン（付属品）



■ 自然気化式加湿器（高加湿タイプ）〈CZ-16ASHU7, 20ASHU7〉

● 仕様

○ XEPHY Eco（高効率タイプ）接続時

品　番			CZ-16ASHU7								CZ-20ASHU7		
加湿性能※1		kg/h	1.41								1.99		
有効加湿量（最大）※1		ｼﾝｸﾞﾙ	40	45	50	56	63	71	80H	80	112	140	160
		kg/h	0.915	0.930	1.12	1.13	1.34	1.58	1.60	－	1.78	1.97	2.10
加湿方式			自然蒸発式										
給水量		L/h	2.75±30%								5.00±30%		
加湿材			ポリエステル繊維（抗菌・防カビ仕様）										
給水制御方式			タイマー制御による断続給水										
			ON22秒、OFF38秒								ON40秒、OFF20秒		
電源電圧			AC200V（50/60Hz）										
定格消費電力		W	3.5±15%										
質量(水無し)		kg	4.1								4.7		
使用範囲	給水圧力	MPa	0.049（0.5kgf/cm²）～0.49（5kgf/cm²）										
	給水圧力（ポンプ使用時）	MPa	0.049（0.5kgf/cm²）～0.29（3kgf/cm²）										
	減圧弁		加湿器本体に内蔵										
	仕様周囲温湿度		5～40℃、90%RH以下										
	使用水		上水道水またはこれと同等以上のもの										
	取付角度		全方向共±2° 以内のこと										
保護装置			タイマー基板内に保護ヒューズ内蔵										
外形寸法1（電装BOX付）	H	mm	157								212		
	W	mm	163								163		
	L	mm	516.5								516.5		
外形寸法2（電装BOX無し）	H	mm	157								212		
	W	mm	121								121		
	L	mm	516.5								516.5		

注意）

- 加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
  公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。
- CZ-16ASHU7 加湿性能は、加湿器入口空気温度４５℃、１５％ＲＨ、通過風速１.0m／ｓの値を示します。
- CZ-20ASHU7 加湿性能は、加湿器入口空気温度４５℃、１５％ＲＨ、通過風速１.0m／ｓの値を示します。

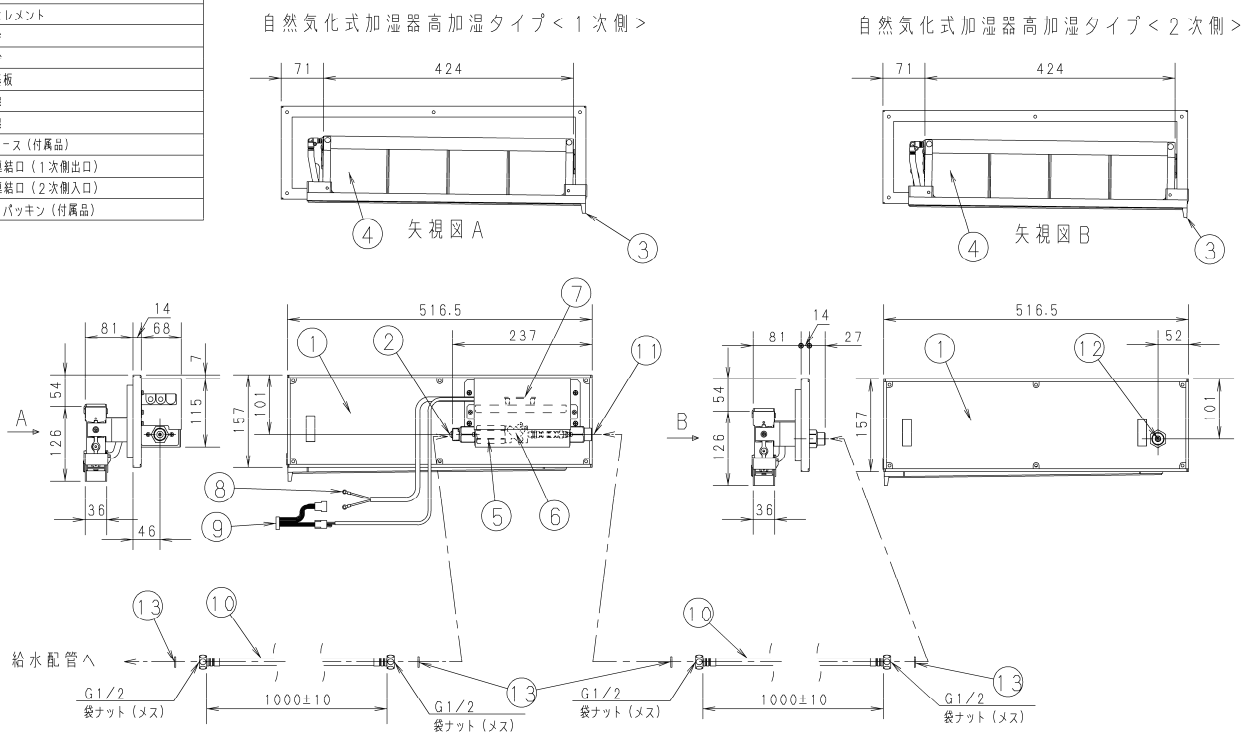
- 有効加湿量は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、（XEPHY Ecoシリーズ室外ユニット）に接続し、下記の条件で運転した場合の加湿量です。
  温度条件 室温20℃DB、　外気温7℃DB・6℃WB
  運転条件 定格風量、フラップ位置F5、最大能力運転時、
  設置条件 配管長　～63形:5m、71形～：7.5m、71形はツイン接続、それ以外はシングル接続時
  風量設定やフラップ角度、ユニット運転状態により加湿量が低くなる場合もあります。

※1　　加湿能力±20%

●自然気化式加湿器（高加湿タイプ）

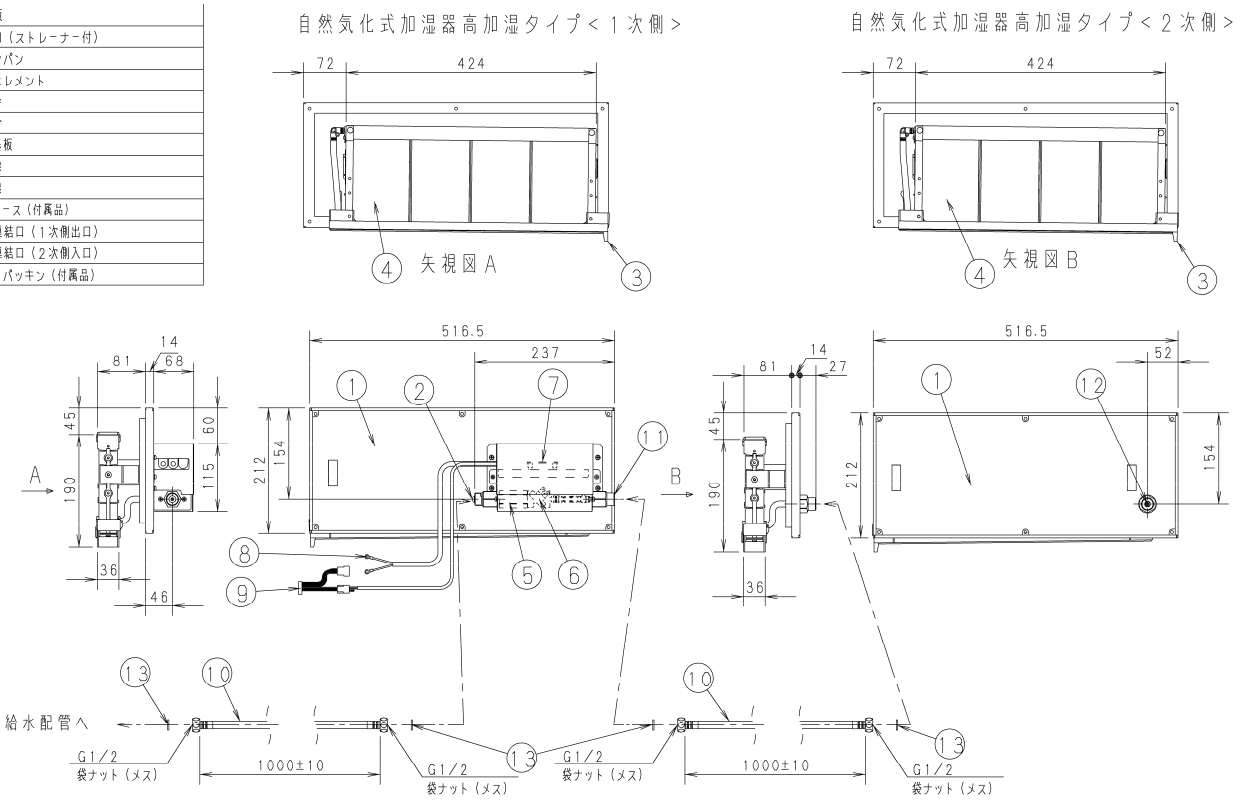
● 外形寸法図 <CZ-16ASHU7>

①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	給水連結口（１次側出口）
⑫	給水連結口（２次側入口）
⑬	止水用パッキン（付属品）



<CZ-20ASHU7>

①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	給水連結口（１次側出口）
⑫	給水連結口（２次側入口）
⑬	止水用パッキン（付属品）



据付工事説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-07ASU7 CZ-14ASU7 CZ-16ASHU7 CZ-20ASHU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

- 据付工事の前に、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給水配管の施工後、必ず試運転確認を実施し動作確認してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。	❗⏚　実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

⃠
- ■ 電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
  （発熱、火災の原因）
- ■ 配線は途中接続しない
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

❗
- ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
  （ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- ■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する（故障や発熱、火災の原因）
- ■ 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける （感電、火災の原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- ■ 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する（感電、火災のおそれ）
- ■ 付属品は当社指定の部品を使用する
  （指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠ 注意

⃠
- ■ 0℃以下の雰囲気となり、凍結のおそれがある場所には取り付けない
  （破損・水漏れの原因）

❗
- ■ 現地調達の給水配管にも必ず断熱処理（現地調達）を行う
  （結露による水漏れ、凍結による配管や接続部の破損、水漏れの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

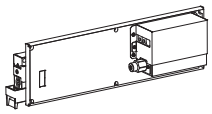
ACXF60-44861
PA1221-10823

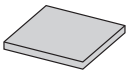
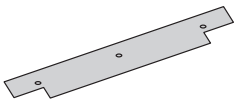
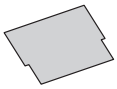
■ 据付前のご注意

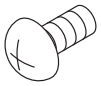
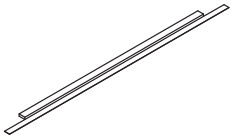
・加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。加湿器組込み後の輸送はしないでください。
・定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に□４５０以上の点検口を必ず設置してください。
・ヒューミディスタット（現地調達）は、湿度低下で接点がＯＮとなる方式のもので、接点容量２００ＶＡ以上のものを準備してください。
・供給水質は上水または同等以上の水を使用し、保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ（現地調達）を設けてください。
・現地調達の給水配管には死水排水バルブおよびＹ形ストレーナー（現地調達）を必ず取り付けてください。
・給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地調達）をご使用ください。
・給水圧力は0.049～0.49MPaの範囲内でご使用ください。ただしポンプを使用して給水する場合は0.049～0.29MPaの範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁（現地調達）を設けてください。また給水配管にトラップがあるとエアーだまりができ異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。

1. 付属品

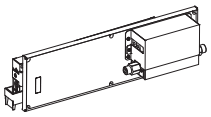
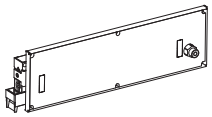
標準加湿タイプ　CZ-07ASU7, CZ-14ASU7

品名	説明書	加湿ユニット	取付プレート	給水ホース	パッキン
形状	・据付工事説明書 ・取扱説明書			 L=1000	 水道用19㎜パッキン （ノンアスベスト）
数量	各1	1	2	1	2

品名	給水ホース断熱材	断熱パイプ	ビニタイ	断熱材Ａ	断熱材Ｂ
形状	 100×100　t10	 L=920	 コード締結用:１本 断熱材固定用:４本		
数量	2	1	5	2	2

品名	取付ネジ	取付ナット	閉端接続子	風向板
形状	 トラス頭　２種 4×10タッピンネジ	 M4Ｌ15	 ヒューミディスタット用	
数量	6	6	2	1

高加湿タイプ　CZ-16ASHU7, CZ-20ASHU7

品名	加湿ユニット(電装付)	加湿ユニット(電装無)
形状		
数量	1	1

据付工事説明書 ……	１部	断熱パイプ ……	２本
取扱説明書 ……	１部	ビニタイ ……	９本
給水ホース ……	２本	取付ナット ……	１２個
パッキン ……	４個	取付ネジ ……	１２本
閉端接続子 ……	２個	風向板 ……	２枚
断熱材Ａ，Ｂ ……	各４枚		
取付プレート ……	４個		
給水ホース断熱材 ……	４枚		

2. 取り付けかた

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。

1．室内ユニット側面の加湿器取付面板金のハーフカット部を金鋸・ニッパー等でていねいに切断し、板金を取り除いてください。（側面を切断する前に、加湿ユニットを合わせて切断位置を確認してください。組み合わせる加湿器によりハーフカット部が異なります。）
さらに板金のカット面に沿って、室内ユニット内部の発泡スチロールをよく切れるカッターでカットし、角穴を開けてください。内部に熱交換器がありますので注意して作業してください。（図１）
※発泡スチロールの切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
※製品が破損するおそれがありますので、発泡スチロールは割り取らず、必ず切り取ってください。
※カッターの刃は出代50mm以下にしてください。

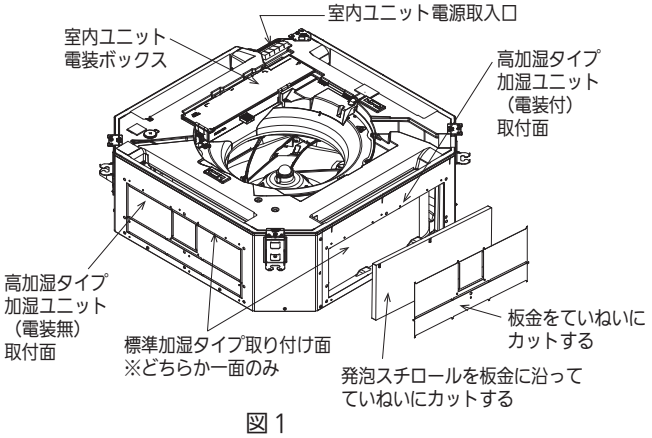
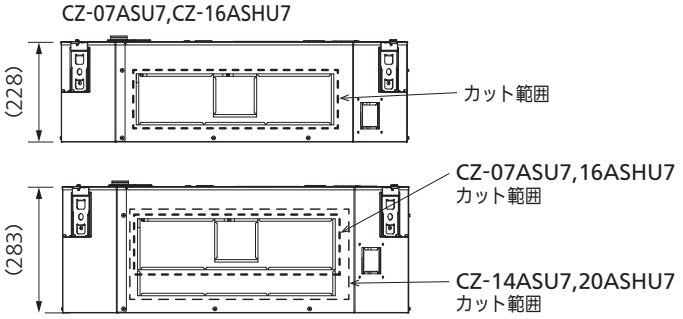


図１



上記室内ユニット（高さ283mm）は２種類の加湿器が取り付けられます。
側面を切断する前に、加湿ユニットを合わせて切断位置を確認してください。

2．室内ユニット側面の角穴部に付属の取付プレートを取り付けます。
取り付けには付属の取付ネジを使用します。（図２）
3．角穴の開口部周囲に付属品の断熱材Ａ、Ｂを貼り付けてください。
（図３、４）
4．加湿ユニットの緩衝材（各２個）を取り除いてください。（図５）

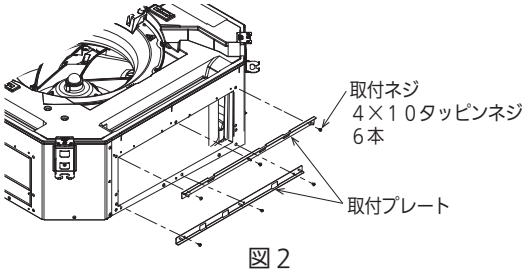


図２

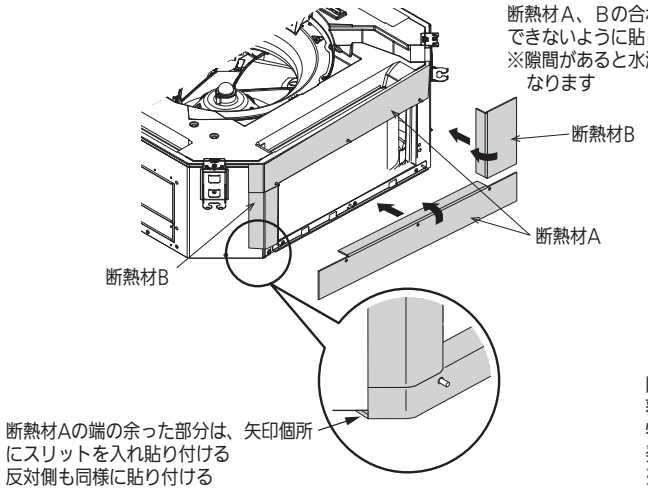


図３

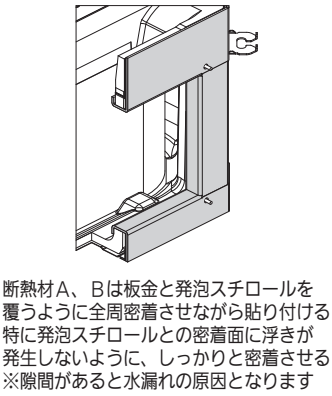


図４

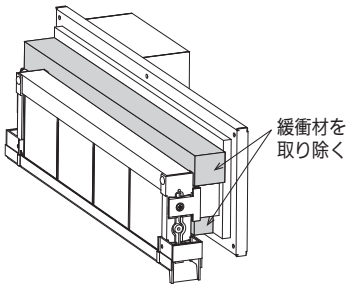


図５

5．室内ユニット側面の角穴に、向きに注意しながら加湿ユニットを挿入します。このとき加湿器排水口が室内ユニット本体のドレンパンに入っていることを必ず確認してください。（図６、７）
6．付属品の取付ナットで加湿ユニットをしっかり固定してください。（図６）

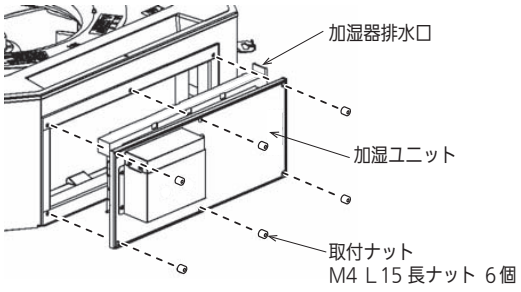


図６

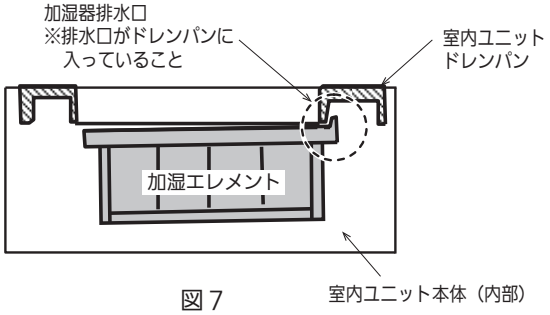


図７

7．高加湿タイプは、加湿ユニットの給水連結口に付属の給水ホースを接続し、断熱パイプを取り付けてください。（図８）
※必ず付属のパッキンを入れて袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。(締付トルクの目安15.0N・m)
8．給水口については、P ②「4. 給水配管」にそって給水配管を接続して、接続部の水漏れがないことを確認し、給水ホースの接続部に付属品の給水ホース断熱材を巻きつけてビニタイで固定してください。（図８）

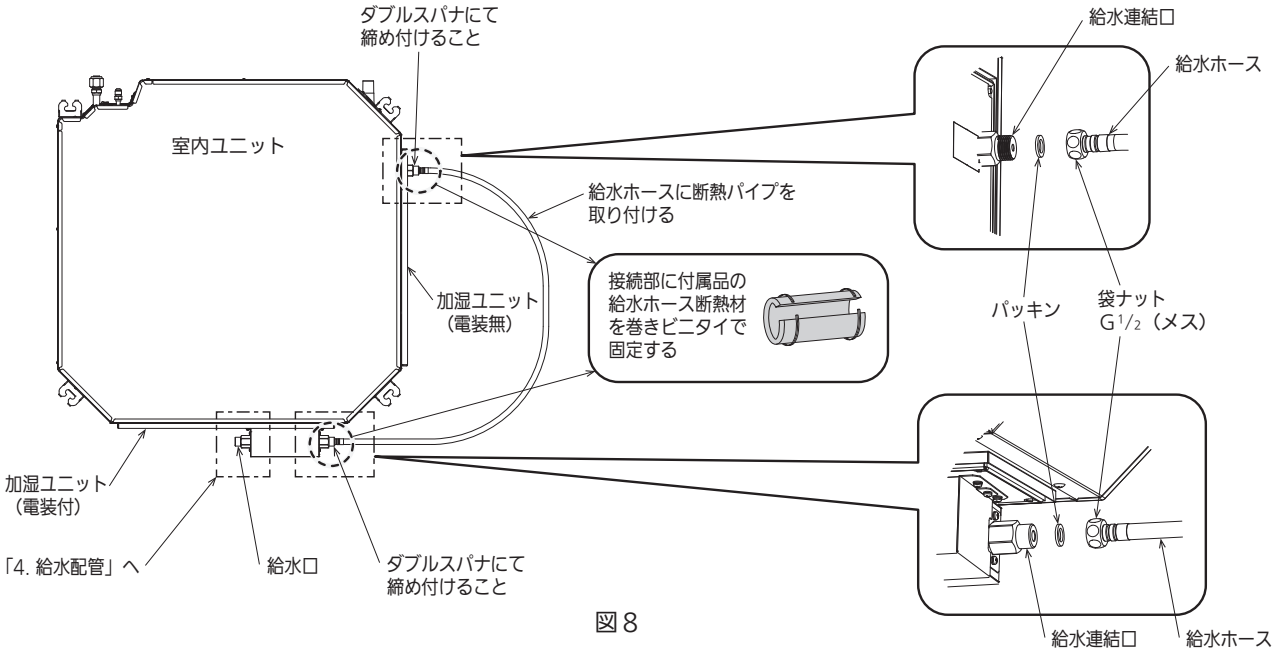


図８

9．加湿ユニットを取り付けた側面の吹出口に付属品の風向板を取り付けてください。
高加湿タイプは2か所になります。（図9、10、11)

⚠注意	●風向板を必ず取り付ける （結露、水漏れの原因）

※加湿器と併せてフィルターチャンバーを取り付ける場合は風向板は不要です。

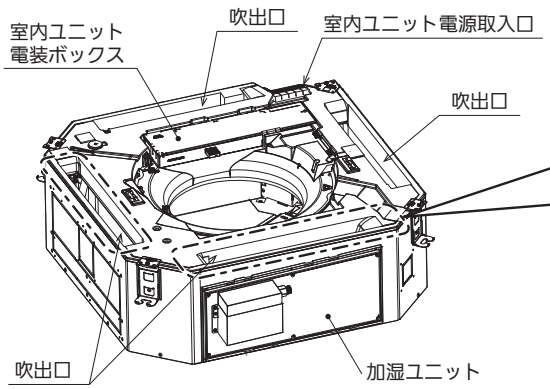


図９

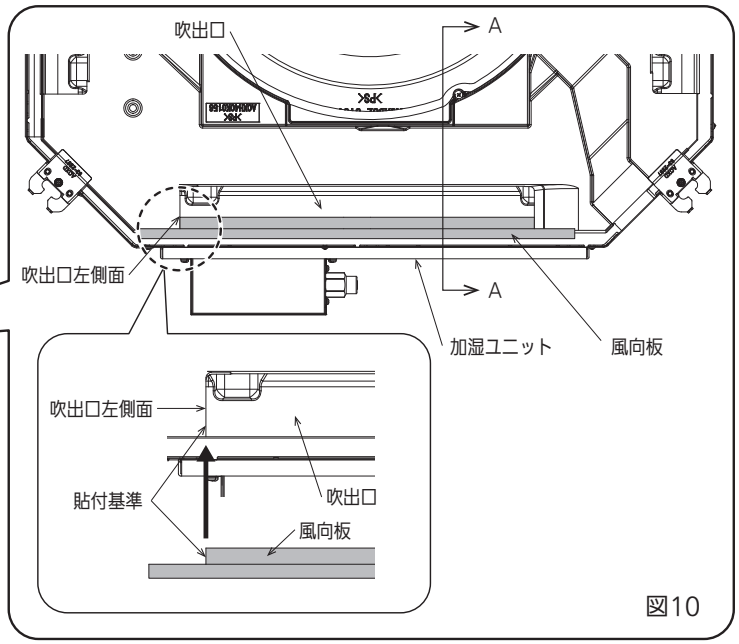


図10

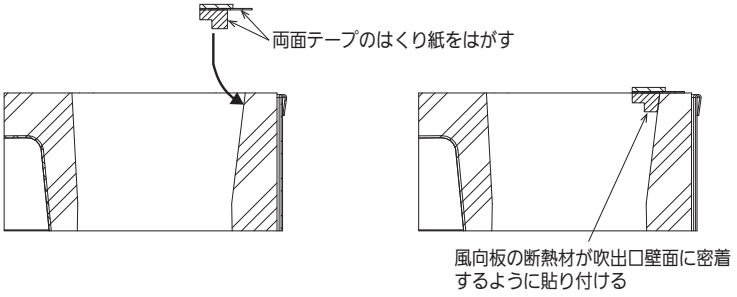


図11（図10のA－A断面）

3. 電気配線

1．室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。
2．室内ユニット電装ボックスの蓋を開き、加湿器の電源線を電源端子板に接続します。（図12）
※電源線は黒を電源端子板の【R】に、白を【S】に接続してください。
※電源線は3本以上の共締めにならないよう、必要に応じてプルボックスを使用して接続を行ってください。
3．加湿器信号線のソケットを室内コントロール基板の【OPTION（CN060:14P 白）】コネクタに接続します。（図12）
※加湿器と信号出力基板（ACC-SG-E）を併用する場合、OPTIONコネクタ（CN060）に接続する中継配線が重複します。
この中継配線はどちらか1つを使用し接続します。（図13）

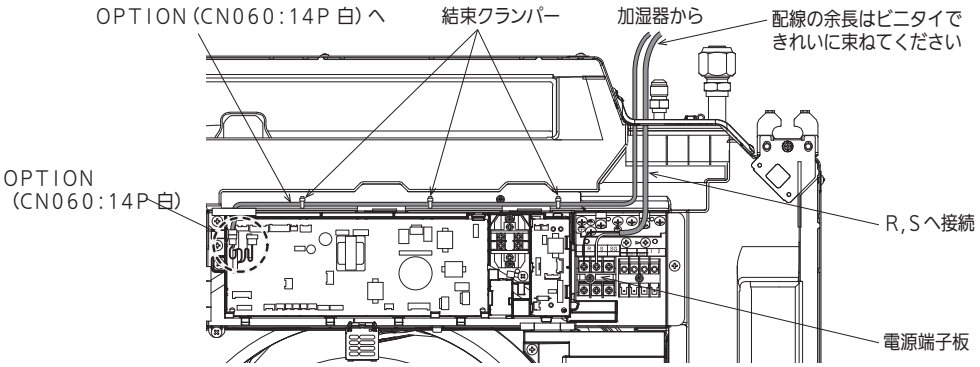


図12

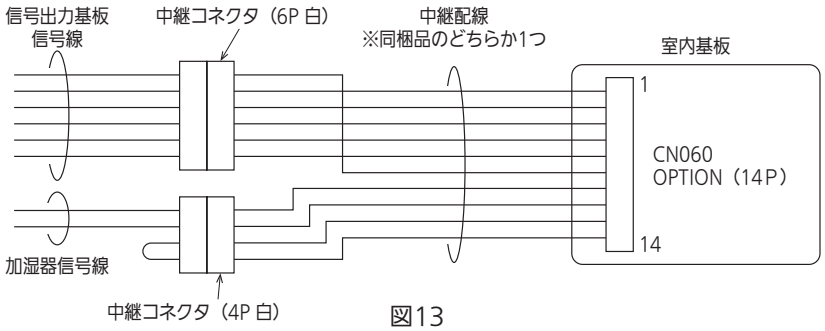
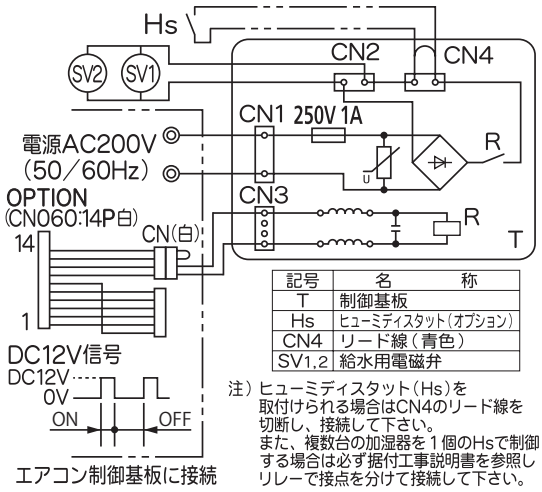


図13

4．ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器電気回路図（図14）を参考に加湿器電装ボックス内にあるジャンパー線（UL1007、AWG22/0.3mm²、線長210mm、青色）を切断し、付属品の閉端接続子（CE1（CE-100）、日本圧着端子製造（株）、適用電線範囲：0.5～1.75mm²）でヒューミディスタットの配線（0.2～1.45mm²）と接続します。
接続部（閉端接続子）は、加湿器電装ボックス内に収納してください。

加湿器電気回路図



記号	名　　称
T	制御基板
Hs	ヒューミディスタット（オプション）
CN4	リード線（青色）
SV1,2	給水用電磁弁

注）ヒューミディスタット（Hs）を取付けられる場合はCN4のリード線を切断し、接続して下さい。
また、複数台の加湿器を１個のHsで制御する場合は必ず据付工事説明書を参照しリレーで接点を分けて接続して下さい。

図14

お願い

ヒューミディスタット（現地調達）を取り付ける場合は、加湿器電装ボックス１台毎にヒューミディスタットを１個接続を基本としてください。
複数台の加湿器を１個のヒューミディスタットで制御する場合は、リレーにて個別に接点を分けて各加湿器に接続してください。（図15）
接点を分けないと正常な加湿動作が行えず、水漏れの原因になります。

例.　２台の加湿器を補助リレー接点にて制御する場合

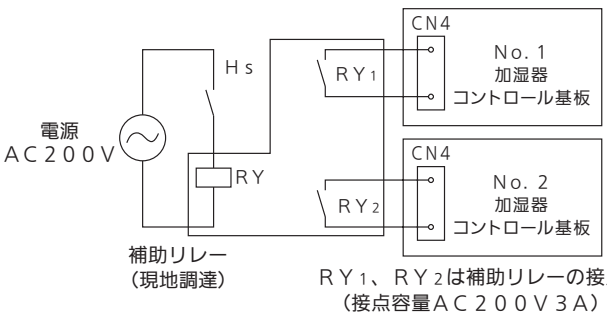


図15

4. 給水配管

⚠注意	● 0℃以下の雰囲気となり、凍結のおそれがある場所には取り付けない （破損、水漏れの原因）

1．室内ユニットの「据付工事説明書」に従って、加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
2．現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
3．給水ホースに断熱パイプを取り付けてから加湿ユニットの給水口に接続してください。（図16）
※必ず付属のパッキンを入れて袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N・m）
※加湿ユニットの給水口に給水ストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
4．図16を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。
●以下の項目は試運転の後、問題が無いことを確認した上で行ってください。
5．給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
6．水漏れが無ければ、給水ホースの接続部に付属品の給水ホース断熱材を巻きつけてビニタイで固定してください。（図16）
7．現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。
十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。

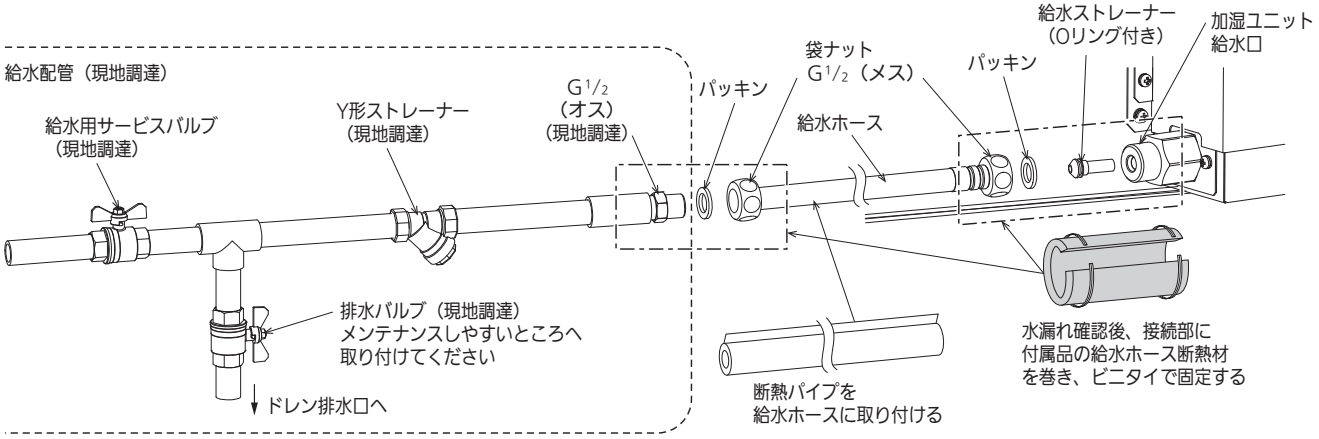


図16

5. 給水動作設定

高加湿タイプ（CZ-20ASHU7）は必ず下記給水動作設定を行ってください。

項目コード5Eの設定データ変更により、給水動作を変更してください。

項目コード	設定データ	加湿動作
5E	0022	給水ON２２秒、OFF３８秒（出荷設定）
	0040	給水ON４０秒、OFF２０秒 （CZ-20ASHU7のみ設定する）

注意）ユニットが運転を停止した状態で設定データの変更を行なってください。
設定中はリモコンで選択されている室内ユニットのファンが回転します。

＜CZ-10RT3の場合＞

P③「2. 室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定」の①～⑥と同一の手順で項目コードを「5E」に設定して、設定データを「0040」に設定してください。

＜CZ-10RT4シリーズの場合＞

P④「2. 室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定」の①～⑨と同一の手順で項目コードを「5E」に設定して、設定データを「0040」に設定してください。

注意）CZ-20ASHU7は必ず項目コード「5E」の設定データを、「0040」にしてください。
加湿エレメントの寿命が短くなる原因となります。

据付工事説明書　試運転編

● 給水配管の施工後、試運転確認を実施し動作確認してください。
● 室内ユニットに付属の「取扱説明書」とワイヤードリモコンに付属の「取扱説明書」もあわせてご覧ください。

1. 動作確認方法

1. 漏電しゃ断器を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
2. 高加湿タイプ（CZ-20ASHU7）は必ずP②「5. 給水動作設定」を行ってください。
3. リモコンの運転/停止ボタンを押し空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
   ※通常、加湿器への給水は暖房運転時に行われますが、冷房シーズン（暖房運転できないとき）や、暖房運転時にサーモオンになりにくいときは、ワイヤードリモコンから「2. 室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定」にて加湿動作を変更し、送風運転にて動作確認してください。
4. 加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、加湿エレメントに給水して加湿します。加湿エレメントから流出した水は、室内ユニットのドレンパンに入り室内ユニットのドレン配管から排出されます。
   ※給水配管の継手（現地調達）、加湿ユニットの給水口継手、加湿ユニットの給水連結口継手（高加湿タイプのみ）、加湿器本体の電装ボックス周り、室内ユニットの吹出口、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。
   ※30分程度運転を続け、室内ユニットのドレン排水管から排水されているか確認してください。
5. 正常な運転を確認したら、運転/停止ボタンを押し運転を停止してください。

※ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせます。設定を変化させて、給水用電磁弁が正常に加湿制御していることを確認してください。
※試運転時、加湿器から「ビーン」という異音が発生した場合に、給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアーのかみ込みが考えられます。この場合、いったん給水配管の接続をはずしてエアー抜きおよび加湿ユニット給水口のストレーナーの清掃を実施してください。ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアーのかみ込みが考えられます。給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げて使用してください。

2. 室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定

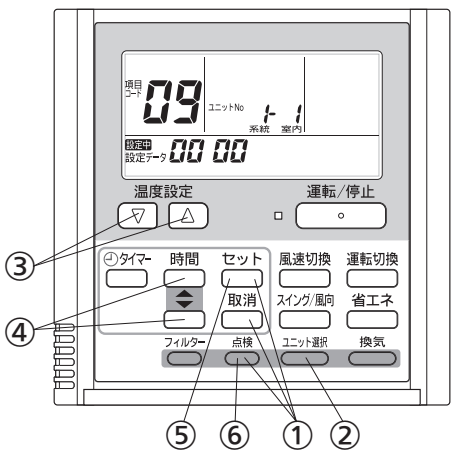
項目コード09の設定データ変更により、加湿動作を変更してください。

項目コード	設定データ	加湿動作
09	0000	暖房サーモオン時に加湿する（出荷設定）
	0001	送風時に加湿する

注意）ユニットが運転を停止した状態で設定データの変更を行なってください。
　　設定中はリモコンで選択されている室内ユニットのファンが回転します。

＜CZ-10RT3の場合＞

ワイヤードリモコン



① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを、同時に4秒間以上押します。
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、「ユニットNo」を順次表示します。
　この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
　（リモコンの液品部に、 設定中 と「ユニットNo」「項目コード」詳細データが点滅表示されます。）
③ 温度設定 ▲ ▼ ボタンで項目コードを「09」に指定します。
④ 時間またはタイマーの ▲ ▼ ボタンで設定データを「0000（出荷設定）」→「0001」へ変更します。
⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
　選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑥ 点検 ボタンを押します。（通常の停止状態になります）
⑦ 加湿器動作の確認後①～⑥と同一の手順で項目コードを「09」に指定して、設定データを「0000」に戻してください。

注意）試運転後は、必ず項目コード09の設定データを、出荷設定（0000）に戻してください。
　　設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや水漏れの原因になります。

＜CZ-10RT4シリーズの場合＞

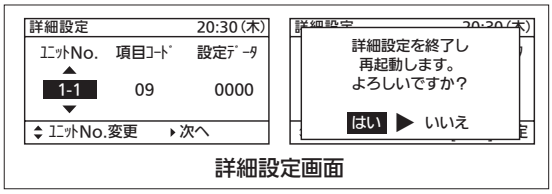
メンテナンス機能画面の表示

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▲ ／ ▼ ボタンで選択、 ◄ ／ ► ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。



メンテナンス機能画面



詳細設定画面

詳細設定方法　（ユニットが停止中に行ってください。）

③ ▲ ／ ▼ ボタンで『8.詳細設定』を選択し、 決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。

④ ◄ ／ ► ボタンでユニットNo.／項目コード／設定データの選択を切り替えてください。

【加湿動作の設定】

⑤ ▲ ／ ▼ ボタンでユニットNo.，項目コード，設定データを変更します。

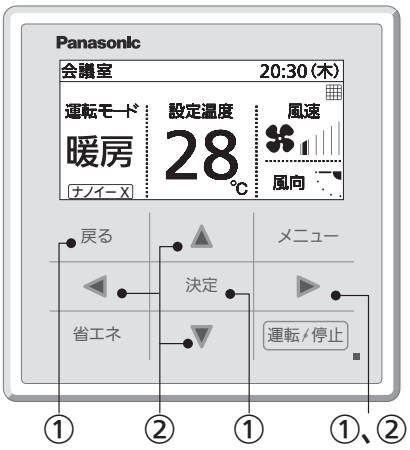
⑥ ユニットNo.を変更して、設定するユニットを選択してください。

⑦ 項目コードを「09」に、設定データを「0001」に変更し、 決定 ボタンを押してください。

⑧ 続けて別のユニットを設定する場合は、ユニットNo.を変更し、⑦を実施してください。

⑨ 戻る ボタンを押し、再起動：“はい”を選択し、 決定 ボタンを押してください。

ワイヤードリモコン



⑩ 加湿器動作の確認後、①～⑨と同一の手順で項目コード「09」の設定データを「0001」から「0000」に戻してください。

注意）試運転後は、必ず項目コード09の設定データを、出荷設定（0000）に戻してください。
設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや水漏れの原因になります。

取扱説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-07ASU7　CZ-16ASHU7
　　CZ-14ASU7　CZ-20ASHU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● 室内ユニットに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
● ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
● この取扱説明書は室内ユニットに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
● 商品の品番は、6. 仕様でご確認ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事や移動修理は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電・火災の原因）

■ 改造・改修は絶対にしない
（修理に不備があると、水漏れや感電・火災の原因）
修理はお買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。

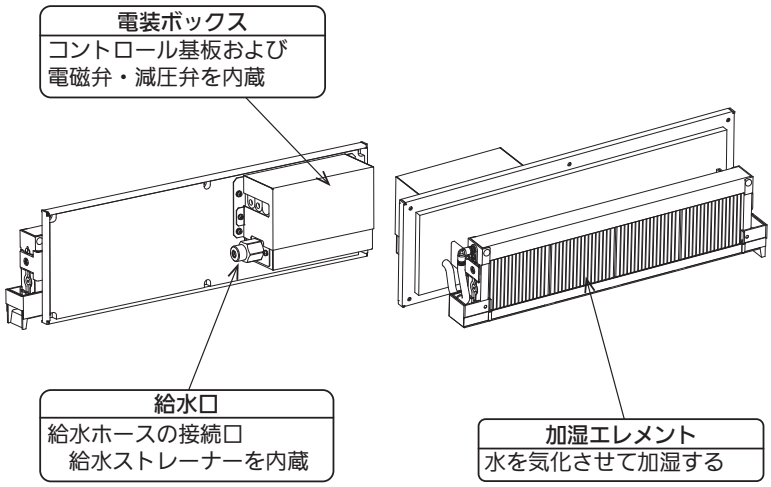
⚠ 注意

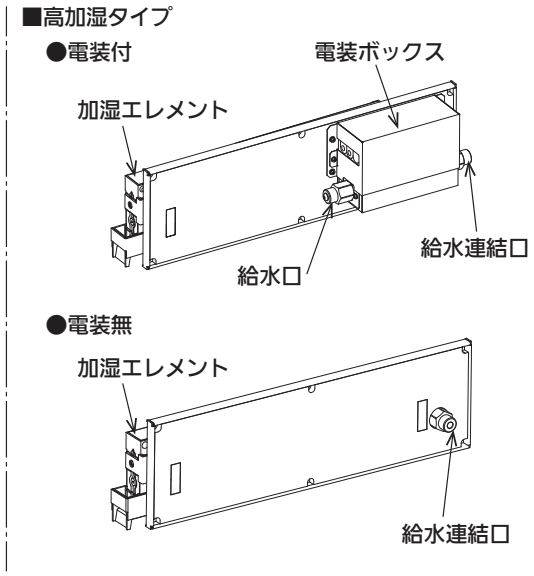
■ お手入れ時は必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や、ファンが高速回転しているため、けがの原因）

1. 使用上のお願い

・シーズンオフなど長期間加湿（暖房）運転をしない場合は、給水用のサービスバルブを閉めてください。
・加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水ホース内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。
そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
・シーズンオフ中に加湿エレメントに付着した汚れを取るため、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に必ず保守点検を行ってください。
・室内ユニットのフィルターが汚れていると、加湿能力や加湿器の寿命に悪影響を与える原因になります。
フィルターは定期的に点検を行い、汚れている場合は清掃してください。

2. 各部の名前





3. 運転のしかた

加湿器は室内ユニットに接続されており、エアコンを暖房運転したときに自動で加湿運転をします。
エアコンの運転操作方法については室内ユニットに付属の取扱説明書に従ってください。

4. 保守点検

長く安心してご使用していただくために、サービス技術者による定期的な保守点検を行ってください。

1．点検周期および保全周期一覧

●本表は主要部品を示します。
　また、この保全周期（交換周期）は、製品を長く安心してご使用していただくために、保全行為（交換行為）が生じるまでのめやす期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

●保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありません。保守点検実施の場合でも、予期せぬ故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）	主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）
加湿エレメント	1年	3年*	電磁弁	1年	20,000時間
給水ストレーナー		―	ヒューズ		―
電子基板類		25,000時間			

＊室内ユニットに付属の取扱説明書に記載されている「保証とアフターサービスについて」もあわせてご覧ください。
　加湿エレメント交換の際は、下表を参照して、交換用加湿エレメントをご注文ください。

自然気化式加湿器　品番	CZ-07ASU7	CZ-16ASHU7	CZ-14ASU7	CZ-20ASHU7
交換用加湿エレメント ※サービスパーツ 使用数	ACPB50C0016 1個	ACPB50C0016 2個	ACPB50C0017 1個	ACPB50C0017 2個

2．作業前の準備

●作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。
　加湿器の据付工事説明書もあわせてご覧ください。

●作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

●給水ホースの脱着の際に、パッキンを必ず新しいものに交換してください。
　パッキンを交換しないと漏水の原因になります。パッキンは市販の水道用19mm、厚さ2mmのノンアスベストパッキンまたは、サービスパーツ（CV6233336015）をご使用ください。

3．作業手順

1）加湿エレメントの洗浄（1回/年：シーズンイン時）

①給水ホースを取りはずしてください。（図１）
※加湿器給水口、給水連結口に巻いてある断熱材をはずしてください。
※給水ホース、加湿器内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。

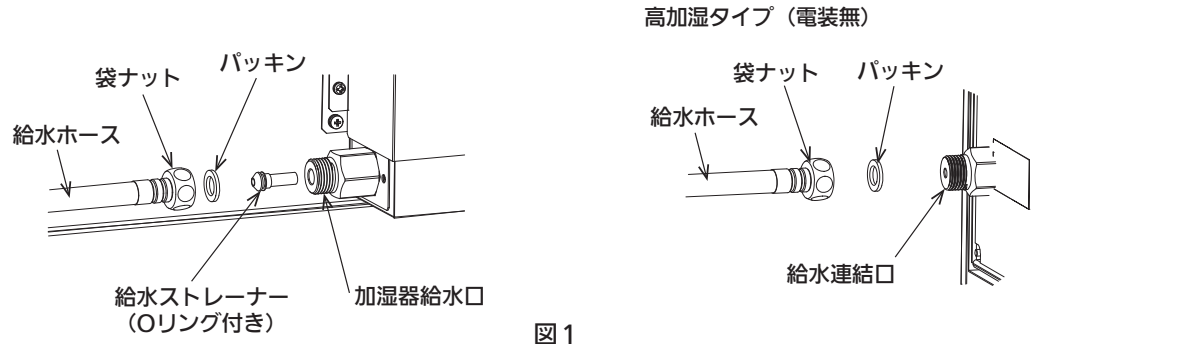


図１

②加湿器本体を固定している長ナット（M4×L15）６個をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器を室内ユニットから取り出してください。（図２）
※給水ストレーナーを紛失しないようご注意ください。（図１）

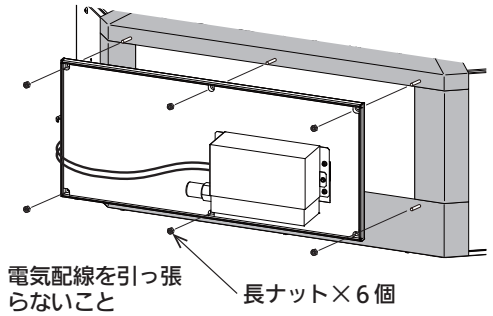


図２

③固定用のネジ（２本）とジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。（図３）
④容器に水またはぬるま湯を入れたうえで市販の中性洗剤を溶かして洗浄液を用意してください。
⑤洗浄液を浸した柔らかいブラシ等で加湿部表面等の汚れを取ってください。（図４）
⑥十分に水洗いをした後、水気を落とした上で、取りはずしと逆の手順で加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
※下記の２）給水ストレーナーの清掃もあわせて行ってください。
⑦給水ホースを加湿器給水口、給水連結口に接続してください。
※給水ストレーナを元に戻し、パッキンを新しいものに変えてください。
※袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N・m）
※給水用サービスバルブを開き、水漏れがないことを必ず確認した後、はずした断熱材を加湿器給水口、給水連結口と袋ナットをおおうように巻き付けてビニタイで固定してください。

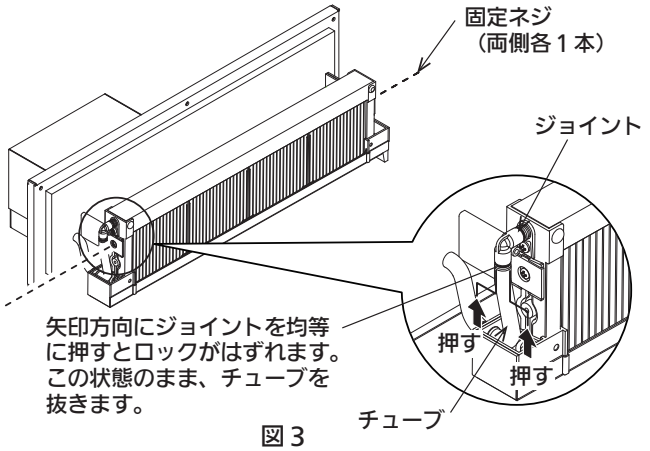


図３

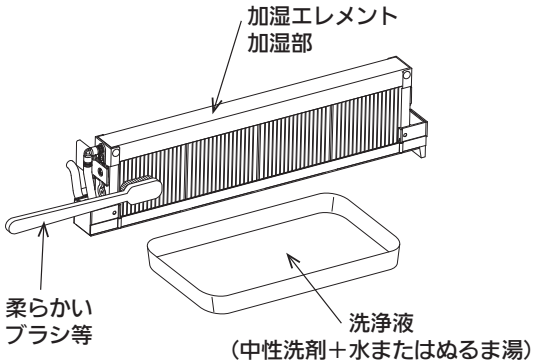


図４

2）給水ストレーナーの清掃（加湿エレメントの洗浄時に行ってください）

①加湿器給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水ストレーナーに付いているOリングをはずさないでください。（図１）
②元通りに取り付けてください。

4. 保守点検（つづき）

3）コントロール基板等の電気部品の点検（1回/年）
必ず漏電しゃ断器を切ってから作業をしてください。

①加湿器電装ボックスのふたをはずして内部を確認し、以下の項目をチェックしてください。
□電子部品に劣化（変色、変形）などが無いか。
□電気配線類に損傷が無いか。
□コントロール基板のプラグと電気配線のソケットの接続に緩み、はずれが無いか。
□その他各部に異常が無いか。
※不具合がありましたら、必ず修理もしくは部品交換を行ってください。

②元通りに取り付けた後、漏電しゃ断器を入れて動作確認を行ってください。

5. 故障かな？

サービスを依頼される前に次のことをお調べください。

症　状	原　因	処　置
加湿しない または 加湿量不足	給水用サービスバルブが閉まっていませんか？	サービスバルブを開けてください。
	シーズンイン時に給水ストレーナーの清掃はしましたか？	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	シーズンイン時に加湿エレメントの洗浄をしましたか？	
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか？	
においがする	シーズンイン時に加湿エレメントの洗浄をしましたか？	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか？	
	シーズンイン時に給水管内の残水を排水しましたか？	
音がする	給水圧力は仕様値の範囲内ですか？	仕様値の範囲外なら、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	給水系へのエアーのかみ込みはありませんか？	異音発生状態で給水用サービスバルブを閉めると音が消える場合は、エアー抜きが必要です。販売店にご連絡ください。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

6. 仕様

品番	CZ-07ASU7	CZ-16ASHU7	CZ-14ASU7	CZ-20ASHU7
適合室内ユニット	28～90形		112～160形	
加湿能力（kg/h）	0.710±20%	1.41±20%	1.37±20%	1.99±20%
有効加湿量（kg/h）	0.755±20%	1.60±20%	1.43±20%	2.04±20%
外形寸法H×W×L（mm）	157×163×516.5	157×163×516.5 157×121×516.5	212×163×516.5	212×163×516.5 212×121×516.5
質量（水無し）（kg）	2.5	4.1	2.8	4.7
電源仕様	単相200V±10%　50/60Hz			
給水圧力	0.049～0.49 MPa			
給水圧力（ポンプ使用時）	0.049～0.29 MPa			
使用水および水温	上水または上水同等、10～40℃			
周囲温湿度	5～40℃、90%RH以下			

加湿能力は、加湿器入口空気温度DB45℃・相対湿度15%・通過風速1.0m/sのときの値を示します。

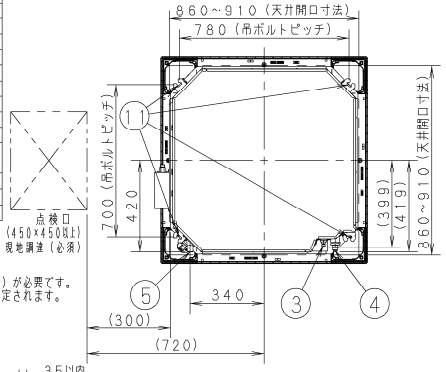
※有効加湿量はそれぞれ、Uシリーズ80H形（CZ-07ASU7、CZ-16ASHU7）、140形（CZ-14ASU7、CZ-20ASHU7）、室外ユニットXEPHY Premium接続の急風量・暖房最大能力、条件（室温20℃DB、55%RH　外気温7℃DB・6℃WB）、接続配管7.5mの値です。その他の機種接続、能力、風量が変わる時の有効加湿量は設備設計資料を参照してください。

Printed in Japan
ACXF55-31941
PA1221 - 10823

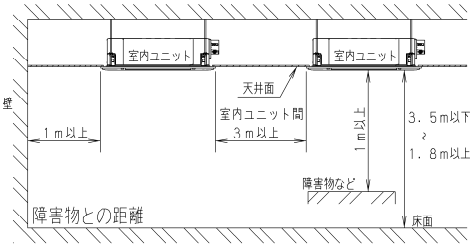
● 自然気化式加湿器取付図（エコナビパネル使用）

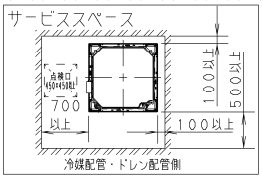
・ CZ-07ASU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕- ①

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※1
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）※2
16	エコナビセンサー　※2

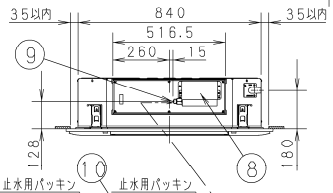


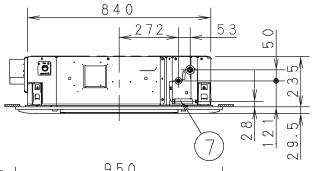
※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

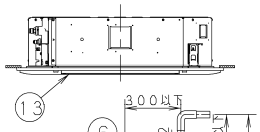


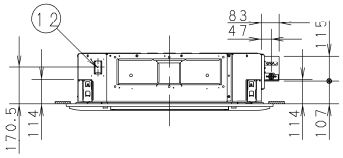


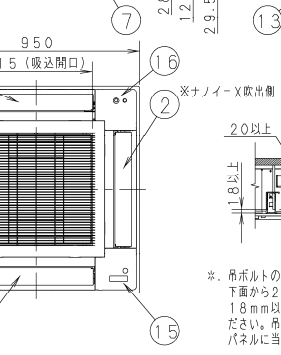
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

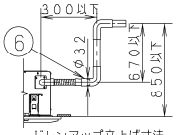


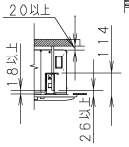




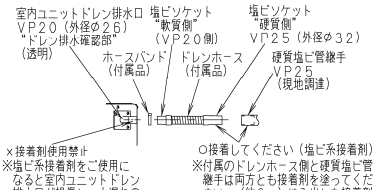






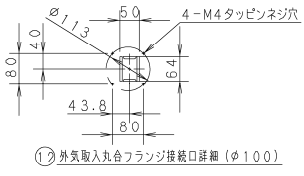


※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

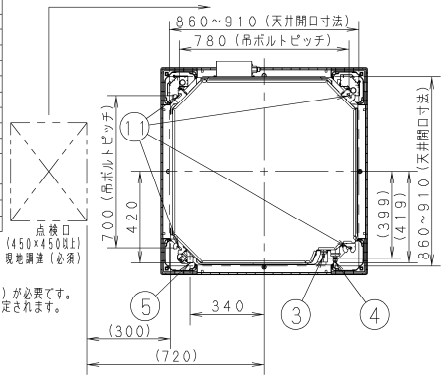
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。



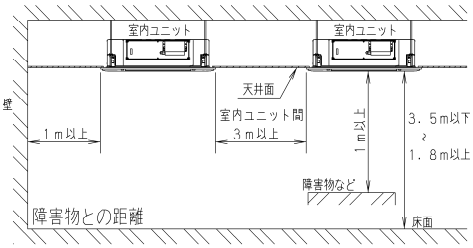
⑫ 外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）

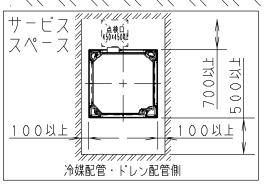
・ CZ-07ASU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕- ②

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※1
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）※2
16	エコナビセンサー　※2

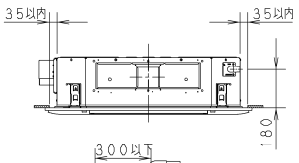


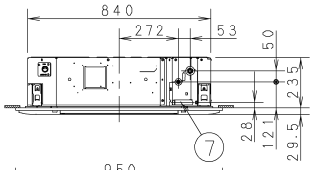
※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

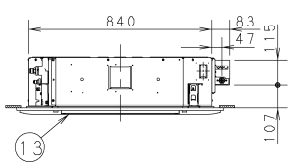


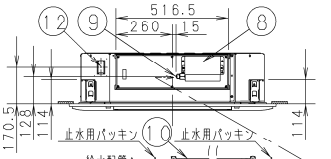


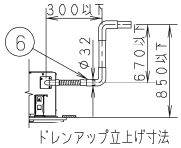
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

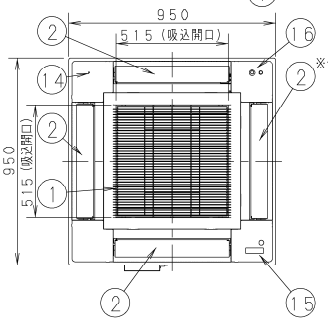


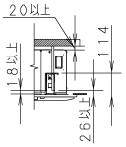




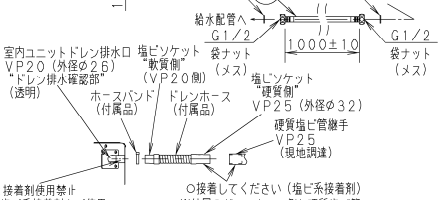






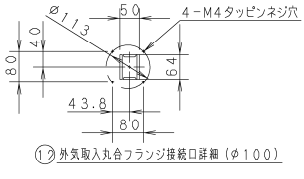


※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

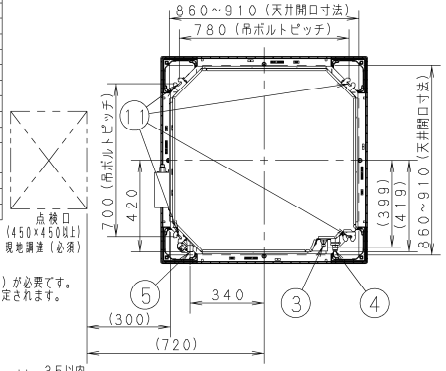


⑫ 外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）

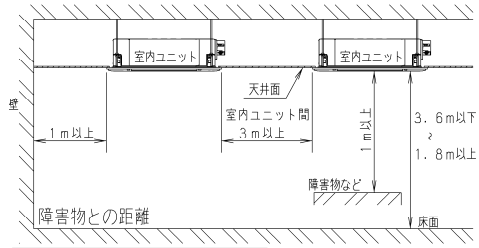
● 自然気化式加湿器取付図（エコナビパネル使用）

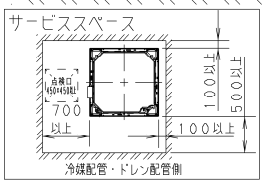
・ CZ-07ASU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕- ①

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※1
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）※2
16	エコナビセンサー　※2

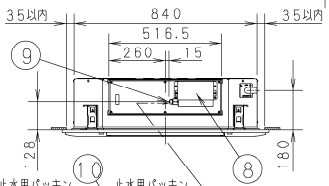


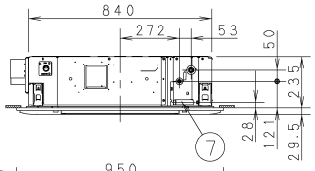
※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

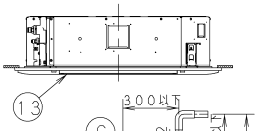


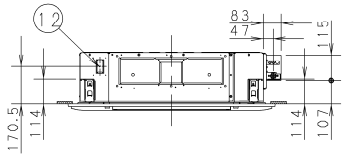


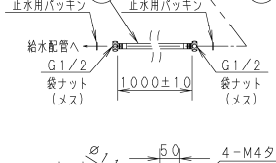
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

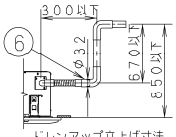




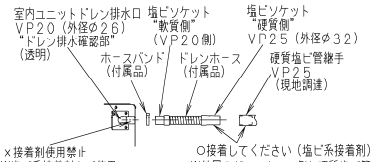






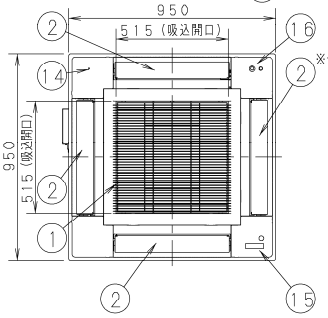


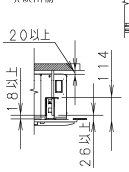
ドレンアップ立上げ寸法



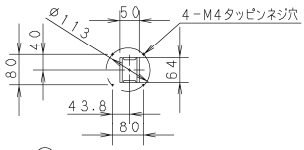
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。





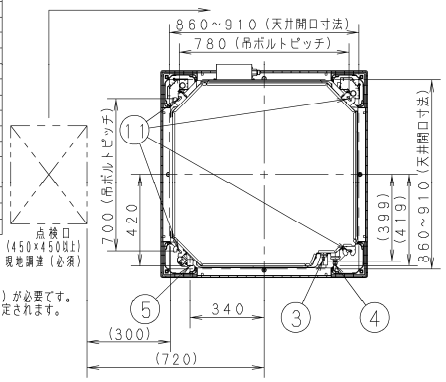
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



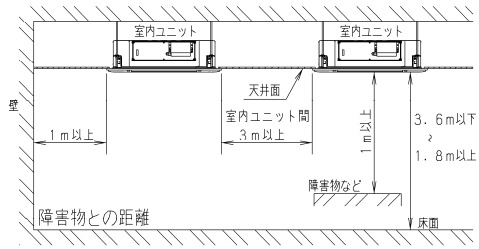
⑫外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）

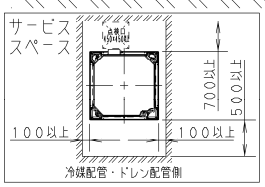
・ CZ-07ASU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕- ②

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※1
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）※2
16	エコナビセンサー　※2

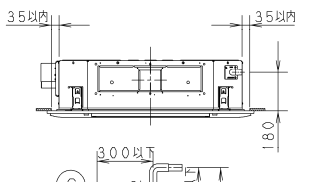


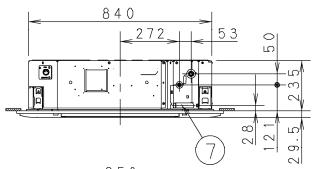
※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

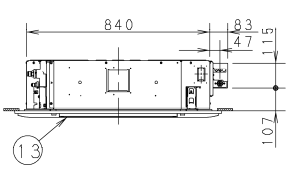


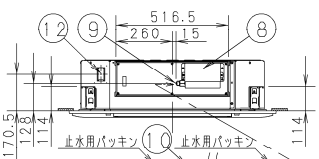


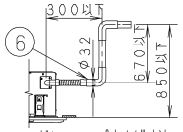
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



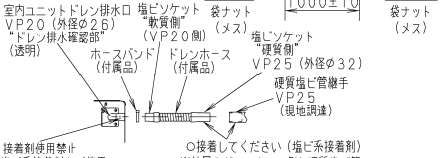






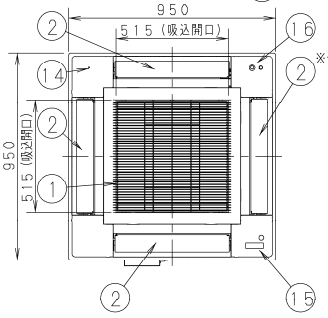


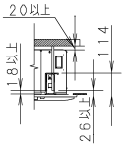
ドレンアップ立上げ寸法



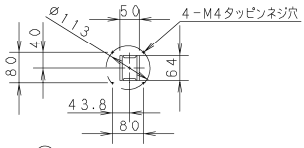
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

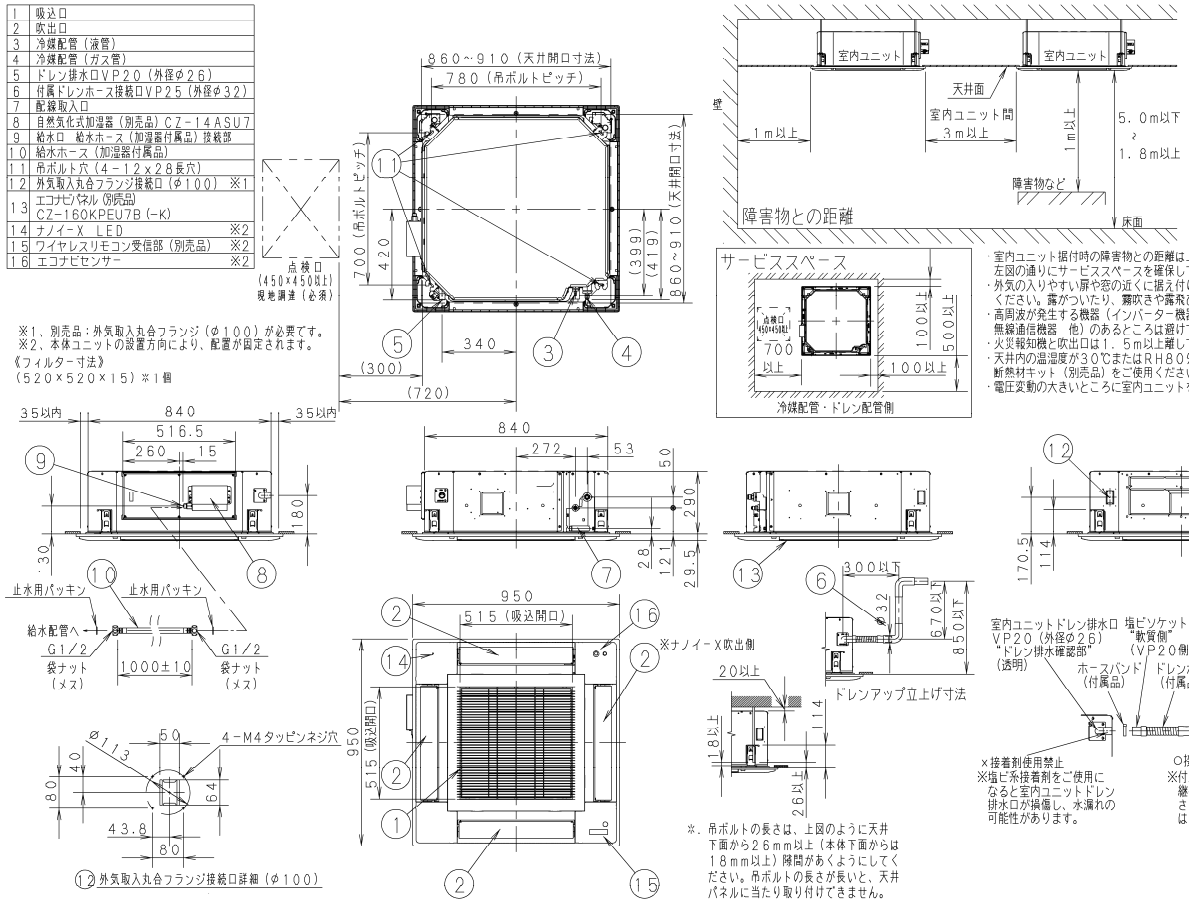


⑫外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）

● 自然気化式加湿器取付図（エコナビパネル使用）

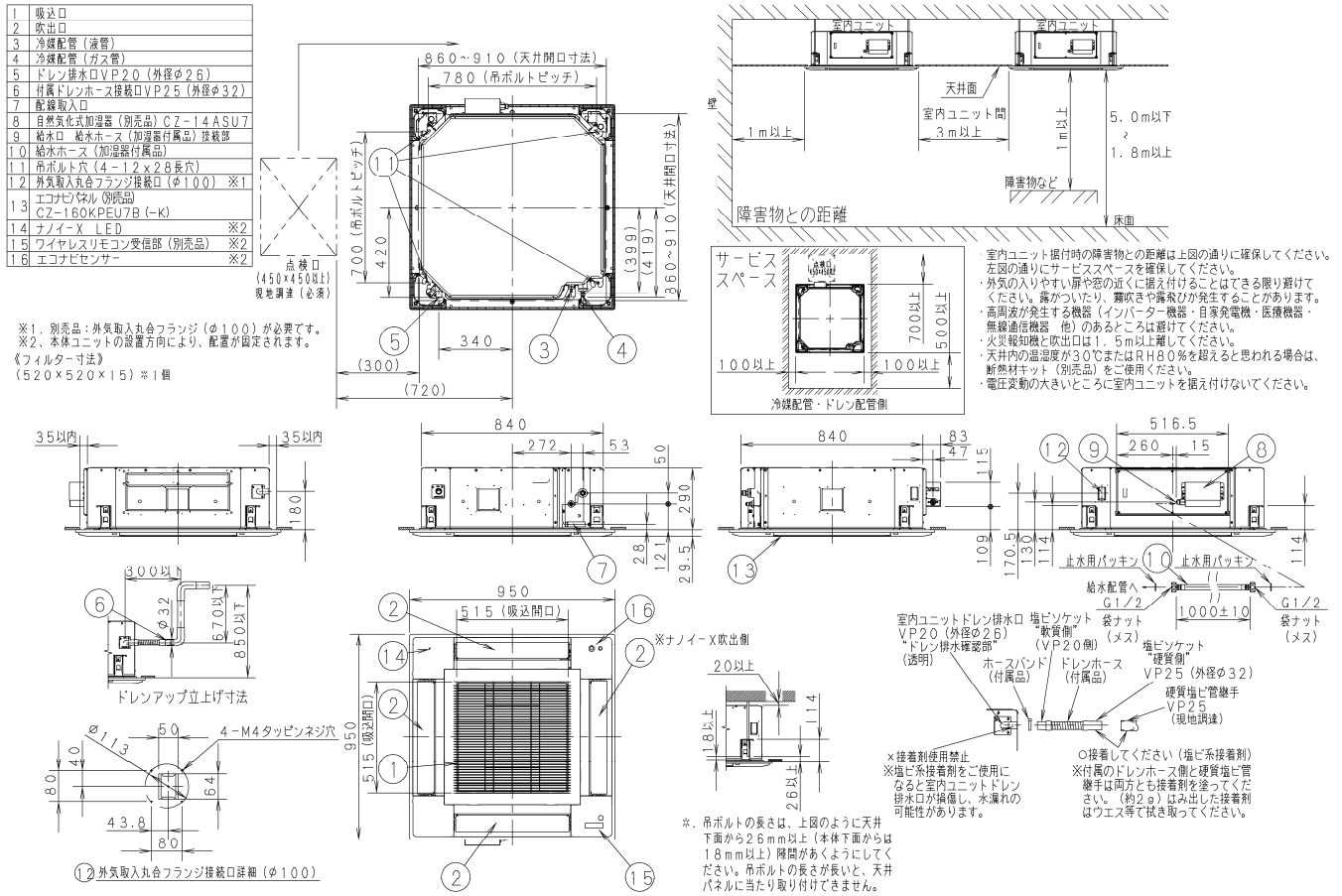
・ CZ-14ASU7 〔適用機種：112 ～ 160 形〕- ①

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-14ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※1
13	エコナビパネル（別売品）CZ-16KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）※2
16	エコナビセンサー　※2



・ CZ-14ASU7 〔適用機種：112 ～ 160 形〕- ②

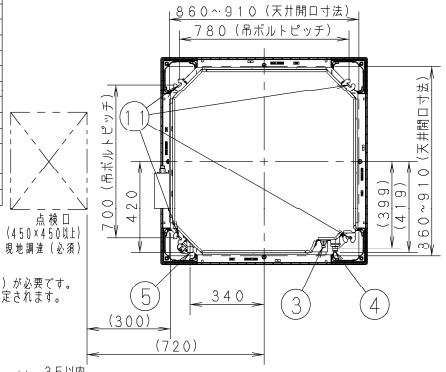
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-14ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※1
13	エコナビパネル（別売品）CZ-16KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）※2
16	エコナビセンサー　※2

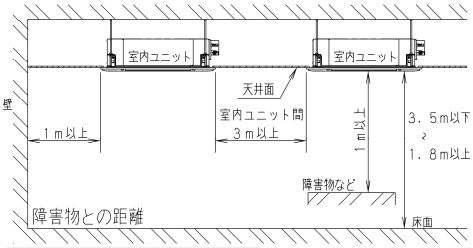


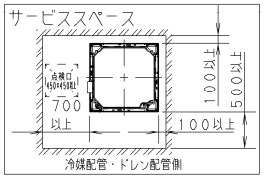
● 自然気化式加湿器取付図（標準パネル使用）

・ CZ-07ASU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕- ①

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

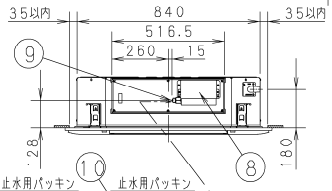


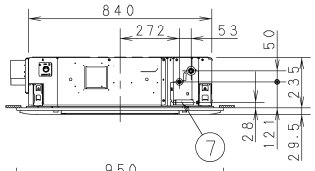


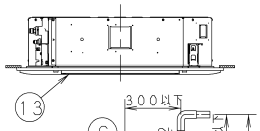


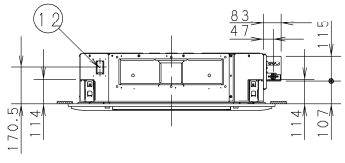
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

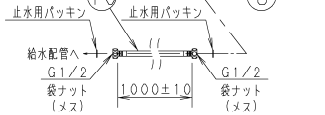
※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

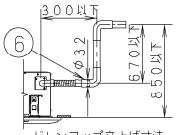




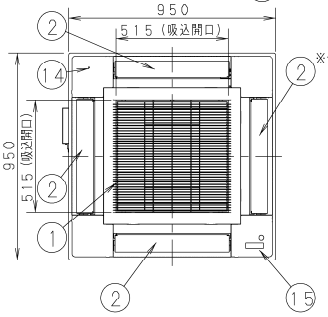


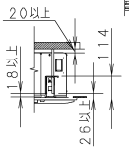




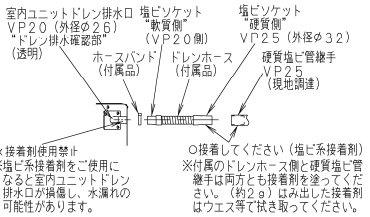


ドレンアップ立上げ寸法



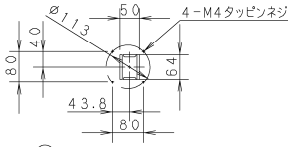


※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から26mm以上（本体下面からは
18mm以上）隙間があくようにしてく
ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
なると室内ユニットドレン
排水口が損傷し、水漏れの
可能性があります。

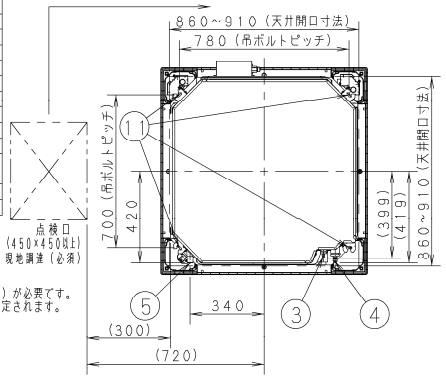
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
さい。（約2g）はみ出した接着剤
はウエス等で拭き取ってください。

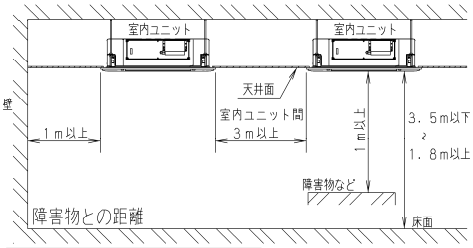


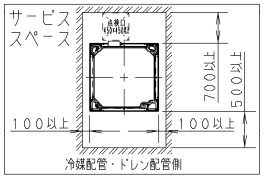
⑰外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）

・ CZ-07ASU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕- ②

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

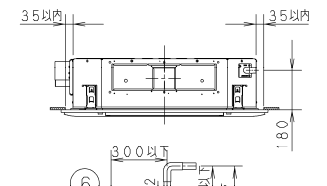


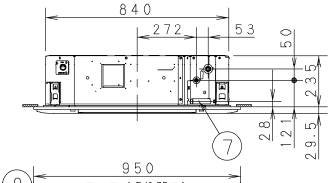


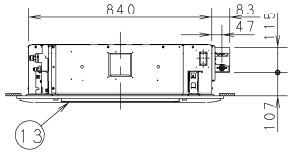


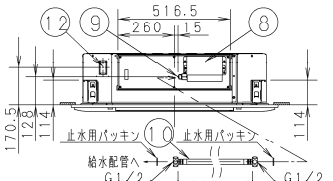
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

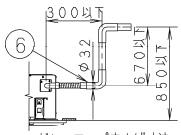
※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



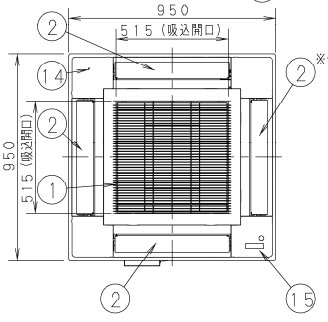


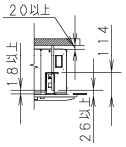






ドレンアップ立上げ寸法

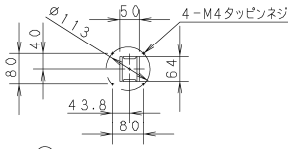




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から26mm以上（本体下面からは
18mm以上）隙間があくようにしてく
ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。

×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
なると室内ユニットドレン
排水口が損傷し、水漏れの
可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
さい。（約2g）はみ出した接着剤
はウエス等で拭き取ってください。

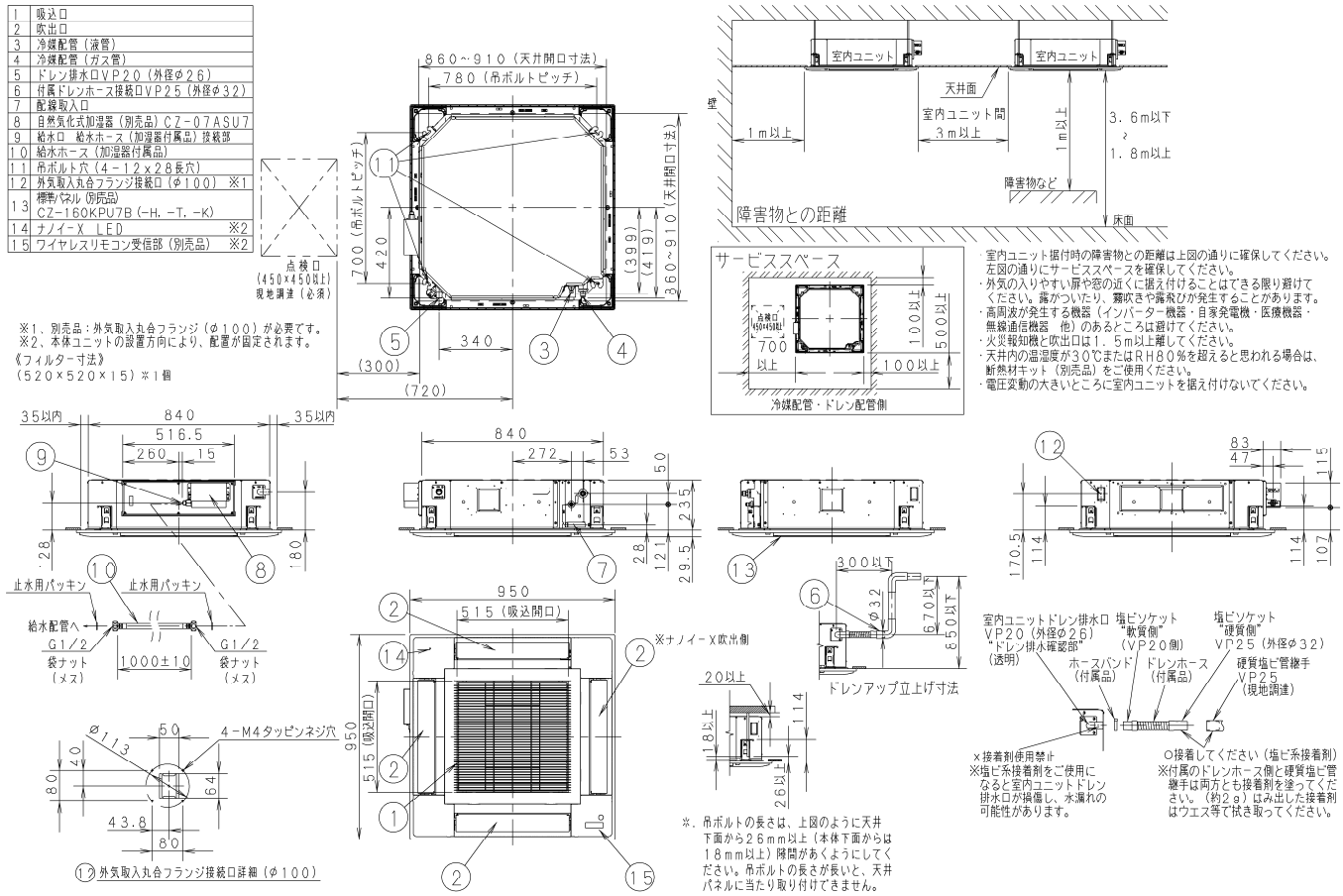


⑰外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）

● 自然気化式加湿器取付図（標準パネル使用）

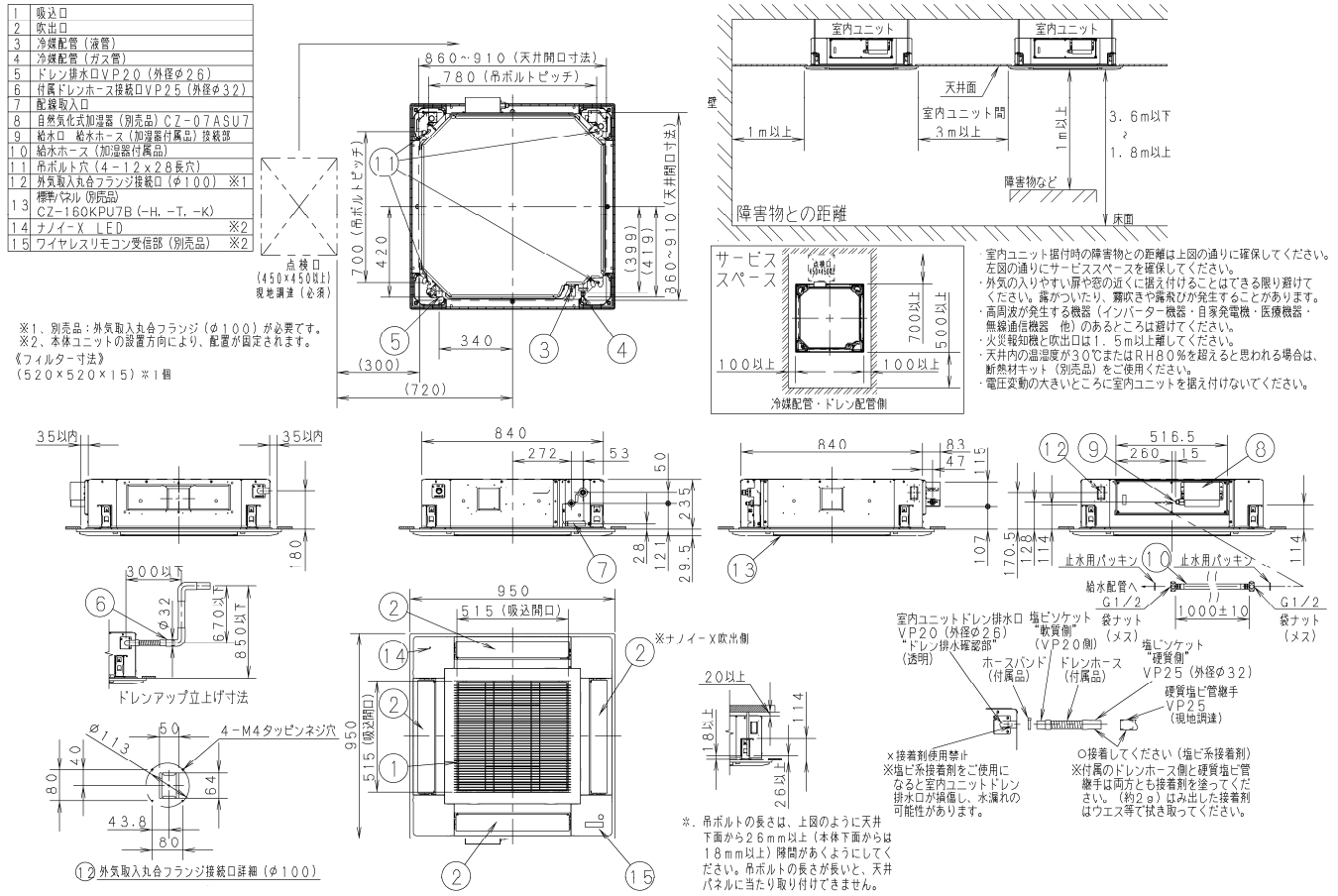
・ CZ-07ASU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕- ①

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H、-T、-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2



・ CZ-07ASU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕- ②

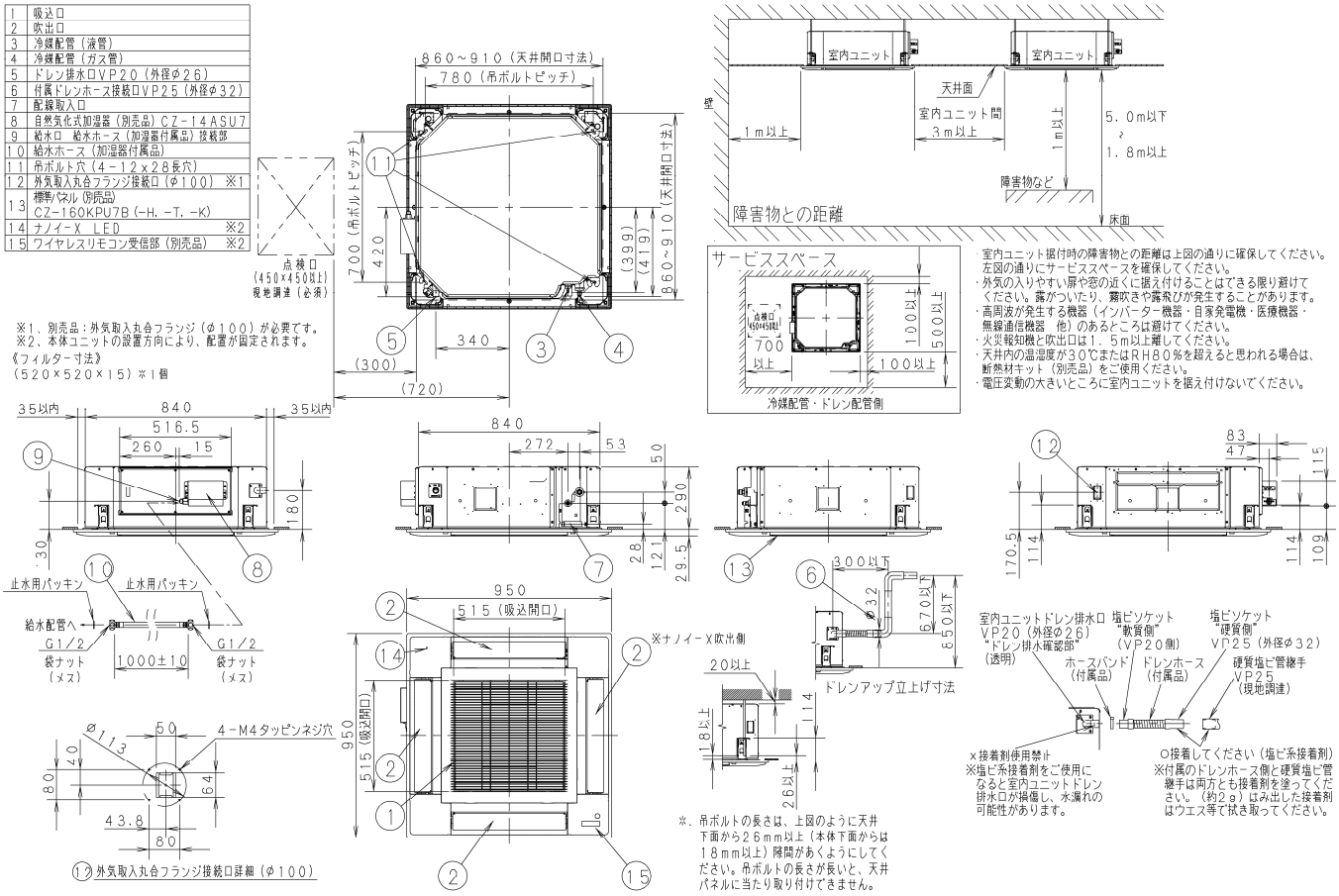
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H、-T、-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2



● 自然気化式加湿器取付図（標準パネル使用）

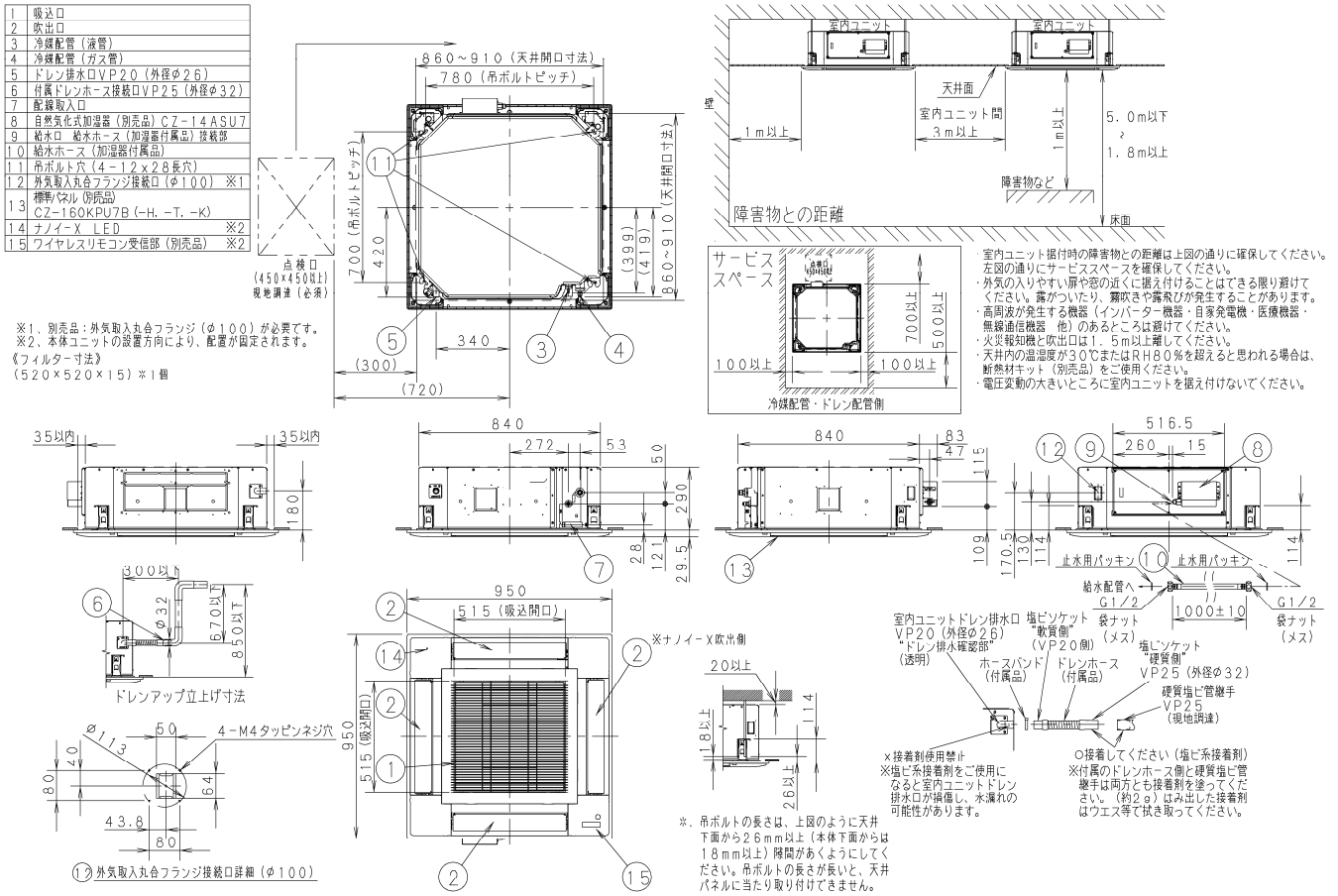
・ CZ-14ASU7 〔適用機種：112 ～ 160 形〕- ①

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-14ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H、-T、-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2



・ CZ-14ASU7 〔適用機種：112 ～ 160 形〕- ②

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-14ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H、-T、-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2



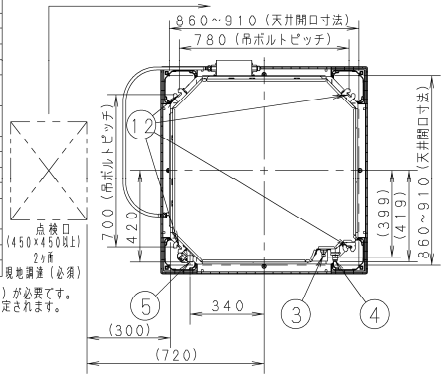
● 自然気化式加湿器（高加湿タイプ）取付図（エコナビパネル使用）

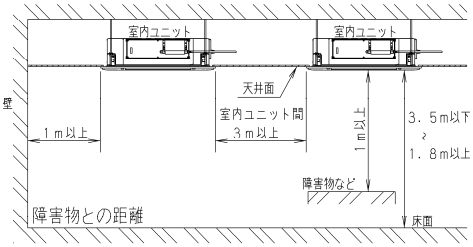
・ CZ-16ASHU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

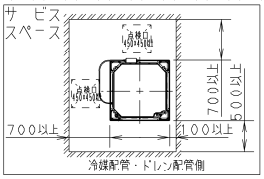
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品） CZ-16ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品） CZ-16ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
13	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
14	エコナビパネル（別売品） CZ-16OKPEU7B（-K）
15	ナノイーX LED　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
17	エコナビセンサー　※2

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

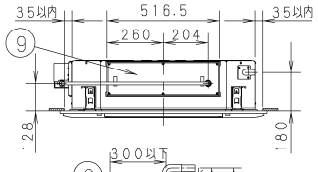
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

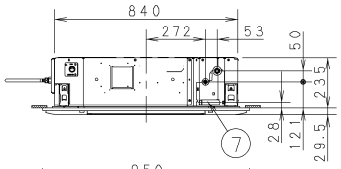


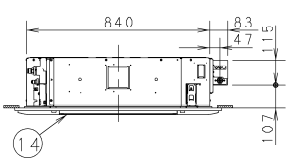


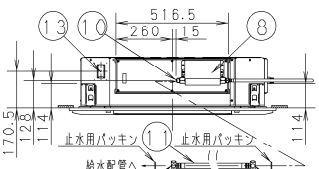


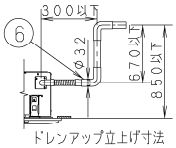
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



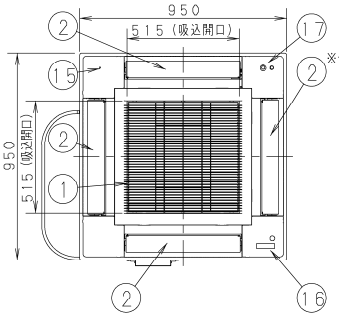


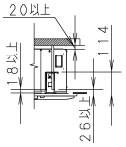




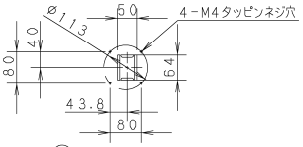


ドレンアップ立上げ寸法

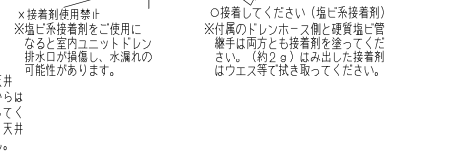




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



⑬外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

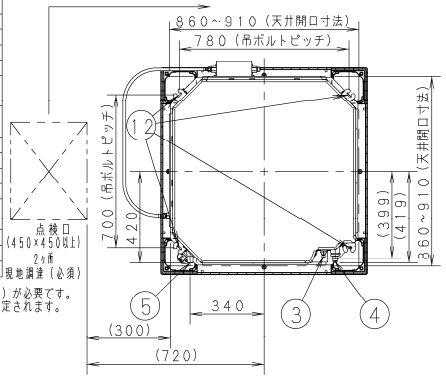
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

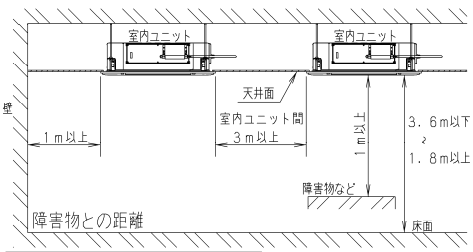
・ CZ-16ASHU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕

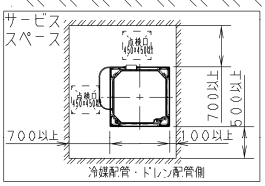
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品） CZ-16ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品） CZ-16ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
13	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
14	エコナビパネル（別売品） CZ-16OKPEU7B（-K）
15	ナノイーX LED　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
17	エコナビセンサー　※2

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

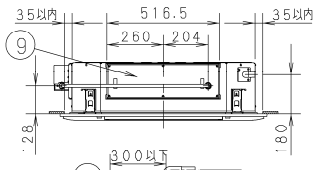
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

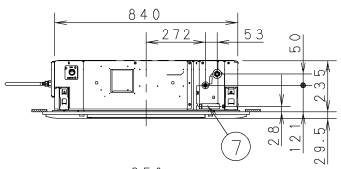


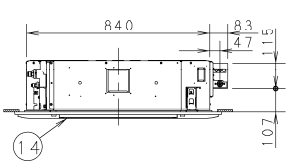


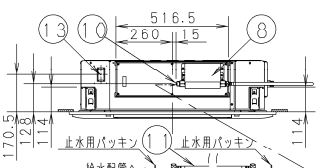


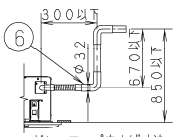
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



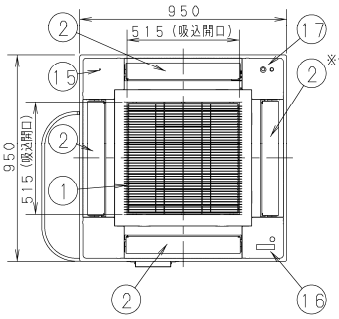


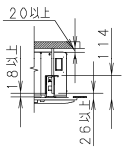




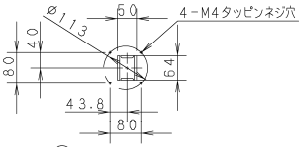


ドレンアップ立上げ寸法

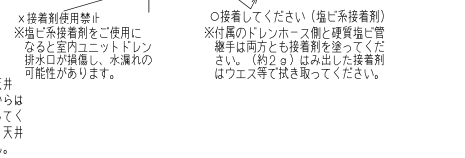




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



⑬外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

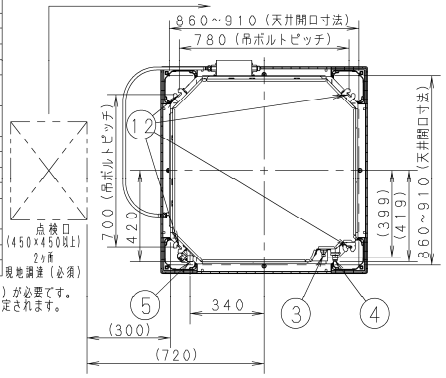
● 自然気化式加湿器（高加湿タイプ）取付図（エコナビパネル使用）

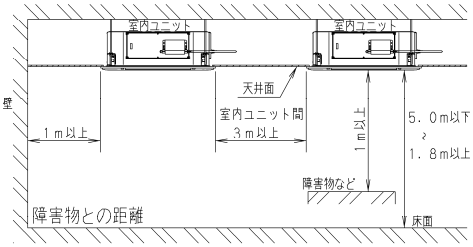
・ CZ-20ASHU7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

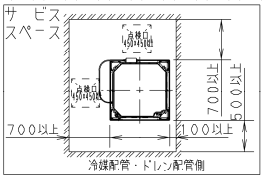
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品） ＣＺ－２０ＡＳＨＵ７＜１次側＞
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品） ＣＺ－２０ＡＳＨＵ７＜２次側＞
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
13	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※１
14	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
15	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※２
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※２
17	エコナビセンサー　※２

※１、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※２、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

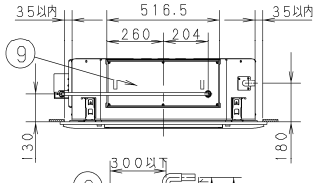
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

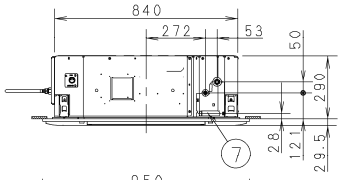


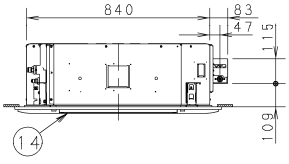


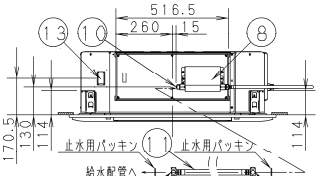


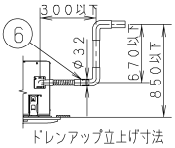
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

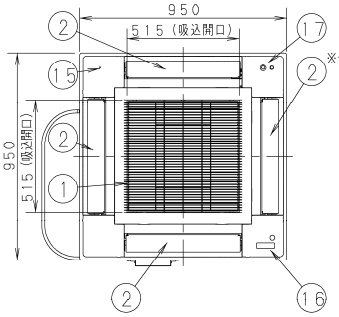


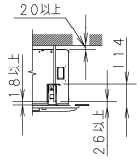




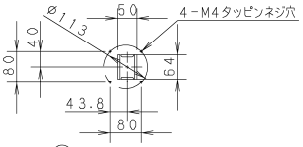




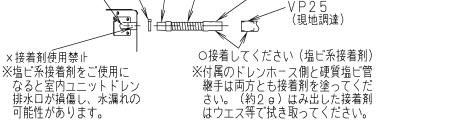




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



⑬外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

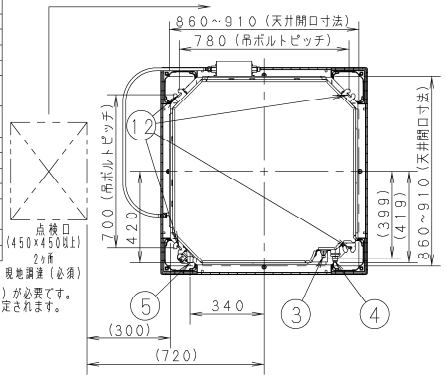
● 自然気化式加湿器（高加湿タイプ）取付図（標準パネル使用）

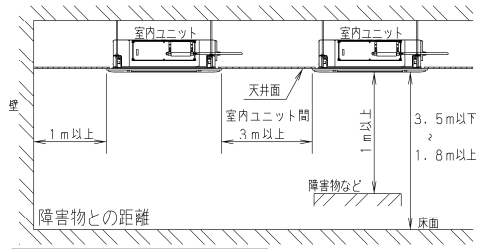
・ CZ-16ASHU7 〔適用機種：40 ～ 56 形〕

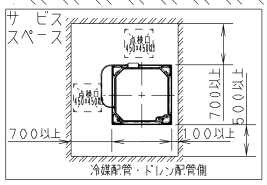
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
13	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
14	標準パネル（別売品）CZ-16GKPU7B（-H，-T，-K）
15	ナノイー X LED　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

※1．別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

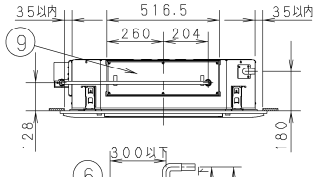
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

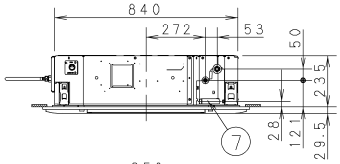


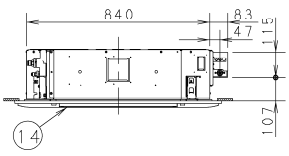


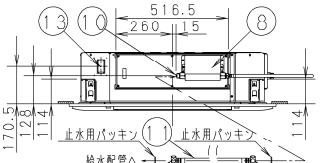


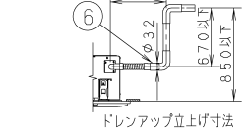
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

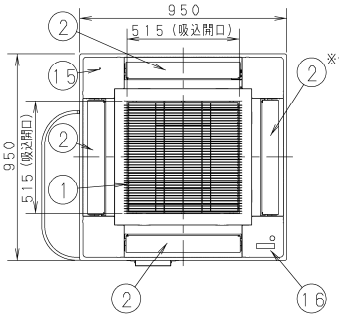


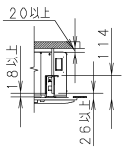




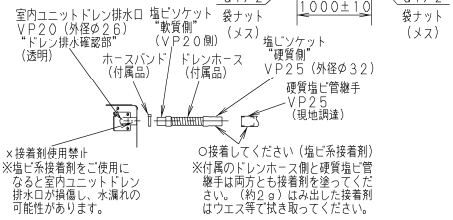






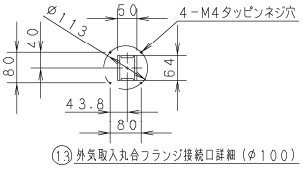


※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26ｍｍ以上（本体下面からは18ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。



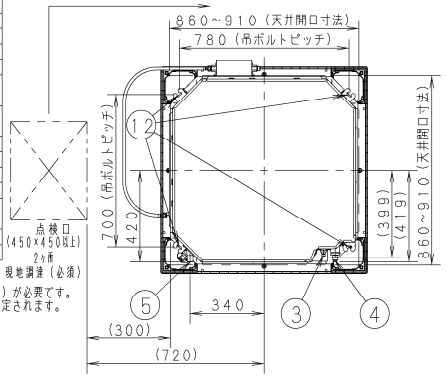
⑬外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）

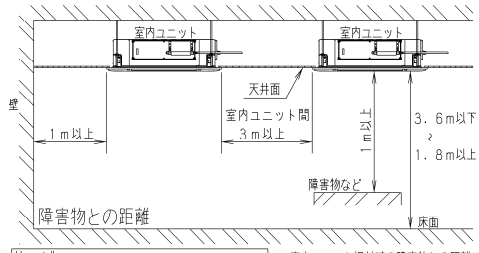
・ CZ-16ASHU7 〔適用機種：63,71,80H 形〕

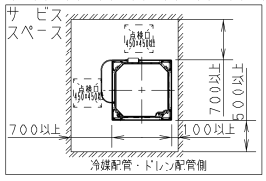
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
13	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
14	標準パネル（別売品）CZ-16GKPU7B（-H，-T，-K）
15	ナノイー X LED　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

※1．別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

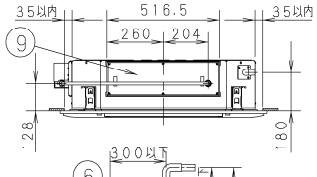
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

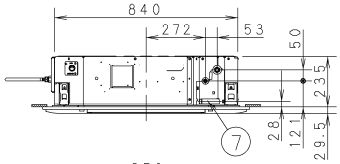


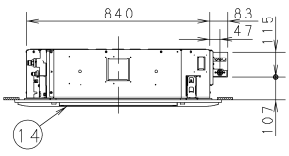


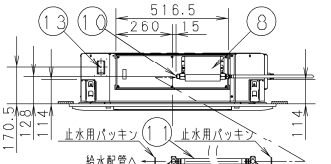


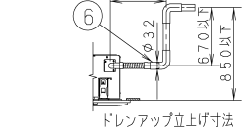
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

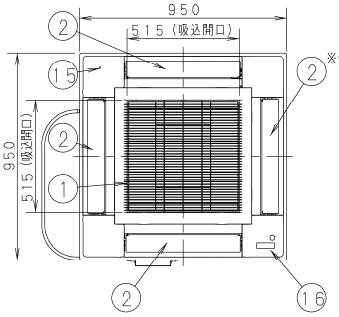


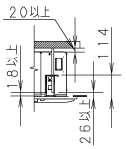




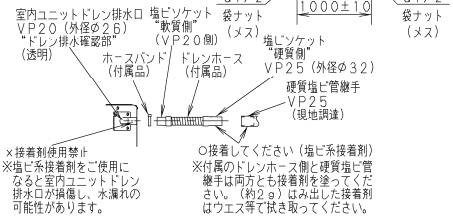






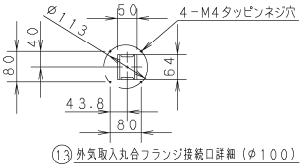


※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26ｍｍ以上（本体下面からは18ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。



⑬外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ100）

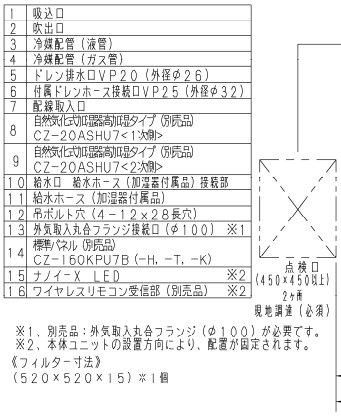
● 自然気化式加湿器（高加湿タイプ）取付図（標準パネル使用）

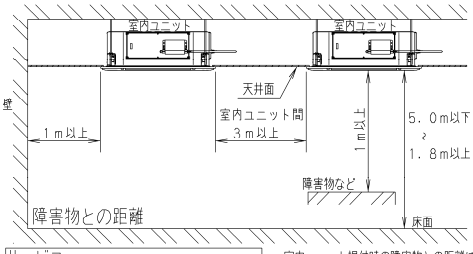
・ CZ-20ASHU7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

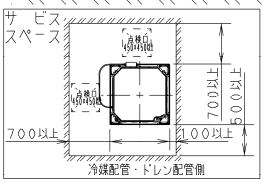
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品） ＣＺ－２０ＡＳＨＵ７＜１次側＞
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品） ＣＺ－２０ＡＳＨＵ７＜２次側＞
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
13	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※1
14	標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＵ７Ｂ（－Ｈ，－Ｔ，－Ｋ）
15	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

※1．別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

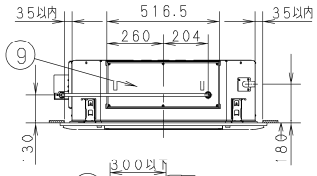
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

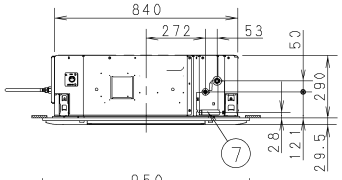


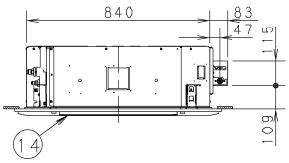


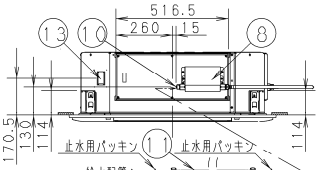


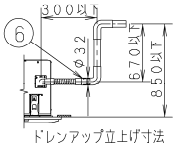
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



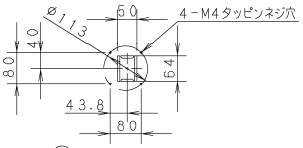




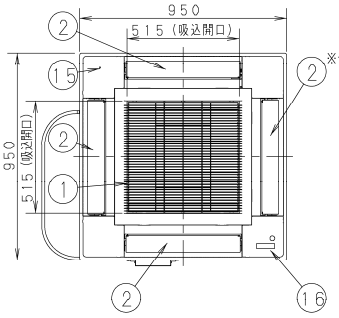


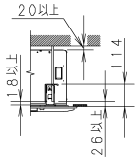


ドレンアップ立上げ寸法

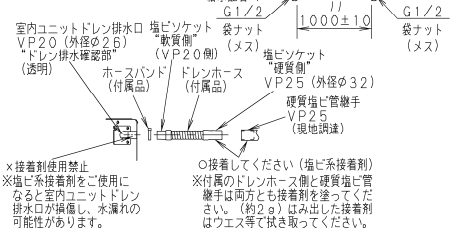


⑬外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

別売品組合せ表

（●：組合せ必須部品、◎：組合せ推奨部品、○：組合せ可能部品、△：制約付きで可能、×：組合せできない部品）

部品名	標準パネル	エコナビパネル	天井材組込パネル	昇降グリル付標準パネル	昇降グリル付エコナビパネル	ワイドパネル	自然気化式加湿器※1	しゃ風材・丸合フランジ※1	丸合フランジ（外気取入用）	超ロングライフフィルター	高性能フィルター（比色法65%）	高性能フィルター（比色法90%）	フィルターチャンバー	ロングライフフィルター※2	断熱材キット
標準パネル		×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※3
エコナビパネル	×		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※3
天井材組込パネル	×	×		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※3
昇降グリル付標準パネル	×	×	×		×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○※3
昇降グリル付エコナビパネル	×	×	×	×		○	○	○	○	×	×	×	×	○	○※3
ワイドパネル	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
自然気化式加湿器※1	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
しゃ風材・丸合フランジ※1	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	○	×
丸合フランジ（外気取入用）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×
超ロングライフフィルター	○	○	○	×	×	○	○	○	○		×	×	●	×	○
高性能フィルター（比色法65%）	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×		×	●	○	○
高性能フィルター（比色法90%）	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×		●	○	○
フィルターチャンバー	○	○	○	×	×	○	○	○	○	●	●	●		○	○
ロングライフフィルター※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
断熱材キット	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3	○	×	×	×	○	○	○	○	○	

※1 しゃ風材・丸合フランジは、配管側から見て、右側面のみ取付可能です。しゃ風材と丸合フランジを使用して、右側ダクト吹出しを行います。気化式加湿器を使う場合、丸合フランジ接続側の反対側に取付けてください。
※2 ロングライフフィルターは、各種パネルに標準装備されているフィルターと同じものです。　※3 中温用の場合は天井パネルは特注対応となります。

リモコン対応表

リモコン対応表	ワイヤードリモコン				ワイヤレスリモコン受信部※4		リモコン（別売品）の設置可能台数
	多機能ワイヤードリモコン	ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	簡単リモコン	ワイヤレスリモコン組込み受信部タイプ	ワイヤレスリモコン別置受信部タイプ	
エコナビパネルを使用する場合	◎	△	○	△	○	○	2台
エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合	◎	×	△※5	×	△※5	△※5	1台
エコナビパネル エコナビセンサー（壁設置形）を使用しない場合	◎	◎	◎	◎	○	○	2台
昇降グリル付天井パネルを使用する場合	◎	◎	△※6	△※6	○	○	2台
ナノイーXを使用する場合	◎	△※7	△※7	△※7	○	○	2台

<エコナビパネルを使用する場合>リモコンは多機能ワイヤードリモコンを基本として「親リモコン」に設定してください。○印のリモコンはエコナビ機能のON/OFFが可能です。△印のリモコンはエコナビ操作は出来ませんが、「子リモコン」として使用可能です。<エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合>リモコンは多機能ワイヤードリモコンを基本として使用ください。<多機能ワイヤードリモコンを使用する場合>多機能ワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください<多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合>その他のワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。
※4 ワイヤレスリモコンは、受信部（組込み受信部タイプもしくは別置受信部タイプ）と送信部が必要です。※5 多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合、△印のリモコンはエコナビ機能のON/OFFが可能です。※6 昇降操作専用リモコン、多機能ワイヤードリモコン、またはワイヤレスリモコンと併用してください。併用しない場合は、「昇降グリル」が動作しません。※7 多機能ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンと併用してください。併用しない場合は、ナノイーXが制御できません。

■エコナビパネル

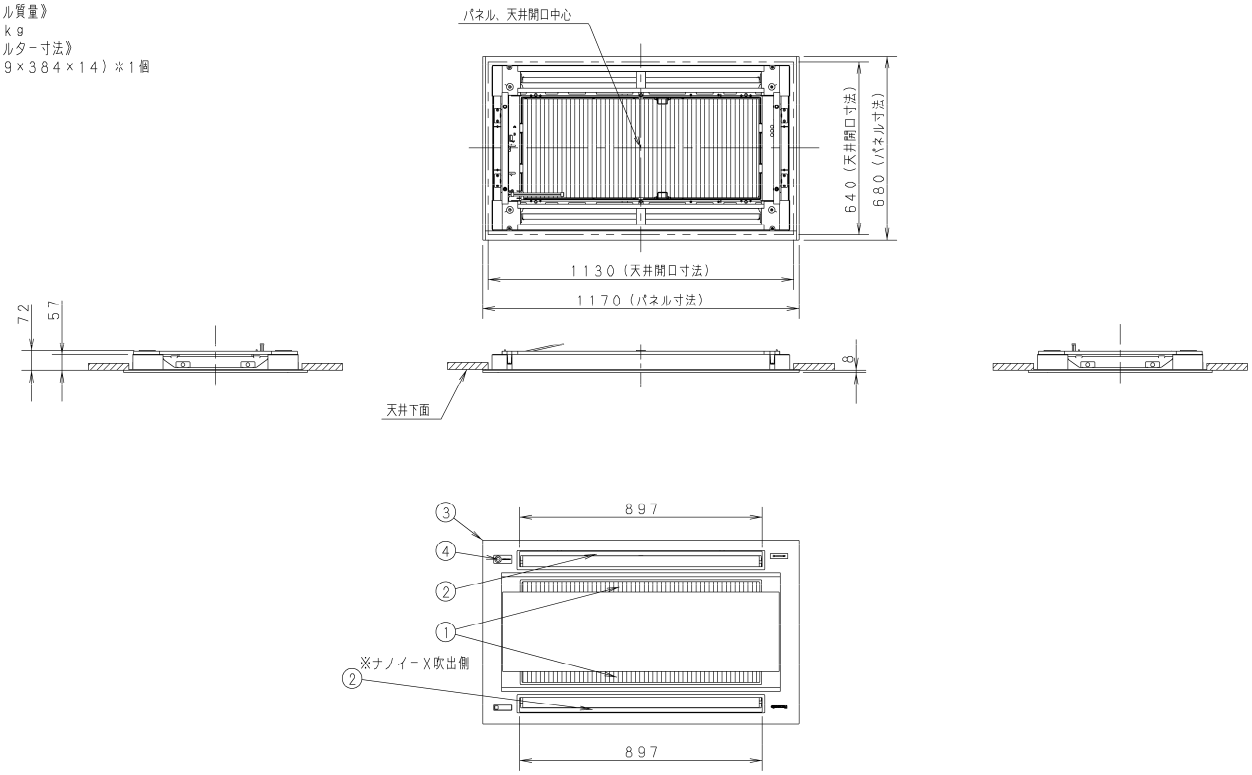
●外形寸法図

・CZ-80KPEL7〔適用機種：50 ～ 80 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井パネル　CZ-80KPEL7
④	エコナビセンサー

品番	パネル色
CZ-80KPEL7	ホワイト （マンセル記号　N9．3）

《パネル質量》
5．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（889×384×14）※1個

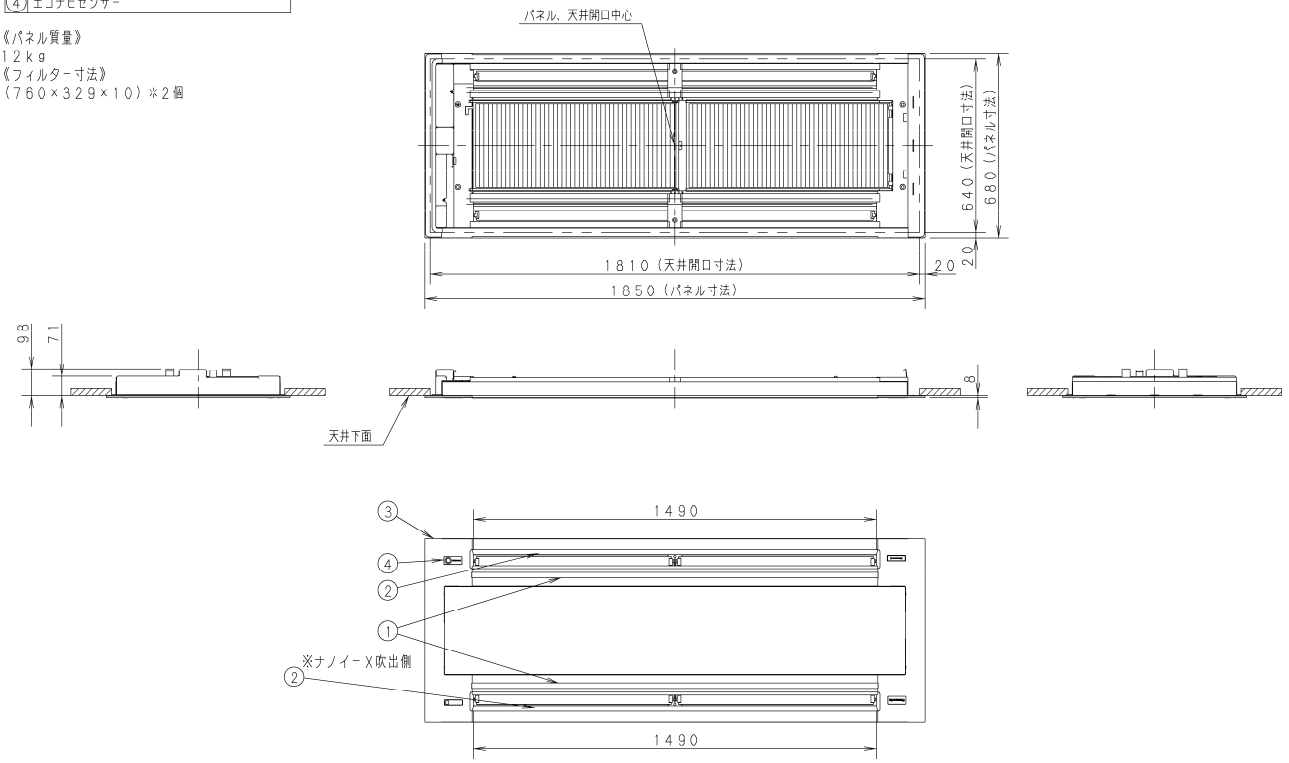


・CZ-160KPEL7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井パネル　CZ-160KPEL7
④	エコナビセンサー

品番	パネル色
CZ-160KPEL7	ホワイト （マンセル記号　N9．3）

《パネル質量》
12ｋｇ
《フィルター寸法》
（760×329×10）※2個



■標準パネル

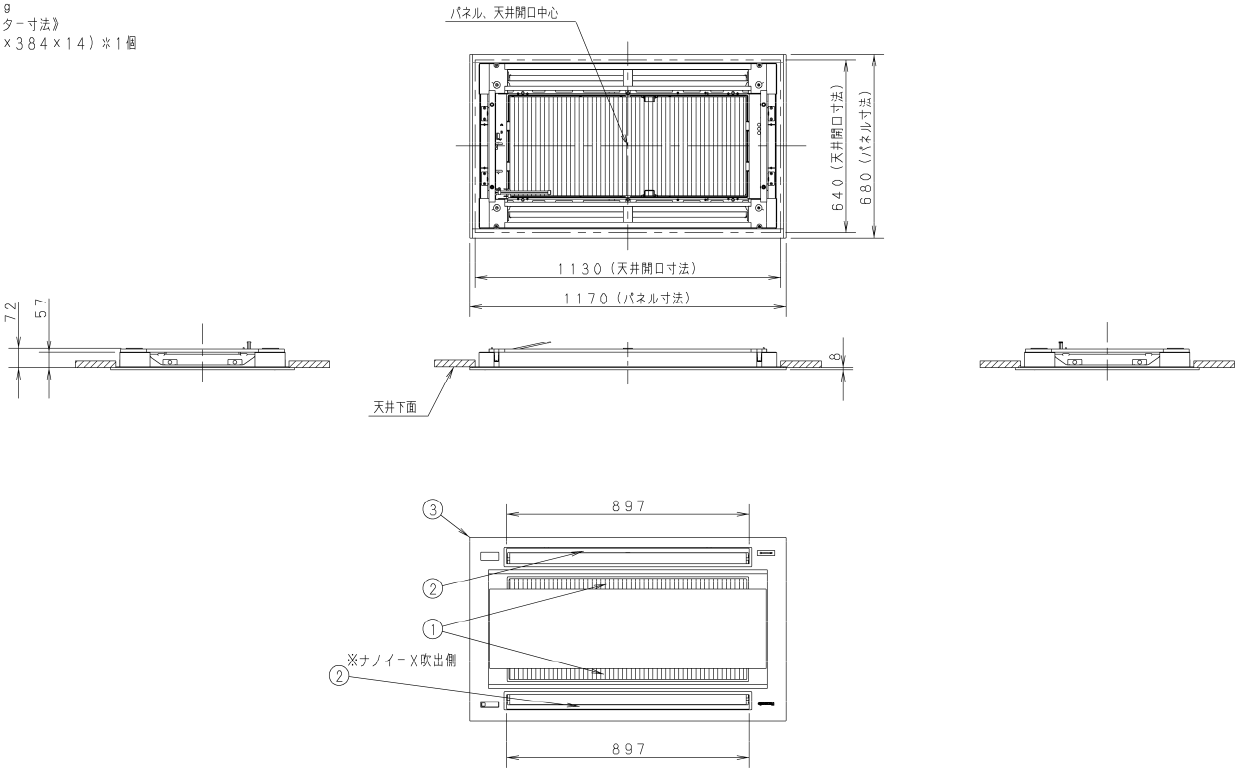
●外形寸法図

・CZ-80KPL7〔適用機種：50 ～ 80 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井パネル　CZ-80KPL7

品番	パネル色
CZ-80KPL7	ホワイト （マンセル記号　N9．3）

《パネル質量》
5．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（889×384×14）※1個

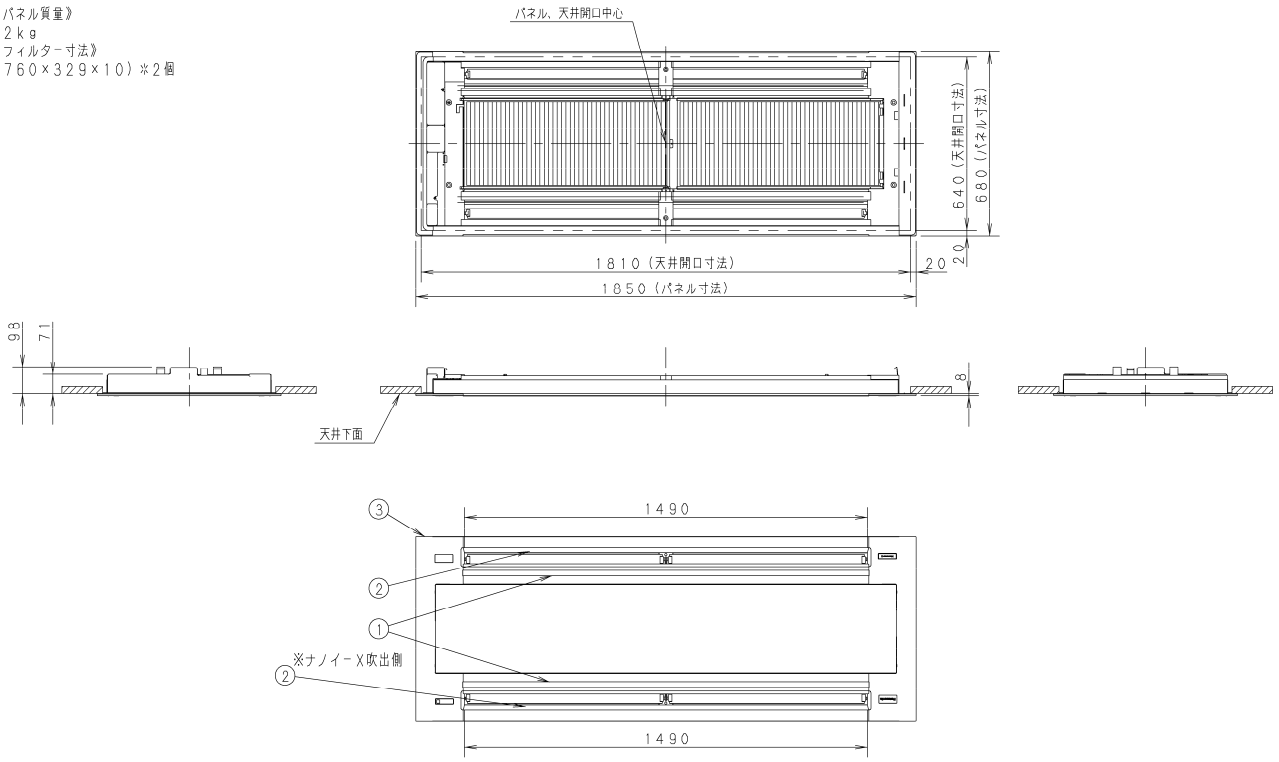


・CZ-160KPL7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井パネル　CZ-160KPL7

品番	パネル色
CZ-160KPL7	ホワイト （マンセル記号　N9．3）

《パネル質量》
12ｋｇ
《フィルター寸法》
（760×329×10）※2個



●標準パネル

品番	CZ-80KPL7	CZ-160KPL7
適用機種	50～80形	112形～160形

●エコナビパネル

品番	CZ-80KPEL7	CZ-160KPEL7
適用機種	50～80形	112形～160形

据付工事説明書

品番	標準パネル	CZ-80KPL7	CZ-160KPL7
	エコナビパネル	CZ-80KPEL7	CZ-160KPEL7

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

🚫 してはいけない内容（禁止事項）です。

❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

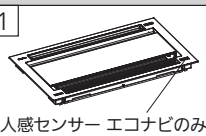
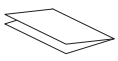
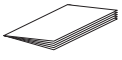
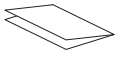
⚠ 警告

❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**（感電・火災等の原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する**
  据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書（感電・火災の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
    （発熱・火災等の原因）
- **■ 工事は、ユニットの配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってから行う**
  （感電の原因）

⚠ 注意

🚫
- **■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

本体		付属品			エコナビパネルのみ	
品名	標準パネル／エコナビパネル	座付ネジ	取付ネジ	据付工事説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	1	4	2	1	1	1
形状	 人感センサー エコナビのみ	80形（M5×26） 160形（M5×40 ワッシャー付き） （80形の座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています）	M4×25 （160形のみ）	 本説明書 お客さまに必ず渡してください		試運転編 

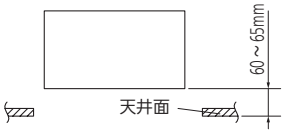
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。
取扱説明書、据付工事説明書はお客様で保管していただくように依頼してください。

ACXF60-49581
BE0922-10823

●標準パネル、エコナビパネル

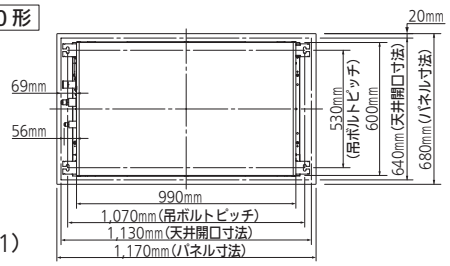
1. パネル本体取り付け前の準備

（1） 天井開口寸法は（図 1）に従い、確実に行ってください。
（2） 室内ユニットまたは別売フィルターチャンバー下面と天井面との寸法は、60 ～ 65mm になるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調節してください。（図 2）
（3） 天井面の穴開けと吊ボルト位置の寸法は（図 1）に従ってください。



（図 2）室内ユニットの高さ調整

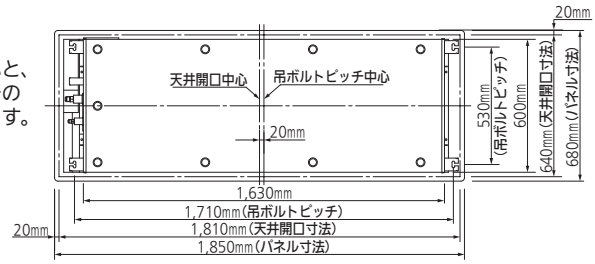
80 形



（図 1）

160 形

注意
天井開口の中心と、吊ボルトピッチの中心が異なります。

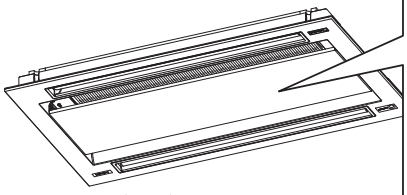


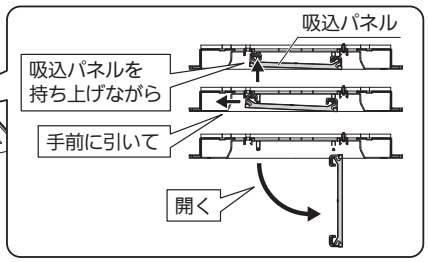
2. パネル本体の取り付けかた

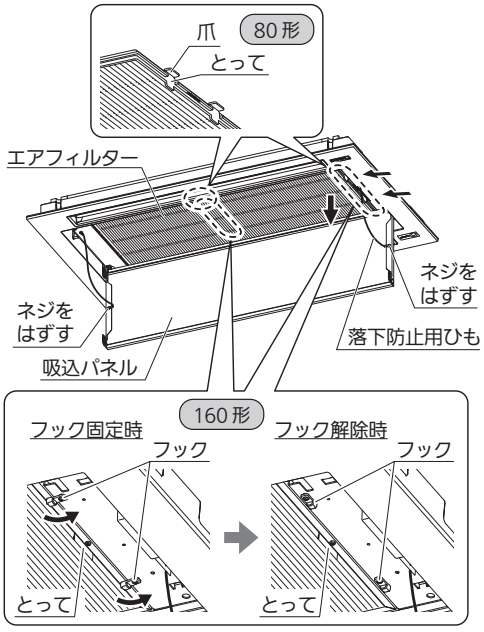
（1）吸込パネルとエアフィルターの取りはずし

①吸込パネルのはずしかた（80 形、160 形共通）
吸込パネル長辺の片側（どちら側からも可）の端を持ち上げながら手前に引いて開きます。（図 3）
吸込パネル側の落下防止用ひもの固定ネジをはずしてから吸込パネルをはずします。（図 4）

②エアフィルターのはずしかた（図 4）
80 形 ： エアフィルターの短辺のとって（2 つ）と長辺のとってを押してフィルター枠をたわめて爪を外し下方にひきます。
（エアフィルター 1 枚）
160 形 : エアフィルターの短辺のとって（1 つ）を持ちながらフック 2 か所を回して固定を解除し下方にひきます。
（エアフィルター 2 枚）


（図 3）





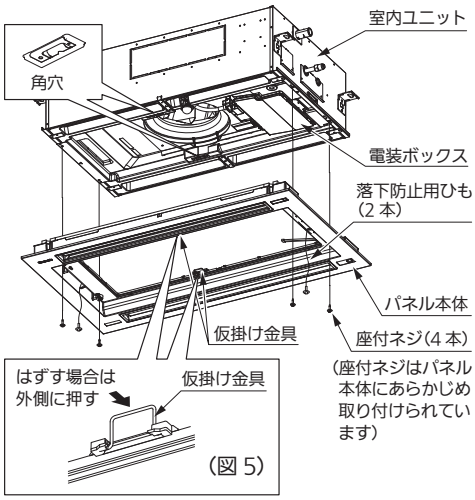
（図 4）

（2）パネル本体の取り付け

- **160 形はフラップの角度変更は電源を入れなければできません。**
（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。）
- **パネル本体は室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。**

80 形の場合（図 6）

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図 5）
- 室内ユニットの電装ボックス側とパネル本体の配線位置を合わせてください。
②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合せてください。
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の 4 か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図 6）
④室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間がないことを確認します。（図 6）
（隙間があると水漏れや露付きの原因となります。）
- パネル本体をはずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。（図 5）



（図 5）

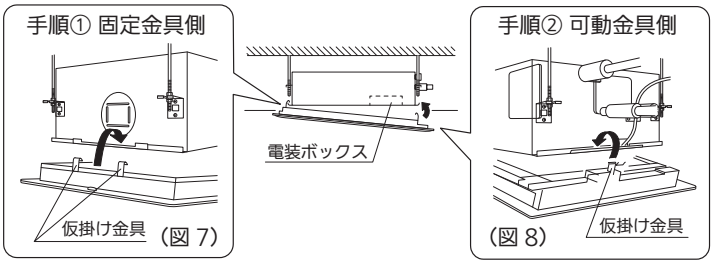
（図 6）パネル本体の取り付けかた

●標準パネル、エコナビパネル

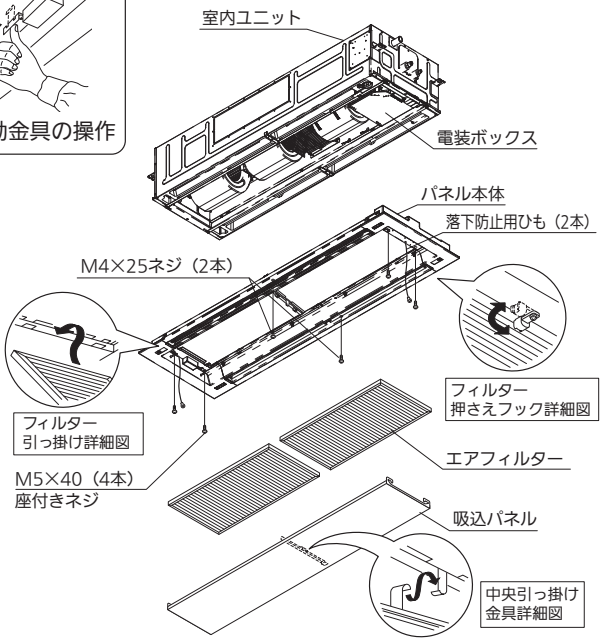
160 形の場合（図 10）

①電装ボックスと反対側の仮掛け金具（固定金具側）を室内ユニットに引っ掛けます。（図 7）
②次に電装ボックス側を持ち上げ仮掛け金具（可動金具側）を室内ユニットに引っ掛けます。（図 8）
このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックすることを確認してください。
③パネル本体が室内ユニットへ仮掛けされていることを確認してください。
④次に座付ネジ（M5×40 ワッシャー付き）4 本で、パネル本体を固定します。さらに吹出口中央部をネジ（M4×25）2 本で固定します（図 10）

● パネル本体をはずすときは、可動金具を矢印方向に押してロックを解除します。（図 9）




（図 9）可動金具の操作

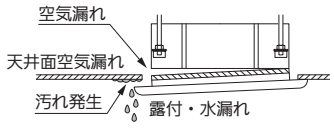


（図 10）パネル本体の取り付けかた

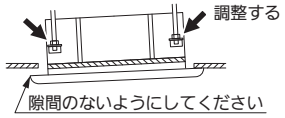
80 形、160 形共通

ご　注　意

● 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



● 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの据え付け高さを再調整してください。



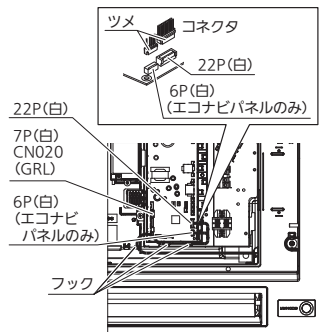
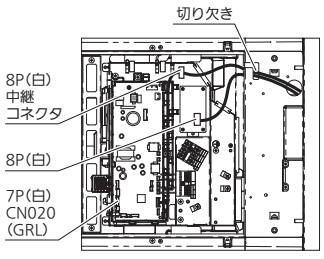
(3)パネル本体の配線方法

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。(ネジ 2 か所)
②パネル本体から出ている配線コネクタ（80 形標準パネルは 22P(白)、80 形エコナビパネルは 22P(白)と 6P(白)、160 形標準パネルとエコナビパネルは 8P(白)を 2 個)を室内ユニットの基板のコネクタまたは中継コネクタに接続してください。その際、配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線をしてください。

● **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。(確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります。)**

③電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。

● **配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。**
● **配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。**
● **通常ご使用になる場合、束ねてある配線はそのままご使用ください。フィルターチャンバーをご使用の場合、束ねてある配線をほどいてご使用ください。**

	オフィス・店舗用エアコン（PAC）に接続する場合
80 形	
160 形	

(4)吸込パネルとエアフィルターの取り付け

取り付け方法は、吸込パネルとエアフィルターの取りはずしと逆の手順で取り付けてください。

● 吸込パネルとエアフィルターを取り付ける際、配線をはさまないよう注意してください。
● 必ず落下防止用ひもをパネル本体に取り付けてください。落下防止用ひもを取り付けない場合、吸込パネルとエアフィルターが落下するおそれがあります。

●標準パネル、エコナビパネル

3. その他

A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
  ※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- パネルの配線接続が確実にされていることを確認してください。
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

C.DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表 1、表 2）
ファン回転数を設定する方法は、
（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合
（2）/（3）ワイヤードリモコンで設定
があります。どちらかの方法で設定してください。
※ディップスイッチによる設定が優先されます。

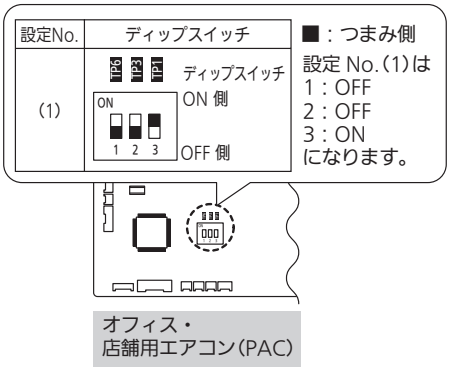
表1　DCファンモータータップ設定表

設定 No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称　※1
（出荷設定）	0000	標準
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
（1）	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 65%）
		高性能フィルター（比色法 90%）
		しゃ風材・吹出ダクト　※2

表2　天井高さの目安

室内機	標準（出荷時）	高天井設定
22 ～ 71 形	1.8 ～ 2.7m	～ 3.2m
80 ～ 160 形	1.8 ～ 3.0m	～ 3.5m

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。
※2. しゃ風材と吹出ダクトは、必ず併用してください。



（図 11）室内コントロール基板

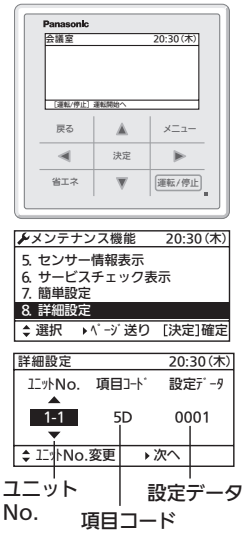
（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順>必ず配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 1 で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 11）
③表 1 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

（2）ワイヤードリモコンで設定<CZ-10RT4シリーズの場合>

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

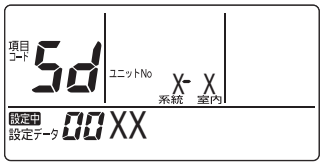
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面」が表示されます。
◄ / ► ボタンで「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

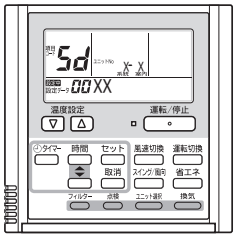


（3）ワイヤードリモコンで設定<CZ-10RT3の場合>

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 点検 + セット + 取消 ボタンを同時に４秒間以上押します。
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定 ▽ / △ ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ 時間 ▼ / ▲ ボタンで設定データを変更します。
設定データは同梱の据付工事説明書をご確認ください。
⑤ セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。





●エコナビパネル

品番	CZ-80KPEL7	CZ-160KPEL7
適用機種	50～80形	112形～160形

据付工事説明書　試運転編

品番　エコナビパネル	CZ-80KPEL7, CZ-160KPEL7

適用室内ユニット 2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事完了後、この「据付工事説明書 試運転編」をよくお読みのうえ、試運転を行い異常がないことを確認してください。
特に「安全上のご注意」は、試運転前に必ずお読みください。

●室内ユニットなどに付属の「据付工事説明書」も合わせてご覧ください。

●この「据付工事説明書 試運転編」は「取扱説明書」、「据付工事説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付工事説明書 試運転編」を工事担当の方へお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
- ■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う
  （感電・火災等の原因）
- ■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- ■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
  （感電・火災等の原因）
- ■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  （発熱・火災等の原因）
- ■ 工事は、ユニットの配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってから行う
  （感電の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

使用上のお願い

- ● 次のような場所に設置しない
  - ・湿気・油分・振動が多い/ 直射日光があたる/ 熱源の近く/ 結露する（故障の原因）
  - ・ノイズが発生する（誤動作の原因）
- ● エコナビパネルは、屋内専用です。
- ● センサーの表面に傷を付けない
  （センサーが正しく検知しなくなる原因）
- ● センサーを強く押さない（破損の原因）
- ● 熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
- ● ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や変形の原因）
  - ・汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
- ● エコナビパネルと併用不可の別売品を同時設置しない
  （動作不良の原因）
  併用可/ 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
- ● ガラス越しの人の動きは、検知できません。
- ● 起動後、不在判定するまで 2～5 分かかります。

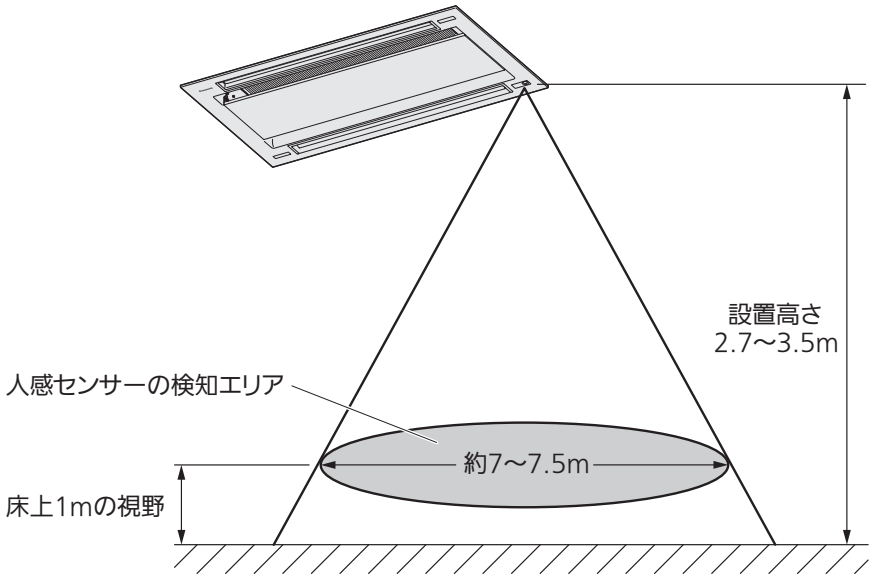
ACXF60-51461
BE1082-10823

●エコナビパネル

設置上のご注意

検知エリアの目安

●人感センサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。
　人を検知できる位置にエコナビパネルを取り付けるようにしてください。
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。



＜人感センサー検知エリア目安＞
・室内ユニット設置高さ 2.7mの場合　：直径 約 7m
・室内ユニット設置高さ 3.5mの場合　：直径 約 7.5m

●取り付け時に、センサー部を強く押さないでください。また、センサー部の表面に傷を付けないでください。
　センサーが破損し、正しく検知できなくなる場合があります。
●次のような場所には設置しないでください。故障や誤作動の原因となる場合があります。
　・湿気、油分、振動が多い場所
　・直射日光があたる場所や熱源の近く
　・結露する場所

●エコナビパネル

設定する（CZ-10RT4シリーズの場合）

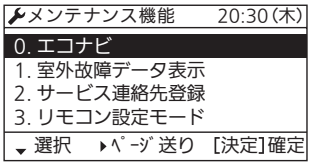
エコナビシステム設定

エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
※エコナビ機能を使用するには、室内ユニットの親機がエコナビ機能に対応している必要があります。
※ユニットが運転を停止した状態で行ってください。



1. 3 つのボタンを押す
　戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
　メンテナンス機能画面が表示されます。
　■ 1 つ前の画面に戻るとき
　　戻る を押す

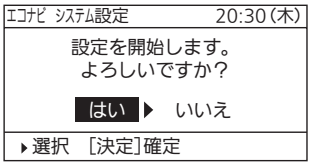
2.「0. エコナビ」を選ぶ
　▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



3.「エコナビシステム設定」を選ぶ
　▲ / ▼ ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。



4. 設定を開始する
　◀ / ▶ ボタンで「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



5. 設定完了後、システムが自動的に再起動します

6. エコナビが設定されたか確認する
　右図のように ECONAVI が表示されます。
　※ 運転中の画面になっていない場合は、運転/停止 ボタンを押して、運転状態にしてください。
　※ 運転モードが送風の場合は ECONAVI は表示されません。送風以外の運転モードにしてください。



お知らせ

●手順 2 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	処　置　方　法
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「0. エコナビ」を選択してください。 約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、自動アドレスを行った後「0. エコナビ」を選択してください。

●手順 3 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

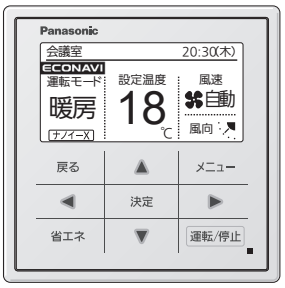
表示メッセージ	処　置　方　法
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。 そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。 室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

●エコナビパネル

試運転する（CZ-10RT4シリーズの場合）

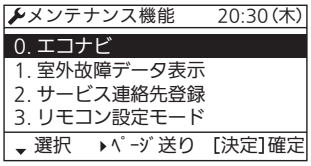
準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れてください。
電源投入後の約 90 秒間は、人感センサーは初期設定中のため、人の検知を行いません。

※ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

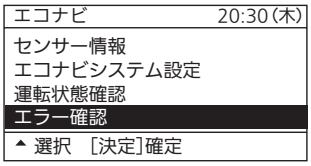


1. 3つのボタンを押す
戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。
■1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

2.「0. エコナビ」を選ぶ
▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



3.「エラー確認」を選ぶ
▲ / ▼ ボタンで「エラー確認」を選択し、決定 ボタンを押してください。



4. センサーの状態が「正常」であることを確認する
（ ▲ / ▼ ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。）
すべての室内ユニットのセンサーの状態が表示されます。



- 「正常」：エコナビパネルのセンサーは正常に動作しています。
- 「準備中」：エコナビパネルのセンサーは初期設定中です。90 秒以内に「正常」と表示されることを確認してください。
- 「未対応」：エコナビ機能に対応していない室内ユニット　です。

試運転は以上です。エコナビパネルを接続しているが「正常」「準備中」以外の表示の場合は、手順 5 を確認してください。
※「1-1」、「1-2」は室内ユニット No. を示します。エコナビパネルが接続されていない室内ユニットは、「接続なし」が表示されます。
※「センサー 1」とは、別売品のエコナビセンサー（CZ-CSEN1 等）を指します。接続されていない場合は、センサー 1 に「接続なし」が表示されます。

5. センサーの状態が「正常」「準備中」以外の場合
エコナビパネルを接続しているにもかかわらずセンサーの状態が「異常」「接続なし」になる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。対象の室内ユニットを特定し、センサーを確認しください。
- 「異常」：センサーが故障している可能性があります。
- 「接続なし」：室内ユニットとセンサー間の配線が接続されていない可能性があります。

※ 室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。
確認方法：
① メンテナンス機能を終了する。
メニュー ボタンを押して、メンテナンス機能画面を表示し、戻る ボタンを押す。
② 風向操作をする。
メニュー の「2. 風向設定」で対象の「室内ユニット No」を選んで、風向設定を行ってください。設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機器になります。

室内ユニットが特定できましたら、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切り、センサー配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れ、再度 1 ～ 4 を操作し「エラー確認」にて状態を確認してください。
再度、「異常」「接続なし」が表示された場合、エコナビパネルの交換が必要です。

●エコナビパネル

外部機器連動機能 （CZ-10RT4シリーズの場合）

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

●人感センサー出力に連動（警報とは連動しません）
人の在→不在の変化を検知時：外部機器の運転をオフします。
「不在検知時間設定」(P.6) により運転オフのタイミングを遅延させることが可能です。
人の不在→在の変化を検知時：外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動（エアコン連動）
室内ユニットが運転時：外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時：外部機器の運転をオフします。

●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ：外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時：外部機器の運転をオフします。

■設定方法

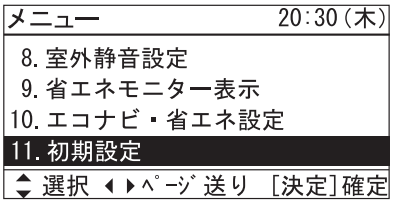
1 . メニュー画面を表示する

メニュー ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。
■1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す



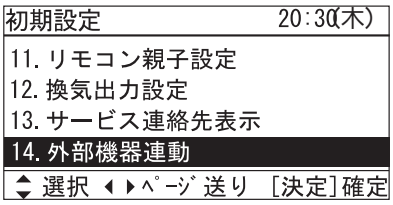
2 .「11. 初期設定」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「11. 初期設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



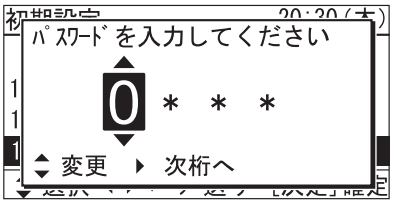
3 .「外部機器連動」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「外部機器連動」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



4 . パスワードを入力する（パスワード設定時）

▲ / ▼ ボタンで数字を選択し、▶ ボタンで次の桁に移行します。（繰り返す）
入力が完了したら 決定 ボタンを押してください。
※ パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が表示されたら 決定 ボタンを押してください。

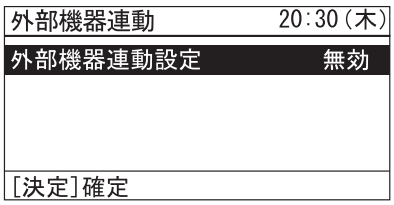


●エコナビパネル

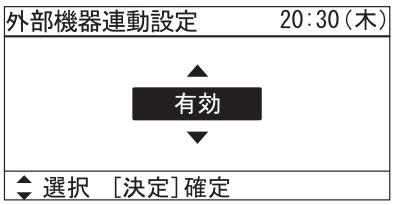
外部機器連動機能（つづき）

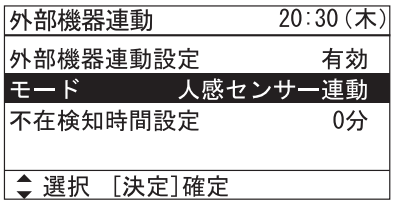
5.「外部機器連動設定」が「無効」の場合

決定 ボタンを押してください。
▲ / ▼ ボタンで「有効」を選択し、
決定 ボタンを押してください



「外部機器連動設定」が「有効」の場合
外部機器連動機能が有効のとき、「モード」「不在検知時間設定」を表示します。

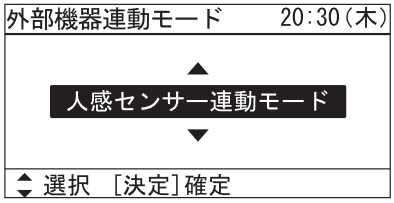


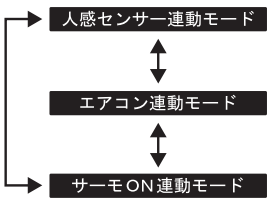


6. 設定する

「モード」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「モード」を選択し、決定 ボタンを押してください。
外部機器連動モードを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで選択し、 決定 ボタンを押してください。





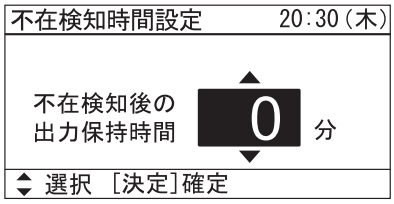
エコナビセンサーの在・不在出力に連動します。

エアコンの運転 / 停止出力に連動します。

エアコンのサーモ ON/OFF 出力に連動します。

「不在検知時間設定」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



運転オフのタイミングを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで0～60分の間で1分刻みに設定可能です。
設定後、 決定 ボタンを押してください。
メニュー ボタンを2回押して終了してください。

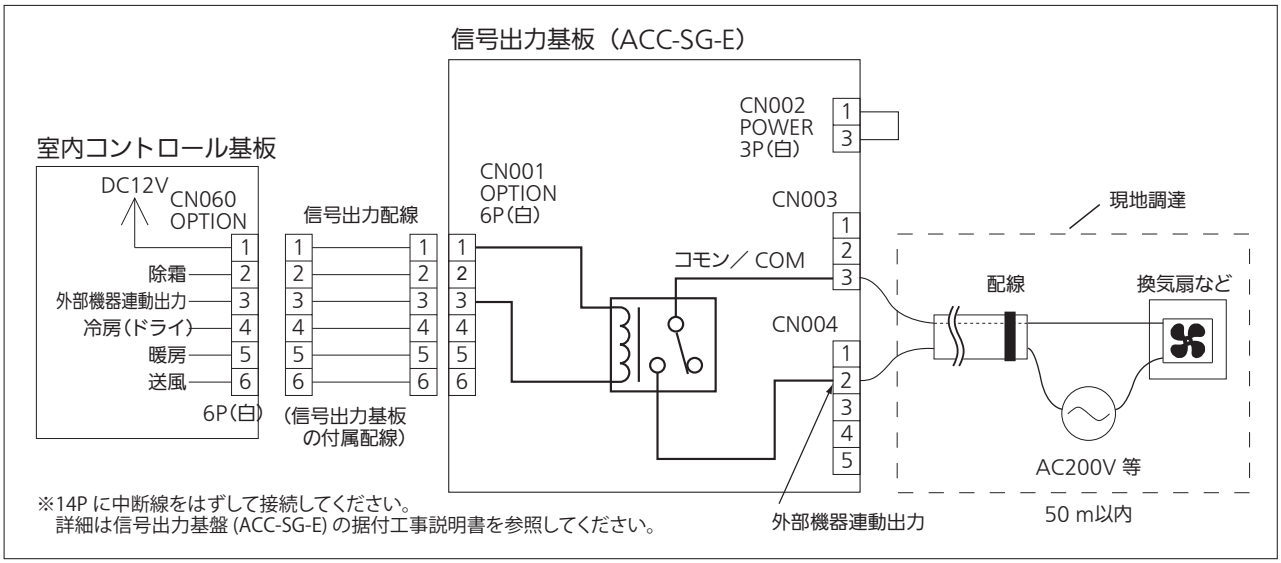
●エコナビパネル

外部機器連動機能（つづき）

■配線例

別売品の信号出力基盤 (ACC-SG-E) を使用した連動システム例

＜オフィス・店舗用エアコン（PAC）に接続する場合＞



お知らせ

●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、 空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。

●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

●エコナビパネル

仕様

品番	CZ-80KPEL7
外形寸法	（幅）1170㎜×（奥行き）680㎜×（高さ）8㎜
質量	5.5㎏
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC5V（室内ユニットより供給）

品番	CZ-160KPEL7
外形寸法	（幅）1850㎜×（奥行き）680㎜×（高さ）8㎜
質量	12㎏
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC5V（室内ユニットより供給）

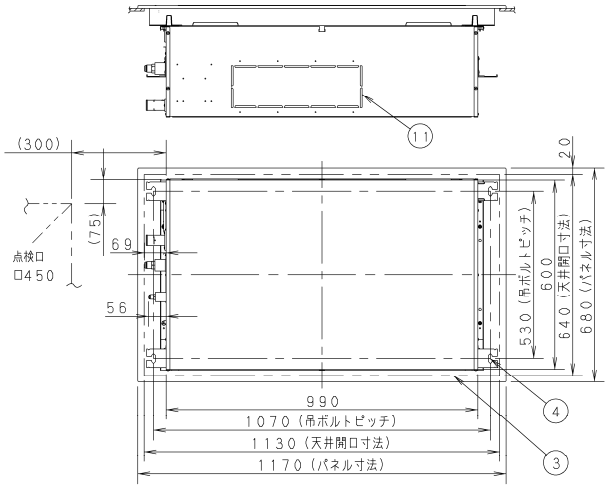
● エコナビパネル取付図

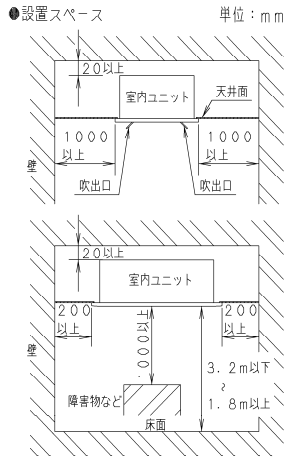
・CZ-80KPEL7〔適用機種：50 ～ 71 形〕

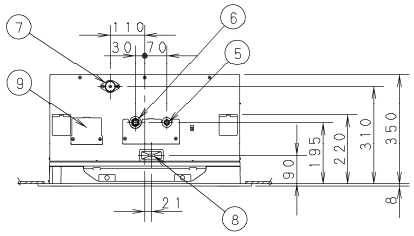
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<ø150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

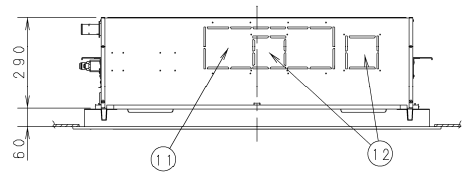
注記

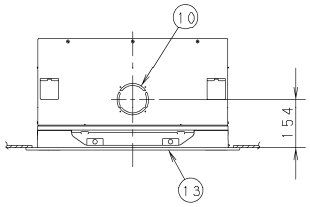
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。

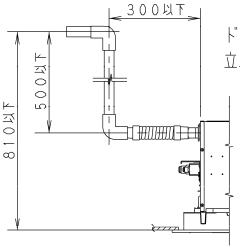


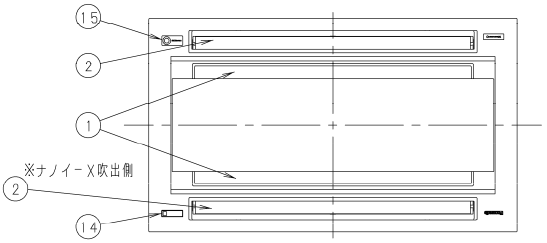










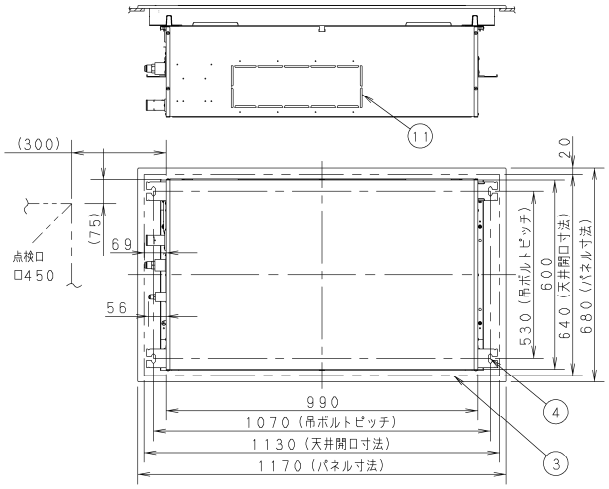


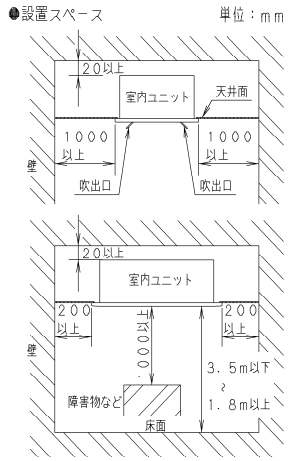
・CZ-80KPEL7〔適用機種：80 形〕

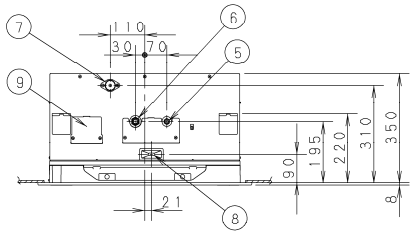
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<ø150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

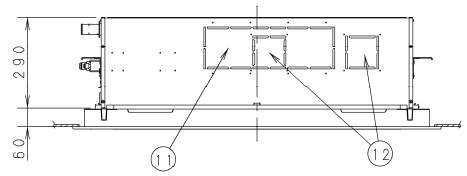
注記

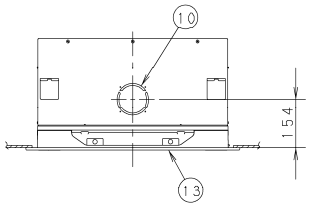
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。

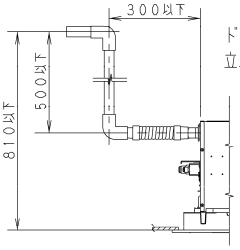


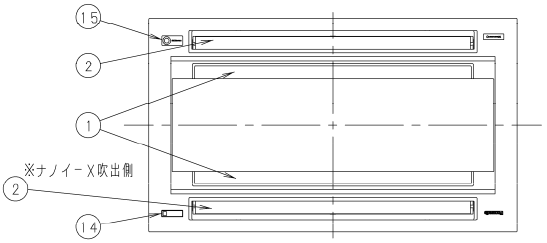












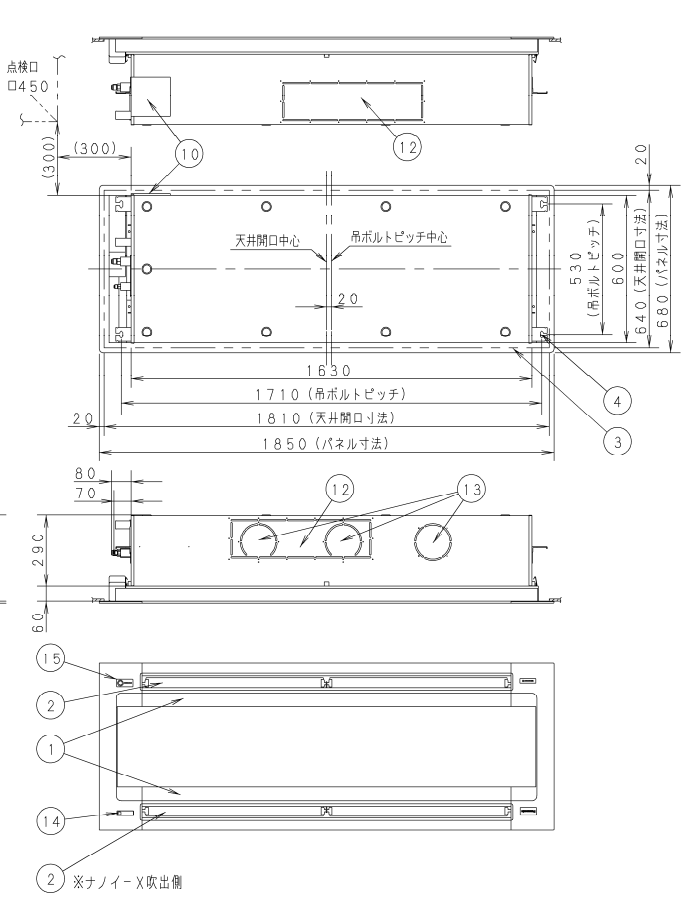
● エコナビパネル取付図

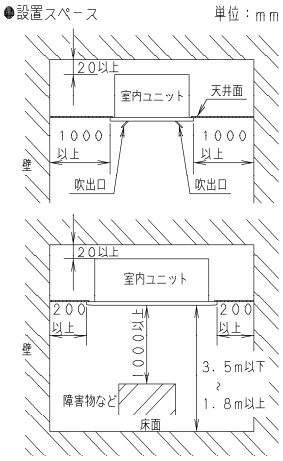
・CZ-160KPEL7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

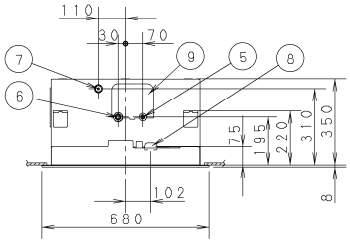
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（１８１０Ｘ６４０）
④	吊金具（切り欠き１２ｍｍ）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口ＶＰ２５（外径Ø３２）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ＜外気取入用＞（別売）取付部　Ø１２５
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部＜左右取り付け可能＞
⑬	丸合フランジ＜吹出用＞（別売）取付部 ＜Φ１５０Ｘ３ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能＞
⑭	エコナビパネル　ＣＺ－１６０ＫＰＥＬ７（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー

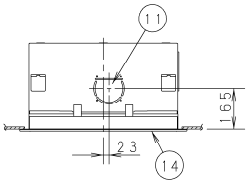
注記

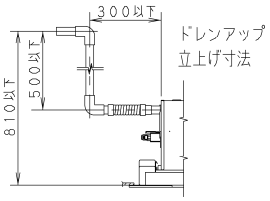
1．吹出ダクト⑬を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。











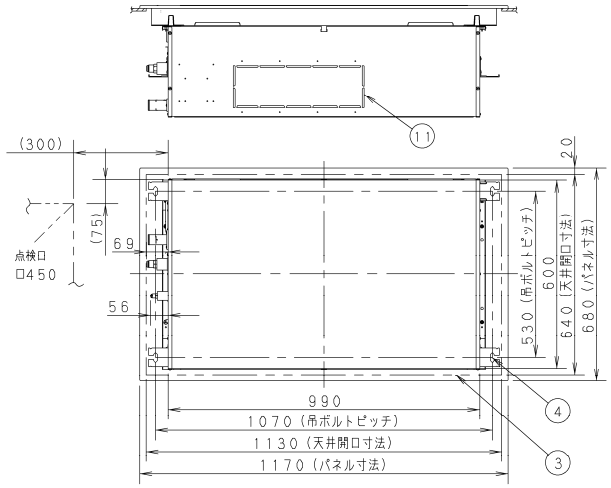
● 標準パネル取付図

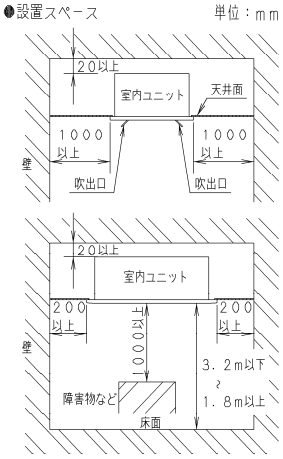
・CZ-80KPL7〔適用機種：50 ～ 71 形〕

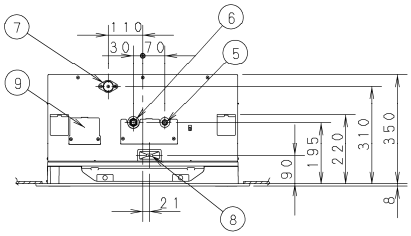
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<ø150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

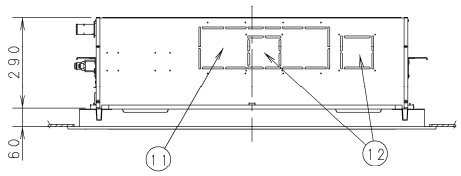
注記

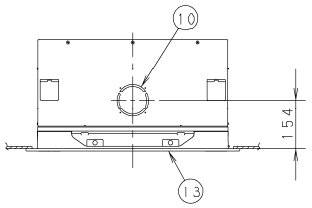
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。

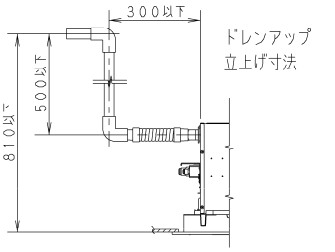


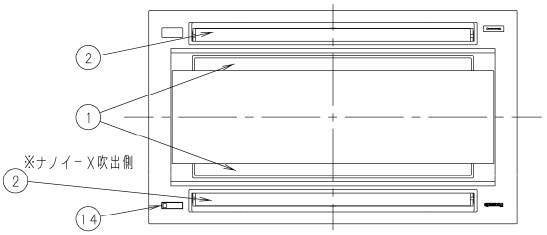










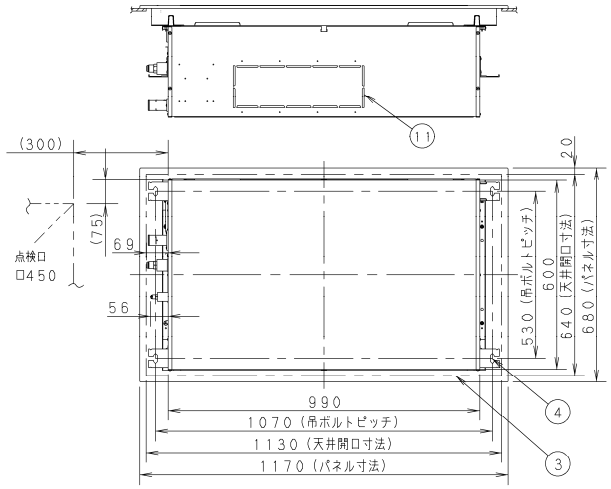


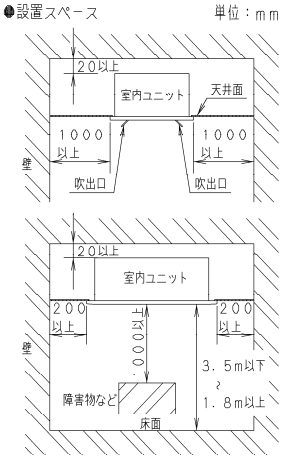
・CZ-80KPL7〔適用機種：80 形〕

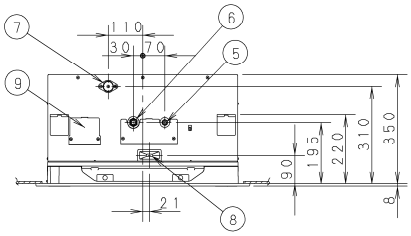
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<ø150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

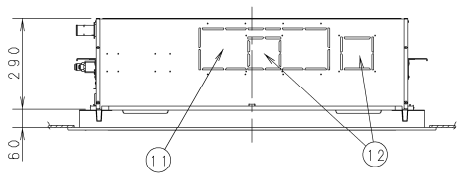
注記

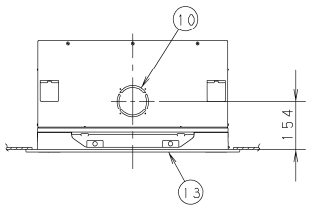
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。

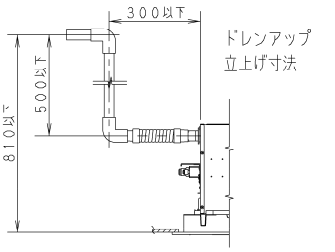


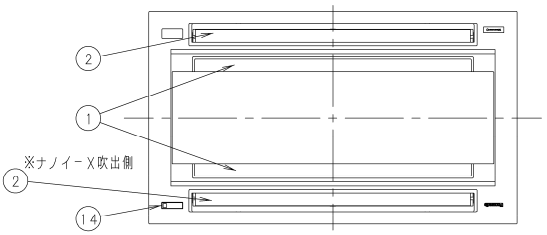












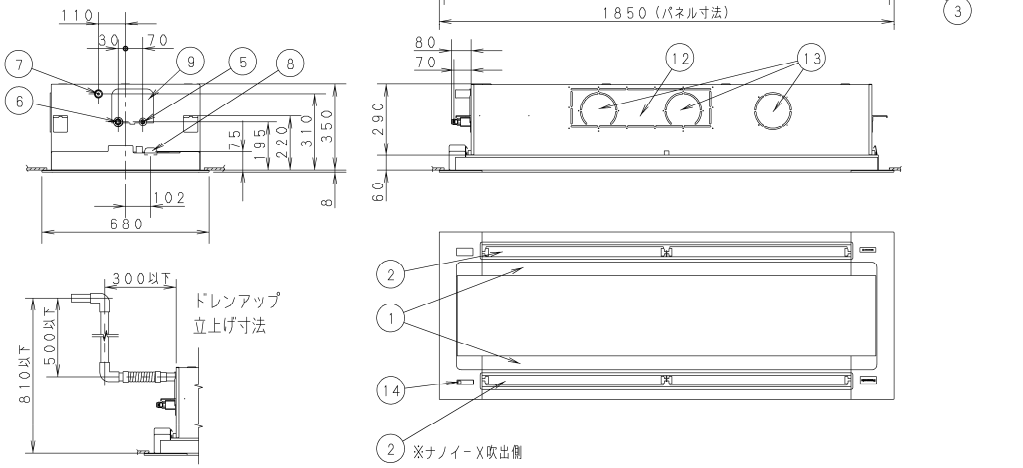
● 標準パネル取付図

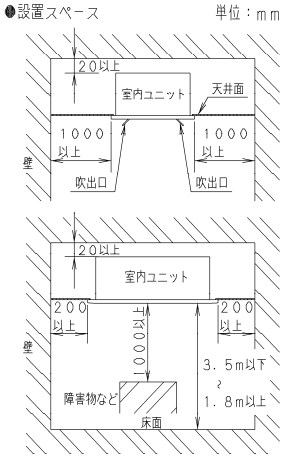
・CZ-160KPL7〔適用機種：112 ～ 160 形〕

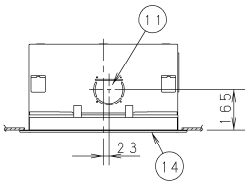
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø125
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<ø150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	標準パネル　CZ-160KPL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

注記

1．吹出ダクト⑬を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。







■昇降グリル付エコナビパネル

●外形寸法図

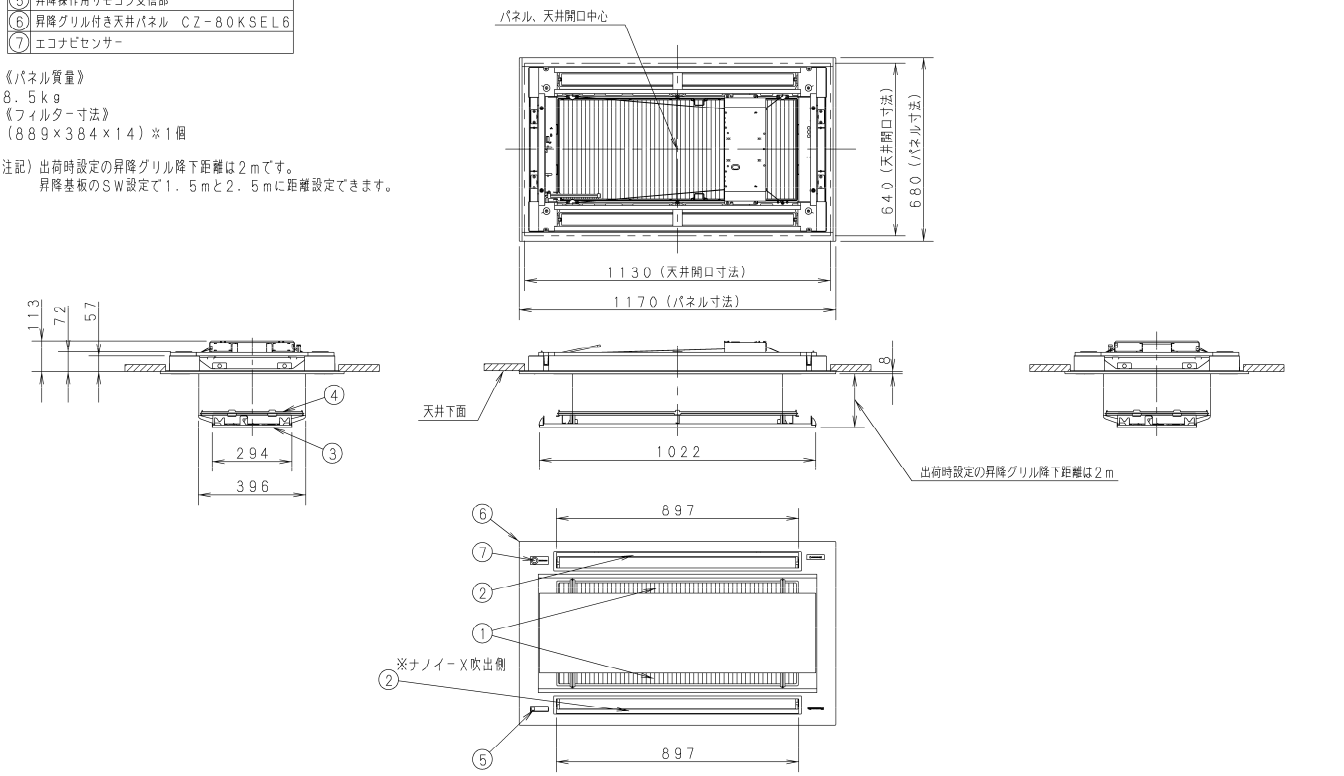
・CZ-80KSEL6〔適用機種：50 ～ 80 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	昇降グリル
④	昇降用フィルター
⑤	昇降操作用リモコン受信部
⑥	昇降グリル付き天井パネル　CZ-80KSEL6
⑦	エコナビセンサー

《パネル質量》
8．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（889×384×14）※1個

注記）出荷時設定の昇降グリル降下距離は２ｍです。
　　昇降基板のＳＷ設定で１．５ｍと２．５ｍに距離設定できます。

品番	パネル色
CZ-80KSEL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



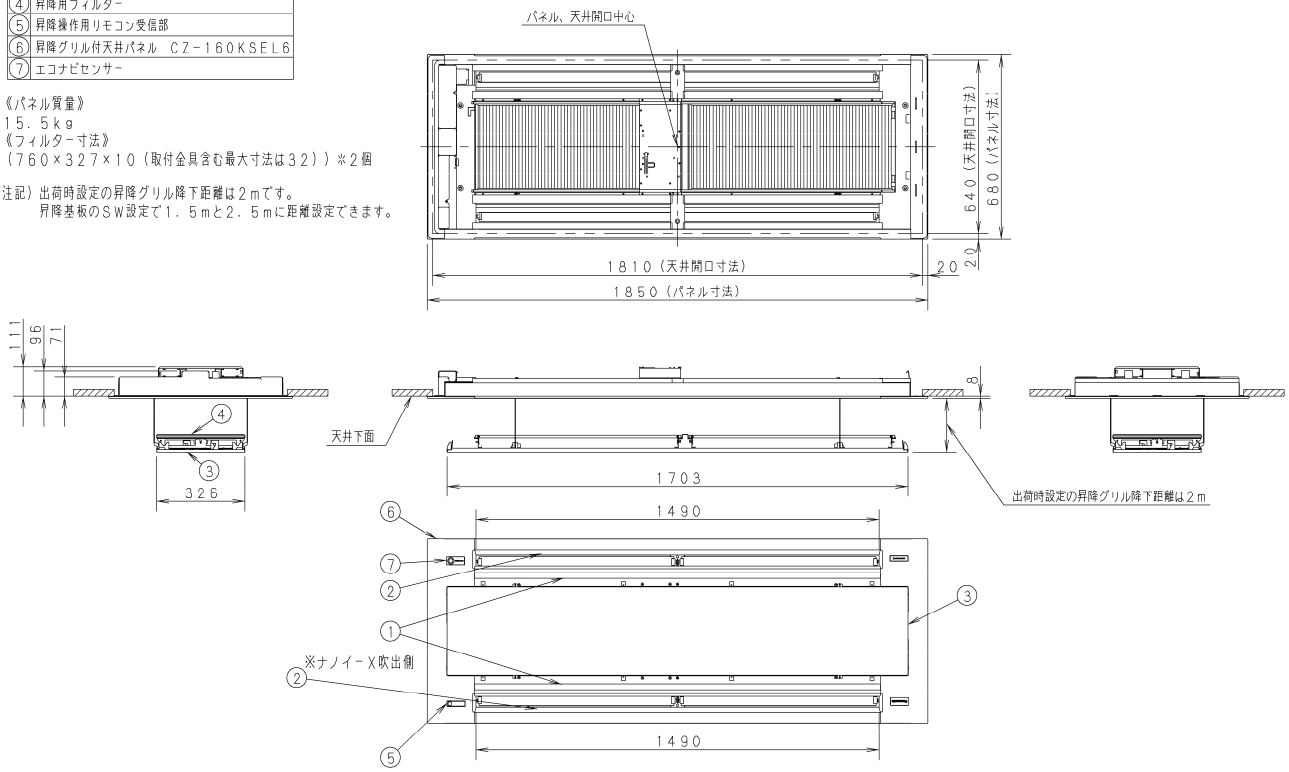
・CZ-160KSEL6〔適用機種：112 ～ 160 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	昇降グリル
④	昇降用フィルター
⑤	昇降操作用リモコン受信部
⑥	昇降グリル付天井パネル　CZ-160KSEL6
⑦	エコナビセンサー

《パネル質量》
15．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（760×327×10（取付金具含む最大寸法は32））※2個

注記）出荷時設定の昇降グリル降下距離は２ｍです。
　　昇降基板のＳＷ設定で１．５ｍと２．５ｍに距離設定できます。

品番	パネル色
CZ-160KSEL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



■昇降グリル付標準パネル

●外形寸法図

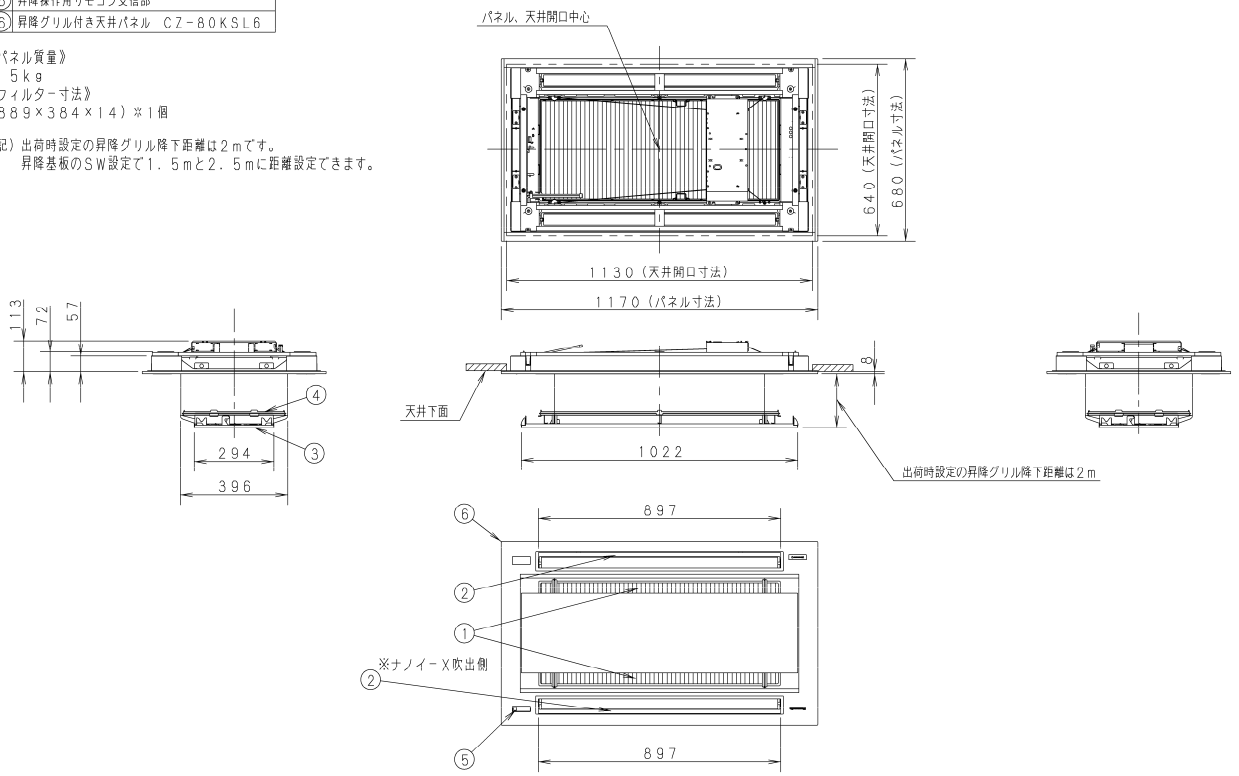
・CZ-80KSL6〔適用機種：50 ～ 80 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	昇降グリル
④	昇降用フィルター
⑤	昇降操作用リモコン受信部
⑥	昇降グリル付き天井パネル　CZ-80KSL6

《パネル質量》
8．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（889×384×14）※1個

注記）出荷時設定の昇降グリル降下距離は２ｍです。
昇降基板のＳＷ設定で1．5ｍと2．5ｍに距離設定できます。

品番	パネル色
CZ-80KSL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



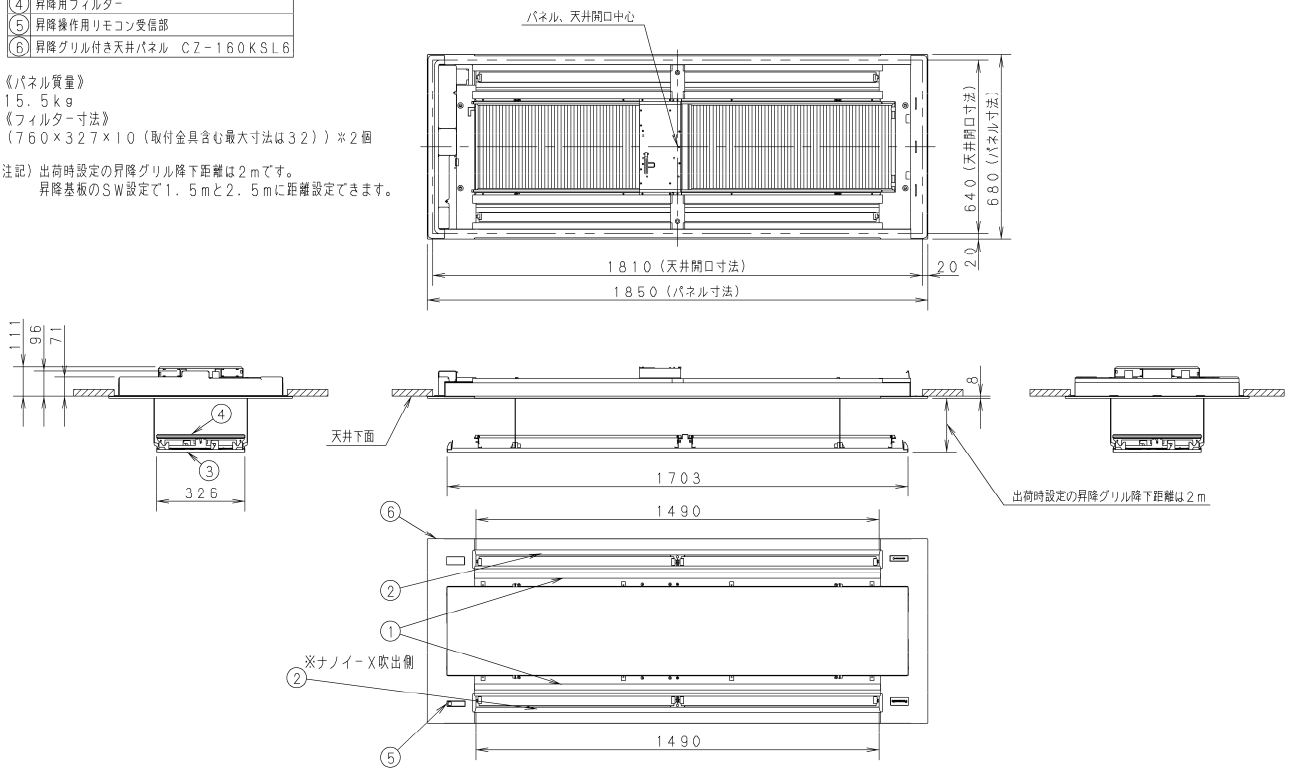
・CZ-160KSL6〔適用機種：112 ～ 160 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	昇降グリル
④	昇降用フィルター
⑤	昇降操作用リモコン受信部
⑥	昇降グリル付き天井パネル　CZ-160KSL6

《パネル質量》
15．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（760×327×10（取付金具含む最大寸法は32））※2個

注記）出荷時設定の昇降グリル降下距離は２ｍです。
昇降基板のＳＷ設定で1．5ｍと2．5ｍに距離設定できます。

品番	パネル色
CZ-160KSL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル

●昇降グリル付標準パネル

品番	CZ-80KSL6	CZ-160KSL6
適用機種	50～80形	112形～160形

●昇降グリル付エコナビパネル

品番	CZ-80KSEL6	CZ-160KSEL6
適用機種	50～80形	112形～160形

据付工事説明書

品番　昇降グリル付標準パネル　CZ-80KSL6　CZ-160KSL6
　　昇降グリル付エコナビパネル　CZ-80KSEL6　CZ-160KSEL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。

❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗
- ■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
  （感電・火災等の原因）
- ■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う
  （感電・火災等の原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- ■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
  据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- ■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- ■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする
  （発熱・火災等の原因）
- ■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う
  （感電の原因）

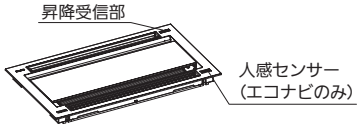
⚠ 注意

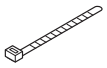
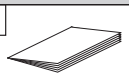
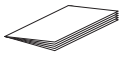
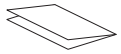
⃠
- ■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

ACXF60-31484
BE0518-40823

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル

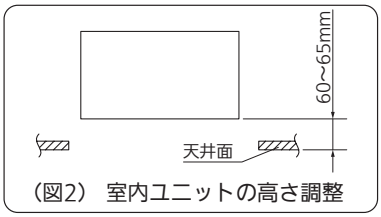
本体	
品名	昇降グリル付　標準パネル／エコナビパネル
個数	1
形状	

付属品					エコナビパネルのみ	
品名	座付ネジ	ネジ	結束バンド	取扱説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	4	2	5	1	1	1
形状						

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。
取扱説明書、据付工事説明書はお客様で保管していただくように依頼してください。

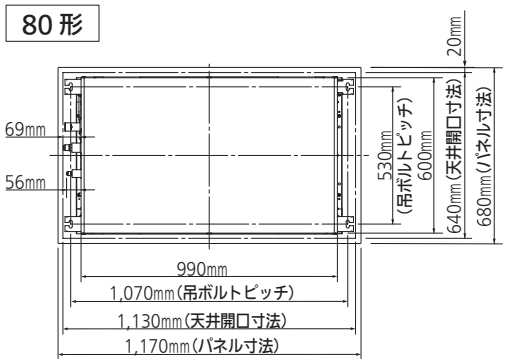
1. パネル本体取り付け前の準備

（1）天井開口寸法は（図1）に従い、確実に行ってください。
（2）室内ユニット下面と天井面との寸法は、60～65㎜になるように
　　室内ユニットの吊ボルトで高さ調節してください。（図2）
（3）天井面の穴開けと吊ボルト位置の寸法は（図１）に従ってください。



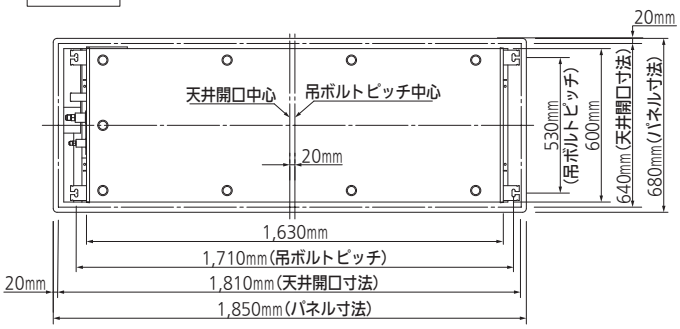
（図2）　室内ユニットの高さ調整

80 形



（図1）

160 形



注意：天井開口の中心と、吊ボルトピッチの中心が異なります。

2. パネル本体の取り付けかた

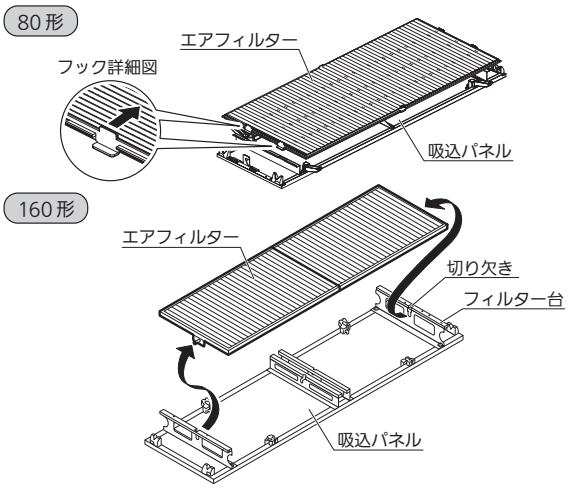
ご注意

- パネル本体を取り付けるとき、吊ワイヤーは梱包状態（ポリ袋に収納、テープ止め）で行ってください。
  エアフィルターと吸込パネルははずした状態で、パネル本体を室内ユニットに取り付けます。
- ワイヤレスリモコンで操作する場合は、ワイヤレス受信部に付け替えてからパネル本体を取り付けます。（詳細は別売品、ワイヤレスリモコン受信部（2方向天井カセット形）を参照してください。）

（1）吸込パネルとエアフィルターの取りはずし

①エアフィルター付吸込パネルは、パネル本体に両端テープ止めしています。テープを取ると取り出せます。

②エアフィルターのはずしかた（図3）
　80形　：エアフィルターはフックを手で押してはずします。
　160形：エアフィルターはフィルター台の切り欠きにそって手前へ引くと取り出せます。



（図3）エアフィルターのはずしかた

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル

(2) パネル本体の取り付け

- 160 形はフラップの角度変更は電源を入れなければできません。(フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。)
- パネル本体は室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。

80 形の場合

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。(図 4)

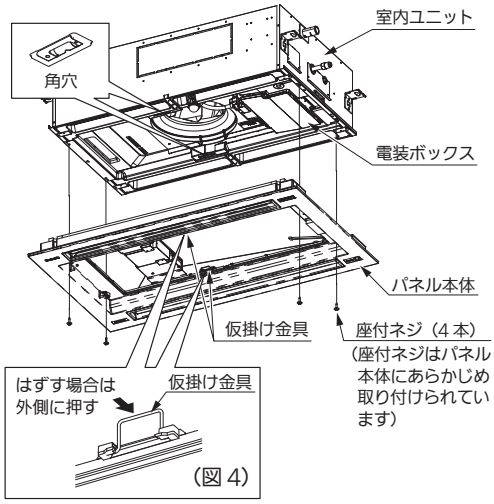
- 室内ユニットの電装ボックス側とパネル本体の配線位置を合わせてください。

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合せてください。

③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の 4 か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。(図 5)

④室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを確認します。(図 5)
(隙間があると水漏れや露付きの原因となります。)

- パネル本体をはずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。(図 4)



(図 5)パネル本体の取り付けかた

160 形の場合

①電装ボックスと反対側の仮掛け金具（固定金具側）を室内ユニットに引っ掛けます。(図 6)

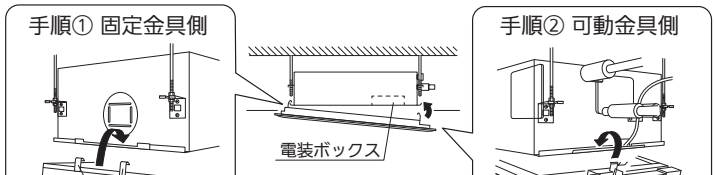
②次に電装ボックス側を持ち上げ仮掛け金具（可動金具側）を室内ユニットに引っ掛けます。(図 7)
このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックすることを確認してください。

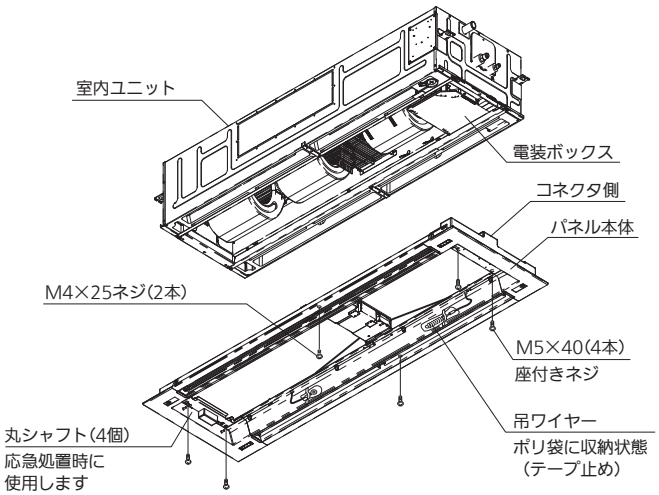
③パネル本体が室内ユニットへ仮掛けされていることを確認してください。

④次に座付ネジ（M5×40 ワッシャー付き）4 本で 、パネル本体を固定します。
さらに吹出口中央部をネジ（M4×25）2 本で固定します。(図 8)

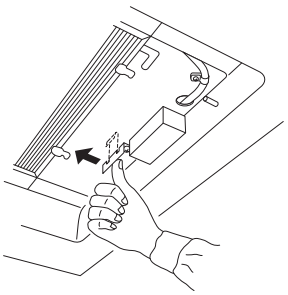
⑤室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間がないことを確認します。(隙間があると水漏れや露付きの原因となります。)(図 8)

- パネル本体をはずすときは、可動金具を矢印方向に押してロックを解除します。(図 9)





(図8) パネル本体の取り付けかた

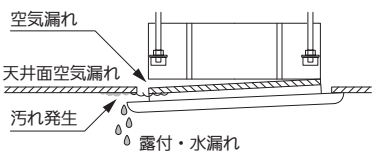


(図9) 可動金具の操作

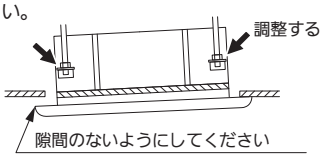
80 形、160 形共通

ご 注 意

- 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



- 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの据え付け高さを再調整してください。



●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル

(3) パネル本体の配線方法

A.フラップモーター、エコナビパネルの配線

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。(ネジ 2 か所)

②パネル本体から出ている配線コネクタ (80 形標準パネルは 22P (白)、80 形エコナビパネルは 22P (白) と 6P (白)、160 形標準パネルとエコナビパネルは 8P (白) を 2 個) を室内ユニットの基板のコネクタまたは中継コネクタに接続してください。
その際、80 形はフック、160 形は電装ボックスの切り欠きを通して配線してください。(図 10、11)

- **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。(確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります。)**
- 通常ご使用になる場合、束ねてある配線はそのままご使用ください。

B.昇降グリルメカの配線

①昇降グリルメカから出ている昇降メカ配線コネクタ 7P (白) を室内ユニットのコネクタに接続してください。(図 10、11)

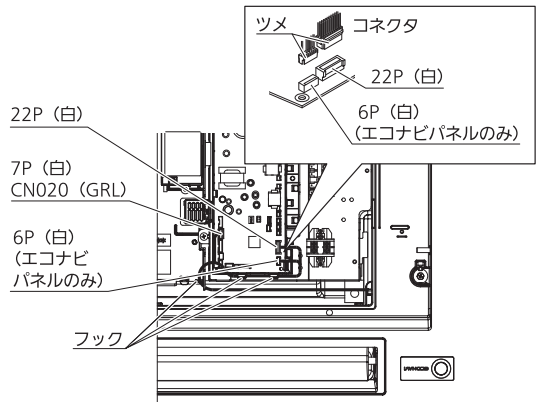
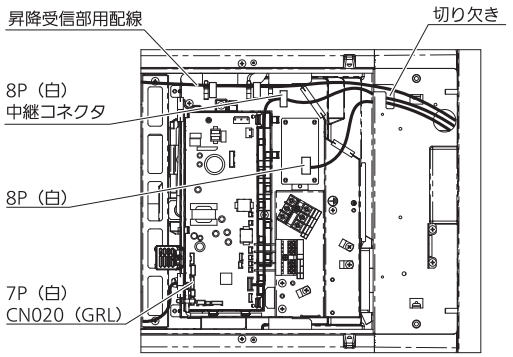
- コネクタを基板に接続したのち、軽く引っ張り抜けたりぐらぐらしないことを確認してください。(確実に接続されていないと、昇降グリルが動作しません。)

②昇降受信部用配線は電装ボックス内に通してください。(160 形のみ)

③昇降受信部用配線と昇降メカ配線は結束バンドで固定してください。余った配線は束ねて結束バンドで固定してください。
(160 形のみ)

④電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。

- 配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。
- 配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。
- 通常ご使用になる場合、束ねてある配線はそのままご使用ください。

	オフィス・店舗用エアコン (PAC) に接続する場合
80 形 (図 10)	
160 形 (図 11)	

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル

（4）別売ワイヤレスリモコンで操作する場合

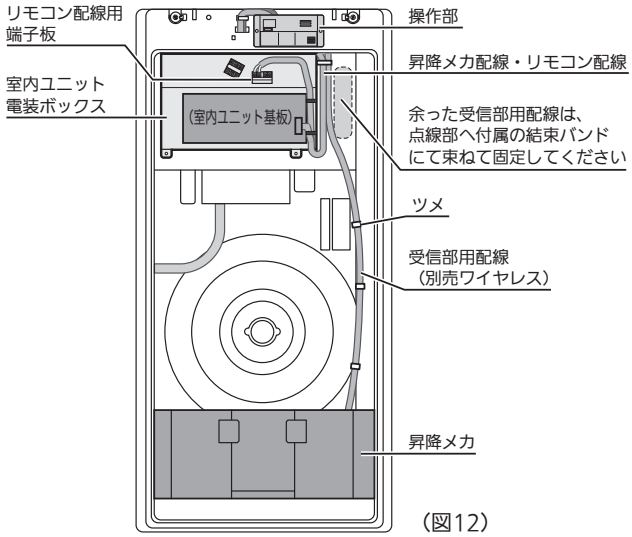
補足 昇降操作専用リモコンでも操作できます。

受信部用配線固定　※別売ワイヤレスリモコン受信部の説明書もあわせてご覧ください。

別売ワイヤレスリモコン受信部の操作部と昇降メカとを接続する受信部用配線は下記の通り固定してください。（図12）

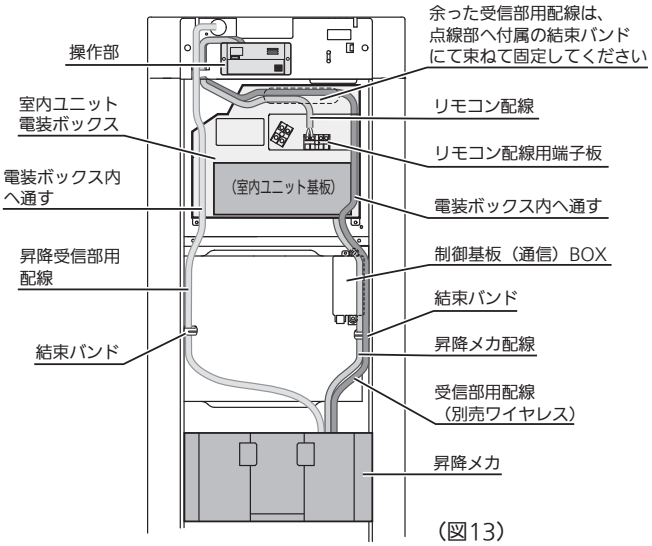
- 受信部用配線は既にある昇降メカ配線とともに固定してください。（図13）
- 余った配線は、束ねて結束バンドで固定してください。

80 形



（図12）

160 形



（図13）

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル

（5）吸込パネルの取り付けかた

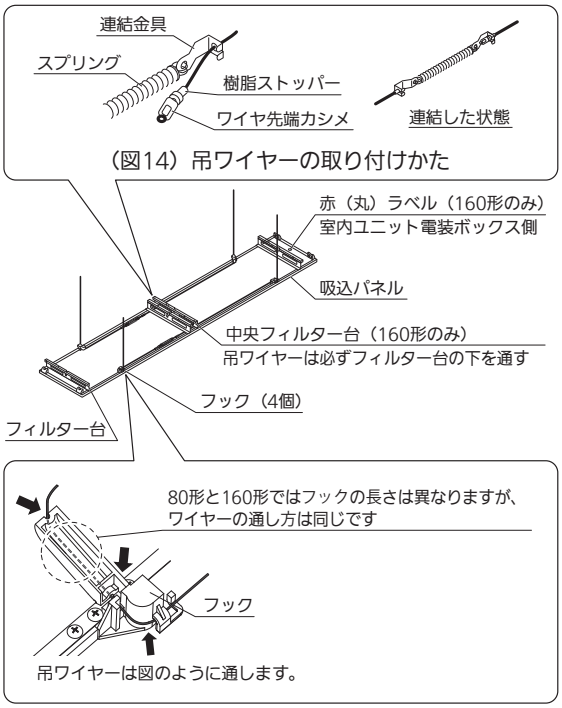
ご注意

- 吸込パネルに吊ワイヤーを取り付ける時は、吊ワイヤーや吸込パネルに傷が付かないように安定した架台の上で作業してください。
- 吊ワイヤーは吸込パネルのフックへ確実に取り付けてください。不完全に取り付けると落下の恐れがあります。
- 160 形は吸込パネルの取り付けには方向性があり、赤（丸）ラベルを室内ユニット電装ボックス側にします。逆にすると吸込パネルが収納できません。80 形は方向性はありません。

①ポリ袋から吊ワイヤーを取り出します。

②吊ワイヤーを取り付けます。（図 14）
160 形のみはじめに、吊ワイヤーの片側を中央のフィルター台（2 個）の下を通してから、樹脂ストッパーを連結金具の切り欠きに通して引っ掛けます。次に吊ワイヤーをフックに通して、吸込パネルを吊下げます。

③エアフィルターを吸込パネルのフィルター台に取り付けます。
吸込パネルが傾いているときは、吸込パネルを水平にしてください。
（2 ページ 図 3 参照）



（図14）吊ワイヤーの取り付けかた

（6）その他

ご注意

- 昇降中に障害物に当ると、ワイヤーゆるみ検知が動作して昇降できなくなります。この時は吊ワイヤーを手で引き、ゆるみの無い状態でリモコン操作すると昇降できます。
- 昇降グリルを操作する時は、室内ユニットの運転は停止してから行ってください。運転したまま行うと故障の原因になります。

サービス時の応急処置のしかた（吸込パネルが動作しない時）

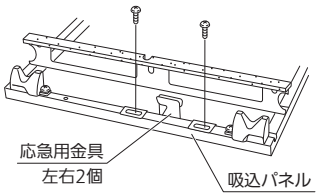
①フックに取り付けている吊ワイヤーをはずしてエアフィルター付吸込パネルを取りはずします。

②吸込パネル両端にネジ止めしている応急用金具を取り出します。

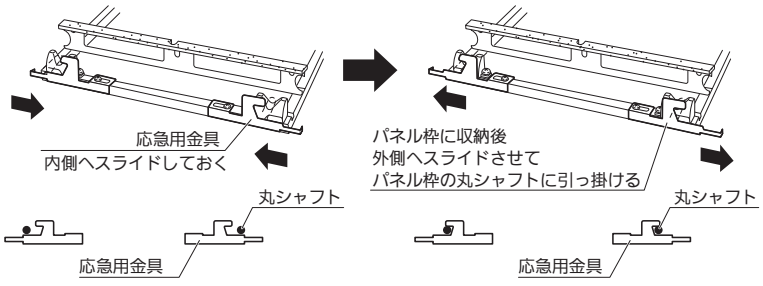
③応急用金具のとって部を外側にして、はずしたネジで4コーナーに取り付けます。このとき応急用金具は、内側にスライドしておきます。

④エアフィルター付吸込パネルをパネル枠の吸込口に収納させ、応急用金具を外側へスライドさせてパネル両端の丸シャフト（4個）に引っ掛けます。

⑤吸込パネルがパネル枠の丸シャフトへ確実にロックしたことを確認してください。



応急用金具のはずしかた



応急用金具の取り付けかた

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル

3. その他

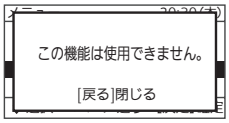
A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。（3ページ 図5・8参照）
  ※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。（4ページ （3）パネル本体の配線方法参照）
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.昇降グリルを操作するためのリモコン設定方法

（1）ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT4 シリーズの場合＞

■ 多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。
この設定をしないと、昇降グリル操作時に“この機能は使用できません。”が表示されます。





多機能ワイヤードリモコン

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

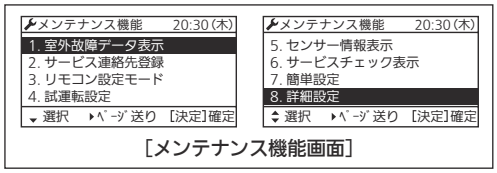
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。

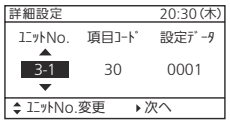
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「30」に変更してください。

④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、
決定 ボタンを押してください。

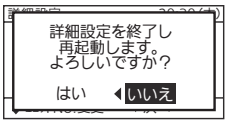
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
◄ / ► ボタンで「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



［メンテナンス機能画面］



［詳細設定画面］



［詳細設定終了画面］

（2）ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT3 の場合＞

ワイヤードリモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行なってください。
この設定をしないと フィルター ボタンを押しても“この操作は出来ません”または“ ⃠ ” が表示されます。
※ ワイヤレスリモコンでの設定はできません。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に４秒間以上押します。

※ 昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。
最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。

② 温度設定 ▽／△ ボタンで項目コード「３０」を指定します。

③ タイマー時間 ▼／▲ ボタンで設定データを「００００」から「０００１」に変更します。

④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）

⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

⑥ フィルター ボタンを４秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降”
または“ ⊞ ”と表示されることを確認してください。
再度 フィルター ボタンを４秒間以上押すと通常の停止状態に戻ります。



C.昇降グリル下降距離の設定

昇降グリル下降距離設定のしかた

①下記の方法で昇降グリルの下降距離が3段階に設定できます。
②昇降メカふた（ネジ3本）をはずし、昇降基板のSW1（下降距離設定）で設定します。（図15）
③出荷時は2.0mの設定にしています。

グリル下降距離設定（SW1）
（出荷時設定＝2.0m）



[m]	1	2	3	4
1.5	0	0	※未使用	※常時「0」未使用
2.0	1	0		
2.5	0	1		

※80形は常時「0」
160形は常時「1」

（図15）グリル下降距離設定

●昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル

D.ワイヤレスリモコン対応の場合

● 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

E.DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表 1、表 2）
ファン回転数を設定する方法は、
（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合
（2）/（3）ワイヤードリモコンで設定
があります。どちらかの方法で設定してください。
※ディップスイッチによる設定が優先されます。

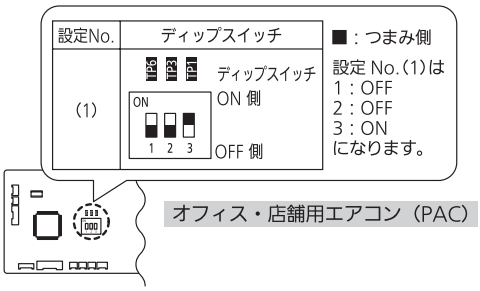
表2　天井高さの目安

室内機	標準（出荷時）	高天井設定
22 ～ 71 形	1.8 ～ 2.7m	～ 3.2m
80 ～ 160 形	1.8 ～ 3.0m	～ 3.5m

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称 ※1
（出荷設定）	0000	標準（出荷設定）
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
（1）	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 65%）
		高性能フィルター（比色法 90%）
		しゃ風材・吹出ダクト ※2

※1.　必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、
　　組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。
※2.　しゃ風材と吹出ダクトは、必ず併用してください。



（図16）室内コントロール基板

（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず漏電しゃ断器を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 1 で確認してください。

②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。
（図 16）

③表 1 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

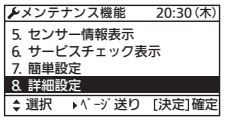
（2）ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT4 シリーズの場合＞

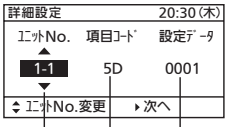
ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面」が表示されます。
◄ / ► ボタンで「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。





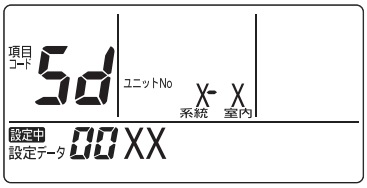


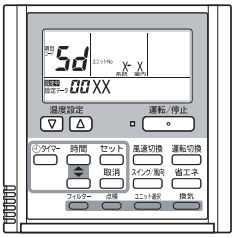
ユニット No.　項目コード　設定データ

（3）ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT3 の場合＞

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に 4 秒間以上押します。
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「5 d」を指定します。
④ 時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。
設定データは同梱の据付工事説明書をご確認ください。
⑤ セット ボタンを押します。
（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。





上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様にしてください。

●昇降グリル付エコナビパネル

品番	CZ-80KSEL6	CZ-160KSEL6
適用機種	50～80形	112形～160形

据付工事説明書　試運転編

品番	エコナビパネル	CZ-80KPEL6, CZ-160KPEL6
	昇降グリル付エコナビパネル	CZ-80KSEL6, CZ-160KSEL6

適用室内ユニット 2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事完了後、この「据付工事説明書 試運転編」をよくお読みのうえ、試運転を行い異常がないことを確認してください。
特に「安全上のご注意」は、試運転前に必ずお読みください。
●室内ユニットなどに付属の「据付工事説明書」も合わせてご覧ください。
●この「据付工事説明書 試運転編」は「取扱説明書」、「据付工事説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付工事説明書 試運転編」を工事担当の方へお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗
■ **据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**
（感電・火災等の原因）
■ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
●電気設備に関する技術基準
●内線規程
●据付工事説明書
（感電・火災の原因）

■ **据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
（感電・火災等の原因）
■ **配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
（発熱・火災等の原因）
■ **工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
（感電の原因）

■ **据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。**

使用上のお願い

●次のような場所に設置しない
・湿気・油分・振動が多い/ 直射日光があたる/ 熱源の近く/ 結露する（故障の原因）
・ノイズが発生する（誤動作の原因）
●エコナビパネルは、屋内専用です。
●センサーの表面に傷を付けない
（センサーが正しく検知しなくなる原因）
●センサーを強く押さない（破損の原因）
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
●ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や変形の原因）
・汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
●エコナビパネルと併用不可の別売品を同時設置しない
（動作不良の原因）
併用可/ 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
●ガラス越しの人の動きは、検知できません。
●起動後、不在判定するまで２～５分かかります。

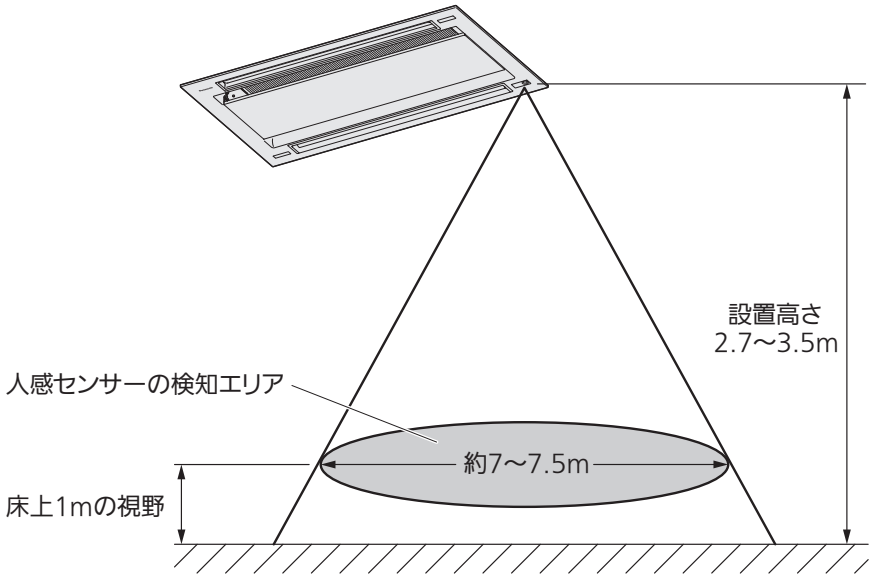
ACXF60-31464
BE0418-40823

●昇降グリル付エコナビパネル

設置上のご注意

検知エリアの目安

●人感センサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。
　人を検知できる位置にエコナビパネルを取り付けるようにしてください。
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。



＜人感センサー検知エリア目安＞
・室内ユニット設置高さ 2.7mの場合　：直径 約 7m
・室内ユニット設置高さ 3.5mの場合　：直径 約 7.5m

●取り付け時に、センサー部を強く押さないでください。また、センサー部の表面に傷を付けないでください。
　センサーが破損し、正しく検知できなくなる場合があります。
●次のような場所には設置しないでください。故障や誤作動の原因となる場合があります。
　・湿気、油分、振動が多い場所
　・直射日光があたる場所や熱源の近く
　・結露する場所

●昇降グリル付エコナビパネル

設定する（CZ-10RT4シリーズの場合）

エコナビシステム設定

エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
※エコナビ機能を使用するには、室内ユニットの親機がエコナビ機能に対応している必要があります。
※ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

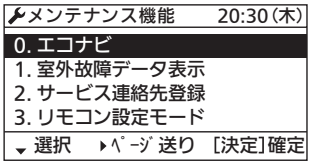


1. 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。
■ 1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

2.「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



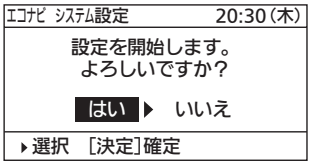
3.「エコナビシステム設定」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。



4. 設定を開始する

◀ / ▶ ボタンで「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



5. 設定完了後、システムが自動的に再起動します

6. エコナビが設定されたか確認する

右図のように ECONAVI が表示されます。
※ 運転中の画面になっていない場合は、運転/停止 ボタンを押して、運転状態にしてください。
※ 運転モードが送風の場合は ECONAVI は表示されません。送風以外の運転モードにしてください。



お知らせ

●手順 2 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	処　置　方　法
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「0. エコナビ」を選択してください。 約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、自動アドレスを行った後「0. エコナビ」を選択してください。

●手順 3 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	処　置　方　法
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。 そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。 室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

●昇降グリル付エコナビパネル

試運転する（CZ-10RT4シリーズの場合）

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器を入れてください。
　　電源投入後の約 90 秒間は、人感センサーは初期設定中のため、人の検知を行いません。

※ユニットが運転を停止した状態で行ってください。



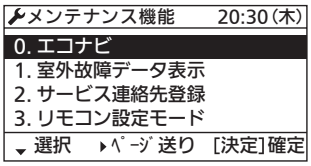
1. 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

■1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

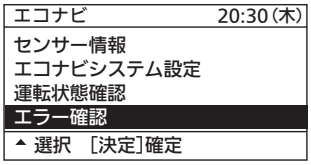
2.「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



3.「エラー確認」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「エラー確認」を選択し、決定 ボタンを押してください。



4. センサーの状態が「正常」であることを確認する

（▲ / ▼ ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。）
すべての室内ユニットのセンサーの状態が表示されます。



- 「**正常**」：エコナビパネルのセンサーは正常に動作しています。
- 「**準備中**」：エコナビパネルのセンサーは初期設定中です。
  90 秒以内に「正常」と表示されることを確認してください。
- 「**未対応**」：エコナビ機能に対応していない室内ユニット　です。

試運転は以上です。エコナビパネルを接続しているが「正常」「準備中」以外の表示の場合は、手順 5 を確認してください。

※「1-1」、「1-2」は室内ユニット No. を示します。エコナビパネルが接続されていない室内ユニットは、「接続なし」が表示されます。

※「センサー 1」とは、別売品のエコナビセンサー（CZ-CSEN1 等）を指します。接続されていない場合は、センサー 1 に「接続なし」が表示されます。

5. センサーの状態が「正常」「準備中」以外の場合

エコナビパネルを接続しているにもかかわらずセンサーの状態が「異常」「接続なし」になる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。対象の室内ユニットを特定し、センサーを確認しください。

- 「異常」：センサーが故障している可能性があります。
- 「接続なし」：室内ユニットとセンサー間の配線が接続されていない可能性があります。

※ 室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。
　確認方法：
　① メンテナンス機能を終了する。
　　メニュー ボタンを押して、メンテナンス機能画面を表示し、戻る ボタンを押す。
　② 風向操作をする。
　　メニュー の「2. 風向設定」で対象の「室内ユニット No」を選んで、風向設定を行ってください。設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機器になります。

室内ユニットが特定できましたら、漏電しゃ断器を切り、センサー配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。漏電しゃ断器を入れ、再度 1 ～ 4 を操作し「エラー確認」にて状態を確認してください。
再度、「異常」「接続なし」が表示された場合、エコナビパネルの交換が必要です。

●昇降グリル付エコナビパネル

外部機器連動機能 （CZ-10RT4シリーズの場合）

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

●人感センサー出力に連動（警報とは連動しません）
人の在→不在の変化を検知時：外部機器の運転をオフします。
「**不在検知時間設定**」(P.6) により運転オフのタイミングを遅延させることが可能です。
人の不在→在の変化を検知時：外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動（エアコン連動）
室内ユニットが運転時：外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時：外部機器の運転をオフします。

●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ：外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時：外部機器の運転をオフします。

■設定方法

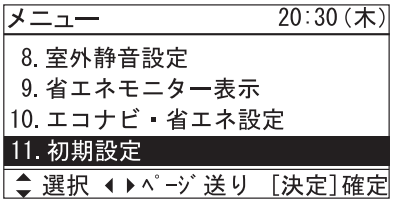
1. メニュー画面を表示する

メニュー ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。
■1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す



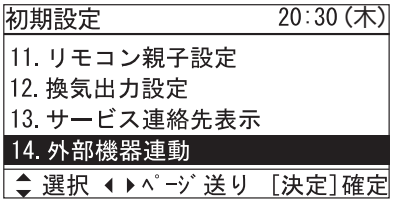
2.「11. 初期設定」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「11. 初期設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



3.「外部機器連動」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「外部機器連動」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



4. パスワードを入力する（パスワード設定時）

▲ / ▼ ボタンで数字を選択し、▶ ボタンで次の桁に移行します。(繰り返す)
入力が完了したら 決定 ボタンを押してください。
※ パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が表示されたら 決定 ボタンを押してください。

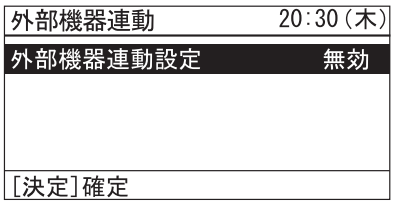


●昇降グリル付エコナビパネル

外部機器連動機能（つづき）

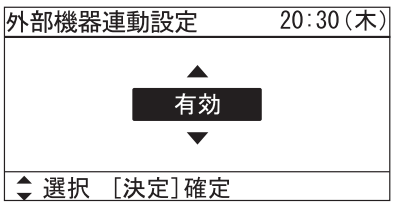
5.「外部機器連動設定」が「無効」の場合

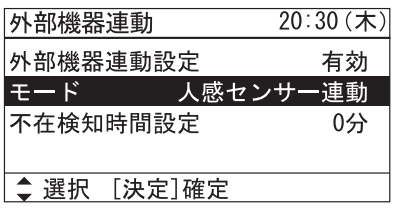
決定 ボタンを押してください。
▲ / ▼ ボタンで「有効」を選択し、
決定 ボタンを押してください



「外部機器連動設定」が「有効」の場合

外部機器連動機能が有効のとき、「モード」「不在検知時間設定」を表示します。

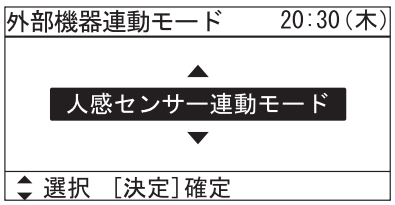


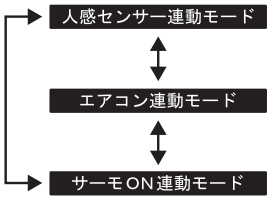


6. 設定する

「モード」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「モード」を選択し、決定 ボタンを押してください。
外部機器連動モードを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで選択し、 決定 ボタンを押してください。





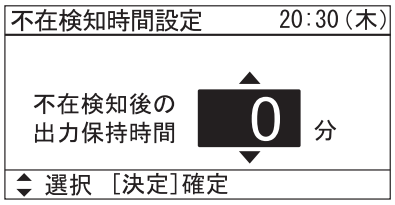
エコナビセンサーの在・不在出力に連動します。

エアコンの運転 / 停止出力に連動します。

エアコンのサーモ ON/OFF 出力に連動します。

「不在検知時間設定」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



運転オフのタイミングを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで0～60分の間で1分刻みに設定可能です。
設定後、 決定 ボタンを押してください。
メニュー ボタンを2回押して終了してください。

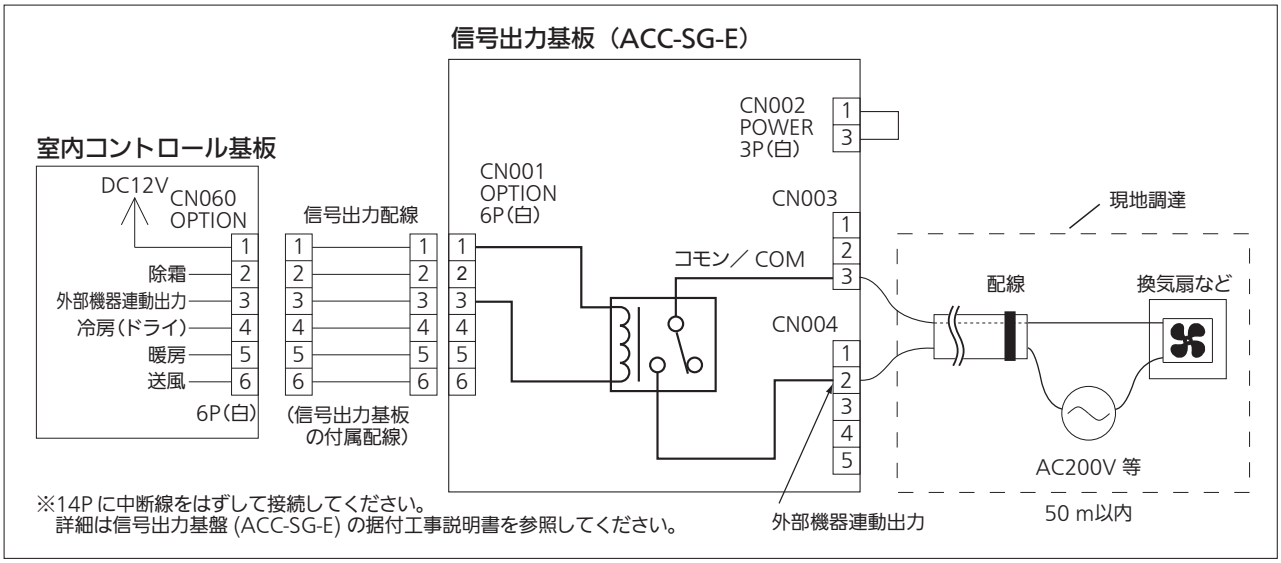
●昇降グリル付エコナビパネル

外部機器連動機能（つづき）

■配線例

別売品の信号出力基盤 (ACC-SG-E) を使用した連動システム例

＜オフィス・店舗用エアコン（PAC）に接続する場合＞



お知らせ

●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、 空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。

●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

仕様

品番	CZ-80KPEL6	CZ-80KSEL6
外形寸法	（幅）1170㎜×（奥行き）680㎜×(高さ）8㎜	
質量	5.5㎏	8.5㎏
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）	
電源	DC5V（室内ユニットより供給）	

品番	CZ-160KPEL6	CZ-160KSEL6
外形寸法	（幅）1850㎜×（奥行き）680㎜×(高さ）8㎜	
質量	12㎏	15.5㎏
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）	
電源	DC5V（室内ユニットより供給）	

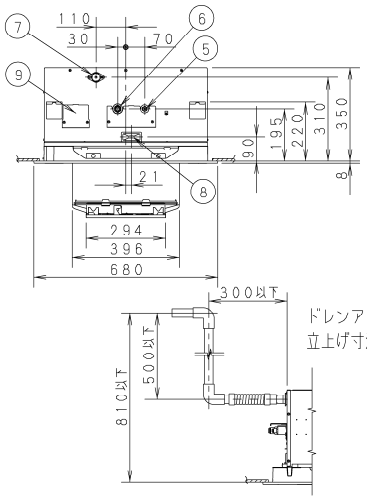
● 昇降グリル付エコナビパネル取付図

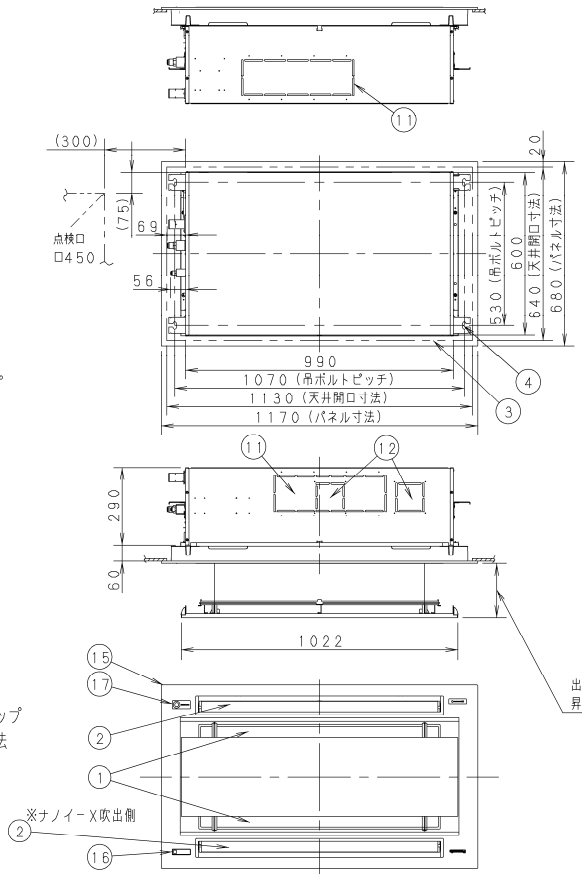
・CZ-80KSEL6〔適用機種：50 ～ 71 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	吸込パネル
⑭	昇降用エアフィルター
⑮	昇降グリル付エコナビパネル　CZ-80KSEL6（別売）
⑯	昇降操作専用リモコン（受信部）
⑰	エコナビセンサー

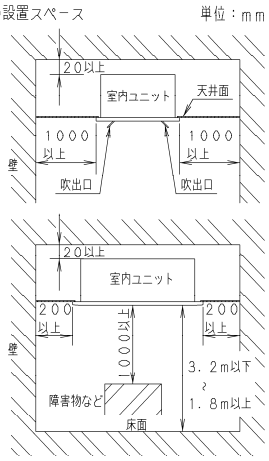
注記

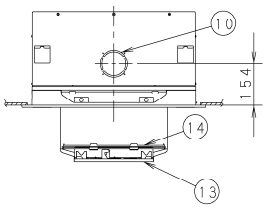
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。





●設置スペース　単位：mm





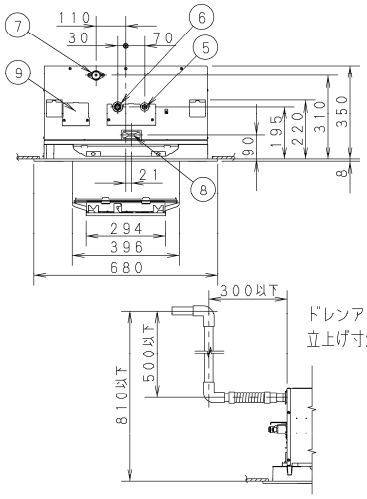
出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。

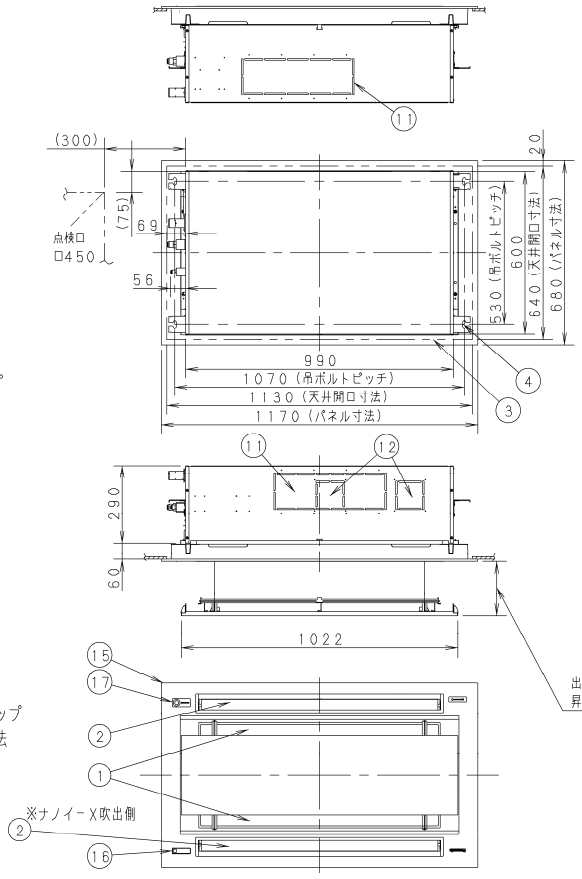
・CZ-80KSEL6〔適用機種：80 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	吸込パネル
⑭	昇降用エアフィルター
⑮	昇降グリル付エコナビパネル　CZ-80KSEL6（別売）
⑯	昇降操作専用リモコン（受信部）
⑰	エコナビセンサー

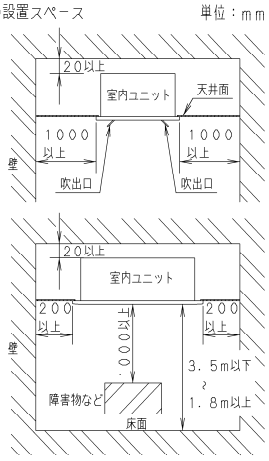
注記

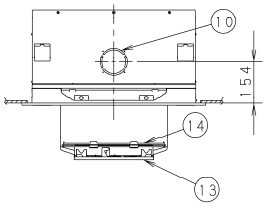
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。





●設置スペース　単位：mm





出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。

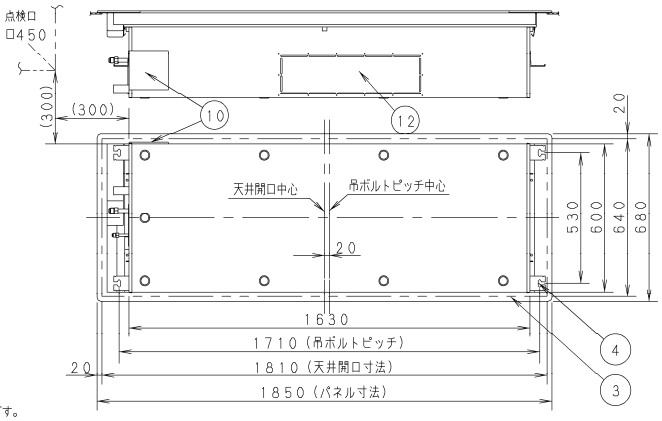
● 昇降グリル付エコナビパネル取付図

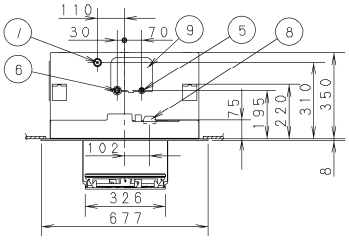
・CZ-160KSEL6〔適用機種：112 ～ 160 形〕

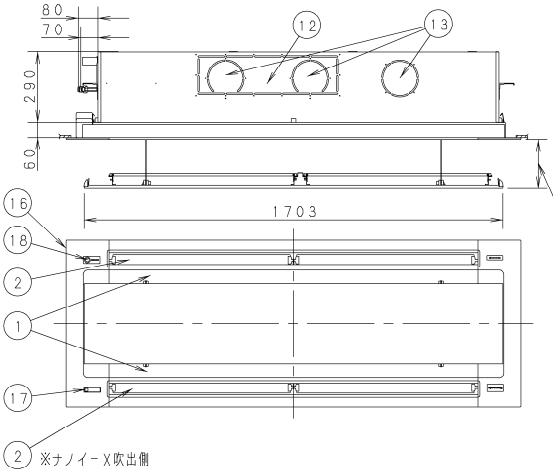
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）・・・・φ9．52フレア
⑥	冷媒配管（ガス管）・・・φ15．88フレア
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ125
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	吸込パネル
⑮	昇降用エアフィルター
⑯	昇降グリル付エコナビパネル　CZ-160KSEL6（別売）
⑰	昇降操作専用リモコン（受信部）
⑱	エコナビセンサー

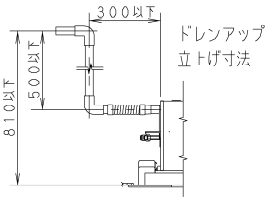
注記

1．吹出ダクト⑬を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。

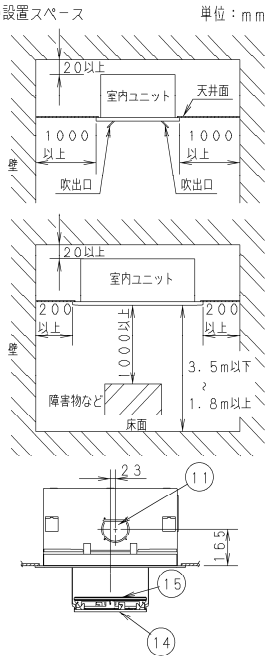








●設置スペース　　単位：mm



出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。

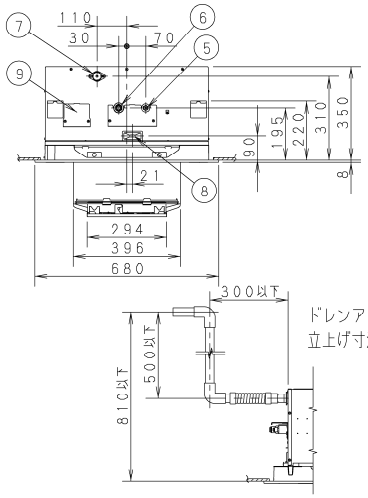
● 昇降グリル付標準パネル取付図

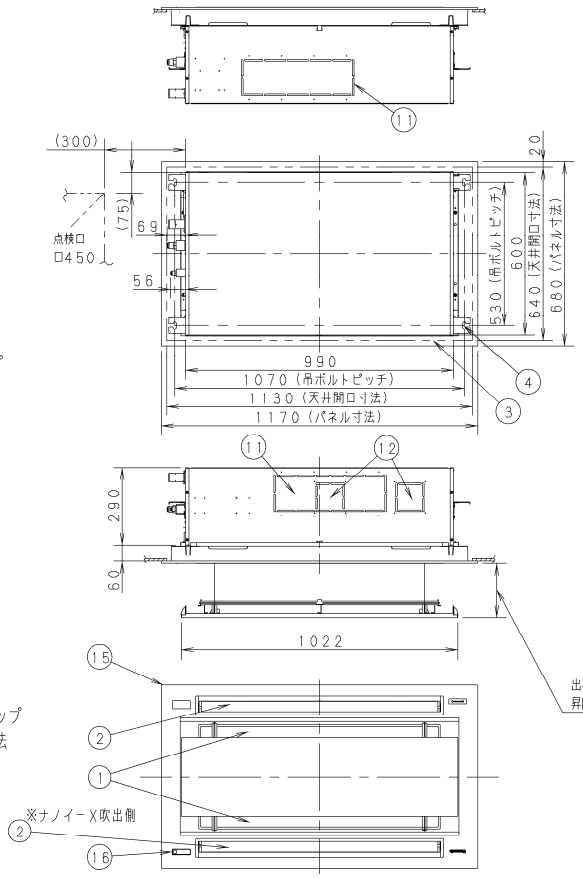
・CZ-80KSL6〔適用機種：50 ～ 71 形〕

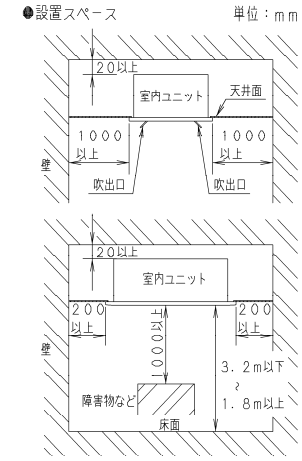
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	吸込パネル
⑭	昇降用エアフィルター
⑮	昇降グリル付標準パネル　CZ-80KSL6（別売）
⑯	昇降操作専用リモコン（受信部）

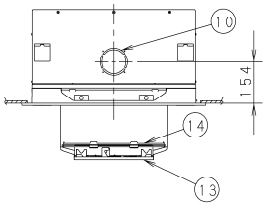
注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。









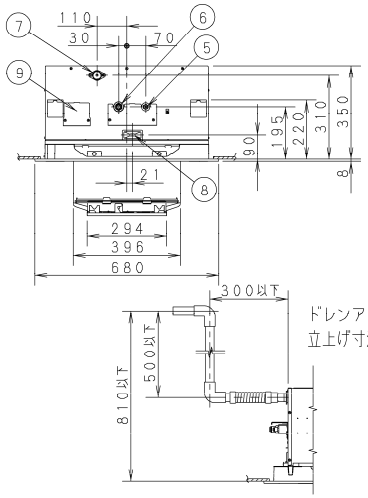
出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。

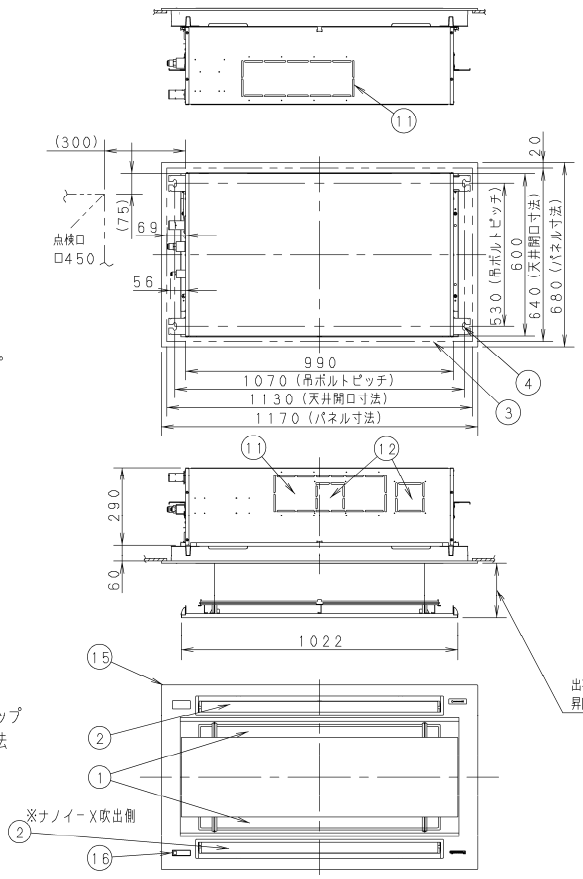
・CZ-80KSL6〔適用機種：80 形〕

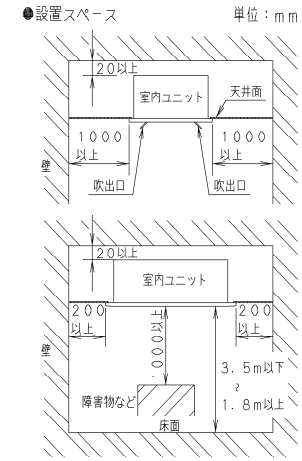
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	吸込パネル
⑭	昇降用エアフィルター
⑮	昇降グリル付標準パネル　CZ-80KSL6（別売）
⑯	昇降操作専用リモコン（受信部）

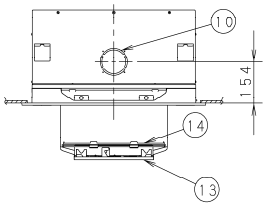
注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。









出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。

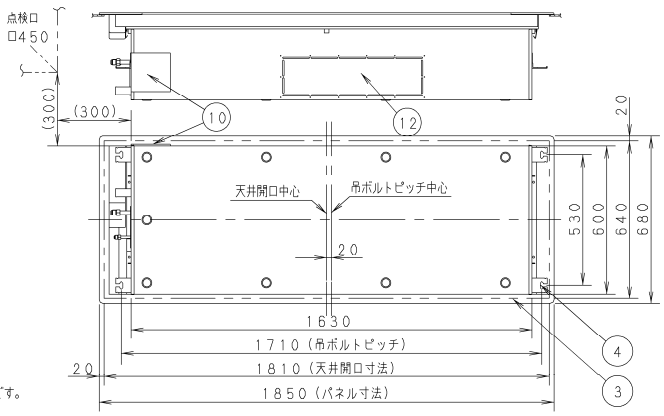
● 昇降グリル付標準パネル取付図

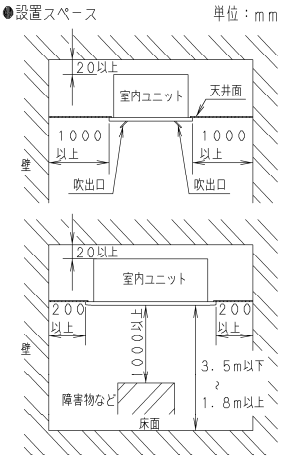
・CZ-160KSL6〔適用機種：112 ～ 160 形〕

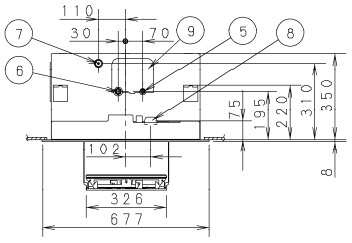
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）・・・・φ9．52フレア
⑥	冷媒配管（ガス管）・・・φ15．88フレア
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ125
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	吸込パネル
⑮	昇降用エアフィルター
⑯	昇降グリル付標準パネル　C7－160KSL6（別売）
⑰	昇降操作専用リモコン（受信部）

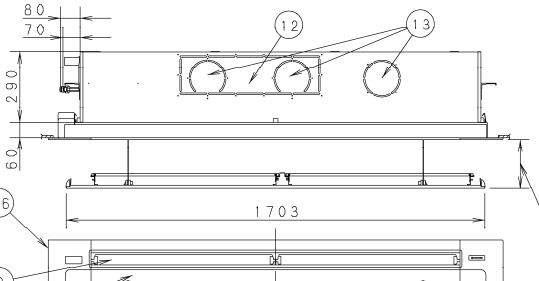
注記

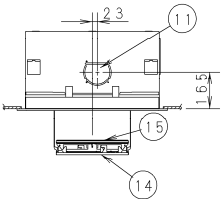
1．吹出ダクト⑪を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。



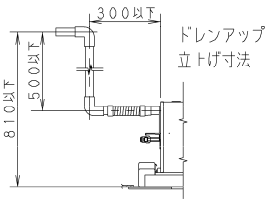








出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。





■天井材組込パネル

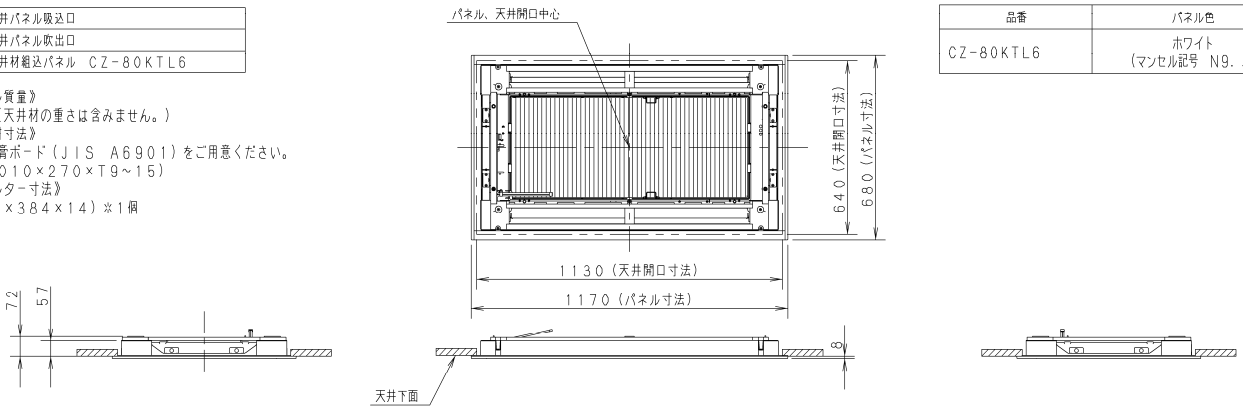
●外形寸法図

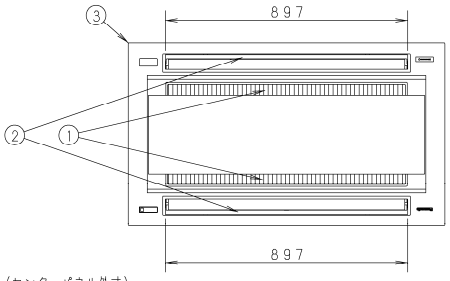
・CZ-80KTL6〔適用機種：50 ～ 80 形〕

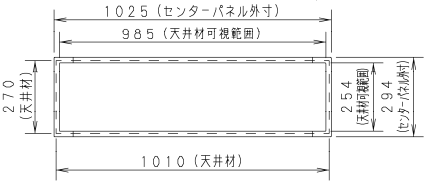
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井材組込パネル　CZ-80KTL6

《パネル質量》
5ｋｇ（天井材の重さは含みません。）
《天井材寸法》
化粧石膏ボード（ＪＩＳ　Ａ６９０１）をご用意ください。
（1，010×270×T9～15）
《フィルター寸法》
（889×384×14）※1個

品番	パネル色
CZ-80KTL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）







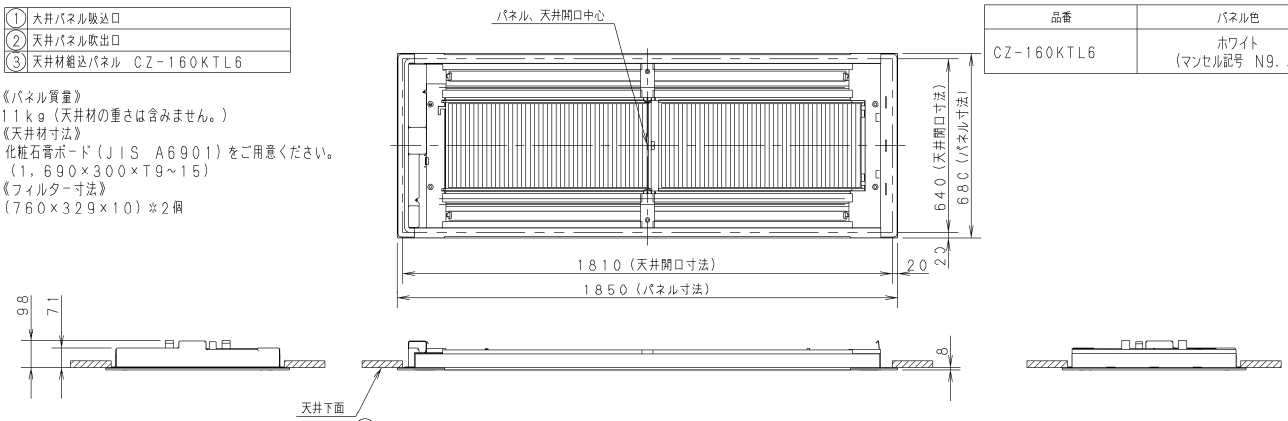
センターパネル外形寸法

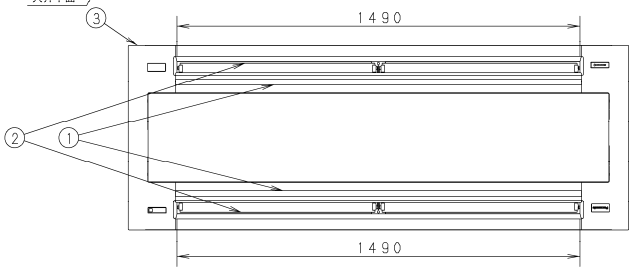
・CZ-160KTL6〔適用機種：112 ～ 160 形〕

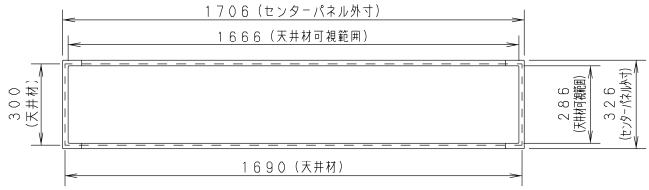
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井材組込パネル　CZ-160KTL6

《パネル質量》
11ｋｇ（天井材の重さは含みません。）
《天井材寸法》
化粧石膏ボード（ＪＩＳ　Ａ６９０１）をご用意ください。
（1，690×300×T9～15）
《フィルター寸法》
（760×329×10）※2個

品番	パネル色
CZ-160KTL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）







センターパネル外形寸法

●天井材組込パネル

品番	CZ-80KTL6	CZ-160KTL6
適用機種	50～80形	112形～160形

据付工事説明書

品番　天井材組込パネル　CZ-80KTL6　　CZ-160KTL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。

❗　実行しなければならない内容（強制事項）です。

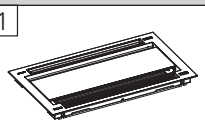
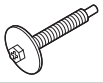
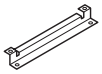
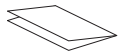
⚠警告

❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**（感電・火災等の原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する**
  据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書（感電・火災の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする
    （発熱・火災等の原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
  （感電の原因）

⚠注意

⃠
- **■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

本体		付属品		天井材固定用			
品名	天井材組込パネル	座付ネジ	ネジ	押え金具	押えパッキン	取付ビス	据付工事説明書
個数	1	4	2				1
形状		80形（M5×26） 160形（M5×40ワッシャー付き） （80形の座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています） 	M4×25（160形のみ） 	 80形：4個 160形：6個	 80形：4個 160形：6個	 （M4×10） 80形：8本 160形：12本	 本説明書 お客さまに必ず渡してください

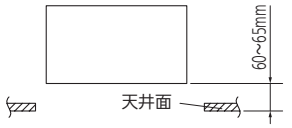
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。
取扱説明書、据付工事説明書はお客様で保管していただくように依頼してください。

ACXF60-31474
BE0518-40823

●天井材組込パネル

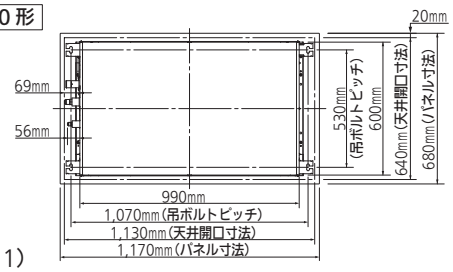
1. パネル本体取り付け前の準備

（1）天井開口寸法は図 1 に従ってください。
（2）室内ユニットまたは別売フィルターチャンバー下面と天井面との寸法は、60～65㎜になるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調節してください。（図2）
（3）天井面の穴開けと吊ボルト位置の寸法は下図に従ってください。



（図2） 室内ユニットの高さ調整

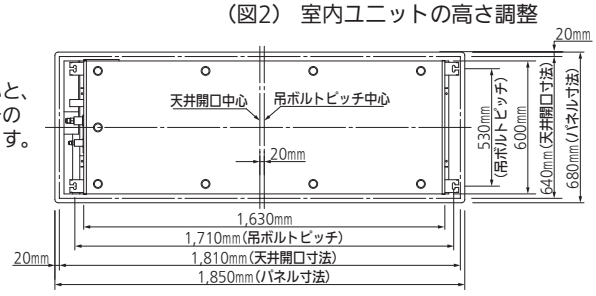
80 形



（図 1）

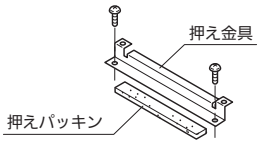
160 形

注意
天井開口の中心と、吊ボルトピッチの中心が異なります。

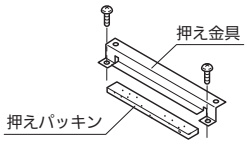


2. パネル本体の取り付けかた

● 天井材の厚みが9㎜～12㎜の場合は、押えパッキンを貼って固定します。



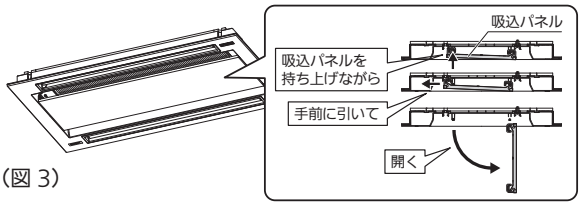
● 天井材の厚みが15㎜の場合は、**押え金具を反転させ**、押えパッキンを貼って固定します。



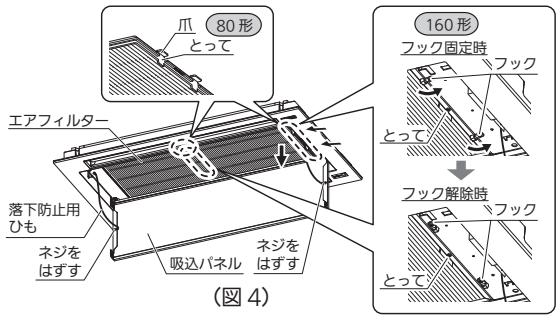
（1）吸込パネルとエアフィルターの取りはずし

①吸込パネルのはずしかた（80 形、160 形共通）
吸込パネル長辺の片側（どちら側からも可）の端を持ち上げながら手前に引いて開きます。（図 3）
吸込パネル側の落下防止用ひもの固定ネジをはずしてから吸込パネルをはずします。（図 4）

②エアフィルターのはずしかた（図 4）
80 形 ： エアフィルターの短辺のとって（2 つ）と長辺のとってを押してフィルター枠をたわめて爪を外し下方にひきます。
（エアフィルター 1 枚）
160 形： エアフィルターの短辺のとって（1 つ）を持ちながらフック 2 か所を回して固定を解除し下方にひきます。
（エアフィルター 2 枚）



（図 3）



（図 4）

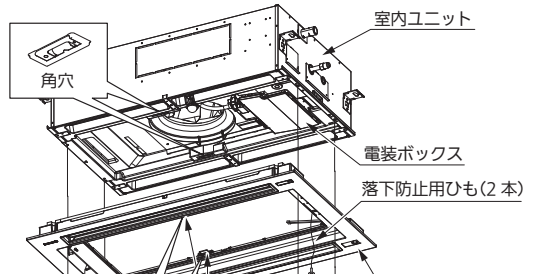
（2）パネル本体の取り付け

● **160 形はフラップの角度変更は電源を入れなければできません。（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。）**
● **パネル本体は室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。**

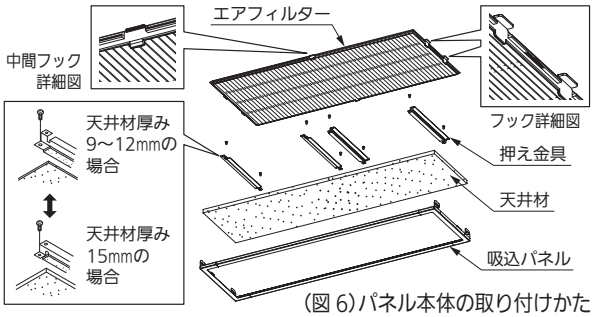
80 形の場合

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図 5）
● 室内ユニットの電装ボックス側とパネル本体の配線位置を合わせてください。
②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合せてください。
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の 4 か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図 6）
④室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間がないことを確認します。（図 6）
（隙間があると水漏れや露付きの原因となります。）

● パネル本体をはずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。（図 5）



（図 5）
（座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています）



（図 6）パネル本体の取り付けかた

●天井材組込パネル

160 形の場合（図 10）

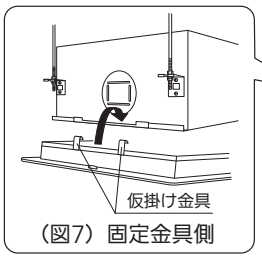
①電装ボックスと反対側の仮掛け金具（固定金具側）を室内ユニットに引っ掛けます。（図 7）

②次に電装ボックス側を持ち上げ仮掛け金具（可動金具側）を室内ユニットに引っ掛けます。（図 8）**このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックすることを確認してください。**

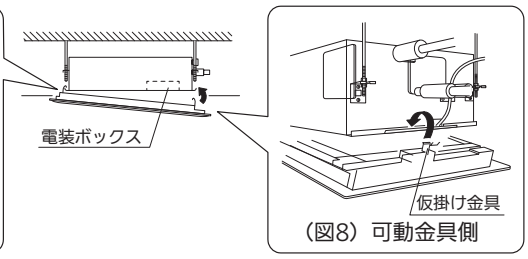
③パネル本体が室内ユニットへ仮掛けされていることを確認してください。

④次に座付ネジ（M5×40 ワッシャー付き）4 本で、パネル本体を固定します。さらに吹出口中央部をネジ（M4×25）2 本で固定します。（図 10）

● パネル本体をはずすときは、可動金具を矢印方向に押してロックを解除します。（図 9）

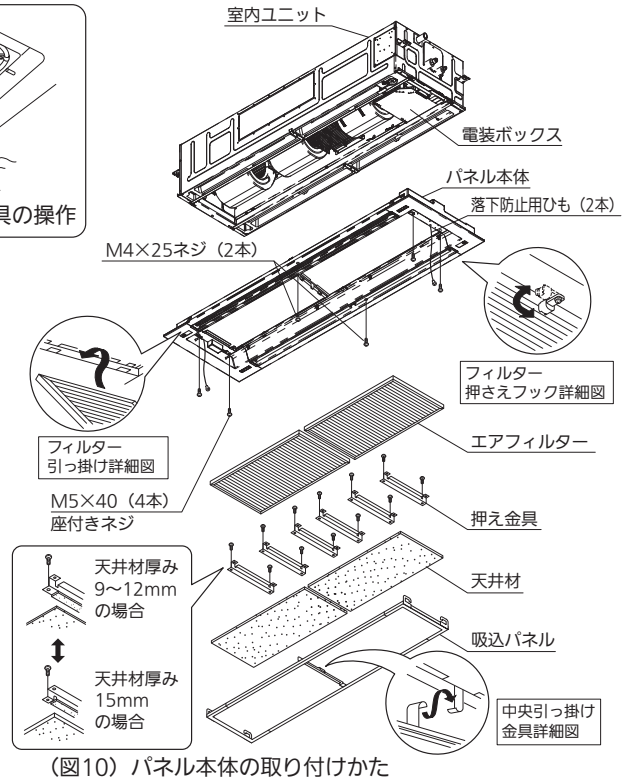


（図7）固定金具側



（図8）可動金具側

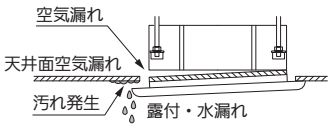

（図9）可動金具の操作



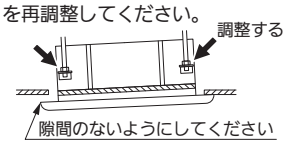
（図10）パネル本体の取り付けかた

80 形、160 形共通　**ご　注　意**

● 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



● 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



(3) パネル本体の配線方法

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。（ネジ 2 か所）

②パネル本体から出ている配線コネクタ（80 形は 22P（白）、160 形は 8P（白）を 2 個）を室内ユニットの基板のコネクタまたは中継コネクタに接続してください。その際、配線は室内ユニットのフックに通して右図のように配線をしてください。

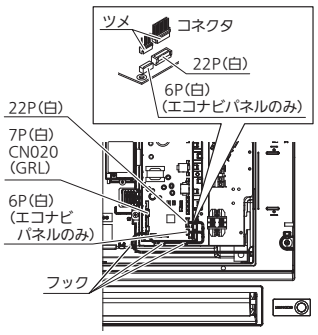
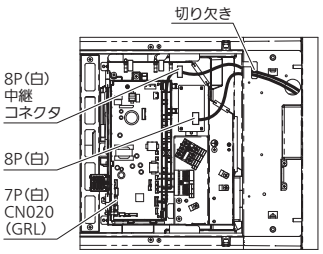
● **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。（確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに “P09” が表示されます。また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります。）**

③電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。

● **配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。**

● **配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。**

● **通常ご使用になる場合、束ねてある配線はそのままご使用ください。フィルターチャンバーをご使用の場合、束ねてある配線をほどいてご使用ください。**

	オフィス・店舗用エアコン（PAC）に接続する場合
80 形	
160 形	

●天井材組込パネル

（4）天井材の取り付けかた

①天井材の加工寸法は右表に従い、確実に行ってください。
②吸込パネルへの取り付けかた
（1）加工した天井材を吸込パネルに組込みます。
（2）次に付属の押え金具で、天井材を固定します。
（3）天井材の厚みは、9mm ～ 15mm まで組込みできます。

	天井材寸法（たて × よこ）
80形	270 mm×1,010 mm
160形	300 mm×1,690 mm

（5）吸込パネルとエアフィルターの取り付け

取り付け方法は、吸込パネルとエアフィルターの取りはずしと逆の手順で取り付けてください。
- 吸込パネルとエアフィルターを取り付ける際、配線をはさまないよう注意してください。
- 必ず落下防止用ひもをパネル本体に取り付けてください。落下防止用ひもを取り付けない場合、吸込パネルとエアフィルターが落下するおそれがあります。

3. その他

A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
  ※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンに P09 の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

C.DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表 1、表 2）
ファン回転数を設定する方法は、
（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合
（2）ワイヤードリモコンで設定
があります。どちらかの方法で設定してください。
※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

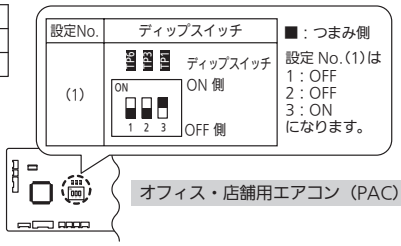
設定No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称 ※1
（出荷設定）	0000	標準（出荷設定）
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
（1）	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 65%）
		高性能フィルター（比色法 90%）
		しゃ風材・吹出ダクト ※2

※1.　必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。
※2.　しゃ風材と吹出ダクトは、必ず併用してください。

表2　天井高さの目安

室内機	標準（出荷時）	高天井設定
22 ～ 71 形	1.8 ～ 2.7m	～ 3.2m
80 ～ 160 形	1.8 ～ 3.0m	～ 3.5m

（図 11）室内コントロール基板



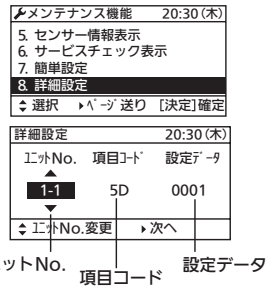
（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順>必ず漏電しゃ断器を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 1 で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 11）
③表 1 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。（図 11）

（2）ワイヤードリモコンで設定　<CZ-10RT4シリーズの場合>

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面」が表示されます。
◄ / ► ボタンで「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



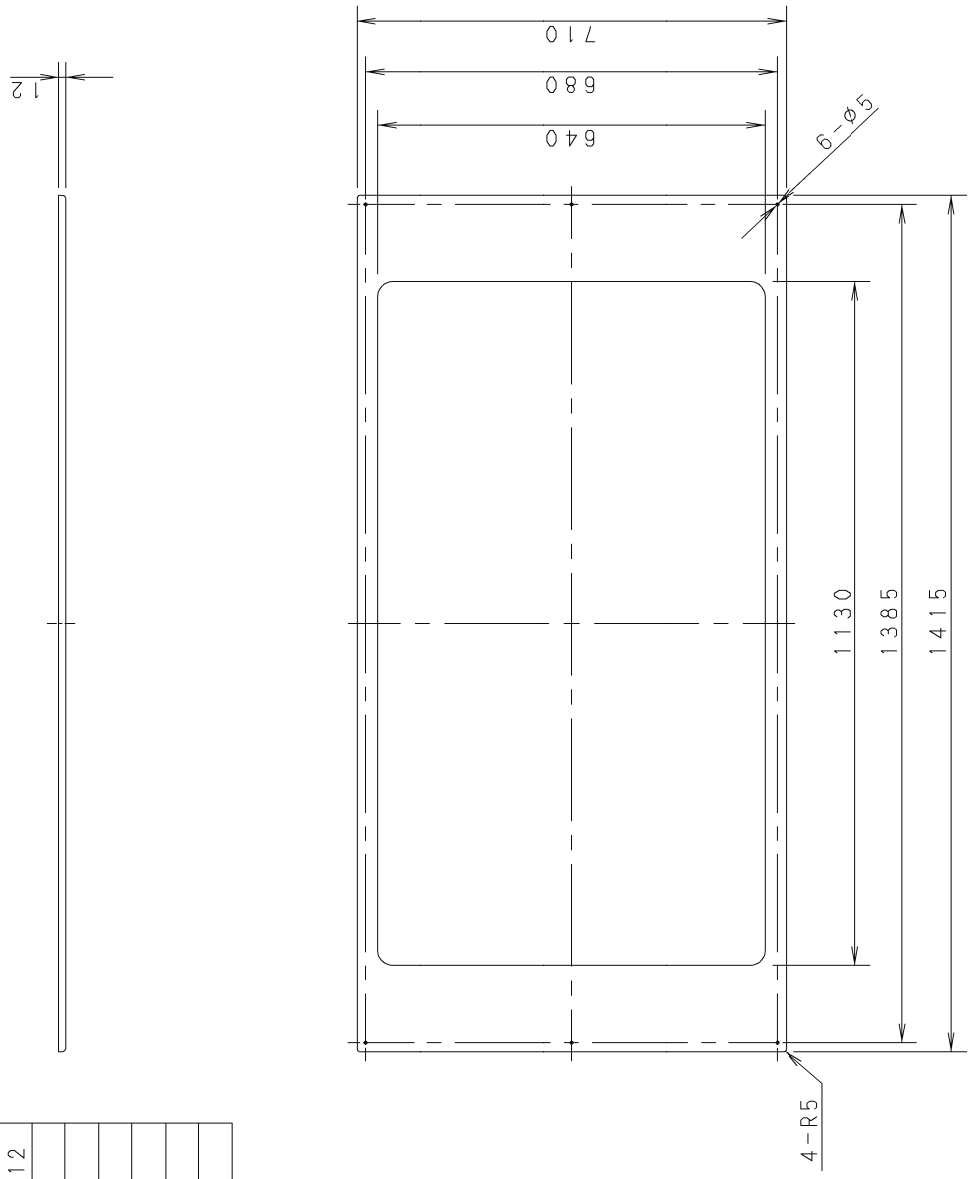


上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様にしてください。

■ワイドパネル

●外形寸法図

・CZ-80KWL6



■仕様

品番		CZ-80KWL6
外形寸法	mm	W:1415, D:710, H:12
開口寸法	mm	W:1130, D:640
天井開口寸法	短手 mm	640~670
	長手 mm	1130~1350
製品質量	kg	1.5
色（マンセル記号）		ホワイト（N9.3）
適応機種		50～80形

●ワイドパネル

品番	CZ−80KWL6
適用機種	50〜80形

据付工事説明書

品番　ワイドパネル　CZ-80KWL6

適用室内ユニット　２方向天井カセット形　Ｌシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）
●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

🚫	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

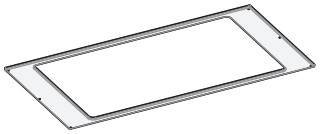
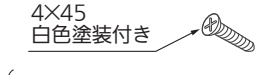
🚫 ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・ワイドパネルは２２〜９０形まで共通で使用できます。
・ワイドパネルは室内ユニットの冷媒配管・ドレン配管終了後、パネル本体を取り付ける際に、同時に取り付けてください。※先にパネル本体を取り付けてしまうと、ワイドパネルを取り付けできなくなります。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒にお客様で保管していただくよう依頼してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	ワイドパネル	取付ネジ	据付工事説明書
個数	1	6	1
形状		 （近似色 19 年版 日本塗料工業会 KN-93）	 本説明書 お客さまに必ず渡してください

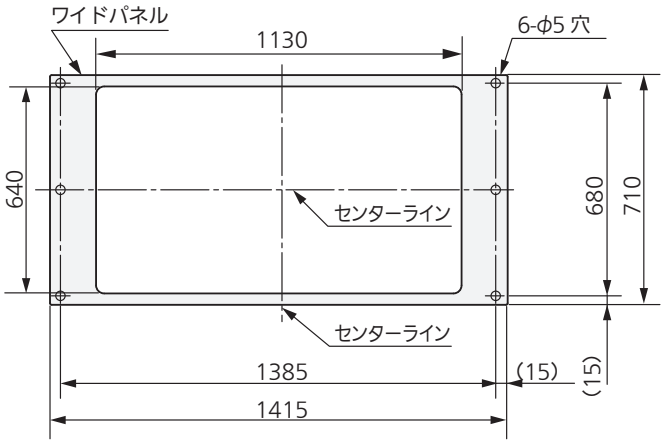
ACXF60-31365
BE0418 - 50823

●ワイドパネル

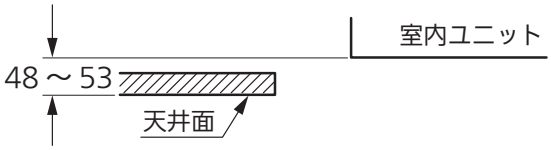
2. 取り付け前の準備

1．天井開口寸法が下記の範囲内か確認してください。
　短手 × 長手：640 ～ 670×1,130 ～ 1,350 ㎜

2．ワイドパネルは、下図の位置でネジ止めしますので、
　取付ネジが締められない天井材（石膏ボード等）の
　場合は、木材または天井材固定用 M バー等（現地調達、
　ダブルバー推奨）を天井材裏面に取り付けてください。

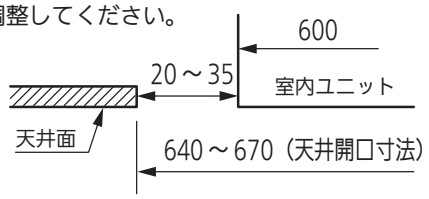


3．天井面の水平を確認してください。
　※天井面が水平でない場合、ワイドパネルと天井面に多少
　　の隙間が開く場合があります。
　　室内ユニットと天井面は、48 ～ 53㎜ の範囲に高さ設定
　　してください。この範囲が守られない場合、故障等の原因
　　となります。（図は、寸法を見やすくするために、室内
　　ユニットの位置を高く表示しています。）



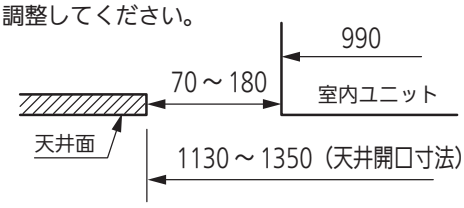
天井開口寸法　短手

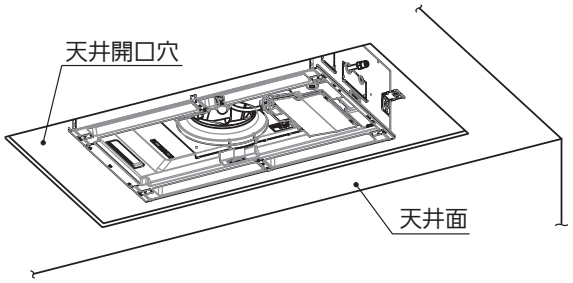
短手方向で天井と室内ユニットの隙間が
20 ～ 35㎜ の範囲で左右同一寸法になるように
調整してください。



天井開口寸法　長手

長手方向で天井と室内ユニットの隙間が
70 ～ 180㎜ の範囲で左右同一寸法になるように
調整してください。

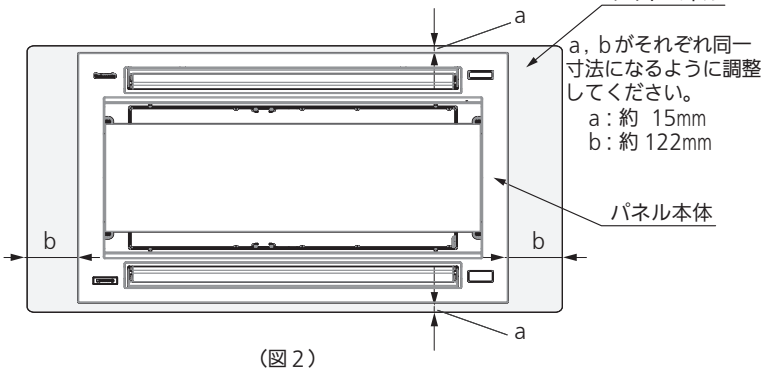




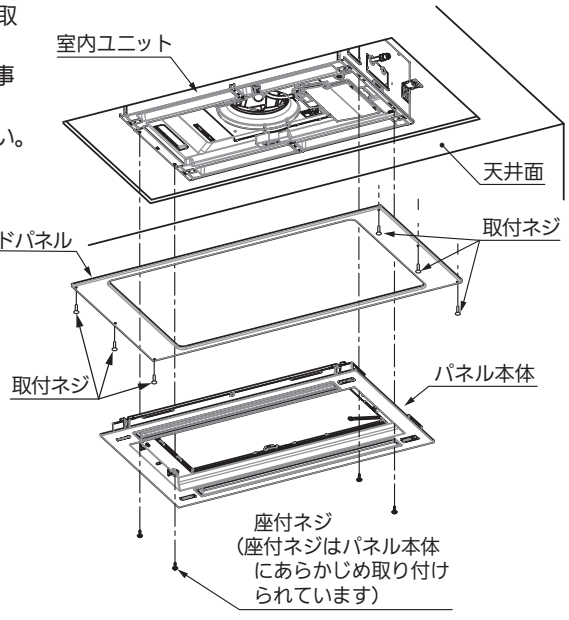
3. 取り付けかた

● パネル本体の上にワイドパネルを載せて、パネル本体を室内ユニットに取り付けます。（図 1）
　※パネル本体の取り付けかたは、パネル本体に同梱されている据付工事説明書を参照してください。
　※パネル本体とワイドパネルの位置合わせは（図 2）を参照してください。

● ワイドパネルを取付ネジ 6 本で天井面へ固定します。
　※取付ネジはワイドパネルが変形しない程度に締め込んでください。
　　変形した場合は、取付ネジを少し緩めてください。



（図 2）



（図 1）

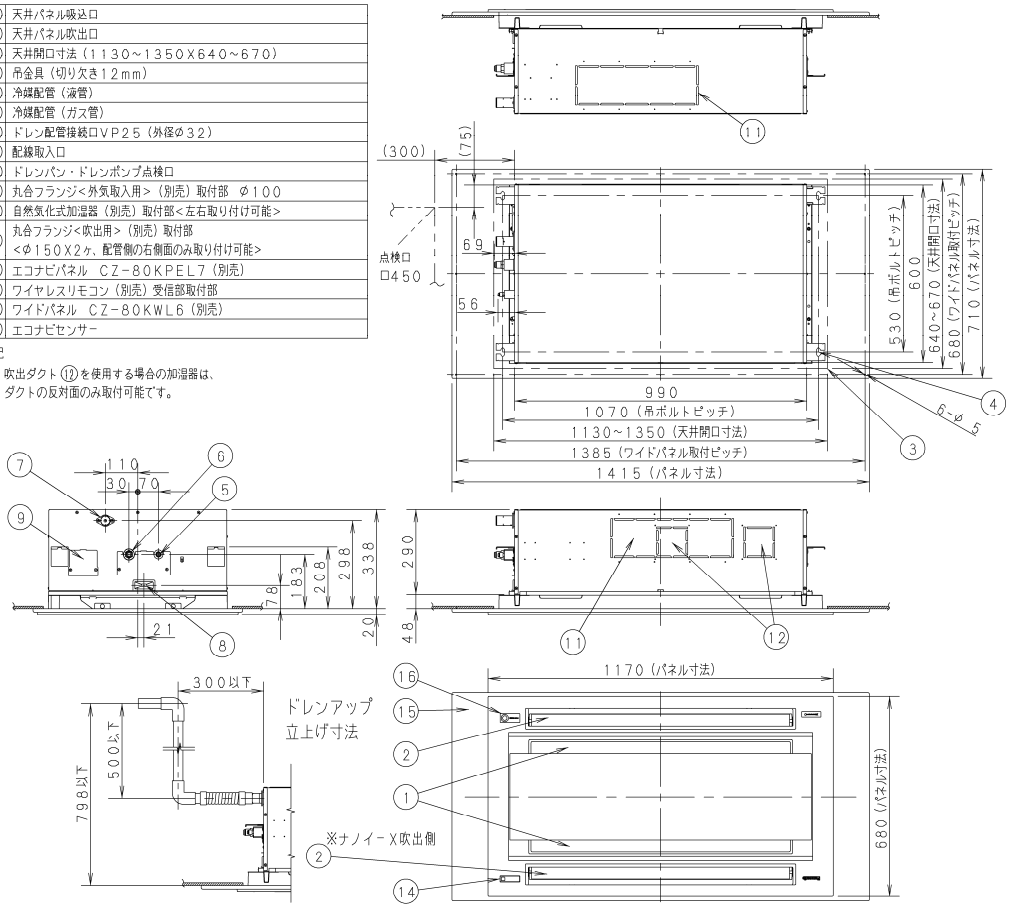
● ワイドパネル取付図（エコナビパネル使用）

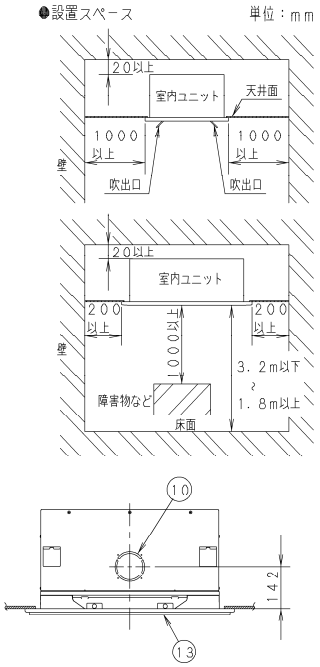
・CZ-80KWL6〔適用機種：50 ～ 71 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130～1350X640～670）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	ワイドパネル　CZ-80KWL6（別売）
⑯	エコナビセンサー

注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。



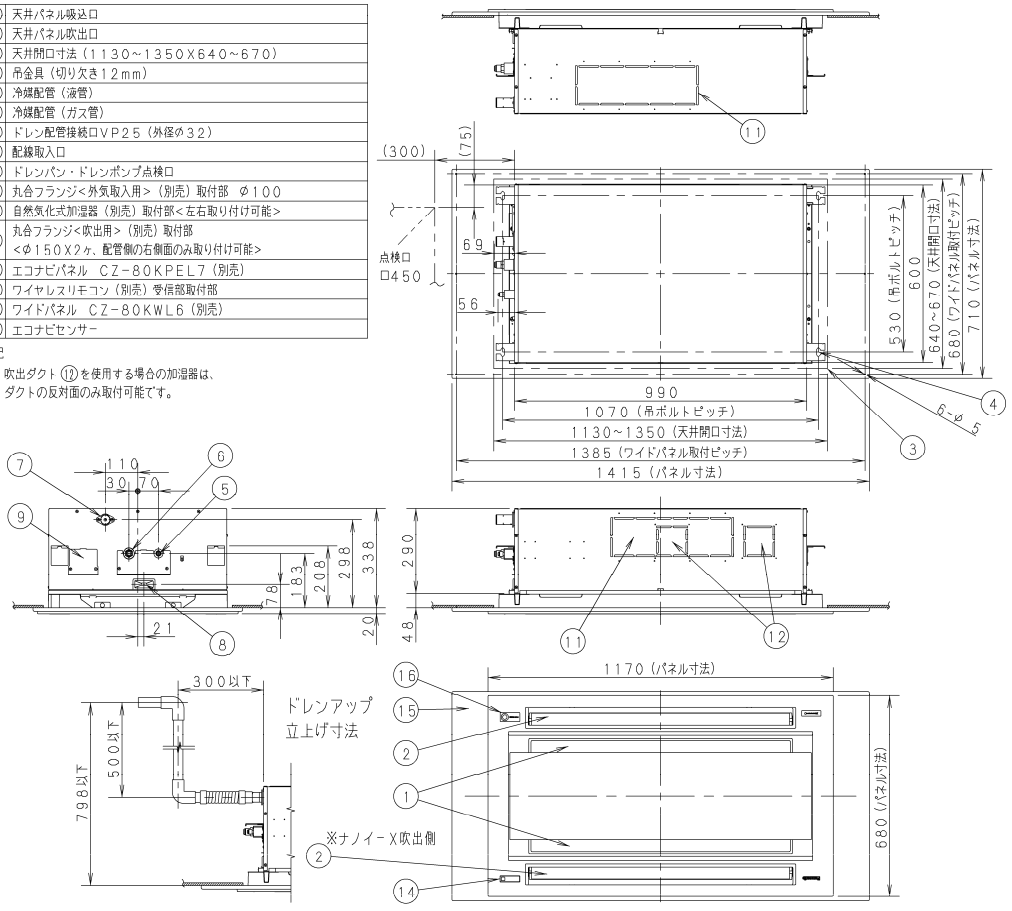


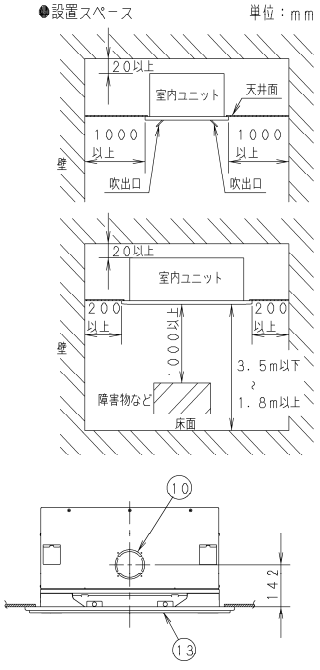
・CZ-80KWL6〔適用機種：80 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130～1350X640～670）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	ワイドパネル　CZ-80KWL6（別売）
⑯	エコナビセンサー

注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。





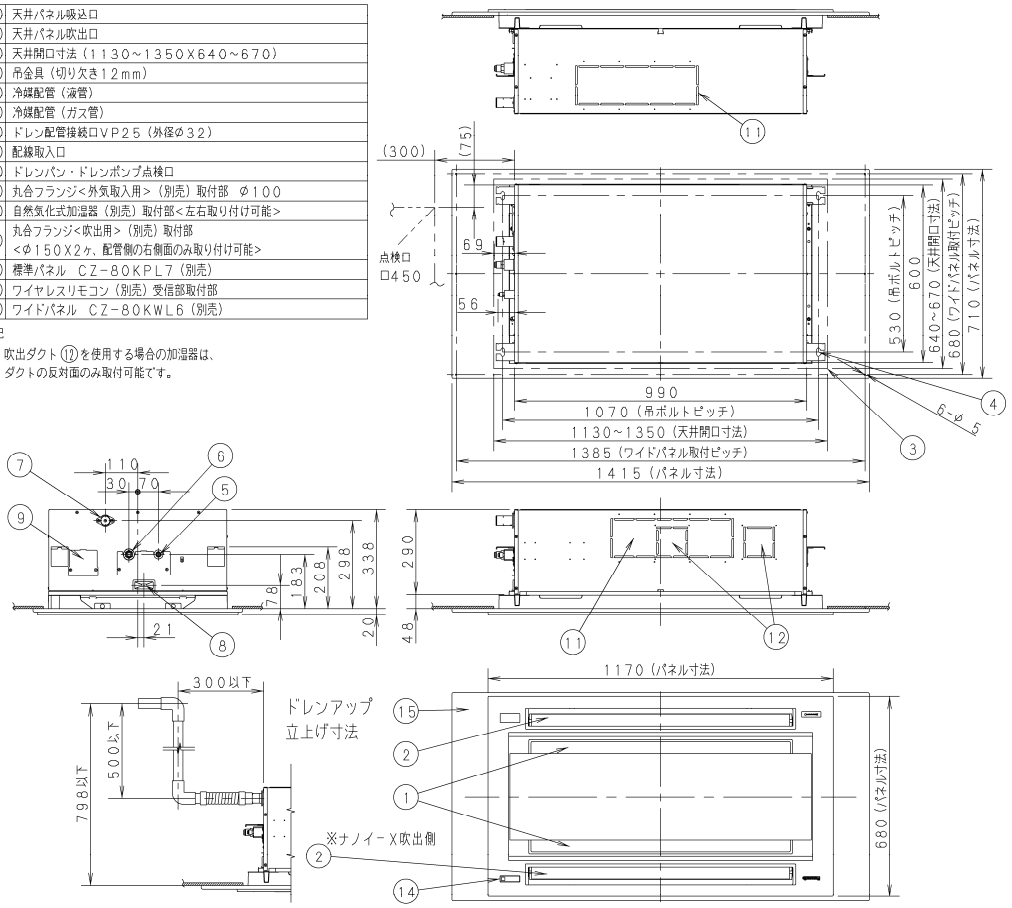
● ワイドパネル取付図（標準パネル使用）

・CZ-80KWL6〔適用機種：50 ～ 71 形〕

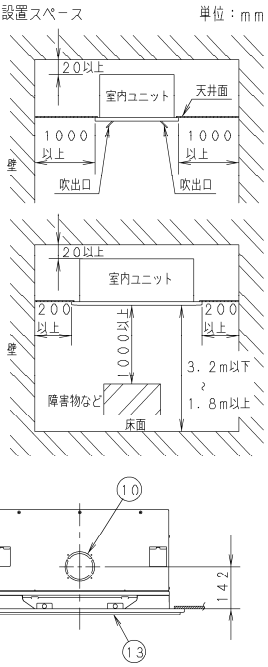
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130～1350X640～670）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	ワイドパネル　CZ-80KWL6（別売）

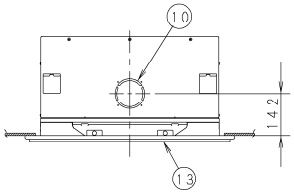
注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。



●設置スペース　　単位：mm



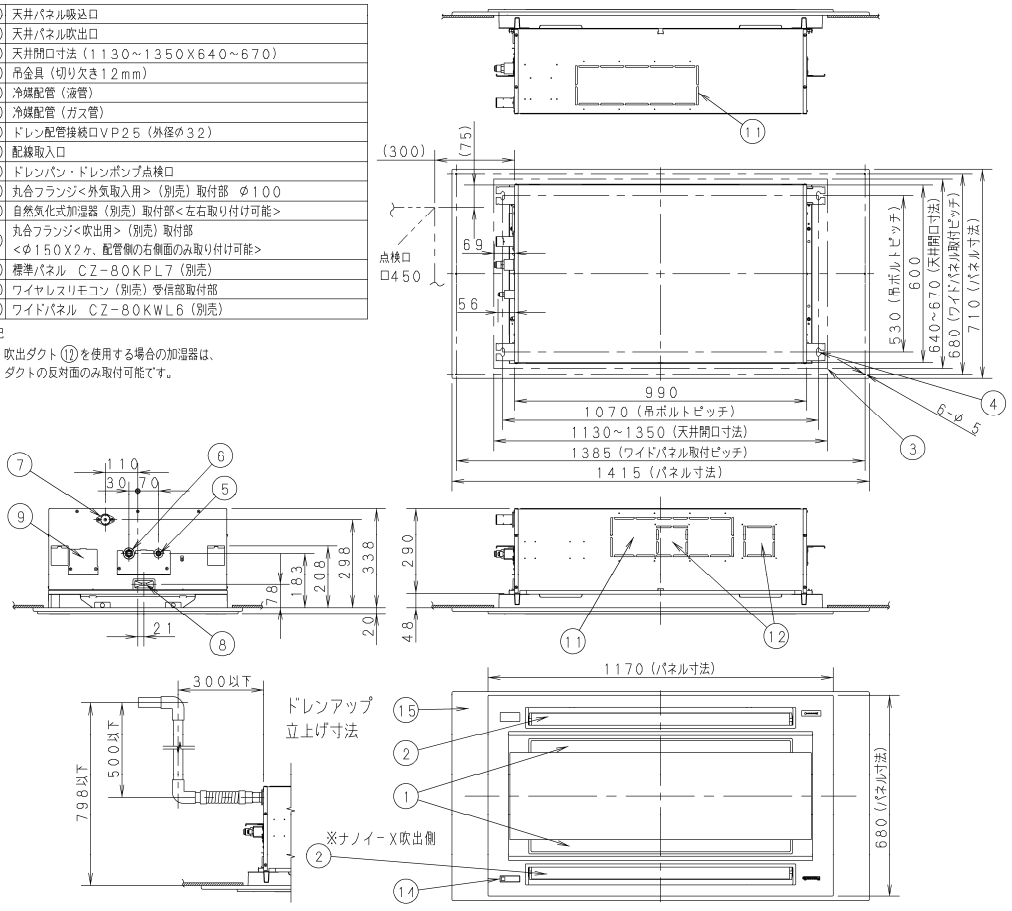


・CZ-80KWL6〔適用機種：80 形〕

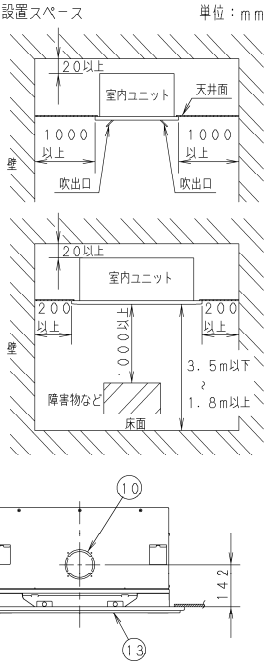
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130～1350X640～670）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	ワイドパネル　CZ-80KWL6（別売）

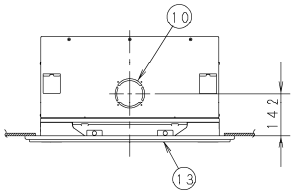
注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。



●設置スペース　　単位：mm





■ 高性能フィルター（CZ-80MFL6,CZ-160MFL6）

● 仕様（比色法 65%）

名　称								
品　番			CZ-80MFL6			CZ-160MFL6		
適用室内ユニット			50･56形	63,71形	80形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	13.8	14.7	17.4	27.0	29.8	30.8
最終風量		m^3/min	8.5	8.9	12.3	19.5	21.6	23.3
初期圧損		Pa	12.5	13.7	17.5	18.2	21.0	22.0
最終圧損		Pa	35.0	39.0	46.5	54.0	64.0	64.5
フィルター寿命		時間	3600	3400	3400	3700	3600	3500
平均効率			比色法 65%　（ダスト　11種）					
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維（SEK抗菌、防カビ仕様）					
フィルター分割数			1枚組			2枚組		
質量		kg	1.6（1.6 × 1）			2.2（1.1 × 2）		
フィルター外形寸法	幅	mm	874			745×2		
	奥行	mm	356			316		
	厚み	mm	50			50		
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-80FDL6			CZ-160FDL6		
	質量	kg	2.7			5.6		
	厚み	mm	85			85		

注記

（1）高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は、保護装置が作動する恐れがあります。
　　これを防止するため、フィルターチャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行ってください。
　　（製品に添付の据付工事説明書参照）

（2）高性能フィルター組み込みの場合は、ダクト接続できません。

（3）フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。
　　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

（4）高性能フィルター組み込みの場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。

（5）天井パネルのエアフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。

（6）風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

（7）この仕様は L7B 形の値です。

■ 高性能フィルター（CZ-80HFL6,CZ-160HFL6）

● 仕様（比色法 90%）

名　称								
品　番			CZ-80HFL6			CZ-160HFL6		
適用室内ユニット			50･56形	63,71形	80形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	13.2	14.2	17.0	26.2	29.0	30.0
最終風量		m^3/min	8.5	8.9	12.3	19.5	21.6	23.3
初期圧損		Pa	15.3	16.6	20.5	23.1	26.1	27.2
最終圧損		Pa	35.0	39.0	46.5	54.0	64.0	64.5
フィルター寿命		時間	2500	2400	2000	2600	2600	2500
平均効率			比色法 90%　（ダスト　11種）					
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維（SEK抗菌、防カビ仕様）					
フィルター分割数			1枚組			2枚組		
質量		kg	1.1（1.1 × 1）			2.2（1.1 × 2）		
フィルター外形寸法	幅	mm	874			745×2		
	奥行	mm	356			316		
	厚み	mm	50			50		
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-80FDL6			CZ-160FDL6		
	質量	kg	2.7			5.6		
	厚み	mm	85			85		

注記

（1）高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は、保護装置が作動する恐れがあります。
　　これを防止するため、フィルターチャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行ってください。
　　（製品に添付の据付工事説明書参照）

（2）高性能フィルター組み込みの場合は、ダクト接続できません。

（3）フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。
　　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

（4）高性能フィルター組み込みの場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。

（5）天井パネルのエアフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。

（6）風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

（7）この仕様は L7B 形の値です。

■ 超ロングライフフィルター（CZ-80LFL6,CZ-160LFL6）

● 仕様（重量法 40%）

名　称								
品　番			CZ-80LFL6			CZ-160LFL6		
適用室内ユニット			50･56形	63,71形	80形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	13.6	14.5	17.3	27.1	30.0	32.0
最終風量		m^3/min	11.3	12.2	13.8	21.0	23.7	25.8
初期圧損		Pa	2.3	2.8	4.6	5.2	6.2	7.0
最終圧損		Pa	13.1	14.2	24.5	35.0	41.5	43.5
フィルター寿命		時間	8700	8100	10400	12500	12600	11800
平均効率			重量法 40%　（ダスト　15種）					
使用濾材			PPハニカム（防カビ仕様）					
フィルター分割数			1枚組			2枚組		
質量		kg	2.0 (2.0 × 1)			2.8 (1.4 × 2)		
フィルター外形寸法	幅	mm	874			745×2		
	奥行	mm	356			316		
	厚み	mm	50			50		
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-80FDL6			CZ-160FDL6		
	質量	kg	2.7			5.6		
	厚み	mm	85			85		

注記

（1）フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。
　　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
（2）超ロングライフフィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
（3）天井パネルのエアフィルターは、取り外してご使用ください。
（4）風量・圧損・寿命は、急風時（出荷時HHタップ）の値を示します。
（5）ファンタップ変更は不要です。
（6）この仕様は L7B 形の値です。

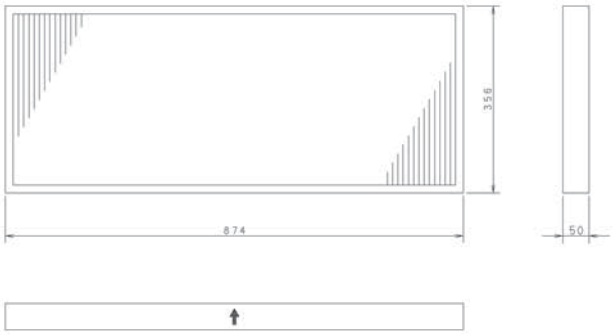
● フィルターとフィルターチャンバーの組み合せ

高性能フィルター（比色法65%）	高性能フィルター（比色法90%）	超ロングライフフィルター	フィルターチャンバー
CZ-80MFL6	CZ-80HFL6	CZ-80LFL6	CZ-80FDL6
CZ-160MFL6	CZ-160HFL6	CZ-160LFL6	CZ-160FDL6

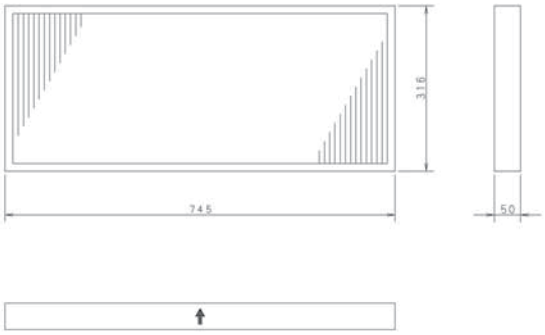
※フィルタチャンバーは、高性能フィルター、超ロングライフフィルターに共通です。

● 高性能フィルター、超ロングライフフィルター外形寸法図

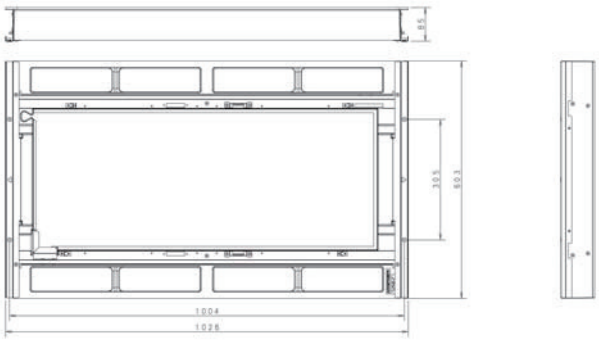
高性能フィルター（比色法65%）	高性能フィルター（比色法90%）	超ロングライフフィルター（重量法40%）	個数
CZ-80MFL6	CZ-80HFL6	CZ-80LFL6	1



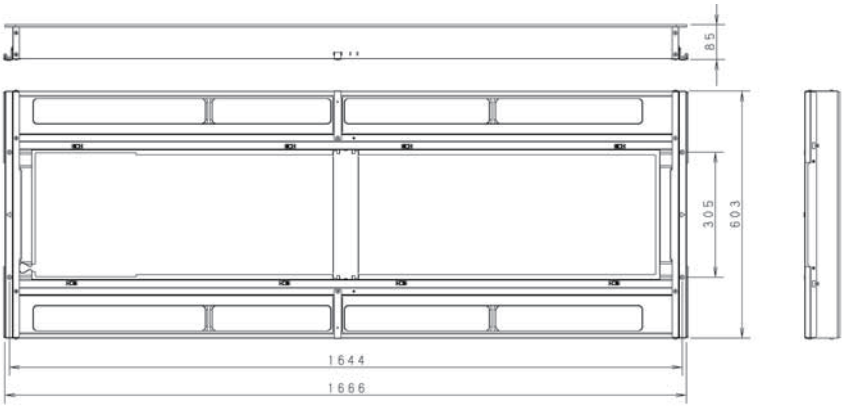
高性能フィルター（比色法65%）	高性能フィルター（比色法90%）	超ロングライフフィルター（重量法40%）	個数
CZ-160MFL6	CZ-160HFL6	CZ-160LFL6	2



● フィルターチャンバー外形寸法図



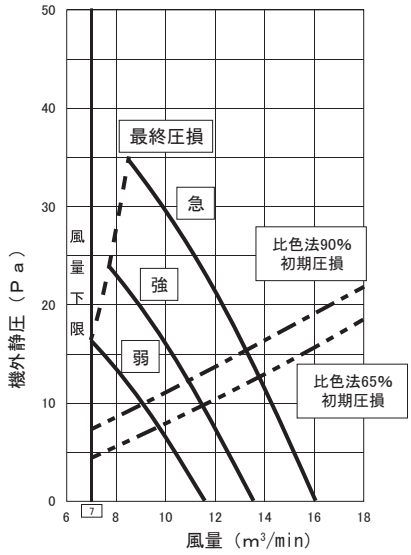
フィルターチャンバー	フィルター使用個数
CZ-80FDL6	1



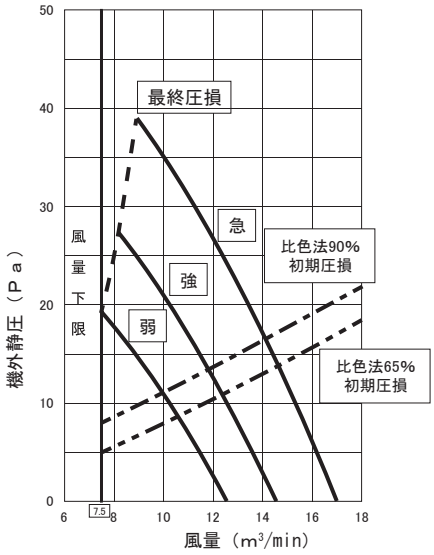
フィルターチャンバー	フィルター使用個数
CZ-160FDL6	2

● 風量－圧力損失特性線図〔高性能フィルター〕

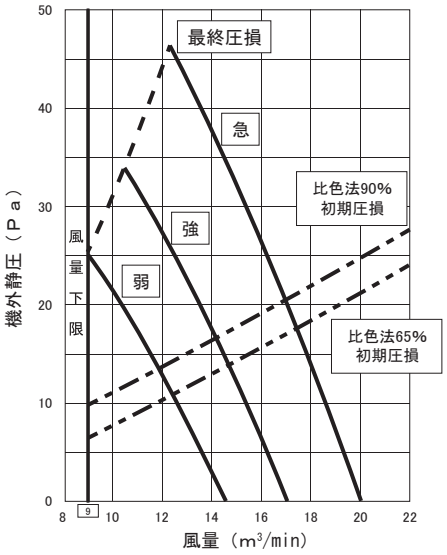
●50・56形



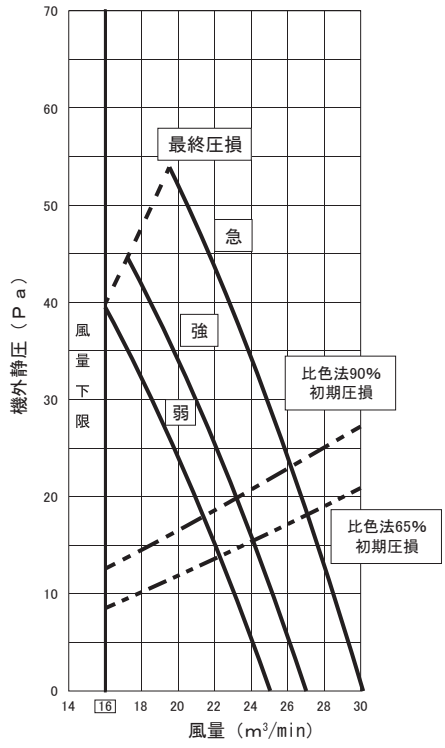
●63・71形



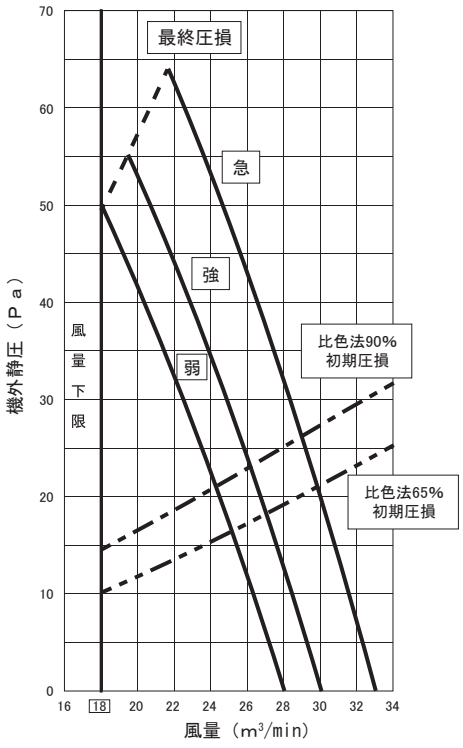
●80形



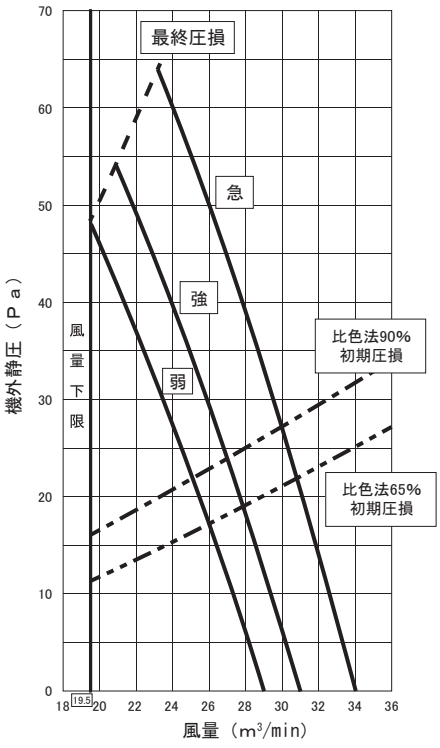
●112形



●140形

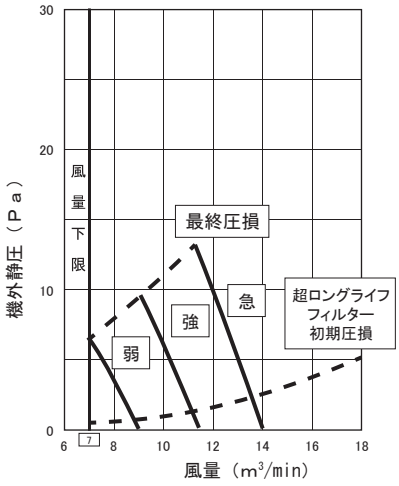


●160形

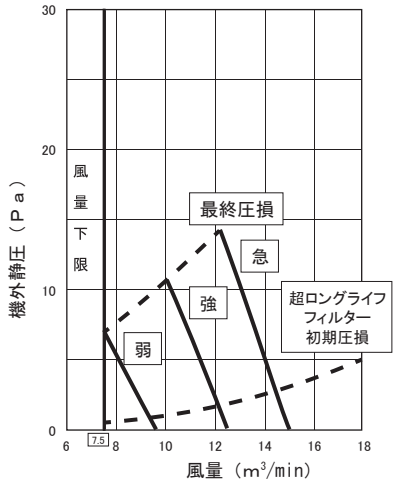


● 風量－圧力損失特性線図〔超ロングライフフィルター〕

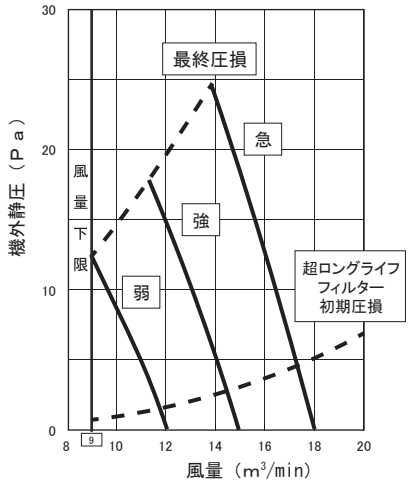
●50・56形



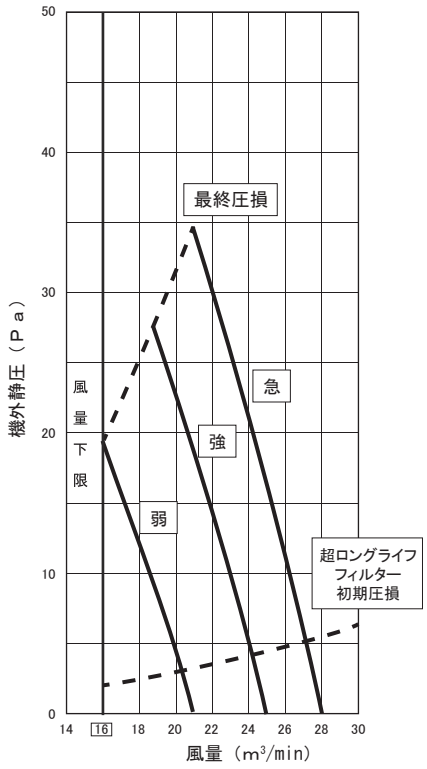
●63・71形



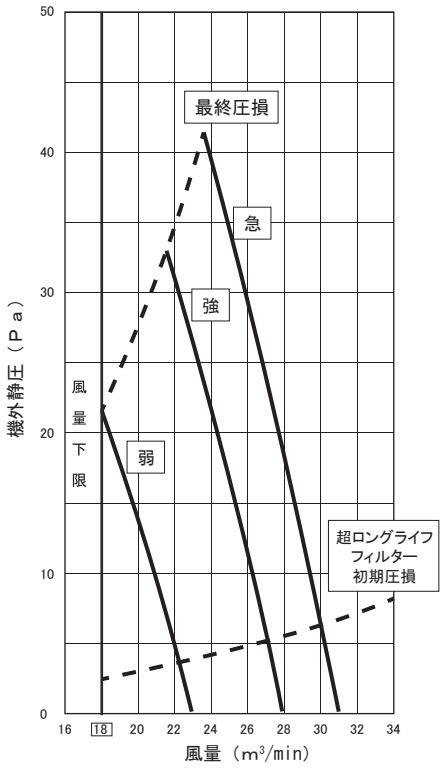
●80形



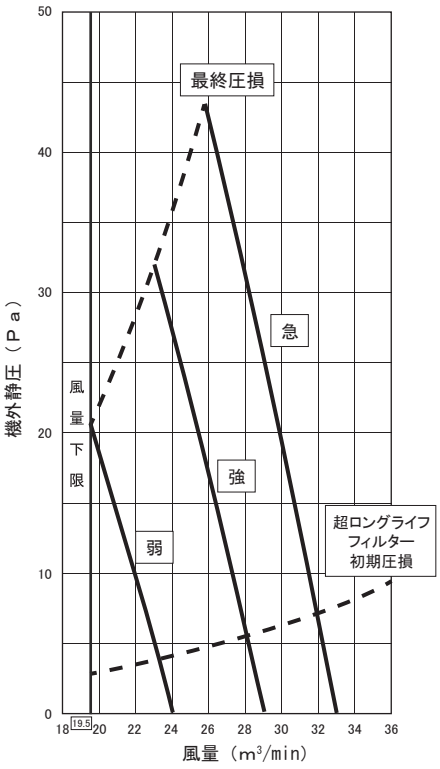
●112形



●140形



●160形



●高性能フィルター

据付工事説明書

高性能フィルター

品番　CZ-80MFL6　CZ-160MFL6
　　CZ-80HFL6　CZ-160HFL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、フィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

■ **周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
- 高性能フィルターをご使用になる場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要です。
- 高性能フィルターをご使用になる場合は、室内ユニットの設定変更が必要です。
- 高性能フィルターは丸合フランジ（吹き出し用）との併用はできません。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31553
PA0518 - 30823

●高性能フィルター

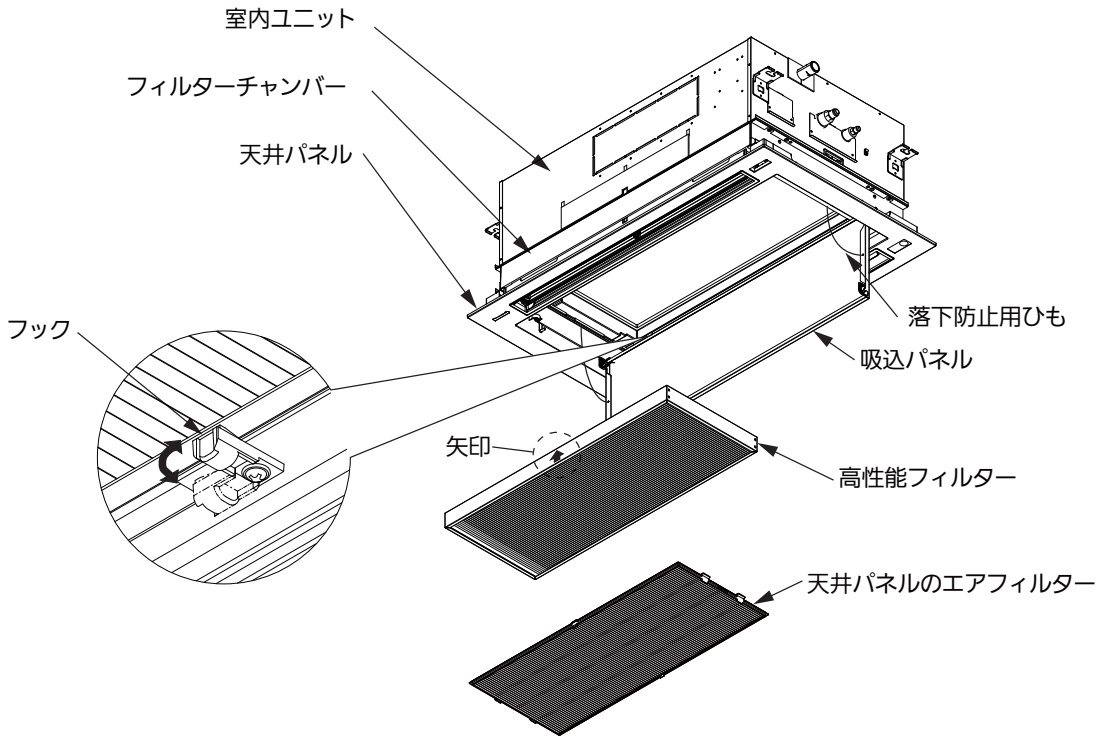
1 . 仕様

品　　名 (型　　番)	ろ　　材	平均捕集効率 (比 色 法)	寿　　命 ※1
高性能フィルター (　CZ-80MFL6　) (　CZ-160MFL6　)	ポリオレフィン繊維 SEKマーク認証	６５%以上	約１年
高性能フィルター (　CZ-80HFL6　) (　CZ-160HFL6　)	ポリオレフィン繊維 SEKマーク認証	９０%以上	約９か月

※1　ご使用の環境条件によって異なります。

2 . 取り付けかた

1．天井パネルの吸込パネルを持ち上げながら手前に引いて開きます。
2．天井パネルのエアフィルターを取りはずします。
　※取りはずしかたは室内ユニットの取扱説明書を参照してください。
3．高性能フィルターを、矢印方向（風の流れを示す）を室内ユニットに向けて差し込みます。
4．フィルターチャンバーのフックを回転させ、確実に固定します。
　※160形のフィルターは中央に金具があり、高性能フィルターは２個１組で使用します。
5．天井パネルのエアフィルターと吸込パネルを元に戻してください。



6．DCファンモータータップの設定変更を行ってください。
　変更の手順はフィルターチャンバーの据付工事説明書を参照してください。

●超ロングライフフィルター

据付工事説明書

超ロングライフフィルター

品番　CZ-80LFL6　CZ-160LFL6

適用室内ユニット　２方向天井カセット形　Ｌシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、フィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

■ **周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
- 超ロングライフフィルターをご使用になる場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要です。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31543
PA0518 - 30823

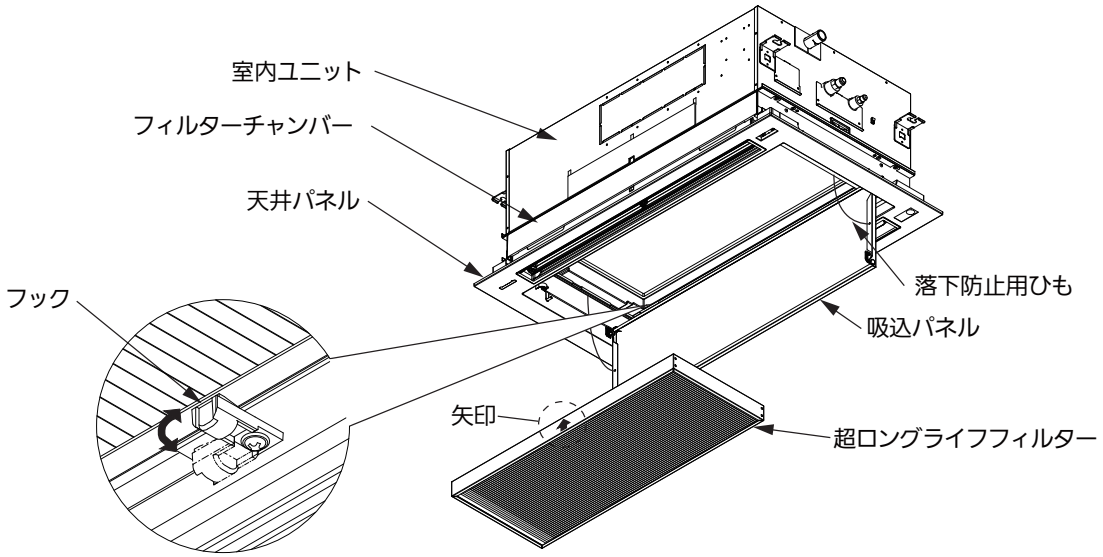
●超ロングライフフィルター

1 . 仕様

品　名 (型　番)	ろ　　材	平均捕集効率 (質 量 法)
超ロングライフフィルター (　**CZ-80LFL6**　) (　**CZ-160LFL6**　)	ポリプロピレン繊維	４０%

2 . 取り付けかた

1．天井パネルの吸込パネルを持ち上げながら手前に引いて開きます。
2．天井パネルのエアフィルターを取りはずします。
　※取りはずしかたは、室内ユニットの取扱説明書を参照してください。
3．超ロングライフフィルターを、矢印方向（風の流れを示す）を室内ユニットに向けて差し込みます。
4．フィルターチャンバーのフックを回転させ、確実に固定します。
　※160形のフィルターは中央に金具があり、超ロングライフフィルターは２個1組で使用します。
5．天井パネルの吸込パネルを元に戻してください。
　※天井パネルのエアフィルターは取りはずしたままご使用ください。



6．フィルターサイン点灯時間の設定変更を行ってください。
　変更の手順はフィルターチャンバーの据付工事説明書を参照してください。

3．お手入れのしかた

・リモコンにフィルターサインが表示されたときは、超ロングライフフィルターのお手入れ時期です。
　超ロングライフフィルターのお手入れ後、フィルターサインをリセットしてください。
　※ほこりや油汚れの多い環境では、表示に関係なく、こまめにお手入れをしてください。
　※フィルターサインのリセット方法は室内ユニットの取扱説明書を参照してください。

・お手入れは、ほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いしてください。
　水洗い後は、直射日光を避けて、よく乾燥させてください。

・破損やろ材の破れが生じたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●フィルターチャンバー

据付工事説明書

フィルターチャンバー

品番　CZ-80FDL6　CZ-160FDL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

品番	CZ-80FDL6	CZ-160FDL6
適合機種	22 ～ 90 形	112 ～ 160 形

●据付工事の前に室内ユニットおよびパネル本体に同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚　実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、ケガの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠ 注意

⃠ ■ **周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

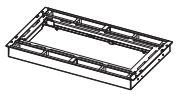
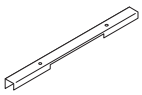
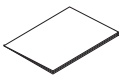
■使用上のご注意
・フィルターチャンバーは、室内ユニットを据え付ける前に室内ユニットに取り付けてください。
・据え付け時、フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取扱いには十分注意してください。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31594
BE0518 - 40823

●フィルターチャンバー

1 . 付属品

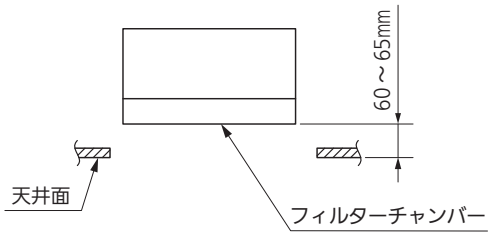
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	フィルターチャンバー本体	パネル取付金具	取付ネジ A	取付ネジ B	据付工事説明書
個数	1	2	4	4	1
形状			 M5×16	 M5×10	 本説明書 お客さまに必ず渡してください

2 . 取り付けかた

●ご注意

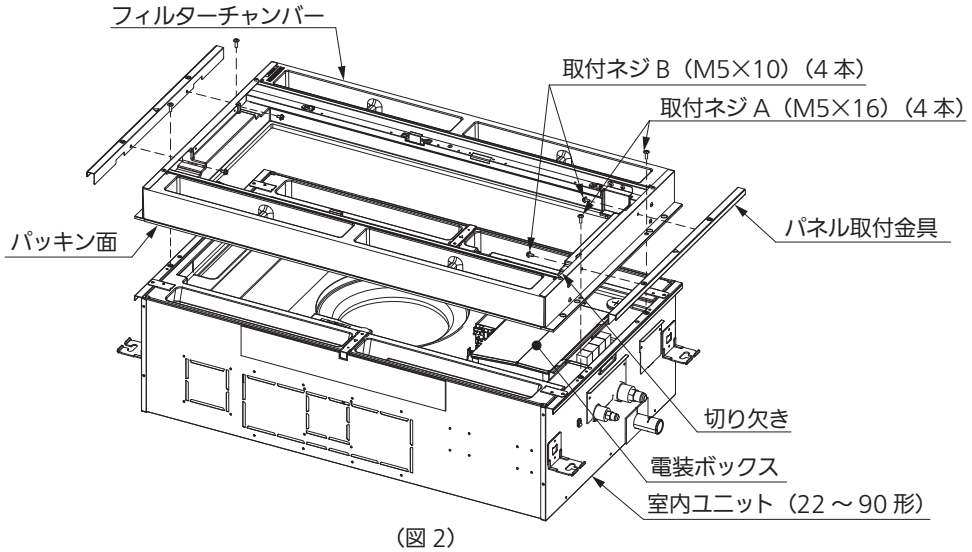
・フィルターチャンバー下面と天井面との寸法は、60 ～ 65㎜ になるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調整してください。（図 1）



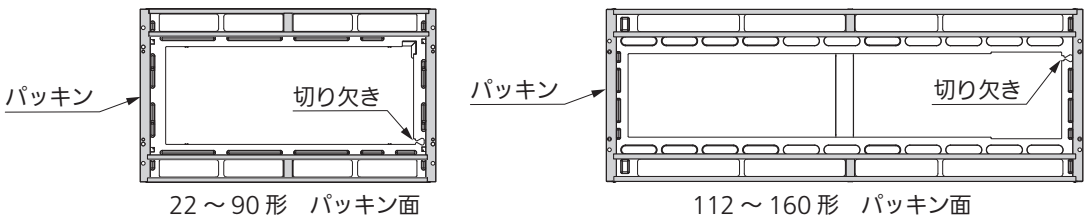
（図 1）

①フィルターチャンバーの取り付けかた（図 2）

・フィルターチャンバーのパッキン面を室内ユニットに合わせます。
　このとき、パネル本体のリード線を通す切り欠きは電装ボックス側にします。（図 2 ・ 3）
・取付ネジ A（M5×16）（4 本）で室内ユニットに固定します。
・次に付属のパネル取付金具を取付ネジ B（M5×10）（4 本）でチャンバーの内側面から固定します。



（図 2）



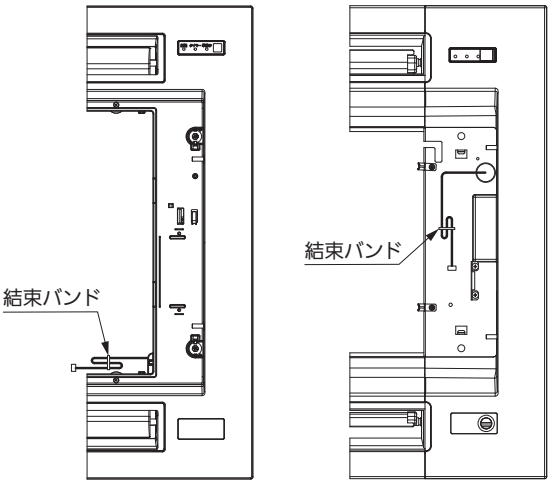
（図 3）

●フィルターチャンバー

2. 取り付けかた（つづき）

②パネル本体の取り付けかた

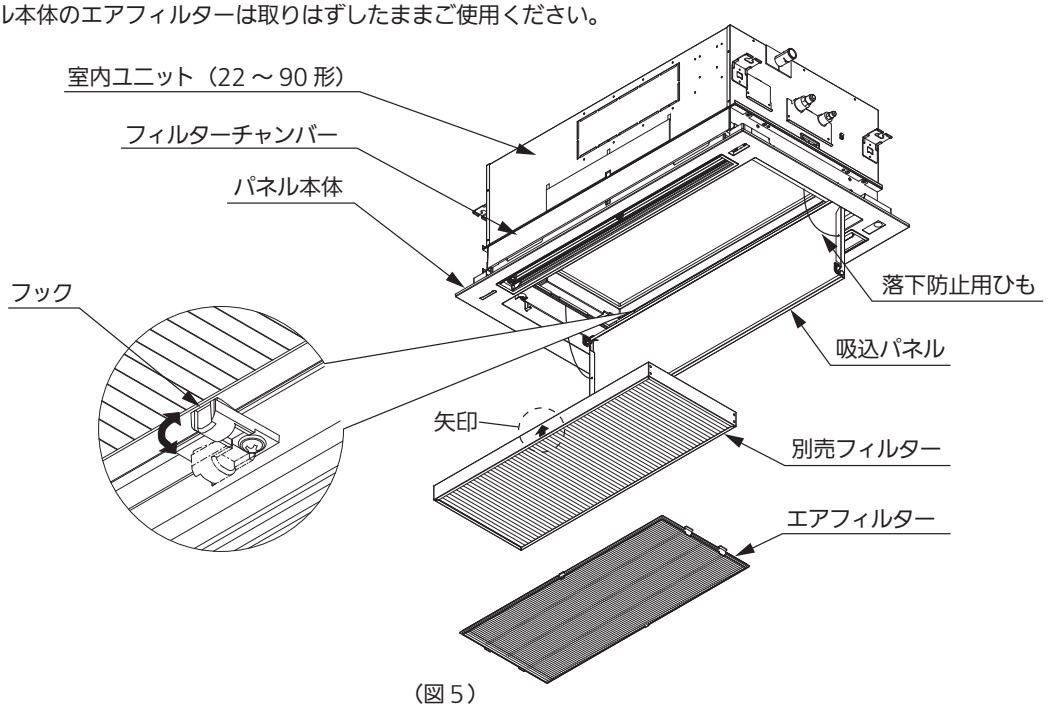
・パネル本体の配線コネクタは、束ねてある結束バンドをカットしてから取り付けを行ってください。（図 4）
・室内ユニット（フィルターチャンバー付き）にパネル本体を取り付けます。
　※取り付けかたは、各パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。
・フィルターチャンバーの切り欠き（図 3）から配線を室内ユニットへと、たるみ、かみこみのないように引き回し、コネクタを接続してください。
　※切り欠きを通した後の引き回しかたは、各パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。
　※各パネルに別売品のワイヤレスリモコン受信部を使用する場合、受信部と操作部の配線の接続についてはワイヤレスリモコンの説明書をご確認ください。
　操作部から室内ユニットへの配線については、フィルターチャンバーの切り欠き（図 3）から配線を室内ユニットへと、たるみ、かみこみのないように引き回しリモコン端子板に接続してください。



（図 4）

③別売フィルター（高性能フィルター・超ロングライフフィルター・ロングライフフィルター）の取り付けかた（図 5）

・パネル本体の吸込パネルを持ち上げながら手前に引いて開きます。
・パネル本体のエアフィルターを取りはずします。
　※取りはずしかたは室内ユニットの取扱説明書を参照してください。
・別売フィルターを、矢印方向（風の流れを示す）を室内ユニットに向けて差し込みます。
・フィルターチャンバーのフックを回転させ、確実に固定します。
　※112 ～ 160 形のフィルターチャンバーには中央に金具があり、別売フィルターは 2 個 1 組で使用します。
・高性能フィルターを使用する場合は、パネル本体のエアフィルターと吸込パネルを元に戻してください。
・超ロングライフフィルター / ロングライフフィルターを使用する場合は、パネル本体の吸込パネルを元に戻してください。
　※パネル本体のエアフィルターは取りはずしたままご使用ください。



（図 5）

④各種設定の変更

・4 ページ「3. 各種設定の変更」に従って、室内コントロール基板（ディップスイッチ）またはワイヤードリモコンの設定を行ってください。
　※高性能フィルターを使用する場合は、「ＤＣファンモータータップの設定変更」を行ってください。
　※超ロングライフフィルター / ロングライフフィルターを使用する場合は、「フィルターサイン点灯時間の設定変更」を行ってください。

●フィルターチャンバー

3. 各種設定の変更

1．DCファンモータータップの設定変更

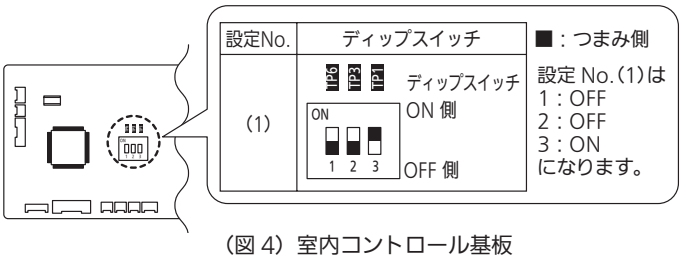
ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表 1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合（2）/（3）ワイヤードリモコンで設定があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定 No.	項目コード **5D/5d** の設定データ	使用用途／別売品名称 ※1
（出荷設定）	0000	標準
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
（1）	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 65%）
		高性能フィルター（比色法 90%）
		しゃ風材・吹出ダクト ※2

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。
※2. しゃ風材と吹出ダクトは、必ず併用してください。

オフィス・店舗用エアコン（PAC）



（図 4）室内コントロール基板

（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってください。

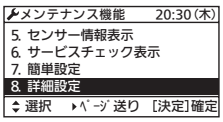
① ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 1 で確認してください。
② 電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 4）
③ 表 1 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

（2）ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT4 シリーズの場合＞

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード 5D の設定データ」を表 1 で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8. 詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニット No を選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表 1 で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニット No を選択後、戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



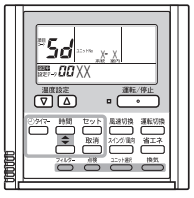


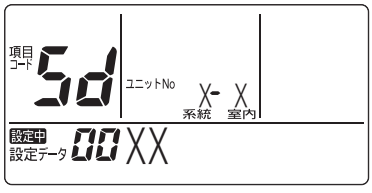


（3）ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT3 の場合＞

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード 5d の設定データ」を表 1 で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

①点検＋セット＋取消ボタンを同時に 4 秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▽／△ボタンで項目コード「5 d」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表 1 のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。





2．フィルターサイン点灯時間の設定変更

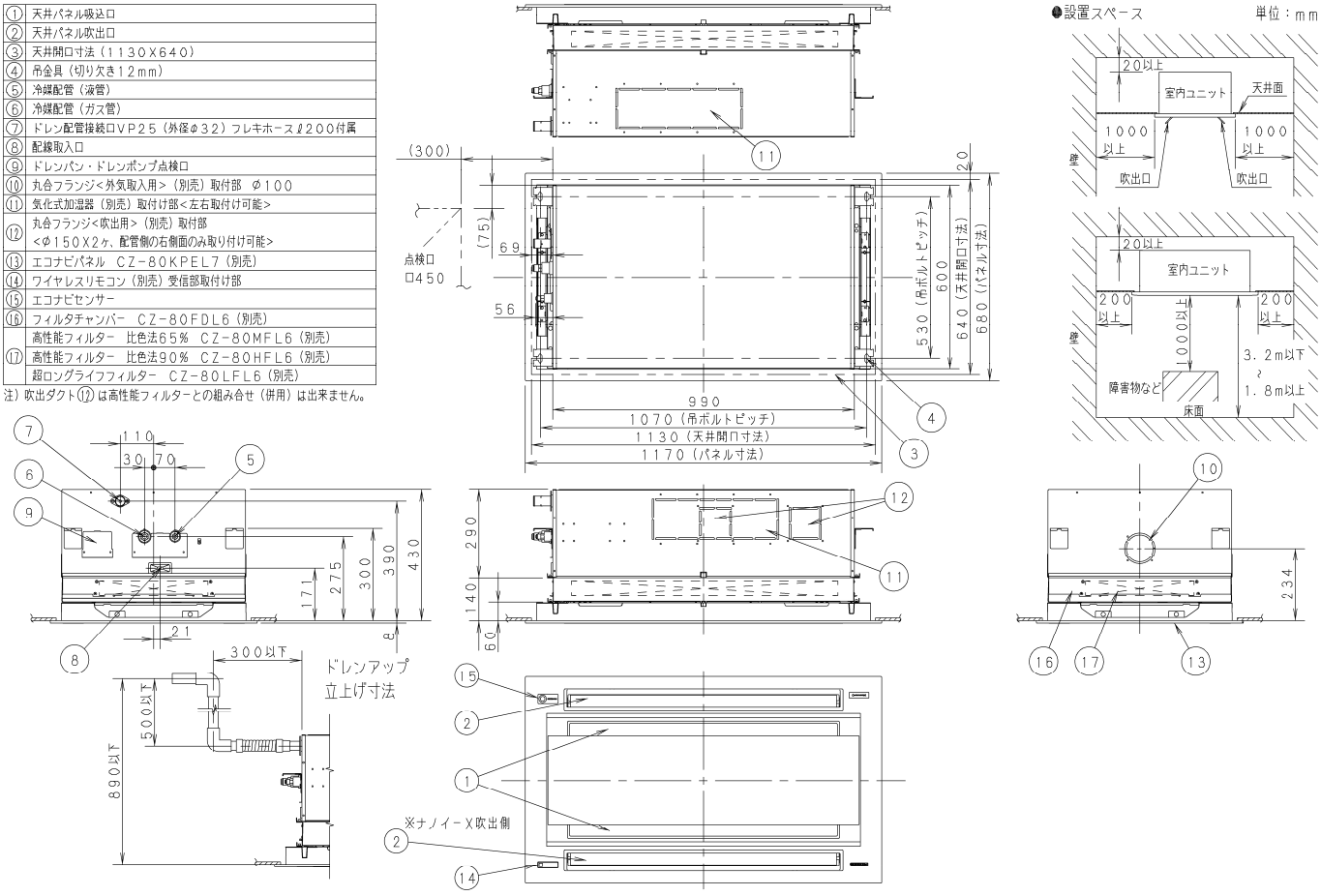
ワイヤードリモコンを使用する場合は、エアフィルターのお手入れ時期になるとリモコン表示部にフィルターサインが表示されます。
フィルターサインを適切に表示するために、超ロングライフフィルター / ロングライフフィルターを使用する場合は、
「項目コード **01** の設定データ」を「0002（出荷設定値）」から「0004」に変更してください。
手順については「1.ＤＣファンモータータップの設定変更（2）/（3）ワイヤードリモコンで設定」を参照してください。

● 高性能フィルター、超ロングライフフィルター、フィルターチャンバー取付図（エコナビパネル使用）

・CZ-80MFL6, CZ-80HFL6, CZ-80LFL6, CZ-80FDL6〔適用機種：50 ～ 71 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）フレキホースℓ200付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	気化式加湿器（別売）取付け部<左右取付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付け部
⑮	エコナビセンサー
⑯	フィルタチャンバー　CZ-80FDL6（別売）
⑰	高性能フィルター　比色法65%　CZ-80MFL6（別売） 高性能フィルター　比色法90%　CZ-80HFL6（別売） 超ロングライフフィルター　CZ-80LFL6（別売）

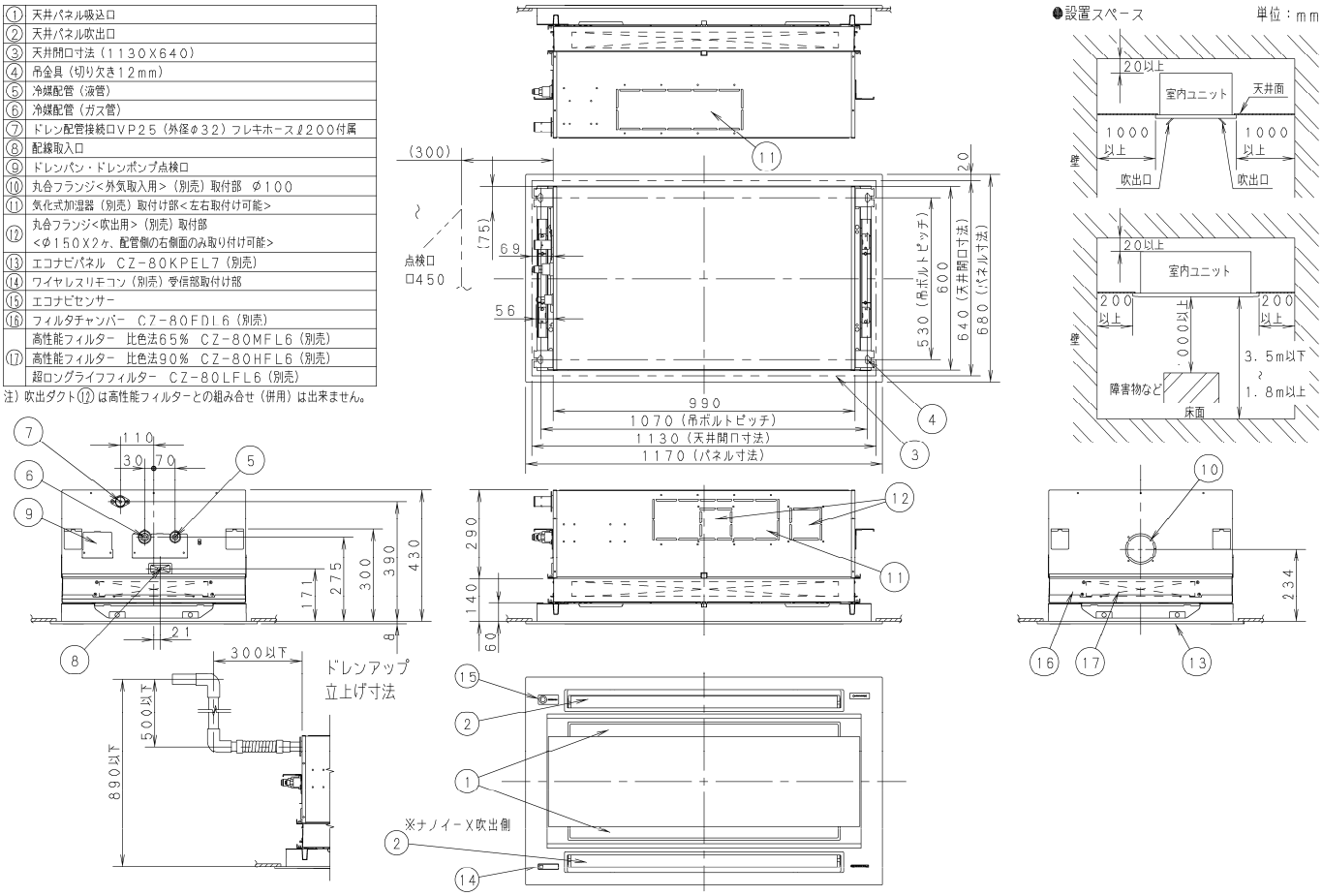
注）吹出ダクト⑫は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。



・CZ-80MFL6, CZ-80HFL6, CZ-80LFL6, CZ-80FDL6〔適用機種：80 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）フレキホースℓ200付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	気化式加湿器（別売）取付け部<左右取付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付け部
⑮	エコナビセンサー
⑯	フィルタチャンバー　CZ-80FDL6（別売）
⑰	高性能フィルター　比色法65%　CZ-80MFL6（別売） 高性能フィルター　比色法90%　CZ-80HFL6（別売） 超ロングライフフィルター　CZ-80LFL6（別売）

注）吹出ダクト⑫は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。

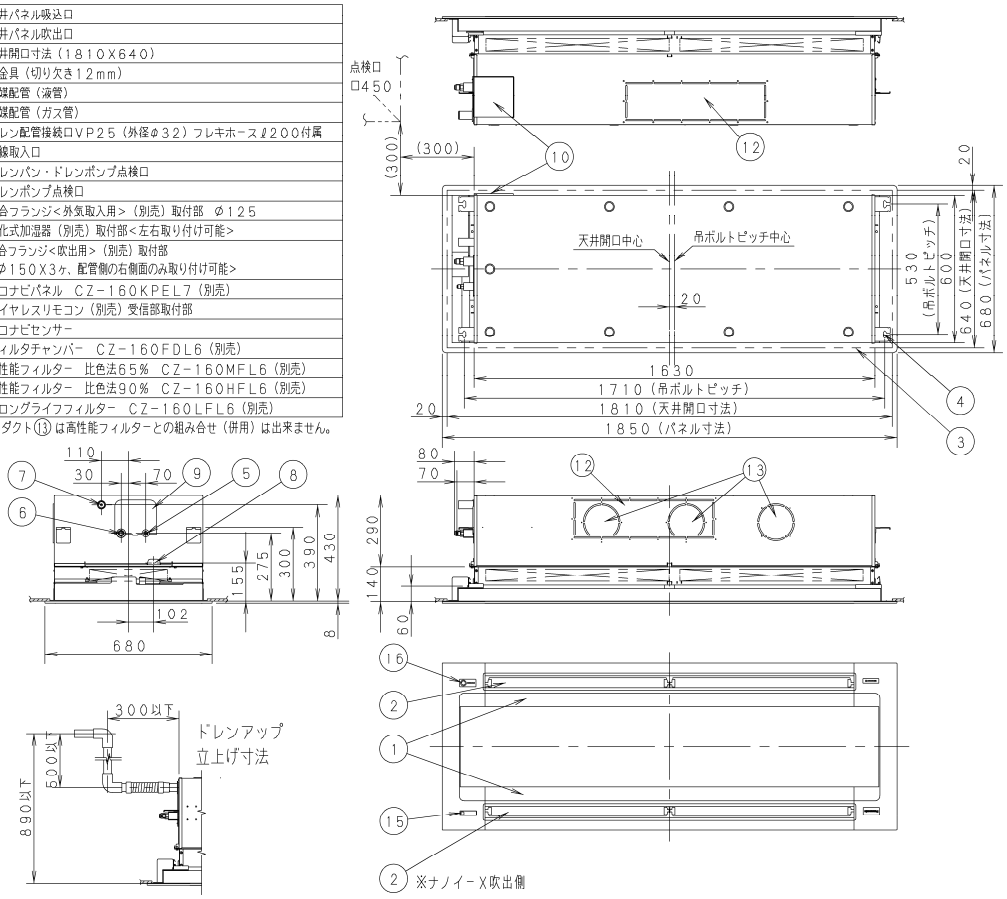


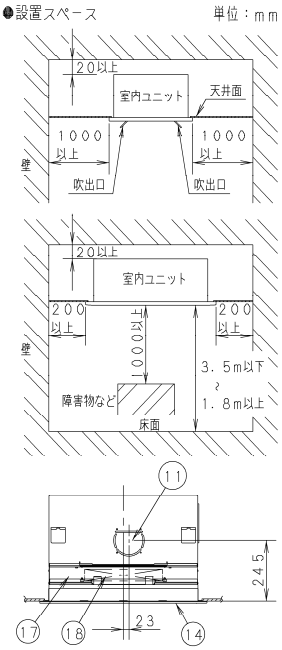
● 高性能フィルター、超ロングライフフィルター、フィルターチャンバー取付図（エコナビパネル使用）

・CZ-160MFL6, CZ-160HFL6, CZ-160LFL6, CZ-160FDL6〔適用機種：112 ～ 160 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（１８１０×６４０）
④	吊金具（切り欠き１２ｍｍ）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口ＶＰ２５（外径φ３２）フレキホース℄２００付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ＜外気取入用＞（別売）取付部　Ø１２５
⑫	気化式加湿器（別売）取付部＜左右取り付け可能＞
⑬	丸合フランジ＜吹出用＞（別売）取付部 ＜φ１５０Ｘ３ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能＞
⑭	エコナビパネル　ＣＺ－１６０ＫＰＥＬ７（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー
⑰	フィルタチャンバー　ＣＺ－１６０ＦＤＬ６（別売）
⑱	高性能フィルター　比色法６５％　ＣＺ－１６０ＭＦＬ６（別売） 高性能フィルター　比色法９０％　ＣＺ－１６０ＨＦＬ６（別売） 超ロングライフフィルター　ＣＺ－１６０ＬＦＬ６（別売）

注）吹出ダクト⑬は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。



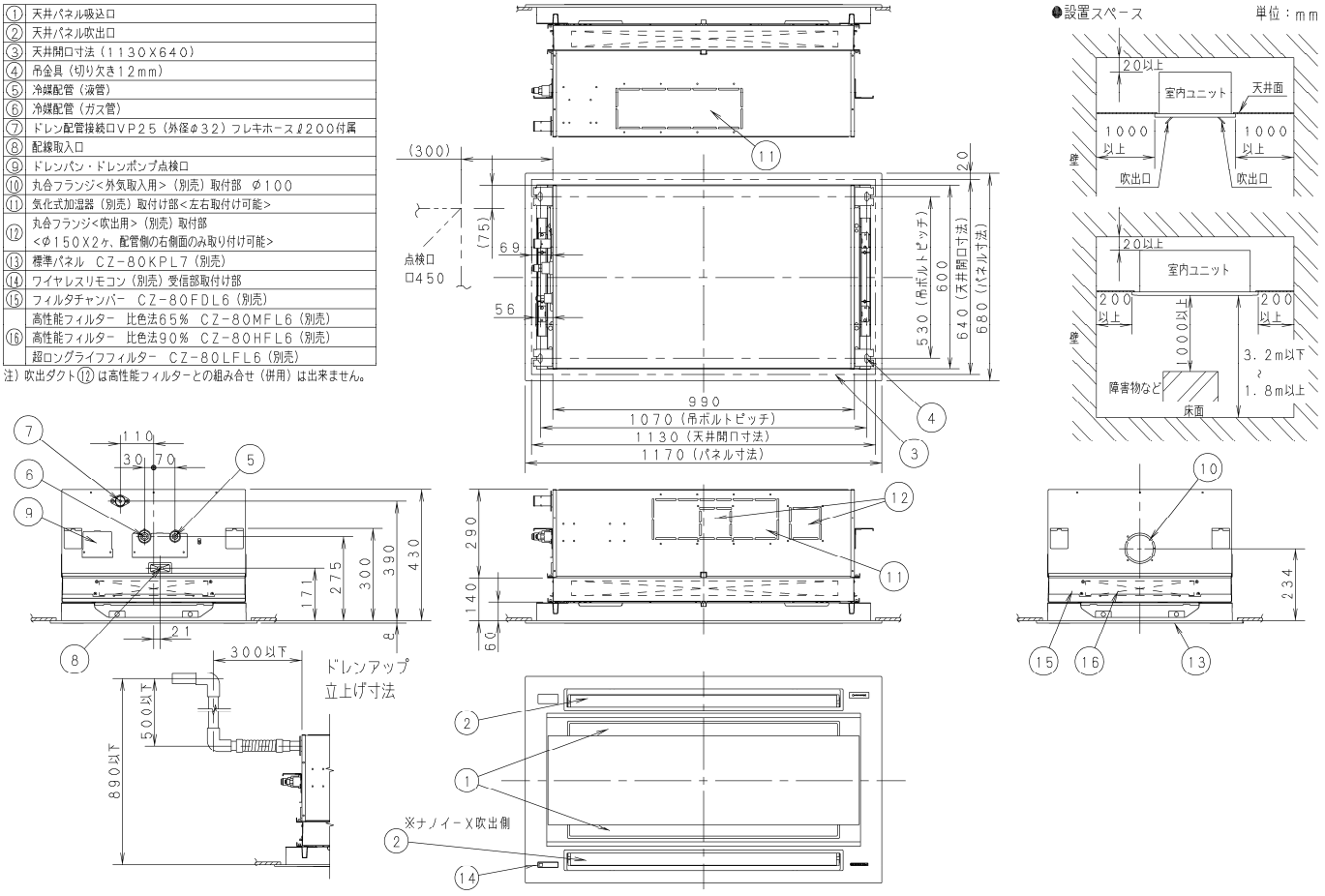


● 高性能フィルター、超ロングライフフィルター、フィルターチャンバー取付図（標準パネル使用）

・CZ-80MFL6, CZ-80HFL6, CZ-80LFL6, CZ-80FDL6〔適用機種：50 ～ 71 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）フレキホースℓ200付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	気化式加湿器（別売）取付け部<左右取付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付け部
⑮	フィルタチャンバー　CZ-80FDL6（別売）
⑯	高性能フィルター　比色法65%　CZ-80MFL6（別売） 高性能フィルター　比色法90%　CZ-80HFL6（別売） 超ロングライフフィルター　CZ-80LFL6（別売）

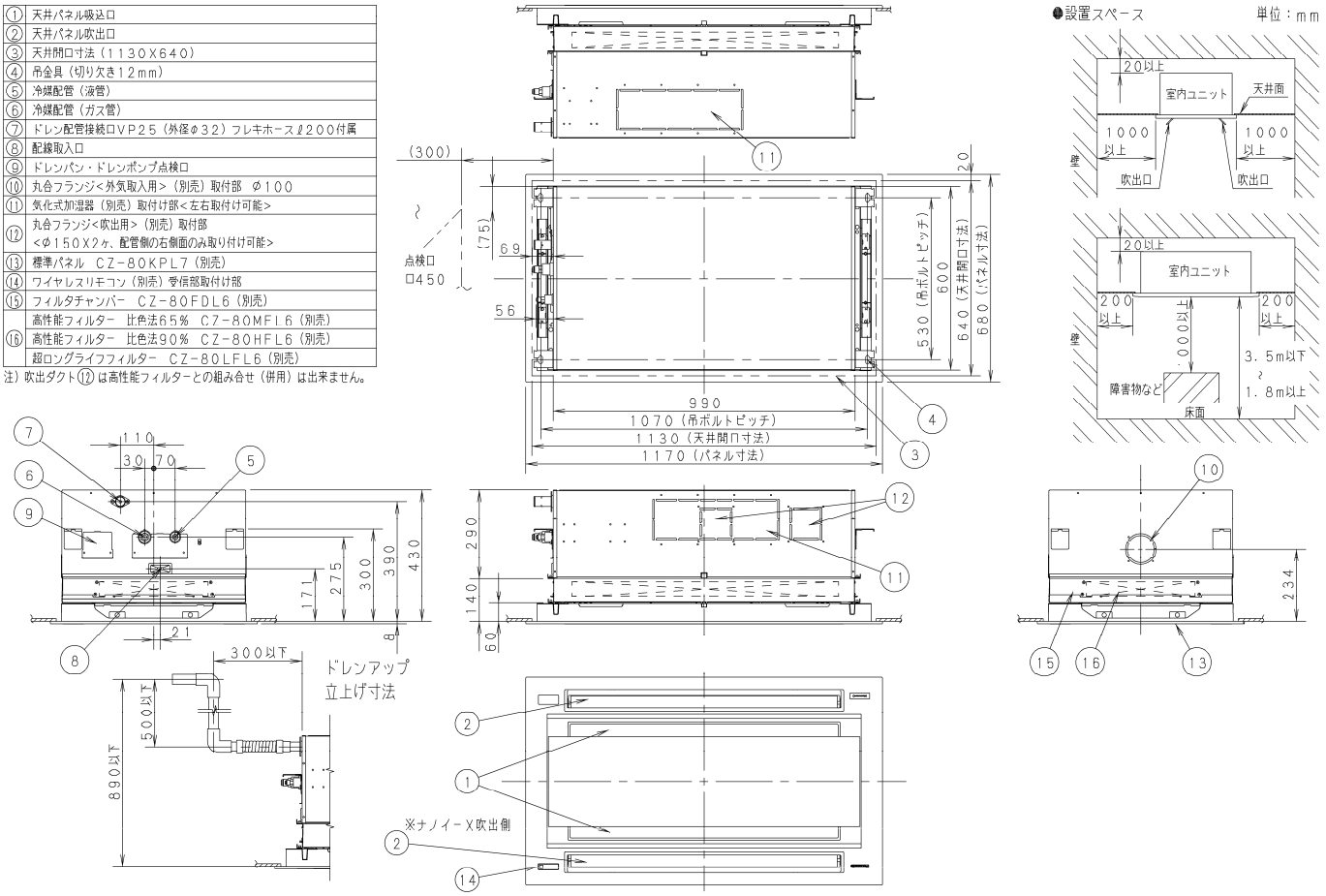
注）吹出ダクト⑫は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。



・CZ-80MFL6, CZ-80HFL6, CZ-80LFL6, CZ-80FDL6〔適用機種：80 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）フレキホースℓ200付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	気化式加湿器（別売）取付け部<左右取付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付け部
⑮	フィルタチャンバー　CZ-80FDL6（別売）
⑯	高性能フィルター　比色法65%　CZ-80MFL6（別売） 高性能フィルター　比色法90%　CZ-80HFL6（別売） 超ロングライフフィルター　CZ-80LFL6（別売）

注）吹出ダクト⑫は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。

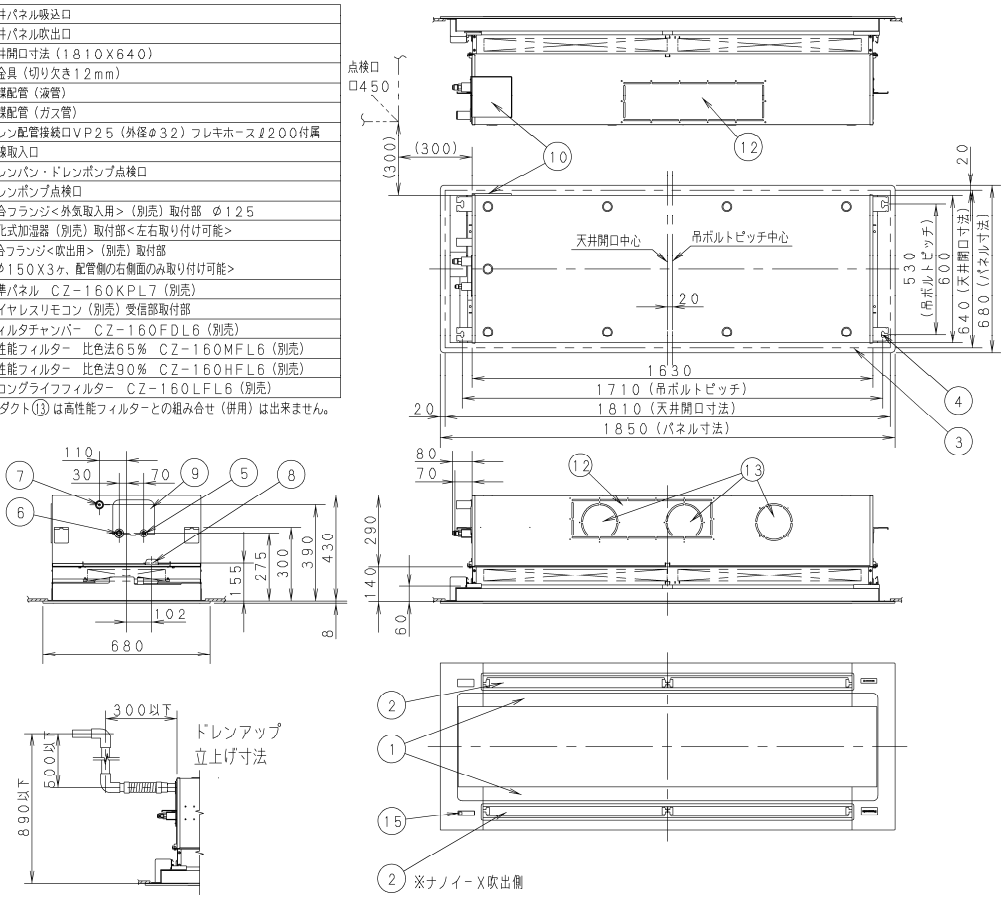


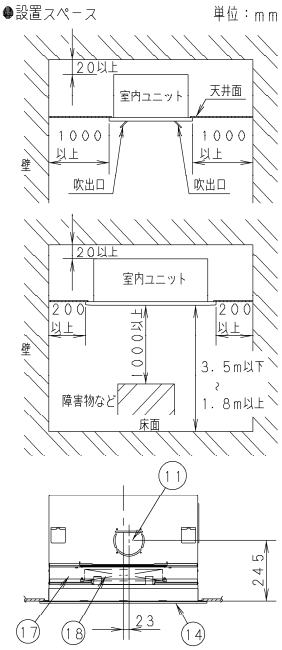
● 高性能フィルター、超ロングライフフィルター、フィルターチャンバー取付図（標準パネル使用）

・CZ-160MFL6, CZ-160HFL6, CZ-160LFL6, CZ-160FDL6〔適用機種：112 ～ 160 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（１８１０×６４０）
④	吊金具（切り欠き１２ｍｍ）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口ＶＰ２５（外径φ３２）フレキホースℓ２００付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø１２５
⑫	気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ１５０Ｘ３ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	標準パネル　ＣＺ－１６０ＫＰＬ７（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	フィルタチャンバー　ＣＺ－１６０ＦＤＬ６（別売）
⑰	高性能フィルター　比色法６５％　ＣＺ－１６０ＭＦＬ６（別売） 高性能フィルター　比色法９０％　ＣＺ－１６０ＨＦＬ６（別売） 超ロングライフフィルター　ＣＺ－１６０ＬＦＬ６（別売）

注）吹出ダクト⑬は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。





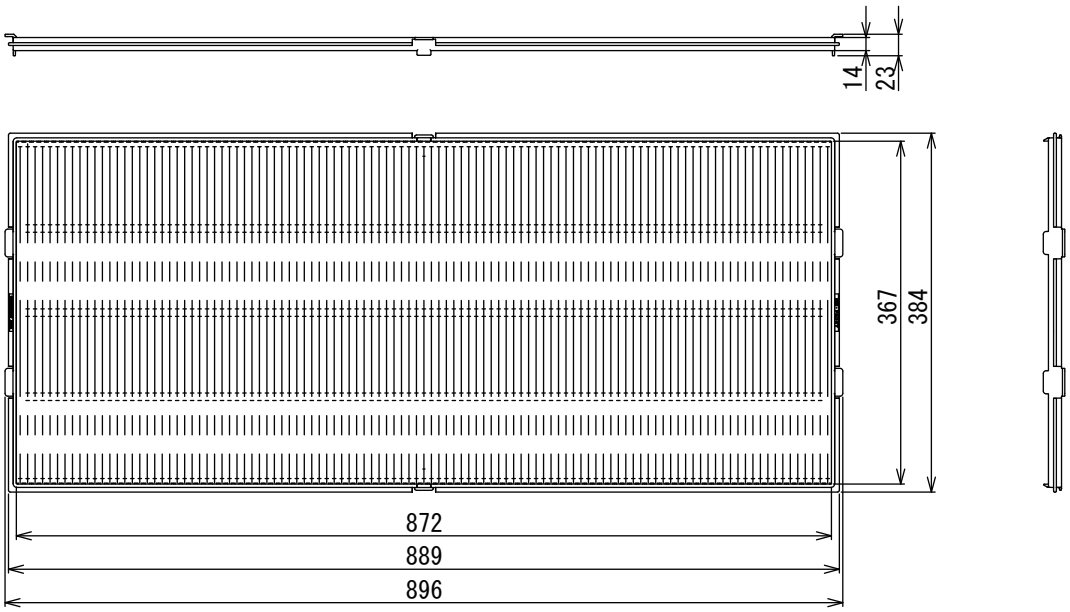
■2 方向天井カセット形　ロングライフフィルター仕様

名称		ロングライフフィルター（別売部品）							
品番		CZ-80SLFL7					CZ-160SLFL7		
適用パネル		CZ-80KP(E)L7					CZ-160KP(E)L7		
適用室内ユニット		CS-P**L7							
		50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形	160形
初期風量※1	m^3/min	14.0	14.0	15.0	15.0	18.0	28.0	31.0	33.0
フィルター寿命※2	時間	2,500							
平均効率		重量法　20%（JIS 15種）							
使用濾材		PPハニカム（防カビ仕様）							
フィルター種類 x 数量		Ax1					Bx2		

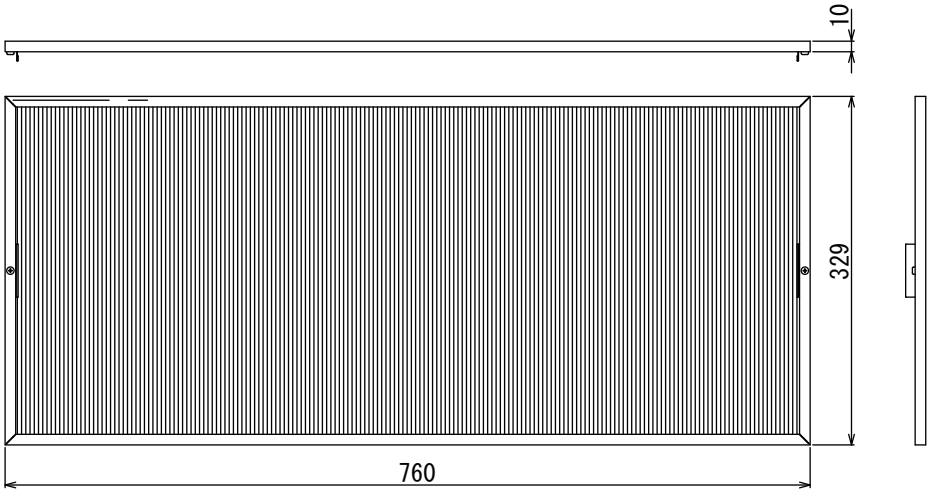
注記
※1　初期風量は急風時の数値となります。
※2　フィルター寿命はフィルター清掃が必要なめやすの時間となります。
　　フィルター清掃のめやすはリモコンへのフィルターサインでお知らせします。

＜外形寸法図＞

A



B



据付工事説明書

ロングライフフィルター

品番　CZ-80SLFL7　CZ-160SLFL7

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-51961
BE1222-10823

1 . 仕様

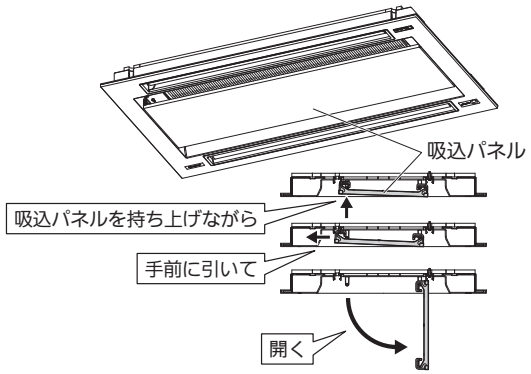
品　名（品　番）	ろ　　材	平均捕集効率 重量法（JIS 15種）
ロングライフフィルター （ CZ-80SLFL7　CZ-160SLFL7 ）	PP ハニカム（防カビ仕様）	2 0%

2 . 交換のしかた

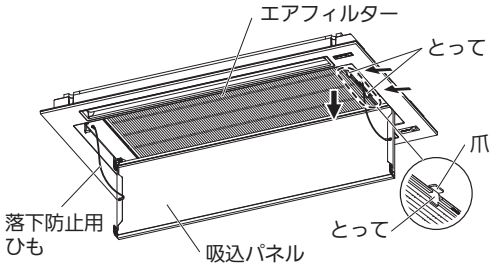
エアフィルターの取りはずしかた

22～90形

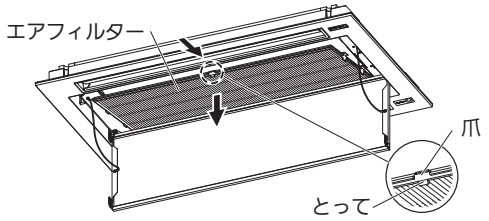
①吸込パネル長辺の片側（どちら側からも可）の端を持ち上げながら手前に引いて、開く。



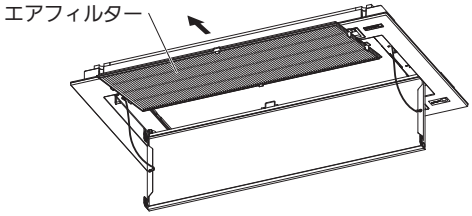
②エアフィルターの短辺のとって（2 つ）を押しフィルター枠をたわめて爪をはずし下方に引く。



③エアフィルターの長辺のとってを押して、フィルター枠をたわめて爪をはずし下方に引く。

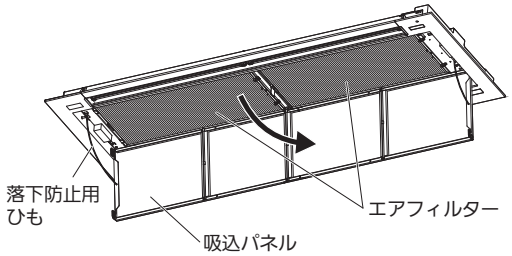


④エアフィルターを手前に引くとはずれます。

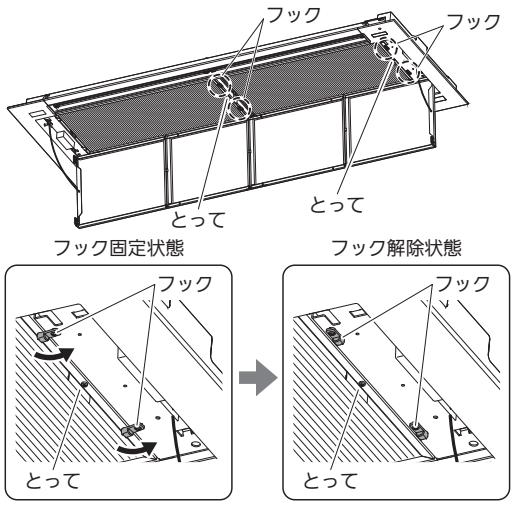


112～160形

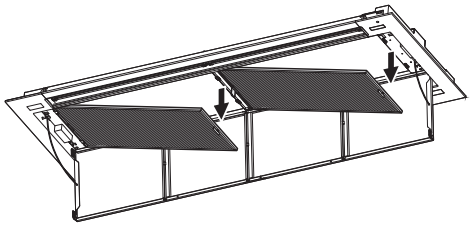
①吸込パネル長辺の片側（どちら側からも可）の端を持ち上げながら手前に引いて、開く。
（吸込パネルの図は左の①参照）



②エアフィルターのとってを持ちながら、フックを回して固定を解除する。（フィルターは 2 枚）



③フックを解除すると、エアフィルターが落ちてくるので支えながらはずす。



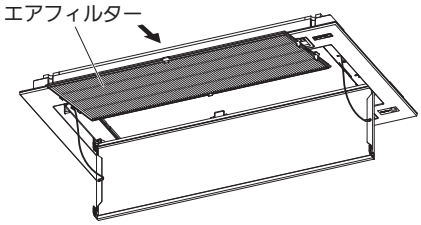
お願い
●お手入れ時に吸込パネルの落下防止用ひもを取りはずさないでください。
（落下によるけがの原因）

2. 交換のしかた（つづき）

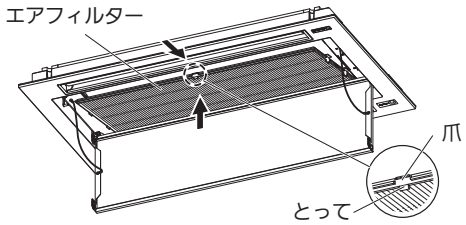
エアフィルターの取りつけかた

22～90形（CZ-80SLFL7）

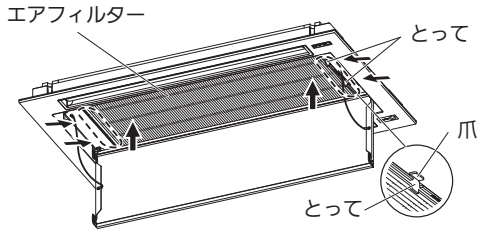
①エアフィルターを差し込みます。



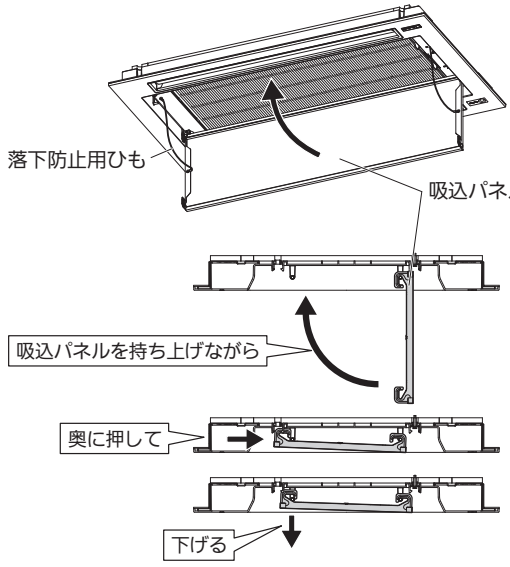
②エアフィルターの長辺のとってを押して、フィルター枠をたわめて爪を押しこんで固定します。



③エアフィルターの短辺のとって（2 つ）を押し
フィルター枠をたわめて爪を押しこんで固定します。

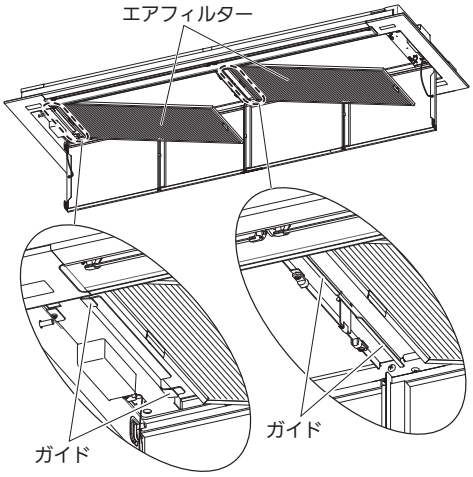


④吸込パネルを持ち上げながら、奥側に押して下げます。この時、落下防止用ひもをはさみこまないようにしてください。

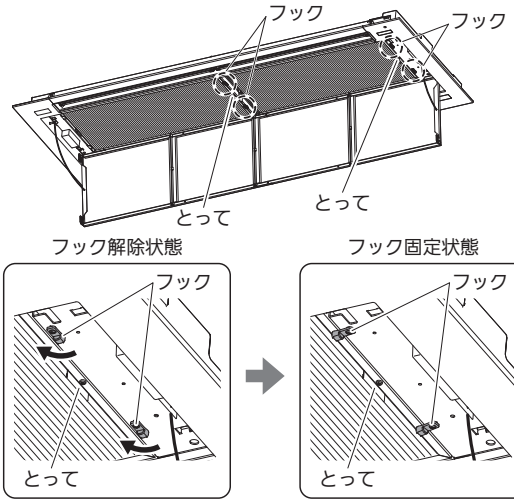


112～160形（CZ-160SLFL7）

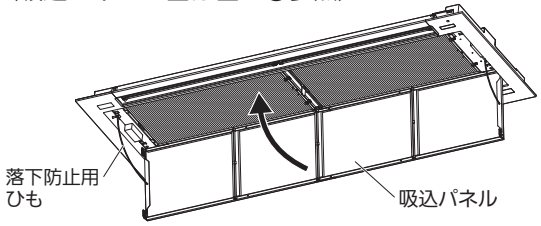
①エアフィルターをガイドに差し込みます。



②エアフィルターのとってを持ちながら、
フックを回して固定します。



③吸込パネルを持ち上げながら、奥側に押して下げます。この時、落下防止用ひもをはさみこまないようにしてください。
（吸込パネルの図は左の④参照）



3. お手入れのしかた

・室内ユニットの取扱説明書をご覧いただき、リモコンにフィルターサインが表示されたときを目安にお手入れをしてください。
（ほこりや油汚れの多い環境では、表示に関係なく、こまめにお手入れをしてください。）
・お手入れは、ほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いしてください。
水洗い後は、直射日光を避けて、よく乾燥させてください。
・破損や破れが生じたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 自然気化式加湿器（CZ-07ASL6,14ASL6）

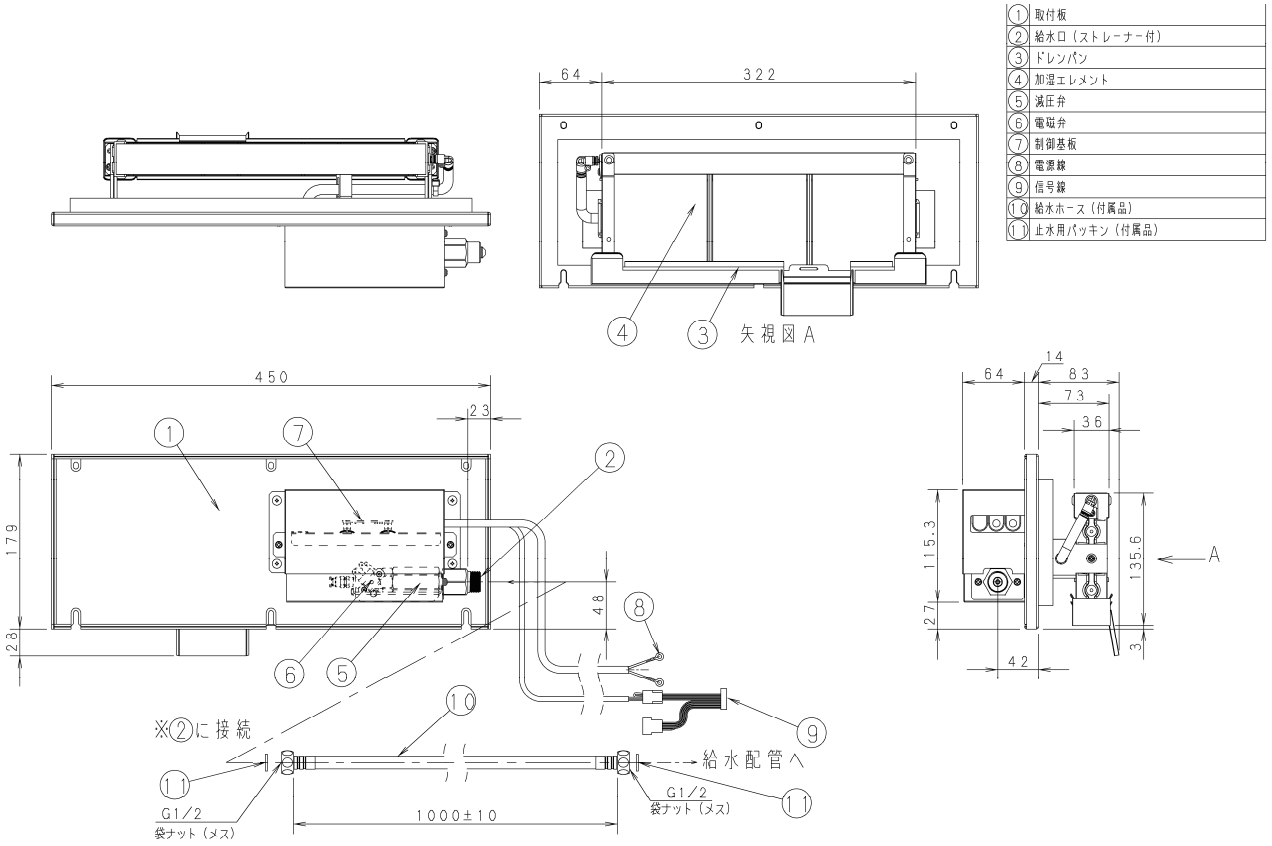
● 仕様

名　称								
品　番	CZ-07ASL6					CZ-14ASL6		
適用室内ユニット	50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形	160形
加湿性能 (kg/h)　※1	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	1.40	1.40	1.40
XEPHY Premium (ハイグレードタイプ) 各クラス最大能力 -有効加湿量(kg/h)　※1	0.54	0.58	0.73	0.73	0.75	1.33	1.47	1.60
XEPHY Eco(高効率タイプ) 各クラス最大能力 -有効加湿量(kg/h)　※1	0.54	0.58	0.69	0.69	0.71	1.28	1.42	1.50
外形寸法　H×W×L(mm)	207×161×450					210×161×608		
質量　水(有)(kg)	3.0					3.6		
質量　水(無)(kg)	2.5					3.0		
電源仕様	単相200V±10%　50/60Hz							
給水圧力	0.049～0.49MPa							
給水圧力(ポンプ使用時)	0.049～0.29MPa							
使用水および水温	上水または上水同等、10～40℃							
周囲温湿度	5～40℃、90%RH以下							

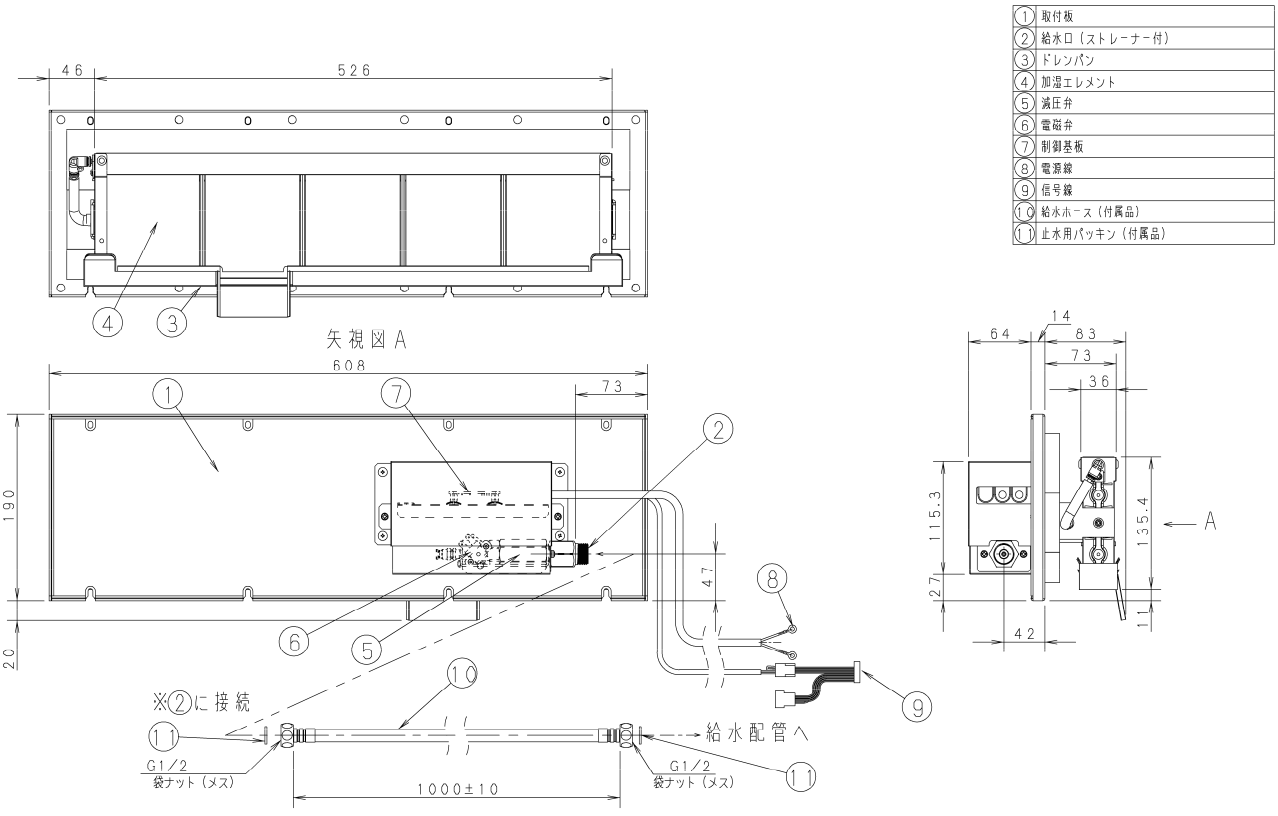
・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。
・加湿性能は、加湿器入口空気温度DB45℃・相対湿度15%・通過風速1.0m/sで、それぞれCZ-07ASL6を80形室内ユニットに
　CZ-14ASL6を160形室内ユニットに組み込んだときの値を示します。
・有効加湿量は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、（XEPHY Premium/XEPHY Ecoシリーズ室外ユニット）に接続し、
　下記の条件で運転した場合の加湿量です。
　　温度条件　室温20℃DB、　外気温7℃DB・6℃WB
　　運転条件　定格風量、フラップ位置F5、最大能力運転時
　　設置条件　配管長　～63形:5m、71形～：7.5m、71形はツイン接続、それ以外はシングル接続時
　風量設定やフラップ角度、ユニット運転状態により加湿量が低くなる場合もあります。
※1 加湿能力±20%

● 外形寸法図

・CZ-07ASL6〔適用機種：50 ～ 80 形〕



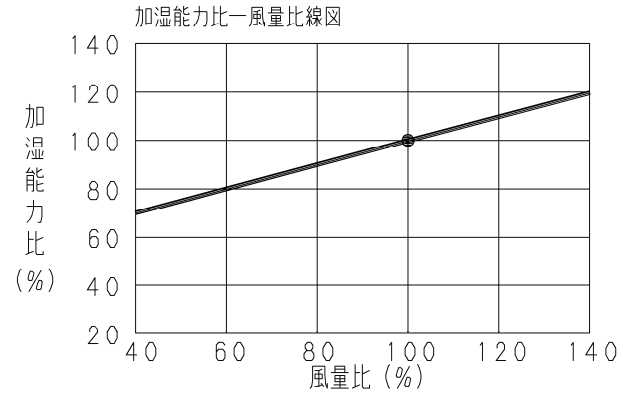
・CZ-14ASL6〔適用機種：112 ～ 160 形〕

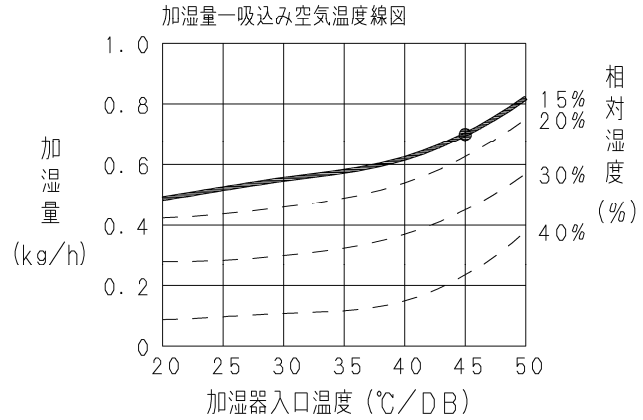


● 性能特性

線図：《 ① 》

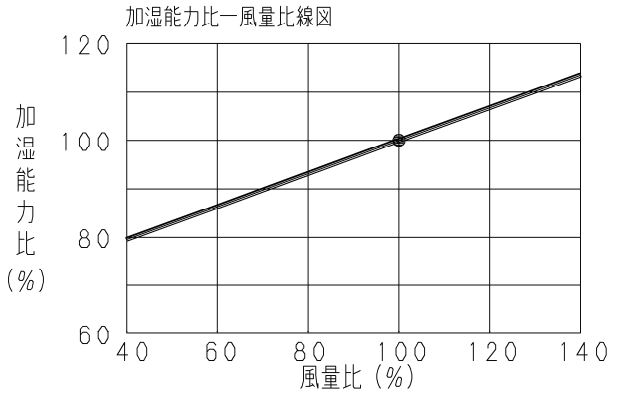
CZ-07ASL6
（基準風量：18m³/min）

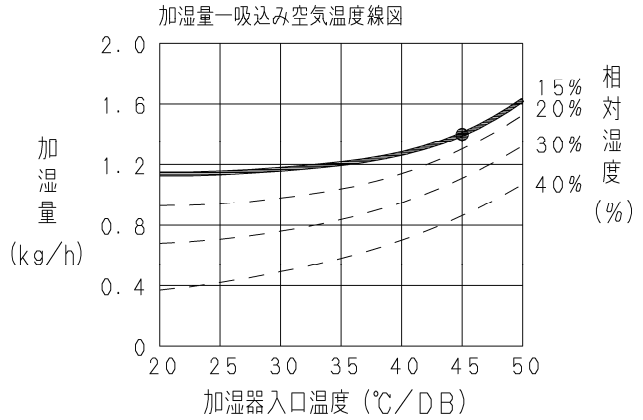




線図：《 ② 》

CZ-14ASL6
（基準風量：33m³/min）





加湿器品番		CZ-07ASL6			CZ-14ASL6		
適用室内ユニット		50,56形	63,71形	80形	112形	140形	160形
室内ユニット風量（急風）	m3/min	14	15	18	28	31	33
加湿性能	kg/h	0.62	0.64	0.70	1.29	1.36	1.40
適用線図No.		①			②		

注記
1）加湿能力条件は、加湿器通過　温湿度がDB45°C，RH15%の場合の値を示します。
2）風量比（%）＝（任意風量／基準風量）X100

●自然気化式加湿器

取扱説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-07ASL6　CZ-14ASL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ ※
（※ 対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● 室内ユニットに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
● ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
● この取扱説明書は室内ユニットに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は
必ず守る
● 必ず販売店またはサービス会社や専門業者に依頼する。
（水漏れや感電・火災の原因）

改造・改修は絶対にしない
禁止
（修理に不備があると、水漏れや感電・火災の原因）
修理は必ず販売店またはサービス会社にご相談ください。

⚠ 注意

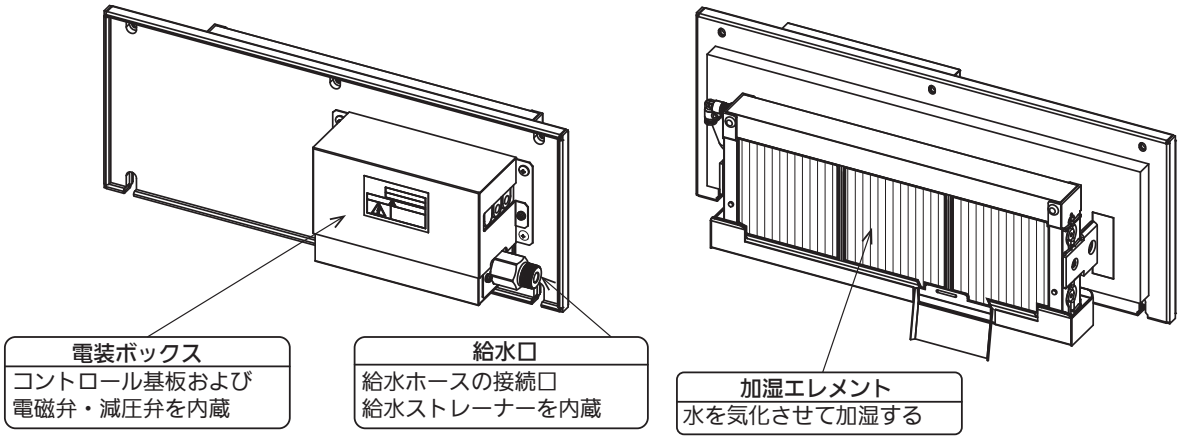
お手入れ時は
必ず守る
● 必ず運転（内部クリーン運転または内部乾燥運転を含む）を停止し、漏電しゃ断器を切る。
（感電や、ファンが高速回転しているためけがの原因）

1. 使用上のお願い

- シーズンオフなど長期間加湿（暖房）運転をしない場合は、給水用のサービスバルブを閉めてください。
- 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水ホース内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。
  そのまま給水すると、汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- シーズンオフ中に加湿エレメントに付着した汚れを取るため、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に必ず保守点検を行ってください。
- 室内ユニットのフィルターが汚れていると、加湿能力や加湿器の寿命に悪影響を与える原因になります。
  フィルターは定期的に点検を行い、汚れている場合は清掃してください。

●自然気化式加湿器

2. 各部の名前



3. 運転のしかた

加湿器は室内ユニットに接続されており、エアコンを暖房運転したときに自動で加湿運転をします。
エアコンの運転操作方法については室内ユニットに付属の取扱説明書に従ってください。

4. 保守点検

保守点検は、お客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

長く安心してご使用していただくために、サービス技術者による定期的な保守点検を行ってください。
その際、この取扱説明書、据付工事説明書をサービス技術者に渡してください。

1．点検周期および保全周期一覧

●本表は主要部品を示します。
また、この保全周期（交換周期）は、製品を長く安心してご使用していただくために、保全行為（交換行為）が生じるまでのめやす期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

●保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありません。保守点検実施の場合でも、予期せぬ故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）	主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）
加湿エレメント	1年	3年 ※1 ※2	電磁弁	1年	20,000時間
給水ストレーナー		―	ヒューズ		―
電子基板類		25,000時間			

※1．建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

※2．加湿エレメント交換の際は、下表を参照して、交換用加湿エレメントをご注文ください。

自然気化式加湿器　品番	CZ-07ASL6	CZ-14ASL6
交換用加湿エレメント　品番	CZ-07AL6	CZ-14AL6
使用数	1個	1個

＊室内ユニットに付属の取扱説明書に記載されている「保証とアフターサービス」もあわせてご覧ください。

2．作業前の準備

●作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。
加湿器の据付説明書もあわせてご覧ください。

●作業にかかる前に必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

●給水ホース・加湿器内の残水が出ることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。

●給水ホースの脱着の際に、パッキンを必ず新しいものに交換してください。
パッキンを交換しないと漏水の原因になります。パッキンは市販の水道用19㎜、厚さ2㎜のノンアスベストパッキンまたは、サービスパーツ（CV6233336015）をご使用ください。

●自然気化式加湿器

3．作業手順

1）加湿エレメントの洗浄（1回/年：シーズンイン時）

①加湿器給水口に巻いてある断熱材をはずしてください。

②袋ナットをダブルスパナでゆるめ、給水ホースを取りはずしてください。（図１）
※給水ホース・加湿器内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどで受けてください。

③加湿器給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずしてください。
※給水ストレーナーを紛失しないようご注意ください。（図１）

④加湿器本体を固定している長ナット（M4×15）とキャップ(CZ-07ASL6:各６個、CZ-14ASL6:各8個）をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器を室内ユニットから取り出してください。（図２）

⑤固定ネジ（２本）とジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。（図３）

⑥加湿エレメントが十分に入る大きさの容器を用意し、容器に水またはぬるま湯を入れたうえで市販の中性洗剤を溶かしてください。（図4）

⑦洗浄液に加湿エレメントを浸し、柔らかいブラシ等で加湿部の表面の汚れを取ってください。（図４）

⑧十分に水洗いをした後、水気を拭き取ったうえで、取りはずしと逆の手順で加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
※下記の２）給水ストレーナーの清掃もあわせて行ってください。

⑨給水ホースを加湿器給水口に接続してください。
※給水ストレーナーを元に戻し、パッキンを新しいものに変えてください。
※袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N･m）
※給水用サービスバルブを開き、水漏れがないことを必ず確認した後、はずした断熱材を加湿器給水口と袋ナットをおおうように巻き付けてビニタイで固定してください。

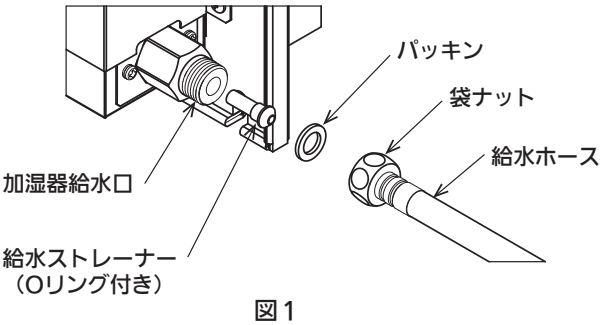


図１

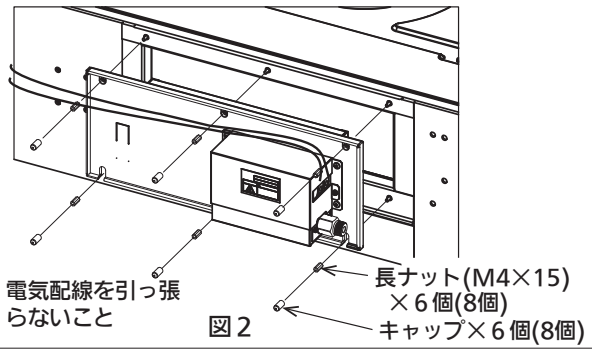


図２

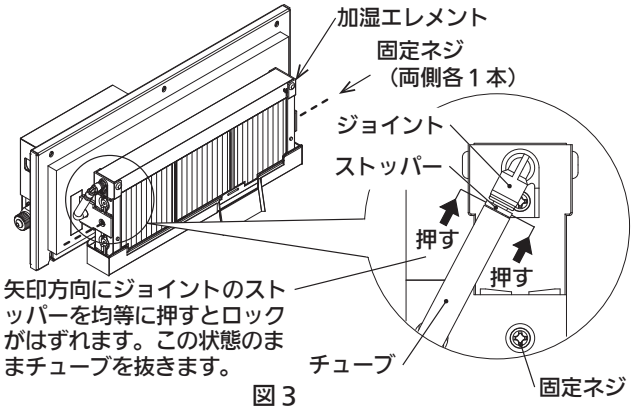


図３

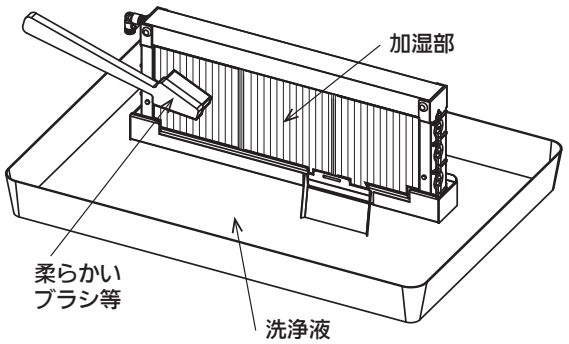


図４

2）給水ストレーナーの清掃（加湿エレメントの洗浄時に行ってください）

①加湿器給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水ストレーナーに付いているOリングをはずさないでください。（図１）

②元通りに取り付けてください。

3）コントロール基板等の電気部品の点検（1回/年）

必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切ってから作業をしてください。

①加湿器電装ボックスのふたをはずして内部を確認し、以下の項目をチェックしてください。
□電子部品に劣化（変色、変形）などが無いか。
□電気配線類に損傷が無いか。
□コントロール基板のコネクタと電気配線の端子の接続にゆるみ、はずれが無いか。
□その他各部に異常が無いか。
※不具合がありましたら、必ず修理もしくは部品交換を行ってください。

②ふたを元通りに取り付けた後、漏電しゃ断器を入れて動作確認を行ってください。

●自然気化式加湿器

5. 故障かな？

下記症状の場合は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
ご自身での修理は絶対にしないでください。

症　状	原　因	処　置
加湿しない または 加湿量不足	給水用サービスバルブが閉まっていませんか？	サービスバルブが開いているか、確認が必要です。 お買い上げの販売店にご連絡ください。
	給水ストレーナーの汚れの可能性があります。	3 ページの加湿エレメント、給水ストレーナーの洗浄が必要です。 お買い上げの販売店にご連絡ください。
	加湿エレメントの汚れの可能性があります。	
	加湿エレメントの交換時期が過ぎていませんか？ （2 ページ「点検周期および保全周期一覧」参照）	お買い上げの販売店にご連絡ください。
においがする	加湿エレメントの汚れの可能性があります。	3 ページの加湿エレメント洗浄が必要です。 お買い上げの販売店にご連絡ください。
	加湿エレメントの交換時期が過ぎていませんか？ （2 ページ「点検周期および保全周期一覧」参照）	お買い上げの販売店にご連絡ください。
	シーズンイン時に給水管内の残水が排水されていない可能性があります。	
音がする	給水時の音です。 給水圧力が仕様値の範囲外の可能性があります。	給水圧力の仕様値の範囲の確認が必要です。 お買い上げの販売店にご連絡ください。
	給水系へのエアー混入の可能性があります。	エアー抜きが必要です。 お買い上げの販売店にご連絡ください。

6. 仕様

品番	CZ-07ASL6	CZ-14ASL6
適合室内ユニット	50～80形（PAC）	112～160形（PAC）
加湿能力（kg/h）※1	0.7±20%	1.4±20%
外形寸法H×W×L（mm）	207×161×450	210×161×608
質量　水（有）（kg）	3.0	3.6
水（無）（kg）	2.5	3.0
電源仕様	単相200Ｖ±10%　50/60Hz	
給水圧力	0.049～0.49 MPa	
給水圧力（ポンプ使用時）	0.049～0.29 MPa	
使用水および水温	上水または上水同等、10～40℃	
周囲温湿度	5～40℃、90%RH以下	

※1：加湿能力は加湿器入口空気温度 DB45℃・相対湿度 15%・通過風速 1.0m/s のときの値を示します。
オフィス・店舗用（PAC）機種では CZ-07ASL6 を 80 形室内ユニットに、CZ-14ASL6 を 160 形室内ユニットに組み込んだときの値を示します。

Printed in Japan
ACXF55-20703
BE0418 - 30722

●自然気化式加湿器

据付工事説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-07ASL6 CZ-14ASL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

●給水配管の施工後、必ず試運転確認を実施し動作確認してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

🚫	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

🚫 ■ 電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱、火災の原因）

■ 配線は途中接続しない
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
（故障や発熱、火災の原因）

■ 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける （感電、火災の原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する（感電、火災のおそれ）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠ 注意

🚫 ■ 0℃以下の室温となり、凍結のおそれがある場所には取り付けない
（破損・水漏れの原因）

❗ ■ 現地調達の給水配管にも必ず断熱処理（現地調達）を行う
（結露による水漏れ、凍結による配管や接続部の破損、水漏れの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

ACXF60-31494
BE0418-40823

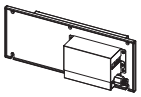
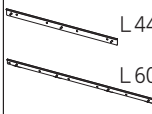
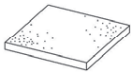
●自然気化式加湿器

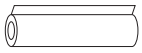
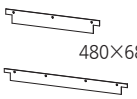
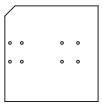
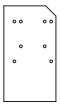
■ 据付前のご注意

・加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。また、加湿器組込み後の輸送はしないでください。
・定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に□４５０以上の点検口を必ず設置してください。
・ヒューミディスタット（現地調達）は、湿度低下で接点がＯＮとなる方式のもので、接点容量200VA以上のものを準備してください。
・供給水質は上水または同等以上の水を使用し、保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ（現地調達）を設けてください。
・現地調達の給水配管には死水排水バルブおよびＹ形ストレーナー（現地調達）を必ず取り付けてください。
・給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地調達）をご使用ください。
・給水圧力は0.049～0.49MPaの範囲内でご使用ください。ただし、ポンプを使用して給水する場合は、0.049～0.29MPaの範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁（現地調達）を設けてください。また、給水配管にトラップがあるとエアーだまりができ異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。

1. 付属品

CZ-07ASL6, CZ-14ASL6

品名	説明書	加湿ユニット	取付プレートA	取付プレートB	給水ホース	パッキン	給水ホース断熱材
形状	・据付工事説明書 ・取扱説明書						
数量（07 形） 数量（14 形）	各1	1 1	1（L440、H26） 2（L600、H21）	1（L440、H45） －	1 1	2 2	2 2

品名	断熱パイプ	ビニタイ	断熱材A	断熱材B	断熱材C	断熱材D	断熱材E
形状							
数量（07 形） 数量（14 形）	1 1	5 5	1（480×68、t3） 2（630×56、t3）	2（133×74、t3） 2（156×31、t3）	1（480×168、t3） －	1（274×281、t3） －	1（153×281、t3） －

品名	取付ネジ	取付ナット	キャップ	結束クランパー	閉端接続子		
形状							
数量（07 形） 数量（14 形）	8 12	6 8	6 8	1 1	2 2		

※本製品には給水配管に使用する給水用サービスバルブ、排水バルブ、Y形ストレーナー、断熱材は付属しておりません。
※ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、＜3.電気配線＞をお読みください。

2. 取り付けかた

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。
※側面を切断する前に、加湿ユニットを合わせて切断位置を確認してください。

1. 室内ユニット側面の加湿ユニット取付面ハーフカット部を金鋸・ニッパー等で板金をていねいに切断し、板金を取り除いてください。
さらに板金のカット面に沿って、室内ユニット内部の断熱材をよく切れるカッターでカットし、角穴を開けてください。
内部に熱交換器がありますので注意して作業してください。（図１）
※加湿ユニットは室内ユニット本体の側面（どちらか一方）に取り付けできます。
※ハーフカット部の切断後は、板金の切り欠き部分は鋭利ですので注意してください。
※断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
※製品が破損するおそれがありますので、断熱材は割り取らず、必ず切り取ってください。
※カッターの刃の出代は 50㎜ 以下にしてください。

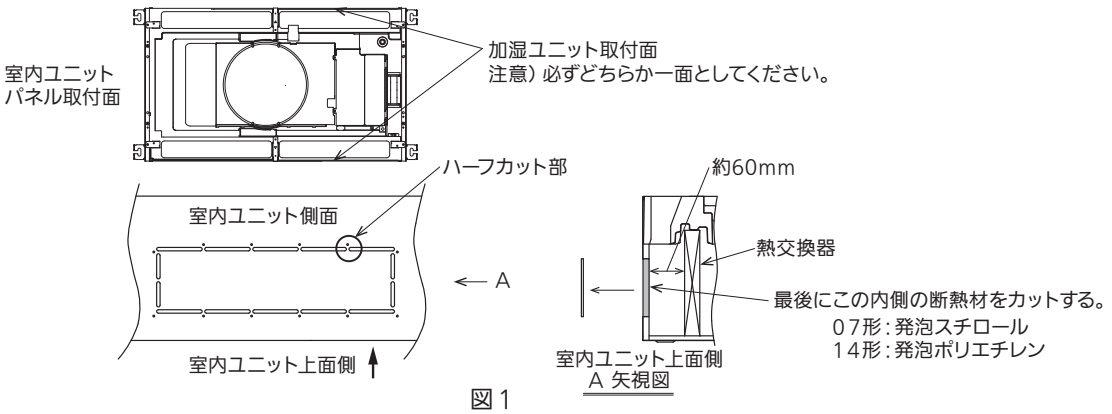


図１

●自然気化式加湿器

2. 取り付けかた（つづき）

2. 1. で開けた室内ユニット側面の角穴部に付属の取付プレートを取り付けます。取り付けには付属の取付ネジを使用します。（図２、３）

０７形

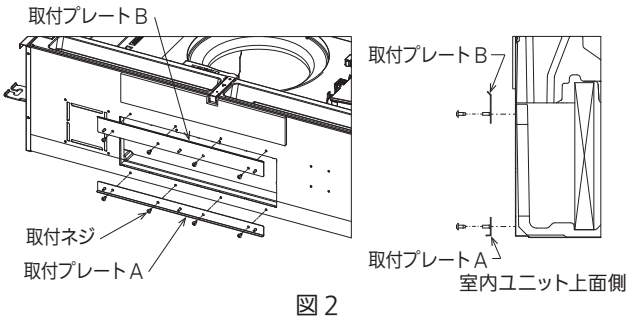


図２

１４形

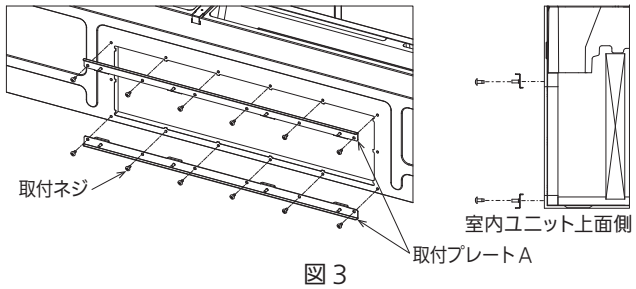


図３

3. 角穴の開口部周囲に付属の断熱材Ａ～Ｃを貼り付けてください。
断熱材Ａ～Ｃの合わせ目に隙間ができないように貼り付けてください。（図4、5）
※隙間があると水漏れの原因になります。

０７形

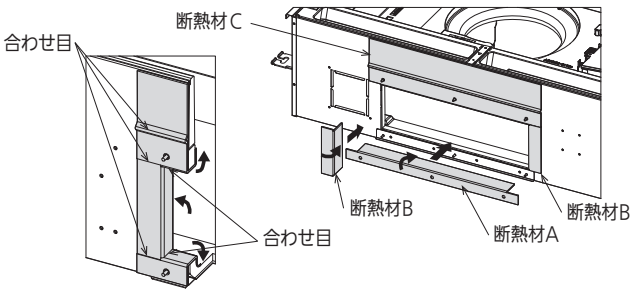
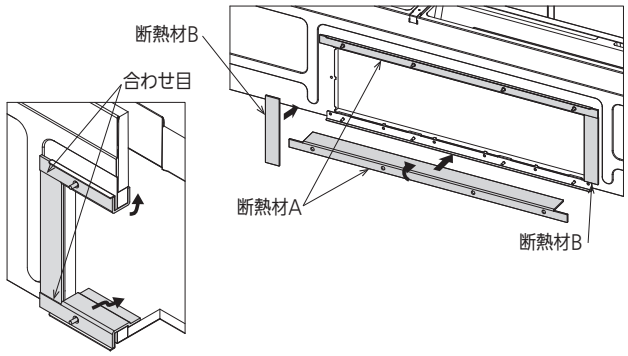


図４

１４形



07形：断熱材Ａ・Ｂは板金と発泡スチロール、
14形：断熱材Ａ・Ｂは板金と発泡ポリエチレンを
覆うように全周密着させながら貼り付けてください。
※隙間があると水漏れの原因となります。

図５

4. ０７形は付属の断熱材Ｄ・Ｅを貼り付けてください。切り欠きが外側になるように注意してください。（図６）
5. 加湿ユニットの緩衝材（各２個）を取り除いてください。（図７）

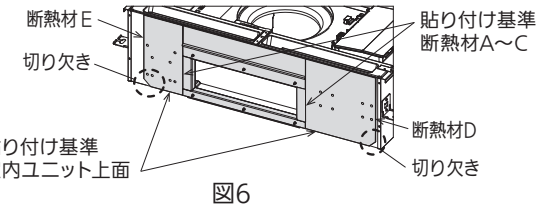


図6

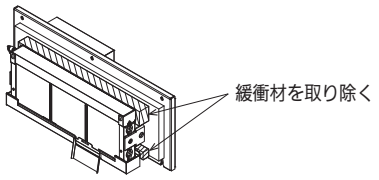


図７

6. スタッドボルトに引っ掛けるように加湿器ユニットを挿入します。このとき、加湿器排水口が室内ユニット本体のドレンパンに入っていることを必ず確認してください。（図８）
7. 付属の取付ナットで加湿ユニットをしっかり固定し、取付ナットに付属のキャップをかぶせてください。（図9）

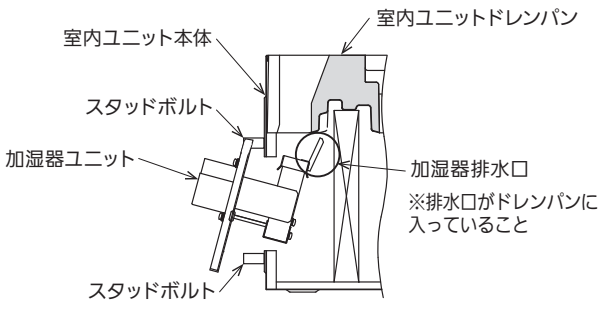


図8

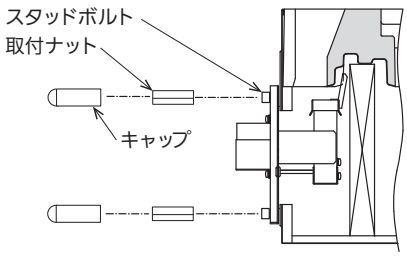


図９

●自然気化式加湿器

3. 電気配線

＜オフィス・店舗用エアコン（PAC）に接続する場合＞

1. 室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。
2. 室内ユニット電装ボックスの蓋を開き、加湿器の電源線を３Ｐ端子板に接続します。（図 10）
   ※電源線は黒を３Ｐ端子板の【R】に、白を【S】に接続してください。
   ※電源線は３本以上の共締めにならないよう、必要に応じてプルボックスを使用して接続を行ってください。
3. 加湿器信号線の中継部をはずして、コネクタを室内コントロール基板の【HU（CN066:4P 白)】コネクタに接続します。（図 10、11）

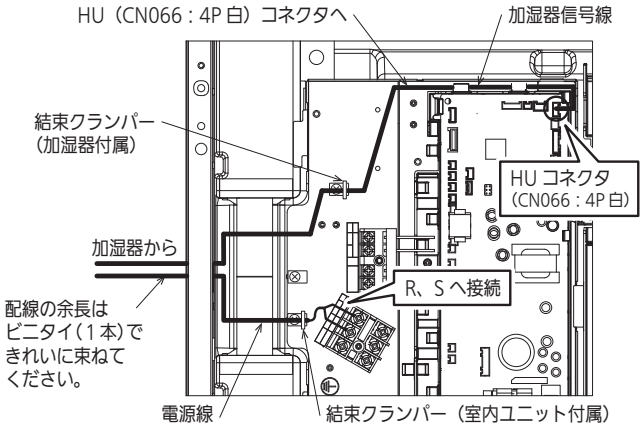


図 10

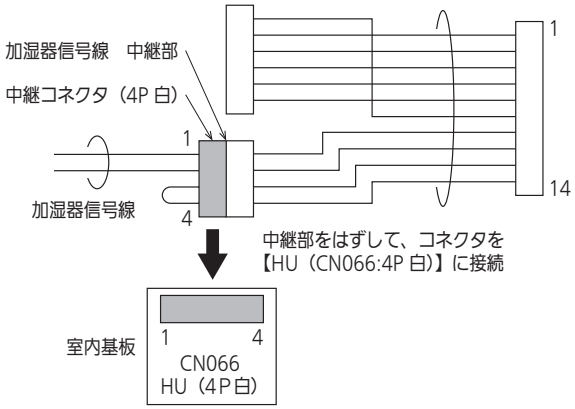


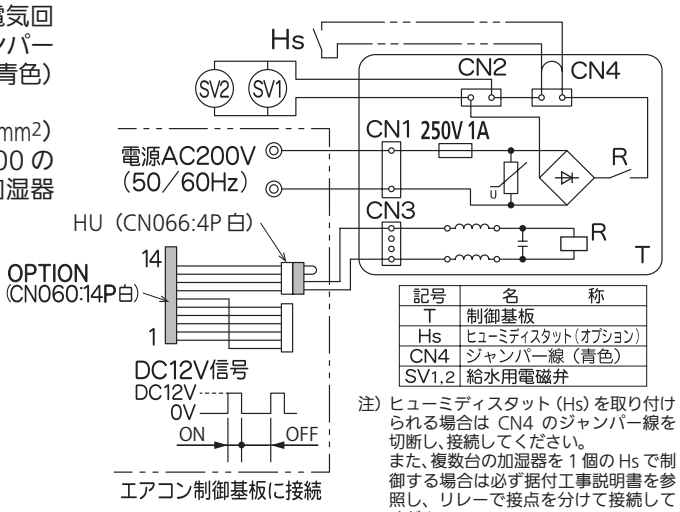
図 11

●自然気化式加湿器

3. 電気配線（つづき）

4. ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器電気回路図(図 14)を参考に加湿器電装ボックス内にあるジャンパー線 CN4（UL1007、AWG22/0.3mm²、線長 210mm、青色）を切断し、付属品の閉端接続子（CE1（CE-100)、日本圧着端子製造（株)、適用電線範囲：0.5 ～ 1.75mm²）でヒューミディスタットの配線 0.3 ～ 1.25mm²（CE-100 の圧着範囲）と接続します。接続部（閉端接続子）は、加湿器電装ボックス内に収納してください。

加湿器電気回路図



記号	名　　称
T	制御基板
Hs	ヒューミディスタット（オプション）
CN4	ジャンパー線（青色）
SV1,2	給水用電磁弁

注）ヒューミディスタット（Hs）を取り付けられる場合は CN4 のジャンパー線を切断し、接続してください。
また、複数台の加湿器を 1 個の Hs で制御する場合は必ず据付工事説明書を参照し、リレーで接点を分けて接続してください。

図14

お願い

ヒューミディスタット（現地調達）を取り付ける場合は、加湿器電装ボックス 1 台毎にヒューミディスタットを 1 個接続を基本としてください。
複数台の加湿器を 1 個のヒューミディスタットで制御する場合は、リレーにて個別に接点を分けて各加湿器に接続してください。(図 15)
接点を分けないと正常な加湿動作が行えず、水漏れの原因になります。

例. 2 台の加湿器を補助リレー接点にて制御する場合

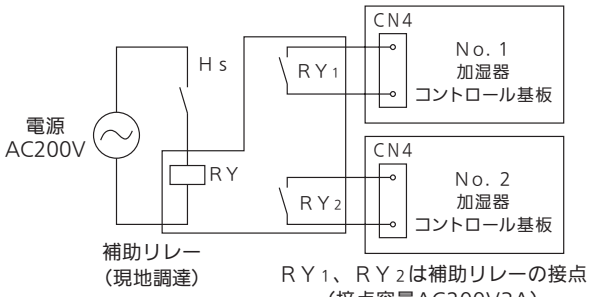


図15

4. 給水配管

⚠ 警告	0℃以下の室温となり、凍結のおそれがある場所には取り付けないでください。（破損、水漏れの原因になります。）

1. 室内ユニットの「据付工事説明書」に従って、加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
2. 現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
3. 給水ホースに断熱パイプを取り付けてから加湿ユニットの給水口に接続してください。（図16）
   ※必ず付属のパッキンを入れて袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N・m）
   ※加湿器給水口に給水ストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
4. 図16を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。

●以下の項目は試運転の後、問題が無いことを確認した上で行ってください。

5. 取り付けを行った全ての給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
6. 水漏れが無ければ、給水ホースの接続部に付属品の給水ホース断熱材を巻きつけてビニタイで固定してください。(図16)
7. 現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。
   十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。

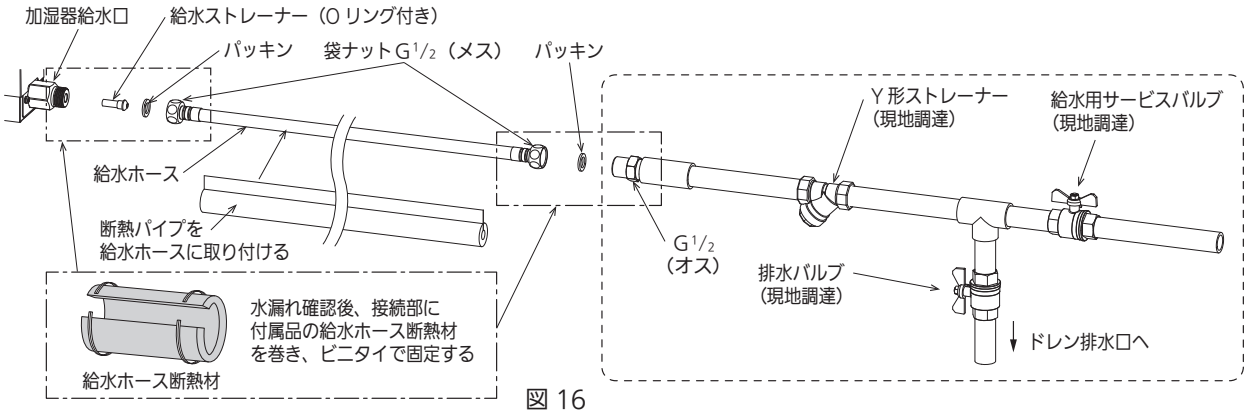


図 16

●自然気化式加湿器

据付工事説明書　試運転編

●給水配管の施工後、試運転確認を実施し、動作確認してください。
●室内ユニットに付属の「取扱説明書」とワイヤードリモコンに付属の「取扱説明書」もあわせてご覧ください。

1.動作確認方法

1. 漏電しゃ断器を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
2. リモコンの運転 / 停止ボタンを押し空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
   ※通常、加湿器への給水は暖房運転時に行われますが、冷房シーズン（暖房運転できないとき）や、暖房運転時にサーモオンになりにくいときは、ワイヤードリモコンから下記（2. 室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定）にて加湿動作を変更し、送風運転にて動作確認してください。
3. 加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、加湿エレメントに給水して加湿します。加湿エレメントから流出した水は、室内ユニットのドレンパンに入り、室内ユニットのドレン配管から排出されます。
   ※給水ホース、加湿器の給水口（継手）、加湿器本体の電装ボックス周り、室内ユニットの吹出口、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。
   ※30 分程度運転を続け、室内ユニットのドレン排水管から排水されているか確認してください。
4. 正常な運転を確認したら、運転 / 停止ボタンを押し運転を停止してください。

※ ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせます。設定を変化させて、給水用電磁弁が正常に加湿制御していることを確認してください。
※ 試運転時、加湿器から「ビーン」という異音が発生した場合に、給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアーのかみ込みが考えられます。この場合、いったん給水配管の接続をはずしてエアー抜きおよび加湿器給水口のストレーナーの清掃を実施してください。ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアーのかみ込みが考えられます。給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げて使用してください。

2.室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定

項目コード09の設定データ変更により、加湿動作を変更してください。
（リモコン操作方法は次ページ以降を参照）

設定表

項目コード	設定データ	加湿動作
09	0000	暖房サーモオン時に加湿する（出荷設定）
	0001	送風時に加湿する

⚠ 注意	ユニットが運転を停止した状態で設定データの変更を行ってください。 設定中はリモコンで選択されている室内ユニットのファンが回転します。

●自然気化式加湿器

＜CZ-10RT4 シリーズの場合＞

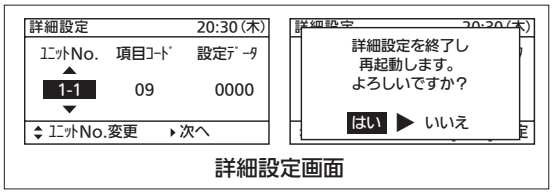
メンテナンス機能画面の表示

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▲ ／ ▼ ボタンで選択、◄ ／ ► ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。



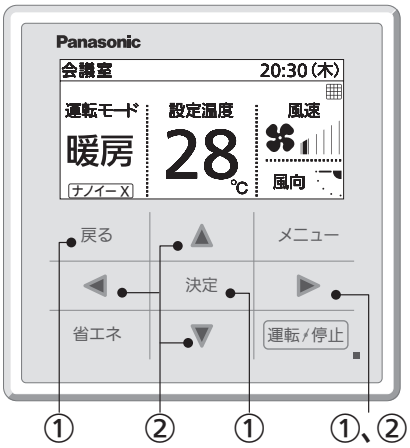
メンテナンス機能画面



詳細設定画面

詳細設定方法（ユニットが停止中に行ってください。）

ワイヤードリモコン



③ ▲ ／ ▼ ボタンで『8. 詳細設定』を選択し、決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。

④ ◄ ／ ► ボタンでユニット No. ／項目コード／設定データの選択を切り替えてください。

【加湿動作の設定】

⑤ ▲ ／ ▼ ボタンでユニット No.，項目コード，設定データを変更します。

⑥ ユニット No. を変更して、送風時加湿動作を設定するユニットを選択してください。

⑦ 項目コードを「09」に、設定データを「0001」に変更し、決定 ボタンを押してください。

⑧ 続けて別のユニットを設定する場合は、ユニット No. を変更し、⑦を実施してください。

⑨ 戻る ボタンを押し、再起動：“はい” を選択し、決定 ボタンを押してください。

⑩ 加湿器動作の確認後、①～⑨と同一の手順で項目コード「09」の設定データを「0001」から「0000」に戻してください。

⚠注意	試運転後は、必ず項目コード09の設定データを、出荷設定（0000）に戻してください。 設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや水漏れの原因になります。

＜CZ-10RT3 の場合＞

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを、同時に 4 秒間以上押します。

② ユニット選択 ボタンを押すごとに、「ユニット No」を順次表示します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
（リモコンの液品部に、設定中 と「ユニット No」「項目コード」詳細データが点滅表示されます。）

③ 温度設定 ▽ △ ボタンで項目コードを「09」に指定します。

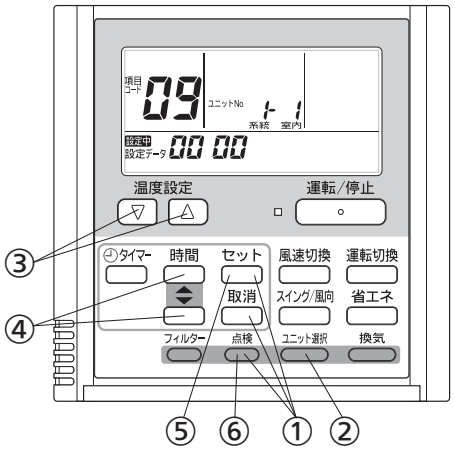
④ 時間の ▲ ▼ ボタンで設定データを「0000（出荷設定）」→「0001」へ変更します。

⑤ セット ボタンを押します。
（表示が点滅から点灯に変われば OK）
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑥ 点検 ボタンを押します。（通常の停止状態になります）

⑦ 加湿器動作の確認後①～⑥と同一の手順で「項目コード」を「09」に指定して、設定データを「0000」に戻してください。

ワイヤードリモコン

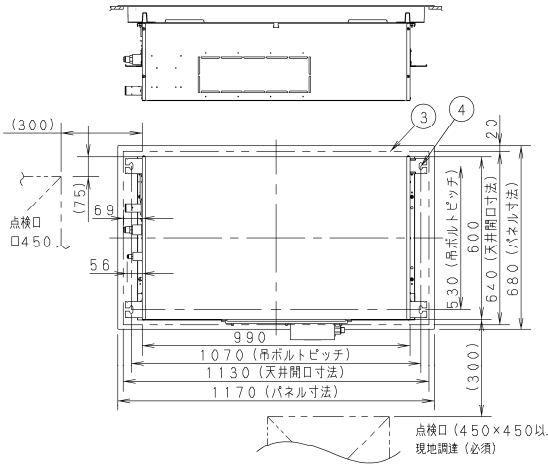


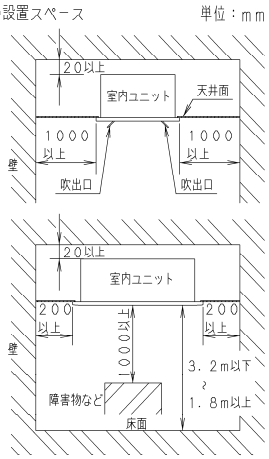
⚠注意	試運転後は、必ず項目コード09の設定データを、出荷設定（0000）に戻してください。 設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや水漏れの原因になります。

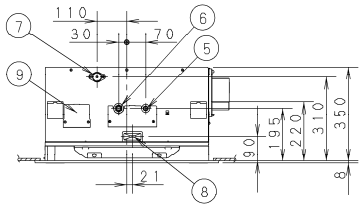
● 自然気化式加湿器取付図（エコナビパネル使用）

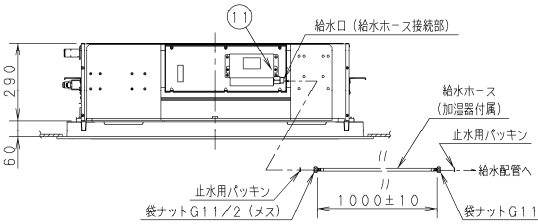
・CZ-07ASL6(1)〔適用機種：50 ～ 71 形〕

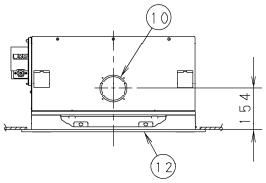
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑬	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑭	エコナビセンサー

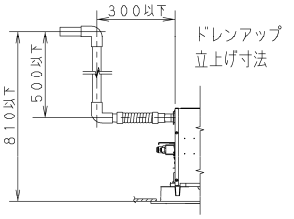


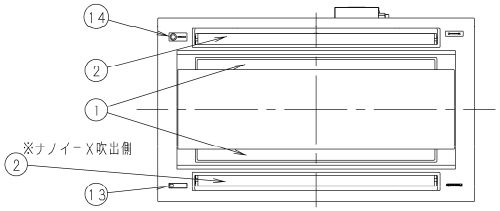






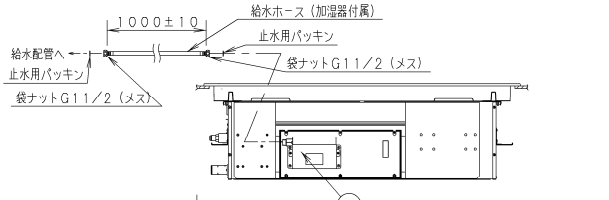


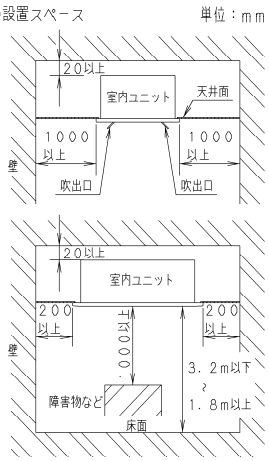


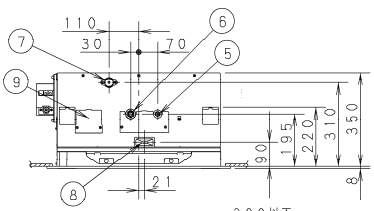


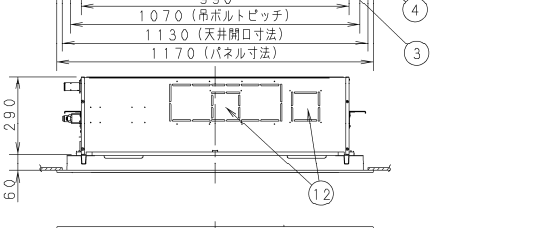
・CZ-07ASL6(2)〔適用機種：50 ～ 71 形〕

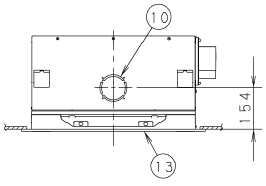
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

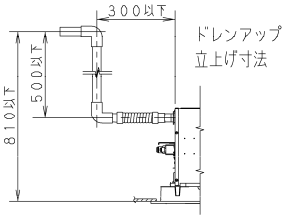


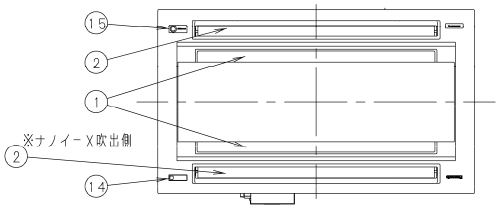








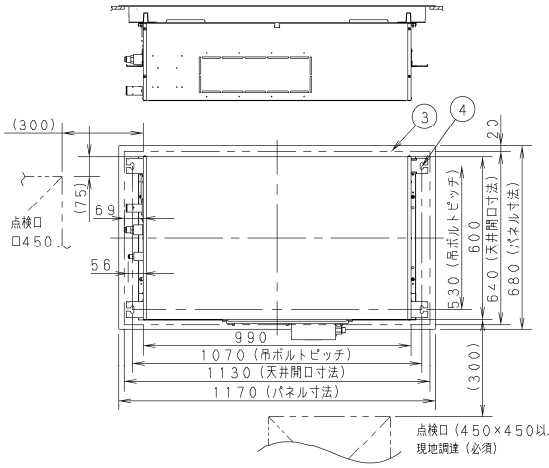


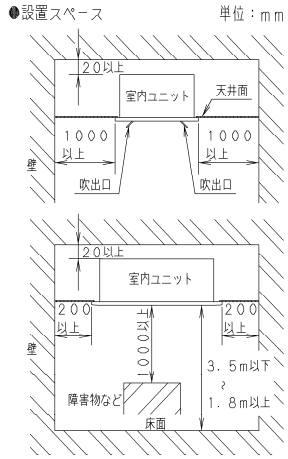


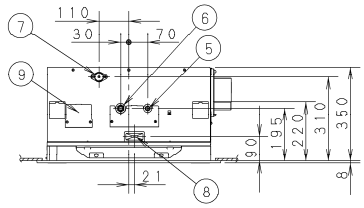
● 自然気化式加湿器取付図（エコナビパネル使用）

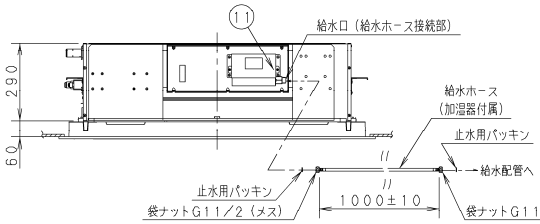
・CZ-07ASL6(1)〔適用機種：80 形〕

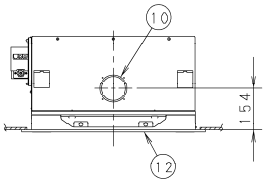
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑬	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑭	エコナビセンサー

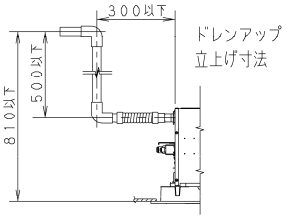


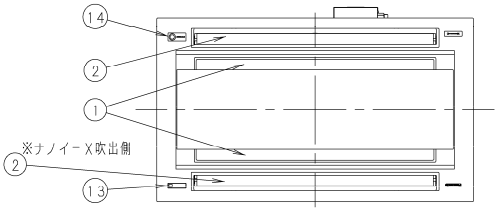






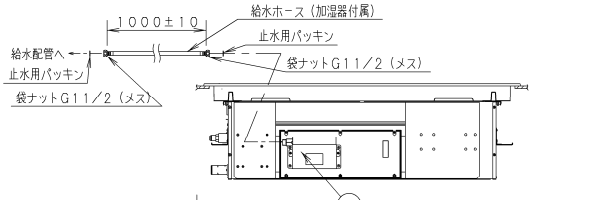


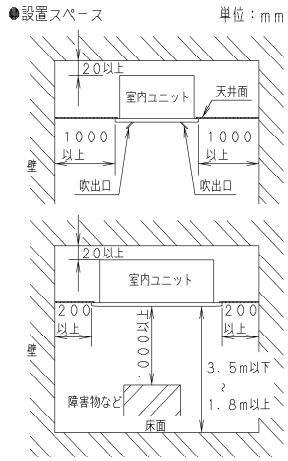


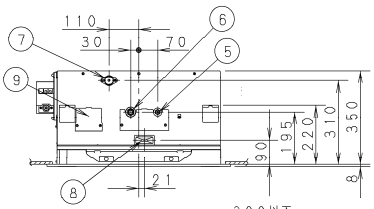


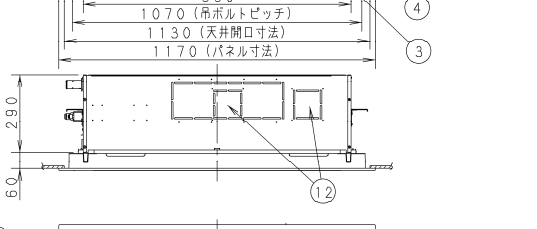
・CZ-07ASL6(2)〔適用機種：80 形〕

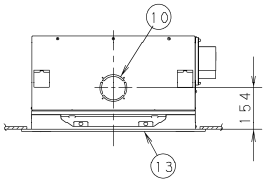
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<ø150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

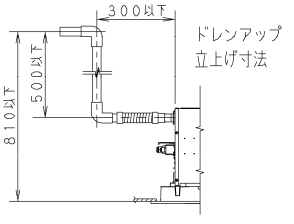


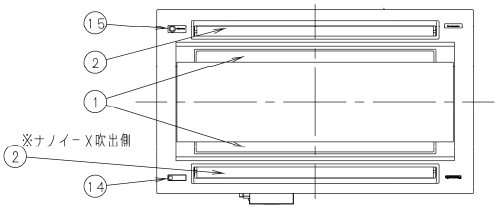








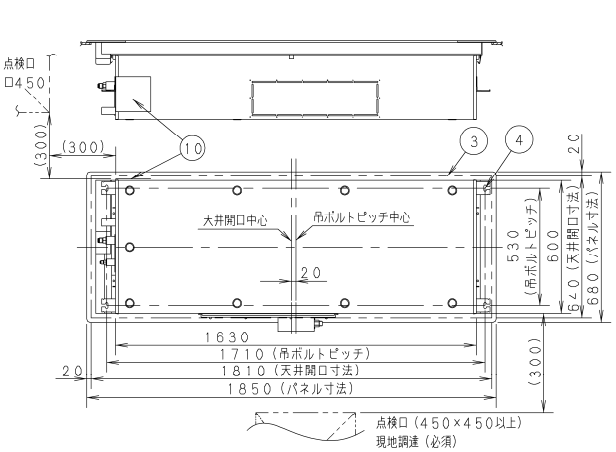


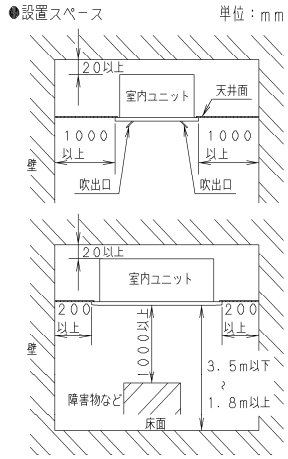


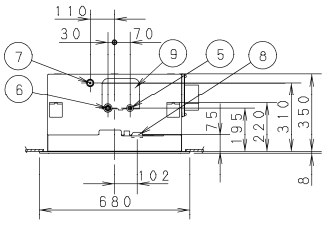
● 自然気化式加湿器取付図（エコナビパネル使用）

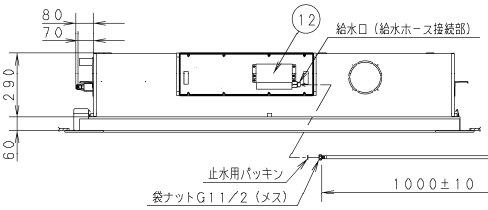
・CZ-14ASL6(1)〔適用機種：112 ～ 160 形〕

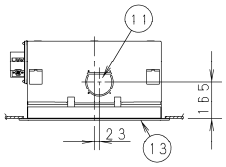
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø125
⑫	自然気化式加湿器　CZ-14ASL6（別売）
⑬	エコナビパネル　CZ-160KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

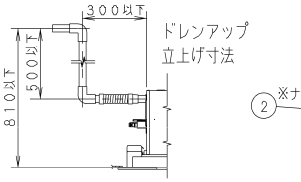


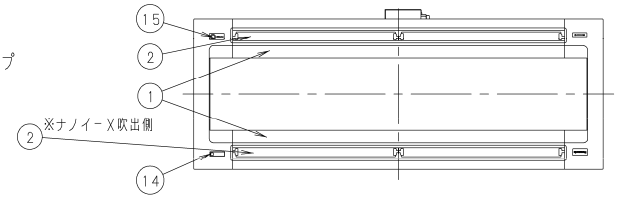






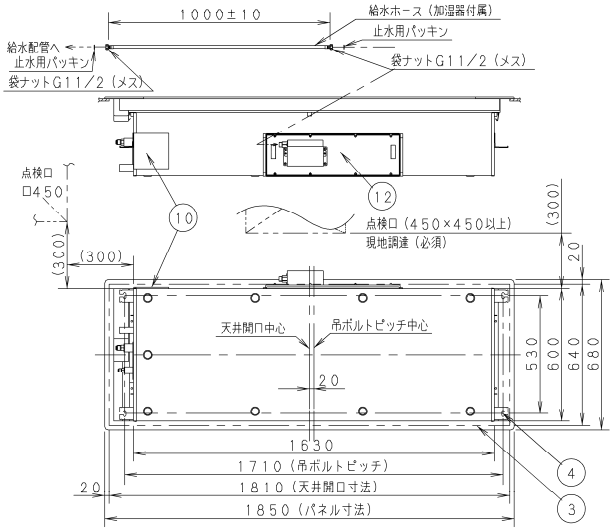


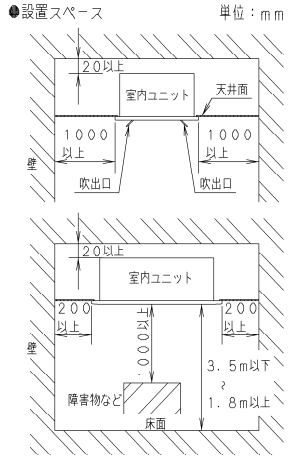


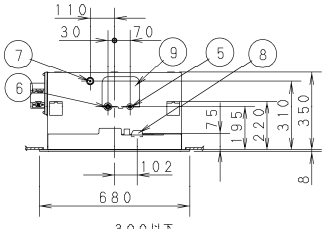


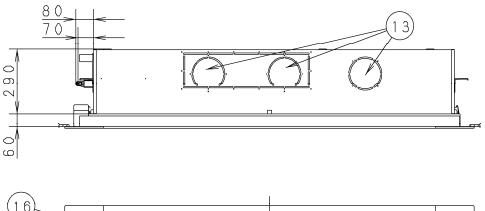
・CZ-14ASL6(1)〔適用機種：112 ～ 60 形〕

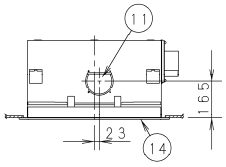
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø125
⑫	自然気化式加湿器　CZ-14ASL6（別売）
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <Φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	エコナビパネル　CZ-160KPEL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー

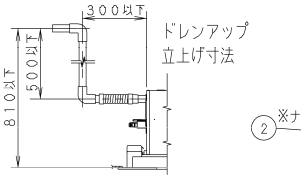


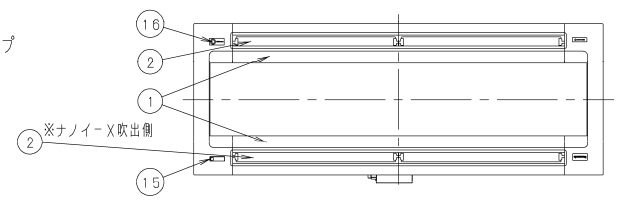








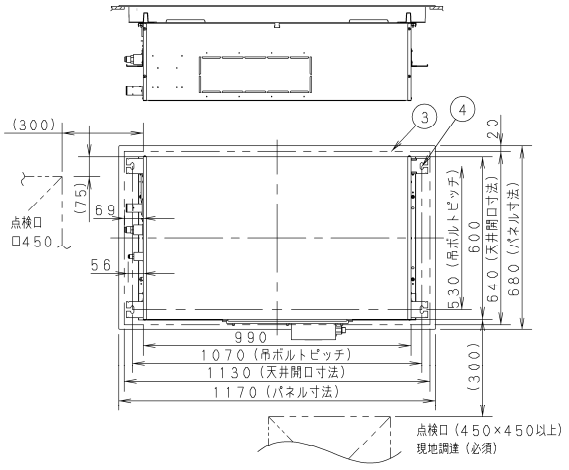


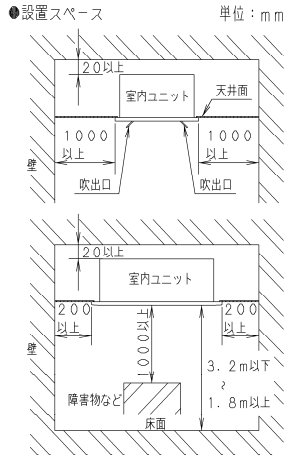


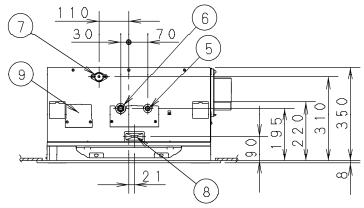
● 自然気化式加湿器取付図（標準パネル使用）

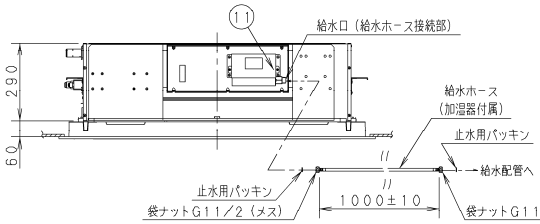
・CZ-07ASL6(1)〔適用機種：50 ～ 71 形〕

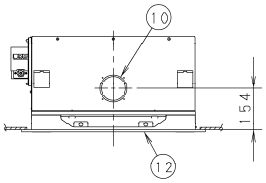
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130×640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑬	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

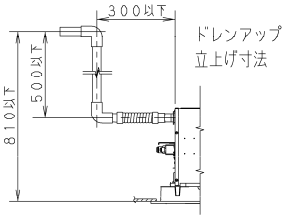


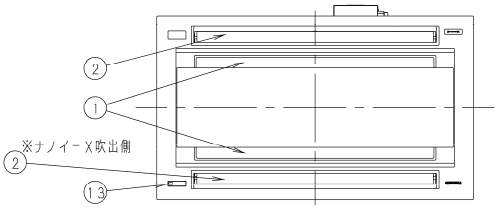






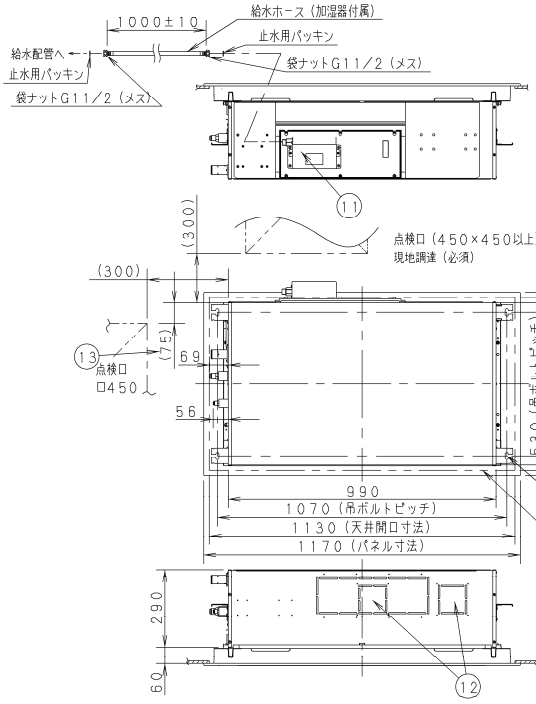


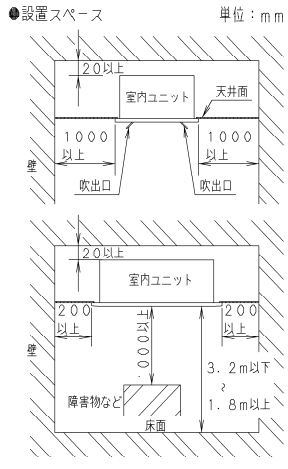


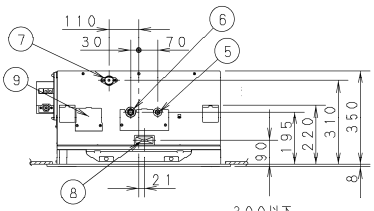


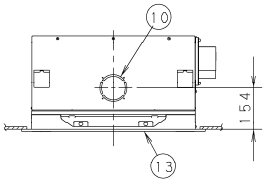
・CZ-07ASL6(2)〔適用機種：50 ～ 71 形〕

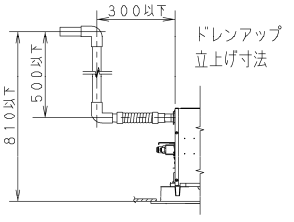
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130×640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

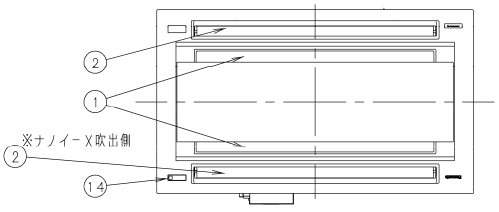








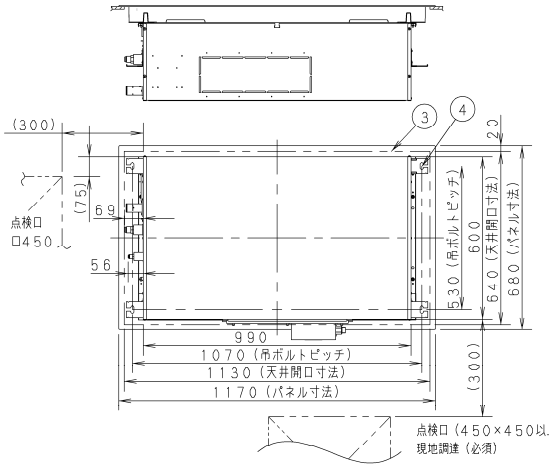


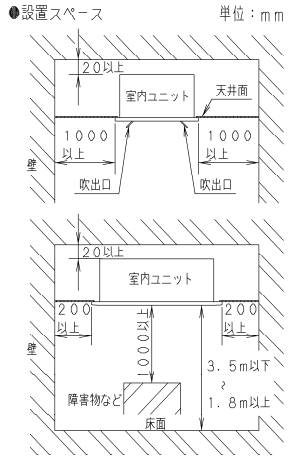


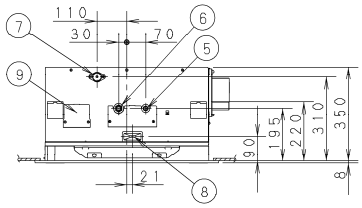
● 自然気化式加湿器取付図（標準パネル使用）

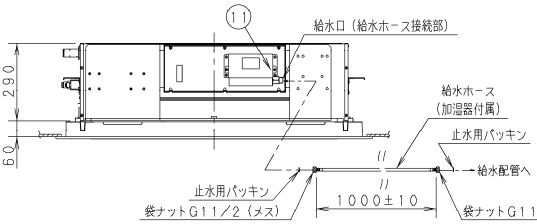
・CZ-07ASL6(1)〔適用機種：80 形〕

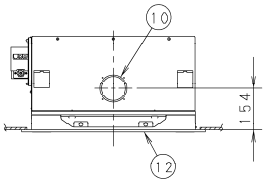
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130×640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑬	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

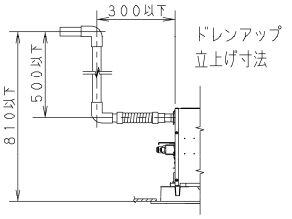


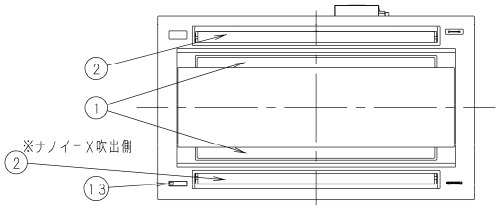






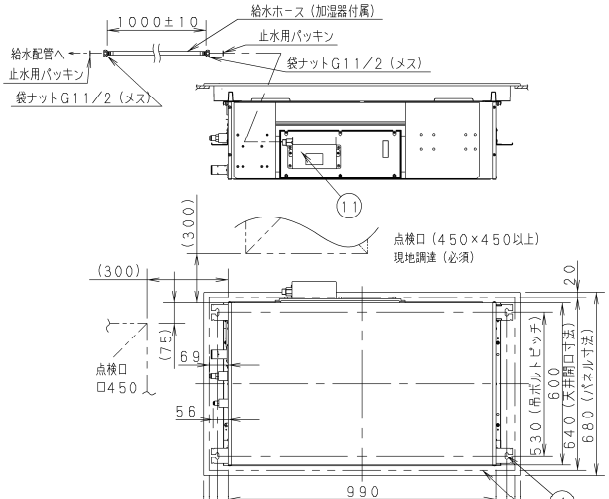


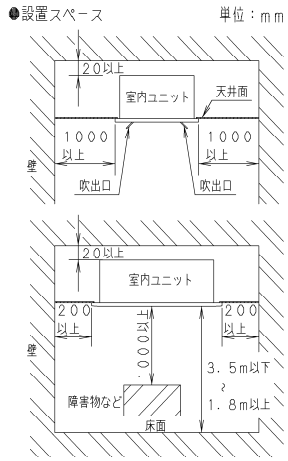


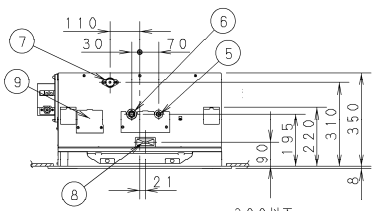


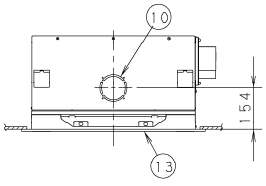
・CZ-07ASL6(1)〔適用機種：80 形〕

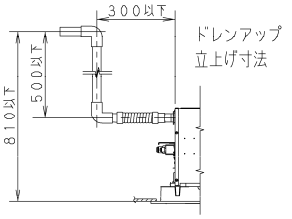
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130×640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

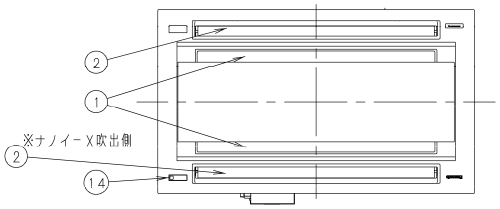








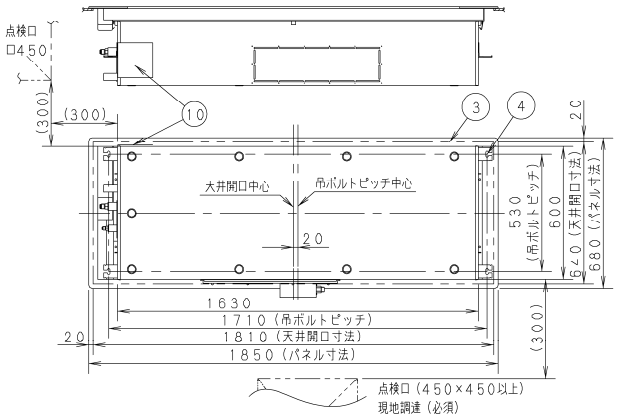


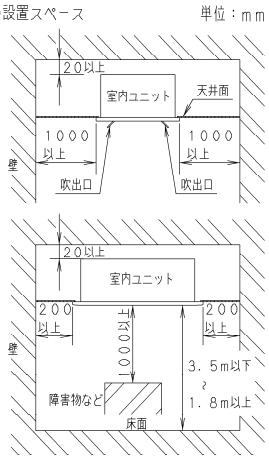


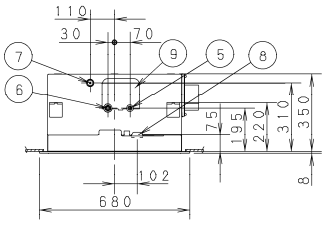
● 自然気化式加湿器取付図（標準パネル使用）

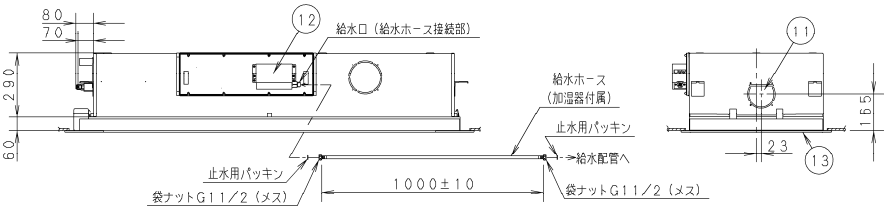
・CZ-14ASL6(1)〔適用機種：112 ～ 160 形〕

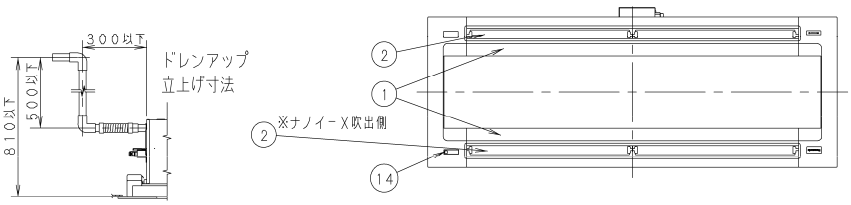
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø125
⑫	自然気化式加湿器　CZ-14ASL6（別売）
⑬	標準パネル　CZ-160KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部





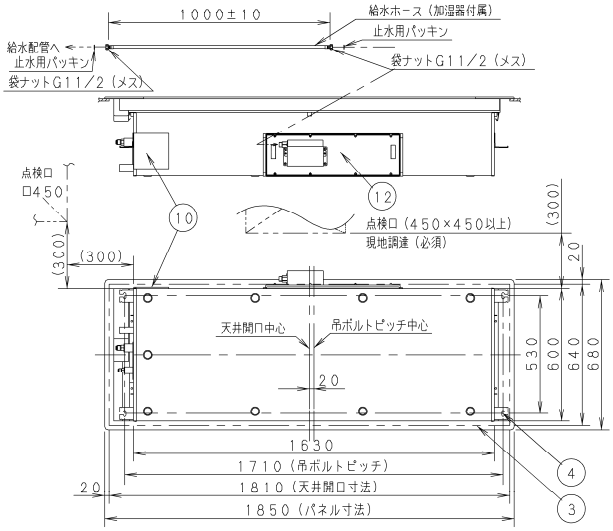


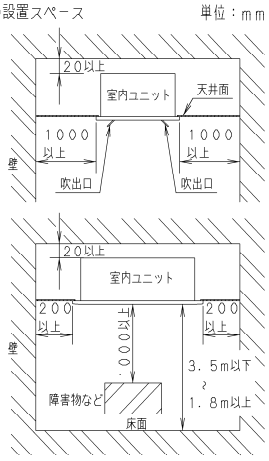


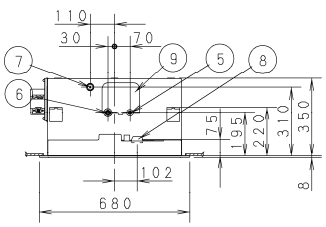


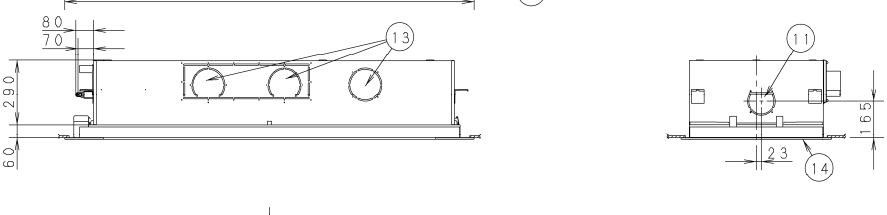
・CZ-14ASL6(1)〔適用機種：112 ～ 160 形〕

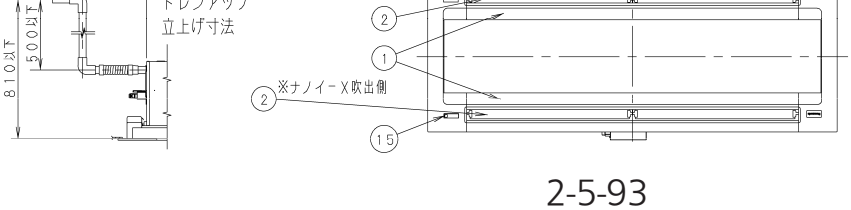
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø125
⑫	自然気化式加湿器　CZ-14ASL6（別売）
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <Φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	標準パネル　CZ-160KPL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部





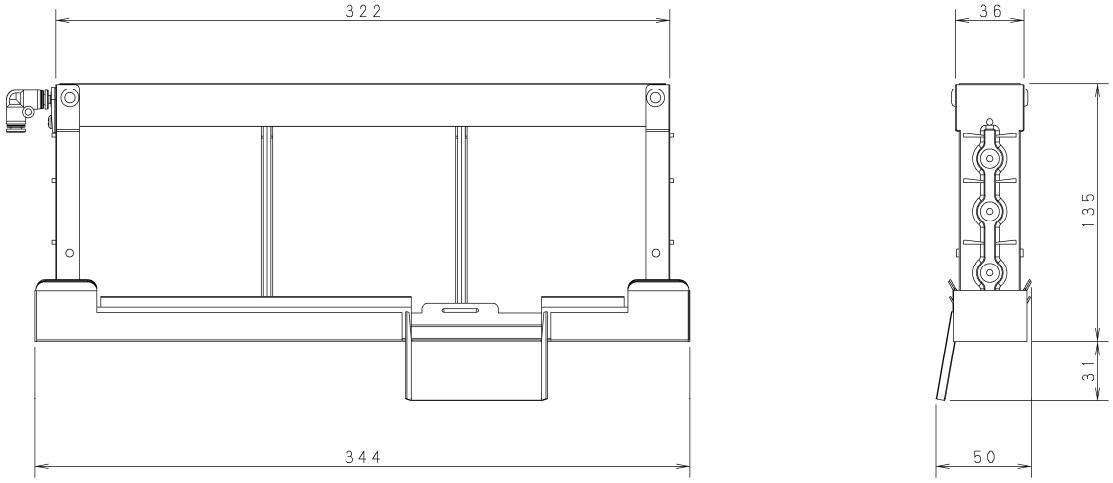




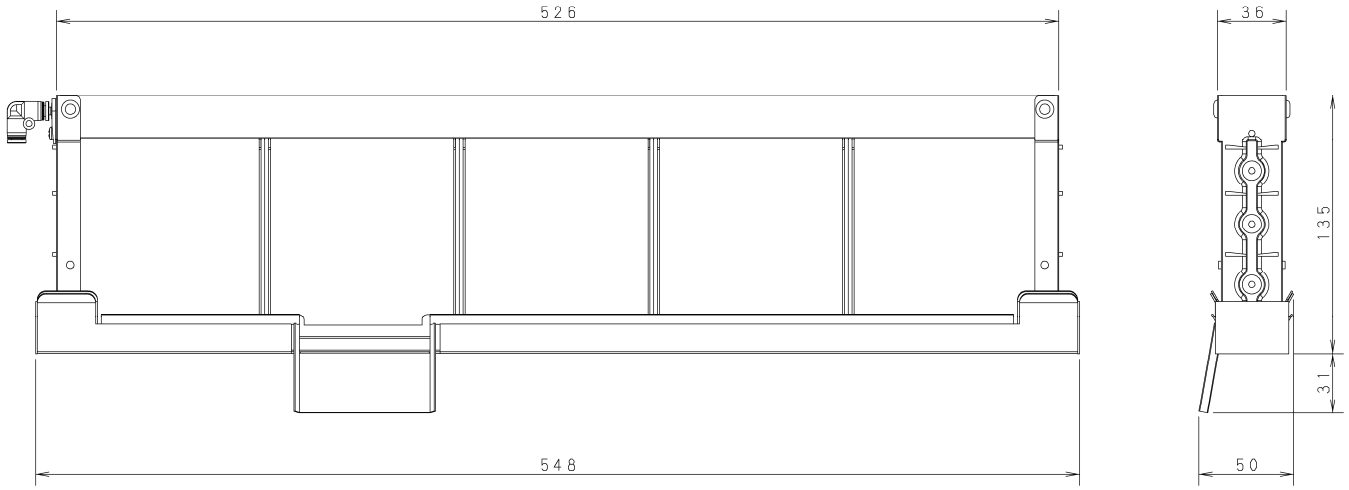


■ 交換用加湿エレメント

● CZ-07AL6〔適用機種：50 ～ 80 形〕



● CZ-14AL6〔適用機種：112 ～ 160 形〕



●交換用加湿エレメント

加湿エレメント　交換のしかた

品番　CZ-07AL6
（自然気化式加湿器　CZ-07ASL6 用）
CZ-14AL6
（自然気化式加湿器　CZ-14ASL6，RH-SN14U 用）

交換作業の前に、この「交換のしかた」をよくお読みください。
特に『安全上のご注意』は必ずお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する
（水漏れや感電、火災の原因）

■ 移動再設置は、販売店に相談する
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

⚠ 注意

❗ ■ 交換部品は、当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、水漏れの原因）

■ 作業前の準備

・作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。
加湿器の据付説明書もあわせてご覧ください。
・作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。
・給水ホース（もしくは、給水管）・加湿器内の残水が出ることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。

（CZ-∗∗ASL6 をご使用の場合）

・給水ホースの脱着の際に、パッキンを必ず新しいものに交換してください。
パッキンを交換しないと漏水の原因になります。パッキンは市販の水道用19mm、厚さ2mmのノンアスベストパッキンまたは、サービスパーツ（CV6233336015）をご使用ください。

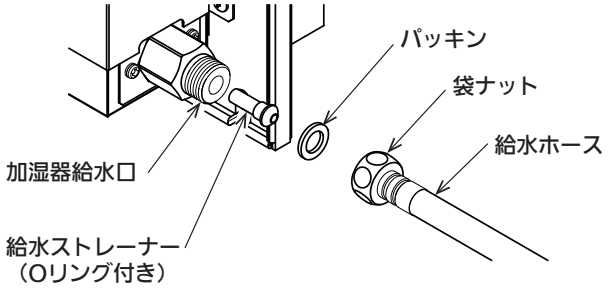
ACXF60-31513
PA0418-30823

●交換用加湿エレメント

交換のしかた

①加湿器給水口に巻いてある断熱材をはずしてください。
②袋ナット（もしくは、フレアナット）をダブルスパナでゆるめ、給水ホース（もしくは、給水管）を取りはずしてください。（図１）
※給水ホース（もしくは、給水管）・加湿器内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどで受けてください。
③加湿器給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずしてください。
※給水ストレーナーを紛失しないようご注意ください。（図１）
④加湿器本体を固定している長ナット（M4 x 15）とキャップ（もしくは、ネジ）をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器を室内ユニットから取り出してください。（図２）
⑤固定ネジ（２本）とジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。（図３）
⑥②ではずした給水ストレーナーの内側のゴミを洗い落としてください。
※給水ストレーナーに付いているOリング（もしくは、ワッシャー）をはずさないでください。（図１）
⑥取りはずしと逆の手順で新しい加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
⑦給水ホース（もしくは、給水管）を加湿器給水口に接続してください。
※給水ストレーナーを元に戻し、パッキンを新しいものに変えてください。（CZ-＊＊タイプ加湿器の場合）
※袋ナット（もしくは、フレアナット）をダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N・m）
※給水用サービスバルブを開き、水漏れがないことを必ず確認した後、はずした断熱材を加湿器給水口と袋ナット（もしくは、フレアナット）をおおうように巻き付けてビニタイで固定してください。

（CZ-＊＊タイプ加湿器）



（RH-＊＊タイプ加湿器）

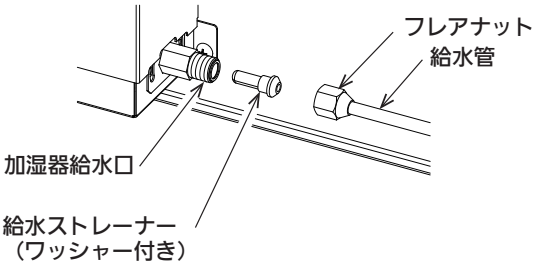


図１

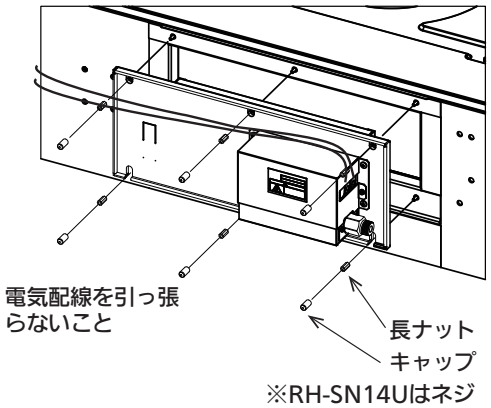


図２

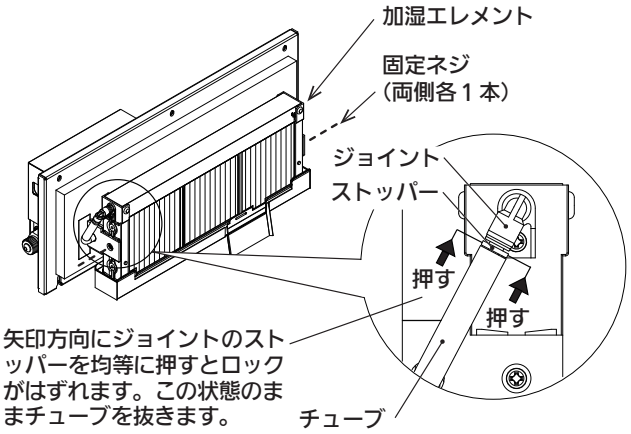
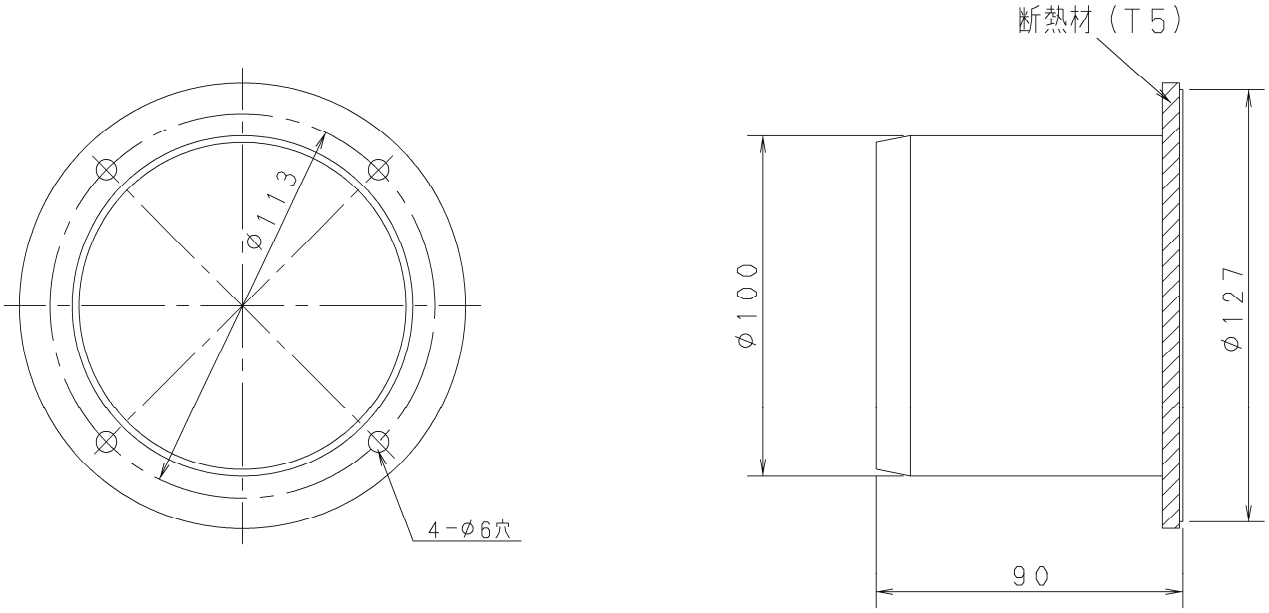
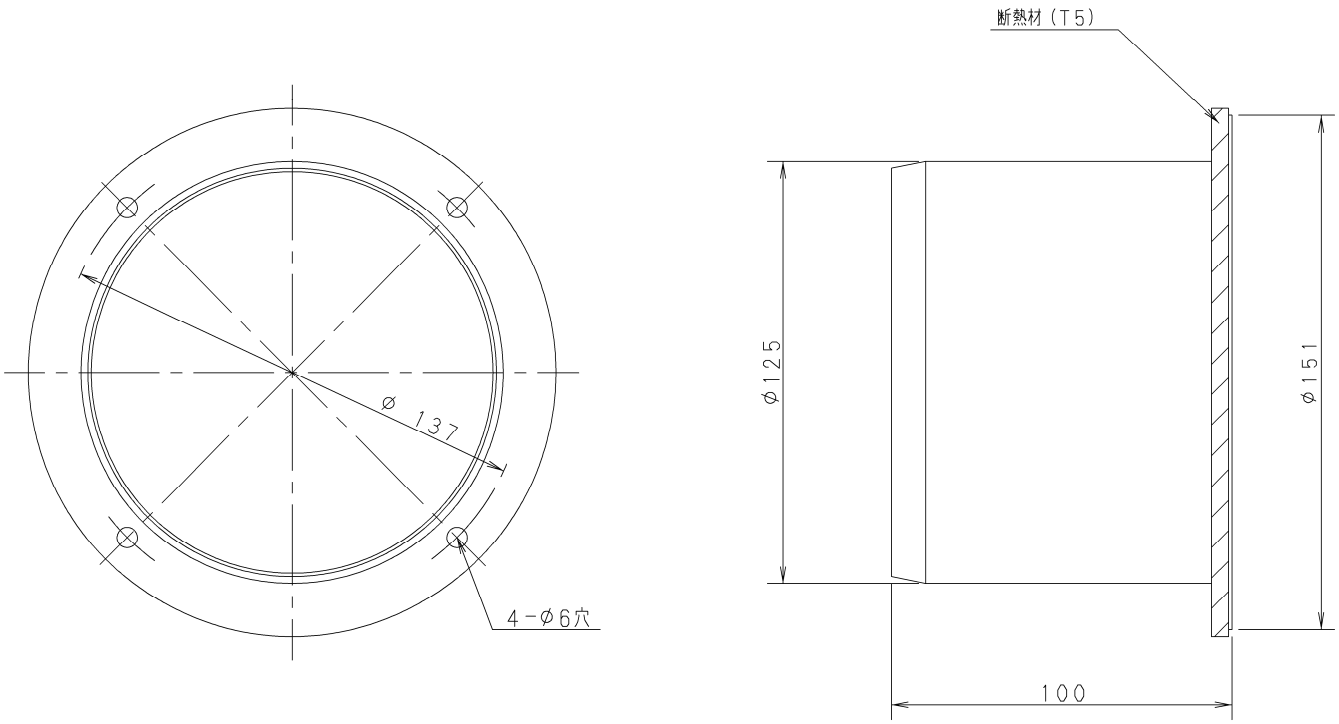


図３

■ 丸合フランジ外形寸法図（φ 100）
● CZ-DA100〔適用機種：50 ～ 80 形〕



■ 丸合フランジ外形寸法図（φ 125）
● CZ-DA125〔適用機種：112 ～ 160 形〕



●丸合フランジ（φ 100）

据付工事説明書

丸合フランジ（φ100）

品番　CZ-DA100

適用室内ユニット　4方向天井カセット形（Uシリーズ）2方向天井カセット形（Lシリーズ）
1方向天井カセットスリム形（DSシリーズ）天井吊形（Tシリーズ）＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31574
PA0518 - 40823

●丸合フランジ（φ 100）

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

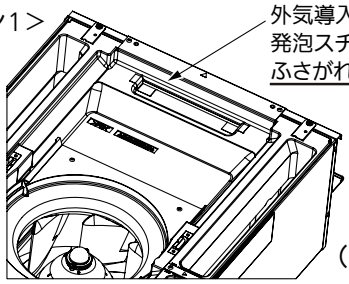
名　　称	個数	名　　称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ（φ100） 	1	取付ネジ（M4×12） 	4		1

2. 取り付けかた

●2方向天井カセット形の場合

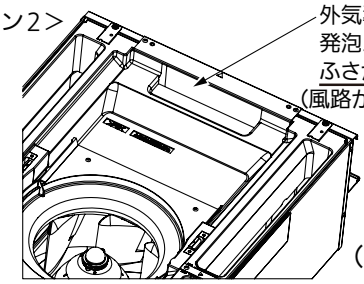
2方向天井カセット形は、ドレンパン仕様が2種類あります。仕様によって丸合フランジの取り付け方が異なりますので（図4）及び（図5）で確認の上、それぞれのパターン取付け指示に従って丸合フランジを取付けてください。

<パターン1>



（図4）

<パターン2>



（図5）

<パターン1>

（1）ネジを2か所はずし、金具を取りはずしてください。（図6）

（2）発泡スチロールを切断する基準位置と傷付け厳禁の本体面を確認してください。（図7）

（3）カッターナイフ等で基準位置の内側を垂直方向に切断してください。

　　カッターナイフは前後に細かく動かし、本体面に傷をつけないようにゆっくりと切り取ってください。（図8）

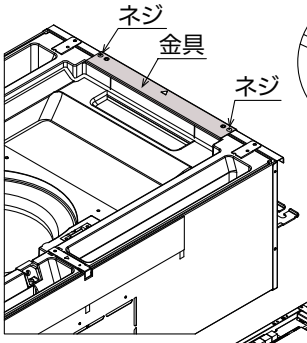
（4）切断した部分を取り除いてください。（図9）

　　発泡スチロールの切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。

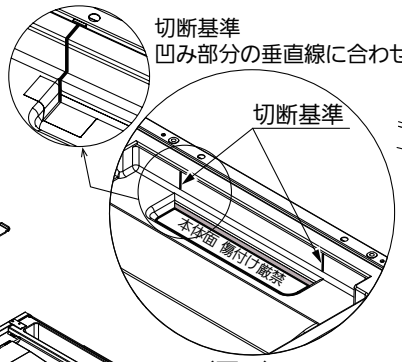
（5）（図6）で取りはずした金具を元に戻してください。

（6）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切り取ってください。（図10）

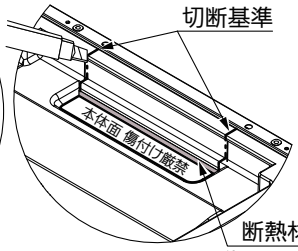
（7）丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。（図11）



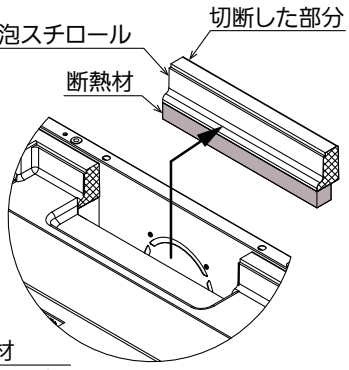
（図6）



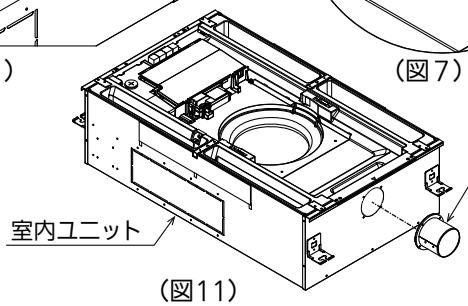
（図7）



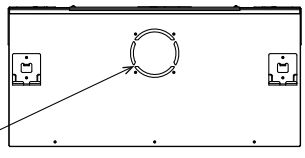
（図8）



（図9）



（図11）



（図10）

●丸合フランジ（φ 100）

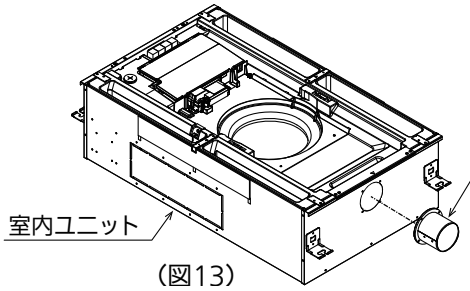
2. 取り付けかた（つづき）

＜パターン2＞

（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。(図12)

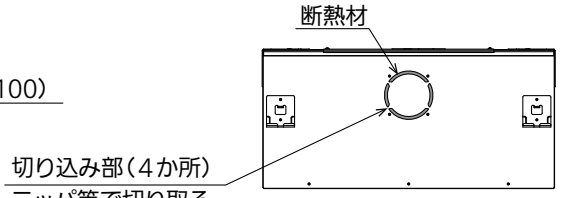
（2）室内ユニット断熱材をカッターナイフ等で切り込みに沿って切断し、切り取ってください。
　　断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。

（3）丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。(図13)



(図13)

注意:カッターナイフを差し込みすぎて
奥の発泡部品を傷つけないように、
カッターナイフは前後に細かく動かし
断熱材のみを切り取ってください



(図12)

●丸合フランジ（φ 125）

据付工事説明書

丸合フランジ（φ125）

品番　CZ-DA125

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31583
PA0518 - 30823

●丸合フランジ（φ 125）

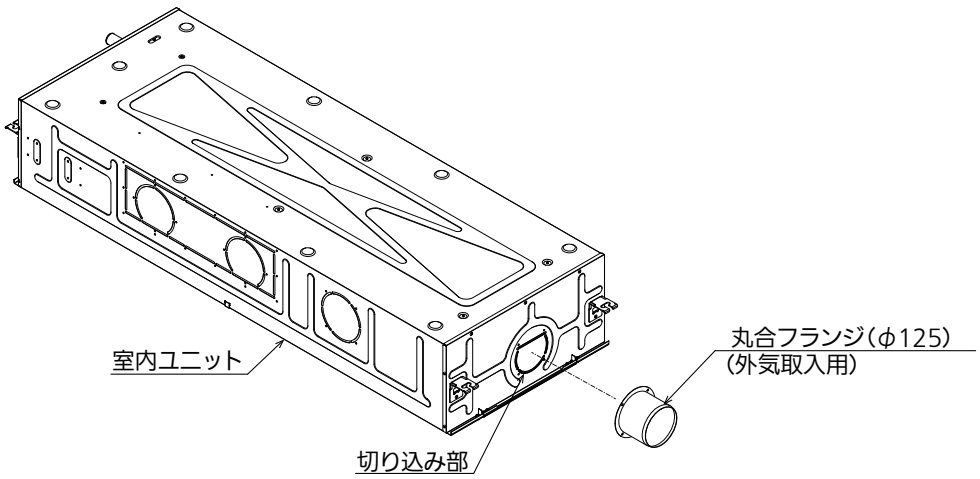
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名　称	個数	名　称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ（φ125） 	1	取付ネジ（M4×12） 	4		1

2. 取り付けかた

（1）室内ユニット側板の切り込み部を、断熱材ごとニッパ・金ノコ等で切断し、切り取ってください。（下図）
　　断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
（2）丸合フランジを付属の取付ネジ４本で取り付けてください。（下図）



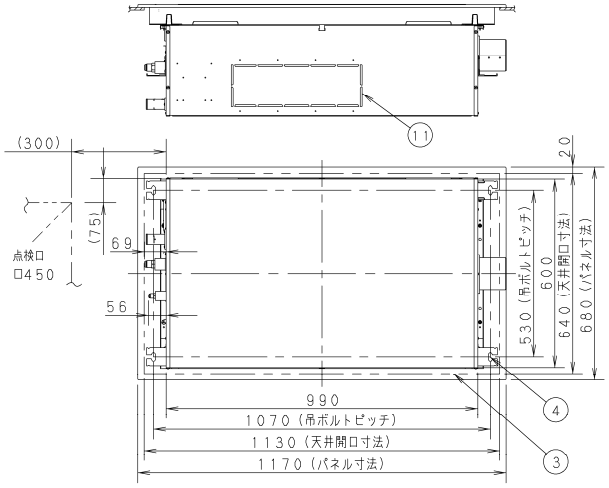
● 丸合フランジ（φ 100）取付図（エコナビパネル使用）

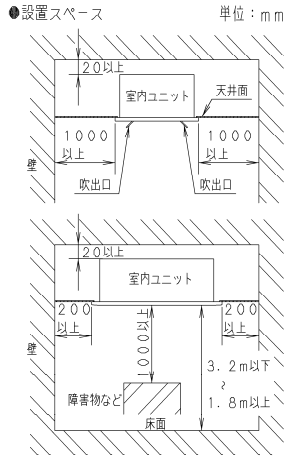
・CZ-DA100〔適用機種：50 ～ 71 形〕

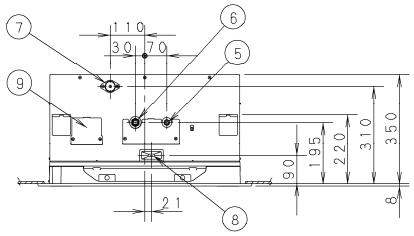
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>　CZ-DA100（別売）<φ100>
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

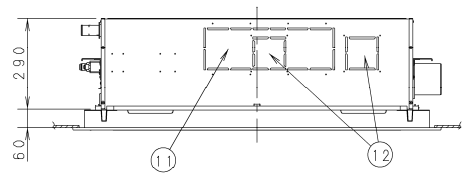
注記

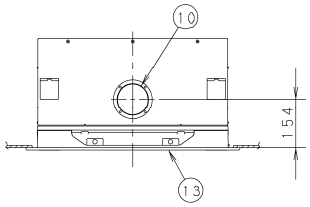
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。

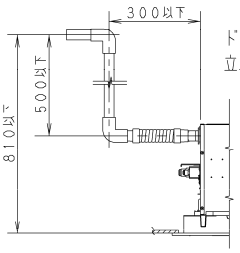


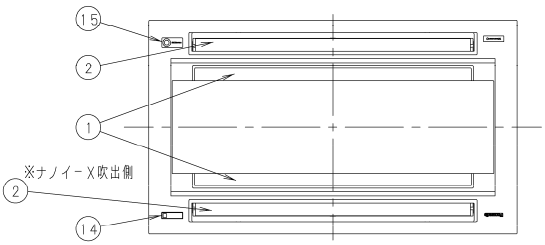










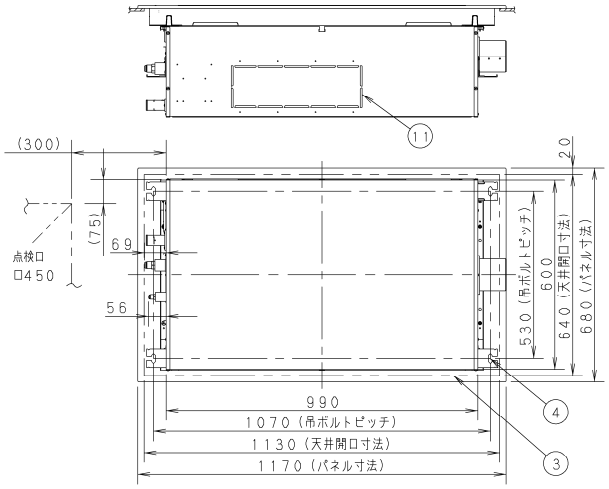


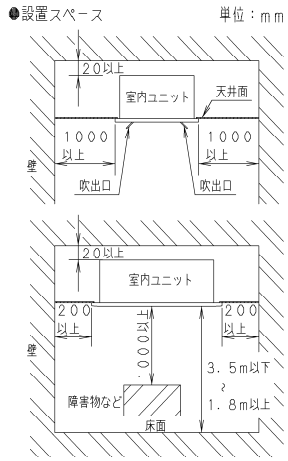
・CZ-DA100〔適用機種：80 形〕

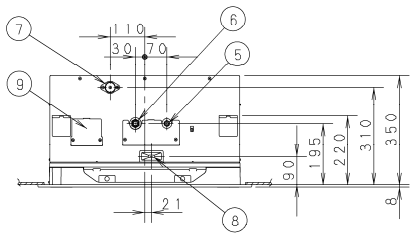
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>　CZ-DA100（別売）<φ100>
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

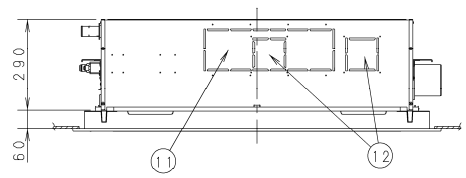
注記

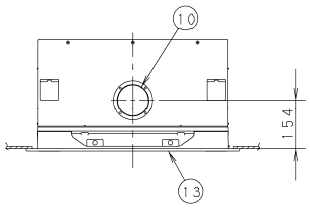
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。

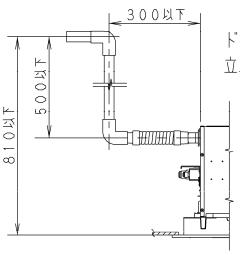


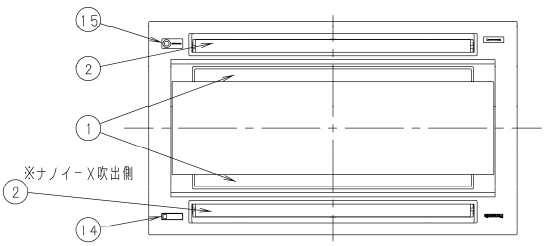












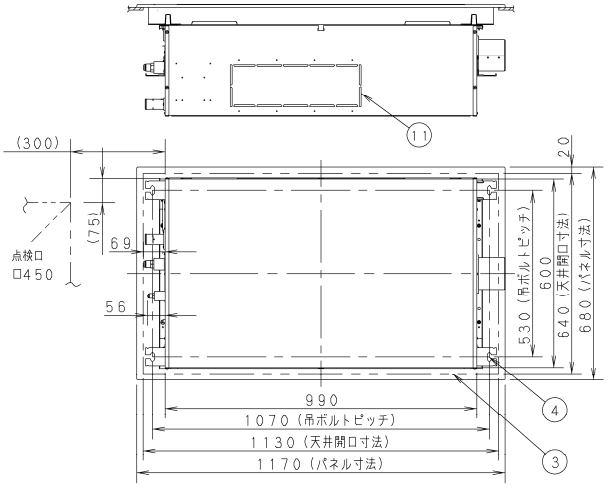
● 丸合フランジ（φ 100）取付図（標準パネル使用）

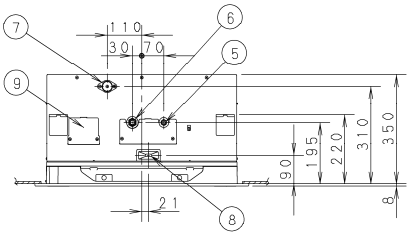
・CZ-DA100〔適用機種：50 ～ 71 形〕

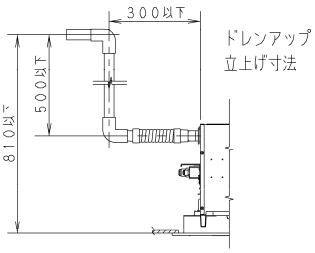
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>　CZ-DA100（別売）<φ100>
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

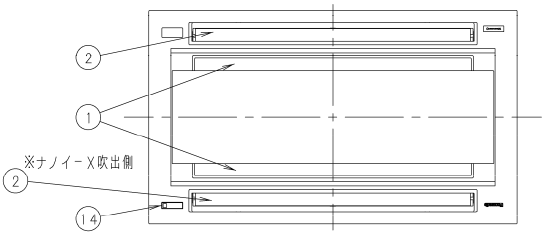
注記

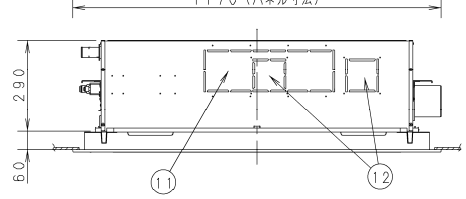
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。



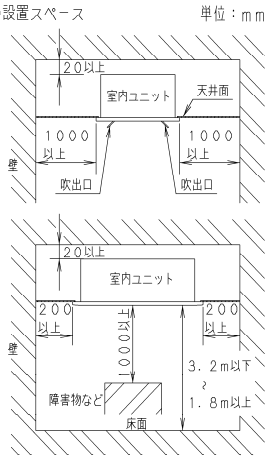


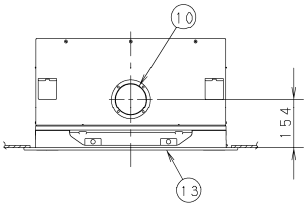






●設置スペース　　単位：mm



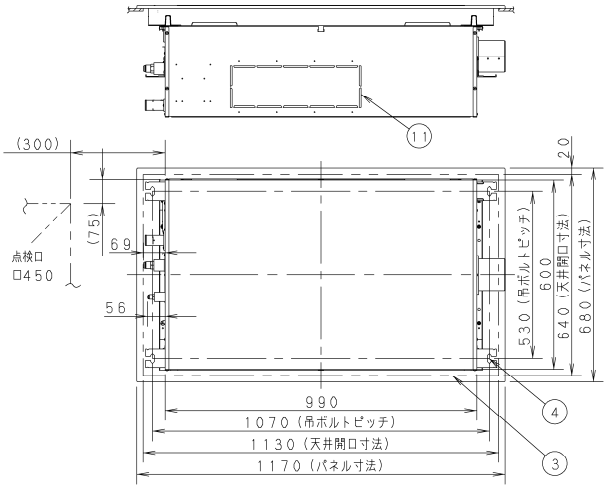


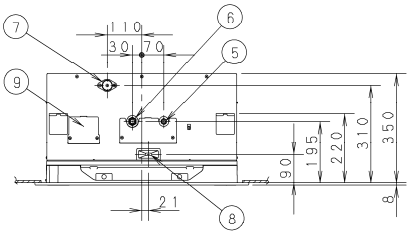
・CZ-DA100〔適用機種：80 形〕

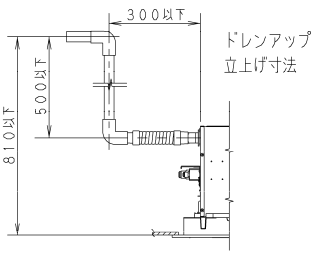
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>　CZ-DA100（別売）<φ100>
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

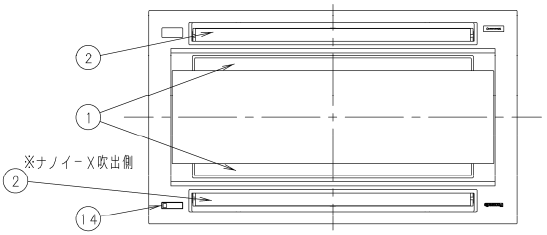
注記

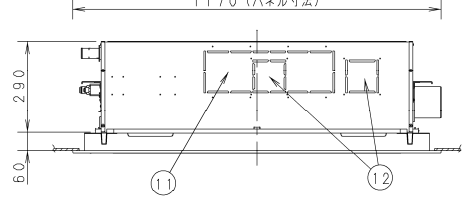
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。



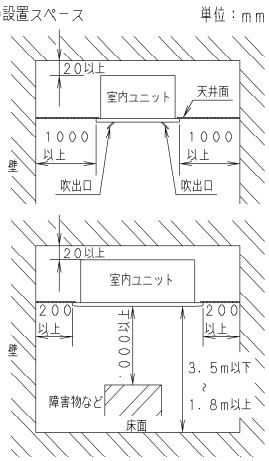


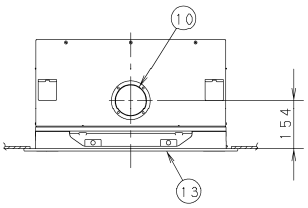






●設置スペース　　単位：mm





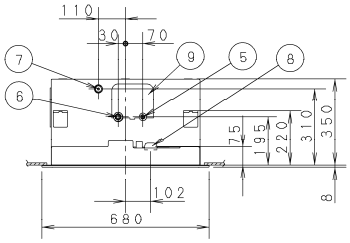
● 丸合フランジ（φ 125）取付図（エコナビパネル使用）

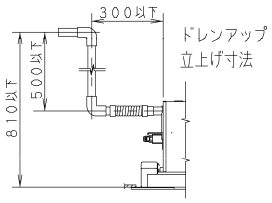
・CZ-DA125〔適用機種：112 ～ 160 形〕

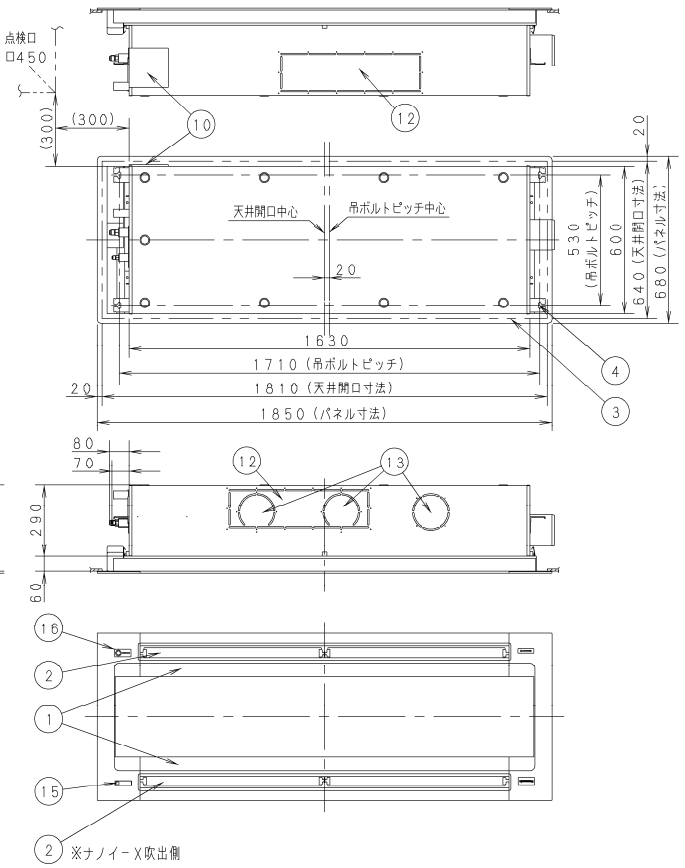
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ＜外気取入用＞　CZ-DA125（別売）＜φ125＞
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部＜左右取り付け可能＞
⑬	丸合フランジ＜吹出用＞（別売）取付部 ＜φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能＞
⑭	エコナビパネル　CZ-160KPFL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー

注記

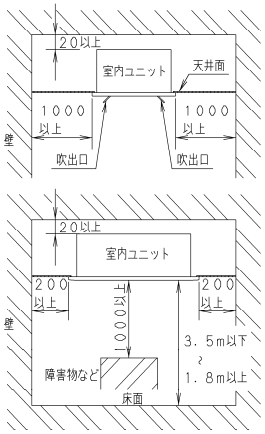
1．吹出ダクト⑬を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。

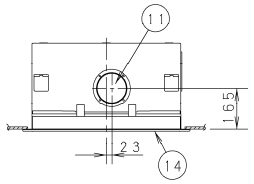






●設置スペース　　単位：mm





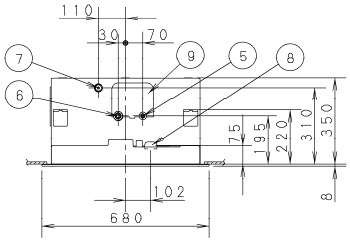
● 丸合フランジ（φ 125）取付図（標準パネル使用）

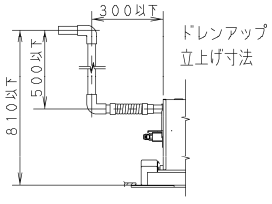
・CZ-DA125〔適用機種：112 ～ 160 形〕

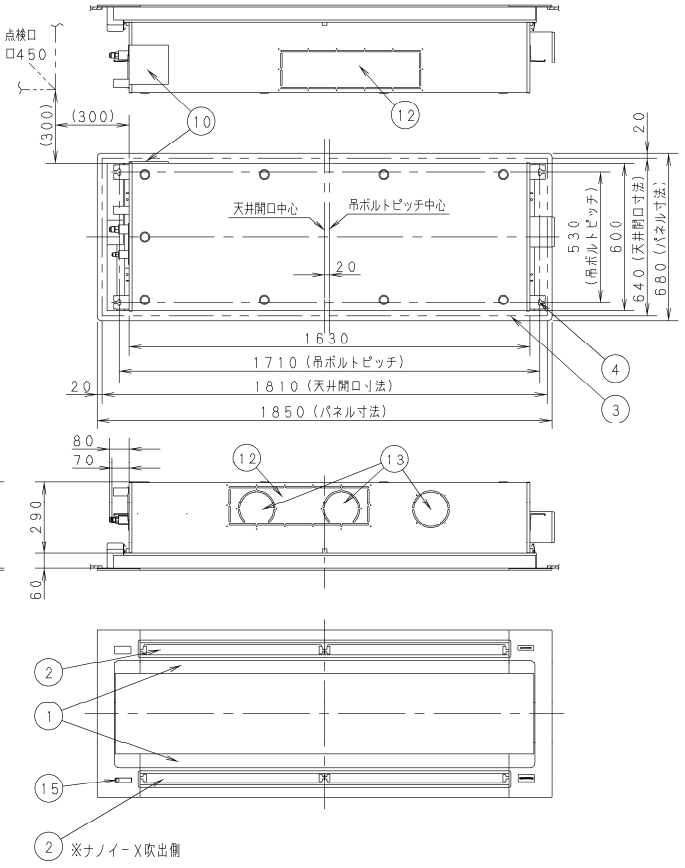
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ＜外気取入用＞　CZ-DA125（別売）＜φ125＞
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部＜左右取り付け可能＞
⑬	丸合フランジ＜吹出用＞（別売）取付部 ＜φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能＞
⑭	標準パネル　CZ-160KPL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

注記

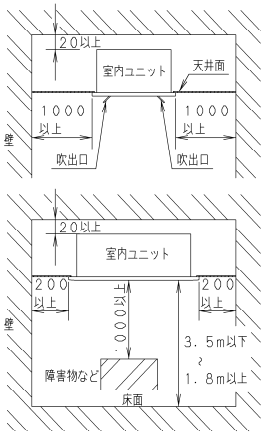
1．吹出ダクト⑬を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。

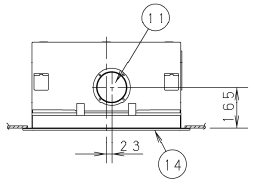




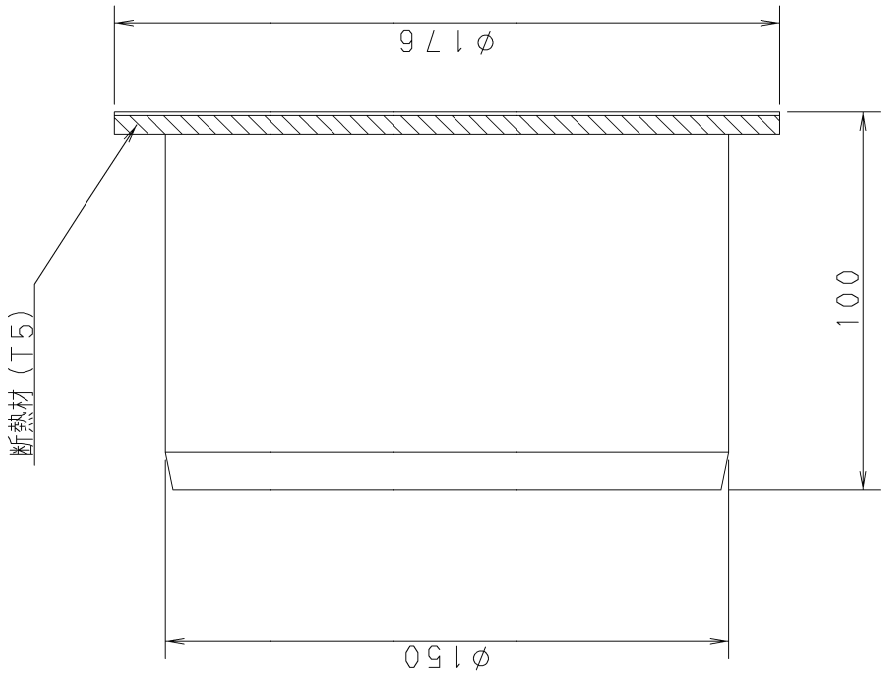


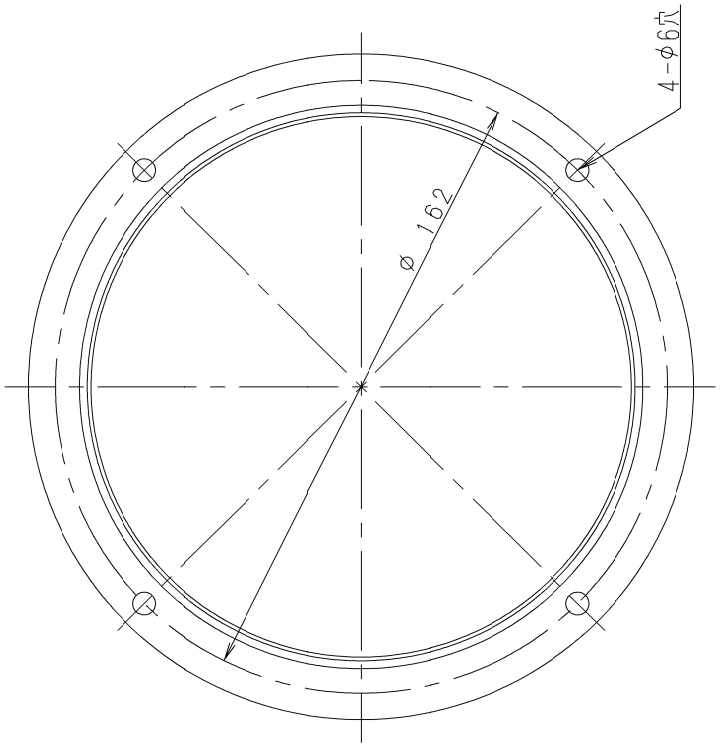
●設置スペース　　単位：mm





■ 丸合フランジ外形寸法図（φ 150）
● CZ-DA150A





●丸合フランジ（φ 150）

据付工事説明書

丸合フランジ（φ150）

品番　CZ-DA150A

適用室内ユニット　4 方向天井カセット形（U シリーズ）2 方向天井カセット形（L シリーズ）クリーン PAC / クリーンエアコン（CK・CD シリーズ）＊　（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
- ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
  （ユニットの落下や水漏れの原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- ■ 付属品は当社指定の部品を使用する
  （指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

⃠
- ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

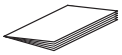
■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意

・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	丸合フランジ	取付ネジ	据付工事説明書	シール用断熱材 A	シール用断熱材 B
個数	1	4	1	2	2
形状	 φ150	 M4×12	 本説明書 お客さまに必ず渡してください		

ACXF60-31564
BE0518 - 40823

●丸合フランジ（φ 150）

2. 取り付けかた

●取り付け前の準備

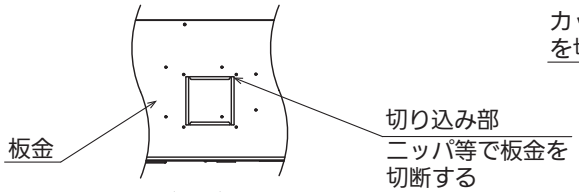
丸合フランジの使用には、別売品のフレキシブルダクト（丸）が必要ですので用意してください。
取り付け可能なフレキシブルダクト長については、別途、設備設計資料をご確認ください。
フレキシブルダクトの取り付けかたについては、フレキシブルダクトに同梱されている取付説明書を参照してください。

丸合フランジ	フレキシブルダクト（丸）
CZ-DA150A	CZ-F1510　φ150　1m CZ-F1520　φ150　2m

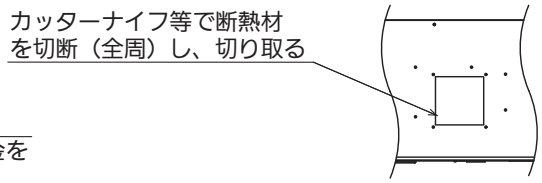
使いかたにより、別売品のしゃ風材が必要になりますので組み合わせをご確認の上、用意してください。
※使いかたは、各しゃ風材に同梱されている据付工事説明書を参照してください。

●取り付けかた（共通）

（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切り取ってください。(図 1)
（2）室内ユニット断熱材（スチロールまたはポリエチレン）をカッターナイフ等で切断し、切り取ってください。（図 2）
注意　断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
断熱材を切断するとき、カッターナイフ等の刃は30㎜以上差し込まないよう注意してください。
(内部のドレンパンおよび熱交換器を傷つけると、水漏れの原因になります。)



(図 1)

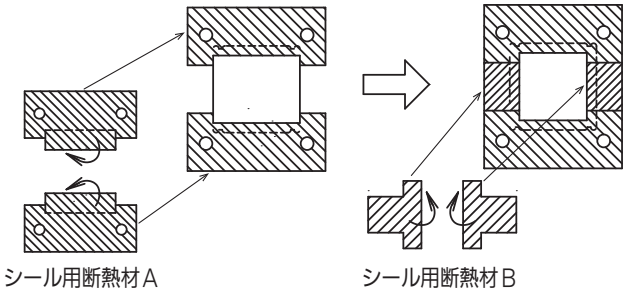


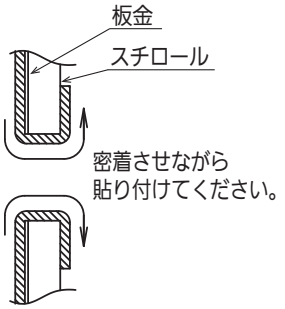
(図 2)

（3）断熱材がスチロールの機種については必ず下記の 断熱材貼り付け手順 に従い、シール用断熱材A・Bを貼り付けてください。ただし、クリーンPAC / クリーンエアコンの場合は本手順は不要です。
スチロールと板金の間に隙間があると結露等の問題が発生します。（図 3）

断熱材貼り付け手順

付属のシール用断熱材Ａをネジ穴に合わせて貼り付けた後、
シール用断熱材Ｂを貼り付けてください。





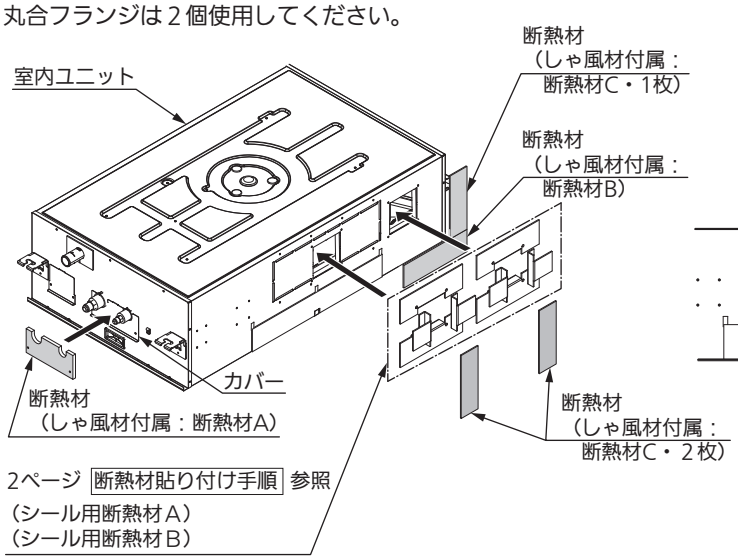
(図 3)

●丸合フランジ（φ 150）

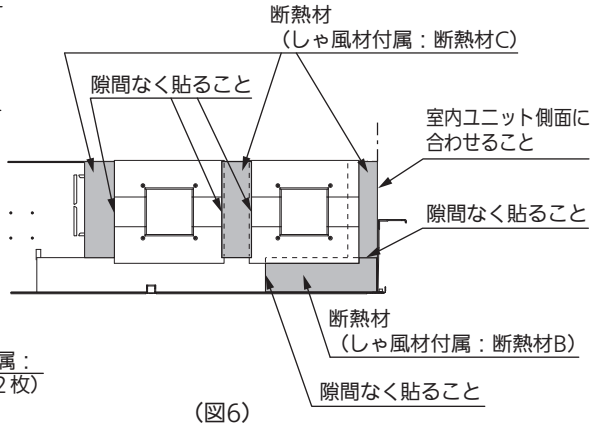
2. 取り付けかた（つづき）

●取り付けかた（2 方向天井カセット形　22～90形の場合）

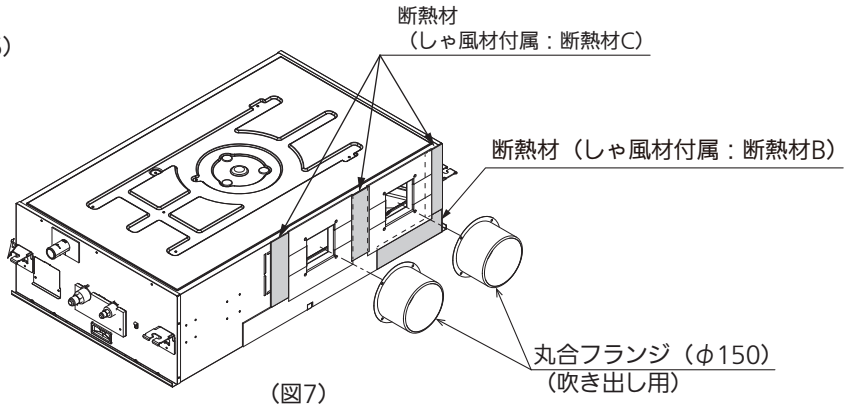
丸合フランジの使用には、別売品のしゃ風材が必要になります。
断熱材（しゃ風材付属：断熱材A）（1枚）を図5を参照して室内ユニット側面のカバー形状に合わせて貼り付けてください。
断熱材（しゃ風材付属：断熱材B）（1枚）、断熱材（しゃ風材付属：断熱材C）（1枚）を図5・図6を参照して貼り付けてください。
室内ユニット断熱材はスチロールです。2ページ 断熱材貼り付け手順 に従い、シール用：断熱材A・Bを貼り付けてください。
断熱材（しゃ風材付属：断熱材C）（2枚）を図5・図6を参照して貼り付けてください。
丸合フランジを付属の取付ネジ各４本で取り付けてください。（図7）
丸合フランジは２個使用してください。



（図5）



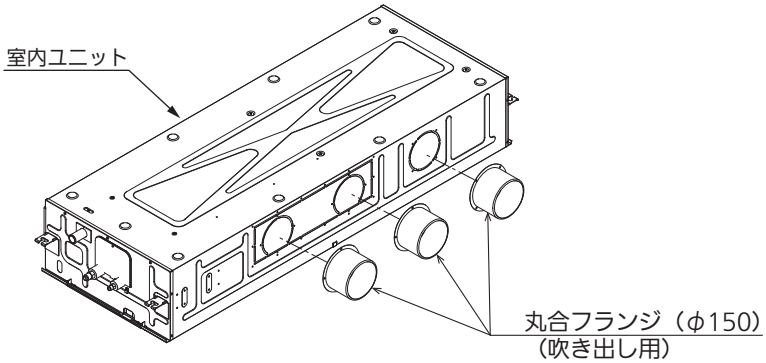
（図6）



（図7）

●取り付けかた（2 方向天井カセット形　112～160形の場合）

丸合フランジの使用には、別売品のしゃ風材が必要になります。
室内ユニット断熱材はポリエチレンです。シール用：断熱材A・Bは不要です。
丸合フランジを付属の取付ネジ各４本で取り付けてください。（図8）
丸合フランジは３個使用してください。



（図8）

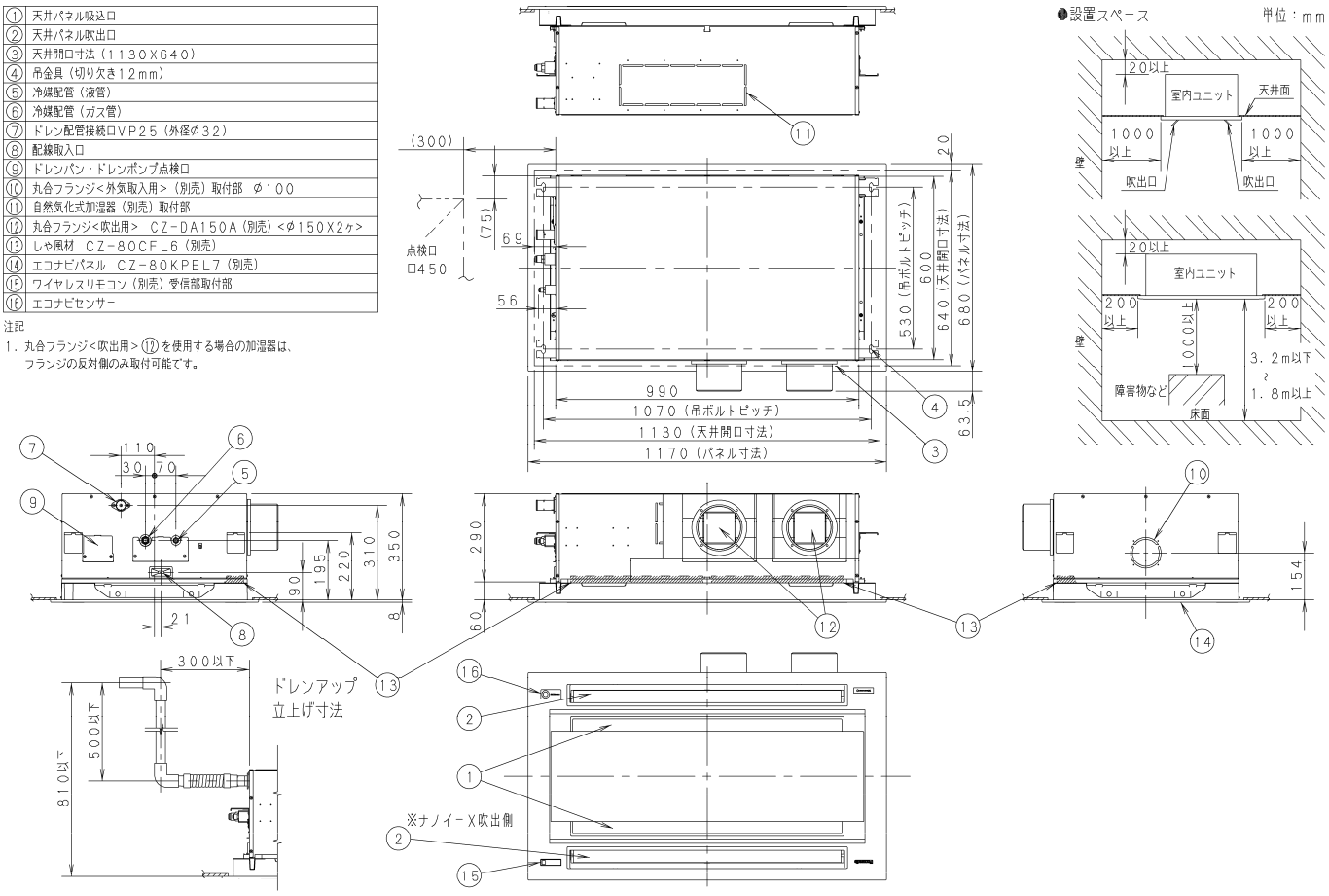
● 丸合フランジ（φ 150）取付図（エコナビパネル使用）

・CZ-DA150A〔適用機種：50 ～ 71 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑫	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<ø150X2ヶ>
⑬	しゃ風材　CZ-80CFL6（別売）
⑭	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー

注記

1．丸合フランジ<吹出用>⑫を使用する場合の加湿器は、
フランジの反対側のみ取付可能です。

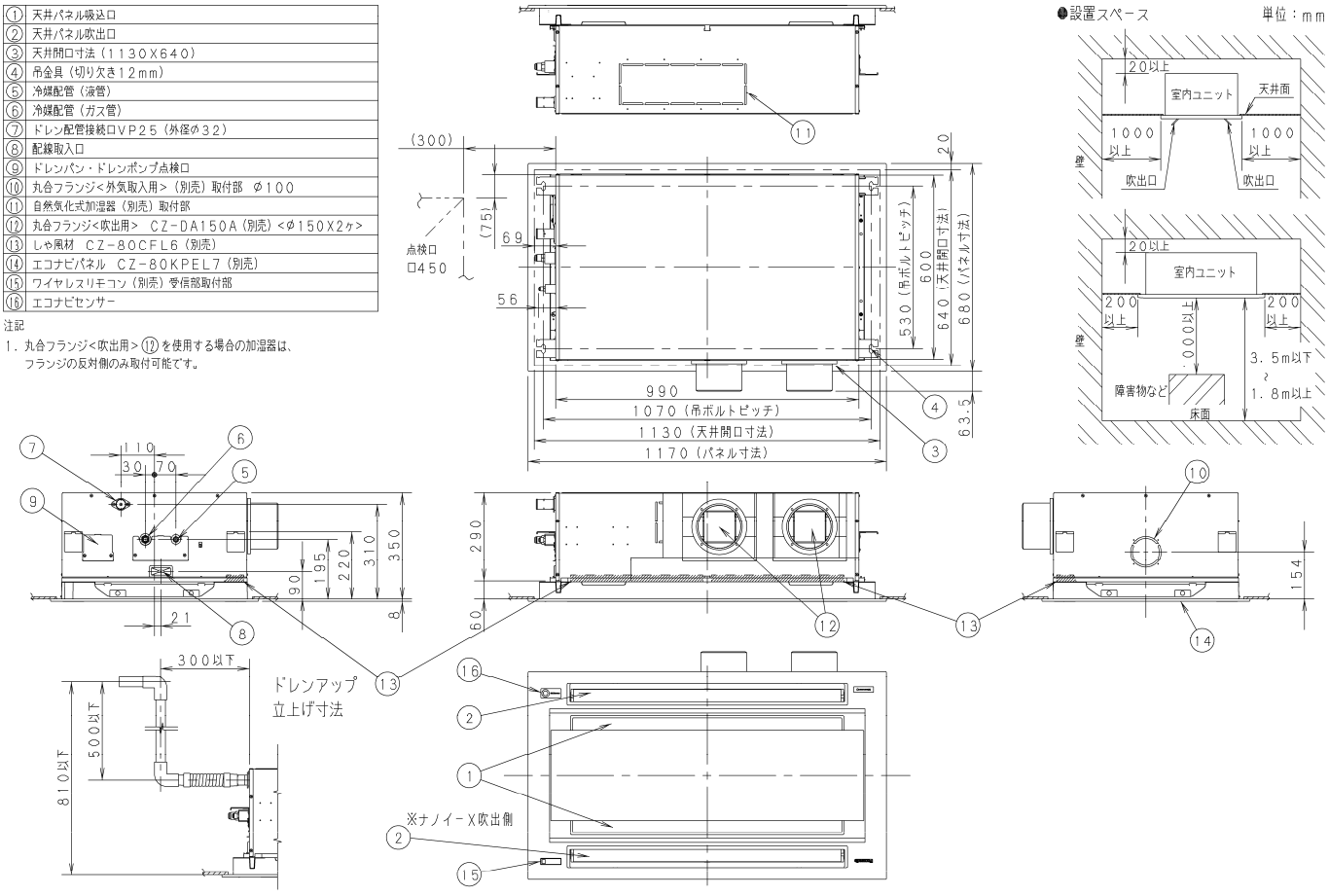


・CZ-DA150A〔適用機種：80 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑫	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<ø150X2ヶ>
⑬	しゃ風材　CZ-80CFL6（別売）
⑭	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー

注記

1．丸合フランジ<吹出用>⑫を使用する場合の加湿器は、
フランジの反対側のみ取付可能です。



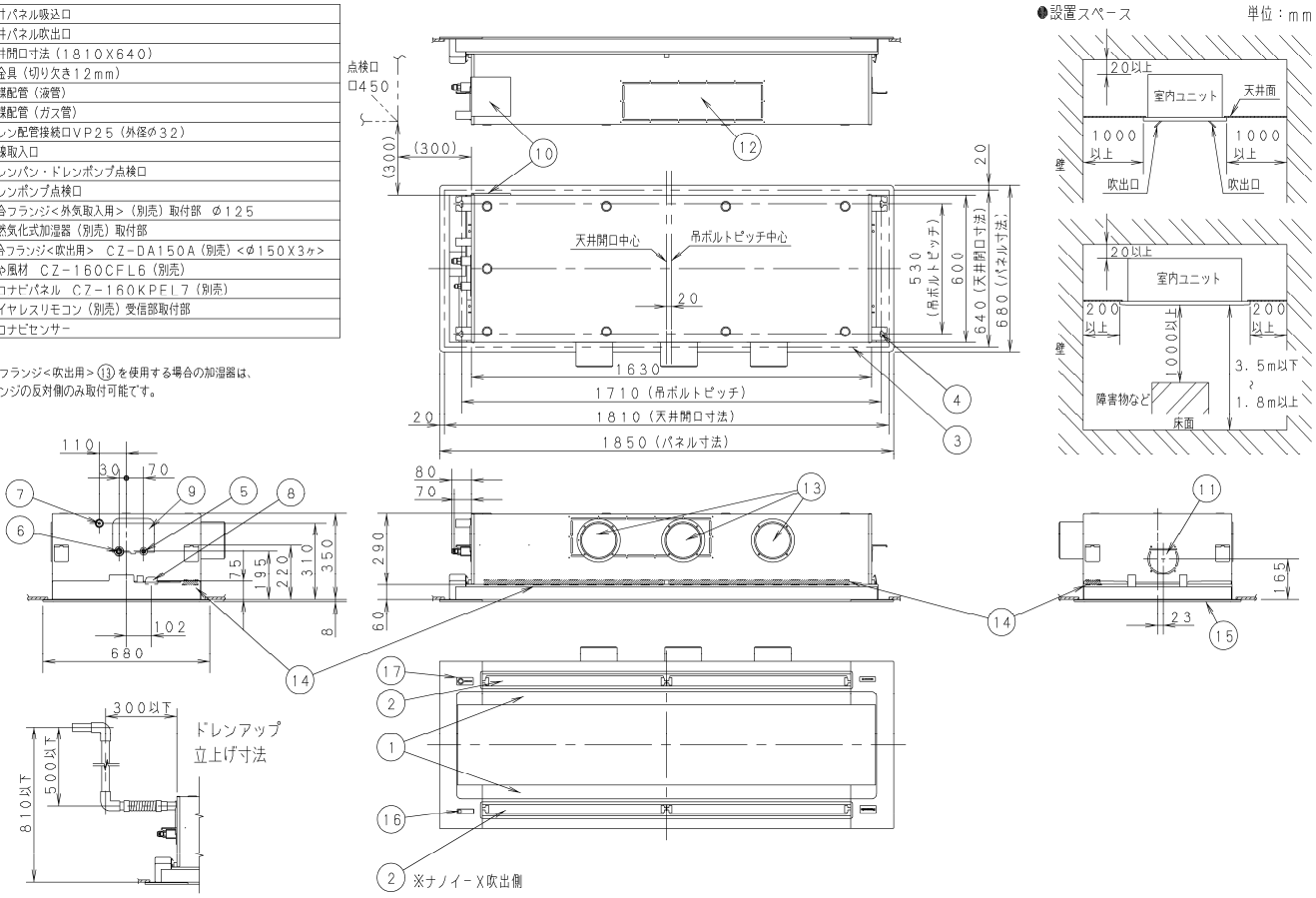
● 丸合フランジ（φ 150）取付図（エコナビパネル使用）

・CZ-DA150A〔適用機種：112 ～ 160 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø125
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑬	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<Ø150X3ヶ>
⑭	しや風材　CZ-160CFL6（別売）
⑮	エコナビパネル　CZ-160KPFL7（別売）
⑯	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑰	エコナビセンサー

注記

1．丸合フランジ<吹出用>⑬を使用する場合の加湿器は、フランジの反対側のみ取付可能です。



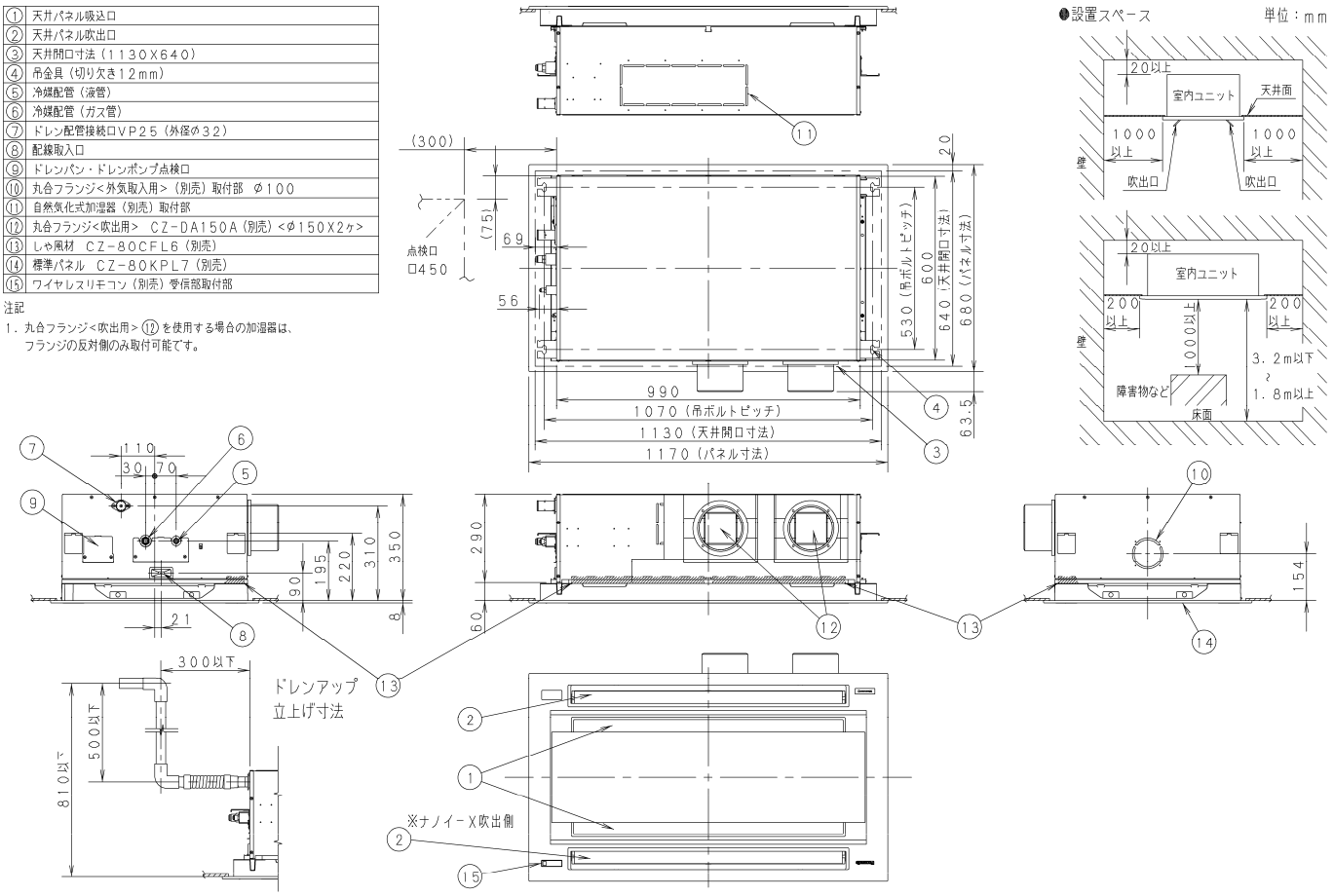
● 丸合フランジ（φ 150）取付図（標準パネル使用）

・CZ-DA150A〔適用機種：50 ～ 71 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑫	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<ø150X2ヶ>
⑬	しゃ風材　CZ-80CFL6（別売）
⑭	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

注記

1．丸合フランジ<吹出用>⑫を使用する場合の加湿器は、
フランジの反対側のみ取付可能です。

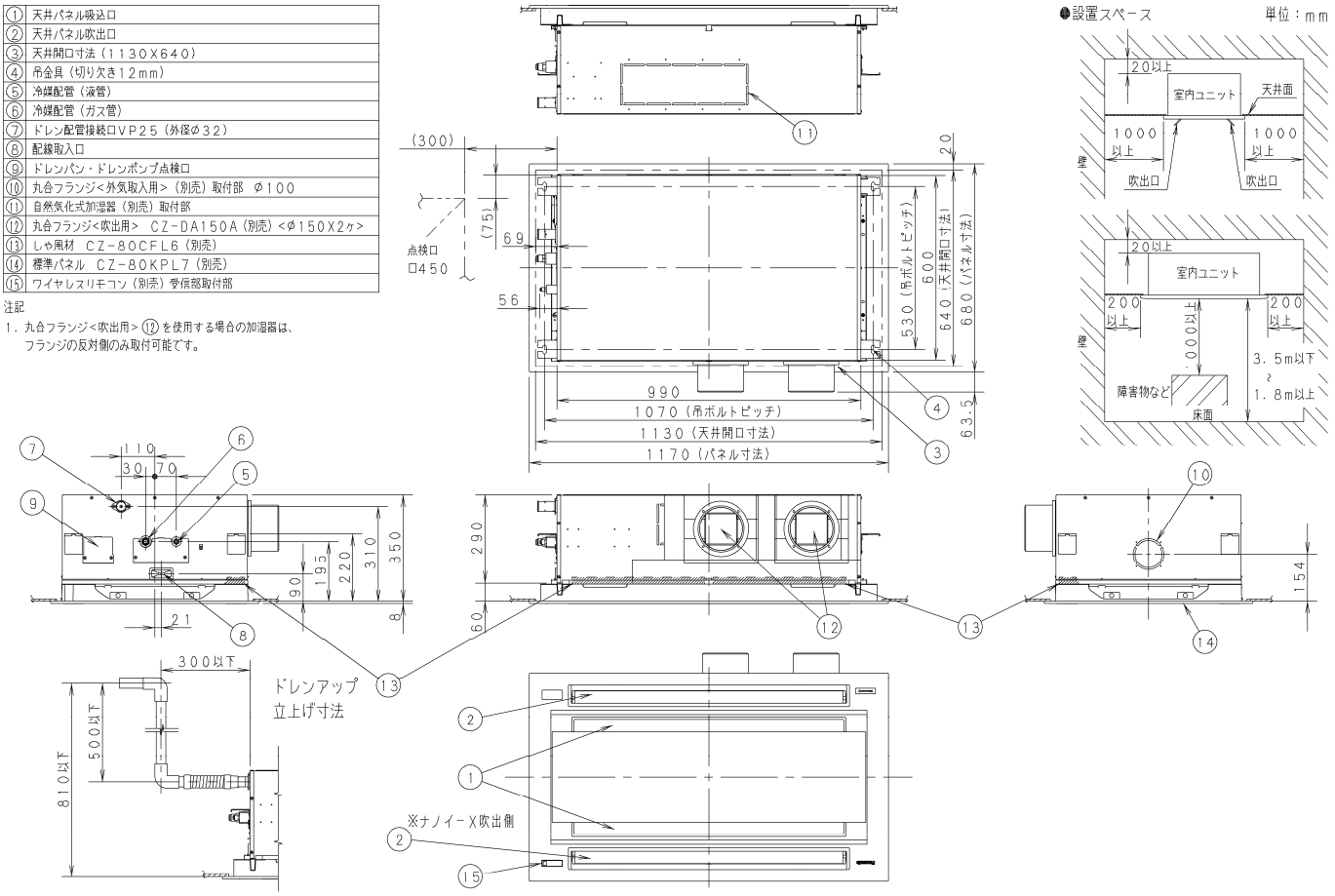


・CZ-DA150A〔適用機種：80 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑫	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<ø150X2ヶ>
⑬	しゃ風材　CZ-80CFL6（別売）
⑭	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

注記

1．丸合フランジ<吹出用>⑫を使用する場合の加湿器は、
フランジの反対側のみ取付可能です。



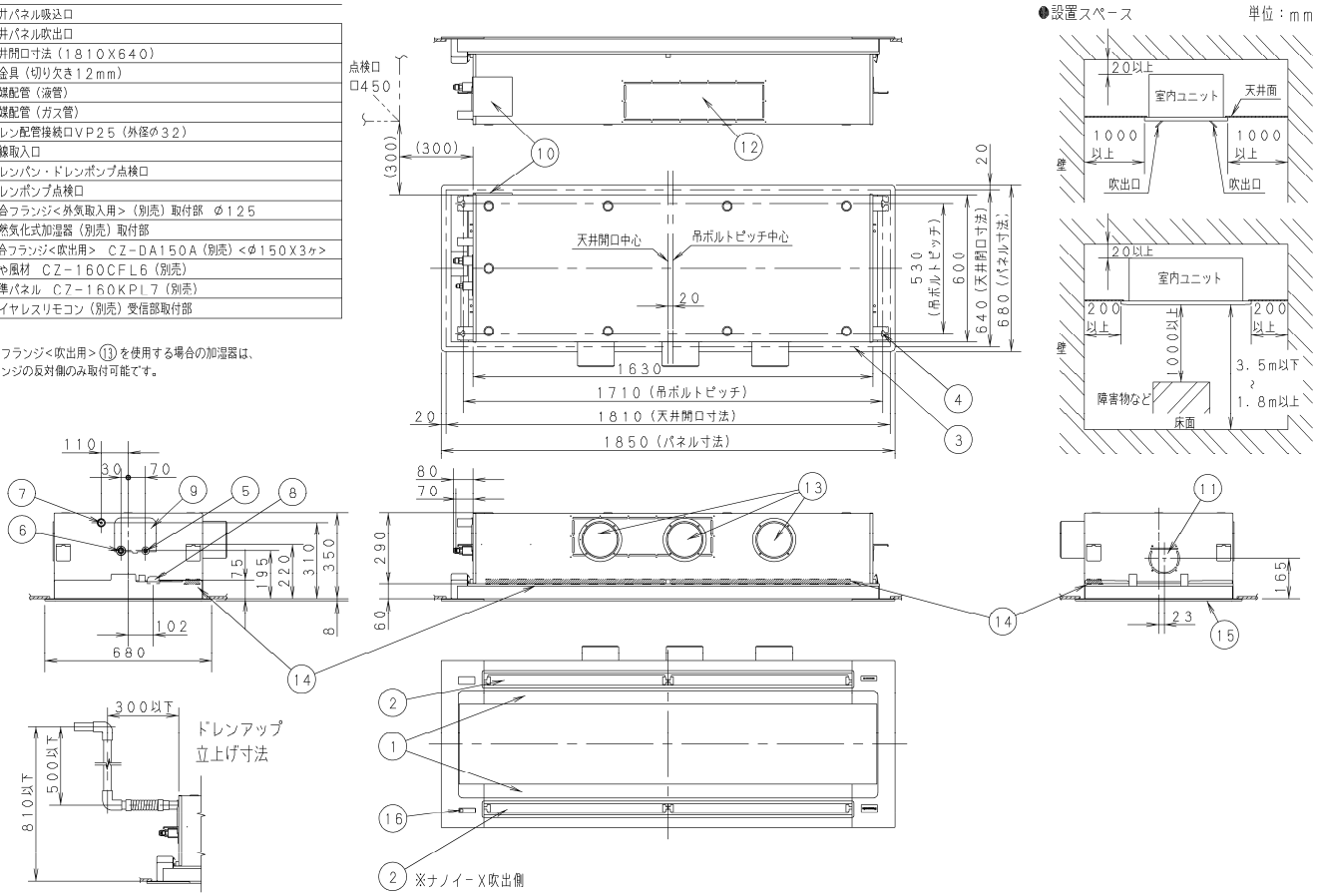
● 丸合フランジ（φ 150）取付図（標準パネル使用）

・CZ-DA150A〔適用機種：112 ～ 160 形〕

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ125
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑬	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<φ150X3ヶ>
⑭	しや風材　CZ-160CFL6（別売）
⑮	標準パネル　C7-160KPL7（別売）
⑯	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

注記

1．丸合フランジ<吹出用>⑬を使用する場合の加湿器は、
　フランジの反対側のみ取付可能です。



■ しゃ風材

●しゃ風材

据付工事説明書

しゃ風材

品番　CZ-80CFL6 CZ-160CFL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

品番	CZ-80CFL6	CZ-160CFL6
適合機種	22～90形	112～160形

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚　実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

⃠ ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

・しゃ風材は室内ユニット据え付け前に取り付けてください。
・しゃ風材は配管側から見て、右側のみ取り付けできます。
・しゃ風材は別売品の丸合フランジ（吹き出し用）・フレキシブルダクト等と併せて使用してください。
・丸合フランジの取付数は右表の通りです。
・丸合フランジに接続するダクトは、必ず断熱してください。
　また、ダクトと丸合フランジの接合部から冷気が漏れないように必ずシールしてください。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

	丸合フランジ取付数
22～90形	2個
112～160形	3個

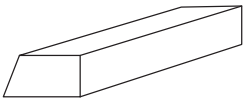
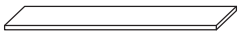
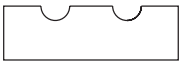
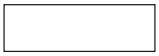
ACXF60-31524
BE0518 - 40823

●しゃ風材

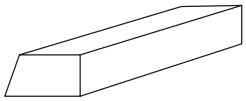
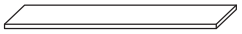
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

CZ-80CFL6

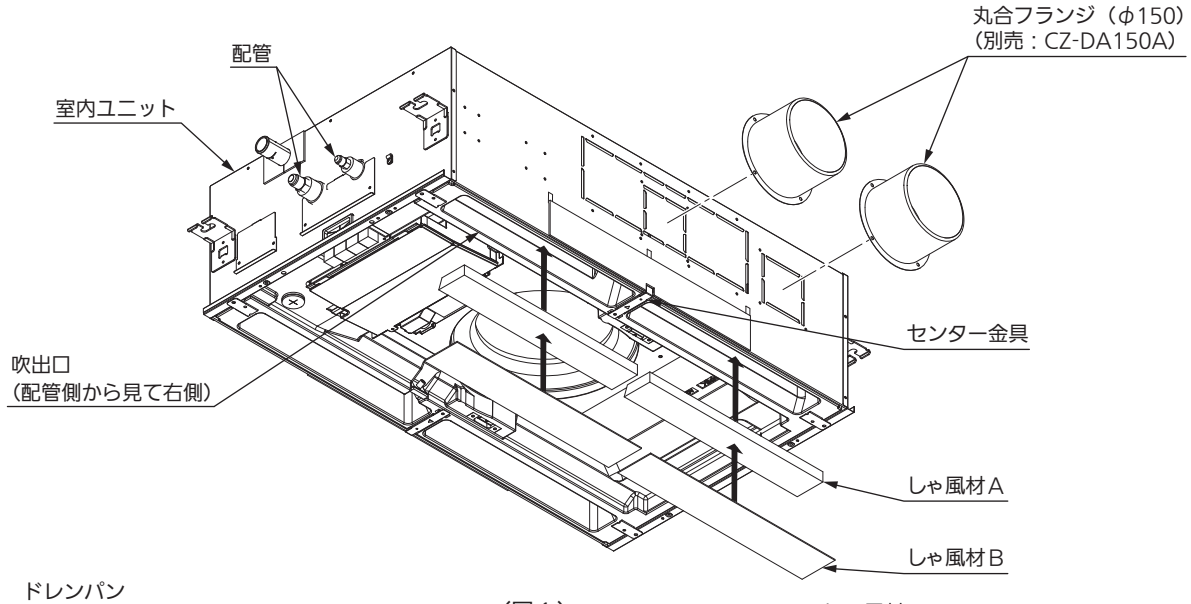
品名	据付工事説明書	しゃ風材A	しゃ風材B
個数	1	2	2
形状	 本説明書 お客さまに必ず渡してください	 432×64、T22	 460×82、T2
品名	断熱材A	断熱材B	断熱材C
個数	1	1	3
形状	 180×80、T10	 243×75、T3	 210×65、T3

CZ-160CFL6

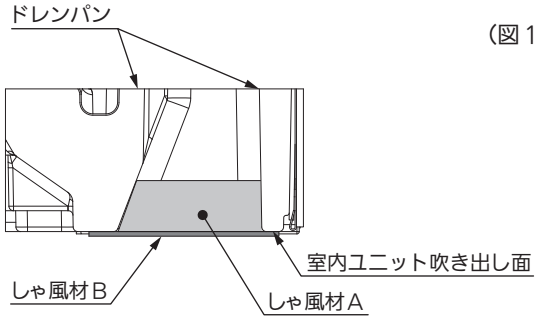
品名	据付工事説明書	しゃ風材A	しゃ風材B
個数	1	2	2
形状	 本説明書 お客さまに必ず渡してください	 729×64、T22	 755×87、T2

2. 取り付けかた

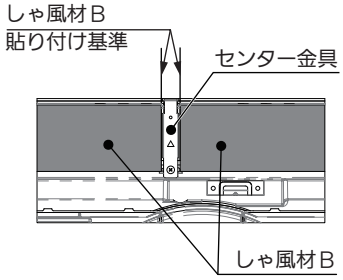
（1）しゃ風材A（2個）を吹出口の傾斜に合わせて、室内ユニット吹き出し面と同一まで挿入します。
（2）センター金具を避けて、しゃ風材Bをしゃ風材Aの上に貼ってシールします。



（図1）



（吹出口断面図）



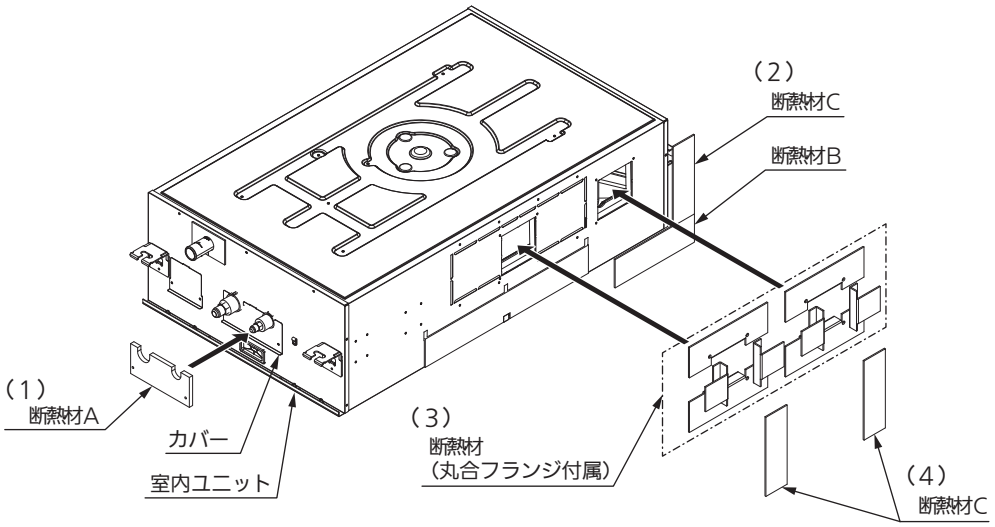
（しゃ風材B貼り付け図）

●しゃ風材

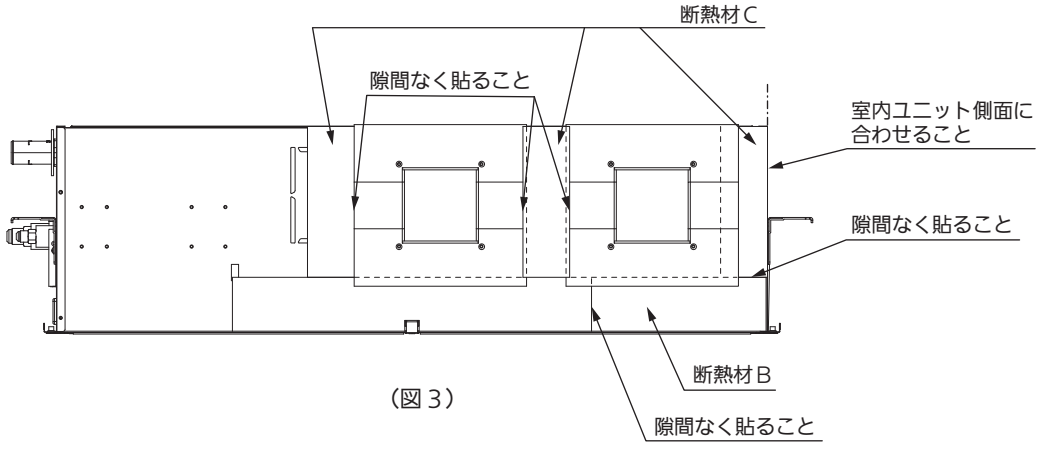
2 . 取り付けかた（22～90形のみ）

●CZ-80CFL6 には室内ユニット側面に追加する断熱材が含まれています。（結露防止のため）
下図を参照し、断熱材Ａ～Ｃを貼り付けてください。

（1）断熱材A（1 枚）を図 2 を参照して室内ユニット側面のカバー形状に合わせて貼り付けてください。
（2）断熱材Ｂ（1 枚）、断熱材Ｃ（1 枚）を図 2・図 3 を参照して貼り付けてください。
（3）丸合フランジに付属している断熱材を貼り付けてください。
　　貼り付けかたの詳細は、丸合フランジに付属している据付説明書を参照してください。
（4）断熱材Ｃ（2 枚）を図 2・図 3 を参照して貼り付けてください。



（図 2）



（図 3）

●DCファンモータータップの設定変更が必要です。
4ページ「3.ＤＣファンモータータップの設定変更」に従って、室内コントロール基板（ディップスイッチ）または
ワイヤードリモコンの設定を行ってください。

●しゃ風材

3. DCファンモータータップの設定変更

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合（2）/（3）ワイヤードリモコンで設定があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

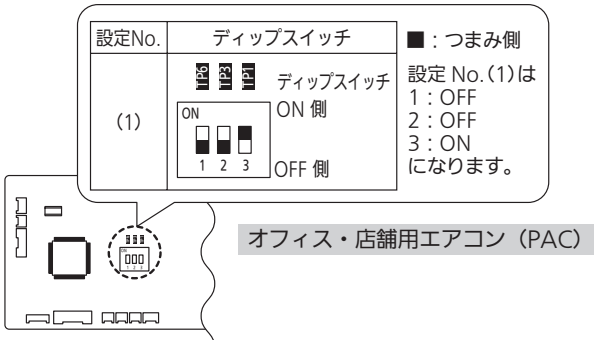
設定No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称 ※1
（出荷設定）	0000	標準（出荷設定）
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
（1）	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 65%）
		高性能フィルター（比色法 90%）
		しゃ風材・吹出ダクト ※2

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。

※2 .しゃ風材と吹出ダクトは、必ず併用してください。

（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

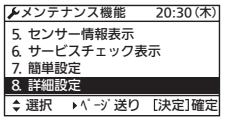


（図 4）室内コントロール基板

（2）ワイヤードリモコンで設定 ＜CZ-10RT4シリーズの場合＞



ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

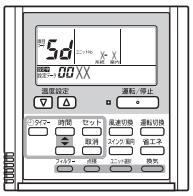


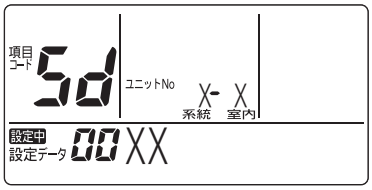


ユニット No.　項目コード　設定データ

（3）ワイヤードリモコンで設定 ＜CZ-10RT3の場合＞

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5ｄの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
①点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▽／△ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。





■ 断熱材キット

据付工事説明書

断熱材キット

品番　CZ-80INSL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

- 断熱材キットは 22 ～ 160 形まで共通で使用できます。
- 断熱材キットは室内ユニット据え付け前に取り付けてください。
- 断熱材キットを使用する場合、別売品の組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

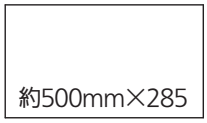
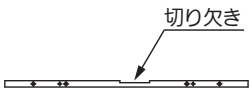
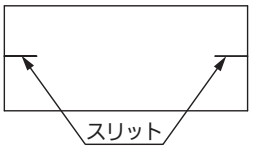
ACXF60-31375
BE0418 - 50823

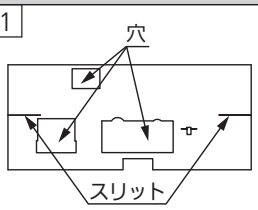
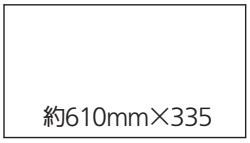
●断熱材キット

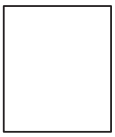
付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

●部品内容

品名	側板断熱材①	側板断熱材②	側板断熱材③	側板断熱材④
個数	4	2	2	1
形状	 ※⑧より小さい			

品名	側板断熱材⑤	側板断熱材⑥	側板断熱材⑦	天井断熱材⑧
個数	1	1	1	3
形状				 ※①より大きい

品名	吊金具断熱材⑨	据付工事説明書
個数	4	1
形状		 本説明書 お客さまに必ず渡してください

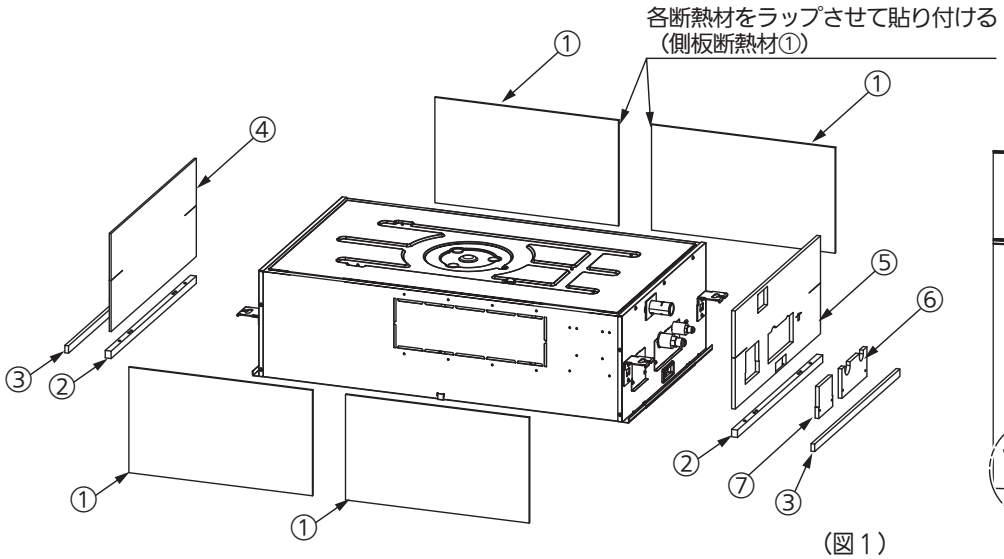
●断熱材キット

取り付けかた（22～90形）

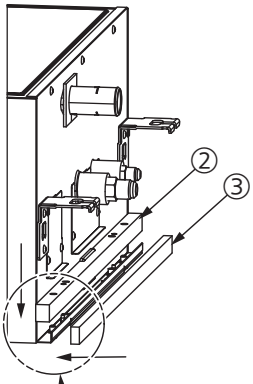
●貼付要領

＜室内ユニットを据え付ける前の作業＞
1．側板断熱材①を室内ユニットの長手面の角に合わせて貼り付けてください。（図１）
2．側板断熱材②を切り欠きを内側にして、室内ユニットの短手面のL字部分に差し込むように貼り付けてください。（図2）
3．側板断熱材③を側板断熱材②の形状に合わせて側面の金具部分を覆うように貼り付けてください。（図2）
4．側板断熱材④⑤のスリットを吊金具に合わせて貼り付けてください。（図１）
5．側板断熱材⑥⑦を金具形状に合わせて貼り付けてください。（図１）
6．天井断熱材⑧を隙間がないよう貼り付けてください。（図３）

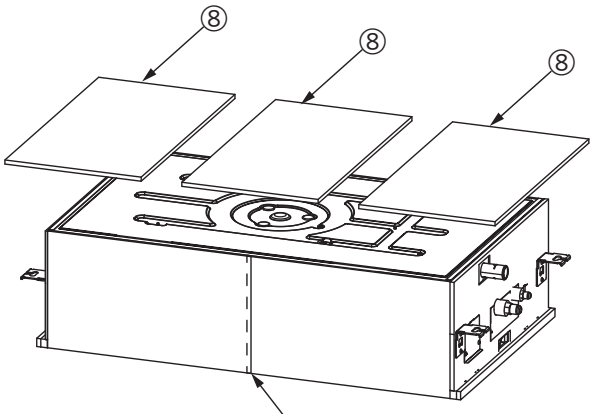
＜室内ユニットを据え付けた後の作業＞
7．吊金具断熱材⑨を図の方向で吊金具に貼り付けてください。（図４）
※吊金具断熱材⑨は、室内ユニットを据え付けるまで保管してください。



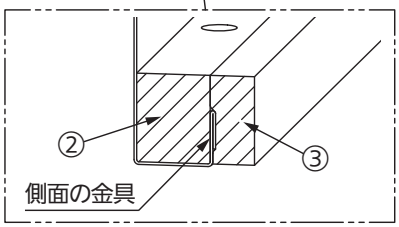
（図１）

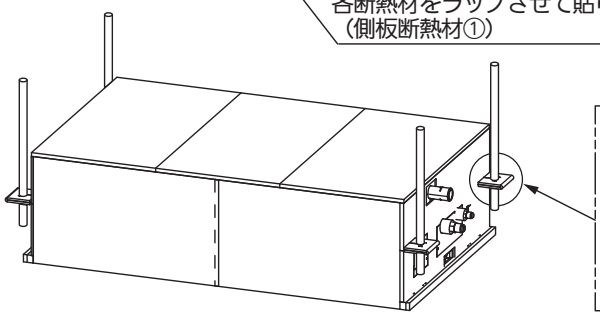


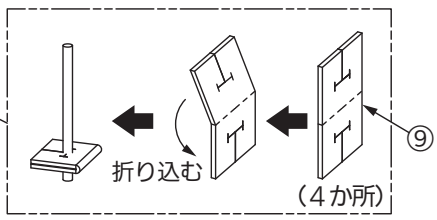
（図２）



（図3）







（図4）

●断熱材キット

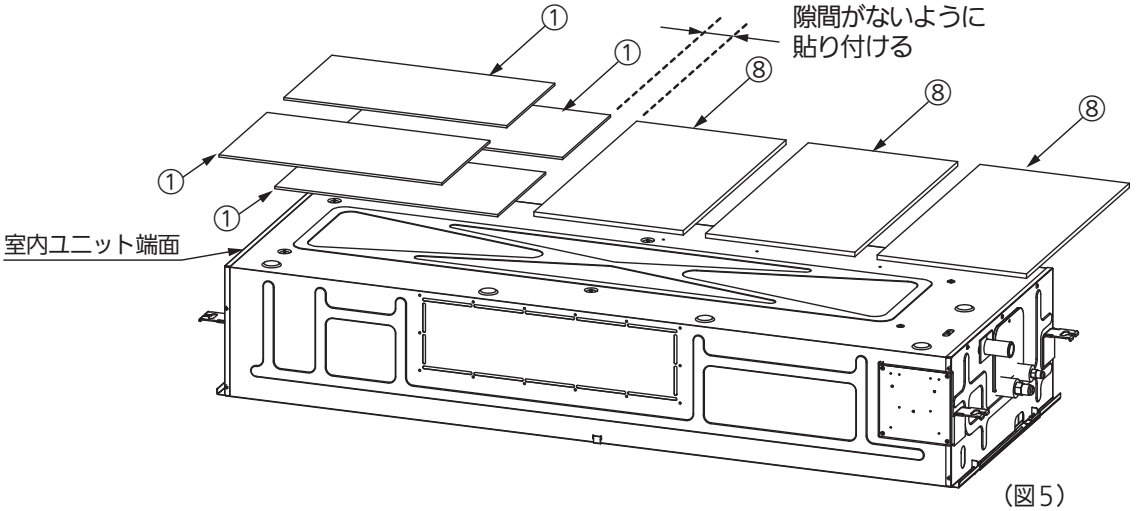
取り付けかた（112～160形）

●貼付要領

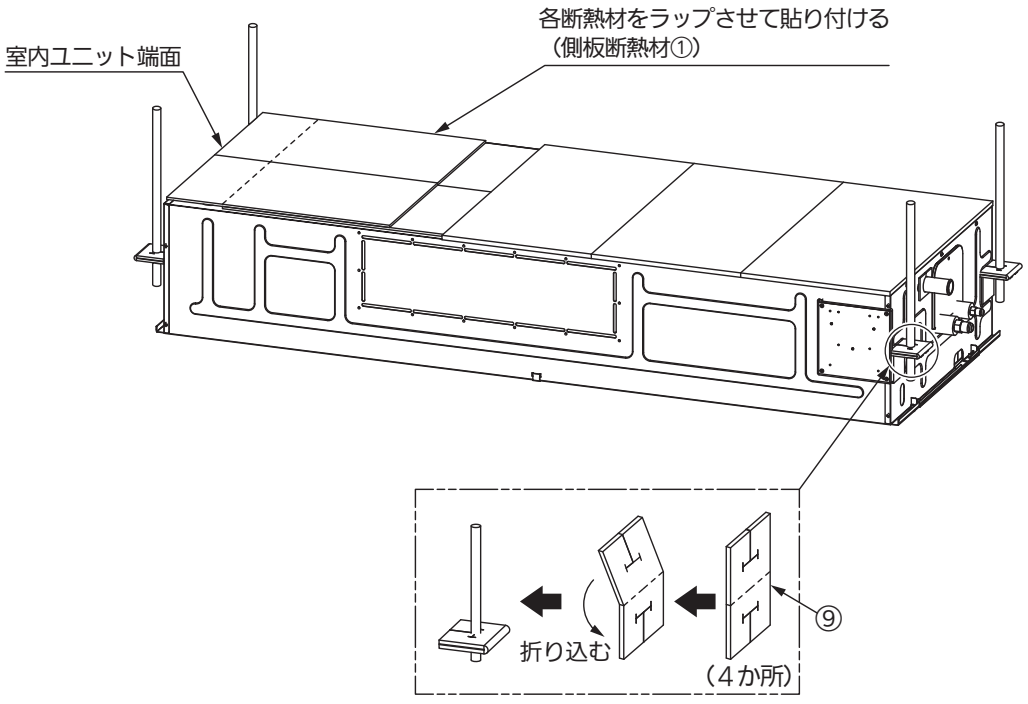
※112 ～ 160 形に取り付ける場合は、側板断熱材①と天井断熱材⑧を天面に、吊金具断熱材⑨を吊金具に貼り付けてください。それ以外の断熱材は使用しません。

＜室内ユニットを据え付ける前の作業＞
1．天井断熱材⑧を配管側から隙間がないよう貼り付けてください。（図 5）
2．側板断熱材①を天井断熱材⑧と室内ユニット端面との間に隙間がないように貼り付けてください。（図 5）

＜室内ユニットを据え付けた後の作業＞
3．吊金具断熱材⑨を図の方向で吊金具に貼り付けてください。（図 6）
※吊金具断熱材⑨は、室内ユニットを据え付けるまで保管してください。



（図5）



（図6）

別売品組合せ表

（●：組合せ必須部品、◎：組合せ推奨部品、○：組合せ可能部品、△：制約付きで可能、×：組合せできない部品）

部品名	吹出口グリル	昇降グリルメカキット	昇降グリル固定金具	自然気化式加湿器	外気取入・本体用ダクトフランジ（φ100）
吹出口グリル		○	○	×	○
昇降グリルメカキット	○		●	○	×
昇降グリル固定金具	○	●		○	×
自然気化式加湿器	×	○	○		○
外気取入・本体用ダクトフランジ（φ100）	○	×	×	○	

リモコン対応表

リモコン対応表	ワイヤードリモコン				ワイヤレスリモコン受信部※4		リモコン（別売品）の設置可能台数
	多機能ワイヤードリモコン	ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	簡単リモコン	ワイヤレスリモコン組込み受信部タイプ	ワイヤレスリモコン別置受信部タイプ	
エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合	◎	×	△※5	×	△※5	△※5	1台
エコナビセンサー（壁設置形）を使用しない場合	◎	◎	◎	◎	○	○	2台
昇降グリル付天井パネルを使用する場合	◎	◎	△※6	△※6	○	○	2台

<エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合>リモコンは多機能ワイヤードリモコンを基本として使用ください。<多機能ワイヤードリモコンを使用する場合>多機能ワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください<多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合>その他のワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。

※4 ワイヤレスリモコンは、受信部（組込み受信部タイプもしくは別置受信部タイプ）と送信部が必要です。※5 多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合、△印のリモコンはエコナビ機能のON/OFFが可能です。※6 昇降操作専用リモコン、多機能ワイヤードリモコン、またはワイヤレスリモコンと併用してください。併用しない場合は、「昇降グリル」が動作しません。

●天井パネル（CZ-03KPD4）
■取付説明

取付説明書　天井パネル

品番　　CZ-03KPD4
適用室内ユニット　高天井用１方向カセット形　Dシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

●据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取付説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

⚠警　告

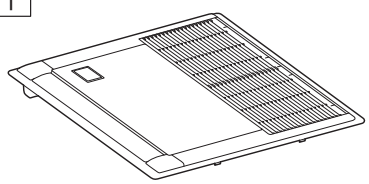
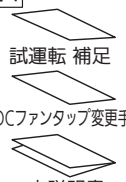
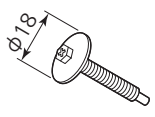
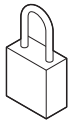
- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および室内ユニットの「据付工事説明書」に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠注　意

- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

1. 付属品

付属品は取付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	天井パネル	取付説明書	座付ネジ	ネ　ジ	ネ　ジ	短絡コネクタ
個数	1	各1	4　M5X40	2　4X12	2　4X35	1　(2P黄色)
形状				 サイドパネル固定用	 パネル前後中央部固定用	 高天井設定時使用

ACXF60-21113
85464369753002
PA0813-30823

●天井パネル

2. 天井パネル取り付け前の準備

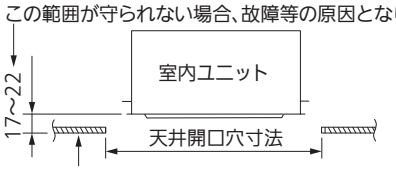
(1)室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記寸法であるか確認します。
1190mm×760mm

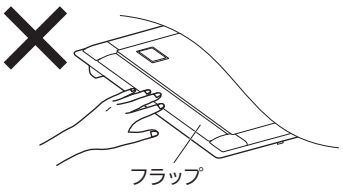
②天井面と室内ユニットの位置が図1のようになっているか確認します。天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

- パネルを下向きに置くことや、立てかけ、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップに無理な力を加えないでください。
（フラップの故障の原因となります。）

必ず室内ユニットの吊金具下面と天井面の寸法が
17～22mmの範囲に調整すること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。



(図1)



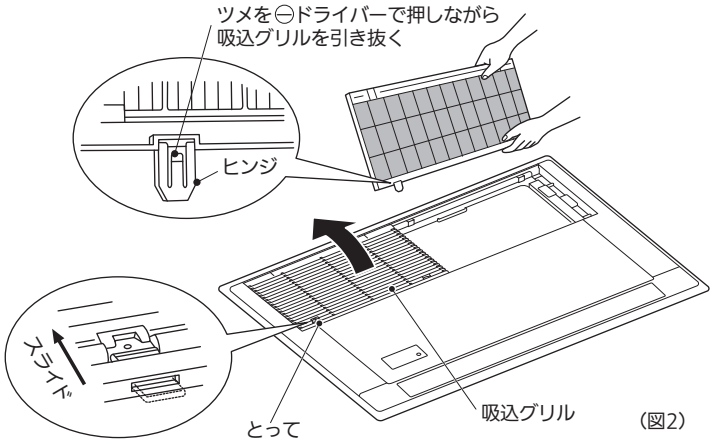
3. 室内ユニットへの取り付けかた

(1)吸込グリルの取りはずし

吸込グリル取りはずし

吸込グリルのとって(2か所)を矢印方向にスライドし、
吸込グリルを開いてください。

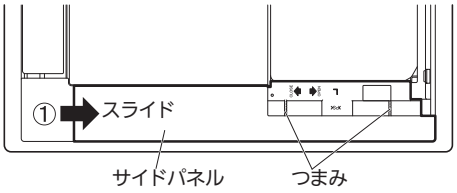
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ(2か所)のツメ部を
⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。
(図2)



(図2)

(2)サイドパネルの取りはずし

サイドパネルのつまみをもって矢印 ① の方向へスライドし、取りはずします。(左右2か所)(図3)



(図3)

(3)天井パネルの取り付け

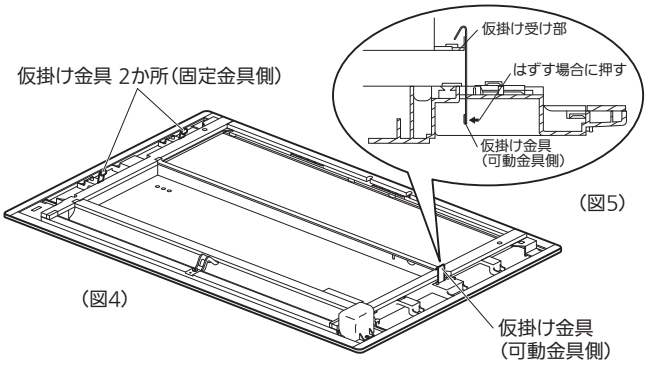
①天井パネル両サイドに付いている仮掛け金具を室内ユニットに引っ掛けます。仮掛け金具は片側(2か所)が固定式、もう一方が可動式となっています。(図4)

②パネルをやや斜めにしてパネルの固定金具を室内ユニット側面の仮掛け受け部に引っかけます。

③フックがかかっていることを確認したらパネルのもう一方を天井パネルが水平になるように押し上げ、可動金具が室内ユニットの仮掛け受け部にかかるまで押し上げてください。

④天井パネル両側の仮掛け金具が室内ユニットに確実にかかっていることを確認してから手を放してください。
これでパネルが室内ユニットに仮掛けされています。

- はずす場合は天井パネルを支えながら可動金具を内側に押してください。(図5)



(図5)
(図4)

●天井パネル

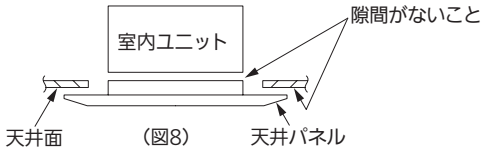
⑤パネルの取付穴と室内ユニットのネジ穴を合わせます。

⑥付属の座付ネジ（M5×40）でパネル取付部の4か所を室内ユニットに密着するまで締め込みます。（図6）

⑦パネル中央部（前後2か所）を付属のネジ（4×35）で締め込みます。吹き出し部中央は図のようにネジカバーを開け、ネジ固定後、閉めてください。（図7）

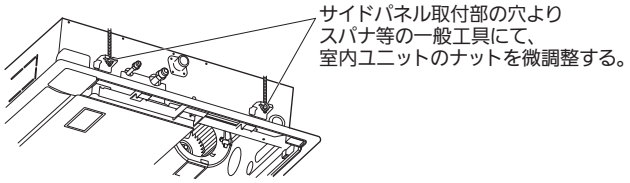
⑧パネルが天井に密着したことを確認します。

● この時、室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面との間に隙間がないようにしてください。（図8）

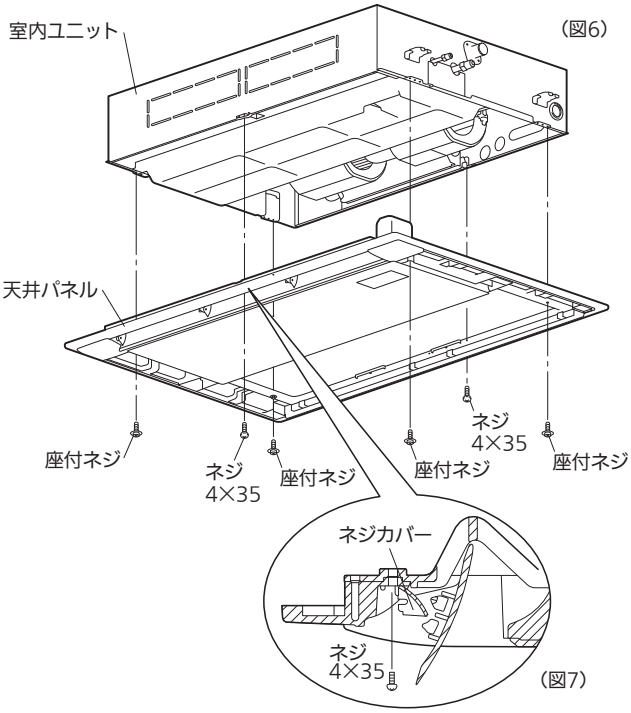


（図8）

● 天井との隙間が生じた場合、天井パネルを取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。（図9）



（図9）

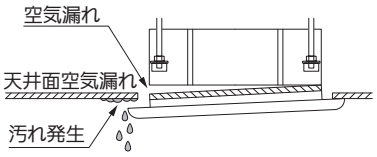


（図6）

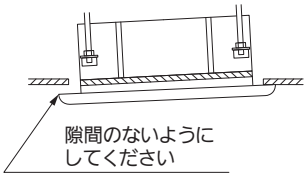
（図7）

ご　注　意

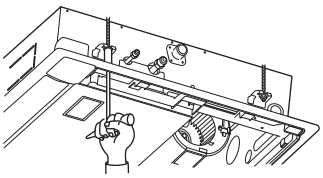
● ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



● ネジを締め込んでも天井面と天井パネルとの間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であれば天井パネルのサイドパネル取付部の穴より天井パネルを取り付けたまま本体の高さ調整ができます。



(4)天井パネルの配線方法

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。（図10）

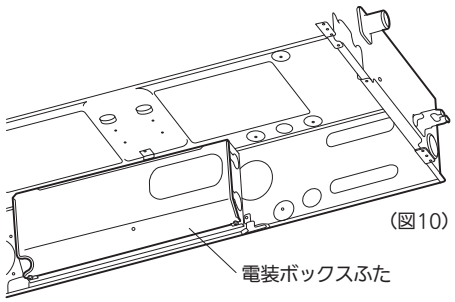
②天井パネルから出ている配線コネクタ7P（赤）を本体側リード線クランパー（2か所）で固定してから室内ユニットの電装ボックス内のコネクタに接続してください。（図11）

● コネクタを接続しないと、リモコンに“P09”が表示され、オートフラップが動作しないので、確実に接続してください。

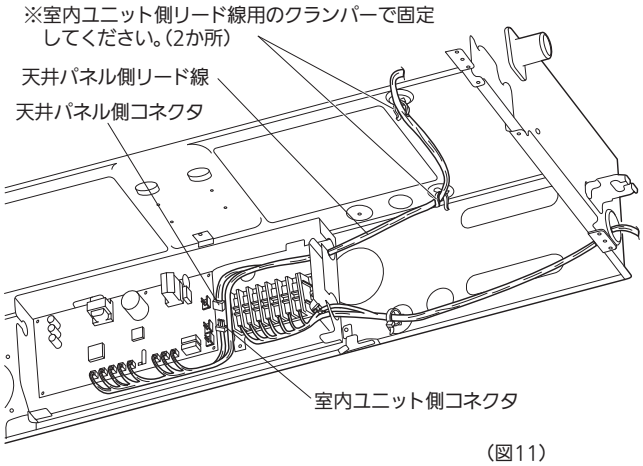
● 配線コネクタが電装ボックスとふたの間にはさみ込んでいないことを確認してください。

● 配線コネクタが室内ユニットと天井パネルの間にはさみ込んでいないことを確認してください。

● ファン回転数の設定は同梱のDCファンタップ変更手順を参照してください。短絡コネクタの使用方法が記載してあります。



（図10）



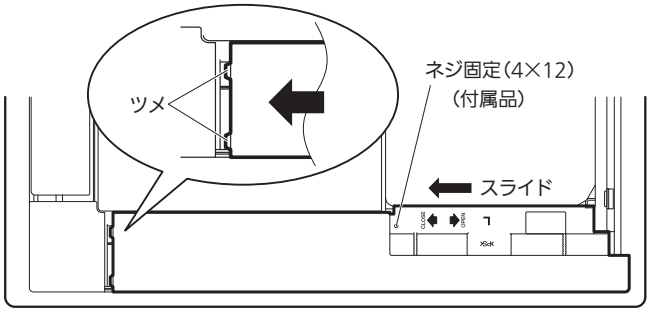
（図11）

●天井パネル

(5)サイドパネル・吸込グリルの取り付け

A.サイドパネルの取り付け

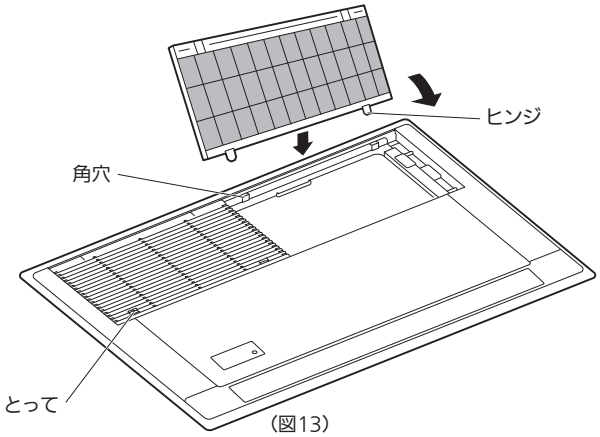
①サイドパネルを矢印の方向へスライドし、サイドパネルを取り付けます。(図12)
②サイドパネルを天井パネルに、付属のネジ(4×12)で取り付けてください。



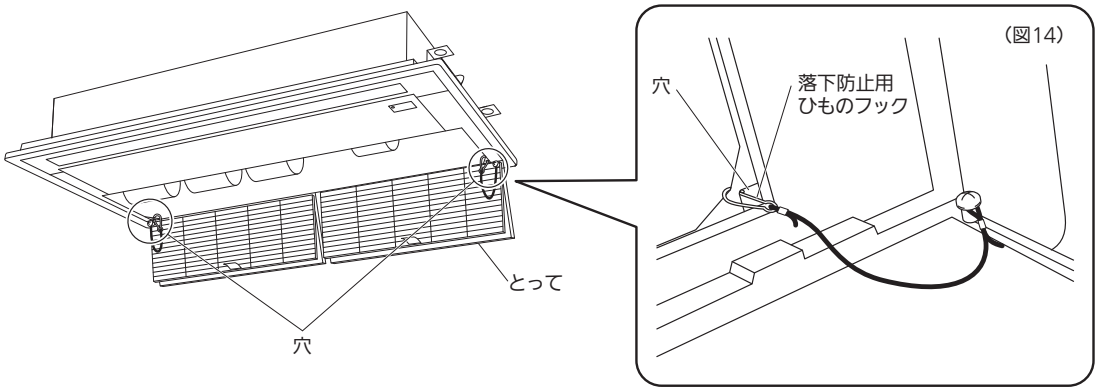
サイドパネルのツメを天井パネルに引っかけるように
スライドして取り付けたのち、付属のネジ(4×12)で固定してください。
(図12)

B.吸込グリルの取り付け

● 取付方法は吸込グリルの取りはずしの項と逆に作業を行ってください。
①パネルの角穴に吸込グリルのヒンジを"カチッ"とするまで差し込んでください。
②吸込グリル落下防止用ひものフックをパネルの穴に取り付けてください。(図14)
③吸込グリルのとってをスライドして確実に差し込んでください。
● 吸込グリルはパネルに確実に取り付けること。
※取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下によりけがの原因になります。
● 吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないよう注意してください。(図13)



(図13)



(図14)

4. その他

A.据え付け後の確認

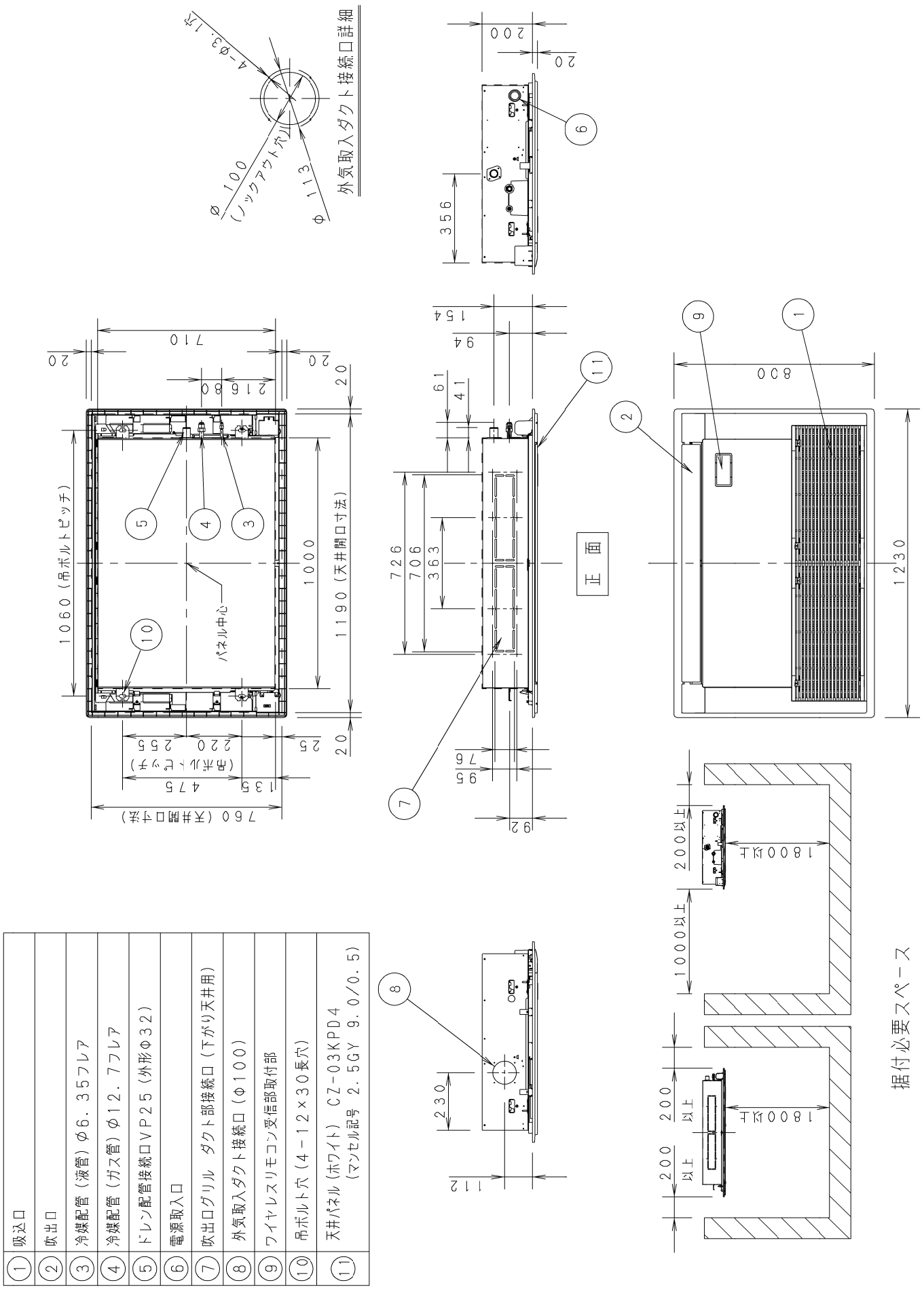
● 室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
● 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されてないとオートフラップが動かない(リモコンにP09の表示が出ます)、また水漏れや露付の原因となります。

B.ワイヤレスリモコン対応の場合

● 取付方法の詳細は、別売品ワイヤレスリモコン本体組込受信部タイプに付属の据付説明書を参照してください。

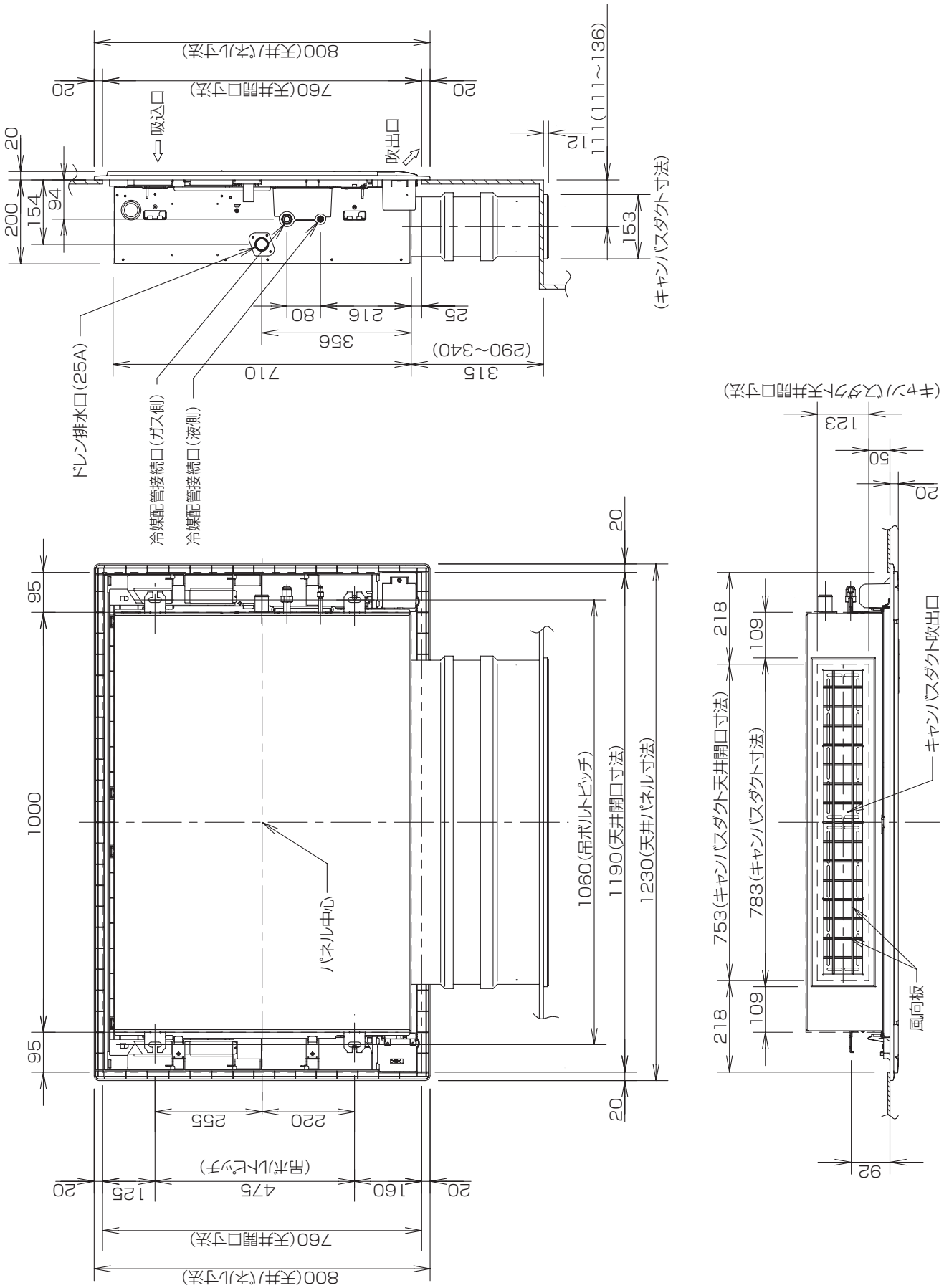
上記項目を確認した後、この説明書と室内ユニットおよび別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。
その際、室内ユニットの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。

●天井パネル（CZ-03KPD4）
■取付図



①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）Φ6．35フレア
④	冷媒配管（ガス管）Φ12．7フレア
⑤	ドレン配管接続口VP25（外形Φ32）
⑥	電源取入口
⑦	吹出口グリル　ダクト部接続口（下がり天井用）
⑧	外気取入ダクト接続口（Φ100）
⑨	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑩	吊ボルト穴（4－12×30長穴）
⑪	天井パネル（ホワイト）　CZ-03KPD4 （マンセル記号 2.5GY 9.0/0.5）

●吹出口グリル（下がり天井仕様用）〈DKT-CSL80B〉
■取付図

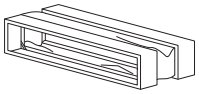
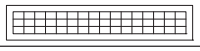
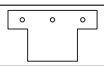


●吹出口グリル

85464359768002

1. 付属品

付属品は取付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

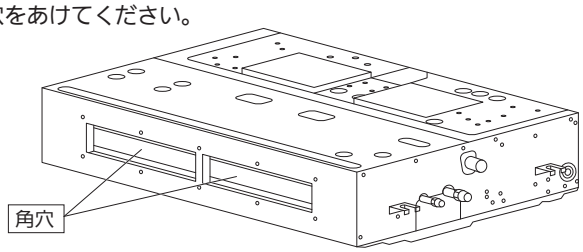
名　称	形　状	個数	備　考
キャンバスダクト		1	
吹出口グリル		1	
断熱材①		4	室内ユニット吹出口シール用
断熱材②		2	室内ユニット吹出口シール用
断熱材③		1	室内ユニット吹出口シール用
仮掛け金具		4	ダクト仮掛け用
風向調整板		2	2 方向下がり天井方式時使用
風量調整板		1	2 方向下がり天井方式時使用 （両面テープ付）
しゃ風材		1	1 方向下がり天井方式時使用
しゃ風材シール（長）		2	1 方向下がり天井方式時使用
しゃ風材シール（短）		2	1 方向下がり天井方式時使用
断熱材④(白)		2	別売天井パネル吹出口断熱用
断熱材⑤(白)		1	別売天井パネル吹出口断熱用
ネジ		8	4×8（仮掛け金具、風向調整板用）
		10	4×16（ダクト用）
ネジ（黒）		4	M4×50（グリル用）
取付工事説明書 設定方法 試運転 補足		各 1	

※このキャンバスダクト・吹出口グリルのご使用方法は、「2 方向下がり天井方式」および「1 方向下がり天井方式」の 2 種類があります。
「2 方向下がり天井方式」で使用する場合は、以下の手順に従ってください。
「1 方向下がり天井方式」で使用する場合は、2 ページをご覧ください。

2.「2 方向下がり天井方式」で使用する場合

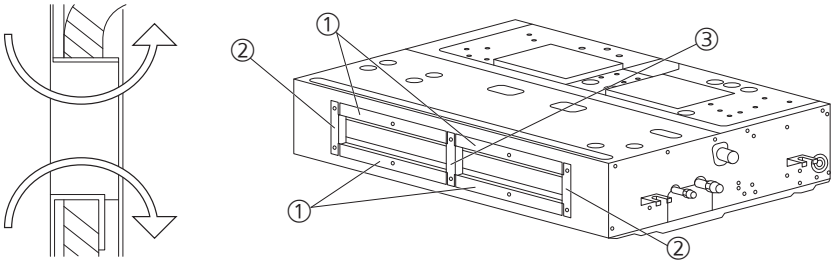
（1）室内ユニットの前面部に角穴（2 か所）をあけてください。

●板金のスリット部のつなぎ目をニッパ等で切断し、さらにカッターで断熱材を切り取って角穴をあけてください。



（2）室内ユニットに断熱材を貼り付けてください。

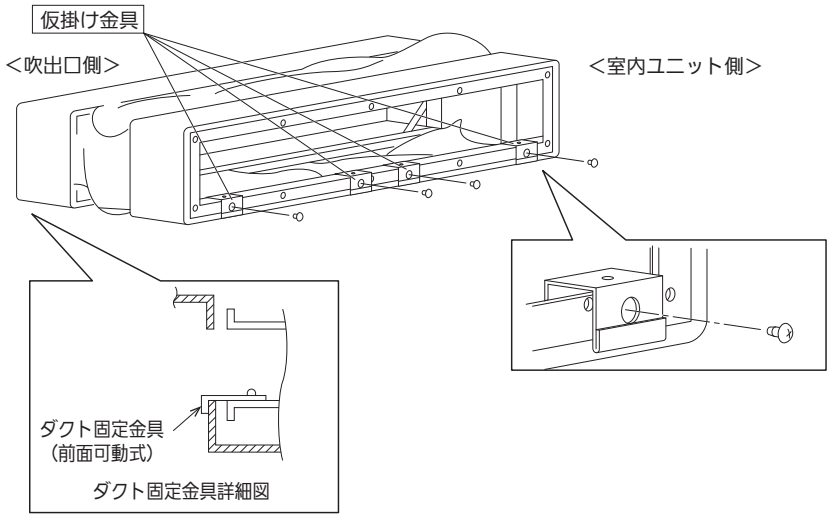
●図のように、断熱材①、②、③をネジ穴に合わせて貼り付けてください。
断熱材は左図のように、穴の後側までしっかり貼り付けてください。



●吹出口グリル

(3) キャンバスダクトに仮掛け金具を取り付けてください。

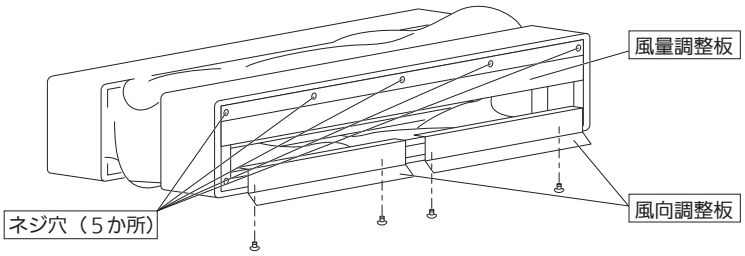
●図のようにキャンバスダクトの後面の下側に、仮掛け金具をネジ（4×8）で固定してください。
ネジ止めは図のように、金具の穴を通して行ってください。



（ご注意）
キャンバスダクトはダクト固定金具のある方を下側にしてください。

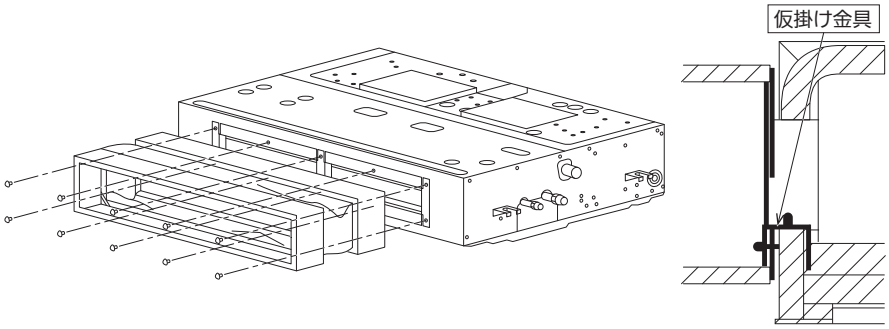
(4) 仮掛け金具に風向調整板、キャンバスダクトに風量調整板を取り付けてください。

●図のように仮掛け金具に風向調整板をネジ（4×8）で固定してください。
●図のようにキャンバスダクトに風量調整板を両面テープで貼り付けてください。
このときネジ穴を合わせるように取り付けてください。



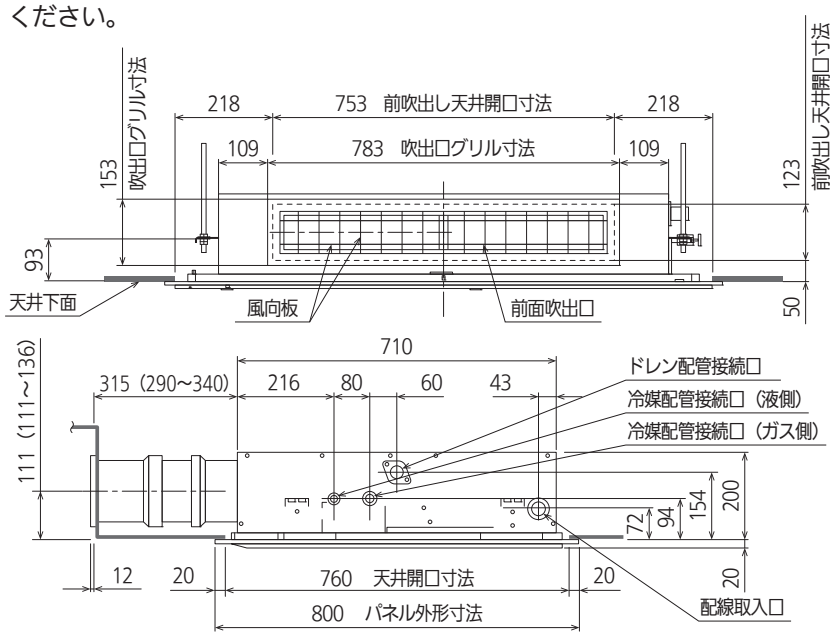
(5) キャンバスダクトを室内ユニットにネジで固定してください。

●キャンバスダクトは、室内ユニットの吹出口から手を差し込み、押し下げるようにして、仮掛け金具を角穴に固定してください。
●仮掛け金具を製品本体の角穴に引っかけ、ネジ（4×16）で固定してください。
（両面テープで貼り付けた風量調整板は共締めとなります。）



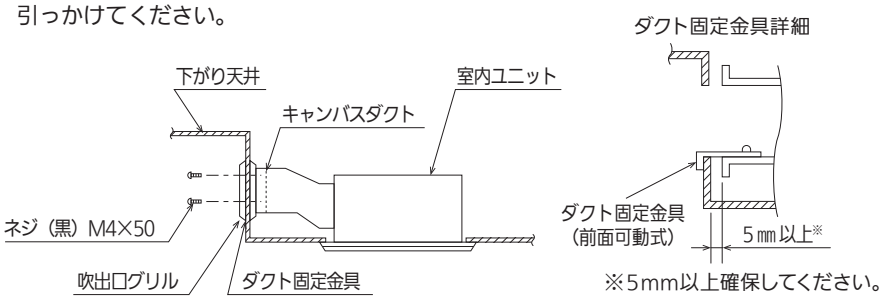
●吹出口グリル

(6) 下がり天井に、吹出口グリルを取り付ける角穴（753×123）をあけてください。



(7) 吹出口グリルを下がり天井をはさんでキャンバスダクトにネジ（黒）M4×50で固定してください。

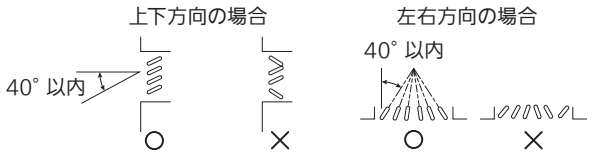
●吹出口グリルを取り付ける前にダクト固定金具を吹出口グリル取付用角穴の下面に引っかけてください。



(8) 吹出口グリルの風向を調節してください。

●上下方向は吹出口グリルの水平風向調整羽根を、左右方向は吹出口グリルの垂直風向調整羽根を室内の温度分布が最適になるように調整してください。

●羽根の傾き角度は 40° 以内にしてください。
40° を超えると冷房運転時露付きを起こすおそれがあります。



（ご注意）
吹出口グリルの風向調整羽根は、風の流れを妨げるような急な曲げ方をしないでください。
吹出口から水滴落下の原因となります。

(9) 別売天井パネルを取り付けてください。

●別売天井パネルの取り付けは、別売天井パネルに付属の説明書をご参照ください。

(10) リモコンで風量アップの設定をしてください。

●「2 方向下がり天井方式」の場合は、風量の調節が必要となりますので天井パネルに付属の「2 方向下がり天井方式」の場合の設定方法に従い設定してください。
変更方法は、ワイヤードリモコンで設定する場合と、基板から設定する場合の 2 種類があります。

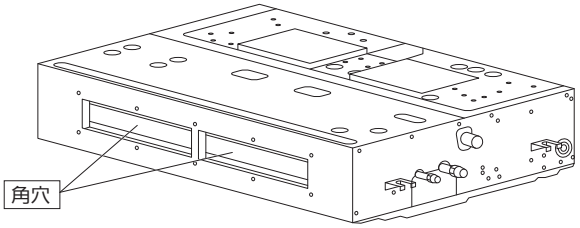
（ご注意）
風量アップの設定を行わない場合、風量減少・露付の原因となります。

●吹出口グリル

3.「1 方向下がり天井方式」で使用する場合

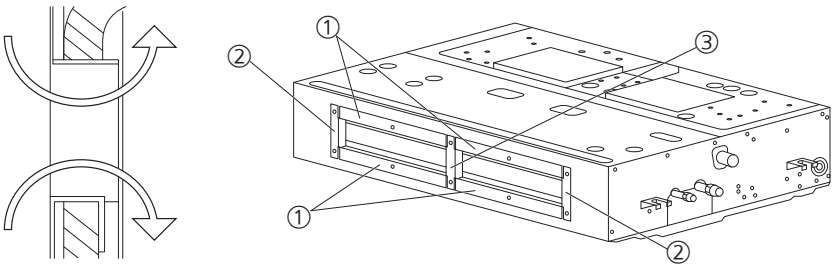
（1）室内ユニットの前面部に角穴（2 か所）をあけてください。

●板金のスリット部のつなぎ目をニッパ等で切断し、さらにカッターで断熱材を切り取って角穴をあけてください。



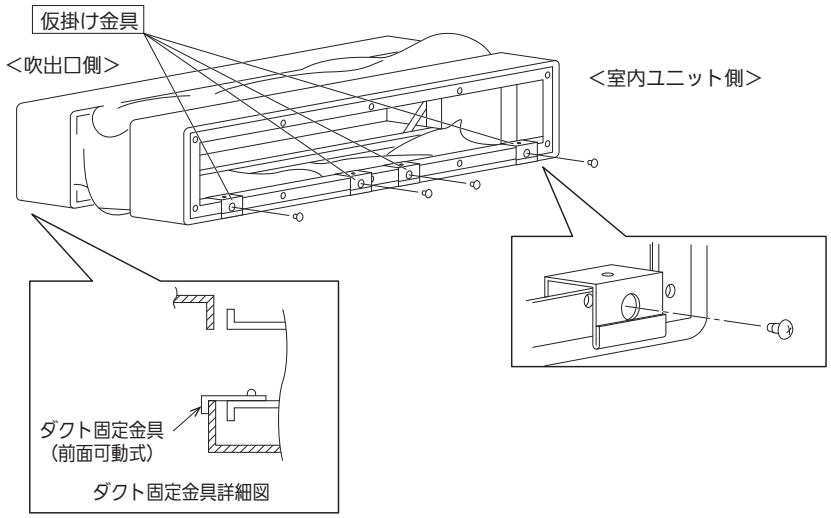
（2）室内ユニットに断熱材を貼り付けてください。

●図のように、断熱材①、②、③をネジ穴に合わせて貼り付けてください。
断熱材は左図のように、穴の後側までしっかり貼り付けてください。



（3）キャンバスダクトに仮掛け金具を取り付けてください。

●図のようにキャンバスダクトの後面の下側に、仮掛け金具をネジ（4×8）で固定してください。
ネジ止めは図のように、金具の穴を通して行ってください。

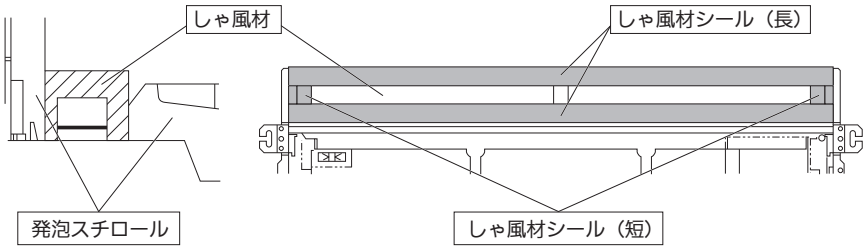


（ご注意）
キャンバスダクトはダクト固定金具のある方を下側にしてください。

●吹出口グリル

(4) 室内ユニットの吹出口にしゃ風材を取り付けてください。

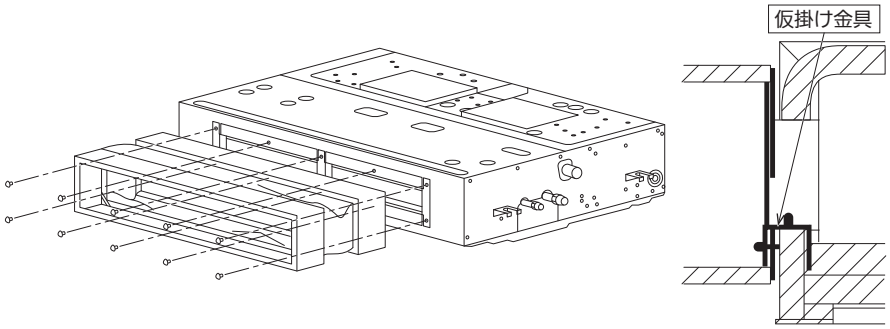
●付属のしゃ風材を吹出口につめ込み、さらにその上からしゃ風材シール（長）、（短）を図のように貼り付けて塞いでください。



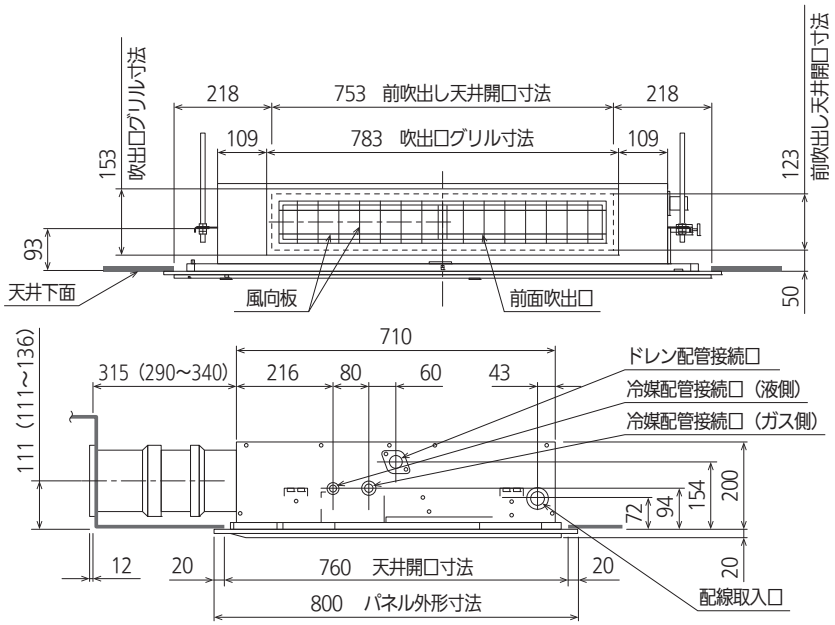
（ご注意）
しゃ風材シールは、しゃ風材と発泡スチロールとの隙間を塞ぐために使用します。
特に、しゃ風材シール（短）は、段差に合わせて隙間ができないように貼り付けてください。

(5) キャンバスダクトを室内ユニットにネジで固定してください。

●仮掛け金具を製品本体の角穴に引っかけ、ネジ（4×16）で固定してください。



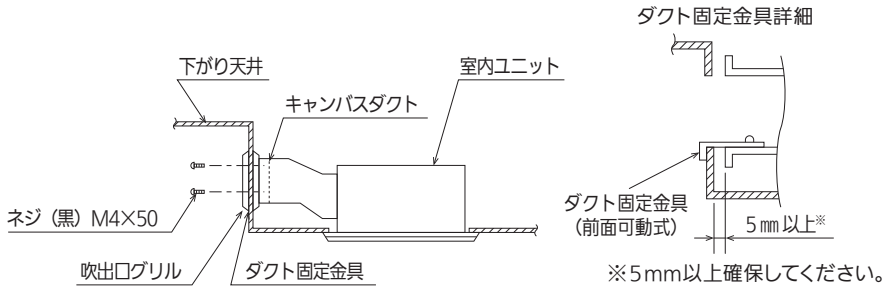
(6) 下がり天井に、吹出口グリルを取り付ける角穴（753×123）をあけてください。



●吹出口グリル

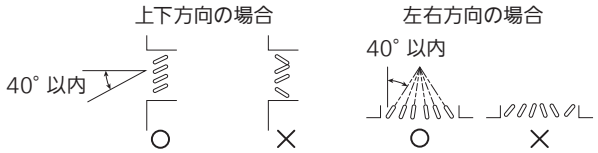
(7) 吹出口グリルを下がり天井をはさんでキャンバスダクトにネジ（黒）M4×50で固定してください。

●吹出口グリルを取り付ける前にダクト固定金具を吹出口グリル取付用角穴の下面に引っかけてください。



(8) 吹出口グリルの風向を調節してください。

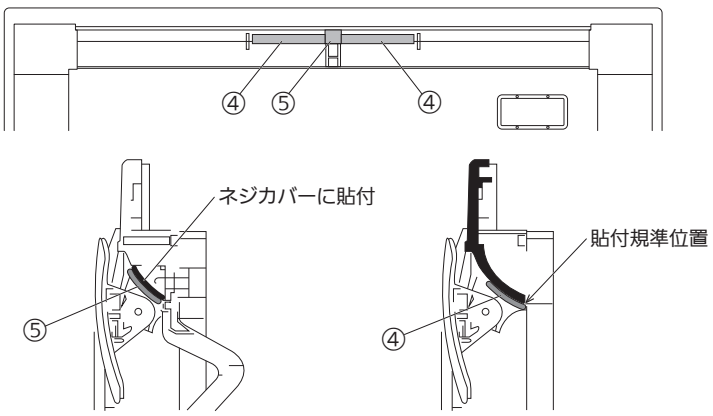
●上下方向は吹出口グリルの水平風向調整羽根を、左右方向は吹出口グリルの垂直風向調整羽根を室内の温度分布が最適になるように調整してください。
●羽根の傾き角度は 40° 以内にしてください。
40° を超えると冷房運転時露付きを起こすおそれがあります。



（ご注意）
吹出口グリルの風向調整羽根は、風の流れを妨げるような急な曲げ方をしないでください。
吹出口から水滴落下の原因となります。

(9) 別売天井パネルを取り付けてください。

●別売天井パネルの取り付けの前に、下図のように別売天井パネルの吹出口のネジカバー部、ネジカバーの両側に、断熱材④、⑤（白）を貼り付けてください。
●別売天井パネルの取り付けは、別売天井パネルに付属の説明書をご参照ください。
●「1 方向下がり天井方式」で使用する場合は、別売天井パネルに付属の説明書に記載の配線方法に従って配線を行った後、室内ユニット基板のルーバモーターのコネクタ（白 5P：CN033）をはずしてください。
●フラップは、別売天井パネルの取り付け後、両端を手で支えて閉じてください。



(10) リモコンでフラップ非表示の設定をしてください。

●リモコンのフラップ表示が不要となりますので、別紙の「1 方向下がり天井方式で使用する場合の設定方法」に従い設定をしてください。

85465759154002

リモコンのフラップ表示を非表示に変更する場合は、本説明書に従い作業を行ってください。

「1方向下がり天井方式」で使用する場合の設定方法

<手順>詳細モード設定を行うと、詳細設定操作を行っているリモコンに接続されている、個別またはグループ制御室内ユニットは停止します。

① 点検 + セット + 取消 ボタンを同時に4秒間以上押します。

② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
（リモコンの液晶部に、設定中 とユニットNo、項目コード、詳細データが点滅表示されます。）

③ 温度設定 ▲▼ ボタンで項目コード「62」を指定します。

④ 時間 ▲▼ ボタンで設定データを「0000」に変更します。

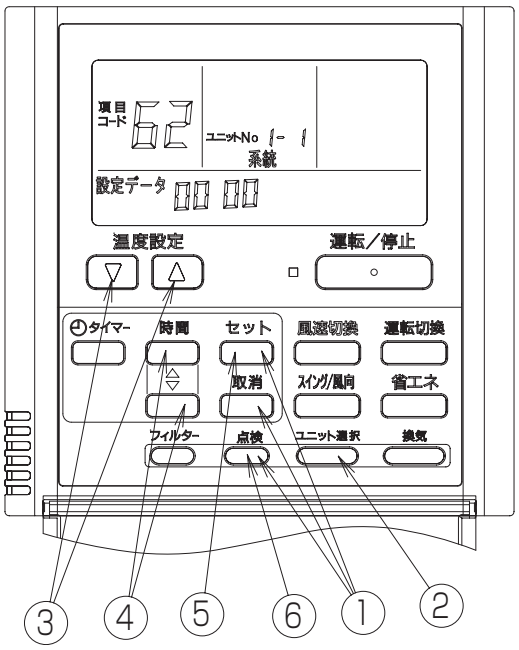
⑤ セット ボタンを押します。
（表示が点滅から点灯に変わればOK）

＊項目コード　48, 19、に対しても、上記の③ ～ ⑤ の設定をおこなってください。
設定データの内容は下記のようになっています。
リモコン表示　設定表

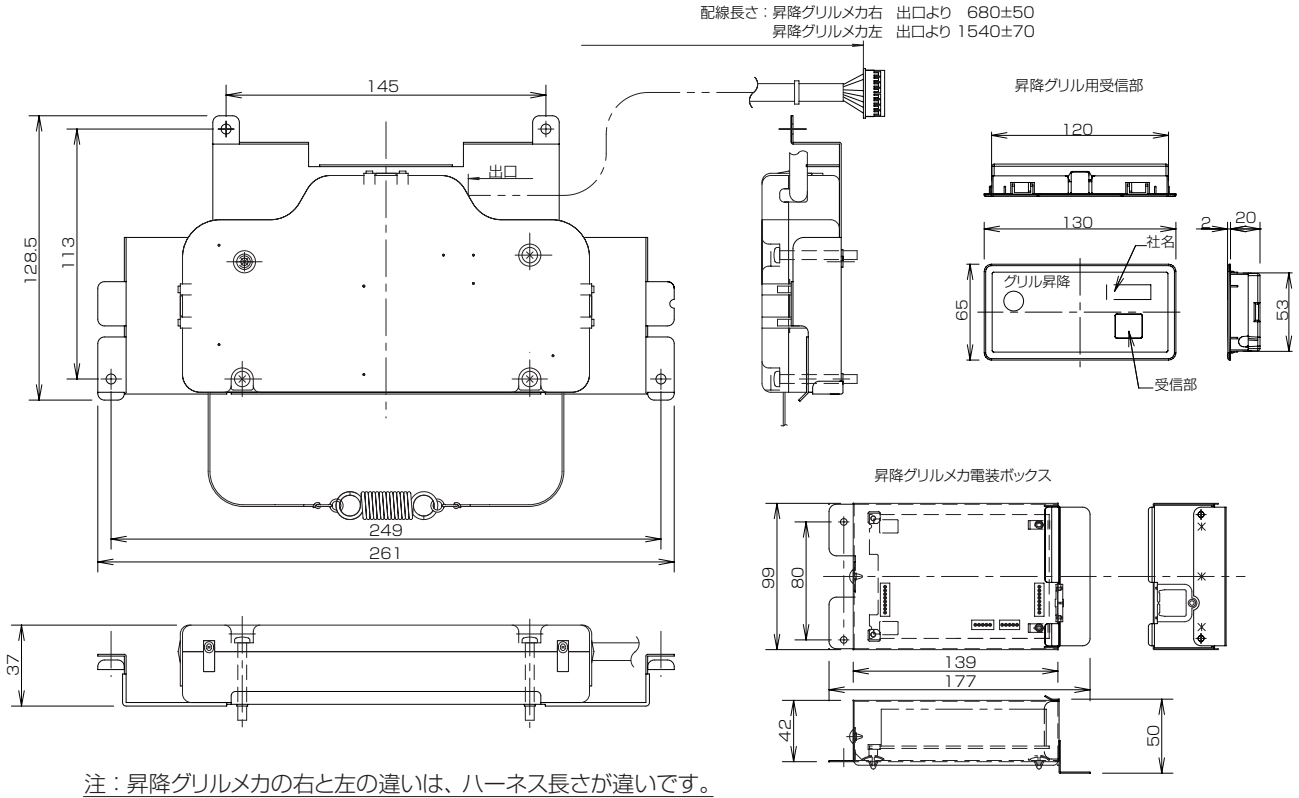
項目コード	設定データ
62	0000
48	125
19	0000

選択している室内ユニットを変更したい場合は ② へ

⑥ 点検 ボタンを押します。（通常の停止状態になります）



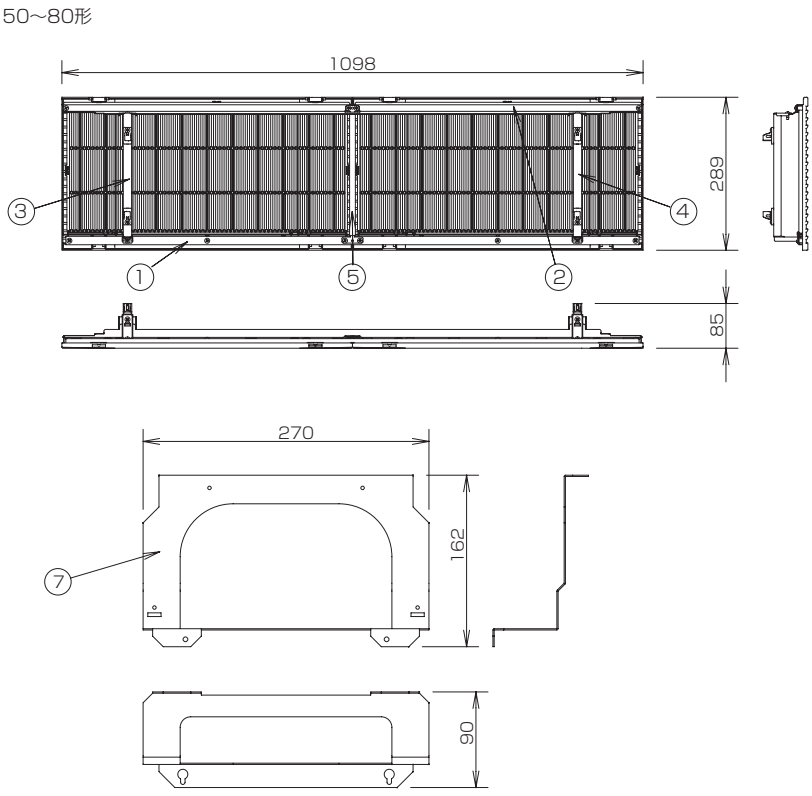
●昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
■外形寸法図



注：昇降グリルメカの右と左の違いは、ハーネス長さが違いです。

●昇降グリル固定金具（GRL-SL80BU）
■外形寸法図

50~80形



①	金具A
②	金具B
③	プーリ台A
④	プーリ台B
⑤	中央固定金具
⑥	昇降電装BOX固定金具
⑦	昇降メカ固定金具

■昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）



昇降グリルメカキット取付説明書

● 電気配線工事は、ユニット本体同梱の「電気工事担当のかたへ」または「据付工事説明書」の説明に従ってください。

安全上のご注意

■ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに “取扱説明書” にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また “据付工事担当のかたへ” 、“電気工事担当のかたへ” または “据付工事説明書” は、“取扱説明書” とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

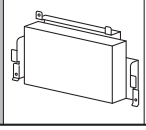
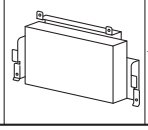
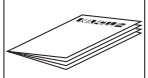
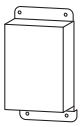
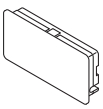
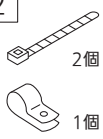
⚠ 警　告

●据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●据付工事は、“据付工事担当のかたへ” “電気工事担当のかたへ” または “据付工事説明書” に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および “据付工事担当のかたへ” “電気工事担当のかたへ” に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
●設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注　意

●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

付属品　付属品は取付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	昇降メカA	昇降メカB	取扱説明書	取付説明書	電装ボックス	受信部	ネジ	コードクランプ	ブッシング
個数	1（短配線）	1（長配線）	1	各1	1	1	11　4×10	2	1
形状									

●昇降グリルメカキット

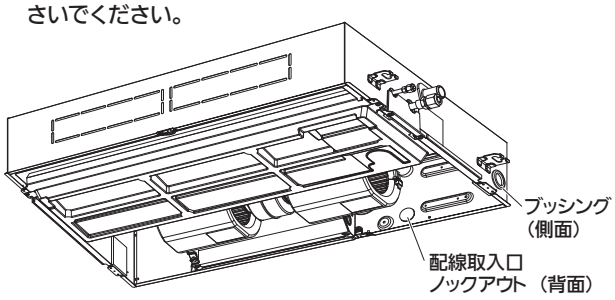
高天井用1方向カセット形に取り付ける場合

1.昇降グリルメカキット取り付け前の準備

1. 室内ユニットの配線取入口変更

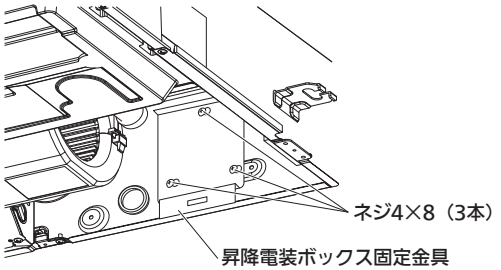
配線取入口ノックアウト穴（背面）を開け、付属のブッシングを付けてください。また、ブッシングははずれないように接着剤で接着してください。

※側面のブッシングに穴が開いているときは、パテ等ですき間をふさいでください。



2. 昇降電装ボックス固定金具の取り付け

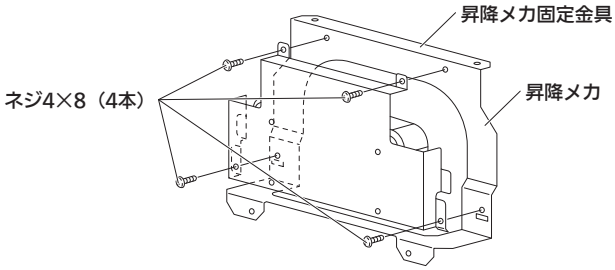
昇降グリル固定金具に付属の昇降電装ボックス固定金具を、昇降グリル固定金具に付属のネジ4×8（3本）で室内ユニットに取り付けてください。



3. 昇降メカ固定金具の取り付け

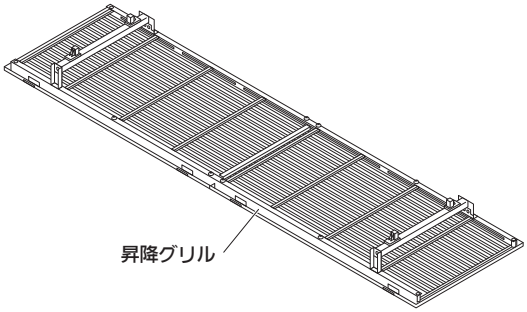
昇降グリル固定金具に付属の昇降メカ固定金具と、昇降メカを昇降グリル固定金具に付属のネジ4×8（4本）で取り付けてください。

※昇降メカAと昇降メカBの両方とも取り付けます。



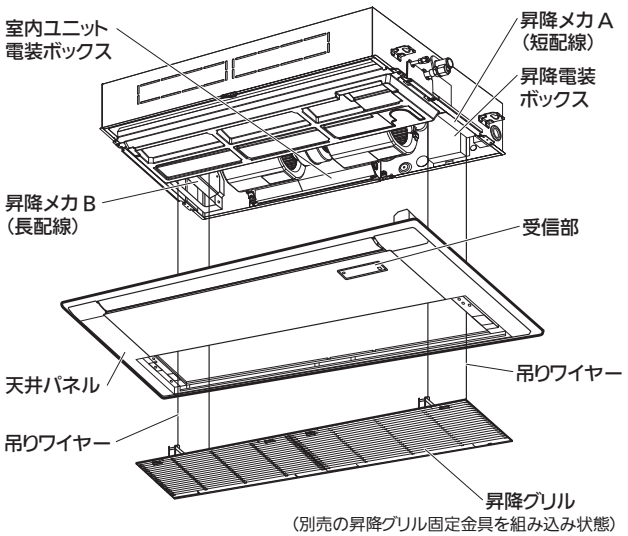
4. 別売部品の昇降グリル固定金具で昇降グリルを組み立てる

昇降グリルの組立方法は、昇降グリル固定金具に付属している取付説明書に従って組み立ててください。



〈注意〉吸込グリルに使用していたフック・ヒンジは応急時に使用しますので、お客様で保管いただくように依頼してください。
室内ユニットに取り付けないでください。

昇降メカ取付図



（別売の昇降グリル固定金具を組み込み状態）

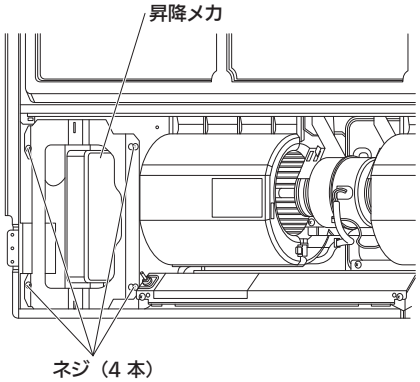
2.昇降メカの取り付け

1. 取り付け前の準備で組み立てた昇降メカを付属のネジ（4本）で取り付けます。

※昇降メカは左右違いますのでご注意ください。

※昇降メカの吊りワイヤーとばねの入ったビニール袋は、工事が終わるまで取りはずさないでください。

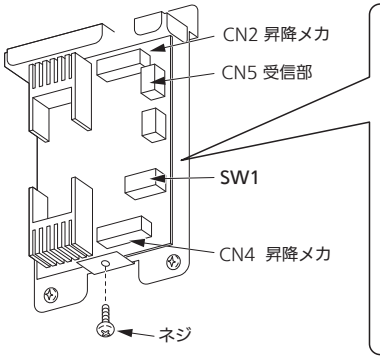
※昇降メカを取り付けの際に周囲のブッシング等に、干渉しないように取り付けてください。



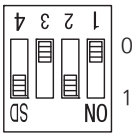
●昇降グリルメカキット

3.昇降高さおよび機種切替の設定のしかた

1. 昇降電装ボックスのネジ（1か所）をゆるめ、カバーをはずしてください。
2. ご使用になる高さにあわせて、下図のように基板上のスイッチを設定してください。
   出荷時は2.0m天井吊形の設定になっています。**高天井用1方向カセット形は必ず4をON “1” にしてください。**



グリル下降距離設定（SW1）
（出荷時設定=2.0m天井吊形）



[m]	1	2	3	※4
1.0	0	0	0	1
1.5	1	0	0	1
2.0	0	1	0	1
2.4	0	1	1	1
2.7	1	1	0	1
3.1	1	1	1	1

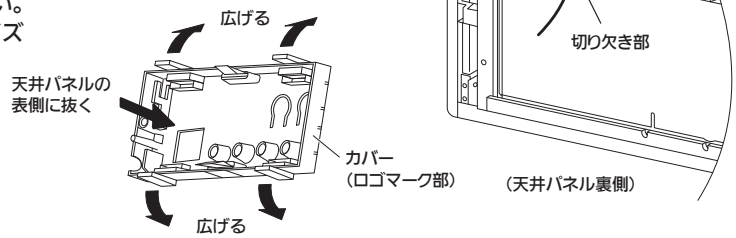
※ 4 は機種の切替です。高天井用1 方向カセット形はON “1” にしてください。

3. 昇降電装ボックスを室内ユニットに取り付けてください。
   取り付け前の準備で室内ユニットに取り付けた昇降電装ボックス固定金具の差し込み部に昇降電装ボックスを差し込み、付属のネジ（2か所）で固定してください。

4.受信部の取り付け

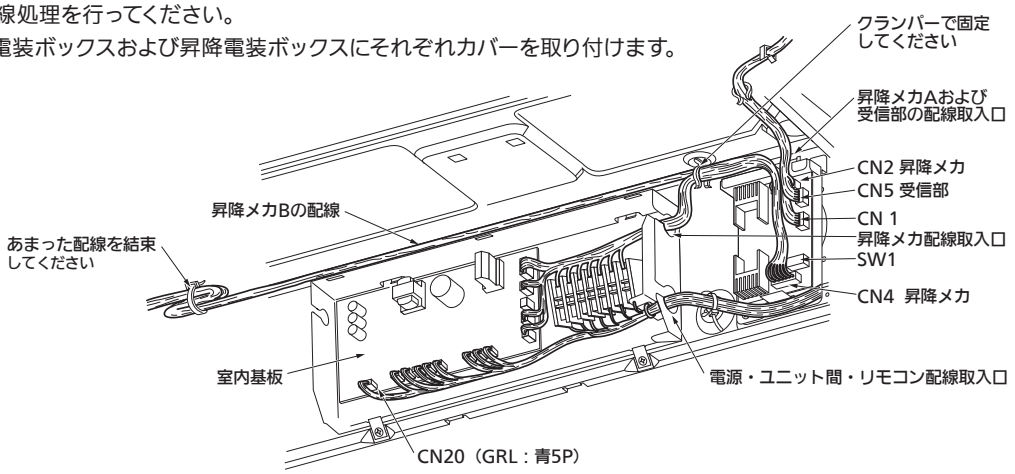
1. 室内ユニットの電装ボックスのカバー取付ネジ（2か所）をゆるめてカバーをはずします。
2. 受信部を天井パネルに取り付けます。
   ①天井パネルに取り付けてあるカバー（ロゴマーク部）を固定部のツメを広げながら表側に抜きます。
   ②受信部を天井パネルに取り付けます。（受信部の突起が天井パネルのツメで固定されます。）
   ③受信部のリード線を天井パネル裏側のリブに沿って押し込み、切り欠き部に通します。
   ④天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
   ⑤天井パネルから出たリード線は室内ユニット天面のクランパーで固定します。
   ワイヤレスリモコンをご使用になる場合は、別紙の “昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合” の説明書に従って取り付けてください。

〈注意1〉受信部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤作動の原因となりますので避けてください。
〈注意2〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。



5.配線のしかた

1. 昇降メカから出ている配線コネクタを昇降電装ボックスに接続します。それぞれ昇降メカA（短配線）をCN2、昇降メカB（長配線）をCN4に接続します。
2. 受信部から出ている配線・コネクタを昇降電装ボックスのCN5に接続します。
3. 昇降電装ボックスのCN1から出ている配線コネクタを室内ユニットのCN20（GRL：青5P）コネクタに接続します。
4. 下図のように配線処理を行ってください。
5. 室内ユニットの電装ボックスおよび昇降電装ボックスにそれぞれカバーを取り付けます。



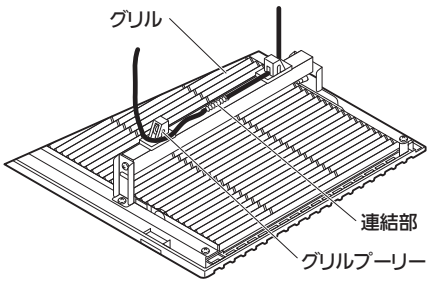
●昇降グリルメカキット

6.昇降グリルの取り付け

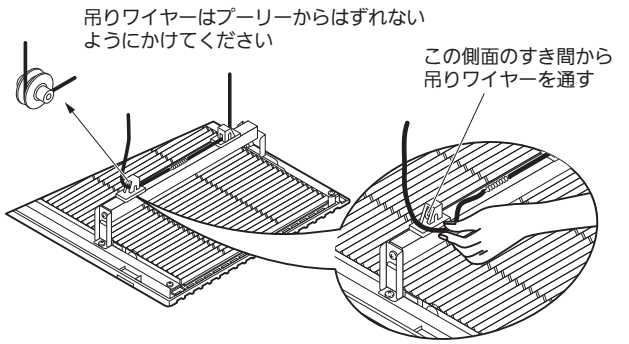
昇降メカに貼り付けてあるビニール袋から吊りワイヤーとばねを取り出してください。

1. 図のようにグリルプーリーへ吊りワイヤーを確実に通してください。
   - ● 取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください
     - ・吊りワイヤーの連結部がはずれかけていませんか
     - ・グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか
     - ・吊りワイヤーがプーリーからはずれたり、はさまったりしていませんか

グリルの吊り方



グリルプーリーへの吊りワイヤーの通し方



2. 通電の有無で次の対応を行ってください。

エアコンに電源が通電されている場合

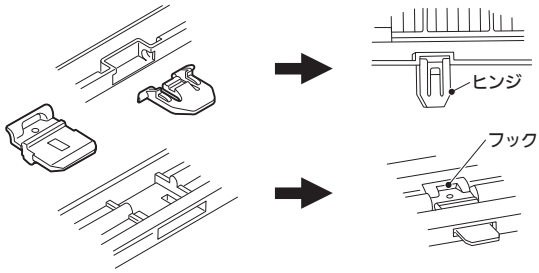
① 吸込グリルのフック（2か所）をはずして、昇降グリル固定金具に付属しているシールを貼り付けてください。
ヒンジはそのまま取りはずしてください。
ヒンジ・フックは、取付説明書といっしょに保管してください。
② ヒンジ・フックが取り付けられていないのを確認し、昇降用リモコンで吸込グリルを上昇させます。

エアコンに電源が通電されていない場合

① 電源が通電されるまで吸込グリルに取り付けてあるフックとヒンジをそのまま使用し、ワイヤーが外に出ないように吸込グリルを取り付けてください。
② 通電されたら、必ず上記の“エアコンに電源が通電されている場合”の説明に従い、作業を行ってください。

ヒンジ・フックの取り付け方（応急時）

仮掛けを行う場合には、室内ユニットのグリルに取り付けてあったフックおよびヒンジを使用してください。



7.据え付け後の設定・その他

（1）据え付け後の確認

- ● 配線接続が確実にされていることを確認します。
  ※接続されていないと、グリルの昇降動作ができなくなります。

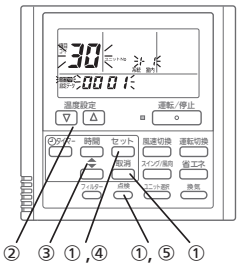
（2）昇降グリルをワイヤードまたはタイマーリモコンから操作するための設定方法

ワイヤード（タイマー）リモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤード（タイマー）リモコンから下記設定を行ってください。
この設定をしないと フィルター ボタンを長押ししても“この機能は使用できません”または“ ⃠ ”が表示されます。

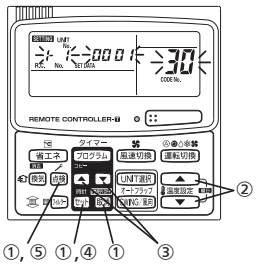
① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを同時に4秒間以上押します。
※昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。
②温度設定 ▲ ／ ▼ ボタンで項目コード「30」を指定します。
③時間 ▲ ／ ▼ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更します。
④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。 フィルター ボタンを4秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降 ”または“ ”と表示されることを確認してください。再度 フィルター ボタンを4秒間以上（または、2回）押すと通常の停止状態に戻ります。

※ワイヤードリモコン（CZ-10RT4）をご使用の場合は、付属の「据付工事説明書 試運転編 補足」を参照してください。

ワイヤードリモコン
CZ-10RT3/CZ-10RT3A



タイマーリモコン
CZ-10RT3W



ワイヤレスリモコン対応の場合

- ● 別売品の昇降操作専用リモコンでも昇降グリルの操作が可能です。
- ● 別売ワイヤレスリモコン（本体組込受信部タイプ）を併用する場合は、別紙「昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合」を参照してください。

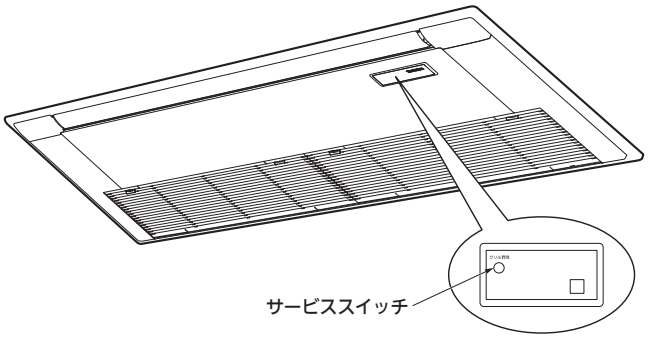
●昇降グリルメカキット

（3）据え付け後の動作確認

- （2）の設定終了後に、動作確認を行ってください。
- **電源投入時、初めて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。**
- 昇降グリルが室内ユニットにきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。
- 昇降メカA、Bの吊りワイヤーの長さが異なる条件でグリルを上昇した場合、グリルが収納できずに途中で停止することがあります。
  このような場合はグリルプーリーから吊りワイヤーがはずれていないことを確認してから、再度グリルを上昇させてください。

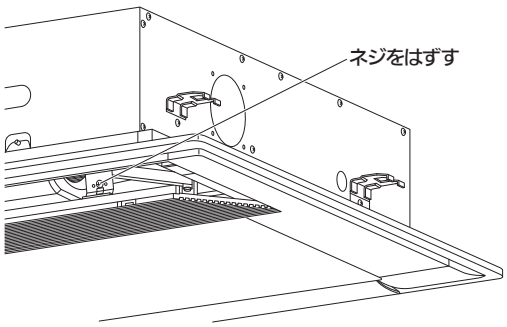
（4）サービス時

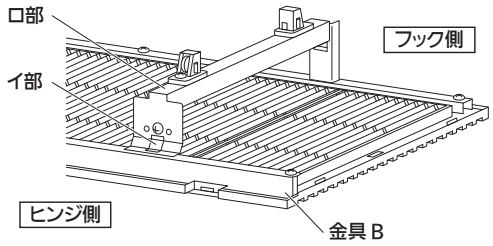
●リモコン（ワイヤード・昇降操作専用リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。



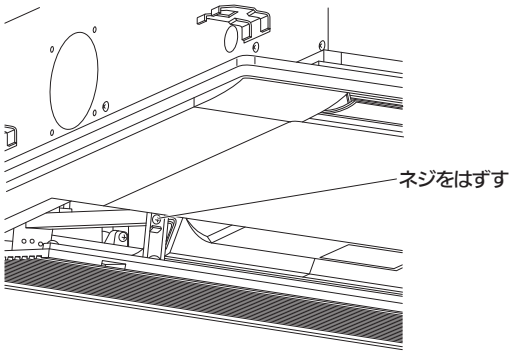
昇降グリルが動作しない場合（故障および停電時）の取りはずし方法

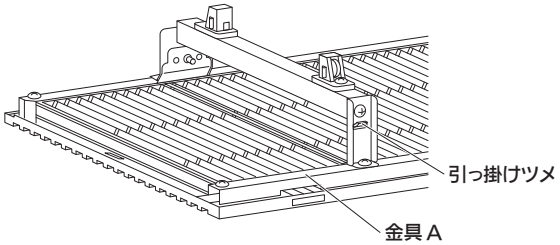
① 昇降グリルのヒンジ側を引き下げてプーリー台のイ部を押さえながらネジをはずし、プーリー台と金具Bをはずします。
（プーリー台はばねで上に戻りますが、イ部を押えている指がはさまらないように、反対の手で口部に持ち替えてから静かに戻してください。）





② 昇降グリルのフック側を引き下げて金具Aを押えながらネジをはずします。
③ 引っ掛けツメをはずして昇降グリルを取りはずします。

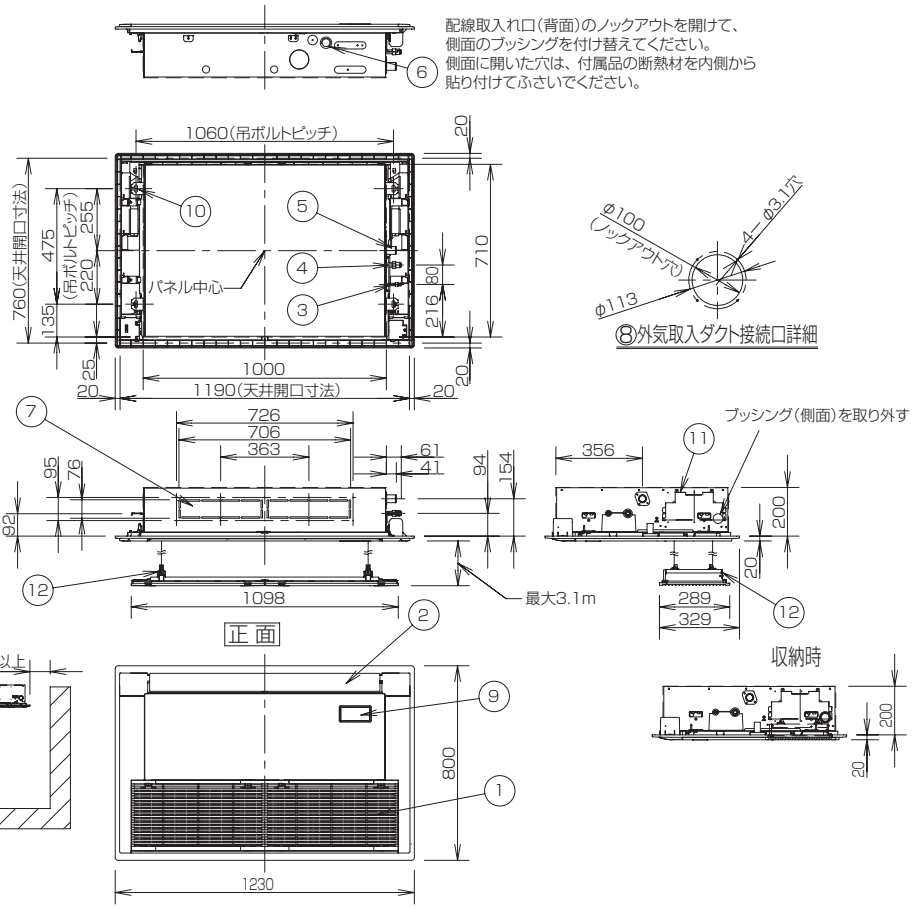




上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書等の一式全てとヒンジ・フックをお客様へ渡してください。
その際、ユニット本体の取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。

●昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
　昇降グリル固定金具（GRL-SL80BU）
■部品取付図〔適用機種：50 ～ 80 形〕

①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管(液管)
④	冷媒配管(ガス管)
⑤	ドレン配管接続口VP25(外形φ32)
⑥	電源取入口
⑦	吐出ダクト接続口(下がり天井用)
⑧	外気取入ダクト接続口(φ100)
⑨	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑩	吊ボルト穴(4−12×30長穴)
⑪	昇降グリルメカキット(GRL−T160BU.WL)
⑫	昇降グリル固定金具(GRL−SL80BU)



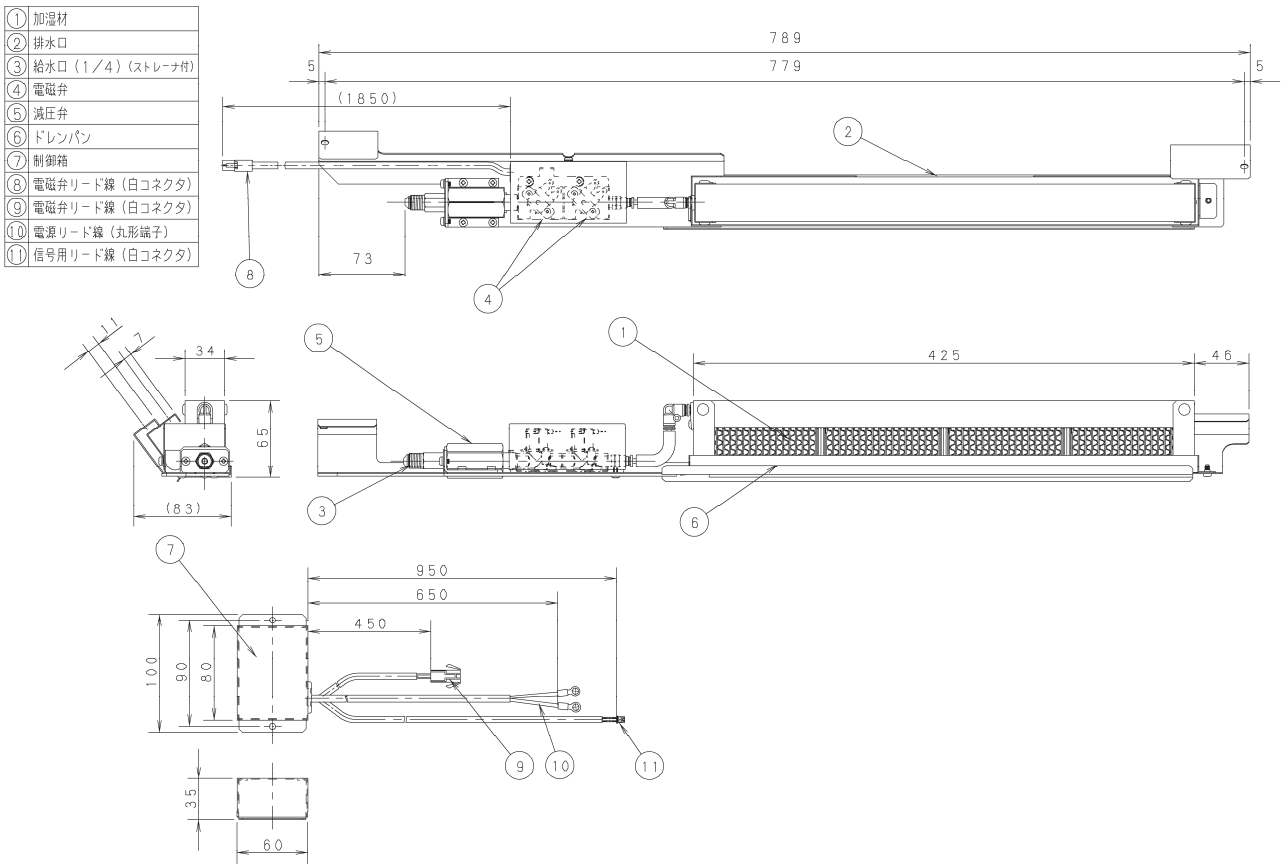
● 自然気化式加湿器（CZ-09ASD1）

■ 仕様

適用機種			高天井用1方向カセット形				
加湿器品番			CZ-09ASD1				
適合エアコン形式			50形	56形	63形	71形	80形
外形寸法　H×W×D(mm)			71.5×789.3×79.8				
質量		kg	1.9				
電源仕様			50／60Hz　単相200V±10%				
加湿性能（kg/h）　※1		kg/h	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
XEPHY Premium（ハイグレードタイプ）各クラス最大能力 -有効加湿量(kg/h）　※1		kg/h	0.71	0.74	0.88	0.84	1.00
XEPHY Eco(高効率タイプ) 各クラス最大能力 -有効加湿量(kg/h）　※1		kg/h	0.71	0.74	0.84	0.84	0.90
給水量		L/h	2.8±30%				
給水圧力			0.05 MPa ～ 0.50　Mpa				
給水圧力(ポンプ使用時)			0.05 MPa ～ 0.30　Mpa				
使用上の条件	使用水		上水道または、これと同等水質のこと(水温10℃～40℃)				
	減圧弁		加湿器本体に取り付け				
	周囲音湿度条件（タイマーボックスを除く）						

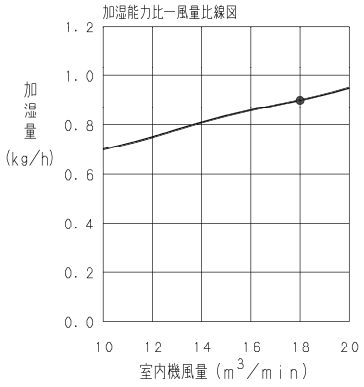
・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。
・加湿性能は、エアコンに組み込んだときの値を示します。（加湿器入口空気温度DB45℃、相対湿度15%の時）
・有効加湿量は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、（XEPHY Premium/XEPHY Ecoシリーズ室外ユニット）に接続し、
　下記の条件で運転した場合の加湿量です。
　　温度条件 室温20℃DB、外気温7℃DB・6℃WB
　　運転条件 定格風量、フラップ位置F5、最大能力運転時
　　設置条件 配管長　～63形:5m、71形～：7.5m、71形はツイン接続、それ以外はシングル接続時
　風量設定やフラップ角度、ユニット運転状態により加湿量が低くなる場合もあります。
※1 加湿能力±20%

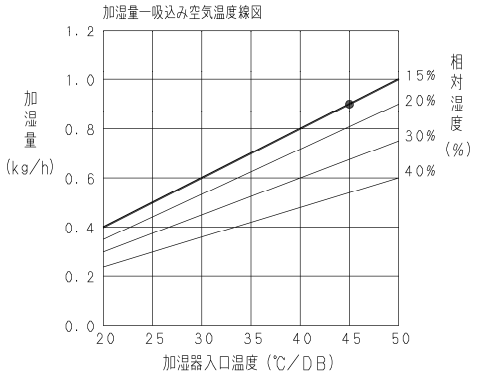
■外形寸法図



■能力線図

CZ-09ASD1
（基準風量：18m³/min）



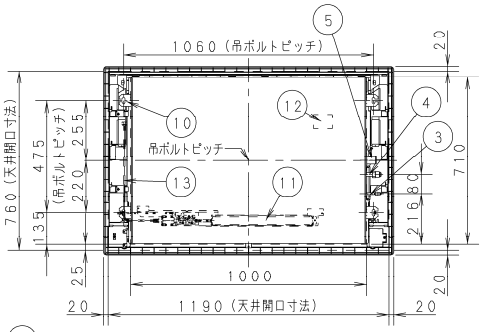


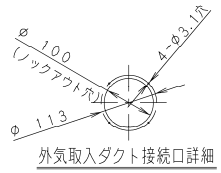
加湿器品番		CZ-09ASD1		
適用室内機		50・56形	63形	71・80形
室内機風量(急風)	m³/min	13	17	18
加湿性能	kg/h	0.78	0.88	0.90

注記
1）加湿能力条件は、加湿器通過　温湿度がDB45°C，RH15%の場合の値を示します。
2）風量比（%）＝（任意風量／基準風量）X100

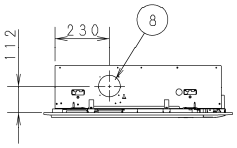
■部品取付図〔適用機種：50 ～ 80 形〕

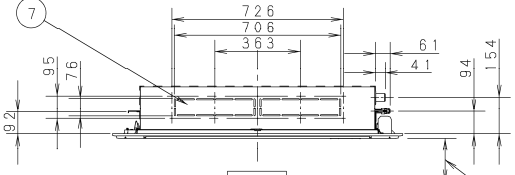
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	ドレン配管接続口VP25（外形φ32）
⑥	電源取入口
⑦	吐出ダクト接続口（下がり天井用）
⑧	外気取入ダクト接続口（φ100）
⑨	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑩	吊ボルト穴（4－12×30長穴）
⑪	加湿器（CZ-09ASD1、別売品）
⑫	加湿器電装ボックス（CZ-09ASD1に付属）
⑬	加湿器給水口（1／4　フレア）

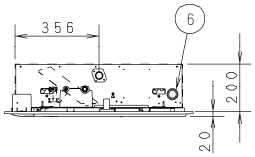




外気取入ダクト接続口詳細



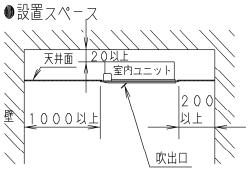


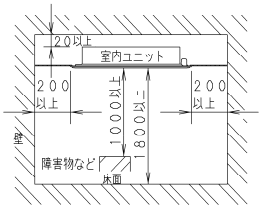


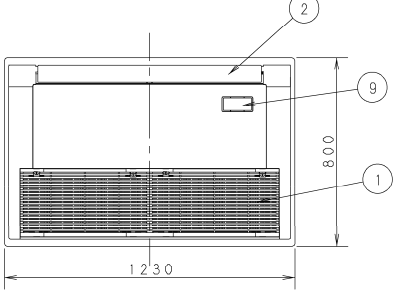
正　面

最大3.1m

●設置スペース







●自然気化式加湿器

Panasonic

取扱説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-09ASD1

適用室内ユニット　高天井用1方向カセット形

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● 室内ユニットに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
● ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
● この取扱説明書は室内ユニットに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗ ■ **据付工事や移動修理および保守点検については、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する なお工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れ、感電・火災の原因）

⃠ ■ **改造・改修は絶対にしない**
（修理に不備があると、水漏れや感電・火災の原因）
修理はお買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。

⚠注意

❗ ■ **給水には必ず水道水（上水）を使用する**
■ **お手入れ時は必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切る**
（感電や、ファンが高速回転しているため、けがの原因）

1. ご使用上の注意

● 定期清掃や保守点検は、お客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
● 加湿（暖房）シーズン終了後、給水用サービスバルブを必ず閉めてください。
● 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水管内を新しい水に置き換えてから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
● 定期清掃や点検の際を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。
● シーズンオフ中に加湿エレメントに付着した汚れを取るため、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に必ず保守点検を行ってください。
● エアコン（室内ユニット）のエアフィルターが汚れていると、加湿能力や加湿器の寿命に悪影響を与える原因になります。エアフィルターは定期的に点検を行い、汚れている場合は清掃してください。
● 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前には、給水用サービスバルブを開けて使用してください。

●自然気化式加湿器

2. 各部のなまえ

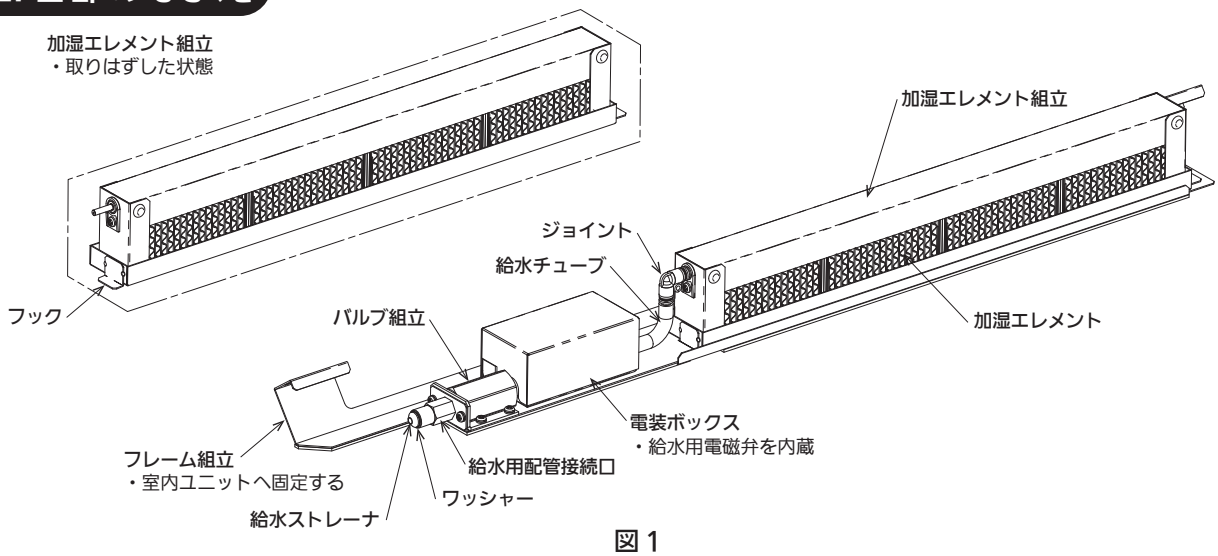


図1

3. 運転のしかた

加湿器はエアコン（室内ユニット）に接続されており、エアコンを暖房運転したときに自動で加湿運転をします。
エアコンの運転操作方法については室内ユニットに付属の「取扱説明書」に従ってください。

4. 保守点検

長く安心してご使用していただくために、サービス技術者による定期的な保守点検を行ってください。

1. 点検周期および保全周期一覧

●本表は主要部品を示します。
また、この保全周期（交換周期）は、製品を長く安心してご使用していただくために、保全行為（交換行為）が生じるまでのめやす期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

●保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありません。
保守点検実施の場合でも、予期せぬ故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）
加湿エレメント	1年	3年 ※
給水ストレーナー		必要に応じて
電子基板類		25,000時間
電磁弁		20,000時間
ヒューズ		−

※建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

室内ユニットに付属の取扱説明書に記載されている「保証とアフターサービス」もあわせてご覧ください。

2. 作業前の準備

●作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。
加湿器の据付工事説明書もあわせてご覧ください。

●作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

●給水ホース・加湿器内の残水が出ることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。

裏面に続く

ACXF60-37810
BE0519-0

●自然気化式加湿器

4. 保守点検（つづき）

3．作業手順

1）加湿エレメントの洗浄（1回 / 年：シーズン開始時）

①天井パネルをはずし、室内ユニットよりドレンパンをはずします。（図 2）
※冷房運転後は、ドレンパン内の残水をこぼさないようにご注意ください。

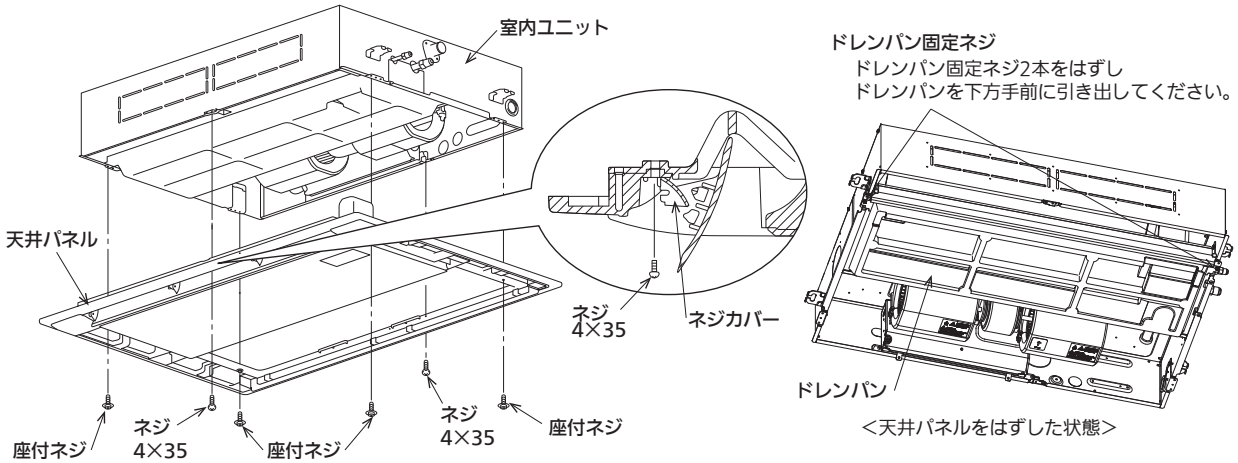


図 2　※天井パネルの取付説明書をあわせてご覧ください

②給水チューブをはずします。（図 3）
3-1) ジョイントの開放リングを上矢印（⇧）方向へ押し込みます。ジョイント内の給水チューブロック爪が開きます。
3-2) 開放リングを押し込んだままチューブを下矢印（⇩）方向へ引っ張ると、ジョイントから抜けます。
※ 開放リングを押し込まずに無理にチューブを引き抜くと、ジョイントが破損し使用できなくなります。

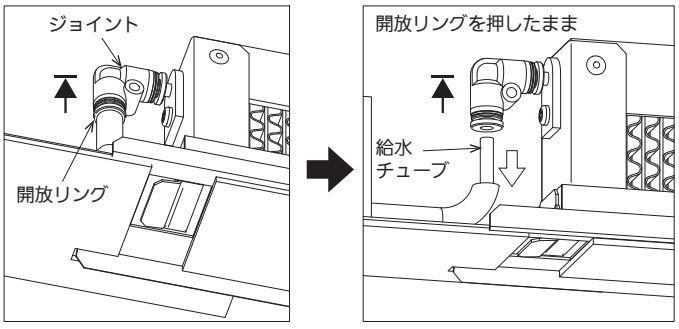


図 3

③加湿エレメント組立の固定ネジ（M4×8）1本をはずします。（図 4）

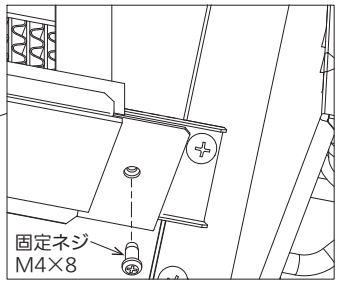


図 4

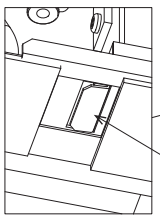
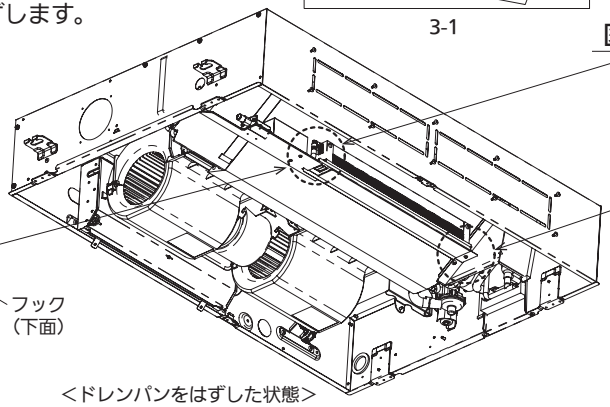


図 5



④加湿エレメント組立の固定ネジ側を少し持ち上げながら、右手に引いてフックをはずします。（図 5）（図 6）
⑤熱交換器に当たらないよう、加湿エレメント組立を手前に傾けながら取り出します。（図 6）

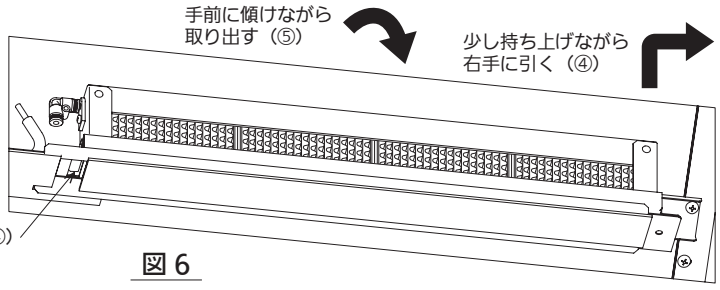


図 6

●自然気化式加湿器

⑥加湿エレメント組立が十分に入る大きさの容器に、市販の液体中性洗剤を薄めた洗浄液を用意してください。
（薄め方は中性洗剤の使用説明に従ってください）
⑦洗浄液に加湿エレメントを浸し、柔らかいブラシ等で加湿エレメント表面の汚れを取ってください。（図 7）
⑧十分に水洗いして洗浄液を洗い流し、水気を落としてから、取りはずしの逆の手順で加湿エレメント組立を取り付けてください。

※ 給水チューブをジョイントに差し込む際は、開放リングを押し込まずに突き当たるまで差し込んでください。
給水チューブを差し込んだ後、チューブを軽く下方に引っ張り、チューブがロックされていることを確認してください。不十分な差し込みですと水漏れの原因になりますのでご注意ください。

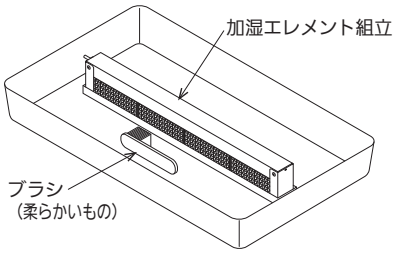


図 7

2）給水ストレーナの清掃（1回 / 年：シーズン開始時）

①作業前に給水用サービスバルブが閉じていることを確かめてください。
②給水用配管接続口に巻かれた断熱材をはずし、ダブルスパナで給水配管側のナットをゆるめて給水配管をはずしてください。
※給水配管内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
③給水用配管接続口に挿入されている給水ストレーナを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水ストレーナを抜き取るとき、ワッシャーを紛失しないようご注意ください。
④給水ストレーナを元どおりに取り付け給水配管を接続してください。
※ダブルスパナにて締付トルクは、20N・m 程度。
⑤給水用サービスバルブを開け、配管接続部からの水漏れが無いか確認をした後、元のように断熱材を取り付けてください。
※給水ストレーナ、ワッシャーを付けないと水漏れのおそれがあります。

3）加湿エレメントの交換（1回 /3年）

①加湿エレメントの洗浄①～⑤の手順に従って加湿エレメント組立をはずします。
②「加湿エレメント交換キット」（サービスパーツコード：623 197 4950）に付属の「交換要領書」に従って、加湿エレメントを交換してください。

5. 故障かな?と思ったとき

サービスを依頼される前に次のことをお調べください。

症　状	原　因	処　置
加湿しない または 加湿量不足	給水用サービスバルブが閉まっていませんか?	サービスバルブを開けてください。
	シーズン開始時に給水ストレーナの清掃はしましたか?	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	シーズン開始時に加湿エレメントの洗浄をしましたか?	
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか?	
においがする	シーズン開始時に加湿エレメントの洗浄をしましたか?	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか?	
音がする	給水圧力は仕様値の範囲内ですか? 仕様値：0.050 ～ 0.50MPa 0.050 ～ 0.30MPa（ポンプ使用時）	仕様値の範囲外なら、お買い上げの販売点にご連絡ください。
	給水系へのエアーのかみ込みはありませんか?	異音発生状態で給水用サービスバルブを閉めると音が消える場合は、エアー抜きが必要です。販売店にご連絡ください。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

Panasonic

据付工事説明書

自然気化式加湿器

品番 CZ-09ASD1

適用室内ユニット 高天井用1方向カセット形

据付工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に『安全上のご注意』は、施工前に必ずお読みください。
取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、付属の取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この据付工事説明書は試運転説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

⃠
- ■電源配線をバンドなどで束ねて収納しない（発熱、火災の原因）
- ■配線は途中接続しない（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

❗
- ■据付工事や移動修理および保守点検については、お買い上げの販売店や専門業者に依頼するなお工事には必ず指定の部品を使って確実に行う（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- ■付属品は当社指定の部品を使用する（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）
- ■据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う（ユニットの落下による、けがの原因）
- ■修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する（水漏れや感電、火災の原因）
- ■電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「取付説明書」に従って施工する（感電、火災のおそれ）
- ■配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する（感電、火災のおそれ）
- ■配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける（感電、火災の原因）

⚠注意

⃠
- ■0℃以下の雰囲気となり、凍結のおそれがある場所には取り付けないでください。（破損・水漏れの原因になります）

❗
- ■給水配管（現地調達）の断熱処理を行ってください（断熱材は現地調達）。不備があると、給水配管への結露による水漏れや、給水配管内の水が凍結することにより配管や接続部が破壊され水漏れの原因となります。
- ■給水には必ず水道水（上水）を使用する

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 据付前のご注意

- 加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。加湿器組込み後の輸送はしないでください。
- 定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に 450□以上の点検口を必ず設置してください。
- ヒューミディスタット（現地調達）は、湿度低下で接点が ON となる方式のもので、接点容量 200VA 以上のものを準備してください。
- 供給水質は上水または同等以上の水を使用し、保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ（現地調達）を設けてください。
- 加湿（暖房）シーズン後、給水用サービスバルブ（現地調達）を必ず閉めてください。
- 現地調達の給水配管には死水排水バルブおよびY形ストレーナー（現地調達）を必ず取り付けてください。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿（暖房）シーズン開始時に加湿器に給水されますと異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えてから使用してください。
- 給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地調達）をご使用ください。
- 給水配管は水圧がかかりますのでフレア接続としてください。
- 給水圧力は 0.050 ～ 0.50MPa の範囲内でご使用ください。ただしポンプを使用して給水する場合は 0.050 ～ 0.30MPa の範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁（現地調達）を設けてください。また給水配管にトラップがあるとエアーだまりができ異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。
- 定期清掃や点検の際を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。
- 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、加湿器本体の給水配管接続口に挿入してあるストレーナーの清掃を行ってください。

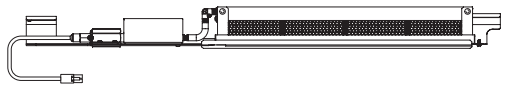
1. 仕様

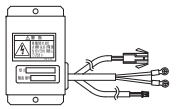
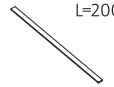
品番	CZ-09ASD1			
適合室内ユニット形番	28・36・45形	50・56形	63形	71・80形
加湿能力（kg/h）	0.75 ±20%	0.78 ±20%	0.88 ±20%	0.9 ±20%
外形寸法 H×W×L（mm）	71.5×789.3×79.8			
電源仕様	単相200V±10% 50/60Hz			
給水圧力	0.050～0.50 MPa			
給水圧力（ポンプ使用時）	0.050～0.30 MPa			
使用水および水温	上水 10～40℃			
周囲温湿度	1～40℃、90%RH以下			

加湿能力は、加湿器入口空気温度DB45℃・相対湿度15%時の値を示します。

2. 付属品

※開梱時に付属品が入っているかを必ずご確認ください。

自然気化式加湿器	据付工事説明書	試運転説明書	取扱説明書
1台	1枚	1枚	1枚
	 本紙（両面）		

タイマーボックス	給水配管断熱材	ビニタイ	シール用パテ	リード線用ハトメゴム
1台	1枚	2本	1個	1個
	100×100 t=10 	L=200  断熱材固定用		
給水用配管	取付ネジ	閉端接続子	短絡コネクタ①	短絡コネクタ②
1本	4本	2個	1個	1個
φ6.35×660  R1/2（オス） G1/4 断熱材付き	 （φ4×8） 加湿器本体取付用（2本） タイマーボックス取付用（2本）	 ヒューミディスタット接続用	 CN70：FILTER用（2P：白色）	 TP3用（2P：黄色）

ACXF60-37800
BE0519-0

3. 取付工事の前に

※加湿器の取付工事の際、表面付属品の他に右記1～3の部品のご用意をおすすめいたします。

現地調達部品

No.	部品名
1	ヒューミディスタット
2	給水用サービスバルブ
3	死水排水バルブ

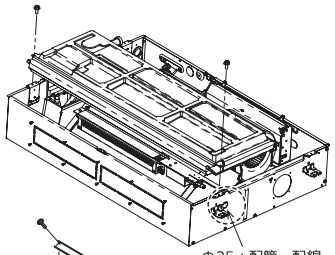
4. 取付け手順

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを吊り下げる前に行ってください。

※室内ユニット上面を床面に置いた状態で作業してください。

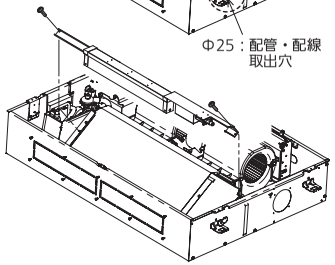
1. 室内ユニット本体の準備

① 室内ユニットのドレンパンを、ネジ（2本）をはずして取りはずします。
② 室内ユニットの側面の穴（Φ25）を外側から板金にそって、内側のスチロールをカッター等で切り取ってください。



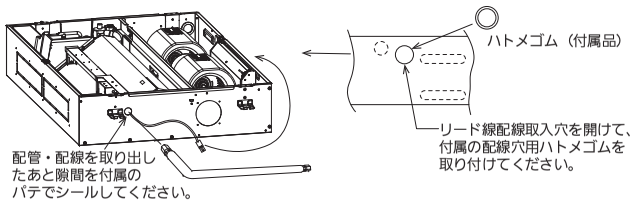
2. 加湿器本体の取付け

① 加湿器本体を室内ユニットの熱交換器の板金に付属の取付ネジ（2本）で取り付けます。



3. 給水用銅パイプの取付け

① 電磁弁リード線を室内ユニットの側面の穴（Φ25）から出してください。
② リード線取出し後、室内ユニット外側から付属の給水用配管を差込み加湿器本体の給水口に、給水用配管を接続します。
給水用配管の先端は加湿器のフレア部と合うように成形してください。
※フレアナット締め付けトルク目安：20N・m
③ 給水用配管の接続が終わりましたら付属のパテを使って、給水用配管・電磁弁リード線と穴の隙間をシールしてください。
④ 室内ユニット背面の穴（ノックアウト穴）を開け、付属のハトメゴムを取り付けた後、リード線を室内ユニット内部に取り入れてください。
※必ずこの穴を利用して取り入れてください。



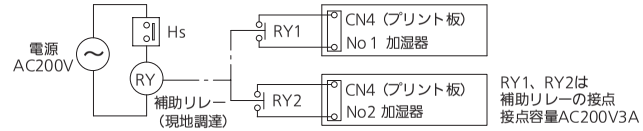
4. タイマーボックス取付け

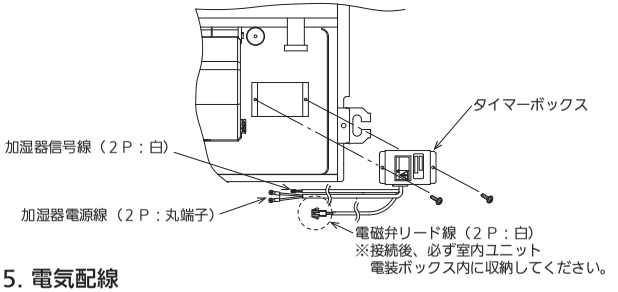
① 加湿器のタイマーボックスは、室内ユニット配管側の天板に付属の取付ネジ（2本）で取り付けます。
② 加湿器本体からの電磁弁リード線（2P：白）とタイマーボックスの電磁弁リード線（2P：白）を室内ユニット電装ボックス内にて接続してください。
※電磁弁リード線の接続部は接続後、必ず室内ユニット電装ボックス内に収納してください。

③ ヒューミディスタットをご使用になる場合は、タイマーボックスの蓋をあけて、ボックス内にあるジャンパー線（青色）を切断し、ヒューミディスタットのリード線と付属の閉端接続子で接続してください。
※ヒューミディスタットの接続部は、加湿器のタイマーボックス内に収納してください。

［ご注意］
ヒューミディスタット（現地調達）を取り付ける場合は、加湿器1台にヒューミディスタット1個を基本にしてください。複数台の加湿器を1個のヒューミディスタットで制御する場合は、リレーにて個別に接点を分けて各加湿器に接続してください。接点を分けないと正常な加湿器動作が行えず、水もれの原因になります。

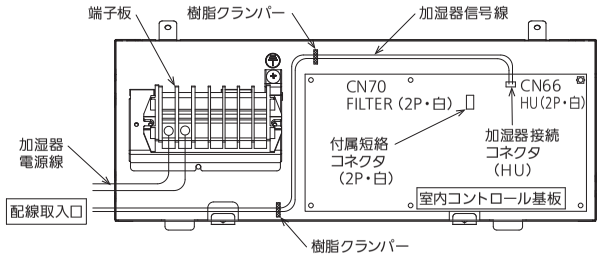
例）2台の加湿器を補助リレー接点にて制御する場合



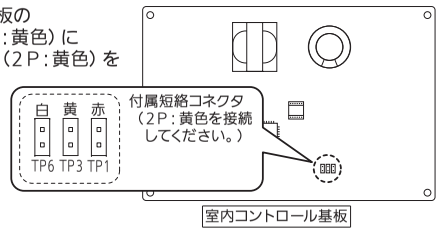


5. 電気配線

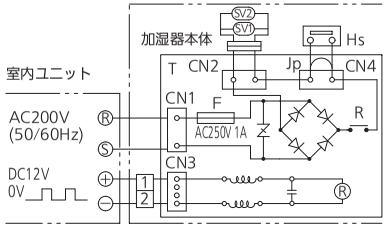
① 室内ユニットの電装ボックスのふたを開き、加湿器電源線を端子板に接続し、次に加湿器信号線を室内コントロール基板のHU（CN66：2P白）コネクタに接続します。
※電源線は必ず黒は端子板の【R】に、白は【S】にそれぞれ接続してください。
② 室内コントロール基板のCN70：FILTER（2P：白）に付属の短絡コネクタ（2P：白）を接続してください。



③ 室内コントロール基板の短絡ピンTP3（2P：黄色）に付属の短絡コネクタ（2P：黄色）を接続してください。
（接続しないと、風量減少、露付きの原因となります。）



以上の作業が終了致しましたら、室内ユニットのドレンパンを取りはずした時の逆の手順で確実に組み付けてください。組込み時にドレンパンに浮きが無いか確認してください。



記号	名称	備考
Hs	ヒューミディスタット	現地調達
Jp	ジャンパー線	青色
SV1,2	給水用電磁弁	
F	ヒューズ	AC250V,1A
CN1~4	コネクタ	

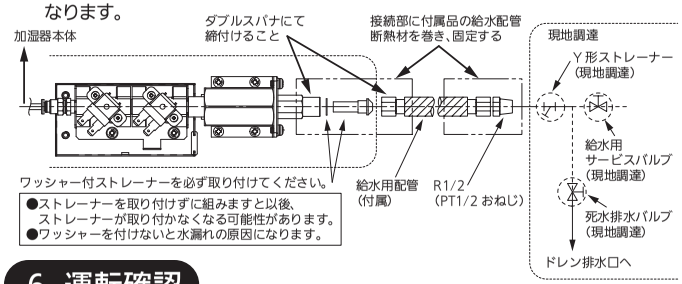
加湿器コントロール基板
電気回路図

5. 給水配管

1. 室内ユニットの「据付工事説明書」に従って加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
2. 現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
3. 加湿器本体の給水口に付属品の給水用配管を接続してください。
※ダブルスパナにて、締付トルクは 20N・m 程度
※加湿器本体の給水口に挿入されているワッシャーおよびストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
取り付けずに接続すると、以後ストレーナーが取り付かなくなったり、水漏れの原因になります。
4. 図を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。

● 以下の項目は運転確認後、問題が無いことを確認した上で行なってください。

5. 給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
6. 水漏れが無ければ、給水用配管の接続部に付属品の給水配管断熱材を巻きつけて付属のビニタイ（または現地調達のクランパー等）で固定してください。
7. 現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。



6. 運転確認

1. 漏電しゃ断器を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
2. リモコンの運転 / 停止ボタンを押し空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
※暖房運転できないとき、あるいは暖房サーモオンになりにくいときは、付属の試運転説明書を参照してください。
3. 加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、正常に加湿制御していることを確認してください。
4. 正常な運転を確認したら、運転 / 停止ボタンを押し運転を停止してください。

● ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせてご使用ください。
● 動作確認は、設定を変化させて給水用電磁弁が正しく動作していることを確認してください。
● 漏電しゃ断器は入れたままにしてください。

＜試運転時、加湿器から「ピーン」という異音が発生した場合＞

● 給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアーのかみ込みが考えられます。
● 一旦給水配管の接続をはずしてエアー抜きおよび加湿器給水口のストレーナーの清掃を実施してください。
● ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアーのかみ込みが考えられます。
● 給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げて使用してください。

加湿器設置後の試運転確認方法について

給水配管の施工後、試運転確認を実施してください。
通常、加湿器への給水は暖房運転時に行われますが、冷房シーズン（暖房運転できないとき）や、暖房運転時にサーモオンになりにくいときは、ワイヤードリモコンから送風運転時に加湿動作する設定に変更し、送風運転にて試運転確認をしてください。

注意）ユニットを停止してから設定データの変更を行なってください。
　　設定中はリモコンで選択されている室内ユニットのファンが回転します。

下記設定データ変更により、加湿動作設定を変更してください。

設 定 表

項目コード	設定データ	加湿動作
０９	００００	暖房サーモオン時加湿(出荷時設定)
	０００１	送風時加湿

＜CZ-10RT3, CZ-10RT3A, CZ-10RT3Wの場合＞

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを、同時に４秒間以上押します。

② ユニット選択 または UNIT選択 ボタンを押すごとに、「ユニットNo」または「UNIT No.」を順次表示します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
（リモコンの液晶部に、設定中 または SETTING と「ユニットNo」または「UNIT No.」、「項目コード」または「CODE No.」、詳細データが点滅表示されます。）

③ 温度設定 ▲▼ ボタンで項目コードまたはCODE No.を「０９」に指定します。

④ 時間またはタイマーの ▲▼ ボタンで設定データまたはSETDATAを「０００（出荷時設定）」→「０００１」へ変更します。

⑤ セット ボタンを押します。
（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
選択している室内ユニットを変更したい場合は ② へ

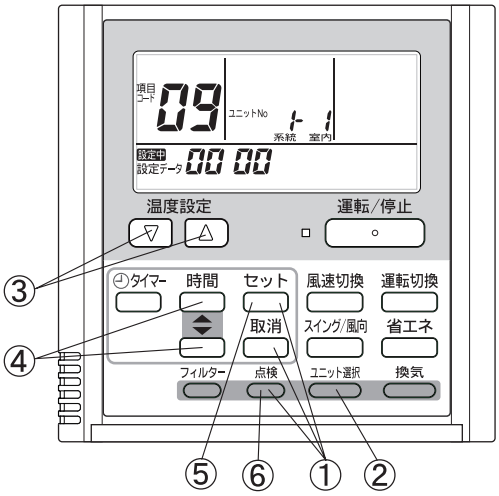
⑥ 点検 ボタンを押します。（通常の停止状態になります）

⑦ 送風運転することで加湿器に給水されます。
給水管、排水管、加湿器まわり、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。

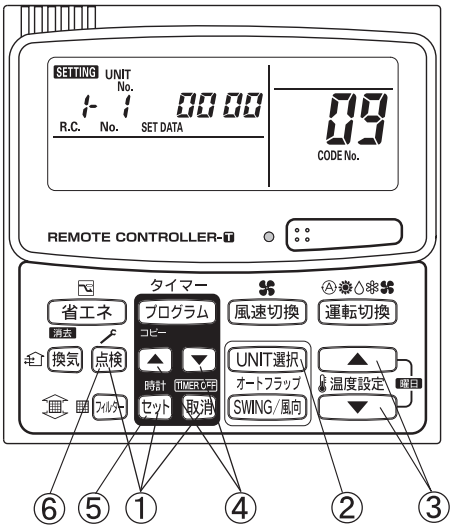
⑧ ３０分程度運転させ、ドレン配管から排水されているか確認してください。

⑨ ②～⑥と同一の手順で「項目コード」または「CODE No.」を「０９」に指定して、設定データまたはSETDATAを「０００」に戻してください。

ワイヤードリモコン



タイマーリモコン

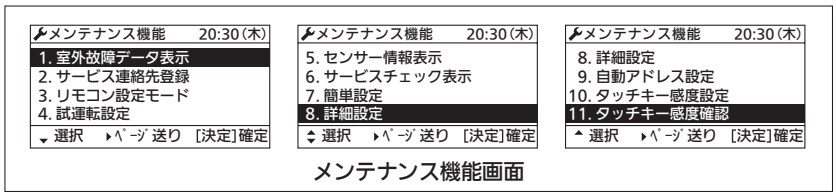


＜CZ-10RT4シリーズの場合＞

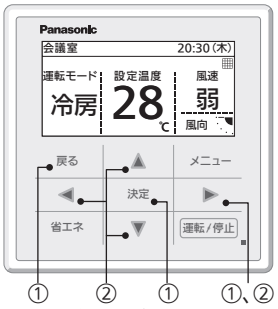
メンテナンス機能画面の表示

① 戻る + 決定 + ▶ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。



メンテナンス機能画面



ワイヤードリモコン

詳細設定方法（ユニットが停止中に行ってください。）

③ ▼ / ▲ ボタンで 『８. 詳細設定』を選択し、決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。

④ ◀ / ▶ ボタンでユニットNo. /項目コード/設定データの選択を切り替えてください。



詳細設定画面

【加湿動作の設定】

⑤ ▼ / ▲ ボタンでユニットNo. , 項目コード, 設定データを変更します。

⑥ ユニットNo. を変更して、送風時加湿動作を設定するユニットを選択してください。

⑦ 項目コードを「０９」に、設定データを「０００１」に変更し、決定 ボタンを押してください。

⑧ 続けて別のユニットを設定する場合は、ユニットNo. を変更し、⑦を実施してください。

⑨ 戻る ボタンを押し、再起動 : “はい”を選択し、決定 ボタンを押してください。

⑩ 送風運転することで加湿器に給水されます。給水管、排水管、加湿器まわり、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。
３０分程度運転を続け、ドレン配管から排水されているか確認してください。

⑪ 加湿器動作の確認後、③～⑨と同一の手順で項目コード「０９」の設定データを「０００１」から「００００」に戻してください。

注意）試運転後は、必ず設定を戻してください。
設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや、水漏れの原因になります。

ワイヤードリモコンで設定する場合

＜手順＞停止中に行なってください。

（1）リモコンの扉裏側に貼ってあるラベル（図2）をご確認ください。



図 2

手順(2)で作業ください。

（2）

①点検＋取消＋セットボタンを同時に4秒以上押します。

②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③温度設定　▽ ／ △ボタンで**項目コード「5d」**を指定します。

④時間　▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表1のようになっています。

⑤セットボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）

⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。

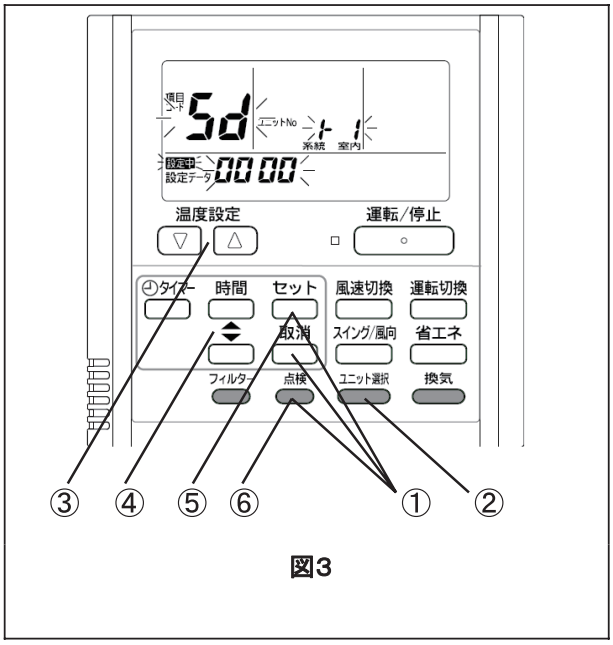
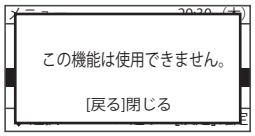


図3

■ 多機能ワイヤードリモコン CZ-10RT4 シリーズで設定する場合

● 昇降グリルを操作するための設定方法

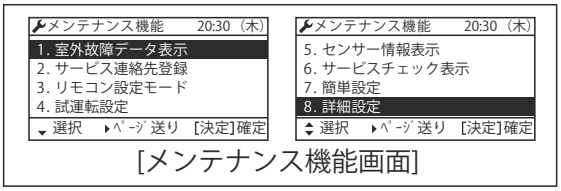
多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。
この設定をしないと、昇降グリル操作時に
“この機能は使用できません。” が表示されます。



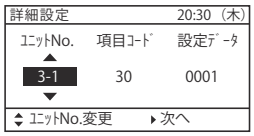


多機能ワイヤードリモコン

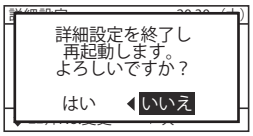
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▼ / ▲ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
[詳細設定画面]が表示されます。
▼ / ▲ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで項目コードを「30」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面]が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



[メンテナンス機能画面]



[詳細設定画面]



[詳細設定終了画面]

● 風量アップの設定方法

使用する用途、別売品を下記DCファンモータータップ設定表より確認のうえ設定してください。

〈手順〉停止中に行ってください。

① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
[詳細設定画面]が表示されます。
▼ / ▲ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。

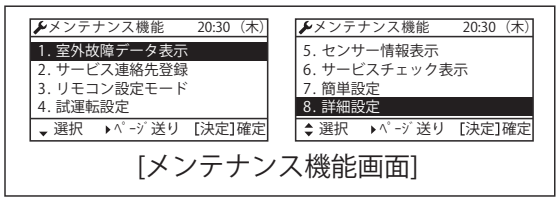
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。

④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで設定データを変更し、決定 ボタンを押してください。
※4方向カセット形でしゃ風材をご使用の場合は、③〜④と同様の手順で
項目コード「62」の設定データを「0000」に変更してください。

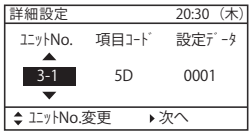
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面]が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



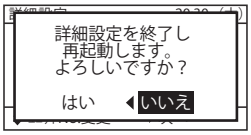
多機能ワイヤードリモコン



[メンテナンス機能画面]



[詳細設定画面]

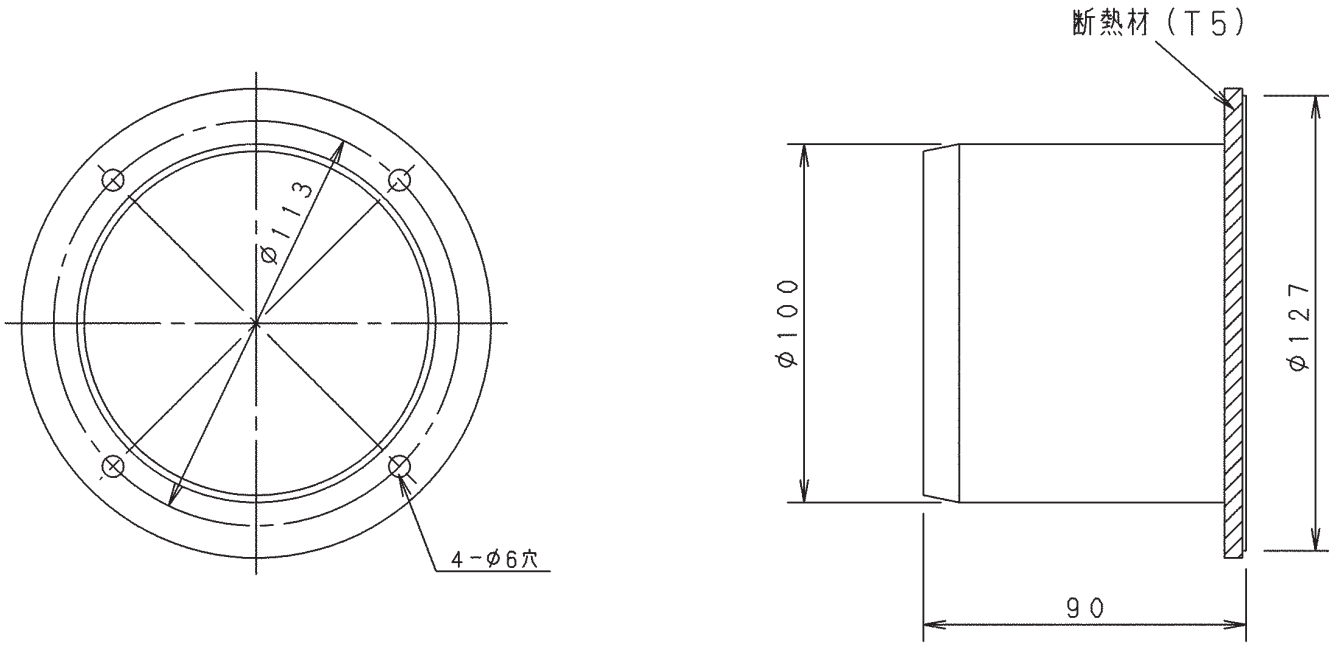


[詳細設定終了画面]

DCファンモータータップ設定表〈高天井用1方向カセット形〉

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5D	使用用途／別売品名称
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	・高天井設定
（3）	0003	・吹出口グリル取り付け時　・２方向下がり天井方式

●外気取入れ・本体用ダクトフランジ（φ 100）〈DKT-MF10AN〉
■外形寸法図

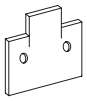
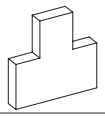


●外気取入・本体用ダクトフランジ（φ 100）

■取付方法

丸合フランジの取り付けかた

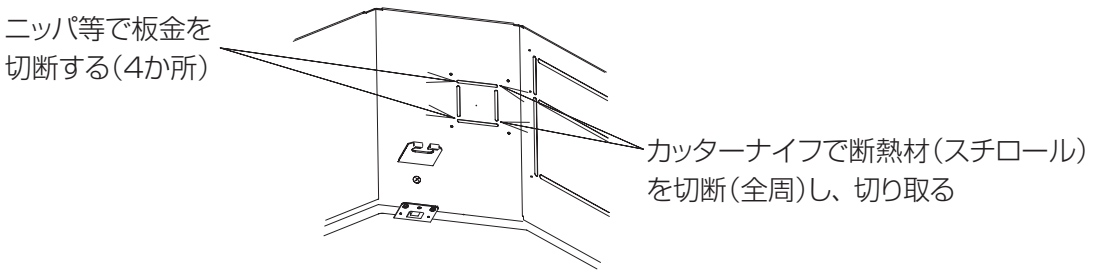
1. 付属品

名　　称	個数	名　　称	個数
丸合フランジ（φ100･外気取入用） 	1	取付ネジ（4x12） 	4
シール用断熱材　A 	2	シール用断熱材　B 	2

2. 取り付けかた

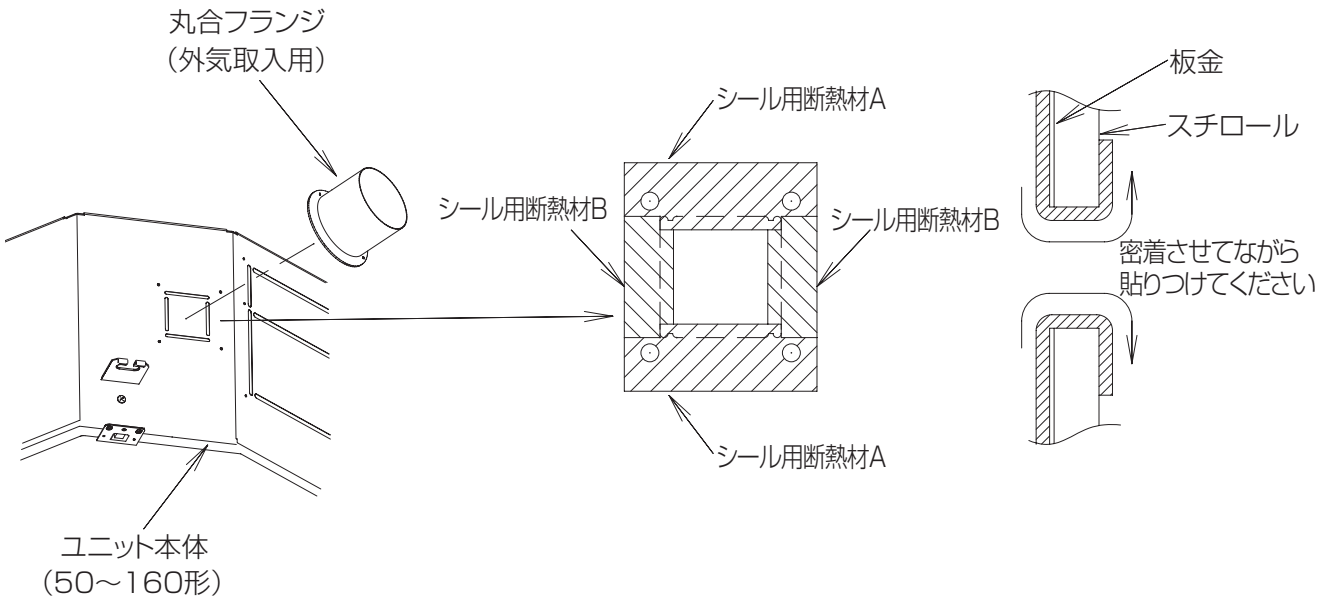
（1）ユニット本体の切り込みを目印に、断熱材（スチロール）ごと、ニッパ・カッターナイフ等で切断し、切り取ってください。

注意　内側のスチロールを切断するとき、カッター等の刃は30mm以上差し込まないよう注意してください。（内部のドレンパンを傷つけると、水漏れの原因になります。）



（2）スチロールルトと板金との隙間がありますと、結露等の問題が発生しますので必ず付属の断熱材A、Bにて貼りつけてください。

（3）ユニット本体に丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取付けてください。



●DC ファンタップ変更手順

85465759141002

DC ファンタップの選択（高天井用 1 方向カセット形）

ご使用になられる用途、別売品を下表1でご確認ください。

表1. DCファンモータータップ設定表

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5d	仕様用途
	0000	標準（出荷設定）
(1)	0001	高天井設定
(3)	0003	（別売品） 吹出口グリル取り付け時 2方向下がり天井方式

基板から設定する場合

＜手順＞以下の作業は必ず元電源をおとした状態で行なってください。

①電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 1）

②表1の DC ファンモータータップ設定表で確認していただいた設定 No に応じて、別売品に付属の **短絡コネクタ（2P：黄色）**を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

設定No（1）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の**短絡ピンTP1（2P：赤色）**に接続してください。

設定No（3）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の**短絡ピンTP3（2P：黄色）**に接続してください。

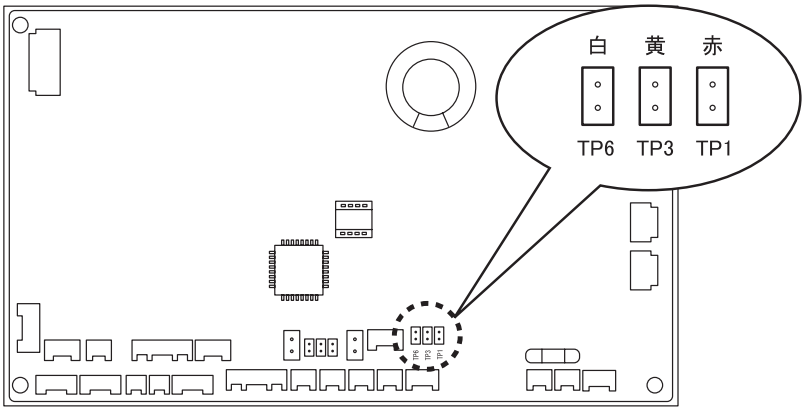


図1　室内コントロール基板

ワイヤードリモコンで設定する場合

＜手順＞停止中に行なってください。

（1）リモコンの扉裏側に貼ってあるラベル（図2）をご確認ください。

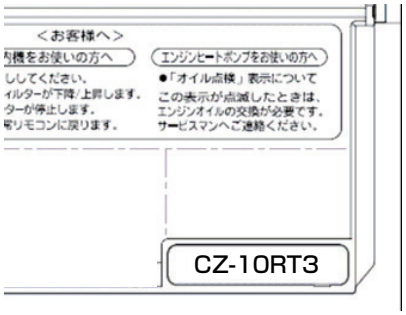


図 2

手順(2)で作業ください。

（2）

①点検＋取消＋セットボタンを同時に4秒以上押します。

②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③温度設定　▽ ／ △ボタンで**項目コード「5d」**を指定します。

④時間　▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表1のようになっています。

⑤セットボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）

⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。

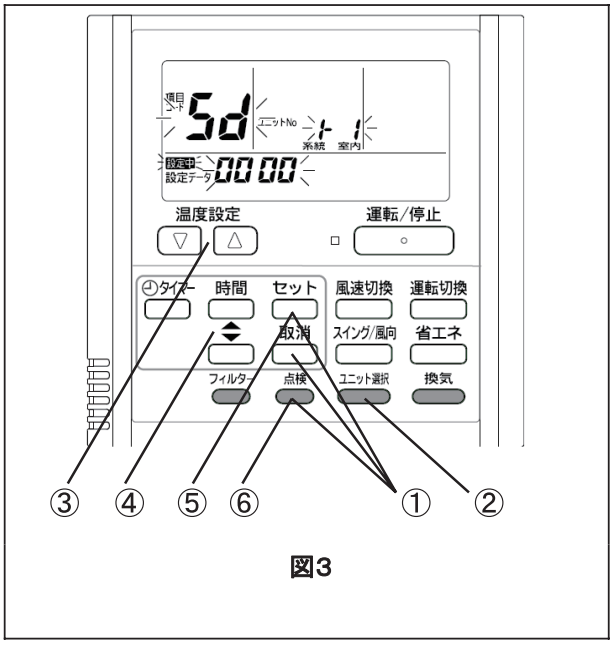


図3

リモコン対応表

（◎：組合せ推奨部品、○：組合せ可能部品、△：制約付きで可能、×：組合せできない部品）

リモコン対応表	ワイヤードリモコン				ワイヤレスリモコン受信部※3		リモコン（別売品）の設置可能台数
	多機能ワイヤードリモコン	ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	簡単リモコン	ワイヤレスリモコン組込み受信部タイプ	ワイヤレスリモコン別置受信部タイプ	
エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合	◎	×	△ ※4	×	△ ※4	△ ※4	1台
エコナビセンサー（壁設置形）を使用しない場合	◎	◎	◎	◎	○	○	2台

<エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合>リモコンは多機能ワイヤードリモコンを基本として使用ください。
<多機能ワイヤードリモコンを使用する場合>多機能ワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。<多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合>その他のワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。

※3 ワイヤレスリモコンは、受信部（組込み受信部タイプもしくは別置受信部タイプ）と送信部が必要です。※4 多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合、△印のリモコンはエコナビ機能の ON/OFF が可能です。

●天井パネル（CZ-01KPD4，01KPD4-(T)）
■取扱説明

取付説明書　天井パネル

品番　　CZ-01KPD4　　CZ-01KPD4-T

適用室内ユニット　1方向天井カセット形　DMシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

●据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに“取付説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

⚠ 警　告

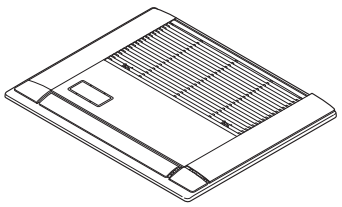
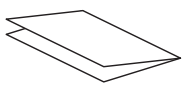
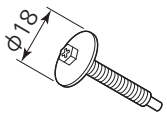
- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、室内ユニットの“据付工事説明書”に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および室内ユニットの“据付工事説明書”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注　意

- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	天井パネル	取付説明書	座付ネジ	ネ　ジ
個数	1	1	4　M5X40	2　4X12
形状		 取付説明書 お客さまに必ず渡してください	 天井パネル固定用	 サイドパネル固定用

ACXF60-21103
85464369752001
BE0813-30823

■別売部品

2. 天井パネル取り付け前の準備

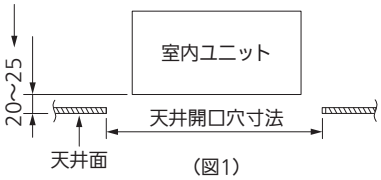
(1)室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記寸法であるか確認します。
730mm×590mm
※詳細は室内ユニットに付属の据付説明書を参照してください。

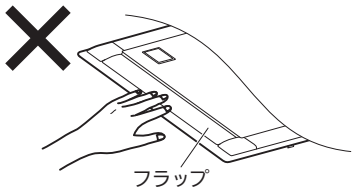
②天井面と室内ユニットの位置が図1のようになっているか確認します。天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップに無理な力を加えないでください。
（フラップの故障の原因となります）。

必ず20～25mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。



（図1）

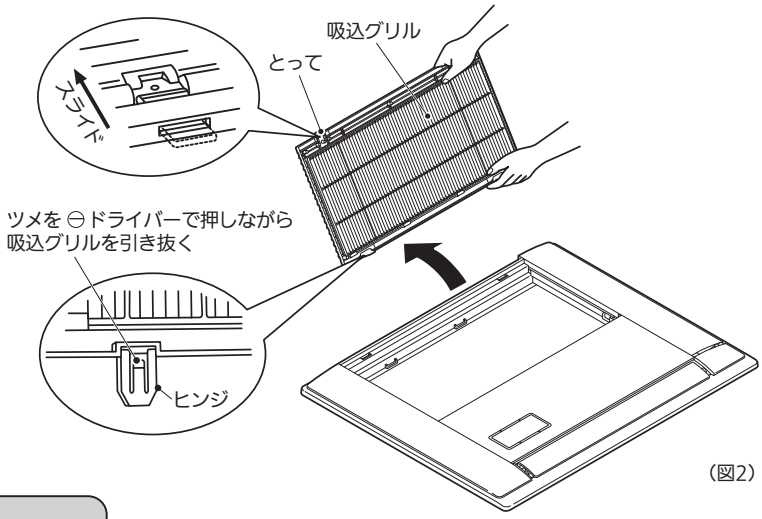


3. 室内ユニットへの取り付けかた

(1)吸込グリルの取りはずし

吸込グリル取りはずし

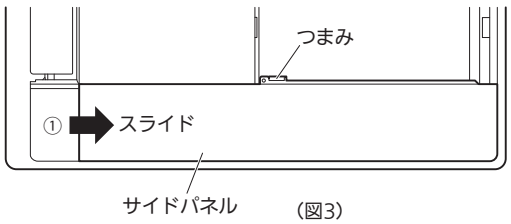
吸込グリルのとって(2か所)を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。(図2)
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ(2か所)のツメ部を⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。(図2)



（図2）

(2)サイドパネルの取りはずし

サイドパネルのつまみをもって矢印①の方向へスライドし、取りはずします。(左右2か所)(図3)



（図3）

(3)天井パネルの取り付け

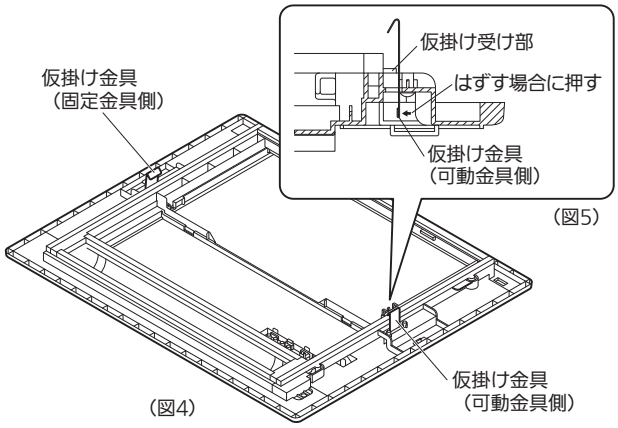
- 天井パネル両サイドに付いている仮掛け金具を室内ユニットに引っ掛けます。仮掛け金具は片側が固定式、もう一方が可動式となっています。(図4)

①パネルをやや斜めにしてパネルの固定金具を室内ユニット側面の仮掛け受け部に引っ掛けます。

②固定金具が掛かっていることを確認したらパネルのもう一方を天井パネルが水平になるように押し上げ、可動金具が室内ユニットの仮掛け受け部に掛かるまで押し上げてください。

③天井パネル両側の仮掛け金具が室内ユニットに確実に掛かっていることを確認してください。
確実に掛かっていないと、パネルが落下する場合があります。
これでパネルが室内ユニットに仮掛けされています。

- はずす場合は天井パネルを支えながら可動金具を内側に押してください。(図5)



（図5）
（図4）

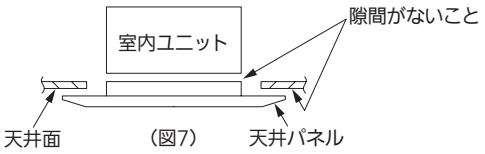
■別売部品

④パネルの取付穴と室内ユニット側のネジ穴を合わせます。

⑤付属の座付ネジ（M5×40）でパネル取付部の4か所を室内ユニットに密着するまで締め込みます。（図6）

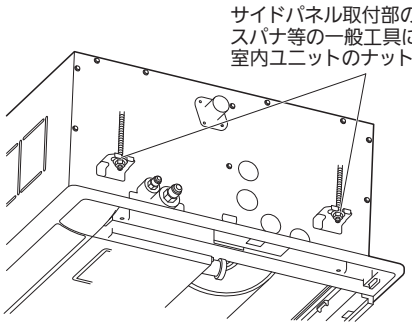
⑥パネルが天井に密着したことを確認します。

● この時、室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面との間に隙間がないようにしてください。（図7）

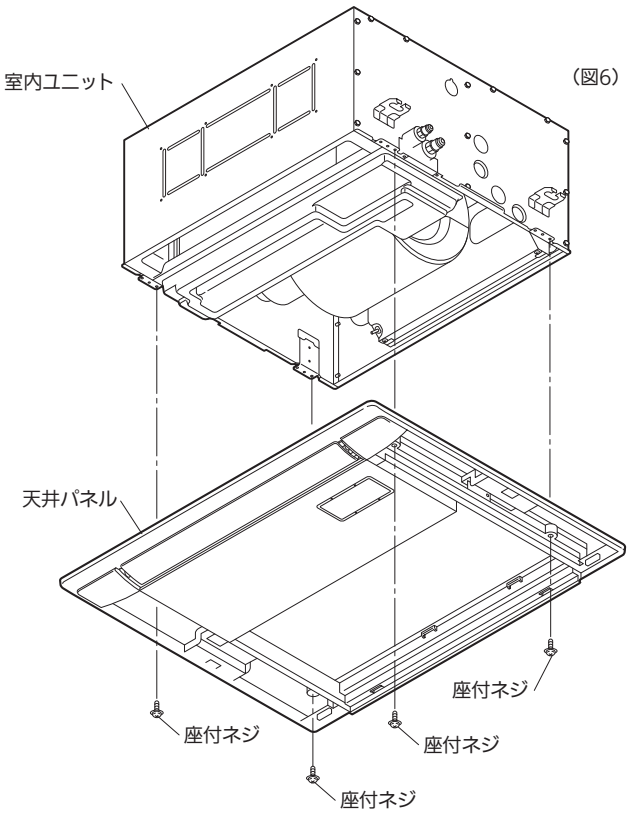


（図7）

● 天井との隙間が生じた場合、天井パネルを取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。（図8）



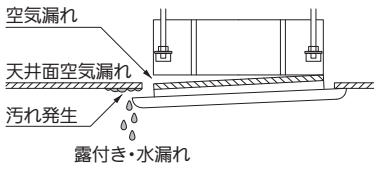
（図8）



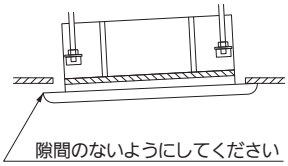
（図6）

ご　注　意

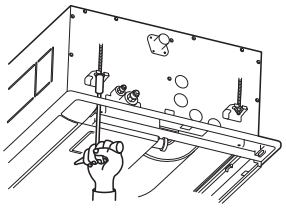
● ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



● ネジを締め込んでも天井面と天井パネルとの間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であれば天井パネルのサイドパネル取付部の穴より天井パネルを付けたまま室内ユニットの高さ調整ができます。



(4)天井パネルの配線方法

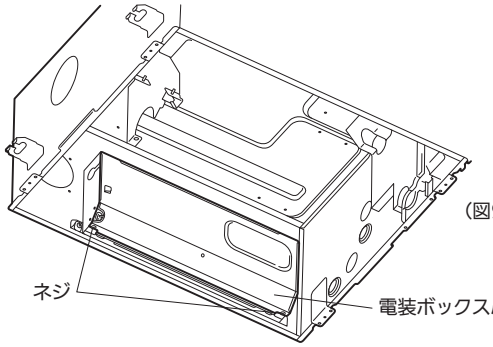
①電装ボックスのふたのネジ2本をゆるめて取りはずしてください。（図9）

②天井パネルから出ている配線コネクタ7P（赤）を室内ユニット側リード線クランパー（2か所）で固定してから室内ユニットの電装ボックス内のコネクタ7P（赤）に接続してください。（図10）

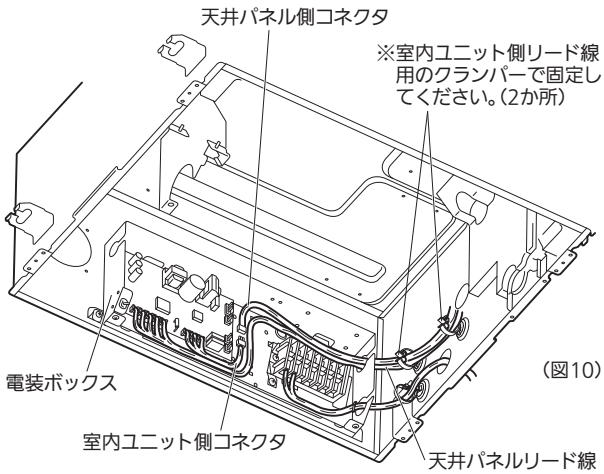
● コネクタを接続しないと、リモコンに“P09”が表示され、オートフラップが動作しないので、確実に接続してください。

● 配線コネクタが電装ボックスとふたの間にはさみ込んでいないことを確認してください。

● 配線コネクタが室内ユニットと天井パネルの間にはさみ込んでいないことを確認してください。



（図9）



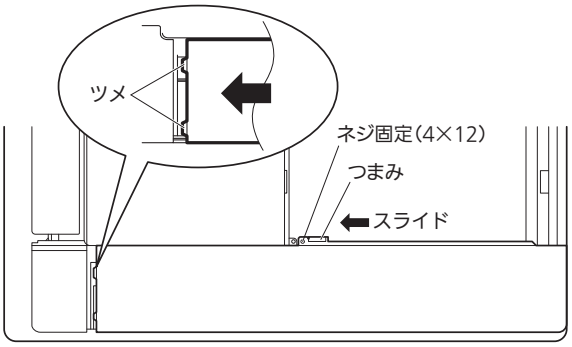
（図10）

■別売部品

(5)サイドパネル・吸込グリルの取り付け

A.サイドパネルの取り付け

①サイドパネルのつまみを持って矢印の方向へスライドし、サイドパネルを取り付けます。(図11)
②サイドパネルを天井パネルに、付属のネジ(4×12)で取り付けてください。

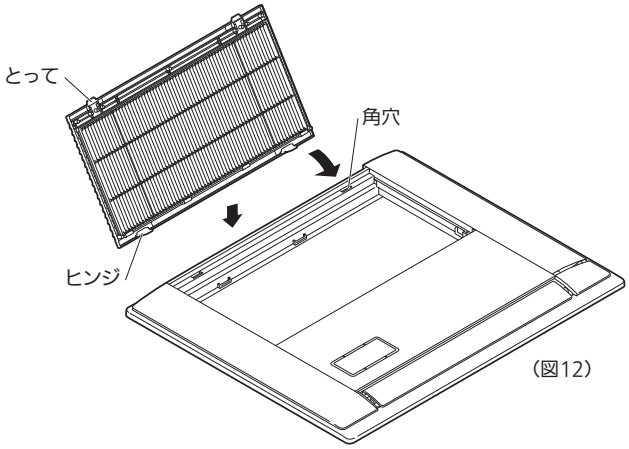


サイドパネルのツメを天井パネルに引っ掛けるように
スライドして取り付けたのち、付属のネジ（4×12)で固定して下さい。

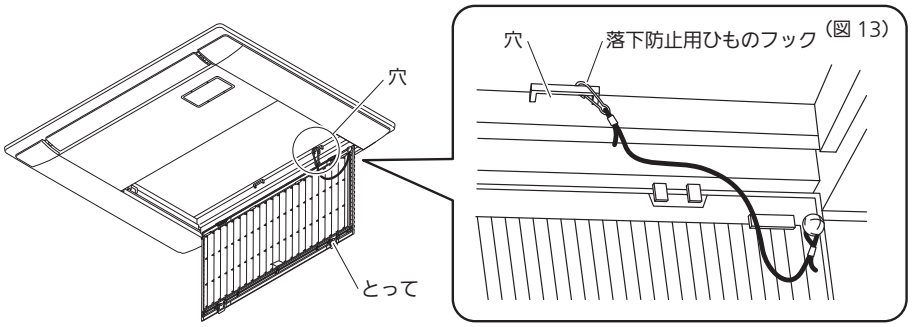
(図11)

B.吸込グリルの取り付け

● 取り付け方法は吸込グリルの取りはずしの項を逆に作業を行ってください。(図12)
①パネルの角穴に吸込グリルのヒンジを“カチッ”とするまで差し込んでください。
②吸込グリル落下防止用のひものフックをパネルの穴に取り付けてください。(図13)
③吸込グリルのとってをスライドして確実に差し込んでください。
● 吸込グリルはパネルに確実に取り付けること。
※取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下によりけがの原因になります。
● 吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないよう注意してください。(図12)



(図12)



(図 13)

4. その他

A.据え付け後の確認

● 室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
※隙間があると水漏れや露付きの原因となります。
● 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されてないとオートフラップが動かない(リモコンに“P09”の表示が出ます)、また水漏れや露付き等の原因となります。

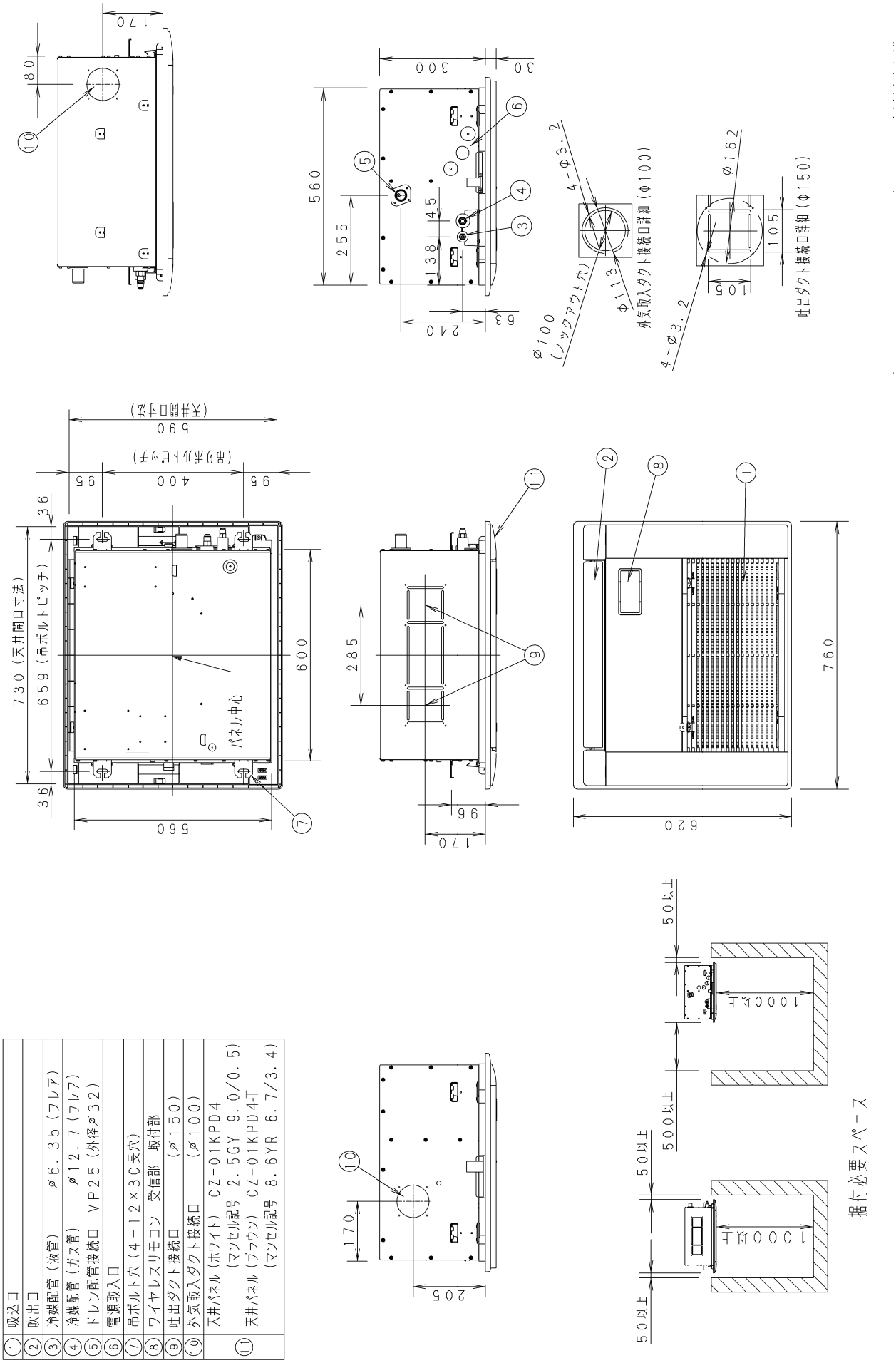
B.ワイヤレスリモコン対応の場合

● 取り付け方法の詳細は、別売品ワイヤレスリモコン本体組込受信部タイプに付属の据付説明書を参照してください。

上記項目を確認した後、この説明書と室内ユニットおよび別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。
その際、室内ユニットの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃について必ずお客様へ説明してください。

■部品取付図

●天井パネル（CZ-01KPD4，01KPD4-(T)）



①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）　φ6.35（フレア）
④	冷媒配管（ガス管）　φ12.7（フレア）
⑤	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32）
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴（4－12×30長穴）
⑧	ワイヤレスリモコン 受信部 取付部
⑨	吐出ダクト接続口　（φ150）
⑩	外気取入ダクト接続口　（φ100）
⑪	天井パネル（ホワイト）CZ-01KPD4 （マンセル記号 2.5GY 9.0/0.5） 天井パネル（ブラウン）CZ-01KPD4-T （マンセル記号 8.6YR 6.7/3.4）

■アンモニア脱臭フィルター仕様

名　称			アンモニア脱臭フィルター
品　番			AFT-DSA40B-AM
適用室内ユニット			40形
初期風量		m^3/min	9.4
最終風量		m^3/min	6.8
初期圧損		Pa	23.4
最終圧損		Pa	71.7
脱臭性能	初期脱臭性能		90%(JEM1467準拠)(アンモニアのみ)
	交換目安		約６ヶ月
集塵性能	初期集塵性能		比色法　65%
	交換目安		1800時間(600時間毎にフィルター掃除を行なった場合)
使用濾材			除塵シート(帯電ポリプロピレン) アンモニア脱臭抗菌シート(難燃性塩ビ系繊維+アンモニア吸着材+抗菌剤)
フィルター外形寸法	幅	mm	445
	奥行	mm	225
	厚み	mm	15
	質量	kg	0.58
グリル取付フィルター用金具		品番	STK-DFSA40B

注記
(1)アンモニア脱臭フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、グリル取付フィルター用金具の取付説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
　(取付説明書参照)
(2)初期脱臭性能、交換目安は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。
　フィルター交換時期は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3)アンモニア脱臭フィルターを組み込む場合は、グリル取付フィルター用金具が必要ですのでご用意ください。
(4)吸込グリル付属のエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
(5)風量・圧損・保塵量・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。
(6)フィルターは２ヶ月に一度掃除を行なってください。(取付説明書参照)

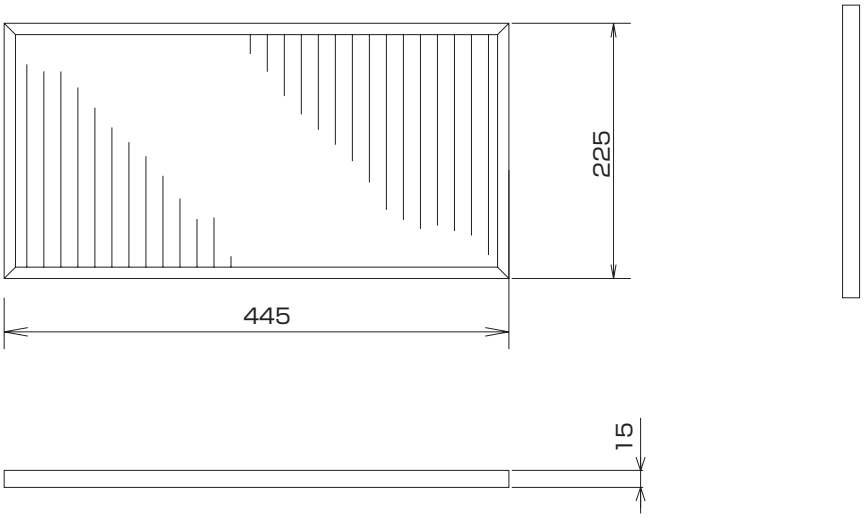
■光再生脱臭フィルター仕様

名　称			光再生脱臭フィルター
品　番			CZ-02FDDM3
適用室内ユニット			40形
初期風量		m^3/min	9.2
最終風量		m^3/min	6.9
初期圧損		Pa	7.8
最終圧損		Pa	45.5
脱臭性能	初期脱臭性能		70%(JEM1467準拠)
	再生目安		約６ヶ月(天日干しによる再生で約６年使用可能)
使用濾材			難燃性塩ビ系不織物(光触媒性酸化チタン、特殊ゼオライト含有)
フィルター外形寸法	幅	mm	445
	奥行	mm	225
	厚み	mm	15
	質量	kg	0.58
グリル取付フィルター用金具		品番	STK-DFSA40B

注記
(1)光再生脱臭フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、グリル取付フィルター用金具の取付説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
　(取付説明書参照)
(2)初期脱臭性能、再生目安は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。
(3)光再生脱臭フィルターを組み込む場合は、グリル取付フィルター用金具が必要ですのでご用意ください。
(4)吸込グリル付属のエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
(5)風量・圧損・保塵量・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。
(6)フィルターは２ヶ月に一度掃除を行なってください。(取付説明書参照)
　天日干しにより脱臭性能の再生が可能です。再生を行なうことにより約６年使用が可能となります。
　（６ヶ月毎に再生の場合）

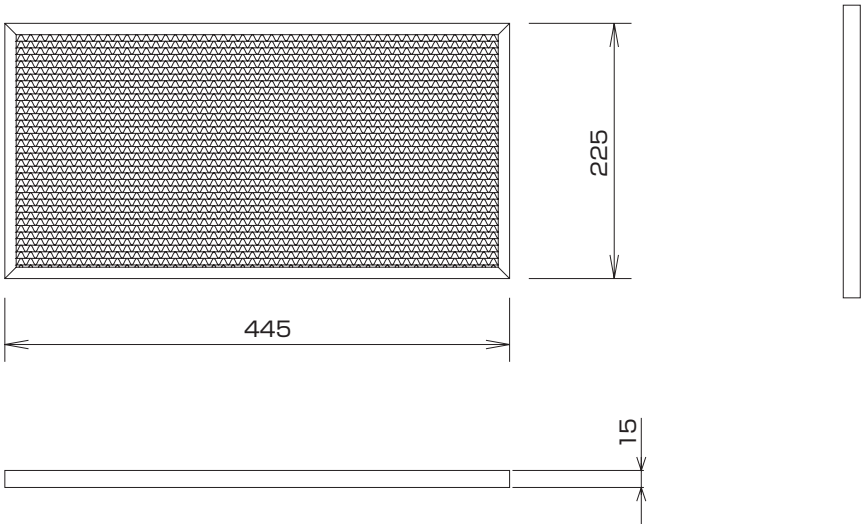
●アンモニア脱臭フィルター（AFT-DSA40B-AM）
■外形寸法図

フィルター品番	個数
ＡＦＴ-ＤＳＡ40Ｂ-ＡＭ	1



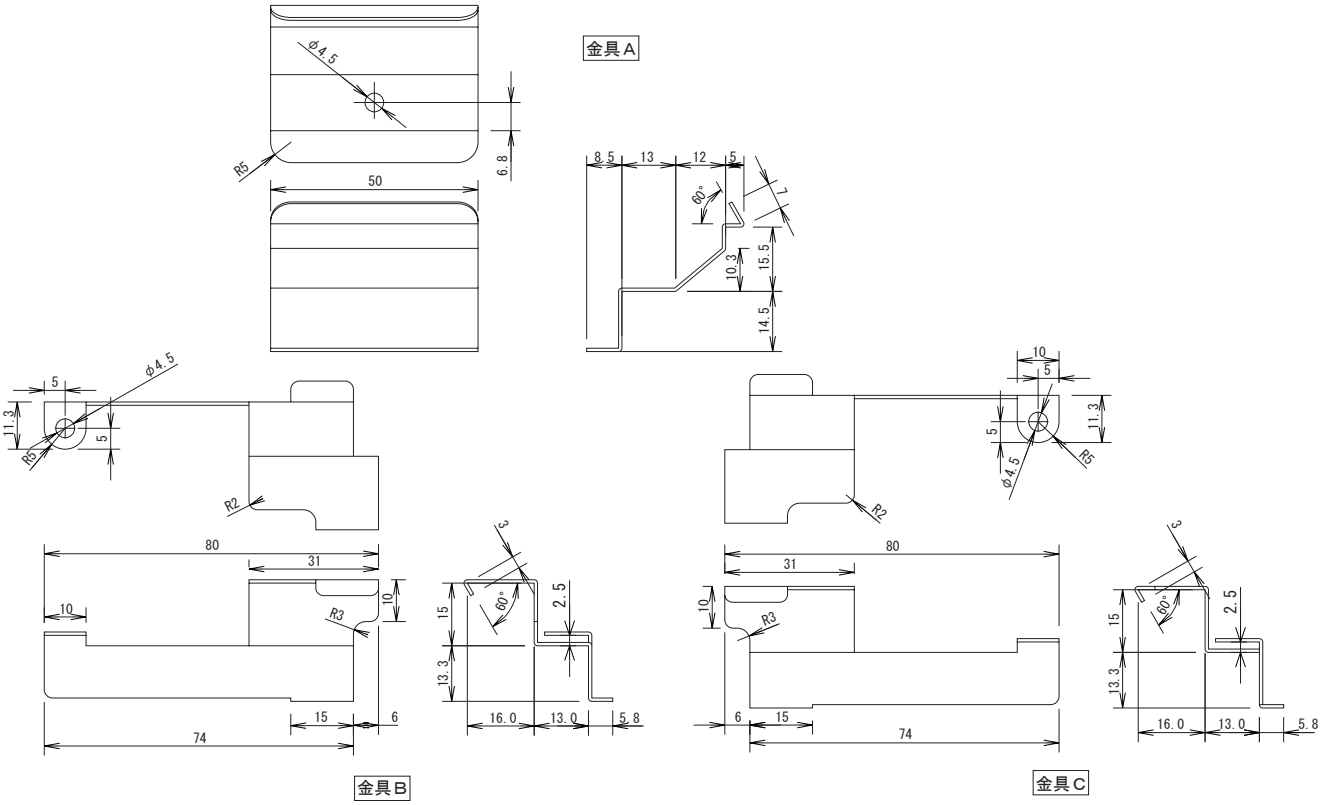
●光再生脱臭フィルター（CZ-02FDDM3）
■外形寸法図

フィルター品番	個数
CZ-02FDDM3	1



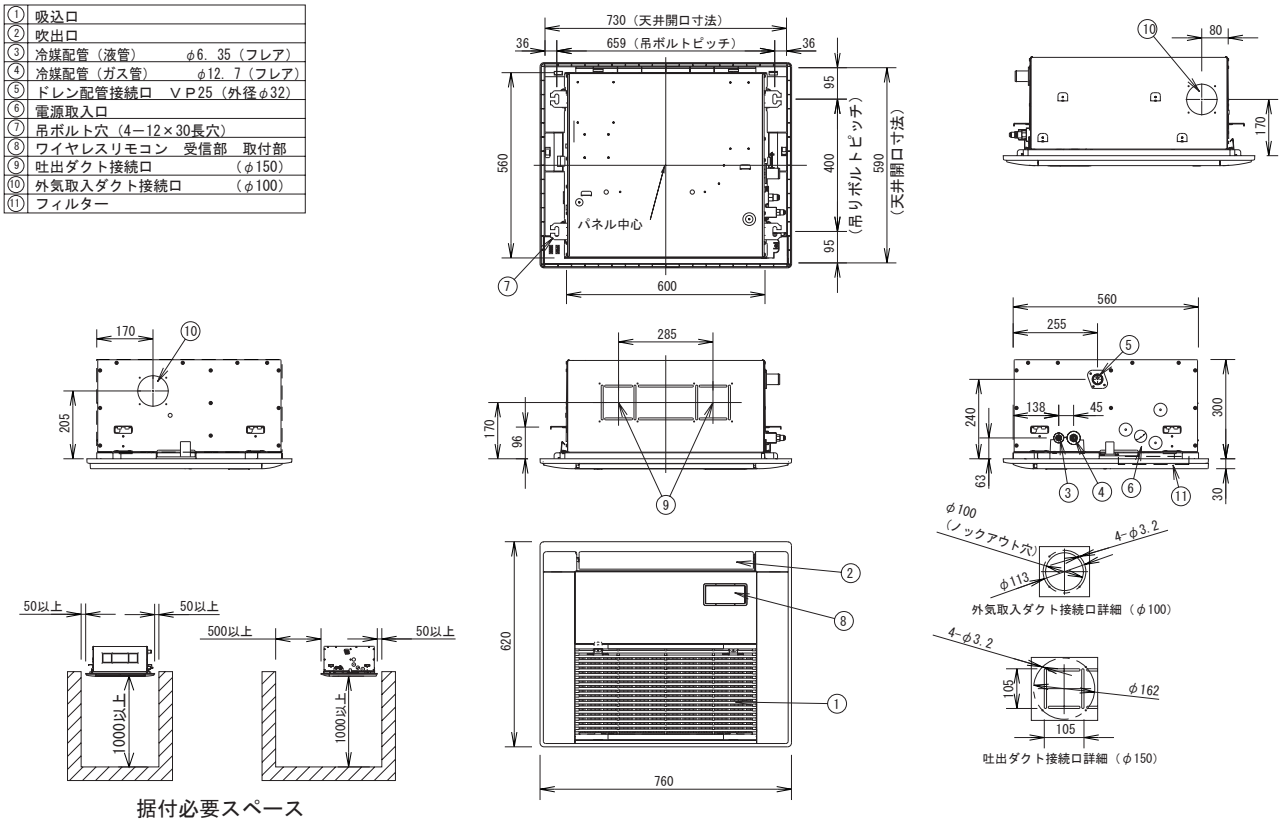
●グリル取付フィルター用金具（STK-DFSA40B）

■外形寸法図



■部品取付図（各フィルター）

①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）　φ6. 35（フレア）
④	冷媒配管（ガス管）　φ12. 7（フレア）
⑤	ドレン配管接続口　ＶＰ25（外径φ32）
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴（4−12×30長穴）
⑧	ワイヤレスリモコン　受信部　取付部
⑨	吐出ダクト接続口　（φ150）
⑩	外気取入ダクト接続口　（φ100）
⑪	フィルター

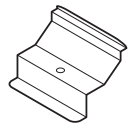
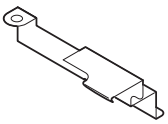
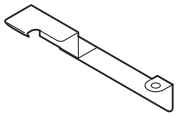
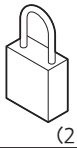


据付必要スペース

8546435986 1001

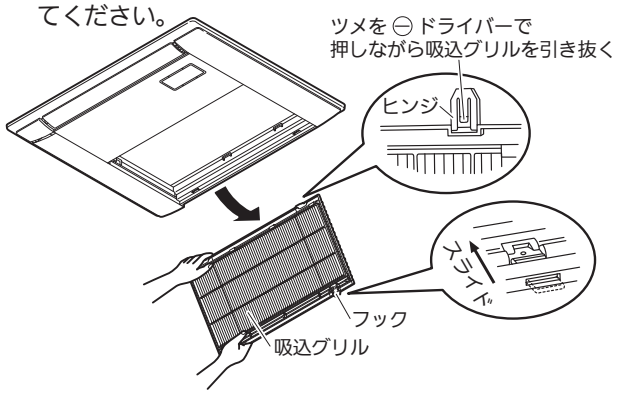
フィルター金具　取付説明書　品番：STK-DFSA40B

1.付属品　付属品は取付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

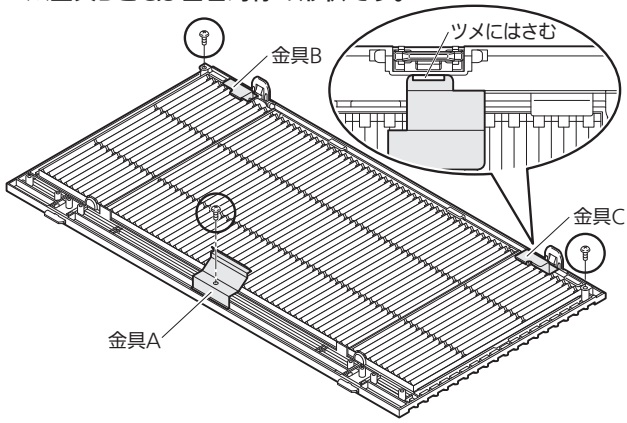
金具A　1個	金具B　1個	金具C　1個	ネジ　3個	取付説明書　各1枚	短絡用コネクタ
				 本説明書 DCファンタップ変更手順 試運転 補足	 (2P黄色)

2.取り付けかた

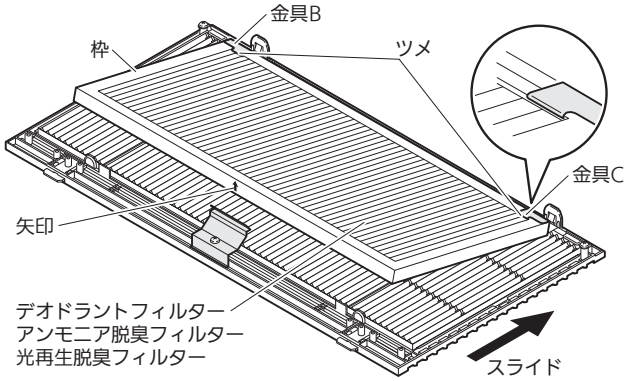
① パネルから吸込グリルを取りはずします。
吸込グリルのフック（2か所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2か所）のツメ部を⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。



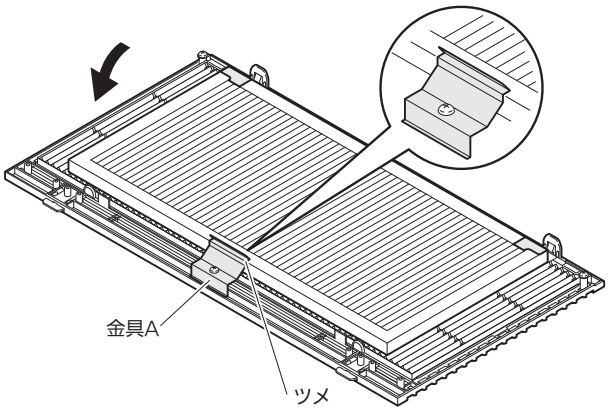
② 金具A、B、Cを図の位置に付属のネジで取り付けます。
※金具BとCは左右対称の形状です。



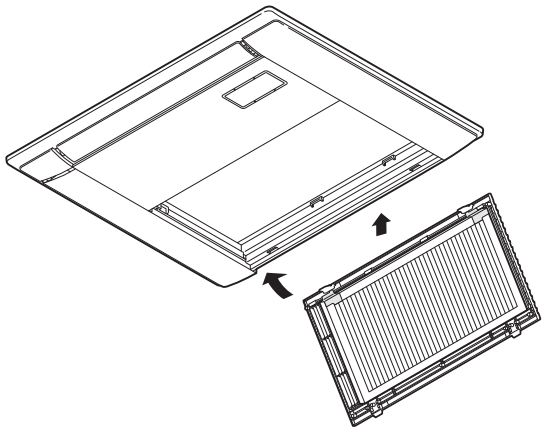
③ 取り付けるフィルターを図のようにスライドさせながらフィルターの枠を金具B、Cのツメに引っかけます。
フィルターの枠に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。



④ 取り付けたフィルターをロングライフフィルターと水平になるように倒して、金具Aのツメに引っかけます。



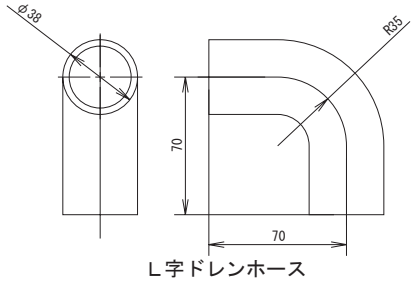
⑤ 吸込グリルをパネルに取り付けます。
取付方法は①吸込グリルの取りはずしの項を逆に作業を行ってください。
吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないよう注意してください。



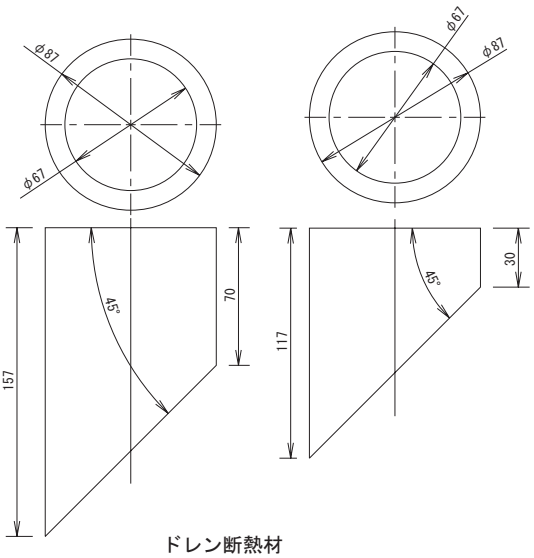
⑥ ワイヤードリモコン、または室内基板（付属短絡コネクター使用）にてDCファンタップの設定変更を行なってください。
（設定方法は別紙説明書に従って行ない、光再生脱臭フィルターの場合は設定Noを“1”に、デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターの場合は設定Noを“3”に合わせてください。）
※設定を行なわない場合、風量減少、露付きの原因となります。

● L字ドレン配管キット（DP-LDSA40B）

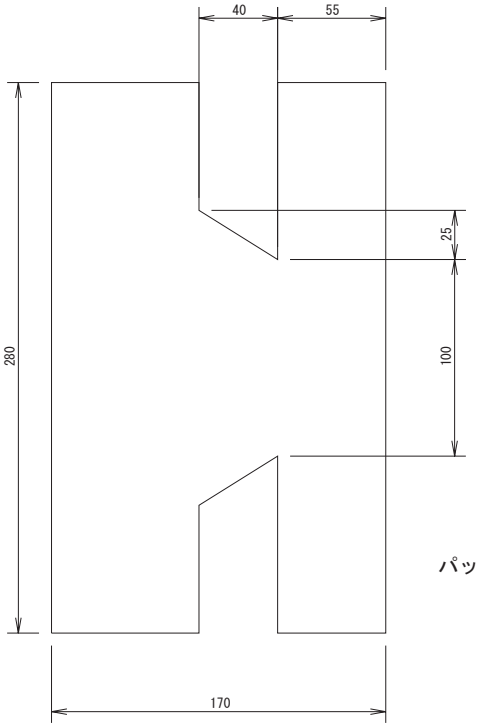
■外形寸法図



L字ドレンホース



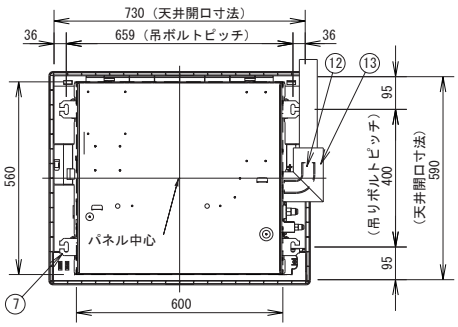
ドレン断熱材

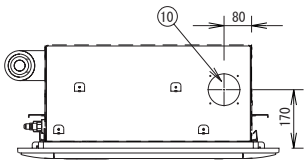


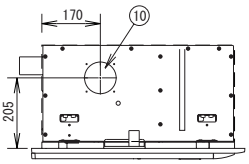
パッキン

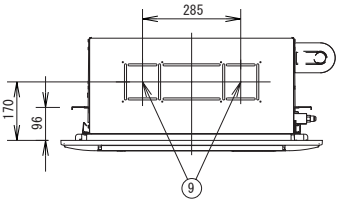
■部品取付図

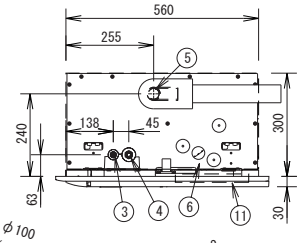
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）　φ6．35（フレア）
④	冷媒配管（ガス管）　φ12．7（フレア）
⑤	ドレン配管接続口　ＶＰ25（外径φ32）
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴（4−12×30長穴）
⑧	ワイヤレスリモコン　受信部　取付部
⑨	吐出ダクト接続口　（φ150）
⑩	外気取入ダクト接続口　（φ100）
⑪	フィルター
⑫	L字ドレンホース
⑬	ドレン断熱材

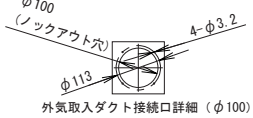




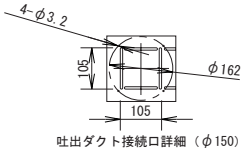




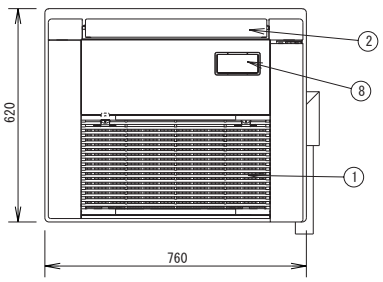


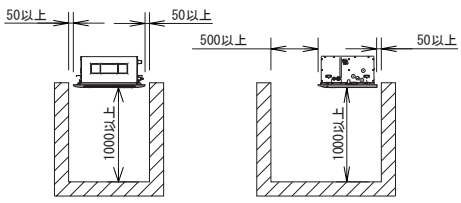


外気取入ダクト接続口詳細（φ100）



吐出ダクト接続口詳細（φ150）





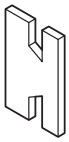
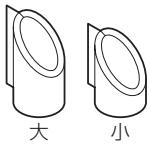
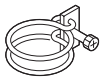
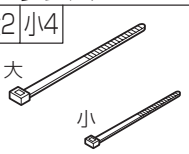
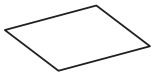
据付必要スペース

● L 字ドレン配管キット（DP-LDSA40B）

8546435986 2000

L字ドレン配管キットの取り付けかた

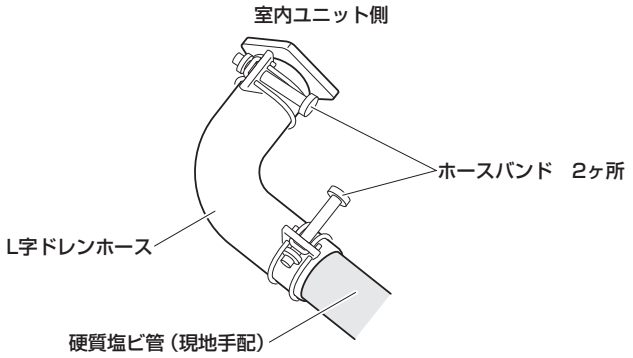
1.構成部品

L字ドレンホース	パッキン	ドレン断熱材	ホースバンド	クランパー	取付説明書
1 	1 	各1 	2 	大2 小4 	1 

2.取り付けかた

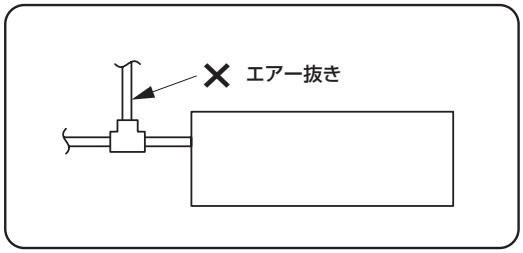
L字ドレン配管は、本説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

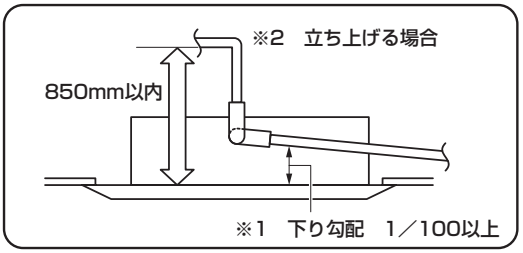
① **室内ユニット排水口にL字ドレンホースを接続し、ホースバンドで固定してください。**
塩ビ配管側は、VP25用ソケットおよび硬質塩ビパイプ一般管、呼び径25mm、外形32mmのパイプをホースバンドで固定してください。

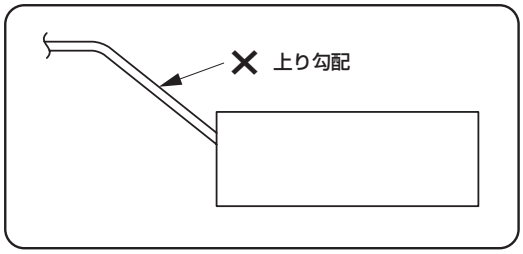


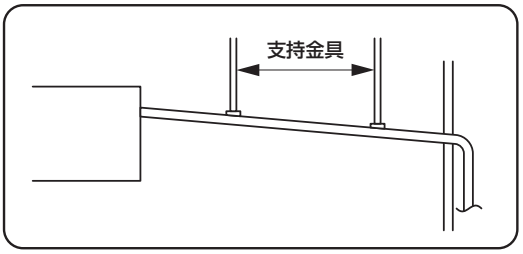
⚠ 注意

- ドレン接続口には、接着剤は使用しないでください。
- L字ドレンホースは、室内ユニット排水口の根元まで挿入してから、ホースバンドでしっかり締めてください。
- ホースバンドの締付位置は必ず上側にしてください。
- ドレン配管は必ず下り勾配（1／100以上）とし、トラップの出来ないようにしてください。※1
- L字ドレンホースを立ち上げる場合は、垂直にして使用してください。※2
- ドレン配管高さを高くしたい場合は、天井下面より850mmを限度としてあげることができます。
  絶対に850mm以上にしないでください。水漏れの原因になります。
- 室内ユニット排水口（透明）部にて、ドレン排水の確認をしてください。
- ドレン配管は必ず断熱してください。
- エアー抜き管は絶対に付けないでください。ドレン水が吹き出ることがあります。
- 自然排水はしないでください。
- 接続口より上り勾配で絶対に配管しないでください。室内ユニット停止時ドレン水が逆流して水漏れの原因になります。
- ドレン配管を接続する場合、室内ユニット側の配管に力を加えないように行い、できる限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。

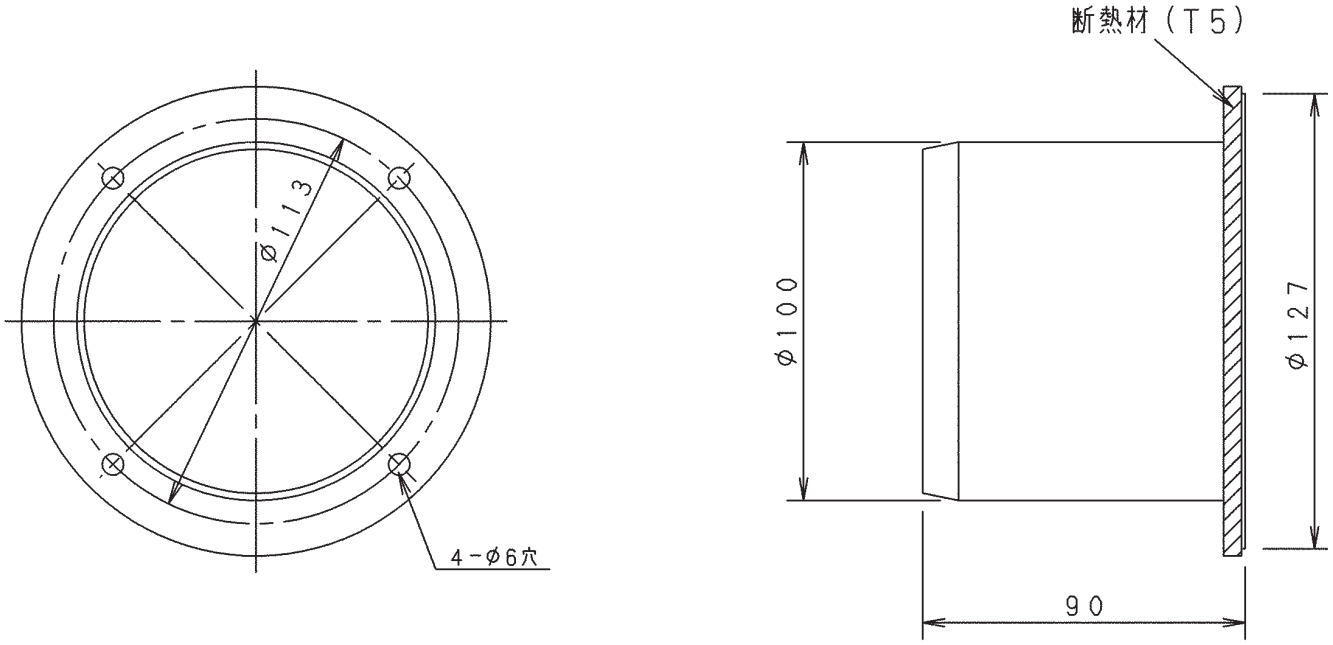








●外気取入れ・本体用ダクトフランジ（φ 100）〈DKT-MF10AN〉
■外形寸法図

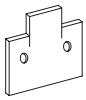
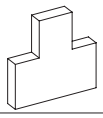


●外気取入・本体用ダクトフランジ（φ 100）

■取付方法

丸合フランジの取り付けかた

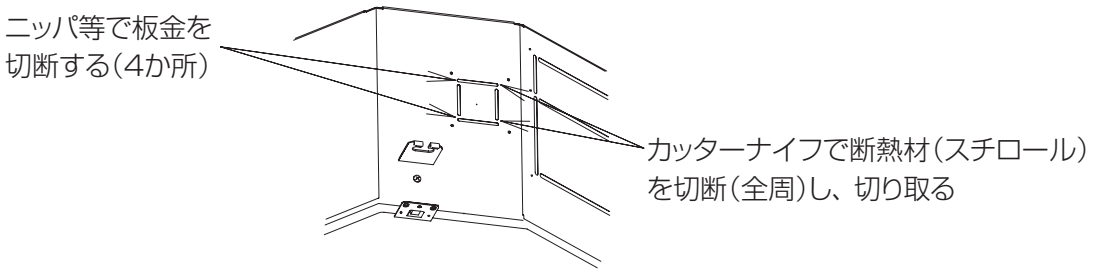
1. 付属品

名　　称	個数	名　　称	個数
丸合フランジ （φ100･外気取入用） 	1	取付ネジ （4x12） 	4
シール用断熱材　A 	2	シール用断熱材　B 	2

2. 取り付けかた

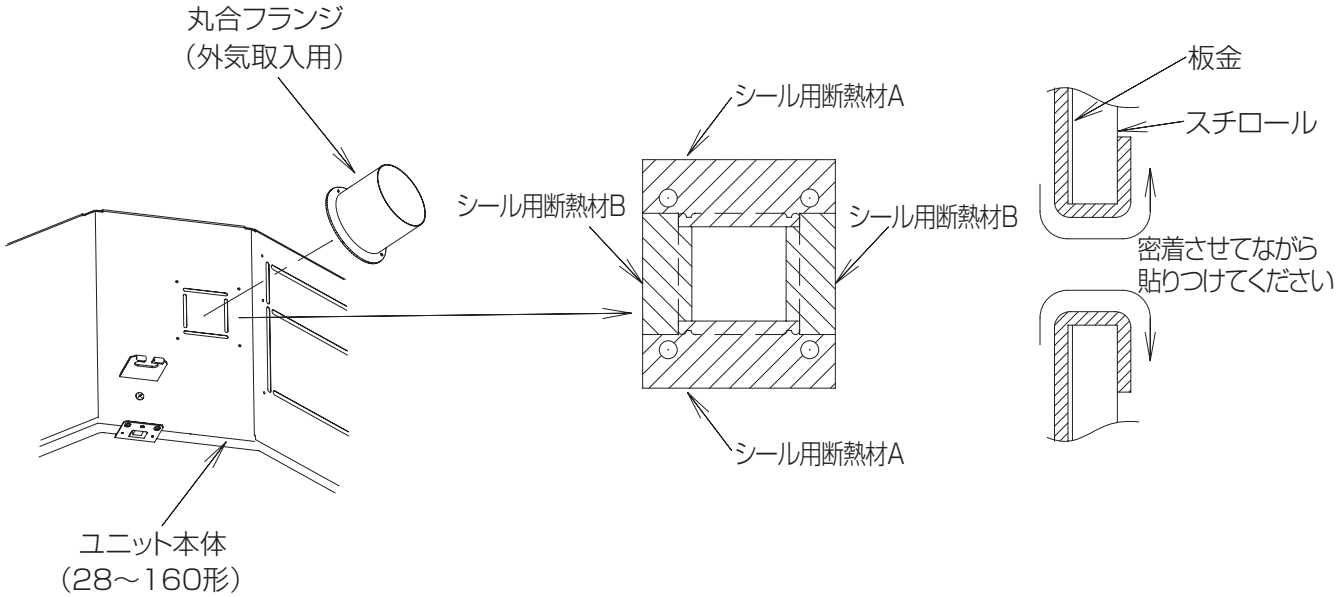
（1）ユニット本体の切り込みを目印に、断熱材（スチロール）ごと、ニッパ・カッターナイフ等で切断し、切り取ってください。

注意　内側のスチロールを切断するとき、カッター等の刃は30mm以上差し込まないよう注意してください。（内部のドレンパンを傷つけると、水漏れの原因になります。）



（2）スチロールと板金との隙間がありますと、結露等の問題が発生しますので必ず付属の断熱材A、Bにて貼りつけてください。

（3）ユニット本体に丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取付けてください。



■別売部品組合わせ表

●天井ビルトインカセット形

別売品組合せ表（吸込側への接続部品）　（○：組合せ可能部品　×：組合せできない部品）

部品名	ビルトイン小パネル	ビルトイン大パネル	スライドチャンバー	キャンバスダクト	外気取入用丸合フランジ(φ150	ロングライフフィルター	高性能フィルター（比色法65%	高性能フィルター（比色法90%	必須組み合わせ部品
ビルトイン小パネル		×	○	○	○	○	○	○	—
ビルトイン大パネル	×		×	○※8	○	○※8	○※8	○※8	—
スライドチャンバー	○	×		×	○	○	○	○	—
キャンバスダクト	○	○※8	×		○	○	○	○	—
外気取入用丸合フランジ(φ150	○	○	○	○		○	○	○	—
ロングライフフィルター	○	○※8	○	○	○		○※7	○※7	フィルターチャンバー
高性能フィルター（比色法65%	○	○※8	○	○	○	○※7		×	フィルターチャンバー
高性能フィルター（比色法90%	○	○※8	○	○	○	○※7	×		フィルターチャンバー

※7高性能フィルター・ロングライフフィルターを併用する場合は、チャンバーを 2 個使用してください。また、ロングライフフィルター使用の際は、吸込グリルやパネルに付属のフィルターははずしてください。大パネルと組み合わせ可能なチャンバーは 1 個までとなります。 ※8大パネル、キャンバスダクト、フィルターチャンバーの組み合わせはできません。

別売品組合せ表（吹出側への接続部品）

部品名	自然気化式加湿器	フレキシブルダクト(丸)	吹出しグリル	分岐チャンバー	吹出角ダクト合フランジ
自然気化式加湿器		○	○	○	○
フレキシブルダクト(丸)	○		○	○	×
吹出しグリル	○	○		○	×
分岐チャンバー	○	○	○		×
吹出角ダクト合フランジ	○	×	×	×	

(◎：組合せ推奨部品、○：組合せ可能部品、△：制約付きで可能、×：組合せできない部品)

リモコン対応表

リモコン対応表	ワイヤードリモコン				ワイヤレスリモコン受信部※1	リモコン（別売品）の設置可能台数
	多機能ワイヤードリモコン	ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	簡単リモコン	ワイヤレスリモコン別置受信部タイプ	
エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合	◎※2	×	△※2	×	△※2	1台
エコナビセンサー（壁設置形）を使用しない場合	◎	◎	◎	◎	○	2台
ナノイーXを使用する場合	◎	△※3	△※3	△※3	○	2台

<エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合> リモコンは多機能ワイヤードリモコンを基本として使用ください。<多機能ワイヤードリモコンを使用する場合>多機能ワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。<多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合>その他のワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。

※1 ワイヤレスリモコンは、受信部（別置受信部タイプ）と送信部が必要です。※2 多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合、△印のリモコンはエコナビ機能のON/OFFが可能です。※3 多機能ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンと併用してください。併用しない場合は、ナノイーX が制御できません。

●ビルトインオールダクト形

別売品組合せ表（吸込側への接続部品）

（○：組合せ可能部品　×：組合せできない部品）

部品名	オールダクト用メンテパネル	外気取入用丸合フランジ（φ150）	吸込角ダクト合フランジ	キャンバスダクト	吸込グリルフィルター付	ロングライフフィルター	高性能フィルター（比色法65%）	高性能フィルター（比色法90%）	必須組み合わせ部品
オールダクト用メンテパネル		○	○	○	○	○	○	○	―
外気取入用丸合フランジ（φ150）	○		○	○	○	○	○	○	―
吸込角ダクト合フランジ	○	○		×	○	○	○	○	接続チャンバー
キャンバスダクト	○	○	×		○	○	○	○	接続チャンバー
吸込グリルフィルター付	○	○	○	○		○	○	○	―
ロングライフフィルター	○	○	○	○	○		○※6	○※6	接続チャンバー＋フィルターチャンバー
高性能フィルター（比色法65%）	○	○	○	○	○	○※6		×	接続チャンバー＋フィルターチャンバー
高性能フィルター（比色法90%）	○	○	○	○	○	○※6	×		接続チャンバー＋フィルターチャンバー

※6 高性能フィルター・ロングライフフィルターを併用する場合は、チャンバーを2個使用してください。また、ロングライフフィルター使用の際は、吸込グリルやパネルに付属のフィルターははずしてください。

別売品組合せ表（吹出側への接続部品）

部品名	オールダクト用メンテパネル	自然気化式加湿器	フレキシブルダクト（丸）	吹出口グリル	吹出丸ダクト合フランジ
オールダクト用メンテパネル		○	○	○	○
自然気化式加湿器	○		○	○	○
フレキシブルダクト（丸）	○	○		○	●
吹出口グリル	○	○	○		●
吹出丸ダクト合フランジ	○	○	●	●	

（●：組合せ必須部品、◎：組合せ推奨部品、○：組合せ可能部品、△：制約付きで可能、×：組合せできない部品）

リモコン対応表

リモコン対応表	ワイヤードリモコン				ワイヤレスリモコン受信部※1	リモコン（別売品）の設置可能台数
	多機能ワイヤードリモコン	ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	簡単リモコン	ワイヤレスリモコン別置受信部タイプ	
エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合	◎※2	×	△※2	×	△※2	1台
エコナビセンサー（壁設置形）を使用しない場合	◎	◎	◎	◎	○	2台
ナノイーXを使用する場合	◎	△※3	△※3	△※3	○	2台

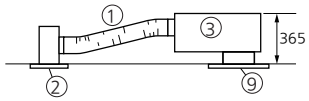
<エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合>リモコンは多機能ワイヤードリモコンを基本として使用ください。
<多機能ワイヤードリモコンを使用する場合>多機能ワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。
<多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合>その他のワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。※1 ワイヤレスリモコンは、受信部（別置受信部タイプ）と送信部が必要です。※2 多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合、△印のリモコンはエコナビ機能のON/OFFが可能です。※3 多機能ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンと併用してください。併用しない場合は、ナノイーX が制御できません。

■システム展開例、オプション部品の適応室内ユニット

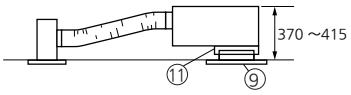
※図の◯数字は、右のオプション部品の表と対応します。

<天井ビルトインカセット形>

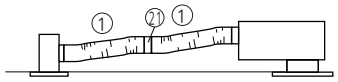
ビルトイン小パネル



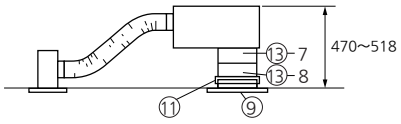
スライドチャンバー



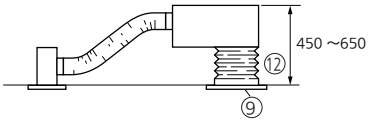
フレキシブルダクト(丸)を直列接続する場合



高性能フィルター・ロングライフフィルター

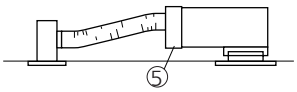


キャンバスダクト



※高性能フィルター・ロングライフフィルターを併用する場合は、チャンバーを2個使用してください。
また、ロングライフフィルター使用の際は、吸込グリルやパネルに付属のフィルターははずしてください。

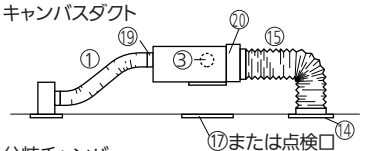
加湿器



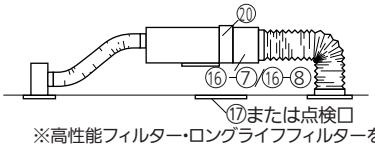
<ビルトインオールダクト形>

出荷時は、角ダクト用吹出口になっていますので、
①を使用するためには、⑲が必要です。

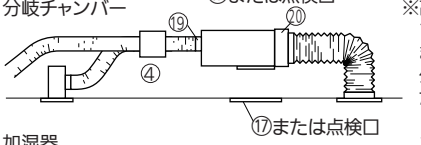
キャンバスダクト



高性能フィルター・ロングライフフィルター

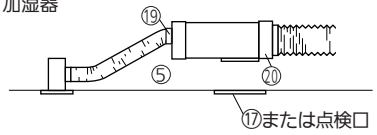


分岐チャンバー

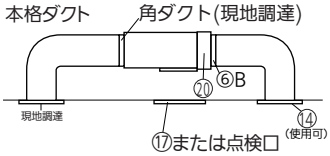


※高性能フィルター・ロングライフフィルターを併用する場合は、チャンバーを2個使用してください。
また、ロングライフフィルター使用の際は、吸込グリルやパネルに付属のフィルターははずしてください。

加湿器



本格ダクト　角ダクト(現地調達)



(注) ⑨の小パネルをご使用の場合、取付け時の微調整用として⑫のキャンバスダクト
もしくは、⑪のスライドチャンバーをご使用ください。

(注) 気化式加湿器を取り付けた場合、取付側天井面に450×450の専用の点検口が必要です。

■別売品の適応室内ユニット

形式	50	56	63	71	80	112	140	160
適応	●	●	●	●	●	●	●	●

●標準ワイヤードリモコン
(リモコンコード現地調達)



CZ-10RT5



CZ-10RT3

●ワイヤレスリモコン
別置き受信部タイプ



CZ-10RWP2　CZ-10PWRC1A

●簡単リモコン
(リモコンコード現地調達)



CZ-02RE4

1　フレキシブルダクト(丸)

φ150 (1m)CZ-F1510,DKT-F1510B
(2m)CZ-F1520,DKT-F1520B
(5m)CZ-F1550
(7.62m)DKT-F1575B
φ200 (1m)CZ-F2010,DKT-F2010B
(2m)CZ-F2020,DKT-F2020B
(5m)CZ-F2050
(7.62m)DKT-F2075B



※DKT-F1075B、F2075B　はダクト端末未処理で
バンド等は現地調達となります。

21　ダクトスリーブ



CZ-SP15
(CZ-F1510,F1520,F1550用)

CZ-SP20
(CZ-F2010,F2020,F2050用)

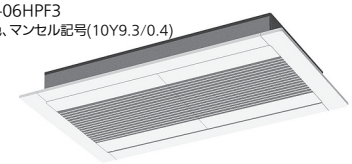
5　自然気化式加湿器

●CZ-07ASF2
●CZ-10ASF2
●CZ-20ASF2



9　ビルトイン小パネル
吸込グリル・ロングライフフィルター付

(標準タイプ)
●CZ-02HPF3
●CZ-03HPF3
●CZ-06HPF3
外装色、マンセル記号(10Y9.3/0.4)



13　フィルターチャンバー
7.8のフィルター(別売)組込可能(7と8を併用する場合は、チャンバー2個必要です)

●CZ-56FBCF1
●CZ-90FBCF1
●CZ-160FBCF1

高性能フィルター取付状態



ロングライフフィルター取付状態

17　オールダクト用メンテパネル
天井材組込可能

(受注対応品)
●PNR-MBD45RF
●PNR-MBD71RF
●PNR-MBD125RF
外装色、マンセル記号(10Y9. 3/0.4)

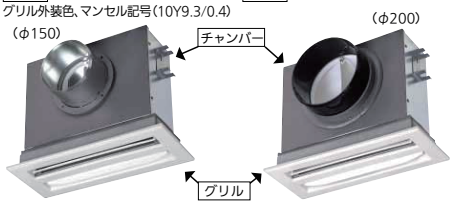


●970×640 (開口寸法950×62 0)
●1,270×640 (開口寸法1,250×620)
●1,700×640 (開口寸法1,680×620)

■オプション部品の適応室内ユニット

2 吹出口グリル

φ150　GRL-S15B
グリル外装色、マンセル記号(10Y9.3/0.4)
φ200　GRL-S20B



※チャンバーとグリルのセット品番です。油の飛沫や油煙の立ちこめる場所（例：調理場や機械工場など）への据付は避けてください。

3 外気取入用丸合フランジ（φ150）

●●●DKT-MF15A1



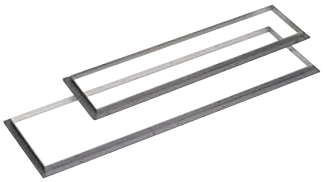
4 分岐チャンバー
接続径φ200をφ150×2に

●●●CMB-B20B



6 A 吹出角ダクト合フランジ
B 吸込角ダクト合フランジ

吹出	吸込
●CZ-56SDGF1	●DKT-RFBD50T
●CZ-90SDGF1	●DKT-RFBD80T
●CZ-160SDGF1	●DKT-RFBD140T



7 高性能フィルター（比色法65%、90%）

65%	90%（90%は受注対応品）
●AFT-MBD50T	●AFT-HBD50T
●AFT-MBD80T	●AFT-HBD80T
●AFT-MBD140T	●AFT-HBD140T



※納期につきましては別途お問合せください。

8 ロングライフフィルター

●AFT-LBD50T
●AFT-LBD80T
●AFT-LBD140T
（受注対応品）



※納期につきましては別途お問合せください。

10 ビルトイン大パネル
吸込グリル・ロングライフフィルター付

（標準タイプ）
●CZ-56KPF1
●CZ-90KPF1
●CZ-160KPF1
外装色、マンセル記号(10Y9.3/0.4)



11 スライドチャンバー

●CMB-SLBD56B
●CMB-SLBD90B
●CMB-SLBD160B



12 キャンバスダクト

●DKT-CBD50T
●DKT-CBD80T
●DKT-CBD140T



14 吸込グリル
フィルター付

●GRL-RBU50TN
●GRL-RBU80TN
●GRL-RBU140TN
外装色、マンセル記号(10Y9.3/0.4)



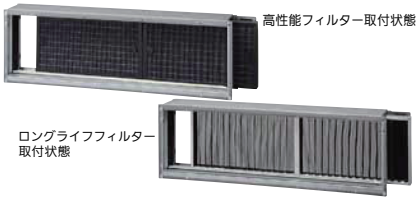
15 キャンバスダクト

●DKT-CBU50T
●DKT-CBU80T
●DKT-CBU140T



16 フィルターチャンバー
7.8のフィルター(別売)組込可能(併用する場合は、チャンバー2個使用)

●CMB-FBU50T
●CMB-FBU80T
●CMB-FBU140T



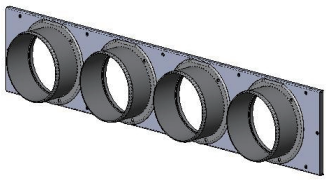
18 吸込メンテパネル

●CZ-02KCFE3
●CZ-03KCFE3
●CZ-06KCFE3



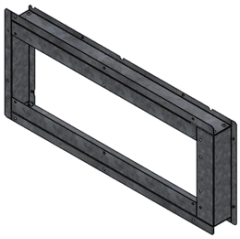
19 吸出丸ダクト合フランジ

●CZ-56DAF2A
●CZ-90DAF2A
●CZ-160DAF2A



20 接続チャンバー

●CZ-56SPF2
●CZ-90SPF2
●CZ-160SPF2



22 VZシステムチャンバー

●CZ-140VBCFE7



140形専用別売品

23 VZノズル20タイプ

●FY-20XGR-D



140形専用別売品

■ダクト設計における留意点
天井ビルトインカセット形

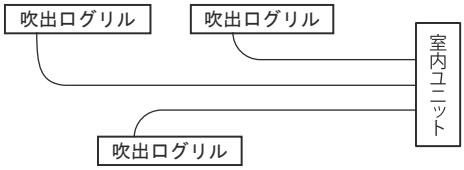
《設計風量》
ダクトタイプは据付状態によって機外静圧が異なり風量も変化します。定格機外静圧を超えて使用しますと、
送風量が減少して快適な空調が得られませんので、機外静圧は定格かそれ以下での使用を推奨します。

●システムによる許容ダクト長さ目安
次の表は主なシステムについて、丸ダクトの接続長さの目安を表わしています。ダクト設計をされる際の目安にしてください。
下記以外のシステムについては次項以降の資料を参照のうえ設計してください。

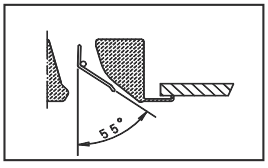
※1. 高機能フィルター、ロングライフフィルターを使用する場合は、取付説明書に従って静圧設定を行ってください。
※2. 吹出口数の変更はできるだけ避けてください。下表のように機内の圧力損失が増加するため最大ダクト長は短くなります。
※3. 下表は定格風量で算出していますが、送風機特性の風量、静圧制限内で設計風量を下げることは可能です。
機外静圧のアップ、最大ダクト長の延長が可能です。

				標準吹出口数の場合					吹出口数を変更した場合			
筐体→				小	中	大			中	大		
シングル→				50,56	63,71,80	112	140	160	63,71,80	112	140	160
定格風量（m³/min）				14	21	32	34	36	21	32	34	36
ユニット吹出口数（個）				2	3	4	4	4	2	3	3	3
吹出口１個当たりの風量（m³/min）				7.0	7.0	8.0	8.5	9.0	10.5	10.7	11.3	12.0
丸ダクト・吹出口径				φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200
ビルトイン仕様	機外静圧（Ｐａ）		タップ５	34	39	39	39	39	39	39	39	39
			タップ７	50	50	50	50	50	50	50	50	50
			タップ13	60	60	60	60	60	60	60	60	60
			タップ14	－	80	80	80	80	80	80	80	80
	圧損（Ｐａ）	吹出グリル		22.1	22.1	28.1	31.3	34.7	45.9	47.2	52.6	58.4
		高性能フィルター（比色法６５%）		18.8	21.4	21.4	23.9	26.5	21.4	21.4	23.9	26.5
		高性能フィルター（比色法９０%）		24.1	26.7	26.2	28.7	31.2	26.7	26.2	28.7	31.2
		小パネル（機外静圧に含まれる）		9.3	14.1	17.0	18.9	20.9	14.1	17.0	18.9	20.9
	フレキシブル	直線部		1.6	1.6	2.1	2.3	2.6	3.5	3.6	4.1	4.6
	ダクト圧損（Ｐａ/m）	曲がり部（半径Ｒ　０.４m，１ヶ所）		3.0	3.0	3.9	4.4	4.9	6.7	6.9	7.8	8.7
	ダクト接続長さの目安（m）	ビルトイン小パネル/大パネル	タップ５	6.7	9.9	4.4	2.4	0.7	－	－	－	－
		高性能フィルター（比色法６５%）＋ビルトイン小パネル	タップ７	4.9	3.2	－	－	－	－	－	－	－
		高性能フィルター（比色法９０%）＋ビルトイン小パネル	小:タップ13 中/大:タップ14	7.9	18.9	11.6	7.7	4.5	1.2	0.9	－	－

上表算出条件
１）ダクト接続長さ：定格風量、定格機外静圧にて、最大何メートルまでダクト引きが可能かを算出しました。
２）フレキシブル丸ダクトの曲り：半径R 0.4m、90°曲げ１ヶ所を想定し算出（→直管相当長Ｌｅ＝２.０m）
３）吹出口グリル（ＧＲＬ－Ｓ２０Ｂ）取付
４）吸込グリルはフィルター付き



５）吹出羽角度



（注）１．吹出口の数の変更は3個→2個、4個→3個の変更のみ可能、それ以外の変更はできません。

天井ビルトインカセット形

《設計風量》

ダクトタイプは据付状態によって機外静圧が異なり風量も変化します。 定格機外静圧を超えて使用しますと、
送風量が減少して快適な空調が得られませんので、 機外静圧は定格かそれ以下での使用を推奨します。
特に吸込側は必ず角ダクトをご使用ください。

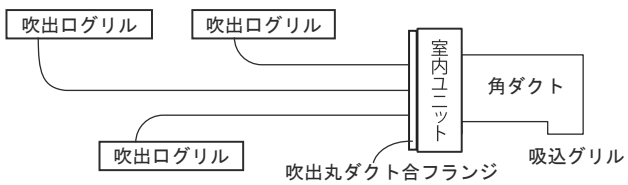
●システムによる許容ダクト長さ目安

次の表は主なシステムについて、丸ダクトの接続長さの目安を表わしています。ダクト設計をされる際の目安にしてください。
下記以外のシステムについては次項以降の資料を参照のうえ設計してください。

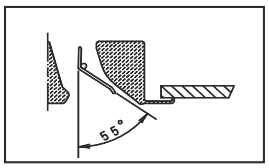
※1. 高機能フィルター、ロングライフフィルターを使用する場合は、取付説明書に従って静圧設定を行ってください。
※2. 吹出口数の変更はできるだけ避けてください。下表のように機内の圧力損失が増加するため最大ダクト長は短くなります。
※3. 下表は定格風量で算出していますが、送風機特性の風量、静圧制限内で設計風量を下げることは可能です。
機外静圧のアップ、最大ダクト長の延長が可能です。

				標準吹出口数の場合					吹出口数を変更した場合			
筐体→				小	中		大		中	大		
シングル→				50,56	63,71,80	112	140	160	63,71,80	112	140	160
定格風量(m³/min)				16	21	32	34	36	21	32	34	36
ユニット吹出口数(個)				2	3	4	4	4	2	3	3	3
吹出口1個当たりの風量(m³/min)				8.0	7.0	8.0	8.5	9.0	10.5	10.7	11.3	12.0
丸ダクト・吹出口径				φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200
オールダクト仕様	機外静圧(Pa)		タップ5	70	70	70	70	70	70	70	70	70
			タップ6	100	100	100	100	100	100	100	100	100
			タップ10	150	150	150	150	150	150	150	150	150
			タップ13	200	200	200	200	200	200	200	200	200
			タップ14	–	210	210	210	210	210	210	210	210
	圧損(Pa)	角ダクト仕様→丸ダクト仕様		21.2	14.5	23.4	26.4	29.6	14.5	23.4	26.4	29.6
		吹出グリル		28.1	22.1	28.1	31.3	34.7	45.9	47.2	52.6	58.4
		高性能フィルター(比色法65%)		23.3	21.4	21.4	23.9	26.5	21.4	21.4	23.9	26.5
		高性能フィルター(比色法90%)		29.8	26.7	26.2	28.7	31.2	26.7	26.2	28.7	31.2
		吸込グリル		7.7	8.2	12.9	15.3	18.1	8.2	12.9	15.3	18.1
		キャンバスダクト		0.6	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3
	フレキシブルダクト圧損(Pa/m)	直線部		2.1	1.6	2.1	2.3	2.6	3.5	3.6	4.1	4.6
		曲がり部(半径R0.4m, 1ヶ所)		3.9	3.0	3.9	4.4	4.9	6.7	6.9	7.8	8.7
	ダクト接続長さの目安(m)	キャンバスダクト＋吸込グリル	タップ5	5.1	15.0	16.4	10.7	5.8	–	3.6	0.4	–
		高性能フィルター(比色法65%)＋吸込グリル	タップ6	8.4	20.5	10.8	4.6	–	1.9	0.5	–	–
		高性能フィルター(比色法90%)＋吸込グリル	タップ10	29.5	(30)	28.0	19.9	13.0	14.6	10.2	5.6	1.8

上表算出条件
1）ダクト接続長さ：定格風量、定格機外静圧にて、最大何メートルまでダクト引きが可能かを算出しました。
2）フレキシブル丸ダクトの曲り：半径R 0.4m、90° 曲げ1ヶ所を想定し算出(→直管相当長Le＝2.0m)
3）吹出口グリル(GRL－S20B)取付
4）吸込グリルはフィルター付き



5）吹出羽角度



(注) 1. 吹出口の数の変更は3個→2個、4個→3個の変更のみ可能、それ以外の変更はできません。

●室内ユニット定格風量におけるオプション部品の圧力損失

前ページ以外のシステムの機外静圧を算出する場合にご利用ください。

・室標準仕様

適用機種					50形,56形		63形,71形,80形	112形	140形	160形
定格風量 [m^3/min]					14	16	21	32	34	36
ユニット吹出口数					2	2	3	4	4	4
吹出口1個当たりの風量 [m^3/min]					7.0	8.0	7.0	8.0	8.5	9.0
圧力損失 [Pa]	ビルトイン仕様	小パネル			9.3	−	14.1	17.0	18.9	20.9
		大パネル			9.3	−	14.1	17.0	18.9	20.9
		高性能フィルター（比色法65%）			18.8	−	21.4	21.4	23.9	26.5
		高性能フィルター（比色法90%）			24.1	−	26.7	26.2	28.7	31.2
		ロングライフフィルター			6.3	−	6.7	6.6	7.2	7.8
		スライドチャンバー			（圧力損失は計算上、無視できます。）					
		キャンバスダクト								
	オールダクト仕様	吸込グリル			−	7.7	8.2	12.9	15.3	18.1
		キャンバスダクト（直線部+曲がり部）			−	0.6	0.2	0.2	0.2	0.3
		高性能フィルター（比色法65%）			−	23.3	21.4	21.4	23.9	26.5
		高性能フィルター（比色法90%）			−	29.8	26.7	26.2	28.7	31.2
		ロングライフフィルター			−	7.5	6.7	6.6	7.2	7.8
吹出側圧力損失 [Pa]	オールダクト仕様 ビルトイン仕様 共通	フレキ丸ダクト（1m当たり）	φ150	直線部	2.3	3.0	2.3	3.0	3.3	3.7
				曲り部(一ヶ所)	3.7	4.7	3.7	4.7	5.3	5.9
			φ200	直線部	1.6	2.1	1.6	2.1	2.3	2.6
				曲り部(一ヶ所)	3.0	3.9	3.0	3.9	4.4	4.9
		分岐チャンバー			5.3	6.8	5.3	6.8	7.5	8.3
		吹出口ユニット		φ150	6.3	8.0	6.3	8.0	9.0	9.9
				φ200	22.1	28.1	22.1	28.1	31.3	34.7
		丸フランジ			23.0	30.5	23.5	32.9	37.1	41.5
		角フランジ			7.1	9.2	9.0	9.5	10.7	11.9

（注）1. ビルトイン小パネル仕様の場合のユニット機外静圧は、小パネルの圧力損失を含んでいます。
2. 吹出口ユニットφ150とフレキ丸ダクトφ150については、分岐チャンバー使用時とし、1本当たりの風量は吹出口1個当たりの風量の1／2になります。
フレキ丸ダクトの曲り部は、曲げ半径R＝0.4mとし、90°曲げの場合です（φ150、φ200ともに）。
3. 定格風量以外での圧力損失については、以降の別売部品の各圧力特性線図を参照してください。
また下記、近似式を使っても求めることができます。

$$P = \left(\frac{Q}{Q_1}\right)^2 P_1$$

Q　：任意風量
Q_1：定格風量
P　：任意風量における圧力損失
P_1：定格風量における圧力損失

・吹出口数を変更した場合

適用機種				63形,71形,80形	112形	140形	160形
定格風量 [m^3/min]				21	32	34	36
準吹出口				3→2	4→3	4→3	4→3
吹出口1個当たりの風量 [m^3/min]				10.5	10.7	11.3	12.0
圧力損失 [Pa]	フレキ丸ダクト（1m当たり）	φ150	直線部	5.0	5.1	5.7	6.4
			曲り部(一ヶ所)	7.9	8.2	9.2	10.2
		φ200	直線部	3.5	3.6	4.1	4.6
			曲り部(一ヶ所)	6.7	6.9	7.8	8.7
	分岐チャンバー			10.9	11.2	12.4	13.8
	吹出口ユニット	φ150		13.1	13.5	15.1	16.7
		φ200		45.9	47.2	52.6	58.4
	丸フランジ吹出口2個仕様			54.0	−	−	−
	丸フランジ吹出口3個仕様			23.5	55.1	62.3	69.9
	丸フランジ吹出口4個仕様			−	32.9	37.1	41.5
	本体吹出口を少なくすることによる圧力損失増加			30.5	22.2	25.2	28.4

吹出口数を少なくすることにより圧力損失は、上記表④のごとく増加します。
従って、ユニット機外静圧はその分だけ減少します。

（注）1. 吹出口数の変更は、3→2、4→3のみとし、それ以外の変更はできません。
2. 吹出口ユニットφ150とフレキ丸ダクトφ150については、分岐チャンバー使用時とし、
1本当たりの風量は吹出口1個当たりの風量の1／2になります。
フレキ丸ダクトの曲り部は、曲げ半径R＝0.4 mとし、90°曲げの場合です。

（例１）ビルトイン小パネル仕様

次の条件において機外静圧と風量を求めます。

（条件）

電源	単相200Ｖ
使用機種 （ビルトイン小パネル仕様）	CS-P80F7C
ビルトイン小パネル	CZ-03HPF3
スライドチャンバー	CMB-SLBD90B
φ200 フレキシブルダクト	CZ-F2010, F2020, F2050
φ200吹出口ユニット	GRL-S20B

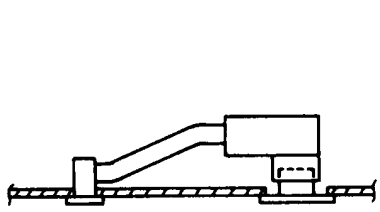
（算出方法）

イ．送風機特性は、ビルトイン小パネル仕様のものを使用します。

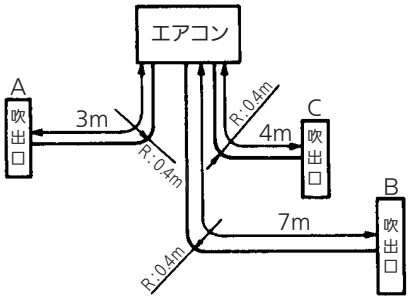
ロ．スライドチャンバーの圧力損失は、 ビルトイン小パネル仕様の機内抵抗に含まれています。（ビルトイン用スライドチャンバーの圧力損失は、0Ｐａとして計算できます。）

ハ．吹出側の圧力損失は、各スポットの中で1番圧損の大きいダクト系統で計算します。（吹出口ユニットの開閉シャッターの調整よって、各系統の風量は均一、圧力損失は同一になると定めます。）
本例のダクト系統では、Ｂ系統となります。（Ａ、Ｃ系統の機外静圧は、吹出口ユニットの開閉シャッターの調節により静圧・風量調節を行います。）

吹出口の配列・ダクト系統は下図で、ユニットの
風量は定格風量、各吹出口の風量はそれぞれ定格風量の1/3とします。



※曲げＲ：0.4m



※ 風量調節の仕方
付属の開閉具を使用して、各吹出グリル間の風量を使用範囲内で等しくなるように調節します。

1 フレキシブルダクトと吹出口の圧力損失を求めます。

(1) 1系統当たり風量7.0㎥／min時の圧力損失を前ページの表より求めます。

経路Ｂにおける圧力損失(Pa)		フィルター等 吸込抵抗	φ200ダクト圧力損失		吹 出 口 圧力損失	合　計 圧力損失	急風時 における 機外静圧
			直線部	曲り部			
ダクト長さ			6.4m	0.6m			
風量㎥／min	7.0(7.0×3=21)	—	1.6×6.4=10.2	3.0	22.1	35.3	39.0

(2) CS-P80F7Cの送風機特性（3×7.0=21㎥／minの時、機外静圧39Ｐａ）
から定格以上の吹出風量が確保出来ることが分かります。

（尚、定格風量を必要とする場合、試運転時に吹出口内の風量調整板開度を調整する必要があります。）

2 室内ユニットの全風量に対する運転状態の求め方

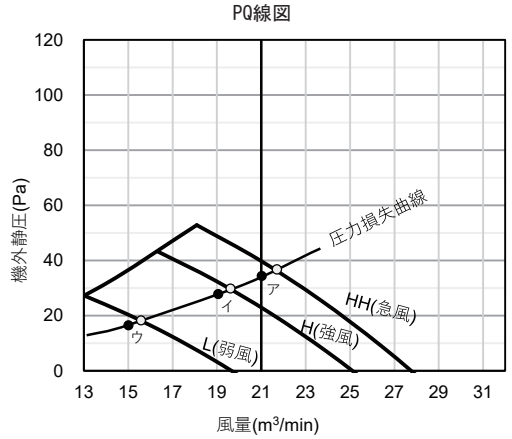
圧力損失曲線を算出することによって、送風機の運転状態が推定されます。
風量―圧力損失式$P=(\frac{Q}{Q_1})^2P_1$を利用して、CS-P80F7C（小パネル仕様）
送風機特性グラフに 1 で算出した他に任意の点（例えば19、15㎥／minの点）をプロットします。

ア、21㎥／min=35.3Ｐａ
イ、19㎥／min時：$P=(19/21)^2\times35.3=28.9$Ｐａ
ウ、15㎥／min時：$P=(15/21)^2\times35.3=18.0$Ｐａ
よって送風機は、この曲線とHH(急風)、H(強風)、L(弱風)の交点で運転されます。

（㎥／min）

各送風モード時の風量 （圧力損失考慮）	HH(急風)	H(強風)	L(弱風)
	21.7	19.6	15.6

PQ線図



室内ファンタップ一覧

機外静圧の設定(ビルトインカセット形)		
室内ユニット		項目コード BO設定値 (タップ名称)
50,56形	63～160形	
HH(急風)の機外静圧(Pa)		
-	80	0014(タップ14)
60	60	0013(タップ13)
50	50	0007(タップ7)
34	39	0005(タップ5)
20	20	0003(タップ3)
10	10	0001(タップ1)

（例２）ビルトインオールダクト形

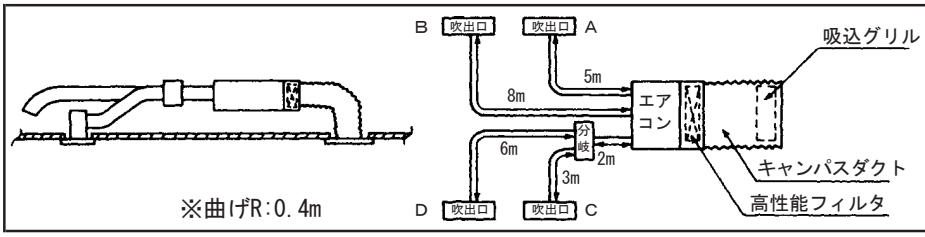
（条件）

電源	単相200V
使用機種 （オールダクト仕様）	CS-P80FE7C
吸込グリル	GRL-RBU80TN
キャンバスダクト	DKT-CBU80T
フィルタチャンバー	CMB-FBU80T
高性能フィルター （比色法65%）	AFT-MBD80T
φ200 フレキシブルダクト	CZ-F2010, F2020, F2050
分岐チャンバー	CMB-B20B
φ150 フレキシブルダクト	CZ-F1510, F1520, F1550
吹出口ユニット	GRL-S15B, S20B

（算出方法）

イ．送風機特性は、オールダクト形のものを使用します。
ロ．吸込側の各部品の圧力損失は、定格風量で求めます。
ハ．吹出側の圧力損失は、各スポットの中で1番圧損の大きいダクト系統で計算します。
ニ．φ200フレキシブルダクトと分岐チャンバーは、1スポット当たりの風量で求めます。
ホ．φ150フレキシブルダクトと分岐チャンバーは、1スポット当たりの風量の1/2で求めます。

吹出口の配列・ト系統は下図で、ユニットの風量は定格風量、
各吹出口の風量はそれぞれ定格風量の1/3とします。



※ 風量調節の仕方
付属の開閉具を使用して、各吹出グリル間の風量を使用範囲内で等しくなるように調整します。

1 各オプション部品の圧力損失を求めます。

(1) 1系統当たり風量7.0㎥／min時の圧力損失を前述の表より求めます。

機種名			CS-P80FE7C				
タップ			0006				
機外静圧	標準時		100				
	高性能フィルター 比色法65%取り付け時		97				
吸い込み側 圧力損失	吸込グリル	Pa	8.2				
	キャンバスダクト	Pa	0.2				
	高性能フィルター 比色法65%	Pa	21.4				
	吸い込み側 圧力損失計	Pa	29.8				
吹出し側 圧力損失	角ダクトフランジ → 丸ダクトフランジ	Pa	14.5				
			経路A	経路B	経路C	経路D	備考
	風量	m^3/min	7	7	3.5	3.5	
	φ200直線部	m	4.4	7.4	2.0	2.0	
		Pa/m	1.6	1.6	1.6	1.6	
		Pa	7.04	11.84	3.2	3.2	
	φ200曲がり部	Pa	3.0	3.0	0	0	
	分岐チャンバー	Pa	0	0	5.3	5.3	
	φ150直線部	m	0	0	2.4	5.4	
		Pa/m	0	0	2.3	2.3	
		Pa	0	0	5.52	12.42	
	φ150曲がり部	Pa	0	0	3.7	3.7	
	吹出し口ユニット	Pa	22.1	22.1	6.3	6.3	
	吹出し側 圧力損失計	Pa	46.6	51.4	38.5	45.4	
圧力損失合計		Pa	76.4	81.2	68.3	75.2	

(2) CS-P80FE7Cの送風機特性（3×7.0=21㎥／minの時、機外静圧97Ｐａ：高性能フィルター（比色法65%）取付時）から定格以上の吹出風量が確保出来ることが分かります。
（尚、 定格風量を必要とする場合、 試運転時に吹出口内の風量調整板開度を調整する必要があります。）

2 室内ユニットの全風量に対する運転状態の求め方

圧力損失曲線を算出することによって、送風機の運転状態が推定されます。
風量—圧力損失式P=$(\frac{Q}{Q_1})^2 P_1$を利用して、CS-P80FE7C（オールダクト形）
の送風機特性グラフ 1 で算出した他に任意の点（例えば19、15㎥／minの点）をプロットします。

ア、21㎥／min＝81.2Ｐａ
イ、19㎥／min時：Ｐ＝(19/21)^2×81.2＝66.5Ｐａ
ウ、15㎥／min時：Ｐ＝(15/21)^2×81.2＝41.4Ｐａ
室内ファンタップをタップ6に設定した場合、送風機は アーイーウの曲線とHH(急風)、H(強風)、L(弱風)の交点で運転されます。

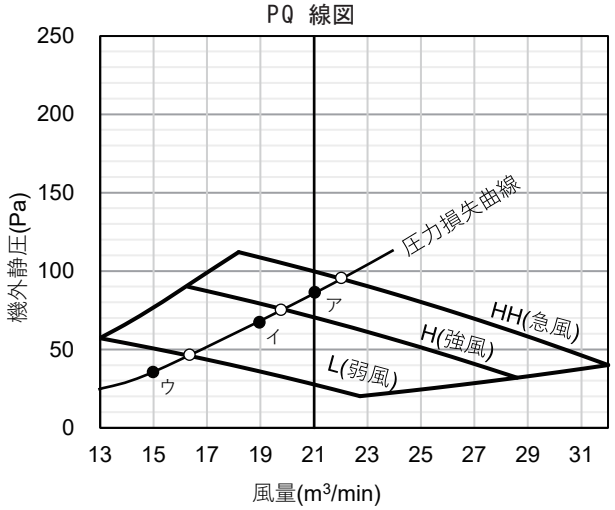
（㎥／min）

各送風モード時の風量（圧力損失考慮）	HH(急風)	H(強風)	L(弱風)
	22.0	19.8	16.3

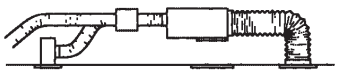
室内ファンタップ一覧

機外静圧の設定（ビルトインオールダクト形）			
室内ユニット			項目コード B0設定値（タップ名称）
50,56形	63～80形	112～160形	
HH（急風）の機外静圧（Pa）			
-	210	210	0014（タップ14）
200	200	200	0013（タップ13）
180	180	180	0012（タップ12）
160	160	160	0011（タップ11）
150	150	150	0010（タップ10）
140	140	140	0009（タップ9）
130	130	130	0008（タップ8）
120	120	120	0007（タップ7）
100	100	110	0006（タップ6）
70	70	100	0005（タップ5）
60	60	70	0004（タップ4）
50	50	50	0003（タップ3）
30	30	30	0002（タップ2）
10	10	10	0001（タップ1）

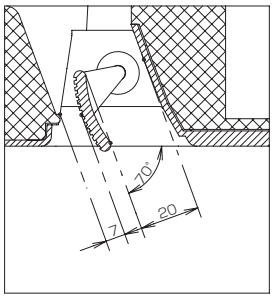
PQ 線図



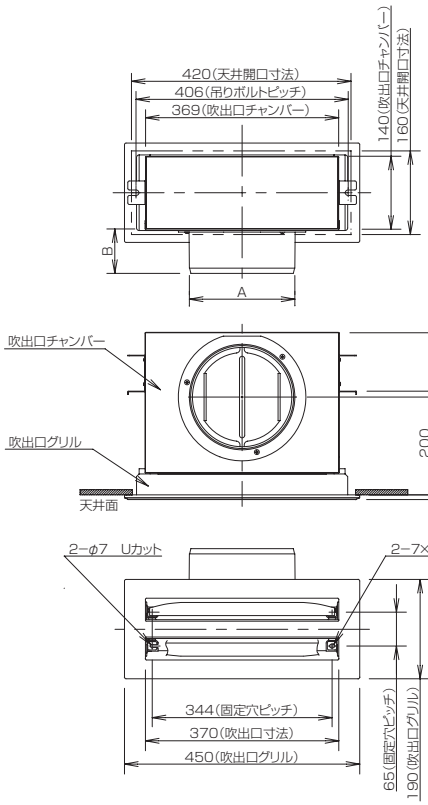
■吹出口グリル（GRL-S15B,S20B）

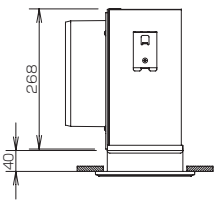


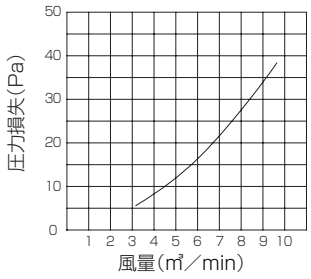
●外形寸法図



FLAP接線角度70°のときの吹出し面積S
$S_{(70°)}$ =0.020(m²)







P − Q 線 図

(mm)

品　番	A	B
GRL−S15B	150	100
GRL−S20B	200	85

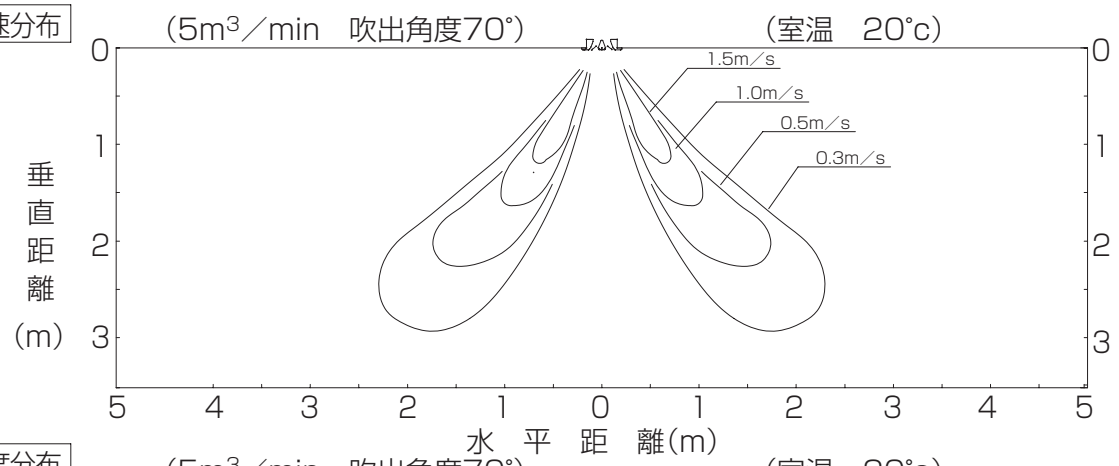
●材質・外装色(吹出口グリル)

材質	ABS樹脂、植毛レス	
外装色 (マンセル記号)	GRL-S15B	ホワイト(10Y9.3/0.4)
	GRL-S20B	

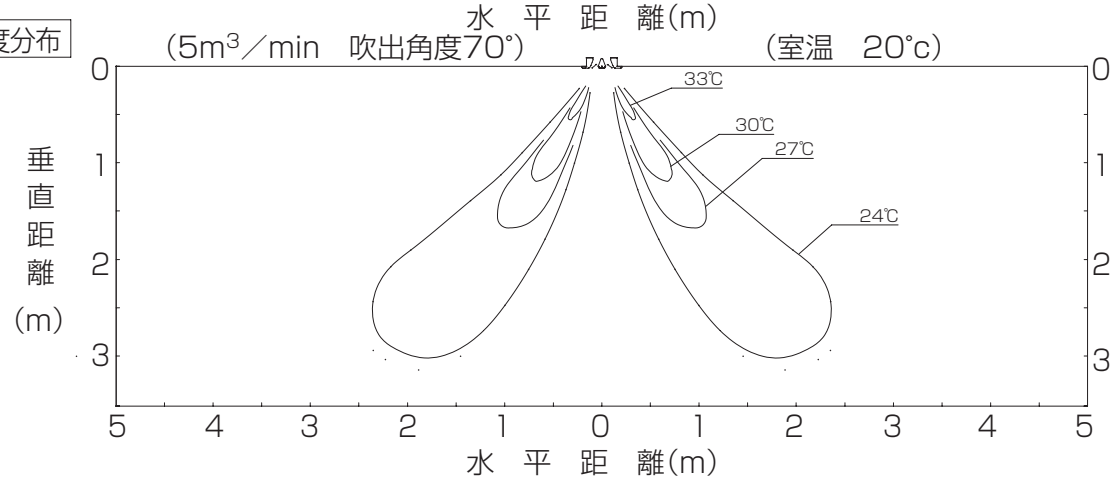
●風速分布・温度分布（5m³/min）

●吹出口グリル

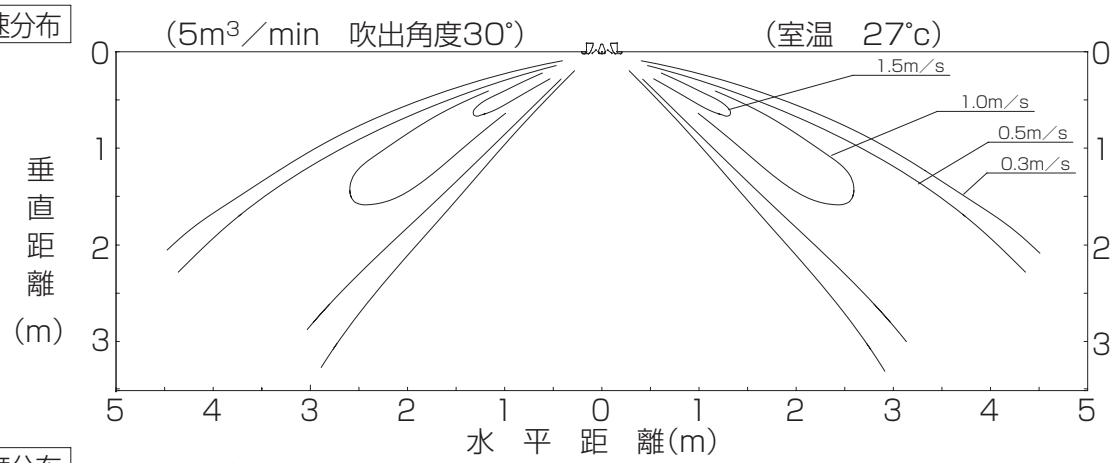
暖房　風速分布



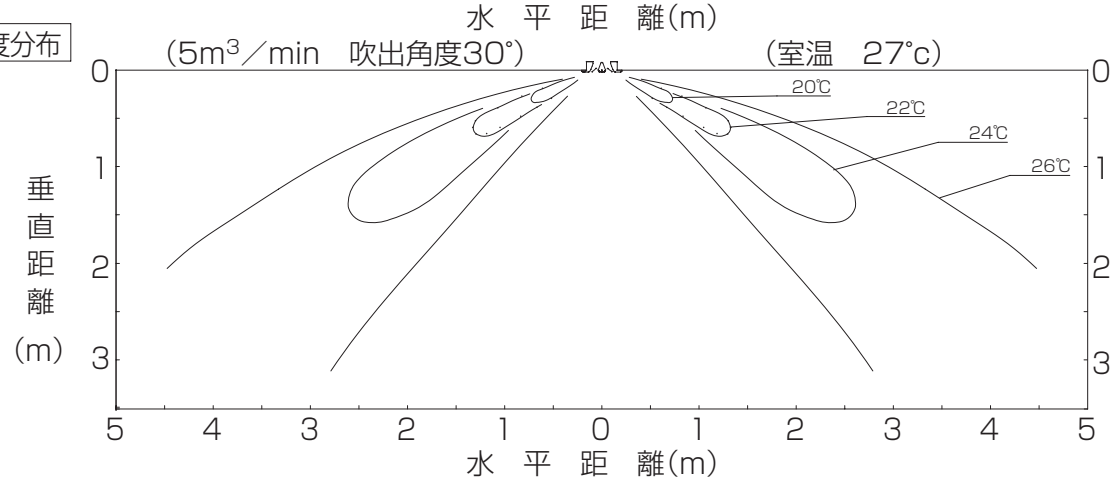
暖房　温度分布



冷房　風速分布



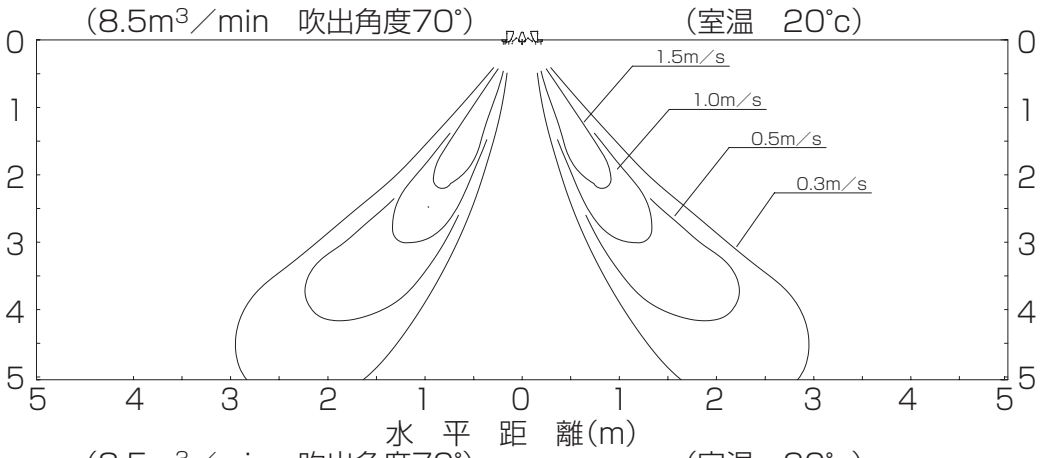
冷房　温度分布



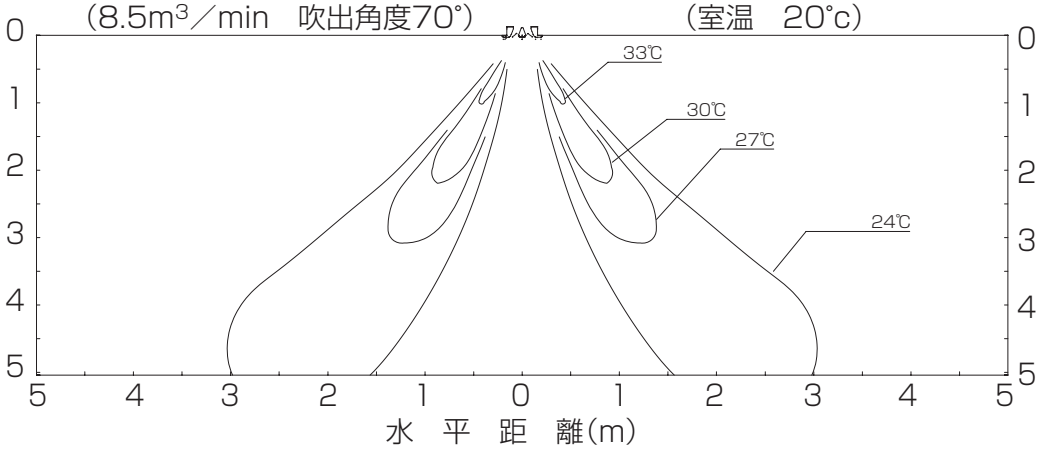
●風速分布・温度分布（8.5m³/min）

●吹出口グリル

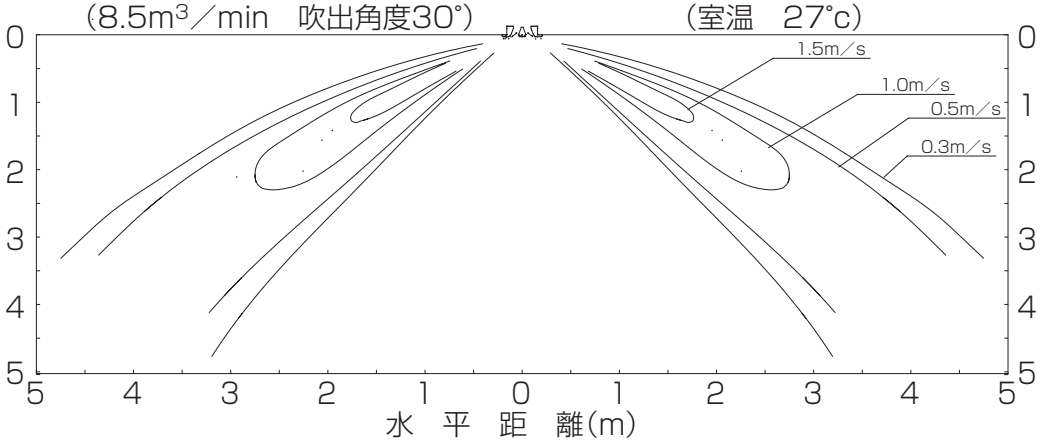
暖房　風速分布



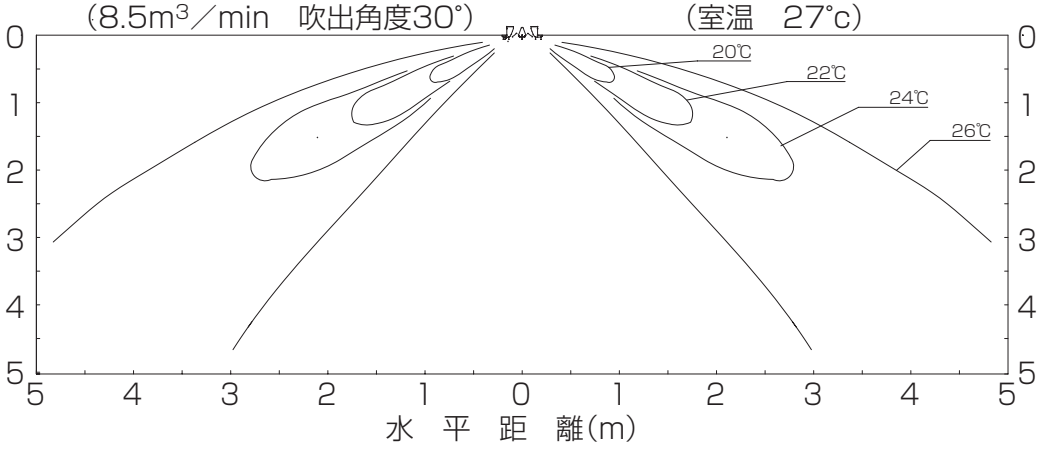
暖房　温度分布



冷房　風速分布



冷房　温度分布



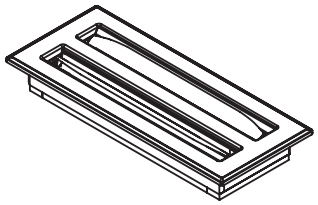
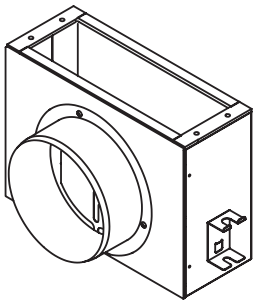
●吹出口グリル据付説明書(1/2)

●吹出口グリル

・据え付け前に本説明書をよくお読みください。

⚠注 意 ・据え付けは、製品重量に十分耐える所に行ってください。
強度が不足している場合、落下によりけがの原因になります。
・油・オイルミスト雰囲気中に設置することは避けてください。
グリルが破損して落下する可能性があります。
・落下させたり、無理な力を加えた場合、破損する可能性があります。

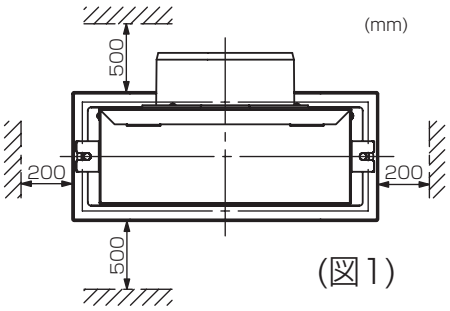
1. 梱包内容

グリル	チャンバー	グリル取付ビス	取付説明書
		 M4×35 4本	本紙 1枚

機 種 名	ダクト接続径
GRL−S15B	Φ150
GRL−S20B	Φ200

2. 据付場所

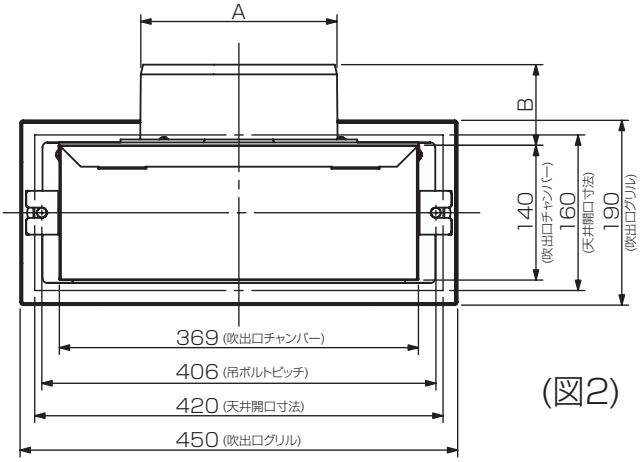
・吹出口グリルは、温度分布が均一になる様な場所に
据え付けてください。
また、吹出口グリルは壁面に対して、右図寸法以上近付けない
ようにしてください。冷房時、壁面に露が付くことがあります。
・建物の出入口付近には設置しないでください。
吹出口に露が付くことがあります。



(図1)

3. 据え付け前の準備

・天井開口穴と吹出口グリル、吹出口チャンバーの位置関係は、下図に従ってください。



(図2)

(mm)

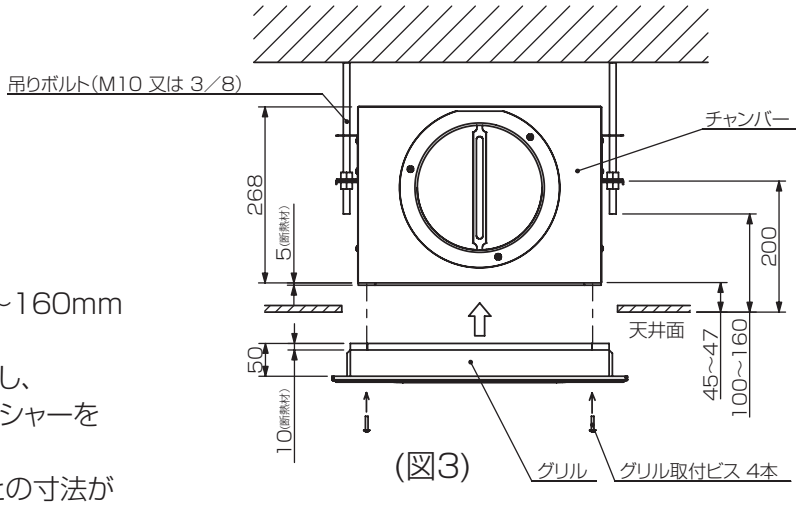
吹出口グリル	A	B
GRL-S15B	150	100
GRL-S20B	200	85

●吹出口グリル据付説明書(2/2)

●吹出口グリル

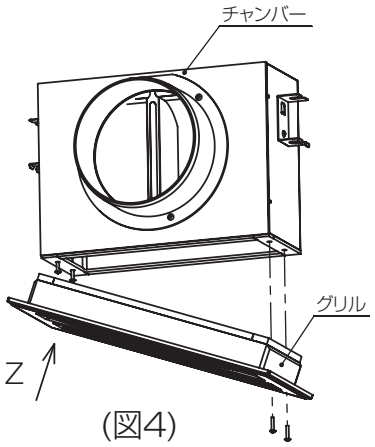
4. 据え付けかた

(1) チャンバーの据え付けかた (図3)
- 吊りボルトの長さは、天井下面より100～160mm の範囲にしてください。
- チャンバーは、吊り金具に吊りボルトを通し、必ず吊り金具の上下両面からナット、ワッシャーを用いて確実に固定してください。
- チャンバー下部(板金部より)と天井下面との寸法が45～47mmの位置になるように調整してください。吊りボルトが長いと、グリルに当り、グリルが破損、結露する可能性があります。



(図3)

(2) グリルの取り付けかた (図4)
- 付属のビス2本をチャンバー短手片側に5mm程度仮止めしてください。
- グリルのビス穴(Uカット側)を仮止めしたビスに通した後、逆側のビス2本をグリルを押し上げて止めてください。



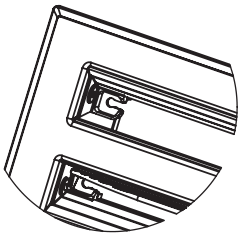
(図4)

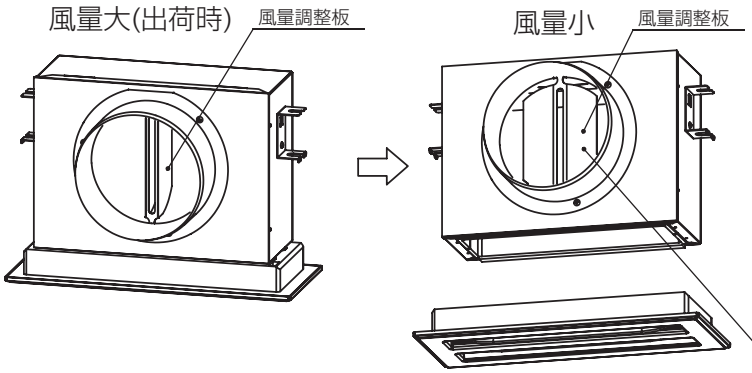
〈ご注意〉

吹出口チャンバーに吹出口グリルを取り付ける時には、絶対に隙間ができないように注意してください。
隙間ができると露が付く原因となります。

5. 風量調節のしかた

(1) チャンバー内の風量調整板の角度を変えて風量を調整してください。
出荷時は風量最大になるようにしてあります。


Z矢視図(Uカット側)



〈ご注意〉

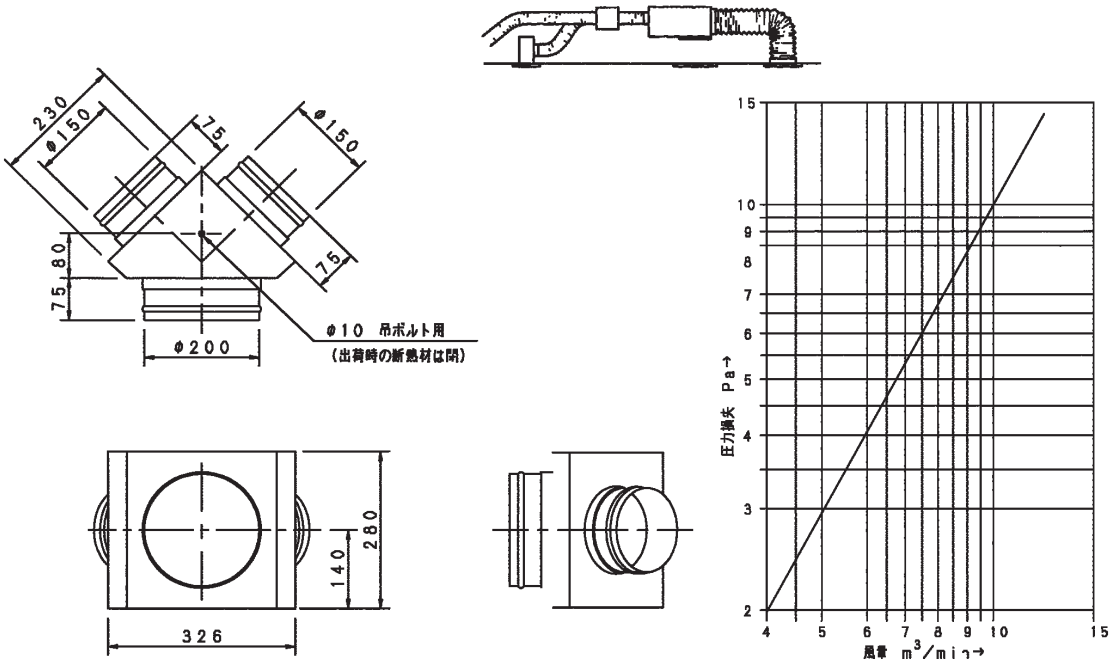
風量調整板は全閉では使用しないでください。異常音やグリルからの水滴落下の原因になります。

(2) 風向調整のしかた
手動にて吹出グリルのフラップを動かし、風向を調節してください。

85465759145000

■分岐チャンバー（CMB-B20B）

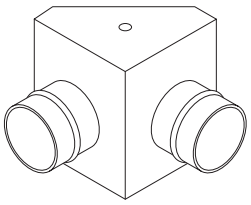
●外形寸法図



●分岐チャンバー取付説明書　　●分岐チャンバー

分岐チャンバー取付説明書

□ 構成部品

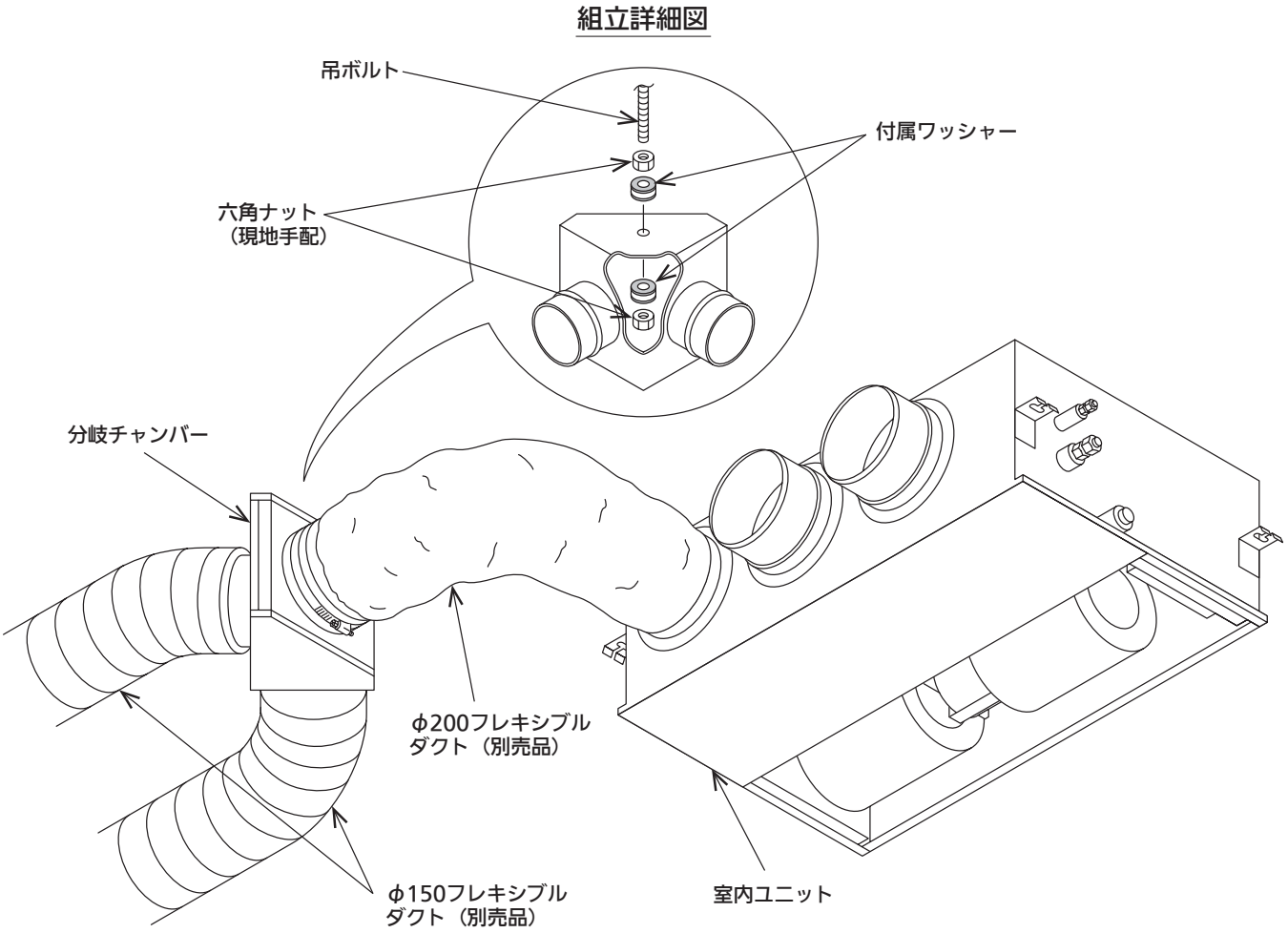
分岐チャンバー	ワッシャー（両面断熱材付き）
	 2個

□ 取付け前に

1. 分岐チャンバーの吊ボルト穴はφ10です。
出荷時の断熱材は穴無しになっています。吊ボルトによる吊込みを行う場合は、断熱材のヘコミ（φ10程度）を押して穴あけしてください。
2. 吊ボルトに付属のワッシャーを上下に差し込み、六角ナットで固定してください。（図1）
ワッシャーの取り付けは詳細図を参照してください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



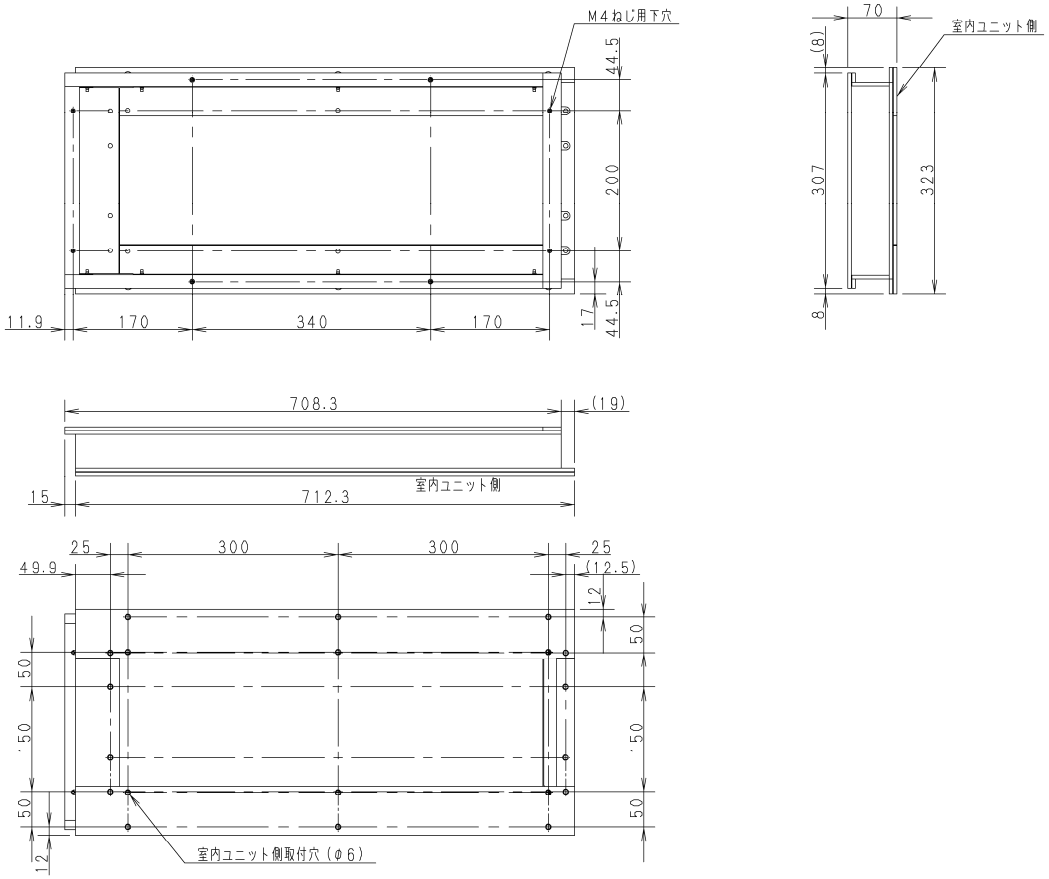
（図1）

85464179885001

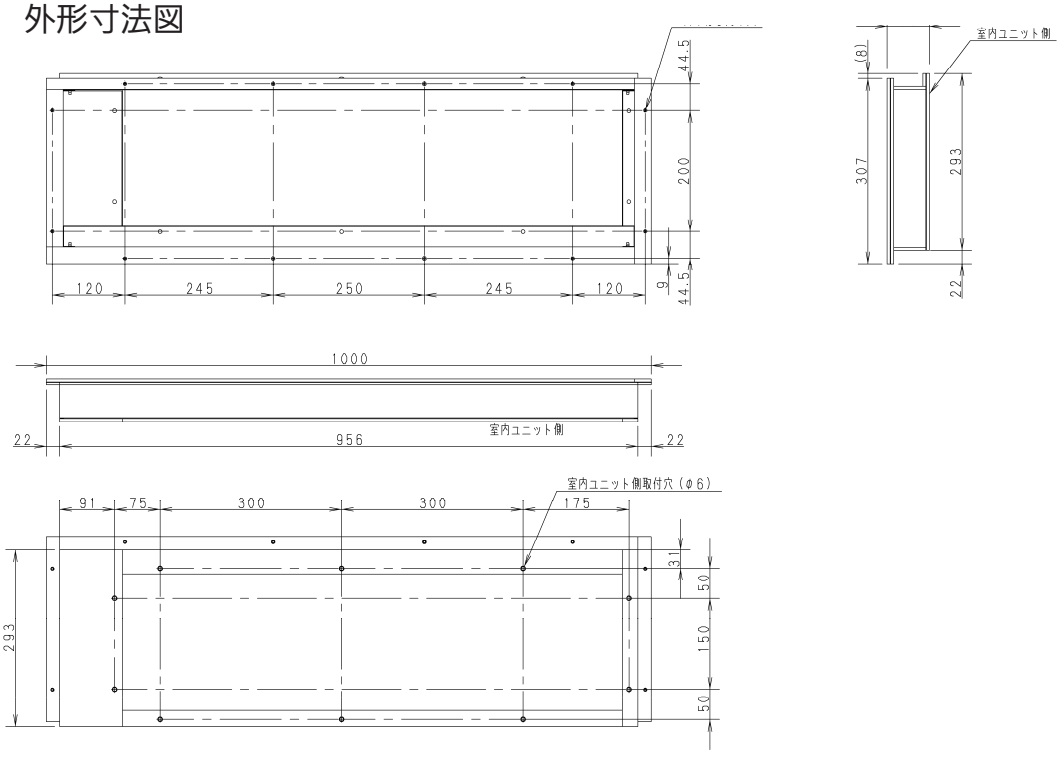
■接続チャンバー（CZ-56, 90, 160SPF2）オールダクト用

接続チャンバーは、フィルターチャンバー、吸込み角ダクト合フランジ、キャンバスダクトを接続する時に使用します。

●CZ-56SPF2 外形寸法図

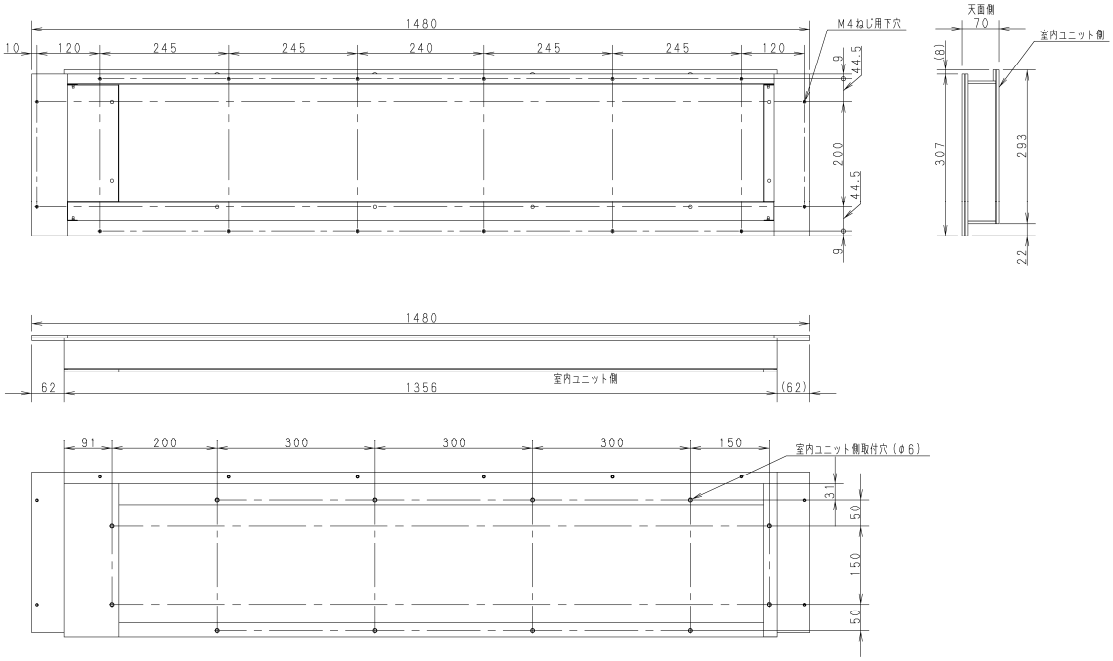


●CZ-90SPF2　外形寸法図



●CZ-160SPF2 外形寸法図

●接続チャンバー

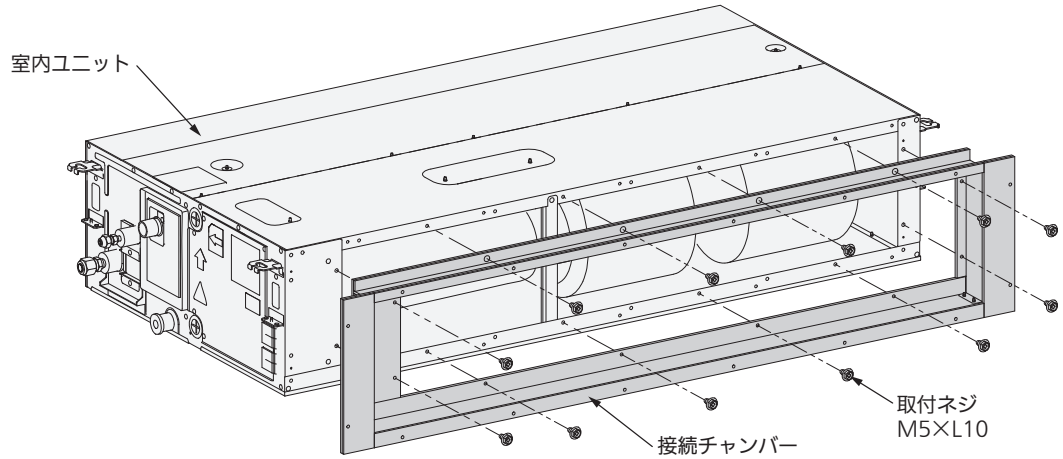


●据付工事説明書

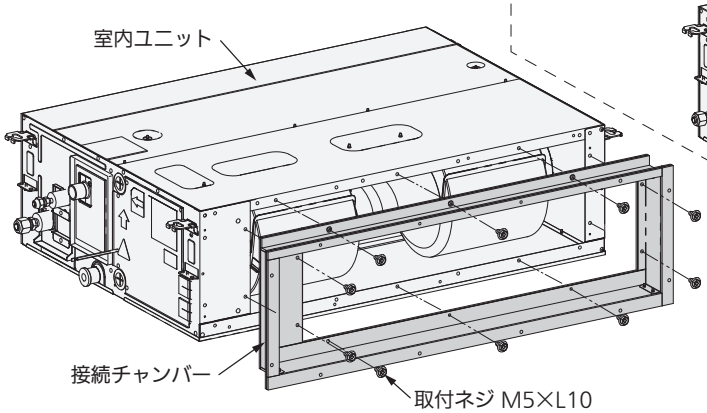
2. 取り付けかた

● 室内ユニット本体の吸込側に付属の取付ネジで固定します。

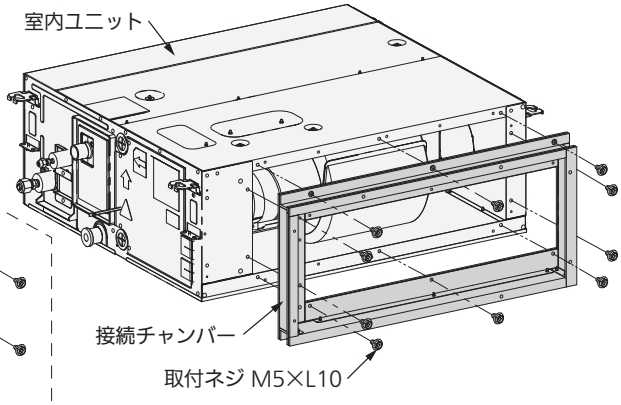
160形



90形

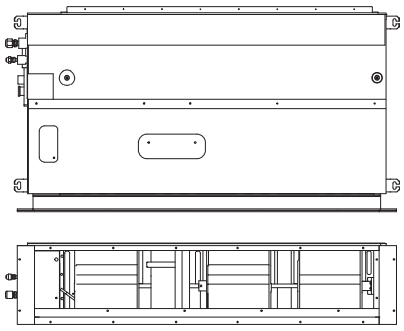


56形／56L形

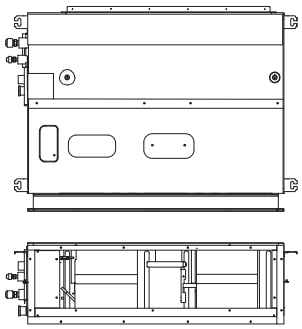


＜完成状態＞　接続チャンバーには向きがあります。図のような向きで取り付けてください。

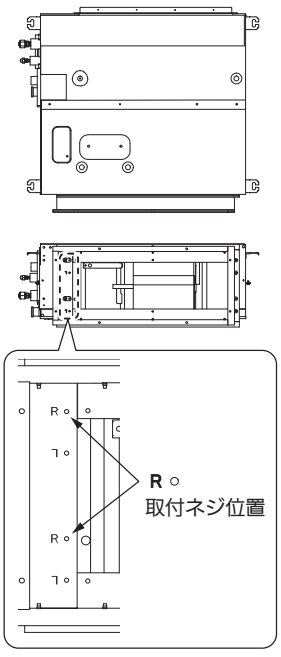
160形



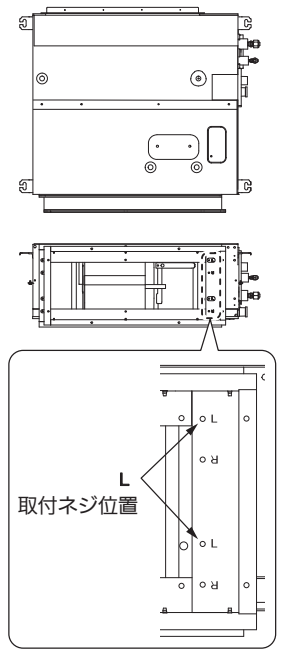
90形



56形



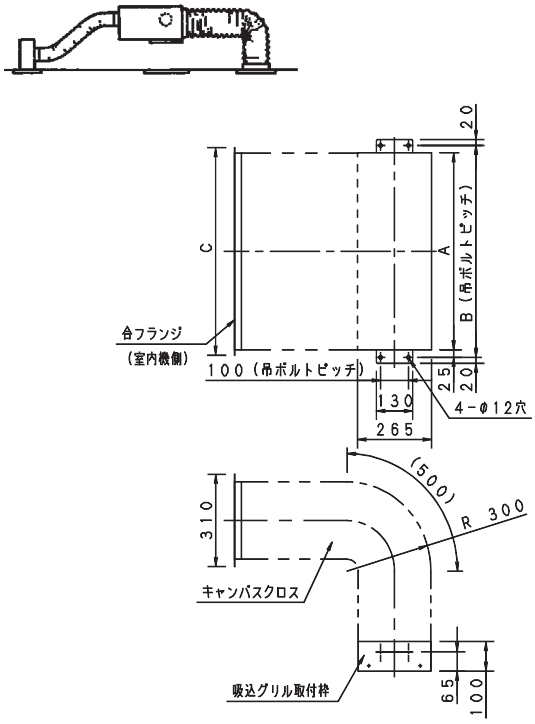
56L形



＊56L形は56形の取付位置と反転させて取り付けます。

■キャンバスダクト（DKT-CBU50T, CBU80T, CBU140T（ビルトインオールダクト形）
DKT-CBD50T, CBD80T, CBD140T（天井ビルトインカセット形））

●ビルトインオールダクト用外形寸法図

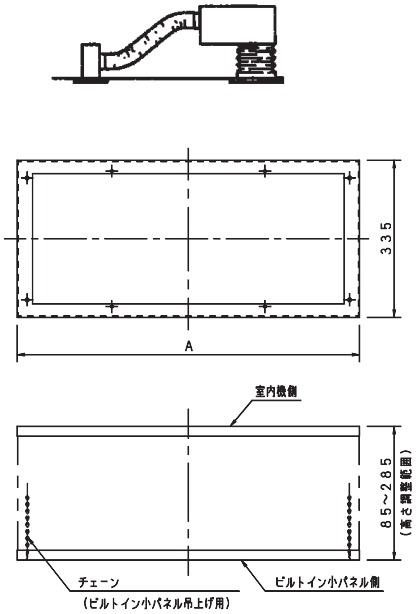


（mm）

品　　番	A	B	C
DKT-CBU50T	665	715	700
DKT-CBU80T	965	1015	1000
DKT-CBU140T	1445	1495	1480

材質：キャンバスクロス（防災仕様）
補強ワイヤー入り　　全長：最大1.6m

●天井ビルトインカセット用外形寸法図



（mm）

品　　番	A
DKT-CBD50T	760
DKT-CBD80T	1060
DKT-CBD140T	1540

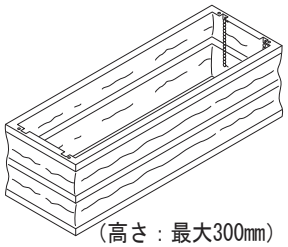
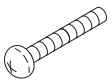
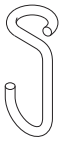
材質：キャンバスクロス（防災仕様）
補強ワイヤー入り　　全長：最大295mm

●天井ビルトインカセット用　取付説明書　　●キャンバスダクト

キャンバスダクト取付説明書

天井ビルトインカセット形用

□ 構成部品

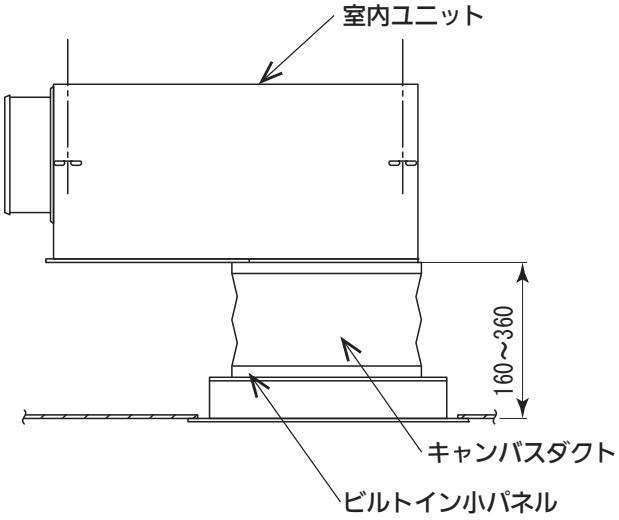
キャンバスダクト	取付ネジ	フック取付ネジ	フック （チェーン吊上げ用）
 （高さ：最大300㎜）	（M4×L12）  50形：　4本 80形：　8本 140形：　12本	（M5×L35）  50形：　4本 80形：　4本 140形：　4本	 50形：　4個 80形：　4個 140形：　4個

□ 取付け前に

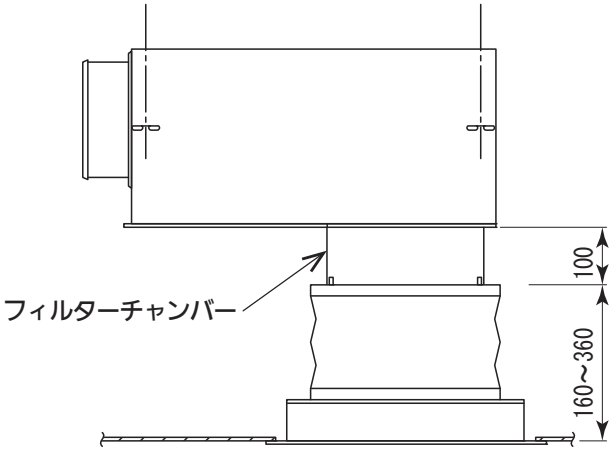
1. ビルトイン小パネルの天井開口寸法は、室内ユニットの据付工事説明書またはビルトイン小パネルの取付説明書を参照してください。

2. 室内ユニットまたは別売のフィルターチャンバー下面と天井面との寸法は、図1または図2になるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調整してください。

①ビルトイン小パネルとの併用（図1）



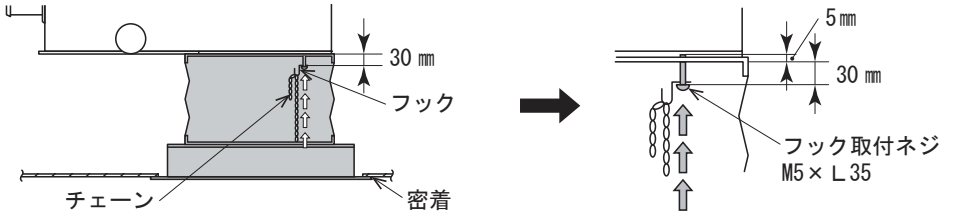
②ビルトイン小パネル、フィルターチャンバーとの併用（図2）



●キャンバスダクト

□ 取付けかた

1. キャンバスダクトを室内ユニットまたはフィルータチャンバーに付属の取付ネジで確実に固定します。（図4）（50形…4本、80形…8本、140形…12本）
2. 付属のフック取付ネジに付属のフックを差込み、室内ユニットまたはフィルターチャンバーに5㎜程ねじ込みます。（図3）
3. ビルトイン小パネルをキャンバスダクトに取り付けます。（図4）取り付けについてはパネルの説明書を参照してください。
4. チェーンを吊上げ仮止めしたフックに引っ掛けます。チェーンはパネルと天井面がほぼ密着するまで吊上げてから、仮止めフックに引っ掛けてください。（図3）
5. 付属のフック取付ネジ（M5×L35）でパネルと天井面が密着するまで締め込みます。

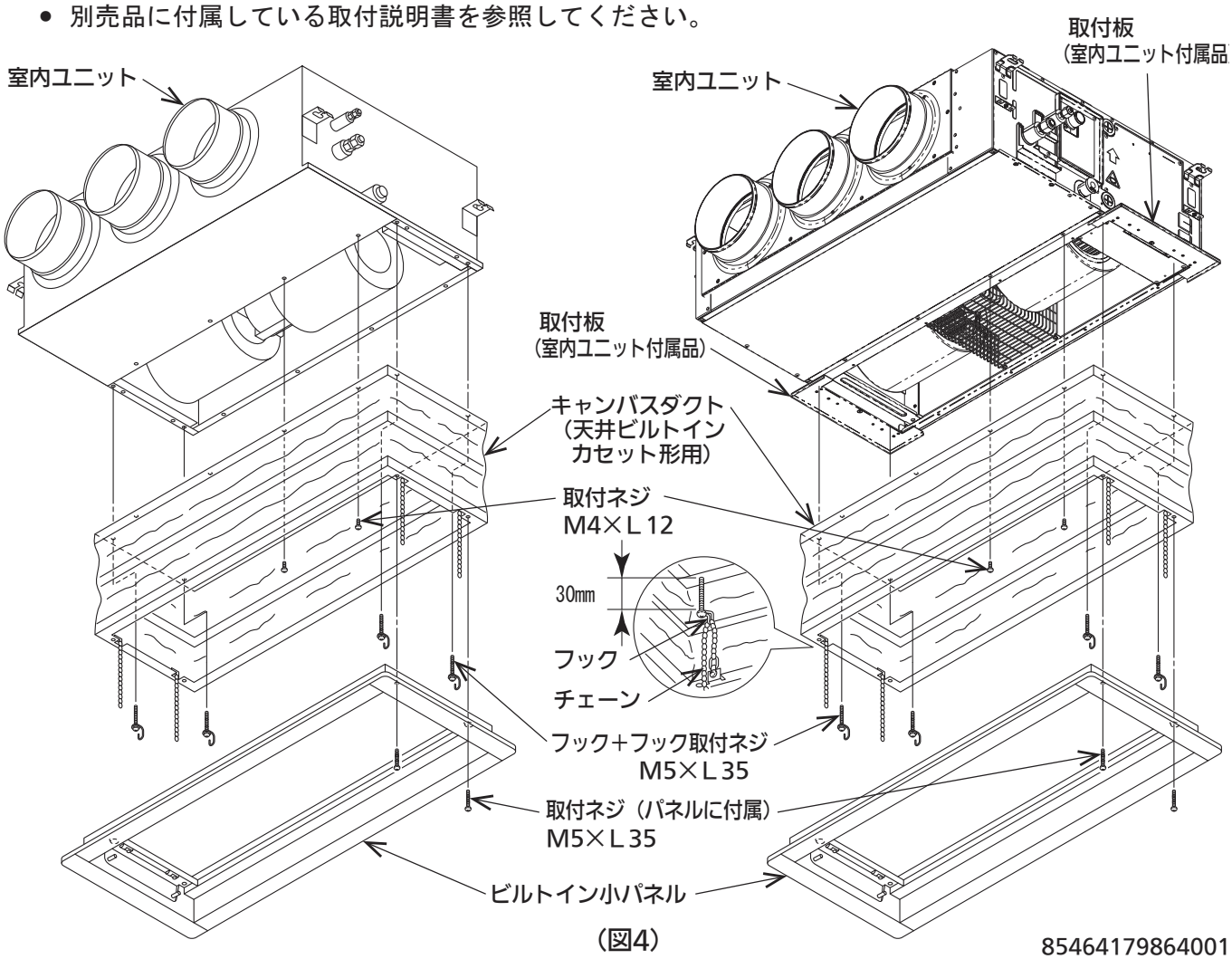


（図3）

- キャンバスダクトは伸縮タイプのため、高温高湿で使用すると結露のおそれがあります。特に建物の最上階でご使用の場合は、ダクトの外周に保温材を巻いてください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



（図4）

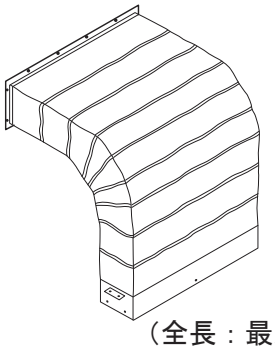
85464179864001

●ビルトインオールダクト用　取付説明書　　●キャンバスダクト

キャンバスダクト取付説明書

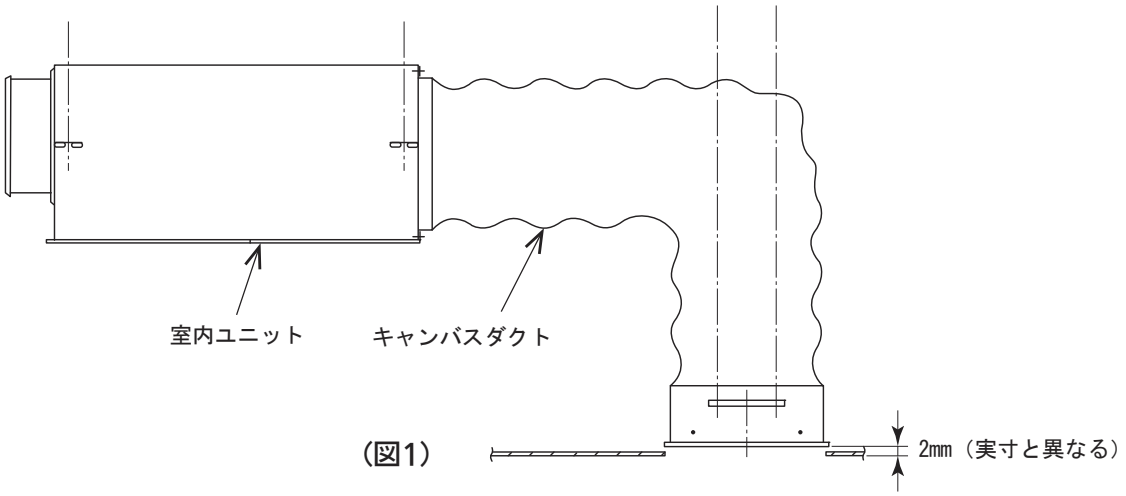
ビルトインオールダクト形用

□ 構成部品

キャンバスダクト	取付ネジ
 （全長：最大1.6m）	（M4×Ｌ12）  50形：　8本 80形：12本 140形：16本

□ 取付け前に

1. 吸込グリルの天井開口寸法は、室内ユニットまたは吸込グリルの説明書を参照してください。
2. キャンバスダクト下面と天井面との寸法は、2㎜になるように吊ボルトで高さ調整してください。
(図1)



(図1)

□ 取付けかた

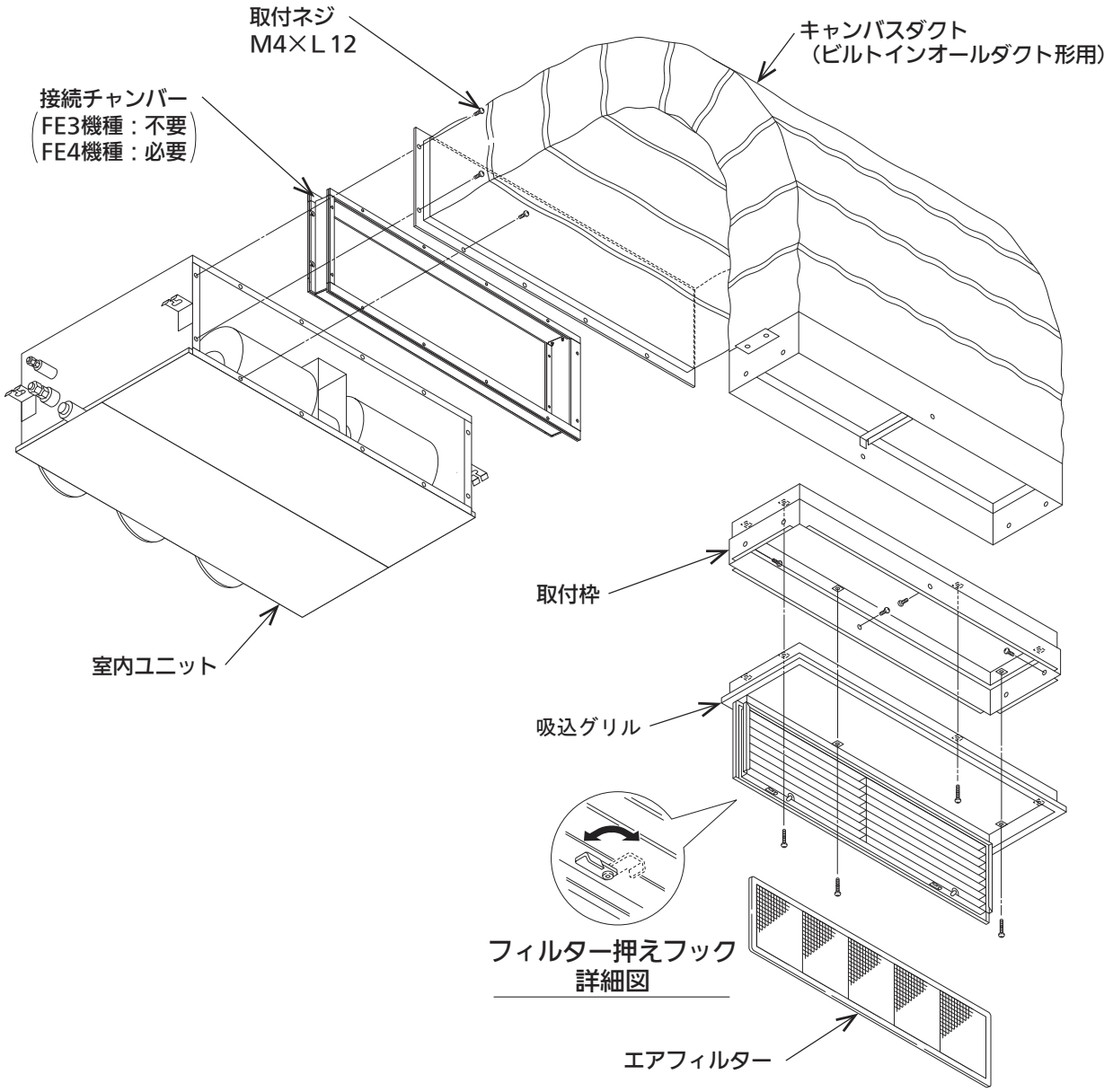
1. キャンバスダクトを室内ユニットまたはフィルタチャンバーに付属の取付ネジで確実に固定します。
(図2)
(50形…8本、80形…12本、140形…16本)
2. 吸込グリルを取り付けます。
取り付けについては、吸込グリル付属の取付説明書を参照してください。

- キャンバスダクトは伸縮タイプのため、高温高湿で使用すると結露のおそれがあります。
特に建物の最上階でご使用の場合は、ダクトの外周に保温材を巻いてください。
- FE4機種に取り付ける場合は、接続チャンバーが必要になります。

●キャンバスダクト

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。
  ※FE4機種に取り付ける場合は、接続チャンバーが必要になります。



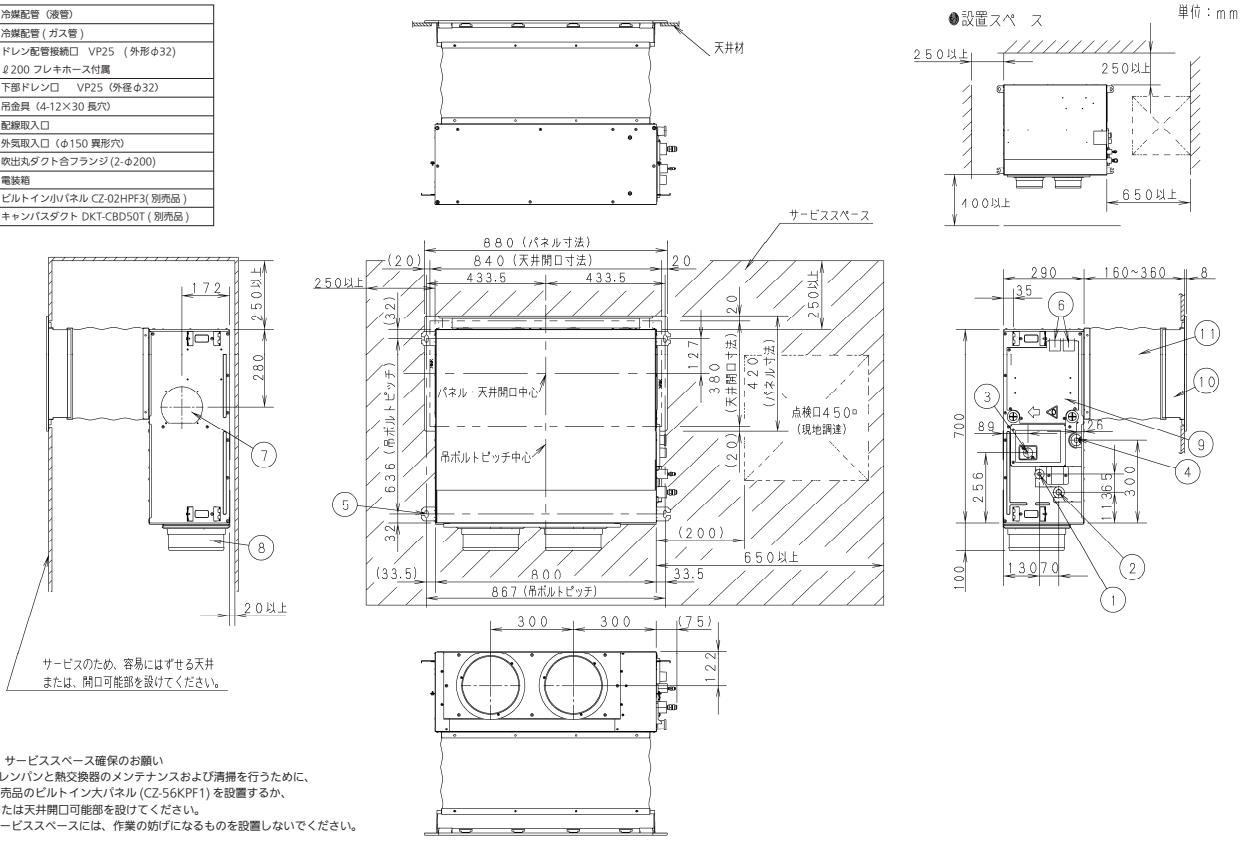
（図2）

85464179863001

●部品組込用　小パネル仕様〈・小パネル　・キャンバスダクト〉

天井ビルトインカセット形〈50，56 形〉

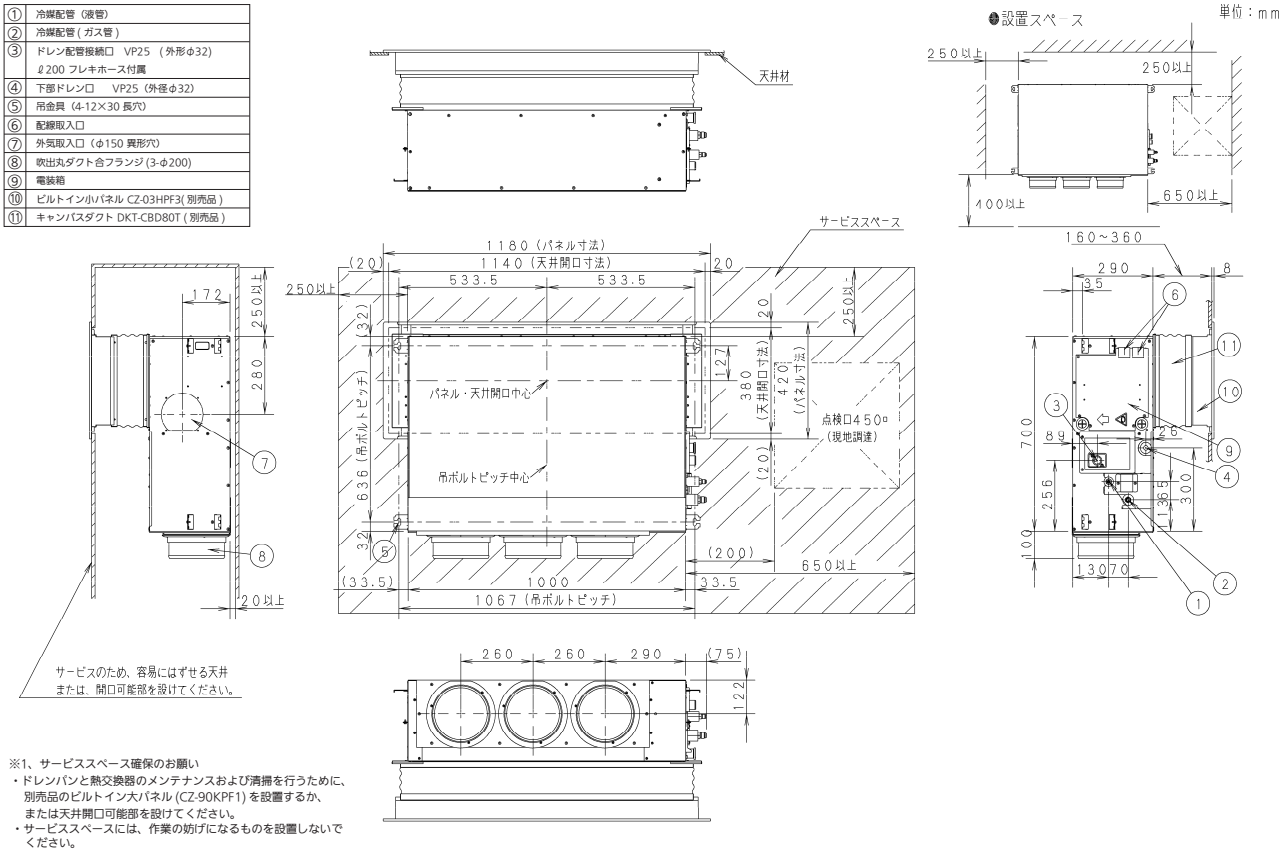
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25　（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ(2-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-02HPF3(別売品)
⑪	キャンバスダクト DKT-CBD50T(別売品)



※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル (CZ-56KPF1) を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

天井ビルトインカセット形〈63 ～ 80 形〉

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25　（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ(3-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-03HPF3(別売品)
⑪	キャンバスダクト DKT-CBD80T(別売品)

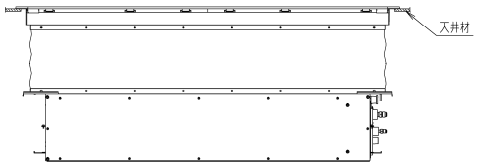


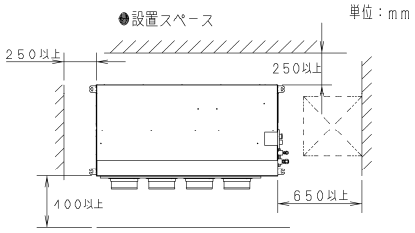
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル (CZ-90KPF1) を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないで
ください。

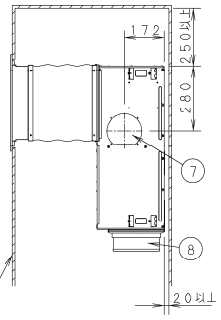
●部品組込用　小パネル仕様〈・小パネル　・キャンバスダクト〉

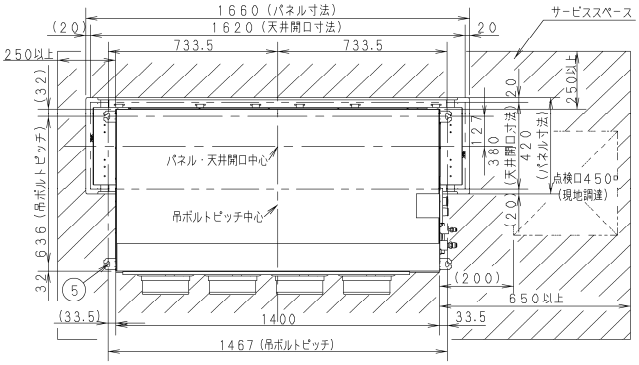
天井ビルトインカセット形〈112 ～ 160 形〉

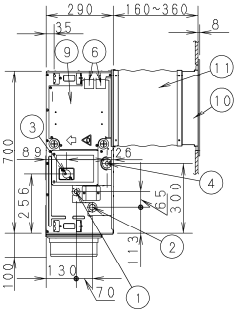
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25　（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ(4-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-06HPF3(別売品)
⑪	キャンバスダクト DKT-CBD140T (別売品)



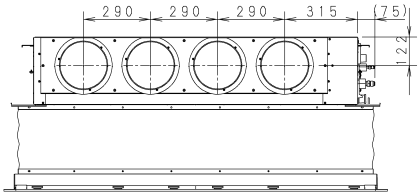






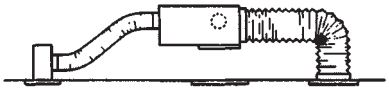


サービスのため、容易にはずせる天井
または、開口可能部を設けてください。



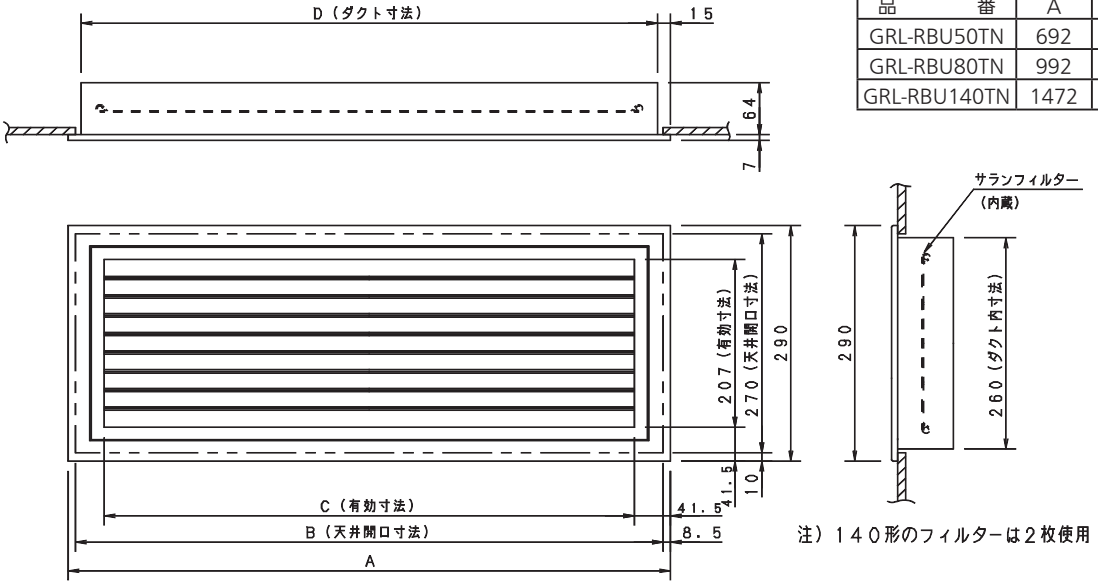
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、別売品のビルトイン大パネル (CZ-160KPF1) を設置するか、または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■吸込グリル（GRL-RBU50TN, RBU80TN, RBU140TN）



品　　番	A	B	C	D
GRL-RBU50TN	692	675	609	662
GRL-RBU80TN	992	975	909	962
GRL-RBU140TN	1472	1455	1389	1442

●外形寸法図

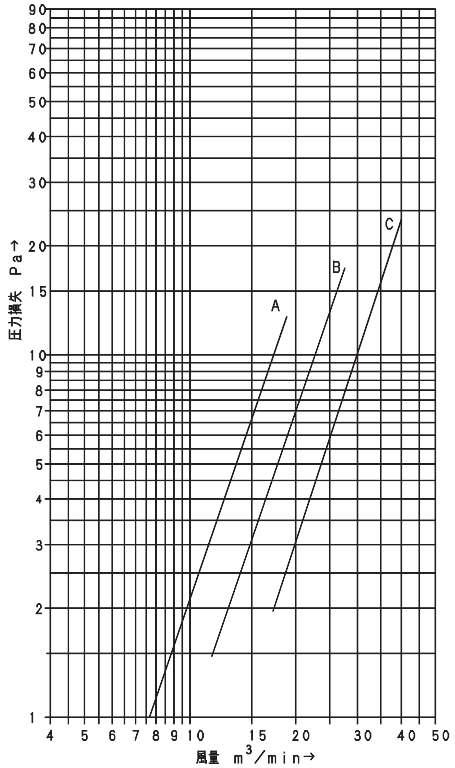


注）１４０形のフィルターは２枚使用

●圧力損失

吸込グリル（フィルター付き）

グラフ記号	部品品番	適用機種
A	GRL-RBU50TN	50,56 形
B	GRL-RBU80TN	63～80 形
C	GRL-RBU140TN	112～160 形



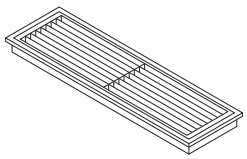
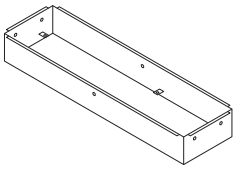
●材質・外装色

材　　質	鋼　鈑　製
外 装 色	ホワイト（ﾏﾝｾﾙ 10Y9.3/0.4）

●取付説明書　　●吸込グリル

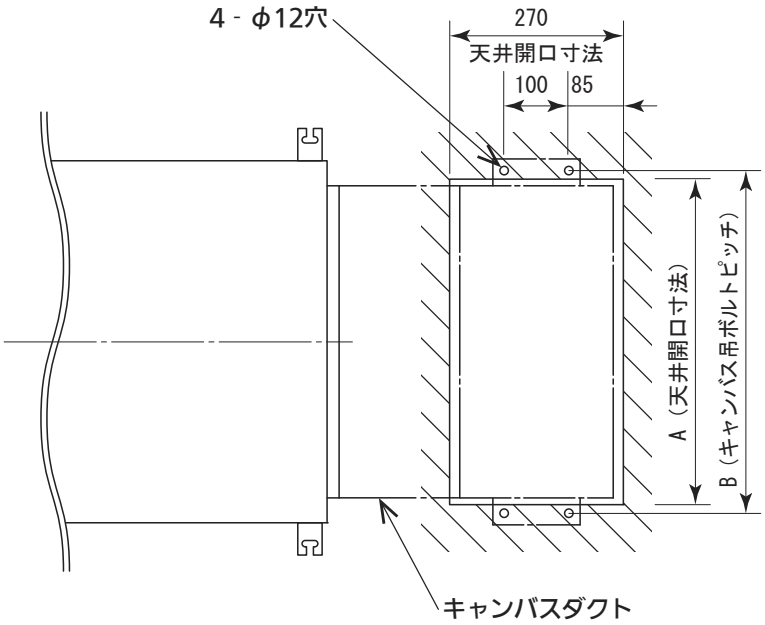
吸込グリル取付説明書

□ 構成部品

吸込グリル（エアフィルター付き）	取　付　枠	グリル取付ネジ	取付枠止めネジ
		（M5×L20）  50形：　4本 80形：　6本 140形：　6本	（M4×L10）  50形：　8本 80形：10本 140形：10本

□ 取付け前に

1. 天井開口穴寸法は図１に従い、確実に行ってください。

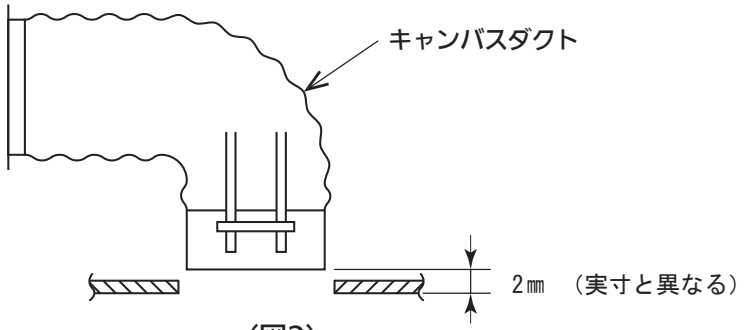


（㎜）

	A	B
50形	675	715
80形	975	1015
140形	1455	1495

（図1）

2. キャンバスダクトまたは板金角ダクト（現地手配）下面と天井面の寸法は、2㎜になるように吊ボルトで高さ調整してください。（図2）



（図2）

●吸込グリル

□ 取付けかた

1. 付属の取付枠をキャンバスダクトまたは板金角ダクト（現地手配）に付属の取付ネジで固定します。（図3）板金角ダクトにはネジ下穴がありませんので、現地であけてください。
（50形…8本、80形…10本、140形…10本）

2. 吸込グリルを取付枠に付属の取付ネジで固定します。（図3）
この時グリルは開いた状態で取り付けます。
（50形…4本、80形…6本、140形…6本）

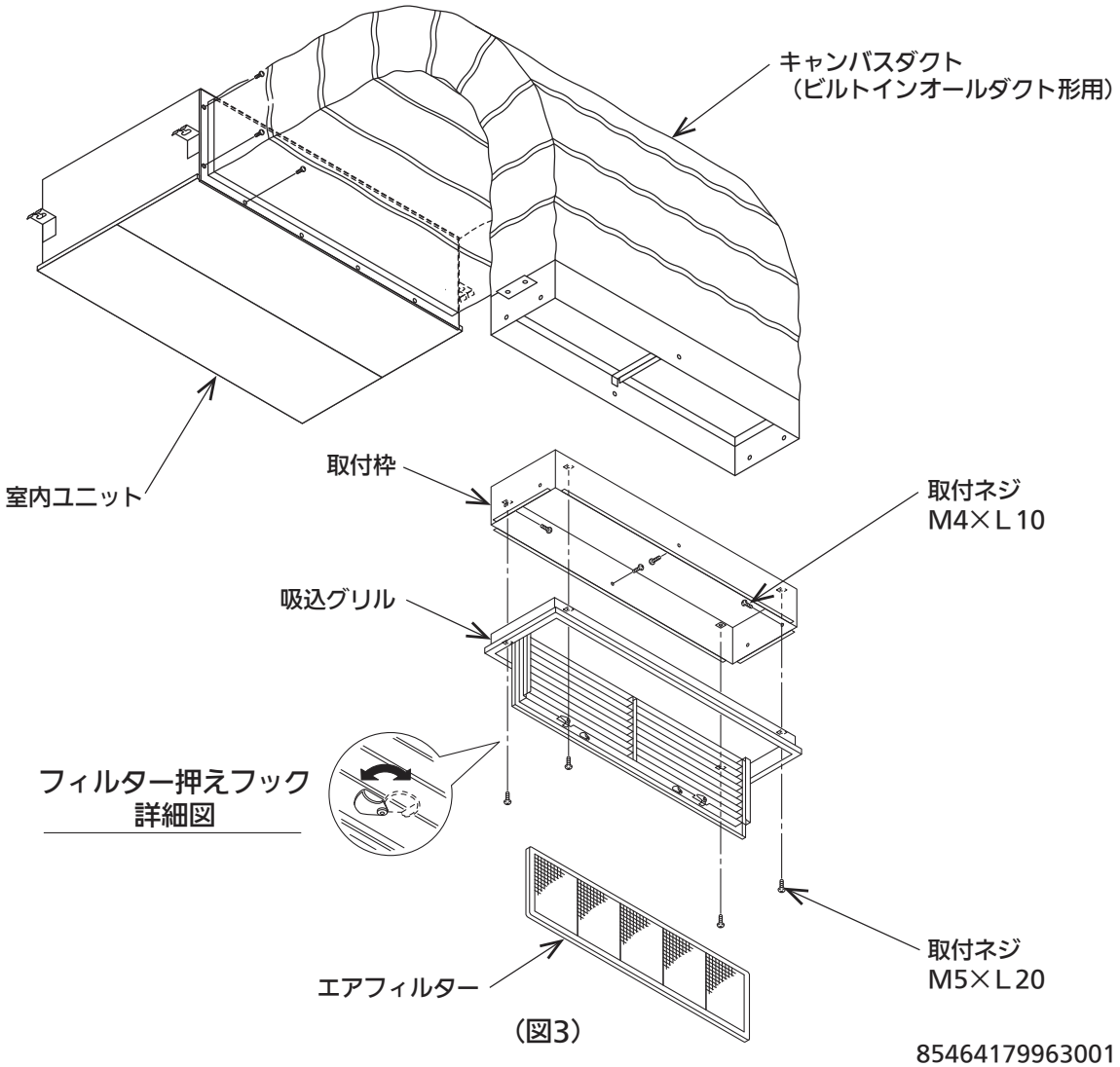
3. 吸込グリルと天井面が密着するように、取付ネジの締め具合で調整してください。調整できない場合は、吊ボルト高さを再調整してください。

□ エアフィルターのはずしかた

- エアフィルターはグリルを開いて、押えフックを90度回転すると下に引き出せます。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



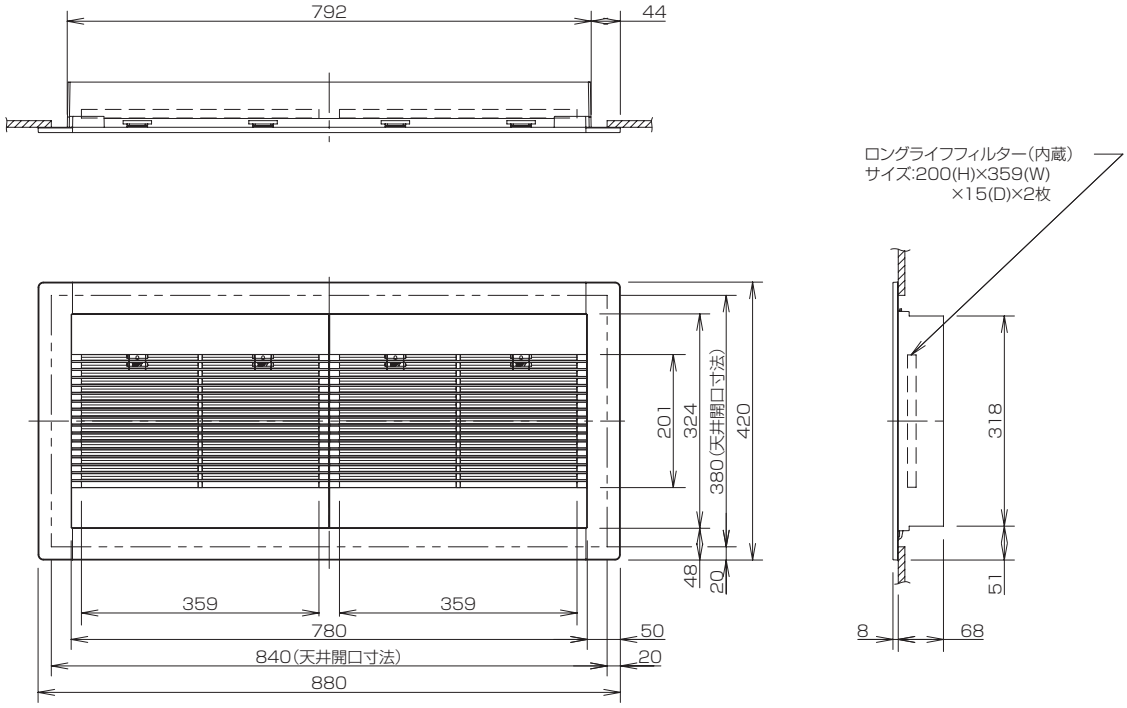
（図3）

85464179963001

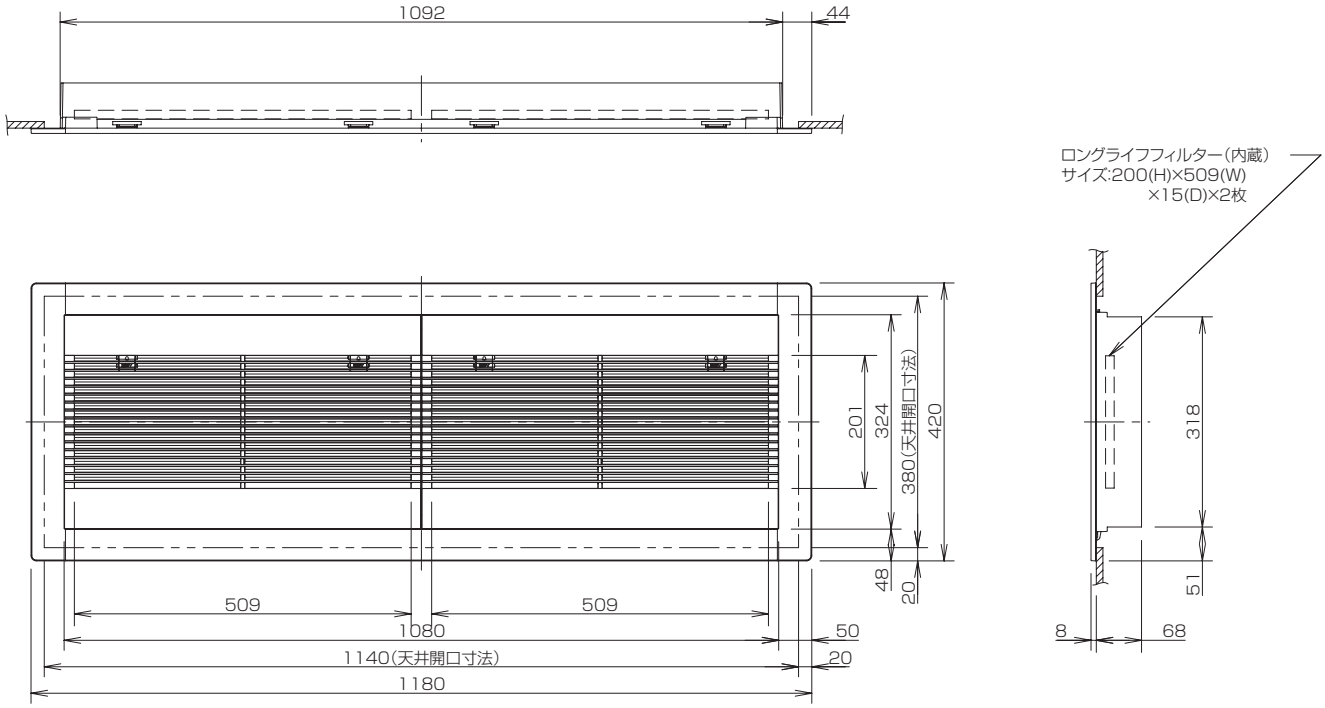
■ビルトイン小パネル（CZ-02，03，06HPF3）



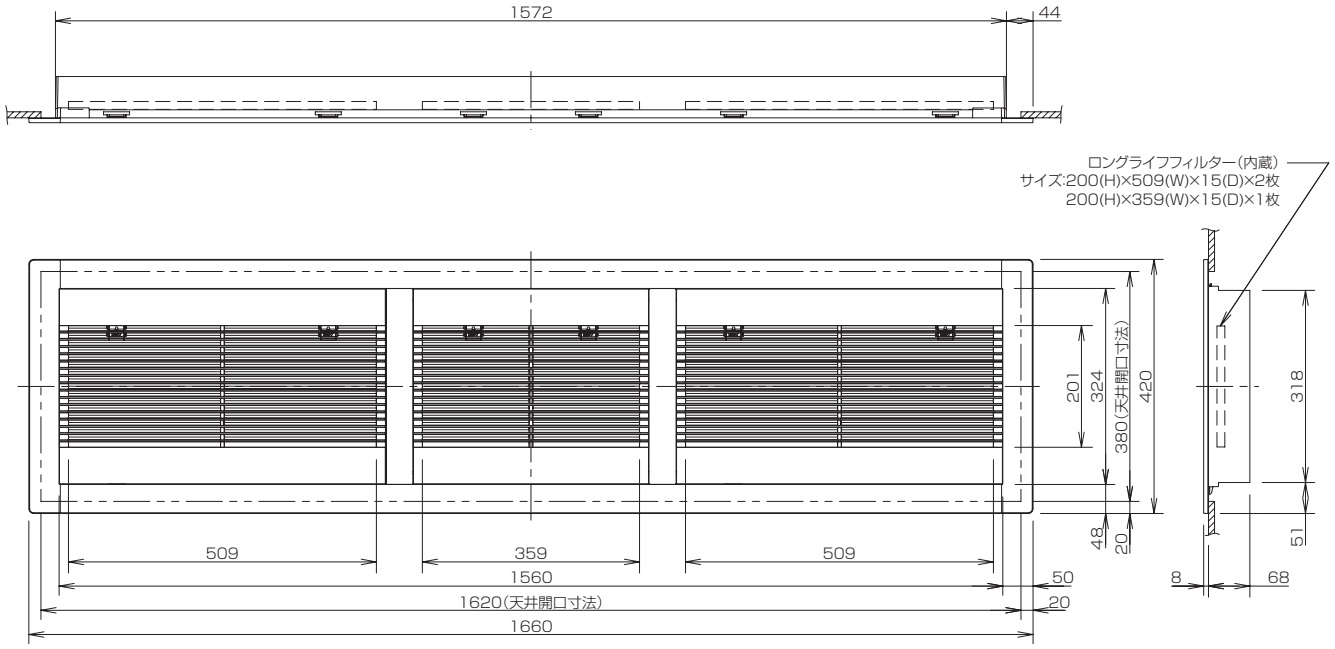
● CZ-02HPF3 外形寸法図



● CZ-03HPF3 外形寸法図



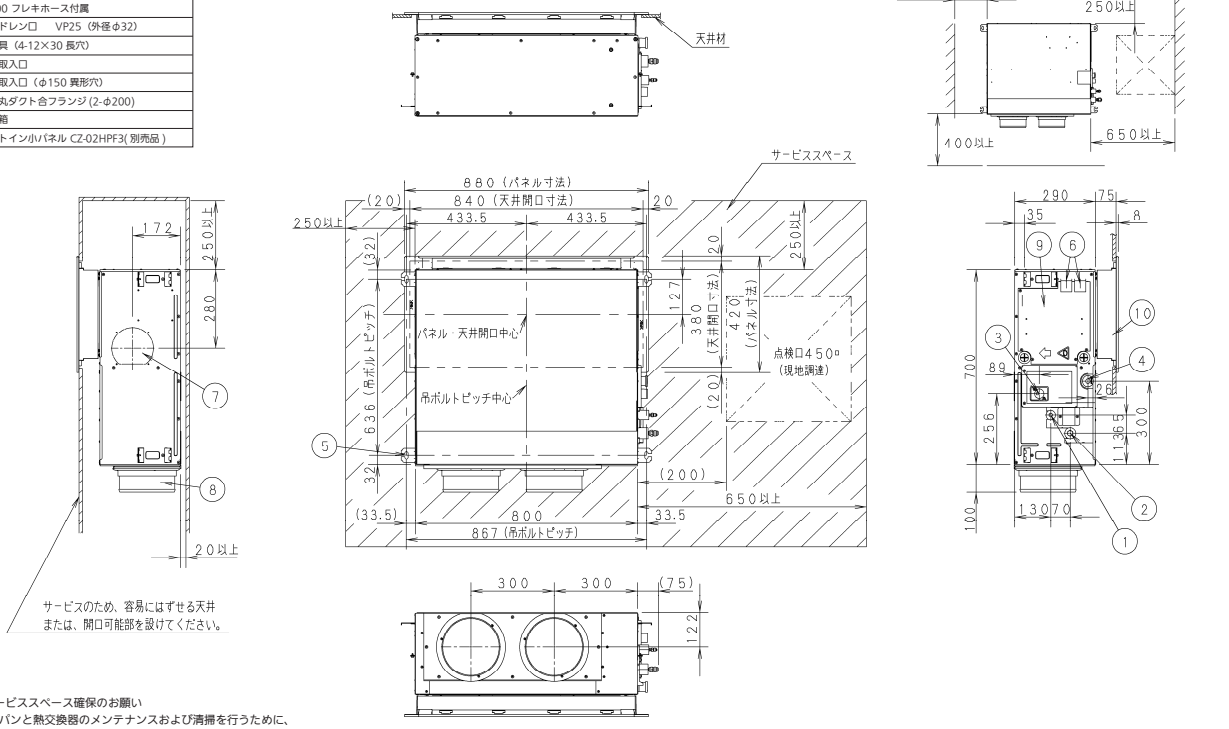
● CZ-06HPF3 外形寸法図



●部品組込用〈小パネル〉

天井ビルトインカセット形〈50，56 形〉

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管 (ガス管)
③	ドレン配管接続口　VP25　(外形φ32) ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32)
⑤	吊金具 (4-12×30 長穴)
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴)
⑧	吹出丸ダクト合フランジ (2-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-02HPF3(別売品)

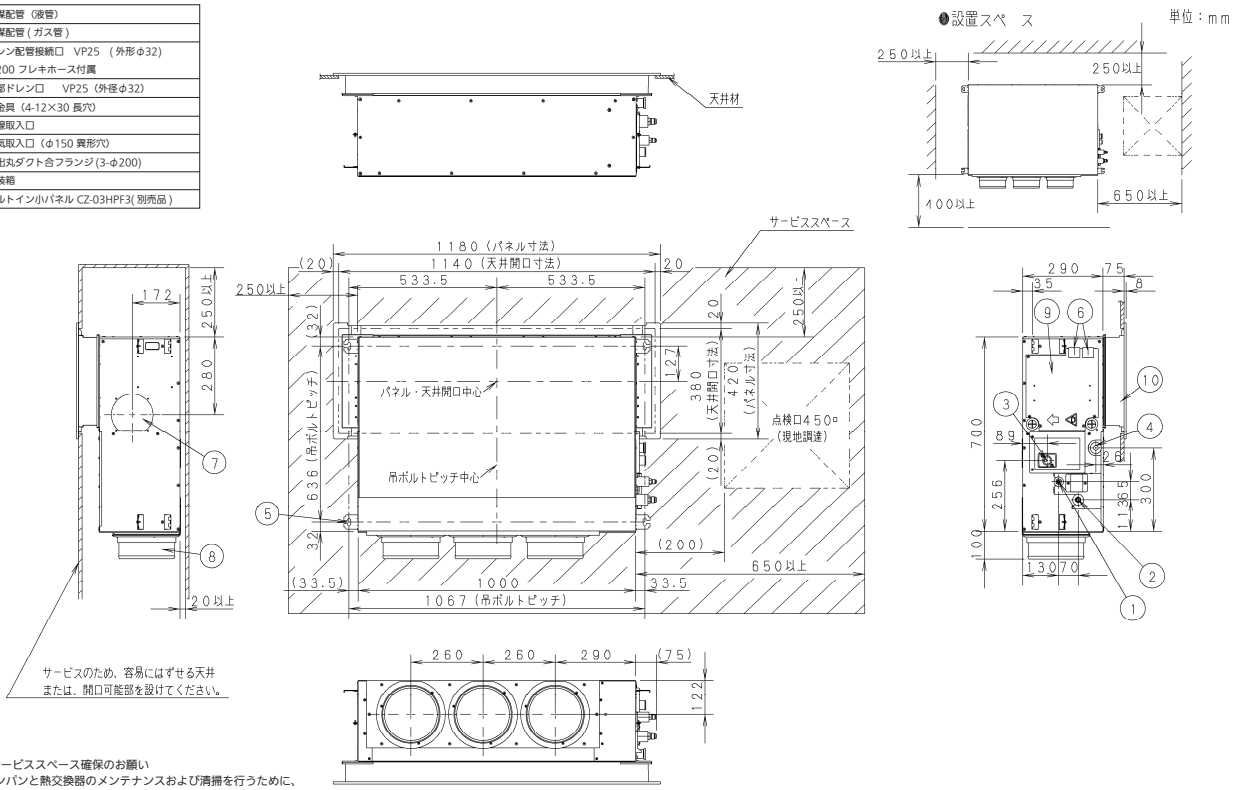


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル (CZ-56KPF1) を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

●部品組込用〈小パネル〉

天井ビルトインカセット形〈63 ～ 80 形〉

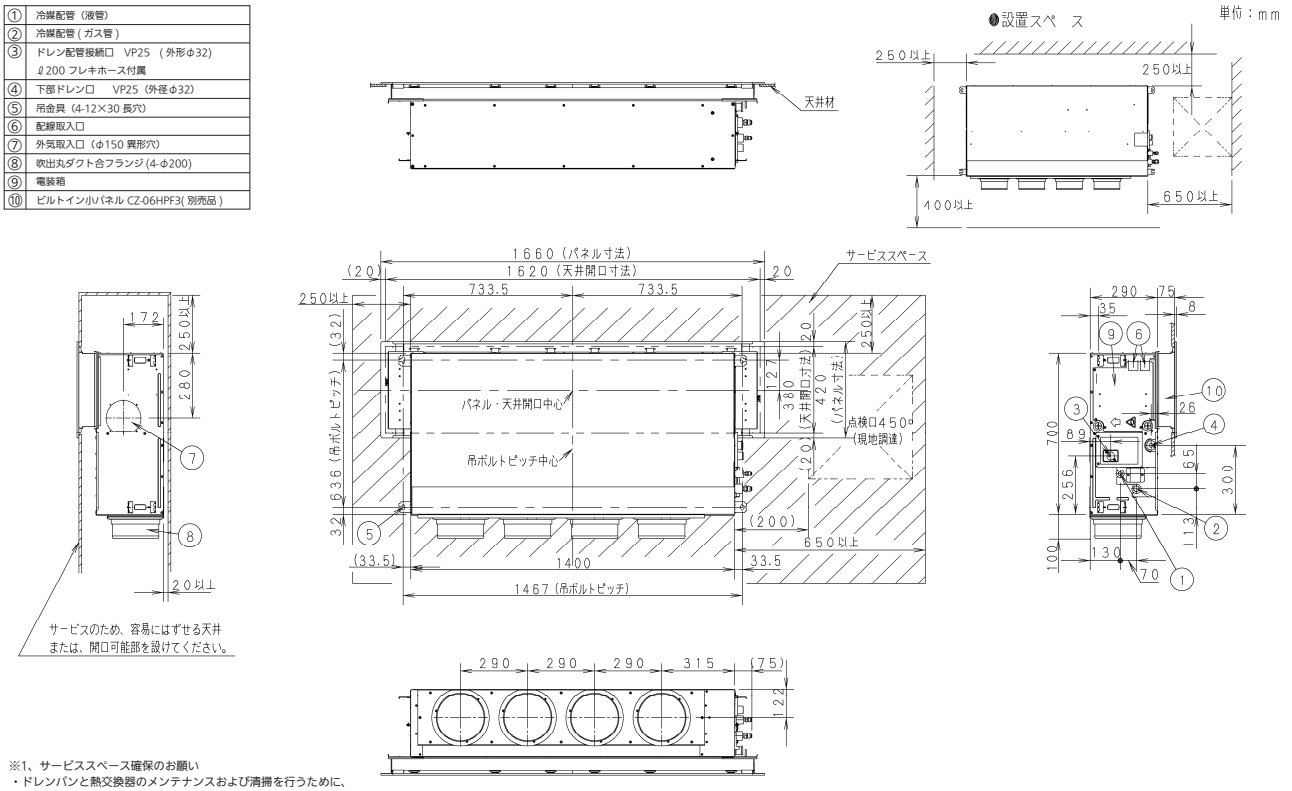
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管 (ガス管)
③	ドレン配管接続口　VP25　（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ (3-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-03HPF3(別売品)



※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル (CZ-90KPF1) を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

天井ビルトインカセット形〈112 ～ 160 形〉

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管 (ガス管)
③	ドレン配管接続口　VP25　（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ (4-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-06HPF3(別売品)



※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル (CZ-160KPF1) を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

●取付説明書

Panasonic

取付説明書　ビルトイン小パネル

品番　　CZ-02HPF3　CZ-03HPF3　CZ-06HPF3

適用室内ユニット　天井ビルトインカセット形　F シリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

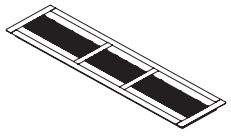
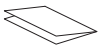
■ 取付説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。

本製品は、接続する室内ユニットによって表や図が異なりますので、表 1 の室内ユニット品番に従って作業を行ってください。

表 1	室内ユニット	ビル用マルチエアコン	オフィス・店舗用エアコン	ガスヒートポンプエアコン
タイプ A	品番	CS-F5U、F6U シリーズ以降	CS-F7C シリーズ以降	S-FU1 シリーズ以降
	参照	表 2-a、図 1-a、図 2 -a ～図 7-a、図 10-a		
タイプ B	品番	CS-F4U シリーズ	CS-F7 (B)、CS-F6 (B)、CS-F5、CS-F4 (N) シリーズ	S-FS2 シリーズ
	参照	表 2- b、図 1- b、図 2 -a ～図 7-a、図 10-a		
タイプ C	品番	CS-F3U シリーズ	CS-F3 シリーズ	S-FS1 シリーズ
	参照	表 2- c 、図 1-c、図 2 -b ～図 7-b、図 10- b		

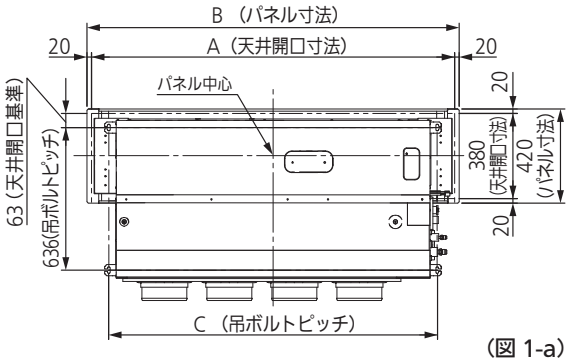
□ 構成部品　付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

ビルトイン小パネル	取付ネジ	取付説明書
	M5×L35（4 本） 	本説明書（1 冊） お客さまに必ず渡してください 

タイプ A

表 2-a	A	B	C
02 形	840	880	867
03 形	1,140	1,180	1,067
06 形	1,620	1,660	1,467

（mm）



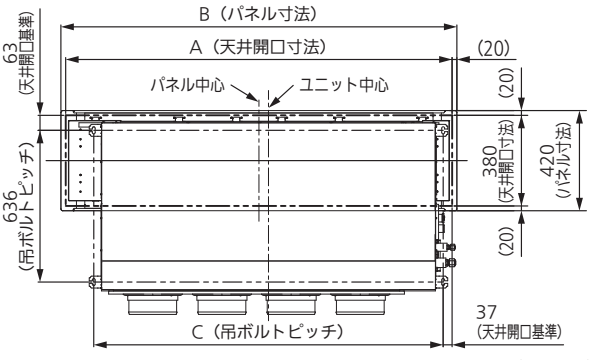
（図 1-a）

タイプ B

表 2-b	A	B	C
02 形	840	880	867
03 形	1,140	1,180	1,067
06 形	1,620	1,660	1,467

（mm）

※ 02 形と 06 形を室内ユニットに接続する場合は、
パネル中心とユニット中心が同じ位置にありません。

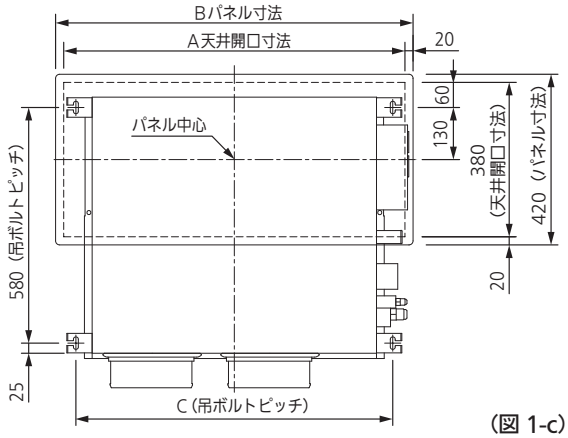


（図 1-b）

タイプ C

表 2-c	A	B	C
02 形	840	880	780
03 形	1,140	1,180	1,080
06 形	1,620	1,660	1,560

（mm）



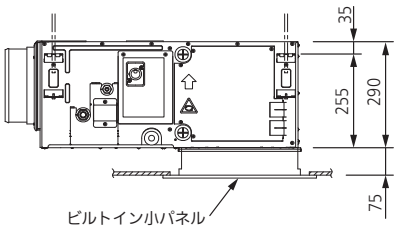
（図 1-c）

□ 取付け前に

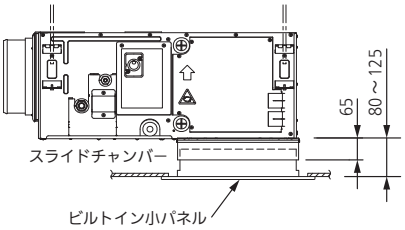
1. タイプ A、タイプ B は室内ユニットに取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。
   取付方法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。
   ＊タイプ A 室内ユニット 22 形～ 56 形は取付済
2. 室内ユニットまたは別売品と天井面との寸法が、図 2-* ～図 7-* に示す値となるように
   室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
3. 天井開口寸法は、表 2-*、図 1-* および室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。

タイプ A、タイプ B

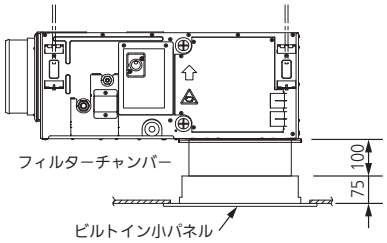
（図 2-a）　室内ユニットに直付け



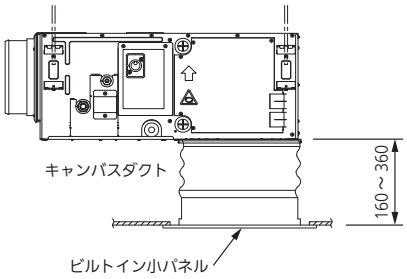
（図 3-a）　スライドチャンバーとの併用



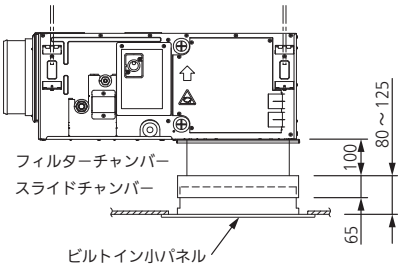
（図 4-a）　フィルターチャンバーとの併用



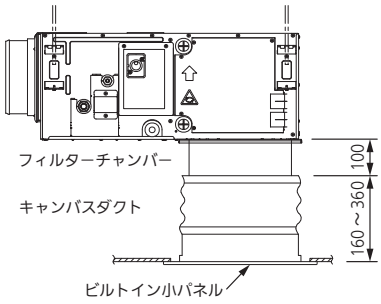
（図 5-a）　キャンバスダクトとの併用



（図 6-a）　フィルターチャンバー、
スライドチャンバーとの併用

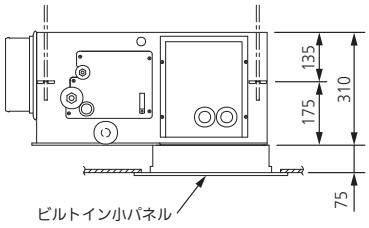


（図 7-a）　フィルターチャンバー、
キャンバスダクトとの併用

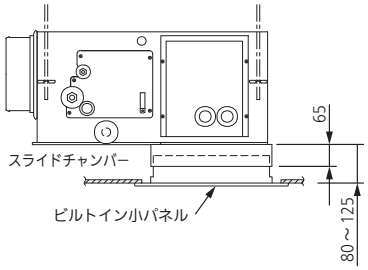


タイプ C

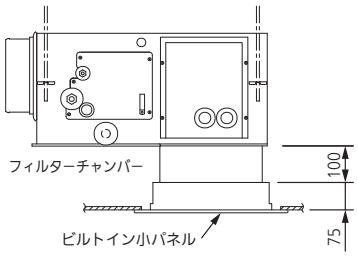
（図 2-b）　室内ユニットに直付け



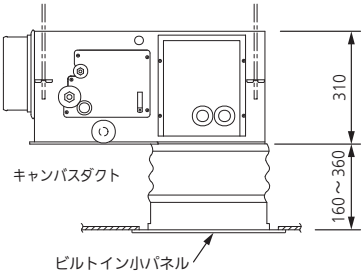
（図 3-b）　スライドチャンバーとの併用



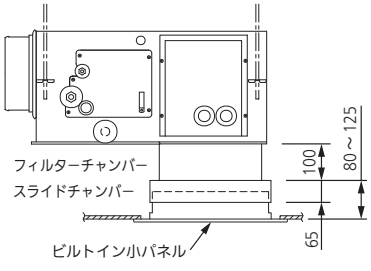
（図 4-b）　フィルターチャンバーとの併用



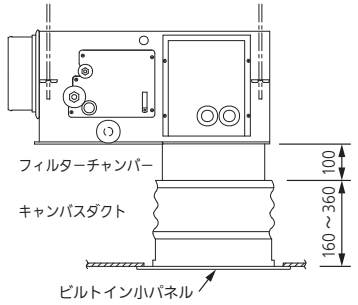
（図 5-b）　キャンバスダクトとの併用



（図 6-b）　フィルターチャンバー、
スライドチャンバーとの併用

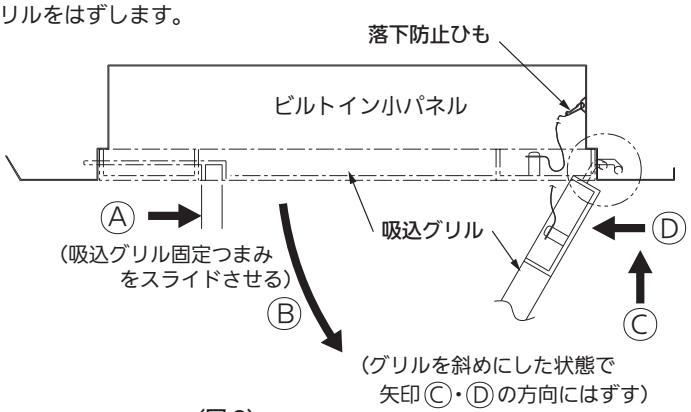


（図 7-b）　フィルターチャンバー、
キャンバスダクトとの併用



□ ビルトイン小パネルの取付けかた

1. 吸込グリル（エアフィルター付）をはずします。（図 8）
吸込グリルのはずしかた
・Ⓐ、Ⓑの手順で吸込みグリルを開けます。
・内側についている落下防止ひもをはずします。
・Ⓒ、Ⓓの手順で吸込みグリルをはずします。



（図 8）

2. ビルトイン小パネルのダルマ穴（2 か所）に合わせ、室内ユニットもしくは別売品に、
本品付属の取付ネジ（M5×L35）を仮止めします。

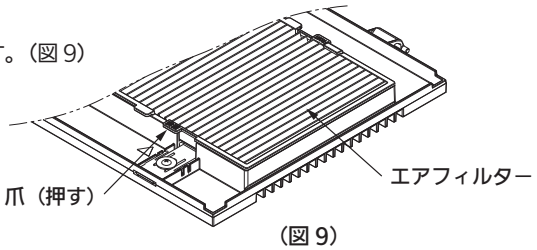
3. 仮止めしたネジにビルトイン小パネルのダルマ穴を挿入し、横に移動させて仮止めします。

4. 残りのネジを取り付け、ビルトイン小パネルを固定します。

5. ビルトイン小パネルと天井面が密着していることを確認してください。
注意：ビルトイン小パネルと天井面に隙間がある場合は、「□ 取付け前に 2.」を参照し室内ユニットの高さを吊りボルトで再調整してください。

6. 吸込グリルを逆の手順で閉じます。
参考：吸込グリルの取り付け向きは、どちら側でも可能です。

7. エアフィルターは、エアフィルターの爪部分を押すとはずすことができます。（図 9）

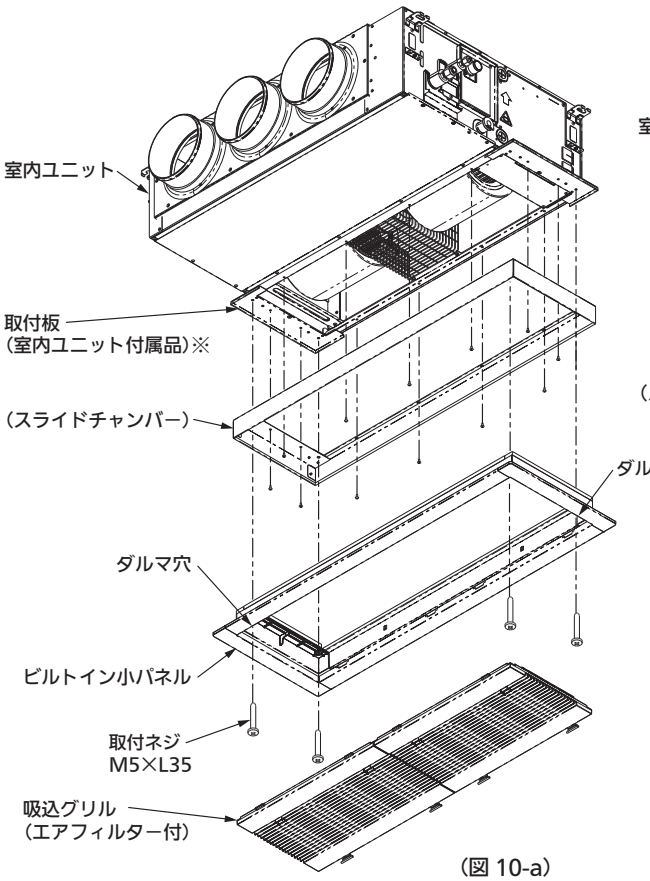


（図 9）

□ 併用別売品の取付けかた

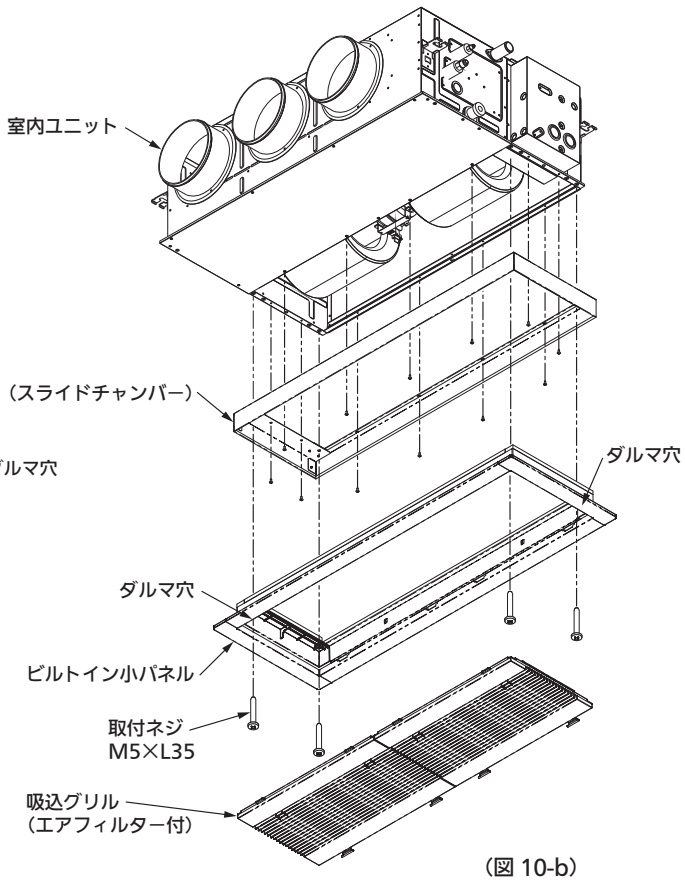
- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

タイプ A、タイプ B



（図 10-a）

タイプ C

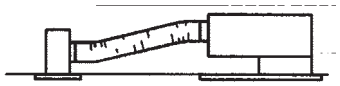


（図 10-b）

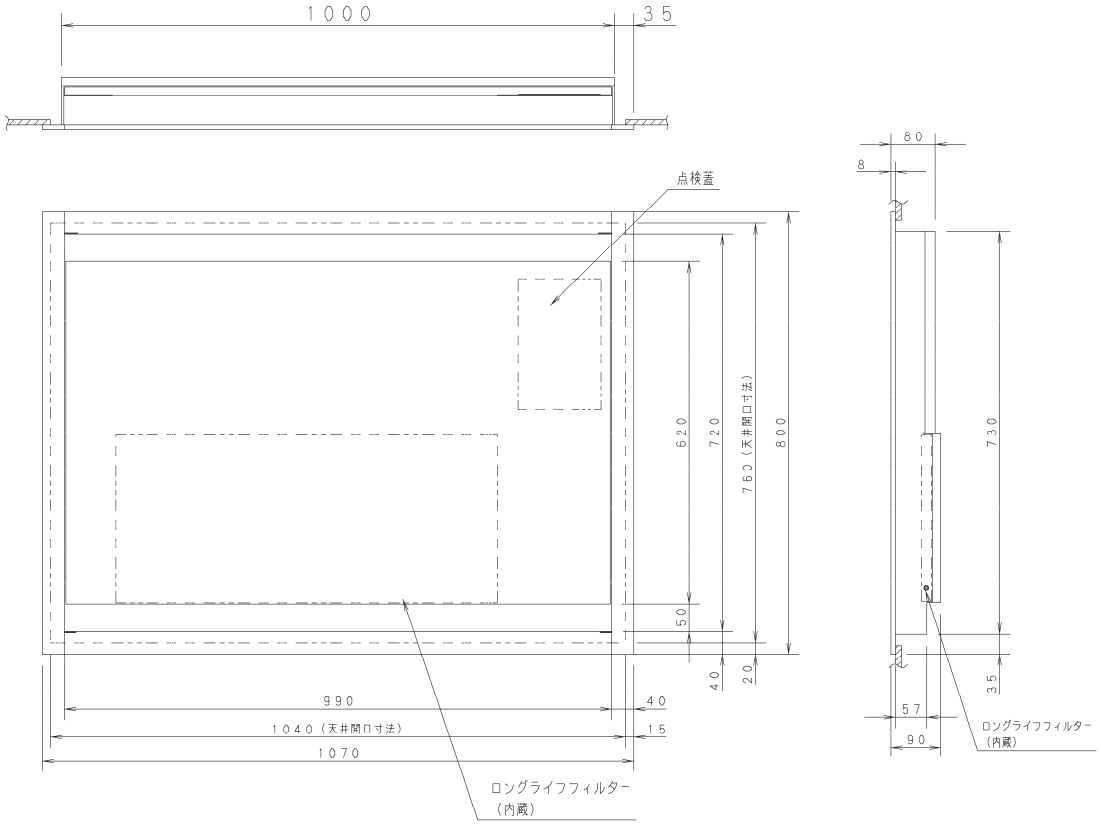
※タイプ A 室内ユニット 22 形～ 56 形は取付済

ACXF60-20741
85464369636001
BE0813-10725

●ビルトイン 大パネル(CZ-56KPF1, 90KPF1, 160KPF1)

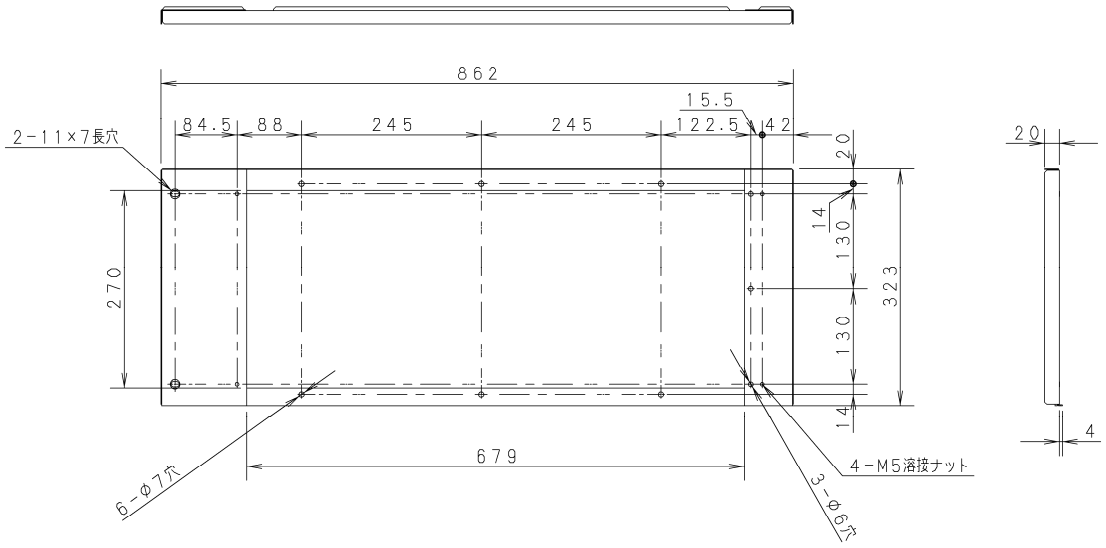


■CZ-56KPF1 外形寸法図



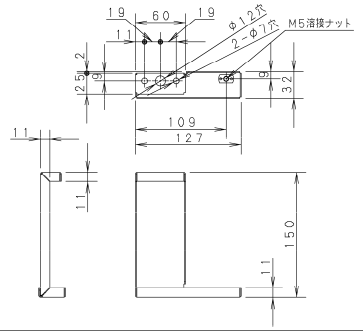
■CZ-56KPF1 外形寸法図（付属金具）

金具A

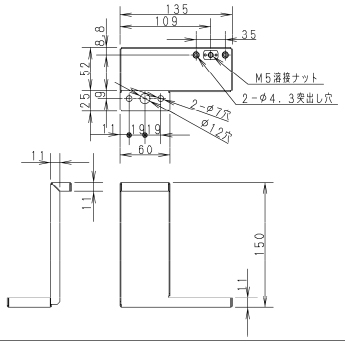


■CZ-56KPF1 外形寸法図（付属金具）

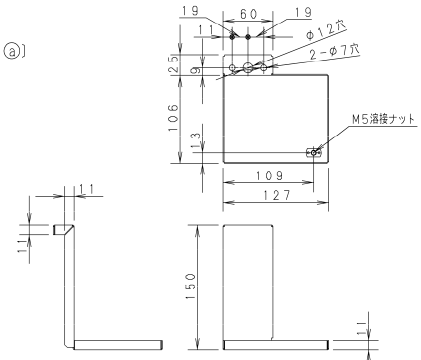
金具B
〔取付タイプ ⓐ〕



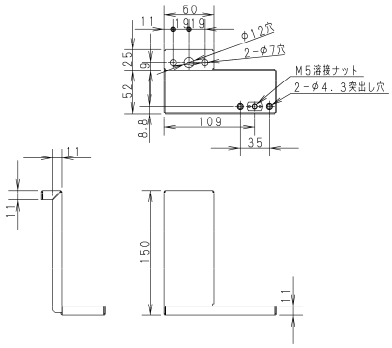
金具B
〔取付タイプ ⓑ〕



金具C
〔取付タイプ ⓐ〕



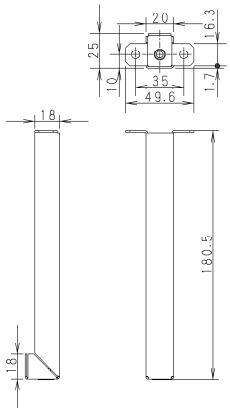
金具C
〔取付タイプ ⓑ〕



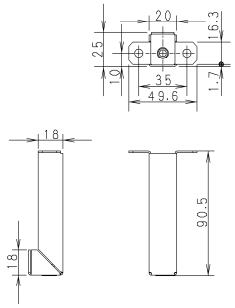
室内ユニット		ビル用マルチ	オフィス・店舗用エアコン	ガスヒートポンプエアコン
品番	取付タイプ ⓐ	CS-F3Uシリーズ，CS-F4Uシリーズ	CS-F3シリーズ，CS-F4シリーズ，CS-F5シリーズ CS-F6シリーズ，CS-F7（B）シリーズ	S-FS1シリーズ，S-FS2シリーズ
	取付タイプ ⓑ	CS-F5U，F6Uシリーズ以降	CS-F7Cシリーズ以降	S-FU1シリーズ以降

注）金具B、Cは各2種類付属しています。接続する室内ユニットからℓ記の表で取付タイプⓐまたはⓑのいずれかに該当することを確認の上、使用する金具を選択してください。

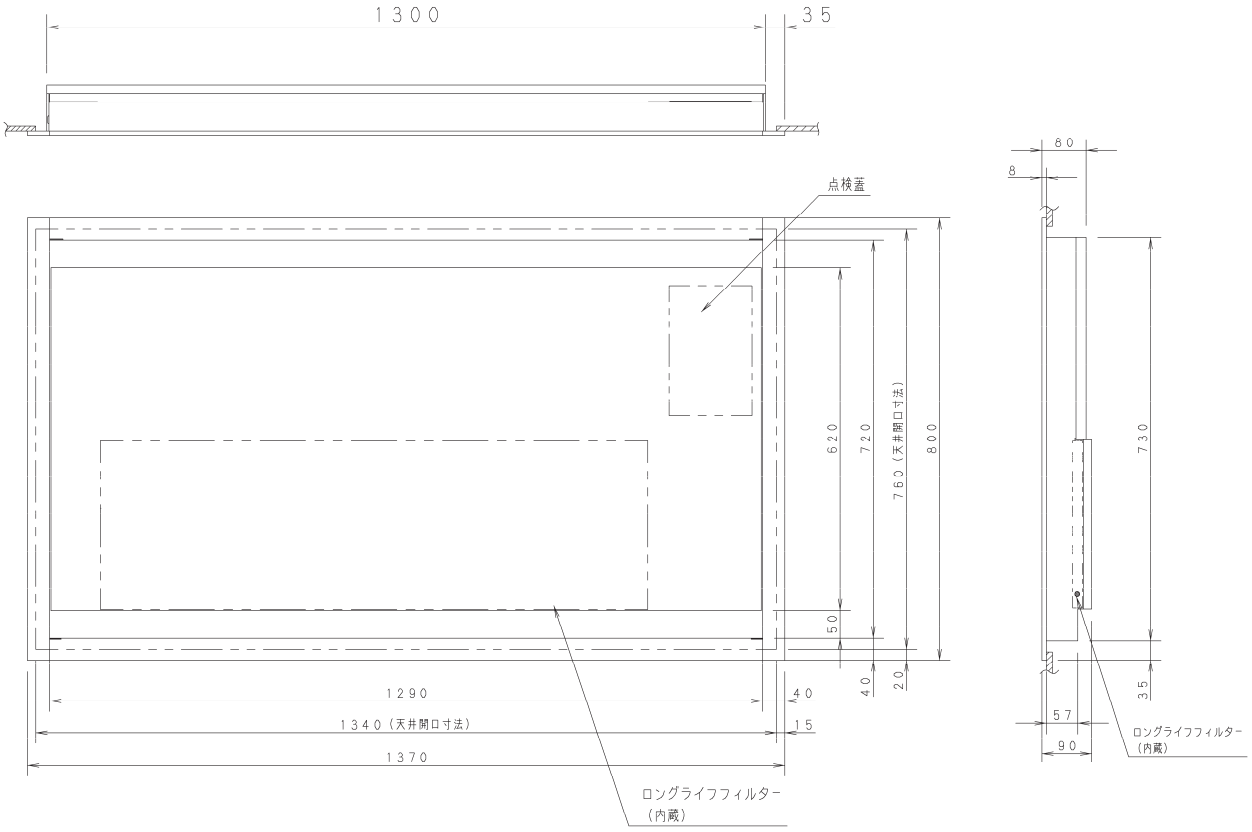
金具D



金具E

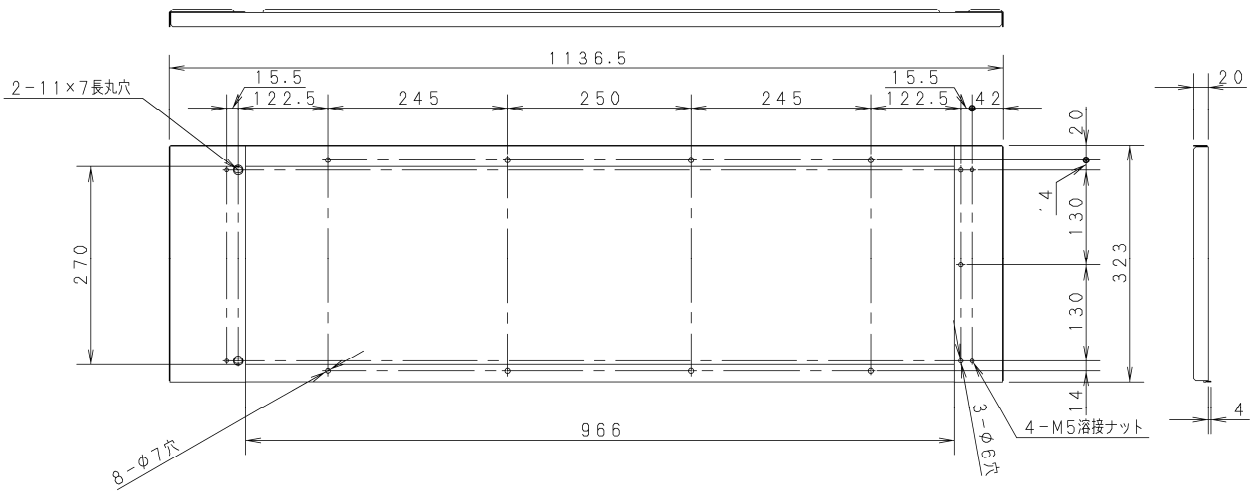


■CZ-90KPF1 外形寸法図



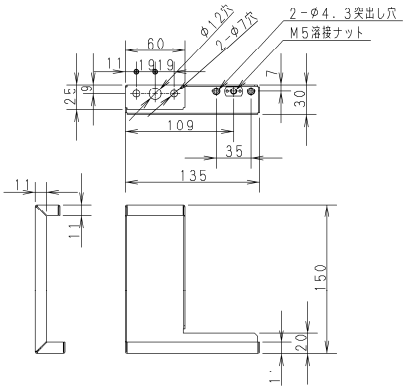
■CZ-90KPF1 外形寸法図（付属金具）

金具A

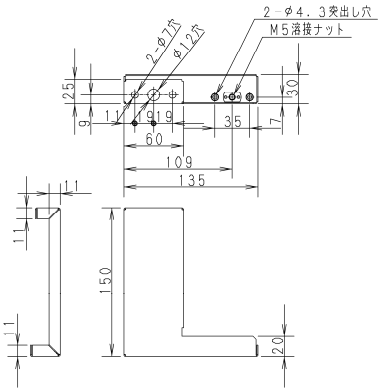


■CZ-90KPF1 外形寸法図（付属金具）

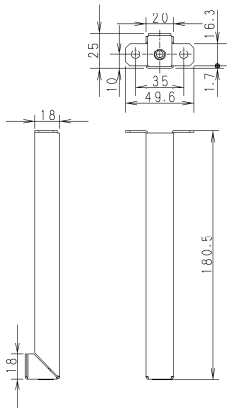
金具B



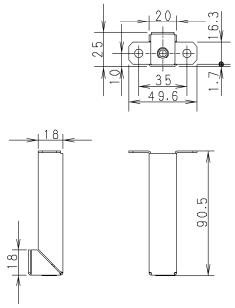
金具C



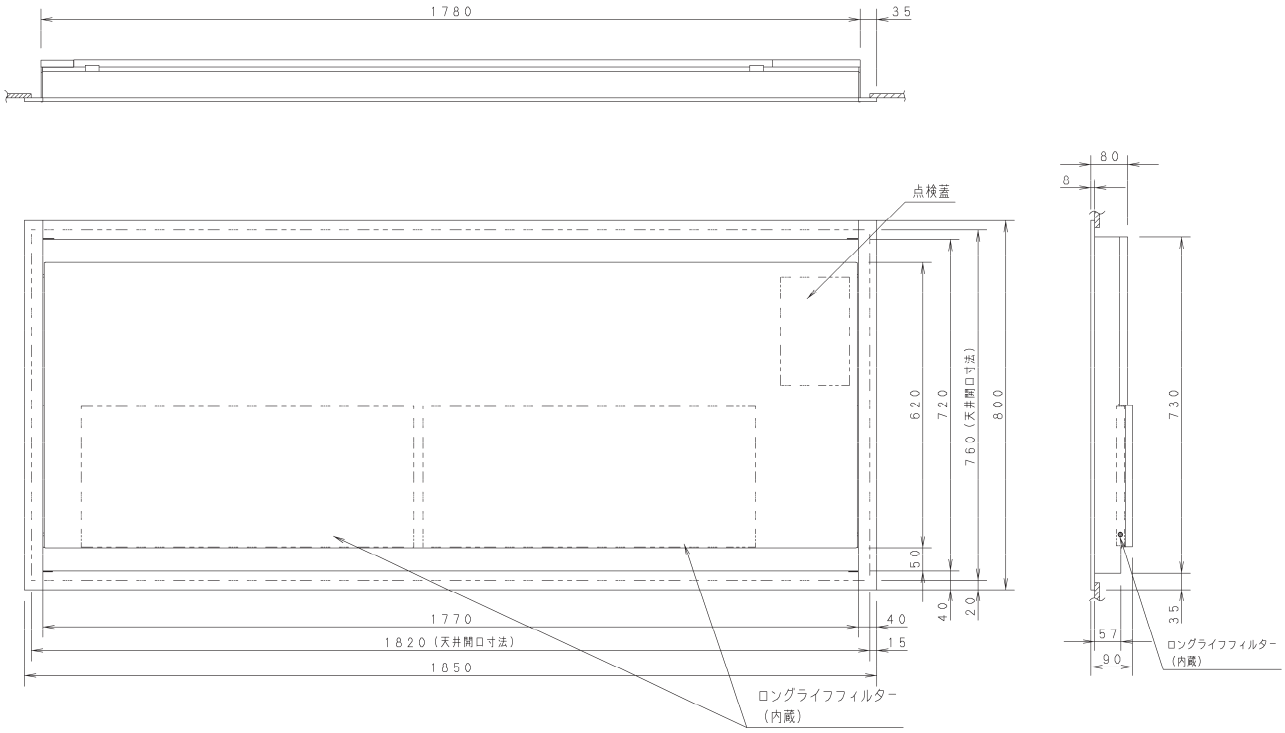
金具D



金具E

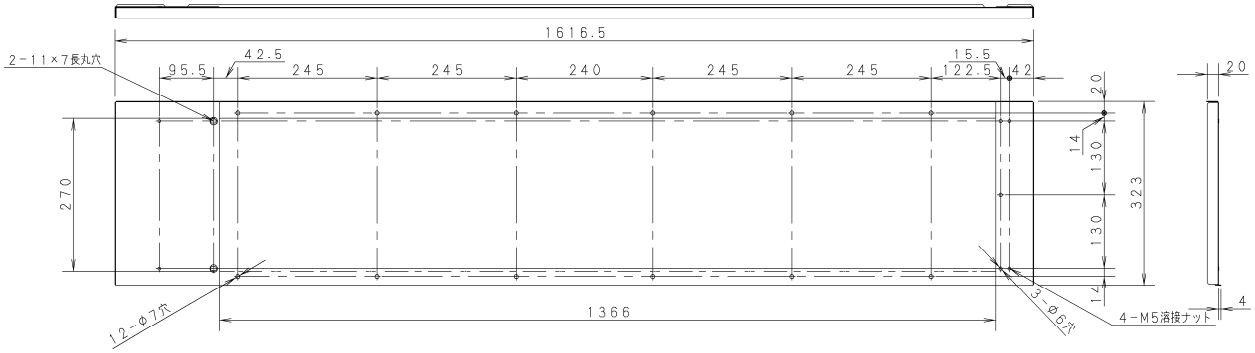


● CZ-160KPF1 外形寸法図



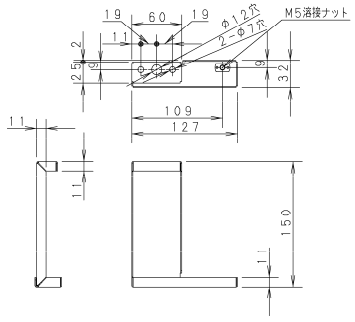
■CZ-160KPF1 外形寸法図（付属金具）

金具A

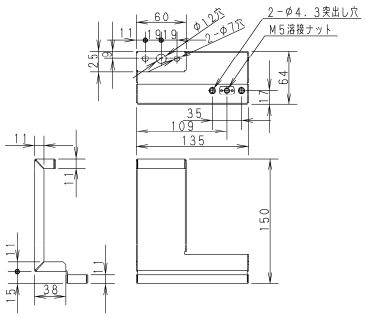


■CZ-160KPF1 外形寸法図（付属金具）

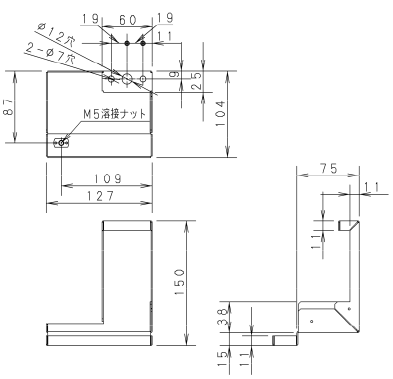
金具B
［取付タイプ ⓐ］



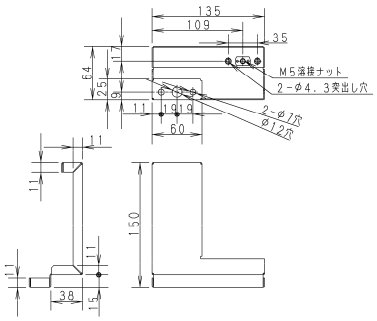
金具B
［取付タイプ ⓑ］



金具C
［取付タイプ ⓐ］



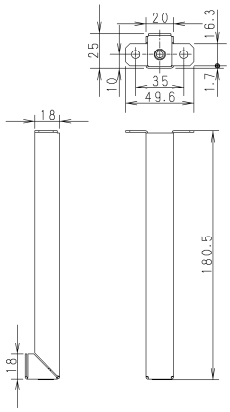
金具C
［取付タイプ ⓑ］



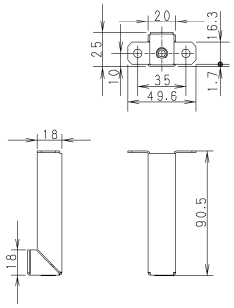
室内ユニット		ビル用マルチ	オフィス・店舗用エアコン	ガスヒートポンプエアコン
品番	取付タイプ ⓐ	CS－F3Uシリーズ，CS－F4Uシリーズ	CS－F3シリーズ，CS－F4シリーズ，CS－F5シリーズ，CS－F6シリーズ，CS－F7（B）シリーズ	S－FS1シリーズ，S－FS2シリーズ
	取付タイプ ⓑ	CS－F5U，F6Uシリーズ以降	CS－F7Cシリーズ以降	S－FU1シリーズ以降

注）金具B、Cは各2種類付属しています。接続する室内ユニットから左記の表で取付タイプⓐまたはⓑのいずれかに該当することを確認の上、使用する金具を選択してください。

金具D



金具E



●圧力損失

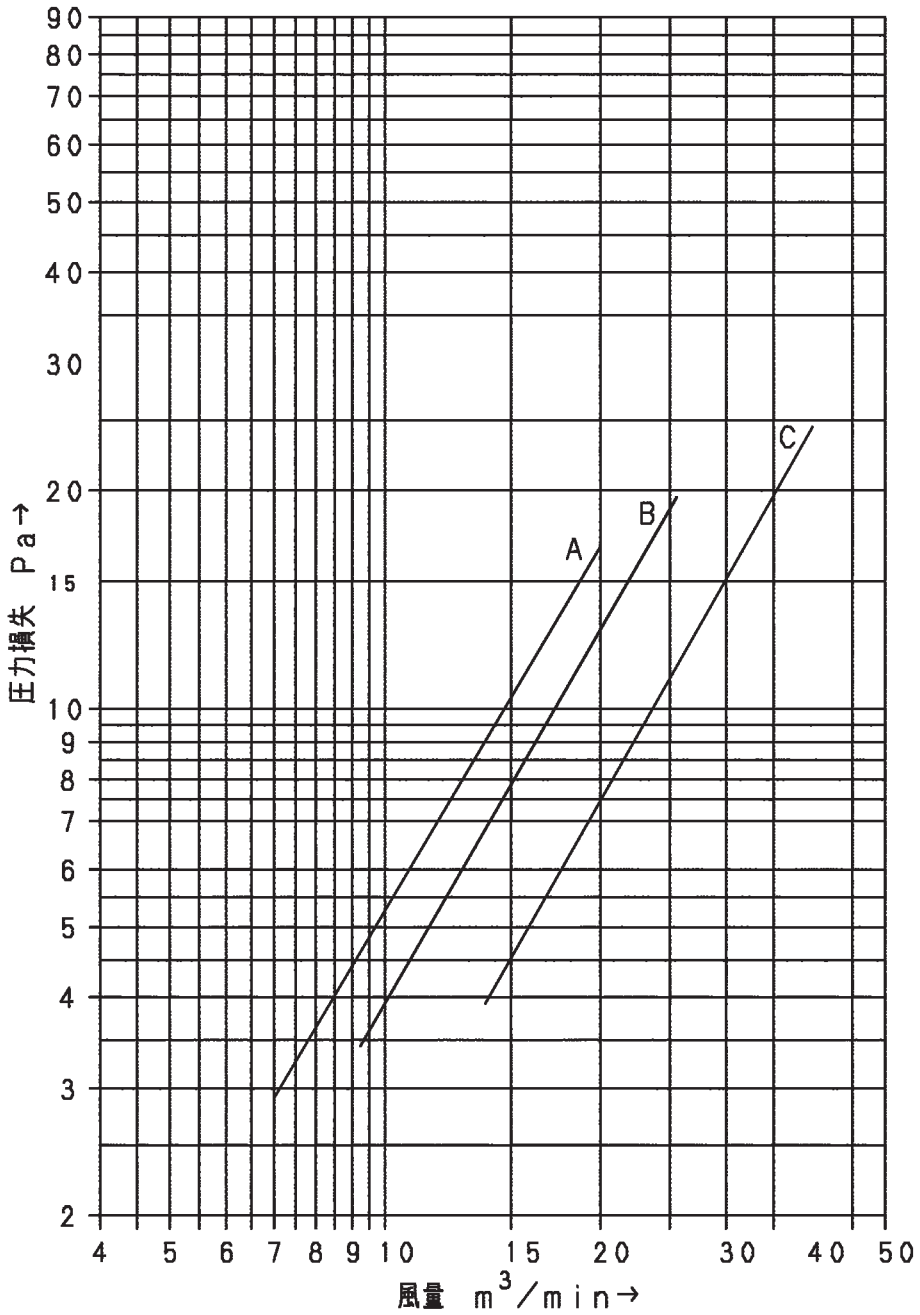
●ビルトイン 小パネル、ビルトイン 大パネル

ビルトイン小パネル(ロングライフフィルター付き)

記号	部品品番	適用機種
A	CZ-02HPF3	50,56 形
B	CZ-03HPF3	63 ～ 80 形
C	CZ-06HPF3	112 ～ 160 形

ビルトイン大パネル(ロングライフフィルター付き)

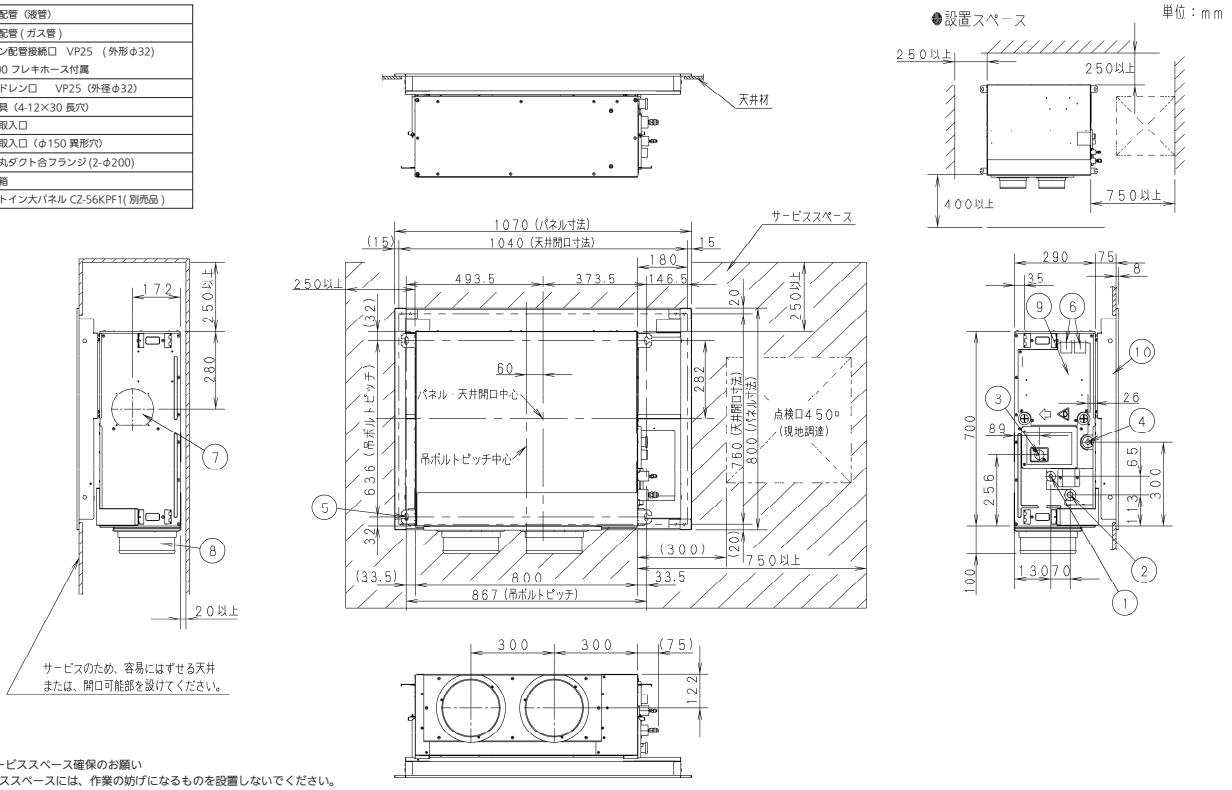
記号	部品品番	適用機種
A	CZ-56KPF1	50,56 形
B	CZ-90KPF1	63 ～ 80 形
C	CZ-160KPF1	112 ～ 160 形



●部品組込用〈大パネル〉

天井ビルトインカセット形〈50，56 形〉

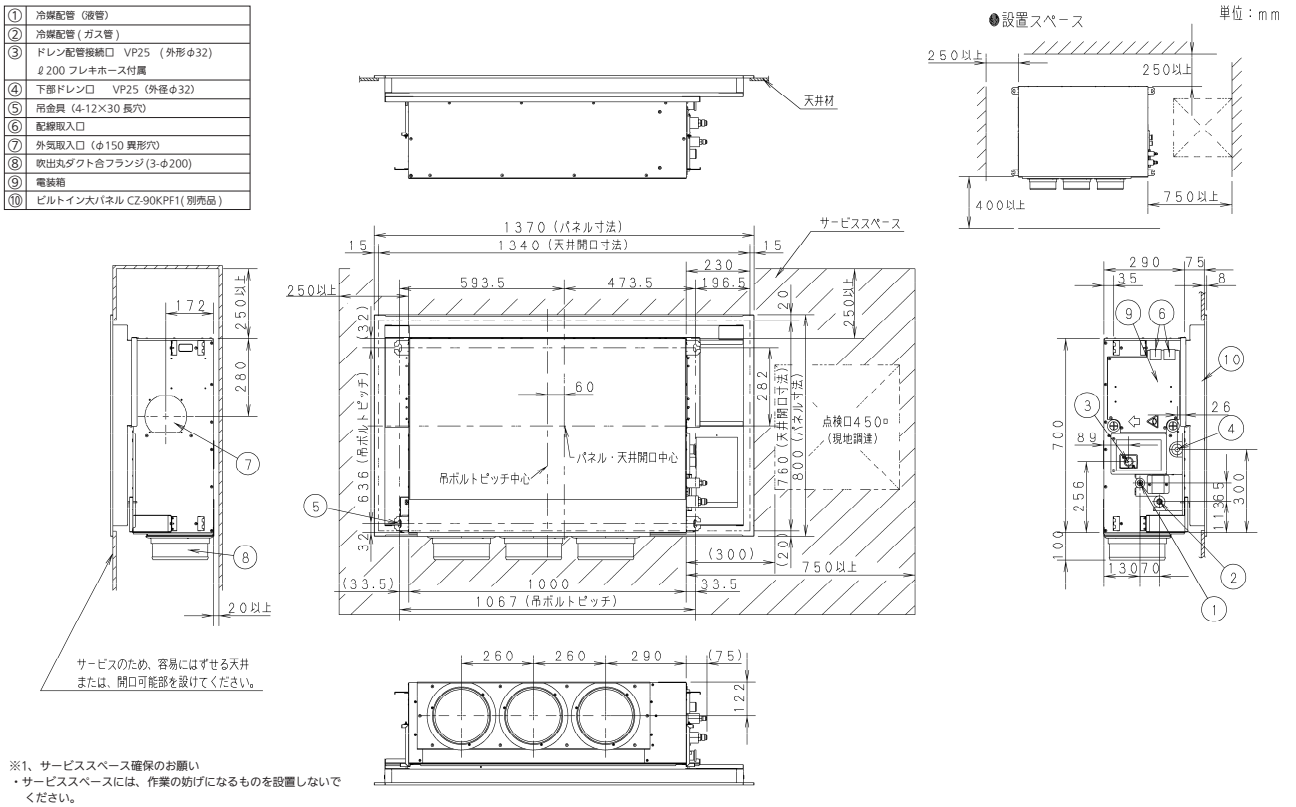
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25　（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ（2-φ200）
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン大パネル CZ-56KPF1（別売品）



※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

天井ビルトインカセット形〈63 ～ 80 形〉

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25　（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ（3-φ200）
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン大パネル CZ-90KPF1（別売品）



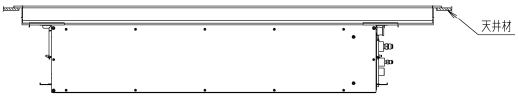
※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

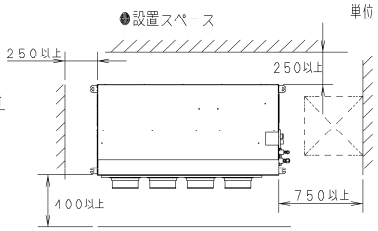
●部品組込用〈大パネル〉

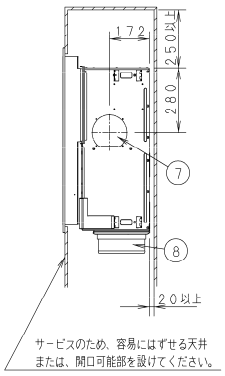
天井ビルトインカセット形〈112 ～ 160 形〉

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ（4-φ200）
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン大パネル CZ-160KPF1（別売品）

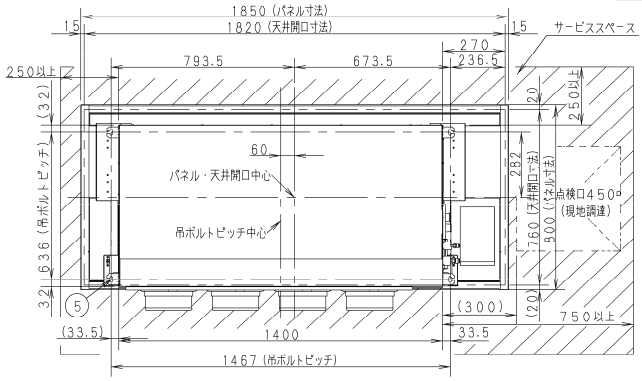
単位：mm

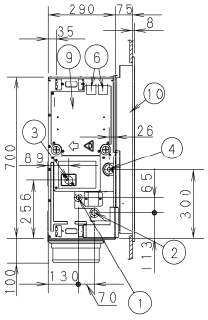


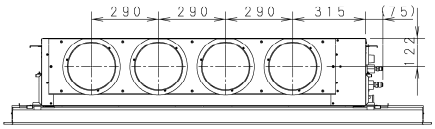




サービスのため、容易にはずせる天井
または、開口可能部を設けてください。







※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

●据付工事説明書

●ビルトイン大パネル

Panasonic

据付工事説明書

ビルトイン大パネル

品番　CZ-56KPF1, CZ-90KPF1, CZ-160KPF1

適用室内ユニット　天井ビルトインカセット形Ｆシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている据付工事説明書と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

本製品は、接続する室内ユニットによって取付方法が異なりますので、取付タイプⓐまたはⓑのいずれかに該当することをご確認の上、それぞれの取付方法に従って作業を行ってください。
取り付けの前に、必ずカタログもしくは設備設計資料をご確認ください。

表1

室内ユニット		ビル用マルチエアコン	オフィス・店舗用エアコン	ガスヒートポンプエアコン
品番	取付タイプ ⓑ	CS-F5U、F6Uシリーズ以降	CS-F7Cシリーズ以降	S-FU1シリーズ以降
	取付タイプ ⓐ	CS-F4Uシリーズ	CS-F7(B)、CS-F6(B)、CS-F5、CS-F4(N)シリーズ	S-FS2シリーズ

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚　実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼し、工事には必ず指定部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられるところに確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災などの原因）

⃠ ■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、火災の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。

パナソニック株式会社　空質空調社
〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号
© Panasonic Corporation 2024 - 2025

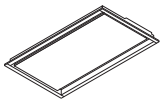
ACXF60-58942
BE1124-30725

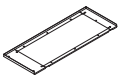
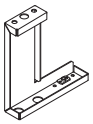
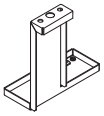
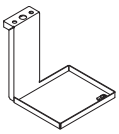
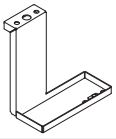
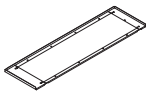
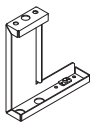
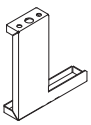
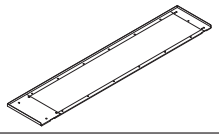
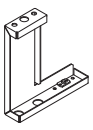
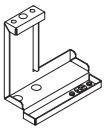
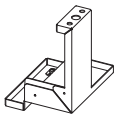
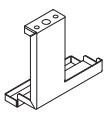
●ビルトイン大パネル

1．構成部品

据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

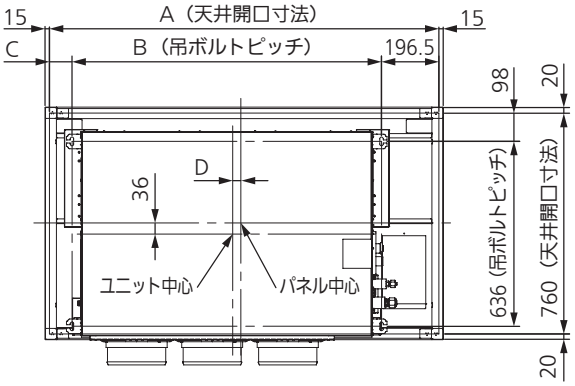
＊金具 A は、本製品を室内ユニットに直付けする場合のみ使用します。
＊金具 B、C は下表をご確認の上、取付タイプ（1 ページ 表 1 参照）と本製品の品番にあったものを使用してください。
＊金具 D、E はキャンバスダクトを使用する場合のみ使用します。

品番	パネル本体	金具D	金具E
	1個	2個	2個
CZ-56KPF1			
CZ-90KPF1			
CZ-160KPF1			

品番	金具A	金具B		金具C	
	1個	各1個		各1個	
CZ-56KPF1	取付タイプⓐのみ使用	取付タイプⓐ	取付タイプⓑ	取付タイプⓐ	取付タイプⓑ
					
CZ-90KPF1	取付タイプⓐⓑ共通	取付タイプⓐⓑ共通		取付タイプⓐⓑ共通	
					
CZ-160KPF1	取付タイプⓐのみ使用	取付タイプⓐ	取付タイプⓑ	取付タイプⓐ	取付タイプⓑ
					

品番	取付ネジ						
	M5						M4
	L10	L16	L35	L100	L115	L150	L10
CZ-56KPF1	8本	2本	5本	2本	2本	2本	11本
CZ-90KPF1	8本	—	6本	2本	—	2本	13本
CZ-160KPF1	8本	—	6本	2本	—	2本	17本

＜取付タイプ ⓐ＞



＜取付タイプ ⓑ＞

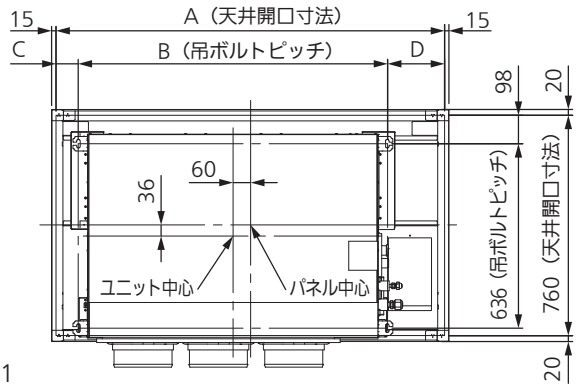


図1

寸法　（mm）

品番	A	B	C	D
CZ-56KPF1	1040	867	−23.5 ※1	110
CZ-90KPF1	1340	1067	76.5	60
CZ-160KPF1	1820	1467	156.5	20

※1 56形のみ、室内ユニットの吊ボルト位置が天井開口の外側になります。

寸法　（mm）

品番	A	B	C	D
CZ-56KPF1	1040	867	26.5	146.5
CZ-90KPF1	1340	1067	76.5	196.5
CZ-160KPF1	1820	1467	116.5	236.5

●ビルトイン大パネル

2. 取り付け前に

1. ・室内ユニットに直付けする場合は、本製品付属の金具 A、B、C を取り付けてください。取付タイプⓑの室内ユニットには 90 形のみ金具 A が必要です。
   ・フィルターチャンバー、キャンバスダクトを取り付ける場合は、取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。
   取付板の取り付け方は、室内ユニットに同梱されている据付工事説明書をご確認ください。
   56 形の本製品に接続する取付タイプⓑの室内ユニットは、取付板を取り付け済です。（4 ページ 図 7、8 ※2）
   ・フィルターチャンバー、キャンバスダクトを取り付ける場合は本製品付属の金具 B、C を取り付けてください。（4 ページ 図 7、8）
   ・フィルターチャンバー、キャンバスダクトは、各 1 台のみ併用可能です。フィルターチャンバーの 2 個直列接続は行わないでください。
2. 室内ユニットまたは別売品と天井面との寸法が、図 2 または図 3、図 4 に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
3. 天井開口寸法は、図 1 を参照してください。

＜室内ユニットに直付け＞

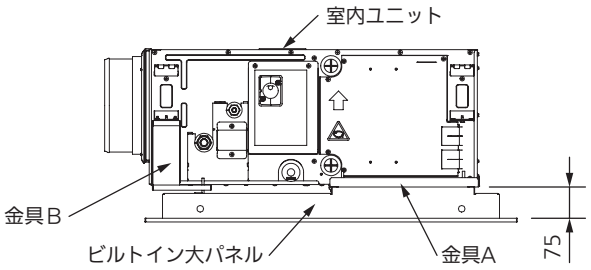


図2

＜フィルターチャンバーとの併用＞

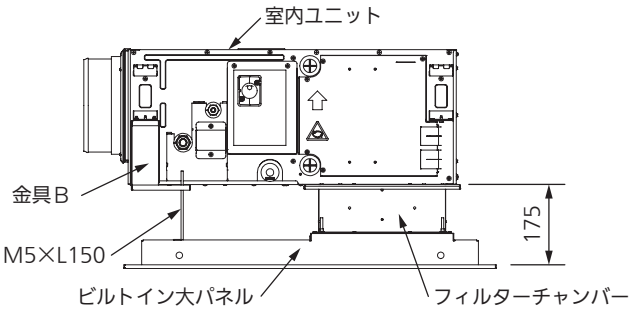


図3

＜キャンバスダクトとの併用＞
＊取付タイプⓑのみ併用可能です。

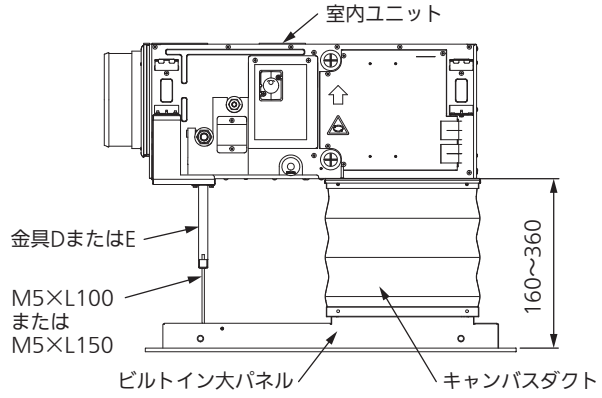


図4

金具	M5ネジ	キャンバスダクト取付高さ
D	L150	260 ～ 360
D	L100	260 ～ 310
E	L150	220 ～ 270
E	L100	160 ～ 220
金具なし ※3	L150	160 ～ 185

※3 90、160形のみ。
56形は必ず金具D、Eのいずれかを使用してください。

●ビルトイン大パネル

3. ビルトイン大パネルの取り付けかた

1. 吸込パネルをはずします。（図5）
   ① 吸込パネルの注意ラベル側を A、B、C の手順で手前にはずします。
   ② 落下防止ひもを固定しているネジをはずします。（図6、 7、 8）
   ③ D、E の手順でもう一方をはずします。

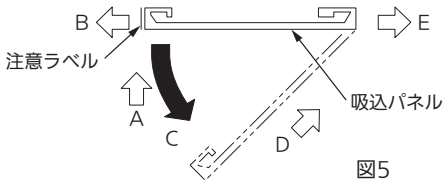


図5

2. ビルトイン大パネルのダルマ穴（2か所）に合わせて、室内ユニット側に本製品付属の取付ネジを仮止めします。
3. 仮止めしたネジにビルトイン大パネルのダルマ穴を挿入し、横に移動させて仮止めします。
4. 残りのネジを取り付け、ビルトイン大パネルを固定します。
5. ビルトイン大パネルと天井面が密着していることを確認し、吸込パネルを取り付けます。
   落下防止ひもを必ず取り付けてください。ひもが下から見えないよう、内側に向けてください。
6. エアフィルターはフィルター押えフックを 90 度回転させると取りはずすことができます。

注意：・吸込パネルは注意ラベル側（エアフィルター側）のみ開閉できます。
・ビルトイン大パネル本体の仮止めは 2 人以上作業で行い、落下に十分ご注意ください。
・ビルトイン大パネルと天井面に隙間がある場合は、室内ユニットの吊ボルトの高さを再調整してください。
・大パネル本体と吸込パネルは中央に引っ掛け金具があります。吸込パネルを取り付ける際には向きに注意して金具同士が確実に引っ掛かるようにしてください。

＜室内ユニットに直付け＞

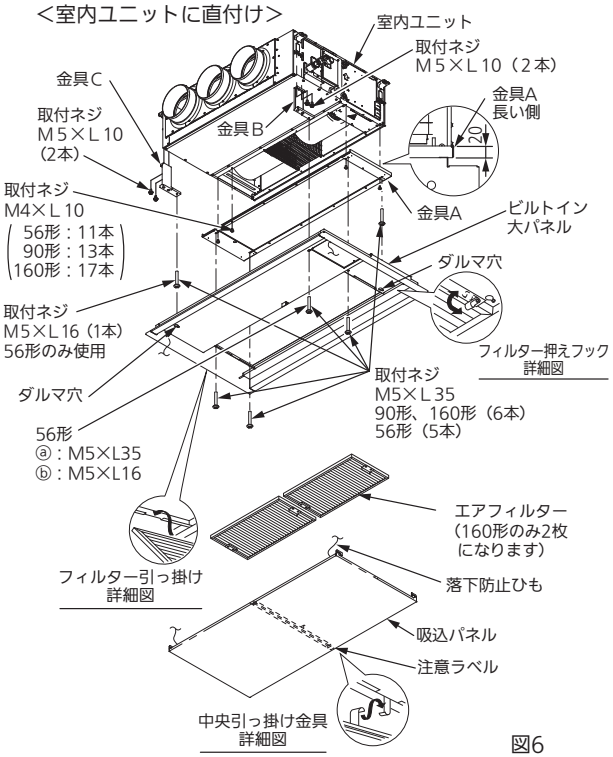


図6

併用別売品の取り付けかた
■ 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

＜フィルターチャンバーとの併用＞

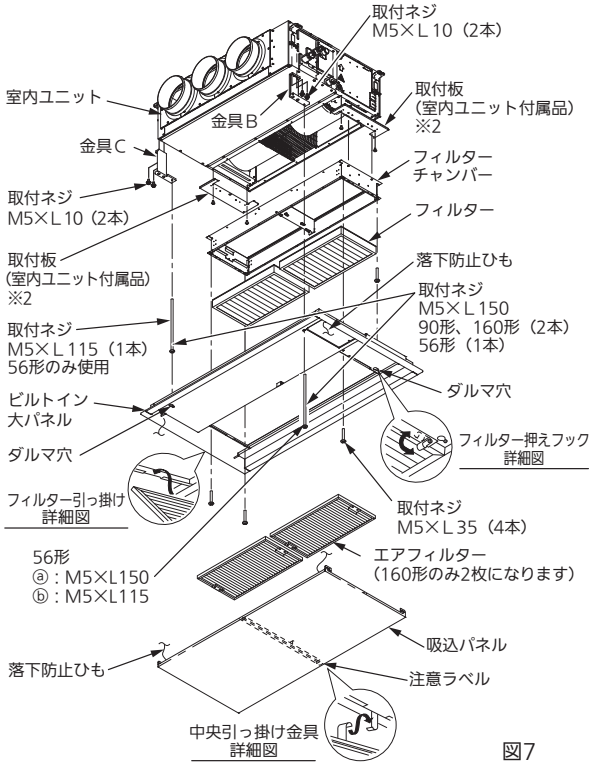


図7

＜キャンバスダクトとの併用＞
＊取付タイプⓑのみ併用可能です。

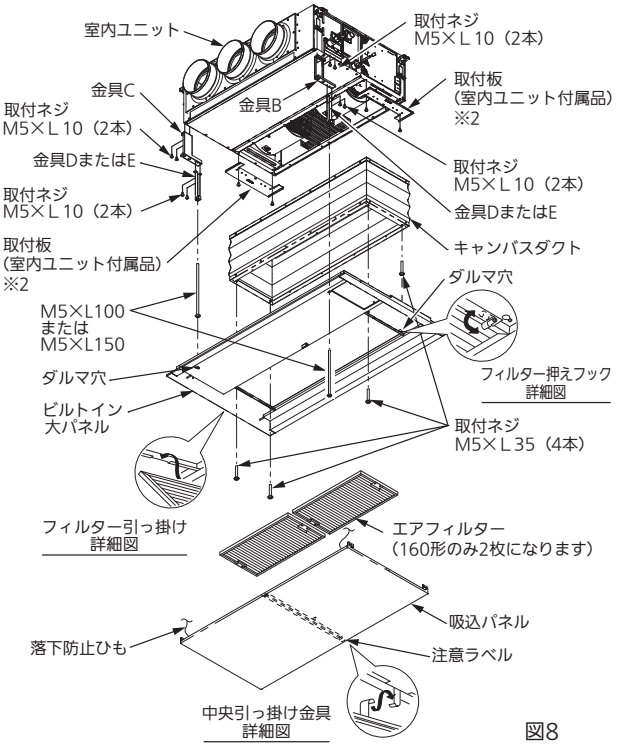
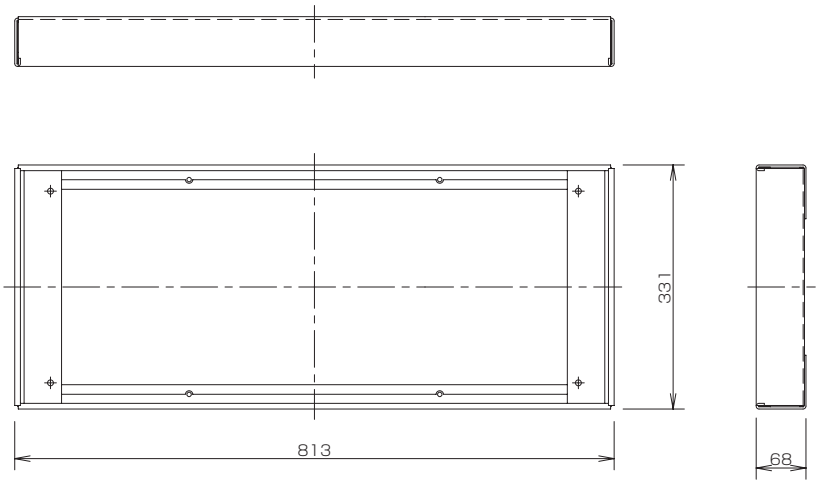


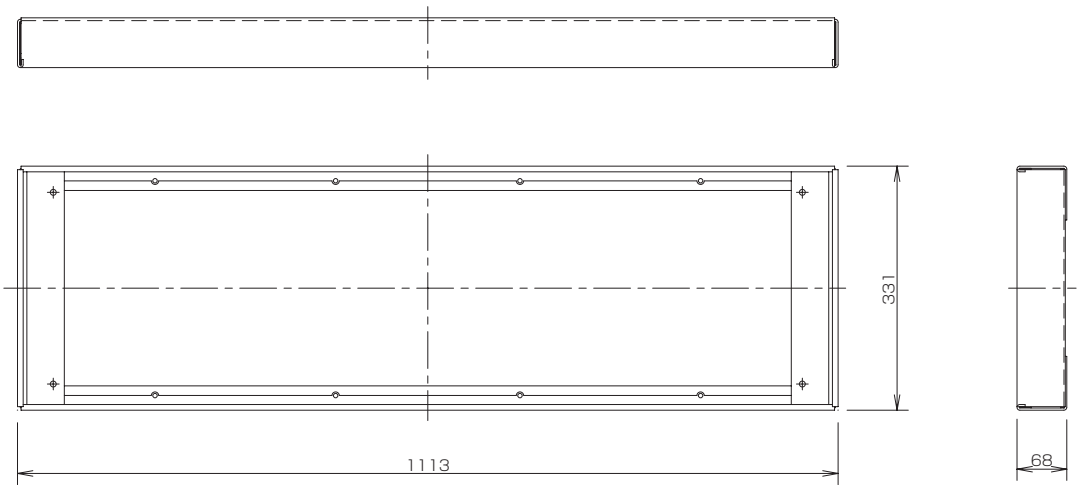
図8

■スライドチャンバー

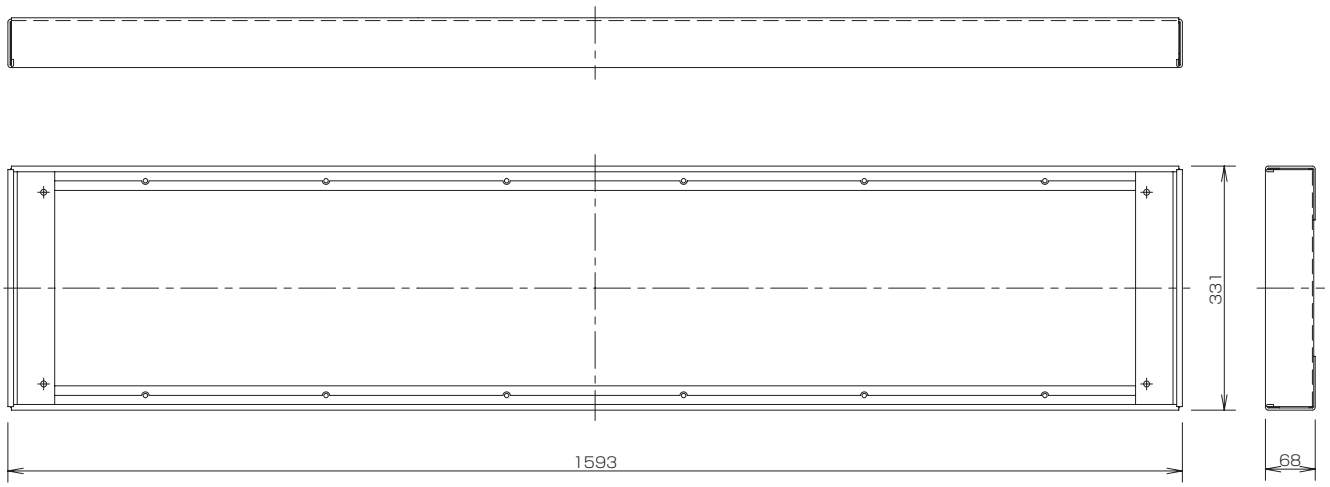
●外形寸法図（CMB-SLBD56B）



●外形寸法図（CMB-SLBD90B）



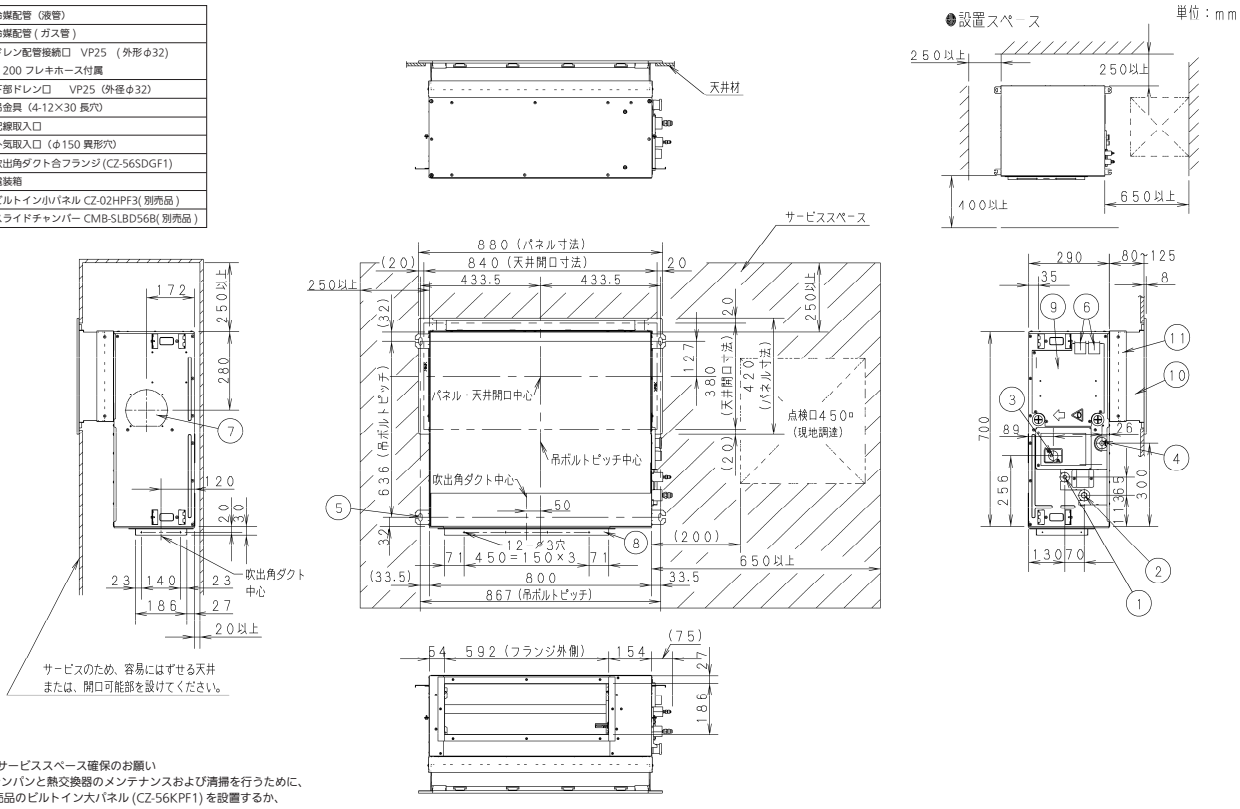
●外形寸法図（CMB-SLBD160B）



●部品組込用　小パネル仕様〈・小パネル　・スライドチャンバー〉

天井ビルトインカセット形〈50, 56 形〉

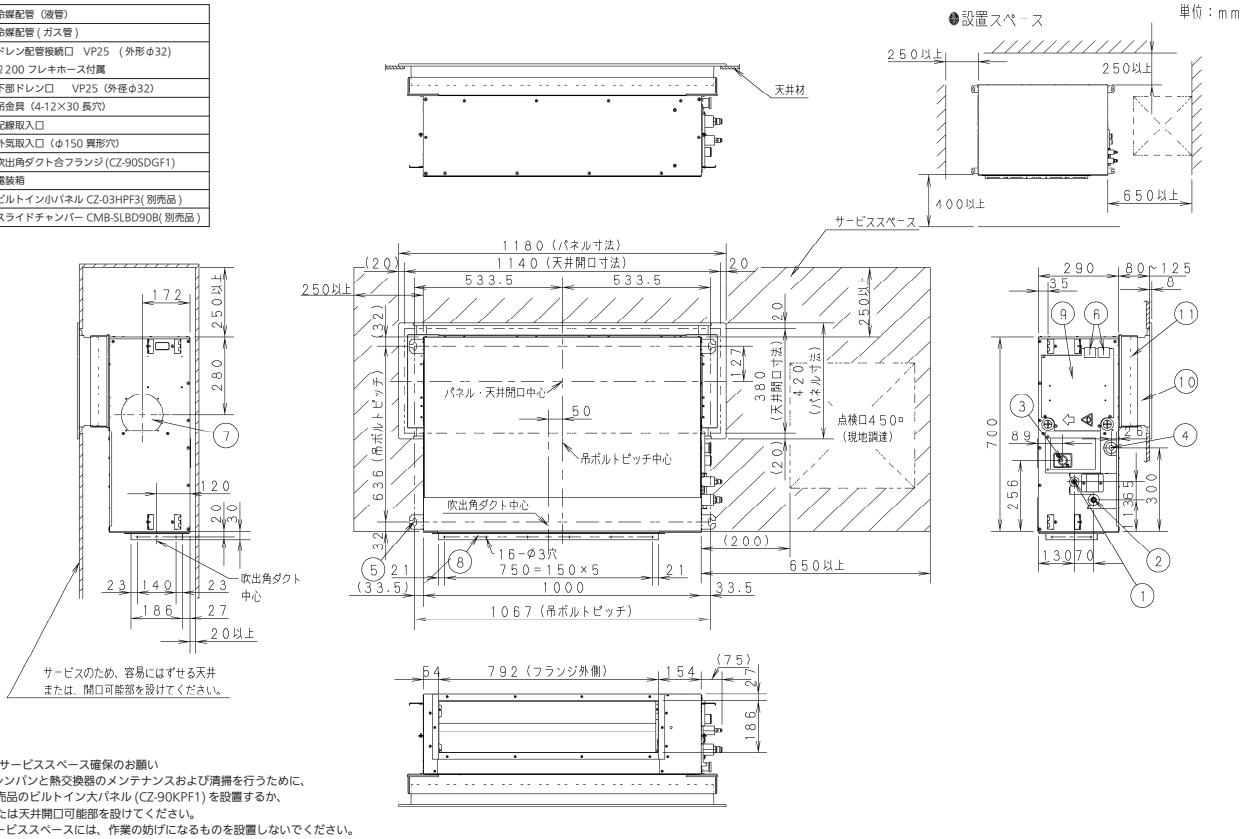
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出角ダクト合フランジ（CZ-56SDGF1）
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-02HPF3（別売品）
⑪	スライドチャンバー CMB-SLBD56B（別売品）



※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ-56KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

天井ビルトインカセット形〈63 ～ 80 形〉

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出角ダクト合フランジ（CZ-90SDGF1）
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-03HPF3（別売品）
⑪	スライドチャンバー CMB-SLBD90B（別売品）

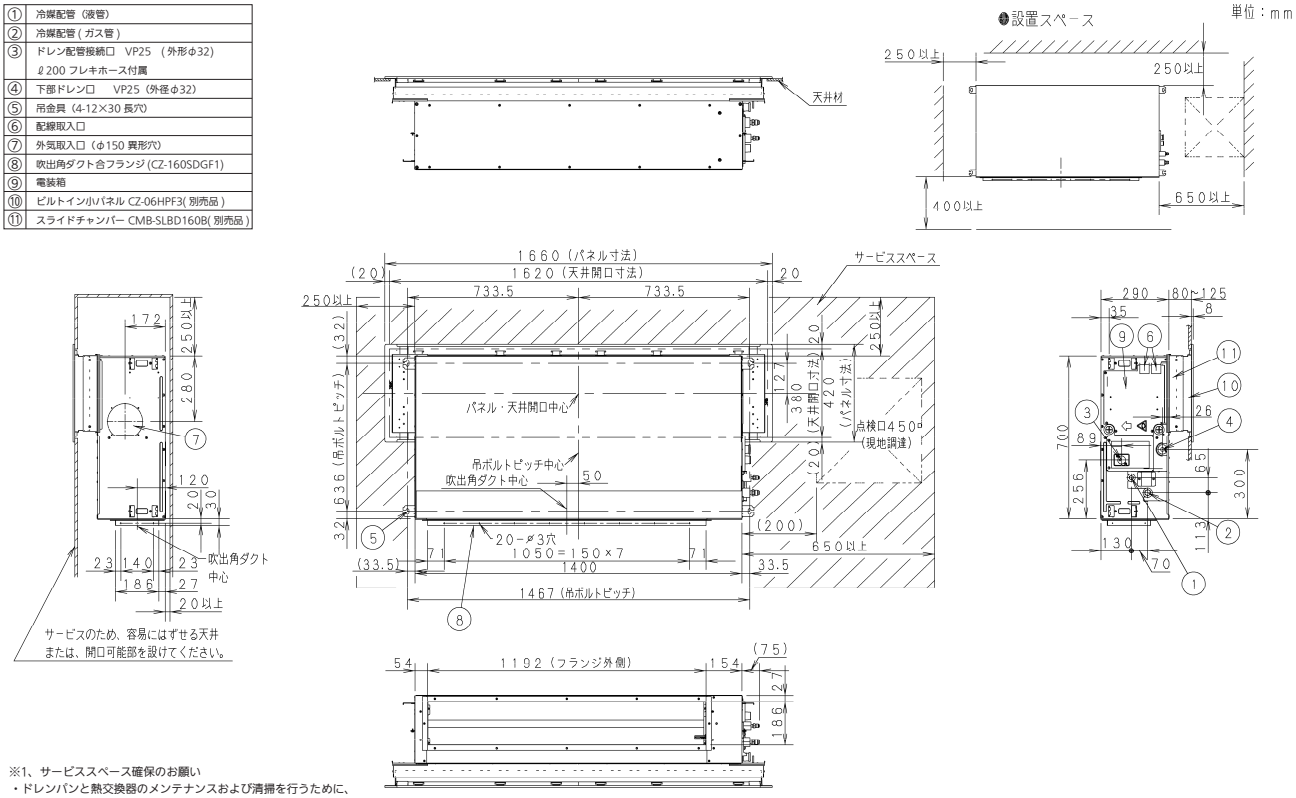


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ-90KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

●部品組込用　小パネル仕様〈・小パネル　・スライドチャンバー〉

天井ビルトインカセット形〈112 ～ 160 形〉

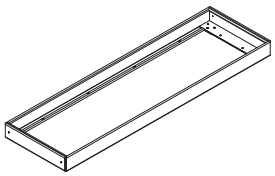
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管 (ガス管)
③	ドレン配管接続口　VP25 （外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出角ダクト合フランジ (CZ-160SDGF1)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-06HPF3(別売品)
⑪	スライドチャンバー CMB-SLBD160B(別売品)



※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル (CZ-160KPF1) を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

●スライドチャンバー 取付説明書

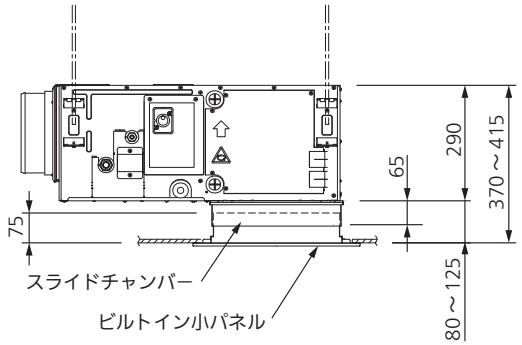
□ 構成部品

スライドチャンバー	取付ネジ	
	(M5×L100)  4本	(M4×L12)  56形：　8本 90形：12本 160形：16本

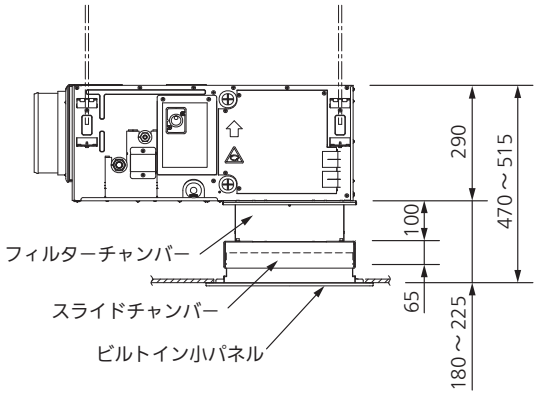
□ 取付け前に

1. 室内ユニットに取付板(室内ユニット付属品)を取り付けてください。
   取付方法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。
2. 室内ユニットまたは別売品と天井面との寸法が、図 1 または図 2 に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
3. 天井開口寸法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書またはビルトイン小パネル(別売)に付属の取付説明書を参照してください。

ビルトイン小パネルとの併用
(図 1)



フィルターチャンバー、ビルトイン小パネルとの併用
(図 2)



□ スライドチャンバーの取付けかた

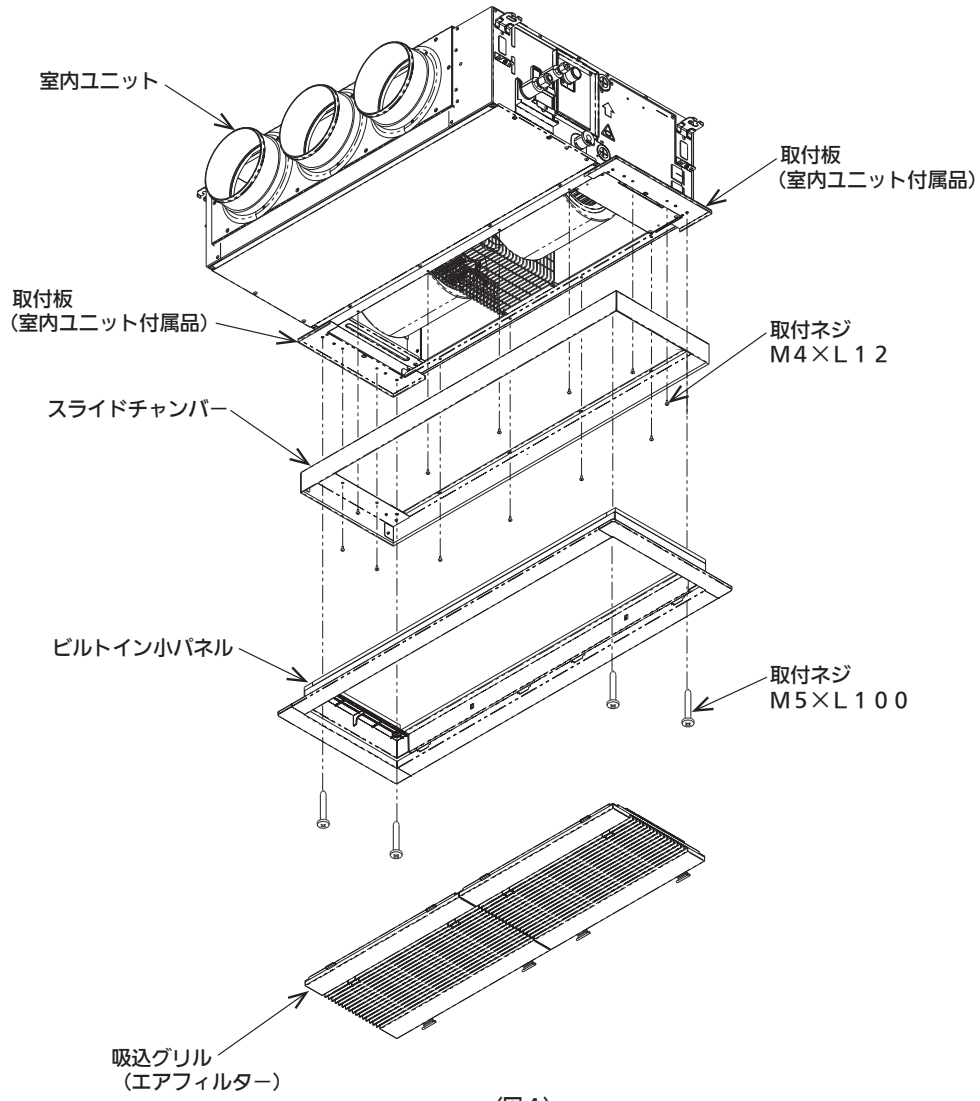
1. スライドチャンバーを付属の取付ネジ（M4×L12）で、室内ユニットまたはフィルターチャンバー（別売）に固定します。

2. ビルトイン小パネル（別売）を付属の取付ネジ（M5×L100 4本）で室内ユニットまたはフィルターチャンバー（別売）に取り付けます。このとき、ビルトイン小パネルと天井面が密着するまで取付ネジを締め込んでください。（図2, 図3）

注意：ビルトイン小パネル（別売）の取り付けは、スライドチャンバー付属の取付ネジ（M5×L100）を必ず使用してください。
付属の取付ネジを使用しないと落下のおそれがあります。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



（図4）

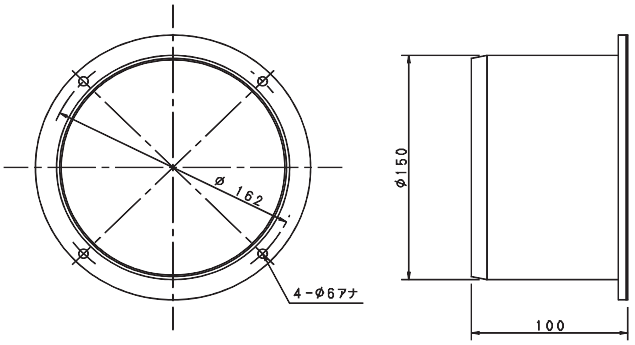
85464369637001

■吸込・吹出角ダクト合フランジ、外気取入用丸合フランジ

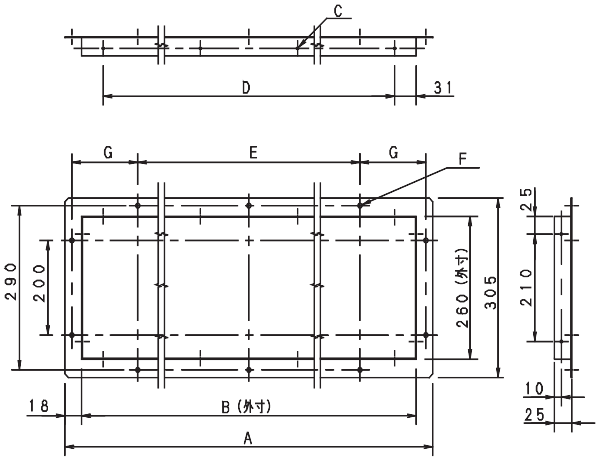
DKT-MF15A1　　[外気取入用丸合フランジ]
DKT-RFBD50T, REBD80T, RFBD140T　[吸込角ダクト用合フランジ]
CZ-56SDGF1, 90SDGF1, 160SDGF1　[吹出角ダクト用合フランジ]

●外形寸法図

〈外気取入用丸合フランジ〉

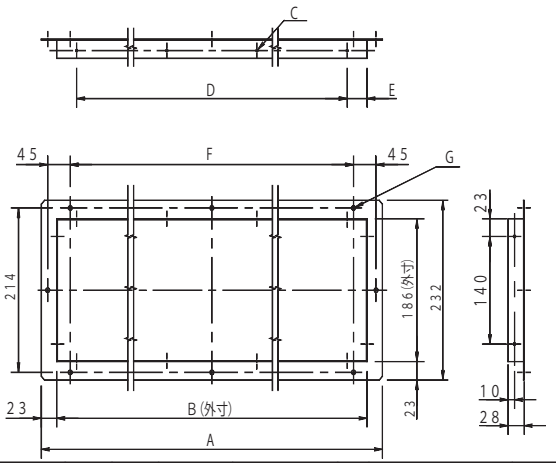


〈吸込角ダクト用合フランジ〉



品番	A	B	C	D	E	F	G
DKT-RFBD50T	698	662	12-φ3.3穴	3×200P=600	1×340P=340	8-φ6穴	170
DKT-RFBD80T	998	962	16-φ3.3穴	5×180P=900	左から (245)+(250)+ (245)=740	12-φ6穴	120
DKT-RFBD140T	1478	1442	18-φ3.3穴	6×230P=1380	左から (245)+(245)+(245)+ (245)+(245)=1220	16-φ6穴	120

〈吹出角ダクト用合フランジ〉



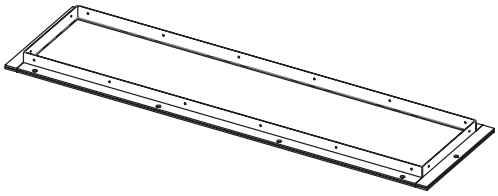
品番	A	B	C	D	E	F	G
CZ-56SDGF1	638	592	12-φ3穴	3×150P=450	71	2×265P=530	8-φ6穴
CZ-90SDGF1	838	792	16-φ3穴	5×150P=750	21	左から (245)+(240)+ (245)=730	10-φ6穴
CZ-160SDGF1	1238	1192	20-φ3穴	7×150P=1050	71	左から (265)+(300)+ (300)+(265)=1130	12-φ6穴

●吹出角ダクト合フランジ取付説明書

吹出角ダクト合フランジ取付説明書

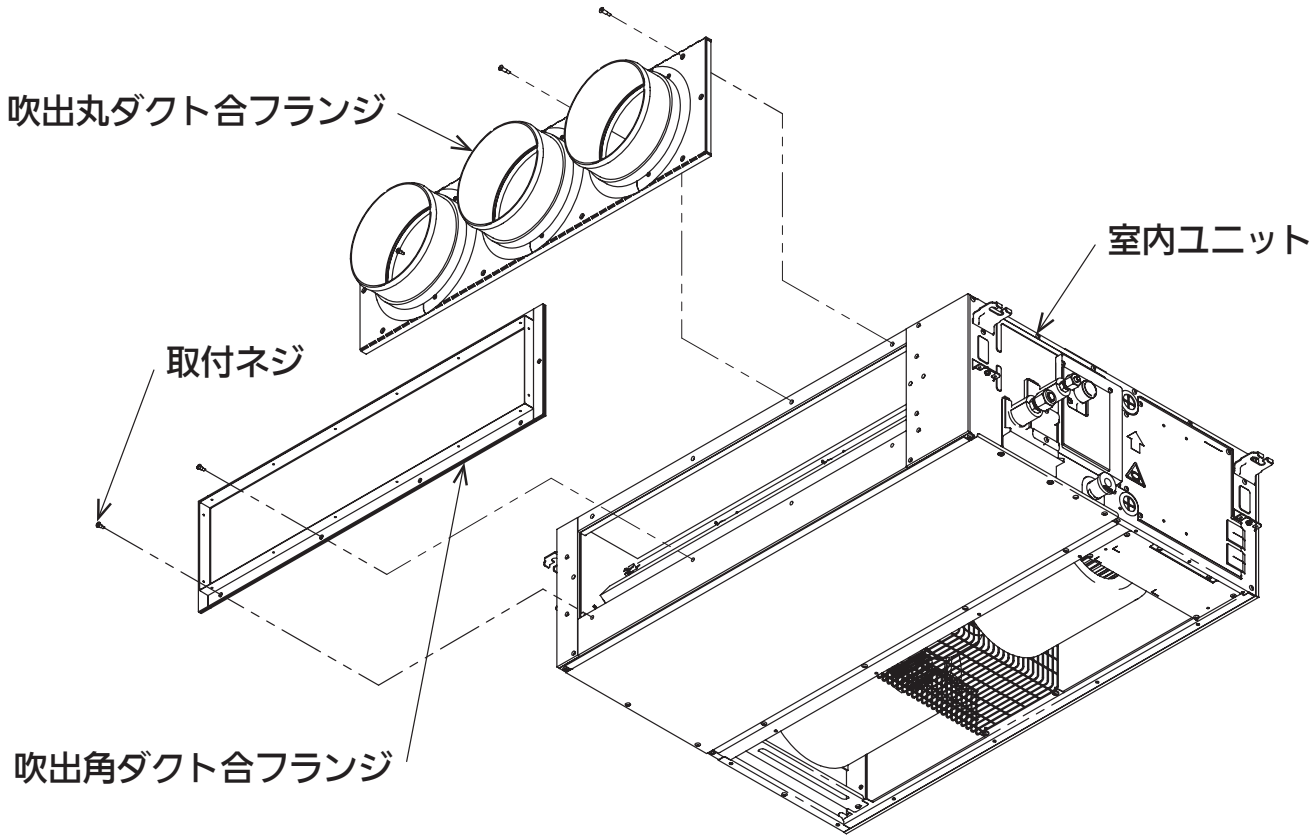
天井ビルトインカセット形用

□ 構成部品

吹出角ダクト合フランジ	取付ネジ
	 ５６形：　８本 ９０形：１０本 １６０形：１２本

□ 取付けかた

1. 室内ユニット本体の吹出丸ダクト合フランジを取りはずします。
2. 吹出角ダクト合フランジを付属の取付ネジで固定します。（図 1）



（図 1）

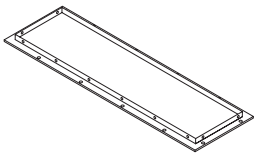
85464369616000

●吸込角ダクト合フランジ取付説明書

吸込角ダクト合フランジ取付説明書

ビルトインオールダクト形用

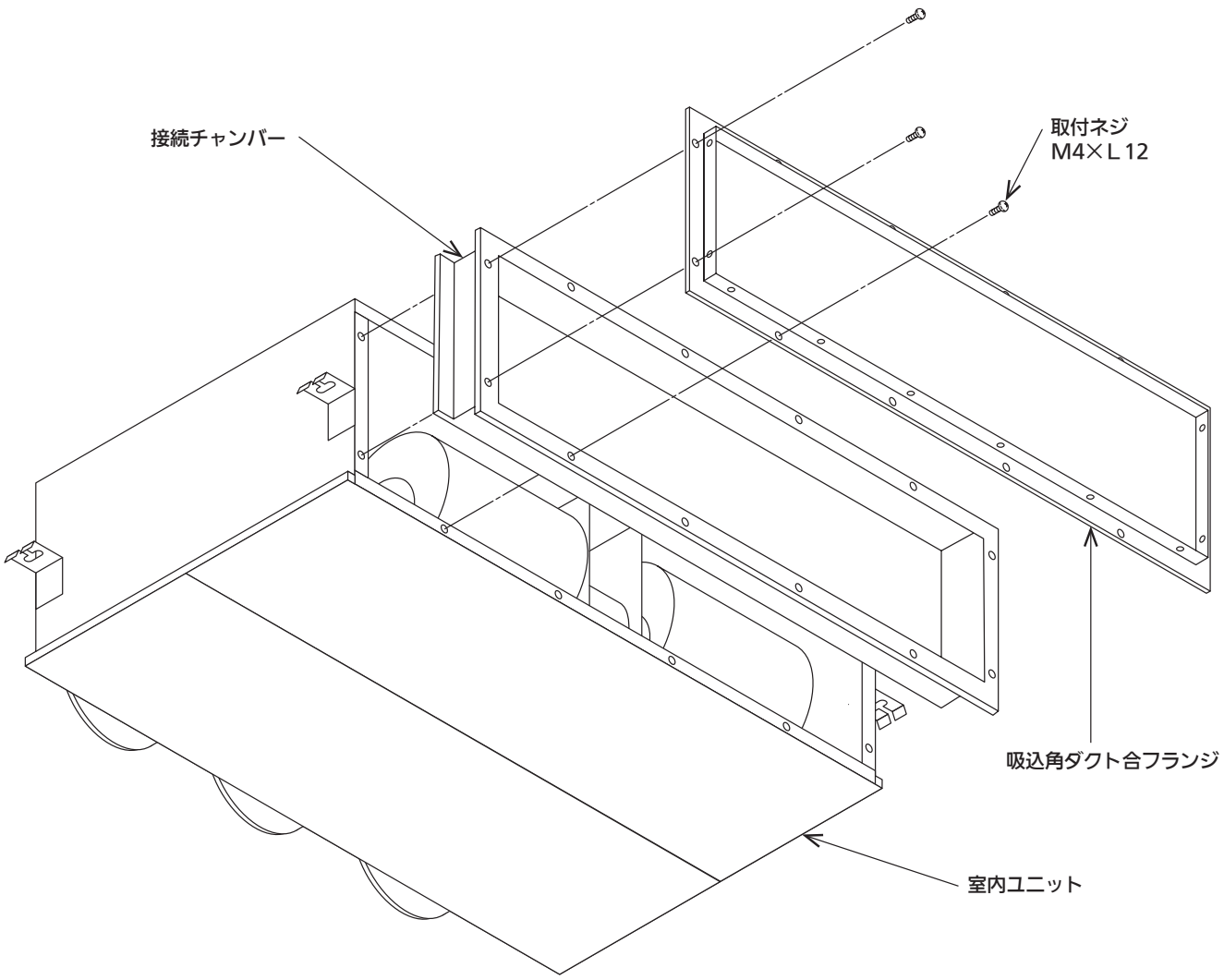
□ 構成部品

吸込角ダクト合フランジ	取付ネジ
	（M4×L 12）  50形：　8本 80形：12本 140形：16本

□ 取付けかた

1. 吸込角ダクト合フランジを付属の取付ネジで室内ユニットの吸込口に固定します。（図1）
(50形…8本、80形…12本、140形…16本)

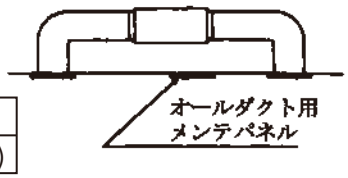
- FE4機種に接合する場合は、接続チャンバーが必要になります。



（図1）

85464179858001

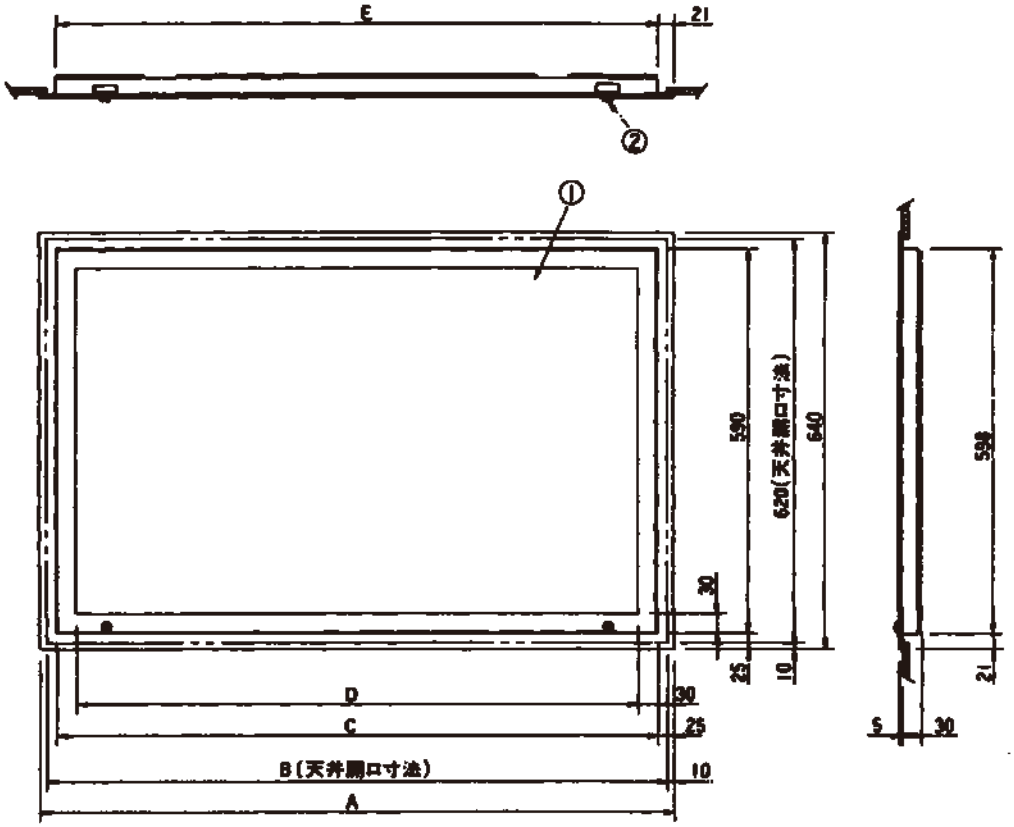
■オールダクト用メンテパネル（PNR-MBD45RF, MBD71RF, MBD125RF）



●材質外装色

材　質	鋼　鈑　製
外装色	ホワイト(マンセル10Y9.3/0.4)

●外形寸法図



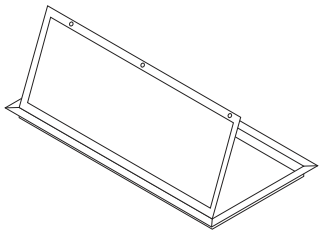
品番	A	B	C	D	E
PNR-MBD45RF	970	950	920	860	928
PNR-MBD71RF	1270	1250	1220	1160	1228
PNR-MBD125RF	1700	1680	1650	1590	1658

①	化粧パネル(建材組込可)
②	化粧ねじ

●取付説明書

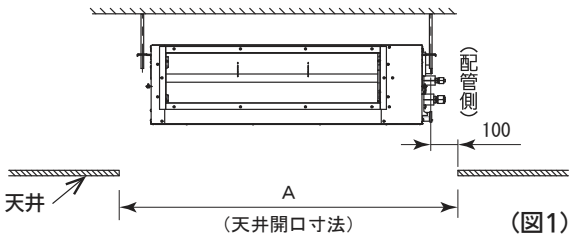
メンテパネル取付説明書

□ 構成部品

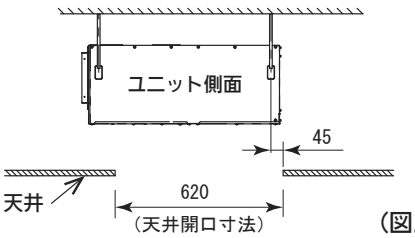
メンテパネル	天井固定金具	ボルト（M6）	蝶ナット	六角ナット
				
PNR-MBD45RF	4個	4個	4個	12個
PNR-MBD71RF	4個	4個	4個	12個
PNR-MBD125RF	6個	6個	6個	18個

□ 取付け前に

1. 天井開口寸法は、図１～図２に従い確実に行ってください。



（図1）

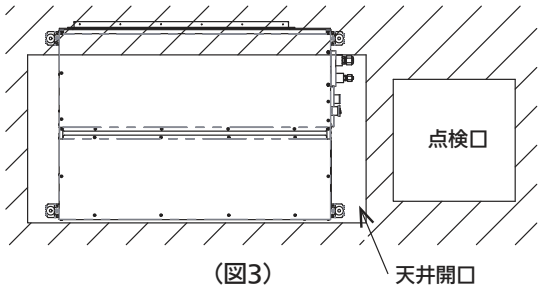


（図2）

（mm）

品　　番	A
PNR-MBD45RF	９５０
PNR-MBD71RF	１２５０
PNR-MBD125RF	１６８０

注意：本品はユニットの下方をメンテナンス作業を行いやすくするためのものです。
室内ユニットの据付工事説明書をご確認の上、別途点検口を設置してください。（図3）

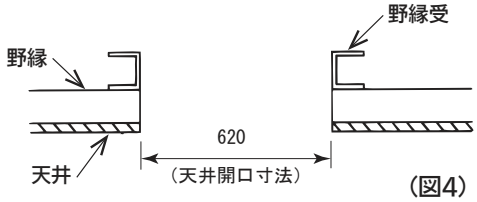


（図3）

開口穴に合わせて野縁受を取り付けてください。（図4）

- 野縁受の取り付けは、ネジ止め、溶接等でしっかりと行ってください。

注意：メンテパネルを取り付ける際、天井内部の野縁、野縁受等を切断する場合には十分な補強を行ってください。

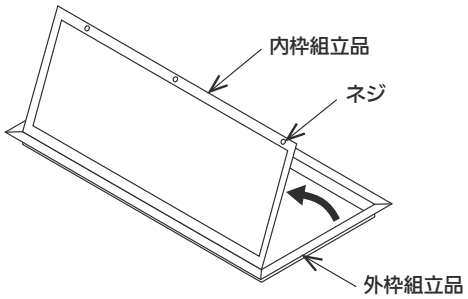


（図4）

□ 取付けかた

1. 内枠組立品をはずす。
内枠組立品は、ネジを回してはずしてください。（図5）

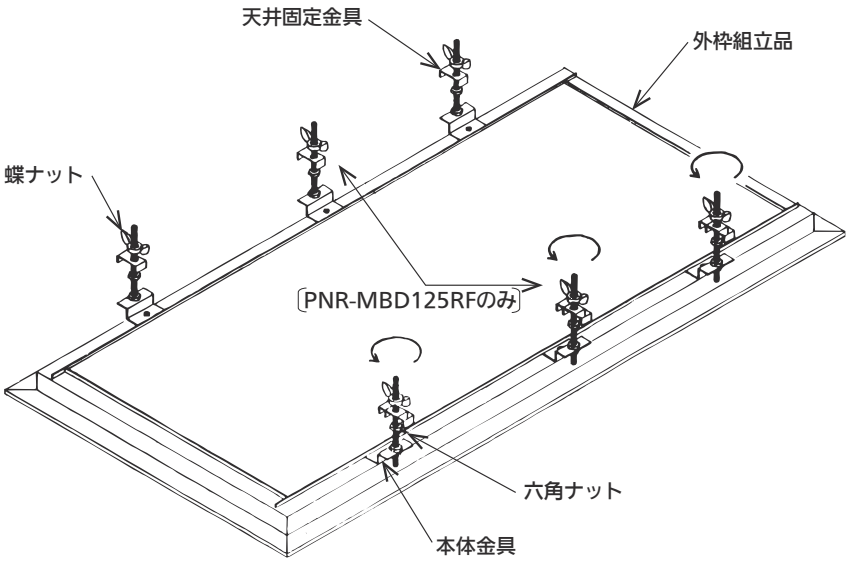
PNR-MBD45,71,125RF



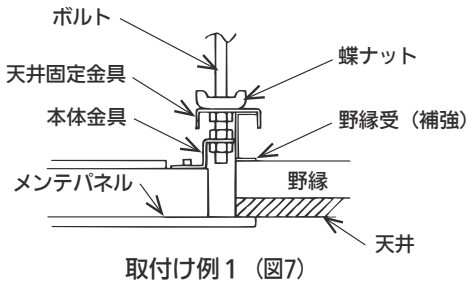
（図5）

2. 外枠組立品を天井に取付ける。（図6～図8 ）

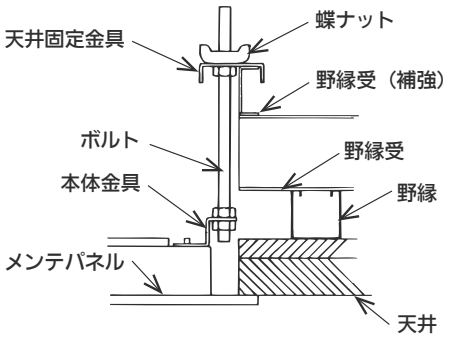
- 外枠組立品（本体金具）にボルト（付属品）を挿し込み、六角ナット（付属品）で上下を挟み込んで固定してください。
- ボルト上部より、六角ナット（付属品）をねじ込み、天井固定金具（付属品）を挿し込み、蝶ナットで仮止めします。
- 外枠組立品を天井に取り付け、天井固定金具を回転させて野縁受に引掛けます。
- 天井面とパネルのすき間を蝶ナットと六角ナットで調整し、確実に固定してください。



（図6）



取付け例１（図7）

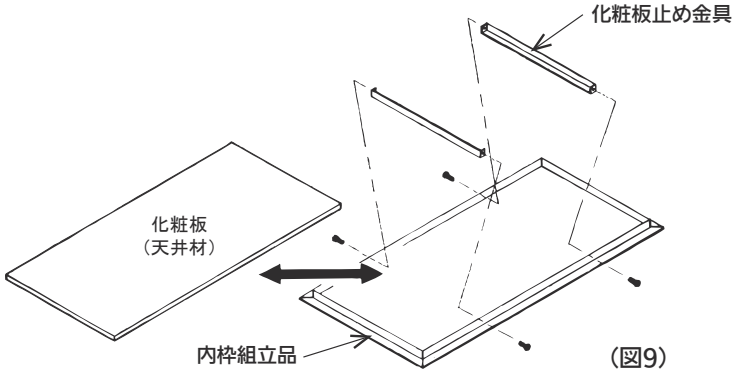


付け例２（図8）

3. 天井材を取付ける。
内枠組立品には天井材を取り付けることができます。（図9）

- 内枠組立品の化粧板止め金具を取りはずします。
- 化粧板を取りはずし、かわりに天井材を取り付けます。
- 化粧板留め金具で天井材を押えて取り付けます。

注意：天井材を取り付ける場合、化粧板は不要となります。



（図9）

天井材寸法　（mm）

品　番	たて	よこ
PNR-MBD45RF	５４７	８８０
PNR-MBD71RF	５４７	１１８０
PNR-MBD125RF	５４７	１６１０

85465759486001

■高性能フィルター、ロングライフフィルター・・・天井ビルトインカセット形

●高性能フィルター　比色法65%

名称		高性能フィルター（比色法 65%）				
品番		AFT-MBD50T	AFT-MBD80T	AFT-MBD140T		
XEPHY Premium(ハイグレードタイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) 中温用		50・56 形	63・71・80 形	112 形	140 形	160 形
静圧設定	—	13	14	14	14	14
初期風量	㎥ /min	14.4	22.8	34.3	36.4	37.9
最終風量	㎥ /min	10.3	17.0	25.8	25.8	27.4
初期機外静圧	Pa	56	70	70	69	71
最終機外静圧	Pa	94	102	103	112	115
寿命	時間	4600	3700	4100	4100	4000
平均効率	—	比色法 65%（ＪＩＳ 11 種）				
使用濾材	—	ポリオレフィン系帯電繊維				
フィルタ外形寸法 幅 × 奥行 × 厚み	mm	（663×1）× 269 × 50	（473×2）× 269 × 50	（713×2）× 269 × 50		

●高性能フィルター　比色法90%

名称		高性能フィルター（比色法 90%）				
品番		AFT-HBD50T	AFT-HBD80T	AFT-HBD140T		
XEPHY Premium(ハイグレードタイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) 中温用		50・56 形	63・71・80 形	112 形	140 形	160 形
静圧設定	—	13	14	14	14	14
初期風量	㎥ /min	14.1	22.2	33.6	35.2	36.9
最終風量	㎥ /min	10.3	17.0	25.8	25.8	27.4
初期機外静圧	Pa	59	73	73	74	75
最終機外静圧	Pa	94	102	103	112	115
寿命	時間	2400	1900	2000	2000	2000
平均効率	—	比色法 90%（ＪＩＳ 11 種）				
使用濾材	—	ポリオレフィン系帯電繊維				
フィルタ外形寸法 幅 × 奥行 × 厚み	mm	（663×1）× 269 × 50	（473×2）× 269 × 50	（713×2）× 269 × 50		

●ロングライフフィルター

名称		ロングライフフィルター				
品番		AFT-LBD50T	AFT-LBD80T	AFT-LBD140T		
XEPHY Premium(ハイグレードタイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) 中温用		50・56 形	63・71・80 形	112 形	140 形	160 形
静圧設定	—	5	7	7	7	7
初期風量	㎥ /min	13.6	21.5	32.5	34.5	36.3
最終風量	㎥ /min	11.7	15.9	24.5	24.3	26.1
初期機外静圧	Pa	39	47	48	49	48
最終機外静圧	Pa	59	79	80	87	91
寿命	時間	5000	5000	5000	5000	5000
平均効率	—	重量法 28%（ＪＩＳ 15 種）				
使用濾材	—	PP ハニカム（防カビ仕様）				
フィルタ外形寸法 幅 × 奥行 × 厚み	mm	（663×1）× 269 ×50	（473×2）× 269 × 50	（713×2）× 269 × 50		

注意事項
1）最終機外静圧・寿命は上記静圧設定時の値です。
2）フィルター寿命（時間）は、塵埃濃度0.15mg／㎥（ビル管理法規制値）として算出しています。
　寿命（時間）は現場条件により異なります。
　表中の保塵量は、ダストＪＩＳ 11種または15種での値を示します。現場保塵量は現場条件により異なります。
3）ユニットに取り付ける場合は、フィルターチャンバーも必要ですので同時手配下さい。

●フィルターチャンバー

品番		CZ-56FBCF1	CZ-90FBCF1	CZ-160FBCF1
フィルタ外形寸法 幅 × 奥行 × 厚み	mm	738 × 313 × 100	1038 × 313 × 100	1518 × 313 × 100

■高性能フィルター、ロングライフフィルター・・・ビルトインオールダクト形

●高性能フィルター　比色法65%

名称		高性能フィルター（比色法 65%）				
品番		AFT-MBD50T	AFT-MBD80T	AFT-MBD140T		
XEPHY Premium(ハイグレードタイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) 中温用		50・56 形	63・71・80 形	112 形	140 形	160 形
静圧設定	−	6	6	10	10	10
初期風量	㎥ /min	16.3	21.4	34.3	36.1	38.6
最終風量	㎥ /min	13.1	17.3	26.2	27.0	29.3
初期機外静圧	Pa	97	97	142	142	141
最終機外静圧	Pa	123	116	169	173	171
寿命	時間	3600	3900	4900	4600	4100
平均効率	−	比色法 65%（ＪＩＳ 11 種）				
使用濾材	−	ポリオレフィン系帯電繊維				
フィルタ外形寸法 幅 × 奥行 × 厚み	mm	（663×1）× 269 × 50	（473×2）× 269 × 50	（713×2）× 269 × 50		

●高性能フィルター　比色法90%

名称		高性能フィルター（比色法 90%）				
品番		AFT-HBD50T	AFT-HBD80T	AFT-HBD140T		
XEPHY Premium(ハイグレードタイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) 中温用		50・56 形	63・71・80 形	112 形	140 形	160 形
静圧設定	−	6	6	10	10	10
初期風量	㎥ /min	16.0	21.0	33.9	35.5	37.7
最終風量	㎥ /min	13.1	17.3	26.2	27.0	29.3
初期機外静圧	Pa	99	99	144	145	144
最終機外静圧	Pa	123	116	169	173	171
寿命	時間	2100	2000	2500	2300	2200
平均効率	−	比色法 90%（ＪＩＳ 11 種）				
使用濾材	−	ポリオレフィン系帯電繊維				
フィルタ外形寸法 幅 × 奥行 × 厚み	mm	（663×1）× 269 × 50	（473×2）× 269 × 50	（713×2）× 269 × 50		

●ロングライフフィルター

名称		ロングライフフィルター				
品番		AFT-LBD50T	AFT-LBD80T	AFT-LBD140T		
XEPHY Premium(ハイグレードタイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) XEPHY Eco(高効率タイプ) 中温用		50・56 形	63・71・80 形	112 形	140 形	160 形
静圧設定	−	5	5	6	6	6
初期風量	㎥ /min	15.6	20.2	32.1	34.0	36.2
最終風量	㎥ /min	12.9	17.1	27.6	27.5	29.8
初期機外静圧	Pa	73	73	109	110	110
最終機外静圧	Pa	99	87	124	131	131
寿命	時間	5000	5000	5000	5000	5000
平均効率	−	重量法 28%（ＪＩＳ 15 種）				
使用濾材	−	PP ハニカム（防カビ仕様）				
フィルタ外形寸法 幅 × 奥行 × 厚み	mm	（663×1）× 269 ×50	（473×2）× 269 × 50	（713×2）× 269 × 50		

注意事項
1）最終機外静圧・寿命は上記静圧設定時の値です。
2）フィルター寿命（時間）は、塵埃濃度0.15mg／㎥（ビル管理法規制値）として算出しています。
　寿命（時間）は現場条件により異なります。
　表中の保塵量は、ダストＪＩＳ 11種または15種での値を示します。現場保塵量は現場条件により異なります。
3）ユニットに取り付ける場合は、フィルターチャンバーも必要ですので同時手配下さい。

●フィルターチャンバー

品番		CMB-FBU50T	CMB-FBU80T	CMB-FBU140T
フィルタ外形寸法 幅 × 奥行 × 厚み	mm	700 × 307 × 150	1000 × 307 × 150	1480 × 307 × 150

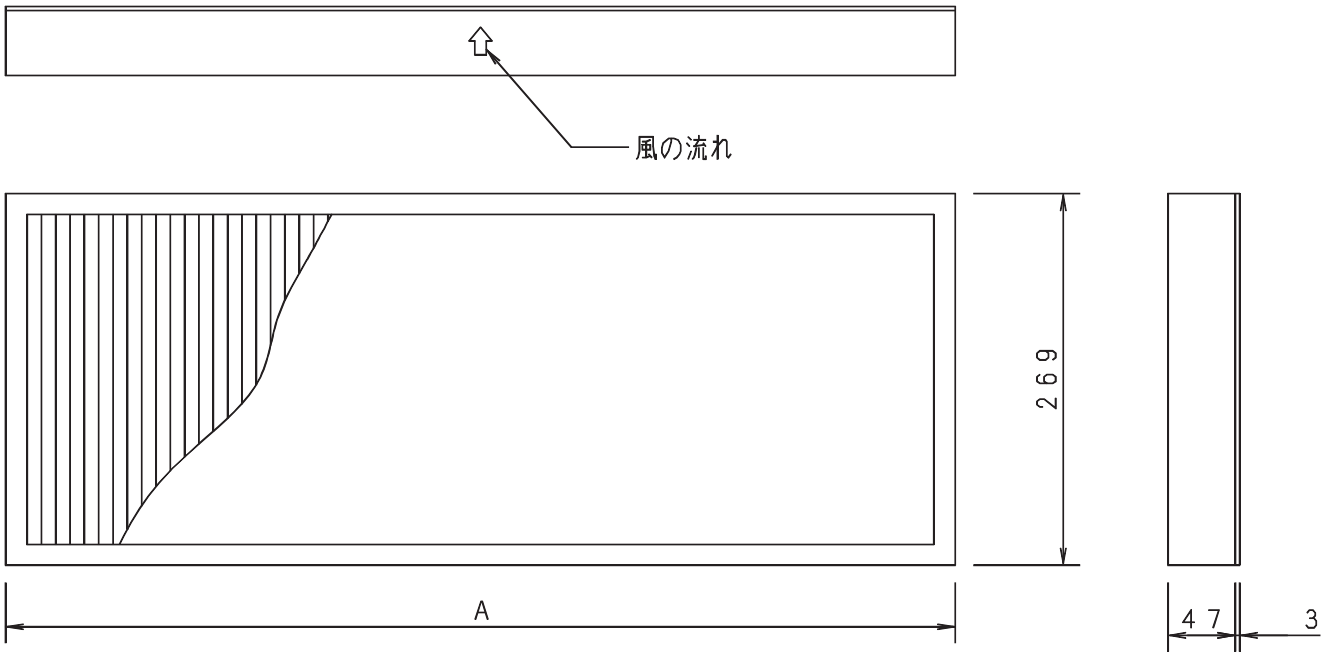
●高性能フィルター外形寸法図

高性能フィルター（比色法65%）

品　番	A	員数
AFT-MBD50T	663	1
AFT-MBD80T	473	2
AFT-MD140T	713	2

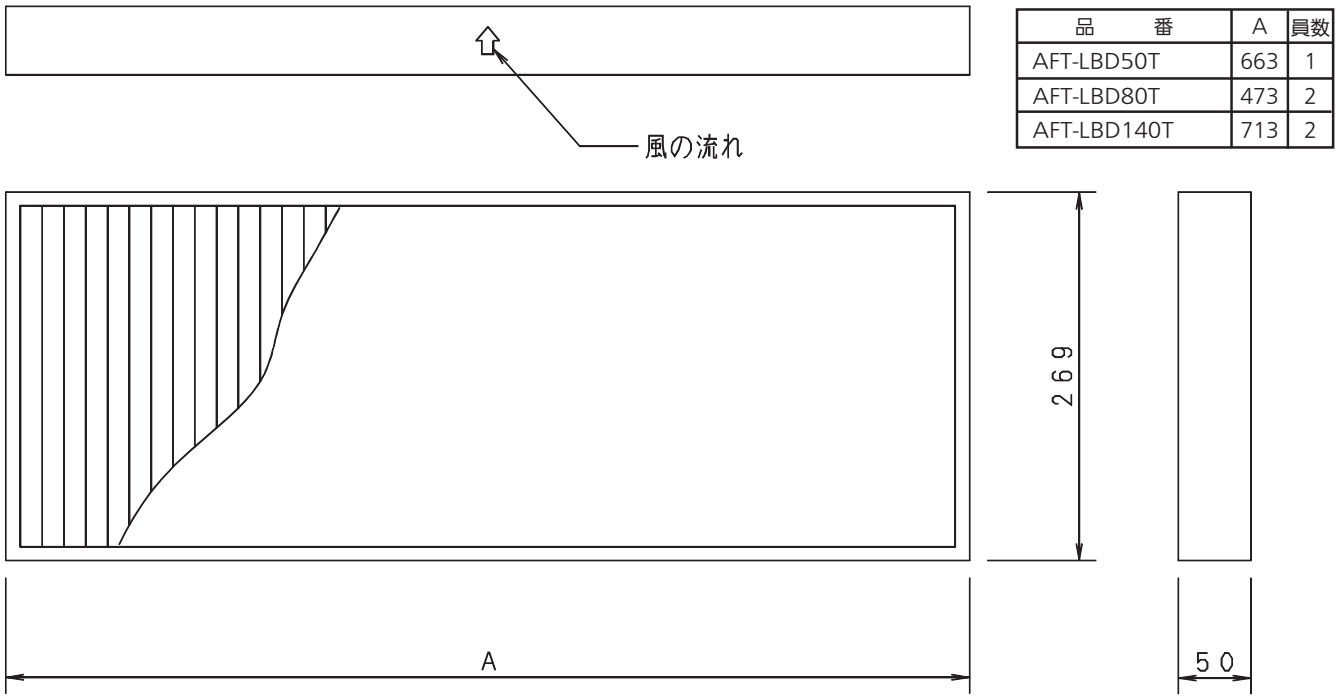
高性能フィルター（比色法90%）

品　番	A	員数
AFT-HBD50T	663	1
AFT-HBD80T	473	2
AFT-HBD140T	713	2



●ロングライフフィルター外形寸法図

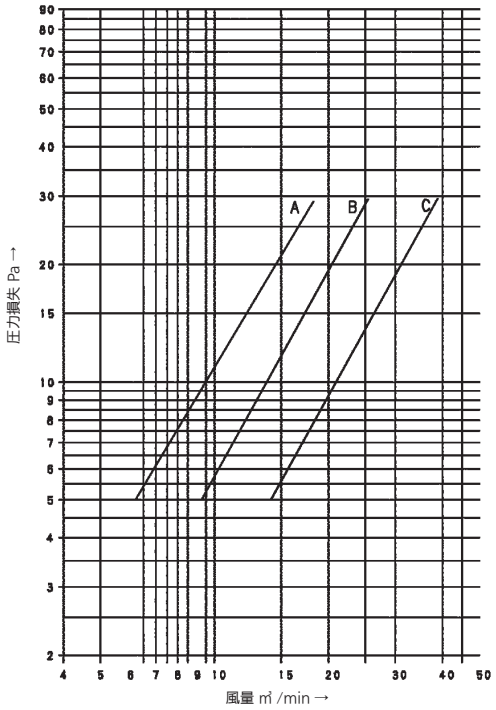
品　番	A	員数
AFT-LBD50T	663	1
AFT-LBD80T	473	2
AFT-LBD140T	713	2



●圧力損失

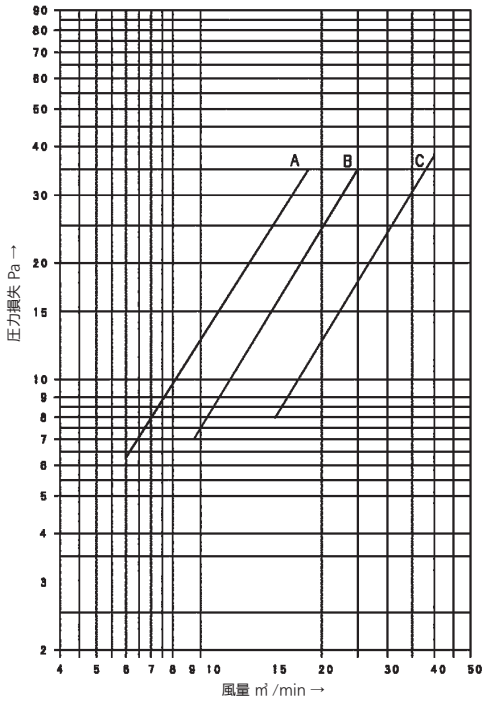
高性能フィルター（比色法 65%）

グラフ記号	品番	適用機種
A	AFT-MBD50T	50, 56 形
B	AFT-MBD80T	63 ～ 80 形
C	AFT-MBD140T	112 ～ 160 形



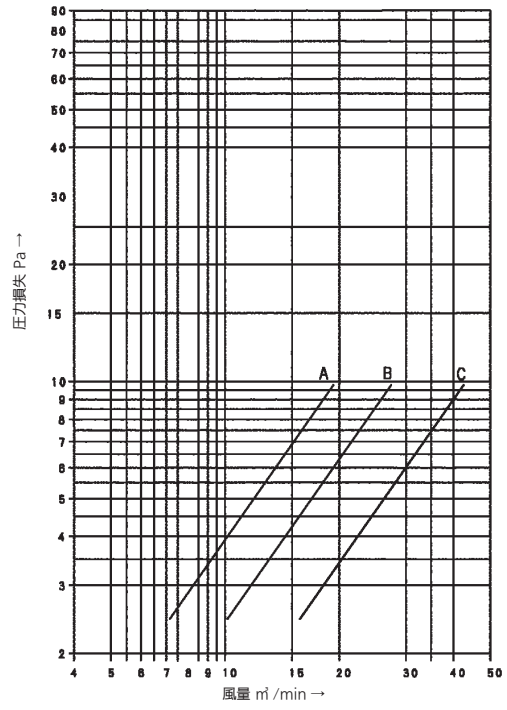
高性能フィルター（比色法 90%）

グラフ記号	品番	適用機種
A	AFT-HBD50T	50, 56 形
B	AFT-HBD80T	63 ～ 80 形
C	AFT-HBD140T	112 ～ 160 形



ロングライフフィルター

グラフ記号	品番	適用機種
A	AFT-LBD50T	50, 56 形
B	AFT-LBD80T	63 ～ 80 形
C	AFT-LBD140T	112 ～ 160 形



●送風機特性（ビルトインカセット形）

■静圧設定

機外静圧の設定（ビルトインカセット形）		
室内ユニット		項目コード
50～56形	63～160形	B 0
急風の機外静圧（Pa）		
-	80	0014
60	60	0013
50	50	0007
34	39	0005
20	20	0003
10	10	0001
自動風量設定無し※		-001
自動風量設定		-002

※工場出荷時

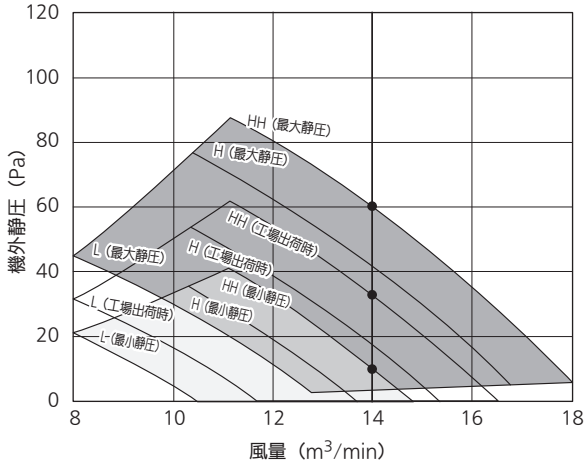
■フィルター初期圧力損失
HH（強風）定格風量時の各フィルターの初期圧力損失は以下となります。

各フィルター初期圧力損失（単位：Pa）	50～56	63～80	112	140	160
高性能フィルター（比色法65%）	18.8	21.4	21.4	23.9	26.5
高性能フィルター（比色法90%）	24.1	26.7	26.2	28.7	31.2
ロングライフフィルター	6.3	6.7	6.6	7.2	7.8

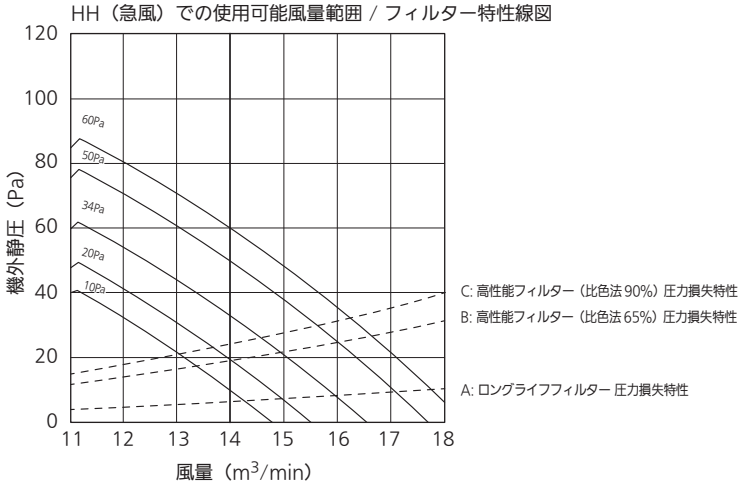
●送風機特性（ビルトインカセット形）

・CS-P50 ～ 56F7C

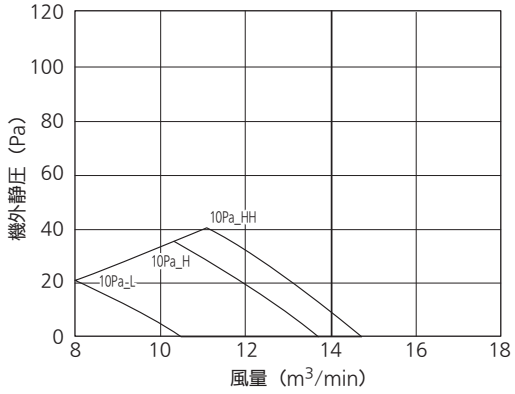
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



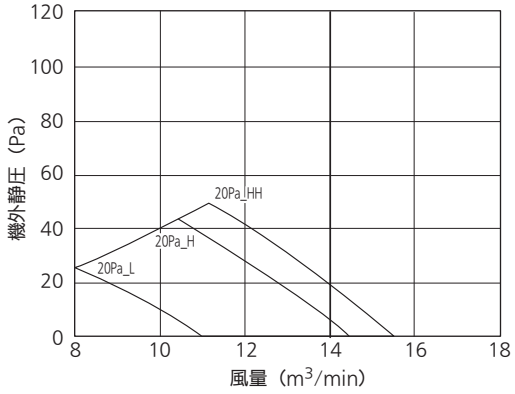
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



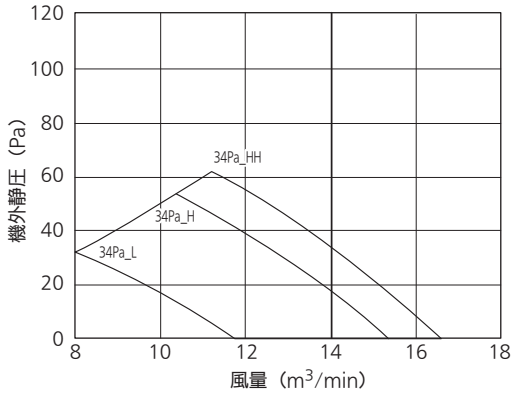
10Pa



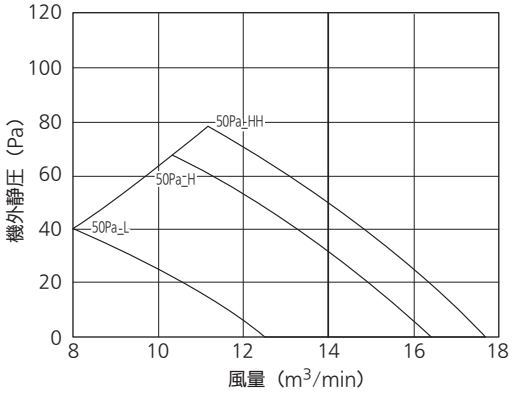
20Pa



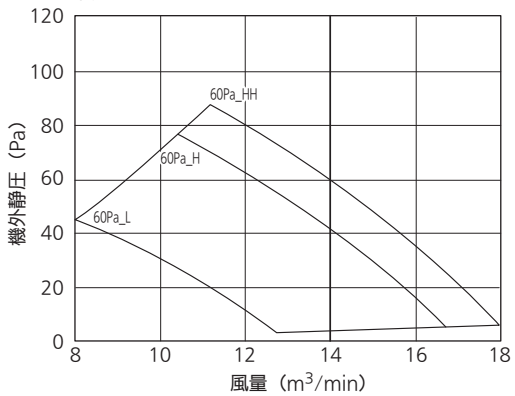
34Pa



50Pa



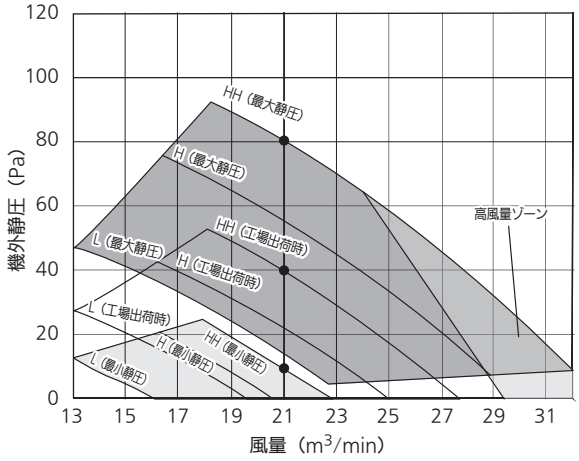
60Pa



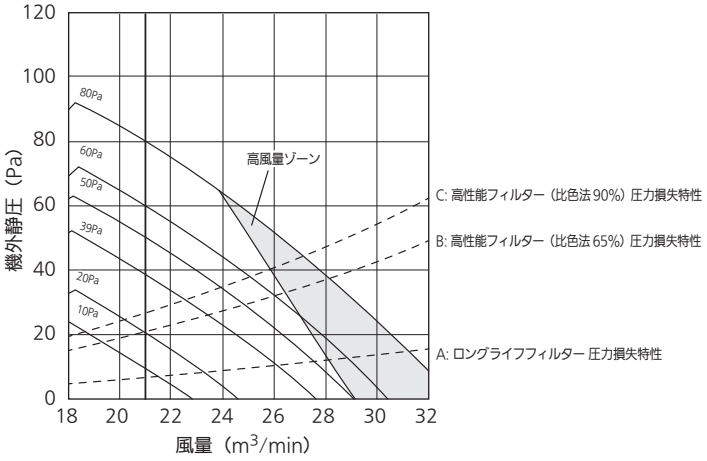
●送風機特性（ビルトインカセット形）

・CS-P63 ～ 80F7C

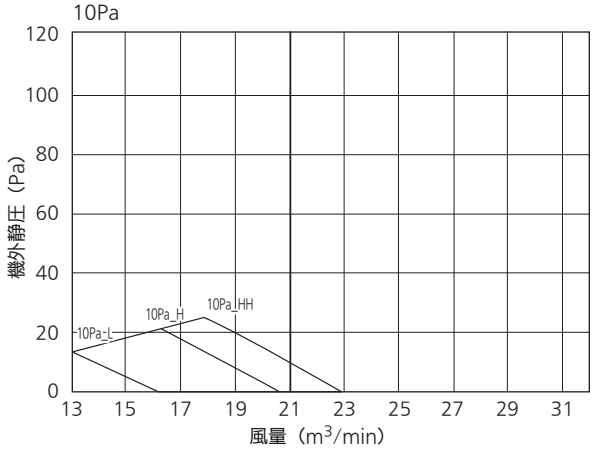
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



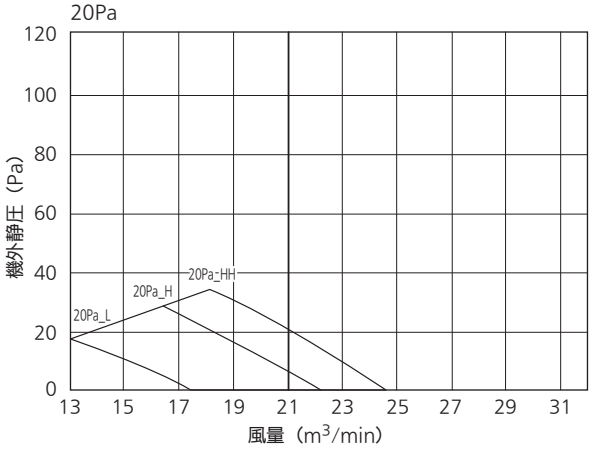
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



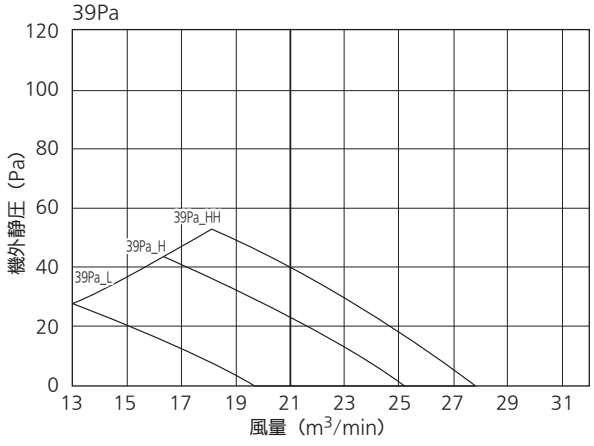
10Pa



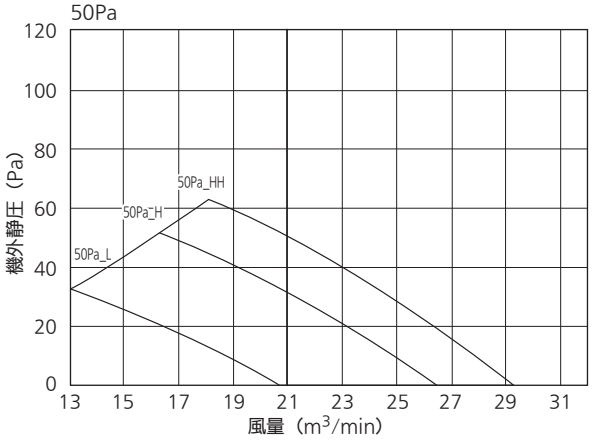
20Pa



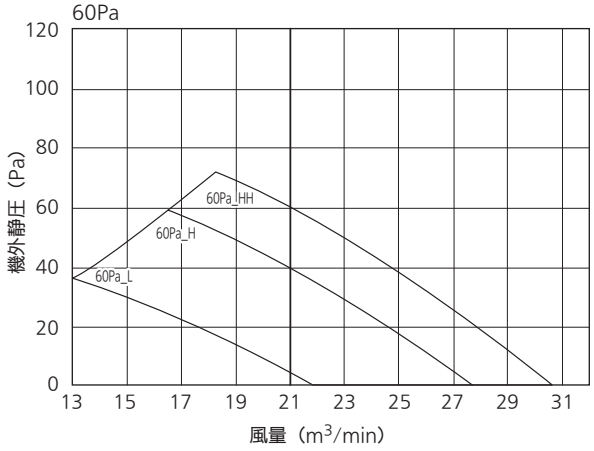
39Pa



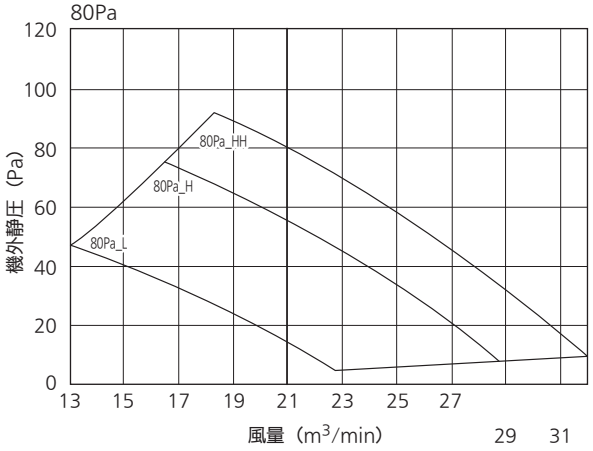
50Pa



60Pa



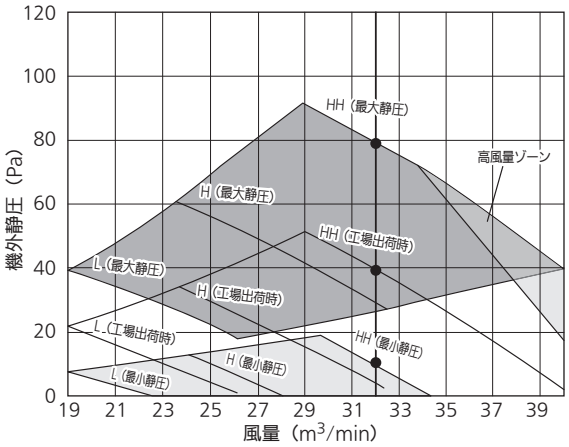
80Pa



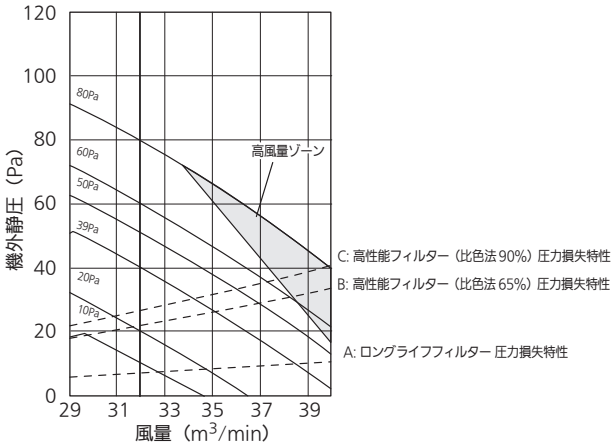
●送風機特性（ビルトインカセット形）

・CS-P112F7C

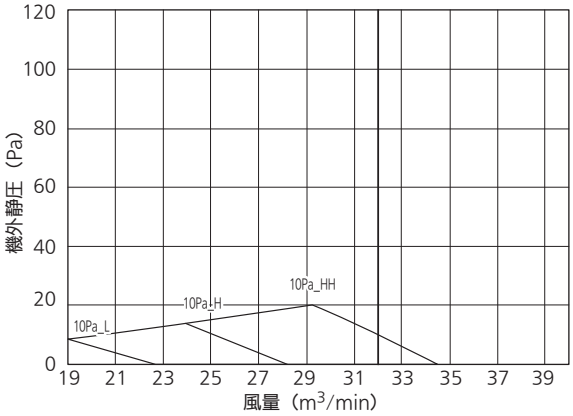
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



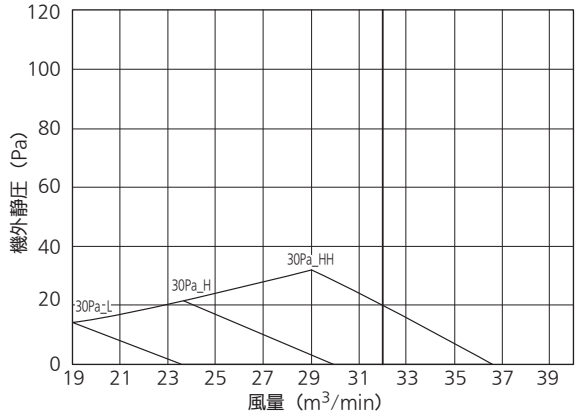
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



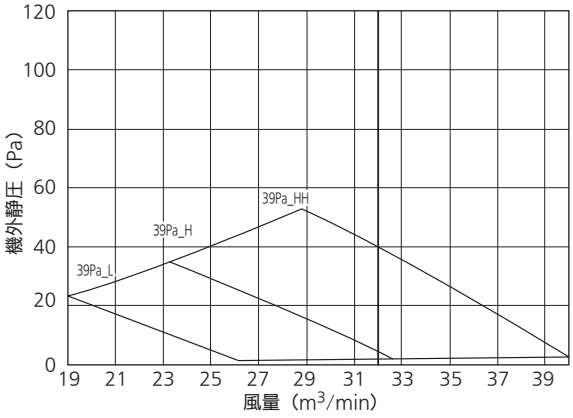
10Pa



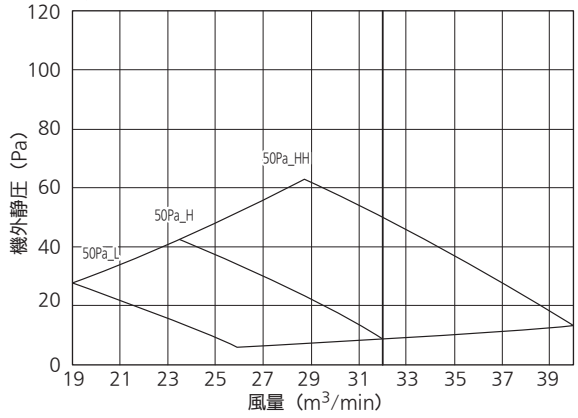
30Pa



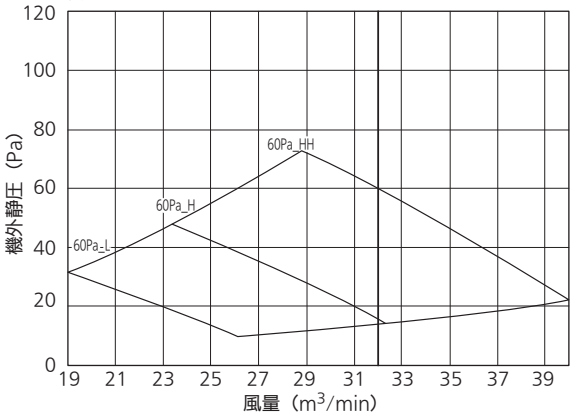
39Pa



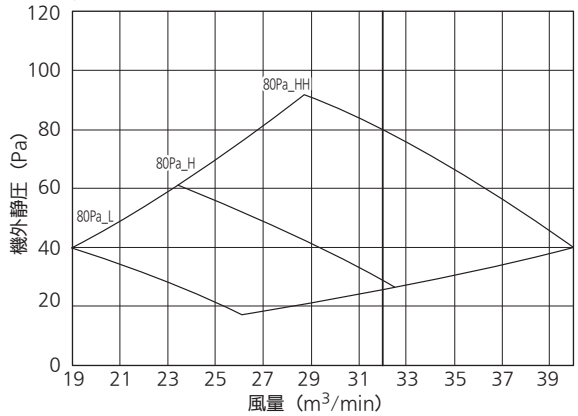
50Pa



60Pa



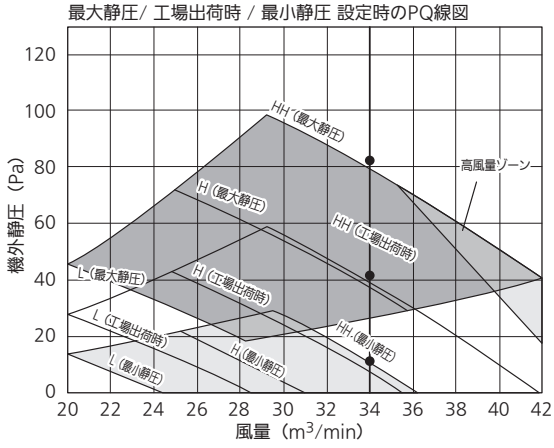
80Pa



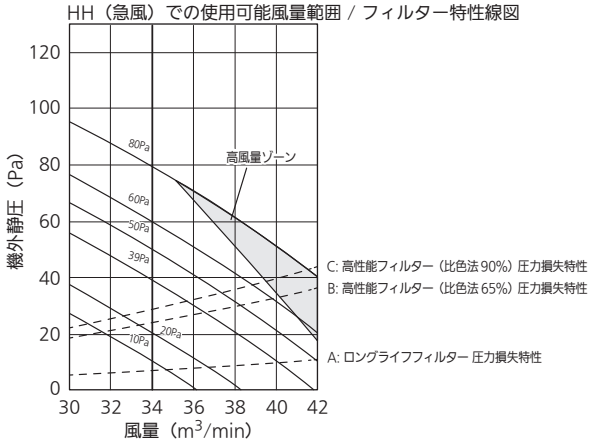
●送風機特性（ビルトインカセット形）

・CS-P140F7C

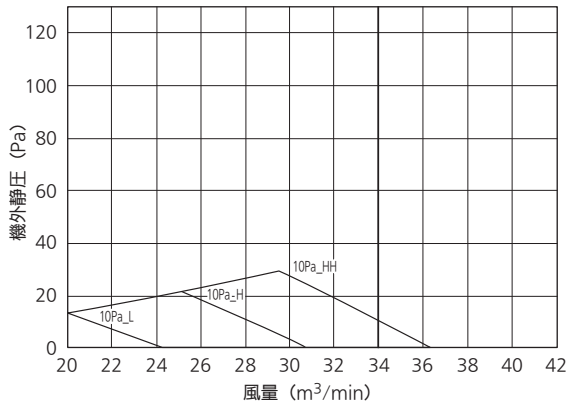
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



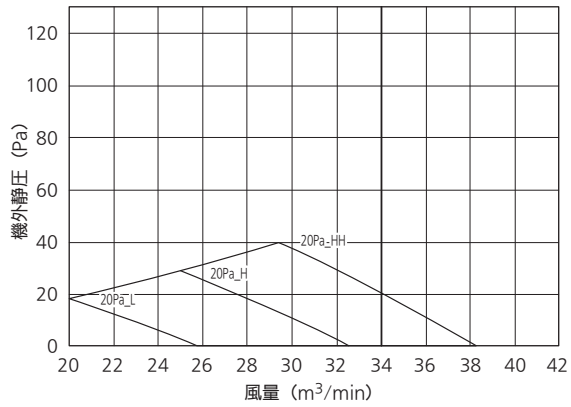
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



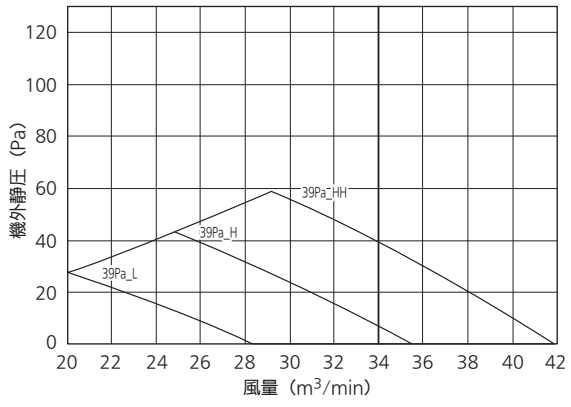
10Pa



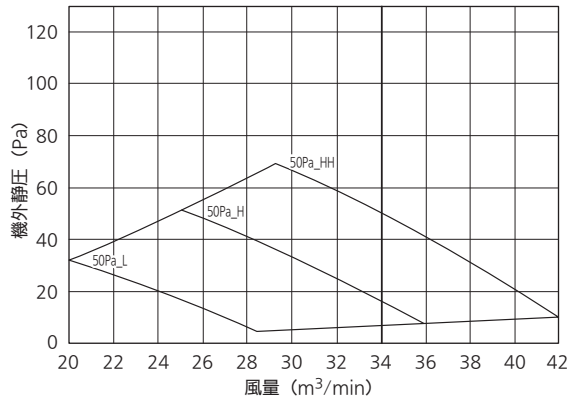
20Pa



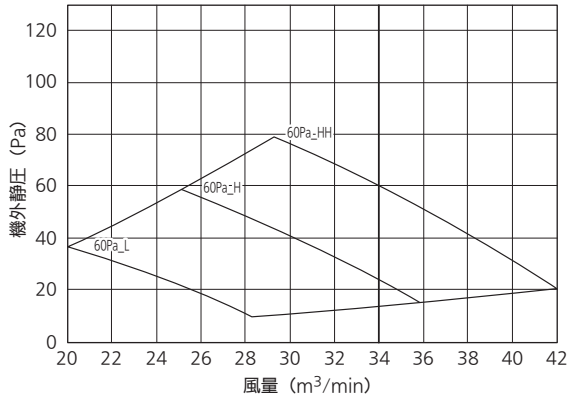
39Pa



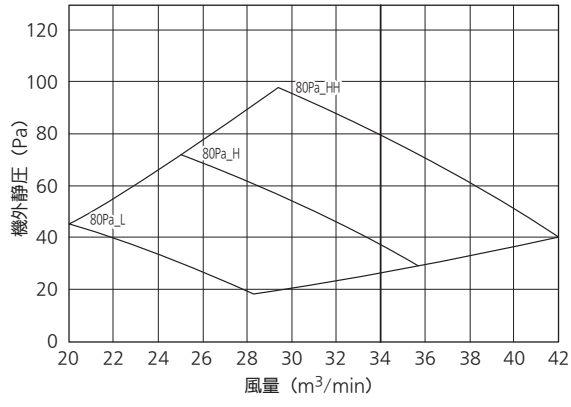
50Pa



60Pa

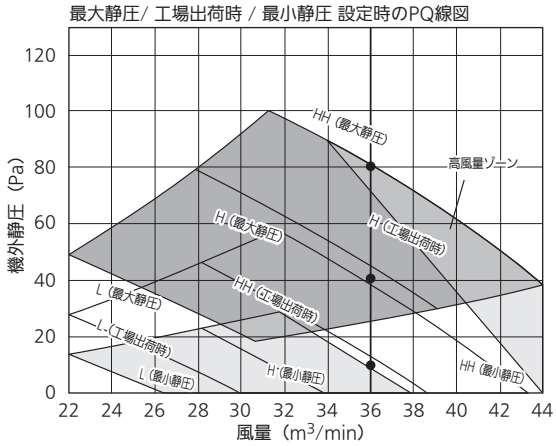


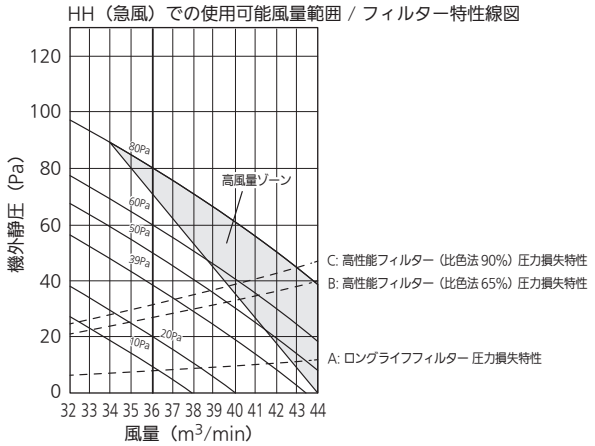
80Pa

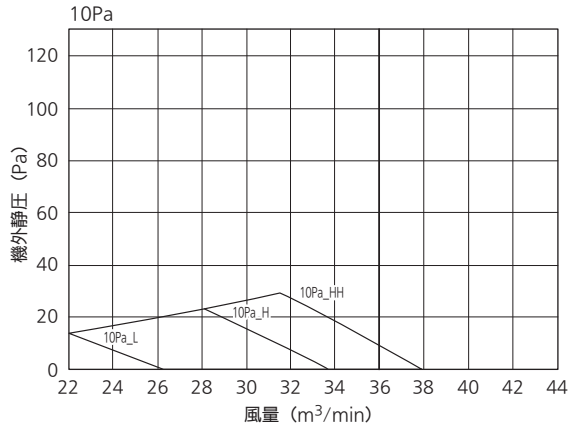


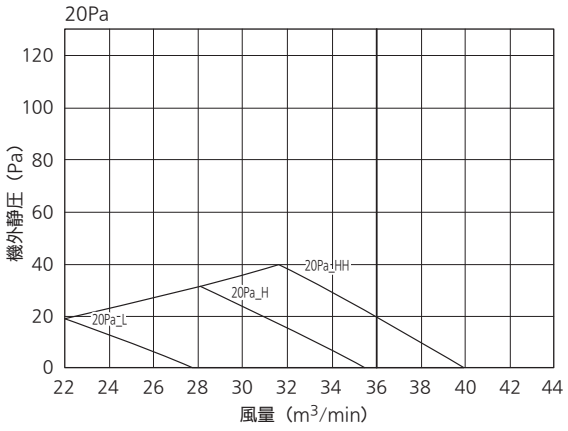
●送風機特性（ビルトインカセット形）

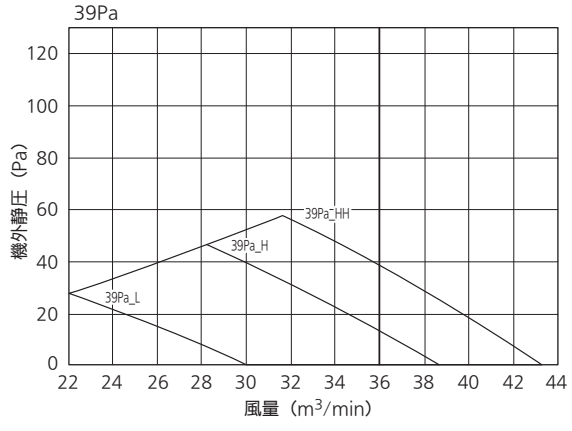
・CS-P160F7C

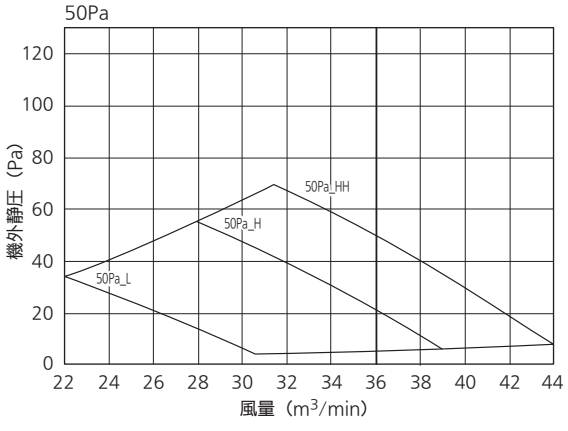


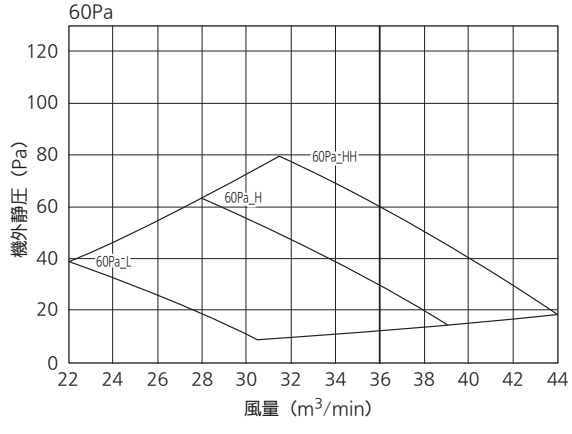


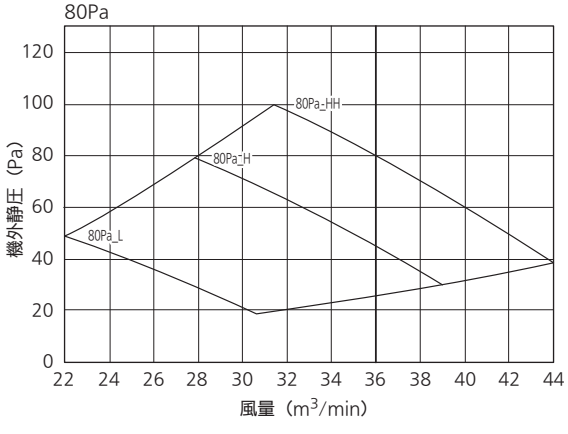












●送風機特性（ビルトインオールダクト形）

■静圧設定

機外静圧の設定（ビルトインオールダクト形）			
室内ユニット			項目コード
50,56 形	63 ～ 80 形	112～160形	B 0
急風の機外静圧（Pa）			
-	210	210	0014
200	200	200	0013
180	180	180	0012
160	160	160	0011
150	150	150	0010
140	140	140	0009
130	130	130	0008
120	120	120	0007
100	100	110	0006
70	70	100	0005
60	60	70	0004
50	50	50	0003
30	30	30	0002
10	10	10	0001
自動風量設定無し※			-001
自動風量設定			-002

※工場出荷時

■フィルター初期圧力損失

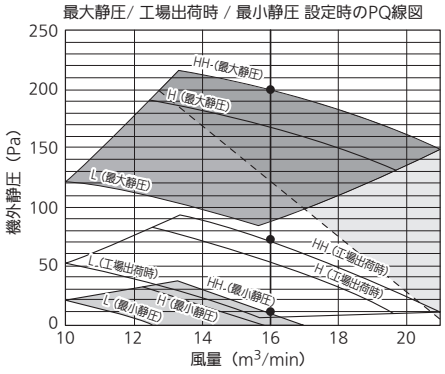
HH（強風）定格風量時の各フィルターの初期圧力損失は以下となります。

各フィルター初期圧力損失（単位：Pa）	50 ～ 56	63 ～ 80	112	140	160
高性能フィルター（比色法65%）	23.3	21.4	21.4	23.9	26.5
高性能フィルター（比色法90%）	29.8	26.7	26.2	28.7	31.2
ロングライフフィルター	7.5	6.7	6.6	7.2	7.8

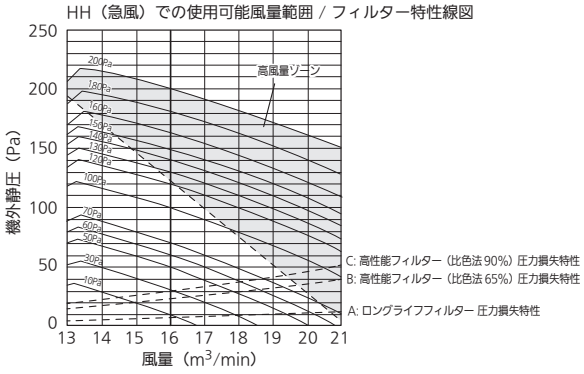
●送風機特性（ビルトインオールダクト形）

・CS-P50 ～ P56FE7C、CS-P50 ～ P56FE7CL

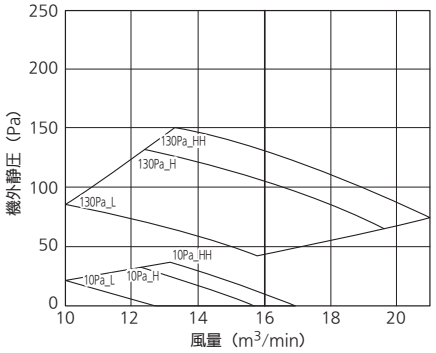
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



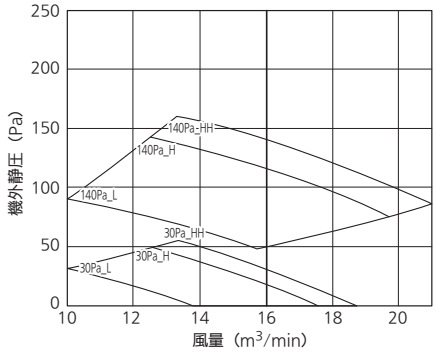
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



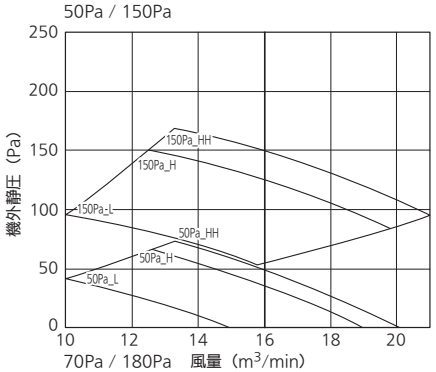
10Pa / 130Pa



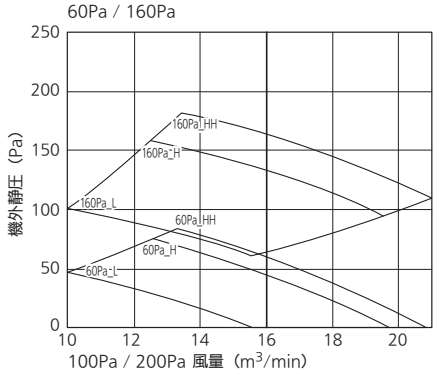
30Pa / 140Pa



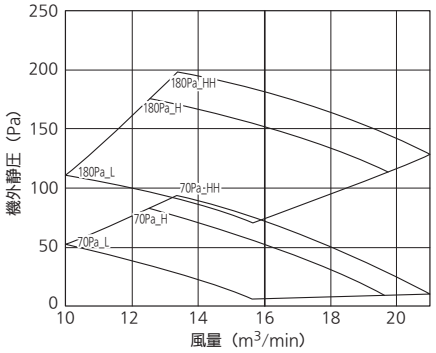
50Pa / 150Pa



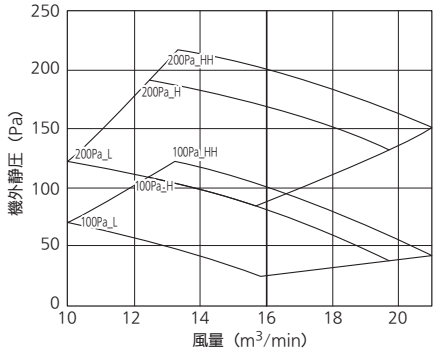
60Pa / 160Pa



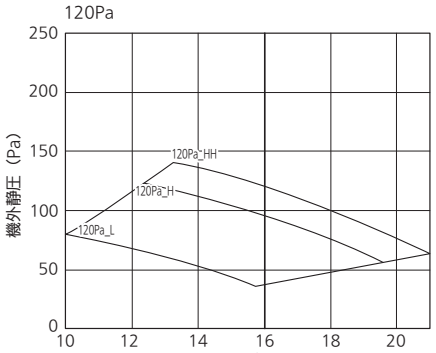
70Pa / 180Pa



100Pa / 200Pa



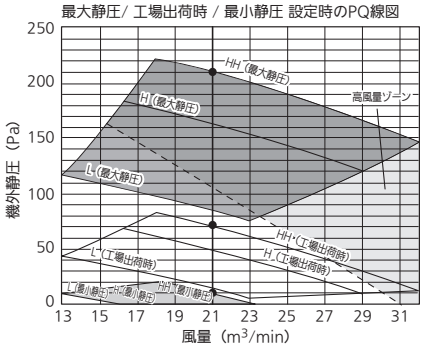
120Pa



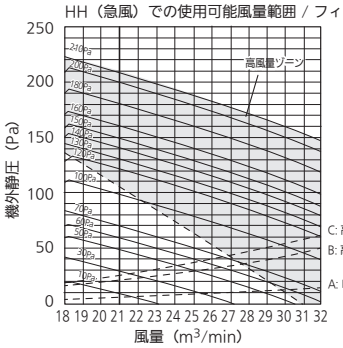
●送風機特性（ビルトインオールダクト形）

・CS-P63 ～ P80FE7C

最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図

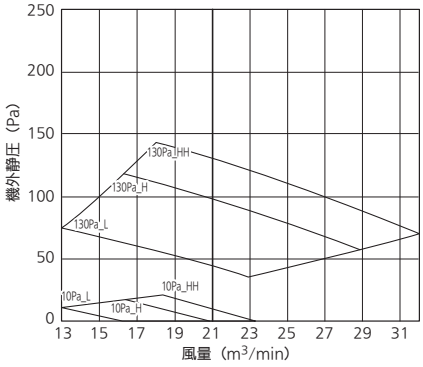


HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図

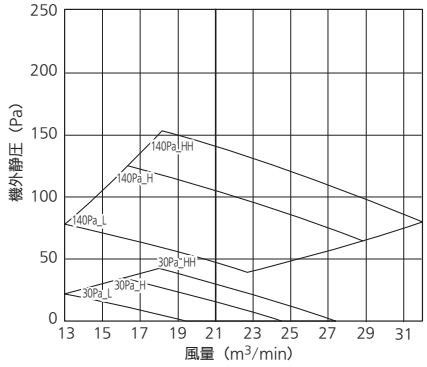


C: 高性能フィルター（比色法 90%）圧力損失特性
B: 高性能フィルター（比色法 65%）圧力損失特性
A: ロングライフフィルター 圧力損失特性

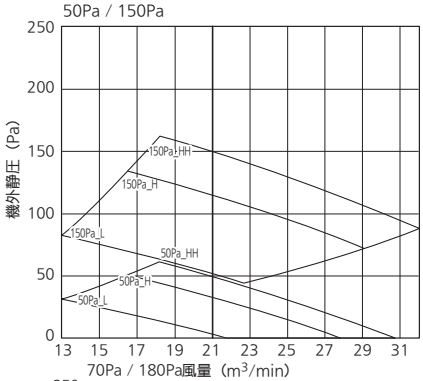
10Pa / 130Pa



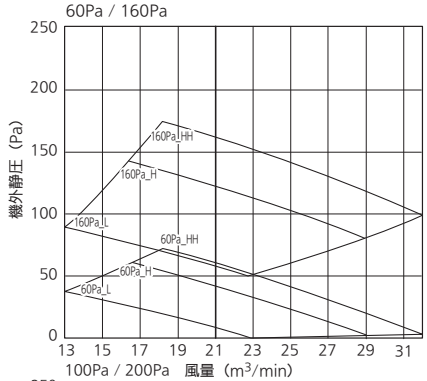
30Pa / 140Pa



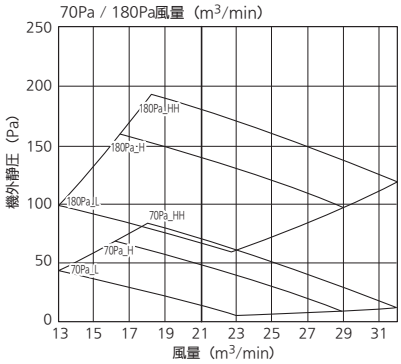
50Pa / 150Pa



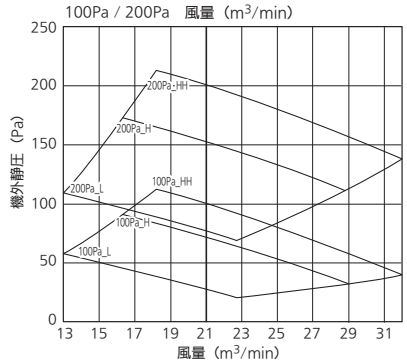
60Pa / 160Pa



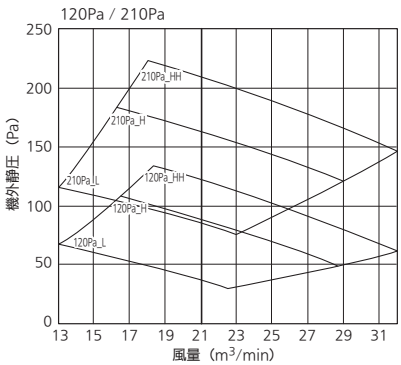
70Pa / 180Pa風量（m3/min）



100Pa / 200Pa　風量（m3/min）



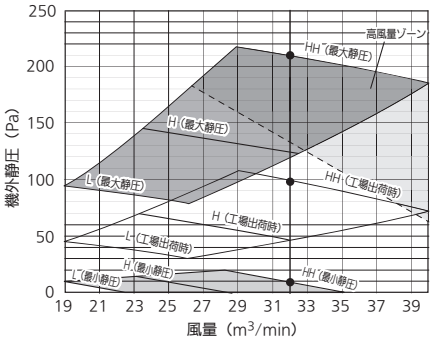
120Pa / 210Pa



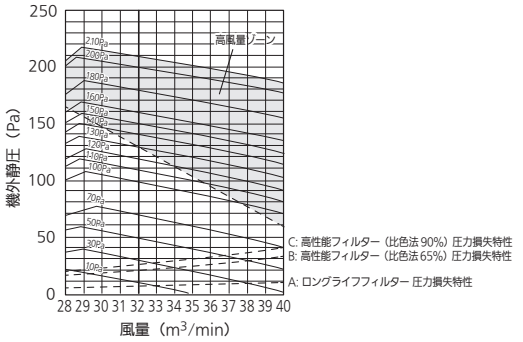
●送風機特性（ビルトインオールダクト形）

・CS-P112FE7C

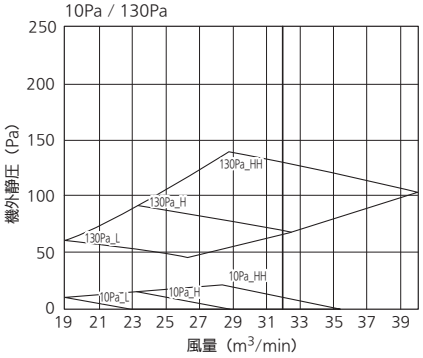
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



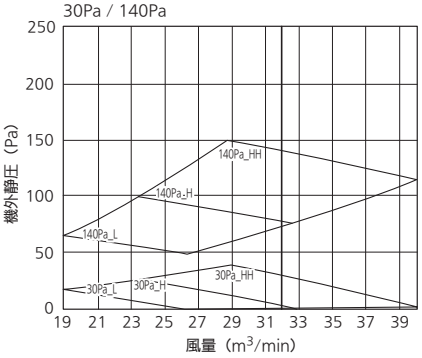
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



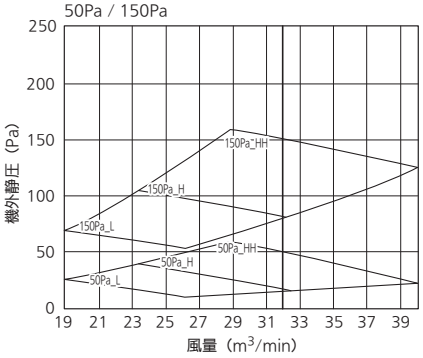
10Pa / 130Pa



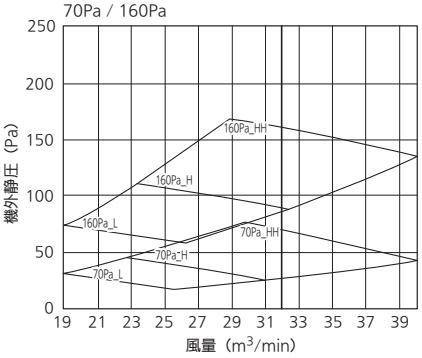
30Pa / 140Pa



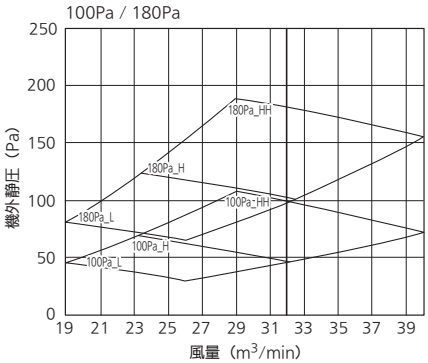
50Pa / 150Pa



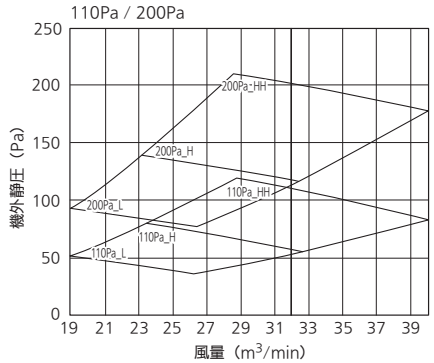
70Pa / 160Pa



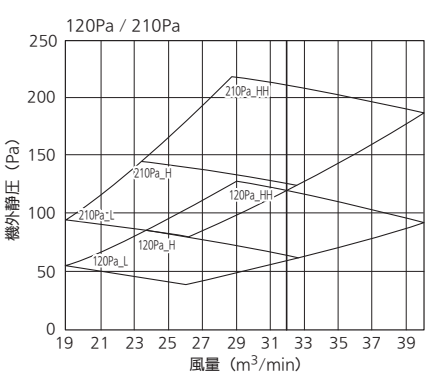
100Pa / 180Pa



110Pa / 200Pa



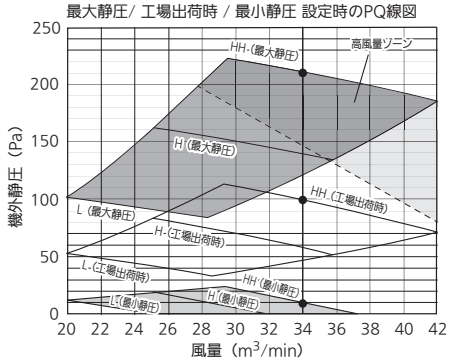
120Pa / 210Pa



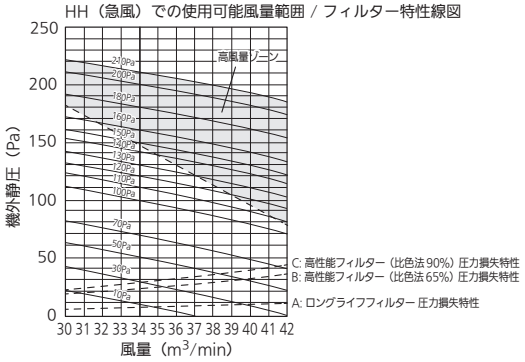
●送風機特性（ビルトインオールダクト形）

・CS-P140FE7C

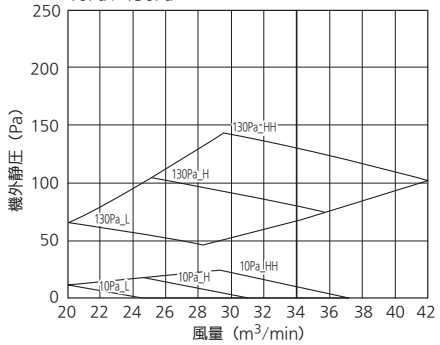
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



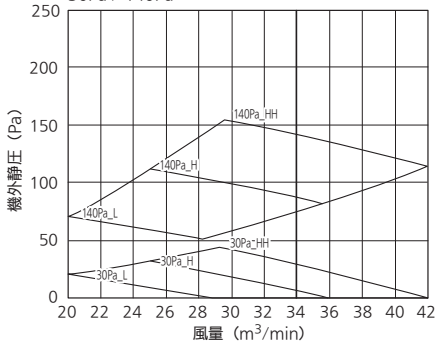
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



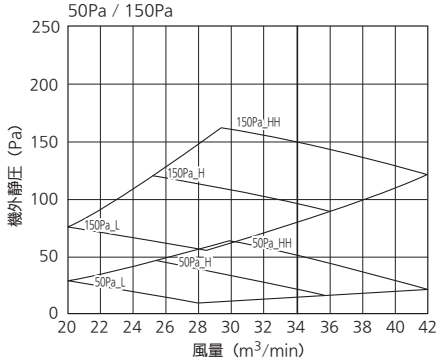
10Pa / 130Pa



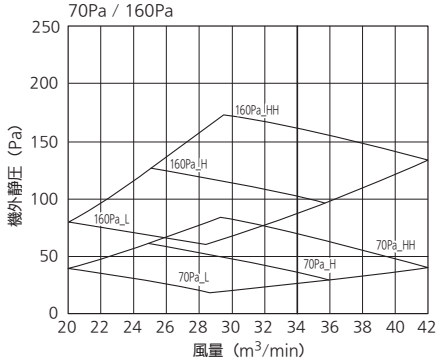
30Pa / 140Pa



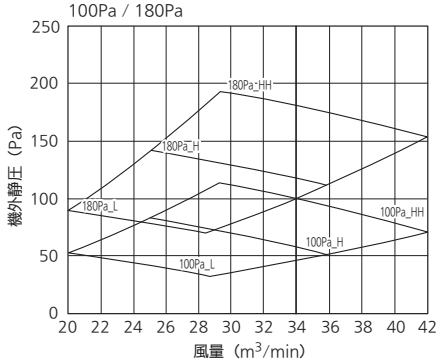
50Pa / 150Pa



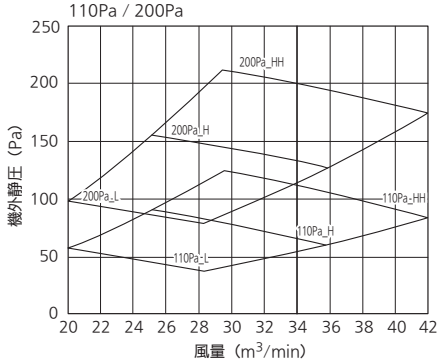
70Pa / 160Pa



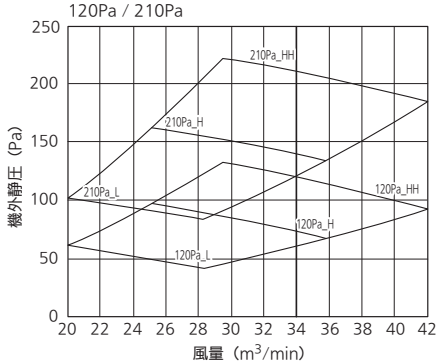
100Pa / 180Pa



110Pa / 200Pa



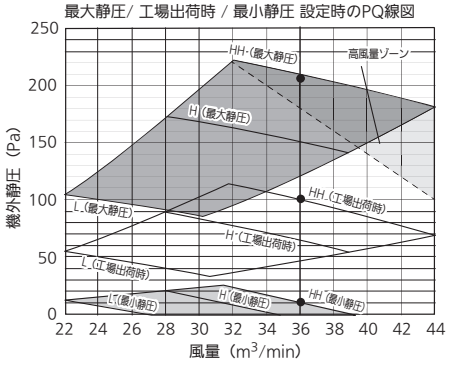
120Pa / 210Pa



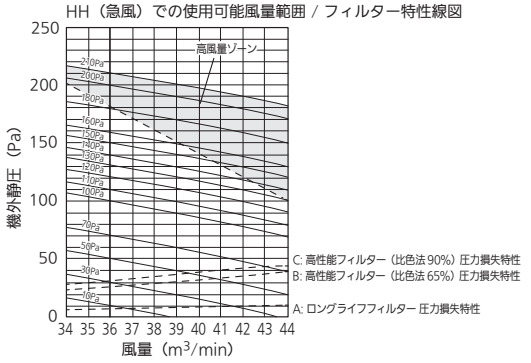
●送風機特性（ビルトインオールダクト形）

・CS-P160FE7C

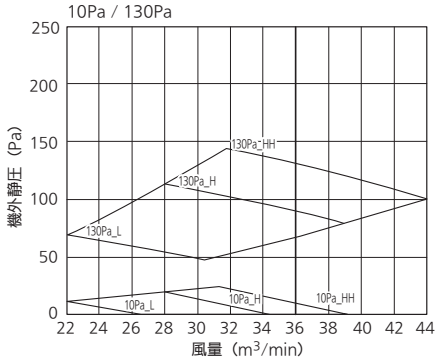
最大静圧/ 工場出荷時 / 最小静圧 設定時のPQ線図



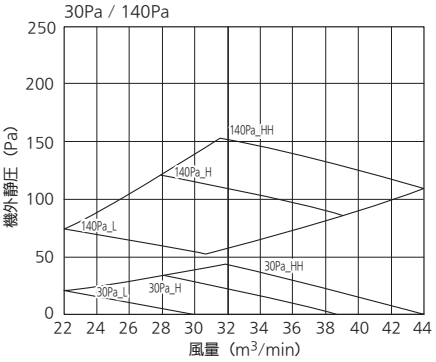
HH（急風）での使用可能風量範囲 / フィルター特性線図



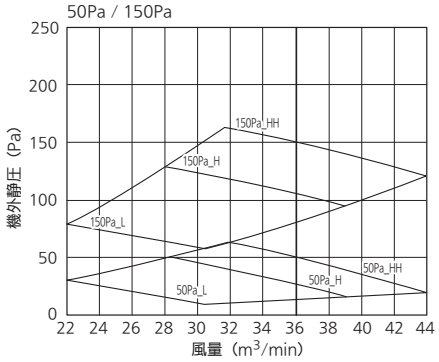
10Pa / 130Pa



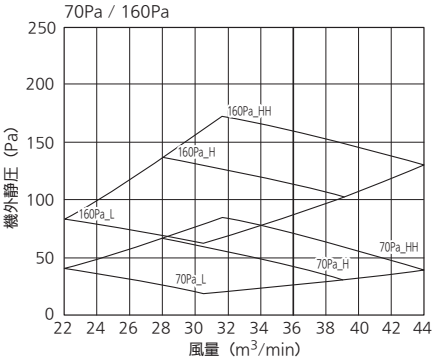
30Pa / 140Pa



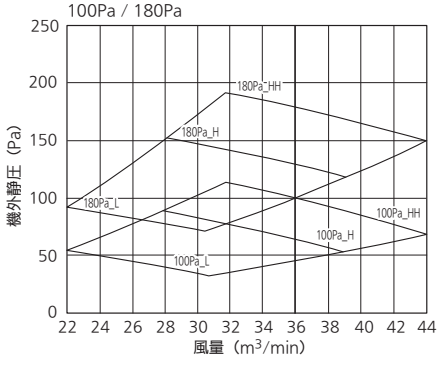
50Pa / 150Pa



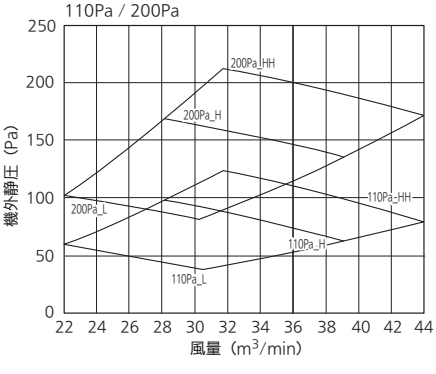
70Pa / 160Pa



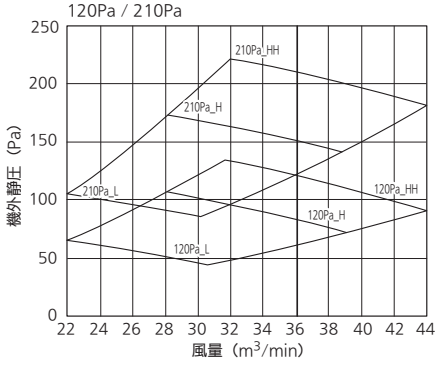
100Pa / 180Pa



110Pa / 200Pa



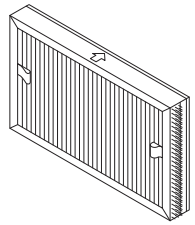
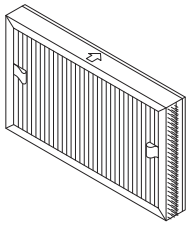
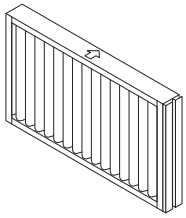
120Pa / 210Pa



●高性能フィルター、ロングライフフィルター取付説明書

高性能フィルター、ロングライフフィルター取付説明書

□ 外観図

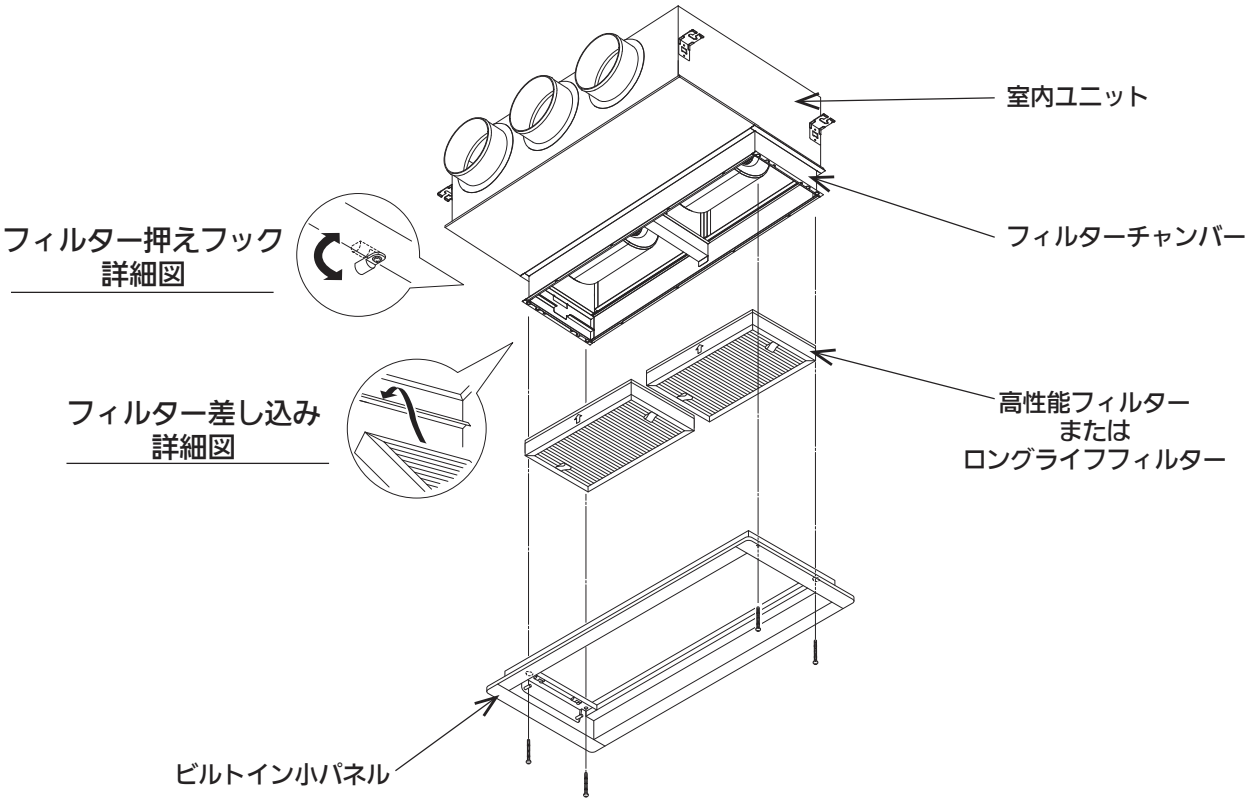
高性能フィルター （比色法65%）	高性能フィルター （比色法90%）	ロングライフフィルター
		

1. 天井ビルトインカセット形とビルトインオールダクト形に共通使用できます。
2. 50形フィルターは一体、80形と140形は2分割になります。
3. 高性能フィルターとロングライフフィルターの併用はできません。
4. ロングライフフィルターをお使いの場合のみ、パネルまたは吸込グリルのフィルターは取りはずしてご使用ください。（高性能フィルターの場合は、プレフィルターとして使用します）

□ 取付けかた

1. 天井ビルトインカセット形の場合（図1）

（1）フィルターはフィルターチャンバーの片側に差込み、フィルター押えフックを90度回転させて確実に固定します。
（2）80形と140形のフィルターチャンバーは、中央に金具があってフィルターは2分割になります。
（3）フィルターの矢印方向（風の流れを示す）を室内ユニットに向けて挿入します。



（図1）

2. ビルトインオールダクト形の場合（図2 ）

（1）フィルターはフィルターチャンバー側面のフック（2個）を90度回転させてメンテ蓋を開き、側面から挿入します。

（2）フィルター挿入のしかた

① 50形は矢印方向（風の流れを示す）を室内ユニットに向けて挿入します。

② 80形と140形フィルターは2分割になっていますので、下記の手順で取り付けてください。

a. 高性能フィルターの場合は、2枚のフィルターのマジックテープを内々に合わせ矢印方向を室内ユニットに向けて挿入します。

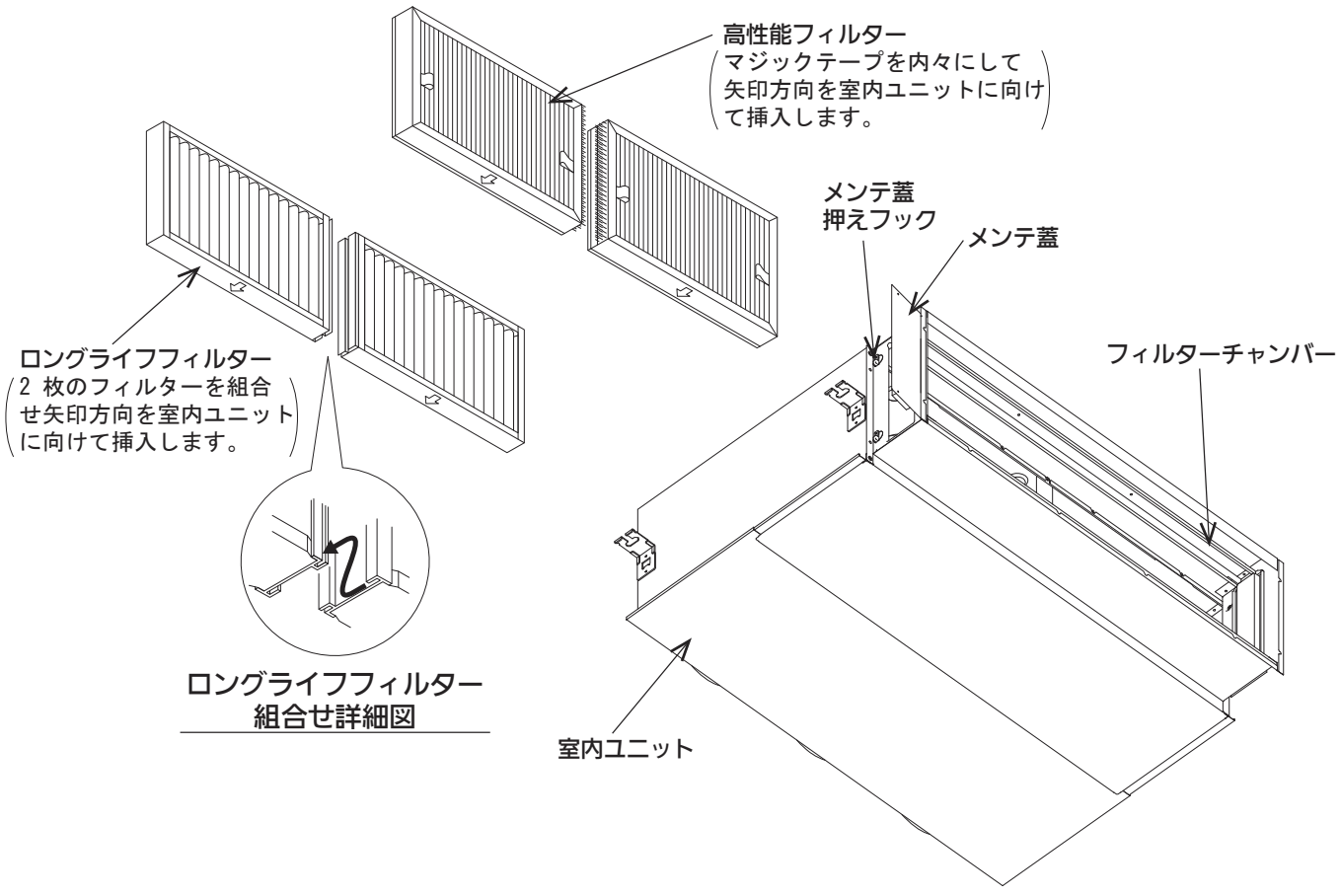
b. ロングライフフィルターの場合は、2枚のフィルターを組合せ矢印方向を室内ユニットに向けて挿入します。

● 手順どおりに行わないと、奥側のフィルターが取り出せなくなります。

（3）フィルターの取出しかた

① フィルターを持って手前に引くと取り出せます。

② 2分割の高性能フィルター（80,140形）で奥側のフィルターが引き出せないときは、手前のフィルターを押すとマジックテープどうしが接合して取り出すことができます。



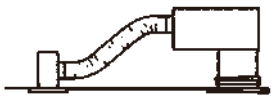
（注）図は80形と140形を示します。
50形フィルターは一体になります。

（注）フィルターは左右どちらからでも挿入できます。

（図2）

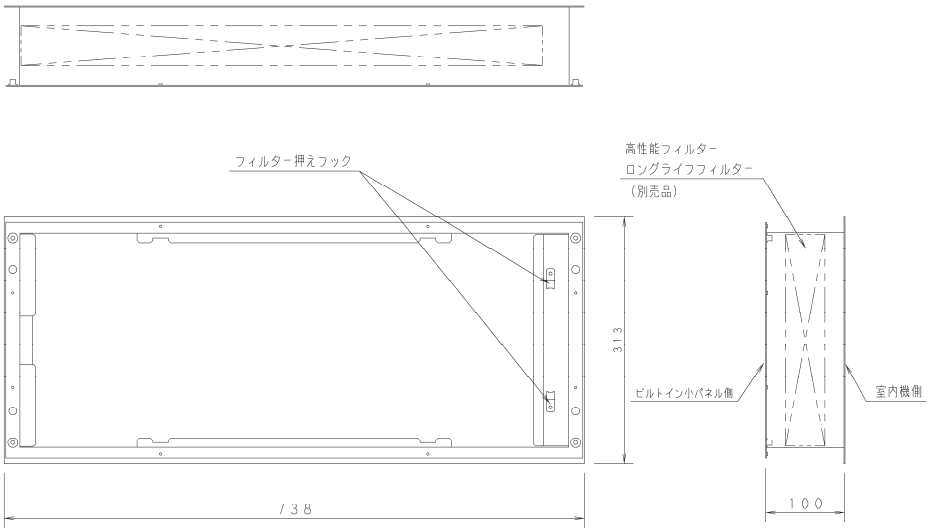
85464369639000

■フィルターチャンバー（ビルトインカセット用）

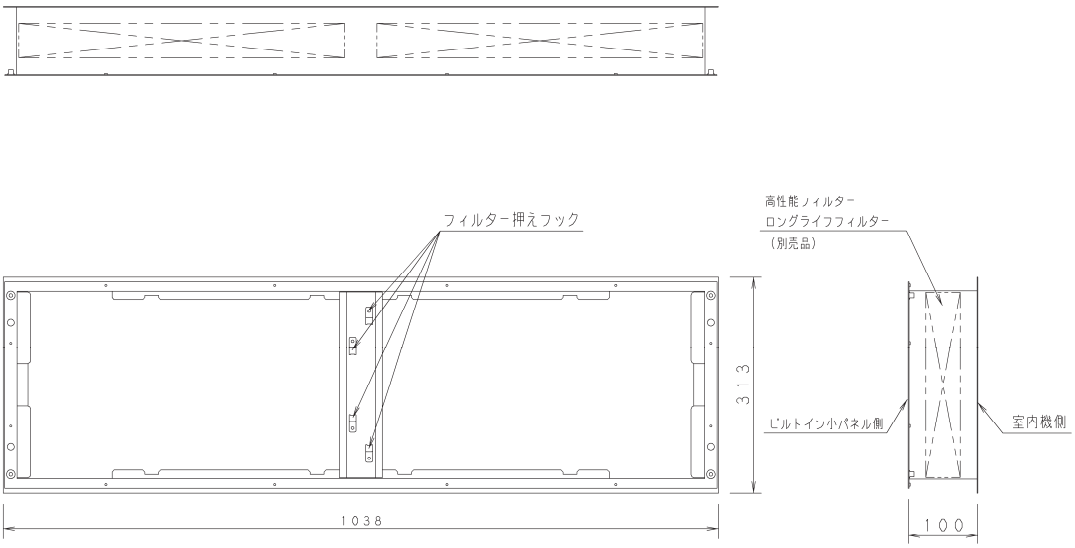


フィルターチャンバー	適 用 機 種
CZ-56FBCF1	50,56形
CZ-90FBCF1	63～80形
CZ-160FBCF1	112～160形

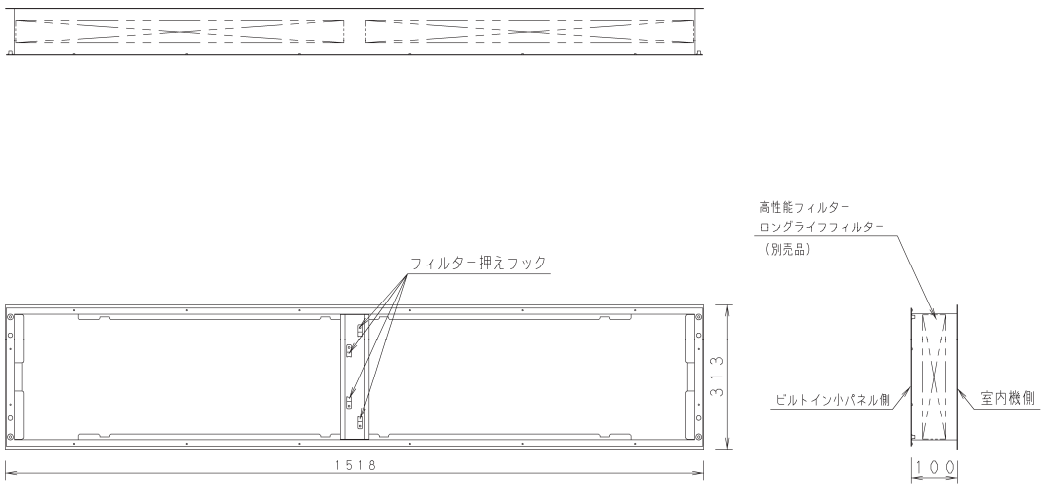
●外形寸法図〈CZ-56FBCF1〉



●外形寸法図〈CZ-90FBCF1〉



●外形寸法図〈CZ-160FBCF1〉

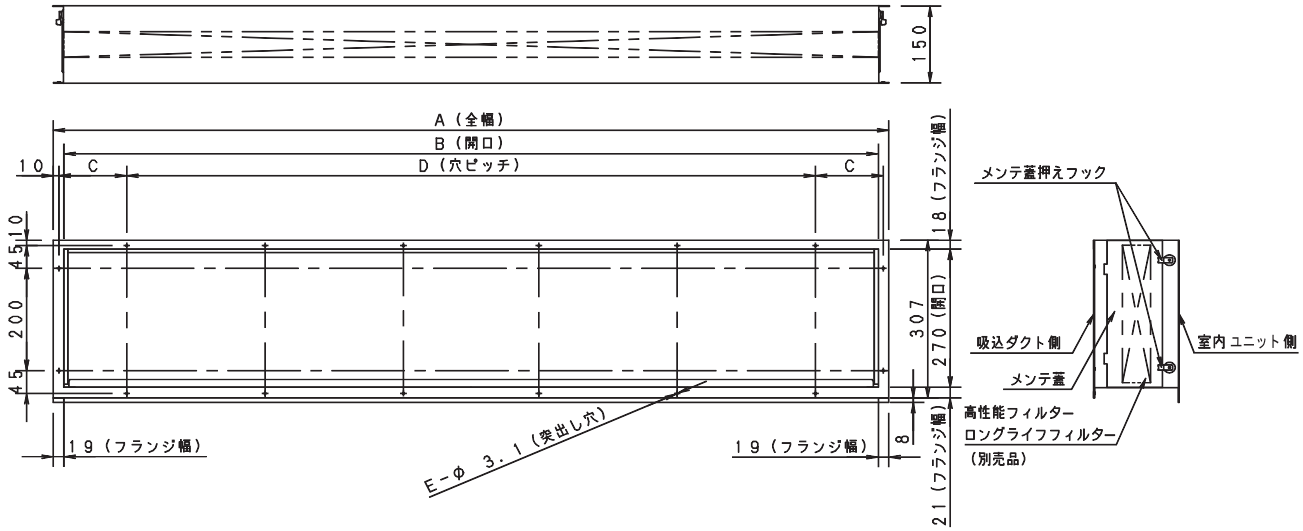


■フィルターチャンバー（ビルトインオールダクト用）



フィルターチャンバー	適 用 機 種
CMB-FBU50T	50,56形
CMB-FBU80T	63～80形
CMB-FBU140T	112～160形

●外形寸法図〈CMB-FBU50T,FBU80T,FBU140T〉



品　　番	A(全幅)	B(開口)	C	D(穴ピッチ/左から順番に列記)	E	必要フィルター枚数
CMB-FBU50T	700	663	170	340	8	1
CMB-FBU80T	1000	963	120	245+250+245	12	2
CMB-FBU140T	1480	1443	120	245+245+240+245+245	16	2

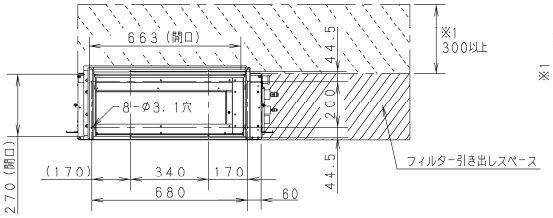
注記）1. 外寸図は「CMB-FBU140T」の例です。
2. 表中の寸法以外は共通です。

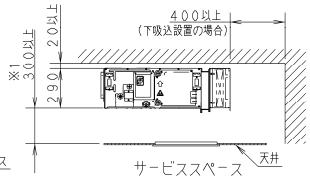
●部品組込図〈・接続チャンバー　・フィルターチャンバー〉

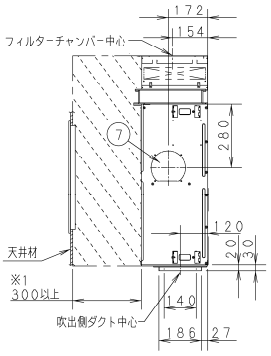
ビルトインオールダクト形〈50, 56 形〉

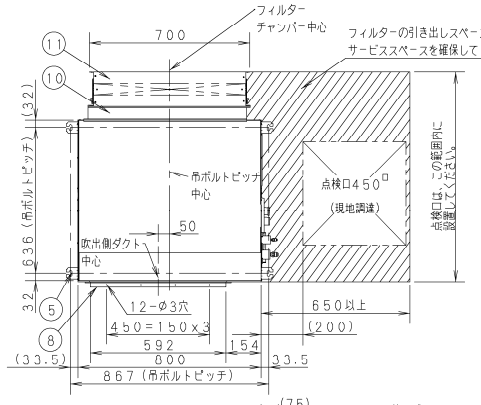
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出側ダクト合フランジ
⑨	電装箱
⑩	接続チャンバー CZ-56SPF2（別売品）
⑪	フィルターチャンバー CMB-FBU50T（別売品）

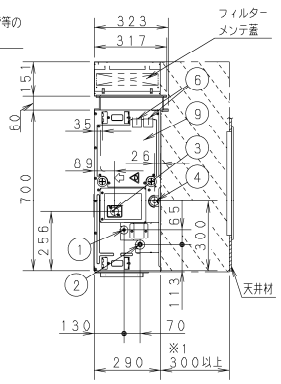
単位：mm

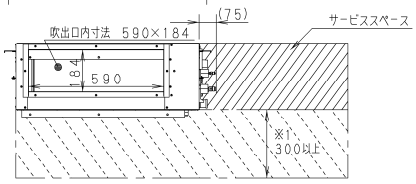












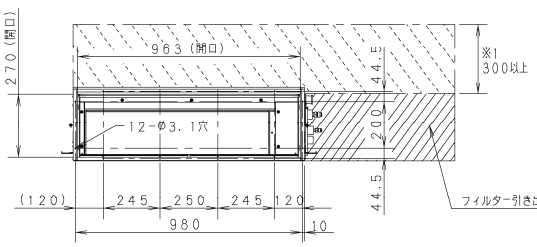
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
サービススペースが必要となります。サービススペースには、
作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品の
メンテパネル（PNR-MBD45RF）を設置するか、
室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面
と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

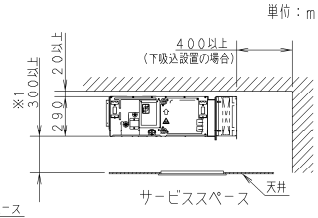
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

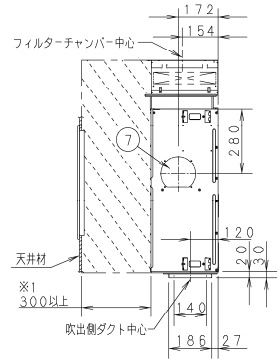
ビルトインオールダクト形〈63 ～ 80 形〉

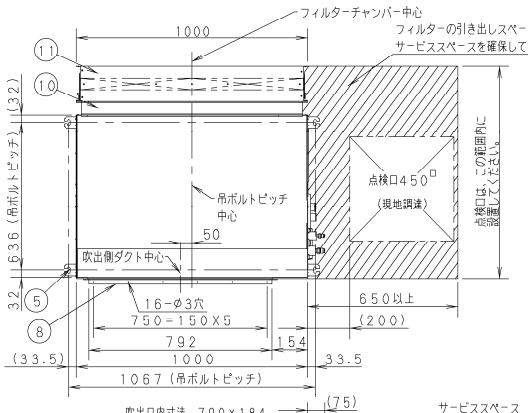
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出側ダクト合フランジ
⑨	電装箱
⑩	接続チャンバー CZ-90SPF2（別売品）
⑪	フィルターチャンバー CMB-FBU80T（別売品）

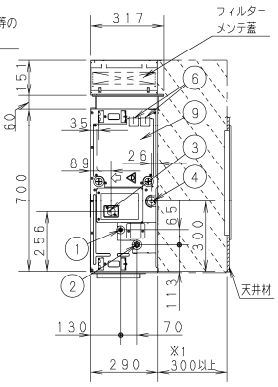
単位：mm

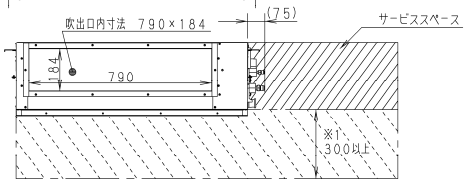












※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
サービススペースが必要となります。サービススペースには、
作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品の
メンテパネル（PNR-MBD71RF）を設置するか、
室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面
と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

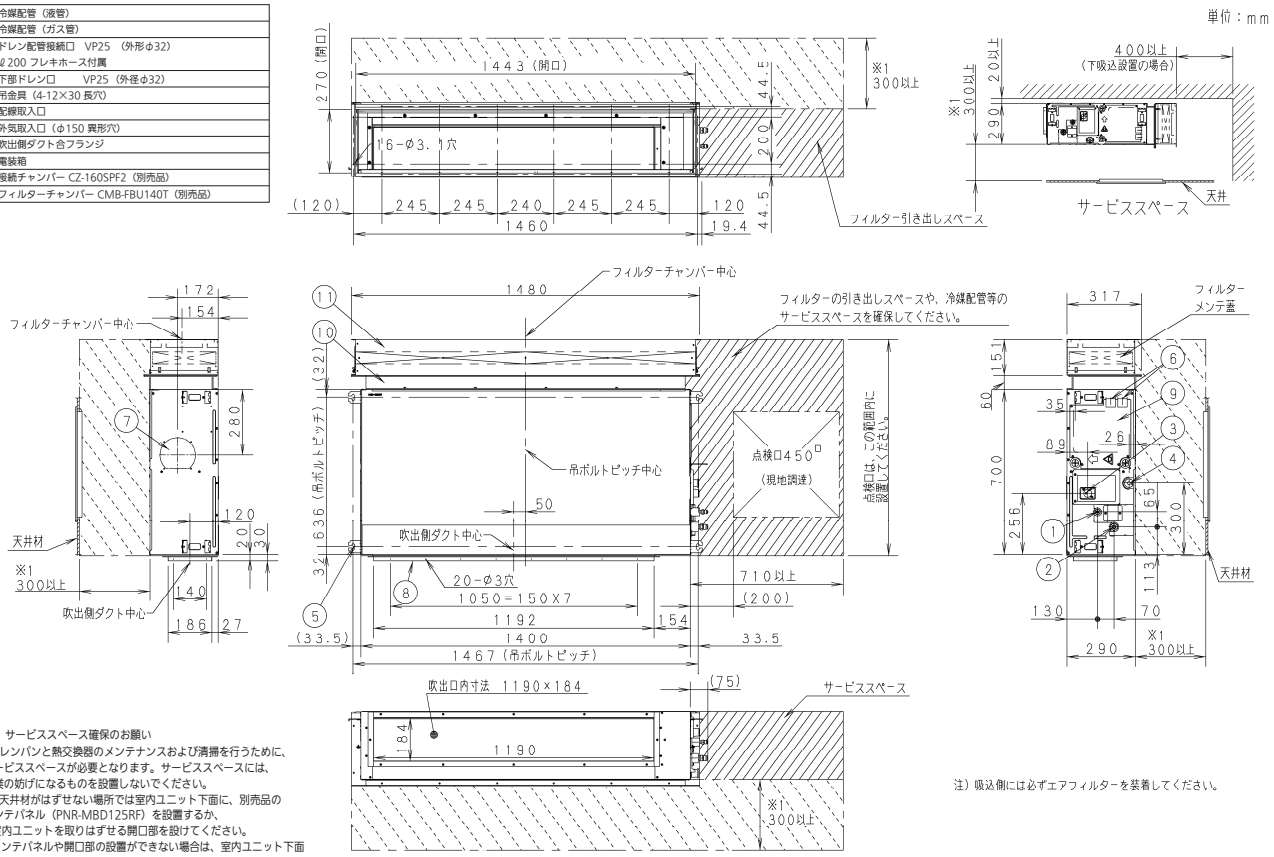
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

●部品組込図〈・接続チャンバー　・フィルターチャンバー〉

ビルトインオールダクト形〈112 ～ 160 形〉

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出側ダクト合フランジ
⑨	電装箱
⑩	接続チャンバー CZ-160SPF2（別売品）
⑪	フィルターチャンバー CMB-FBU140T（別売品）

単位：mm



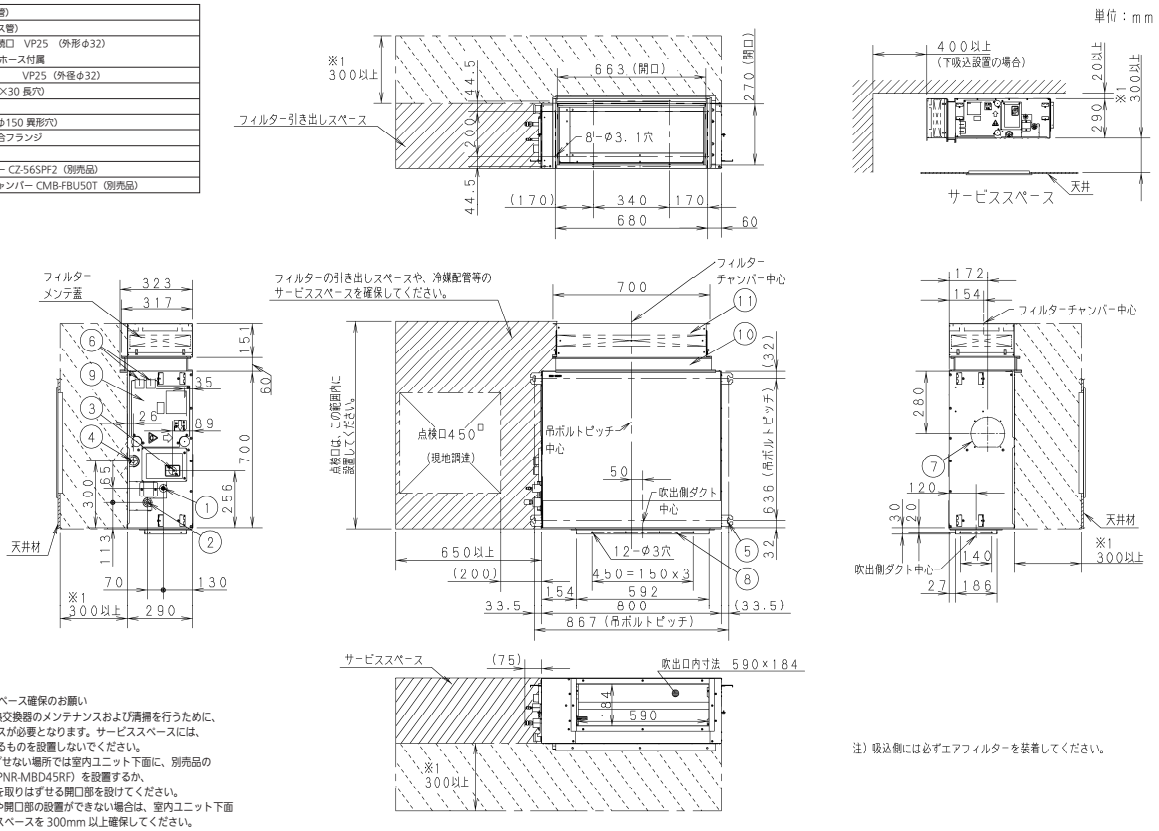
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
　・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR-MBD125RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

ビルトインオールダクト形左配管仕様〈50, 56 形〉

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出側ダクト合フランジ
⑨	電装箱
⑩	接続チャンバー CZ-56SPF2（別売品）
⑪	フィルターチャンバー CMB-FBU50T（別売品）

単位：mm

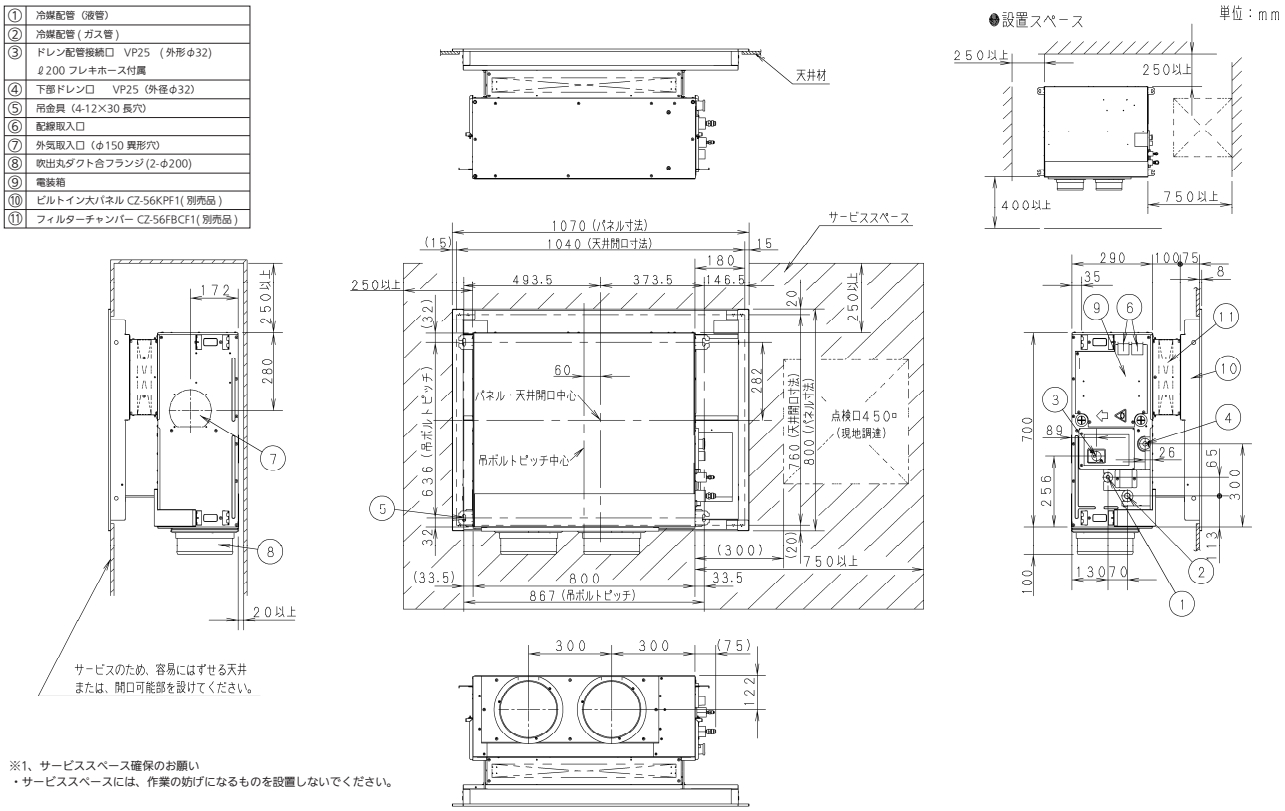


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
　・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR-MBD45RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

●部品組込図　大パネル仕様〈・大パネル　・フィルターチャンバー〉
天井ビルトインカセット形〈50，56 形〉

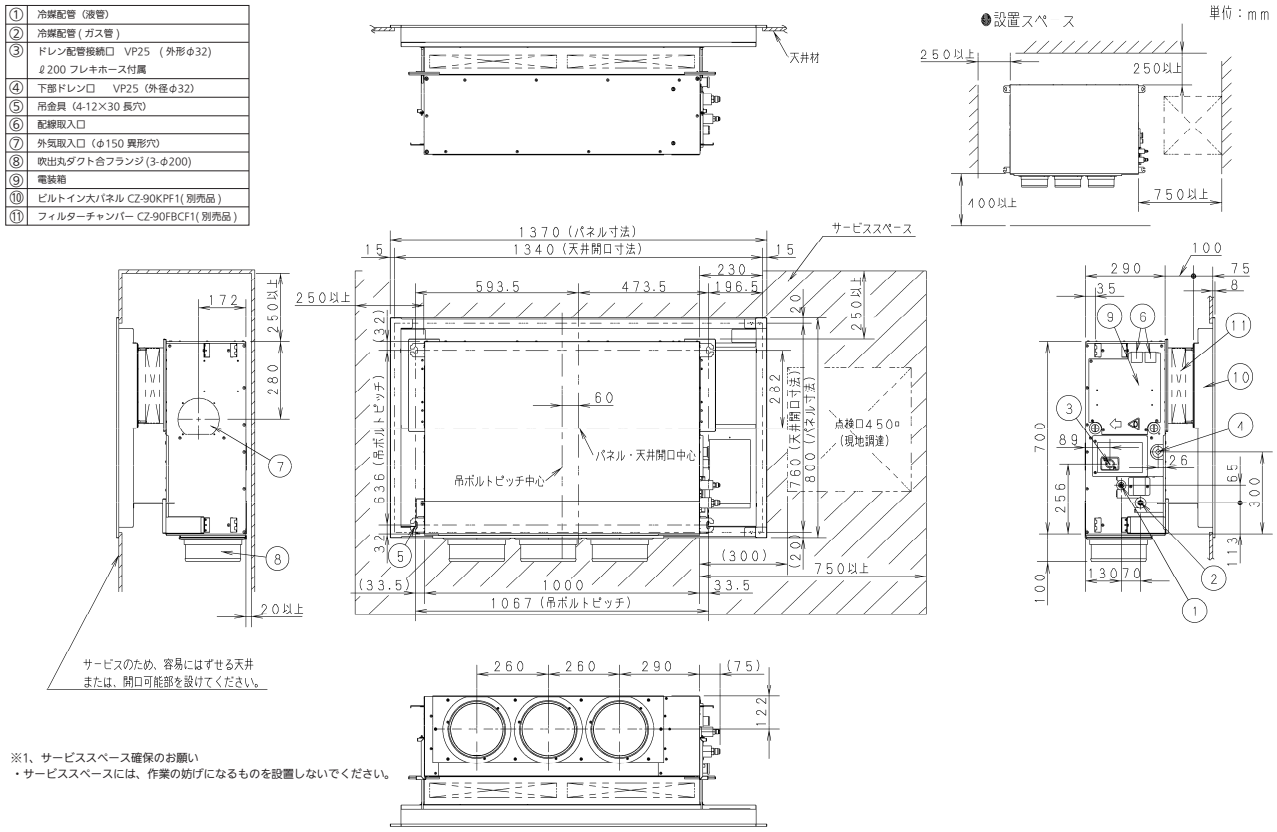
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ(2-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン大パネル CZ-56KPF1(別売品)
⑪	フィルターチャンバー CZ-56FBCF1(別売品)



※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

●部品組込図　大パネル仕様〈・大パネル　・フィルターチャンバー〉
天井ビルトインカセット形〈63 ～ 80 形〉

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ(3-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン大パネル CZ-90KPF1(別売品)
⑪	フィルターチャンバー CZ-90FBCF1(別売品)



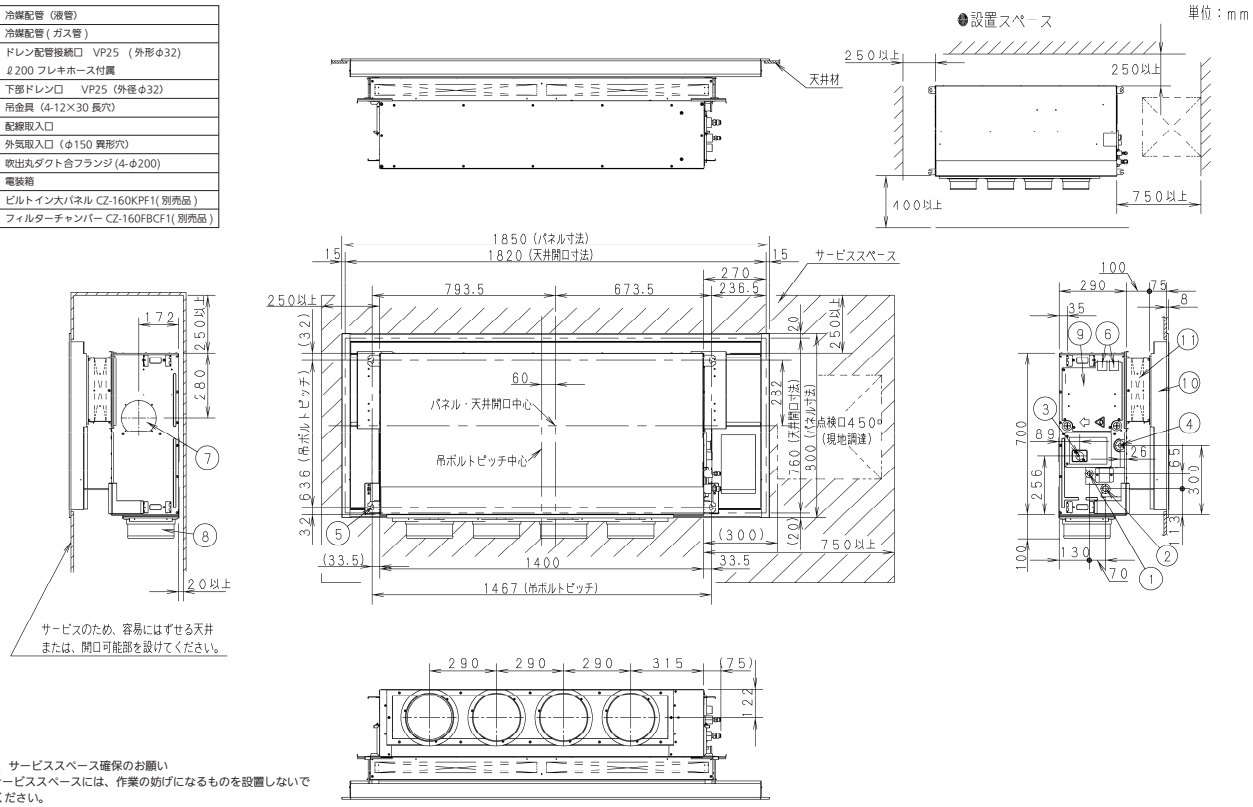
※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

●部品組込図　大パネル仕様〈・大パネル　・フィルターチャンバー〉

天井ビルトインカセット形〈112 ～ 160 形〉

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ⌀200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ(4-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン大パネル CZ-160KPF1(別売品)
⑪	フィルターチャンバー CZ-160FBCF1(別売品)

単位：mm



※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

●ビルトインカセット用フィルターチャンバー据付工事説明書

Panasonic

据付工事説明書(詳細版)

フィルターチャンバー

品番　CZ-56FBCF1,CZ-90FBCF1,CZ-160FBCF1

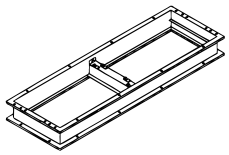
適用室内ユニット　天井ビルトインカセット形 F シリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

本製品は、接続する室内ユニットによって設定方法が異なりますので、下記の対応表をご確認いただき、それぞれの設定方法に従って作業を行ってください。
設定の前に、必ずカタログもしくは設備設計資料をご確認ください。

		タイプ A		タイプ B	
参照ページ		2 ～ 5 ページ		6 ページ以降	
室内ユニット品番	オフィス・店舗用エアコン	CS-F7C シリーズ	ー	CS-F7B、F7、F6、F5、F4 シリーズ	CS-F3 シリーズ
	ビル用マルチエアコン	ー	CS-F6U、F5U シリーズ	CS-F4U シリーズ	ー
	ガスヒートポンプエアコン	ー	S-FU1 シリーズ	S-FS2 シリーズ	S-FS1、SGP-K1 シリーズ
リモコンで設定する場合	CZ-10RT5 シリーズリモコンからの設定	○		○	ー
	CZ-10RT4 シリーズリモコンからの設定	ー	ー	○	ー
	CZ-10RT3 シリーズリモコンからの設定	○		○	ー
基板から設定する場合	ディップスイッチ	○	ー	ー	ー
	ピン	ー	ー	○	ー
中継コネクターで設定する場合		ー	ー	ー	○

室内ユニット「タイプ A」に接続する場合の設定方法

＊ 接続する室内ユニットのタイプは本据付工事説明書の 1 ページをご確認ください。

本体	付属品		
フィルターチャンバー	取付ネジ		取付説明書
	(M5 × L16)  56 形：　4 本 90 形：　4 本 160 形：　4 本	(M4 × L12)  56 形：　4 本 90 形：　8 本 160 形：12 本	

＊ フィルターは別売の高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用してください。

■取付け前に

① 室内ユニットに取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。
　取付方法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。

② 高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用する場合は、機外静圧設定方法に従って静圧設定を行ってください。

③ フィルターチャンバーと天井面との寸法が､図 1 ～図 3 に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。

④ ビルトイン小パネル（別売）の天井開口寸法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書またはビルトイン小パネル（別売）に付属の取付説明書を参照してください。

1. ビルトイン小パネルとの併用

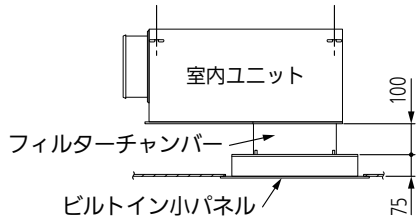


図 1

2. ビルトイン小パネル、スライドチャンバーとの併用

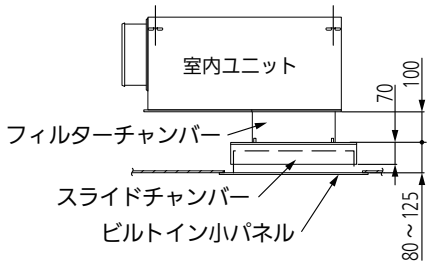


図 2

3. ビルトイン小パネル、キャンバスダクトとの併用

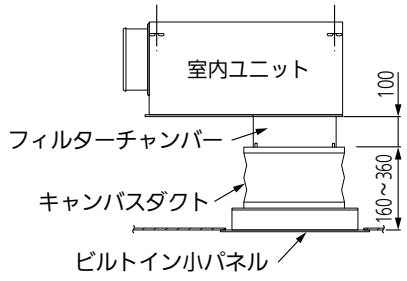


図 3

■取付けかた

① フィルターチャンバーを付属の取付ネジで、室内ユニットに確実に固定します。（図 4）
　（56 形…M 5 : 4 本・M 4 : 4 本、90 形…M 5 : 4 本・M 4 : 8 本、160 形…M 5 : 4 本、M 4 : 12 本）

② 56 形を取り付ける場合は、フィルター押えフックが電装ボックス側に来るように配置してください。

③ フィルターはフィルターチャンバーの片側に差込み、フィルター押えフックを 90 度回転させて固定します。
　取り付けについては、高性能フィルターまたは、ロングライフフィルター付属の取付説明書を参照してください。

WEB-ACXF60-19881-00
WEB-BE0925

■併用別売品の取付けかた

• 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

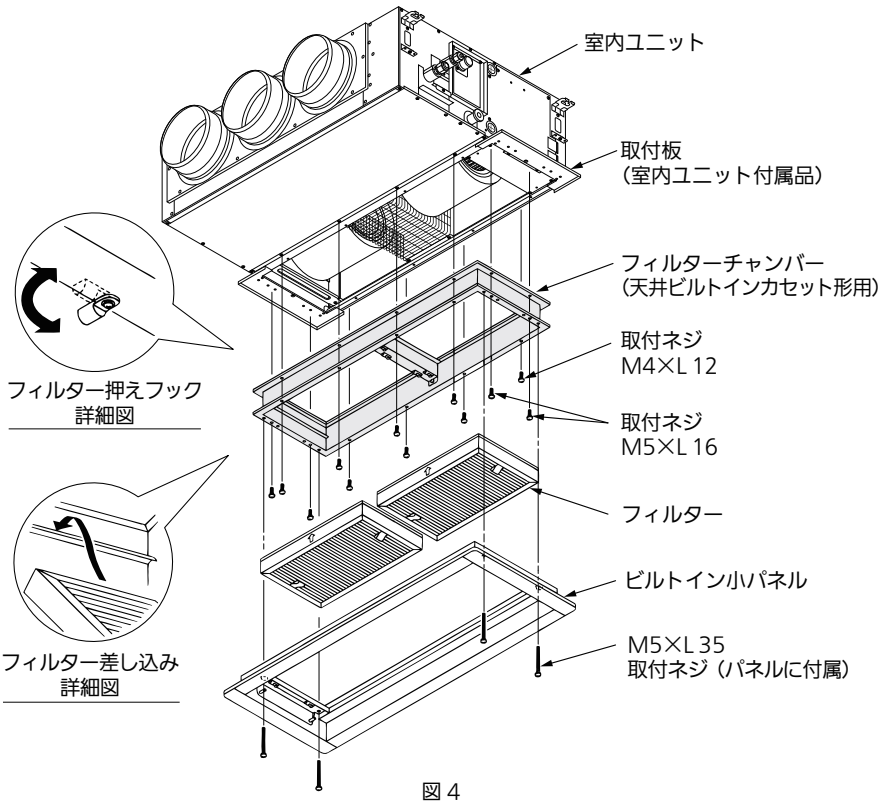


図 4

■機外静圧設定方法

● 下記に記載のない形式は、QR コードから据付工事説明書（詳細版）をご確認ください。

基板から設定する場合

対象形式：F7C

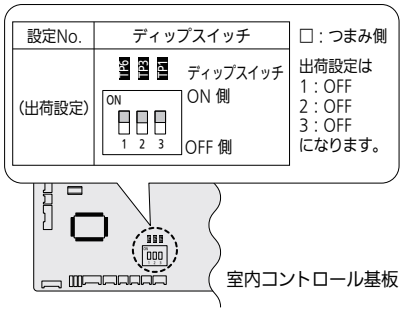
＊ F5U/F6U/FU1 では基板からの設定はできません。

必ず配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってください。

• ご使用の用途に応じた設定 No. を右表で確認してください。
• 電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。
• 右表で確認した設定 No. に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

天井ビルトインカセット形静圧対応

設定 No.	50-56 形	63-80 形	112-160 形
（出荷設定）	34 Pa	39 Pa	39 Pa
（1）	50 Pa	50 Pa	50 Pa
（3）	60 Pa	60 Pa	60 Pa
（6）	-	80 Pa	80 Pa



□: つまみ側

設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ
(1)	ディップスイッチ ON 側 OFF 側 ON 1 2 3	(3)	ディップスイッチ ON 側 OFF 側 ON 1 2 3	(6)	ディップスイッチ ON 側 OFF 側 ON 1 2 3

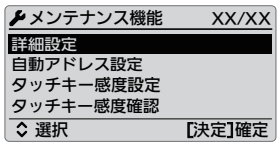
多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5 シリーズ）で設定する場合

■ 手順 1：手動設定または自動風量設定方法



多機能ワイヤードリモコン
（CZ-10RT5 シリーズ）

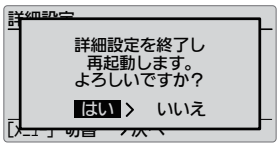
- 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
  メンテナンス機能画面が表示されます。
- ＜ / ＞ ボタンで［詳細設定］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
  詳細設定画面が表示されます。
- ＜ / ＞ ボタンで変更するユニット No. を選択してください。
- ＜ / ＞ ボタンで項目コード / 設定データの選択を切り換えてください。
- ＜ / ＞ ボタンで項目コード［0000B0］としてください。
- ＜ / ＞ ボタンで設定データの選択を切り替えてください。
- ＜ / ＞ ボタンで設定データを変更します。
  手動設定の場合は、現場の機外静圧と表 2 のフィルター初期圧力損失を元に表 1 を参照し設定データを［0001 ～ 0014］のいずれかに変更し、 決定 ボタンを押してください。
  自動風量設定の場合は設定データを「－ 002」に変更します。
- 戻る ボタンを押して、再起動［はい］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
  設定終了後、次の手順 2 を実施してください。



メンテナンス機能画面



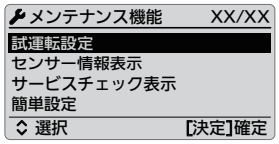
詳細設定画面



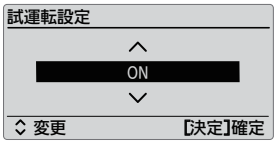
詳細設定終了画面

■ 手順 2：機外静圧設定チェック運転または自動風量調整運転

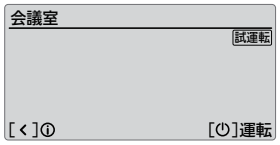
- 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ＜ / ＞ ボタンで［試運転設定］を選択し、 決定 ボタンを押してください。試運転画面が表示されます。
- ＜ / ＞ ボタンで試運転設定、［ON］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
- 戻る ボタンを押し、リモコンに 試運転 と表示していることを確認してください。
- ⏻ ボタンを押すと試運転を開始します。
- ＜ / ＞ ボタン ＜ / ＞ ボタンで運転モードを「送風」、風速を「急 」に設定し、 決定 ボタンを押してください。
  （この設定以外では自動風量調整運転（機外静圧設定チェック運転）を行いません）
- ファンモーターが起動し、自動風量調整運転（約 3 ～ 42 分）を開始します。この運転中は風速が変化します。
- 完了すると液晶部の 試運転 表示が消灯します。
- ⏻ ボタンを押します。通常の停止状態となります。



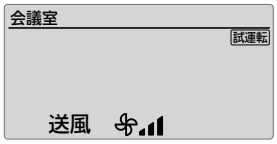
メンテナンス機能画面



試運転設定画面



試運転画面



運転モード画面

■ 手順 2：機外静圧設定チェック運転または自動風量調整運転

① 点検 ボタンを４秒以上押します。液晶表示部に「 試運転 」と表示されます。

② 運転 / 停止 ボタンを押し、試運転を開始します。
試運転中は液晶部に「 試運転 」と表示されます。

③送風モードを選択し、風速切替で「急」に設定します。
【注意：送風モード、「急」風以外では、自動風量調整運転、機外静圧設定チェック運転を行いません】

④ファンモーターが起動し、自動風量調整運転または機外静圧設定チェック運転を開始します。
この運転中は風速が変化します。機外静圧設定チェック運転や自動風量調整運転は約 3 ～ 42 分で完了します。液晶部の「 試運転 」表示が消灯します。

⑤ 運転 / 停止 ボタンを押し、試運転を停止します。

表 1-1　機外静圧の設定

対象機種：FE5U（L）/ FE6U（L）/ FEU1（L）

機外静圧の設定（ビルトインオールダクト形）					
室内ユニット					項目コード
28 ～ 56 形	71 ～ 80 形	90 形	112 ～ 140 形	160 形	B 0
急風の機外静圧（Pa）					
-	210	-	210	-	0014
200	200	200	200	200	0013
180	180	180	180	180	0012
160	160	160	160	160	0011
150	150	150	150	150	0010
140	140	140	140	140	0009
130	130	130	130	130	0008
120	120	120	120	120	0007
100	100	100	110	110	0006
70	70	70	100	100	0005
60	60	60	70	70	0004
50	50	50	50	50	0003
30	30	30	30	30	0002
10	10	10	10	10	0001
自動風量設定無し※					-001
自動風量設定					-002

※工場出荷時

表 1-2　機外静圧の設定

対象機種：FE7C（L）

機外静圧の設定（ビルトインオールダクト形）			
室内ユニット			項目コード
50,56 形	63 ～ 80 形	112 ～ 160 形	B 0
急風の機外静圧（Pa）			
-	210	210	0014
200	200	200	0013
180	180	180	0012
160	160	160	0011
150	150	150	0010
140	140	140	0009
130	130	130	0008
120	120	120	0007
100	100	110	0006
70	70	100	0005
60	60	70	0004
50	50	50	0003
30	30	30	0002
10	10	10	0001
自動風量設定無し※			-001
自動風量設定			-002

※工場出荷時

表 2　フィルター初期圧力損失

HH（急風）定格風量時の各フィルターの初期圧力損失は以下となります。

対象機種：FE5U（L）/ FE6U（L）/ FEU1（L）

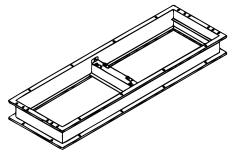
各フィルター初期圧力損失（単位：Pa）	28 ～ 56	71 ～ 80	90	112	140	160
高性能フィルター（比色法 65 %）	23.3	21.4	31.1	21.4	26.5	32.0
高性能フィルター（比色法 90 %）	29.8	26.7	37.6	26.2	31.2	36.2
ロングライフフィルター	7.5	6.7	9.1	6.6	7.8	9.0

対象機種：FE7C（L）

各フィルター初期圧力損失（単位：Pa）	50 ～ 56	63 ～ 80	112	140	160
高性能フィルター（比色法 65 %）	23.3	21.4	21.4	23.9	26.5
高性能フィルター（比色法 90 %）	29.8	26.7	26.2	28.7	31.2
ロングライフフィルター	7.5	6.7	6.6	7.2	7.8

室内ユニット「タイプ B」に接続する場合の設定方法

＊ 接続する室内ユニットのタイプは本据付工事説明書の 1 ページをご確認ください。

本体	付属品			
フィルターチャンバー	取付ネジ		取付説明書	据付工事説明書 試運転編 補足
	(M5 × L16)  56 形：　4 本 90 形：　4 本 160 形：　4 本	(M4 × L12)  56 形：　4 本 90 形：　8 本 160 形：12 本		

＊ フィルターは別売の高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用してください。

■取付け前に

① 室内ユニットに取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。
取付方法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。

② 高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用する場合は、機外静圧設定方法に従って静圧設定を行ってください。

③ フィルターチャンバーと天井面との寸法が､図 5 ～図 7 に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。

④ ビルトイン小パネル（別売）の天井開口寸法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書またはビルトイン小パネル（別売）に付属の取付説明書を参照してください。

1. ビルトイン小パネルとの併用

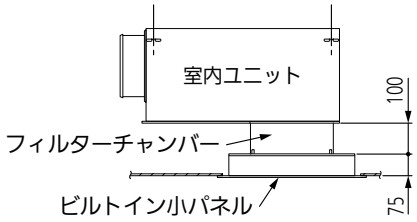


図 5

2. ビルトイン小パネル、スライドチャンバーとの併用

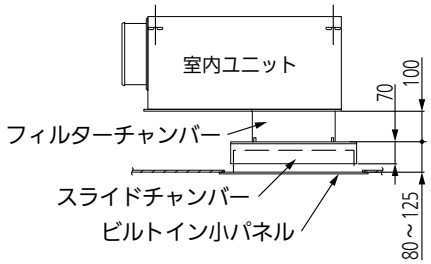


図 6

3. ビルトイン小パネル、キャンバスダクトとの併用

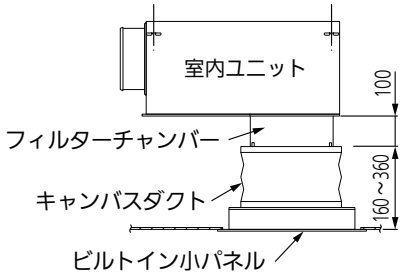


図 7

■取付けかた

① フィルターチャンバーを付属の取付ネジで、室内ユニットに確実に固定します。（図 8）
（56 形…M 5 : 4 本・M 4 : 4 本、90 形…M 5 : 4 本・M 4 : 8 本、160 形…M 5 : 4 本、M 4 : 12 本）

② 56 形を取り付ける場合は、フィルター押えフックが電装ボックス側に来るように配置してください。

③ フィルターはフィルターチャンバーの片側に差込み、フィルター押えフックを 90 度回転させて固定します。
取り付けについては、高性能フィルターまたは、ロングライフフィルター付属の取付説明書を参照してください。

■併用別売品の取付けかた

• 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

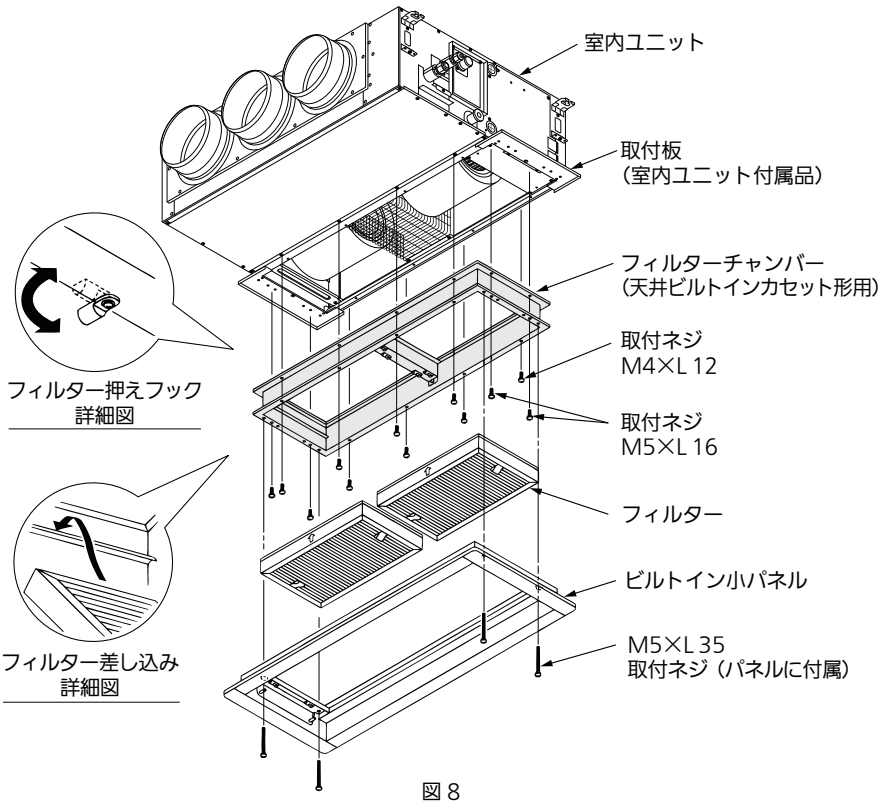


図 8

■機外静圧設定方法

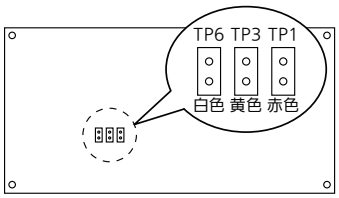
基板から設定する場合（高性能フィルターを使用する場合）

＊ロングライフフィルターの場合はこの作業は不要です

① 漏電しゃ断器を OFF にして、基板への電源供給を停止してください。

② 電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 9）

③ 電装ボックスのふたの内側に貼り付けてある短絡コネクター（2P：黄色）を室内コントロール基板の短絡ピン TP3（2P：黄色）に接続してください。



（図 9）室内コントロール基板

ワイヤードリモコン・タイマーリモコンで設定する場合
（機外静圧に合わせてファンモータータップを設定する場合）

機外静圧設定は定格機外静圧時を想定していますので、それ以外の場合は、室内ユニット据付工事説明書の“機外静圧設定”を参照してください。

■ 手順

停止中に行ってください。別売品名称を表 3 でご確認ください。

① 点検 + 取消 + セット ボタンを同時に 4 秒以上押します。

② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③ 温度設定 ▼ / ▲ ボタンで項目コード「 b0 」を指定します。

④ 時間 ▼ / ▲ ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表 3 のようになっています。

⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

＊ フィルターサイン点灯時間の設定はフィルターの仕様書およびテクニカルガイドを参照してください。

（ワイヤードリモコンの場合）

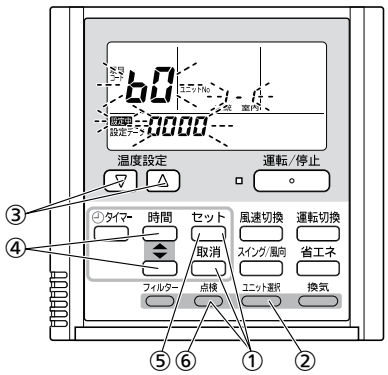


表 3　静圧設定表

ビルトインオールダクト形に取り付ける場合	
リモコンの設定データ 項目コード b0	別売品名称
0015	高性能フィルター 90 %　AFT-HBD50T
0015	高性能フィルター 90 %　AFT-HBD80T
0015	高性能フィルター 90 %　AFT-HBD140T
0015	高性能フィルター 65 %　AFT-MBD50T
0015	高性能フィルター 65 %　AFT-MBD80T
0015	高性能フィルター 65 %　AFT-MBD140T
0008	ロングライフフィルター　AFT-LBD50T
0008	ロングライフフィルター　AFT-LBD80T
0011	ロングライフフィルター　AFT-LBD140T

多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT4 シリーズ）で設定する場合

機外静圧設定および試運転

■ 手順 1：機外静圧設定



多機能ワイヤードリモコン

●出荷時のまま機外静圧を変更しない場合

手順 2　機外静圧設定チェック運転を実施してください。

●多機能ワイヤードリモコンから手動で機外静圧を設定する場合

- ビルトインカセット形：10Pa ～ 80Pa※
- ビルトインオールダクト形：10Pa ～ 150Pa

別売フィルターを取り付ける場合

※ 56 形以下は 60Pa

① 戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、 ◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。

「8. 詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。[詳細設定画面] が表示されます。

▼ / ▲ ボタンで変更するユニット No を選択してください。

③ ◀ / ▶ ボタンで項目コードを選択してください。

▼ / ▲ ボタンで項目コードを「B0」に変更してください。

④ ◀ / ▶ ボタンで設定データを選択してください。

▼ / ▲ ボタンで設定したい機外静圧にあわせて、設定データを「0001」～「0015」のいずれかに変更し、 決定 ボタンを押してください。

⑤ ◀ / ▶ ボタンでユニット No を選択後、 戻る ボタンを押してください。

［詳細設定終了画面］が表示されます。

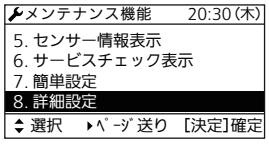
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

設定終了後、手順 2 の機外静圧設定チェック運転を実施してください。

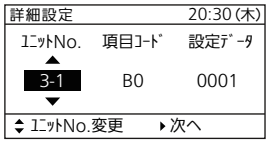
●自動風量設定

手順 1 ④で、設定データ「－ 002」に変更し、 決定 ボタンを押してください。

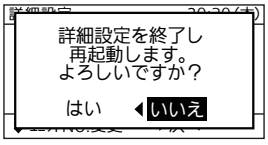
設定終了後、手順 2　自動風量調整運転を実施してください。



メンテナンス機能画面



試運転設定画面



詳細設定終了画面

リモコンの設定データ項目コード b0		別売品名称
ビルトインカセット形	ビルトインオールダクト形	
0015	0011	高性能フィルター 90 %
0015	0011	高性能フィルター 90 %
0015	0015	高性能フィルター 90 %
0015	0011	高性能フィルター 65 %
0015	0011	高性能フィルター 65 %
0015	0015	高性能フィルター 65 %
0008	0008	ロングライフフィルター
0011	0008	ロングライフフィルター
0011	0011	ロングライフフィルター

表 4　静圧設定表

ビルトインカセット形

機外静圧（Pa）		項目コード B0
22 ～ 56 形	63 ～ 160 形	設定データ
60	80	0015
―	60	0012
50	50	0011
34	39	0008
20	20	0006
10	10	0003
自動風量設定なし※		-001
自動風量設定		-002

※工場出荷時

ビルトインオールダクト形

機外静圧（Pa）		項目コード B0
28 ～ 90 形	112 ～ 160 形	設定データ
150	150	0015
140	140	0014
130	130	0013
120	120	0012
100	110	0011
70	100	0008
60	70	0006
50	50	0005
30	30	0003
10	10	0001
自動風量設定なし※		-001
自動風量設定		-002

※工場出荷時

■ 手順 2：機外静圧設定チェック運転または自動風量調整運転

① 戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

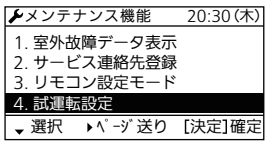
② ▼ / ▲ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
「4. 試運転設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。[試運転設定画面] が表示されます。
▼ / ▲ ボタンでオフ→オンに変更し、決定 ボタンを押してください。
メンテナンス機能画面が表示されます。

③ 戻る ボタンを押してください。試運転 が表示されます。

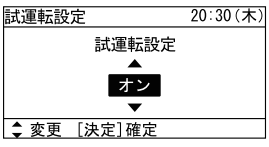
④ 運転/停止 ボタンを押してください。試運転が開始されます。

⑤ ◀ / ▶ ボタン、▼ / ▲ ボタンで、運転モード「送風」、風速「急」に設定し、
決定 ボタンを押してください。
（この設定以外では自動風量調整運転（機外静圧設定チェック運転）を行いません）
ファンモーターが起動し、自動風量調整運転（約 3 ～ 30 分）を開始します。この運転中は風速が変化します。
完了すると液晶部の 試運転 表示が消灯します。

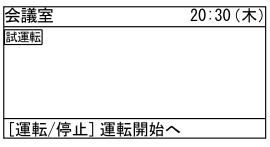
⑥ 運転/停止 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

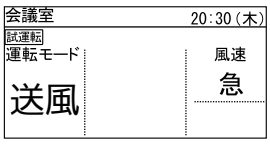


メンテナンス機能画面



試運転設定画面





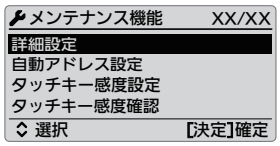
多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5 シリーズ）で設定する場合

■ 手順 1：手動設定または自動風量設定方法



多機能ワイヤードリモコン
（CZ-10RT5 シリーズ）

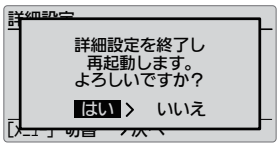
- 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
  メンテナンス機能画面が表示されます。
- ∧ / ∨ ボタンで［詳細設定］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
  詳細設定画面が表示されます。
- ∧ / ∨ ボタンで変更するユニット No. を選択してください。
- ＜ / ＞ ボタンで項目コード / 設定データの選択を切り換えてください。
- ∧ / ∨ ボタンで項目コード［0000B0］としてください。
- ＜ / ＞ ボタンで設定データの選択を切り替えてください。
- ∧ / ∨ ボタンで設定データを変更します。
  手動設定の場合は、設定したい機外静圧にあわせて設定データを［0001 ～ 0015］のいずれかに変更し、 決定 ボタンを押してください。
  自動風量設定の場合は設定データを「－ 002」に変更します。
- 戻る ボタンを押して、再起動［はい］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
  設定終了後、次の手順 2 を実施してください。



メンテナンス機能画面



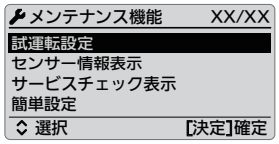
詳細設定画面



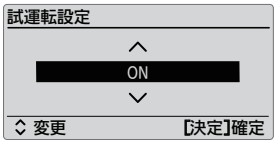
詳細設定終了画面

■ 手順 2：機外静圧設定チェック運転または自動風量調整運転

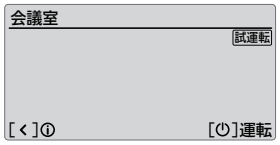
- 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ∧ / ∨ ボタンで［試運転設定］を選択し、 決定 ボタンを押してください。試運転画面が表示されます。
- ∧ / ∨ ボタンで試運転設定、［ON］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
- 戻る ボタンを押し、リモコンに 試運転 と表示していることを確認してください。
- ⏻ ボタンを押すと試運転を開始します。
- ＜ / ＞ ボタン ∧ / ∨ ボタンで運転モードを「送風」、風速を「急 」に設定し、 決定 ボタンを押してください。
  （この設定以外では自動風量調整運転（機外静圧設定チェック運転）を行いません）
- ファンモーターが起動し、自動風量調整運転（約 3 ～ 30 分）を開始します。この運転中は風速が変化します。
- 完了すると液晶部の 試運転 表示が消灯します。
- ⏻ ボタンを押します。通常の停止状態となります。



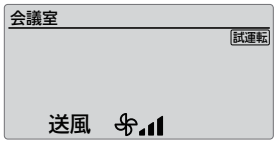
メンテナンス機能画面



試運転設定画面



試運転画面



運転モード画面

●ビルトインオールダクト用フィルターチャンバー据付工事説明書

Panasonic

据付工事説明書（詳細版）

フィルターチャンバー

品番　CMB-FBU50T,CMB-FBU80T,CMB-FBU140T

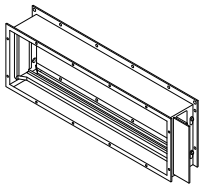
適用室内ユニット　ビルトインオールダクト形 FE シリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

本製品は、接続する室内ユニットによって設定方法が異なりますので、下記の対応表をご確認いただき、それぞれの設定方法に従って作業を行ってください。
設定の前に、必ずカタログもしくは設備設計資料をご確認ください。

		タイプ A		タイプ B	
参照ページ		2 ～ 5 ページ		6 ページ以降	
室内ユニット品番	オフィス・店舗用エアコン	CS-FE7C シリーズ	ー	CS-FE7B、FE7、FE6、FE5、FE4 シリーズ	CS-FE3 シリーズ
	ビル用マルチエアコン	ー	CS-FE6U、FE5U シリーズ	CS-FE4U シリーズ	ー
	ガスヒートポンプエアコン	ー	S-FEU1 シリーズ	S-FES2 シリーズ	S-FES1、SGP-K1 シリーズ
リモコンで設定する場合	CZ-10RT5 シリーズリモコンからの設定	○		○	ー
	CZ-10RT4 シリーズリモコンからの設定	ー	ー	○	ー
	CZ-10RT3 シリーズリモコンからの設定	○		○	ー
基板から設定する場合	ディップスイッチ	○	ー	ー	ー
	ピン	ー	ー	○	ー
中継コネクターで設定する場合		ー	ー	ー	○

室内ユニット「タイプ A」に接続する場合の設定方法

＊ 接続する室内ユニットのタイプは本据付工事説明書の 1 ページをご確認ください。

本体	付属品	
フィルターチャンバー	取付ネジ	取付説明書
	（M4 ×L 12）  50 形：　8 本 80 形：12 本 140 形：16 本	

＊ フィルターは別売の高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用してください。

■取付け前に

① 室内ユニットに接続チャンバー（別売）を取り付けます。

② 高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用する場合は、機外静圧設定方法に従って静圧設定を行ってください。

■取付けかた

① フィルターチャンバーのフランジ（A 部）は、上下によって曲げ方向が異なります。内曲げを上にして取り付けてください。（図 1）

② フィルターチャンバーは室内ユニットに付属の取付ネジで確実に固定してください。（図 1）
（50 形…8 本、80 形…12 本、140 形…16 本）

③ フィルターは、フィルターチャンバー側面にあるフック（2 個）を 90 度回転させメンテふたを開き、側面から挿入します。（図 1）

④ フィルター挿入後、メンテふたを閉じて、フックを回転させて確実に固定します。

⑤ フィルターの詳細は、高性能フィルターまたは、ロングライフフィルター付属の取付説明書を参照してください。

■併用別売品の取付けかた

• 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

接続チャンバー対応機種一覧

機種	接続チャンバー
FE3／FES1／K1	不要
FE4 ～ FE7／FE7B／FE4U／FES2	CZ-SPF1
FE5U／FE6U／FEU1／FE7C	CZ-SPF2

（注）フィルターは左右どちらからでも挿入できます。

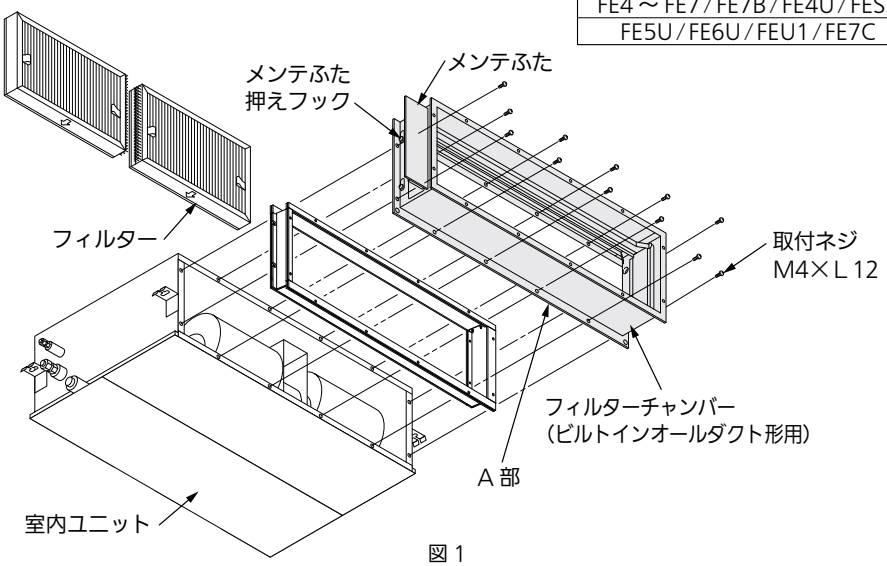


図 1

WEB-ACXF60-20761-00
WEB-BE0925

■機外静圧設定方法

● 下記に記載のない形式は、QR コードから据付工事説明書（詳細版）をご確認ください。

基板から設定する場合

対象形式：FE7C（L）

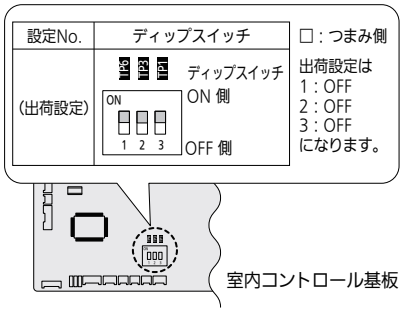
＊ FE5U（L）/ FE6U（L）/ FEU1（L）では基板からの設定はできません。

必ず配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってください。

- ご使用の用途に応じた設定 No. を右表で確認してください。
- 電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。
- 右表で確認した設定 No. に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

ビルトインオールダクト形静圧対応

設定 No.	50-56 形	63-80 形	112-160 形
（出荷設定）	70 Pa	70 Pa	100 Pa
（1）	100 Pa	100 Pa	110 Pa
（3）	150 Pa	150 Pa	150 Pa
（6）	200 Pa	210 Pa	210 Pa



□: つまみ側

設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ
(1)	ON 側 / OFF 側	(3)	ON 側 / OFF 側	(6)	ON 側 / OFF 側

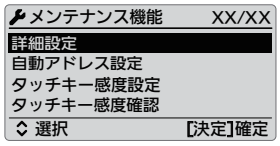
多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5 シリーズ）で設定する場合

■ 手順 1：手動設定または自動風量設定方法



多機能ワイヤードリモコン
（CZ-10RT5 シリーズ）

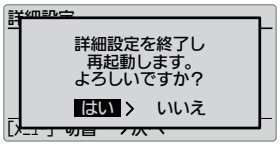
- 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
  メンテナンス機能画面が表示されます。
- ∧ / ∨ ボタンで［詳細設定］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
  詳細設定画面が表示されます。
- ∧ / ∨ ボタンで変更するユニット No. を選択してください。
- ＜ / ＞ ボタンで項目コード / 設定データの選択を切り換えてください。
- ∧ / ∨ ボタンで項目コード［0000B0］としてください。
- ＜ / ＞ ボタンで設定データの選択を切り替えてください。
- ∧ / ∨ ボタンで設定データを変更します。
  手動設定の場合は、現場の機外静圧と表 2 のフィルター初期圧力損失を元に表 1-1、1-2 を参照し設定データを［0001 ～ 0014］のいずれかに変更し、 決定 ボタンを押してください。
  自動風量設定の場合は設定データを「－ 002」に変更します。
- 戻る ボタンを押して、再起動［はい］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
  設定終了後、次の手順 2 を実施してください。



メンテナンス機能画面



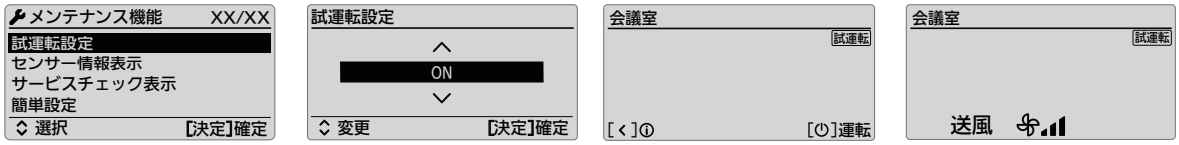
詳細設定画面



詳細設定終了画面

■ 手順 2：機外静圧設定チェック運転または自動風量調整運転

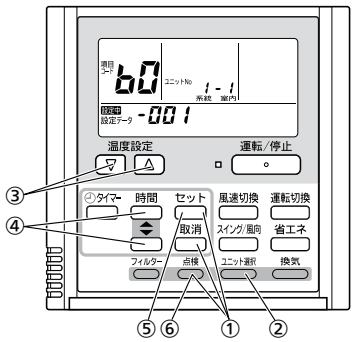
- 戻る + 決定 + ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ∧ / ∨ ボタンで［試運転設定］を選択し、 決定 ボタンを押してください。試運転画面が表示されます。
- ∧ / ∨ ボタンで試運転設定、［ON］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
- 戻る ボタンを押し、リモコンに 試運転 と表示していることを確認してください。
- ⏻ ボタンを押すと試運転を開始します。
- ＜ / ＞ ボタン ∧ / ∨ ボタンで運転モードを「送風」、風速を「急 」に設定し、 決定 ボタンを押してください。
（この設定以外では自動風量調整運転（機外静圧設定チェック運転）を行いません）
- ファンモーターが起動し、自動風量調整運転（約 3 ～ 42 分）を開始します。この運転中は風速が変化します。
- 完了すると液晶部の 試運転 表示が消灯します。
- ⏻ ボタンを押します。通常の停止状態となります。



メンテナンス機能画面　試運転設定画面　試運転画面　運転モード画面

ワイヤードリモコン（CZ-10RT3 シリーズ）で設定する場合

■ 手順 1：手動設定または自動風量設定方法



① 点検 + 取消 + セット ボタンを同時に 4 秒以上押します。
（リモコンの液晶部に「 設定中 」と「ユニット No」
「項目コード」「設定データ」が点滅表示されます）

② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③ 温度設定 ▲ / ▼ ボタンで項目コード「 bO 」を指定し、値を確認します。（出荷時は「 -001 」）

④ 値を、時間 ▲ / ▼ ボタンで設定データを変更します。
手動設定の場合は、現場の機外静圧と表 2 のフィルター初期圧力損失を元に表 1-1、1-2 を参照し「 0001 」～「 0014 」を選択します。
自動風量設定の場合は「 -002 」を選択します。

⑤ セット ボタンを押します。
表示が点滅から点灯に変わります。

⑥ 点検 ボタンを押します。ファンモーターが停止し、通常の停止状態表示に戻ります。

■ 手順 2：機外静圧設定チェック運転または自動風量調整運転

① 点検 ボタンを４秒以上押します。液晶表示部に「 試運転 」と表示されます。

② 運転 / 停止 ボタンを押し、試運転を開始します。
試運転中は液晶部に「 試運転 」と表示されます。

③送風モードを選択し、風速切替で「急」に設定します。
【注意：送風モード、「急」風以外では、自動風量調整運転、機外静圧設定チェック運転を行いません】

④ファンモーターが起動し、自動風量調整運転または機外静圧設定チェック運転を開始します。
この運転中は風速が変化します。機外静圧設定チェック運転や自動風量調整運転は約 3 ～ 42 分で完了します。液晶部の「 試運転 」表示が消灯します。

⑤ 運転 / 停止 ボタンを押し、試運転を停止します。

表 1-1　機外静圧の設定

対象機種：FE5U（L）/ FE6U（L）/ FEU1（L）

機外静圧の設定（ビルトインオールダクト形）					
室内ユニット					項目コード
28 ～ 56 形	71 ～ 80 形	90 形	112 ～ 140 形	160 形	B 0
急風の機外静圧（Pa）					
-	210	-	210	-	0014
200	200	200	200	200	0013
180	180	180	180	180	0012
160	160	160	160	160	0011
150	150	150	150	150	0010
140	140	140	140	140	0009
130	130	130	130	130	0008
120	120	120	120	120	0007
100	100	100	110	110	0006
70	70	70	100	100	0005
60	60	60	70	70	0004
50	50	50	50	50	0003
30	30	30	30	30	0002
10	10	10	10	10	0001
自動風量設定無し※					-001
自動風量設定					-002

※工場出荷時

表 1-2　機外静圧の設定

対象機種：FE7C（L）

機外静圧の設定（ビルトインオールダクト形）			
室内ユニット			項目コード
50,56 形	63 ～ 80 形	112 ～ 160 形	B 0
急風の機外静圧（Pa）			
-	210	210	0014
200	200	200	0013
180	180	180	0012
160	160	160	0011
150	150	150	0010
140	140	140	0009
130	130	130	0008
120	120	120	0007
100	100	110	0006
70	70	100	0005
60	60	70	0004
50	50	50	0003
30	30	30	0002
10	10	10	0001
自動風量設定無し※			-001
自動風量設定			-002

※工場出荷時

表 2　フィルター初期圧力損失

HH（急風）定格風量時の各フィルターの初期圧力損失は以下となります。

対象機種：FE5U（L）/ FE6U（L）/ FEU1（L）

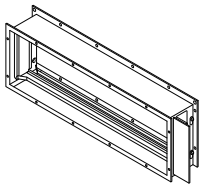
各フィルター初期圧力損失（単位：Pa）	28 ～ 56	71 ～ 80	90	112	140	160
高性能フィルター（比色法 65 %）	23.3	21.4	31.1	21.4	26.5	32.0
高性能フィルター（比色法 90 %）	29.8	26.7	37.6	26.2	31.2	36.2
ロングライフフィルター	7.5	6.7	9.1	6.6	7.8	9.0

対象機種：FE7C（L）

各フィルター初期圧力損失（単位：Pa）	50 ～ 56	63 ～ 80	112	140	160
高性能フィルター（比色法 65 %）	23.3	21.4	21.4	23.9	26.5
高性能フィルター（比色法 90 %）	29.8	26.7	26.2	28.7	31.2
ロングライフフィルター	7.5	6.7	6.6	7.2	7.8

室内ユニット「タイプ B」に接続する場合の設定方法

＊ 接続する室内ユニットのタイプは本据付工事説明書の 1 ページをご確認ください。

本体	付属品		
フィルターチャンバー	取付ネジ	取付説明書	据付工事説明書 試運転編 補足
	(M4 ×L 12)  50 形： 8 本 80 形：12 本 140 形：16 本		

＊ フィルターは別売の高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用してください。

■取付け前に

① 室内ユニットに接続チャンバー（別売）を取り付けます。（FE3、FES1、K1 機種を除く）

② 高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用する場合は、裏面の設定方法に従って静圧設定を行ってください。
また、FE3、FES1、K1 機種に高性能フィルターを取り付ける場合は、室内ユニットの電装蓋をはずし、ファンモーターと基板コネクターの間に室内ユニット付属の中継コネクターを接続してください。
※ FE3、FES1、K1 機種にロングライフフィルターを取り付ける場合、中継コネクターは接続しないでください。

■取付けかた

① フィルターチャンバーのフランジ（A 部）は、上下によって曲げ方向が異なります。内曲げを上にして取り付けてください。（図 2）

② フィルターチャンバーは室内ユニットに付属の取付ネジで確実に固定してください。（図 2）
（50 形…8 本、80 形…12 本、140 形…16 本）

③ フィルターは、フィルターチャンバー側面にあるフック（2 個）を 90 度回転させメンテ蓋を開き、側面から挿入します。（図 2）

④ フィルター挿入後、メンテ蓋を閉じて、フックを回転させて確実に固定します。

⑤ フィルターの詳細は、高性能フィルターまたは、ロングライフフィルター付属の取付説明書を参照してください。

■併用別売品の取付けかた

• 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

（注）フィルターは左右どちらからでも挿入できます。

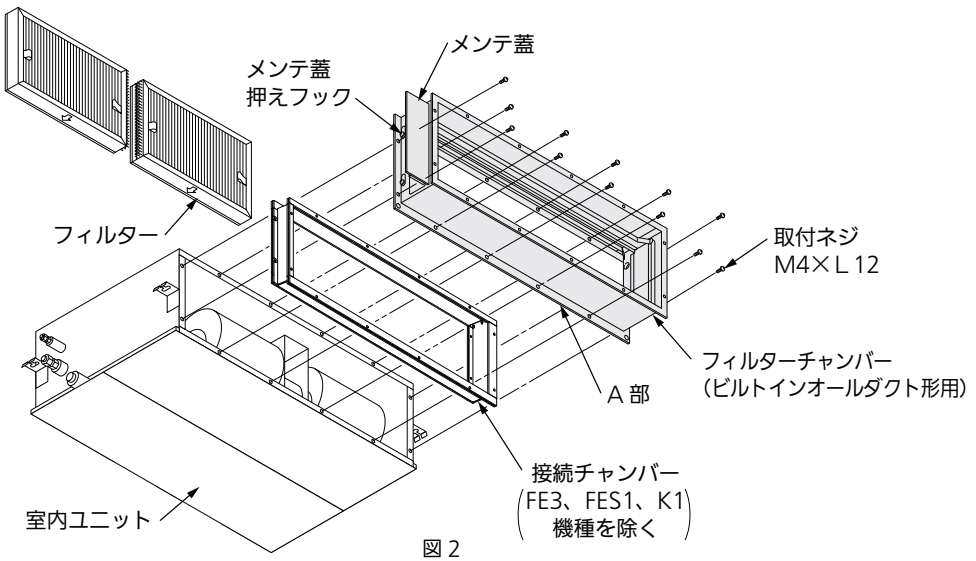


図 2

■機外静圧設定方法

基板から設定する場合（高性能フィルターを使用する場合）

＊ロングライフフィルターの場合はこの作業は不要です

＊FE3、FES1、K1 機種に高性能フィルターを取り付ける場合は室内ユニット付属の中継コネクターを使用してください。

① 漏電しゃ断器を OFF にして、基板への電源供給を停止してください。

② 電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 3）

③ 電装ボックスの蓋の内側に貼り付けてある短絡コネクター（2P：黄色）を室内コントロール基板の短絡ピン TP3（2P：黄色）に接続してください。

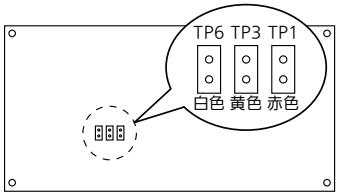


図 3　室内コントロール基板

ワイヤードリモコン・タイマーリモコンで設定する場合
（機外静圧に合わせてファンモータータップを設定する場合）

機外静圧設定は定格機外静圧時を想定していますので、それ以外の場合は、室内ユニット据付工事説明書の“機外静圧設定”を参照してください。

＊FE3、FES1、K1 機種に高性能フィルターを取り付ける場合は室内ユニット付属の中継コネクターを使用してください。

■ 手順

停止中に行ってください。別売品名称を表 3 でご確認ください。

① 点検 + 取消 + セット ボタンを同時に 4 秒以上押します。

② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③ 温度設定 ▼ / ▲ ボタンで項目コード「 b0 」を指定します。

④ 時間 ▼ / ▲ ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表 3 のようになっています。

⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

＊ フィルターサイン点灯時間の設定はフィルターの仕様書およびテクニカルガイドを参照してください。

（ワイヤードリモコンの場合）

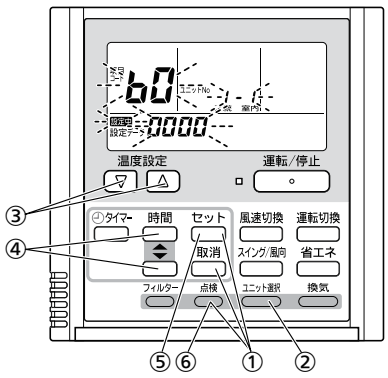


表 3　静圧設定表

ビルトインオールダクト形に取り付ける場合	
リモコンの設定データ 項目コード b0	別売品名称
0011	高性能フィルター 90 %　AFT-HBD50T
0011	高性能フィルター 90 %　AFT-HBD80T
0015	高性能フィルター 90 %　AFT-HBD140T
0011	高性能フィルター 65 %　AFT-MBD50T
0011	高性能フィルター 65 %　AFT-MBD80T
0015	高性能フィルター 65 %　AFT-MBD140T
0008	ロングライフフィルター　AFT-LBD50T
0008	ロングライフフィルター　AFT-LBD80T
0011	ロングライフフィルター　AFT-LBD140T

多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT4 シリーズ）で設定する場合

機外静圧設定および試運転

■ 手順 1：機外静圧設定



多機能ワイヤードリモコン

●出荷時のまま機外静圧を変更しない場合

手順 2　機外静圧設定チェック運転を実施してください。

●多機能ワイヤードリモコンから手動で機外静圧を設定する場合

- ビルトインカセット形：10Pa ～ 80Pa※
- ビルトインオールダクト形：10Pa ～ 150Pa

別売フィルターを取り付ける場合

※ 56 形以下は 60Pa

① 戻る + 決定 + ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
「8. 詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。[詳細設定画面] が表示されます。

▼ / ▲ ボタンで変更するユニット No を選択してください。

③ ◀ / ▶ ボタンで項目コードを選択してください。

▼ / ▲ ボタンで項目コードを「B0」に変更してください。

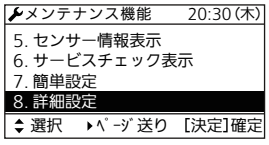
④ ◀ / ▶ ボタンで設定データを選択してください。

▼ / ▲ ボタンで設定したい機外静圧にあわせて、設定データを「0001」～「0015」のいずれかに変更し、決定 ボタンを押してください。

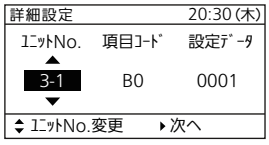
⑤ ◀ / ▶ ボタンでユニット No を選択後、戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。
設定終了後、手順 2 の機外静圧設定チェック運転を実施してください。

●自動風量設定

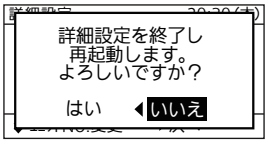
手順 1 ④で、設定データ「－ 002」に変更し、決定 ボタンを押してください。
設定終了後、手順 2　自動風量調整運転を実施してください。



メンテナンス機能画面



試運転設定画面



詳細設定終了画面

リモコンの設定データ項目コード b0		別売品名称
ビルトインカセット形	ビルトインオールダクト形	
0015	0011	高性能フィルター 90 %
0015	0011	高性能フィルター 90 %
0015	0015	高性能フィルター 90 %
0015	0011	高性能フィルター 65 %
0015	0011	高性能フィルター 65 %
0015	0015	高性能フィルター 65 %
0008	0008	ロングライフフィルター
0011	0008	ロングライフフィルター
0011	0011	ロングライフフィルター

表 4　静圧設定表

ビルトインカセット形

機外静圧（Pa）		項目コード B0
22 ～ 56 形	63 ～ 160 形	設定データ
60	80	0015
―	60	0012
50	50	0011
34	39	0008
20	20	0006
10	10	0003
自動風量設定なし※		-001
自動風量設定		-002

※工場出荷時

ビルトインオールダクト形

機外静圧（Pa）		項目コード B0
28 ～ 90 形	112 ～ 160 形	設定データ
150	150	0015
140	140	0014
130	130	0013
120	120	0012
100	110	0011
70	100	0008
60	70	0006
50	50	0005
30	30	0003
10	10	0001
自動風量設定なし※		-001
自動風量設定		-002

※工場出荷時

■ 手順 2：機外静圧設定チェック運転または自動風量調整運転

① 戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

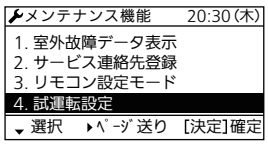
② ▼ / ▲ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
「4. 試運転設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。[試運転設定画面] が表示されます。
▼ / ▲ ボタンでオフ→オンに変更し、決定 ボタンを押してください。
メンテナンス機能画面が表示されます。

③ 戻る ボタンを押してください。試運転 が表示されます。

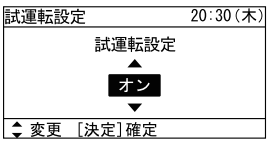
④ 運転/停止 ボタンを押してください。試運転が開始されます。

⑤ ◀ / ▶ ボタン、▼ / ▲ ボタンで、運転モード「送風」、風速「急」に設定し、
決定 ボタンを押してください。
（この設定以外では自動風量調整運転（機外静圧設定チェック運転）を行いません）
ファンモーターが起動し、自動風量調整運転（約 3 ～ 30 分）を開始します。この運転中は風速が変化します。
完了すると液晶部の 試運転 表示が消灯します。

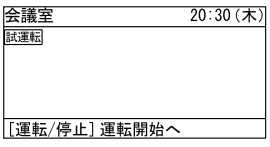
⑥ 運転/停止 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

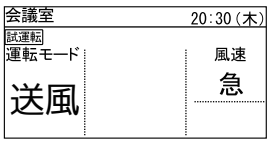


メンテナンス機能画面



試運転設定画面





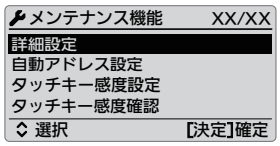
多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5 シリーズ）で設定する場合

■ 手順 1：手動設定または自動風量設定方法



多機能ワイヤードリモコン
（CZ-10RT5 シリーズ）

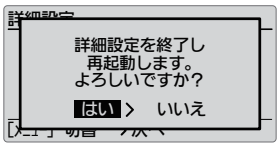
- 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
  メンテナンス機能画面が表示されます。
- ＜ / ＞ ボタンで［詳細設定］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
  詳細設定画面が表示されます。
- ＜ / ＞ ボタンで変更するユニット No. を選択してください。
- ＜ / ＞ ボタンで項目コード / 設定データの選択を切り換えてください。
- ＜ / ＞ ボタンで項目コード［0000B0］としてください。
- ＜ / ＞ ボタンで設定データの選択を切り替えてください。
- ＜ / ＞ ボタンで設定データを変更します。
  手動設定の場合は、設定したい機外静圧にあわせて設定データを［0001 ～ 0015］のいずれかに変更し、 決定 ボタンを押してください。
  自動風量設定の場合は設定データを「－ 002」に変更します。
- 戻る ボタンを押して、再起動［はい］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
  設定終了後、次の手順 2 を実施してください。



メンテナンス機能画面



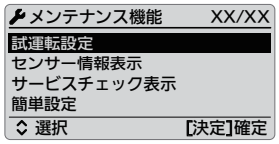
詳細設定画面



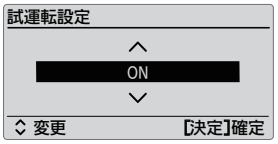
詳細設定終了画面

■ 手順 2：機外静圧設定チェック運転または自動風量調整運転

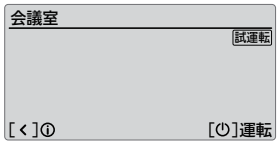
- 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
- ＜ / ＞ ボタンで［試運転設定］を選択し、 決定 ボタンを押してください。試運転画面が表示されます。
- ＜ / ＞ ボタンで試運転設定、［ON］を選択し、 決定 ボタンを押してください。
- 戻る ボタンを押し、リモコンに 試運転 と表示していることを確認してください。
- ⏻ ボタンを押すと試運転を開始します。
- ＜ / ＞ ボタン ＜ / ＞ ボタンで運転モードを「送風」、風速を「急 」に設定し、 決定 ボタンを押してください。
  （この設定以外では自動風量調整運転（機外静圧設定チェック運転）を行いません）
- ファンモーターが起動し、自動風量調整運転（約 3 ～ 30 分）を開始します。この運転中は風速が変化します。
- 完了すると液晶部の 試運転 表示が消灯します。
- ⏻ ボタンを押します。通常の停止状態となります。



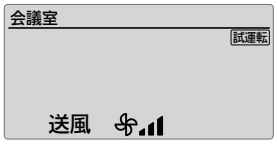
メンテナンス機能画面



試運転設定画面

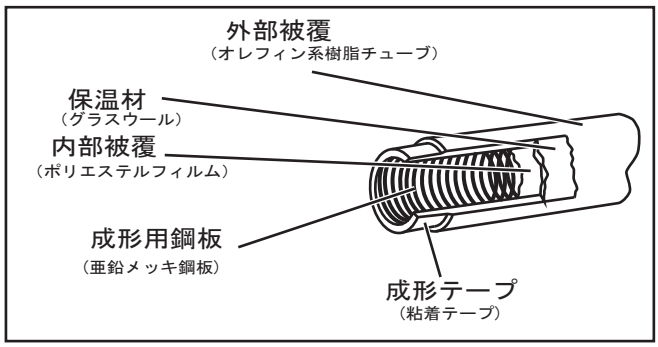


試運転画面



運転モード画面

■フレキシブルダクト　(CZ-F1510, F1520, F1550(φ 150)　CZ-F2010, F2020, F2050(φ 200))

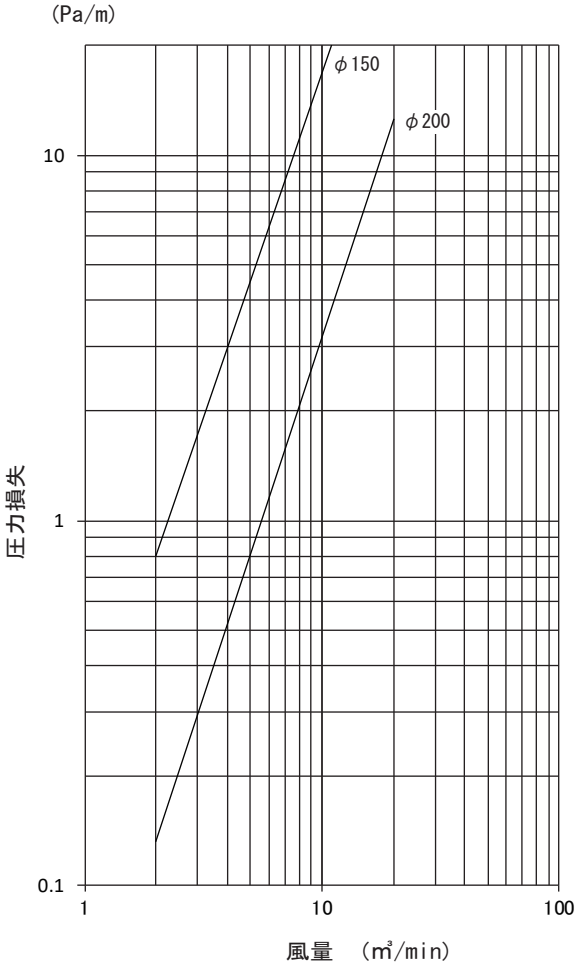


フレキシブルダクトは自由に曲げる事が出来、施工が困難な場所にもムリなく使用出来ます。
ダクト周囲温度が30℃、80%を超える場合は市販の高断熱仕様(断熱材厚さ：50mm程度)のダクトをご使用ください。

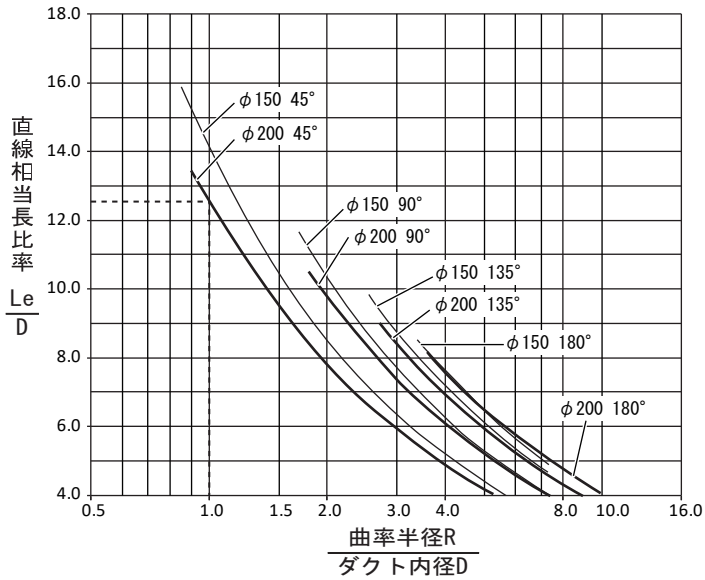
●仕様

品　　番	CZ-F2010	CZ-F2020	CZ-F2050	CZ-F1510	CZ-F1520	CZ-F1550
口　径　mm	φ200			φ150		
長　さ　m	1.0	2.0	5.0	1.0	2.0	5.0
使用温度	−10℃～80℃					
最大風速	15m / sec					
使用静圧	−150Pa～500Pa					
90° 最小曲率半径	360mm			255mm		
45° 最小曲率半径	180mm			128mm		
付　属　品	バンド×2, 断熱材×1, 粘着テープ×1			バンド×2, 断熱材×1, 粘着テープ×1		

●圧力損失(直線部)　図-1

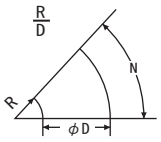


●曲り部の直線相当長比率　図-2



Leの目安

R/D	Le(m)		R/D	Le(m)	
	φ200	φ150		φ200	φ150
1.0	2.5	2.1	3.0	1.2	1.0
2.0	1.6	1.3	4.0	1.0	0.8

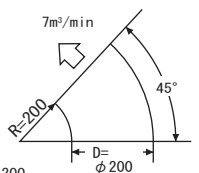


注) 最小曲率半径

φ200 : $\frac{N}{90}$ ×360(mm)

φ150 : $\frac{N}{90}$ ×250(mm)

曲線部抵抗の求め方

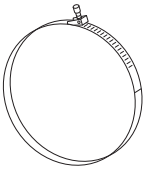
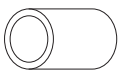


1. $\frac{R}{D}=\frac{200}{200}=1$
図-2より12.5が求まります。
2. Le=12.5D=12.5×0.2=2.5m
3. 図-1より7m³/minの圧力損失は1.6 Pa/mによって曲線部の抵抗は 1.6×2.5 = 4.0 Pa

フレキシブルダクト（丸）取付説明書

CZ-F1510, CZ-F1520, CZ-F1550
CZ-F2010, CZ-F2020, CZ-F2050

1. 付属品

① フレキシブルダクト　1 本	② バンド　2 個	③ 断熱材　1 枚	④ 粘着テープ　1 個
φ150 CZ-F1510 1m φ150 CZ-F1520 2m φ150 CZ-F1550 5m φ200 CZ-F2010 1m φ200 CZ-F2020 2m φ200 CZ-F2050 5m 		φ150 用 t 20×170×650 φ200 用 t 20×170×800 	長さ 10m 幅 50mm 

2. 取り付け要領

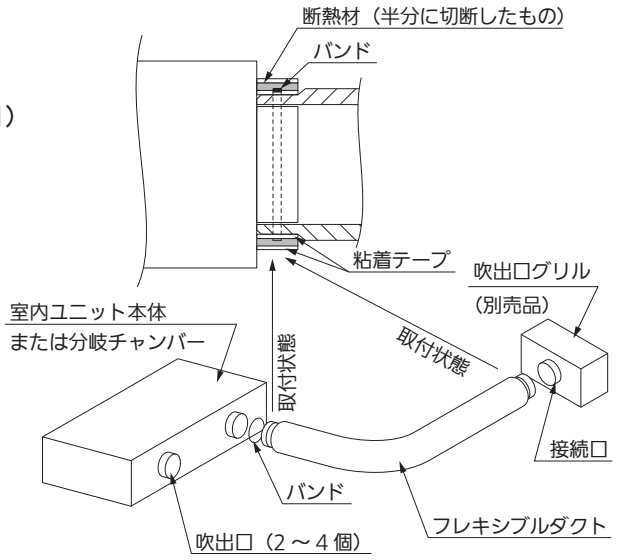
1）フレキシブルダクトを直列に 1 本だけ接続する場合（図 1）

（1）図 1 のようにフレキシブルダクト①の両端を室内ユニット本体または、分岐チャンバーおよび吹出口グリルの接続口の外側にかぶせるように接続し、フレキシブルダクトがはずれないようにそれぞれの端部をバンド②でしっかりと締め付けてください。

（2）粘着テープ④で十分にシールしてください。

（3）断熱材③を縦半分に切断し、フレキシブルダクトの両端を締め付けたバンドの上から巻き付けて断熱してください。

（4）最後に粘着テープ④を断熱材③がはがれないように、十分に巻き付けてください。この場合、断熱材③を圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材③を圧縮しないように巻き付けてください。



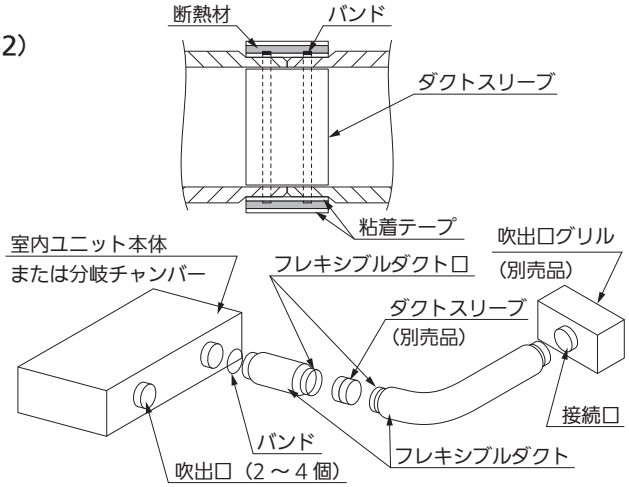
（図 1）フレキシブルダクトを直列に 1 本だけ接続する場合

2）フレキシブルダクトを直列に 2 本以上接続する場合（図 2）

フレキシブルダクトが 2 組以上と別売品のダクトスリーブ（CZ-SP15 または CZ-SP20）が 1 組以上必要

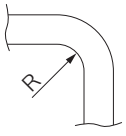
（1）室内ユニット本体または、分岐チャンバーおよび吹出口グリルへのフレキシブルダクトの接続は上記 1）と同様に実施してください。

（2）フレキシブルダクト同士の接続は図 2 のように別売品のダクトスリーブ（CZ-SP15 または CZ-SP20）をフレキシブルダクト口でかぶせるように接続し、1）の場合と同様に処理してください。この場合、断熱材③は切断せずにそのまま巻き付けて断熱してください。



（図 2）フレキシブルダクトを直列に 2 本接続する場合

ご注意	1. フレキシブルダクトの曲げ半径は右表に示す値以上にしてください。 2. 外皮を傷つけないよう注意してください。 3. 結露防止のため、接続部は隙間のないようシールしてください。

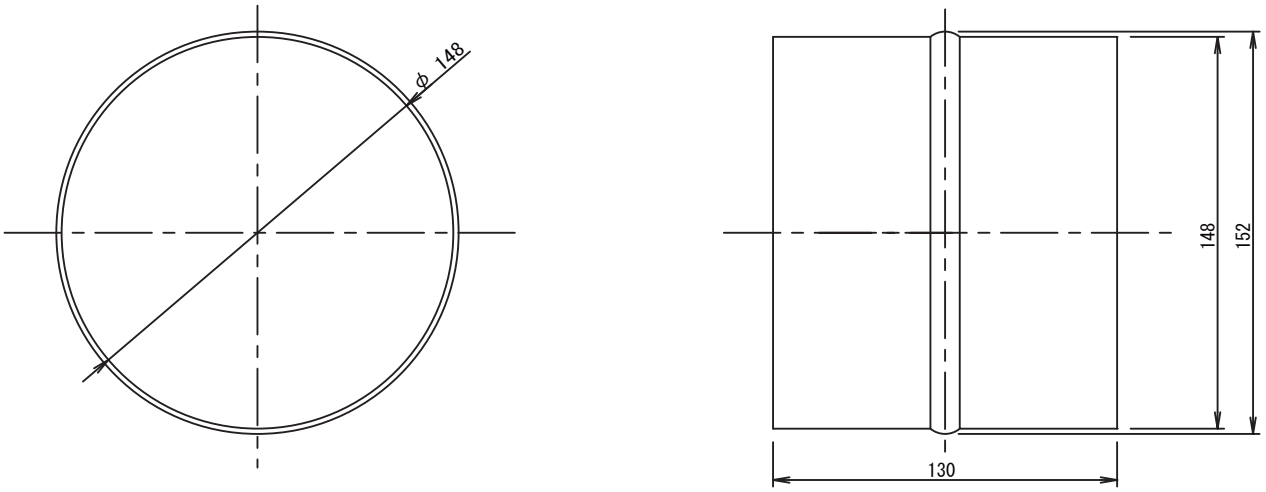


フレキシブルダクト径	R
φ150 用	25cm 以上
φ200 用	36cm 以上

85464369891000

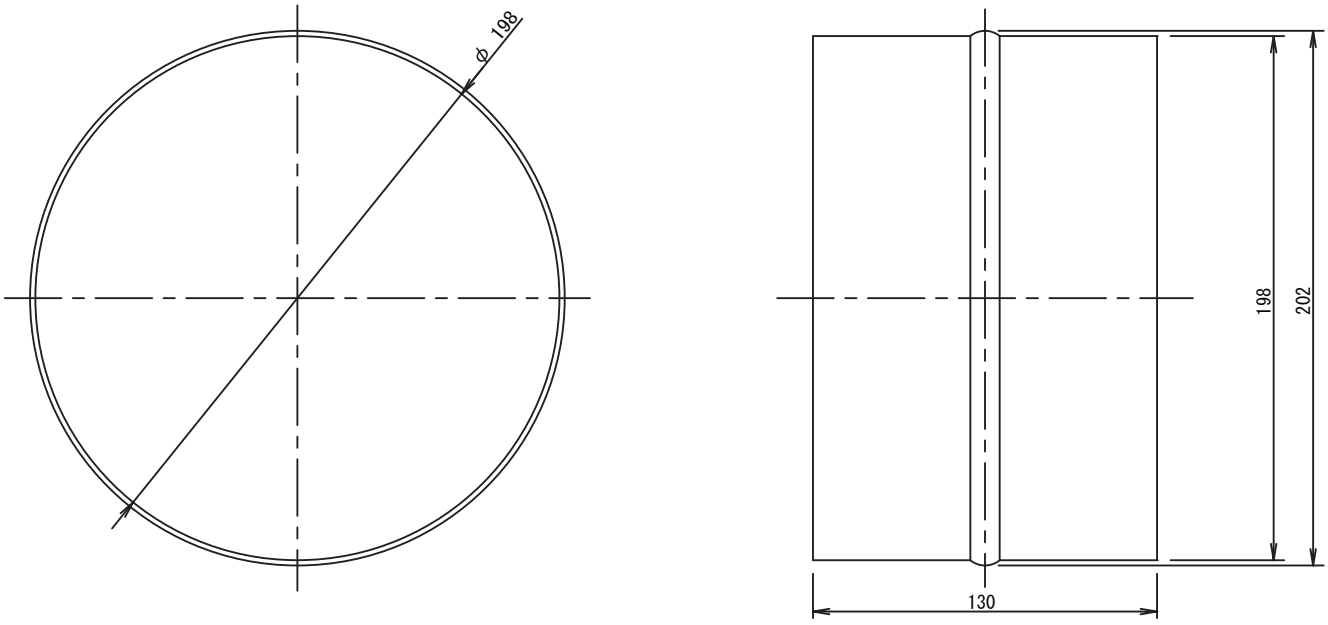
■ダクトスリーブ (CZ-SP15,SP20)

● CZ-SP15 外形寸法図



単位：mm

● CZ-SP20 外形寸法図



単位：mm

■自然気化式加湿器（CZ-07ASF2,10ASF2,20ASF2）

●天井ビルトインカセット形 仕様

加湿器品番			CZ-07ASF2		CZ-10ASF2			CZ-20ASF2		
適用室内ユニット			50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形	160形
加湿器方式			自然蒸発式							
室内ユニット風量		㎥/min	14	14	21	21	21	32	34	36
加湿性能　※1		kg/h	0750	0.750	1.00	1.00	1.00	2.00	2.02	2.04
XEPHY Premium（ハイグレードタイプ）各クラス最大能力 - 有効加湿量　※1		kg/h	0.80	0.84	0.90	0.95	1.05	2.10	2.23	2.25
XEPHY Eco（高効率タイプ）各クラス最大能力 - 有効加湿量　※1		kg/h	0.74	0.78	0.90	0.90	0.96	1.85	2.04	2.08
給水制御方式		ー	タイマー制御による断続給水							
給水量		L/h	9.4							
電源仕様		ー	単相 200V　50/60Hz							
本体質量		kg	3.7		4.3			5.7		
定格消費電力		W	5.5±10%							
使用条件	給水圧力	MPa	0.049（0.5kgf/㎠）～0.49（5kgf/㎠）							
	給水圧力（ポンプ使用時）	MPa	0.049（0.5kgf/㎠）～0.29（3kgf/㎠）							
	使用周囲温度・湿度	ー	1～40℃　90%RH 以下							
	使用水	ー	上水道またはこれと同等水質のこと（水温 5～40℃）							
	取付角度	ー	全方向共 ±2°以内のこと							
保護装置		ー	排水管詰まり発生時、フロートスイッチによる電磁弁停止							

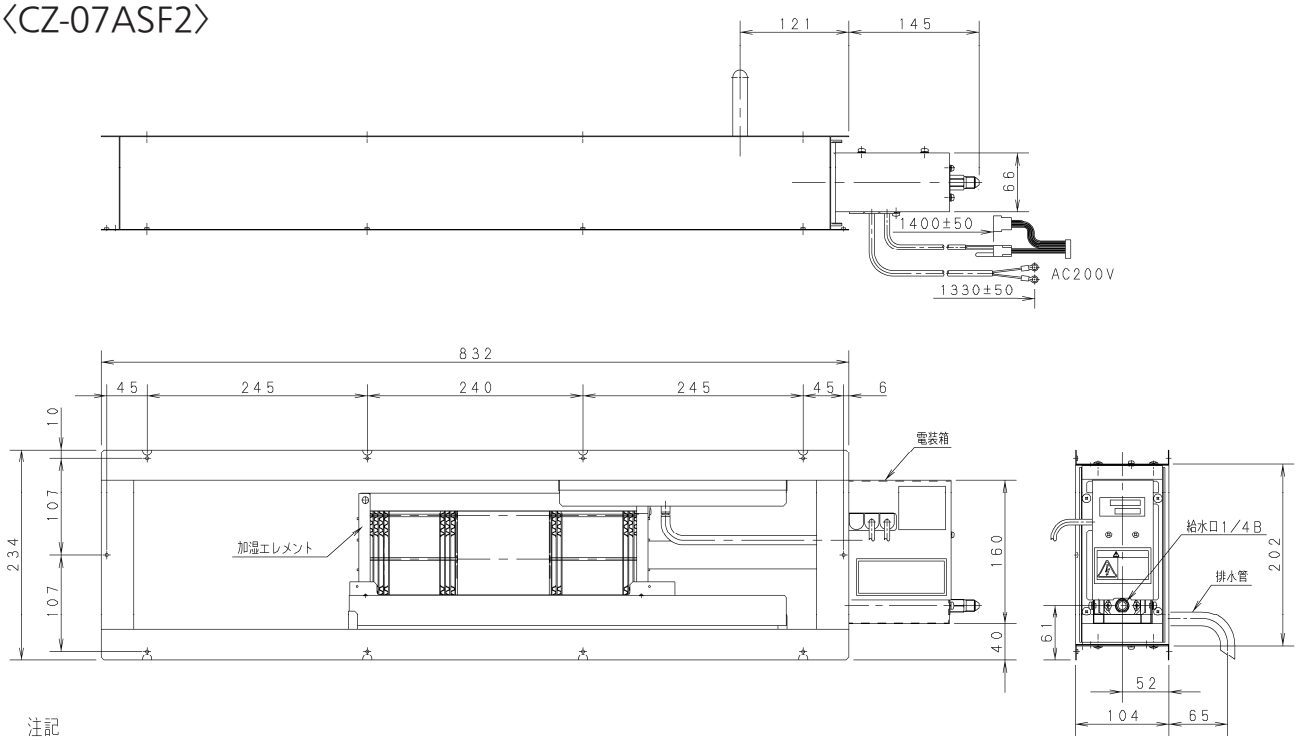
●ビルトインオールダクト形 仕様

加湿器品番			CZ-07ASF2		CZ-10ASF2			CZ-20ASF2		
適用室内ユニット			50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形	160形
加湿器方式			自然蒸発式							
室内ユニット風量		㎥/min	14	14	21	21	21	32	34	36
加湿性能　※1		kg/h	0.850	0.850	1.00	1.00	1.00	2.00	2.02	2.04
XEPHY Premium（ハイグレードタイプ）各クラス最大能力 - 有効加湿量　※1		kg/h	0.83	0.86	0.90	0.95	1.05	2.10	2.23	2.25
XEPHY Eco（高効率タイプ）各クラス最大能力 - 有効加湿量　※1		kg/h	0.78	0.81	0.90	0.90	0.96	1.85	2.04	2.08
給水制御方式		ー	タイマー制御による断続給水							
給水量		L/h	9.4							
電源仕様		ー	単相 200V　50/60Hz							
本体質量		kg	3.7		4.3			5.7		
定格消費電力		W	5.5±10%							
使用条件	給水圧力	MPa	0.049（0.5kgf/㎠）～0.49（5kgf/㎠）							
	給水圧力（ポンプ使用時）	MPa	0.049（0.5kgf/㎠）～0.29（3kgf/㎠）							
	使用周囲温度・湿度	ー	1～40℃　90%RH 以下							
	使用水	ー	上水道またはこれと同等水質のこと（水温 5～40℃）							
	取付角度	ー	全方向共 ±2°以内のこと							
保護装置		ー	排水管詰まり発生時、フロートスイッチによる電磁弁停止							

1.加湿（暖房）シーズン中は元電源を入れたままにしておいてください。
　万一、給水用電磁弁にゴミなどがからみ閉じなくなった場合の漏水を防止します。
2.加湿（暖房）シーズン後、給水用サービスバルブ（現地手配）を必ず閉めてください。
3.排水用止水バルブ（現地手配）の取付をおすすめします。加湿（暖房）シーズン使用開始時に、
　給水用サービスバルブと排水用止水バルブを開き、給水配管内の水を新しい水に置換してから加湿器をご使用ください。
4.ポンプによる給水を行う場合は、必ず給水圧力の上限は0.29MPa以下としてください。
　給水圧力範囲を超える場合は、別の減圧弁（現地手配）を設けてください。
5.ヒューミディスタットをご使用の場合は、希望の湿度目盛に合わせます。
　設定を変化させて給水用電磁弁が正しく加湿制御していることを確認してください。
6.加湿能力の低下防止のため、1年に1回シーズン前に加湿部を洗浄してください。
　水かぬるま湯に中性洗剤を溶かし、柔らかなブラシで表面の汚れを取ってください。
7.加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。

・加湿性能は加湿器入口空気温度45℃、15%RHの値を示します。
・有効加湿量は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、（XEPHY Premium/XEPHY Ecoシリーズ室外ユニット）に接続し、
　下記の条件で運転した場合の加湿量です。
　温度条件　　室温20℃DB、外気温7℃DB・6℃WB
　運転条件　　定格静圧、定格風量、最大能力運転時
　設置条件　　配管長　～63形:5m、71形～：7.5m、71形はツイン接続、それ以外はシングル接続時
　機外静圧や風量設定、ユニット運転状態により加湿量が低くなる場合もあります。
※1 加湿能力±20%

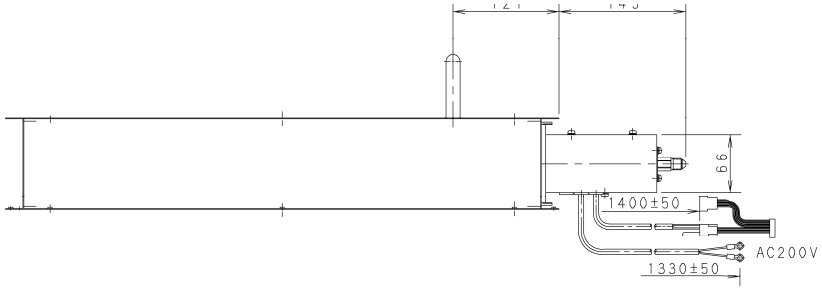
●加湿器本体外形寸法図
〈CZ-07ASF2〉

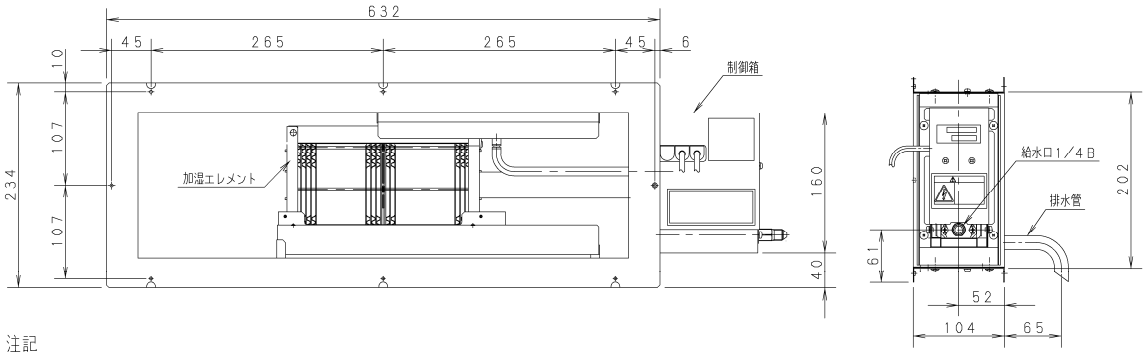


注記
1）ドレン排水をエアコン本体へ流し込むタイプです。
2）加湿器の取付は必ずエアコン本体吊下げ前に行ってください。

●加湿器本体外形寸法図
〈CZ-10ASF2〉

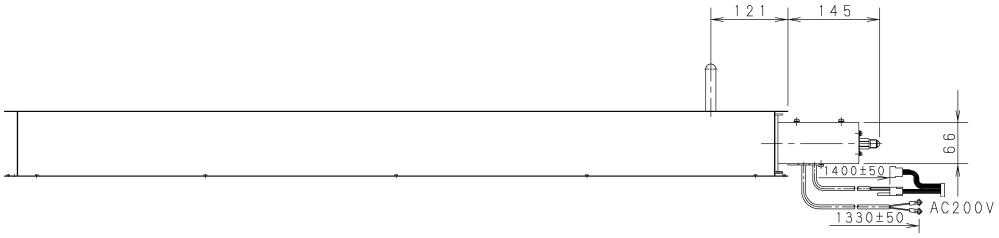
●自然気化式加湿器

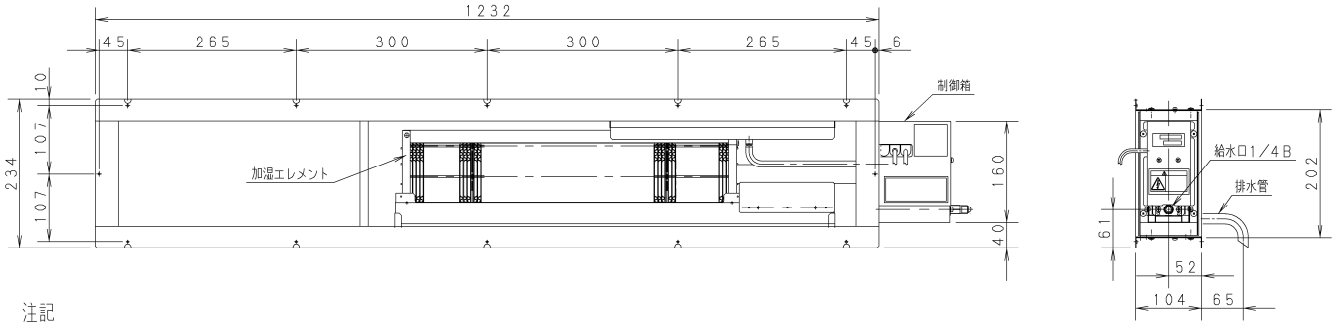




注記
1）ドレン排水をエアコン本体へ流し込むタイプです。
2）加湿器の取付は必ずエアコン本体吊下げ前に行ってください。

〈CZ-20ASF2〉

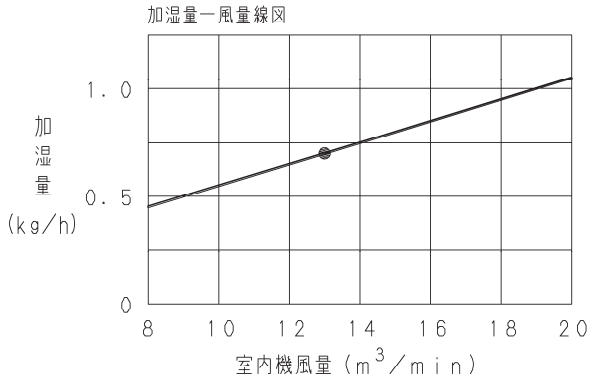


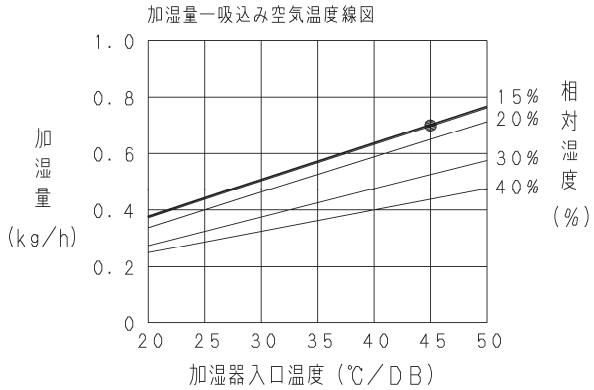


注記
1）ドレン排水をエアコン本体へ流し込むタイプです。
2）加湿器の取付は必ずエアコン本体吊下げ前に行ってください。

線図：《 ① 》

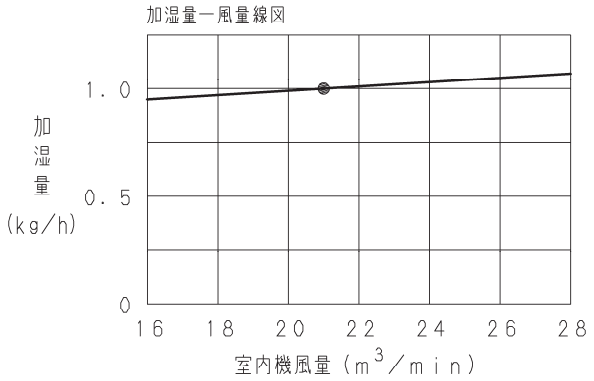
CZ-07ASF2
（基準風量：13m³/min）

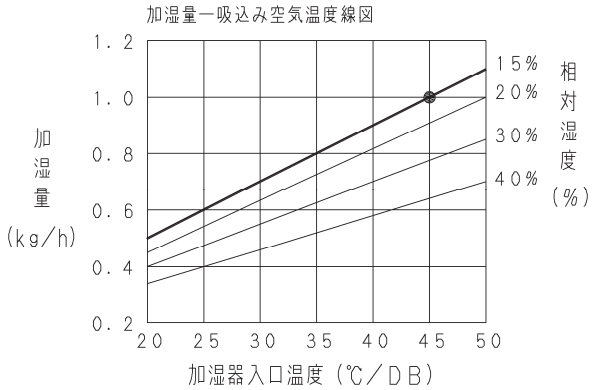




線図：《 ② 》

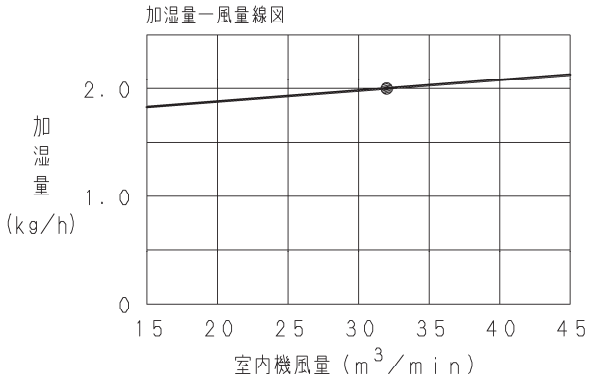
CZ-10ASF2
（基準風量：21m³/min）

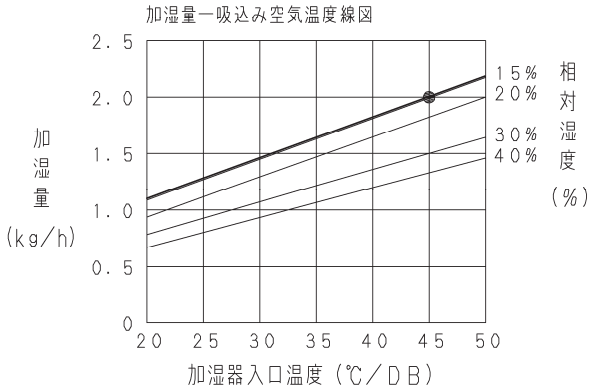




線図：《 ③ 》

CZ-20ASF2
（基準風量：32m³/min）





加湿器品番			CZ-07ASF2		CZ-10ASF2	CZ-20ASF2		
適用室内機	ビルトインカセット	店舗	50, 56形	—	63, 71, 80形	112形	140形	160形
	ビルトインオールダクト	店舗	—	50, 56形	63, 71, 80形	112形	140形	160形
室内機風量（急風）		m³/min	14	16	21	32	34	36
加湿性能		kg/h	0.75	0.85	1.00	2.00	2.02	2.04
適用線図No.			①		②	③		

（注記）
・加湿能力条件は、加湿器通過　温湿度がDB45°C，RH15%の場合の値を示します。
・室内ユニットがサーモオフした場合は、加湿器は停止します。

●自然気化式加湿器

Panasonic®

据付工事説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-07ASF2　CZ-10ASF2　CZ-20ASF2

適用室内ユニット　天井ビルトインカセット形　F シリーズ＊
ビルトインオールダクト形　FE シリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

- 据付工事の前に、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給水配管の施工後、必ず試運転確認を実施し動作確認してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

⃠
- ■電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱、火災の原因）
- ■配線は途中接続しない
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

❗
- ■据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- ■配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
（故障や発熱、火災の原因）
- ■配線をはさまないように、ふたは元通り確実に取り付ける
（感電や火災の原因）
- ■据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）
- ■電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工する
（感電、火災のおそれ）
- ■付属品は当社指定の部品を使用する
（指定部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠注意

⃠
- ■0℃以下の室温となり、凍結のおそれがある場所には取り付けない
（破損・水漏れの原因）

❗
- ■現地調達の給水配管にも必ず断熱処理（現地調達）を行う
（結露による水漏れ、凍結による配管や接続部の破損、水漏れの原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

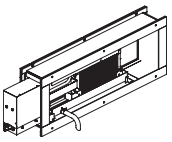
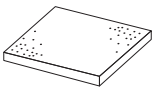
●自然気化式加湿器

1. 仕様

品番	CZ-07ASF2	CZ-10ASF2	CZ-20ASF2
適合室内ユニット形番	22 ～ 56形	63 ～ 90形	112 ～ 160形
電源仕様	単相200V ± 10% 50/60Hz		
給水圧力	0.049 ～ 0.49Mpa		
給水圧力（ポンプ使用時）	0.049 ～ 0.29Mpa		
使用水および水温	上水　0 ～ 40℃		
周囲温湿度	5 ～ 40℃、90% RH以下		

2. 付属品

※開封時に付属品が入っているかを必ずご確認ください。

品名	説明書	自然気化式加湿器	給水用配管	給水配管断熱材	閉端接続子	取付ネジ
形状	・据付工事説明書 ・保守点検説明書		断熱パイプ 継手付き  φ6.35 L=500	 100×100 t10	 ヒューミディスタット用	（M4×L12） 07：6本 10：8本 20：10本
数量	各1	1	1	2	2	-

3. 取り付けかた

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを吊り下げる前に行ってください。

1. 室内ユニットの吹出枠をはずす。（図1）
2. 加湿器を付属の取付ネジ（M4×L12）で取り付ける。（図2）
   排水ホースの先が排水溝に入ること。（図3）
3. 室内ユニットの吹出枠を加湿器に取り付ける。（図4）

※ 室内ユニットを据え付ける際は、室内ユニット付属の据付工事説明書を確認のうえ、加湿器エレメント引き出しスペースを必ず設けてください。（図5）

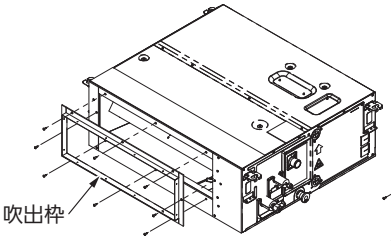


図1

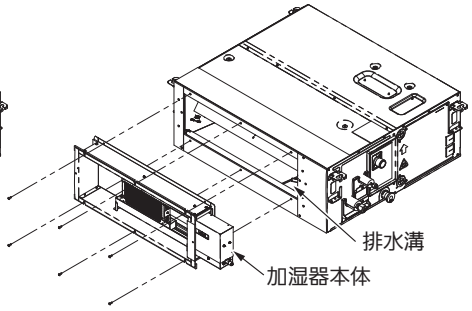


図2

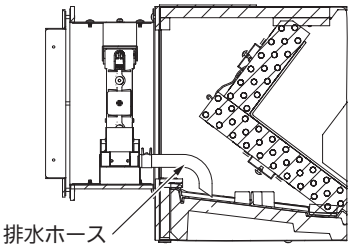


図3

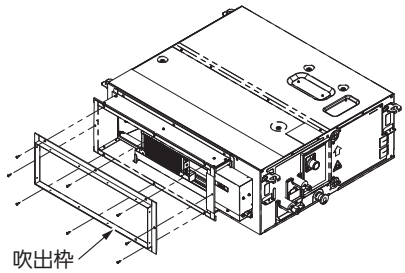


図4

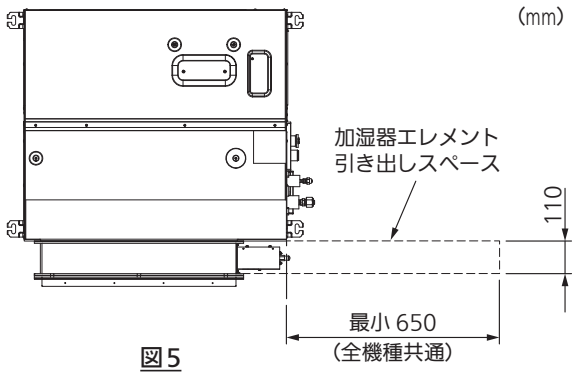


図5

●自然気化式加湿器

4. 電気配線

オフィス・店舗用エアコン(PAC)に接続する場合

＜HUコネクタ（CN066：4P白）が制御基板上にある機種＞

1. 室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。配線の引き回しは、図6～8を参考にしてください。
2. 室内ユニット電装ボックスのふたを開き、加湿器の電源配線を電源端子台に接続します。（図6、8）
   ※ 電源配線は黒を電源端子台の【R】に、白を【S】に接続してください。
   ※ 電源配線は3本以上の共締めにならないよう、必要に応じてプルボックスを使用して接続を行ってください。
3. 加湿器信号線の中継部をはずして、コネクタを室内コントロール基板の【HU（CN066：4P白)】コネクタに接続します。（図6、8）

ビルトインオールダクト形

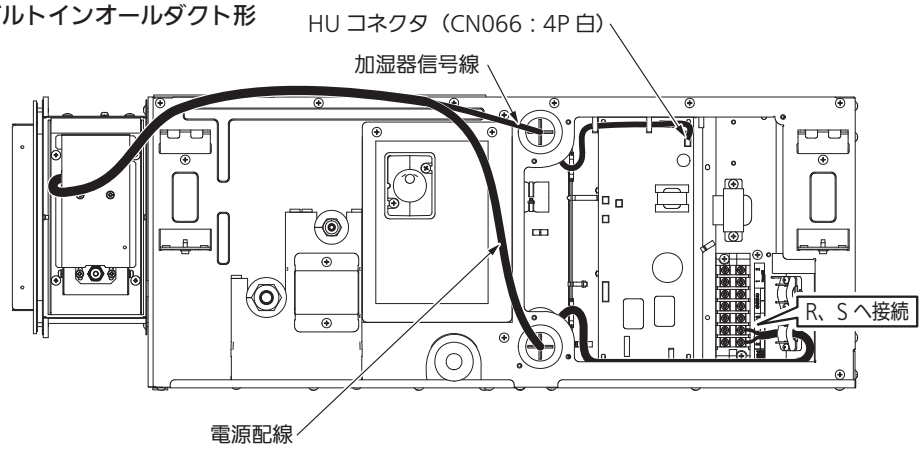


図6

天井ビルトインカセット形

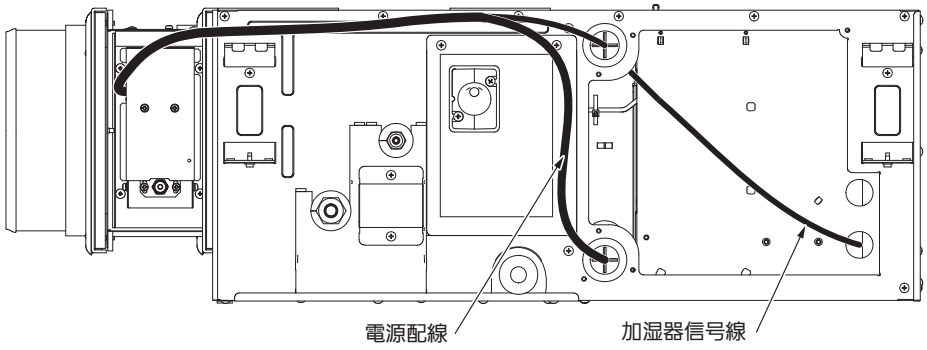
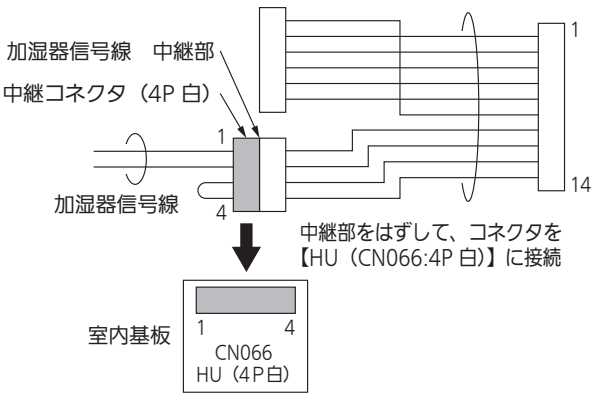


図7



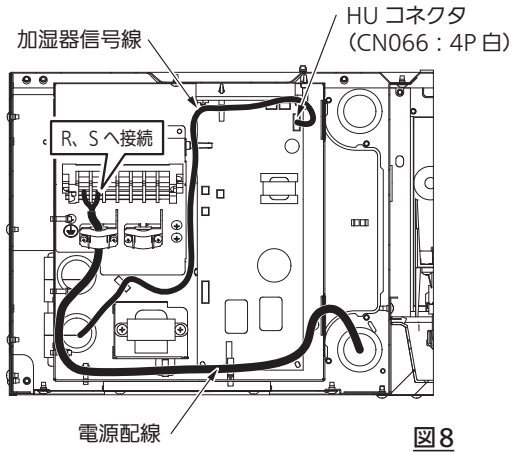


図8

3

●自然気化式加湿器

4. 電気配線（つづき）

＜HUコネクタ（CN066：4P白）が制御基板上にない機種＞

1. 室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。配線の引き回しは、図9～12を参考にしてください。
2. 室内ユニット電装ボックスのふたを開き、加湿器の電源配線を電源端子台に接続します。（図9、12）
   ※ 電源配線は黒を電源端子台の【R】に、白を【S】に接続してください。
   ※ 電源配線は3本以上の共締めにならないよう、必要に応じてプルボックスを使用して接続を行ってください。
3. 加湿器信号線のソケットを室内コントロール基板の【OPTION（CN060：14P白）】コネクタに接続します。（図9、12）
   ※ 加湿器と信号出力基板（ACC-SG-E）を併用する場合、OPTIONコネクタ（CN060）に接続する中継配線が重複します。この場合、信号出力基板の信号線の中継配線を取りはずして、加湿器の中継配線の中継コネクタ（6P白）に取り付けてください。（図13）

ビルトインオールダクト形

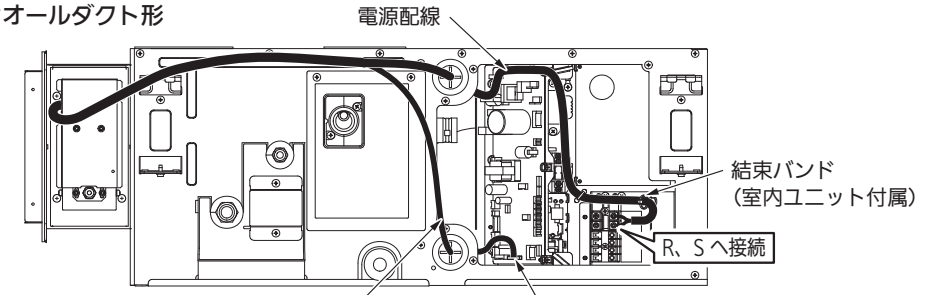


図9

天井ビルトインカセット形

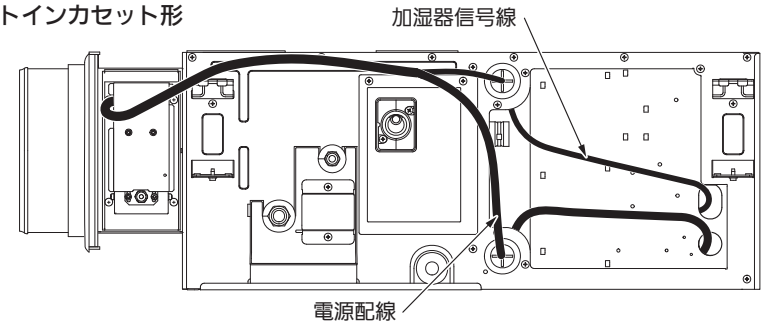


図10

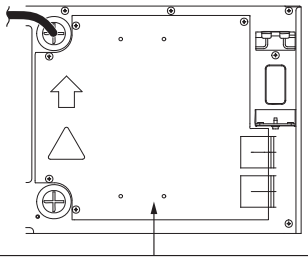


図11

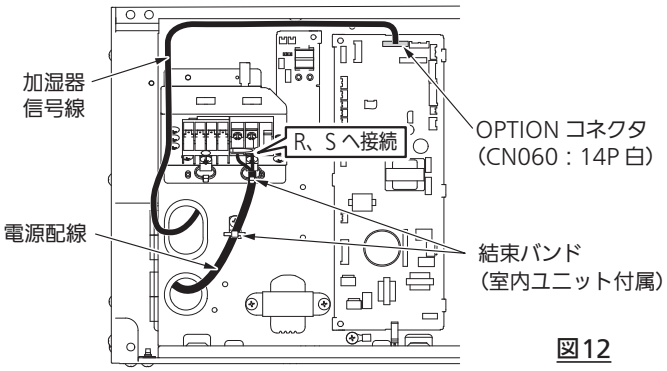


図12

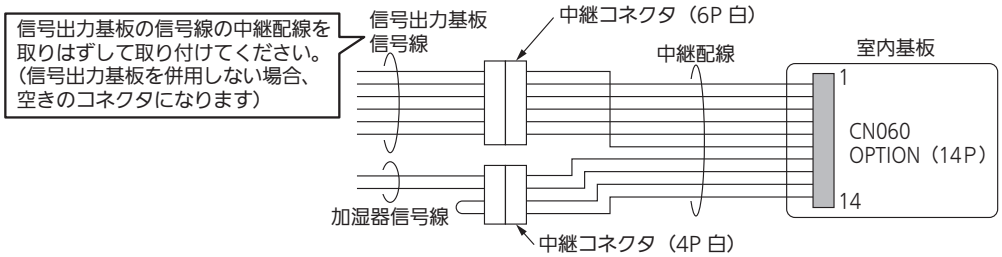


図13

4

ビル用マルチエアコン（VRF）、ガスヒートポンプエアコン（GHP）に接続する場合

＜HUコネクタ（CN066：4P白）が制御基板上にある機種＞

1. 室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。配線の引き回しは、図14～16を参考にしてください。
2. 室内ユニット電装ボックスのふたを開き、加湿器の電源配線を電源端子台に接続します。（図14、16）
   ※ 電源配線は黒を電源端子台の【R】に、白を【S】に接続してください。
   ※ 電源配線は3本以上の共締めにならないよう、必要に応じてプルボックスを使用して接続を行ってください。
3. 加湿器信号線の中継部をはずして、コネクタを室内コントロール基板の【HU（CN066：4P白）】コネクタに接続します。（図14、16）

ビルトインオールダクト形

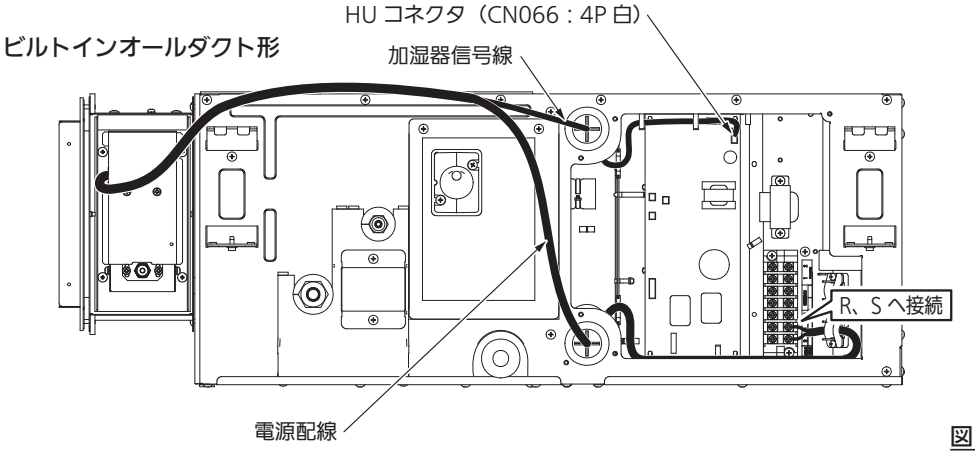


図14

天井ビルトインカセット形

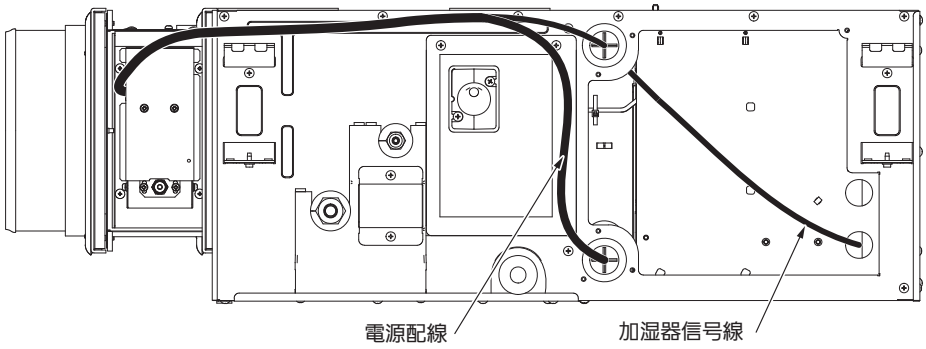
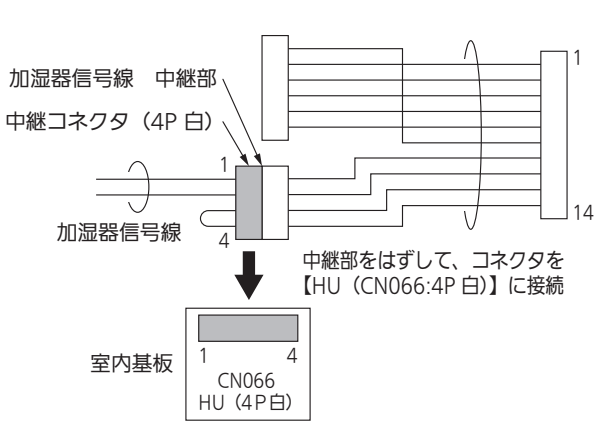


図15



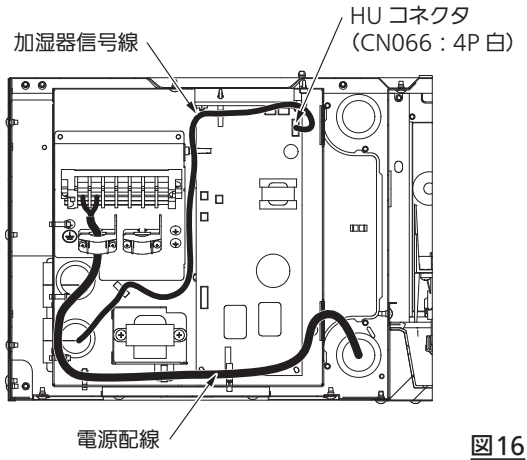


図16

5

4. 電気配線（つづき）

＜HUコネクタ（CN066：4P白）が制御基板上にない機種＞

1. 室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。配線の引き回しは、図17～20を参考にしてください。
2. 室内ユニット電装ボックスのふたを開き、加湿器の電源配線を電源端子台に接続します。（図17、20）
   ※ 電源配線は黒を電源端子台の【R】に、白を【S】に接続してください。
   ※ 電源配線は3本以上の共締めにならないよう、必要に応じてプルボックスを使用して接続を行ってください。
3. 加湿器信号線のソケットを室内コントロール基板の【OPTION（CN060：14P白）】コネクタに接続します。（図17、20）
   ※ 加湿器と信号出力基板（ACC-SG-E）を併用する場合、OPTIONコネクタ（CN060）に接続する中継配線が重複します。この場合、信号出力基板の信号線の中継配線を取りはずして、加湿器の中継配線の中継コネクタ（6P白）に取り付けてください。（図21）

ビルトインオールダクト形

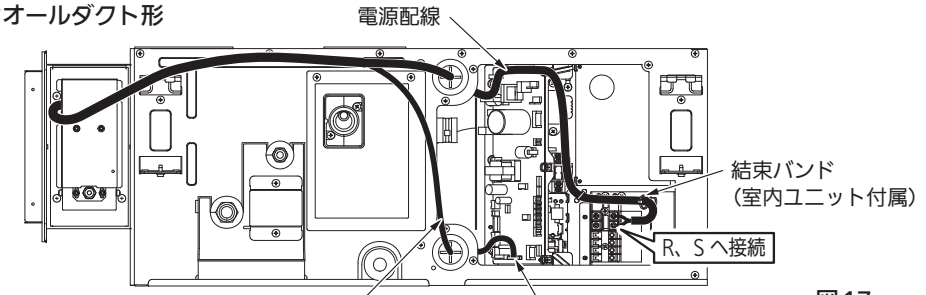


図17

天井ビルトインカセット形

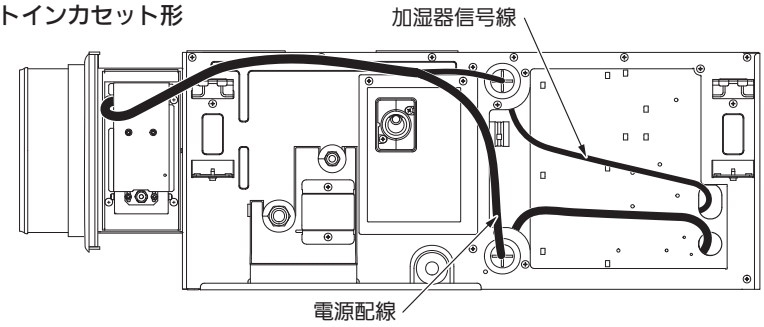


図18

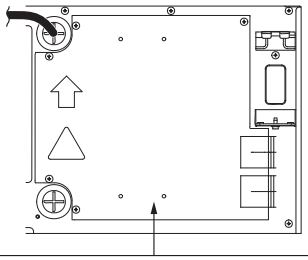


図19

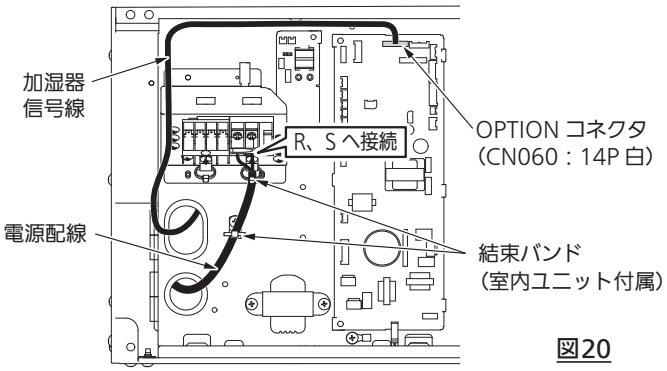


図20

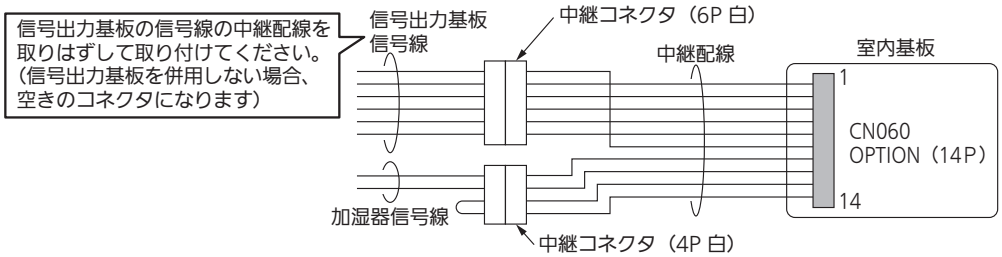


図21

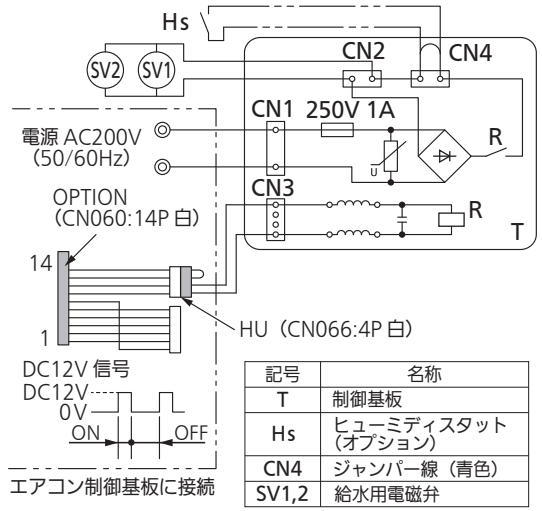
6

4. ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器電気回路図（図22）を参考に加湿器電装ボックス内にあるジャンパー線CN4（UL1007、AWG22/0.3㎟、線長210㎜、青色）を切断し、付属品の閉端接続子（CE1（CE-100）、日本圧着端子製造（株）、適用電線範囲：0.5 ～ 1.75㎟）でヒューミディスタットの配線0.3 ～ 1.25㎟（CE-100 の圧着範囲）と接続します。接続部（閉端接続子）は、加湿器電装ボックス内に収納してください。

お願い

ヒューミディスタット（現地調達）を取り付ける場合は、加湿器電装ボックス1台毎にヒューミディスタットを1個接続を基本としてください。
複数台の加湿器を1個のヒューミディスタットで制御する場合は、リレーにて個別に接点を分けて各加湿器に接続してください。
（図 23）接点を分けないと正常な加湿動作が行えず、水漏れの原因になります。

加湿器電気回路図



記号	名称
T	制御基板
Hs	ヒューミディスタット（オプション）
CN4	ジャンパー線（青色）
SV1,2	給水用電磁弁

注）ヒューミディスタット（Hs）を取り付けられる場合はCN4のジャンパー線を切断し、接続してください。
また、複数台の加湿器を1個のHsで制御する場合は必ず据付工事説明書を参照し、リレーで接点を分けて接続してください。

図22

例. 2台の加湿器を補助リレー接点にて制御する場合

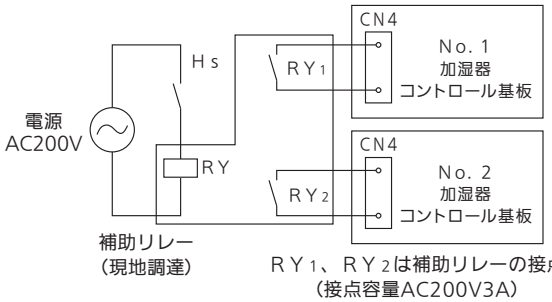


図23

5. 給水配管

1. 室内ユニットの据付工事説明書に従って加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
2. 現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
3. 加湿器本体の給水口に付属品の給水用配管を接続してください。（図24）
   ※ ダブルスパナにて、締付トルクは20N・m程度
   ※ 加湿器本体の給水口に挿入されているワッシャーおよびストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
   取り付けずに接続すると、以後ストレーナーが取り付かなくなったり、水漏れの原因になります。
4. 図24を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。

● 以下の項目は運転確認後、問題が無いことを確認した上で行ってください。

5. 給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
6. 水漏れが無ければ、給水用配管の接続部に付属品の給水配管断熱材を巻きつけてクランパー等（現地調達）で固定してください。（図24）
7. 現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。

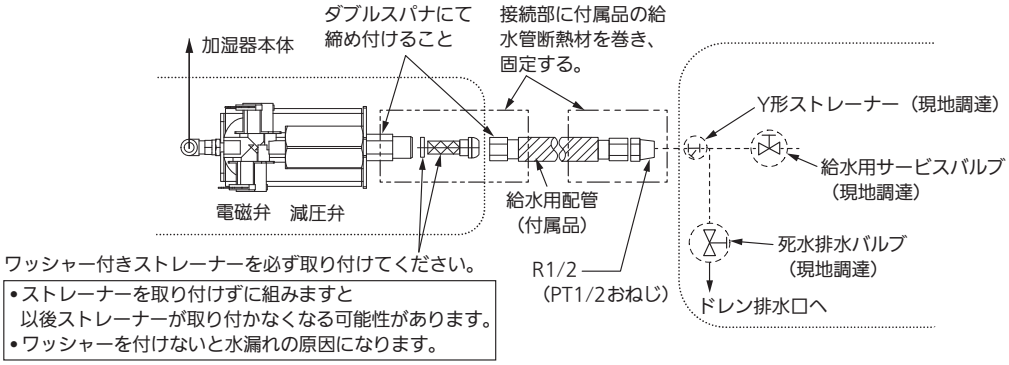


図24

6. 運転確認

1. 配線用しゃ断器の電源を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
2. リモコンの運転/停止ボタンを押し空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
   ※ 暖房運転できないとき、あるいは暖房サーモオンになりにくいときは、試運転編（9 ～ 11ページ）を参照してください。
3. 加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、正常に加湿制御していることを確認してください。
4. 正常な運転を確認したら、運転/停止ボタンを押し運転を停止してください。
   ※ ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせてご使用ください。このときの動作確認は、設定を変化させて給水用電磁弁が正しく動作していることを確認してください。
   ※ 配線用しゃ断器の電源は入れたままにしてください。
   ※ 試運転時、加湿器から「ビーン」という異音が発生した場合に、給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアーのかみ込みが考えられます。この場合、一旦給水配管の接続をはずしてエアー抜きおよび加湿器給水口のストレーナーの清掃を実施してください。ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアーのかみ込みが考えられます。給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げて使用してください。

据付工事説明書　試運転編

● 給水配管の施工後、試運転確認を実施し、動作確認してください。
● 室内ユニットに付属の取扱説明書とワイヤードリモコンに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

給水配管の施工後、試運転確認を実施してください。
通常、加湿器への給水は暖房運転時に行われますが、冷房シーズン（暖房運転できないとき）や、暖房運転時にサーモオンになりにくいときは、ワイヤードリモコンから送風運転時に加湿動作する設定に変更し、送風運転にて試運転確認をしてください。

⚠注意　ユニットを停止してから設定データの変更を行ってください。
設定中はリモコンで選択されている室内ユニットのファンが回転します。

下記設定データ変更により、加湿動作設定を変更してください。

設定表

項目コード	設定データ	加湿動作
09	0000	暖房サーモオン時加湿（出荷時設定）
	0001	送風時加湿

CZ-10RT3シリーズの場合

〈操作手順〉（ユニットが停止中に行ってください）

メンテナンス機能画面の表示

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを、同時に 4 秒以上押します。

詳細設定方法

② ユニット選択 ボタンを押すごとに、「ユニット No」を順次表示します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
（リモコンの液品部に、設定中 と「ユニット No」「項目コード」詳細データが点滅表示されます）

③ 温度設定 ▽ △ ボタンで項目コードを「09」に指定します。

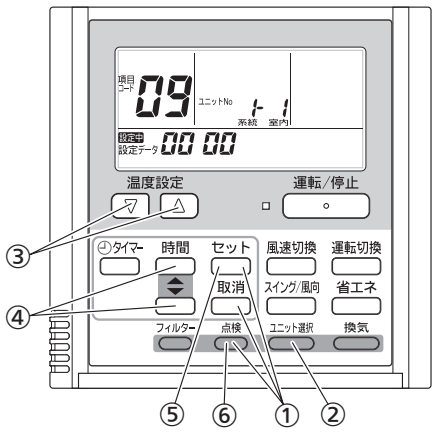
④ 時間の ▲ ▼ ボタンで設定データを「0000（出荷設定）」→「0001」へ変更します。

⑤ セット ボタンを押します。
（表示が点滅から点灯に変われば OK）
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑥ 点検 ボタンを押します。（通常の停止状態になります）

⑦ 加湿器動作の確認後①～⑥と同一の手順で「項目コード」を「09」に指定して、設定データを「0000」に戻してください。

ワイヤードリモコン



⚠注意　試運転後は、必ず項目コード 09 の設定データを、出荷設定（0000）に戻してください。
設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや水漏れの原因になります。

CZ-10RT4シリーズの場合

〈操作手順〉（ユニットが停止中に行ってください）

メンテナンス機能画面の表示

① 戻る + 決定 + ▶ ボタンを同時に４秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、

◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。

必要な機能のページを表示し、選択してください。

詳細設定方法

③ ▼ / ▲ ボタンで『8. 詳細設定』を選択し、

決定 ボタンを押してください。

詳細設定画面が表示されます。

④ ◀ / ▶ ボタンで

ユニットNo./項目コード/設定データの選択を

切り替えてください。

加湿動作の設定

⑤ ▼ / ▲ ボタンで

ユニットNo. /項目コード/設定データを変更します。

⑥ ユニットNo.を変更して、送風時加湿動作を設定するユニットを選択してください。

⑦ 項目コードを「09」に、設定データを「0001」に変更し、

決定 ボタンを押してください。

⑧ 続けて別のユニットを設定する場合は、

ユニットNo.を変更し、⑦を実施してください。

⑨ 戻る ボタンを押し、再起動：“はい”を選択し、

決定 ボタンを押してください。

⑩ 送風運転することで加湿器に給水されます。給水管、排水管、加湿器まわり、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。

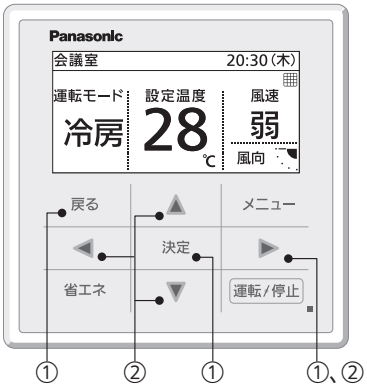
30分程度運転を続け、ドレン配管から排水されているか確認してください。

⑪ 加湿器動作の確認後、③～⑨と同一の手順で

項目コード「09」の設定データを「0001」から

「0000」に戻してください。

ワイヤードリモコン



メンテナンス機能画面





詳細設定画面

⚠注意　試運転後は、必ず設定を戻してください。
設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや、水漏れの原因になります。

CZ-10RT5シリーズの場合

〈操作手順〉（ユニットが停止中に行ってください）

メンテナンス機能画面の表示

① 戻る + 決定 + ＞ ボタンを同時に4秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

詳細設定方法

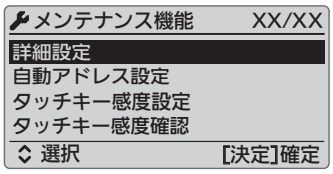
② ∧ / ∨ ボタンで「詳細設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。
「詳細設定画面」が表示されます。
∧ / ∨ ボタンで変更するユニットNo.を
変更してください。
このとき、選択された室内ユニットから送風します。

加湿動作の設定

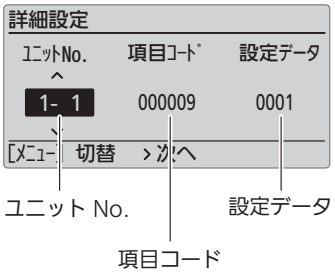
③ ∧ / ∨ ボタンでユニットNo. /項目コード/
設定データを変更します。
④ ユニットNo.を変更して、送風時加湿動作を設定するユニットを選択してください。
⑤ 項目コードを「000009」に、設定データを「0001」に変更し、決定 ボタンを押してください。
⑥ 続けて別のユニットを設定する場合は、
ユニットNo.を変更し、⑤を実施してください。
⑦ 戻る ボタンを押し、再起動：“はい”を選択し、
決定 ボタンを押してください。
⑧ 送風運転することで加湿器に給水されます。給水管、排水管、加湿器まわり、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。
30分程度運転を続け、ドレン配管から排水されているか確認してください。
⑨ 加湿器動作の確認後、②～⑦と同一の手順で
項目コード「000009」の設定データを「0001」から「0000」に戻してください。

ワイヤードリモコン





メンテナンス機能画面



詳細設定画面

⚠注意　試運転後は、必ず設定を戻してください。
設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや、水漏れの原因になります。

Printed in Japan
ACXF60-20721
BE0225-0

●自然気化式加湿器

自然気化式加湿器 保守点検説明書

品番　CZ-07ASF2 CZ-10ASF2 CZ-20ASF2

ご使用前に、この保守点検説明書と室内ユニットに付属の取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する
（水漏れや感電、火災の原因）

■ 移動再設置は、販売店に相談する
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

⚠ 注意

■ 給水には必ず水道水（上水）を使用する

お願い

- 定期清掃や保守点検は、お客様自身で行わず、必ずお買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。
- 加湿（暖房）シーズン終了後、給水用サービスバルブを必ず閉めてください。
- 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水管内を新しい水に置き換えてから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- 定期清掃や点検の際を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。

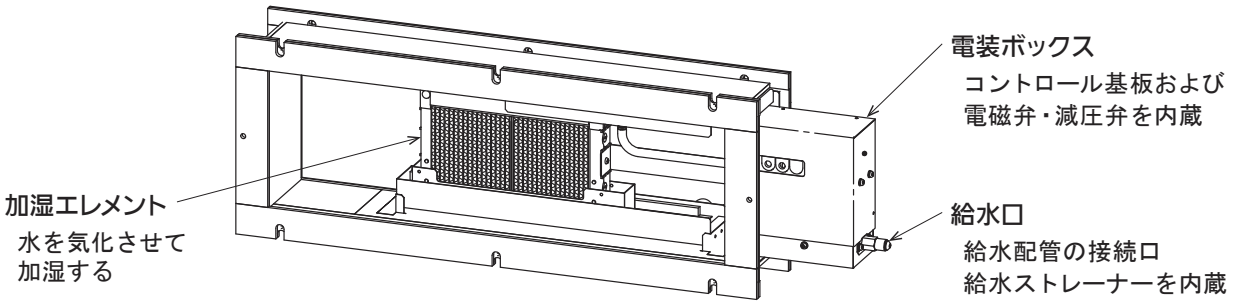
1. 仕様

品番	CZ-07ASF2	CZ-10ASF2	CZ-20ASF2
適合室内ユニット形番	50, 56 形	63 ～ 80 形	112 ～ 160 形
加湿能力（kg/h）	0.7 ±20%	1.0 ±20%	2.0 ±20%
外形寸法図 H×W×L（mm）	234×183×775	234×183×975	234×183×1375
質量 水（有）(kg)	3.9	4.6	6.1
質量 水（無）(kg)	3.7	4.3	5.7
電源仕様	単相 200V±10% 50/60Hz		
給水圧力	0.049 ～ 0.49 Mpa		
給水圧力（ポンプ使用時）	0.049 ～ 0.29 Mpa		
使用水および水温	上水　10 ～ 40℃		
周囲温湿度	5 ～ 40℃、90%RH 以下		

加湿能力は、室内ユニットに組み込んだ状態で加湿器入口空気温度 DB45℃・相対湿度 15% で CZ-07ASF2 を 13m^3/min, CZ-10ASF2 を 21m^3/min, CZ-20ASF2 を 32m^3/min の風量で動作させたときの値を示します。

●自然気化式加湿器

2. 各部のなまえ



3. ご使用上の注意

- シーズンオフなど長期間加湿（暖房）運転をしない場合は、給水用のサービスバルブを閉めてください。
- 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- シーズンオフ中に加湿エレメントに付着した汚れを取るため、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に必ず保守点検を行ってください。
- エアコン（室内ユニット）のエアフィルターが汚れていると、加湿能力や加湿器の寿命に悪影響を与える原因になります。エアフィルターは定期的に点検を行い、汚れている場合は清掃してください。
- 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前には、給水用のサービスバルブを開けて使用してください。

4. 運転のしかた

加湿器はエアコン（室内ユニット）に接続されており、エアコンを暖房運転したときに自動で加湿運転をします。
エアコンの運転操作方法については室内ユニットに付属の取扱説明書に従ってください。

5. 保守点検

長く安心してご使用していただくために、サービス技術者による定期的な保守点検を行ってください。

1. 点検周期

- 保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
- 点検周期は1年が目安です。
- 加湿エレメントの交換周期は3年です。
- 保守点検実施の場合でも、予期せぬ突発的偶発故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
- 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。

※室内ユニットに付属の取扱説明書に記載されている「保証とアフターサービスについて」もあわせてご覧ください。

2. 作業前の準備

- 作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。加湿器の取付説明書もあわせてご覧ください。
- 作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

85464369634000

●自然気化式加湿器

5. 保守点検（つづき）

3．作業手順

1）加湿エレメントの洗浄（1回 / 年：シーズン開始時）

① 給水配管を取りはずしてください。(図 1)
※給水配管内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
② 加湿器本体を固定しているネジ（M4×6）4 本をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器の電装部と加湿エレメントを枠から引き出してください。(図 2)
※給水配管内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
※給水ストレーナー、ワッシャーを紛失しないようご注意ください。(図 1)
③ ジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。(図 3)
④ 加湿エレメントが十分に入る大きさの容器を用意し、容器に水またはぬるま湯を入れたうえで市販の中性洗剤を溶かしてください。
⑤ 洗浄液に加湿エレメントを浸し、柔らかいブラシ等で加湿部表面の汚れを取ってください。(図 4)
⑥ 十分に水洗いをした後､水気を落とした上で､取りはずしと逆の手順で加湿エレメントを組み付け､加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
※下記の 2）の給水ストレーナーの清掃もあわせて行ってください。
※水漏れが無いことを必ず確認した上で、断熱材を取り付けてください。

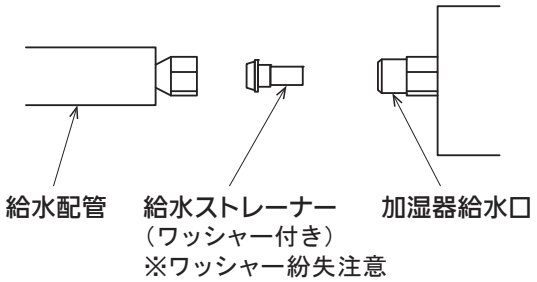


図 1

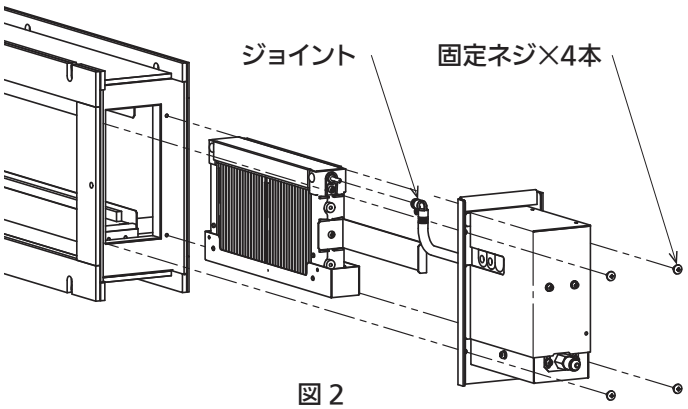


図 2

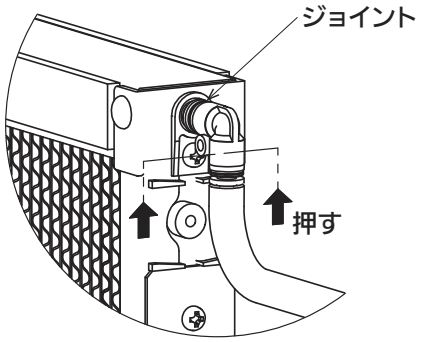


図 3

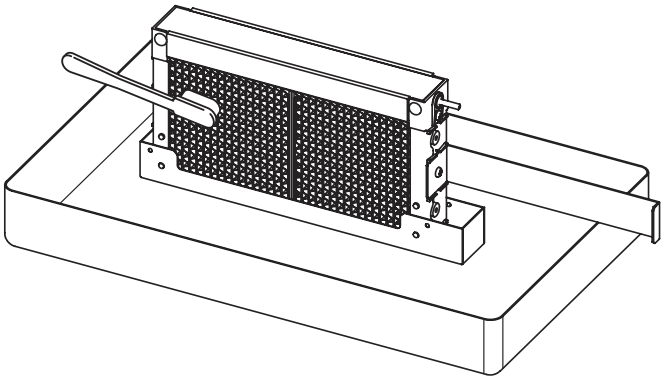


図 4

2）給水ストレーナーの清掃（1回 / 年：シーズン開始時）

① 給水配管を取りはずしてください。(図１)
② 給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水配管内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
※給水ストレーナーを抜き取るとき、ワッシャーを紛失しないようご注意ください。(図１)
③ 元どおりに取り付けてください。
※上記の 1）加湿エレメントの洗浄もあわせて行ってください。
※水漏れが無いか確認をした後、断熱材を取り付けてください。

●自然気化式加湿器

3）コントロール基板等の電気部品の点検（1回 / 年）

必ず漏電しゃ断器を切ってから作業をしてください。

① 加湿器電装ボックスのふたをはずして内部を確認し、以下の項目をチェックしてください。
- □電子部品に劣化（変色、変形）などが無いか。
- □電気配線類に損傷が無いか。
- □コントロール基板のプラグと電気配線のソケットの接続に緩み、はずれが無いか。
- □その他各部に異常が無いか。

※不具合がありましたら、必ず修理もしくは部品交換を行ってください。

② 元どおりに取り付けた後、漏電しゃ断器を入れて動作確認を行ってください。

6. 故障かな?と思ったとき

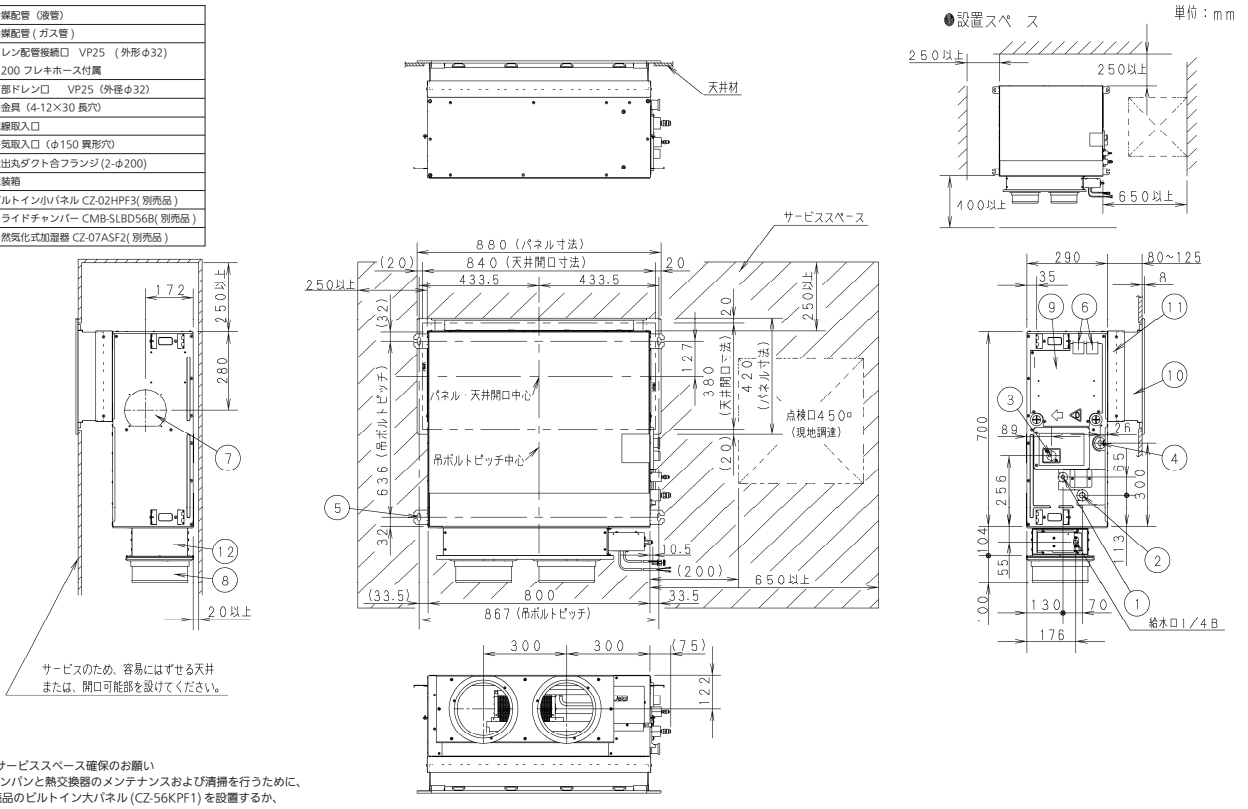
サービスを依頼される前に次のことをお調べください。

症　状	原　因	処　置
加湿しない または 加湿量不足	給水用サービスバルブが閉まっていませんか？	サービスバルブを開けてください。
	シーズン開始時に給水ストレーナーの清掃はしましたか？	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	シーズン開始時に加湿エレメントの洗浄をしましたか？	
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか？	
においがする	シーズンイン時に加湿エレメントの洗浄をしましたか？	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか？	
音がする	給水圧力は仕様値の範囲内ですか？	仕様値の範囲外なら、お買い上げの販売点にご連絡ください。
	給水系へのエアーのかみ込みはありませんか？	異音発生状態で給水用サービスバルブを閉めると音が消える場合は、エアー抜きが必要です。販売店にご連絡ください。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

●加湿器取付図
天井ビルトインカセット形〈50，56 形〉

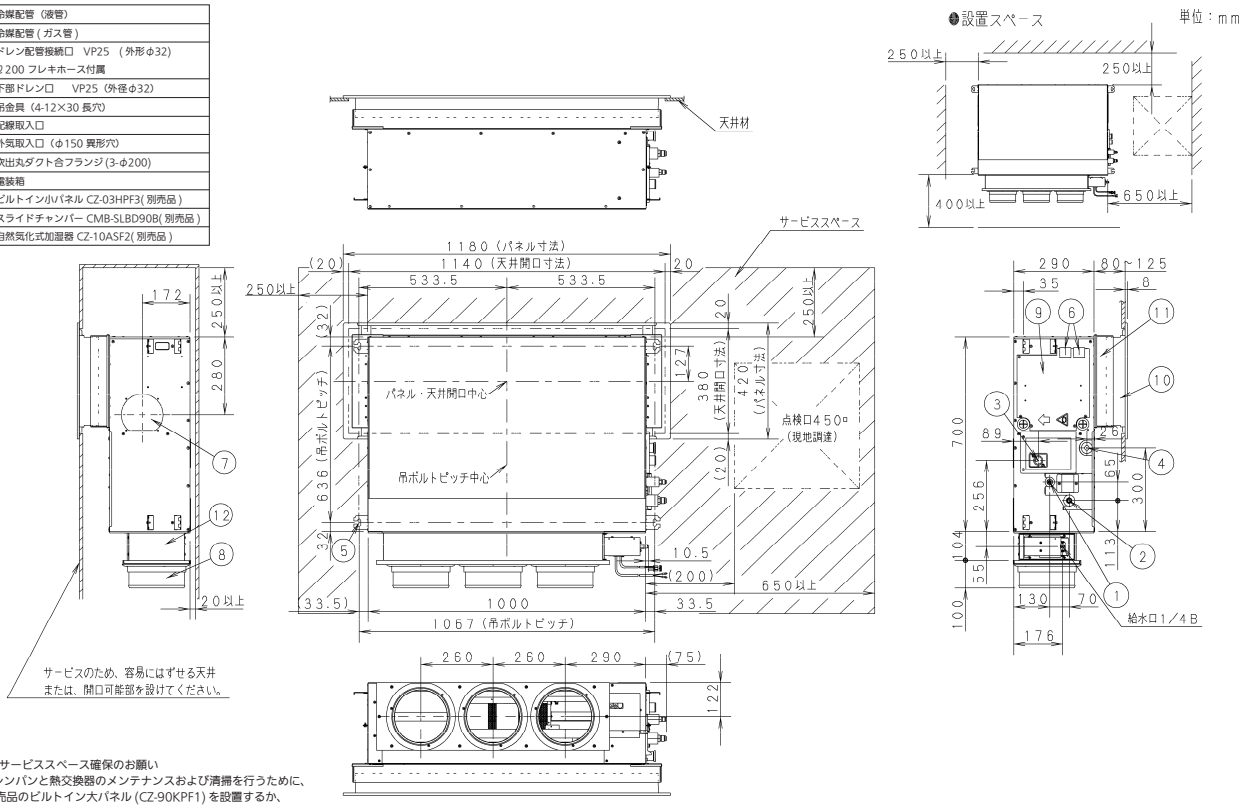
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管 (ガス管)
③	ドレン配管接続口　VP25 （外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ(2-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-02HPF3(別売品)
⑪	スライドチャンバー CMB-SLBD56B(別売品)
⑫	自然気化式加湿器 CZ-07ASF2(別売品)



※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル (CZ-56KPF1) を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

天井ビルトインカセット形〈63 ～ 80 形〉

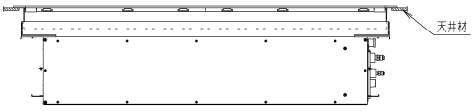
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管 (ガス管)
③	ドレン配管接続口　VP25 （外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ(3-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-03HPF3(別売品)
⑪	スライドチャンバー CMB-SLBD90B(別売品)
⑫	自然気化式加湿器 CZ-10ASF2(別売品)

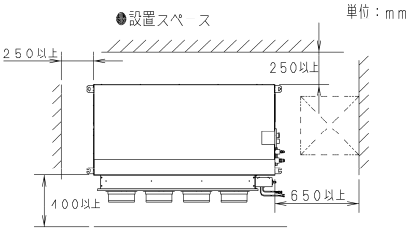


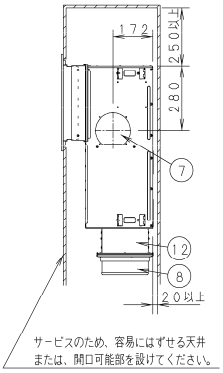
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル (CZ-90KPF1) を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

●加湿器取付図
天井ビルトインカセット形〈112 ～ 160 形〉

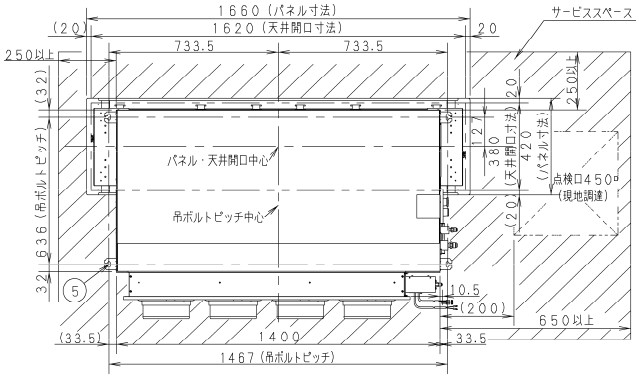
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管 (ガス管)
③	ドレン配管接続口　VP25 （外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ (4-φ200)
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル CZ-06HPF3(別売品)
⑪	スライドチャンバー CMB-SLBD160B(別売品)
⑫	自然気化式加湿器 CZ-20ASF2(別売品)

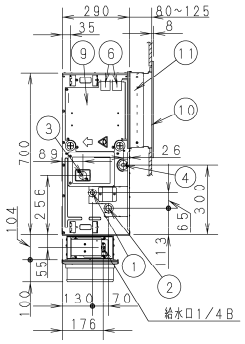


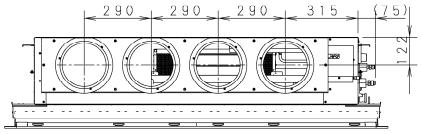




サービスのため、容易にはずせる天井
または、開口可能部を設けてください。



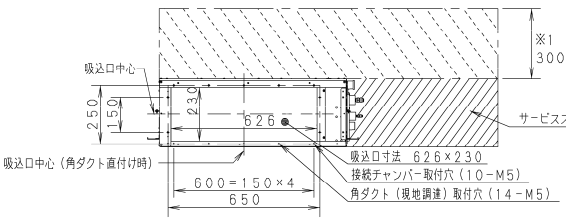


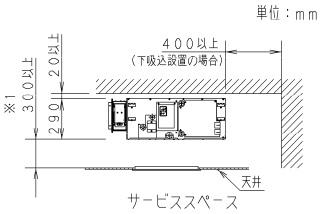


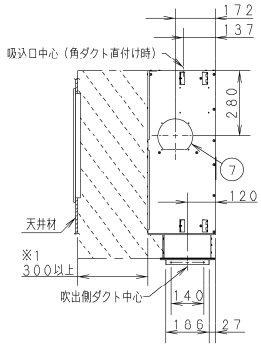
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル (CZ-160KPF1) を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

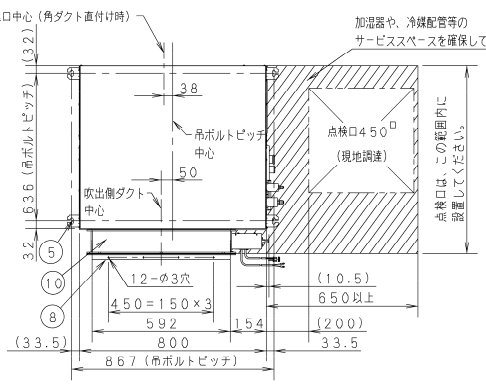
ビルトインオールダクト形＜ 50，56 形＞

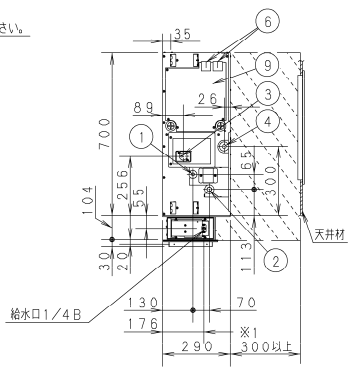
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25 （外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出角ダクト合フランジ
⑨	電装箱
⑩	自然気化式加湿器 CZ-07ASF2（別売品）



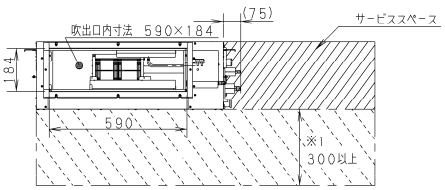








※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
サービススペースが必要となります。サービススペースには、
作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品の
メンテパネル（PNR-MBD45RF）を設置するか、
室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面
と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

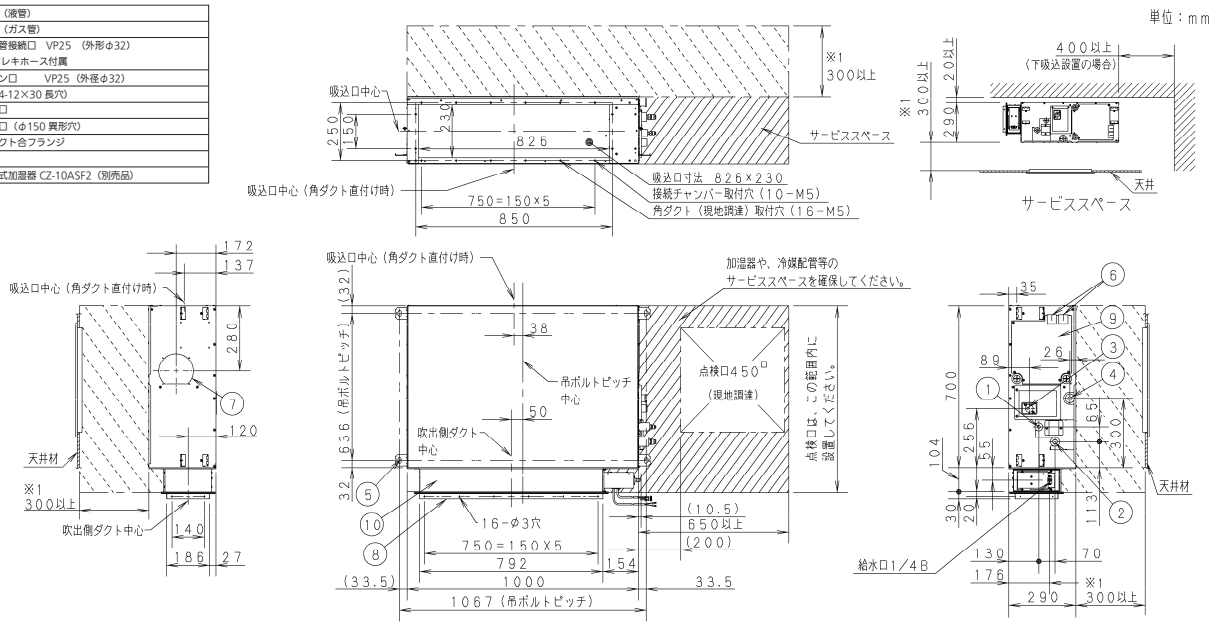


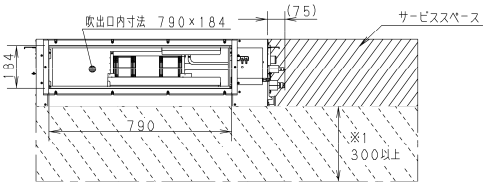
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

●加湿器取付図
ビルトインオールダクト形＜63～80形＞

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出角ダクト合フランジ
⑨	電装箱
⑩	自然気化式加湿器 CZ-10ASF2（別売品）

単位：mm





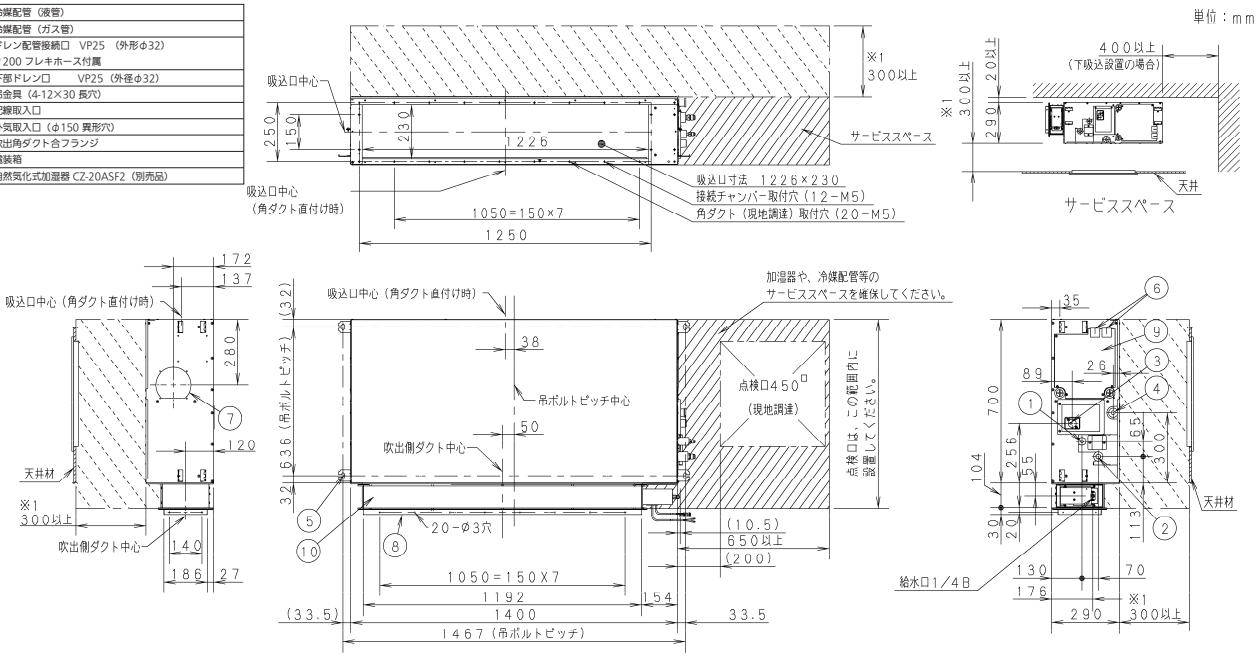
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
サービススペースが必要となります。サービススペースには、
作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品の
メンテパネル（PNR-MBD71RF）を設置するか、
室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面
と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

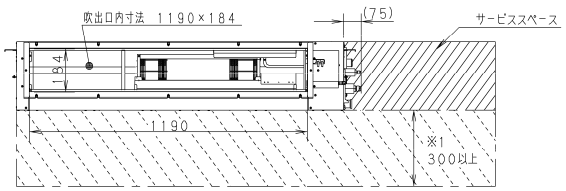
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

ビルトインオールダクト形＜112～160形＞

①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出角ダクト合フランジ
⑨	電装箱
⑩	自然気化式加湿器 CZ-20ASF2（別売品）

単位：mm



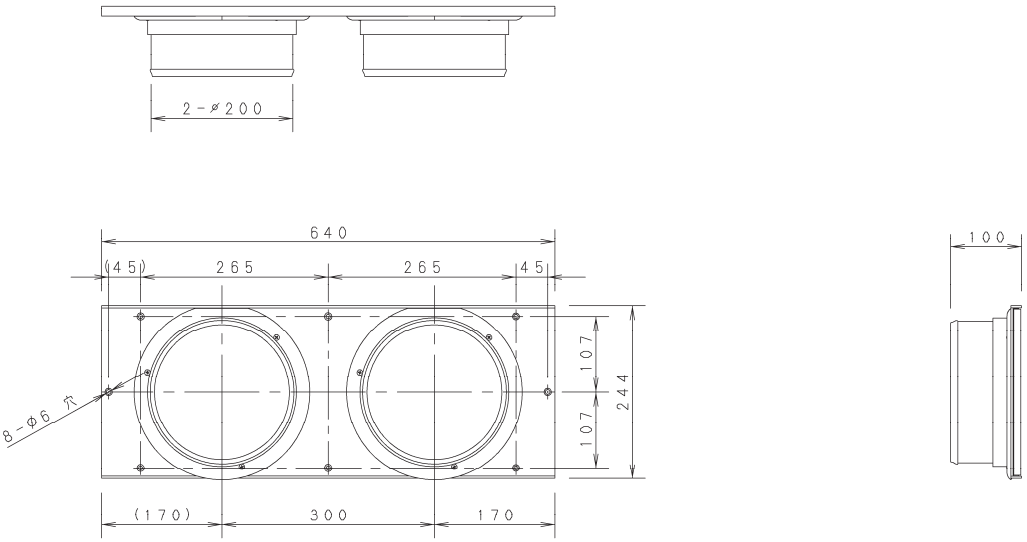


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
サービススペースが必要となります。サービススペースには、
作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品の
メンテパネル（PNR-MBD125RF）を設置するか、
室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面
と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

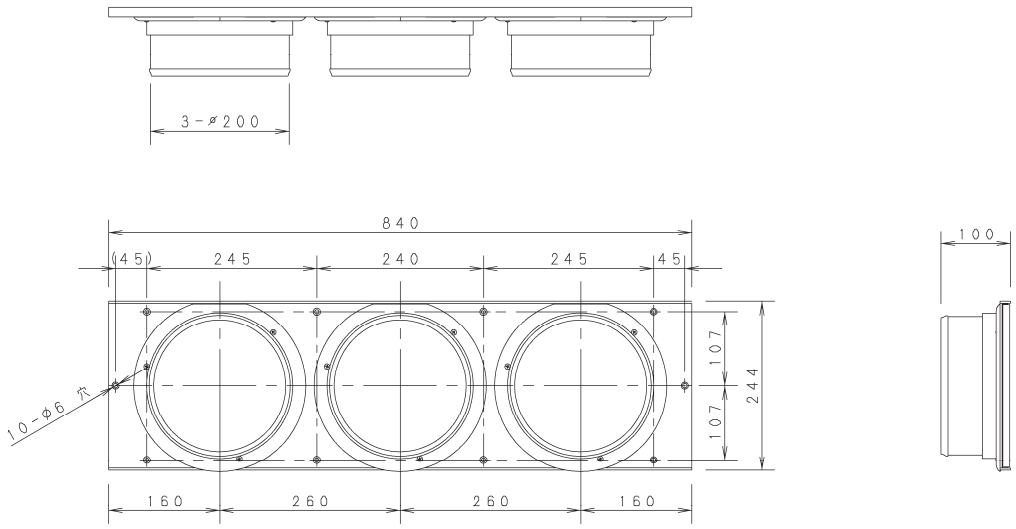
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■吹出丸ダクト合フランジ（CZ-56, 90, 160DAF2A）オールダクト用

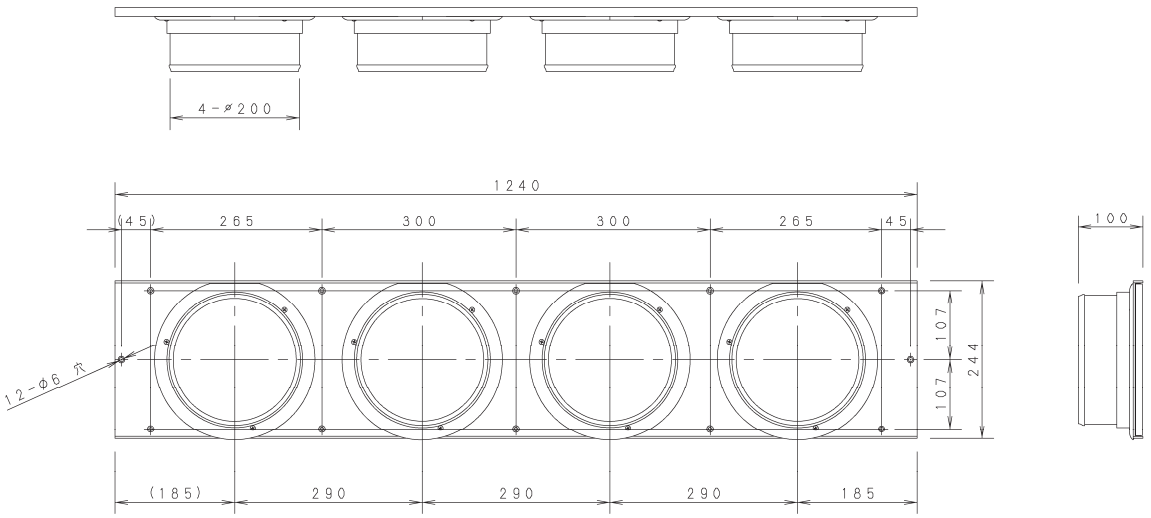
● CZ-56DAF2A　外形寸法図



● CZ-90DAF2A　外形寸法図



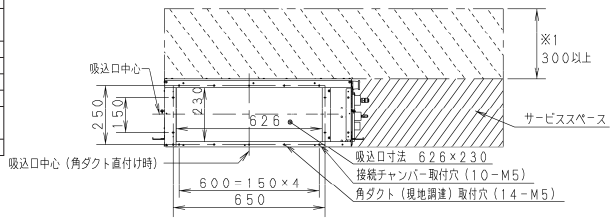
● CZ-160DAF2A　外形寸法図



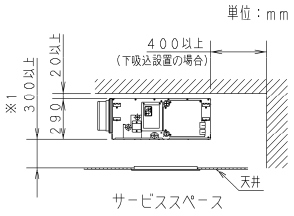
●部品組込用＜吹出丸ダクト合フランジ＞

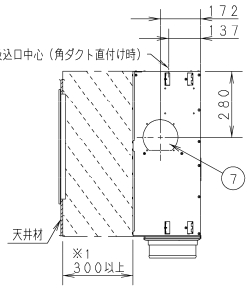
ビルトインオールダクト形＜ 50，56 形＞

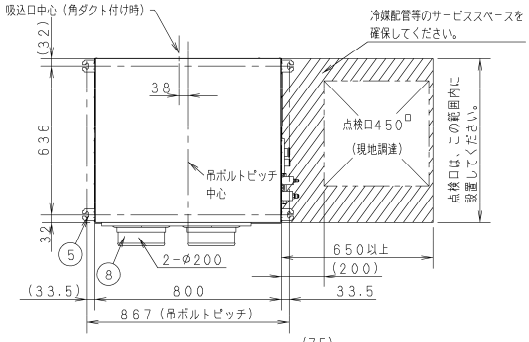
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25　（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ（2-φ200） CZ-56DAF2A（別売品）
⑨	電装箱

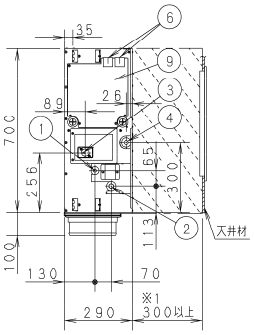


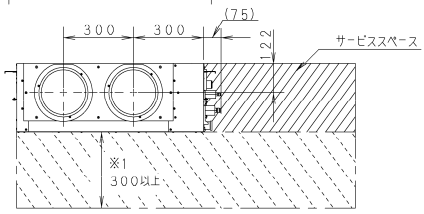
単位：mm









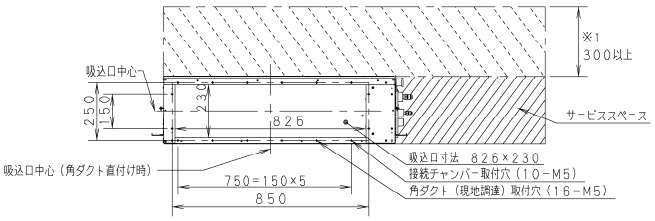


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
サービススペースが必要となります。サービススペースには、
作業の妨げになるものを設置しないでください。
　・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品の
メンテパネル（PNR-MBD45RF）を設置するか、
室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面
と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

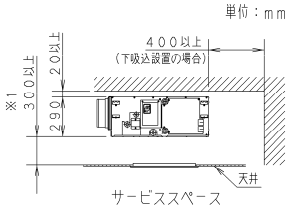
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

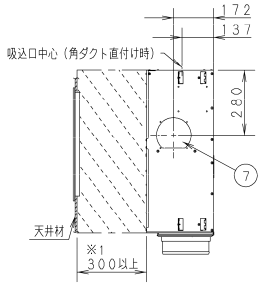
ビルトインオールダクト形＜ 63 ～ 80 形＞

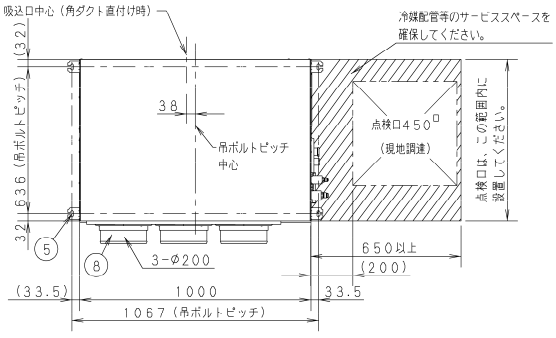
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25　（外形φ32） ℓ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ（3-φ200） CZ-90DAF2A（別売品）
⑨	電装箱

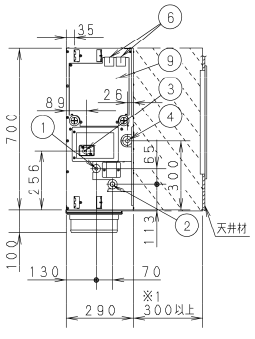


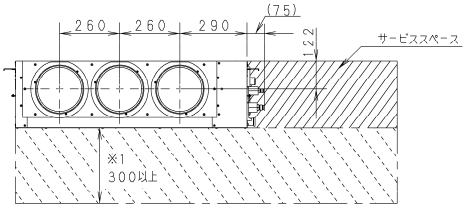
単位：mm











※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
サービススペースが必要となります。サービススペースには、
作業の妨げになるものを設置しないでください。
　・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品の
メンテパネル（PNR-MBD71RF）を設置するか、
室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面
と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

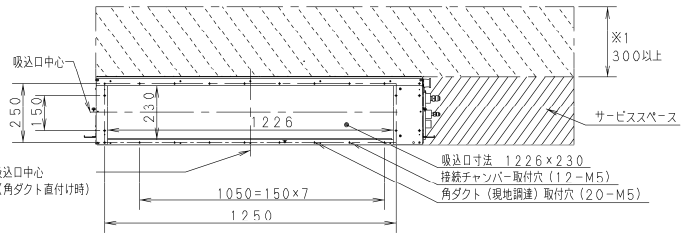
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

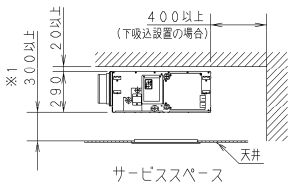
●部品組込用＜吹出丸ダクト合フランジ＞

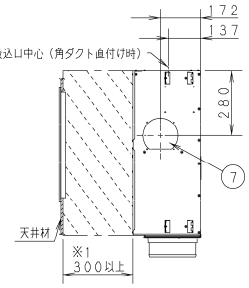
ビルトインオールダクト形＜ 112 ～ 160 形＞

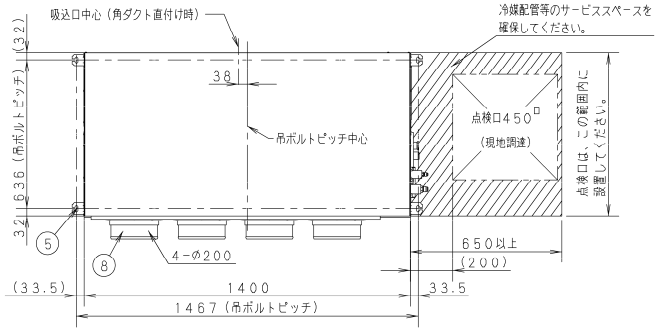
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） φ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ（4-φ200） CZ-160DAF2A（別売品）
⑨	電装箱

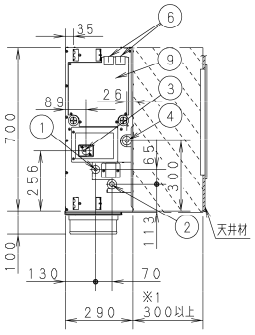
単位：mm

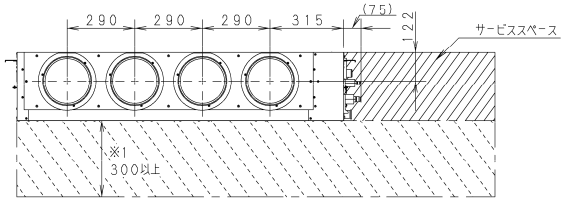












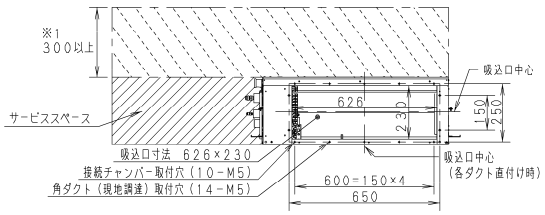
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
サービススペースが必要となります。サービススペースには、
作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品の
メンテパネル（PNR-MBD125RF）を設置するか、
室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面
と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

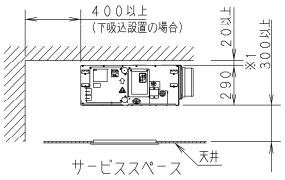
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

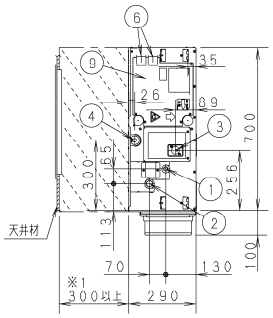
ビルトインオールダクト形左配管仕様＜ 50, 56 形＞

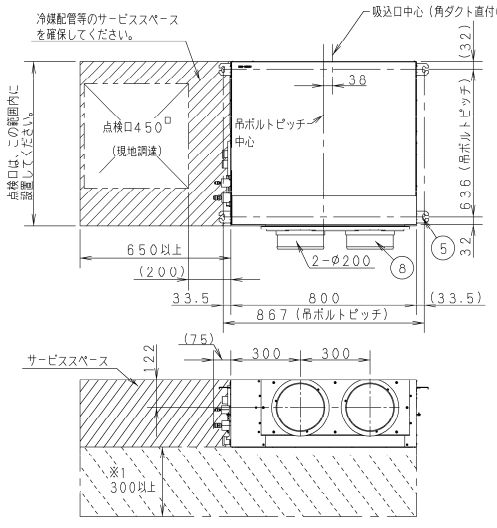
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	ドレン配管接続口　VP25（外形φ32） φ200 フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4-12×30 長穴）
⑥	配線取入口
⑦	外気取入口（φ150 異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ（2-φ200） CZ-56DAF2A（別売品）
⑨	電装箱

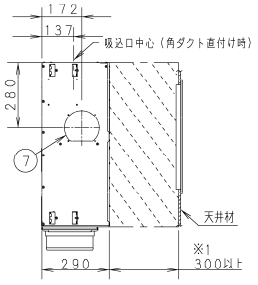
単位：mm











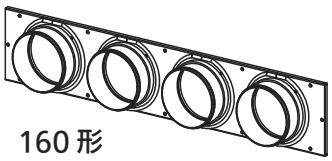
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
サービススペースが必要となります。サービススペースには、
作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品の
メンテパネル（PNR-MBD45RF）を設置するか、
室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面
と天井材とのスペースを 300mm 以上確保してください。

注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

●取付説明書

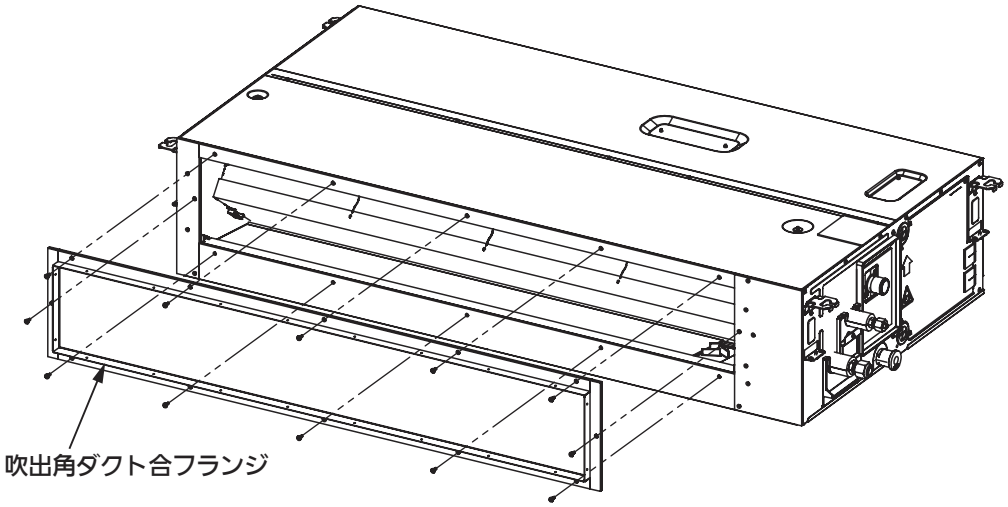
吹出丸ダクト合フランジ取付説明書

□　構成部品

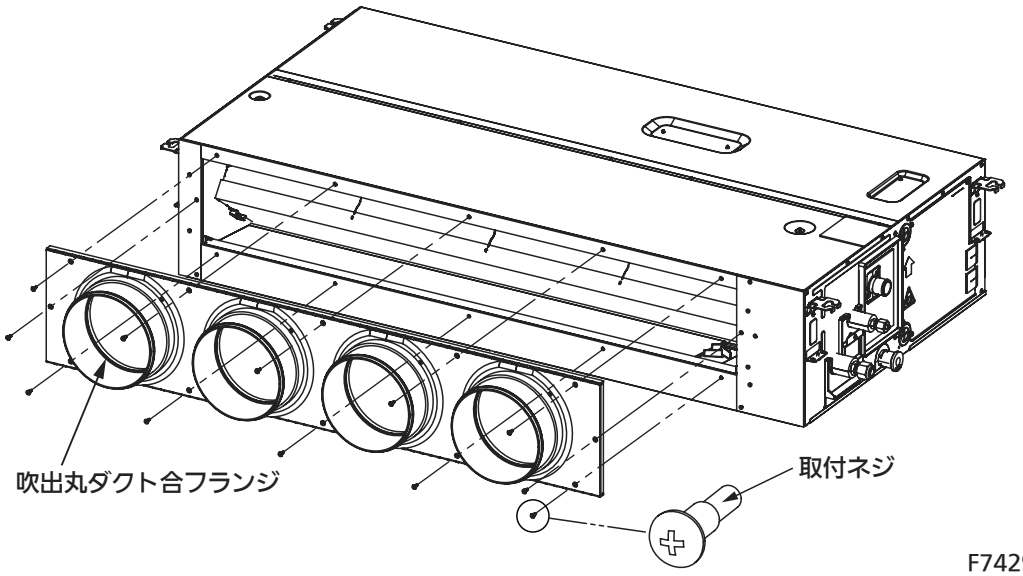
吹出丸ダクト合フランジ	取付ネジ
 160 形	 56 形：　8 本 90 形：10 本 160 形：12 本

□　取付けかた

1．吹出角ダクト合フランジを取りはずします。



2．吹出丸ダクト合フランジを取付ネジで室内機本体の吸込口に固定します。
（56 形･･･8 本 、90 形･･･10 本 、160 形･･･12 本 ）

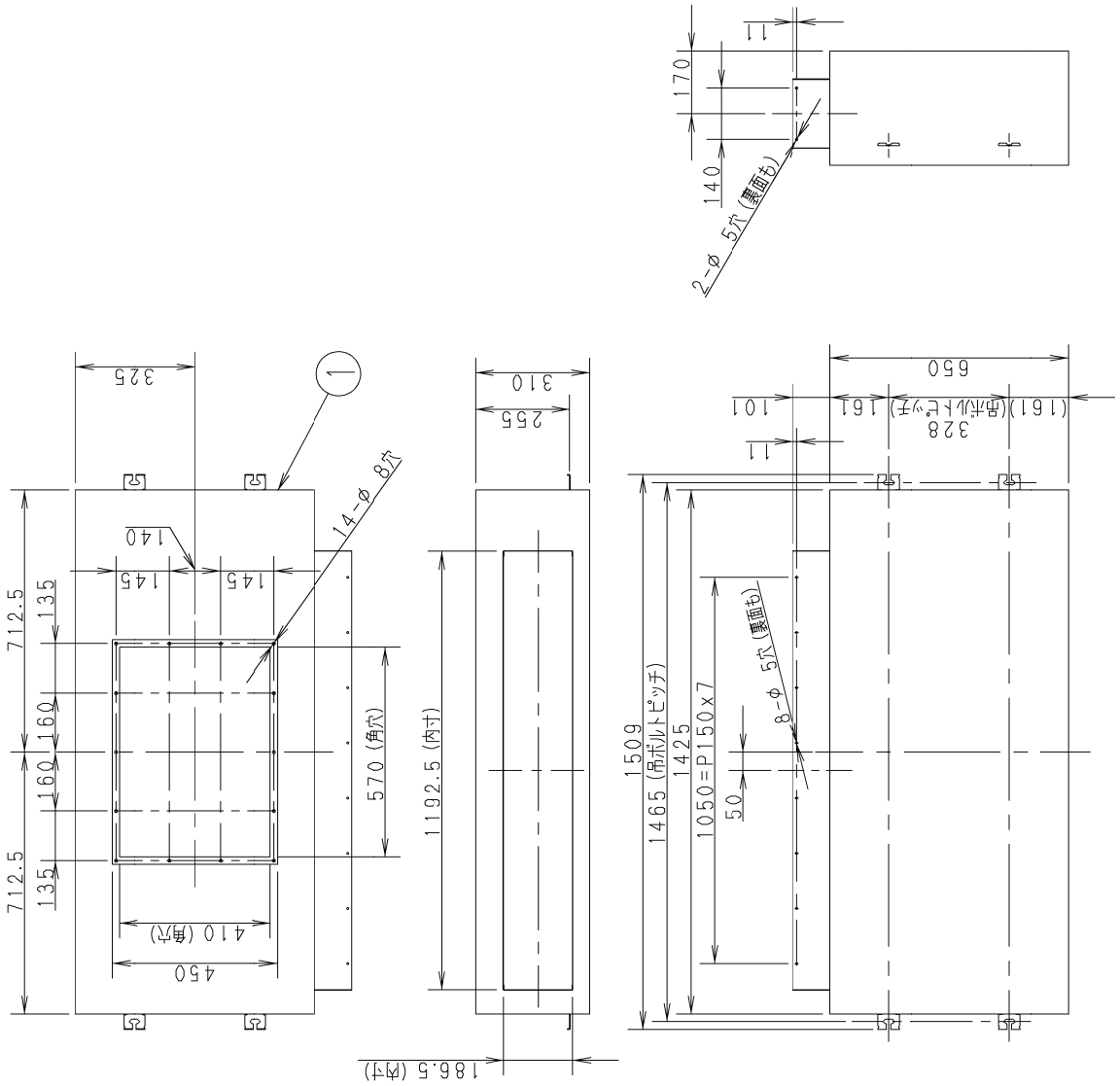


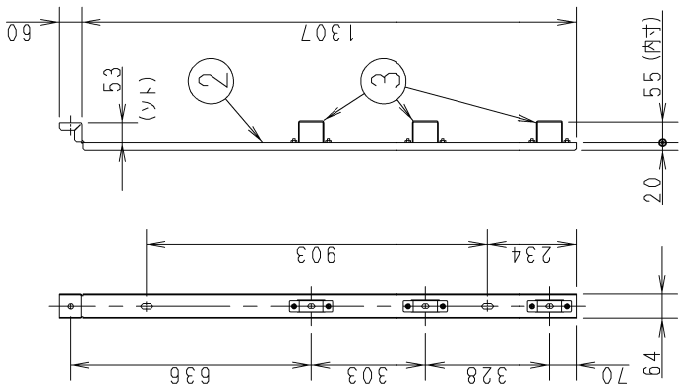
F742914　1

■ VZ システムチャンバー

●外形寸法図

・ CZ-140VBCFE7〔適用機種：140 形〕





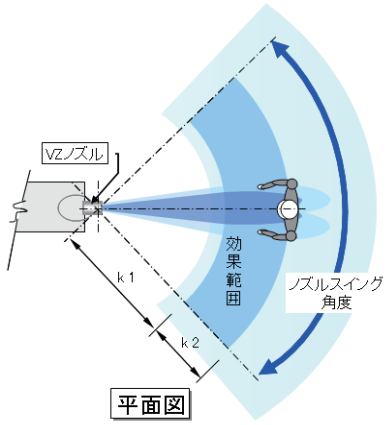
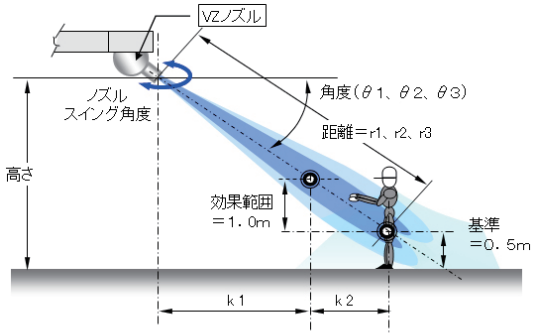
①	VZシステムチャンバー
②	吊下げアングル
③	吊下げ金具

《VZシステムチャンバー重量》
22kg
《吊下げアングル・吊下げ金具重量》
3kg※2個

● VZ ノズル冷房体感温度計算書（室内 27℃ -60% _ 室外 27℃）

VZノズル冷房体感温度計算書

件　　名　：　　殿　　作成者：
提出先名：　　殿　　作成日：

条件	選定ノズル	FY-20XGR-D						
	作業者周囲温度	DB 27.0℃　RH 60.0%						
	ノズル供給風量	30CMM						
	ノズル供給温湿度	DB 13.7℃　RH 90.0%						
	ノズル設置　高さ	3.5m						
	ノズル 設置方式／スイング角度	ワイドスイング ／ 120°　スイング						
略図	 平面図　  側面図							
体感温度計算	到達距離(r1～3)、角度(θ1～3)	r1=4.0m	θ1=49度	r2=6.0m	θ2=30度	r3=8.0m	θ3=22度	
	到達風速	2.4m/s		1.6m/s		1.1m/s		
	到達風温	DB23.4℃	RH67%	DB24.8℃	RH65%	DB25.9℃	RH62%	
	風有時SET* ※1	20.9℃		23.1℃		25.1℃		
	無風時SET* ※2	28.1℃		28.1℃		28.1℃		
	暴露率	20%		20%		20%		
	等価SET*	26.0℃		27.1℃		27.5℃		
	同等性評価温湿度 ※3 RH 60%	DB24.9℃		DB26.0℃		DB26.4℃		
	効果範囲 (k1,K2)	k1=1.8m	k2=0.9m	k1=3.5m	k2=1.7m	k1=4.9m	k2=2.5m	

※1　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けた場合を示します。
※2　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けない場合を示します。
※3　等価SET*と同じ体感温度の風速0.2m/sにおける温度(DB)と湿度(RH)を示します。
◇語句の説明
・SET*（エス・イー・ティー・スター）：標準有効温度（Standard Effective Temperature）
　ASHRAEで標準的体感温度としている指標です。
　乾球温度、湿球温度、風速、輻射、作業量、着衣量からプログラム計算します。
　但し、入力値で、輻射は乾球温度と同じ、作業量はメット値2.0met(軽作業)、着衣量はクロ値0.47clo(夏半袖)としています。
・暴露率：風が当たる割合で、ノズルスイング角度により下記で計算しています。
　30度スイング・暴露率50%(10秒間の内5秒間風が当たる)、60度スイング・暴露率40%(10秒間の内4秒間風が当たる)
　90度スイング・暴露率30%(10秒間の内3秒間風が当たる)、120度スイング・暴露率20%(10秒間の内2秒間風が当たる)
・等価SET*　：当社独自指標
　VZノズルは間欠風となる為、風が当たる時と当たらない時のSET*を時間の割合(暴露率)から計算し補正値を加えた値を評価指標としています。
　補正値は、風速2～3m/s　DB -0.6℃、風速3m/s以上 DB -1.2℃です。

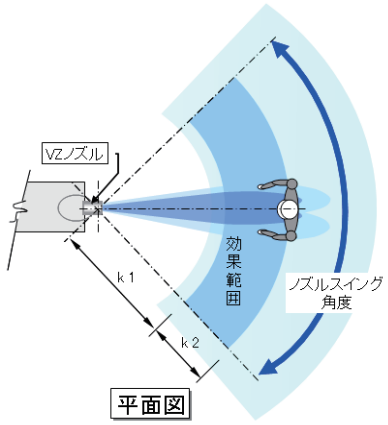
● VZ ノズル冷房体感温度計算書（室内 27℃ -75% _ 室外 27℃）

VZノズル冷房体感温度計算書

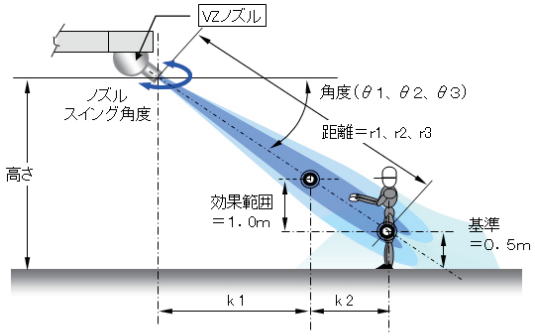
件　　名　：　　殿　　作成者：
提出先名：　　殿　　作成日：

条件	選定ノズル	FY-20XGR-D
	作業者周囲温度	DB 27.0℃　RH 75.0%
	ノズル供給風量	30CMM
	ノズル供給温湿度	DB 16.1℃　RH 90.0%
	ノズル設置　高さ	3.5m
	ノズル 設置方式／スイング角度	ワイドスイング ／ 120°　スイング

略図



平面図



側面図

体感温度計算	到達距離(r1～3)、角度(θ1～3)	r1=4.0m	θ1=49度	r2=6.0m	θ2=30度	r3=8.0m	θ3=22度
	到達風速	2.4m/s		1.6m/s		1.1m/s	
	到達風温	DB24.1℃	RH80%	DB25.2℃	RH78%	DB26.1℃	RH77%
	風有時SET* ※1	22.1℃		24.2℃		26.2℃	
	無風時SET* ※2	29.3℃		29.3℃		29.3℃	
	暴露率	20%		20%		20%	
	等価SET*	27.2℃		28.3℃		28.7℃	
	同等性評価温湿度 ※3 RH 60%	DB26.1℃		DB27.2℃		DB27.6℃	
	効果範囲 (k1,K2)	k1=1.8m	k2=0.9m	k1=3.5m	k2=1.7m	k1=4.9m	k2=2.5m

※1　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けた場合を示します。
※2　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けない場合を示します。
※3　等価SET*と同じ体感温度の風速0.2m/sにおける温度(DB)と湿度(RH)を示します。
◇語句の説明
・SET*（エス・イー・ティー・スター）：標準有効温度 (Standard Effective Temperature)
　ASHRAEで標準的体感温度としている指標です。
　乾球温度、湿球温度、風速、輻射、作業量、着衣量からプログラム計算します。
　但し、入力値で、輻射は乾球温度と同じ、作業量はメット値2.0met(軽作業)、着衣量はクロ値0.47clo(夏半袖)としています。
・暴露率：風が当たる割合で、ノズルスイング角度により下記で計算しています。
　30度スイング・暴露率50%(10秒間の内5秒間風が当たる)、60度スイング・暴露率40%(10秒間の内4秒間風が当たる)
　90度スイング・暴露率30%(10秒間の内3秒間風が当たる)、120度スイング・暴露率20%(10秒間の内2秒間風が当たる)
・等価SET*　：当社独自指標
　VZノズルは間欠風となる為、風が当たる時と当たらない時のSET*を時間の割合(暴露率)から計算し補正値を加えた値を評価指標としています。
　補正値は、風速2～3m/s　DB -0.6℃、風速3m/s以上 DB -1.2℃です。

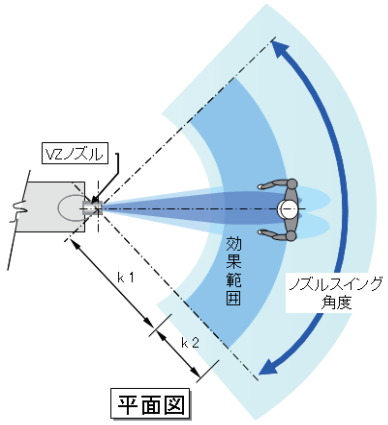
● VZ ノズル冷房体感温度計算書（室内 30℃ -60% _ 室外 30℃）

VZノズル冷房体感温度計算書

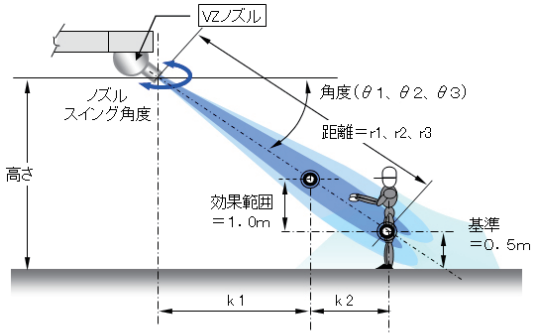
件　　名　：　　殿　　作成者：
提出先名：　　殿　　作成日：

条件	選定ノズル	FY-20XGR-D
	作業者周囲温度	DB 30.0℃　RH 60.0%
	ノズル供給風量	30CMM
	ノズル供給温湿度	DB 16.6℃　RH 90.0%
	ノズル設置　高さ	3.5m
	ノズル 設置方式／スイング角度	ワイドスイング ／ 120°　スイング

略図



平面図



側面図

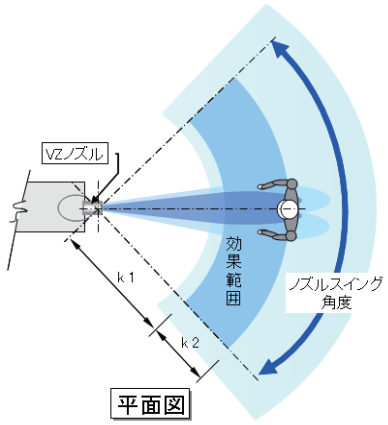
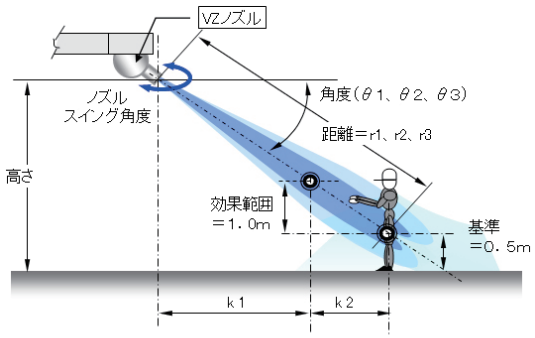
体感温度計算	到達距離(r1～3)、角度(θ1～3)	r1=4.0m	θ1=49度	r2=6.0m	θ2=30度	r3=8.0m	θ3=22度
	到達風速	2.4m/s		1.6m/s		1.1m/s	
	到達風温	DB26.4℃	RH67%	DB27.8℃	RH65%	DB28.9℃	RH62%
	風有時SET* ※1	24.2℃		26.3℃		28.3℃	
	無風時SET* ※2	31.2℃		31.2℃		31.2℃	
	暴露率	20%		20%		20%	
	等価SET*	29.2℃		30.2℃		30.6℃	
	同等性評価温湿度 ※3 RH 60%	DB28.1℃		DB29.1℃		DB29.5℃	
	効果範囲 (k1,K2)	k1=1.8m	k2=0.9m	k1=3.5m	k2=1.7m	k1=4.9m	k2=2.5m

※1　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けた場合を示します。
※2　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けない場合を示します。
※3　等価SET*と同じ体感温度の風速0.2m/sにおける温度(DB)と湿度(RH)を示します。
◇語句の説明
・SET*（エス・イー・ティー・スター）：標準有効温度 (Standard Effective Temperature)
　ASHRAEで標準的体感温度としている指標です。
　乾球温度、湿球温度、風速、輻射、作業量、着衣量からプログラム計算します。
　但し、入力値で、輻射は乾球温度と同じ、作業量はメット値2.0met(軽作業)、着衣量はクロ値0.47clo(夏半袖)としています。
・暴露率：風が当たる割合で、ノズルスイング角度により下記で計算しています。
　30度スイング・暴露率50%(10秒間の内5秒間風が当たる)、60度スイング・暴露率40%(10秒間の内4秒間風が当たる)
　90度スイング・暴露率30%(10秒間の内3秒間風が当たる)、120度スイング・暴露率20%(10秒間の内2秒間風が当たる)
・等価SET*　：当社独自指標
　VZノズルは間欠風となる為、風が当たる時と当たらない時のSET*を時間の割合(暴露率)から計算し補正値を加えた値を評価指標としています。
　補正値は、風速2～3m/s　DB -0.6℃、風速3m/s以上 DB -1.2℃です。

● VZ ノズル冷房体感温度計算書（室内 30℃ -75% _ 室外 30℃）

VZノズル冷房体感温度計算書

件　　名　：　　殿　　作成者：
提出先名：　　殿　　作成日：

条件	選定ノズル	FY-20XGR-D						
	作業者周囲温度	DB 30.0℃　RH 75.0%						
	ノズル供給風量	30CMM						
	ノズル供給温湿度	DB 19.4℃　RH 90.0%						
	ノズル設置　高さ	3.5m						
	ノズル 設置方式／スイング角度	ワイドスイング ／ 120°　スイング						
略図	 平面図　  側面図							
体感温度計算	到達距離(r1～3)、角度(θ1～3)	r1=4.0m	θ1=49度	r2=6.0m	θ2=30度	r3=8.0m	θ3=22度	
	到達風速	2.4m/s		1.6m/s		1.1m/s		
	到達風温	DB27.1℃	RH80%	DB28.2℃	RH78%	DB29.2℃	RH76%	
	風有時SET* ※1	25.9℃		28.1℃		30.0℃		
	無風時SET* ※2	33.0℃		33.0℃		33.0℃		
	暴露率	20%		20%		20%		
	等価SET*	31.0℃		32.0℃		32.4℃		
	同等性評価温湿度 ※3 RH 60%	DB29.8℃		DB30.8℃		DB31.2℃		
	効果範囲 (k1,K2)	k1=1.8m	k2=0.9m	k1=3.5m	k2=1.7m	k1=4.9m	k2=2.5m	

※1　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けた場合を示します。
※2　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けない場合を示します。
※3　等価SET*と同じ体感温度の風速0.2m/sにおける温度（DB）と湿度（RH）を示します。
◇語句の説明
・SET*（エス・イー・ティー・スター）：標準有効温度（Standard Effective Temperature）
　ASHRAEで標準的体感温度としている指標です。
　乾球温度、湿球温度、風速、輻射、作業量、着衣量からプログラム計算します。
　但し、入力値で、輻射は乾球温度と同じ、作業量はメット値2.0met（軽作業）、着衣量はクロ値0.47clo（夏半袖）としています。
・暴露率：風が当たる割合で、ノズルスイング角度により下記で計算しています。
　30度スイング・暴露率50%（10秒間の内5秒間風が当たる）、60度スイング・暴露率40%（10秒間の内4秒間風が当たる）
　90度スイング・暴露率30%（10秒間の内3秒間風が当たる）、120度スイング・暴露率20%（10秒間の内2秒間風が当たる）
・等価SET*　：当社独自指標
　VZノズルは間欠風となる為、風が当たる時と当たらない時のSET*を時間の割合（暴露率）から計算し補正値を加えた値を評価指標としています。
　補正値は、風速2～3m/s　DB -0.6℃、風速3m/s以上 DB -1.2℃です。

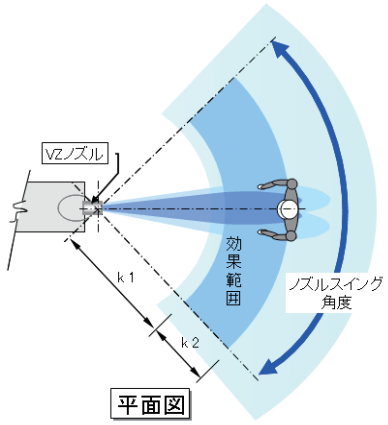
● VZ ノズル冷房体感温度計算書（室内 33℃ -60% _ 室外 33℃）

VZノズル冷房体感温度計算書

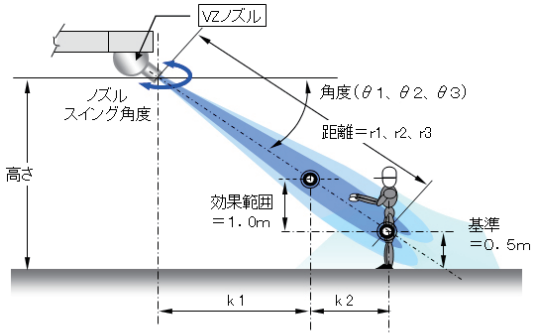
件　　名　：　　殿　　作成者：
提出先名：　　殿　　作成日：

条件	選定ノズル	FY-20XGR-D
	作業者周囲温度	DB 33.0℃　RH 60.0%
	ノズル供給風量	30CMM
	ノズル供給温湿度	DB 19.6℃　RH 90.0%
	ノズル設置　高さ	3.5m
	ノズル 設置方式／スイング角度	ワイドスイング ／ 120°　スイング

略図



平面図



側面図

体感温度計算	到達距離(r1～3)、角度(θ1～3)	r1=4.0m	θ1=49度	r2=6.0m	θ2=30度	r3=8.0m	θ3=22度
	到達風速	2.4m/s		1.6m/s		1.1m/s	
	到達風温	DB29.4℃	RH67%	DB30.8℃	RH64%	DB31.9℃	RH62%
	風有時SET* ※1	27.7℃		29.8℃		31.7℃	
	無風時SET* ※2	34.4℃		34.4℃		34.4℃	
	暴露率	20%		20%		20%	
	等価SET*	32.5℃		33.5℃		33.9℃	
	同等性評価温湿度 ※3 RH 60%	DB31.2℃		DB32.2℃		DB32.5℃	
	効果範囲 (k1,K2)	k1=1.8m	k2=0.9m	k1=3.5m	k2=1.7m	k1=4.9m	k2=2.5m

※1　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けた場合を示します。
※2　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けない場合を示します。
※3　等価SET*と同じ体感温度の風速0.2m/sにおける温度(DB)と湿度(RH)を示します。
◇語句の説明
・SET*（エス・イー・ティー・スター）：標準有効温度 (Standard Effective Temperature)
　ASHRAEで標準的体感温度としている指標です。
　乾球温度、湿球温度、風速、輻射、作業量、着衣量からプログラム計算します。
　但し、入力値で、輻射は乾球温度と同じ、作業量はメット値2.0met(軽作業)、着衣量はクロ値0.47clo(夏半袖)としています。
・暴露率：風が当たる割合で、ノズルスイング角度により下記で計算しています。
　30度スイング・暴露率50%(10秒間の内5秒間風が当たる)、60度スイング・暴露率40%(10秒間の内4秒間風が当たる)
　90度スイング・暴露率30%(10秒間の内3秒間風が当たる)、120度スイング・暴露率20%(10秒間の内2秒間風が当たる)
・等価SET*　：当社独自指標
　VZノズルは間欠風となる為、風が当たる時と当たらない時のSET*を時間の割合(暴露率)から計算し補正値を加えた値を評価指標としています。
　補正値は、風速2～3m/s　DB -0.6℃、風速3m/s以上 DB -1.2℃です。

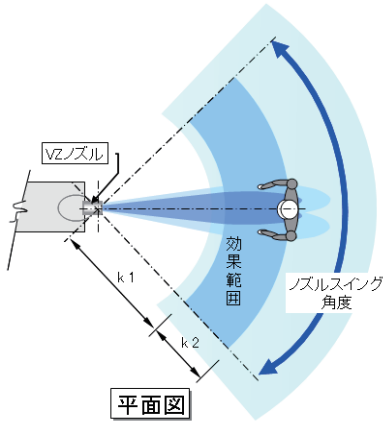
● VZ ノズル冷房体感温度計算書（室内 33℃ -75% _ 室外 33℃）

VZノズル冷房体感温度計算書

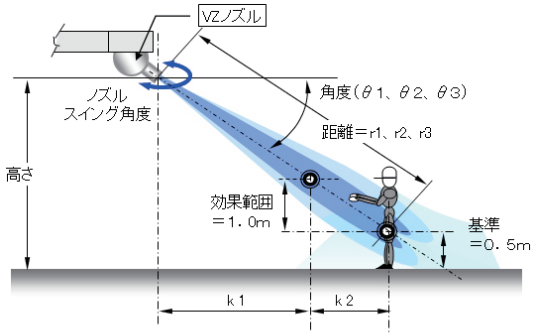
件　　名　：　　殿　　作成者：
提出先名：　　殿　　作成日：

条件	選定ノズル	FY-20XGR-D
	作業者周囲温度	DB 33.0℃　RH 75.0%
	ノズル供給風量	30CMM
	ノズル供給温湿度	DB 22.6℃　RH 90.0%
	ノズル設置　高さ	3.5m
	ノズル 設置方式／スイング角度	ワイドスイング ／ 120°　スイング

略図



平面図



側面図

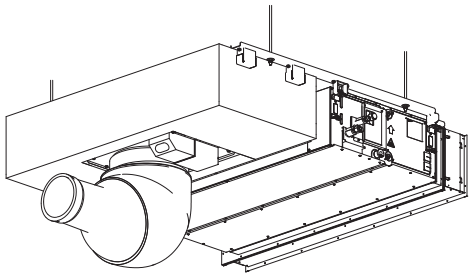
体感温度計算	到達距離(r1～3)、角度(θ1～3)	r1=4.0m	θ1=49度	r2=6.0m	θ2=30度	r3=8.0m	θ3=22度
	到達風速	2.4m/s		1.6m/s		1.1m/s	
	到達風温	DB30.2℃	RH80%	DB31.3℃	RH78%	DB32.2℃	RH76%
	風有時SET* ※1	30.2℃		32.4℃		34.2℃	
	無風時SET* ※2	36.6℃		36.6℃		36.6℃	
	暴露率	20%		20%		20%	
	等価SET*	34.7℃		35.8℃		36.1℃	
	同等性評価温湿度 ※3 RH 60%	DB33.3℃		DB34.3℃		DB34.6℃	
	効果範囲 (k1,K2)	k1=1.8m	k2=0.9m	k1=3.5m	k2=1.7m	k1=4.9m	k2=2.5m

※1　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けた場合を示します。
※2　風や温湿度の要因を考慮した体感温度指標のことで、ノズルより風を受けない場合を示します。
※3　等価SET*と同じ体感温度の風速0.2m/sにおける温度(DB)と湿度(RH)を示します。
◇語句の説明
・SET*（エス・イー・ティー・スター）：標準有効温度 (Standard Effective Temperature)
　ASHRAEで標準的体感温度としている指標です。
　乾球温度、湿球温度、風速、輻射、作業量、着衣量からプログラム計算します。
　但し、入力値で、輻射は乾球温度と同じ、作業量はメット値2.0met(軽作業)、着衣量はクロ値0.47clo(夏半袖)としています。
・暴露率：風が当たる割合で、ノズルスイング角度により下記で計算しています。
　30度スイング・暴露率50%(10秒間の内5秒間風が当たる)、60度スイング・暴露率40%(10秒間の内4秒間風が当たる)
　90度スイング・暴露率30%(10秒間の内3秒間風が当たる)、120度スイング・暴露率20%(10秒間の内2秒間風が当たる)
・等価SET*　：当社独自指標
　VZノズルは間欠風となる為、風が当たる時と当たらない時のSET*を時間の割合(暴露率)から計算し補正値を加えた値を評価指標としています。
　補正値は、風速2～3m/s　DB -0.6℃、風速3m/s以上 DB -1.2℃です。

Panasonic®

据付工事説明書

VZ システムチャンバー



※イラストは、VZ システムに必要な別売品を
セットした状態のものです。

品番
CZ-140VBCFE7

もくじ　　ページ

安全上のご注意…… 2
1. 必要な機器…… 5
2. 付属品…… 6
3. 据付場所…… 7
4. 据え付け前の準備…… 8
5. VZ システムの組み立て …… 10
6. VZ システムの据え付け …… 12
7. 接続チャンバーの取り付け…… 13
8. フィルターチャンバーの取り付け‥ 13
9. 冷媒配管工事…… 13
10. ドレン配管工事…… 13
11. 電気配線工事…… 13
12. 配線の接続…… 13
13. 吹出口ユニットの首振り連動方法 ‥ 12
14. 試運転の前に…… 17
15. 室内ユニットの設定…… 17
16. 試運転フローチャート…… 17
17. リモコン試運転設定…… 18
18. 据付工事完了後のチェック項目 ‥ 18
19. 自己診断機能表…… 19
20. アドレス設定…… 19

- 本説明書は、バリアゾーン（以下 VZ）システムに使用するオプション品の組立、及び据付・電気工事用のものです。
- 吹出口ユニットには吹出口ユニット版の「取扱説明書（工事説明付き）」、室内ユニットには室内ユニット版の「据付工事説明書」「取扱説明書」、接続チャンバーには接続チャンバー版の「据付工事説明書」、フィルターチャンバーにはフィルターチャンバー版の「据付工事説明書」、ロングライフフィルターにはロングライフフィルター版の「据付工事説明書」、リモコンにはリモコン版の「据付（電気）工事説明書」「取扱説明書」がそれぞれ同梱されていますので、本据付工事説明書と合わせてよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
  特に「安全上のご注意」（2 ～ 4 ページ）は、施工前に必ずお読みください。
- 本製品は、接続する室内ユニットによって必要な別売品や、設置スペースが異なります。「1. 必要な機器」（5 ページ）で接続する室内ユニットが取付タイプⓐまたはⓑに該当することをご確認の上、それぞれの取付方法に従って作業を行ってください。
- 据付工事完了後は試運転を行い異常がないことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、各機器に付属の「据付工事説明書」「取扱説明書」「保証書」はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
  また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ **注意**「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。

実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ **製品の分解、改造は絶対にしない**
（故障や感電、火災の原因）
〇修理はお買い上げの販売店にご相談ください

■ **ドレン配管を下水溝に直接入れない**
（有毒ガスが室内に流入し、中毒などの原因）

■ **室内ユニットの吹出口に指や棒などを入れない**
（故障、けがの原因）

■ **電源配線をバンドなどで束ねて収納しない**
（発熱、火災の原因）

■ **配線は途中接続しない**
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

■ **室内ユニット、吹出口ユニット、リモコンは水洗いしない**
（感電、故障の原因）

■ **気密試験には必ず窒素ガスを使用し、酸素などは絶対に使用しない**
（破裂、火災、けがなどの原因）

■ **運転中は吹出口ユニットの可動部には触れない**
（低回転であるが、高トルクで作動しており、けがの原因）

■ **本機器は高温多湿な環境で使用すると結露を生じることがある**
（結露水滴下による、転倒事故や損害の原因）
結露水による損害は補償の対象外とする。

■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れ、冷媒漏れ、感電や火災の原因となる。また工事に不備があると予期せぬ事故の原因となる）

■ **付属品および別売品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災の原因）

■ **使用冷媒に関連する警告は、接続する室内ユニットの据付工事説明書に従う**
（破裂、爆発、発熱、火災、酸欠事故、けがの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **台風などの強風・地震などに備え所定の工事を行う**
（落下などによる、けがの原因）

■ **電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および「据付工事説明書」に従って施工する**
（施工の不備や電気回路容量に不備があると、感電や火災の原因）

■ **電源は、必ず専用回路を使用する**
（感電、火災のおそれ）

■ **ドレン工事は、確実に排水するように配管する**
（屋内に浸水し、家財などを濡らす原因）

■ **関連法規に従って漏電しゃ断機（高調波対応品・全極開閉機能付）を取り付ける**
（故障や漏電時に感電、火災の原因）

■ **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する**
（故障や発熱、火災の原因）

■ **電源配線および室内外接続線、信号線は、確実に固定し、冷媒配管やバルブなどに触れないようにする**
（感電、故障の原因）

■ **配線をはさまないように、ふたは元通り確実に取り付ける**
（感電、火災の原因）

■ **配線は誤配線のないように接続する**
（誤配線すると故障の原因）



■配線は、磨耗、腐食、過度の圧力、振動、鋭いエッジまたは他の外的影響を受けていないことを確認する
確認の際は、経年劣化、ファンなどの継続的な振動の影響も考慮すること
（感電や火災の原因）

■ワイヤードリモコンからの配線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続し、その他の端子には接続しない
（感電、故障の原因）

■吹出口ユニットの接続や、組付けのボルトなどはしっかり締める
（締め付けが不十分な場合、落下や外れによりけがの原因）

■吹出口ユニットは指定の方法で確実に取り付ける
（落下により、けがをするおそれ）

■使用を終了した製品は放置せず、撤去する
（万一の場合、落下により、けがをするおそれ）



■アース工事（D種設置工事）を行う
（感電の原因）

■アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
（感電の原因）

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
漏れた冷媒が滞留するおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因）

■ 定格以外の電圧を印加しない
（火災、感電などの原因）

■ 定められた環境以外では使用しない
漏れた冷媒が滞留するおそれのある場所に設置しない
（制御器の破損やモーターの焼損などにより、予期せぬ事故の原因）

■ 接続部などから漏れた冷媒にさわらない
（凍傷の原因）

■ 吹出口ユニット可動部（ノズル、ノズルフランジ）には、ぶらさがったり踏み込んだり、棒などで操作したり衝撃や無理な力を加えない
（機器の破損・脱落や、けがの原因）

■ 吹出口ユニット可動部（ノズル、ノズルフランジ）を障害物に接触させない
（機器の破損や、部品落下の原因）

■ 次のような場所では使わない
（感電、火災などの原因）
- 結露するところ（リモコン）
- 可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
- 水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
- 酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
- 腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ
- 有機溶剤の飛沫するところ
- 電磁波が出る機械のあるところ
- 電圧変動の多いところ

■ 電気部品に触れる前に電源を遮断する
（感電の原因）

■ ドレン配管は室内ユニットの「据付工事説明書」に従って確実に排水するように配管し、結露が生じないよう断熱する
（配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因）

■ VZ システムチャンバーは「据付工事説明書」に従って確実に断熱する
（正しく断熱されていないと水漏れの原因）

■ 電気工事は人体に帯電した静電気をアースに放電してから行う
（故障の原因）

■ 配線引込口をパテなどで塞ぐ
（露や虫が入り感電や結露による基板故障の原因）

■ 点検時には、手袋やヘルメットなどの保護具を着用する
（けがややけどなどの原因）

■ 異常発生時（音、振動、臭い）は直ちに運転を停止し、修理を依頼する
（予期せぬ事故の原因）

●リモコン据え付け時のご注意

■ 次のような場所に据え付けない
- 据付面に凹凸があるところ

■ 床面から 1 ～ 1.5m の高さに床面に対して垂直に据え付ける
（室内の平均温度を感じるところ）（ワイヤードリモコン）

■ 複数並べて据え付けるときは、左右 5㎜、上下 50㎜ 以上離す
（ノイズなどによる誤作動の原因）（ワイヤードリモコン）

■ 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける
（故障の原因）

■ 高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける
（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与えるおそれ）

■ テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から 1m 以上離す
（映像の乱れ、雑音の原因）（ワイヤードリモコン）

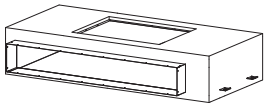
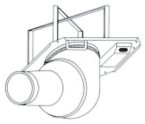
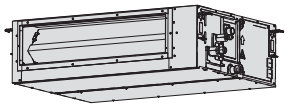
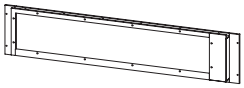
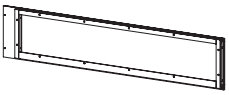
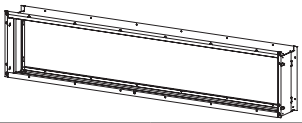
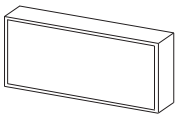
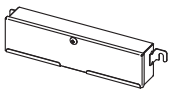
■ ワイヤードリモコンの配線は、電源配線等とより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない
（故障の原因）

■ 配線は、地中に埋設しない
（落雷などにより、感電や火災、故障の原因）

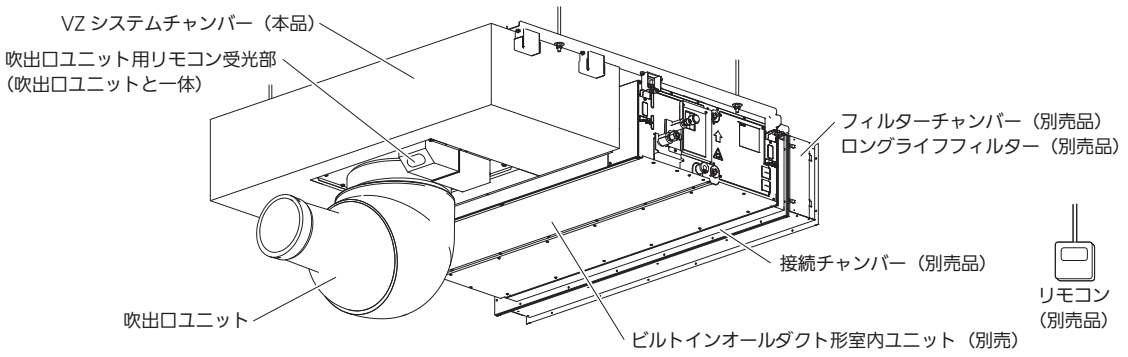
■ 施工時や点検などの際、本体から外した部品を落とさないように注意する
（落下して、けがの原因）

■ 本体取付ねじは既定の本数、径を使用する
（不足の場合、落下して、けがの原因）

1.必要な機器

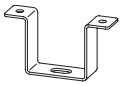
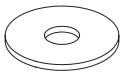
名称品番	形状		備考
① VZ システムチャンバー（本品） （CZ-140VBCFE7）	 30kg		
② 吹出口ユニット （FY-20XGR-D）	 25kg		付属品 • 裏板金具 • M6 ボルト（14 本） • ワイヤレスリモコン
③ 室内ユニット ビルトインオールダクト形 FE シリーズ　140 形  46kg	取付タイプⓐ	取付タイプⓑ	室内ユニットによって使用する接続チャンバーが異なります。組み合わせの詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。
	【オフィス・店舗用エアコン】 CS-P140FE7C 以降 【ビル用マルチエアコン】 CS-P140FE5U 以降 【ガスヒートポンプエアコン】 S-G140FEU1 以降	【オフィス・店舗用エアコン】 CS-P140FE7 CS-P140FE7B	
④ 接続チャンバー	取付タイプⓐ	取付タイプⓑ	
	CZ-160SPF2 	CZ-160SPF1 	
⑤ フィルターチャンバー （CMB-FBU140T）			
⑥ ロングライフフィルター （AFT-LBD140T）			
⑦ ワイヤードリモコン			
⑧ 信号出力基板 （ACC-SG-E） ※リレー中継基板は使用しないでください			室内ユニットの ON / OFF に吹出口ユニットの首振り動作を連動させる際に使用

※ 各機器に付属の部品は設置に必要になりますので、捨てないでください。
※ ②～⑧は別途購入準備が必要となります。



2. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、施工が完了するまで捨てないでください。
施工にはビルトインオールダクト（室内ユニット）に付属の部品も使用します。

吊下げアングル（2個）	吊金具（6個）	平ワッシャー（16個）	M4タッピングネジ（24個）	M6セムスネジ（12個）
				
M6ネジ（2個）	M10六角ボルト（8個）	M10六角ナット（8個）	M10六角ナット（薄型）（8個）	断熱材A（4個）
トラス頭 L35 	L30 			T2×60×100 
断熱材B（2個）	断熱材C（4個）	断熱材D（4個）	断熱材E（4個）	断熱材F（4個）
T30×100×194 	T30×100×630 	T5×30×65 	T5×117×155 	T5×60×160 
取扱説明書（1冊）、据付工事説明書（1冊）				

3. 据付場所

3-1. ノズルを 360˚回転させても、ノズルが障害物に衝突・接触しない位置に製品を設置してください。

3-2. 周囲の環境条件によっては、結露水が滴下する可能性がありますので、製品の設置位置にご配慮ください。
（VZ システムの下方向は結露水が滴下する可能性があります。）

3-3. 吹出口ユニット用リモコン受光部と照明装置（蛍光灯など）の距離は 50cm 以上離してください。
（受光部に強い光が入射し、赤外線リモコンによる操作が妨げられる可能性があります。万一距離が確保できない場合は、遮蔽板を設け、光を遮ってください。）

3-4. 2台以上の吹出口ユニットを近接し設置する場合、赤外線リモコンにて操作を行う際に誤動作する恐れがあります。

3-5. VZ システム（吹出口ユニット、VZ システムチャンバー、室内ユニット、フィルター）の重量に十分耐える所に確実に据え付けてください。

3-6. VZ システムを以下のような場所には据え付けないでください。
・冷気（暖気）が遮られる場所。
（吹出口および吸込口の風の通路には障害物がないこと。）
・料理店などの調理場や、機械工場など、油を多量に使用する場所。
（油が熱交換器や樹脂部品等に付着して能力の低下、霧吹きや露飛びの発生、樹脂部品の変形や破損の原因になります。）
・可燃性ガスの発生、滞留、漏れのおそれのある場所。
（万一ガスが室内ユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。）
・亜硫酸ガス、腐食性ガスの発生する場所。
（銅管、ろう付け部が腐食し、冷媒ガスが漏れる原因になります。）
・高周波が発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のある場所。
（エアコンの誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります。）
・電圧変動の大きい場所。
・有機溶剤が発散する場所。
・動植物や食品に風が直接あたる場所。
（動植物や食品に悪影響をおよぼす原因になることが あります。）
・直射日光の当たらない場所に据え付けてください。
（誤動作、部品の変形や破損の原因になります。）

3-7. 扉や窓の近くに VZ システムを据え付けることは、できる限り避けてください。
（露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。）

3-8. 据付場所の温度が、30℃または RH80%を超えると思われる場合は、断熱を強化してください。
（断熱しないと結露することがあります。）

3-9. ドレン水の処理のしやすいところに据え付けてください。
・ドレン配管は屋内を通る部分をできるだけ短くしてください。
・屋内を通る部分のドレン配管は必ず断熱してください。
・ドレン水は隣家などに迷惑のかからないようにしてください。

3-10. 騒音が増大しないように強固に取り付けてください。

3-11. 火災警報器と吹出口は 1.5 m 以上離して据え付けてください。

3-12. VZ システムの下には、濡れて困るものは置かないでください。湿度が RH80% 以上の場合は、露が落ちることがあります。
FY-20XGR-D（高断熱仕様）では露点温度Δ t℃（※ 1）が 8℃よりも大きくなる場合、結露し、露が落ちたり、吹出口から露飛びが発生したりすることがあります。
※ 1：露点温度Δ t℃とは、（周囲空気露点温度）－（ノズル吹き出し温度）

3-13. 室外ユニットが上位置または下位置の場合の最大高低差以内であって、かつ、室外ユニットに同梱されている据付工事説明書に記載されている室外ユニットからの総配管長以内の場所に VZ システムを据え付けてください。

3-14. VZ システムを設置する十分な作業用スペースを考慮してください。

3-15. VZ システムを設置する際は、サービス時の作業用スペースを考慮してください。

3-16. R32 冷媒使用の室内ユニットにつきましては、室内ユニット付属の据付工事説明書（別紙編）に従って安全対策の要否判定を行ってください。
冷媒漏えい高さにつきましては吹出口ユニット先端最下端から床面となります。（詳細は 8、9 ページを参照ください。）

4. 据え付け前の準備

4-1. 据付・整備のための最小必要スペース

- 据付・整備のための最小必要スペースを、それぞれ図 1-1、図 1-2 に示します。
  室内ユニットの取付タイプ（5 ページ参照）によって外形寸法が異なりますので、該当する図をご確認ください。
- 本システムでは通常のビルトイン機器とは異なり、天井材を貼った条件での設置は考慮されておりません。
- ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃ならびにエアフィルター交換のためのサービススペースを確保してください。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- VZ システムチャンバーおよび室内ユニットの天面と天井面の間は、700㎜ 以上あけてください。
- VZ システムチャンバーおよび室内ユニットの底面と床面の間は、2.5m 以上あけてください。

取付タイプⓐ

単位：㎜

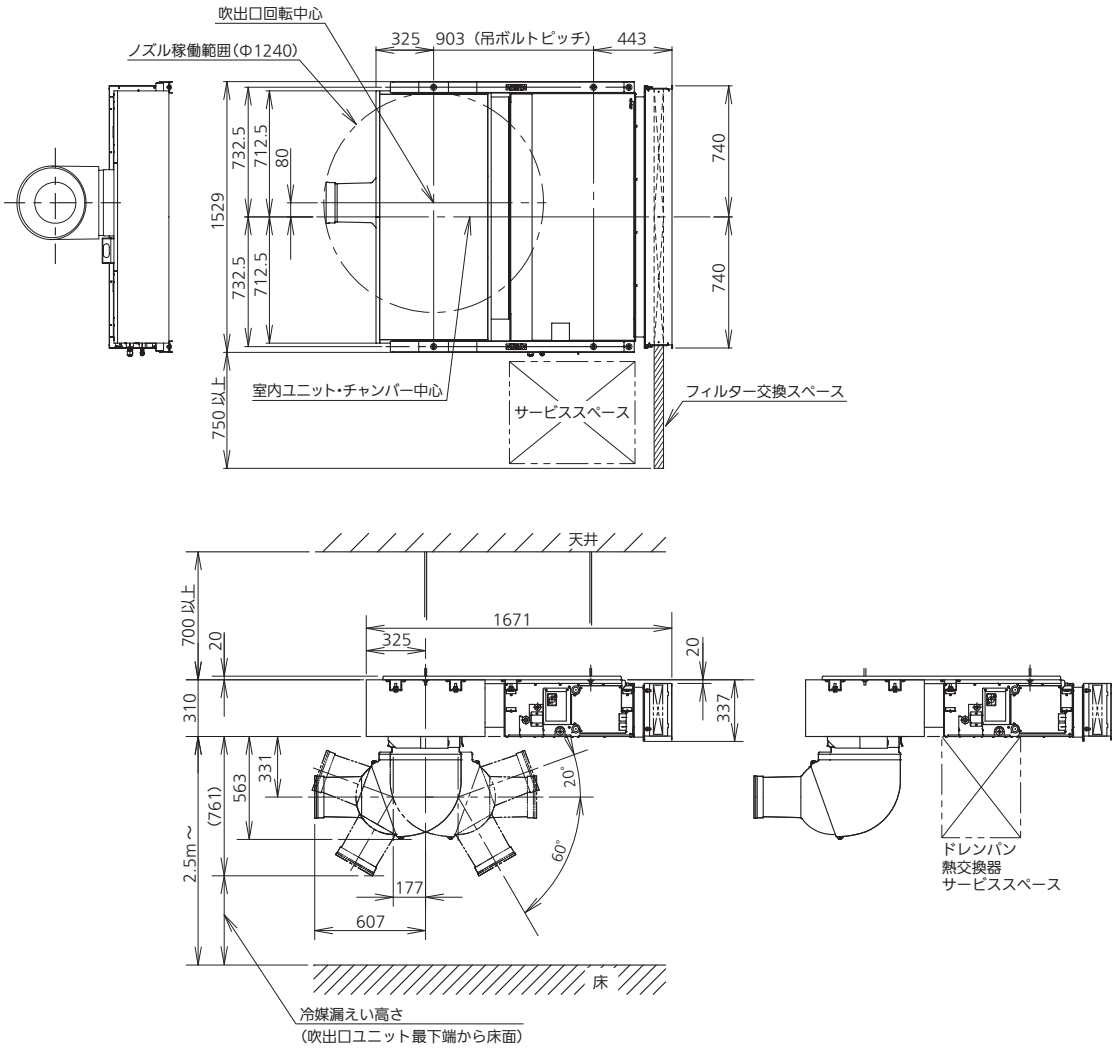


図 1-1 外形寸法および外周空間

取付タイプⓑ

単位：mm

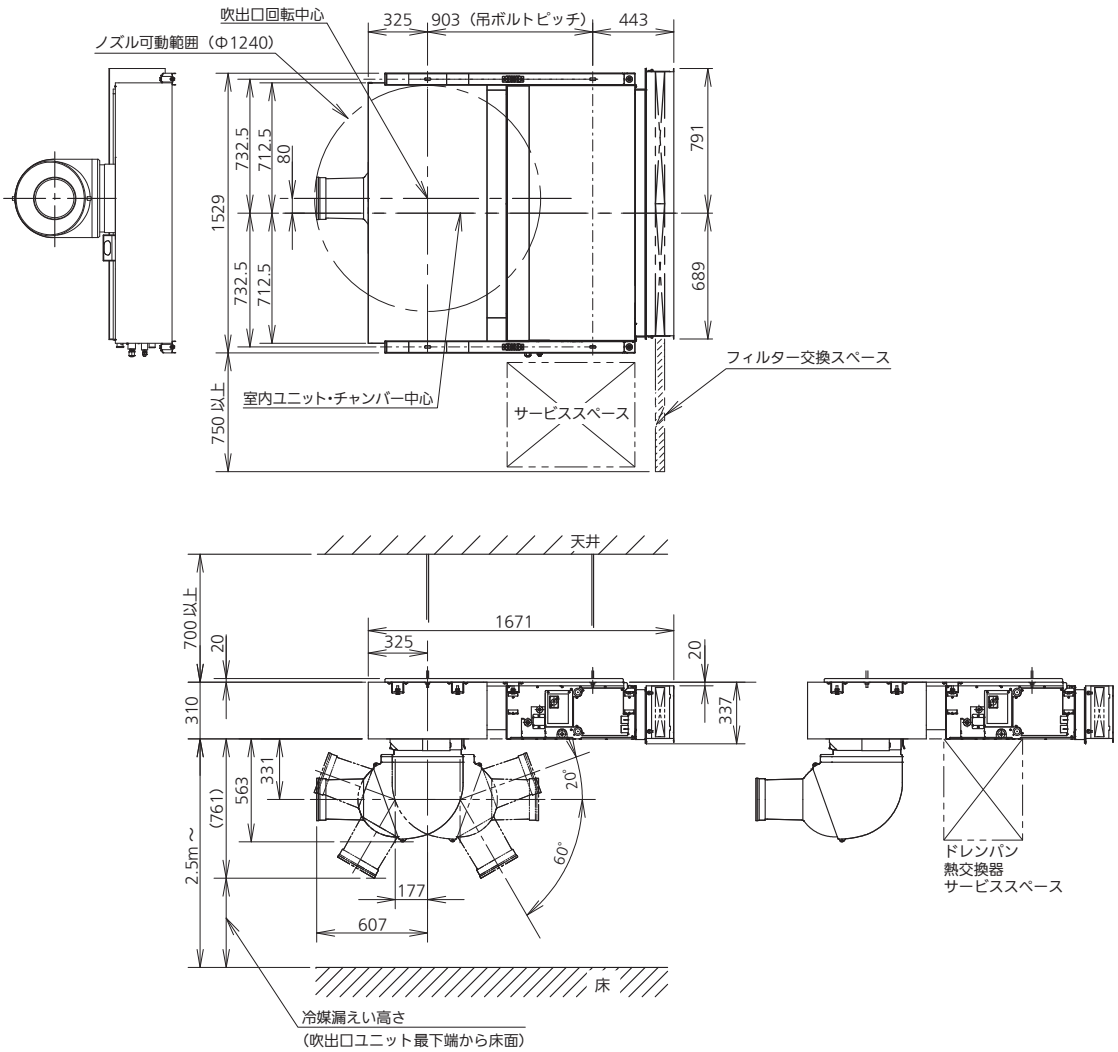


図1-2 外形寸法および外周空間

4-2. 吊り下げ構造

吊ボルトの固定は図 2 あるいは他の方法により確実に固定してください。

1) 木造・簡易鉄筋の場合
小屋梁（はり・平屋建て）または 2 階梁（2 階建て）を強度メンバーとしてください。
ユニット吊り下げには丈夫な角材を用いてください。
梁間が 90cm 以下の場合＝ 6cm 角以上の角材
梁間が 180cm 以下の場合＝ 9cm 角以上の角材

2) 鉄筋の場合
図 2 の方法で吊ボルトを固定するか、またはアングル・角材などを利用して吊ボルトを取り付けてください。

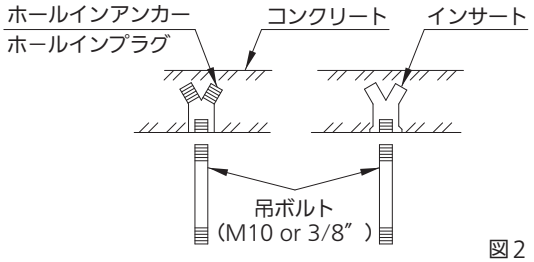


図2

5.VZ システムの組み立て

5-1. 吹出口ユニットの取付裏板を取りはずしてください。（図 3）

5-2. VZ システムチャンバーの内側に吹出口ユニットの取付裏板を取り付けてください。（図 4）
取付裏板のナット側を VZ システムチャンバー内側に向け、四すみを吹出口ユニット付属のネジで固定してください。

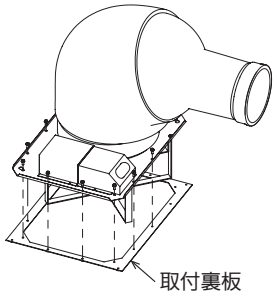


図3　吹出口ユニット

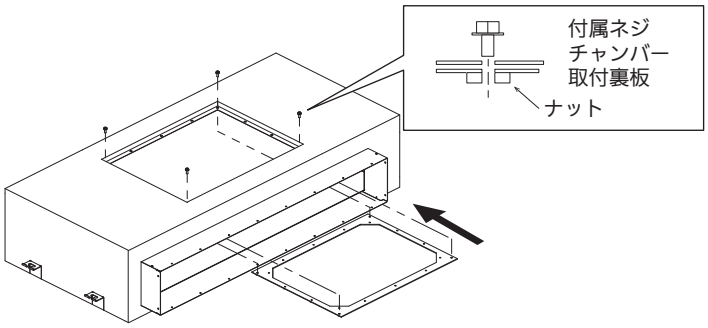


図4　VZシステムチャンバー（裏返し状態）

5-3. 室内ユニットの角フランジに VZ システムチャンバーの角フランジ部を取り付けてください。（図 5）
VZ システムチャンバー側の角フランジを外側にして、突き当たるまで押し込んでください。
① M4 タッピンネジを使って固定してください。
② また、チャンバー側の角フランジの角部も同様に固定してください。

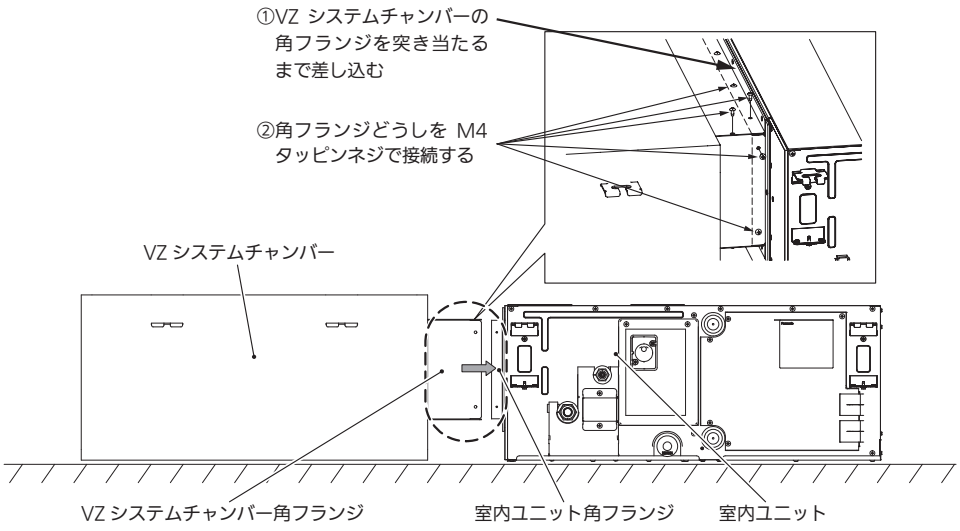


図5

5-4. 吊下げアングルの角穴に吊金具 3 個を通し、M6 セムスネジで取り付けます。（2 本とも）（図 6）

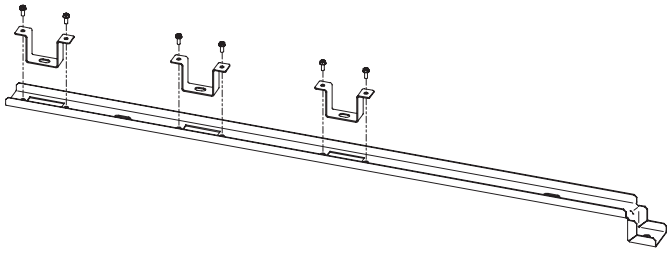


図6

5-5. 吊下げアングルと VZ システムチャンバー、室内ユニットの吊金具を M10 六角ボルト・平ワッシャー・六角ナット 2 種類で固定してください。
六角ボルトは必ず、上向きに取り付けてください。（図 7）
固定部詳細図 A、B では固定の方法が異なりますので、順番をよく確認して固定してください。

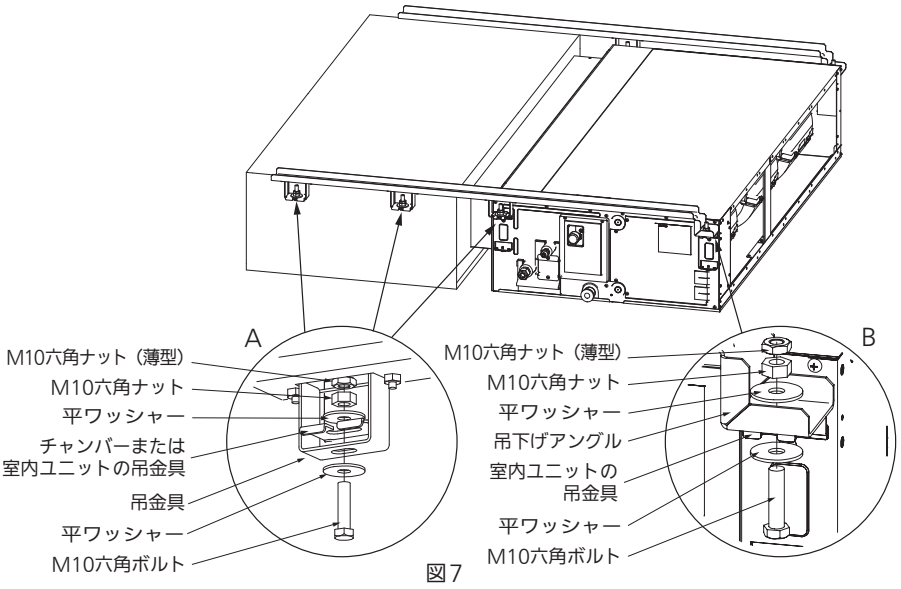
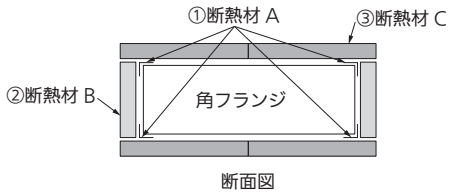


図7

5-6. 角フランジに断熱材を貼ります。（図 8）
① フランジの角 4 ヵ所に断熱材 A をL形状に貼り付けてください。
② 側面（短手）に断熱材 B を貼り付けてください。
③ 上下面（長手）に断熱材 C を 2 枚ずつ貼り付けてください。
各断熱材の間に隙間が無い様にしてください。



断面図

※ 角フランジ底面側のネジを固定する作業および断熱材を貼る作業は、室内ユニットを下側にして立てると作業しやすくなります。

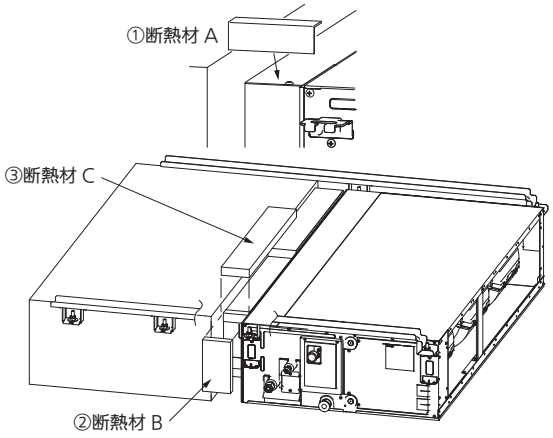
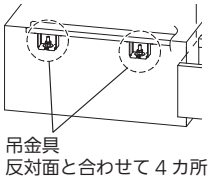


図8

5-7. VZ システムチャンバーの両側面の吊金具 4 ヵ所に断熱材を貼りつけてください。
（室内ユニットの吊金具には貼らないでください。）
① 吊金具の下面に断熱材 D を貼り付けてください。
② 吊金具を覆うように断熱材 E を図 9 の通り、折り返して貼り付けてください。
③ 吊下げアングルの角穴を断熱材 F でふさいでください。



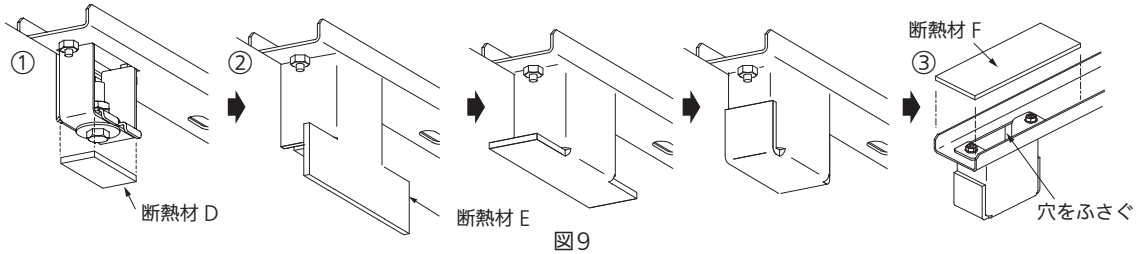


図9

6.VZ システムの据え付け

6-1. 一体化した室内ユニットと VZ システムチャンバーを吊下げてください。（図 10）
必ずダブルナットでユニットを支持してください。

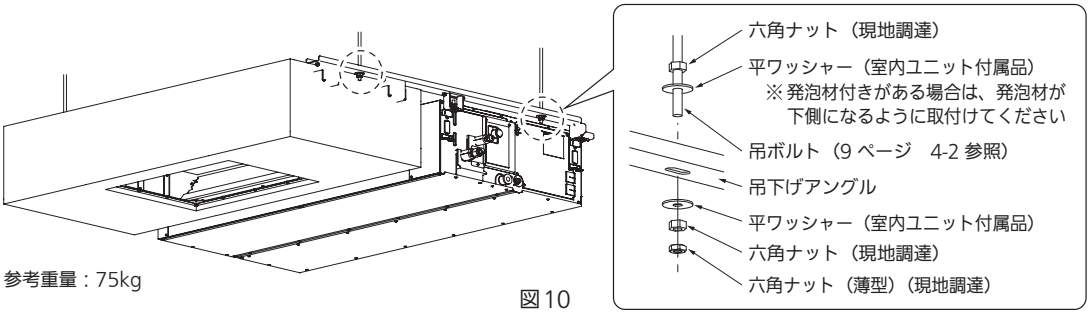


図10

6-2. 吹出口ユニットを取り付けるための仮掛け用として、付属品の M6 ネジを VZ システムチャンバーの 2 か所に仮留めしてください。（図 11）

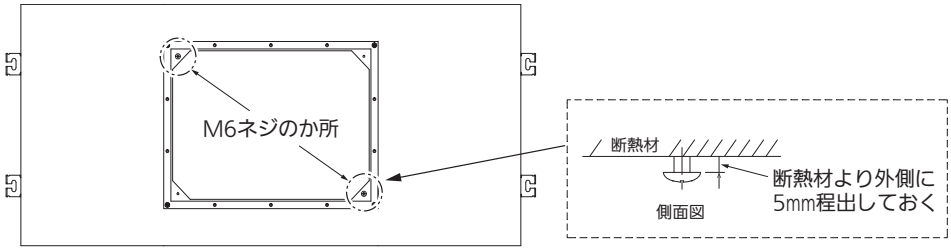


図11

6-3. 仮留めしたネジに吹出口ユニットを仮掛けしてから、締め込んで固定してください。（2 か所とも）
その後、吹出口ユニットに付属の六角頭のネジ（M6）を締め込み、しっかりと固定してください。（図 12）
吹出口ユニットの電装ボックスは、室内ユニットの電装ボックスと同じ方にそろえてください。（図 13）

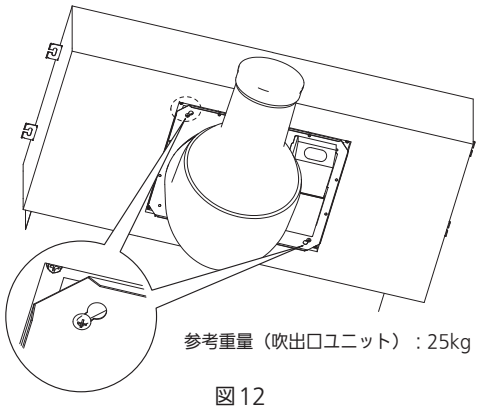


図12

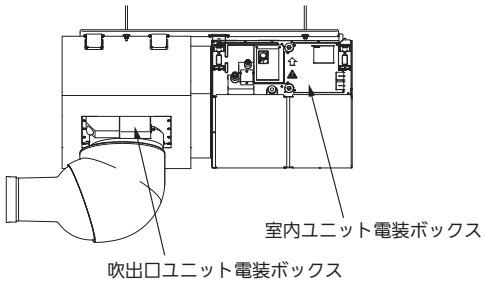


図13

7. 接続チャンバーの取り付け
8. フィルターチャンバーの取り付け

• 項目 7、8 はそれぞれに付属の据付工事説明書を参照してください。

9. 冷媒配管工事
10. ドレン配管工事

• 項目 9、10 は室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。

11.電気配線工事
12.配線の接続

• 室内ユニットの電気配線は、室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

• 吹出口ユニットの電気配線は、吹出口ユニットの取扱説明書（工事説明書付き）を参照してください。

• 吹出口ユニットは室内ユニットとは別電源としてください。

13.吹出口ユニットの首振り連動方法

13-1. 信号出力基板をスペーサーと一緒に箱から取り出してください。（図 15）

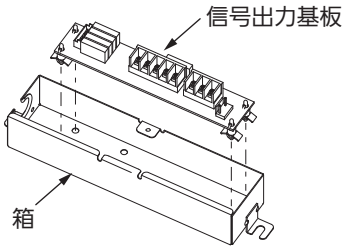


図15

13.吹出口ユニットの首振り連動方法（つづき）

13-2. 以下のように配線を接続し、設定を行ってください。（図 16-1、図 16-2）

① 信号出力基板に付属の配線で、信号出力基板 CN001（OPTION・白 6P）と室内ユニットコントロール基板の CN060（OPTION・白 6P または 14P）を接続してください。

② 信号出力基板の CN002（白・2P）は信号出力基板に付属の無電圧出力用短絡コネクタで接続してください。

③ 信号出力基板の CN003（黒・3P）、コモン 3 と吹出口ユニットの IN1 を接続してください。

④ 信号出力基板の CN004（黒・5P）、送風 と 吹出口ユニットの IN2 を接続してください。

⑤ 信号出力基板と吹出口ユニットをつなぐ配線は、吹出口ユニットに付属のフェライトコアを1～2回巻きつけてください。

※信号出力基板と吹出口ユニットを接続する配線は部品に含まれていません。以下のものを現地調達してください。
配線太さ 0.5 ～ 1.25㎟、シース部を含む絶縁物の厚みが 1㎜ 以上で柔軟性のあるケーブル（単線は使わない）
推奨品：VCT、VCTF、EM-OOCT、EM-ECTF
配線は室内ユニット側面にある配線引込口に穴を開け、通してください。（図 17）
また、吹出口ユニット電装ボックスのふたに付属のアイレットを通してください。
信号出力基板に配線を接続してから、室内ユニットの電装ボックスに取り付けてください。（図 17）
配線は板金等で噛みこまないように引き回し、余剰分は電装ボックス内で天井面側の配線とともに結束バンド（現地調達）で束ねて納めてください。（図 18-1、図 18-2）

取付タイプⓐ

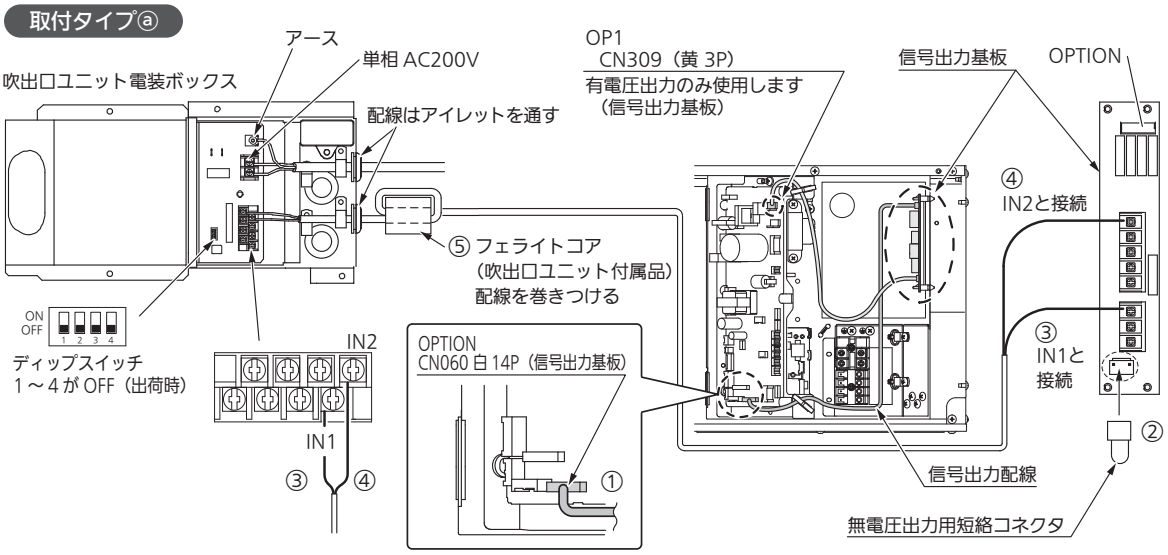


図16-1

取付タイプⓑ

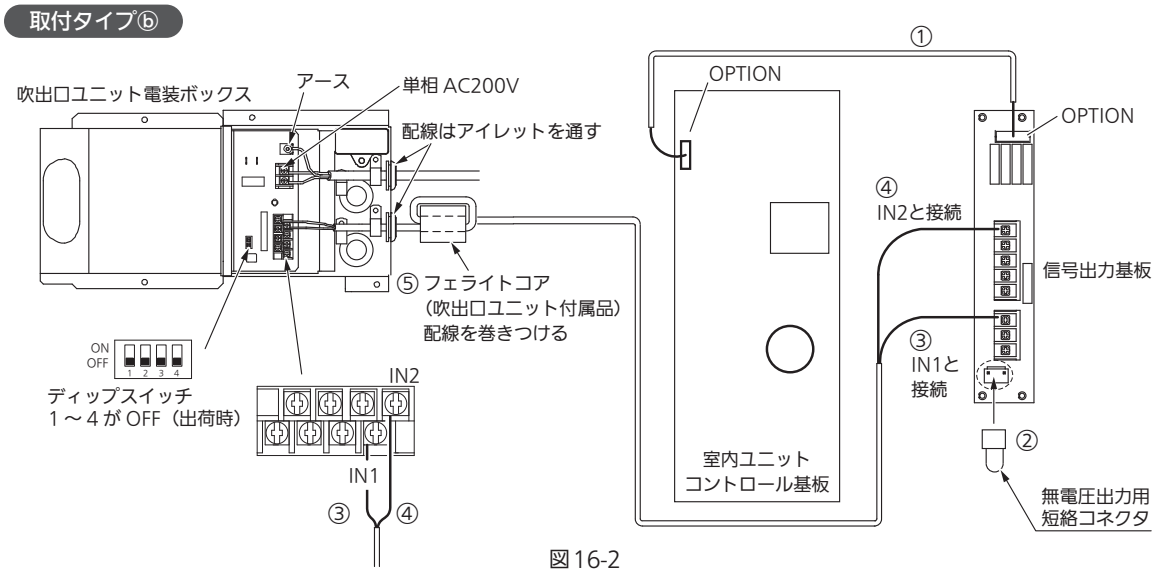


図16-2

13-3. 吹出口ユニットのディップスイッチ 1 ～ 4 が OFF になっていることを確認してください。
（図 16-1、図 16-2 参照）
※スイッチ 2 が OFF の時、首振り角度が 30˚→ 60˚ → 90˚→ 120˚→ 30˚・・・の 4 段階で変化します。
首振り角度を 30˚→ 60˚→ 90˚→ 120˚→ 360˚ → 30˚・・・の 5 段階で変化させたいときはスイッチ 2 を ON にしてください。
首振り動作の範囲設定の詳細につきましては、吹出口ユニットに付属の説明書を参照してください。

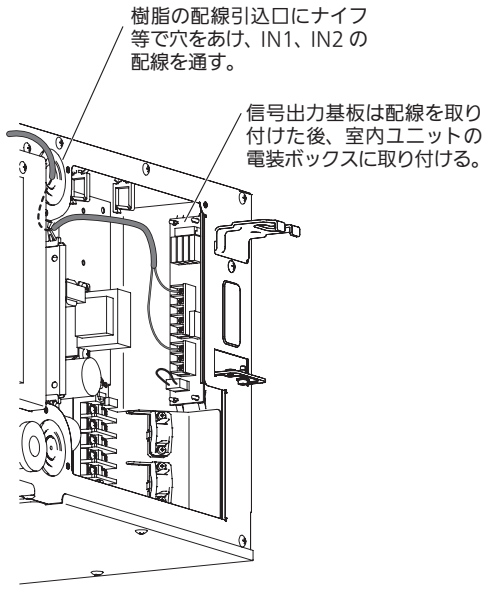


図17

電気工事

取付タイプⓐ

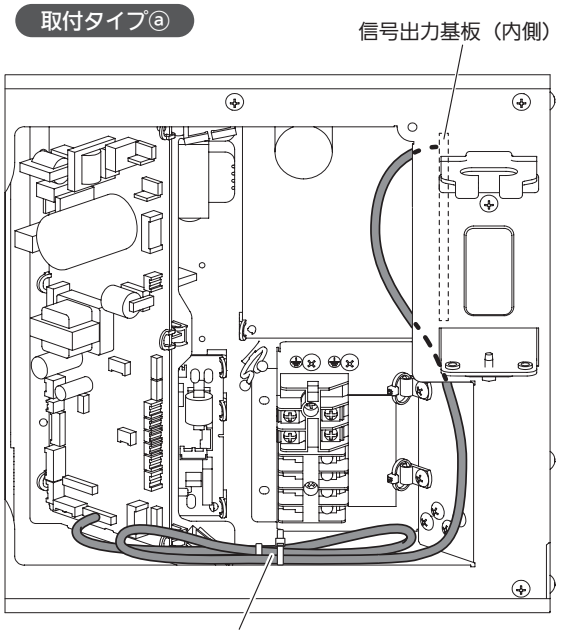


図18-1

取付タイプⓑ

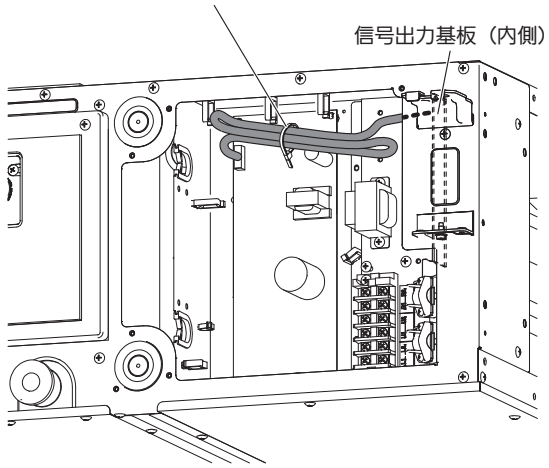


図18-2

13.吹出口ユニットの首振り連動方法（つづき）

13-4. 施工後は各電装ボックスのふたを閉じ、配線引込口などの穴をパテ等でふさいでください。（図 19）

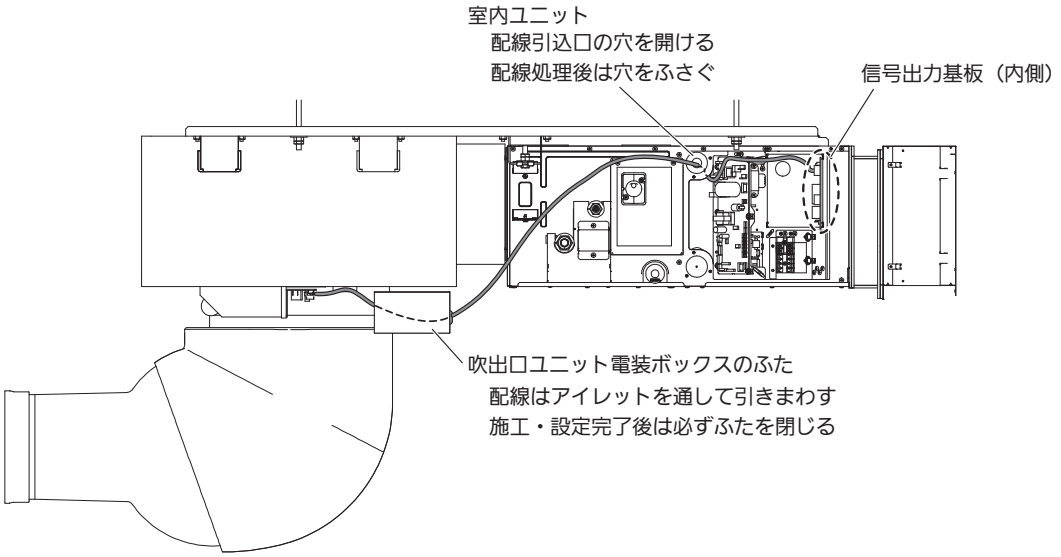


図19

14.試運転の前に

• 室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。

15.室内ユニットの設定

15-1. 下記手順に従って VZ システムの『フィルターサイン』『急風一速固定』『機外静圧』『露付低減』の設定を行ってください。
設定にはワイヤードリモコンが必要です。

① 戻る + 決定 + ＞ ボタンを同時に4秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

② ＜ / ＞ ボタンで選択、＜ / ＞ ボタンでページが切り替わります。
「8. 詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
＜ / ＞ ボタンで変更するユニット No を選択してください。



多機能ワイヤードリモコン
（CZ-10RT5 シリーズ）

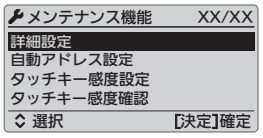
■［詳細設定画面］における設定方法

15-2. フィルターサインの設定

① ＜ / ＞ ボタンで項目コードを選択してください。
＜ / ＞ ボタンで項目コードを「01」に変更してください。

② ＜ / ＞ ボタンで設定データを選択してください。
＜ / ＞ ボタンで設定データを「0002」に変更してください。

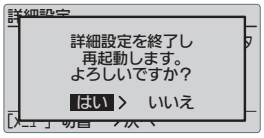
③ ＜ / ＞ ボタンでユニット No を選択後、
戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



メンテナンス機能画面



詳細設定画面



詳細設定終了画面

15-3. 風速一速固定の設定

15-4. 機外静圧の設定

15-5. 露付低減設定

15-2. フィルターサインの設定と同様に項目コード、および設定データを下記の表に該当する室内ユニットの設定内容に変更してください。

取付タイプ	機種		フィルターサインの設定		急風一速固定の設定		機外静圧の設定		露付低減設定	
			項目コード	設定データ	項目コード	設定データ	項目コード	設定データ	項目コード	設定データ
a	オフィス・店舗用エアコン	CS-P140FE7C 以降	01	0002	16	0008	B0	0010	-	-
	ビル用マルチエアコン	CS-P140FE5U 以降	01	0002	16	0008	B0	0010	1C	0006
	ガスヒートポンプエアコン	CS-P140FEU1 以降	01	0002	16	0008	B0	0010	1C	0006
b	オフィス・店舗用エアコン	CS-P140FE7、7B	01	0002	16	0008	B0	0015	-	-

16.試運転フローチャート

• オフィス・店舗用エアコンは室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。
• ビル用マルチエアコン、ガスヒートポンプエアコンは室外ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。

17.リモコン試運転設定

• 室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。

18.据付工事完了後のチェック項目

室内・室外ユニット、天井パネルの据付工事および電気工事完了後、下記項目についてチェック願います。

作業名称	No.	チェック項目	チェック欄 ☑	予想される不具合・確認事項
据付工事	1	VZシステムは「3. 据付場所」（7ページ）の項目を満足していますか	□	軽傷を負うことや、財産の損害が発生する等の可能性があります。
	2	吊金具のボルトはダブルナットで締結されていますか	□	VZシステムの落下原因となります。ダブルナットで締結されていることを確認してください。
配管・配線工事	3	（複数台設置の場合）他系統と誤配管になっていませんか	□	機器が動作しない。または、動作しない室内ユニットに冷媒が流れ水漏れする等の可能性があります。他系統と誤配管・誤配線になっていないか確認をお願いします。
	4	（複数台設置の場合）他系統と誤配線になっていませんか	□	
	5	関連法規に従って漏電しゃ断器（高周波対応品、全極開閉機能付）を取り付けましたか オフィス・店舗用エアコンで室外ユニットと室内ユニットが別電源方式の場合、室内ユニットにも漏電しゃ断器を取り付けましたか	□	故障や漏電時に感電、火災の原因になることがあります。設置工事、アース・配線の確認をお願いします。
	6	別売品等の誤取付け・誤配線はありませんか	□	
	7	室内ユニット・室外ユニット・吹出口ユニットのアース工事は行いましたか	□	
	8	電源配線・接続線・信号線の誤配線・ネジの緩みはありませんか	□	
	9	配線の太さは規定通りですか	□	
	10	電源電圧は本体銘板と同じですか	□	
	11	気密試験・フレア継手および溶接部のガス漏れ確認を行いましたか	□	冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスの発生や火災の原因となりますので、迅速に修理をお願いします。
ドレン・排水確認	12	室内ユニットのドレン接続部（樹脂部）に接着剤を塗布していませんか	□	樹脂部が割れて水漏れする場合があります。塗布してしまった場合は、ドレン接続部の交換をお願いします。
	13	水漏れはありませんか	□	排水不良や水漏れ個所があった場合は、ドレン配管の修正をお願いします。
	14	室内ユニットのドレン配管下り勾配は、規定通りとれており（1/100以上）、スムーズに流れていますか	□	
断熱工事	15	配管継手部（冷媒配管・ドレン配管）も含め、設置場所に合致した断熱工事を確実に行いましたか	□	機器の性能低下だけでなく、結露して水漏れが発生する可能性がありますので、適切に断熱工事をお願いします。
	16	VZシステムチャンバーと室内ユニットの角フランジに断熱材を貼りましたか	□	VZシステムチャンバーの結露・滴下の増加の原因となります。貼り忘れ・貼り間違いの確認をお願いします。（11ページ参照）
	17	吊金具に断熱材を貼りましたか	□	
試運転	18	異常な音の発生はありませんでしたか	□	ファンの接触、室内ユニットの歪み等の確認をお願いします。
	19	吹出口ユニットより冷風・温風は吹き出しましたか	□	機器が動作しない。他系統と誤配管・誤配線になっていないか確認をお願いします。
	20	室内ユニットの設定を確実に実施しましたか ・フィルターサイン設定 ・風速一速固定設定 ・機外静圧の設定 ・露付低減設定	 □ □ □ □	機器の性能低下・作動不良・結露水増加の原因となります。 確実に設定されているか確認をお願いします。
	21	吹出口ユニットの首振り動作連動設定は確実に実施しましたか（設定した場合） ・配線の接続 ・ディップスイッチの設定 ・首振り動作範囲の設定	 □ □ □	

19.自己診断機能表
20.アドレス設定

• 項目 19. ～ 20. は室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。

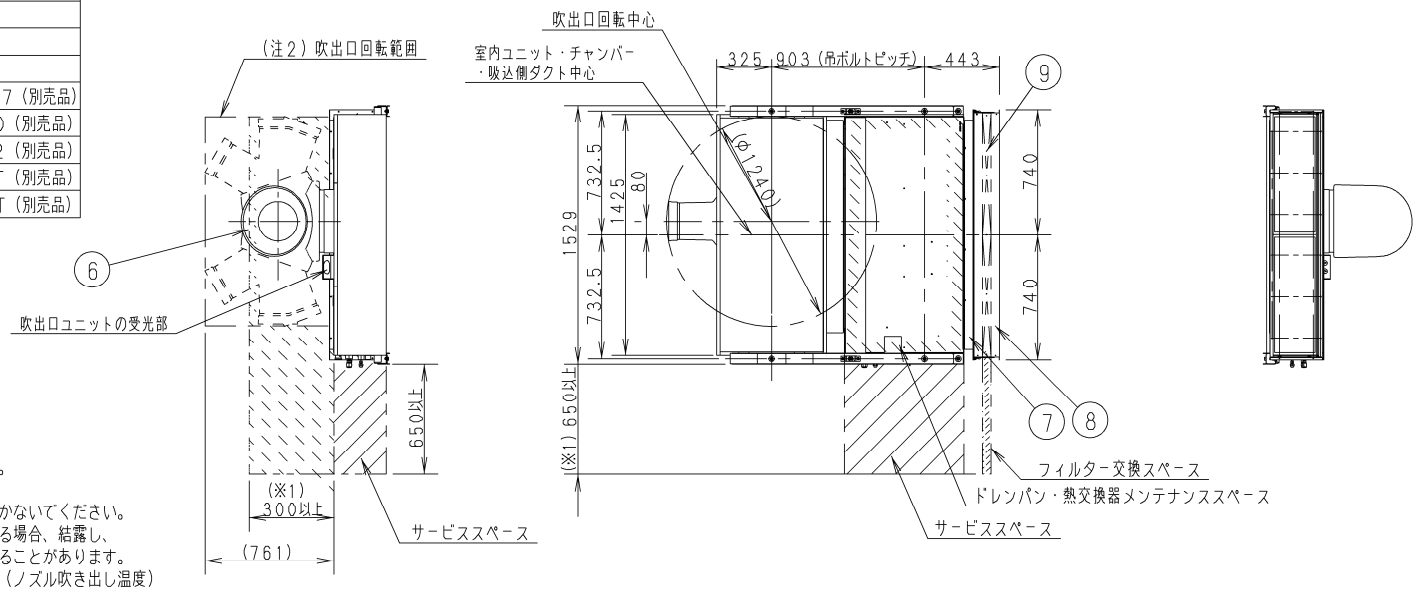
パナソニック株式会社　空質空調社
〒 370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田 1 丁目 1 番 1 号
© Panasonic Corporation 2023 - 2025

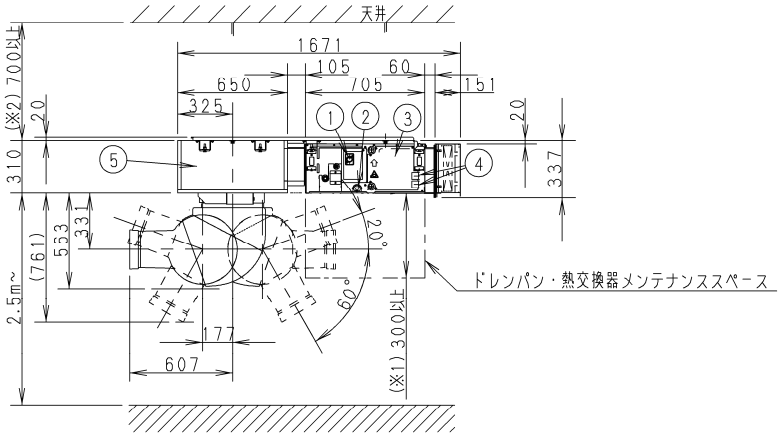
ACXF60-51742
BE0223-20825

●部品取付図（CZ-140VBCFE7）

単位：mm

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　VP25（外径φ32）
③	電装箱
④	電源取入口
⑤	VZシステムチャンバー　CZ-140VBCFE7（別売品）
⑥	吹出口ユニット　FY-20XGR-D（別売品）
⑦	接続チャンバー　CZ-160SPF2（別売品）
⑧	フィルターチャンバー　CMB-FBU140T（別売品）
⑨	ロングライフフィルター　AFT-LBD140T（別売品）





注1）結露について
本機器はむき出しでの設置を前提としております。
高温高湿の環境に設置されると結露を生じます。
本システムの下には家財等の濡れて困るものは置かないでください。
吹出口ユニットは露点温度Δ8℃よりも大きくなる場合、結露し、
露が落ちたり、吹出口から露飛びが発生したりすることがあります。
露点温度Δt℃とは、（周囲空気露点温度）－（ノズル吹き出し温度）

注2）吹出口ユニットの回転範囲について
吹出口ユニットは360°回転する構造になっています。
また、水平に対し上方20°・下方60°動きます。
吹出口ユニットの稼働範囲には動作の妨げになるものは置かないでください。

注3）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
フィルターチャンバーの手前にはダクト等を付けないでください。

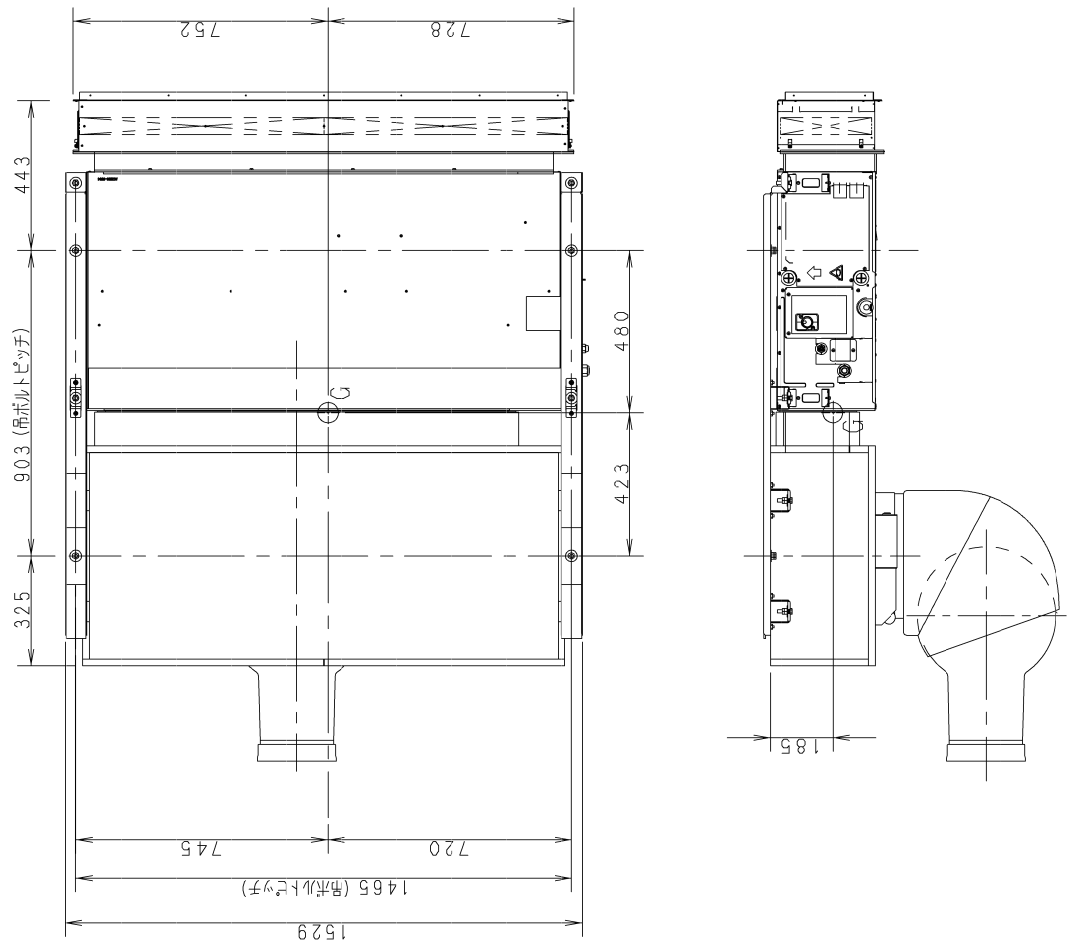
注4）到達風速について
ノズルの先端からの到達風速はおおよそ次の通りになります。
先端から4mで2．4m／s
先端から6mで1．6m／s
ユニットの設置高さおよびノズルの角度設定の参考にしてください。

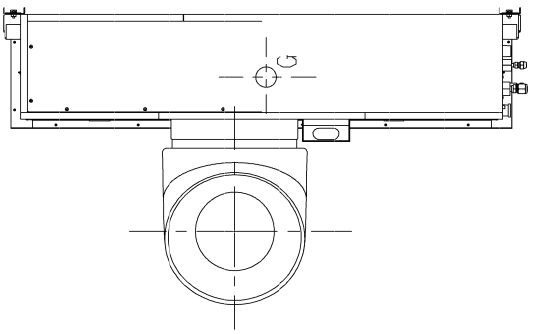
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
サービススペースが必要となります。
また、エアフィルターのサービススペースが必要となります。
いずれも作業の妨げになるものを設置しないでください。

※2、天井面からの距離について
・天井からの熱影響を受けると結露を生じやすくなります。
天井とVZシステムチャンバー天面の間に十分な距離を確保してください。

●重心位置（CZ-140VBCFE7）

単位：mm





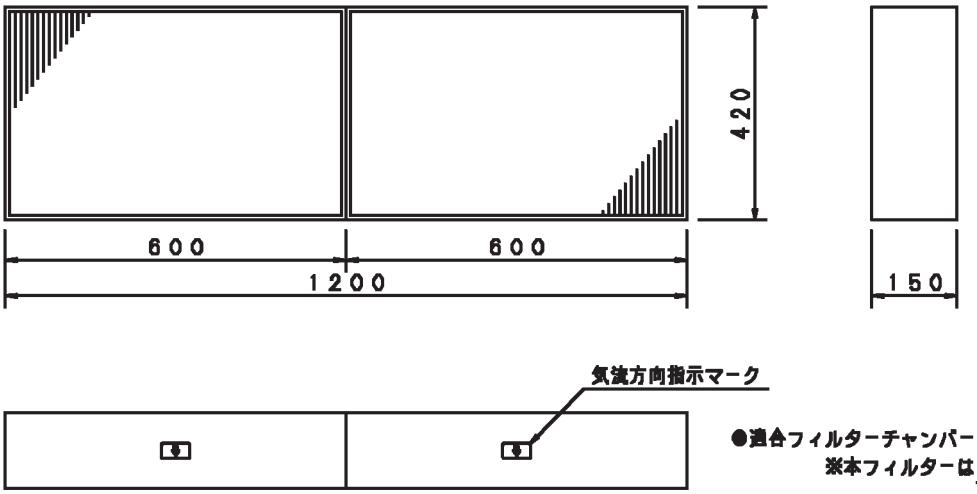
総重量：105kg

●高性能フィルター（AFT-MU280U, HU280U, LU280U）
■仕様

適用空調機タイプ			天井埋込形高静圧タイプ					
フィルター種類			高性能フィルター				ロングライフフィルター	
適用機種			AFT-MU280U		AFT-HU280U		AFT-LU280U	
フィルター品番			224形	280形	224形	280形	224形	280形
初期風量		m^3/min	67/63	80/81	67/65	81/81	56/56	70/74
最終風量		m^3/min	52/52	66/71	48/51	61/66	53/53	68/72
初期圧損		Pa	27/27	51/59	36/36	61/65	13/13	21/24
最終圧損		Pa	54/54	106/118	98/98	182/194	79/79	79/79
保塵量		g/ユニット	585/585	711/684	585/585	629/656	690/690	477/510
寿命		時間	2500/2500	2500/2500	2500/2500	2500/2500	2500/2500	2500/2500
平均効率			比色法　65%		比色法　90%		重量法　60%	
使用濾材			ポリオレフィン系　帯電繊維				ポリエステル　SPG	
質量		kg	3.2×2				1.6×2	
フィルター寸法	幅	㎜	600×2				600×2	
	高さ	㎜	420				420	
	奥行	㎜	150				50	
適用フィルターチャンバー	品番		CMB-FU280U					
	質量	kg	23					
	幅	㎜	1247					
	高さ	㎜	476					
	奥行	㎜	512					

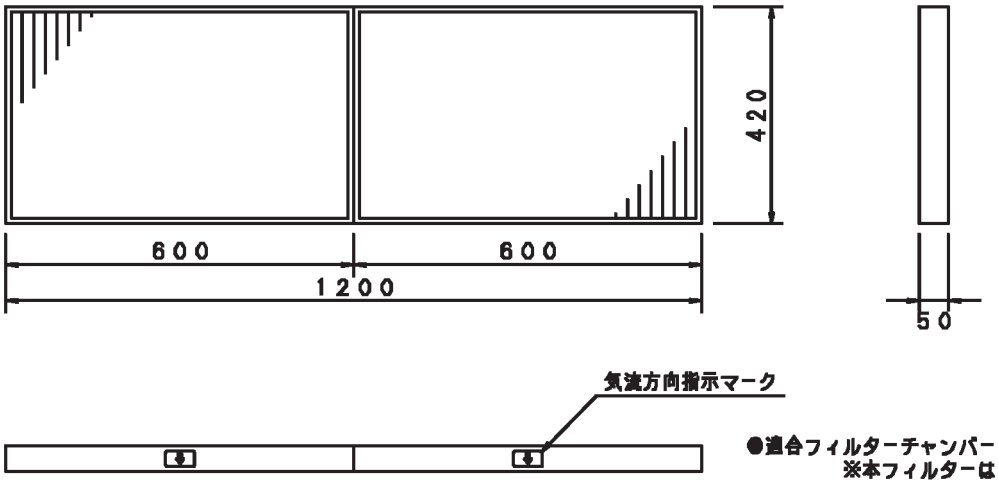
注意：フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。
　　またフィルター寿命は使用条件によって異なりますので、ご注意ください。

■外形寸法図（AFT-HU280U,MU280U）



●適合フィルターチャンバー：CMB－FU280U
※本フィルターは2枚1組で使用します。

■外形寸法図（AFT-LU280U）



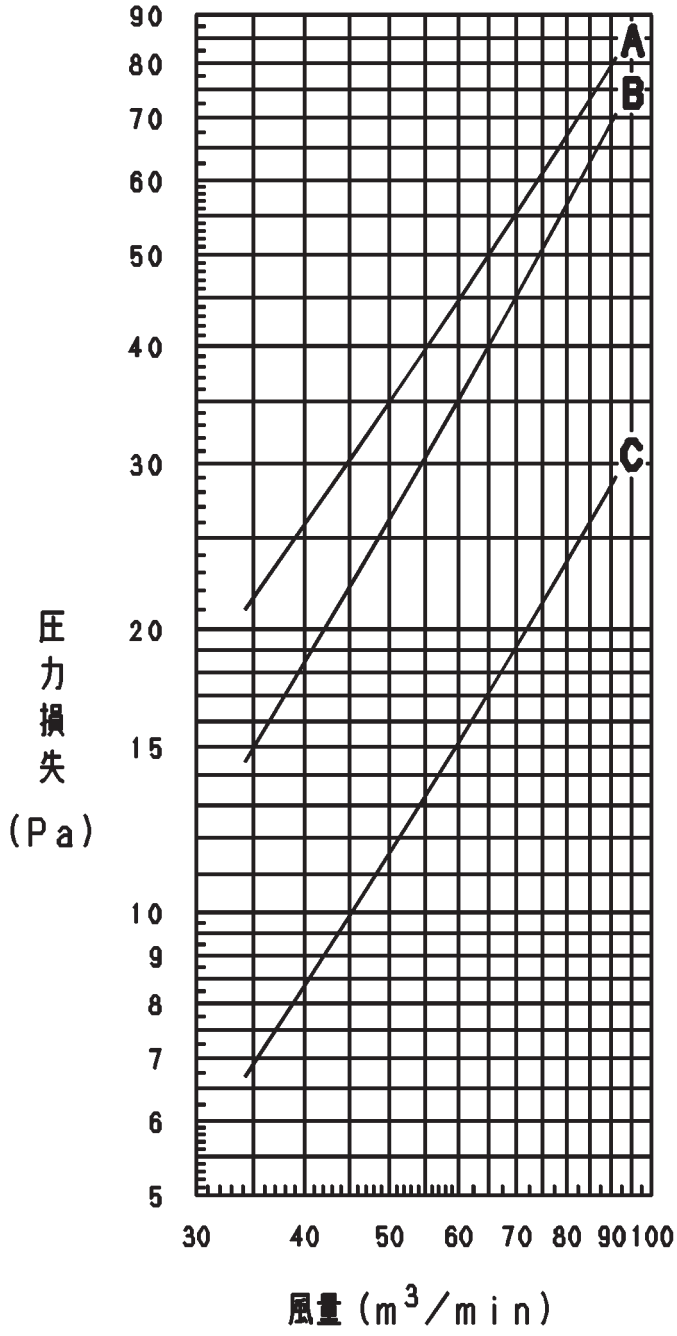
●適合フィルターチャンバー：CMB－FU280U
※本フィルターは2枚1組で使用します。

■高性能・ロングライフフィルターの圧力損失特性
〔適用機種：224・280 形〕

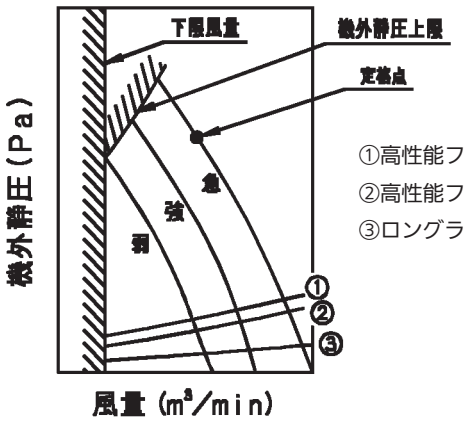
A：AFT-HU280U
（高性能フィルター・比色法 90%）

B：AFT-MU280U
（高性能フィルター・比色法 65%）

C：AFT-LU280U
（ロングライフフィルター）

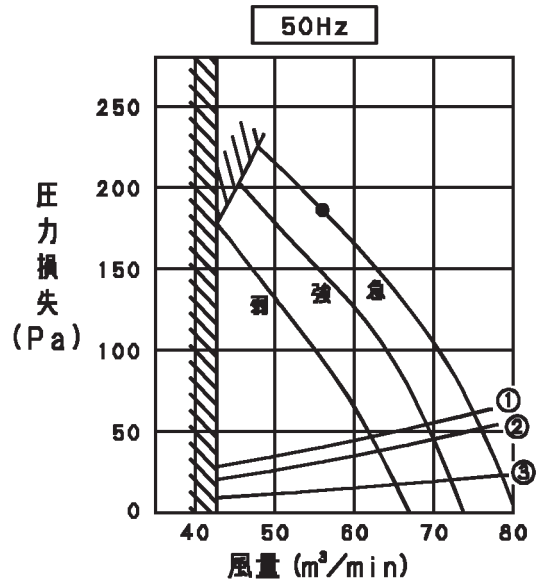


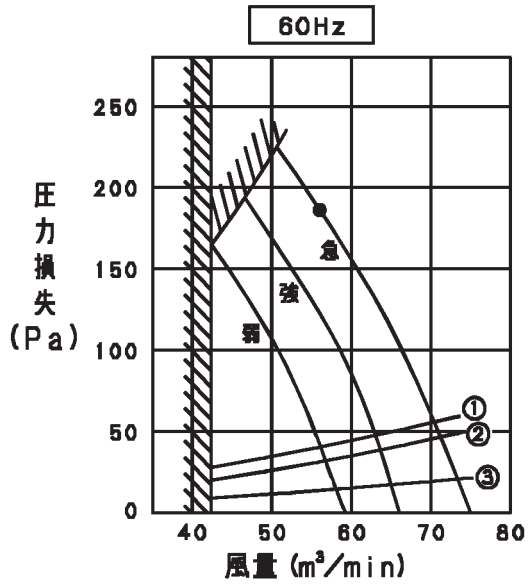
■風量－圧力損失特性線図〔高性能・ロングライフフィルター〕



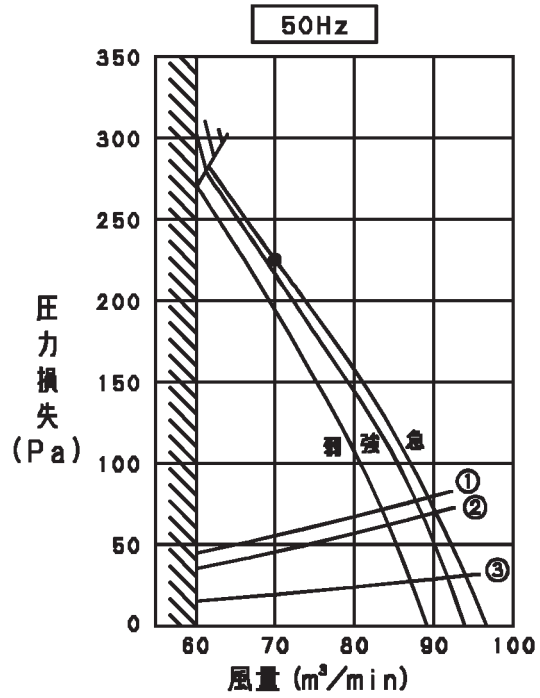
①高性能フィルター（比色法 90%）初期圧力損失
②高性能フィルター（比色法 65%）初期圧力損失
③ロングライフフィルター初期圧力損失

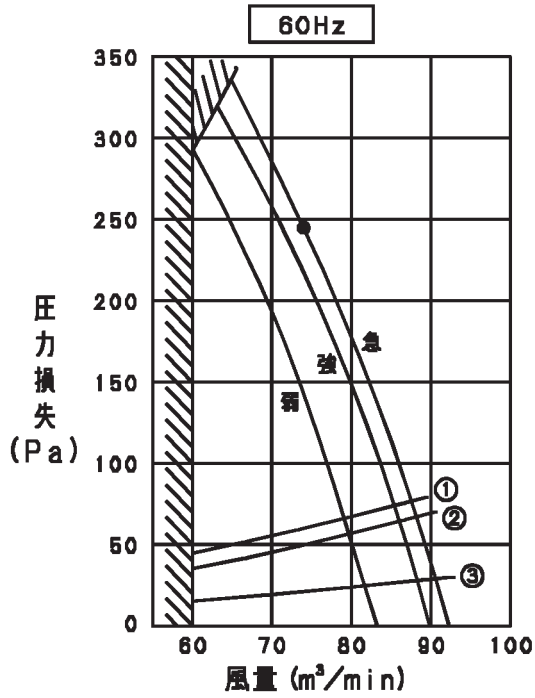
■ 224形





■ 280形





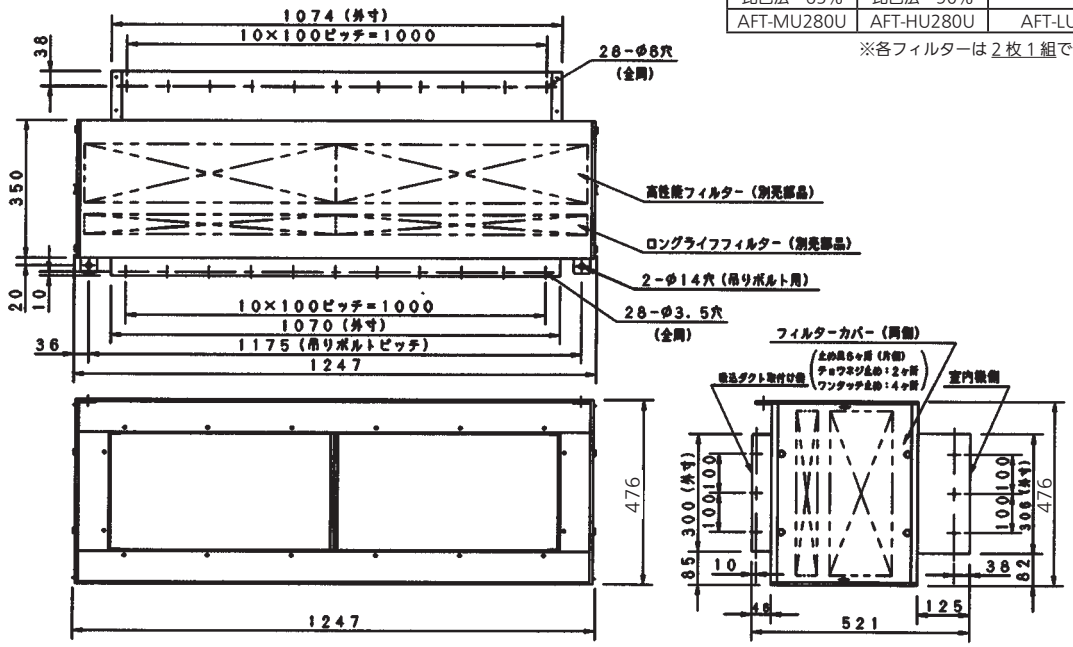
●フィルターチャンバー（CMB-FU280U）

■外形寸法図

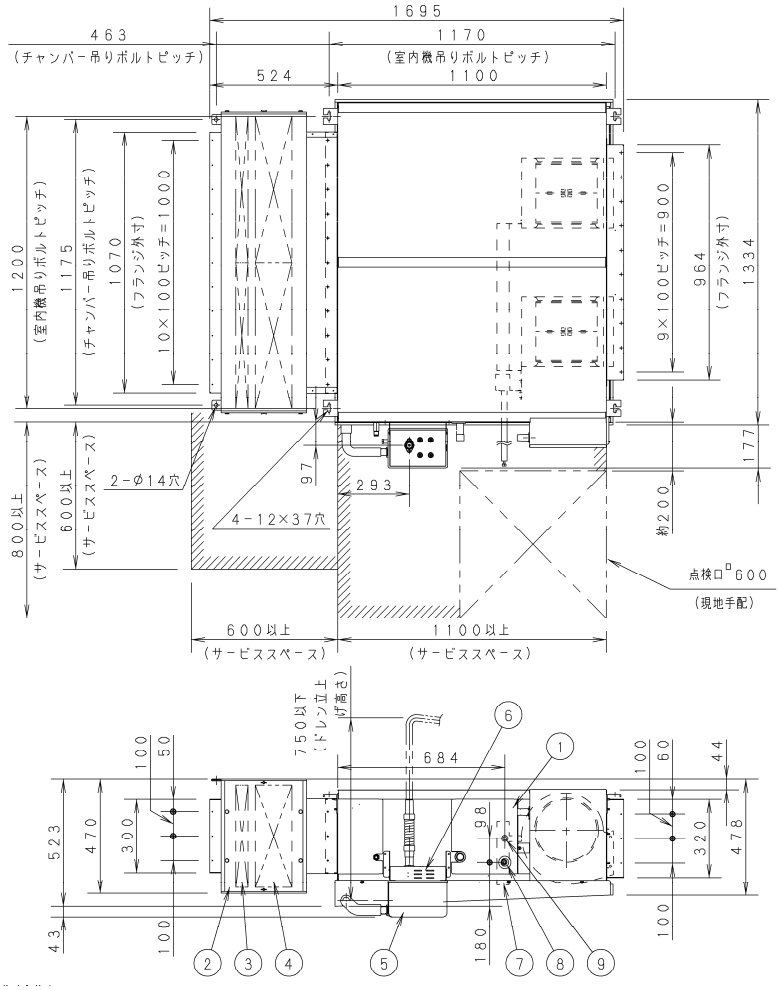
【適合フィルター (別売部品) 】

高性能フィルター (どちらかを使用)		ロングライフフィルター
比色法・65%	比色法・90%	
AFT-MU280U	AFT-HU280U	AFT-LU280U

※各フィルターは 2 枚 1 組で使用します。



■部品取付図



①	天井埋込形本体	下記
②	フィルタチャンバー	CMB-FU280U
③	ロングライフフィルター	AFT-LU280U
④	高性能フィルター	AFT-MU280U(比色法 65%)
		AFT-HU280U(比色法 90%)
⑤	ドレンアップキット	DP-U280B
⑥	ドレンアップキット排水口（内径φ 26）	
⑦	気化式加湿器	RH-UN45U
⑧	加湿器給水配管口	
⑨	加湿器電気配線口	

注　記

1. エアコンの周囲には、点検、保守が容易にできるようにサービススペースを確保し、必ず点検口を設けて下さい。
2. ドレン立上げ高さは７５０ｍｍ以内です。（左図参照）（製品本体ドレン口センターより７５０ｍｍ以内です）
3. ドレンアップキット使用時の吸込み側機外静圧は定格機外制圧の８０％以下で使用してください。

● 気化式加湿器（RH-UN45U）

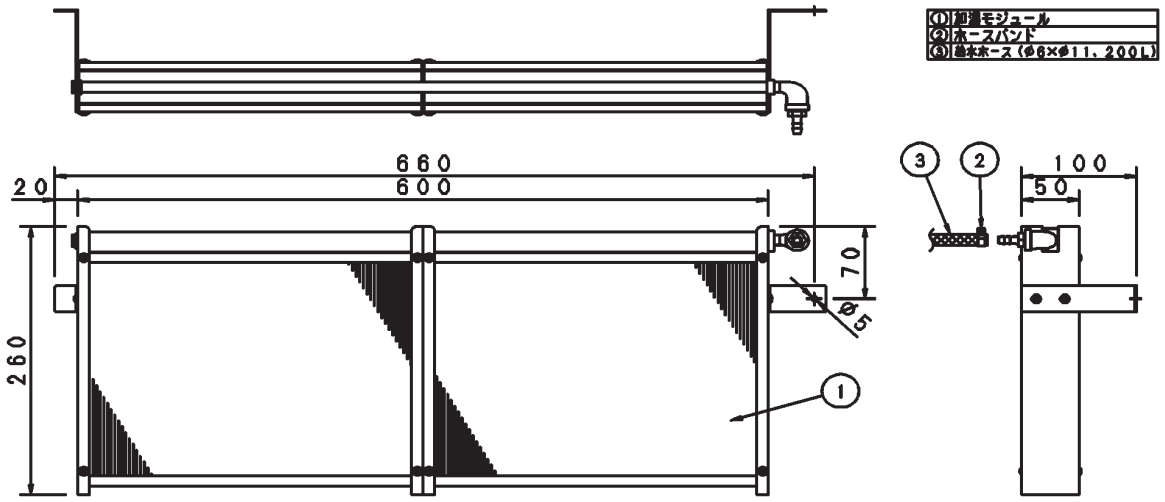
■ 仕様

適用空調機タイプ			天井埋込形高静圧タイプ			
加湿器品番			RH-UN45U			
適用機種			224形 50Hz	224形 60Hz	280形 50Hz	280形 60Hz
加湿方式			自然蒸発式			
加湿性能（kg/h） ※1		kg/h	3.50	3.50	4.40	4.40
XEPHY Premium（ハイグレードタイプ）各クラス最大能力 -有効加湿量(kg/h) ※1		kg/h	3.80	3.80	4.80	4.80
XEPHY Eco(高効率タイプ) 各クラス最大能力 -有効加湿量(kg/h) ※1		kg/h	3.80	3.80	4.80	4.80
給水量		kg/h	18			
給水制御方式			空調機が暖房運転中給水			
電源電圧			単相200V 50/60Hz			
定格消費電力		W	20			
本体質量		kg	2.5			
使用条件	給水圧力	kPa	49～490			
	吐出圧力	kPa	49			
	使用周囲温度		5℃～50℃,90%RH以下			
	使用水		上水道又はこれと同等以上のこと			
	取付角度		全方向共±2°以内のこと			
保護装置			—			

1．加湿（暖房）シーズン中は元電源を入れたままにしておいてください。
　万一、給水用電磁弁にゴミなどがからみ閉じなくなった場合の漏水を防止します。
2．加湿（暖房）シーズン後、給水用サービスバルブ（現地調達）を必ず閉めてください。
3．排水用止水バルブ（現地調達）の取付けをおすすめします。加湿（暖房）シーズン
　使用開始時に給水用サービスバルブと排水用止水排水バルブを開き、給水配管内
　の水を新しい水に置換してから使用することをおすすめします。
4．ヒューミディスタットをご使用の場合は、希望の湿度目盛に合わせます。
　設定を変化させて給水用電磁弁が正しく加湿制御していることを確認してください。
5．加湿能力の低下防止のため、１年に１回シーズン前に加湿部を洗浄して下さい。
　水かぬるま湯に中性洗剤を溶かし、柔らかなブラシで表面の汚れを取ってください。
6．加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。

注）加湿性能は加湿器入口空気温度40℃、15%RHの値を示します。
・有効加湿量は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、（XEPHY Premium/XEPHY Ecoシリーズ室外ユニット）に接続し、
　下記の条件で運転した場合の加湿量です。
　　温度条件 室温20℃DB、外気温7℃DB・6℃WB
　　運転条件 定格静圧、定格風量、最大能力運転時
　　設置条件 配管長　7.5m
　機外静圧や風量設定、ユニット運転状態により加湿量が低くなる場合もあります。
※1 加湿能力±20%

■加湿器本体外形寸法図〔適用機種：224･280 形〕

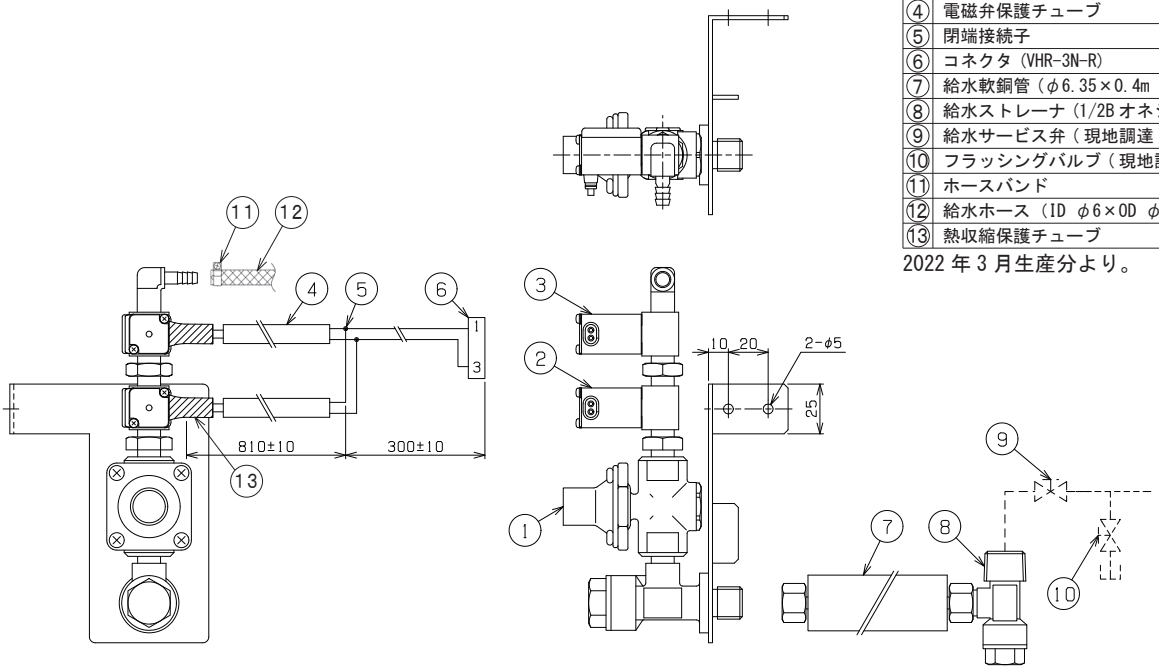


●気化式加湿器

■給水ユニット外形寸法図

①	減圧弁
②	電磁弁１(AC200V)
③	電磁弁２(AC200V)
④	電磁弁保護チューブ
⑤	閉端接続子
⑥	コネクタ (VHR-3N-R)
⑦	給水軟銅管（φ6.35×0.4m　断熱材付）
⑧	給水ストレーナ (1/2B オネジ)
⑨	給水サービス弁（現地調達）
⑩	フラッシングバルブ（現地調達）
⑪	ホースバンド
⑫	給水ホース（ID φ6×OD φ11/200L）
⑬	熱収縮保護チューブ

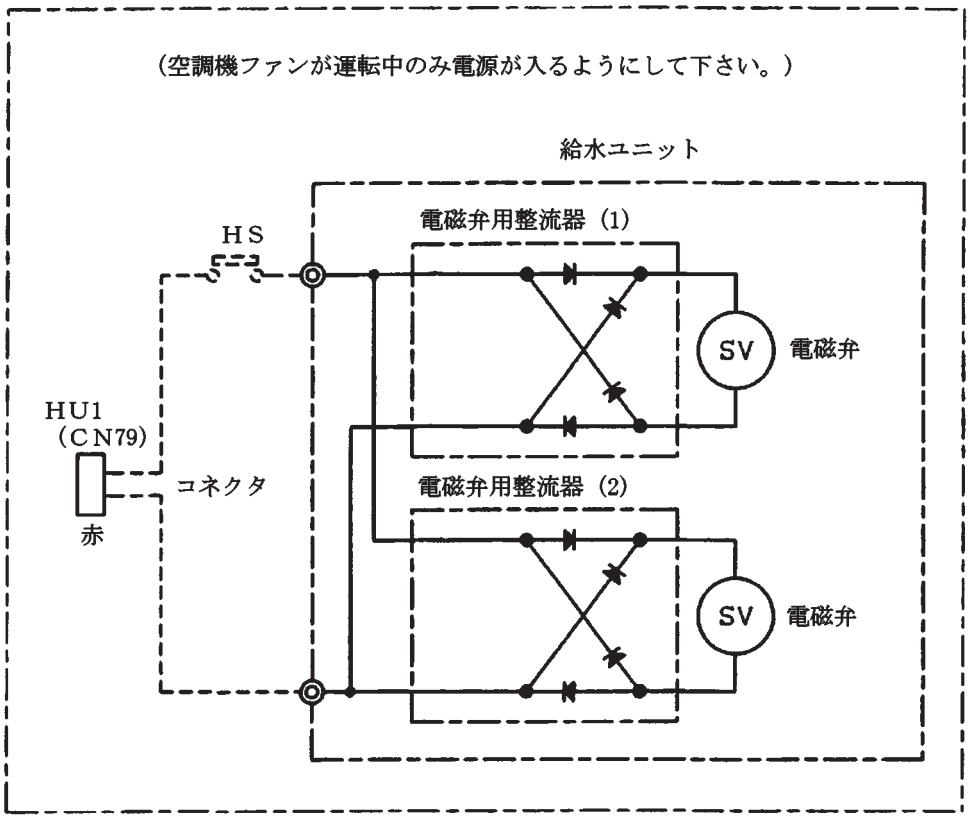
2022 年 3 月生産分より。



注記

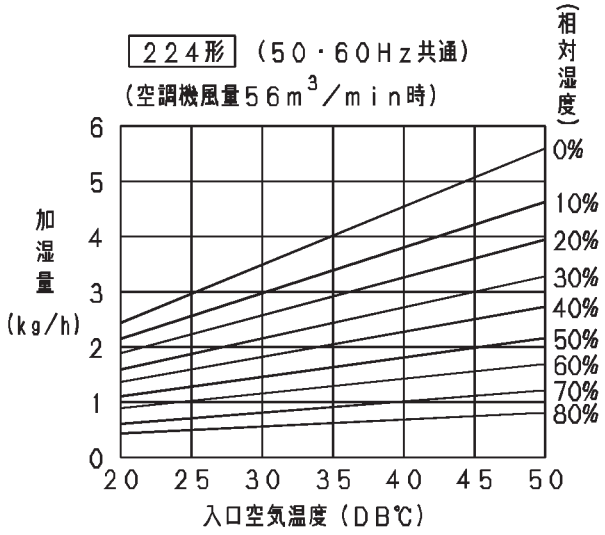
1）この加湿器は空調機本体内部に取り付けます。
2）ドレンは空調機本体のドレンパンから排水します。
3）使用水圧は 0.05 ～ 0.5 MPa です。使用水圧が 0.5 MPa を超える
　　場合は、給水系統ごとに減圧弁（現地調達）を別途設けてください。

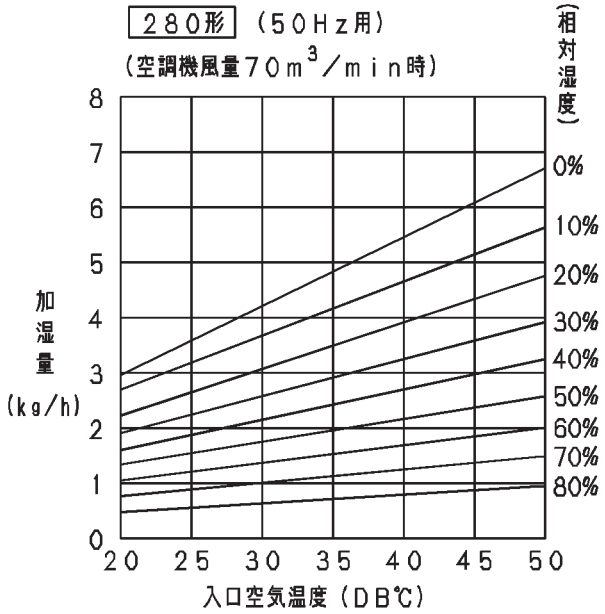
■電気結線図

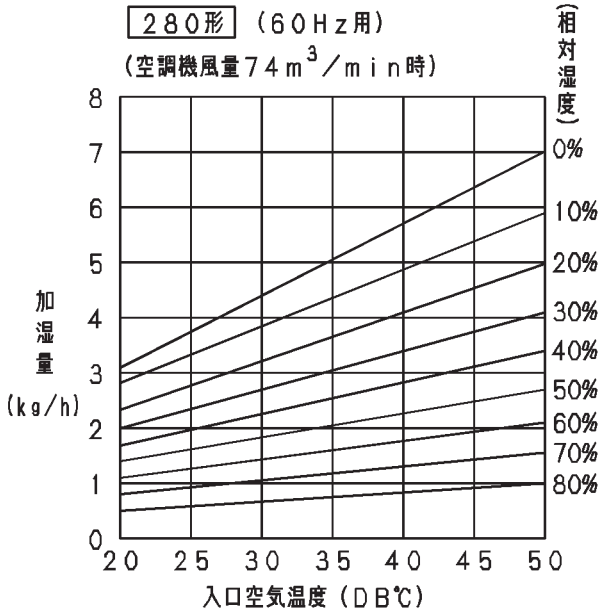


●気化式加湿器

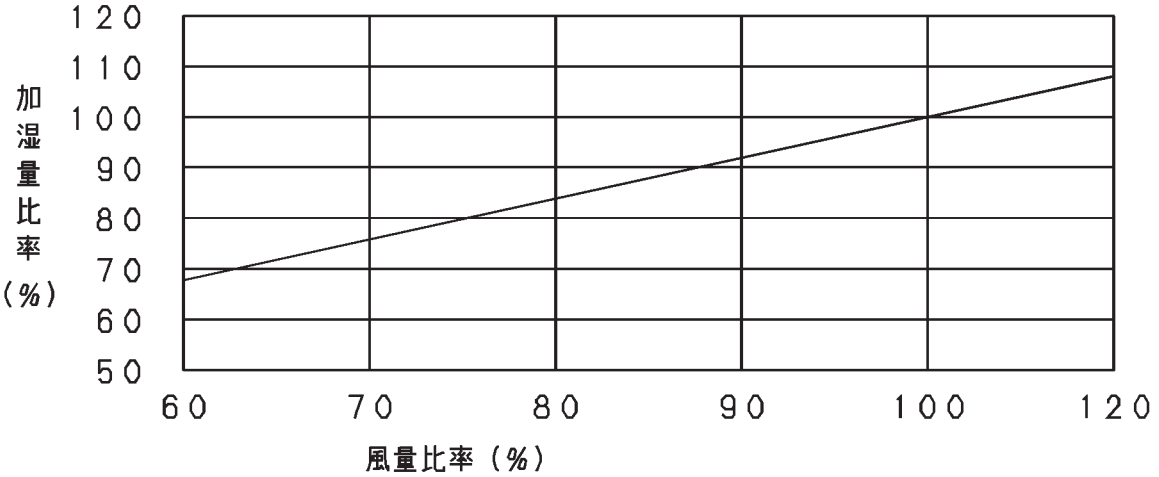
■加湿能力線図







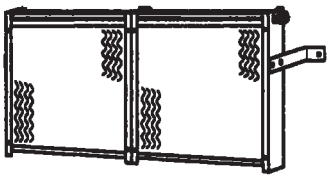
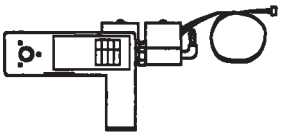
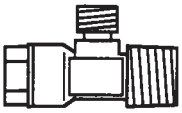
■加湿能力比率線図



●気化式加湿器

■取付方法
●付属品一覧
※梱包開封後は、直ちに付属品のないようを確認してください。

※梱包開封後は、直ちに付属品のないようを確認してください。

部品名称	形　　状	個数	備考
①加湿器本体		1	
②給水ユニット		1	減圧弁、給水用電磁弁、 固定金具、電磁弁コード
③給水ホース		1	半透明、0.2m
④ホースバンド		2	
⑤給水軟銅管		1	φ6.35×0.4m　断熱材付
⑥給水ストレーナー		1	1／2Bおねじ
⑦断熱材		1	φ28×φ60×3ｔ
⑧取付ビス		3	4×12タッピンビス
⑨運転用短絡コネクタ		1	
⑩閉端接続子		2	ヒューミディスタット 配線接続用
⑪取扱説明書		1	本書

●気化式加湿器

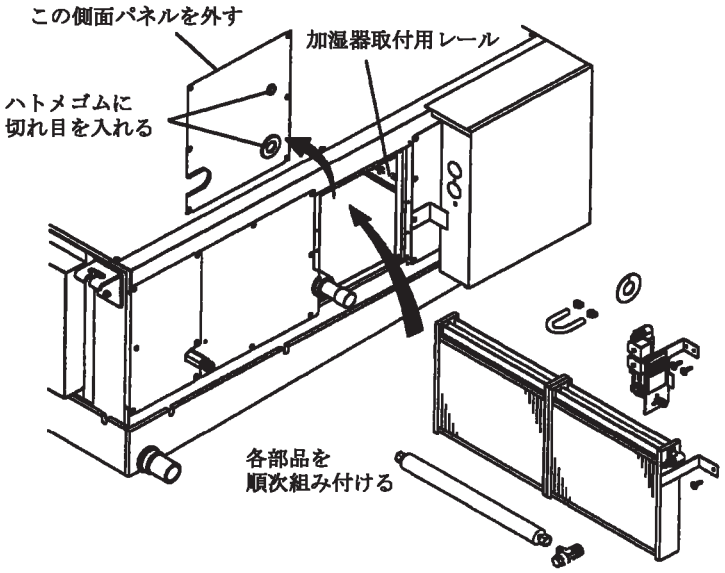
■取付

1．加湿器本体の取り付け

(1) 室内ユニットはドレンパンが上側の状態で梱包されていますので、梱包より取り外し、半回転させてドレンパンが下になるように置いてください。このとき、ドレンパンの下側の断熱材を傷つけないようにしてください。

(2) ユニット側面のパネルを外し、パネルについているハトメゴム2ヶ所の中央膜部分に切れ目を入れてください。（小：電磁弁コード用、大：給水軟鋼管用）

(3) 加湿器本体の支え金具部分をユニット内のレールに沿うようにスライドしてください。
レール中央部に加湿器固定用の止め金具がありますので、止め金具に加湿器本体の支え金具が差し込まれたことを確認した後、手前側の支え金具を付属のビス１本で固定してください。また、取り付け後は、加湿器本体がレールから外れていないことを確認してください。（図－1参照）

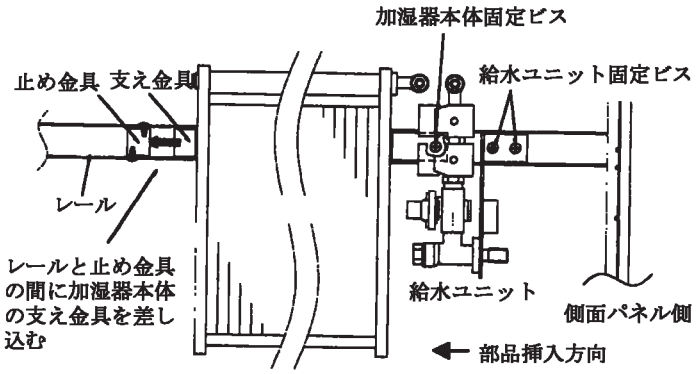


図－１　加湿器の組み込み

2．給水ユニットの取り付け

(1) 給水ユニットの上下取付方向を確認し、付属のビス2本で固定してください。（図－2参照）

(2) 電磁弁コードは側面パネル取付の際に側面パネルについているハトメゴムを貫通させます。

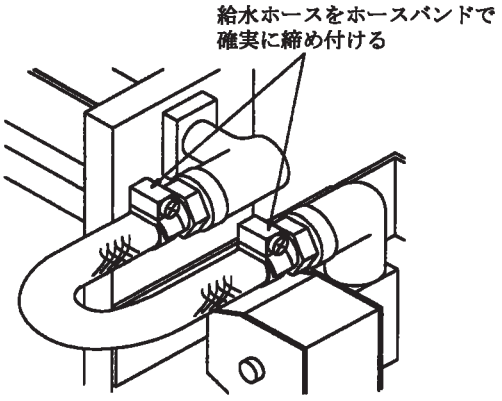


図－２　加湿器本体／給水ユニットの固定

3．給水ホース／給水軟鋼管の接続

(1) 加湿器本体のホース口～給水ユニット間に給水ホースを差し込み、ホースバンドで確実に締め付けてください。（図－3参照）

(2) 給水ユニットに給水軟鋼管を接続します。給水軟鋼管の接続部はリングジョイント式となっています。給水軟鋼管を給水ユニットの給水口に差し込んで、給水ユニット取付板金を利用しダブルスパナで確実に締め付けてください。（図－4参照）
リングナットの締付トルクは10N・m程度としてください。

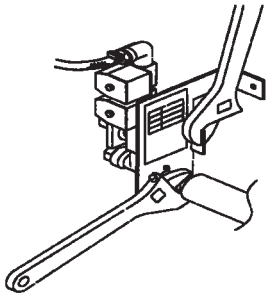


図－３　給水ホースの接続

(3) 側面パネルを元通り取り付けます。この際、給水軟銅管および電磁弁コードを側面のパネルのハトメゴムに貫通させてください。
（小：電磁弁コード用、大：給水軟銅管用）
側面パネル取り付け後、隙間ができないように軟銅管貫通部に付属の断熱材を貼り付けてください。

(4) ユニット外部での給水軟銅管と現地給水管との接続には付属の給水ストレーナーを使用してください。
なお、給水管を接続する前には、通水して配管内のフラッシングを実施してください。

(注) 軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください。漏水の原因となることがあります。



図－４　給水軟銅管の接続

４．給水配管

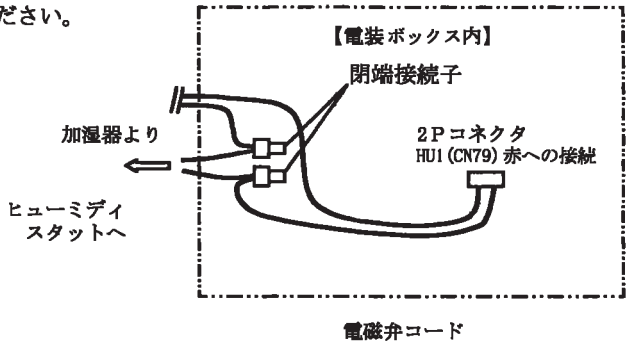
●給水には市水、上水（いづれも水道法水質基準を満足するもの）をご使用ください。
●加湿器への給水は公共の水道管から直接接続できませんのでご注意ください。
●給水サービス弁（現地手配）を必ず各加湿器ごとに設けてください。
●給水圧力は0.05～0.5MPa、給水温度は5～40℃の範囲でご使用ください。
●配管には必ず断熱材（現地手配、発泡ポリエチレン、比重0.03、肉厚10㎜以上）を巻いてください。
なお、ストレーナーに断熱材を巻く際には、ストレーナー掃除時にキャップが外せるよう配慮してください。
●加湿器に現地給水管を接続する前には、通水して配管内のフラッシングを実施してください。
●配管後は、漏水のないことを確認してください。

５．電気配線

(1) 室内ユニットの電装ボックスカバーを外してください。
電気回路は、電装ボックスカバーに貼り付けてある電気回路図を参照してください。

(2) 電装ボックスないのコントロール基板にある2Pコネクタ（HU1（CN79）赤）に電磁弁コードの2Pソケット（赤）を接続してください。

(3) ヒューミディスタット（現地手配、二位制御用）を使用する場合には、電磁弁コードの片線のみをカットし、付属の閉端接続子2ヶを使用して結線してください。（図－5参照）
この際の結線処理は、必ず電装ボックス内で行ってください。



図－５　ヒューミディスタット使用時の結線

⚠ 付属の運転用短絡コネクタについて
加湿器の運転に合わせて、ドレンアップキット（別売品）を使用する場合には、電装ボックス内のコントロール基板にある3PコネクタHU（CN36）黒）に付属の運転用短絡コネクタを必ず接続してください。
このコネクタを短絡すると加湿器の出力ONの間および出力OFF後1分間ドレンポンプを運転します。
（このコネクタを短絡しないと、ドレンアップキットを取り付けても排水運転を行わないため水漏れを起こします。）

(4) 配線作業終了後は、電装ボックスカバーを元通り取り付けてください。

●ドレンアップキット（DP-U280B）
■仕様

品　番		DP−U280B
適用機種		224･280形
ドレンアップキット	電圧(V)	単相　200V　50／60Hz
	電流(A)	0.13／0.10
	消費電力(W)	12／11
	使用流体	ドレン水
	温度範囲	流体温度：0〜40℃(但し､ドレン水凍結なきこと) 周囲温度：0〜45℃(温度RH95%以下)
	吐出量 (cc／min)	水位10mmで400cc／min以上 (水位とは､ポンプ本体の先端が水没している深さ)
フロートスィツチ		液面が下降して接点ON

■工事説明書

ドレンアップキット取付説明書

品番　DP-U140B　DP-U280B

1．適合エアコン形式

ドレンアップキット形名	１４０形	２８０形
適　合　機　種	天井埋込タイプ ７１，９０，１１２，１４０形 天井埋込ハイフレッシュタイプ １１０形	天井埋込タイプ ２２４，２８０形 天井埋込ハイフレッシュタイプ １７０，２１０形

取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」（1〜2ページ）は、施工前に必ずお読みください。
室内ユニットの添付資料「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」も必ず参照してください。

取付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また「取付説明書」は、「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」「取扱説明書」とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

●ドレンアップキット

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

■ 電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱、火災の原因）

■ 配線は途中接続しない
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
（故障や発熱、火災の原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

■ 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および「据付工事担当のかたへ」、「電気工事担当のかたへ」に従って施工する
（感電、火災のおそれ）

■ 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける
（感電、火災の原因）

■ アース工事（D種接地工事）を行う
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
アース線は、ベランダの手すりにとらない
（感電の原因）

⚠ 注意

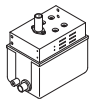
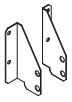
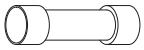
■ ドレン配管は、「据付工事担当のかたへ」に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温する
（配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因）

■ 取付説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で取り付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その取り付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

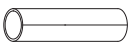
ACXF60-20133
85464359987002
PA0906 - 30823

●ドレンアップキット

2. 付属品

名 称	ドレンアップキット本体	取り付け金具		ドレンホース断熱材付（本体接続用）
形 状		 （140 形）	 （280 形）	 L480mm（140 形） L260mm（280 形）
個 数	1	各1	各1	1

名 称	ホースバンド金具	本体接続側断熱材	ドレンホース（排水側）	排水側断熱材
形 状	 φ26 用　φ32 用	 T5　T3	 L230mm	 T5
個 数	各1	各2	1	1

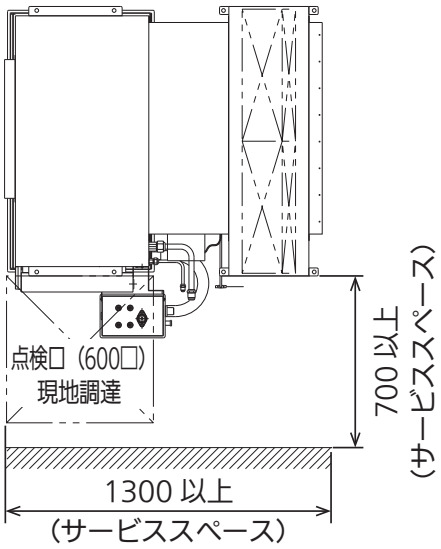
名 称	排水側断熱チューブ	取り付けネジ	クランパー	ビニールクランパー
形 状	 L300mm	 4×12（2種）		 L300mm
個 数	1	8	4	4

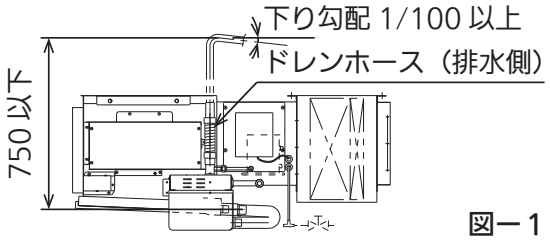
3. 各室内ユニットのドレンアップキット取り付け位置

● 室内ユニットの据付状態が水平になっていることを確認してください。

a）点検口の設置　● 点検サービス作業等が容易に行えるように、点検口を設けてください。

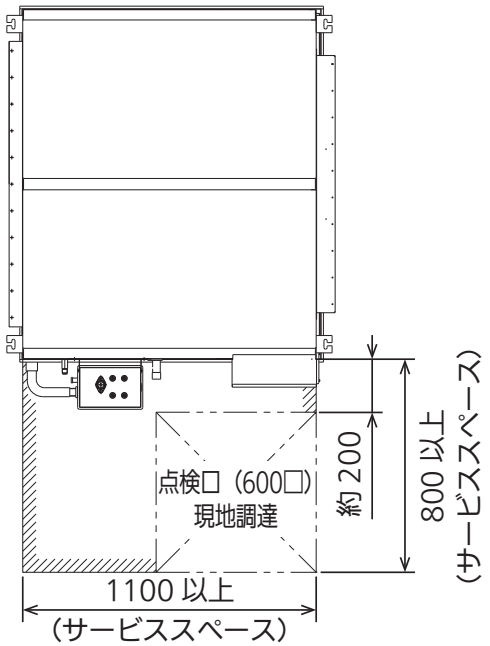
ドレンアップキット１４０形

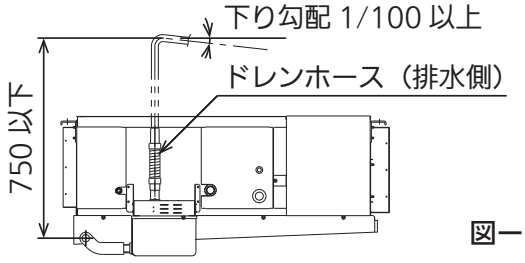




図－1

ドレンアップキット２８０形





図－2

4 . 取付方法　P3, P5, P6, P7 参照

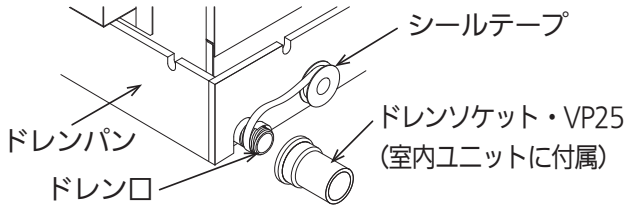
a ）ドレンアップキットの取り付け準備

● ドレンソケット（ＶＰ２５・室内ユニット付属品）を室内ユニットのドレン口に、図のように取り付けてください。（ドレン口にはシールテープを巻いてください。）

（注意）

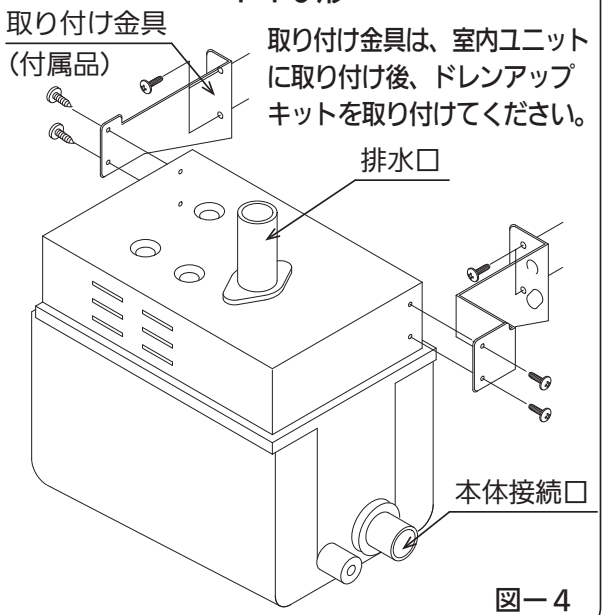
室内ユニット取り付け用パネルの取り付け穴を変更して取り付けないでください。ドレンアップキットのドレン皿容量が小さいため、フロートスイッチが作動し、運転ができなくなったり、水漏れの原因となります。

ドレンソケットの取り付け



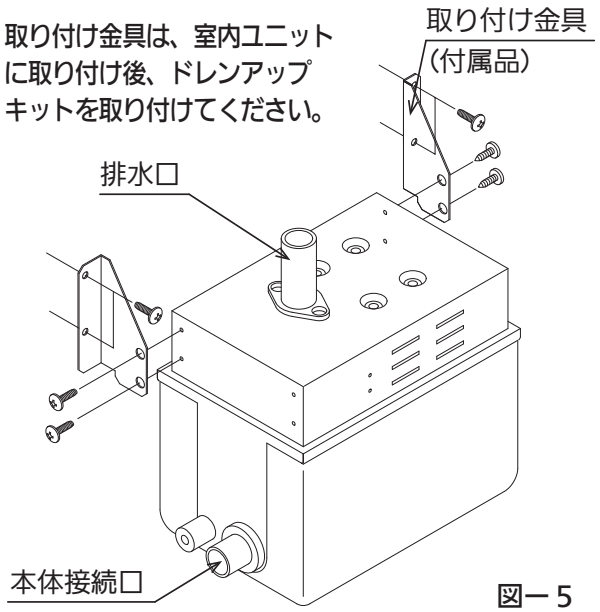
図－３

１４０形



図－４

２８０形



図－５

※ドレンアップキット本体接続口と排水口のテープは取りはずしてください。

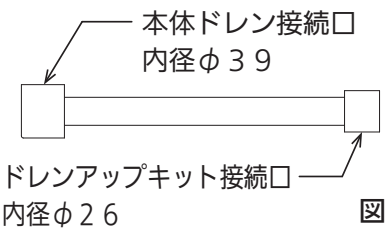
b ）室内ユニット、ドレンアップキットとドレンホース（本体接続用）の取り付け

● 室内ユニットとドレンホースの取り付けは、図のように取り付けてください。（図－7）ドレンホース両端の口径は違いますので、接続時は十分に注意してください。

（注意）

本体接続用ドレンホースは、ねじりや曲げにより、つぶれないように取り付けてください。
また、ドレンホースは本体ドレン接続口からドレンアップキット接続口までは下り勾配になるように取り付けてください。
水漏れの原因となります。

ドレンホース断熱材付（本体接続用）



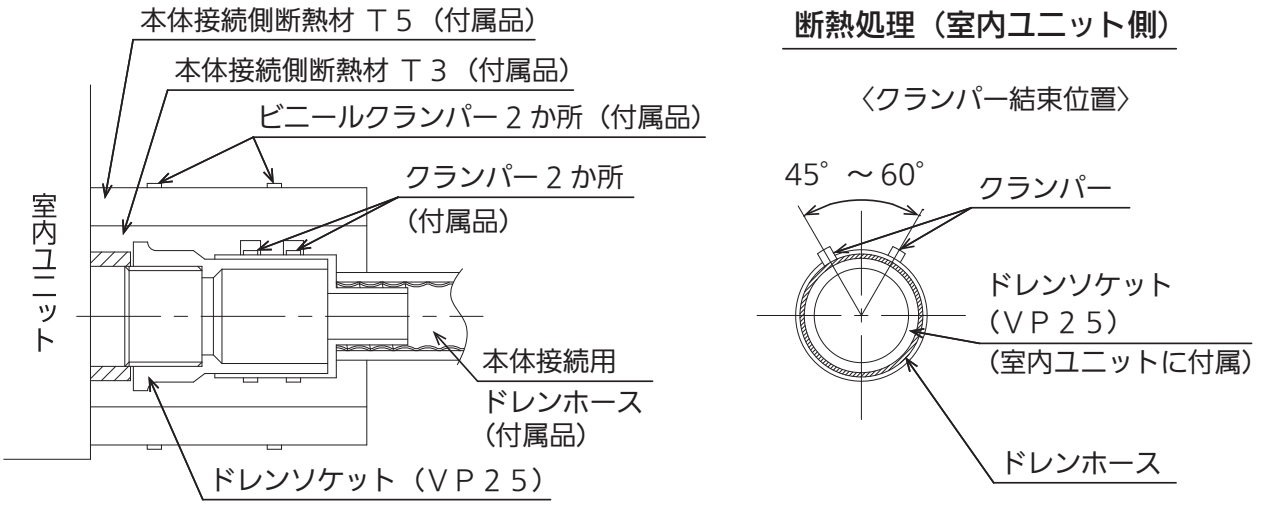
図－６

●ドレンアップキット

- 室内ユニットとドレンアップキットの間にトラップは設けないでください。
- ドレンホース取り付け後、室内ユニット側はクランパー（付属品）、ドレンアップキット側はホースバンド金具φ２６用（付属品）で固定してください。（図ー７，８，９）
- ドレンアップキット本体接続口は、ドレンホースを根元まで差し込み、ホースバンド金具φ２６（付属品）をプライヤー等でつまみながら水漏れのないよう取り付けてください。（図ー８，９）

（注意）

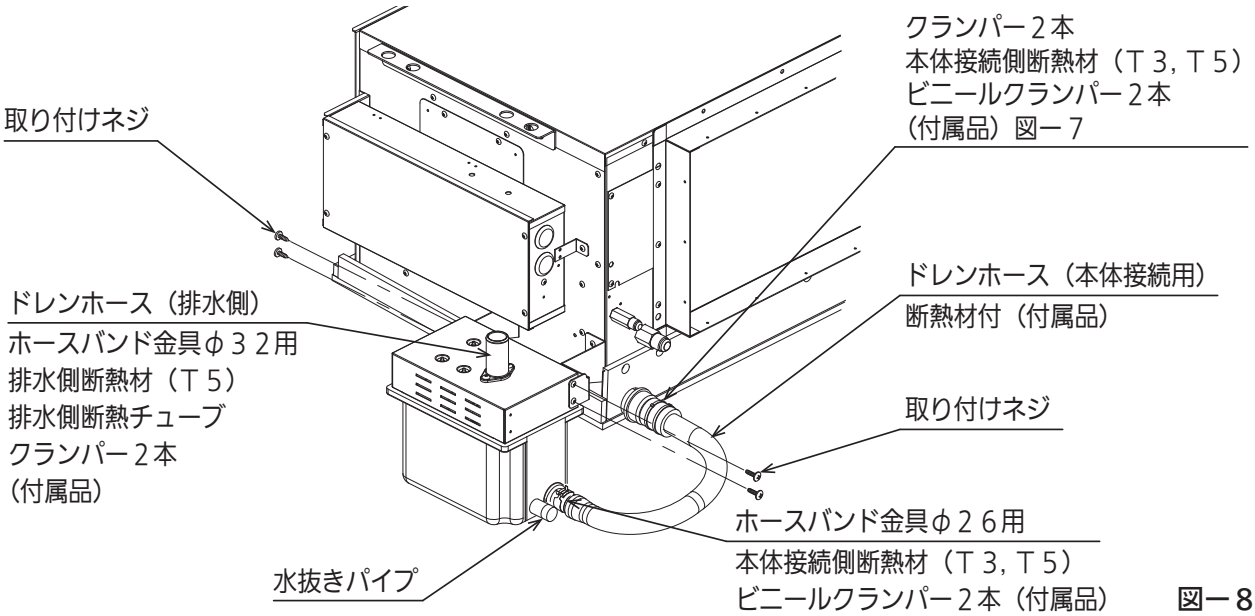
クランパーの結束位置は、図ー7 のように上方 45°～ 60°の位置に結束しないと水漏れの原因になります。



図ー７

- 本体接続側断熱材（Ｔ３,Ｔ５ 付属品）は、本体接続用ドレンホースの両端に巻き付けてください。
- 本体接続用ドレンホースの両端は、ビニールクランパー（付属品）で固定してください。

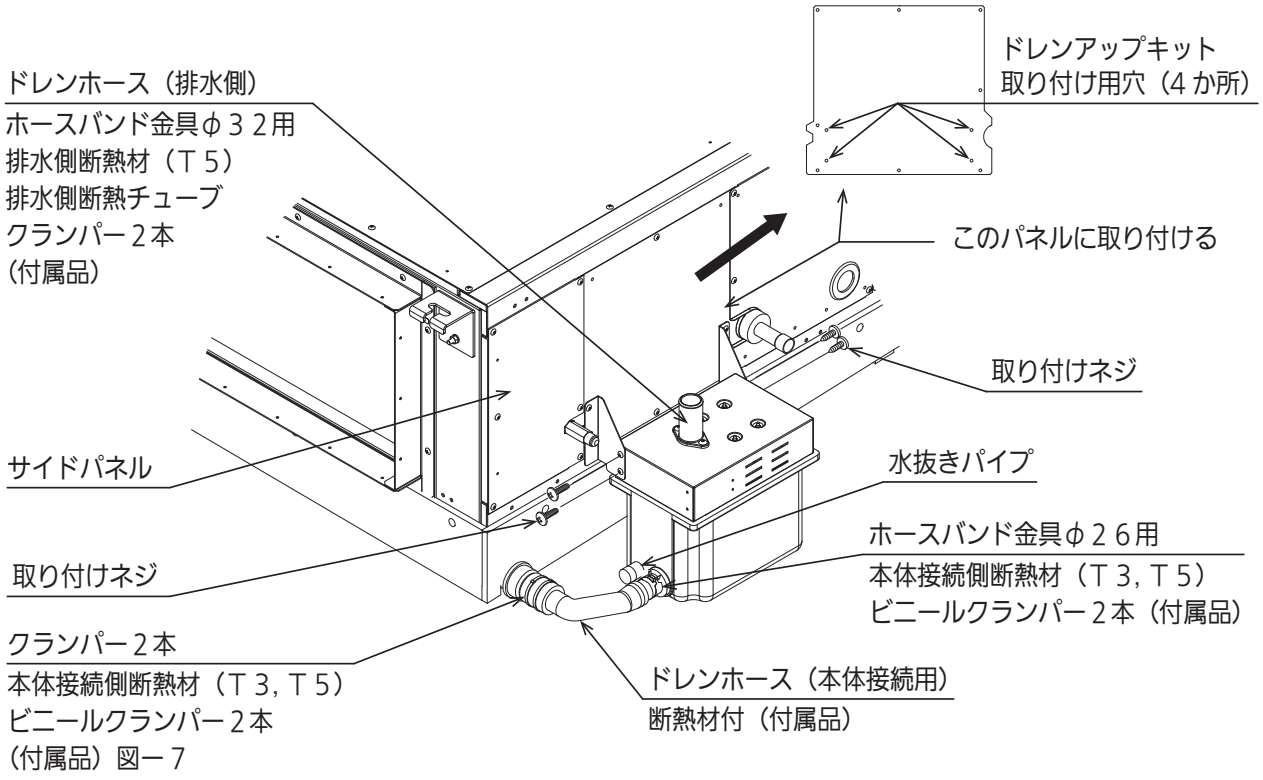
ドレンアップキットの取り付け（１４０形）



図ー８

●ドレンアップキット

ドレンアップキットの取り付け（２８０形）



図ー９

（注意）

- ドレン配管は「据付工事担当のかたへ」に従って確実に排水するよう配管し、結露しないよう断熱してください。水漏れの原因となります。
- ドレンアップキットを取り付けた場合、室内ユニット吸込み側機外静圧は、定格機外静圧の８０%以下で使用してください。水漏れの原因になります。

c）現地ドレン配管のしかた

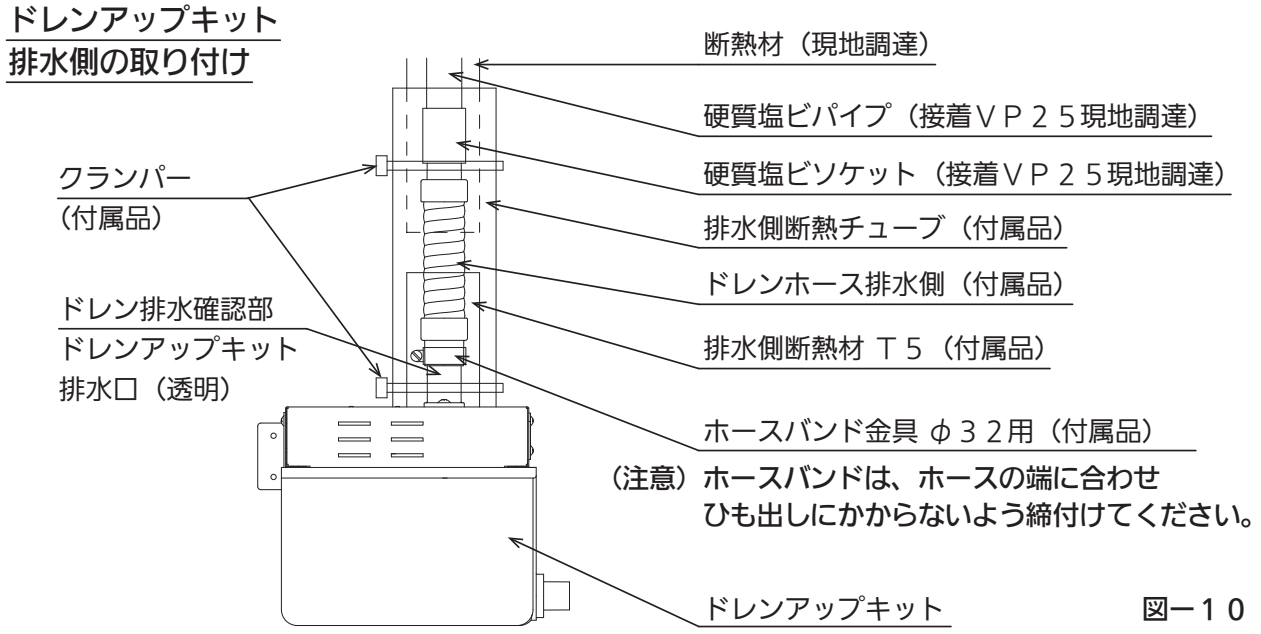
ドレンホースの取り付け（図ー１０）

- ドレンアップキット排水側に、付属のドレンホース（排水側）を取り付けてください。
- ドレンホース（ドレンアップキット側）を、ホースバンド金具φ３２用（付属品）で固定してください。
- ドレンホース（ドレンアップキット側）に排水側断熱材（Ｔ５ 付属品）を巻き付けてください。
- ドレンホースに、排水側断熱チューブ（付属品）を巻き付けてください。
- 排水側断熱チューブを、クランパー２本（付属品）で固定してください。
- 室内部分にあるドレン配管は、必ず断熱してください。

●ドレンアップキット

（注意）

- ドレン配管は硬質塩ビソケットＶＰ２５および硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ２５を使用し、漏れのないよう接着剤で結合してください。
- ドレン配管は必ず下り勾配（１／１００以上）とし、トラップや山越えを作らないようにしてください。
- ドレン配管が長い場合には、途中に支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。
- エアー抜き管は絶対に付けないでください。ドレン水が吹き出ることがあります。
- ドレンアップ高さは、室内ユニット本体ドレン口センターより７５０mm 以下としてください。



図ー１０

５. 電気配線

a ）室内ユニットの電装ボックスカバーをはずします。

b ）電気配線をしてください。
ドレンアップキットのリード線（ドレンポンプ電源用コネクター白色、フロートスイッチ用コネクター黒色）を室内ユニット電装ボックス内の中継コネクターに色を合わせて接続してください。

（注意）

配線は誤配線のないように接続してください。

- 電装ボックス内の２Ｐコネクター（白、黒）に、ドレンアップキット２Ｐコネクター（白、黒）を接続してください。（電装ボックス内２Ｐコネクター（黒）には短絡ソケット（黒）が付いていますので取りはずしてください。不要になります）

c ）配線作業の終了後は、電装ボックスカバーを元どおりに取り付けてください。

●ドレンアップキット

6. 試運転について

ドレン排水の確認

- 配管工事、電気工事完了後、排水がうまく行われるか次の要領で確認してください。（図ー１１，１２）（作業前にバケツやウエスを用意してください）

２００Ｖ電源がきている場合

電装ボックス内の電源端子板（R，S端子）に電源を接続してください。

１００Ｖ電源がきている場合

昇圧トランスを使用し、電装ボックス内の電源端子板（R，S端子）に電源を接続してください。

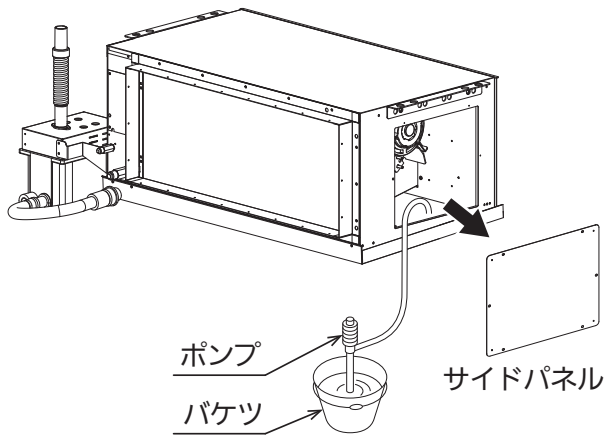
- 電源投入後、下図のとおり、室内ユニットのサイドパネルをはずし、ポンプなどを使用して、ドレンパン内に排水確認用の水（１４０形：約9ℓ、２８０形：約３３ℓ）を少しずつ入れてください。
ドレンパンに水が溜まりフロートスイッチが作動するとドレンポンプが動作し、排水が始まります。排水されない場合は、ドレンポンプおよびフロートスイッチ用コネクタの接続を確認してください。

（注意）

フロートスイッチまたはドレンポンプに異常がある場合、注水を続けるとドレンパンから水があふれ出ます。また、水を一度に入れすぎた場合も、水があふれ出ます。

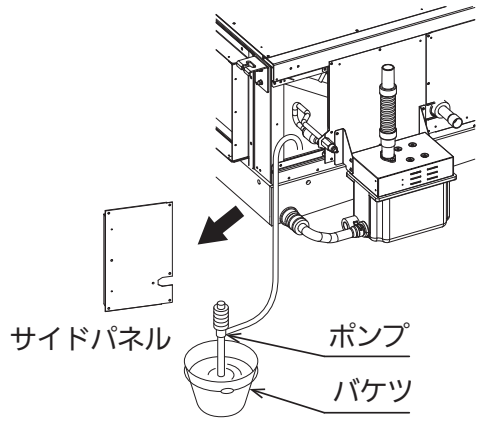
- ドレン水が排水されていることおよび配管接続部から水漏れがないことを確認してください。

１４０形



図ー１１

２８０形



図ー１２

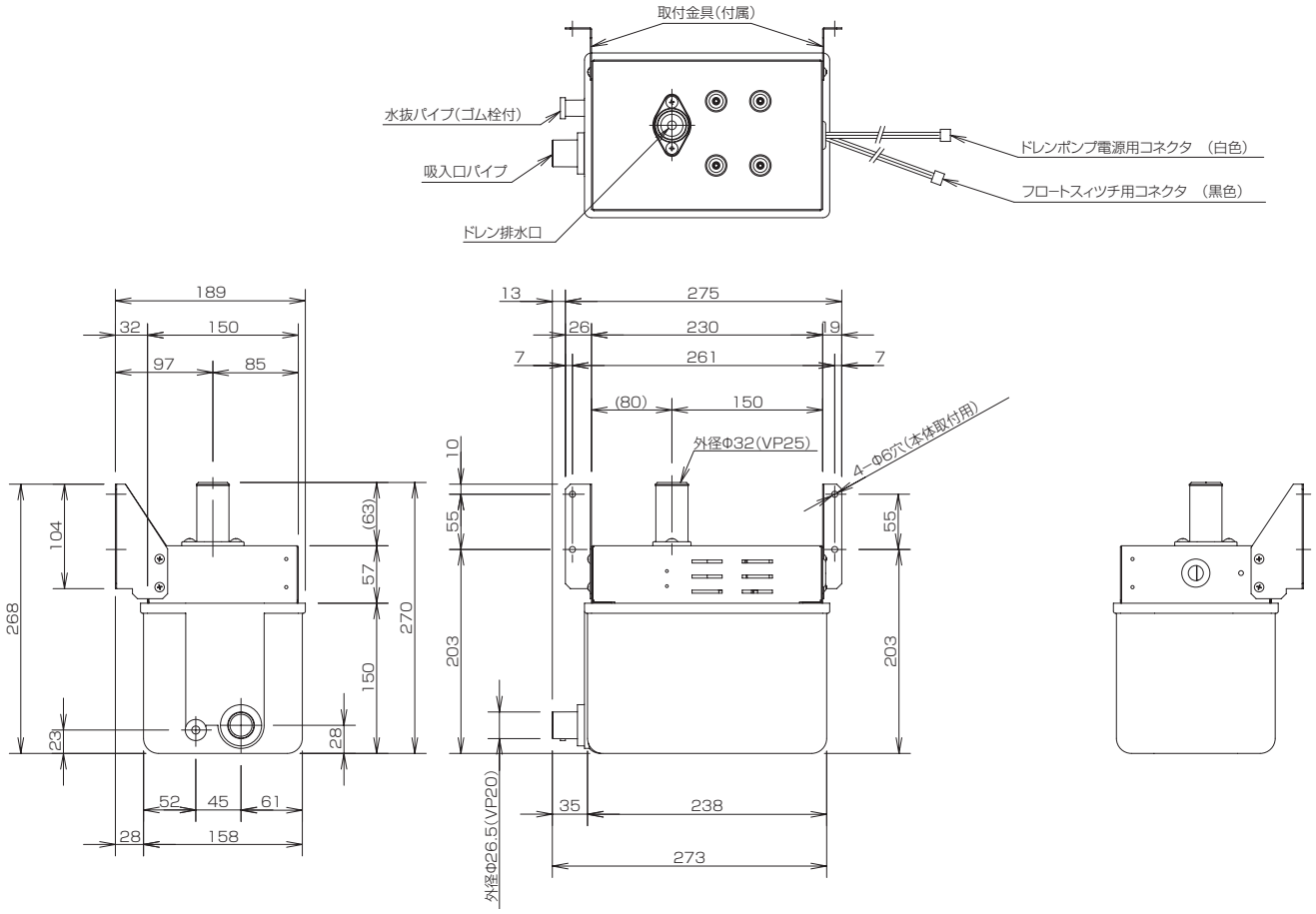
7. 長期間エアコンをご使用しない場合

（注意）

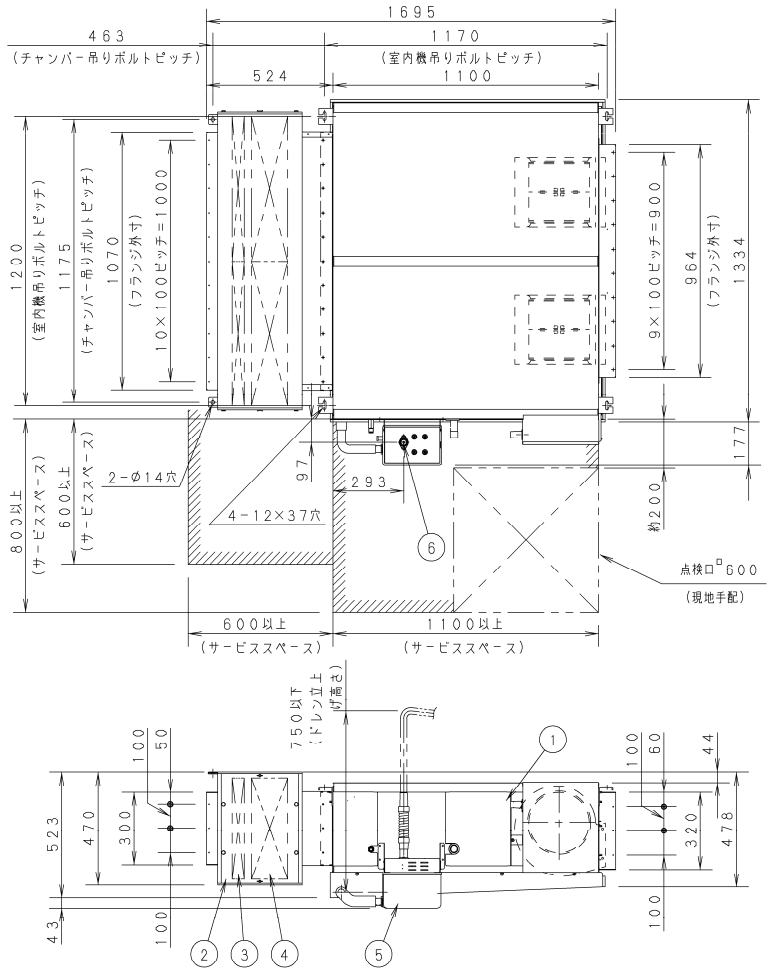
ドレンアップキットの水抜きパイプより、水抜きしてください。
ドレンアップキットの中に水が溜まっていますと、臭い、つまりの原因となります。
また、水抜きした場合には、必ずゴム栓で水漏れしないよう、しっかりと締めてください。

●ドレンアップキット

■外形寸法図〈DP-U280B〉



■部品組込図〈DP-U280B〉…天井埋込形（224, 280 形）



①	天井埋込形本体	下記
②	フィルタチャンバー	CMB-FU280U
③	ロングライフフィルター	AFT-LU280U
④	高性能フィルター	AFT-MU280U(比色法 65%)
		AFT-HU280U(比色法 90%)
⑤	ドレンアップキット	DP-U280B
⑥	ドレンアップキット排水口（内径φ 26）	

注　記

1. エアコンの周囲には、点検、保守が容易にできるようにリービススペースを確保し、必ず点検口を設けて下さい。
2. ドレン立上げ高さは７５０ｍｍ以内です。（左図参照）（製品本体ドレン口センターより７５０ｍｍ以内です）
3. ドレンアップキット使用時の吸込み側機外静圧は定格機外制圧の８０％以下で使用してください。

別売品組合せ表

（●：組合せ必須部品、◎：組合せ推奨部品、○：組合せ可能部品、△：制約付きで可能、×：組合せできない部品）

部品名	本体内蔵ドレンアップキット	丸合フランジ（外気取入用）	超ロングライフフィルター	高性能フィルター（比色法65%）	オイルミストフィルター	フィルターチャンバー	背面カバー
本体内蔵ドレンアップキット		○	○	○	○	○	○
丸合フランジ(外気取入用)	○		○	○	○	○	△※4
超ロングライフフィルター	○	○		×	×	●	○
高性能フィルター（比色法65%）	○	○	×		×	●	○
オイルミストフィルター	○	○	×	×		○	○
フィルターチャンバー	○	○	●	●	○		○
背面カバー	○	△※4	○	○	○	○	

※4 丸合フランジ(外気取入用)と併用する場合は、背面カバーのダクトフランジ部をカットしてご使用ください。

リモコン対応表

リモコン対応表	ワイヤードリモコン				ワイヤレスリモコン受信部※5		リモコン（別売品）の設置可能台数
	多機能ワイヤードリモコン	ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	簡単リモコン	ワイヤレスリモコン組込み受信部タイプ	ワイヤレスリモコン別置受信部タイプ	
エコナビセンサー(壁設置形)を使用する場合	◎	×	△※6	×	△※6	△※6	1台
エコナビセンサー(壁設置形)を使用しない場合	◎	◎	◎	◎	○	○	2台
「ナノイー X」を使用する場合	◎	△※7	△※7	△※7	○	○	2台

<エコナビセンサー（壁設置形）を使用する場合>リモコンは多機能ワイヤードリモコンを基本として使用ください。
<多機能ワイヤードリモコンを使用する場合>多機能ワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。<多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合>その他のワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。

※5 ワイヤレスリモコンは、受信部（組込み受信部タイプもしくは別置受信部タイプ）と送信部が必要です。※6 多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合、△印のリモコンはエコナビ機能の ON/OFF が可能です。※7 多機能ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンと併用してください。併用しない場合は、「ナノイー X」が制御できません。

印刷物と実物では色柄が異なります。現物の商品サンプルなどでお確かめください。この誌面に掲載の価格はメーカー希望小売価格です。
消費税・配送・設置調整費、パイプ・工事費、使用済み商品の引取り費等は含まれておりません。

●高性能フィルター(比色法 65%)

■仕様

名　称			高性能フィルター　(比色法65%)						
品　番			CZ-56MFT		CZ-80MFT		CZ-160MFT		
適用機種			40・45形	50・56形	63形	71・80形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	12.0	12.7	19.8	19.8	28.6	31.5	31.5
最終風量		m^3/min	8.5	9.8	10.7	10.7	16.2	17.3	17.3
初期圧損		Pa	17.6	19.1	22.2	22.2	22.4	25.7	25.7
最終圧損		Pa	59.7	73.5	65.0	65.0	70.5	97.7	97.7
フィルター寿命		時間	2300	2300	2000	2000	2100	2200	2200
平均効率			比色法　65%（JIS　11種）						
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルター外形寸法	幅	mm	(373×2)		(508×2)		(716×2)		
	奥行	mm	257						
	厚み	mm	30						
	質量	kg	0.7		0.9		1.3		
フィルターチャンバー	品番		CZ-56FBCT		CZ-80FBCT		CZ-160FBCT		
	厚み	mm	45						
	質量	kg	2.3		3		3.3		

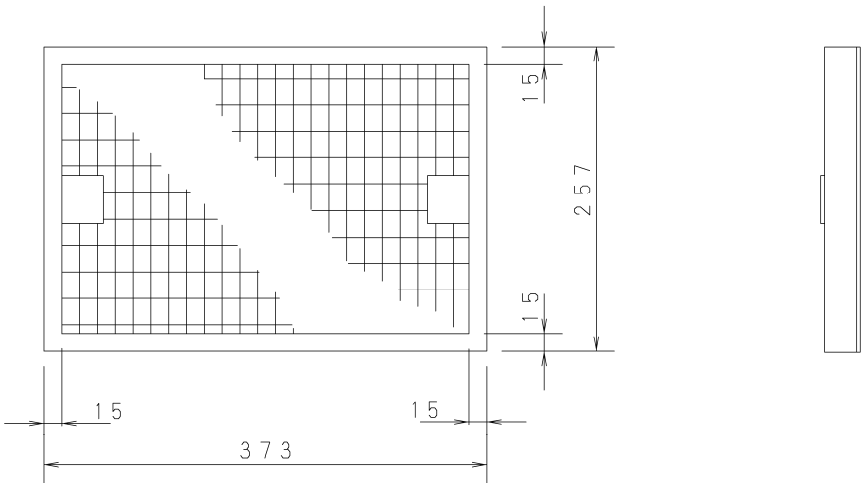
注意

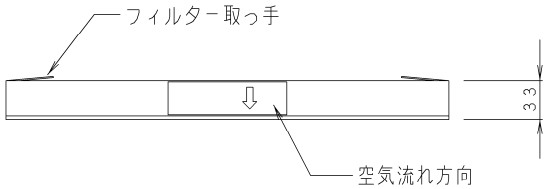
(1)高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
(2)フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（ダストJIS15種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3)高性能フィルターを組み込む場合は、フィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(4)吸込グリル付属のエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
(5)風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

■外形寸法図

■CZ-56MFT

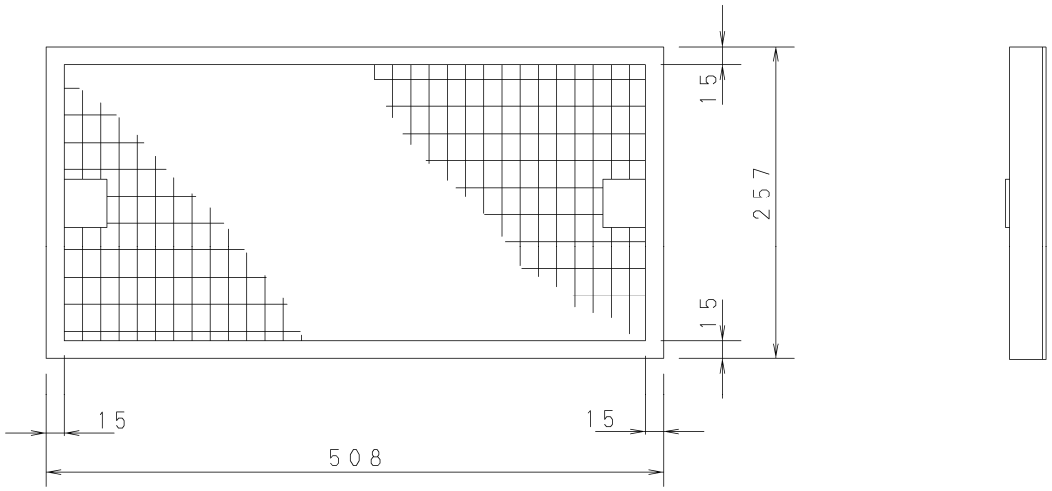
適用機種	個数
40～56形	2

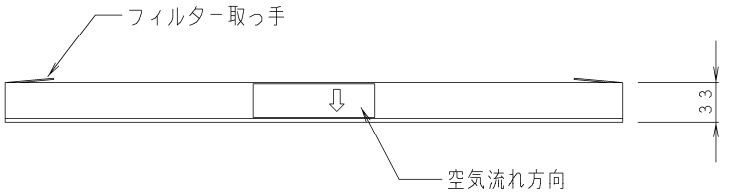




●高性能フィルター(比色法 65%)
■外形寸法図
■CZ-80MFT

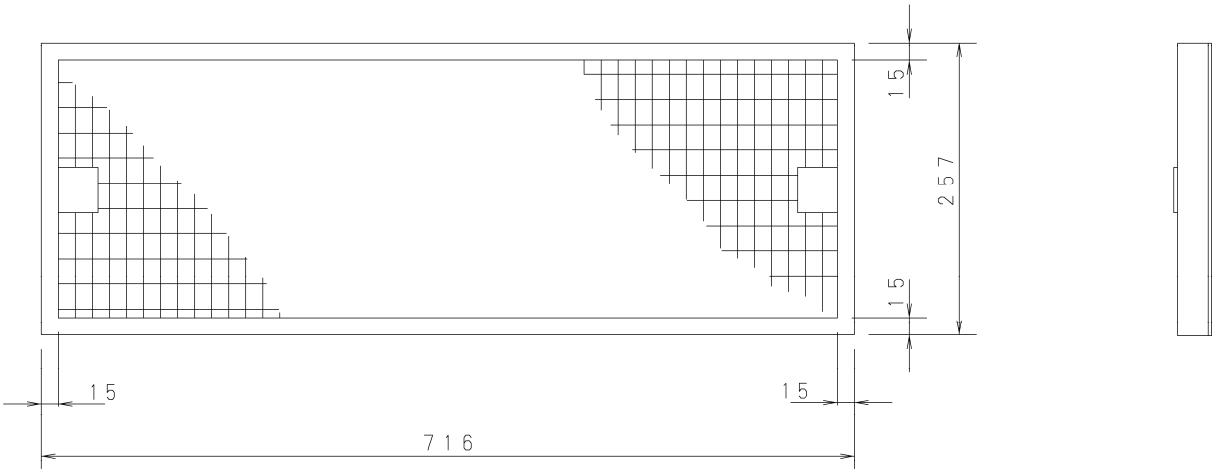
適用機種	個数
63~80形	2

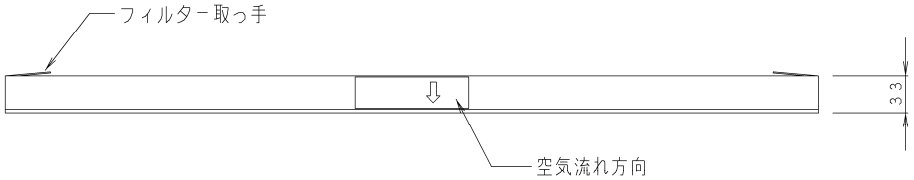




■CZ-160MFT

適用機種	個数
112~160形	2





●超ロングライフフィルター(重量法 40%)

■仕様

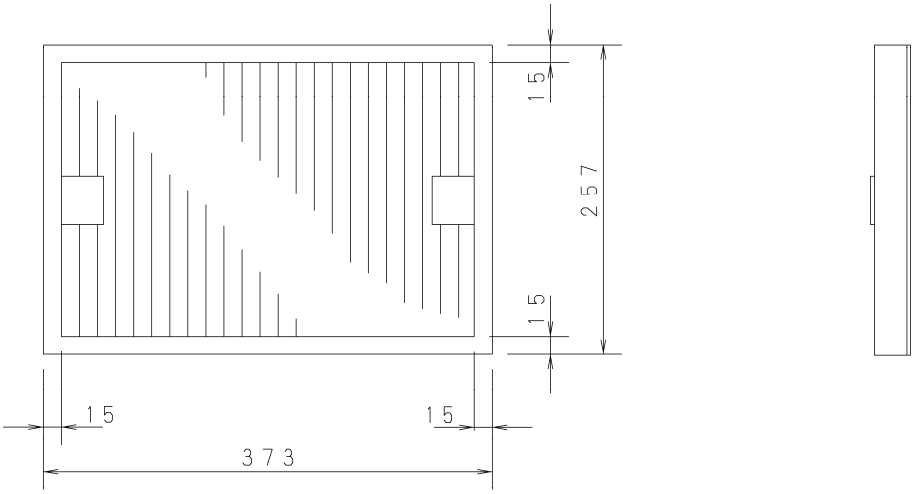
名　称			超ロングライフフィルター（質量法40%）						
品　番			CZ-56LFT		CZ-80LFT		CZ-160LFT		
適用機種			40・45形	50・56形	63形	71・80形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	14.2	14.8	21.6	22.0	29.6	32.7	33.3
最終風量		m^3/min	9.3	10.2	11.0	11.0	16.4	17.5	17.5
初期圧損		Pa	4.9	5.2	9.7	10.8	10.7	14.1	14.9
最終圧損		Pa	36.8	38.7	48.7	51.4	53.4	71.3	76.1
フィルター寿命		時間	5000	5000	5000	5000	5100	5000	5000
平均効率			質量法　40%（JIS　15種）						
使用濾材			PPハニカム（防カビ仕様）						
フィルター外形寸法	幅	mm	(373×2)		(508×2)		(716×2)		
	奥行	mm	257						
	厚み	mm	30						
	質量	kg	1.1		1.4		1.8		
フィルターチャンバー	品番		CZ-56FBCT		CZ-80FBCT		CZ-160FBCT		
	厚み	mm	45						
	質量	kg	2.3		3		3.3		

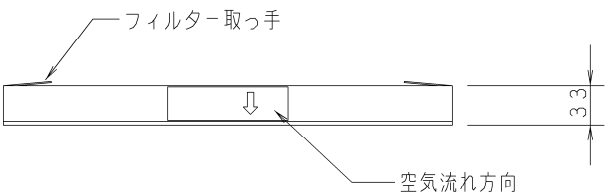
注記
(1)超ロングライフフィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
(2)フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m³（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（ダストJIS15種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3)超ロングライフフィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(4)吸込グリル付属のエアーフィルターは、取り外してご使用ください。
(5)風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

■外形寸法図

■CZ-56LFT

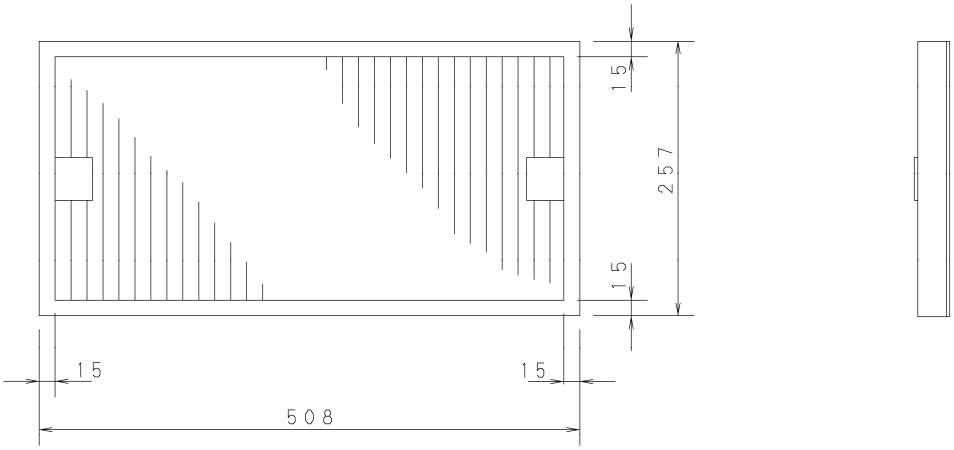
適用機種	個数
40～56形	2

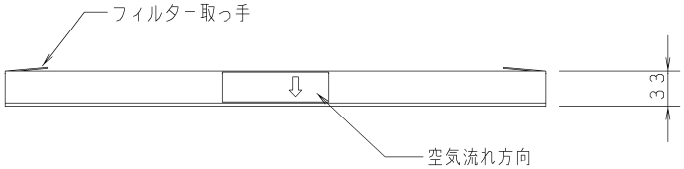




●高性能フィルター(比色法 65%)
■外形寸法図
■CZ-80LFT

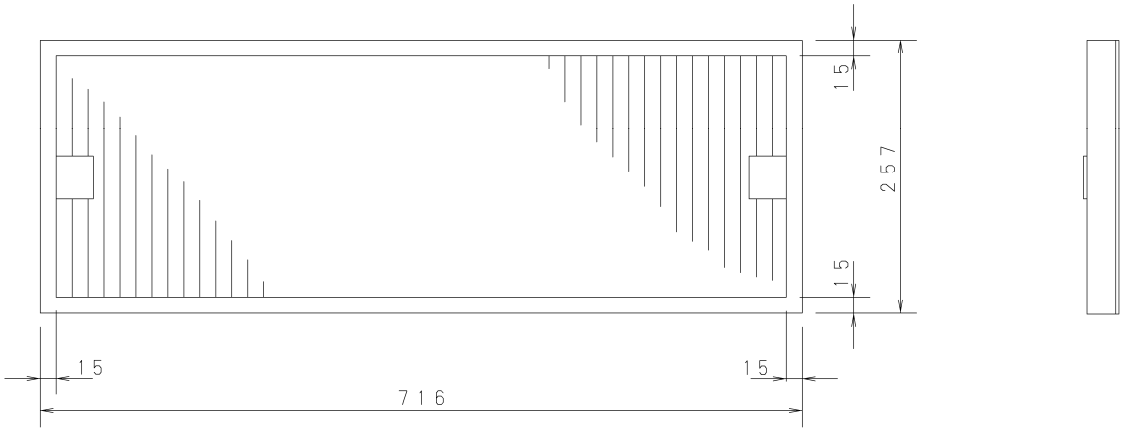
適用機種	個数
63～80形	2

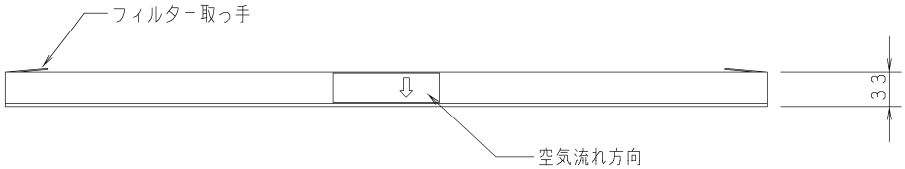




■CZ-160LFT

適用機種	個数
112～160形	2





●高性能フィルター・超ロングライフフィルター
■取扱説明書

取付説明書　高性能フィルター・超ロングライフフィルター

品番　　CZ-56MFT　CZ-80MFT　CZ-160MFT
　　CZ-56LFT　CZ-80LFT　CZ-160LFT

適用室内ユニット　天井吊形　Tシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

- 取付説明書とフィルターチャンバーの据付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
- 特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「取付説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、「取付説明書」は、室内ユニットの「取扱説明書」、「据付工事説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

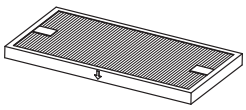
安全上のご注意　必ずお守りください

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

ご注意　別売フィルターを使用する場合は、フィルターチャンバーに付属の取付説明書に従い、ＤＣファンタップの設定変更を行ってください。
（行わない場合は、風量減少・露付により水漏れし、家財等を濡らす原因となります。）

□ 取り付け前の準備

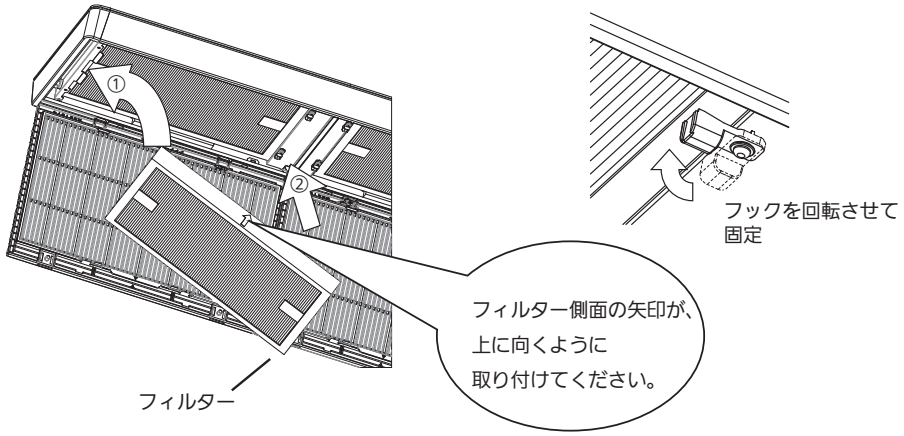
高性能フィルターまたは超ロングライフフィルター		取付説明書
	2個	1枚（本紙）（付属品）
• 高性能フィルターは使い捨てです。 • 方向性がありますので注意してください。		

- 各フィルターとフィルターチャンバーの組合せは下記の通りですので、ご確認ください。

高性能フィルター（比色法６５%）	超ロングライフフィルター	フィルターチャンバー（別売品）
ＣＺ−５６ＭＦＴ	ＣＺ−５６ＬＦＴ	ＣＺ−５６ＦＢＣＴ
ＣＺ−８０ＭＦＴ	ＣＺ−８０ＬＦＴ	ＣＺ−８０ＦＢＣＴ
ＣＺ−１６０ＭＦＴ	ＣＺ−１６０ＬＦＴ	ＣＺ−１６０ＦＢＣＴ

□ 取り付けかた

1. 各フィルターの取り付けかた
各フィルターを下図のように取り付け、フックを回転させて固定してください。



ACXF60-21143
85464369758001
PA0813-30823

□ 取り付けかた（つづき）

2. 超ロングライフフィルターをご使用の場合

超ロングライフフィルターをご使用の場合には、吸込グリルに取り付けてあるエアフィルターを取りはずしてご使用ください。

3. 詳細設定

超ロングライフフィルターを取り付ける場合には、フィルターサイン点灯時間設定を変更してください。
ＤＣファンタップの設定変更方法は、フィルターチャンバーに付属の据付工事説明書をご覧ください。

表1　フィルターサイン点灯時間設定表

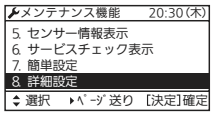
リモコンの設定データ 項目コード 7 2	使用用途 / 別売品名称
0008（出荷時設定値）	エアフィルター（標準）・高性能フィルター（比色法65%）
0050	超ロングライフフィルター

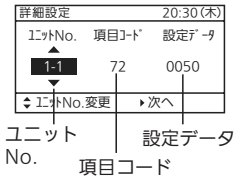
(1) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4C）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード72の設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「72」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



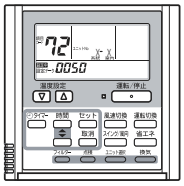


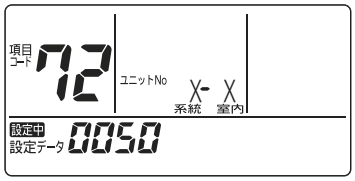


(2) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3/CZ-10RT3A）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード72の設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

①点検＋セット ＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「72」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。



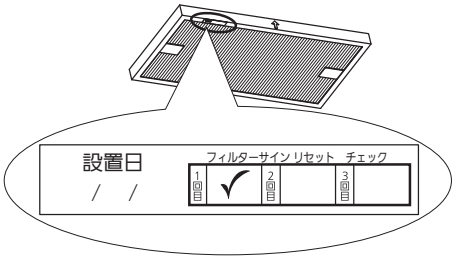


□ フィルター清掃および交換時期について

- リモコンにフィルターサインが表示されたときは、フィルターの清掃または交換時期です。

○高性能フィルターの場合

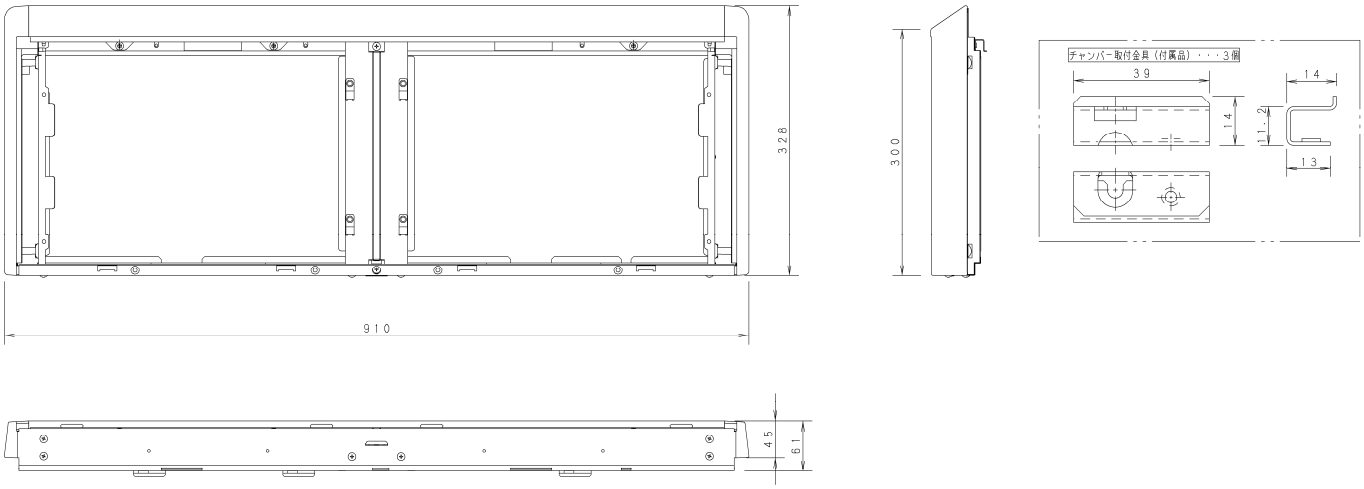
吸込グリルに取り付けてあるエアフィルターの清掃を行い、フィルターサインをリセットしてください。
高性能フィルターについているラベルにチェックをいれて、フィルターの交換時期を忘れないようにすることをおすすめいたします。
また、３回目のフィルターサイン点灯時は、高性能フィルターの交換もしてください。



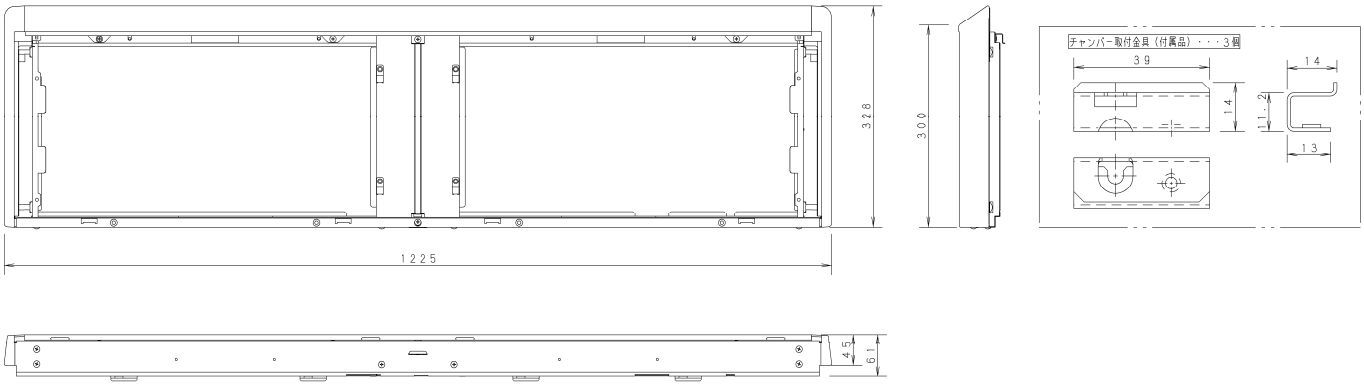
○超ロングライフフィルターの場合

超ロングライフフィルターの清掃を行い、フィルターサインをリセットしてください。
※フィルターサインのリセット方法は、室内ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。

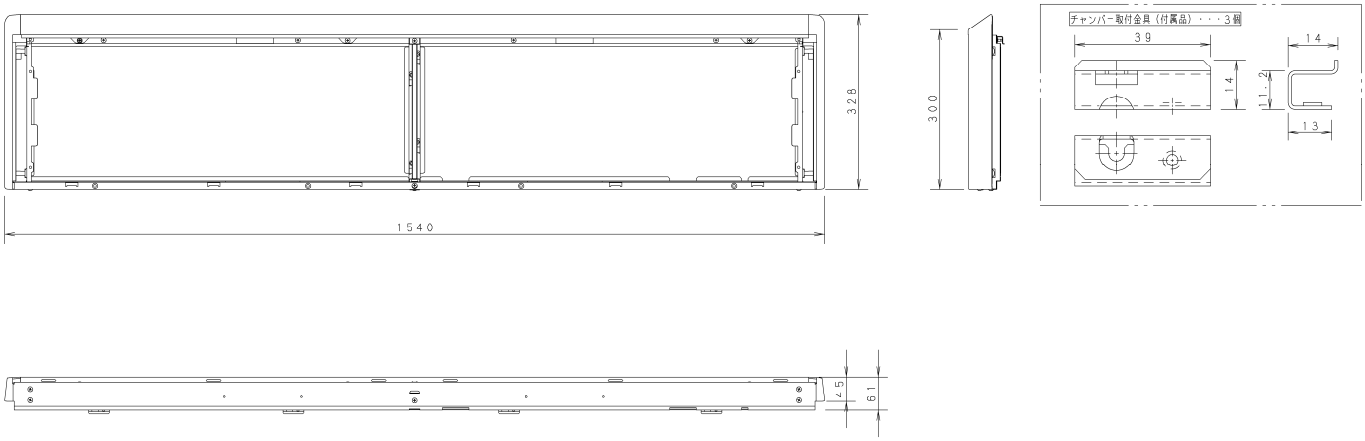
●フィルターチャンバー
■外形寸法図
■CZ-56FBCT



■CZ-80FBCT



■CZ-160FBCT



●フィルターチャンバー
■取付説明書

据付工事説明書　　フィルターチャンバー

品番　　CZ-56FBCT　CZ-80FBCT　CZ-160FBCT

適用室内ユニット　　天井吊形　Tシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

- 据付工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
- 特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「据付工事説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。　また、「据付工事説明書」は、室内ユニットの「取扱説明書」、「据付工事説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

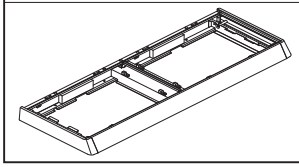
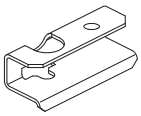
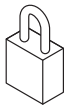
安全上のご注意　必ずお守りください

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

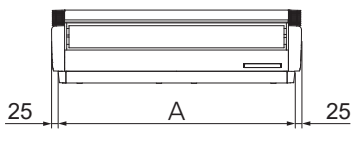
ご注意　フィルターチャンバーは、室内ユニット本体の据付作業完了後に取り付けてください。
試運転により、振動やビビリ音等の異常音がないことを確認してください。
別売フィルターは、他の別売フィルターとの併用はできません。

□ 付属品

フィルターチャンバー本体	取付金具	取付ネジ	短絡コネクタ	据付工事説明書
	 56形：　3個 80形：　3個 160形：　4個	（M4×L10）  56形：　7本 80形：　7本 160形：　8本		1枚（本紙）

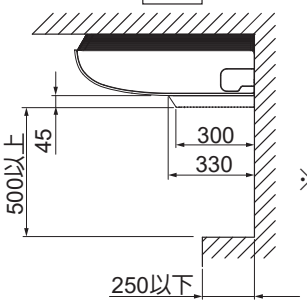
□ フィルターチャンバー取付図

正面



フィルターチャンバー形名	A寸法
CZ−56FBCT	910
CZ−80FBCT	1225
CZ−160FBCT	1540

側面



※吸込口の下側に障害物がある場合は、左図寸法を守ってください。

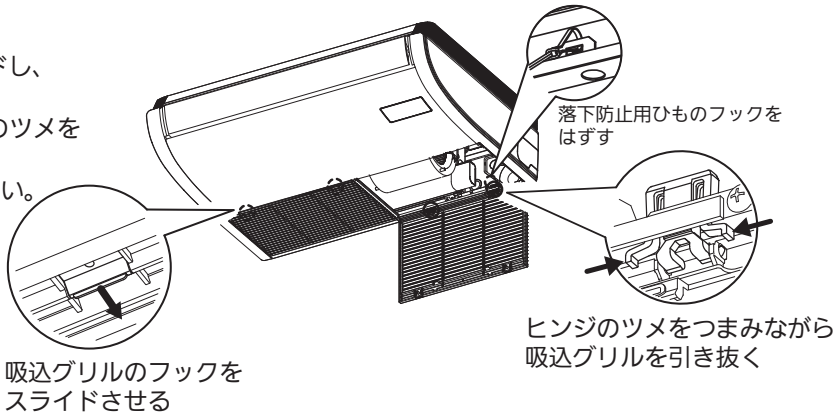
ACXF60-21083
85464369749001
PA0813-30823

□ 取り付けかた

- フィルターチャンバーは、室内ユニット本体の据え付け作業完了後に取り付けてください。

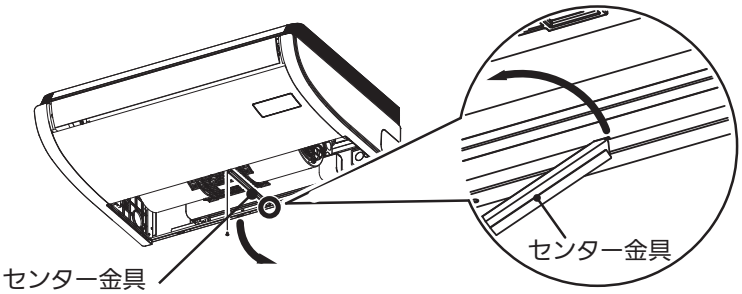
1. 吸込グリル取りはずし

吸込グリルのフックを矢印方向にスライドし、
吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジのツメを
押して吸込グリルを引き抜いてください。
落下防止用ひものフックをはずしてください。



2. 室内ユニットのセンター金具の取りはずし

室内ユニット中央部のセンター金具固定ネジ（1本）をはずし、センター金具をはずしてください。
センター金具をはずした後、固定ネジ（1本）を元の位置に締め付けてください。



取りはずした
センター金具は、
説明書と一緒に
保管してください

3. ＤＣファンタップの設定

別売フィルターを取り付ける場合、ワイヤードリモコンまたは室内コントロール基板(付属の短絡コネクタ使用)
からＤＣファンタップの設定を変更します。
※設定変更を行わないと、風量減少・露付の原因となります。

ワイヤードリモコンから設定する場合（推奨）

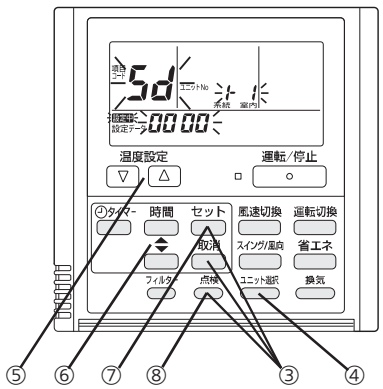
① この設定は運転停止中に行ってください。
② ご使用になるフィルターによって設定値が異なります。設定は表1をご確認ください。

表1　ＤＣファンタップ設定表

リモコンの設定データ 項目コード 5d または 5D	使用用途 / 別売品名称
0000	標準（出荷設定）
0001	超ロングライフフィルター
0003	高性能フィルター（比色法65%）

● ワイヤードリモコン　CZ-10RT3 または CZ-10RT3A で設定する場合

③ 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを同時に4秒以上押します。
④ ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNo を順次表示します。　このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
⑤ 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「5d」を指定します。
⑥ 時間 ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表1のようになっています。
⑦ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
選択している室内ユニットを変更したい場合は④へ
⑧ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。



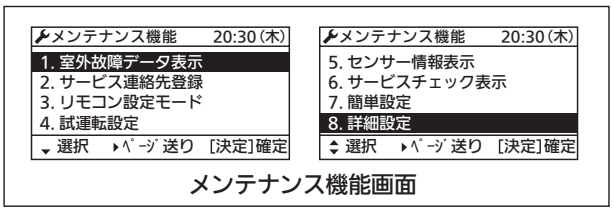
3. DCファンタップの設定（つづき）

● ワイヤードリモコン　CZ-10RT4シリーズ で設定する場合

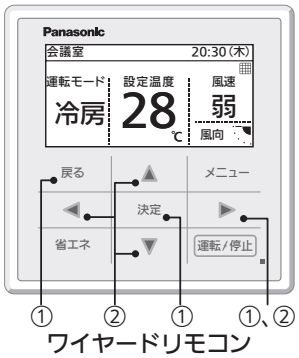
メンテナンス機能画面の表示（ユニットが停止中に行ってください。）

① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。



メンテナンス機能画面



ワイヤードリモコン

詳細設定方法（ユニットが停止中に行ってください。）

- ▼ / ▲ ボタンで**8.詳細設定**を選択し、決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。
- ◄ / ► ボタンでユニットNo./項目コード/設定データの選択を切り替えてください。

【ファン風速設定方法の例】

- ▼ / ▲ ボタンでユニットNo.:設定するユニット/項目コード:5D/設定データを選択し、決定 ボタンを押してください。続けて別の系統を設定する場合はユニットNo.を変更し、決定 ボタンを押してください。
- 戻る ボタンを押し、再起動:“はい”を選択し、決定 ボタンを押してください。

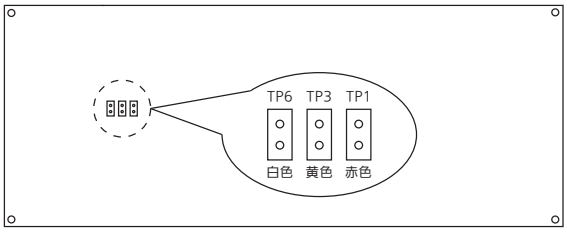


詳細設定画面

室内コントロール基板から設定する場合

① 漏電しゃ断器をOFF にして、基板への電源供給を停止してください。
② 電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。
③ ご使用される別売フィルターの種類ごとに、付属の短絡コネクタ（2P：黄色）を室内コントロール基板に接続してください。

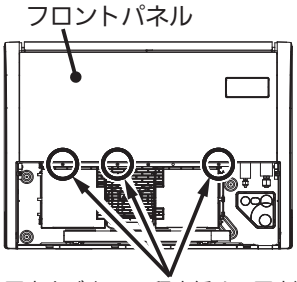
● 超ロングライフフィルターをご使用の場合　：TP1（2P 赤色）に接続
● 高性能フィルター(比色法65%)をご使用の場合　：TP3（2P 黄色）に接続



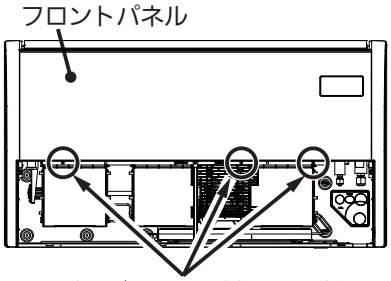
室内コントロール基板

4. フィルターチャンバー取り付け準備

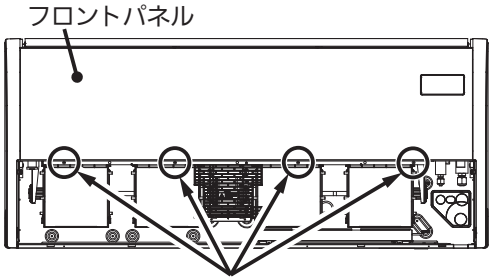
室内ユニットのフロントパネル固定ネジ（センターバー固定部を除く：56･80形:3本、160形:4本）を5mm程度緩め、付属の取付金具（56･80形:3個、160形:4個）を緩めた固定ネジにスライドさせた後、固定ネジを締めこみ固定してください。



固定ネジ(5mm程度緩めて固定)
取付金具固定位置 (56形)

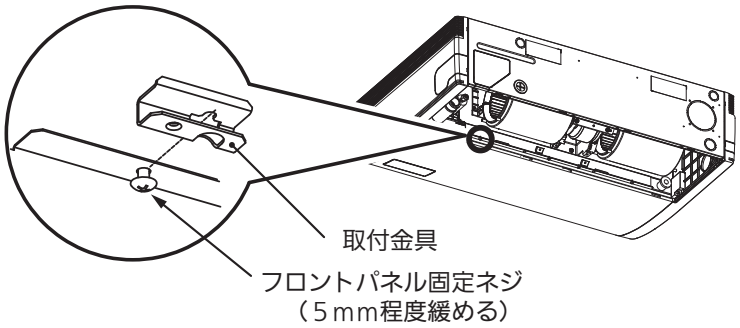


固定ネジ(5mm程度緩めて固定)
取付金具固定位置 (80形)



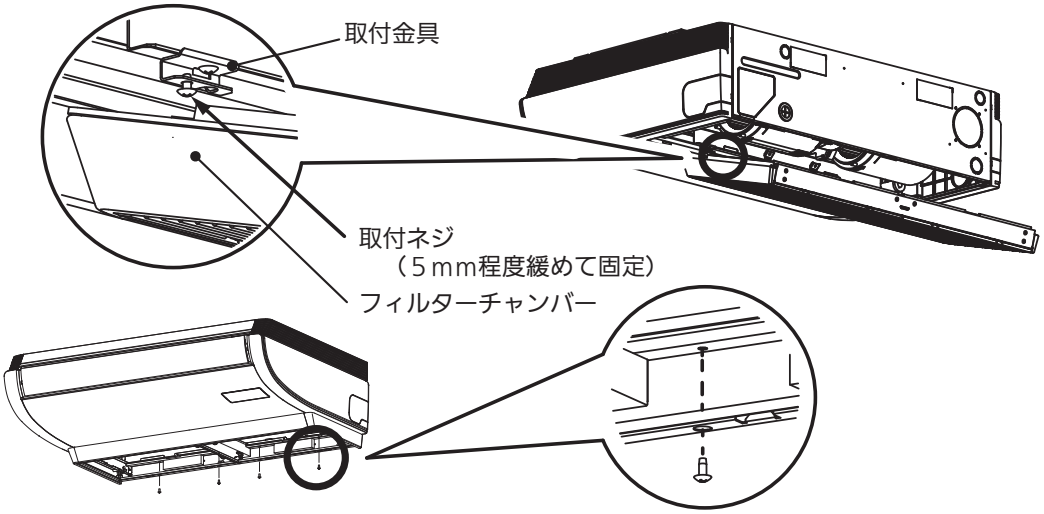
固定ネジ(5mm程度緩めて固定)
取付金具固定位置 (160形)

□ 取り付けかた（つづき）



5. フィルターチャンバー取り付け

4で室内ユニットに取り付けた取付金具に付属の取付ネジ（56・80形：3本、160形：4本）を5mm程度緩めて取り付けます。フィルターチャンバーを取り付けた付属の取付ネジに引掛けた後背面側を付属の取付ネジ（4本）で固定してください。固定金具側の取付ネジを締め込んでください。

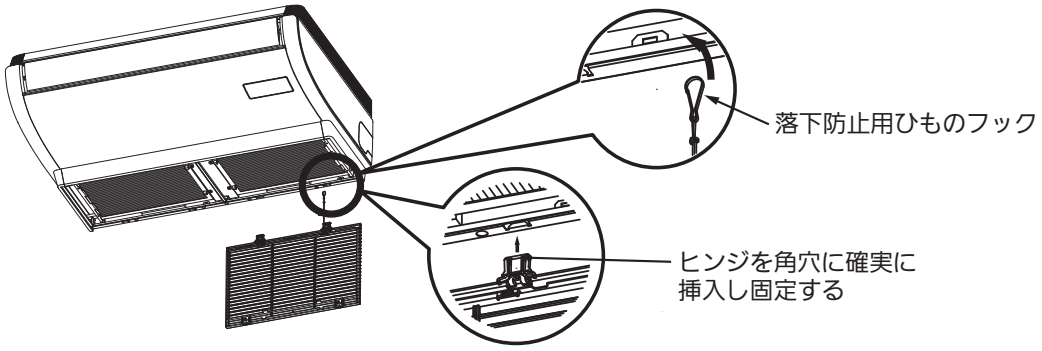


6. 別売フィルターの取り付け

別売フィルターの取り付けは、各フィルターに付属の取付説明書をご覧ください。

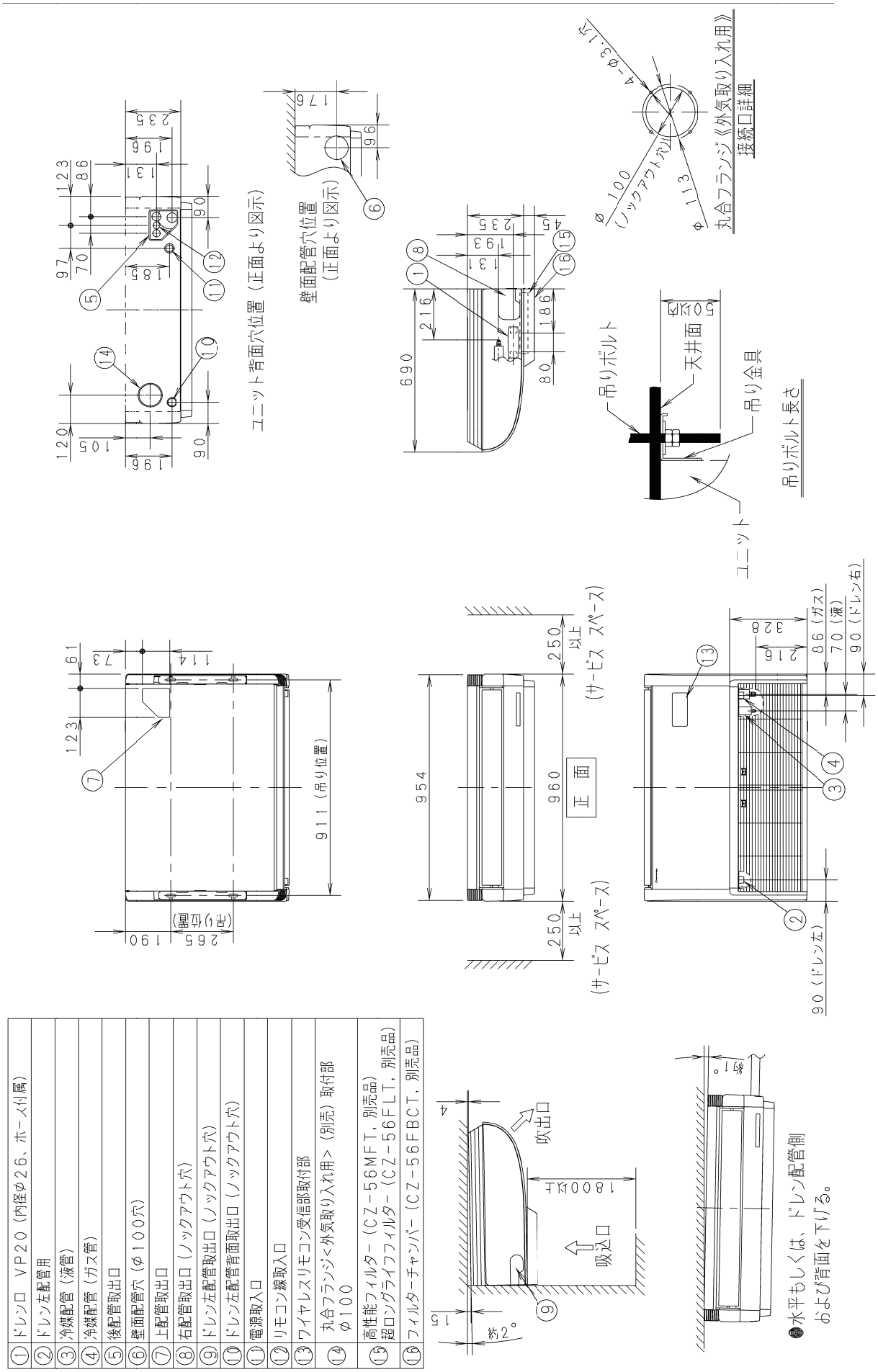
7. 吸込グリルの取り付け

1ではずした吸込グリルのヒンジをフィルターチャンバーの角穴に挿入して取り付けてください。
吸込グリルの落下防止用ひものフックをフィルターチャンバーの角穴に固定してください。



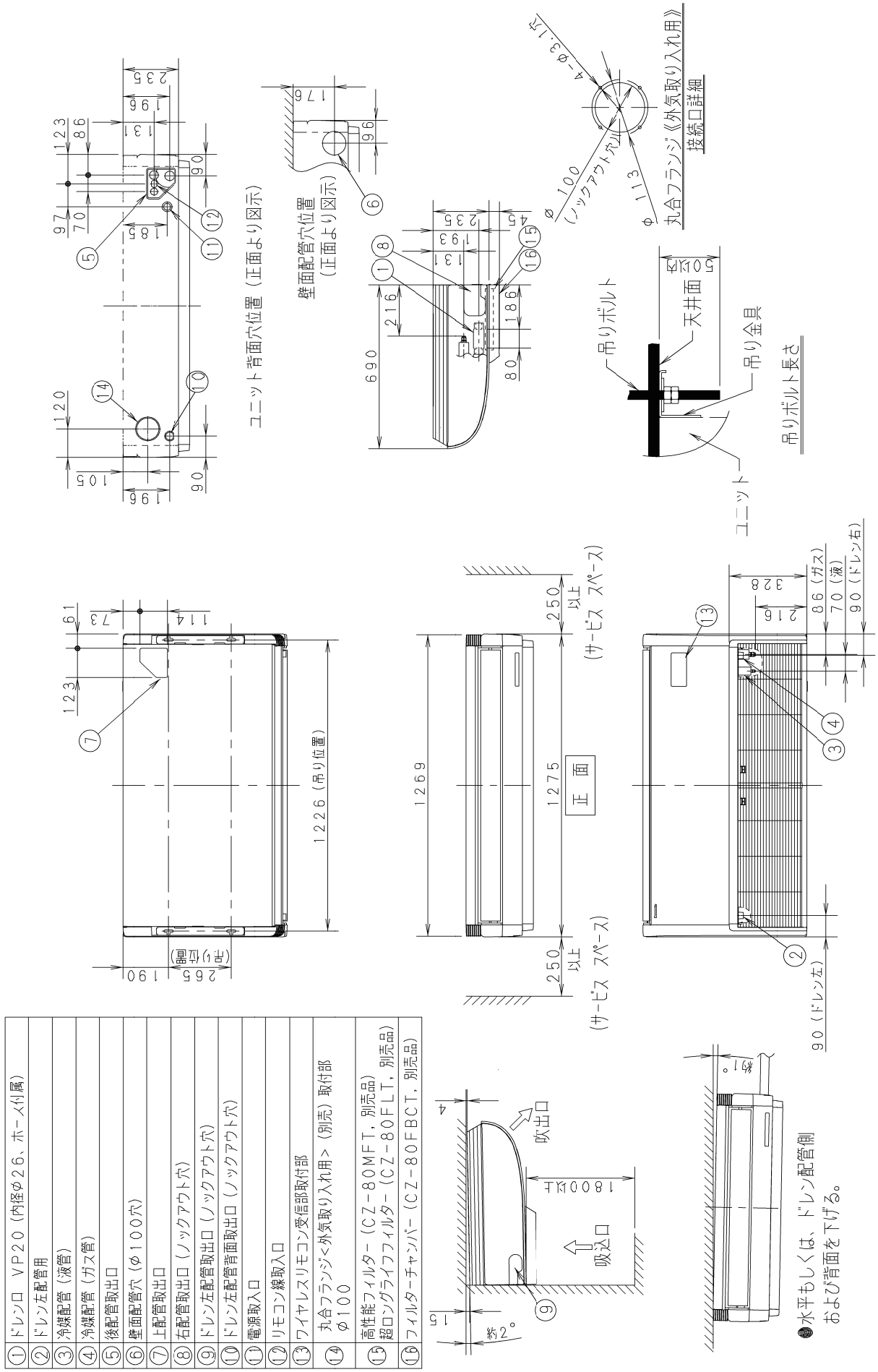
⚠ 注意　吸込グリルは室内ユニットに確実に取り付けること。
（取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下により、けがの原因になります。）

●各フィルター、フィルターチャンバー
CZ-56MFT, 56LFT, 56FBCT
■部品取付図（40 ～ 56 形）



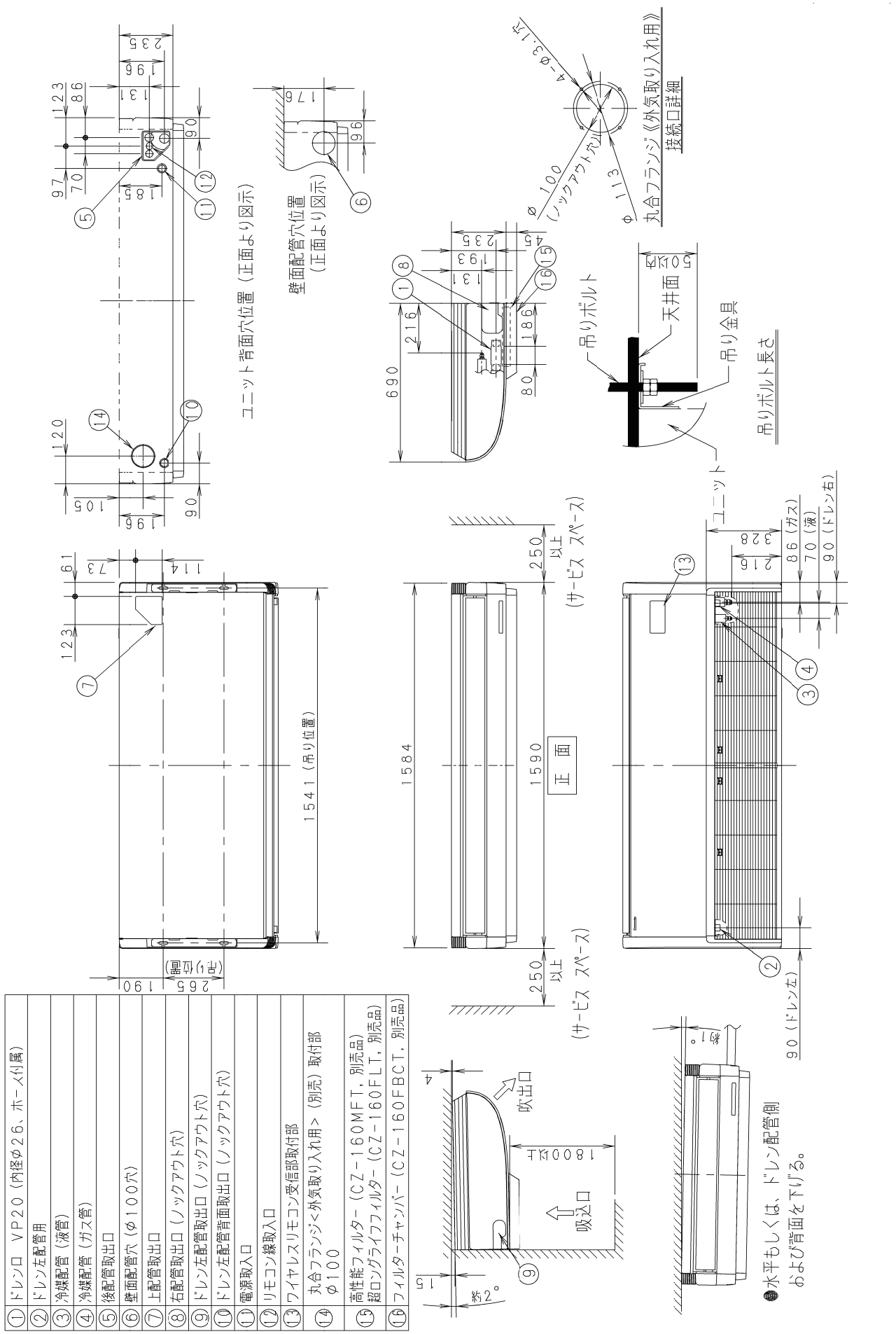
①	ドレン口 VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑮	高性能フィルター（CZ-56MFT，別売品） 超ロングライフフィルター（CZ-56FLT，別売品）
⑯	フィルターチャンバー（CZ-56FBCT，別売品）

●各フィルター、フィルターチャンバー
CZ-80MFT, 80LFT, 80FBCT
■部品取付図（63 ～ 80 形）



①	ドレン口 VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ＜外気取り入れ用＞（別売）取付部 φ100
⑮	高性能フィルター（CZ-80MFT，別売品） 超ロングライフフィルター（CZ-80FLT，別売品）
⑯	フィルターチャンバー（CZ-80FBCT，別売品）

●各フィルター、フィルターチャンバー
CZ-160MFT, 160LFT, 160FBCT
■部品取付図（112 ～ 160 形）

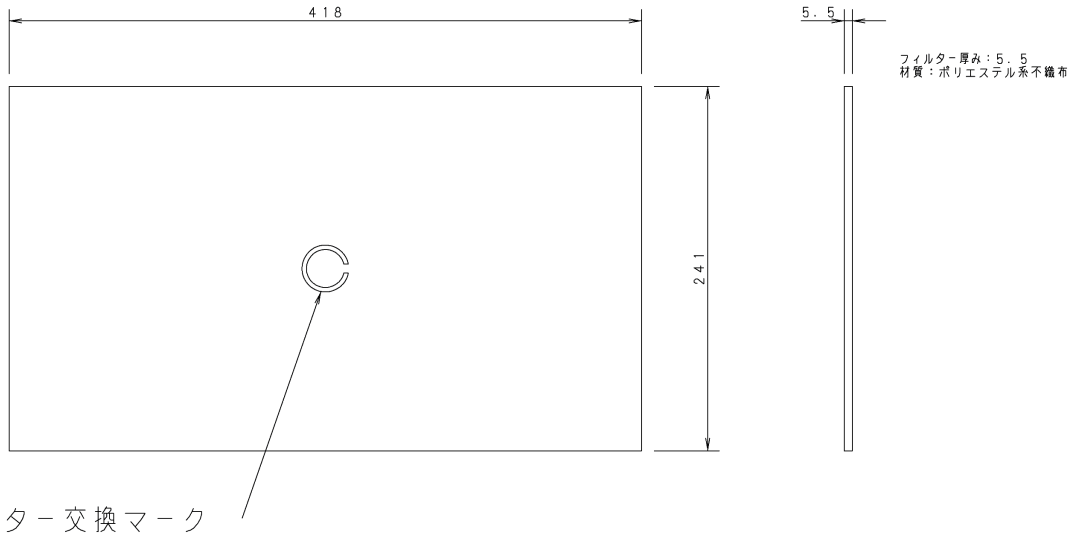


①	ドレン口 VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ＜外気取り入れ用＞（別売）取付部 φ100
⑮	高性能フィルター（CZ-160MFT，別売品） 超ロングライフフィルター（CZ-160FLT，別売品）
⑯	フィルターチャンバー（CZ-160FBCT，別売品）

●オイルミストフィルター

■CZ-56FBT

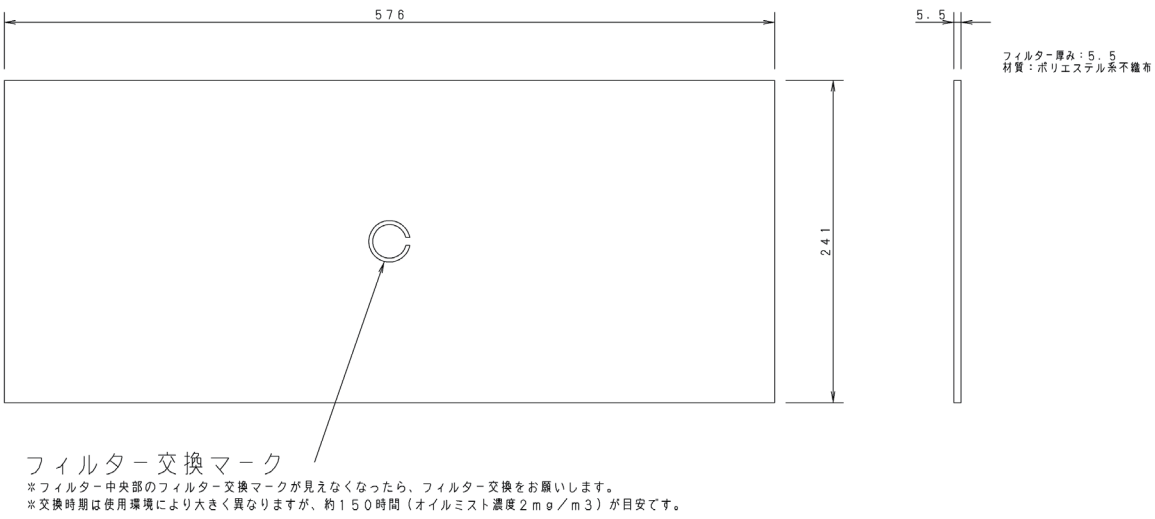
適用機種	個数
40～56形	2



※フィルター中央部のフィルター交換マークが見えなくなったら、フィルター交換をお願いします。
※交換時期は使用環境により大きく異なりますが、約150時間（オイルミスト濃度2mg／m3）が目安です。

■CZ-80FBT

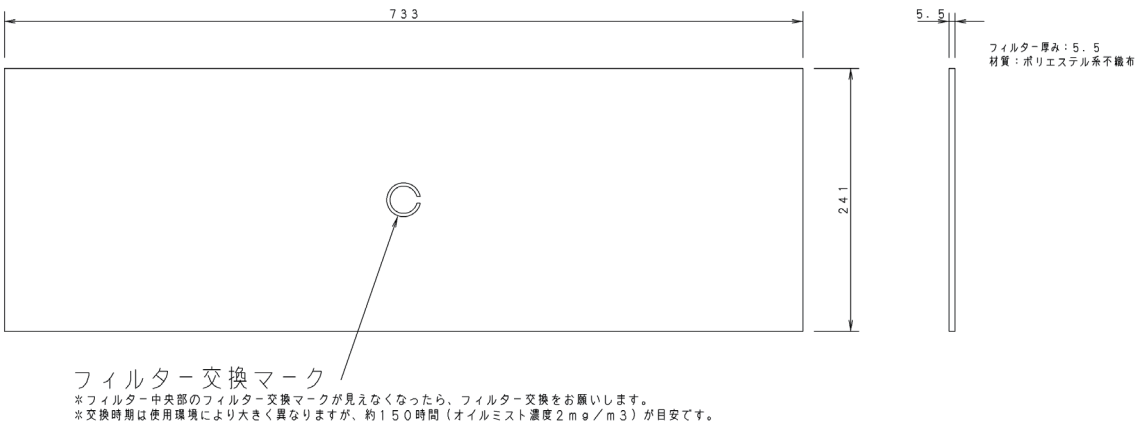
適用機種	個数
63～80形	2



※フィルター中央部のフィルター交換マークが見えなくなったら、フィルター交換をお願いします。
※交換時期は使用環境により大きく異なりますが、約150時間（オイルミスト濃度2mg／m3）が目安です。

■CZ-160FBT

適用機種	個数
112～160形	2



※フィルター中央部のフィルター交換マークが見えなくなったら、フィルター交換をお願いします。
※交換時期は使用環境により大きく異なりますが、約150時間（オイルミスト濃度2mg／m3）が目安です。

●オイルミストフィルター
■取付説明書

取付説明書　　オイルミストフィルター

品番　　CZ-56FBT　　CZ-80FBT　　CZ-160FBT

適用室内ユニット　　天井吊形　Tシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

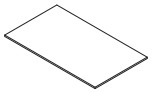
- 取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
- 特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「取付説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。　また、「取付説明書」は、室内ユニットの「取扱説明書」、「据付工事説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

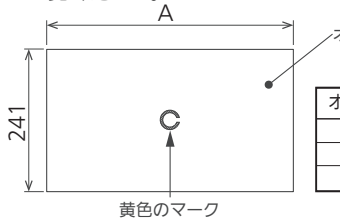
オイルミストフィルター	取付説明書
 50枚	1枚（本紙）（付属品）

※ オイルミストフィルターは室内ユニットの保護を目的とするもので、店内に発生する油煙を捕集するものではありません。

フィルター交換サインについて

オイルミストフィルターの中央部に黄色のマークがあります。（汚れではありません）
このマークが目立たなくなりましたら、オイルミストフィルターの交換をお願いします。
交換時期は使用環境により大きく異なりますが、およそ150時間（オイルミスト濃度：2.0mg／m^3）が目安です。

エアフィルターの掃除について、詳しくは本体の取扱説明書をご覧ください。



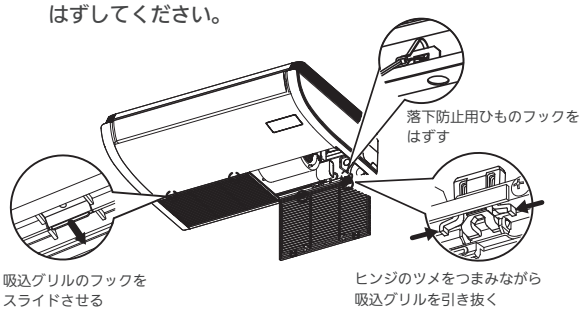
オイルミストフィルター形式	A寸法
CZ-56FBT	418
CZ-80FBT	576
CZ-160FBT	733

詳細設定について

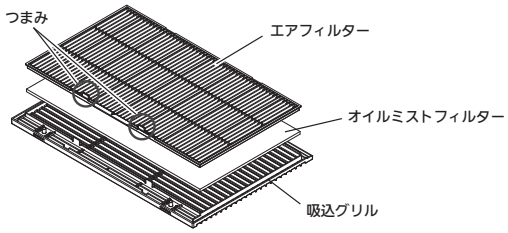
はじめてオイルミストフィルターをご使用になる場合は、室内ユニットのDCファンタップ設定変更が必要です。
詳細は、お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。

フィルターの取り付け方および交換のしかた

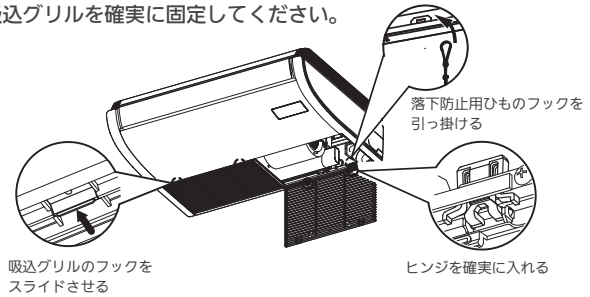
1. 吸込グリルのフックをスライドし、吸込グリルを開いてください。吸込グリル後部ヒンジのツメをつまみながら吸込グリルを引き抜いてください。落下防止用ひものフックをはずしてください。



2. エアフィルターのつまみを押し上げて、吸込グリルからはずしてください。
吸込グリルのうえにオイルミストフィルターを置き、エアフィルターを取り付けます。
オイルミストフィルターの黄色のマークが、吸込グリル側になるよう取り付けてください。



3. 1.の逆の手順で、吸込グリルを取り付けます。
吸込グリルを確実に固定してください。

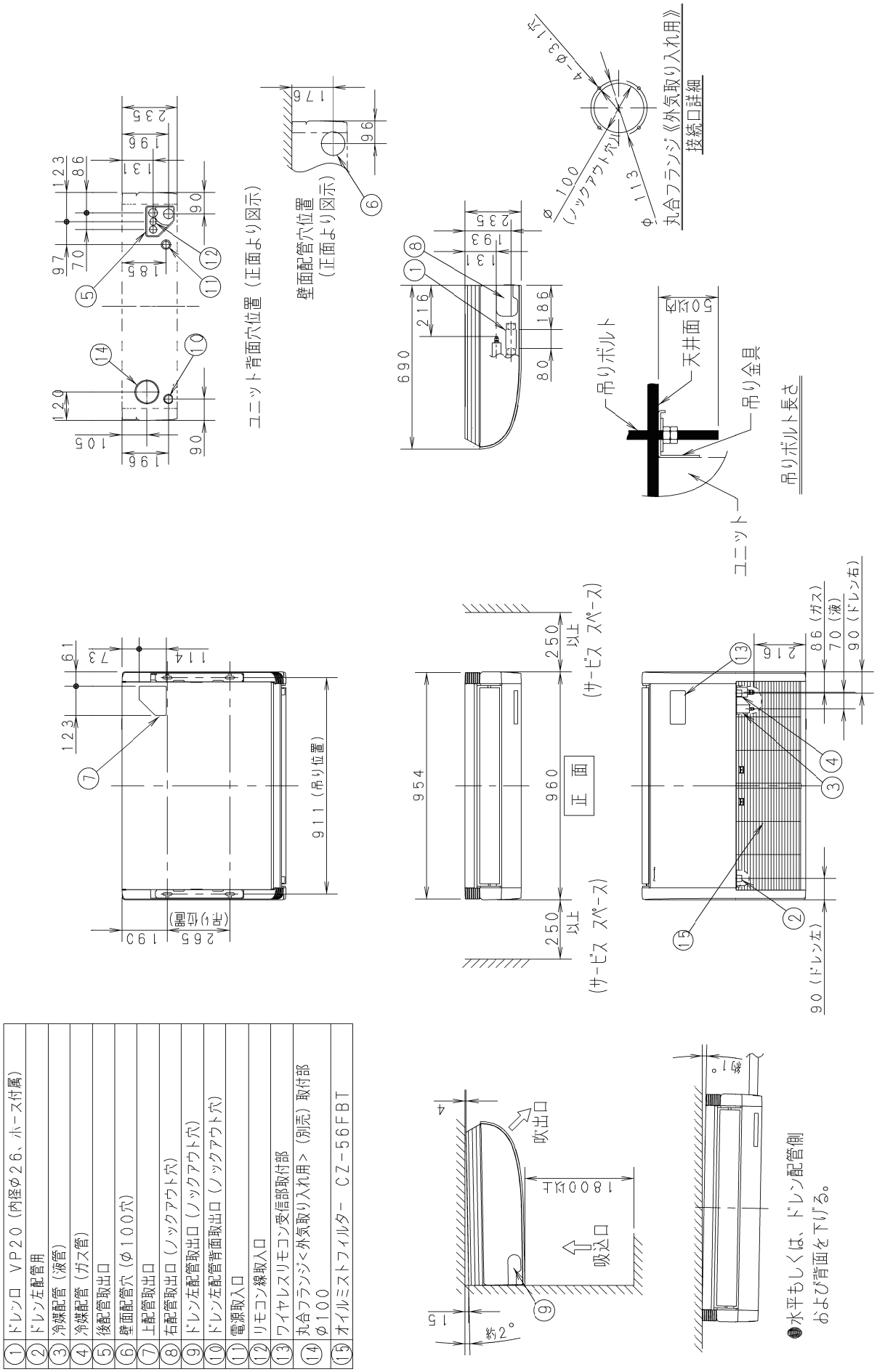


⚠ 注意
- 吸込グリルは室内ユニットに確実に取り付ける。
取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下により、けがの原因になります。

お願い
ご使用済みのフィルターは可燃物として処理してください。

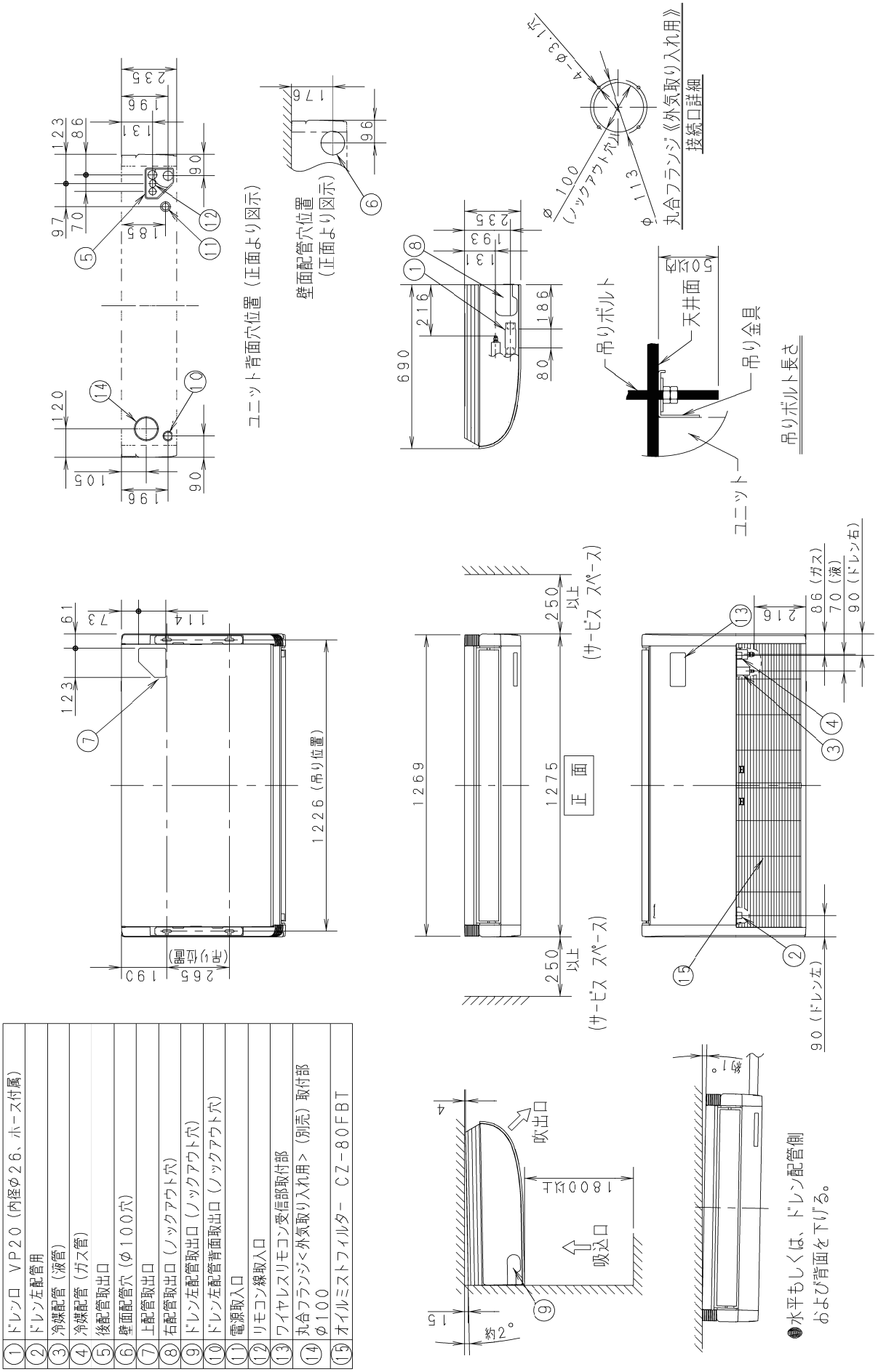
ACXF60-21153
85464369759001
PA0813-30823

●オイルミストフィルター
■CZ-56FBT
■部品取付図(40～56形)



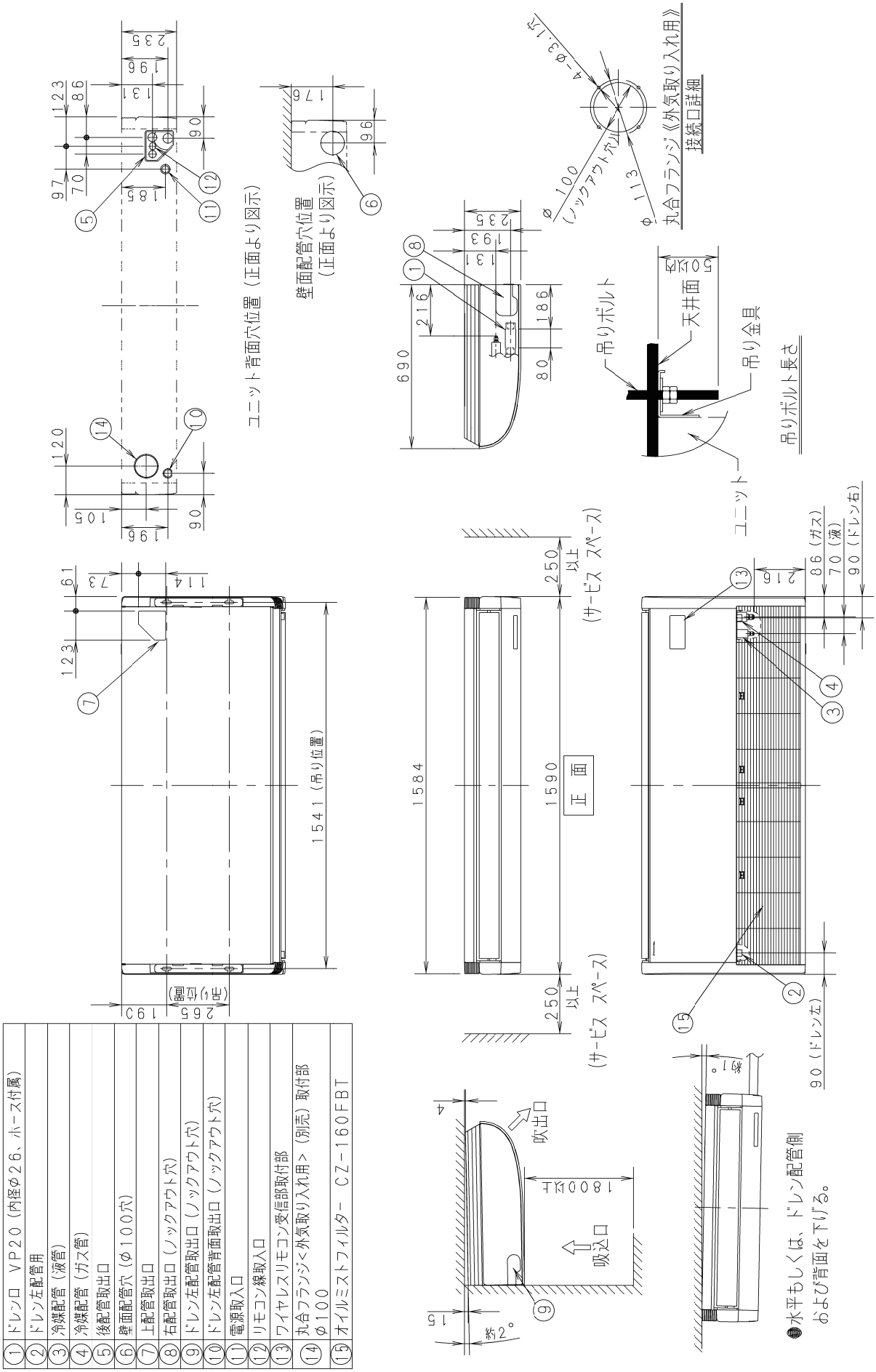
①	ドレン口 VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ＜外気取り入れ用＞（別売）取付部 φ100
⑮	オイルミストフィルター CZ-56FBT

●オイルミストフィルター
■CZ-80FBT
■部品取付図(63～80形)



①	ドレン口　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ＜外気取り入れ用＞（別売）取付部φ100
⑮	オイルミストフィルター　CZ-80FBT

●オイルミストフィルター
■CZ-160FBT
■部品取付図(112～160形)

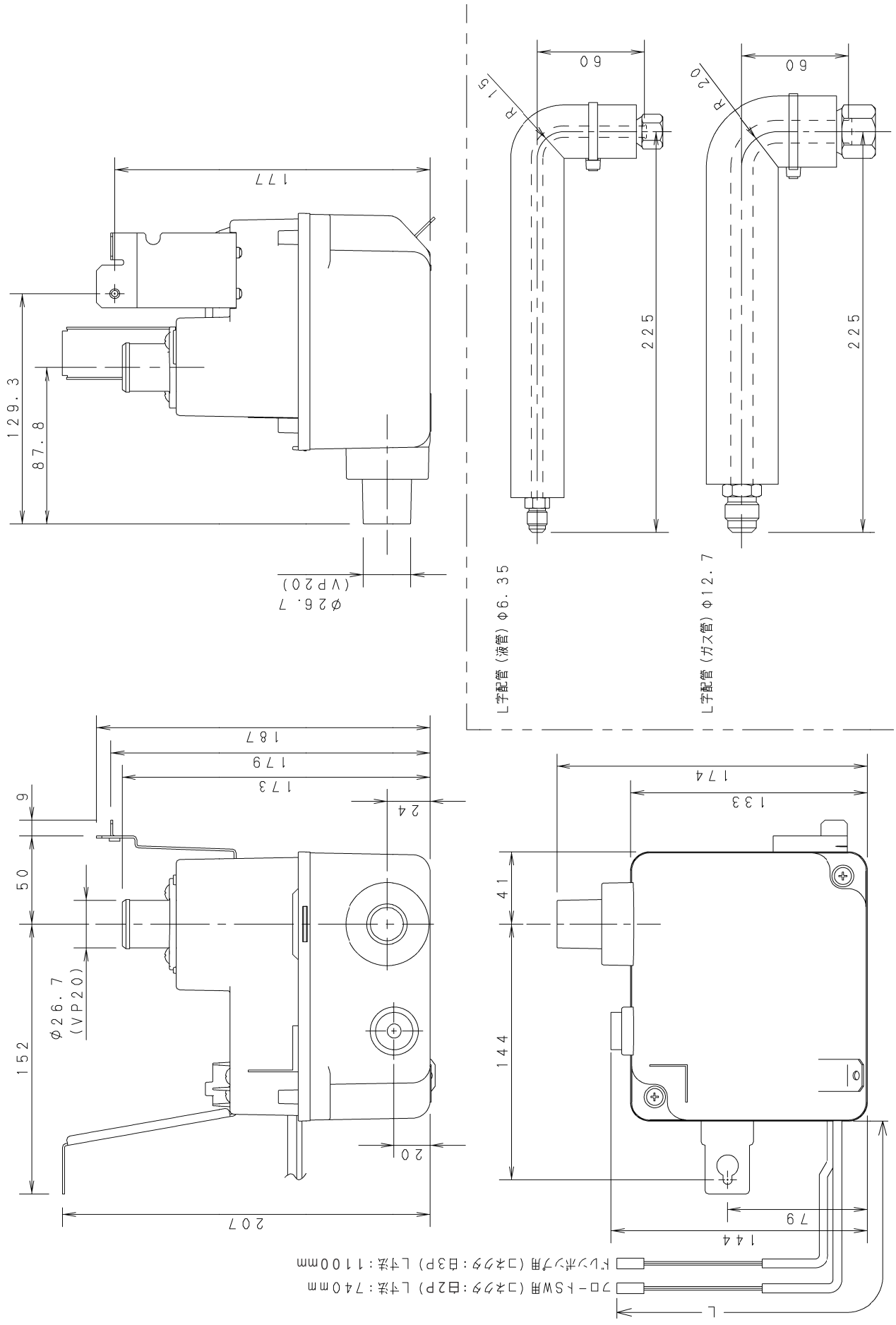


①	ドレン口 VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ＜外気取り入れ用＞（別売）取付部 φ100
⑮	オイルミストフィルター CZ-160FBT

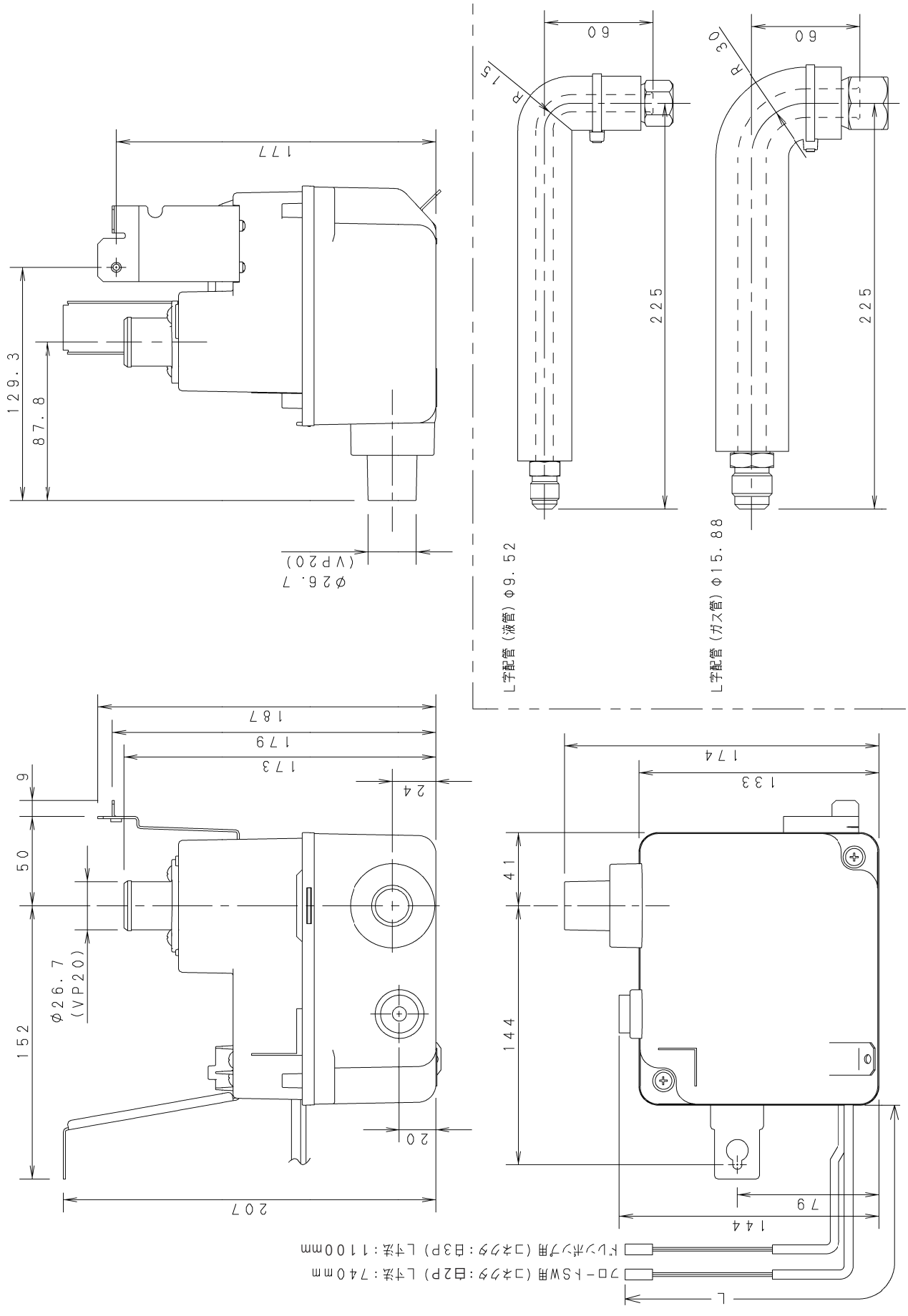
●ドレンアップキット
■仕様

形　名		天井吊形	
ドレンアップキット品番		CZ-63DMTA	CZ-160DMTA
適用機種		40～63形	71～160形
ドレンアップポンプ	液管	φ6.35	φ9.52
	ガス管	φ12.7	φ15.88
	使用	ドレン水	
	使用温度	液体温度　0～35℃ 周囲温度　-10～45℃ （湿度ＲＨ95％以下）	
	吐出量	水位10mmで400cc/min *水位とは、ポンプ本体の先端部から水面までの距離	
フロートスイッチ		液面が下降して接点ＯＮ	

●ドレンアップキット CZ-63DMTA
■外形寸法図



●ドレンアップキット CZ-160DMTA
■外形寸法図



●ドレンアップキット

据付工事説明書

本体内蔵ドレンアップキット

適用室内ユニット **天井吊形**

品番
CZ-56DMTA
CZ-63DMTA
CZ-160DMTA

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗

■ **据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
（感電・火災等の原因）

■ **据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**
（感電・火災等の原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

■ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付工事説明書

（感電・火災の原因）

■ **配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

（発熱・火災等の原因）

■ **工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
（感電の原因）

⚠ 注意

⃠

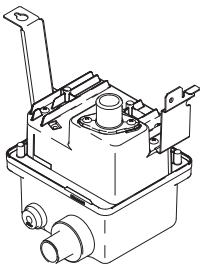
■ **ドレンアップキット取り付け時には、必ず付属品のL字配管を使用してください。**
（指定の部品を使用しないと、冷媒漏れの原因になります。）

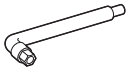
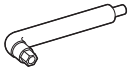
■ **据付工事説明書に記載されていない方法や、各説明書に記載されていない本体および付属品への追加工、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。**
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

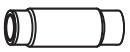
1．付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

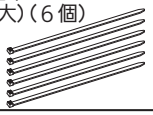
ドレンアップキット（本体）（1個）	銀イオン用ラベル（1枚）	本体固定用ネジ（3個）	冷媒配管用			
			L字配管（各1個）		フレア断熱材（各1個）	
			細管（液管）	太管（ガス管）	液管用	ガス管用
	ドレン配管接続用					配線固定用
	ドレンホース（1個）	断熱材 ドレンホース用（1個）	ホースバンド（2個）	断熱材（1個）	結束クランパー（大）（6個）	結束クランパー（小）（2個）



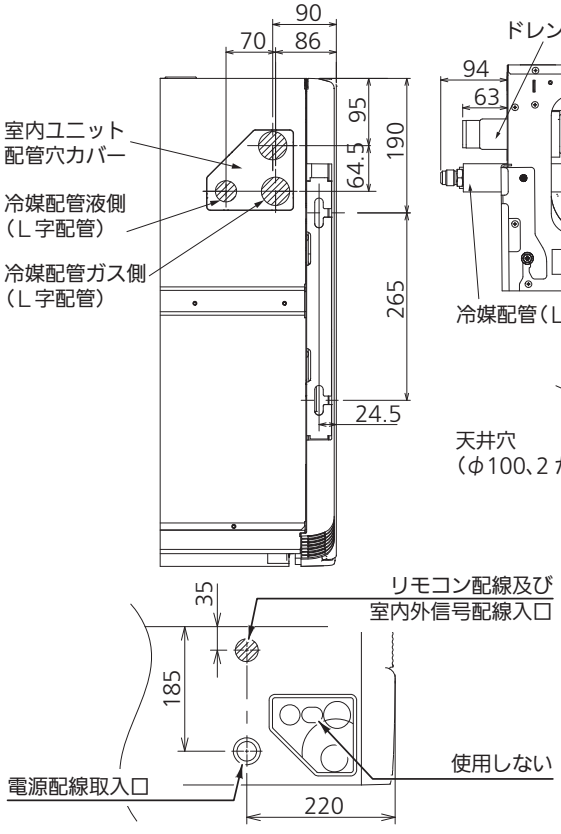




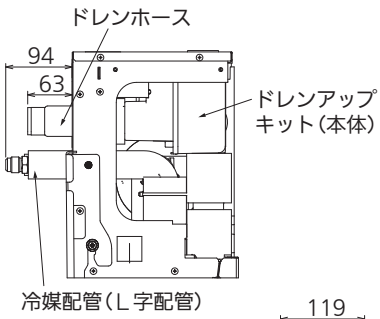

2．取り付け準備

■ 取り付け時の注意事項

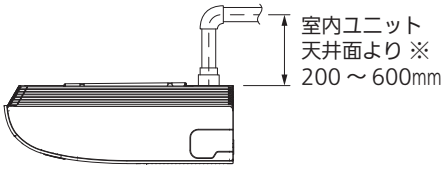
① ドレンアップキット取り付けの場合は、同梱のL字配管を使用した上配管取り出し以外はできません。
② ドレン配管は全て断熱処理をしてください。
③ 据え付ける天井面に冷媒配管・ドレン配管を貫通させるために天井穴（φ100、2か所）を開けてください。
④ 据え付ける天井面に450角の点検口を設けてください。
⑤ ドレンアップキット取り付け時は、リモコン配線及び室内外信号線を必ず、下図”室内ユニット穴位置”に示す取入口より引き込んでください。
⑥ 各穴にすき間があかないよう、必ずパテや断熱材（現地調達）でシールしてください。
（ほこりの侵入による熱交換器の目詰まりや、小動物の侵入による故障の原因になります。）



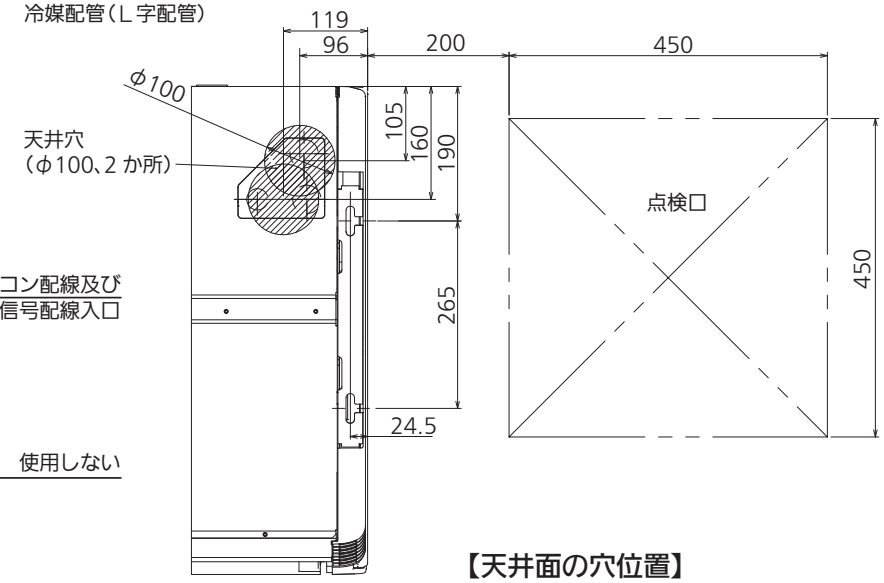
【室内ユニット穴位置】



【ドレンアップ高さ】



※附属品のドレンホースを使用するため、最低200mm の高さが必要となります。必ず附属品のドレンホースを使用してください。



【天井面の穴位置】

3．取り付け手順

<1. 取り付けのまえに>

■配管穴カバー(天井面側)取りはずし

① 配管を通す箇所をカッターナイフ等で切り取り、穴を開けます。（斜線部）

② 加工後、元の位置に戻してください。

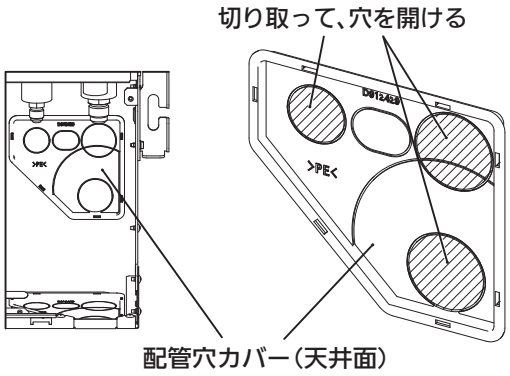


図1

■吸込グリル取りはずし

① 室内ユニットの据付工事説明書にそって、ユニットを吊り下げてください。

② 吸込グリル、サイドプレート、センター金具、電装ボックスのふたを取りはずした状態にしてください。

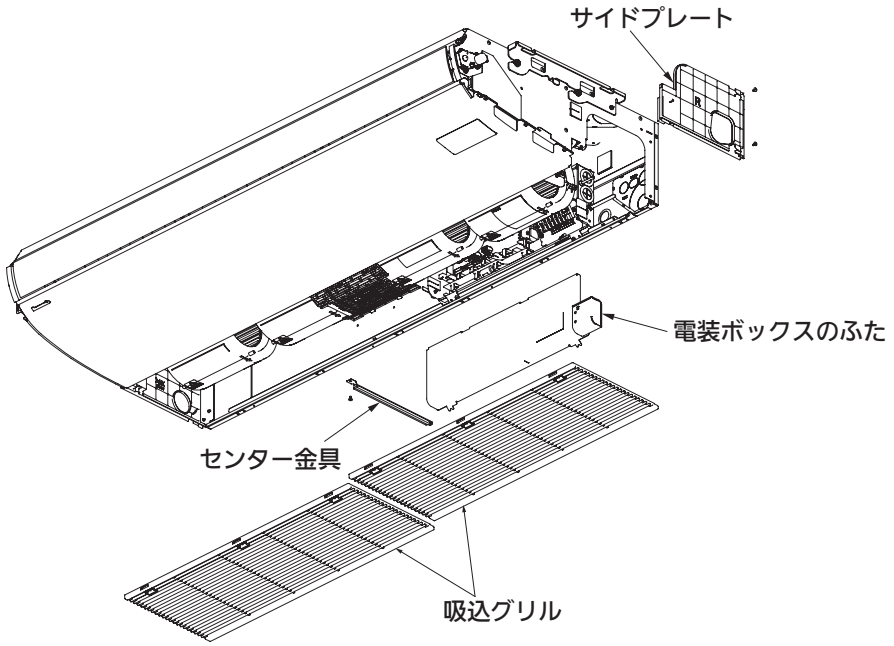


図2

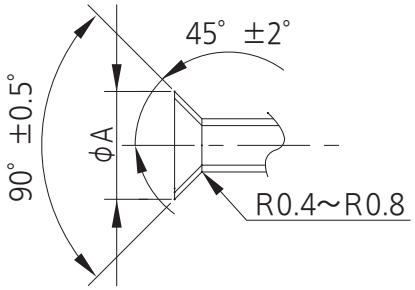
<2. L字配管接続>

- **配管接続部のフレアナットをはずすときおよび配管接続の際にフレアナットを締め付けるときは、必ずトルクレンチを用いダブルスパナにて行ってください。**
  （フレアナットを締め過ぎると、フレア部を破損し、冷媒漏れによる酸欠事故の原因になります。）
- **フレアナットの締め付けトルクは、次ページの表を目安に締め付けてください。**
- **フレア接続時フレア部に塗布する冷凍機油は、少量のエステル油またはエーテル油をご使用ください。**
  その際、ネジ部や樹脂部分に油が付着しないようにご注意ください。
  （強度が弱くなり割れや露付き、水漏れの原因になります。）
- **使用される環境の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱を強化してください。**
  （断熱しないと結露することがあります。）

3. 取り付け手順（つづき）

■室内ユニットにL字配管（ドレンアップキット付属品）の接続

- 室内ユニットのフレアナットをはずします。
- L字配管を配管穴カバー（天井面側）に通し、フレア接続します。
- フレアナットの締付トルクは下表を目安にしてください。



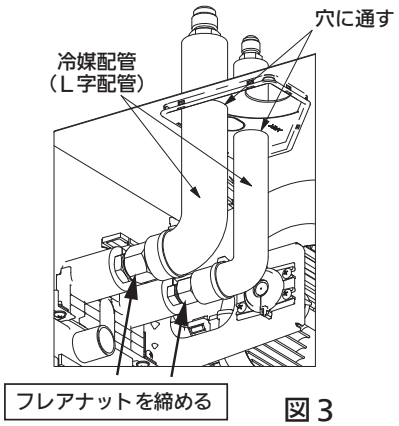


図3

パイプ径（mm）	締付トルク N・m（kgf・cm）	銅管肉厚（mm）	フレアφA寸法（mm）	使用工具の推奨腕長さ
φ6.35（1/4″）	14～18（140～180）	0.8	8.7～9.1	150 mm 程度
φ9.52（3/8″）	34～42（340～420）	0.8	12.8～13.2	200 mm 程度
φ12.7（1/2″）	49～61（490～610）	0.8	16.2～16.6	250 mm 程度
φ15.88（5/8″）	68～82（680～820）	1.0	19.3～19.7	300 mm 程度

＜3. 断熱処理＞

■配管の断熱のしかた

下図に従って液管・ガス管とも、断熱してください。それぞれの配管接続部には、フレア断熱材（ドレンアップキット付属品）を巻き付け、結束クランパー（室内ユニット付属品）2個で結束してください。断熱しないと水漏れの原因になります。

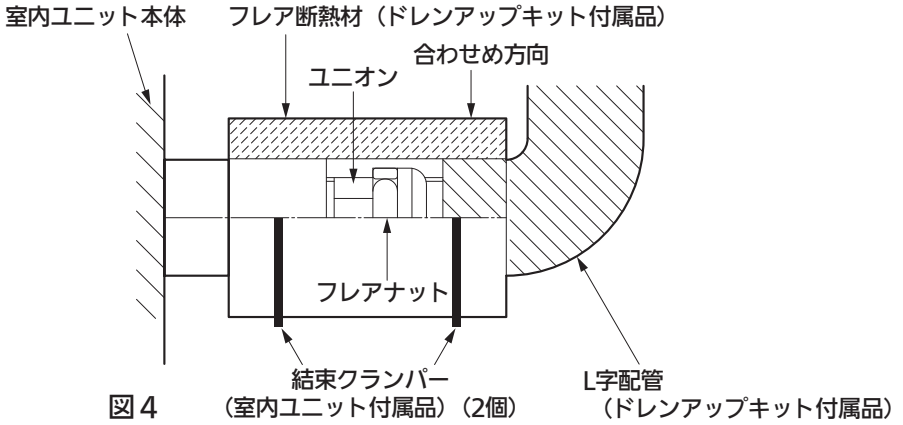


図4

【室内ユニット本体-L字配管の接続】

＜4. 冷媒配管接続＞

- 室内ユニットの“据付工事説明書”にそってL字配管のユニオンに冷媒配管を接続してください。

3. 取り付け手順（つづき）

<5.ドレンアップキット（本体）取り付け>

■ドレンホース（室内ユニット付属品）の取り付け（図5，図6）

① ドレンアップキットに、ドレンホース（室内ユニット付属品）を取り付けてください。
② ホースを突き当たるまで挿入してください。
③ ホースバンド（室内ユニット付属品）をドレンホースのテープに合わせて
取り付けてください。（締付トルク：3.0～3.5N･m）
④ ホースバンドにドレン配管接続用断熱材（ドレンアップキット付属品）を
取り付けてください。
また、はがれを防ぐためにビニールテープ（現地調達）を巻いてください。
ホースバンドの金属部が露出しないようにしてください。
（結露の可能性があります）

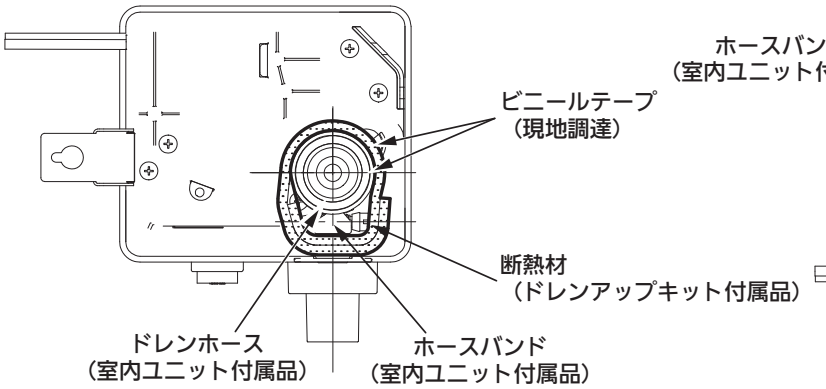


図5

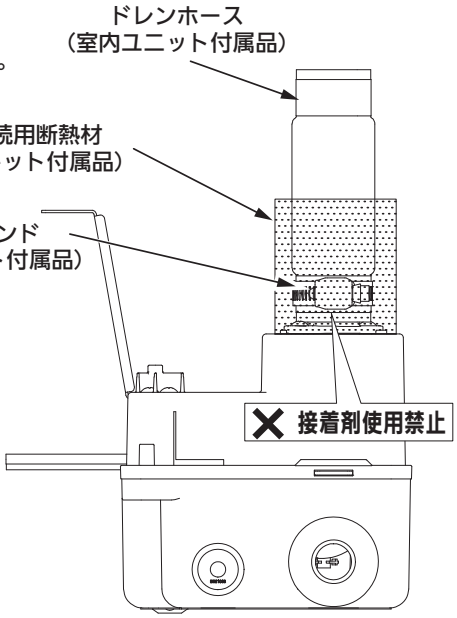


図6

■ドレンアップキット（本体）の取り付け

① 室内ユニットの天井面に、付属品のネジ（1個）を仮止めしてください。（図7，図8）
② ドレンアップキット（本体）を室内ユニットに取り付けます。
天井面の配管穴カバーに開けた穴に、ドレンホースを通してください。
仮止めしたネジと右側面の角穴にドレンアップキット（本体）を引っ掛けてください。
3点のネジを締めて、ドレンアップキット（本体）を固定してください。

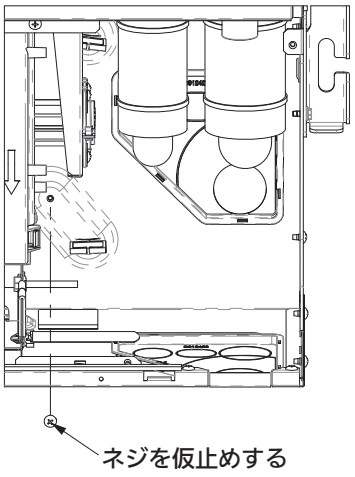


図7

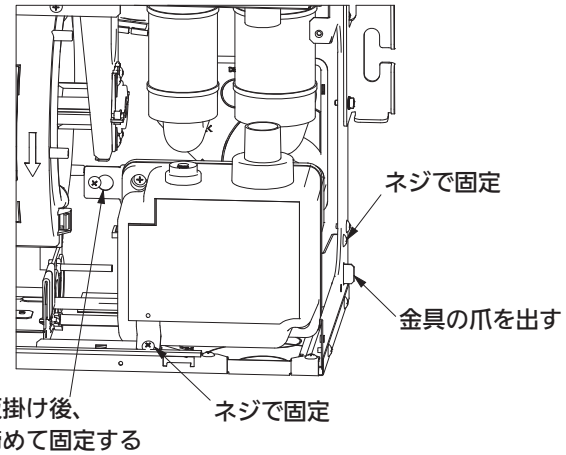


図8

3. 取り付け手順（つづき）

<6. 室内ユニット側ドレンホースの接続 >

■ドレンホースの取り付け（図9, 図10, 図11）

① ドレンホース（ドレンアップキット付属品）にホースバンド2個（ドレンアップキット付属品）を緩めた状態で取り付けてください。

② 室内ユニットのドレンパンとドレンアップキット（本体）をドレンホースで繋いでください。必ず奥まで挿し込んでください。
ホースバンドをテープに合わせて締め付けてください。（締付トルク：3.0〜3.5N･m）
（接着剤は使用しないでください。接着剤をご使用になると、室内ユニット排水口が破損し、水漏れする可能性があります。）

③ ホースバンドに断熱材（室内ユニット付属品）2個を取り付けてください。
ホースバンドの金属部が露出しないようにしてください。（結露の可能性があります）

④ 図のように、ドレンホース断熱材をホースバンドに巻いてください。また、はがれを防ぐためにビニールテープ（現地調達）を巻いてください。

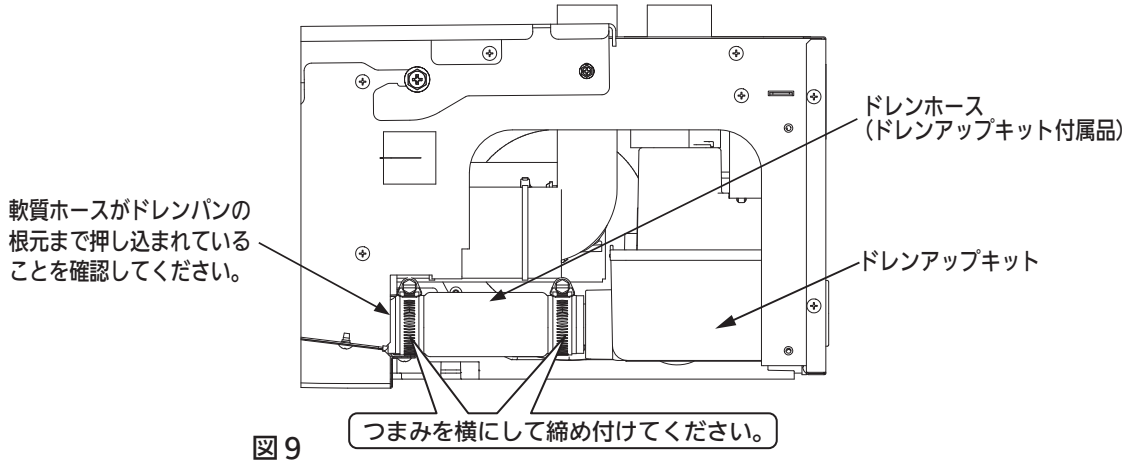
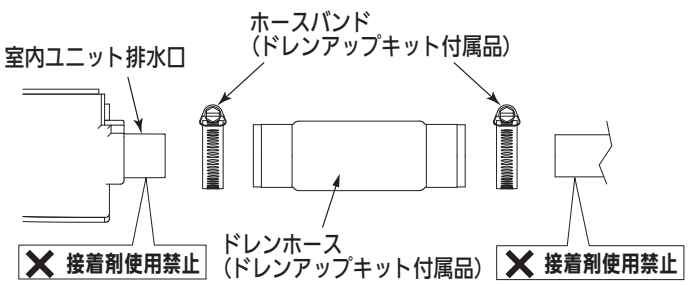


図9



塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニット排水口が損傷し、水漏れの原因になります。

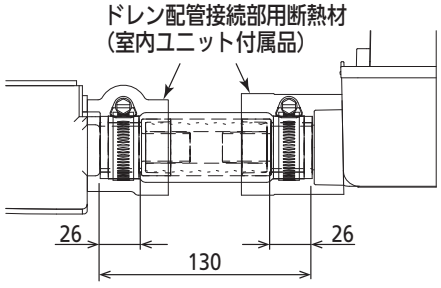


図10

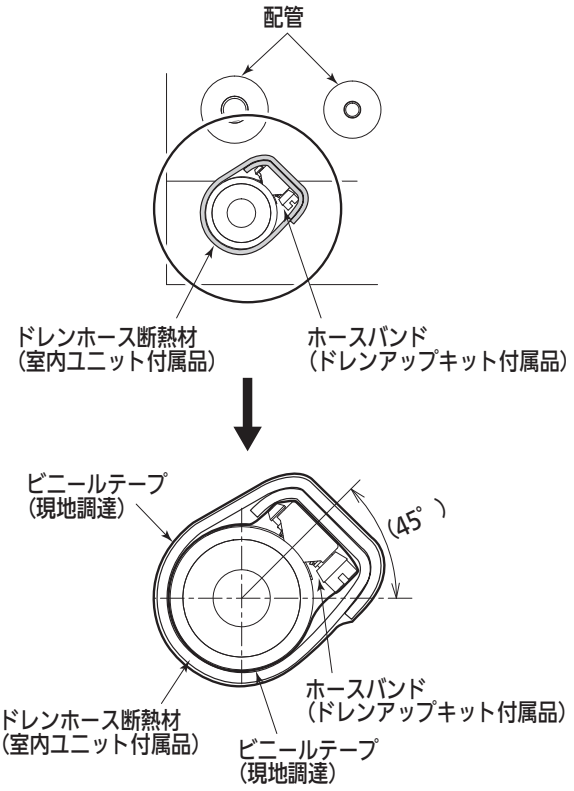
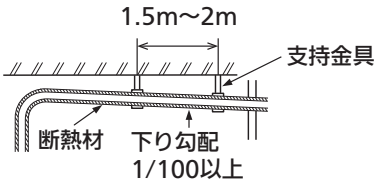


図11

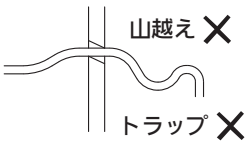
4. ドレン配管のしかた

<1. ドレン配管施工上のご注意>

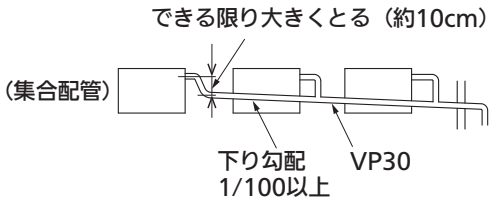
- 必ず付属のドレンホースを使用してください。
- ホースバンドは、付属のドレンホースの両端から約5～25mmの間で取り付けてください。
- アンモニア臭やイオウ系ガスが発生する下水などにはドレン配管を直接接続しないでください。下水の成分がドレン配管を通り室内ユニットの熱交換器を腐食させる可能性があります。(冷媒漏れの原因になります。)
- 市販のホースバンドで固定するとドレンホースにしわができ、水漏れするおそれがありますので付属のホースバンドを使用してください。またホースバンドをスライドさせる時ドレンホースをきず付けないようにしてください。
- **付属のドレンホースと室内ユニット排水口の接続には接着剤を使用しないでください。(排水口の破損による水漏れの原因になります。)**



- 付属のドレンホース断熱材を巻いて接続部をすき間のないように断熱してください。(室内部分にあるドレン配管は必ず断熱してください。)
- 室内のドレン配管の断熱を確実に行ってください。
- ドレンアップキットとの接続部も必ず断熱してください。断熱が不完全になると結露の原因になります。
- ドレン配管は下り勾配（1／100以上）とし、途中に山越えやトラップを作らないでください。水漏れや水飛び、異常音の原因になります。



- ドレン配管の横引きは20m以下にしてください。配管が長い場合は、1.5～2m間隔で支持金具を設け、波打ちを防止してください。
- 集合配管は右図のように施工してください。
- エアー抜き管は付けないでください。ドレン水が吹き出し、水漏れの原因になります。
- ドレン配管との接続部に力を加えないよう注意してください。ドレン配管接続口との接続には、必ず付属のドレンホースを取り付けます。必ず付属のホースバンドで固定してください。ドレン配管接続口の破損や水漏れの原因になります。



- 断熱を施した後、取出口と配管（断熱材）のすき間をパテ等（現地調達）でふさいでください。ほこりの侵入による熱交換器の目詰まりや、小動物の侵入による故障の原因になります。
- ドレン配管は必ず下り勾配（1/100以上）とし、トラップのできる配管は絶対しないでください。上り勾配及びトラップ配管の場合にはドレンパンに水がたまり、水漏れや水飛び、騒音発生の原因になります。

<2. ドレン配管の接続>

■ドレン配管の接続

① ドレンホースとドレン配管を接続してください。(図12)
ドレン配管は硬質塩ビVP20(現地調達）を使用してください。

② 接続時、ドレンホース側と硬質塩ビ管継手には両方とも接着剤を塗ってください。(約2g)
はみ出た接着剤はウエス等で拭き取ってください。

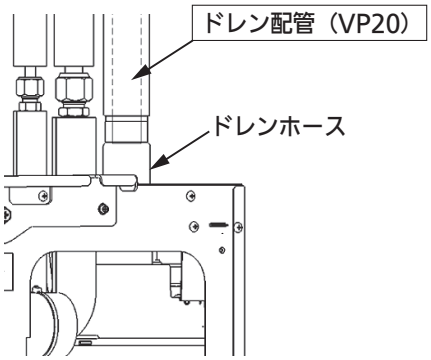


図12

5. 配管穴カバーのシール

■室内ユニットの天井面の配管穴カバーと各配管のすき間をパテ等(現地調達)でふさいでください。
(ほこりの侵入による熱交換器が目詰まりや、小動物の侵入による故障の原因になります。)

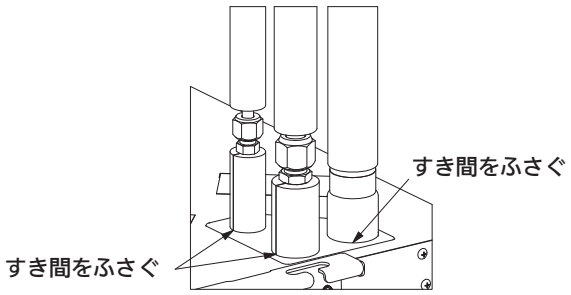


図13

＜1. 断熱＞

■円筒形の断熱材を取り付け、結束クランパー（大）（ドレンアップキット付属品）で固定してください。
■配管の接続部が露出しないようにしてください。
(結露の原因になります)

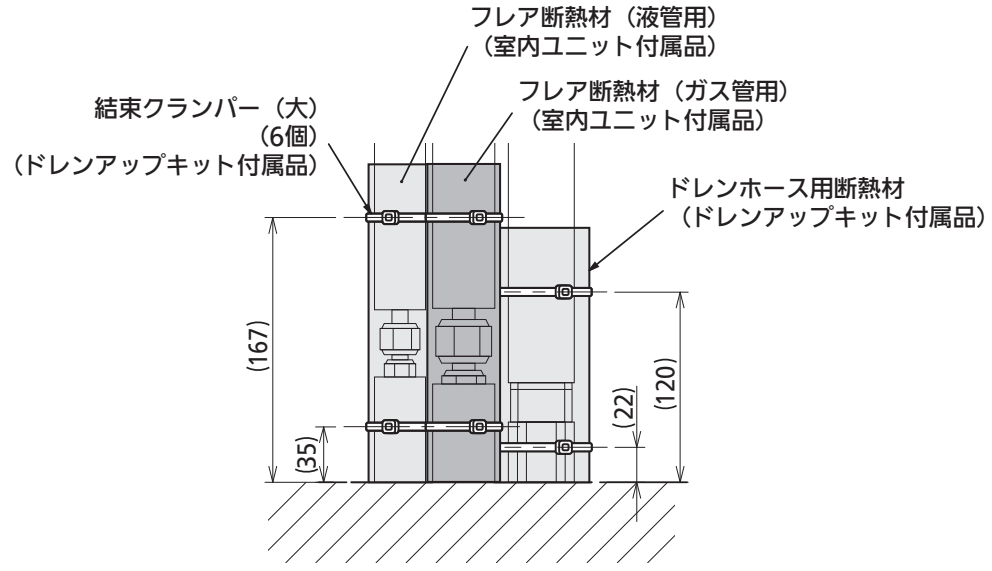


図14

6. 配線接続

■配線の引き込みと板金のエッジ処理

室内外操作線およびリモコン線は、室内ユニットの背面上部にある穴を切り開いて引き込んでください。
配線に傷が付かないよう、板金のエッジを処理してください。

⚠注意　リモコン配線、室内外操作線は必ずリモコン配線･室内外操作線取入口から引き込んでください。

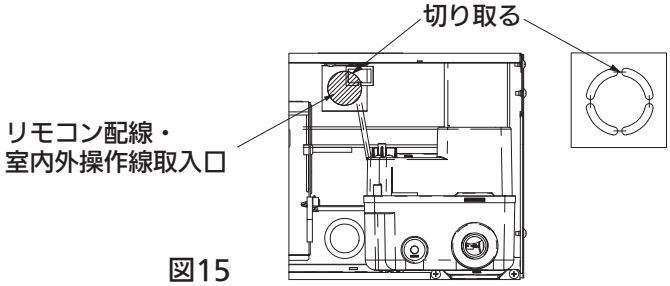


図15

① 電装ボックス左のツイストクランパーをほどき、ファンモーターの配線を緩めてください。
② 電装ボックスを固定しているネジをはずして、電装ボックスを引き出してください。
③ ドレンアップキットの配線（ドレンポンプ電源線 白 3P、フロートスイッチ配線 白 2P）を、電装ボックス右側奥の穴から引き込みます。ドレンアップキットの配線は、室内ユニット内配線と同じルートで引き回してください。
④ 再生クランパーには通さず、結束クランパー（小）(ドレンアップキット付属品）でユニット内配線に固定してください。
⑤ ドレンポンプ電源線(白 3P)をCN068に、フロートスイッチ用コネクタ(白 2P)をCN034に接続します。このとき、CN034の短絡用2Pコネクタをはずして接続してください。
⑥ 室内ユニットの電源線・室内外操作線・リモコン線を接続してください。
室内外操作線およびリモコン線の接続後、リモコン配線・室内外操作線取入口をパテ等でふさいでください。
（ほこりの侵入による熱交換器の目詰まりや、小動物の侵入による故障原因になります。）
⑦ 電装ボックスを元の位置に戻してください。電装ボックスの爪が室内ユニット背面の穴にはまっていることを確認してください。
（はずれている場合、運転時の騒音につながる可能性があります。）
⑧ ファンモーターの配線をツイストクランパーでたばねてください。

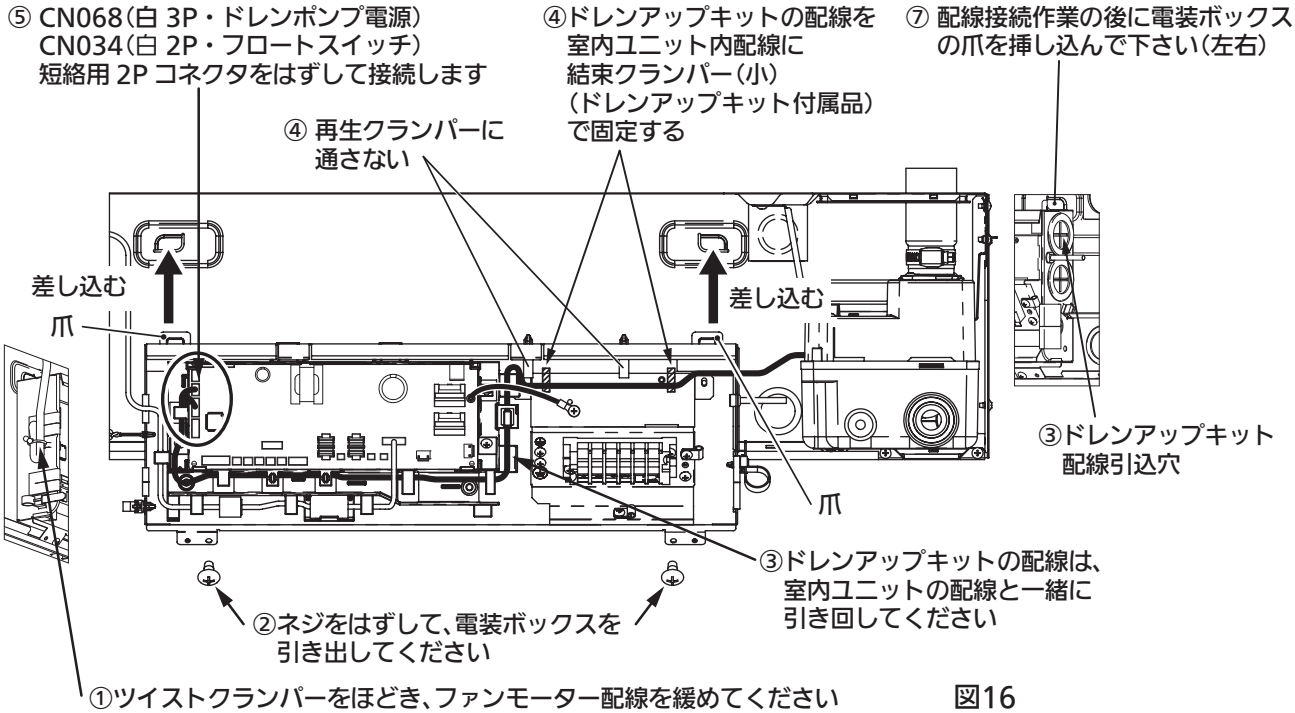


図16

7. 試運転

<1.ドレン排水状態の確認>

ドレン配管接続工事の完了後に、排水が確実に行われること、および配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
（作業前にバケツやウエスを用意してください。）

- 右図の通り、ドレンパン吹出口よりドレンパン内に排水確認用の水を約１Lを少しずつ入れてください。

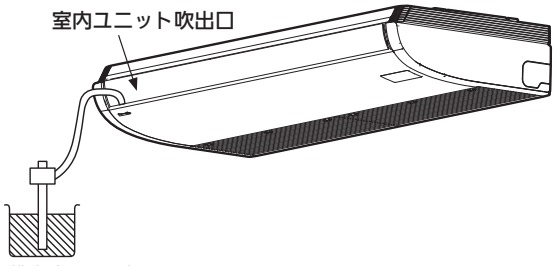


図17

A　電気配線が完了している場合

A-1 冷房運転をしながらドレン水が排水されていることを確認してください。また、ドレン配管からの水漏れがないか確認してください。

B　電気配線が完了していない場合

B-1 電装ボックス内の電源端子板（R,S端子）に単相200Vを接続してください。

B-2 室内コントロール基板のCHK（6Pプラグ⑤ー⑥間）をワニグチクリップ等で短絡してください。
※CHK（6Pプラグ⑤ー⑥間）を短絡すると、ファンが回転しますので注意してください。
（けがをするおそれがあります。）

B-3 電源を入れるとドレンポンプが運転しますので、室内ユニットの本体排水口（透明）部から排水がされているかを確認してください。
また、ドレン配管からの水漏れがないか確認してください。

B-4 排水確認が完了したら電源を切り、CHKの短絡をはずしてください。

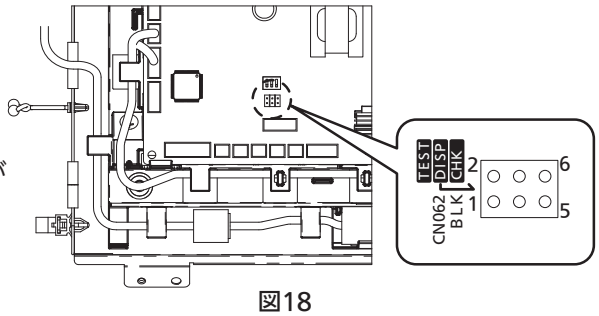


図18

⚠注意

室内コントロール基板のCHK（6Pプラグ⑤ー⑥間）を短絡すると、ファンが回転しますので注意してください。
けがをするおそれがあります。

ドレンポンプに異常がある場合“Ｐ１１”が表示されます。

8. 銀イオン系抗菌剤について

■本製品には銀イオン系の抗菌剤を標準装備しております。

銀イオン系抗菌剤は消耗品で、ご使用いただける期間の目安は、一般事務所で２シーズン（冷房運転時間が2,500時間）となります。付属品の銀イオン用ラベルに運転開始日を記入し、室内ユニットのファンケーシングに貼り付け、交換の目安としてください。

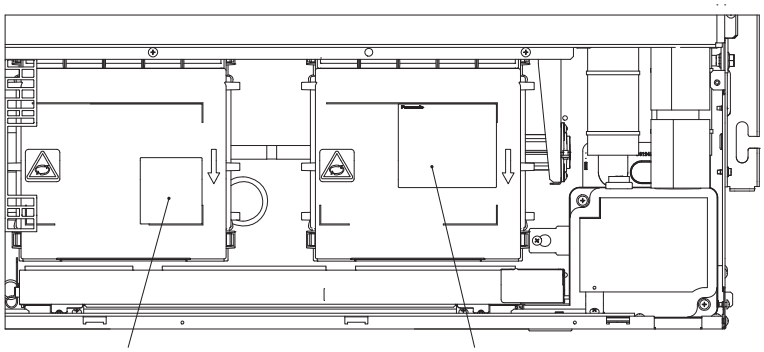


図19

9. 銀イオン系抗菌剤　交換手順

■水抜き

① 室内ユニットの運転を停止し、ドレンポンプが停止するまでお待ちください。（1 分ほど遅れて停止します）
② 漏電しゃ断器を切ってください。
③ 排水管の中に残っている水が全て水受け皿に戻って来てから、水受け皿のゴム栓をはずして中に残っている水を出してください。

■水受け皿の取り外し

① 水受け皿を固定しているネジ（3か所）をはずしてください。（図20）
② 水受け皿を吹出側に少し動かし、爪をはずします。（図21）
③ 下側に引き出し、銀イオン系抗菌剤（1個）を交換してください。
抗菌剤は水受け皿の側面にあるポケットに挿し込んでください。
④ ゴム線をドライバー等で押し込んでください。
⑤ 元に戻し、ネジを固定してください。
⑥ ファンケーシングに貼られているラベルに交換年月日を記入してください。
室内ユニットを元の状態に戻し、作業は完了です。

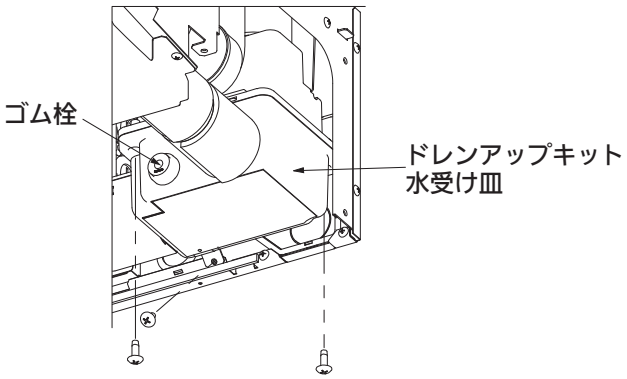


図20

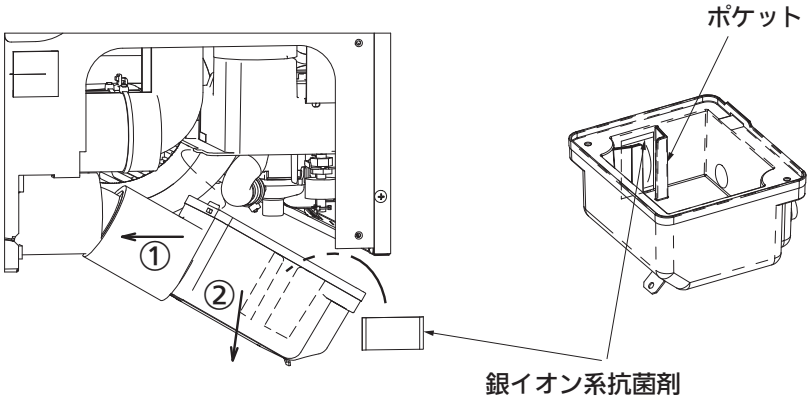
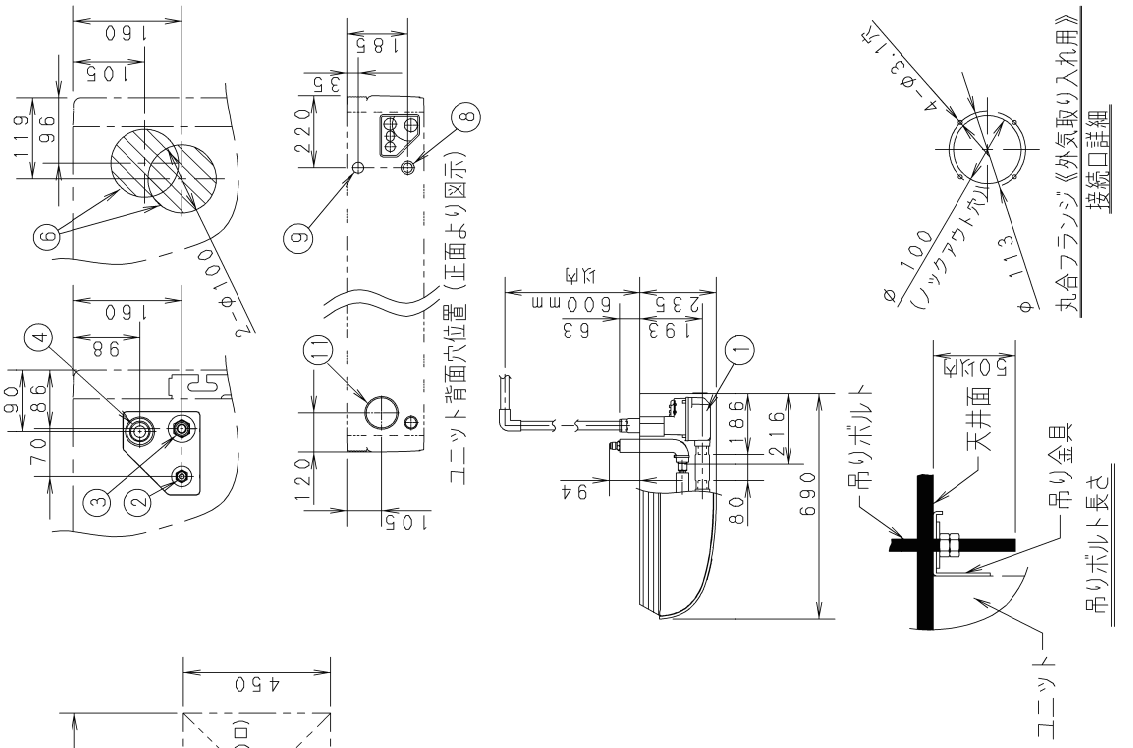
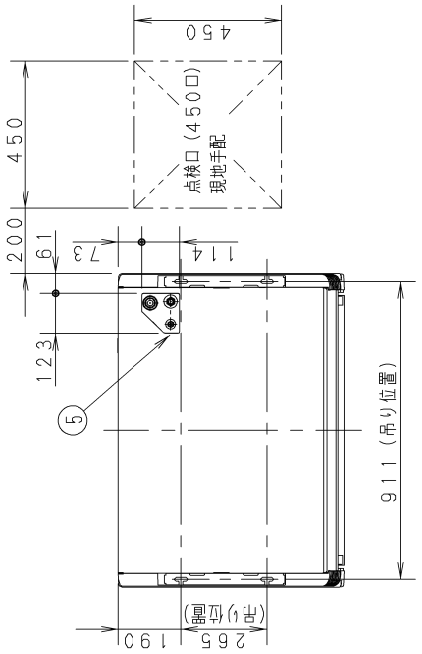


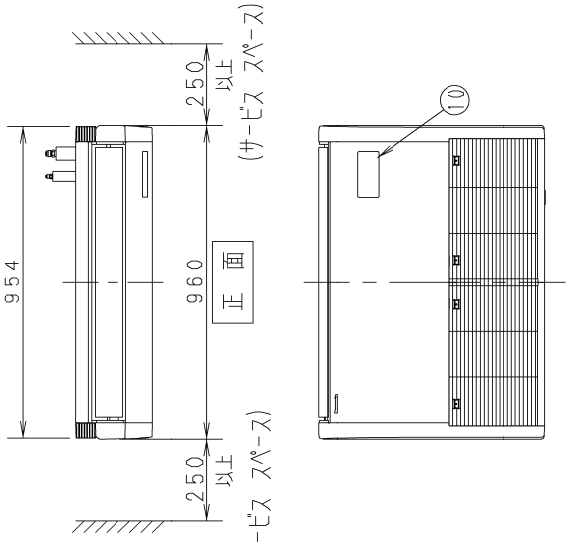
図21

③

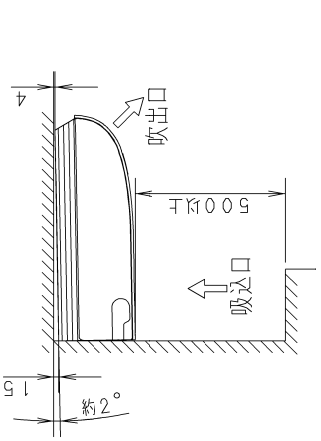
●ドレンアップキット CZ-63DMTA
■部品取付図（40～56形）

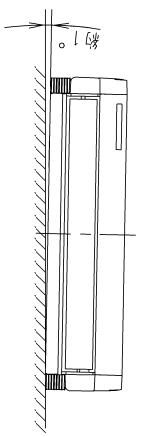






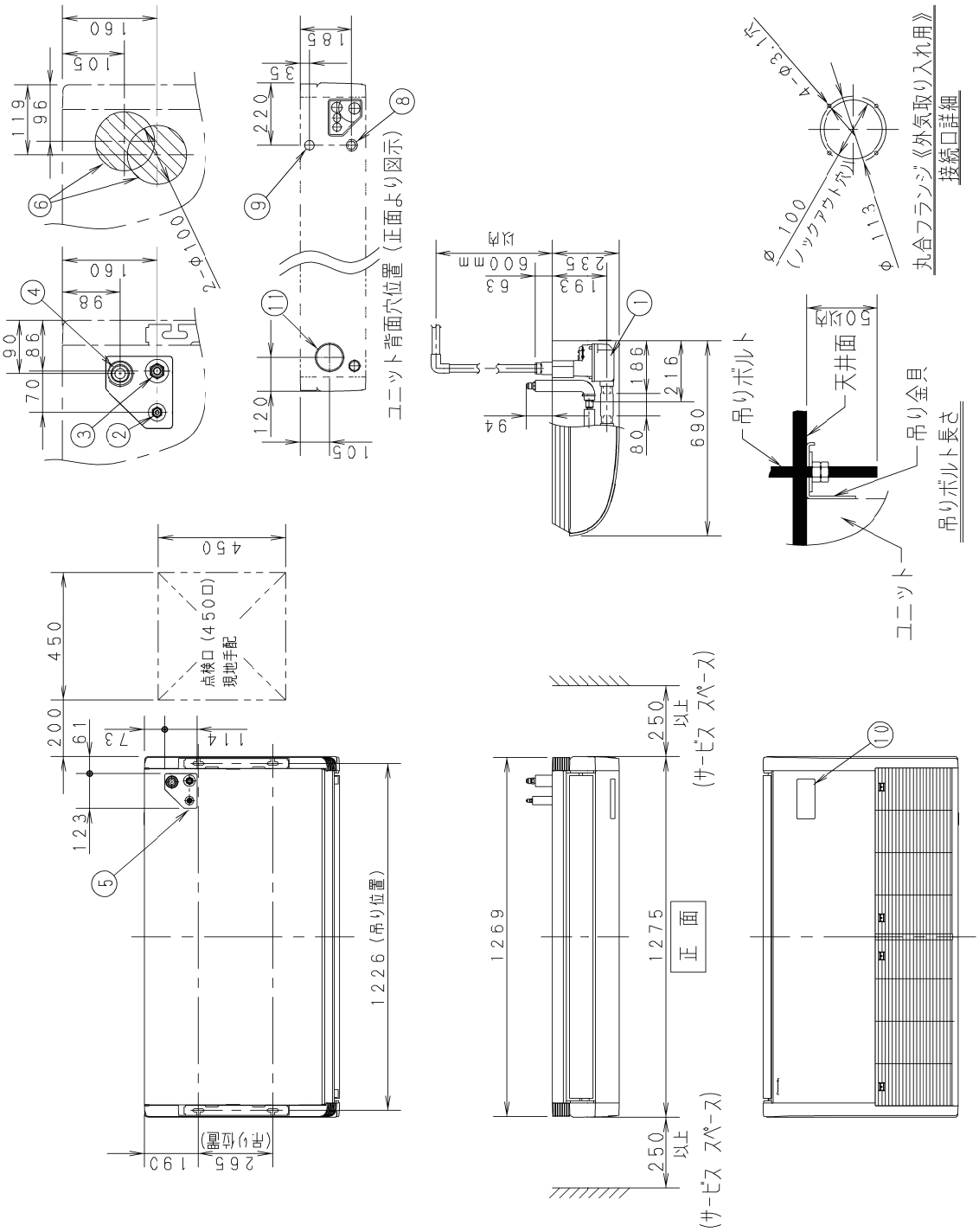
①	ドレンアップキット（CZ-63DMTA）
②	冷媒配管（液管）
③	冷媒配管（ガス管）
④	ドレンアップキット排水口（20A）
⑤	上配管取出口カバー
⑥	天井壁面穴（2-φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	電源取入口
⑨	リモコン線取入口
⑩	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑪	丸合フランジ《外気取り入れ用》（別売）取付部 φ100





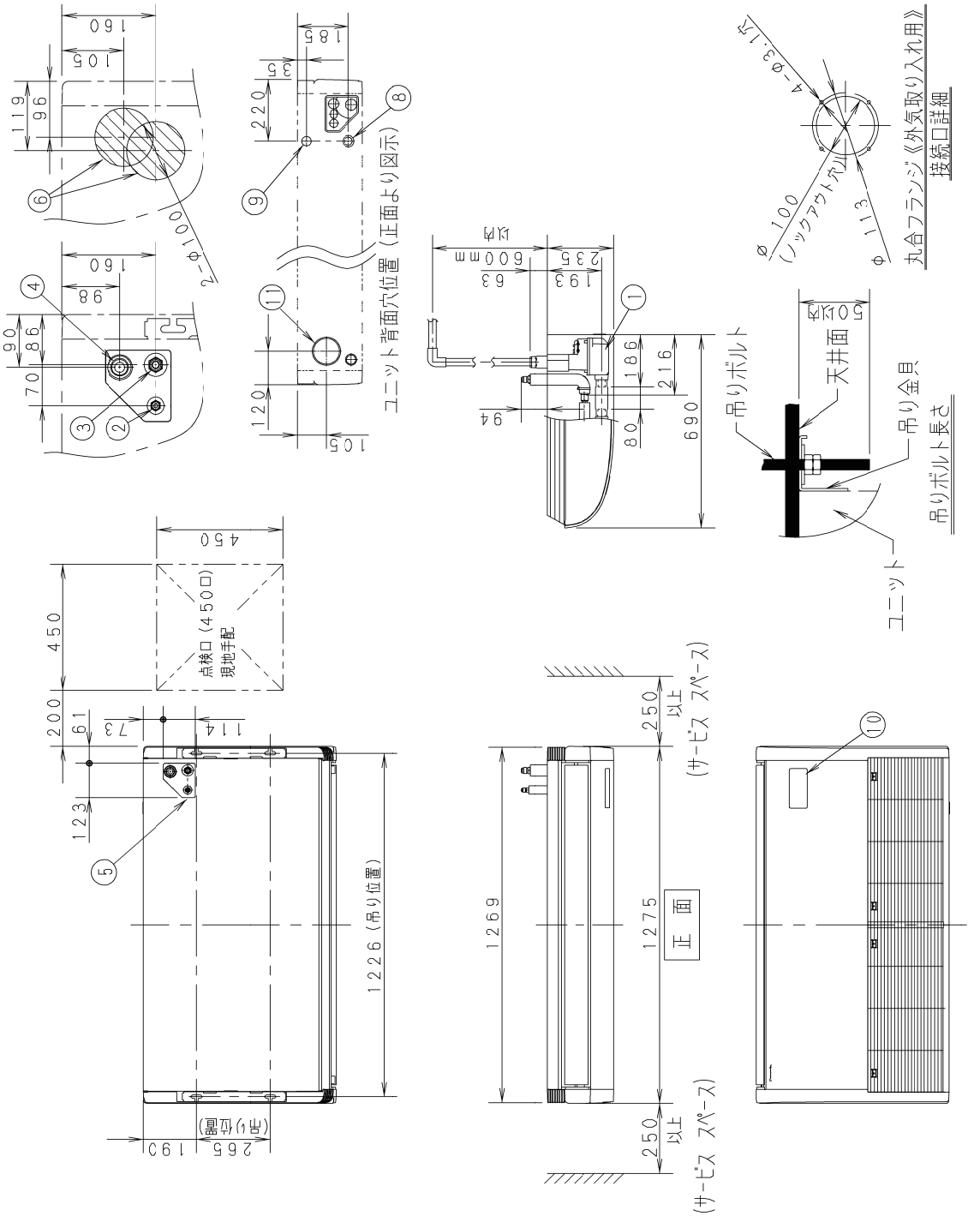
●水平もしくは、ドレン配管側および背面を下げる。

●ドレンアップキット CZ-63DMTA
■部品取付図(63形)



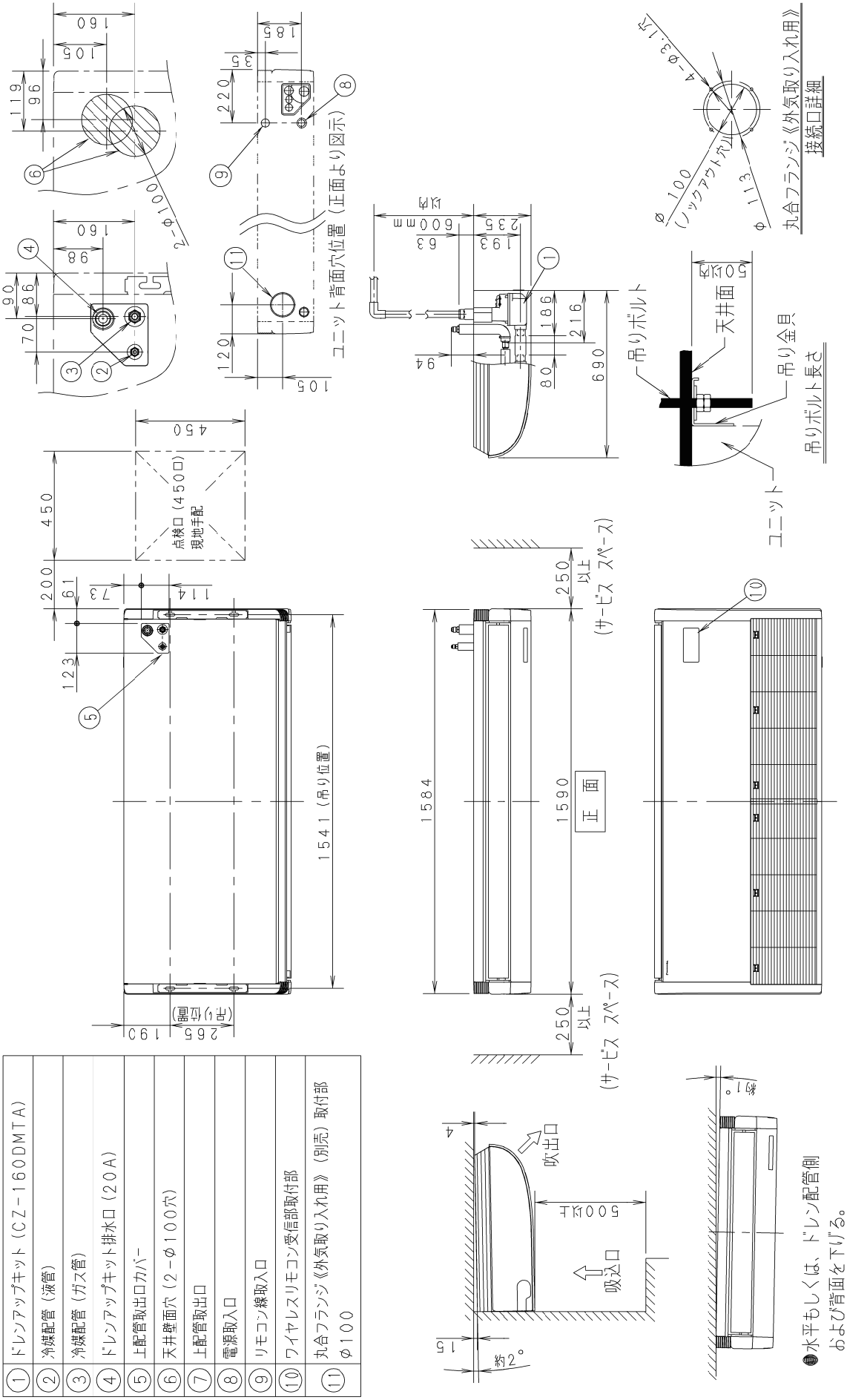
①	ドレンアップキット（CZ-63DMTA）
②	冷媒配管（液管）
③	冷媒配管（ガス管）
④	ドレンアップキット排水口（20A）
⑤	上配管取出口カバー
⑥	天井壁面穴（2-φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	電源取入口
⑨	リモコン線取入口
⑩	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑪	丸合フランジ《外気取り入れ用》（別売）取付部 φ100

●ドレンアップキット CZ-160DMTA
■部品取付図（71，80形）



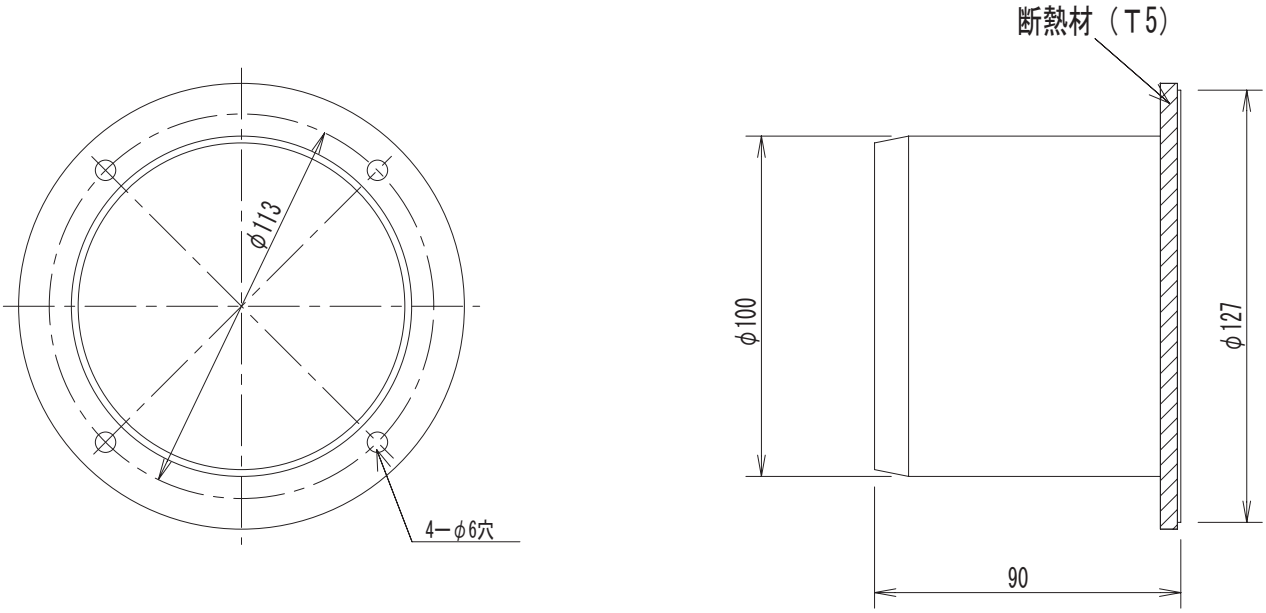
①	ドレンアップキット（CZ-160DMTA）
②	冷媒配管（液管）
③	冷媒配管（ガス管）
④	ドレンアップキット排水口（20A）
⑤	上配管取出口カバー
⑥	天井壁面穴（2-φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	電源取入口
⑨	リモコン線取入口
⑩	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑪	丸合フランジ《外気取り入れ用》（別売）取付部 φ100

●ドレンアップキット CZ-160DMTA
■部品取付図（112～160形）

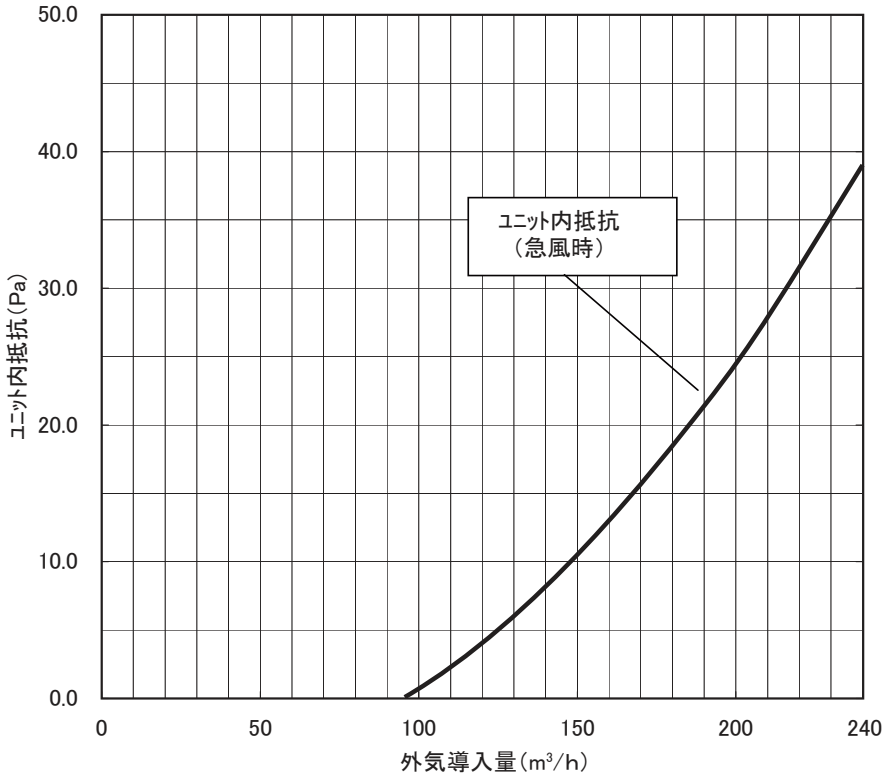


①	ドレンアップキット（CZ-160DMTA）
②	冷媒配管（液管）
③	冷媒配管（ガス管）
④	ドレンアップキット排水口（20A）
⑤	上配管取出口カバー
⑥	天井壁面穴（2-φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	電源取入口
⑨	リモコン線取入口
⑩	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑪	丸合フランジ《外気取り入れ用》（別売）取付部 φ100

●丸合フランジ<外気取り入れ用>（φ 100）〈CZ-DA100〉
■外形寸法図



■外気導入量とユニット内抵抗特性



本体に直接外気を取り入れる場合 (CZ-DA100 使用時) の外気導入可能風量

型式	40,45	50,56	63	71,80	112	140	160
可能風量（m^3/h）	160	170	200	210	240	240	240

●丸合フランジ<外気取り入れ用>（φ 100）〈CZ-DA100〉

据付工事説明書

丸合フランジ（φ100）

品番　CZ-DA100

適用室内ユニット　４方向天井カセット形（Uシリーズ）２方向天井カセット形（Lシリーズ）
１方向天井カセットスリム形（DSシリーズ）天井吊形（Tシリーズ）＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

⃠
■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31574
PA0518 - 40823

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名　称	個数	名　称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ（φ100） 	1	取付ネジ（M4×12） 	4		1

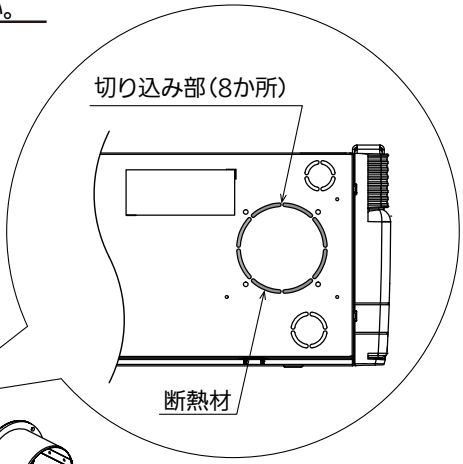
2. 取り付けかた

●天井吊形の場合

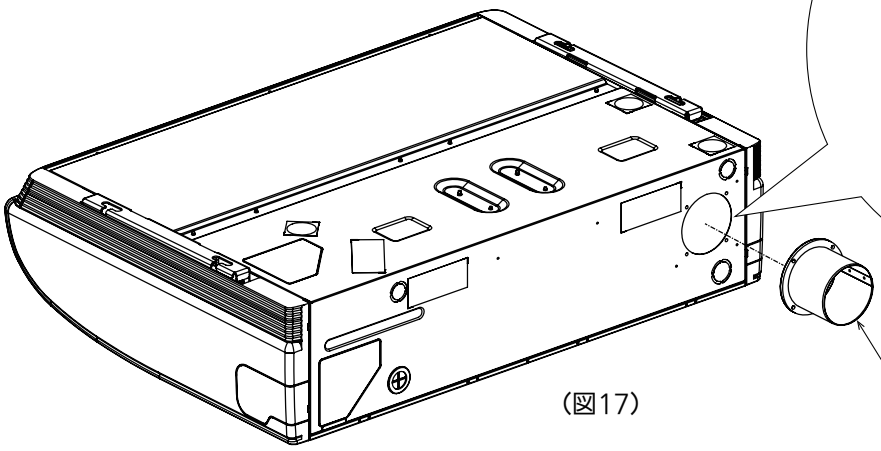
（1）室内ユニット背面の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。（図16）

（2）室内ユニット断熱材をカッターナイフ等で切り込みに沿って切断し、切り取ってください。
断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。

（3）丸合フランジを付属の取付ネジ４本で取り付けてください。（図17）

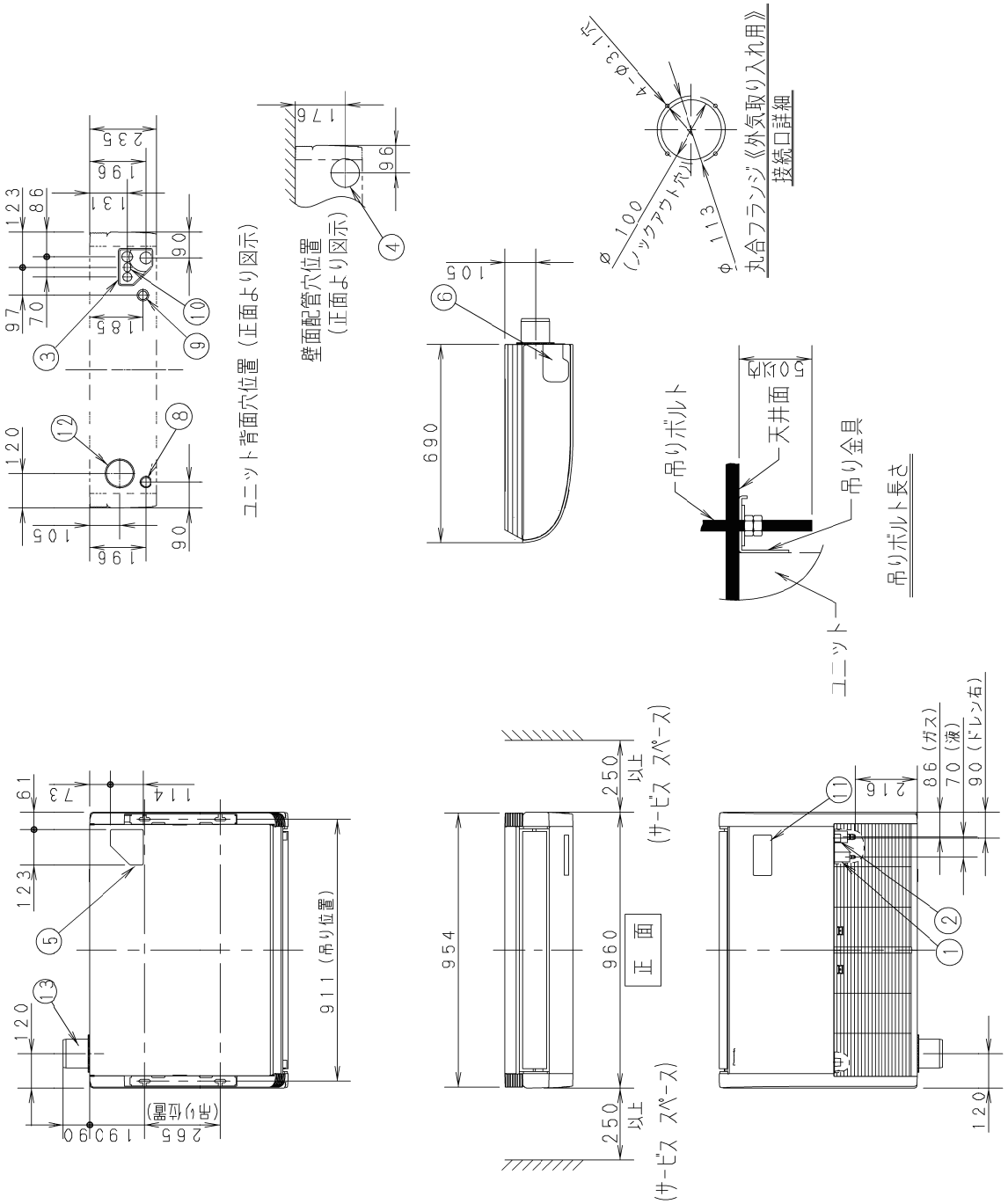


（図16）



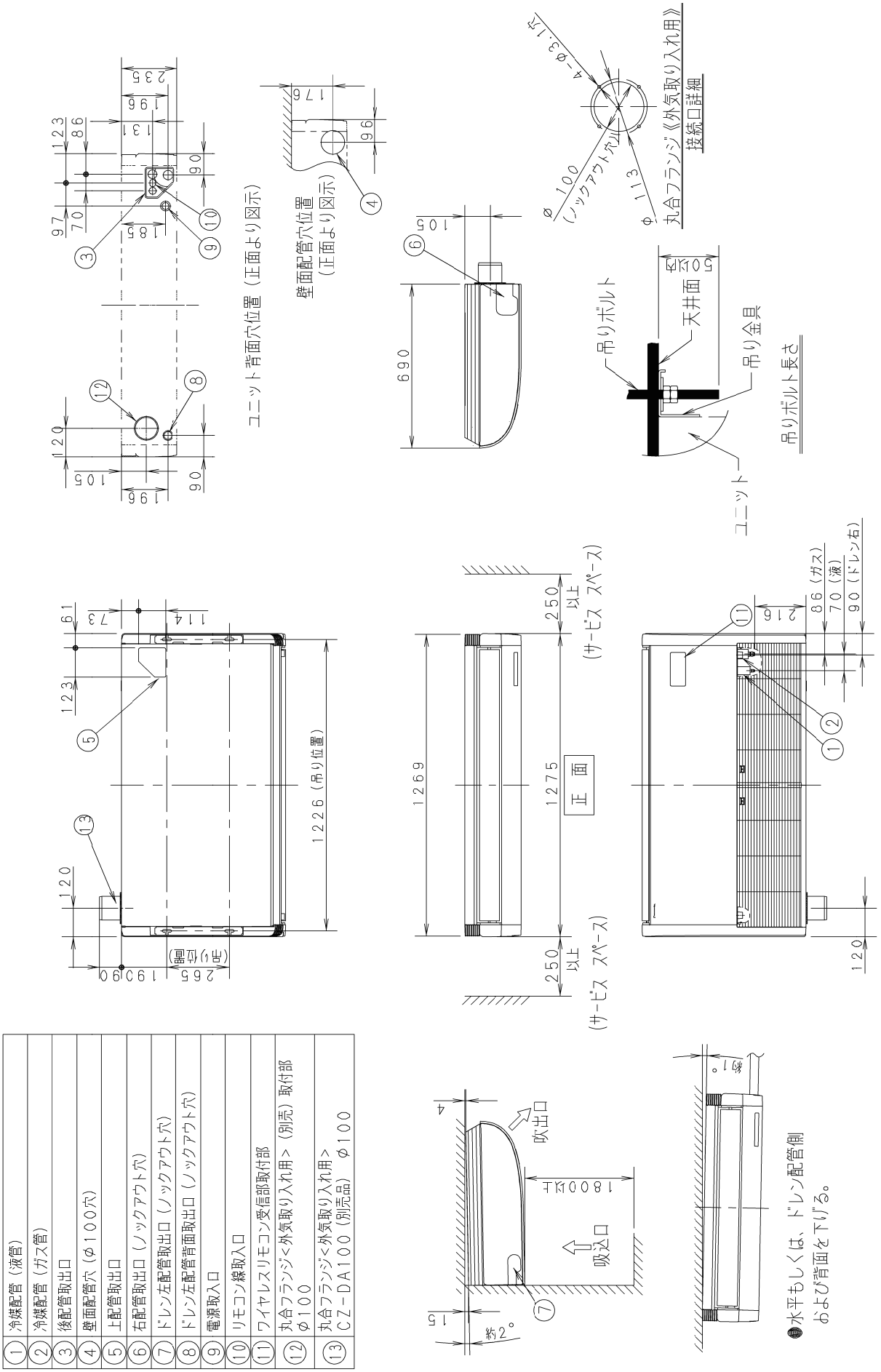
（図17）

●丸合フランジ<外気取り入れ用>（φ 100）〈CZ-DA100〉
■部品取付図（40～56形）



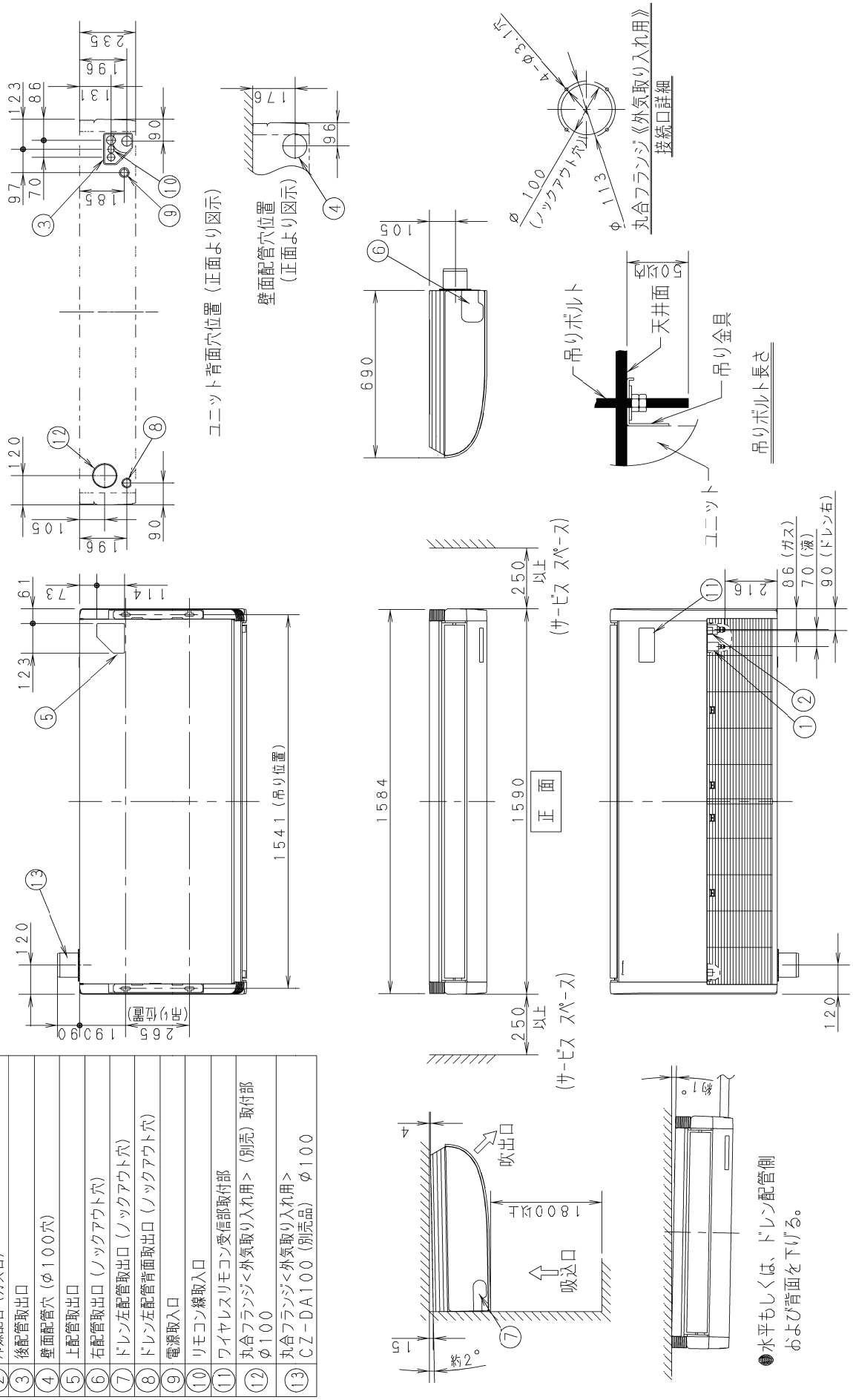
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	後配管取出口
④	壁面配管穴（φ100穴）
⑤	上配管取出口
⑥	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑦	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑨	電源取入口
⑩	リモコン線取入口
⑪	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑫	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑬	丸合フランジ<外気取り入れ用> CZ-DA100（別売品） φ100

●丸合フランジ<外気取り入れ用>（φ 100）〈CZ-DA100〉
■部品取付図（63～80形）



①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	後配管取出口
④	壁面配管穴（φ100穴）
⑤	上配管取出口
⑥	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑦	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑨	電源取入口
⑩	リモコン線取入口
⑪	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑫	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑬	丸合フランジ<外気取り入れ用> CZ-DA100（別売品） φ100

●丸合フランジ<外気取り入れ用>（φ 100）〈CZ-DA100〉
■部品取付図（112～160形）



①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	後配管取出口
④	壁面配管穴（φ100穴）
⑤	上配管取出口
⑥	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑦	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑨	電源取入口
⑩	リモコン線取入口
⑪	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑫	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑬	丸合フランジ<外気取り入れ用> CZ-DA100（別売品） φ100

別売品組合せ表

（◎：組合せ推奨部品、○：組合せ可能部品、△：制約付きで可能）

部　品　名	エコナビ対応ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	ワイヤレスリモコン送信部
エコナビ対応ワイヤードリモコン		○	△※2
多言語対応ワイヤードリモコン	○		△※2
ワイヤレスリモコン送信部	△※2	△※2	

※2 ワイヤレスリモコンとワイヤードリモコン併用時は、ワイヤードリモコンを親リモコンとして使用してください。

［ご注意］下記の場所への壁掛形室内機の設置は避けてください。
- 厨房や機械工場などの油や溶剤など疎水性物質がたちこめる場所。
- 蒸気を発する器具の近くなどの高温、高湿な場所。
- ラーメン店、焼肉店、居酒屋の客席部分など油煙の影響を受けやすい場所。

リモコン対応表

リモコン対応表	ワイヤードリモコン				ワイヤレスリモコン※3	リモコン（別売品）の設置可能台数
	多機能ワイヤードリモコン	ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	簡単リモコン	本体内蔵受信部	
エコナビセンサーを使用する場合	◎	△※5	○※4	△※5	○※4	2台
「ナノイー X」を使用する場合	◎	△※6	△※6	△※6	○	2台

<多機能ワイヤードリモコンを使用する場合>多機能ワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。<多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合>その他のワイヤードリモコンを基本的には「親リモコン」に設定してください。
※3 ワイヤレスリモコンは、送信部が必要です。※4 多機能ワイヤードリモコンを使用しない場合、エコナビ機能の ON/OFF が可能です。※5 エコナビ操作を使用しない場合、組み合わせ可能です。※6 多機能ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンと併用してください。併用しない場合は、「ナノイー X」が制御できません。

別売品組合せ表

（●：組合せ必須部品、◎：組合せ推奨部品、○：組合せ可能部品、△：制約付きで可能、×：組合せできない部品）

部品名	エコナビセンサー（壁設置形）	多機能ワイヤードリモコン	ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	ワイヤレスリモコン別置受信部タイプ	簡単リモコン
本体内蔵コントロールスイッチ	●※3	×※4				
	—	△※5				

※3 エコナビセンサーを使用する場合は、本体内蔵コントロールスイッチをご使用ください。※4 エコナビセンサーをご使用の場合は、他のリモコンのご使用はできません。
※5 エコナビセンサーをご使用にならない場合は、△のいずれか一つに限り使用可能です。

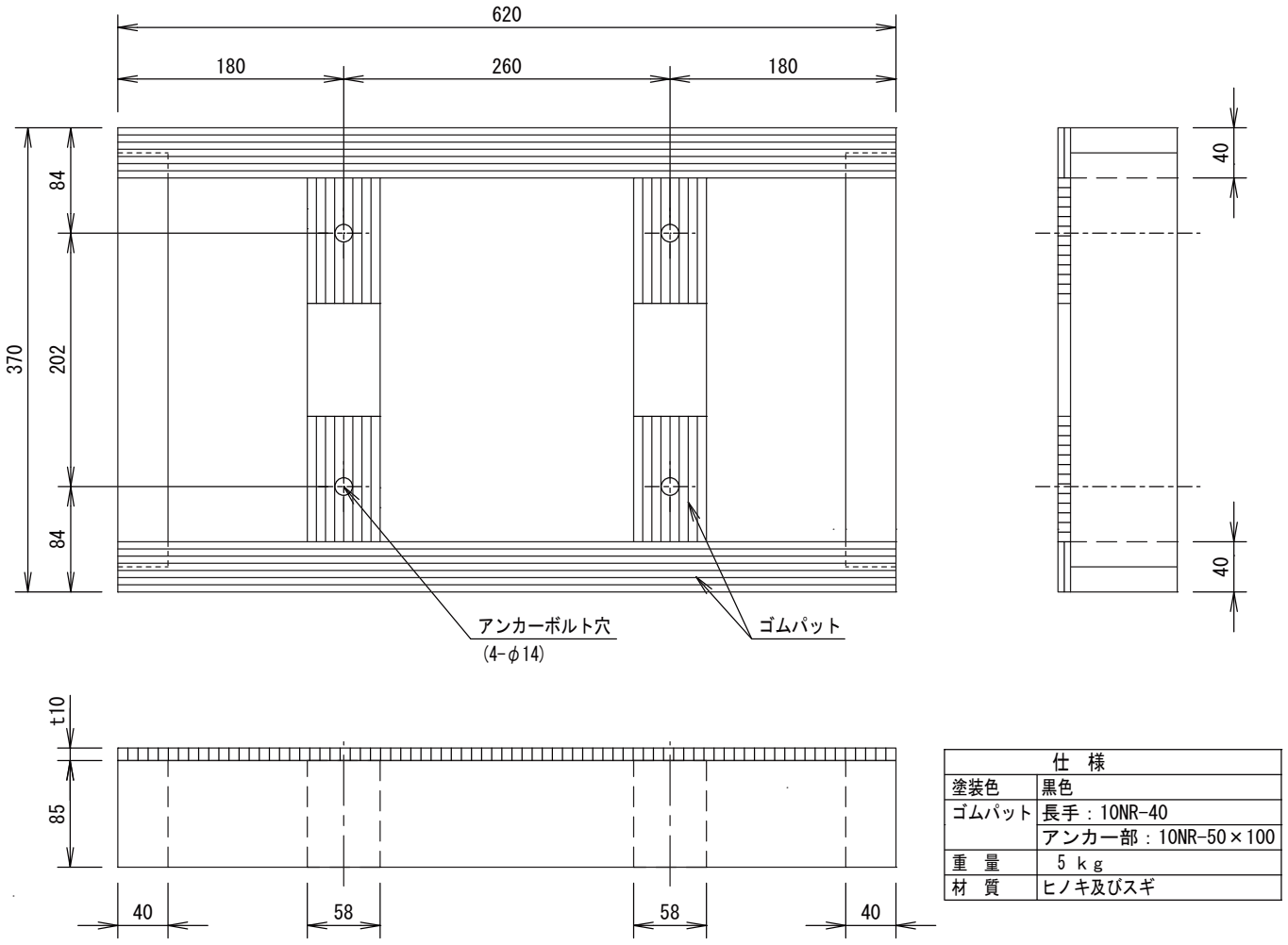
リモコン対応表

リモコン対応表	ワイヤードリモコン				ワイヤレスリモコン受信部※6	リモコン(別売品)の設置可能台数
	多機能ワイヤードリモコン	ワイヤードリモコン	多言語対応ワイヤードリモコン	簡単リモコン	ワイヤレスリモコン別置受信部タイプ	
エコナビセンサー(壁設置形)を使用する場合	×	×	×	×	×	0台
エコナビセンサー(壁設置形)を使用しない場合	◎	△※7	○※7	△※7	○	1台

<エコナビセンサー(壁設置形)を使用する場合>リモコンは追加できません。<エコナビセンサー(壁設置形)を使用しない場合>フラップ表示がコントロールスイッチと異なります。○印のリモコンはエコナビ機能の ON/OFF が可能です。△印のリモコンはエコナビ操作は出来ませんが、「子リモコン」として使用可能です。
※6 ワイヤレスリモコンは、受信部（別置受信部タイプ）と送信部が必要です。※7 多機能ワイヤードリモコンまたはワイヤレスリモコンと併用してください。併用しない場合は、「ナノイー X」が制御できません。

■木台外形寸法図

ＡＤ－ＮＭＮ２３３３Ａ



仕　様	
塗装色	黒色
ゴムパット	長手：10NR-40
	アンカー部：10NR-50×100
重　量	5 kg
材　質	ヒノキ及びスギ

AD-NMN2333A
設置工事説明書

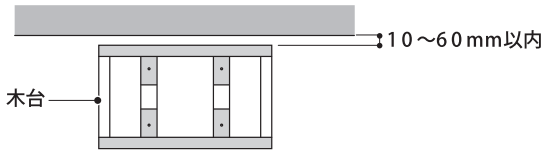
パナソニック リビング株式会社
システム部材開発センター
〒571−8686
大阪府門真市大字門真1048
TEL.06−6908−5913　FAX.06−6907−8381

工事される方へのお願い	●この説明書をよくお読みになって、指定された工事を行ってください。 ●室内ユニット本体の据付工事説明書および取扱説明書も合わせてお読みください。

設置上のご注意

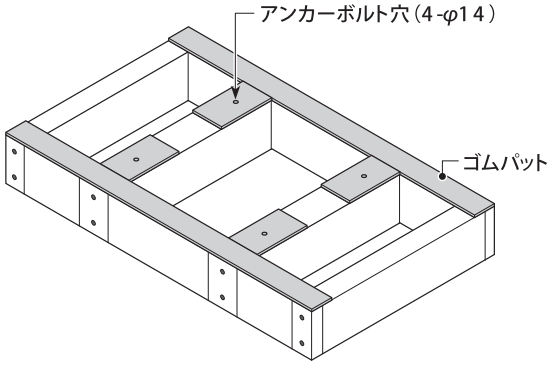
●M10アンカーボルト、M10ナット、M10ワッシャー(外形φ21)を現地調達してください。
アンカーボルトは、床面から135～140mmの範囲になるよう、床面の素材に合わせて選んでください。

●据付けスペース



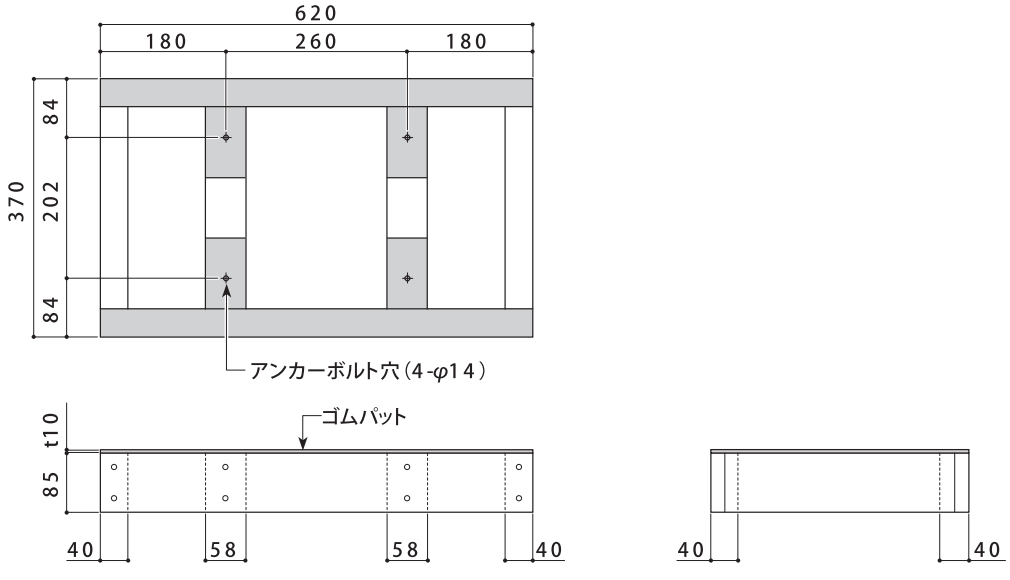
●梱包内には下記部品が入っております。設置前にご確認ください。

1 木台【1個】



寸法図

〔単位:mm〕

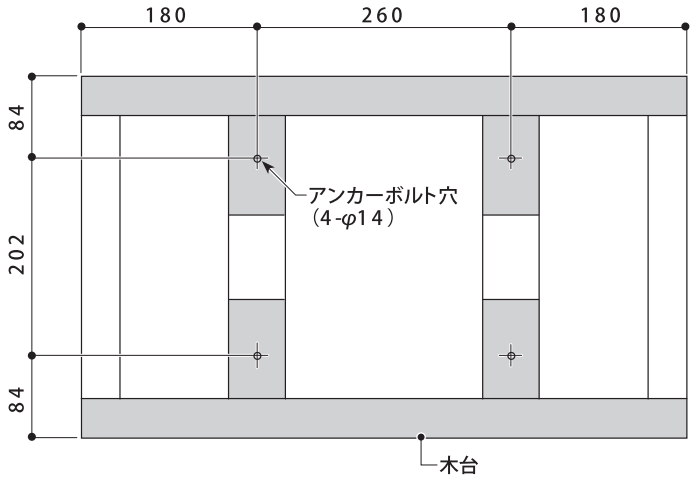


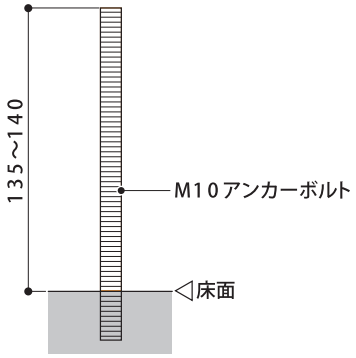
NMN2333−3　1/2

工事手順

¡ アンカーボルトを設置します。

●設置位置を決定後、アンカーボルト〔現地調達〕を設置してください。【4か所】



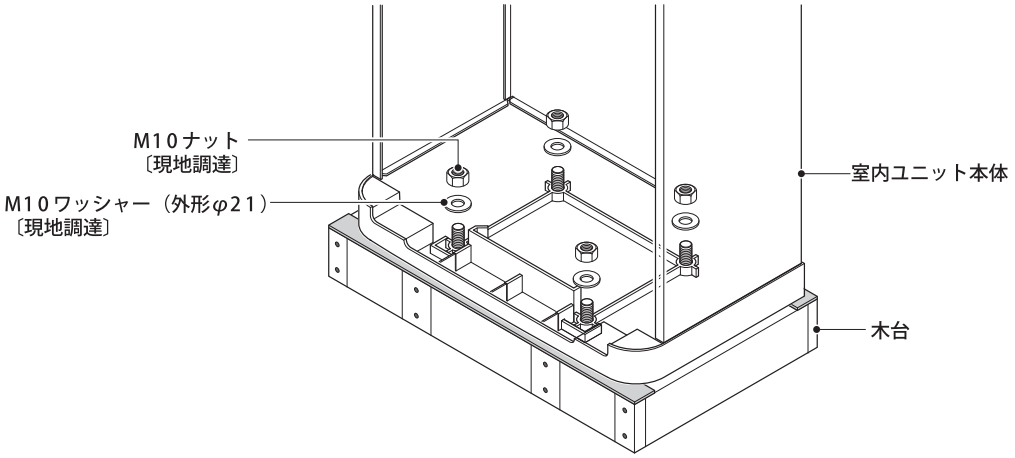


™ 室内ユニット本体を設置します。

●室内ユニット本体をボルト位置を合わせて、木台の上に置きます。

●M10ワッシャー（外形φ21）、M10ナット〔現地調達〕で固定してください。【4か所】

●締付けトルク（20～24N・m）で締付けてください。

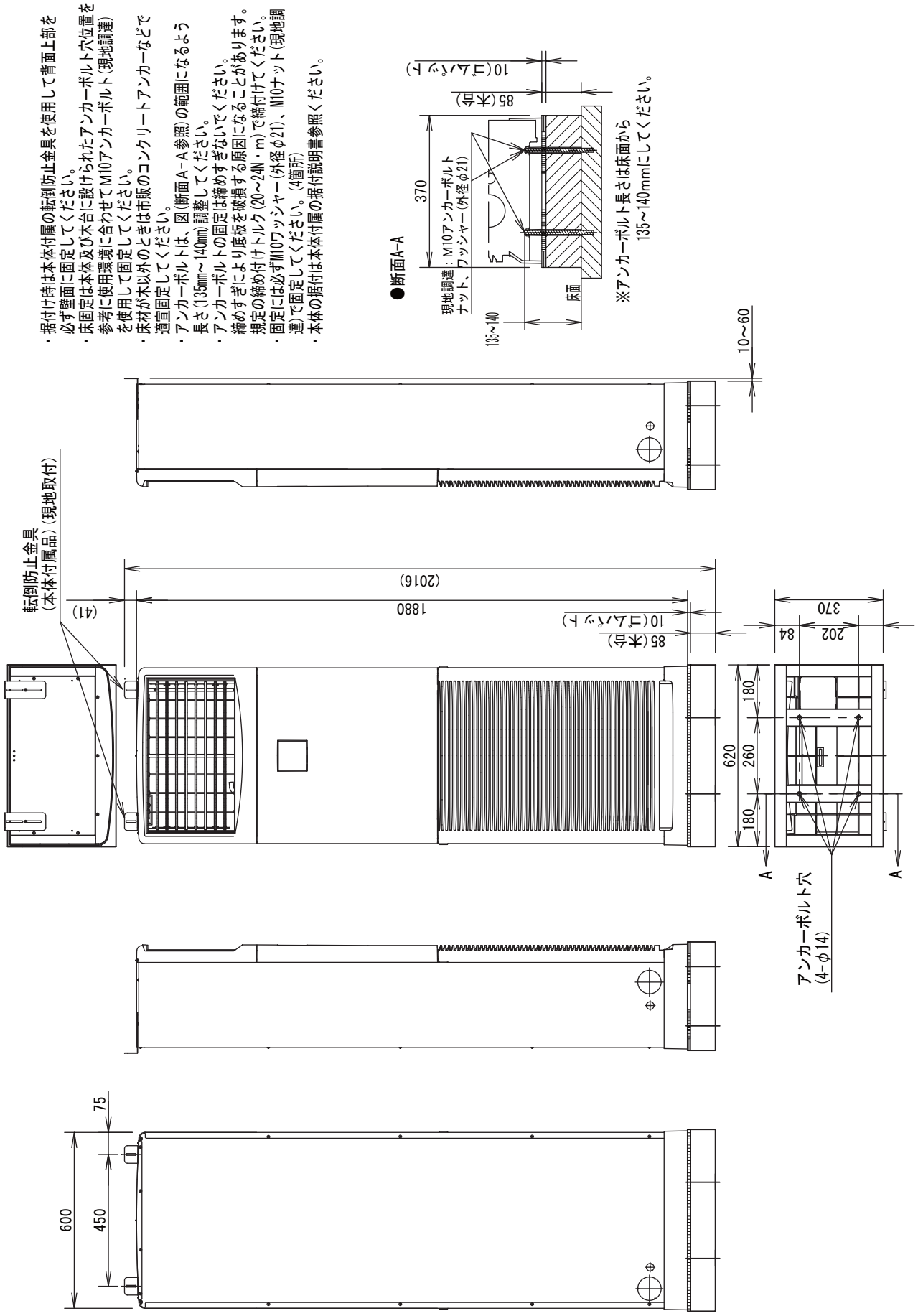


£ 転倒防止金具を取付けます。

●室内ユニット本体に付属の転倒防止金具を取付けてください。

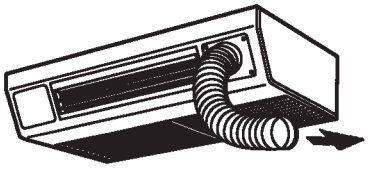
●室内ユニット本体の据付工事説明書を参照してください。

●部品取付図


・据付け時は本体付属の転倒防止金具を使用して背面上部を必ず壁面に固定してください。
・床固定は本体及び木台に設けられたアンカーボルト穴位置を参考に使用環境に合わせてM10アンカーボルト(現地調達)を使用して固定してください。
・床材が木以外のときは市販のコンクリートアンカーなどで適宣固定してください。
・アンカーボルトは、図(断面A-A参照)の範囲になるよう長さ(135mm～140mm)調整してください。
・アンカーボルトの固定は締めすぎないでください。締めすぎにより底板を破損する原因になることがあります。規定の締め付けトルク(20～24N・m)で締付けてください。
・固定には必ずM10ワッシャー(外径φ21)、M10ナット(現地調達)で固定してください。(4箇所)
・本体の据付は本体付属の据付説明書参照ください。
●断面A-A
370
現地調達：M10アンカーボルト
ナット、ワッシャー(外径φ21)
135～140
床面
85(木台)
10(コムパッド)
※アンカーボルト長さは床面から
135～140mmにしてください。
10～60
転倒防止金具
(本体付属品)(現地取付)
(41)
1880
(2016)
85(木台)
10(コムパッド)
370
84
202
180
260
180
620
A
A
アンカーボルト穴
(4-φ14)
75
450
600

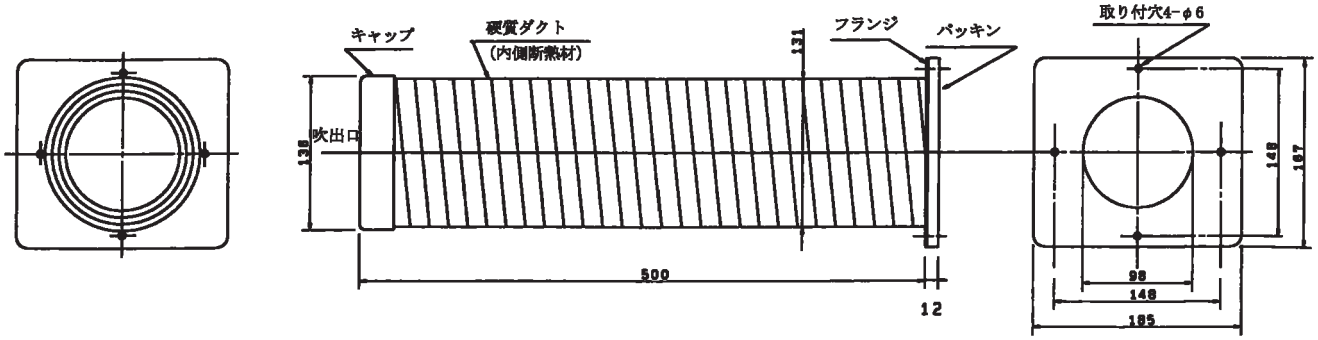
●スポットダクト

DKT-TKH1005



自由度の高い専用吹出口でスポット的にも使用できます。
その際、ユニット吹出口のしや風は不要で取り付けは簡単です。２本取り付けることも可能です。

■接続口：片側(左・右どちらか)もしくは両側
■ダクト：長さ500㎜、左右共通
径　100㎜
断熱材付き



●交換用フィルター

天吊形厨房用エアコン
SPW-KF71　(P80 形)
SPW-KF125 (P112、P140 形)

高温吸込み対応天吊形厨房用エアコン
SPW-KF71　(P112 形)
SPW-KF125 (P140、P160 形)

・不織布
・50枚入り
・寸法
SPW-KF71　606×420㎜
SPW-KF125　790×420㎜

●パン形加湿器

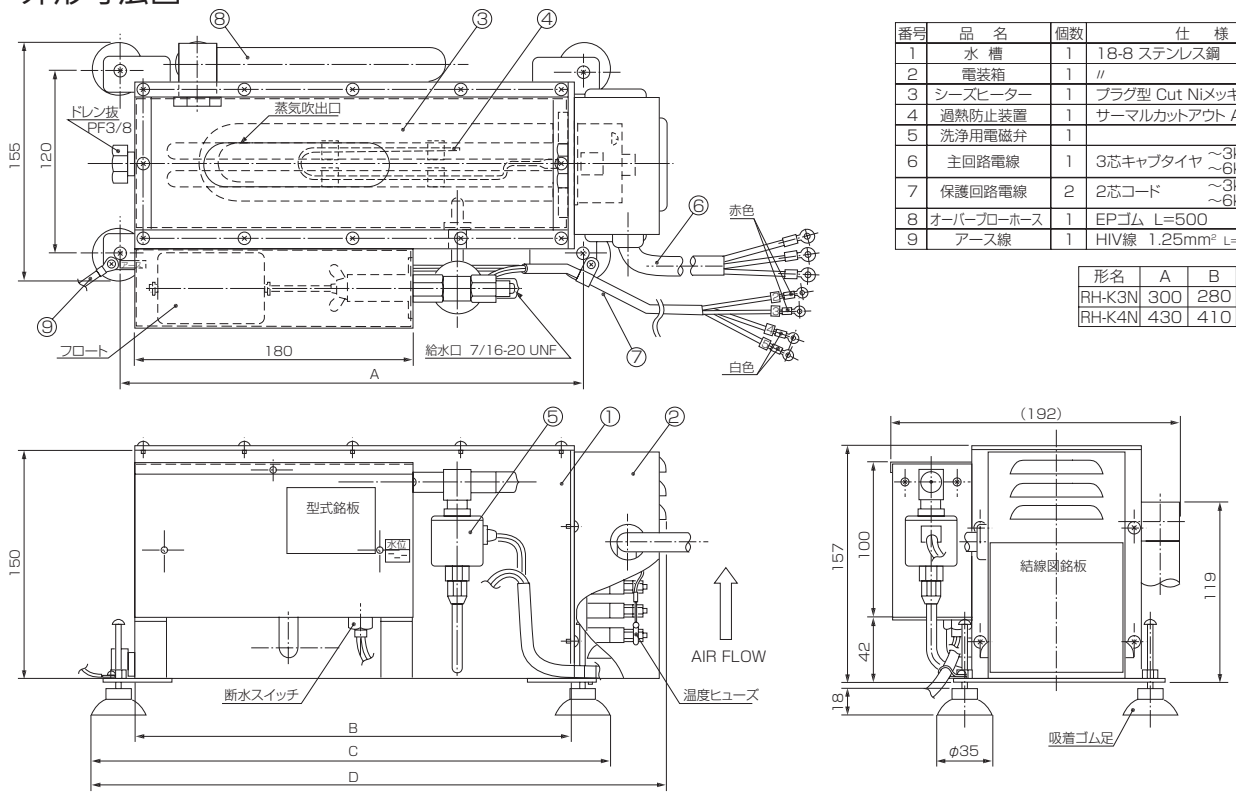
品　番	RH-K3N	RH-K4N
適用機種	224形	280形

■パン形加湿器仕様

形　　名			RH-K3N	RH-K4N
適用エアコン		馬力	5・8	10・20
加湿能力		kg/h	3.9	5.2
電気特性	電　力	kW/h	3	4
	電　圧	V	3φ　200V	
	電　流	A	8.7	11.6
	結線方法		△	
寸法	長　さ	mm	371	501
	奥行き	mm	192	
	高　さ	mm	175	
製　品　重　量		kg	4.6	5.8
安全装置		1　次	断水スイッチ　　水位低下による操作回路OFF	
		2　次	サーマルカットアウト　　150℃±15℃にて主回路しゃ断	
		3　次	温度ヒューズ　　119℃にて主回路しゃ断	
付　属　品		1	取扱説明書　　1部	
		2	鋼管φ6（フレアーナット付）L=900mm　　1本	
		3	ハーフユニオン　UNF7/16×PT1/2　　1個	
		4	コントロールボックス　（5時間タイマー組み込み型）　　1個	
		5	操作コード2芯×1.7m　　1本	
		6	取付金具　左右　　各1個	
		7	取付用板　（RH-K3Nのみ）　　1個	
		8	φ4×8タッピンねじ　（RH-K3Nの時）（1個予備）　　15個 φ4×8タッピンねじ　（RH-K4Nの時）（1個予備）　　13個	
備　　考			湿度調節は現地手配です（加湿し過ぎによる水漏れ防止の為必要です）。	

・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン (型式認可品：現地調達) をご使用ください。

■外形寸法図



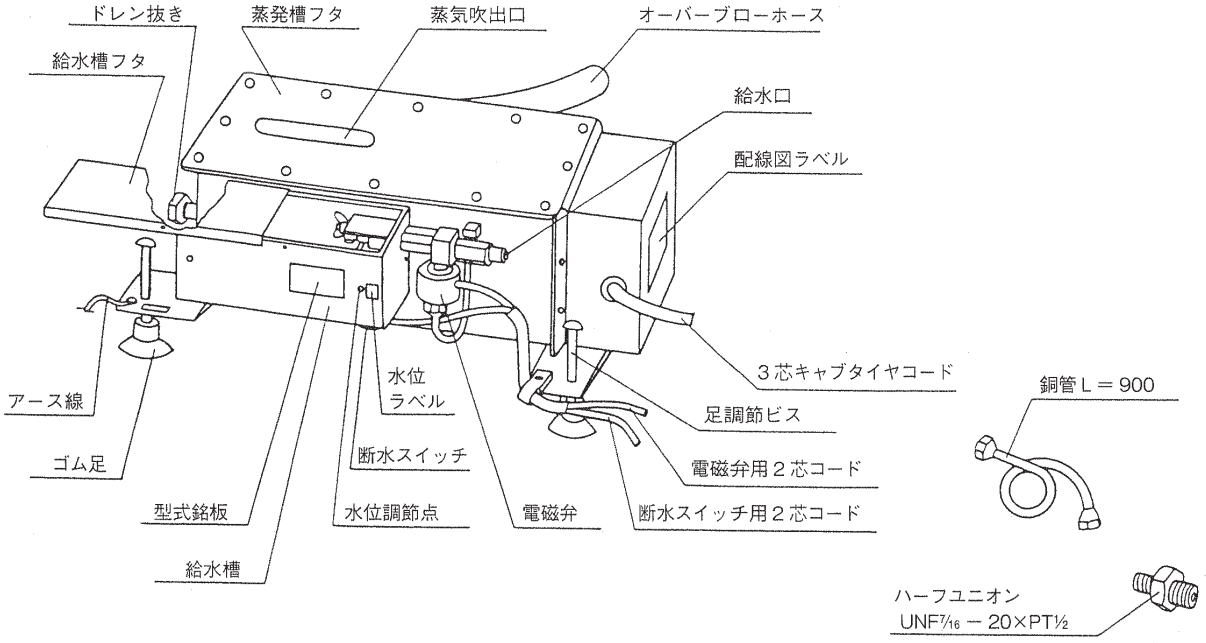
番号	品　名	個数	仕　様
1	水 槽	1	18-8 ステンレス鋼
2	電装箱	1	〃
3	シーズヒーター	1	プラグ型 Cut Niメッキ
4	過熱防止装置	1	サーマルカットアウト AS-3A型
5	洗浄用電磁弁	1	
6	主回路電線	1	3芯キャブタイヤ　～3kW L=1.5m ～6kW L=2m
7	保護回路電線	2	2芯コード　～3kW L=1.5m ～6kW L=2m
8	オーバーブローホース	1	EPゴム L=500
9	アース線	1	HIV線 1.25mm² L=500

形名	A	B	C	D
RH-K3N	300	280	335	371
RH-K4N	430	410	465	501

注意　使用補給水圧　0.029～0.49MPa
　　補給水温　　0～80℃

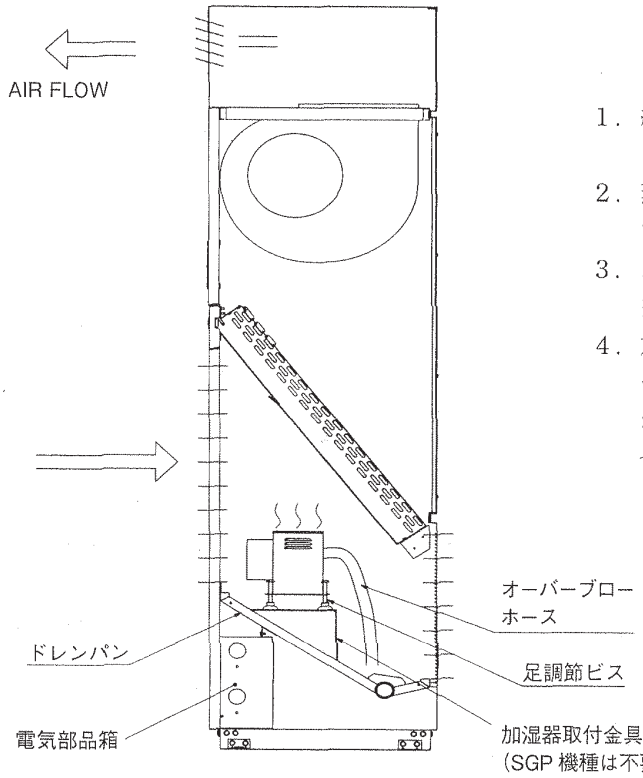
■ パン型加湿器使用説明

各部の説明



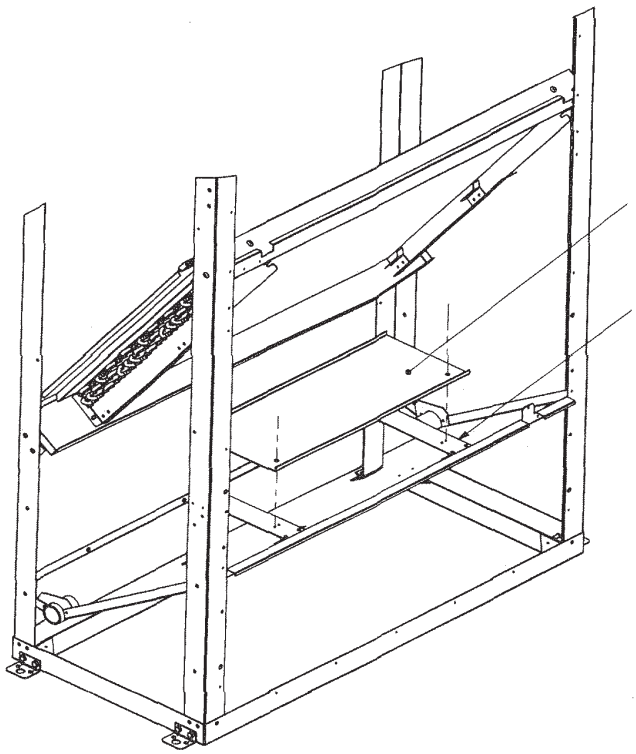
2. 取付方法

据付け方



1．給水槽を手前にし，足調節ビスを廻わし水平に設置してください。
2．蒸気吹出口から障害物までは出来るだけ距離を取ってください。
3．オーバーブローホース出口はドレンパン排水口に出来るだけ近くに置いてください。
4．左図の様に配管が終わりましたら，フロート押えスチロールをはずし給水させてください。
ホースは折り曲げ部をなくすようにして余長部分は切りすててください。

224 形、280 形への RH-K3N 取付け



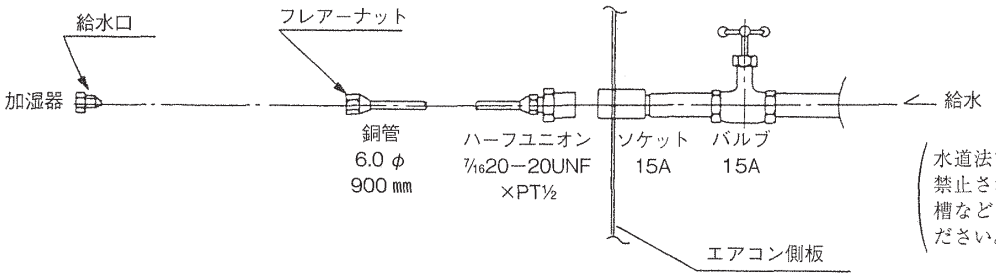
付属の取付用板をユニットにビス止め（2ケ所）し，その上にパン型加湿器 RH-K3N を設置する。

加湿器取付金具　左右

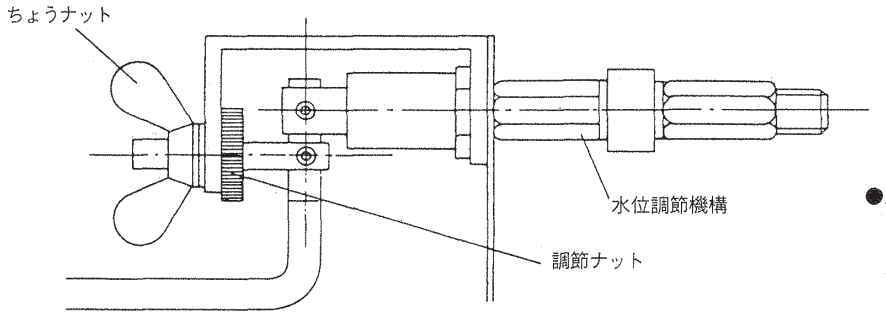
配管方法

（使用範囲）	補給水温	0℃～80℃
	水圧	29～490kPa

※水質が悪い（総硬度 100ppm 以上）ところは軟水器をご使用下さい。

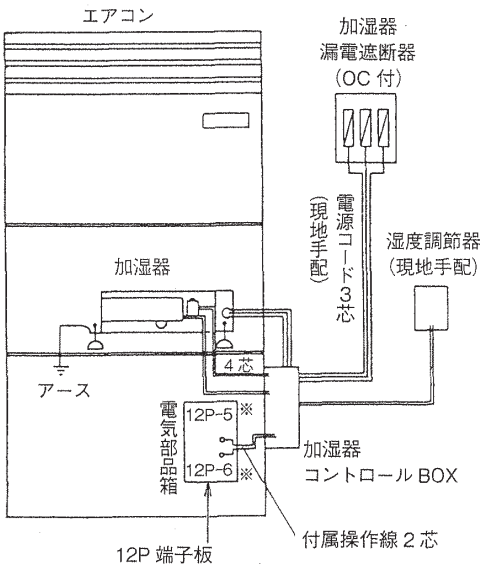


（水道法で上水道との連結は禁止されていますので受水槽などを介して接続してください。）



●水位が水位ラベルの表示線より 10 mm以上ずれている場合は水位調節ナットを廻わし水位を合わせてください。

電気配線



※一部の機種は端子番号が異なります。
湿度調節器は，現地手配です（加湿し過ぎによる水漏れ防止の為必要です）。

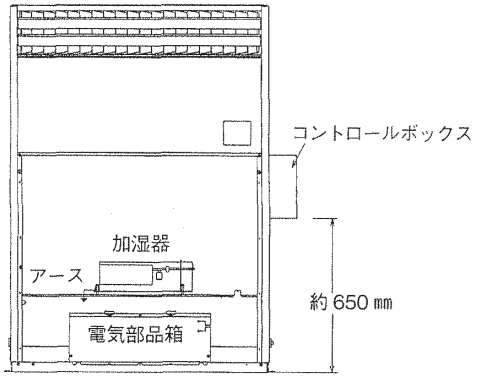
※電源に漏電遮断器を設置してください。

1．付属のコントロールボックスをエアコン側板にビス止め固定してください。
2．右のページ配線図の様に間違いなく配線してください。
電源電線は加湿器容量により異なります。
下表により行ってください。
3．アースを必ずお取りください。
RH-K3N は取付用板に，RH-K4Nは取付金具に，それぞれアース線を接続してください。
4．電線接続ビスにゆるみがないか確認し，絶縁抵抗を測定してください(1MΩ以下は不良です)。

型式	電力 [kW]	定格電流 [A]	最大電流 [A]	電源配線太さ	電線こう長 [m]	アース線太さ	漏電遮断器(OC 付)	
							過電流遮断容量	定格感度電流動作時間
RH-K3N	3	8.7	10.1	φ 1.6 mm (2.0 mm²)	24	2 mm² 以上	20[A]	30mA 0.1sec 以下
RH-K4N	4	11.6	13.4	φ 1.6 mm (2.0 mm²)	18		20[A]	

・電源は，三相 200V です。最大電流は，電圧＋10%で電力公差＋5%の値です。
・電線こう長は，電圧降下 4V の時です。

コントロールボックス取付位置

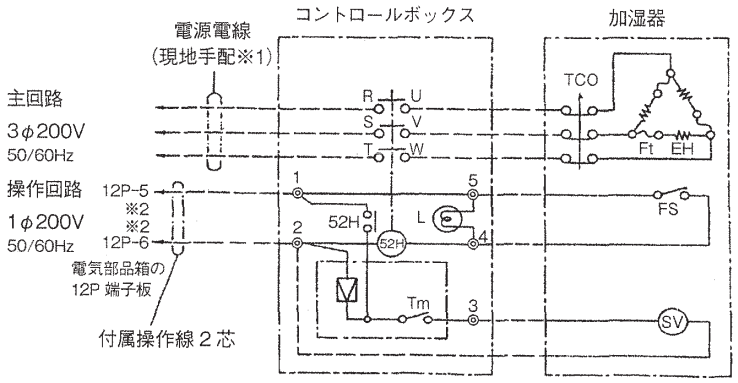


アースの接続：
RH-K3N は取付板に、RH-K4N は取付金具に、
それぞれアース線を接続してください。

配 線 図

注）電磁弁は 5 時間ごとのオーバーブローのためのもので補給水用ではありません。
番号 1，2，3，4，5 はコントロールボックス内の端子番号です。

①湿度調節器を使用しない場合の配線方法



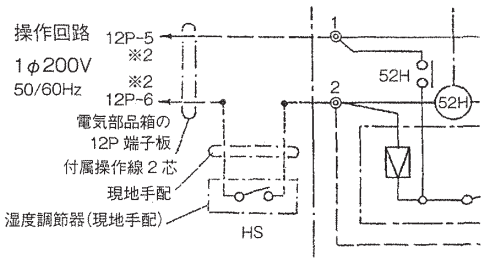
記号	名称
52H	電磁接触器
Tm	洗浄タイマー
L	断水表示灯
◎	端子台
SV	洗浄電磁弁
FS	断水スイッチ
TCO	サーマルカットアウト
EH	ヒータ
Ft	温度ヒューズ

・SV, FS, TCO, EH, Ft は加湿器に内蔵
・◀---- の回路は現地施工

※1　電源電線（φ 1.6 mm又は，2.0 mm²。最大こう長は 3 ページの表による。）は，丸形端子（2-M4 又は，2-3.5）にて，コントロールボックス内の電磁接触器（端子ネジ：M3.5）に，接続してください。

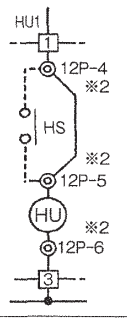
②湿度調節器を使用する場合の配線方法

■加湿器用コントロールボックス側の場合



注）加湿器のコントロールボックス側の配線に湿度調節器を取り付ける場合は，上記のように配線をしてください。

■室内ユニット電気部品箱側の場合



記号	名　称
HU	加湿器
HS	湿度調節器（現地手配）
◎	端子台

注）湿度調節器は室内ユニットの電気部品箱の 12P 端子板の 12P-4 と 12P-5 に接続してください。短絡板は必ず外してください。

※2　一部機種は端子番号が異なります。

3. 試運転

“据付－配管－電気配線”が終われば工事は完了です。

＝試運転の順序＝

1．加湿器電源開閉器を ON にする。

2．エアコンのリモコンの 点検 ボタンを 4 秒以上押してから，運転／停止 ボタンを押してください。

・試運転中は液晶表示部に“試運転”と表示されます。

・“試運転”モードでは温度調節は出来ません。

（機器に無理が掛かりますので試運転以外は使用しないでください。）

3．加湿器の“試運転”は暖房モードでご使用ください。

注）電源投入後，および運転停止後約 3 分間，室外ユニットは運転しません。

4．湿度調節器を設置している場合は設定を ON（100% RH の方向へ）にする。

5．加湿器の蒸気吹出口から蒸気が出るか確認する（5 ～ 10 分ぐらいかかる）。

6．蒸気が出ず蒸発槽が冷たければ故障のチェックを参照。

7．蒸気が出れば確認完了です。

※湿度調節器を設置している場合は設定を適正な湿度（30%RH ～ 50%RH）にセットしてください。

8．試運転終了後は再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の“試運転”の表示が消灯することを確認してください。

（このリモコンは連続試運転を防止するために，60 分タイマー試運転解除機能付になっています。）

※正常に試運転が出来ない場合には，リモコン液晶表示部に記号表示されます。
室外ユニットに付属の“試運転担当の方へ”の自己診断機能表を参照して修正してください。

※水位制御はフロートバルブ方式で，たえず蒸発する分だけ補給しています。

※湿度調節器を設置する場合は，取付高さ 1 ～ 1.2m が良く，隙間風，直射日光，吹出空気の当たる場所は避けてください。
加湿器は湿度調節器の信号により，運転－停止しますので，湿度調節器の設置位置を検討してください。

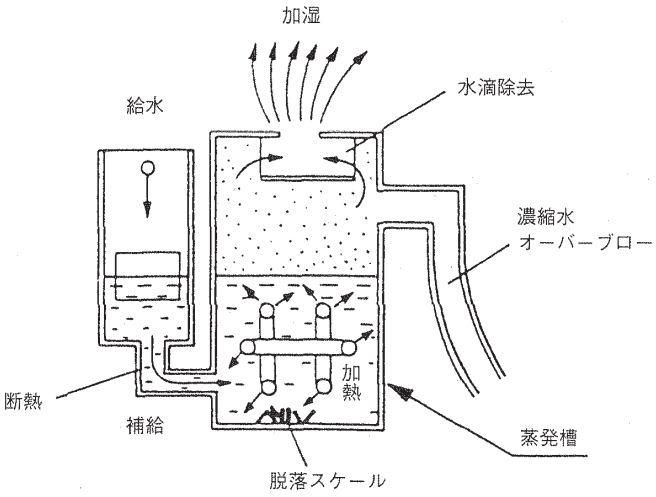
4. 保守

故障のチェック

故障点	チェック項目	処理方法
加湿しない	1. 湿度調節器が OFF になっていないか 2. 給水バルブが開いているか 3. 配線ミスがないか 4. オーバーフローしていないか	ON させる バルブを開ける 配線図確認 電磁弁確認
水がもれる	1. 水位調整に狂いがないか 2. 配管接続部がゆるんでいないか 3. オーバーフローホースに折れはないか	フロートバルブ確認 接続部確認 ホース確認
加湿量が少ない	1. 欠相していないか 2. 電磁弁が開いていないか（電磁弁ゴミつまり）	電流確認 電磁弁確認　フィルター掃除
うなりがする	1. 電磁接触器のうなり 2. 電磁弁のうなり	電磁接触器確認 電磁弁確認
その他	もよりの営業所にご連絡ください。	

温度ヒューズが動作した場合は加湿器は再使用出来ません。
サーマルが動作している場合は原因を取り去りリセットしてください。
この際電源は必ず OFF してください。

掃除・点検



（掃除の方法）
蒸発槽フタをあけ，ドレン抜きから
脱落スケールを排出してください。

本加湿器は加湿運転が合計５時間に達すると自動的にオーバーブローし，濃縮された水を排出させ，スケールの発生を抑制させております。しかし，スケールの付着は完全にはなくなりません。

この為，１シーズン（1400 時間）に１回ぐらいは掃除をしてください。又，同時に絶縁抵抗を測定し問題ないか確認してください。

※長期に亘りご使用されない場合は，水を抜いてください。

サービスパーツ

下記のものが部品として用意されております。

番号	部品名	部品番号	部品コード
1	フロートバルブセット	30637	CV 623-303-0913
2	電磁弁	31164	CV 623-303-0906
3	オーバーブローホース	30569	CV 623-303-0890
4	吸着ゴム足	30249	CV 623-303-0883
5	蒸発槽フタパッキン	30828（K3N 用）	CV 623-303-0876
		30805（K4N 用）	CV 623-303-0869

●自然気化式加湿器

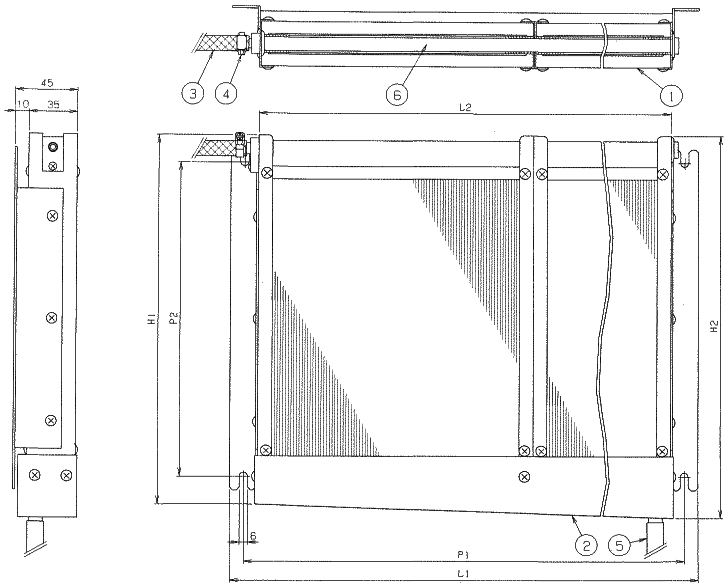
■仕様

適用空調機タイプ		床置形（プレナム形・ダクト形）			
適　用　機　種		224形		280形	
加湿器品番		RH-EN30E	RH-EN45E1	RH-EN45E	RH-EN90E
加湿性能※1	kg/h	3.0	4.5	4.5	9.0
適用室内ユニット		CS-P224B7		CS-P280B7	
XEPHY Premium（ハイグレードタイプ）各クラス最大能力 -有効加湿量(kg/h)　※1		2.57	3.86	3.44	6.88
XEPHY Eco(高効率タイプ) 各クラス最大能力 -有効加湿量(kg/h)　※1		2.57	3.86	3.44	6.88
適用室内ユニット		CS-P224BD7		CS-P280BD7	
XEPHY Premium（ハイグレードタイプ）各クラス最大能力 -有効加湿量(kg/h)　※1		2.55	3.82	3.44	6.88
XEPHY Eco(高効率タイプ) 各クラス最大能力 -有効加湿量(kg/h)　※1		2.55	3.82	3.44	6.88
給　水　量 *1	L/h	8.3～9.0	18.4～20.0	18.4～20.0	29.8～32.6
圧　力　損　失		コイル面風速 3m／s 以下の時　10Pa以下			
電　源　電　圧		単相　AC200V　50／60Hz			
定格消費電力		10W			
製　品　重　量	kg	3.0	3.5	3.5	5.5
使用条件	周辺温湿度	加湿器本体　：　5～60℃　90%RH以下 給水ユニット　：　5～40℃　80%RH以下			
使用条件	給　水　水　質	水道法水質基準に準ずる飲料水			
使用条件	給　水　圧　力	0.05～0.5MPa			
使用条件	給　水　温　度	5～40℃			
備　　考		*1）給水量は給水圧力範囲（0.05～0.5MPa）において、 0.05MPa時に最小となり、0.5MPa時に最大となります。			
梱　包　内　容		●加湿器本体梱包			
		①加湿器本体　1台			
		②給水ホース(φ6×φ11×1.5m)　1本			
		③排水ホース(φ8×φ12×2m)　1本			
		④給水ホース用ホースバンド　2個			
		⑤給水軟銅管(φ6.35×2m)　1本			
		⑥給水継手(R1/2)　1個			
		⑦取付ブラケット固定金具　2個			
		⑧取付説明書　1冊			
		●給水ユニット梱包			
		⑨給水ユニット　1個			
		⑩給水ユニット固定金具　1個			
		⑪取付ビス　1式			
		●取付ブラケット梱包			
		⑫取付ブラケット(取付ビス)　1式			

・ 自然気化式加湿器とヒーター(電気・温水・蒸気ヒーター)との組合せはできません。
・ 加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。

注）加湿性能は加湿器入口空気温度40℃、15%RH、風速2.5m/s　での値を示します。
・ 有効加湿量は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、（XEPHY Premium/XEPHY Ecoシリーズ室外ユニット）に接続し、
　下記の条件で運転した場合の加湿量です。
　温度条件　　室温20℃DB、外気温7℃DB・6℃WB
　運転条件　　床置プレナム形　　定格風量、フラップ位置水平、最大能力運転時
　　床置ダクト形　　定格機外静圧、定格風量、最大能力運転時
　設置条件　　配管長　7.5m
　機外静圧や風量設定、フラップ角度、ユニット運転状態により加湿量が低くなる場合もあります。
※1 加湿能力±20%

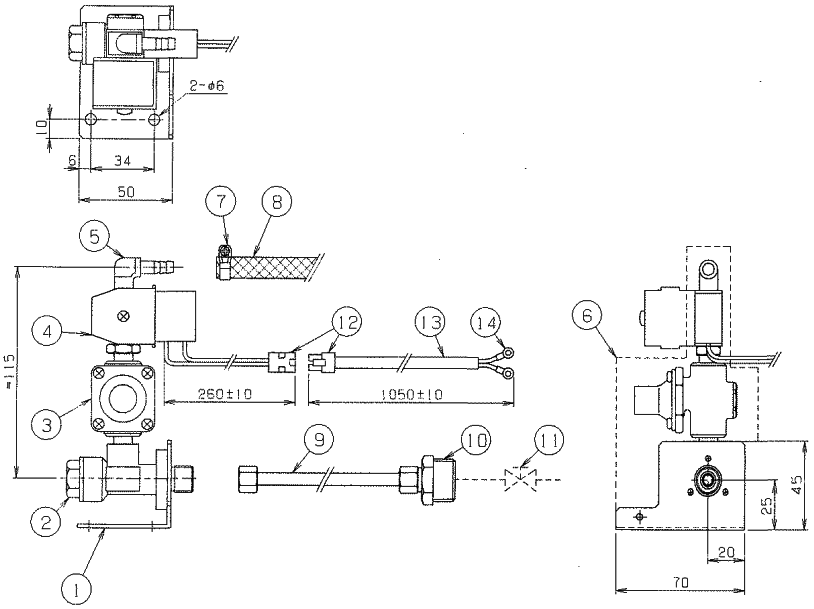
■加湿器本体外形寸法図：RH-EN30E／45E／45E1／90E



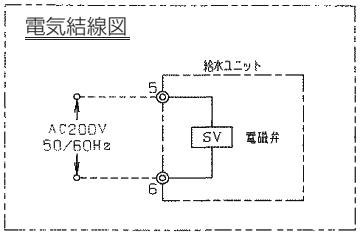
適用機種	加湿器品番	L1	L2	H1	H2	P1	P2
224形	RH-EN30E	440	400	270	280	420	230
	RH-EN45E1	640	600	270	285	620	230
280形	RH-EN45E	640	600	270	285	620	230
	RH-EN90E	940	900	345	365	920	305

番　号	部　品　名	仕　　様
①	加湿モジュール	
②	ドレンパン	SUS304
③	給水ホース	Φ6×Φ11×1.5m
④	ホースバンド	
⑤	排水ホース	Φ11×Φ16×2m
⑥	給水ヘッダ	銅管

■給水ユニット外形寸法図：RH-EN30E1／30E／45E／45E1／90E

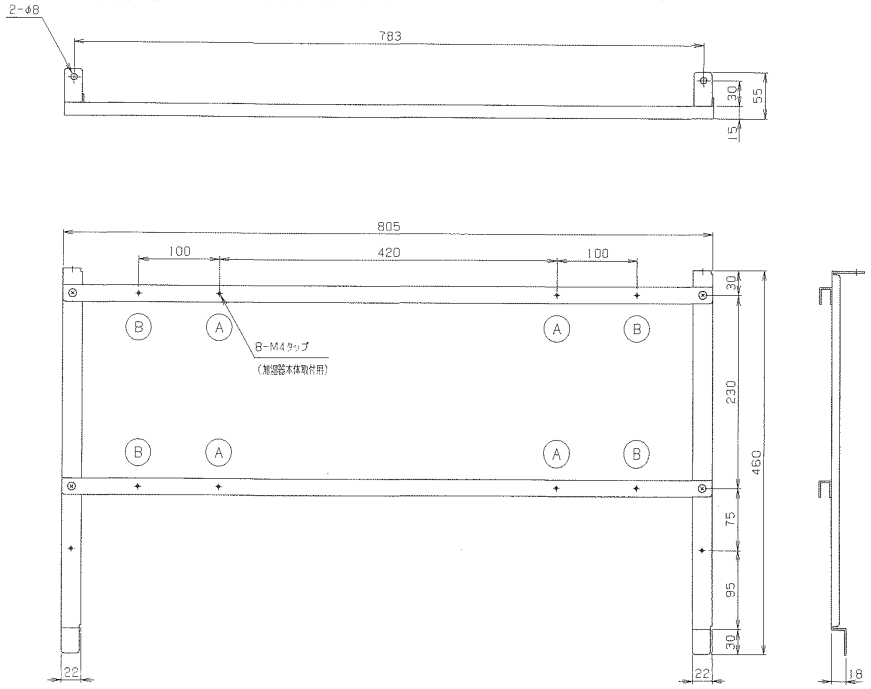


電気結線図



番号	部品名称	仕　　様	番号	部品名称	仕　　様
①	取付板	SGCC　t2	⑧	給水ホース	Φ6×Φ11　1.5m
②	給水ストレーナー	T型	⑨	給水軟銅管	Φ6.35　2m
③	減圧弁	MAA-00A0-23	⑩	給水継手	R1／2
④	電磁弁	MAA-00A0-26	⑪	給水サービス弁	現地手配
⑤	給水ホース口		⑫	コネクタ	
⑥	断熱材		⑬	接続コード	VCTF0.75mm² 2C
⑦	ホースバンド		⑭	絶縁被覆付丸端子	TMEV1.25-3.5S (または相当品)

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN30E／45E1用

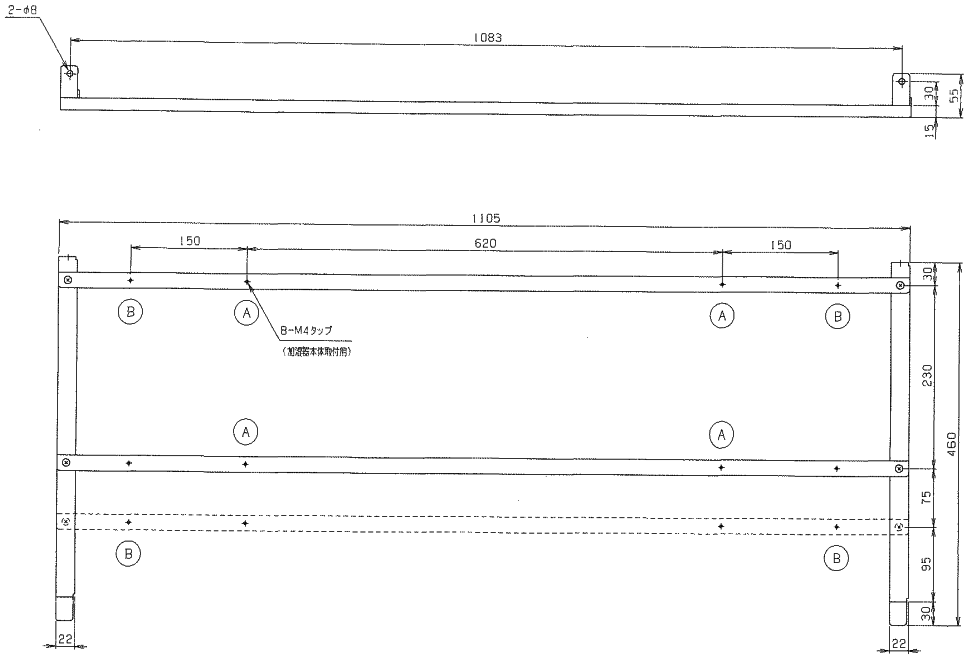


・ブラケット　：SGCC　t2
・付属ビス　：M4（ブラケット組立 / 加湿器取付用）
M6(ブラケット固定用)

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
224形	RH-EN30E	Ⓐ4ヵ所
	RH-EN45E1	Ⓑ4ヵ所

※現地組み立てとなります。(ビス4本使用)
※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、
　ユニット内に取り付けてください。

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN45E／90E用



・ブラケット　：SGCC　t2
・付属ビス　：M4（ブラケット組立 / 加湿器取付用）
M6(ブラケット固定用)

適 用 機 種	加 湿 器 品 番	加湿器取付位置
280形	RH-EN45E	Ⓐ4ヵ所
	RH-EN90E	Ⓑ4ヵ所

※現地組み立てとなります。(ビス4本使用)
※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、
　ユニット内に取り付けてください。
※図はRH-EN90Eを取り付ける状態を示します。
　RH-EN45Eを取り付ける際は、下部ステ-を点線位置にしてください。

■自然気化式加湿器使用説明

1.概　要

1−1. 加湿器のしくみとはたらき

●RH−ENタイプは、床置形パッケージエアコン室内機のコイル2次側に取り付け、コイルを通過した暖房空気を取り入れて濡れた加湿材を通過させることにより水を気化して加湿する方式の気化式加湿器です。

給水は減圧弁と給水用電磁弁の組み合わせによりエアコンの運転に連動して自動的に行われ、給水圧力に左右されることなく安定した給水量を保ちます。また、加湿量プラスαの給水量を流すことにより加湿材の自己洗浄機能を持たせており、加湿材に付着する汚れを含んだ余剰水はドレンとして排水されます。

1−2. 仕　様

製品名		気化式加湿器（床置形パッケージエアコン用）			
適用機種		224形		280形	
機種名		RH-EN30E	RH-EN45E1	RH-EN45E	RH-EN90E
標準加湿量		3.0kg/h	4.5kg/h	4.5kg/h	9.0kg/h
給水量 (*1		8.3～9.0kg/h	18.4～20.0kg/h	18.4～20.0kg/h	29.8～32.6kg/h
能力条件	コイル面風速	2.5m／s			
	通過空気温湿度	40℃·15%RH			
定格電源		単相　AC200V　50／60Hz			
定格消費電力		10W			
本体質量（重量）		3.0kg	3.5kg	3.5kg	5.5kg
使用条件	周囲温湿度	加湿器本体：5～60℃　90%RH以下 給水ユニット：5～40℃　80%RH以下			
	給水水質	水道法水質基準に準ずる飲料水			
	給水圧力	0.05～0.5MPa（0.5～5.0kg/cm^2）			
	給水温度	5～40℃			
備　考		*1）給水量は給水圧力範囲（0.05～0.5MPa）において、0.05MPa時に最小となり、0.5MPa 時に最大となります。			

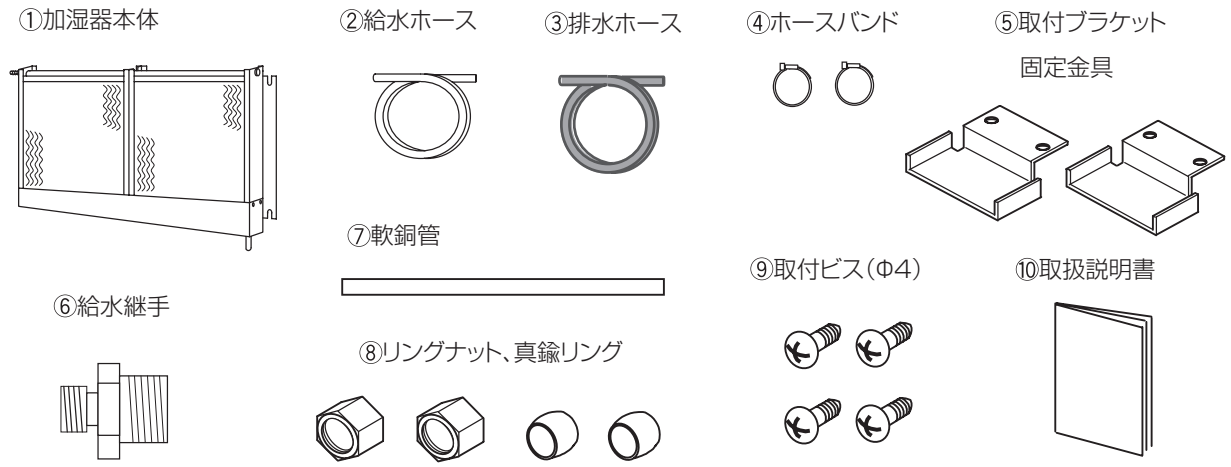
2. 取　付

2−1. 付属品一覧

※梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

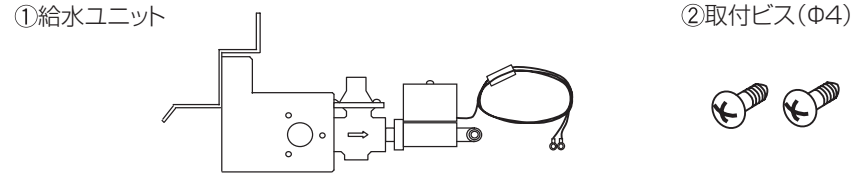
・加湿器本体梱包

部品名称	①加湿器本体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1台 ②給水ホース(半透明、1.5m)・・・・・・・1本 ③排水ホース(黒色、2m)・・・・・・・・・・・1本 ④ホースバンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2ケ ⑤取付ブラケット固定金具・・・・・・・・・・2ケ	⑥給水継手(R1/2)・・・・・・・・・・・・・・・・・1ケ ⑦軟銅管(Φ6.35×2m)・・・・・・・・・・・・・1ケ ⑧リングナット、真鍮リング・・・・・・・・各2ケ ⑨固定金具取付ビス(Φ4)・・・・・・・・・・・4本 ⑩取扱説明書(本書)・・・・・・・・・・・・・・・・1部



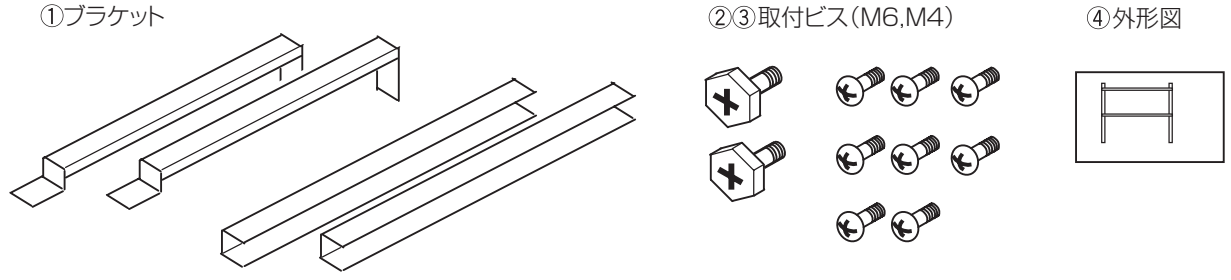
・給水ユニット梱包

部品名称	①給水ユニット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1台	②取付ビス（Φ4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2本



・ブラケット梱包

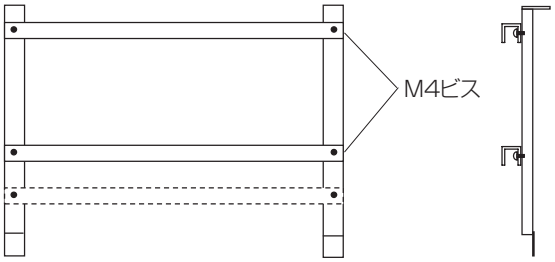
部品名称	①ブラケット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一式 ②取付ビス（M6）・・・・・・・・・・・・・・・・・2本	③取付ビス（M4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8本 ④外形図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1枚



2−2. 取付上の注意事項

2−2−1. 加湿器本体の取付

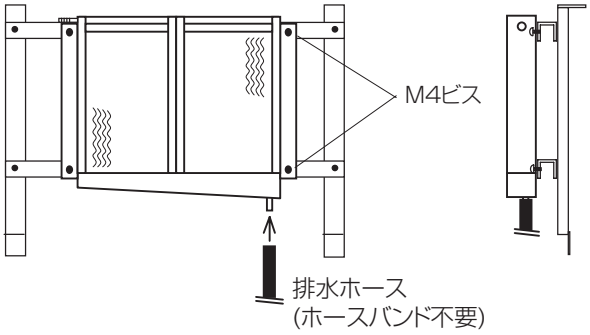
(1)図−1のように取付ブラケットをM4ビス4本で組み立てます。RH-EN90Eの場合はブラケットを破線の位置にして組み立ててください。



図−1　取付ブラケットの組立

(2)図−2のように組み立てた取付ブラケットにM4ビス4本で加湿器本体を取り付けます。

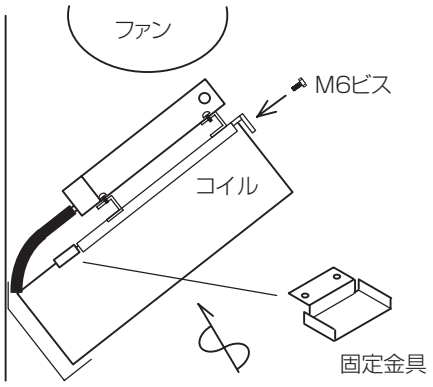
(3)加湿器ドレンパンに排水ホースを差し込んでください。このときホースバンドは不要です。



図−2　加湿器本体の取付

(4)パッケージエアコン室内機の吸込口および上部前面パネルを外して、図−3のように室内機のコイル2次側に組み立てた加湿器本体を組み込みます。

加湿器取付後にパッケージエアコンの輸送などがある場合には、コイルフランジにブラケット固定金具を取付け、取付ブラケット下部がその固定金具に収まるように取付ブラケットを面に沿ってスライドさせてください。また、取付ブラケット上部は付属のM6ビス2本で固定してください。

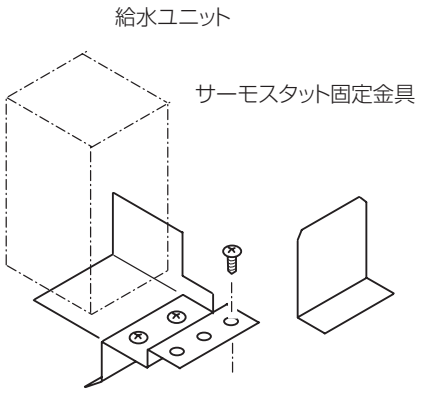


図−3　加湿器本体の組み込み

(5)加湿運転中排水ホースからは常時少量のドレン水が出ますので、確実に排水が行われるよう排水ホースを適度な長さにカットし、ホース先端がドレンパン上になるように配管してください。この際排水ホースがコイルフィンに接触しないようにしてください。

2−2−2. 給水ユニットの取付

(1)ビス2本を使用してサーモスタット固定金具の横に給水ユニットを取付てください。(図−4)



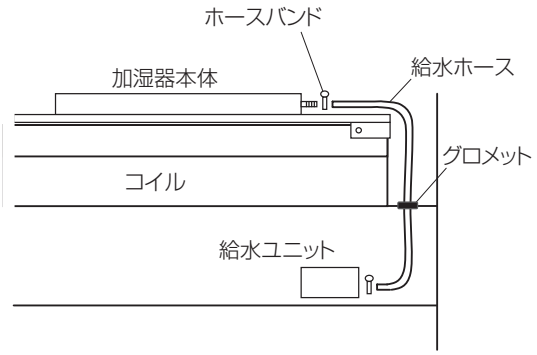
図−4　給水ユニットの取付

2−2−3. 給水ホース／給水軟銅管の接続

(1)加湿器本体ホース口に給水ホースを差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。

(2)図−5のように給水ホースはコイル右側のグロメットを通して給水ユニットに接続します。給水ホースは折れや極端な曲がりがないように適度な長さにカットして給水ユニットのホースに差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。この際に給水ホースがコイルフィンに接触しないようにしてください。

(3)給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管はエアコンの加湿給水口よりエアコン内部に取り入れてください。給水軟銅管の接続部はリングジョイント式となっています。リングナットの締め付けトルクは10N·m(100kgf/cm)程度としてください。



図−5　給水ホース／給水軟銅管の接続

注)軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください。漏水の原因となることがあります。

(4)エアコン外部での給水軟銅管と現地の給水配管との接続には給水継手を使用してください。なお、給水配管を接続する前には、通水して**必ず配管のフラッシングを実施してください。**

2−2−4. 給排水配管について

- 給水配管には水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください。
- 加湿器への給水は公共の水道管から直接接続はできませんのでご注意ください。
- **給水サービス弁(現地手配)**を必ず各加湿器ごとに設けてください。
- 給水圧力は0.05〜0.5MPa、給水温度は5〜40℃の範囲でご使用ください。
- 給水配管、排水配管ともに、凍結および結露を防止するための断熱処理をしてください。

2−2−5. 電気配線について

- 給水ユニットの電磁弁コードの丸端子をエアコン制御盤内の端子台5、6番に接続してください。

3. 運　転

3−1. 施工後はじめての運転

● 給水配管に設けてある給水サービス弁が開いていることを確認してください。

● エアコンを暖房運転すると、加湿器が自動的に運転します。

3−2. 日常の運転管理

● 加湿器の運転はエアコンに連動しますので、加湿器の運転スイッチ等は特に設けていません。

3−3. 加湿休止期の処置

● 加湿のオフシーズンには、給水配管に設けてある給水サービス弁を閉めてください。

● シーズンオフ時およびシーズンイン時には、後記「4. 保守点検」を参照してそれぞれ必要な保守作業を必ず実施してください。

● シーズンイン時には忘れずに給水サービス弁を開け、試運転を行って漏水の無いことを確認してください。

4. 保守点検

4−1. 作業上の留意点

● 加湿器を正常に運転させるため、保守点検作業は必ず実施してください。
● 作業にあたっては、安全に十分ご配慮ください。
● 工具類は適正サイズのものを使用し、締め過ぎ・締め不足にご注意ください。
● 部品交換の際は必ず純正部品をご使用ください。

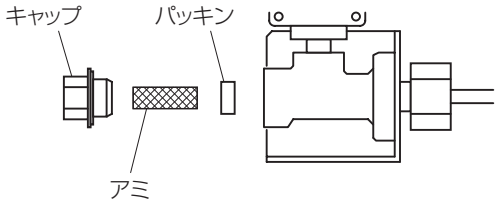
4−2. 保守点検作業一覧

作業内容	作業時期	必要工具など
(1)給水ストレーナ掃除	・運転開始後1〜2日目 ・シーズンイン時 ・その他汚れに応じて適宜	モンキーレンチ(125mm程度)
(2)給水配管のフラッシング	・施工後 ・シーズンイン時	モンキーレンチ(125mm程度) ウエスなど
(3)加湿材洗浄	・シーズンイン時 ・その他汚れに応じて適宜	プラスドライバ 洗浄剤(家庭用酸素系漂白剤) 洗浄用容器(加湿材が入るもの)
(4)給水ヘッダ水抜き	・シーズンオフ時	プラスドライバ

4−3. 保守点検作業要領

(1)給水ストレーナ掃除

■ 必要工具：モンキーレンチ(125mm程度)
● エアコンの運転を停止し、給水サービス弁を閉めてください。
● エアコンの吸込口を開けてください。
● 給水ストレーナのキャップを外してください。筒状のアミが出てきます。



● アミの内側を掃除し、きれいな水で洗ってください。
● 元通りセットしキャップを取り付けてください。※キャップ締付トルク：5〜10N·m
● 給水サービス弁を開けて通水し、漏水のないことを確認してください。

(注)シーズンオフ時には、確認後、給水サービス弁を閉めてください。

● エアコンの吸込口を元通りにしてください。

(2)給水配管のフラッシング

■ 必要工具：モンキーレンチ(125mm程度)
● エアコンの運転を停止し、給水サービス弁を閉めてください。
● エアコンの吸込口を開けて、給水ストレーナのキャップを外してください。筒状のアミが出てきます。
● 給水サービス弁を徐々に開けて放水します。水がきれいになるまで十分に放水してください。

(注)給水サービス弁は数回にわけて徐々に開いてください。開きすぎると水が飛散します。

● 給水ストレーナから取り出したアミを元通りセットしキャップを取り付けます。アミが汚れている場合は掃除してください。※キャップ締付トルク：5〜10N·m
● 給水サービス弁を開けて通水し、漏水のないことを確認してください。

（注）運転開始まで期間がある場合は、確認後、給水サービス弁を閉めてください。

● エアコンの吸込口を元通りにしてください。

（3）加湿材洗浄

この洗浄は目に見えている汚れを落とすものではなく、 親水性（吸水性）が落ちた加湿モジュールに再度、親水性を復活させて、加湿能力を回復させるためのものです。

■ 必要工具：プラスドライバ、洗浄剤（家庭用酸素系漂白剤）、洗浄用容器（加湿材が入るもの）

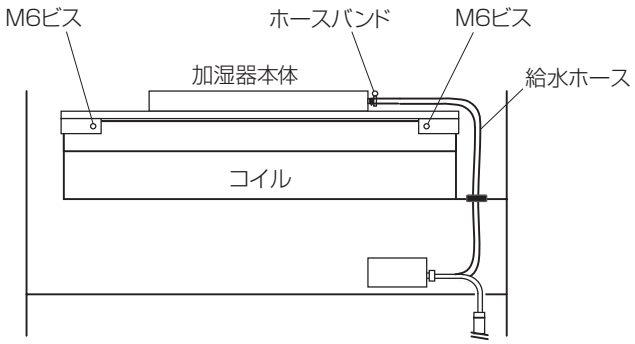
● エアコンの運転を停止してください。

● エアコンの吸込口および上部前面パネルを開けてください。

● 加湿器本体に接続している給水ホースのホースバンドをゆるめ、ホースを抜いてください。

● 取付ブラケットを固定しているM6ビス2本を外し、加湿器本体を取付ブラケットごとエアコンから外してください。

● 加湿器本体を固定しているM4ビス4本を外し、加湿器本体を取付ブラケットから外してください。



（注）加湿材のステンレスケースは絶対に分解しないでください。

● 洗浄用容器の中に加湿材を浸せる量の洗浄液を作ります。家庭用酸素系漂白剤を「シミ抜き」程度の濃さに希釈してください。

● 加湿材を洗浄液の中に浸し、30分程度つけ置きしてください。

● つけ置きした後、流水にて十分に水洗いを行ってください。

● しばらく静置して水気を落としてから、元通りに組み付けてください。

（注）洗浄しても吸水性が回復しない場合は新しい加湿材と交換してください。

● 給水ホースは加湿器本体のホース口に差し込み、ホースバンドでしっかり固定してください。

● 給水サービス弁を開けて通水してください。

（注）運転開始まで期間がある場合は、給水サービス弁を閉めてください。

● エアコンの吸込口および上部前面パネルを元通り取り付けてください。

（4）給水ヘッダ水抜き

■ 必要工具：プラスドライバ

● エアコンの運転を停止し、給水サービス弁を閉めてください。

● エアコンの吸込口を外してください。

● 給水ユニットに接続している給水ホースのホースバンドをゆるめて給水ホースを外し、給水ホース内および加湿器本体内蔵の給水ヘッダ内に残っている水を抜きます。

● 残水を抜いた後は元通り給水ユニットに給水ホースを接続し、ホースバンドでしっかり固定してください。

5. 故障時の処置

5−1. 故障と思われる前に

● 加湿器が運転しない場合、必ずしも故障が発生しているとは限りません。故障と思われる前に、以下の項目をご確認ください。

□ 給水サービス弁は開いていますか?

□ 元電源はONになっていますか?

□ エアコンは暖房運転していますか?

5−2.故障の原因と処置

状 態	原 因	処 置
運転しない	正しい電圧AC200Vが供給されていない	正しい電源を供給する
	加湿器を組み込んでいる空調機が停止している	
給水しない	給水サービス弁が閉まっている	給水サービス弁を開ける
	給水ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する
	加湿器の電磁弁コードが外れている	ソケット・端子台の接続を確認する
	給水用電磁弁の故障	電磁弁を取り替える
	減圧弁の故障	減圧弁を取り替える
加湿不足	給水ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する
	給水圧力が低く給水量が不足している	給水圧力を調整する
	加湿モジュールが汚れて吸水性が悪い	洗浄または交換する
漏水	配管接続部からの漏水	増締めする
	給水管への結露	断熱処理を施す
	排水不良	修正する
	通過風量が使用条件範囲を超えている	風量を調整する
異常音	給水圧力が使用条件範囲を超えている	給水圧力を調整する
	電磁弁のうなり音	電磁弁を取り替える
	減圧弁の振動音	配管内のエア抜き
異臭	水質が悪い	加湿モジュールを洗浄または交換すると同時に水質をチェックし改善する
	加湿モジュールがひどく汚れている	洗浄または交換する
	ドレンパン、配水管などが汚れている	掃除する

●プレフィルター

■仕様

≪プレフィルター　重量法76%　内蔵形≫

名　　称		プレフィルター（重量法76%　内蔵形）	
品　　番		AFT-1PE224E	AFT-1PE280E
適　用　機　種		224形	280形
標準風速	m/s	2.5	2.5
初期圧損	Pa	64.0	64.0
終期圧損	Pa	200.0	200.0
平均効率		重量法76%（ＪＩＳ 15種）	
使用濾材		ポリエステル／モダアクリル	
質量	kg	2.0	2.6
フィルター外形寸法 幅×高さ×厚み	mm	752×687×15	512×687×15（2枚組）

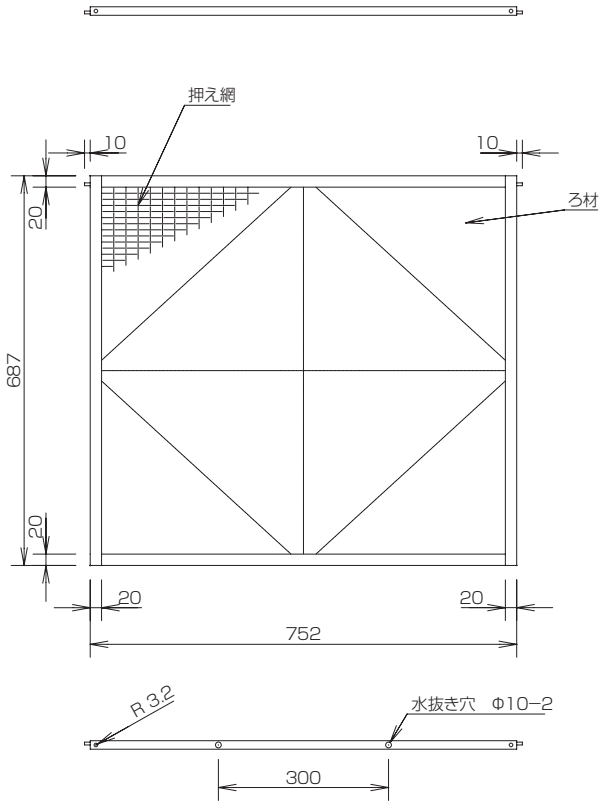
≪プレフィルター　重量法82%　内蔵形≫

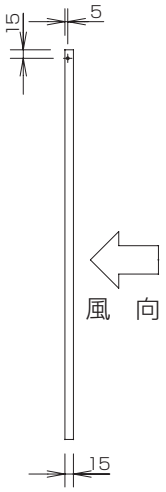
名　　称		プレフィルター（重量法82%　内蔵形）	
品　　番		AFT-2PE224E	AFT-2PE280E
適　用　機　種		224形	280形
標準風速	m/s	2.5	2.5
初期圧損	Pa	93.0	93.0
終期圧損	Pa	200.0	200.0
平均効率		重量法82%（ＪＩＳ 15種）	
使用濾材		ポリエステル／モダアクリル	
質量	kg	2.5	3.2
フィルター外形寸法 幅×高さ×厚み	mm	752×687×20	512×687×20（2枚組）

■プレフィルター外形寸法図
AFT-1PE224E

製品質量 2.0kg

注記
1. 外枠：アルミ材(T1.0)



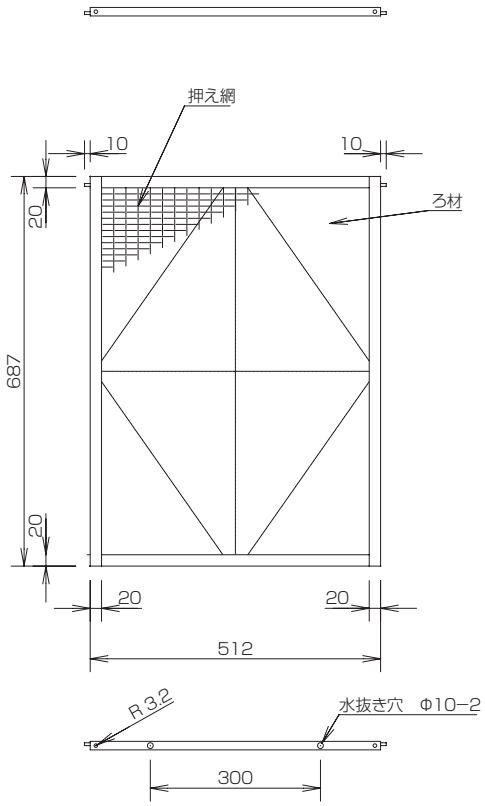


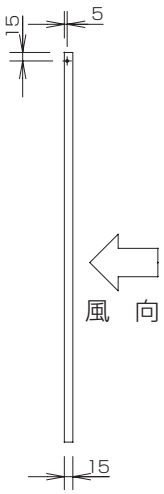
<特注対応品>

AFT-1PE280E

製品質量 2.6kg

注記
1. 外枠：アルミ材(T1.0)
2. 2枚で1セット



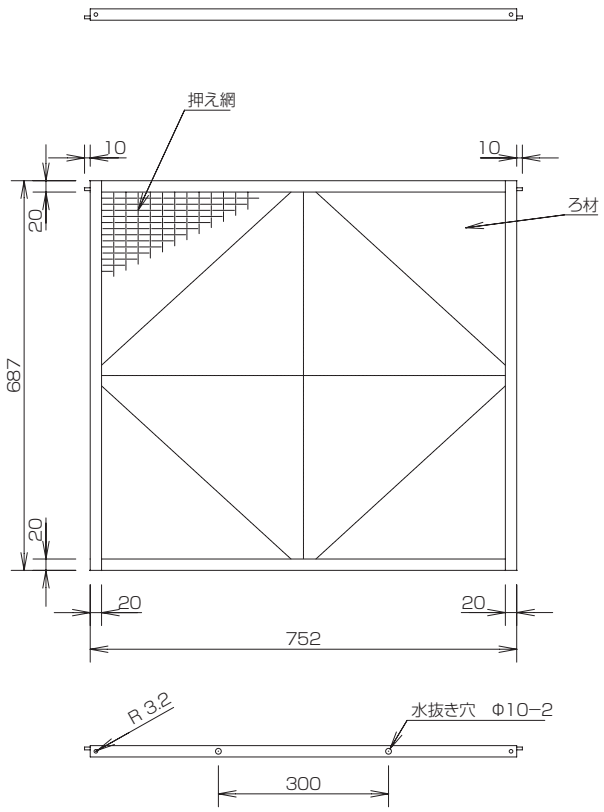


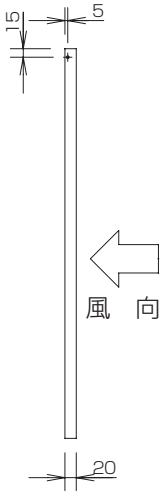
<特注対応品>

■プレフィルター外形寸法図
AFT-2PE224E

製品質量	2.5kg

注記
1. 外枠：アルミ材(T1.0)



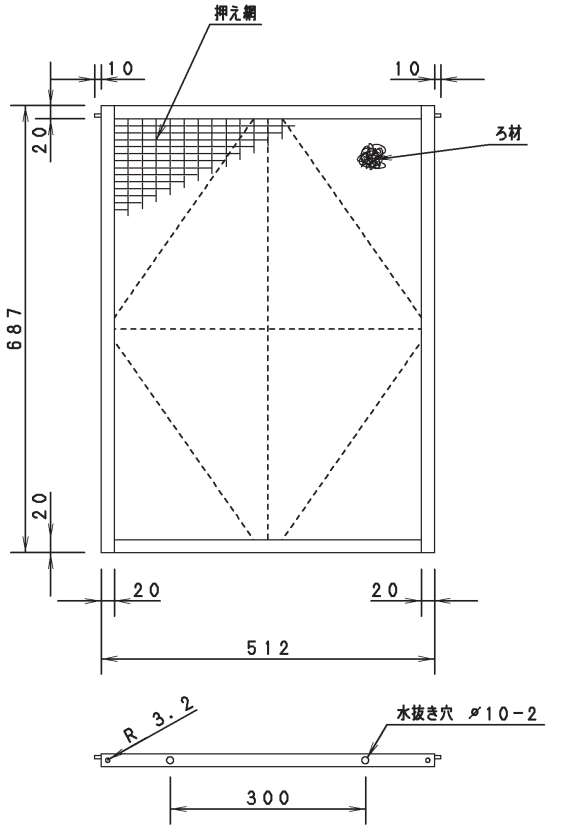


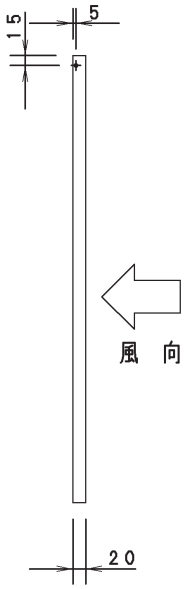
<特注対応品>

AFT-2PE280E

製品質量	3．2ｋｇ

注記
1．外枠：アルミ材（T1．0）
2．2枚で1セット





<特注対応品>

●高性能フィルター・ロングライフフィルター

■仕様

≪高性能フィルター　比色法65%≫

名称		高性能フィルター（比色法65%）	
品番		AFT-ME224E	AFT-ME280E
適用機種		224形	280形
定格風量	m^3/min	64.0	80.0
初期圧損	Pa	32.0	28.0
終期圧損	Pa	80.0	70.0
寿命	時間	3680	3510
平均効率		比色法65%（ＪＩＳ 11種）	
使用濾材		ポリオレフィン系帯電繊維	
質量	kg	7.5	11.0
フィルター外形寸法 幅×高さ×厚み	mm	842×571×200	571×571×200（2枚組）

≪高性能フィルター　比色法90%≫

名称		高性能フィルター（比色法90%）	
品番		AFT-HE224E	AFT-HE280E
適用機種		224形	280形
定格風量	m^3/min	64.0	80.0
初期圧損	Pa	46.0	40.0
終期圧損	Pa	115.0	100.0
寿命	時間	2440	2260
平均効率		比色法90%（ＪＩＳ 11種）	
使用濾材		ポリオレフィン系帯電繊維	
質量	kg	7.5	11.0
フィルター外形寸法 幅×高さ×厚み	mm	842×571×200	571×571×200（2枚組）

≪ロングライフフィルター≫

名称		ロングライフフィルター	
品番		AFT-LE224E	AFT-LE280E
適用機種		224形	280形
定格風量	m^3/min	64.0	80.0
初期圧損	Pa	8.5	7.5
終期圧損	Pa	22.0	19.0
寿命	時間	1000	1040
平均効率		重量法28%（ＪＩＳ 15種）	
使用濾材		ＰＰハニカム（防カビ仕様）	
質量	kg	1.5	2.5
フィルター外形寸法 幅×高さ×厚み	mm	842×571×50	571×571×50（2枚組）

注意事項

1）フィルター寿命（時間）は、塵埃濃度0.15mg／m^3（ビル管理法規制値）として算出しています。
　寿命（時間）は現場条件により異なります。

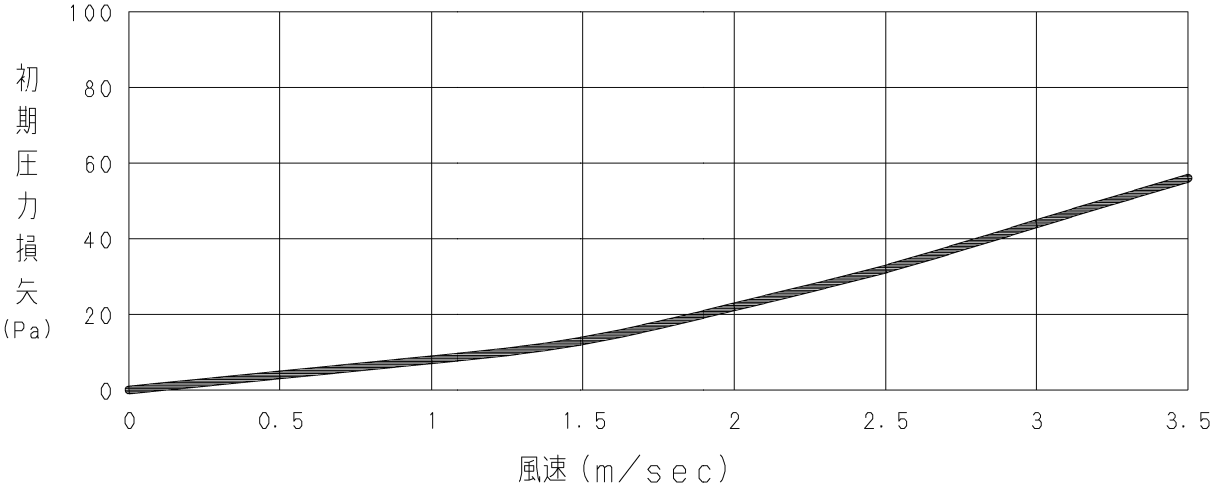
2）ユニットに取り付ける場合は、下記別売部品（※）も必要ですので同時手配下さい。

※フィルターチャンバー・吸込口ダクトフランジ・前面閉塞用化粧パネル

適用機種			224形	280形
フィルターチャンバー	品番		CMB-FE224E	CMB-FE280E
	厚み	mm	538	538
	質量	kg	21.0	25.5
吸込口ダクトフランジ	品番		DKT-RFD224E	DKT-RFD280E
	厚み	mm	30	30
	質量	kg	2.5	3.0
前面閉塞用パネル	品番		PNR-E224E	PNR-E280E
	質量	kg	3.5	4.5

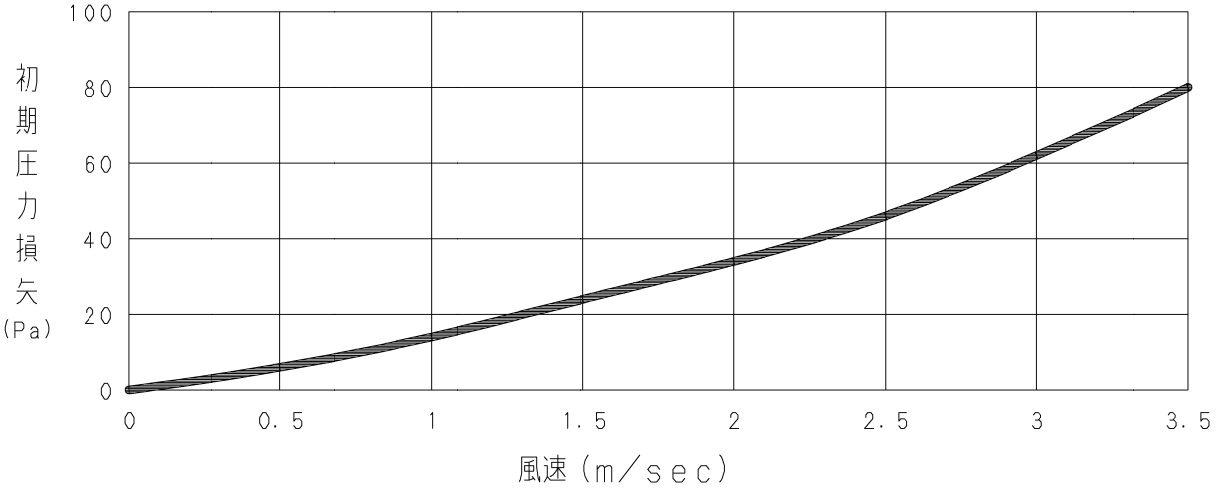
■圧力損失線図
高性能フィルター（比色法 90%）　AFT-HE224, 280E（適用機種:224・280 形）

風速と初期圧力損失



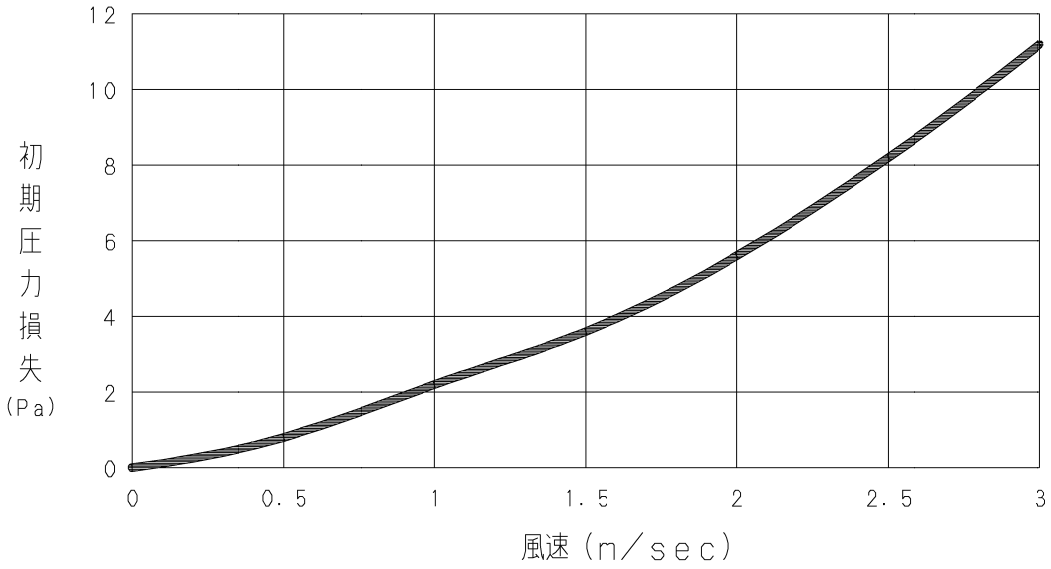
高性能フィルター（比色法 65%）　AFT-ME224, 280E（適用機種：224・280 形）

風速と初期圧力損失

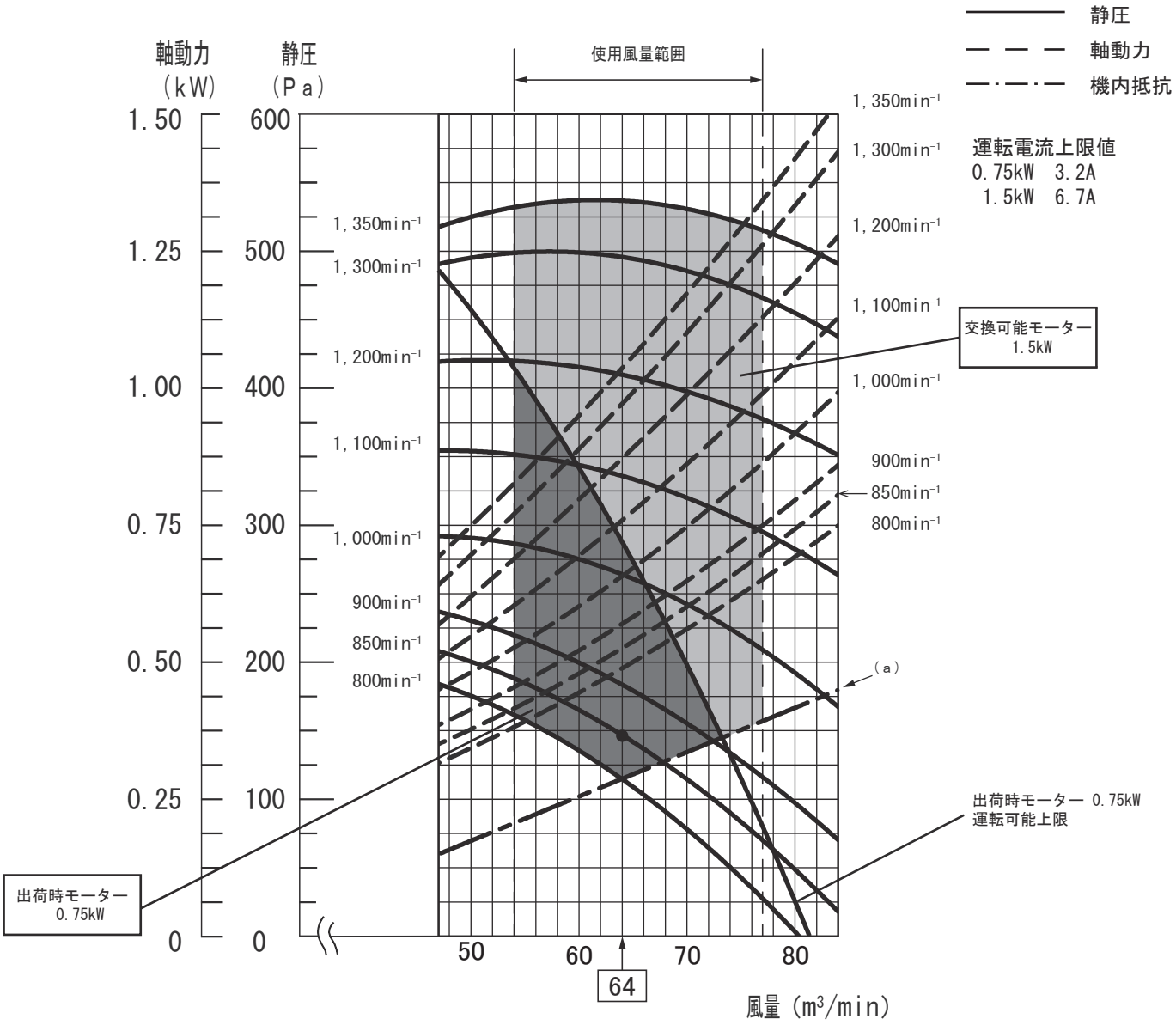


ロングライフフィルター（比色法 65%）AFT-LE224, 280E（適用機種：224・280 形）

風速と初期圧力損失



■送風機特性・軸動力特性および運転可能範囲
224形(50Hz)

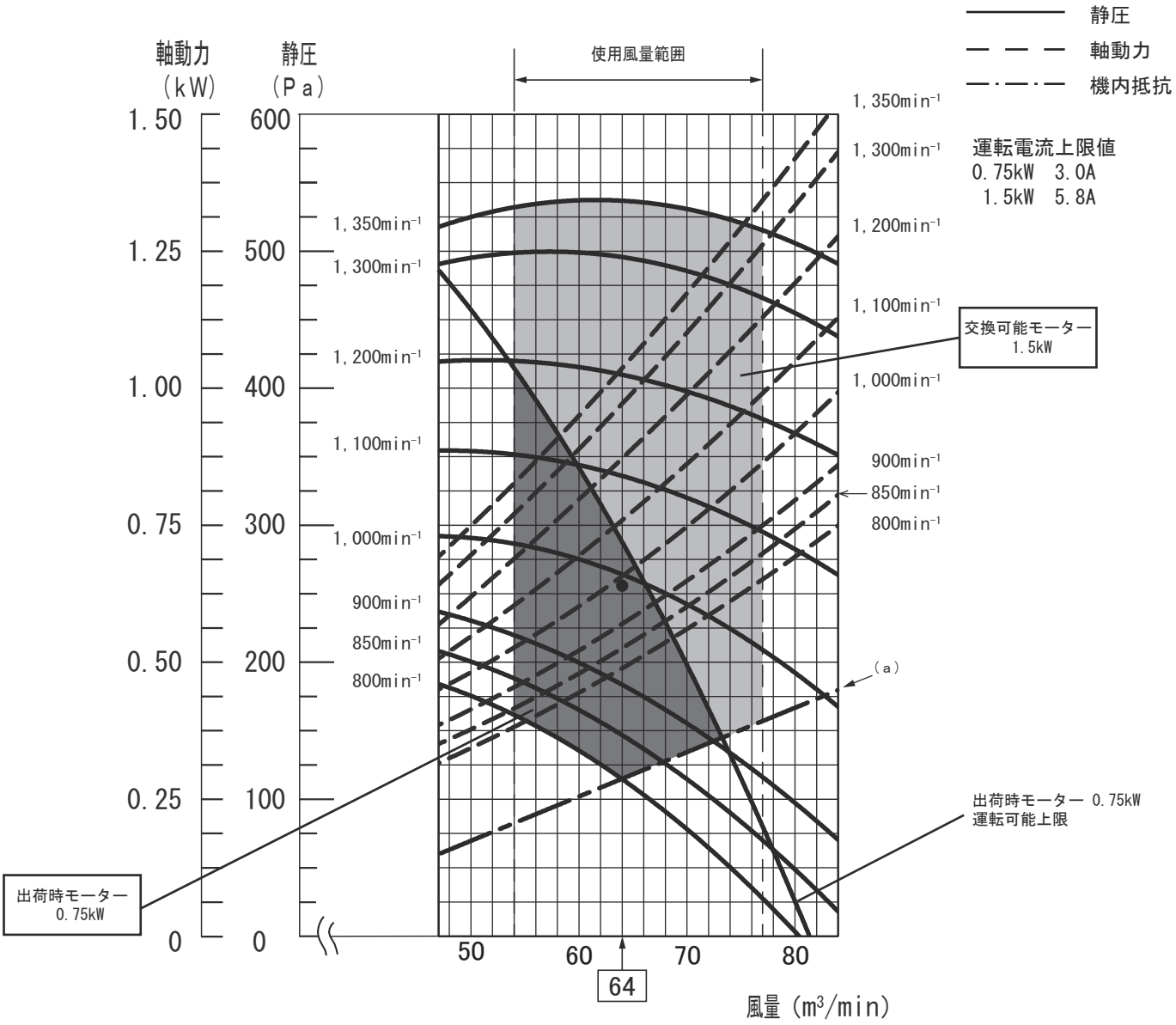


品番			CS-P224BD7
周波数		Hz	50
定格風量		m³/min	64
定格機外静圧	(a)	Pa	30
定格回転速度		min⁻¹	850
出荷時機内抵抗	(a)	Pa	115
出荷時モーター定格出力（極数）		kW	0.75(4P)
交換可能モーター定格出力（極数）		kW	1.5(4P)
〔備考〕 (a) ：機内抵抗（両吸込）●印：定格			

注）指定された運転可能範囲外での運転はしないでください。指定された範囲外で運転したとき、電圧変動し、かつ長時間運転した場合、モーターの保護装置が働き運転停止する場合があります。軸動力値上限の判断管理は、運転電流値で確認してください。上記運転電流上限値を超えていないことを確認してください。

・後吸込み仕様は特注対応品になります。別途お問い合わせください。

■送風機特性・軸動力特性および運転可能範囲
224形(60Hz)

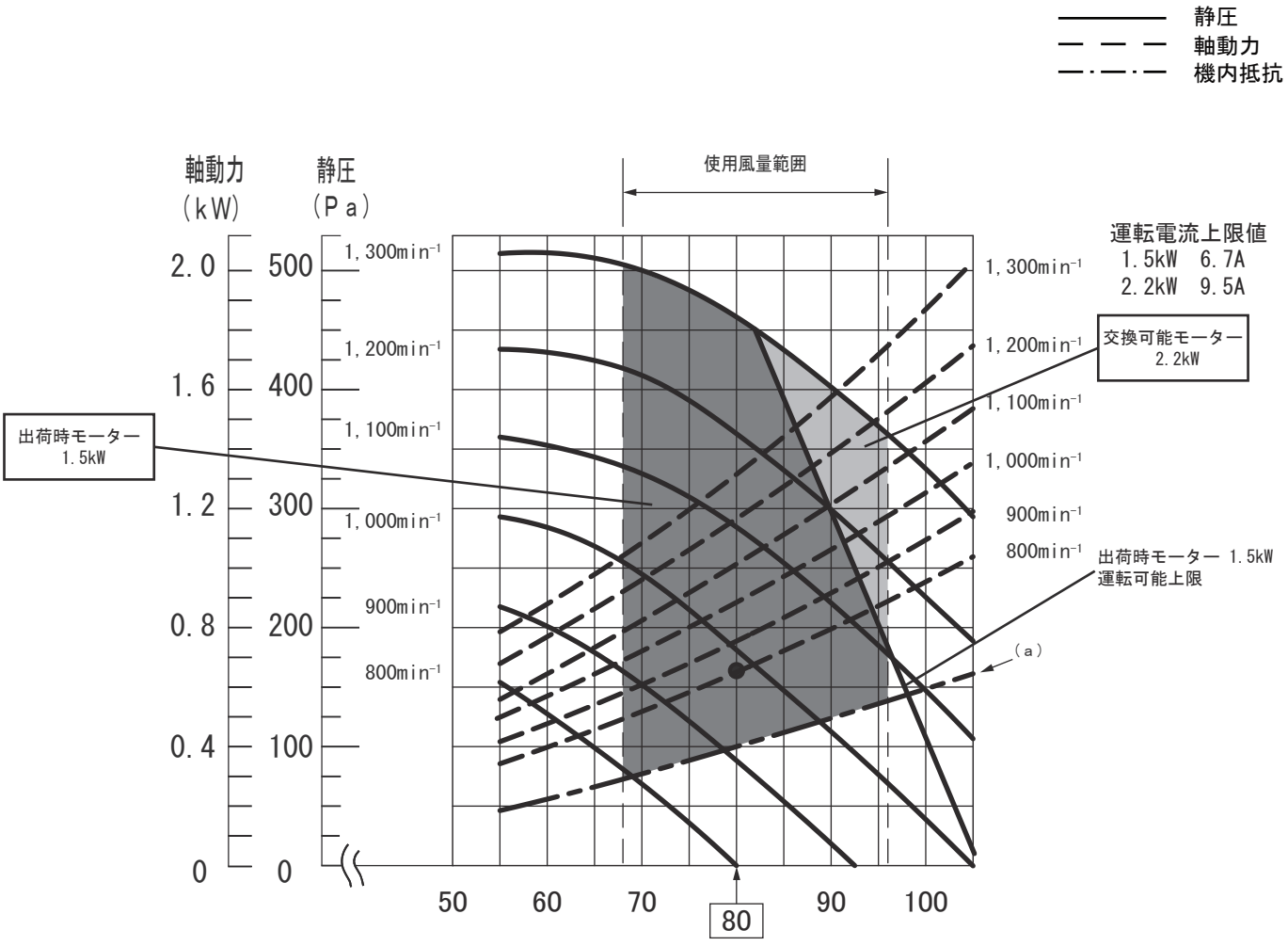


品番			CS-P224BD7
周波数		Hz	60
定格風量		m³/min	64
定格機外静圧	(a)	Pa	140
定格回転速度		min⁻¹	990
出荷時機内抵抗	(a)	Pa	115
出荷時モーター定格出力（極数）		kW	0.75(4P)
交換可能モーター定格出力（極数）		kW	1.5(4P)
〔備考〕 (a) ：機内抵抗（両吸込） ●印：定格			

注）指定された運転可能範囲外での運転はしないでください。指定された範囲外で運転したとき、電圧変動し、かつ長時間運転した場合、モーターの保護装置が働き運転停止する場合があります。軸動力値上限の判断管理は、運転電流値で確認してください。上記運転電流上限値を超えていないことを確認してください。

・後吸込み仕様は特注対応品になります。別途お問い合わせください。

■送風機特性・軸動力特性および運転可能範囲
280形(50Hz)

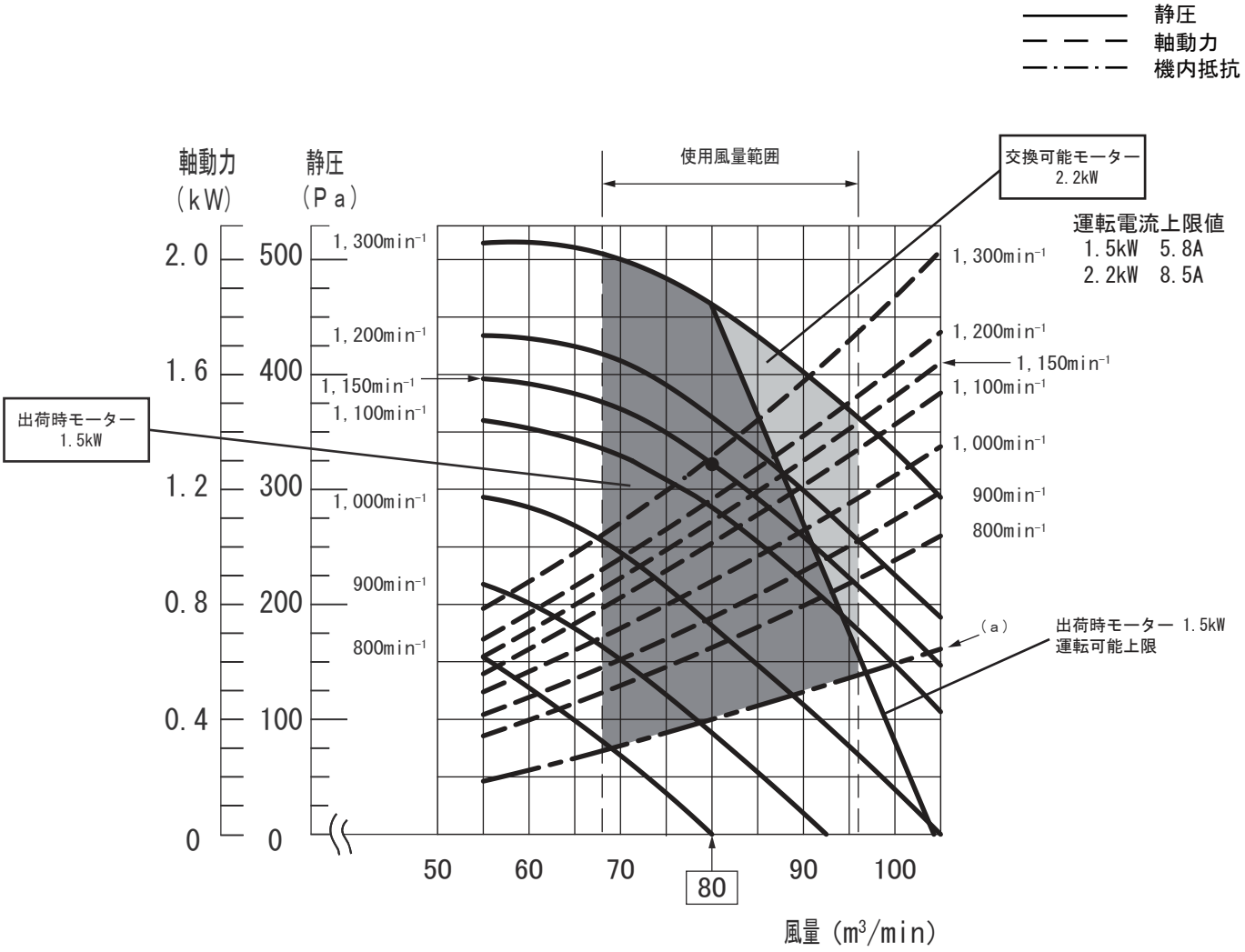


品番			CS-P280BD7
周波数		Hz	50
定格風量		m³/min	80
定格機外静圧	(a)	Pa	65
定格回転速度		min⁻¹	980
出荷時機内抵抗	(a)	Pa	100
出荷時モーター定格出力（極数）		kW	1.5(4P)
交換可能モーター定格出力（極数）		kW	2.2(4P)
〔備考〕 (a) ：機内抵抗（両吸込） ●印：定格			

注)指定された運転可能範囲外での運転はしないでください。指定された範囲外で運転したとき、電圧変動し、かつ長時間運転した場合、モーターの保護装置が働き運転停止する場合があります。軸動力値上限の判断管理は、運転電流値で確認してください。上記運転電流上限値を超えていないことを確認してください。

・後吸込み仕様は特注対応品になります。別途お問い合わせください。

■送風機特性・軸動力特性および運転可能範囲
280形(60Hz)



品番			CS-P280BD7
周波数		Hz	60
定格風量		m³/min	80
定格機外静圧	(a)	Pa	235
定格回転速度		min⁻¹	1,150
出荷時機内抵抗	(a)	Pa	100
出荷時モーター定格出力（極数）		kW	1.5(4P)
交換可能モーター定格出力（極数）		kW	2.2(4P)
〔備考〕 (a) ：機内抵抗（両吸込） ●印：定格			

注)指定された運転可能範囲外での運転はしないでください。指定された範囲外で運転したとき、電圧変動し、かつ長時間運転した場合、モーターの保護装置が働き運転停止する場合があります。軸動力値上限の判断管理は、運転電流値で確認してください。上記運転電流上限値を超えていないことを確認してください。

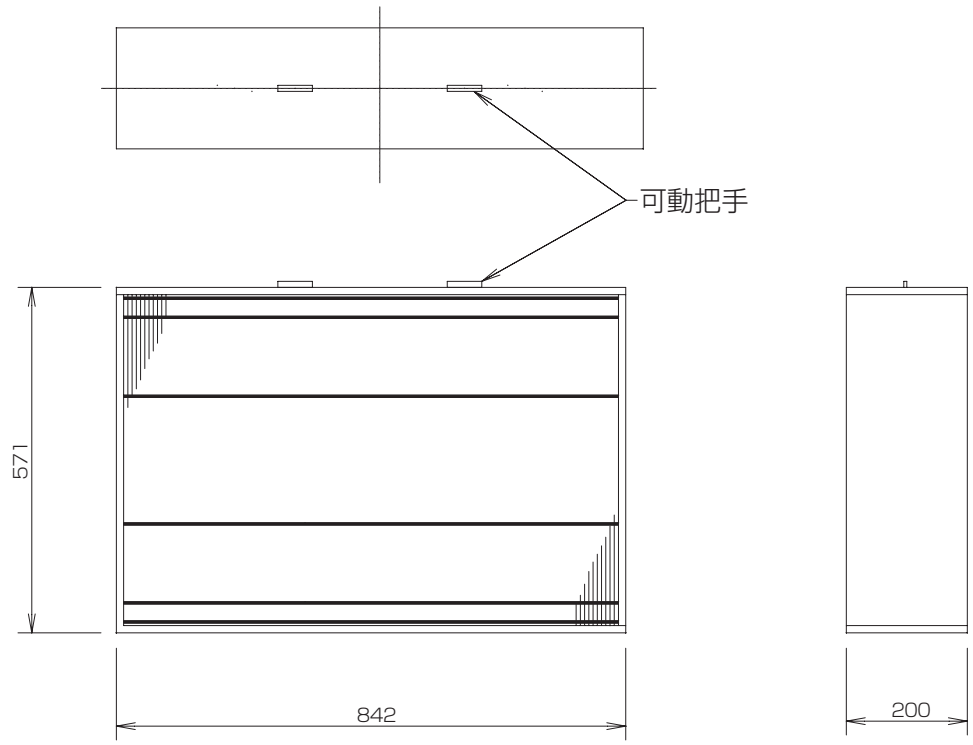
・後吸込み仕様は特注対応品になります。別途お問い合わせください。

■高性能フィルター外形寸法図

AFT-ME224E
AFT-HE224E

製品質量	7.5kg

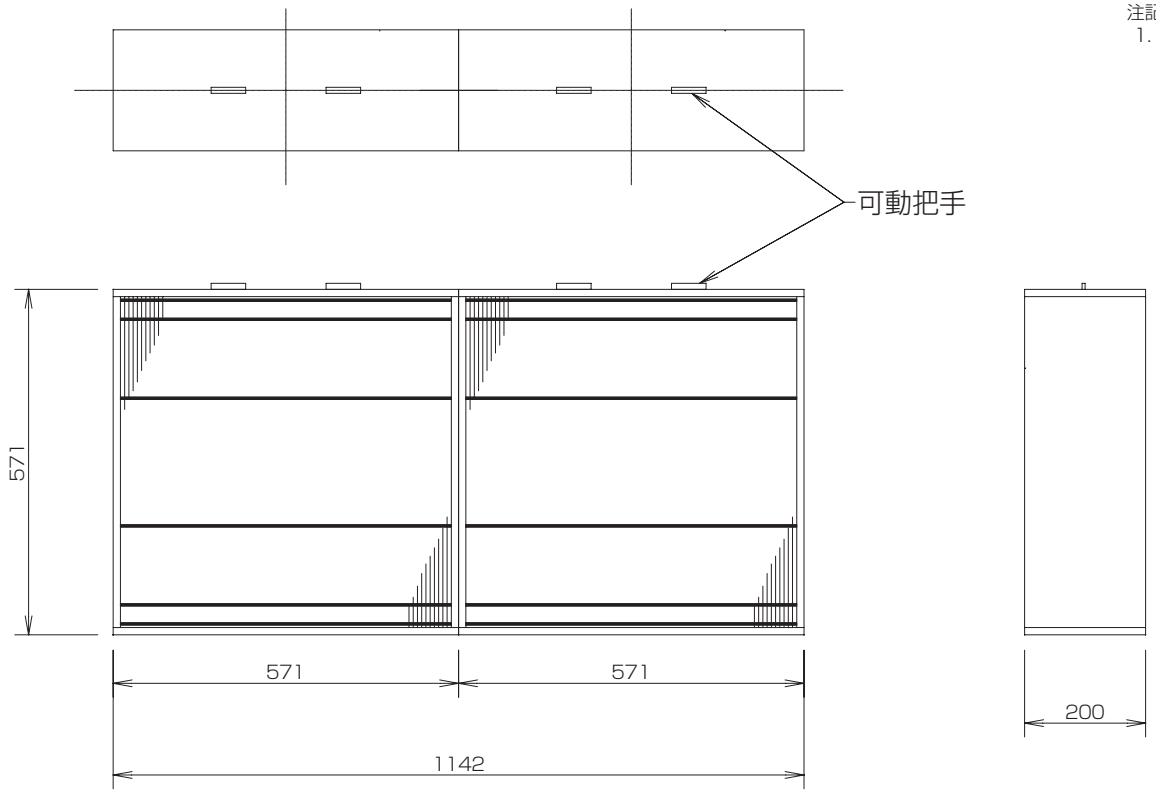
注記
1. 外枠：合板(T12)



AFT-ME280E
AFT-HE280E

製品質量	11kg

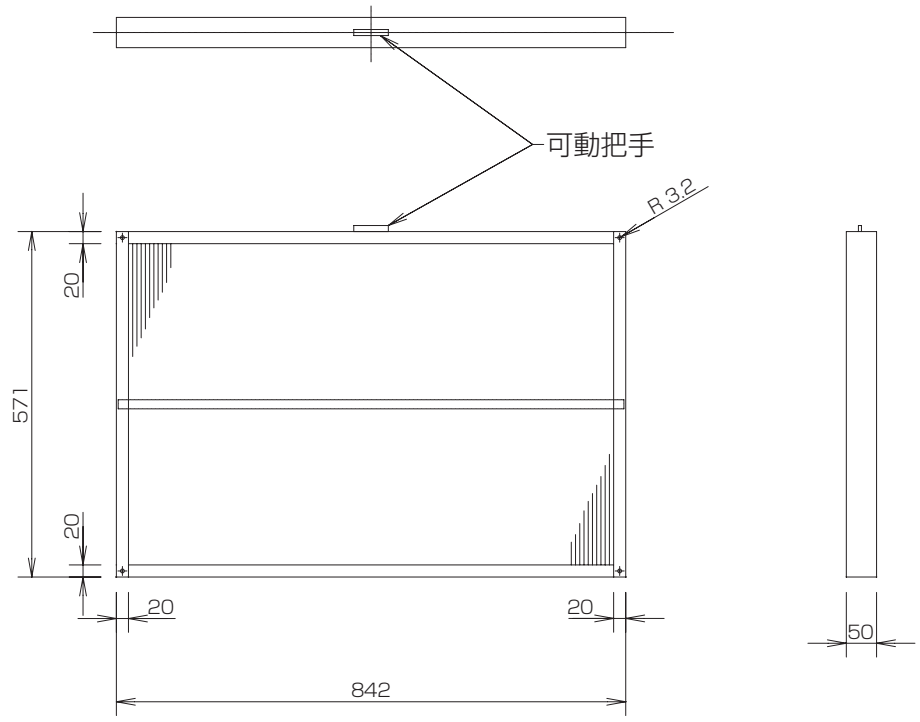
注記
1. 外枠：合板(T12)



■ロングライフフィルター外形寸法図
AFT-LE224E

製品質量	1.5kg

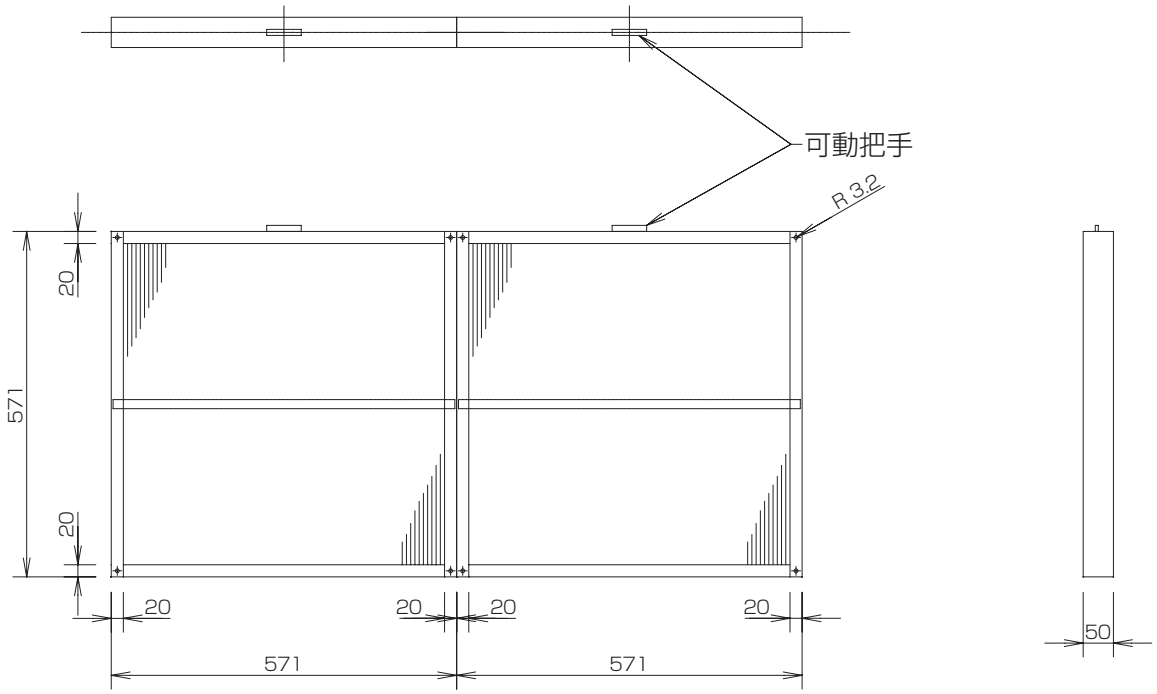
注記
1. 外枠：アルミ押出型材



AFT-LE280E

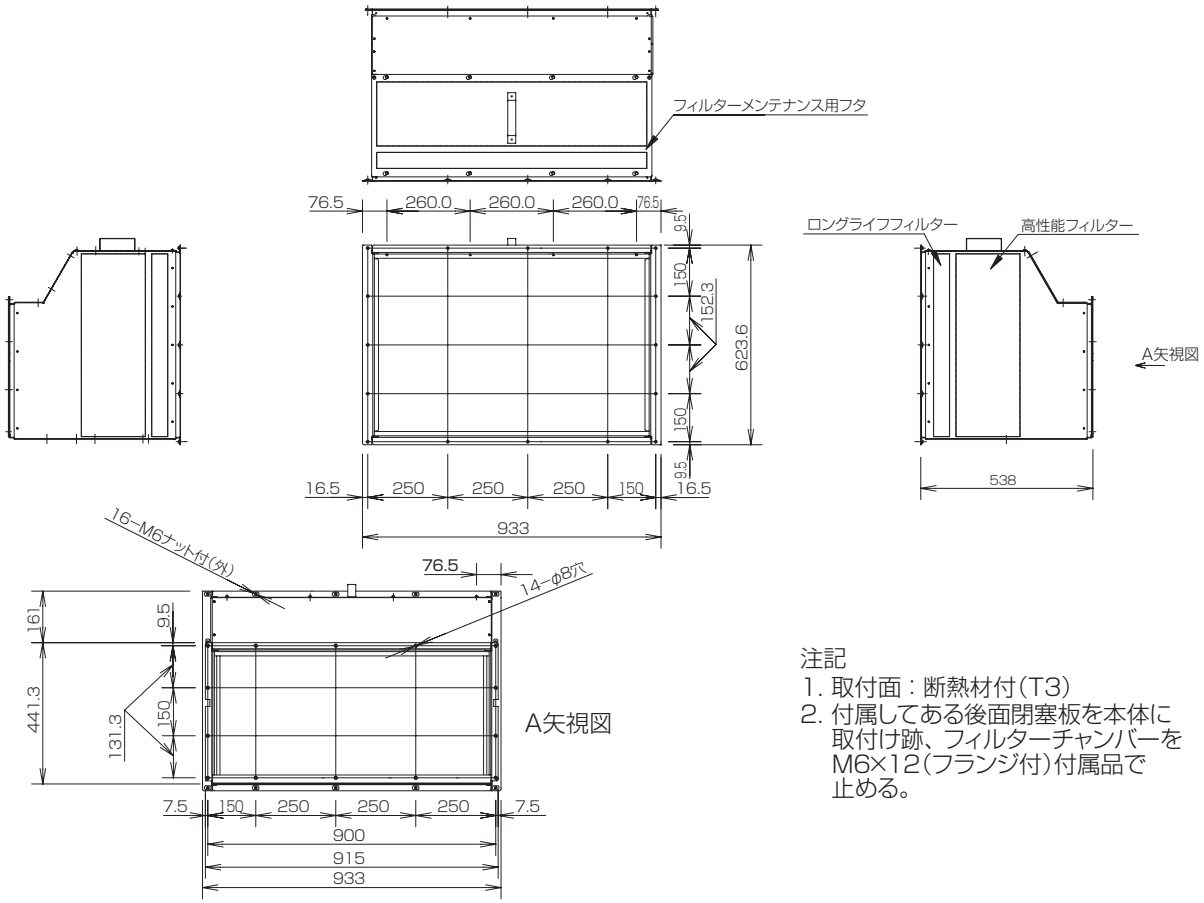
製品質量	2.5kg

注記
1. 外枠：アルミ押出型材



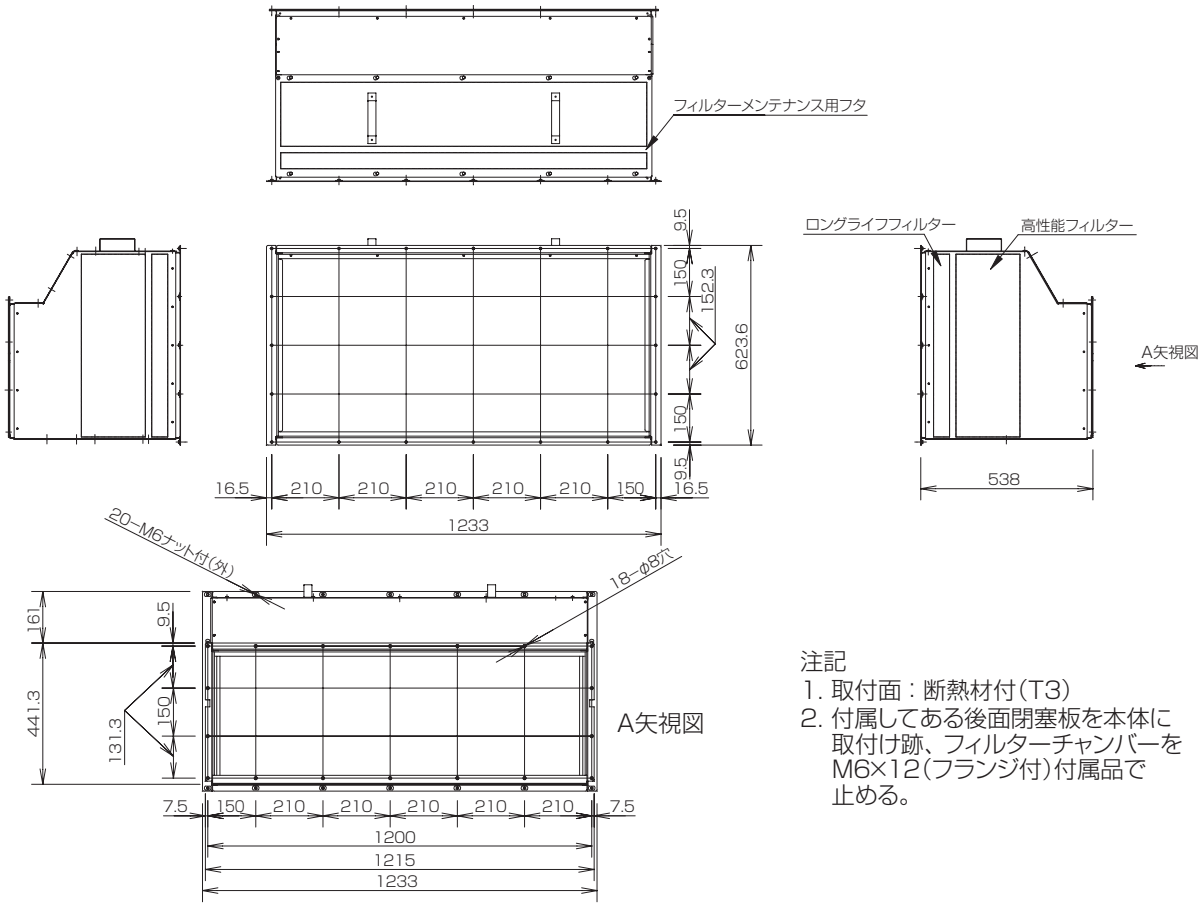
■ フィルターチャンバー外形寸法図

CMB-FE224E



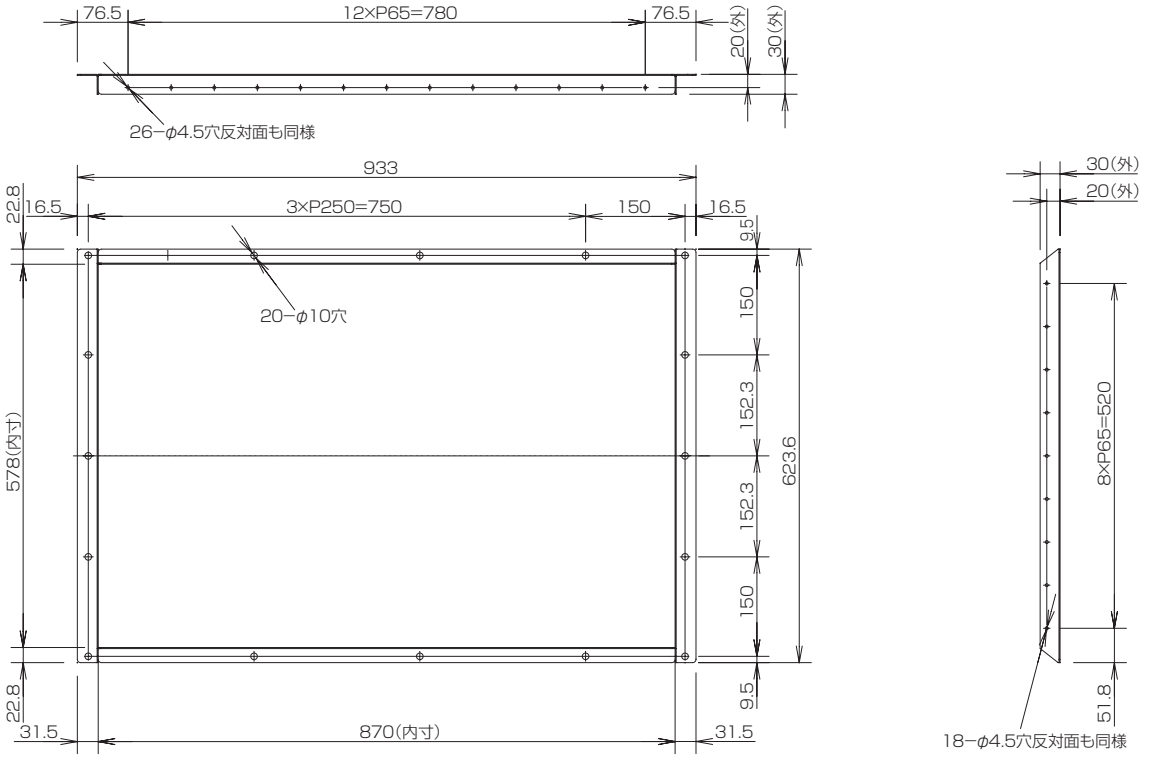
注記
1. 取付面：断熱材付(T3)
2. 付属してある後面閉塞板を本体に取付け跡、フィルターチャンバーをM6×12(フランジ付)付属品で止める。

CMB-FE280E



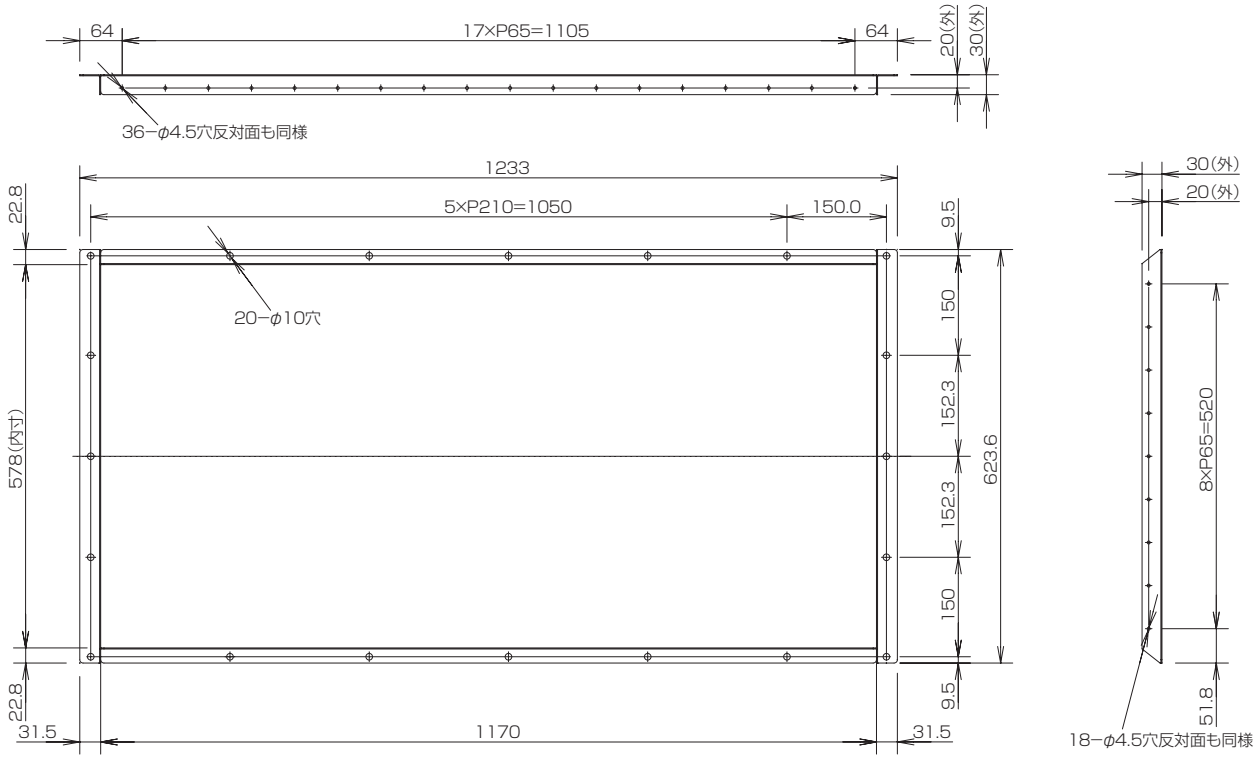
注記
1. 取付面：断熱材付(T3)
2. 付属してある後面閉塞板を本体に取付け跡、フィルターチャンバーをM6×12(フランジ付)付属品で止める。

■吸込口ダクトフランジ外形寸法図
DKT-RFD224E



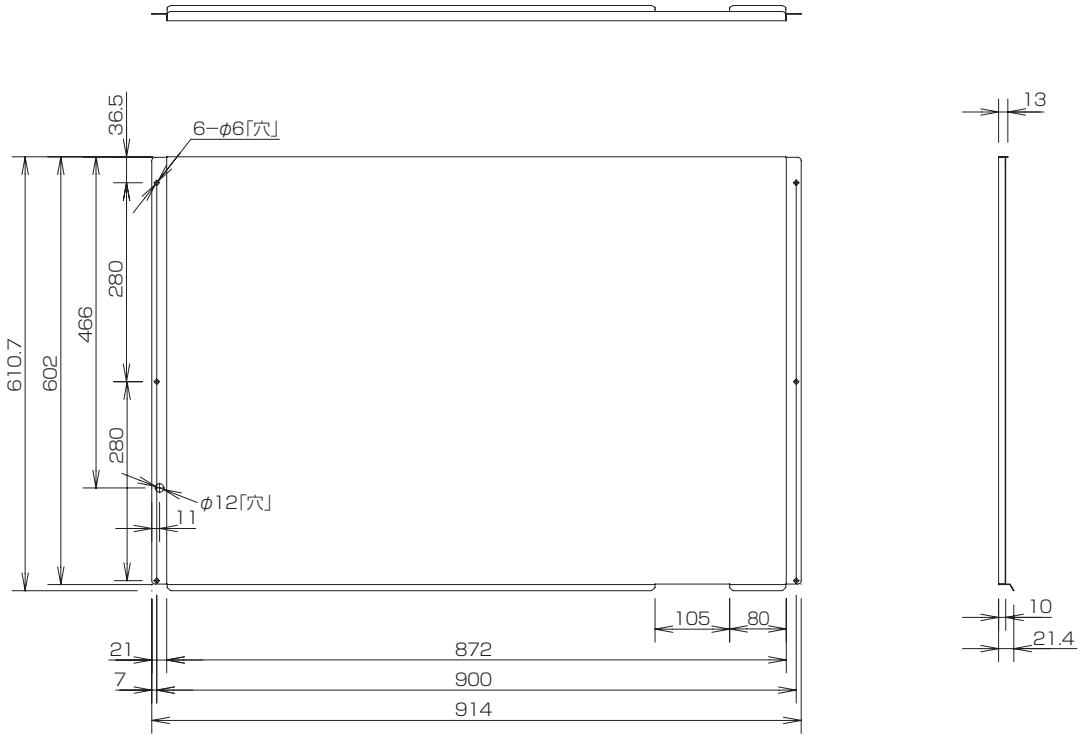
注記
1：取付け面：断熱材付(T3)
2：付属品：取付けネジ

DKT-RFD280E



注記
1：取付け面：断熱材付(T3)
2：付属品：取付けネジ

■前面閉塞用パネル外形寸法図
PNR-E224E



注記
1：取付け面：断熱材付（上下：T5、左右：T3）
2：付属品：取付けネジ

PNR-E280E



注記
1：取付け面：断熱材付（上下：T5、左右：T3）
2：付属品：取付けネジ

85465759280002

床置形(ダクト形) フィルターチャンバーの取り付け方

1．付属品

CMB　品番	適用ＰＡＣ	付属品		
		取付ボルト　M6	裏カバーパネル	取付説明書
CMB-FE２２４E	２２４形	１４個	１個	１枚（本説明書）
CMB-FE２８０E	２８０形	１８個	１個	

2．フィルターチャンバーとフィルターの組合せ

CMB　品番	高性能フィルター（どちらかを使用）		ロングライフフィルター
	比色法（６５%）	比色法（９０%）	
CMB-FE２２４E	AFT-ME２２４E	AFT-HE２２４E	AFT-LE２２４E
CMB-FE２８０E	AFT-HE２８０E	AFT-HE２８０E	AFT-LE２８０E

3．取り付け前の準備

1．適用パッケージエアコンはダクト形が基本です。技術資料等でフィルター圧損を確認のうえ、風量・機外静圧　等のダクト仕様が適切であることを再確認してください。

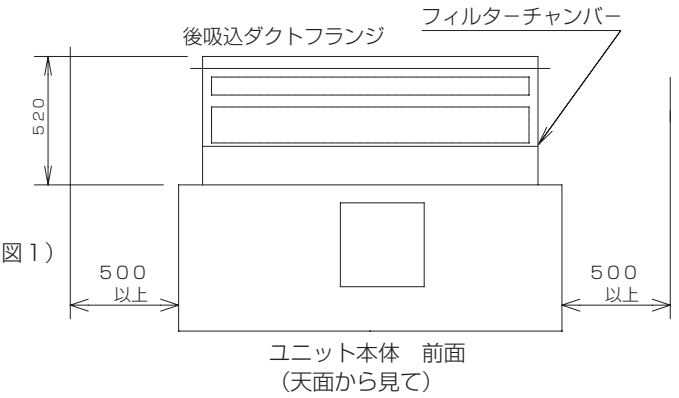
2．フィルターチャンバーを取り付ける場合、下記の“前塞ぎ化粧パネル”および“後吸込ダクトフランジ”が必要です。（別売　特注対応品）

CMB　品番	前塞ぎパネル	後吸込ダクトフランジ
CMB-ＦＥ２２４E	ＰＮＲ-Ｅ２２４E	DKT-RFD２２４E
CMB-ＦＥ２８０E	ＰＮＲ-Ｅ２８０E	DKT-RFD２８０E

3．取付スペースおよびフィルターのサービスに必要なスペースは（図１）の通りです。

＊フィルターは上部取り出しです。8馬力､１０馬力機種は幅が広いため左右にスペースを取ると作業が楽になります。

（図１）

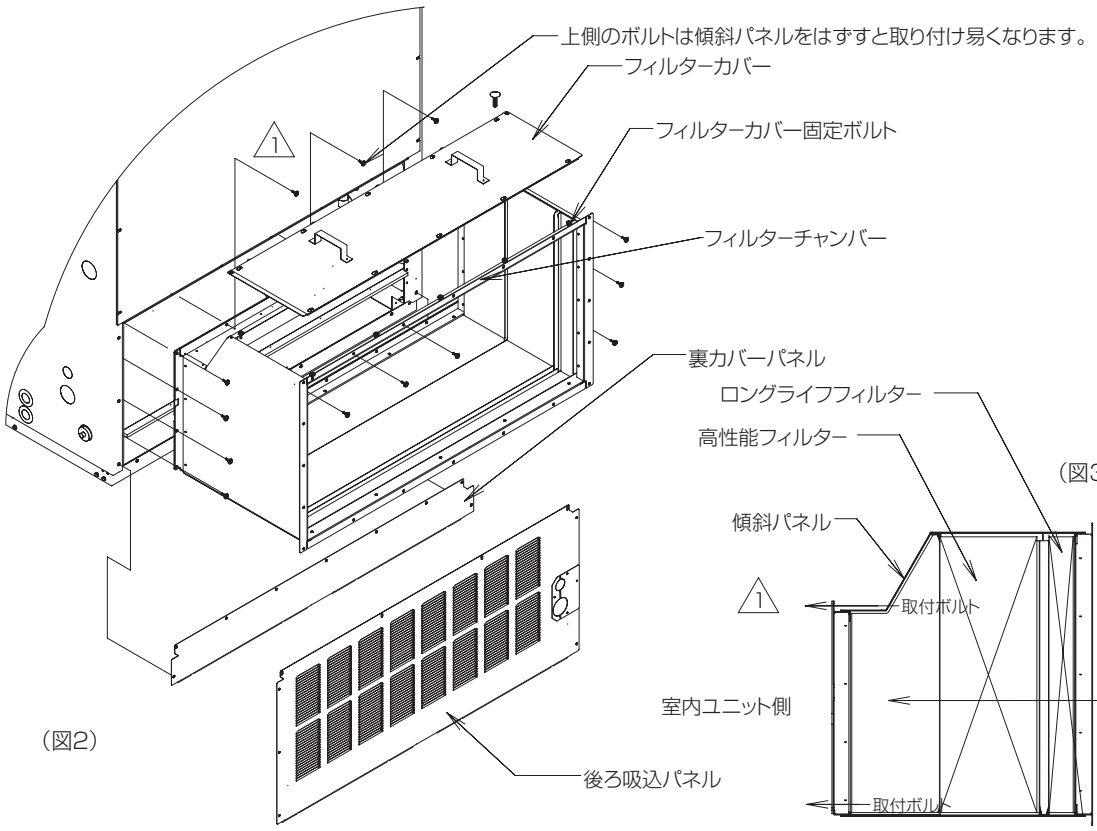


4.フィルターチャンバーの取り付け

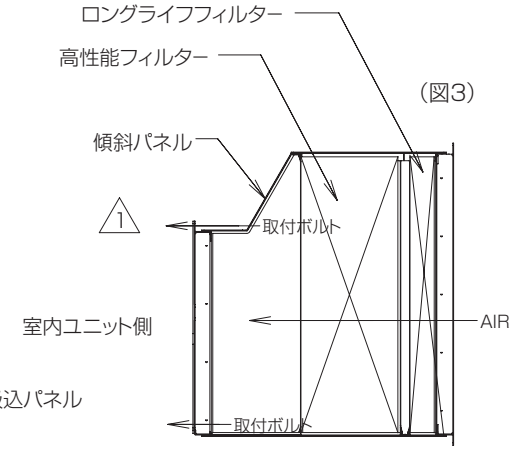
1. まず、ユニット本体の後吸込パネルを取り外します。取り外したM6ボルトは、フィルターチャンバー取り付けに使用します。（図2）
2. 裏カバーを取り付けます。
3. 取り外したM6ボルトおよび付属ボルトを使用して、ユニット本体にフィルターチャンバーを取り付けます。（図2）
   * チャンバーのフランジ面にパッキンが貼ってあり、面積の小さい方がユニット本体側です。
   * フィルターの取り出し側が上側になる様に取り付けてください。
   * チャンバー下側の取り付けボルトはチャンバーの内側から取り付けます。

5.高性能・ロングライフフィルターの組み込み

1. フィルターカバーを固定しているボルトを緩め、フィルターカバーをスライドさせて外します。(図2)
2. ユニット本体側に高性能フィルター、手前側にロングライフフィルターを組み込みます。(図1、3)
   * 280形用高性能フィルターは2個分割されていますので、順次組み込んで下さい。
   * フィルター天部に空気の流れ方向を示す"矢印マーク"がありますので、方向を合わせてください。
3. フィルターを組込後、フィルターカバーを取り付けます。だるま穴に合わせてM5ボルトを締めてください。



（図2）

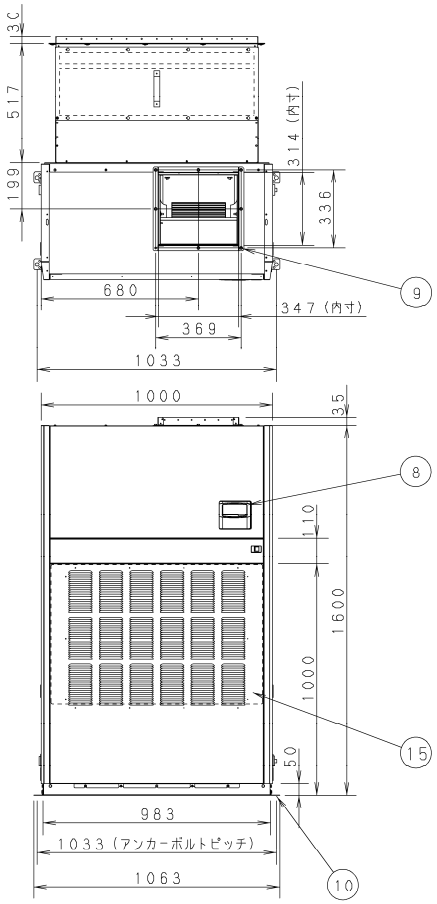


（図3）

6.前面閉塞用パネルおよび後吸込ダクトフランジの取り付け

1. 前面PNRをはずし、内蔵のプレフィルターを取り外した後、
   "前面閉塞用パネル" を付属のボルトで取り付けてください。
   前面PNRは前塞ぎパネルにかぶせるように取り付けます。
2. フィルターチャンバーの吸込口フランジ面に後吸込ダクトフランジを付属のボルトで取り付けてください。

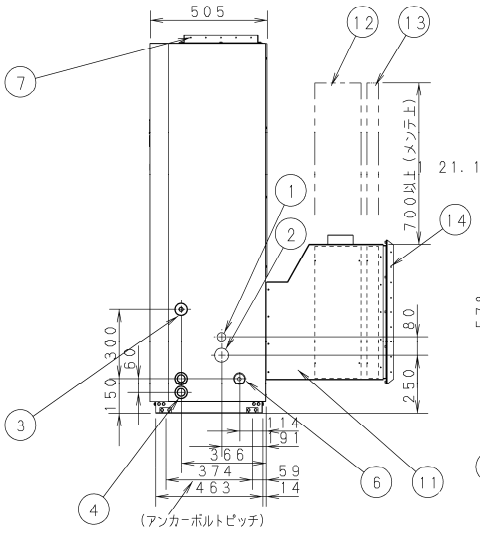
■部品取付図
ダクト 224 形

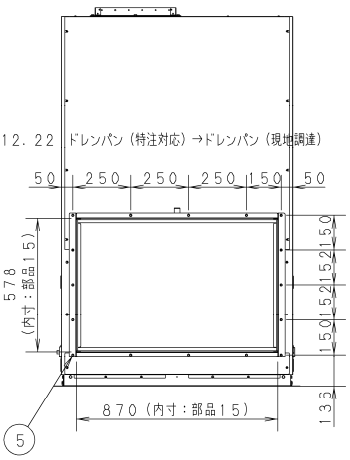


番号	名称	番号	名称	
1	冷媒配管口，液側	9	8－φ8穴（M6ボルト）	
2	冷媒配管口，ガス側	10	据付金具（据付穴φ16　M10ボルトを推奨する）	
3	加湿器（別売品）配管口	11	フィルターチャンバー　（CMB－FE224E）	別売品
4	電源取入口	12	高性能フィルター　（AFT－HE224E又はAFT－ME224E）	別売品
5	16－φ10穴（M6ボルト）（後ろの吸い込み口を外し、16個の穴がある）	13	ロングライフフィルター　（AFT－LE224E）	別売品
6	ドレン口　Rp1（PS1　めねじ）	14	吸込側ダクト用フランジ　（DKT－RFD224E）	別売品
7	吹出側ダクト用フランジ	15	前閉塞きパネル　（PNR－E224E）	別売品
8	コントロールスイッチ			

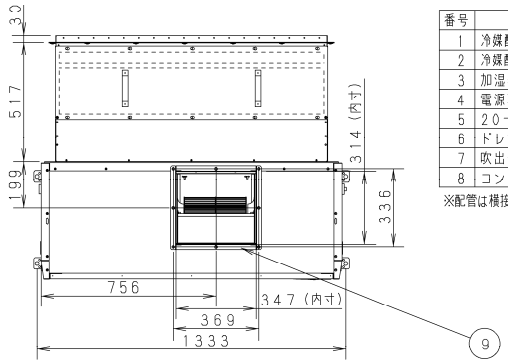
※配管は横接続となります。（後接続はできません。）

※冷媒配管、電源、ドレン配管はユニット左右取出しが可能です。
※ヒーター配管口（φ60ノックアウトホール）は、左右にあります。
※フィルターは上面取出しです。
※背面吸込みは特注対応になります。





ダクト 280 形



番号	名称	番号	名称	
1	冷媒配管口，液側	9	8－φ8穴（M6ボルト）	
2	冷媒配管口，ガス側	10	据付金具（据付穴φ16　M10ボルトを推奨する）	
3	加湿器（別売品）配管口	11	フィルターチャンバー　（CMB－FE280E）	別売品
4	電源取入口	12	高性能フィルター　（AFT－HE280E又はAFT－ME280E）	別売品
5	20－φ10穴（M6ボルト）（後ろの吸い込み口を外し、20個の穴がある）	13	ロングライフフィルター　（AFT－LE280E）	別売品
6	ドレン口　Rp1（PS1　めねじ）	14	吸込側ダクト用フランジ　（DKT－RFD280E）	別売品
7	吹出側ダクト用フランジ	15	前閉塞きパネル　（PNR－E280E）	別売品
8	コントロールスイッチ			

※配管は横接続となります。（後接続はできません。）

※冷媒配管、電源、ドレン配管はユニット左右取出しが可能です。
※ヒーター配管口（φ60ノックアウトホール）は、左右にあります。
※フィルターは上面取出しです。
※背面吸込みは特注対応になります。

